岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 717 集

万丁目（まんちょうめ）遺跡発掘調査報告書

経営体育成基盤整備事業万丁目地区に伴う緊急発掘調査

２０２０

岩手県県南広域振興局農政部北上農村整備センター

（公財）岩手県文化振興事業団

万丁目遺跡発掘調査報告書

経営体育成基盤整備事業万丁目地区に伴う緊急発掘調査

序

本県には、旧石器時代をはじめとする１万箇所を超す遺跡や貴重な埋蔵文化財が数多く残されています。それらは、地域の風土と歴史が生み出した遺産であり、本県の歴史や文化、伝統を正しく理解するのに欠くことのできない歴史資料です。同時に、それらは県民のみならず国民的財産であり、将来にわたって大切に保存し、活用を図らなければなりません。

一方、豊かな県土づくりには公共事業や社会資本整備が必要ですが、それらの開発にあたっては、環境との調和はもちろんのこと、地中に埋もれ、その土地とともにある埋蔵文化財保護との調和も求められるところです。当事業団埋蔵文化財センターは、設立以来、岩手県教育委員会の指導と調整のもとに、開発事業によってやむを得ず消滅する遺跡の緊急発掘調査を行い、その調査の記録を保存する措置をとってまいりました。

本報告書は経営体育成基盤整備事業万丁目地区に関連して、平成30年度に発掘調査を実施した万丁目遺跡の成果をまとめたものです。調査の結果、中世の居館を構成する遺構が多数検出され、関連する遺物も多数出土し、地域の中世史に関連する貴重な資料を得ることができました。

本書が広く活用され、埋蔵文化財についての関心や理解につながると同時に、その保護や活用、学術研究、教育活動などに役立てられれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査並びに報告書の作成にあたり、ご理解とご協力をいただきました岩手県県南広域振興局農政部北上農村整備センター、花巻市教育委員会をはじめとする関係各位に対し、深く感謝の意を表します。

令和２年３月

公益財団法人岩手県文化振興事業団
理事長　高　橋　嘉　行

例　　言

1．本報告書は、岩手県花巻市南万丁目 844-1 ほかに所在する万丁目遺跡の発掘調査成果を収録したものである。

2．本報告書掲載の遺跡の調査は、経営体育成基盤整備事業万丁目地区に関わる事前の緊急発掘調査である。調査は岩手県県南広域振興局農政部北上農村整備センターと岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課との協議を経て、公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが委託を受け、受諾事業として実施した。

3．万丁目遺跡の岩手県遺跡台帳の登録の遺跡コード番号並びに遺跡略号は以下のとおりである。

万丁目遺跡　番号：ME25-2242　略号：MT-18

4．野外調査面積及び調査期間、室内整理期間、及び担当者は以下の通りである。

	面積	期間	担当者
野外調査	11,500㎡	平成 30 年　4 月　6 日～ 10 月 31 日	羽柴直人　溜浩二郎　光井文行 山川純一　古川　健
室内整理	―	平成 30 年 11 月　1 日～ 平成 31 年　3 月 29 日	羽柴直人　光井文行　山川純一 古川　健

5．野外調査での遺構写真撮影は調査担当者、遺物写真撮影は当センターの写真撮影を専門とする期限付職員が担当した。

6．本報告書の執筆は第Ⅰ章を岩手県県南広域振興局農政部北上農村整備センターが、その他を羽柴、光井、山川、古川が各担当部分を分担した。各文の執筆者名はその文末に名前を記した。編集も基本的には個々の担当者が該当部分を分担したが、総合的な編集は羽柴が行った。

7．実測委託・各種鑑定・分析等は以下の機関、個人に委託した。

表土除去、排土処理等　　：有限会社山愛緑化
座標原点の測量　　：北東北設計株式会社
航空写真撮影　　：東邦航空株式会社
瀬戸産陶器の鑑定　　：藤澤良祐（愛知学院大学教授）
金属製品保存処理　　：公益財団法人山梨文化財研究所
石器、石製品の実測　　：株式会社ラング
石器、石製品の石質鑑定　：花崗岩研究会
木炭の放射性炭素年代測定：株式会社加速器分析研究所
炭化種実の同定　　：古代の森研究舎
木製品、炭化物の樹種同定：阿部利吉（元岩手県木炭協会）

8．野外調査及び報告書作成にあたり、次の方々の協力を得た（敬称略・順不同）。

高橋信雄・高橋静歩（花巻市博物館）、中村良幸・酒井宗孝・菊池賢・橋本征也（花巻市教育委員会）、佐藤良和・遠藤栄一（一般財団法人 奥州市埋蔵文化財調査センター）中村隼人（八戸市博物館）

9．調査成果の一部は平成 30 年度調査概報（岩埋文第 708 集）、現地説明会資料等で報告、公開してきたが、本書の内容が優先するものである

10．本遺跡から出土した遺物及び調査に関わる資料は岩手県立埋蔵文化財センターが保管している。

目　　次

本文目次

Ⅰ　調査に至る経過……1

Ⅱ　立地と環境……2

1　遺跡の位置……2

2　遺跡の地理・地形的環境……2

3　周辺の遺跡……5

4　万丁目遺跡 1985 年調査の概要……8

Ⅲ　調査と整理の方法……11

1　調査の経過……11

2　野外調査の方法……11

3　室内整理の方法……13

4　基本土層……18

Ⅳ　検出された遺構……19

1　中世の竪穴建物……19

2　掘立柱建物……32

3　カマド状遺構……258

4　井　　戸……285

5　溝……286

6　苑　　池……306

7　土　　坑……308

8　竪穴住居……342

9　炉……347

10　陥し穴状遺構……349

Ⅴ　出土遺物……378

1　縄文時代の土器、石器・石製品……378

2　古代の土師器・須恵器、石製品……382

3　12 世紀の遺物……390

4　中世の遺物……392

5　不掲載遺物……407

Ⅵ　自然科学分析……411

1　放射性炭素年代（AMS 測定）……411

2　炭化種実……416

3　炭化材樹種同定……421

Ⅶ　まとめ……422

写真図版……437

報告書抄録……645

表 目 次

第 1 表　周辺の遺跡……5
第 2 表　周辺の遺跡の関係文献……8
第 3 表　1985 年　万丁目遺跡発掘調査概要……9
第 4 表　柱穴一覧表……361
第 5 表　縄文土器観察表……378
第 6 表　縄文時代の石器・石製品観察表……378
第 7 表　土師器・須恵器観察表……382
第 8 表　古代の石製品観察表……390
第 9 表　12 世紀の遺物観察表……390
第 10 表　中世陶磁器観察表……392
第 11 表　銭貨観察表……394
第 12 表　鉄製品観察表……396
第 13 表　木製品観察表……399
第 14 表　中世の石製品・石材観察表……399
第 15 表　不掲載遺物……407
第 16 表　万丁目遺跡時期区分……425

図 版 目 次

第 1 図　遺跡の位置……3
第 2 図　地形分類図……4
第 3 図　周辺の遺跡……7
第 4 図　1985 年調査区……10
第 5 図　グリッド、遺構配置全体図……12
第 6 図　遺構配置図（北西部）……14
第 7 図　遺構配置図（南西部）……15
第 8 図　遺構配置図（北東部）……16
第 9 図　遺構配置図（南東部）……17
第 10 図　基本土層……18
第 11 図　SI1……20
第 12 図　SI2……22
第 13 図　SI3……23
第 14 図　SI4……25
第 15 図　SI5……26
第 16 図　SI6……28
第 17 図　SI7……29
第 18 図　SI8……31
第 19 図　SB1……33
第 20 図　SB2……35
第 21 図　SB3……36
第 22 図　SB4……38
第 23 図　SB5……39
第 24 図　SB6……40
第 25 図　SB7……42
第 26 図　SB8……43
第 27 図　SB9……44
第 28 図　SB10……46
第 29 図　SB11……47
第 30 図　SB12……48
第 31 図　SB13……50
第 32 図　SB14……51
第 33 図　SB15……52
第 34 図　SB16……54
第 35 図　SB17……55
第 36 図　SB18……56
第 37 図　SB19……58
第 38 図　SB20……59
第 39 図　SB21……60
第 40 図　SB22……62
第 41 図　SB23……63
第 42 図　SB24……64
第 43 図　SB25……66
第 44 図　SB26……67
第 45 図　SB27……68
第 46 図　SB28……70
第 47 図　SB29……71
第 48 図　SB30……72
第 49 図　SB31……74
第 50 図　SB32……75
第 51 図　SB33……76
第 52 図　SB34……78
第 53 図　SB35……79
第 54 図　SB36……80
第 55 図　SB37……82
第 56 図　SB38……83
第 57 図　SB39……84
第 58 図　SB40……86
第 59 図　SB41……87
第 60 図　SB42……88
第 61 図　SB43……90
第 62 図　SB44……91

第 63 図　SB45……92
第 64 図　SB46……94
第 65 図　SB47……95
第 66 図　SB48……96
第 67 図　SB49……98
第 68 図　SB50……99
第 69 図　SB51……100
第 70 図　SB52……102
第 71 図　SB53……103
第 72 図　SB54……104
第 73 図　SB55……106
第 74 図　SB56……107
第 75 図　SB57……108
第 76 図　SB58……110
第 77 図　SB59……111
第 78 図　SB60……112
第 79 図　SB61……114
第 80 図　SB62……115
第 81 図　SB63……116
第 82 図　SB64……118
第 83 図　SB65……119
第 84 図　SB66……120
第 85 図　SB67……122
第 86 図　SB68……123
第 87 図　SB69……124
第 88 図　SB70……126
第 89 図　SB71……127
第 90 図　SB72……128
第 91 図　SB73……130
第 92 図　SB74……131
第 93 図　SB75……132
第 94 図　SB76……134
第 95 図　SB77……135
第 96 図　SB78……136
第 97 図　SB79……138
第 98 図　SB80……139
第 99 図　SB81……140
第 100 図　SB82……142
第 101 図　SB83……143
第 102 図　SB84……144
第 103 図　SB85……146
第 104 図　SB86……147
第 105 図　SB87……148
第 106 図　SB88……150
第 107 図　SB89……151
第 108 図　SB90……152
第 109 図　SB91……154
第 110 図　SB92……155
第 111 図　SB93……156
第 112 図　SB94……158
第 113 図　SB95……159
第 114 図　SB96……160
第 115 図　SB97……162
第 116 図　SB98……163
第 117 図　SB99……164
第 118 図　SB100……166
第 119 図　SB101……167
第 120 図　SB102……168
第 121 図　SB103……170
第 122 図　SB104……171
第 123 図　SB105……172
第 124 図　SB106……174
第 125 図　SB107……175
第 126 図　SB108……176
第 127 図　SB109……178
第 128 図　SB110……179
第 129 図　SB111……180
第 130 図　SB112……182
第 131 図　SB113……183
第 132 図　SB114……184
第 133 図　SB115……186
第 134 図　SB116……187
第 135 図　SB117……188
第 136 図　SB118……190
第 137 図　SB119……191
第 138 図　SB120……192
第 139 図　SB121……194
第 140 図　SB122……195
第 141 図　SB123……196
第 142 図　SB124……198
第 143 図　SB125……199
第 144 図　SB126……200
第 145 図　SB127……202
第 146 図　SB128……203
第 147 図　SB129……204
第 148 図　SB130……206
第 149 図　SB131……207
第 150 図　SB132……208
第 151 図　SB133……210
第 152 図　SB134……211

第 153 図　SB135……212
第 154 図　SB136……214
第 155 図　SB137……215
第 156 図　SB138……216
第 157 図　SB139……218
第 158 図　SB140……219
第 159 図　SB141……220
第 160 図　SB142……222
第 161 図　SB143……223
第 162 図　SB144……224
第 163 図　SB145……226
第 164 図　SB146……227
第 165 図　SB147……228
第 166 図　SB148……230
第 167 図　SB149……231
第 168 図　SB150……232
第 169 図　SB151……234
第 170 図　SB152……235
第 171 図　SB153……236
第 172 図　SB154……238
第 173 図　SB155……239
第 174 図　SB156……240
第 175 図　SB157……242
第 176 図　SB158……243
第 177 図　SB159……244
第 178 図　SB160……246
第 179 図　SB161……247
第 180 図　SB162……248
第 181 図　SB163……250
第 182 図　SB164……251
第 183 図　SB165……252
第 184 図　SB166……254
第 185 図　SB167……255
第 186 図　SB168……257
第 187 図　SX1……259
第 188 図　SX2……260
第 189 図　SX3・4……261
第 190 図　SX5……263
第 191 図　SX6……264
第 192 図　SX7……266
第 193 図　SX8……267
第 194 図　SX9……268
第 195 図　SX10・12……270
第 196 図　SX11・15……271
第 197 図　SX13……273
第 198 図　SX14・16……274
第 199 図　SX17……276
第 200 図　SX18……277
第 201 図　SX19……279
第 202 図　SX20……280
第 203 図　SX21……281
第 204 図　SX22・23……283
第 205 図　SX24……284
第 206 図　SE1……285
第 207 図　SD1……287
第 208 図　SD2……288
第 209 図　SD3……290
第 210 図　SD4……291
第 211 図　SD5……293
第 212 図　SD6……294
第 213 図　SD7……295
第 214 図　SD8……297
第 215 図　SD9～11……298
第 216 図　SD501・502……300
第 217 図　SD503・504……302
第 218 図　SD505……304
第 219 図　SD506～508……305
第 220 図　SG1……307
第 221 図　SK1～4……309
第 222 図　SK5～7……311
第 223 図　SK8～10……312
第 224 図　SK11・13……314
第 225 図　SK15～18……315
第 226 図　SK19～24……317
第 227 図　SK25～30……319
第 228 図　SK31・38～40・42・43……322
第 229 図　SK44～49……325
第 230 図　SK50～55……327
第 231 図　SK54 遺物出土状況……329
第 232 図　SK56～61……331
第 233 図　SK62～64・501……333
第 234 図　SK502～505……335
第 235 図　SK506～509……337
第 236 図　SK510～514……339
第 237 図　SK515～520……341
第 238 図　SI101、SK32～37……343
第 239 図　SI102……344
第 240 図　SI501（1）……345
第 241 図　SI501（2）……346
第 242 図　SX101……348

第 243 図　SKT1・501……350
第 244 図　SKT502・503……351
第 245 図　SKT504・505……353
第 246 図　SKT506・507……354
第 247 図　SKT508・509……355
第 248 図　SKT510～512……357
第 249 図　SKT513～515……359
第 250 図　SKT516・517……360
第 251 図　縄文時代の土器……379
第 252 図　縄文時代の石器①、石製品……380
第 253 図　縄文時代の石器②……381
第 254 図　古代の土師器（SI101・102）……385
第 255 図　古代の土師器・須恵器（SI501 ①）……386
第 256 図　古代の土師器・須恵器（SI501 ②）……387
第 257 図　古代の土師器・須恵器……388
第 258 図　古代の須恵器……389
第 259 図　12 世紀の遺物……391
第 260 図　中世の陶磁器……393
第 261 図　銭貨……395
第 262 図　鉄製品①……397
第 263 図　鉄製品②・木製品……398
第 264 図　古代の石製品、中世の石製品①……401
第 265 図　中世の石製品②……402
第 266 図　中世の石製品③……403
第 267 図　中世の石製品④ -1……404
第 268 図　中世の石製品④ -2……405
第 269 図　中世の石製品⑤……406
第 270 図　主殿・主屋の建物一覧……423
第 271 図　建物全体配置図……424
第 272 図　遺構変遷 1 期・2 期……428
第 273 図　遺構変遷 3 期・4 期……429
第 274 図　遺構変遷 5 期・6 期……430
第 275 図　遺構変遷 7 期・8 期……431
第 276 図　遺構変遷 9 期・10 期……432
第 277 図　遺構変遷 11 期・12 期……433

写真図版目次

写真図版 1　航空写真、中世居館完掘全景……439
写真図版 2　12C のかわらけ・中世の陶磁器①…440
写真図版 3　12C のかわらけ・中世の陶磁器②…441
写真図版 4　航空写真（調査区遠景）……442
写真図版 5　航空写真（1）……443
写真図版 6　航空写真（2）……444
写真図版 7　調査区完掘・調査前・基本土層……445
写真図版 8　中世居館……446
写真図版 9　SI1 ……447
写真図版 10　SI2（1）……448
写真図版 11　SI2（2）……449
写真図版 12　SI3（1）……450
写真図版 13　SI3（2）……451
写真図版 14　SI4・5……452
写真図版 15　SI6（1）……453
写真図版 16　SI6（2）・7（1）……454
写真図版 17　SI7（2）・8……455
写真図版 18　SB1……456
写真図版 19　SB2……457
写真図版 20　SB3……458
写真図版 21　SB4……459
写真図版 22　SB5・6……460
写真図版 23　SB7・8……461
写真図版 24　SB9・10……462
写真図版 25　SB11・12……463
写真図版 26　SB13・14……464
写真図版 27　SB15・16……465
写真図版 28　SB17・18……466
写真図版 29　SB19・20……467
写真図版 30　SB21・24……468
写真図版 31　SB22……469
写真図版 32　SB23……470
写真図版 33　SB25・26……471
写真図版 34　SB27・28……472
写真図版 35　SB29・30（1）……473
写真図版 36　SB30（2）……474
写真図版 37　SB31・32……475
写真図版 38　SB33・34……476
写真図版 39　SB35・36……477
写真図版 40　SB37……478
写真図版 41　SB38・39……479
写真図版 42　SB40・41……480
写真図版 43　SB42・43……481
写真図版 44　SB44・45……482
写真図版 45　SB46・47……483
写真図版 46　SB48・49……484
写真図版 47　SB50・51……485
写真図版 48　SB52・54……486

写真図版 49　SB53……487
写真図版 50　SB55・56……488
写真図版 51　SB57・58……489
写真図版 52　SB59・60……490
写真図版 53　SB61・62……491
写真図版 54　SB63・64……492
写真図版 55　SB65・66……493
写真図版 56　SB67・68……494
写真図版 57　SB69・70……495
写真図版 58　SB71・72……496
写真図版 59　SB73・74……497
写真図版 60　SB75・76……498
写真図版 61　SB77・78……499
写真図版 62　SB79・80……500
写真図版 63　SB81・82……501
写真図版 64　SB83・84……502
写真図版 65　SB85・86……503
写真図版 66　SB87・88……504
写真図版 67　SB89・90……505
写真図版 68　SB91・92……506
写真図版 69　SB93・94……507
写真図版 70　SB95・96……508
写真図版 71　SB97・98……509
写真図版 72　SB99・100……510
写真図版 73　SB101（1）……511
写真図版 74　SB101（2）……512
写真図版 75　SB102・103……513
写真図版 76　SB104・105……514
写真図版 77　SB106・107……515
写真図版 78　SB108・109……516
写真図版 79　SB110・111（1）……517
写真図版 80　SB111（2）・112……518
写真図版 81　SB113・114……519
写真図版 82　SB115・116……520
写真図版 83　SB117・118……521
写真図版 84　SB119・120……522
写真図版 85　SB121・122……523
写真図版 86　SB123・124……524
写真図版 87　SB125・126……525
写真図版 88　SB127・128……526
写真図版 89　SB129・130……527
写真図版 90　SB131・132……528
写真図版 91　SB133・134……529
写真図版 92　SB135・136……530
写真図版 93　SB137・138……531
写真図版 94　SB139・140……532
写真図版 95　SB141・142……533
写真図版 96　SB143・144……534
写真図版 97　SB145・146……535
写真図版 98　SB147・148……536
写真図版 99　SB149・150……537
写真図版 100　SB151・152……538
写真図版 101　SB153・154……539
写真図版 102　SB155・156……540
写真図版 103　SB157・158……541
写真図版 104　SB159・160……542
写真図版 105　SB161・162……543
写真図版 106　SB163・164……544
写真図版 107　SB165・166（1）……545
写真図版 108　SB166（2）……546
写真図版 109　SB167……547
写真図版 110　SB168……548
写真図版 111　SX1……549
写真図版 112　SX2……550
写真図版 113　SX3……551
写真図版 114　SX4……552
写真図版 115　SX5……553
写真図版 116　SX6……554
写真図版 117　SX7……555
写真図版 118　SX8……556
写真図版 119　SX9……557
写真図版 120　SX10・12……558
写真図版 121　SX11・15（1）……559
写真図版 122　SX13……560
写真図版 123　SX14・22……561
写真図版 124　SX15（2）・16……562
写真図版 125　SX17……563
写真図版 126　SX18……564
写真図版 127　SX19……565
写真図版 128　SX20……566
写真図版 129　SX21、SK64……567
写真図版 130　SX23……568
写真図版 131　SX24……569
写真図版 132　SE1……570
写真図版 133　SD1・2（1）……571
写真図版 134　SD2（2）・3……572
写真図版 135　SD4（1）・5……573
写真図版 136　SD4（2）・6……574
写真図版 137　SD7・8……575
写真図版 138　SD9・10・11……576

写真図版 139　SD501・502・503・504……577
写真図版 140　SD505（1）……578
写真図版 141　SD505（2）・506・507・508……579
写真図版 142　SG1（1）……580
写真図版 143　SG1（2）……581
写真図版 144　SK1・2……582
写真図版 145　SK3・4……583
写真図版 146　SK5……584
写真図版 147　SK6……585
写真図版 148　SK7・8・9……586
写真図版 149　SK10・11……587
写真図版 150　SK13……588
写真図版 151　SK15……589
写真図版 152　SK16・17・18……590
写真図版 153　SK19・20・21・22……591
写真図版 154　SK23・24・25（1）……592
写真図版 155　SK25（2）・26・27・28……593
写真図版 156　SK29・30・31・38……594
写真図版 157　SK39・40・42・43……595
写真図版 158　SK44・45・46・47……596
写真図版 159　SK48・49・50・51……597
写真図版 160　SK52・53・54（1）……598
写真図版 161　SK54（2）……599
写真図版 162　SK55・56・57・58……600
写真図版 163　SK59・60・61・62（1）……601
写真図版 164　SK62（2）……602
写真図版 165　SK63・501・502（1）……603
写真図版 166　SK502（2）・503・504・505……604
写真図版 167　SK506・507・508・509……605
写真図版 168　SK510・511・512・513……606
写真図版 169　SK514・515・516・517……607
写真図版 170　SK518・519・520・現地説明会……608
写真図版 171　SI101（1）……609
写真図版 172　SI101（2）……610
写真図版 173　SI101（3）・SK32・33・34（1）……611
写真図版 174　SI101（4）・SK34（2）・35・36・37
……612
写真図版 175　SI102（1）……613
写真図版 176　SI102（2）……614
写真図版 177　SI501（1）……615
写真図版 178　SI501（2）……616
写真図版 179　SI501（3）……617
写真図版 180　SX101……618
写真図版 181　SKT1・501・502・503……619
写真図版 182　SKT504・505・506・507……620
写真図版 183　SKT508・509・510（1）・511（1）
……621
写真図版 184　SKT510（2）・511（2）・512・513
……622
写真図版 185　SKT514・515・516・517……623
写真図版 186　縄文時代の土器……624
写真図版 187　縄文時代の石器・石製品……625
写真図版 188　古代の土師器（SI101・SI102）……626
写真図版 189　古代の土師器・須恵器（SI501①）…627
写真図版 190　古代の土師器・須恵器（SI501②）…628
写真図版 191　古代の土師器・須恵器……629
写真図版 192　古代の須恵器……630
写真図版 193　12 世紀のかわらけ・渥美産陶器・
中国産青白磁……631
写真図版 194　中世の陶磁器……632
写真図版 195　銭貨……633
写真図版 196　鉄製品①……634
写真図版 197　鉄製品②・木製品……635
写真図版 198　須恵器赤外線写真・鉄製品 X 線写真
……636
写真図版 199　古代の石製品・中世の石製品①……637
写真図版 200　中世の石製品②……638
写真図版 201　中世の石製品③……639
写真図版 202　中世の石製品④……640
写真図版 203　中世の石製品⑤……641
写真図版 204　中世の石製品⑥……642
写真図版 205　中世の石製品⑦……643
写真図版 206　火葬骨……644

Ⅰ　調査に至る経過

万丁目遺跡は、「経営体育成基盤整備事業万丁目地区」のほ場整備に伴い、その事業区域内に存在することが確認されたことから、発掘調査を実施することとなったものである。

「経営体育成基盤整備事業万丁目地区」は、花巻市の中心部から北西約 3 km に位置し、昭和 30 年代に非補助土地改良事業及び積雪寒冷地帯土地改良事業により整備された区域であるが、地区内の水田は、10a 区画に整備されているものの、農道は狭小で大型機械の導入が困難であるほか、水路は用排水兼用の素掘水路で、十分な排水機能を果たしておらず、水管理、維持管理に多大な労力を費やしている。

これらのことから、農業機械の作業効率低下をきたしているとともに、水田の汎用化が図られない状況となっており、担い手の育成及び農地集積の妨げとなっている。

このため、本事業により大区画かつ汎用化が可能なほ場整備を実施し、営農、維持管理等の省力化を図るとともに、農村環境の改善と担い手への農地利用集積を促進し、農業経営の安定化を図ることを目的として、平成 25 年度に事業着手したものである。

当事業の施工に係る埋蔵文化財の取り扱いについては、県南広域振興局農政部北上農村整備センターから平成 29 年 10 月 4 日付北農整セ第 457 号「埋蔵文化財の試掘調査について（依頼）」により岩手県教育委員会に対して試掘調査の依頼を行った。

依頼を受けた岩手県教育委員会において、平成 29 年 11 月 6 日から平成 29 年 11 月 8 日にかけて試掘調査を実施し、当委員会から、平成 29 年 11 月 29 日付教生第 1150 号「埋蔵文化財包蔵地の試掘調査について（回答）」により、「工事に着手するには万丁目遺跡の発掘調査が必要」となる旨の回答があった。

その結果を踏まえ、岩手県教育委員会と協議し、平成 30 年 4 月 2 日付けで公益財団法人岩手県文化振興事業団との間で委託契約を締結し、発掘調査を実施することとなったものである。

（岩手県県南広域振興局農政部北上農村整備センター）

Ⅱ　立 地 と 環 境

1　遺 跡 の 位 置（第1図）

万丁目遺跡は岩手県花巻市南万丁目844-1ほかに所在する。遺跡が所在する花巻市は県中央部に位置し、平成18年に東部の大迫町、東和町、北部の石鳥谷町と合併し、現行の花巻市となった。現在、北を紫波町、南を北上市と接している。

本遺跡は、東北縦貫道花巻南インターチェンジ付近にあり、1985年には、インターチェンジゲート付近の発掘調査がおこなわれている。遺跡の北約500ｍには岩手県立花巻南高等学校があり、南約1,000ｍには豊沢川が東流する。今回の調査区域は畑、水田として利用されていたが、昭和40～50年頃の開田事業によって、水田として整備されたものである。それ以前は畑として利用されていたようである。

今回の調査区域は、北緯39度23分11秒、東経では141度5分17秒に相当する。国土地理院の地形図では、1：25,000「花巻」（NJ-54-13-16-4）、および1：50,000地形図「花巻」（NJ-54-13-16）に含まれる。

2　遺跡の地理・地形的環境（第2図）

本遺跡の東約3.3kmに、蛇行しながら南流する北上川がある。北上川の東岸と西岸ではその地形の様相を大きく異にしている。北上川河谷平野の東方は北上山地の西縁部（東部山地）にあたり、山地、丘陵地が入り組んで発達している。この東部山地は、古生層、花崗岩、蛇紋岩、安山岩、第三紀鮮新統の砂岩、頁岩からなる。北上川河谷平野の西方は、急峻で起伏の大きい第三系よりなる奥羽山脈（西部山地、高800ｍ以上）がひかえ、更に、山地東縁の外方も、第三系に属する安山岩～流紋岩や砂岩、礫岩、頁岩からなる。

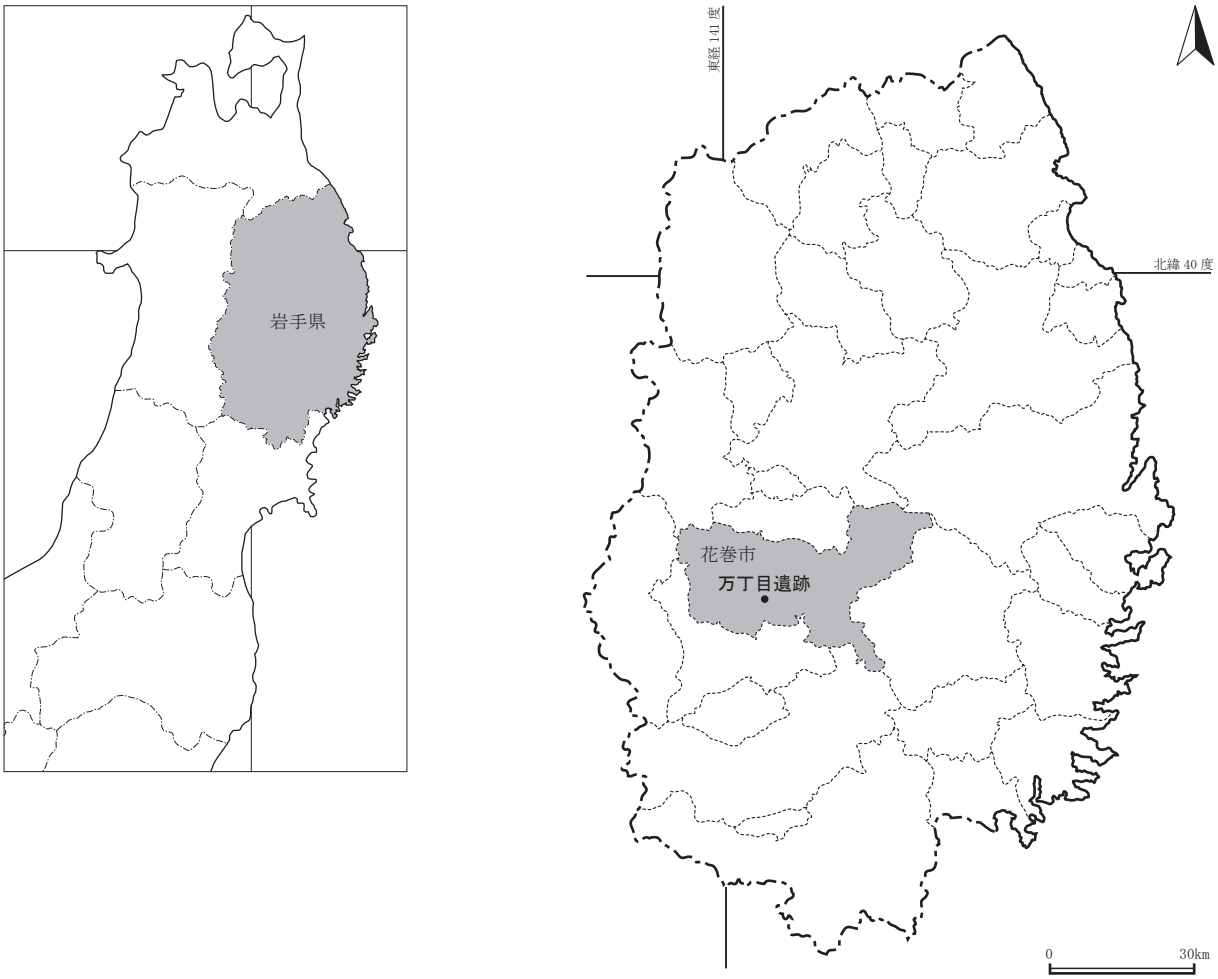
西部山地に発した豊沢川・瀬川・葛丸川等の諸河川は急勾配で北上川に注いでいる。北上川右岸の丘陵は、僅かで幅0.5～2kmで南北に細長く、扇状地台地に挟まれた形で分布しているに過ぎない。

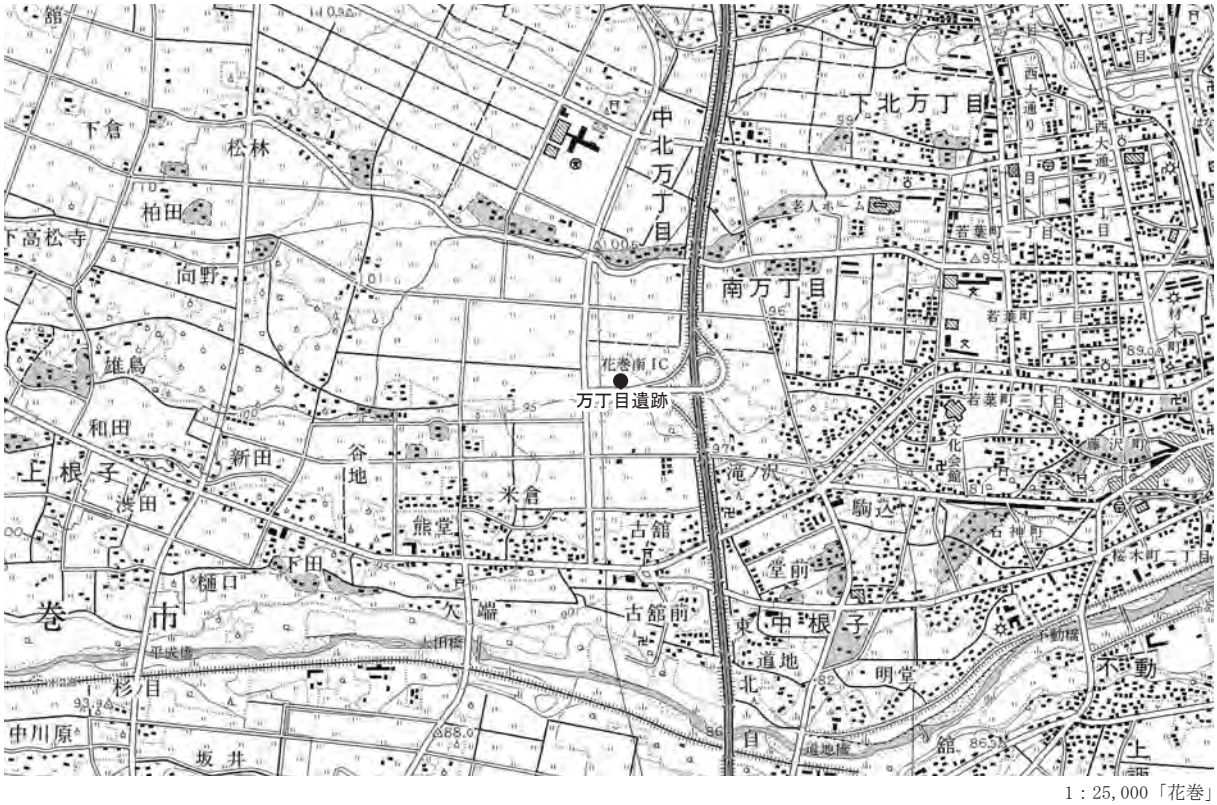
山地の東方の扇状地台地には、段丘群が顕著に発達している。高位の石鳥谷段丘は紫波町日詰付近から石鳥谷付近にかけて、扇端部・段丘端部に残丘的に分布している。中位の二枚橋段丘は日詰以南に発達し、扇状地性地形の扇央～扇端において分布し、緩やかな起伏をもった開析扇状地的な様相を示している。砂礫層で構成され上位に火山灰層が載っている。下位の花巻段丘は、扇状地台地の広い部分を占め、砂礫層で覆われている。石鳥谷段丘や二枚橋段丘より急傾斜する新鮮な面をもち、等高線の配置は複合扇状地状を呈している。豊沢川、瀬川等の諸河川沿いには沖積段丘が分布している。北上川河谷平野沿いの東端での花巻段丘と沖積段丘の比高10ｍ前後で、低位段丘の砂礫層を覆う土層の発達もよい。本遺跡は豊沢川の北側に東西に細長く発達する花巻段丘の東部南端に位置している。

（光井）

引用・参考文献

塩島由道　1975『岩手県北上山系開発地域土地分類基本調査（花巻）』（地形分類図）





1：25,000「花巻」

第１図　遺跡の位置

万丁目遺跡
花巻市
東宮野目
下似内
円万寺
上北万丁目
新屋敷
上根子
中根子
中川原
小瀬川
金矢
1000m
0
1000
2000
3000
1：50,000「花巻」
山地
丘陵
扇状地及び
崖錐性扇状地
中位段丘
（二枚橋段丘）
低位段丘
（花巻段丘）
沖積段丘
自然堤防
旧河道
河川

第２図　地形分類図

3　周 辺 の 遺 跡（第3図）

本遺跡が所在する花巻市には、周知の埋蔵文化財包蔵地が平成29年度現在1,062箇所所在する。ここでは、万丁目遺跡周辺の1：25,000の地形図でページ図幅に収まる範囲の遺跡を示す。遺跡内容（第1・2表）については岩手県遺跡検索システム（平成29年）のデータを引用した。（羽柴）

第1表　周辺の遺跡

番号	遺跡コード	遺跡名	種別	時代	遺構・遺物	所在地（いずれも花巻市）
1	ME25-2242	万丁目	集落跡	縄文・古代～近世	今回調査	南万丁目
2	ME15-1074	角	散布地	縄文	石器	小瀬川第7地割
3	ME15-1169	小瀬川館	城館跡・墳墓	中世	堀、土塁、墳墓	小瀬川第3地割
4	ME15-2005	鍛名	散布地	縄文	石器	鍋倉字鍛名
5	ME15-2089	前村	散布地	縄文	縄文土器・剥片	鍋倉字荒屋敷
6	ME25-0121	地森	散布地	縄文	縄文土器・石器	鍋倉字地森
7	ME25-0194	新田Ⅰ	散布地	縄文	石器	新田・上北万丁目
8	ME25-1107	新田Ⅱ	散布地	縄文	石器	新田
9	ME25-1163	上北万丁目	散布地	縄文・平安	石器	上北万丁目
10	ME25-1176	中北万丁目Ⅰ	散布地	縄文	石器、掘立柱建物	中北万丁目
11	ME25-1230	中北万丁目Ⅱ	散布地	縄文	石器	中北万丁目
12	ME25-2025	鬼屋敷	集落跡	古代	土師器	上根子字和田
13	ME25-2084	中田	散布地	縄文	縄文土器(晩期)、石器	上根子字渋田
14	ME25-2097	樋ノ口	集落跡	古代	土師器	上根子字樋ノ口、字渋田
15	ME25-2140	雄鳥Ⅰ	集落跡	縄文・古代	縄文土器(晩)、土師器、須恵器	上根子字雄鳥
16	ME25-2155	雄鳥Ⅱ	集落跡	縄文・古代	縄文土器、石鏃、土師器、須恵器	上根子字雄鳥
17	ME25-2185	熊堂古墳群	古墳群	縄文・古代・古墳	方頭太刀、蕨手刀、刀子、玉類、古銭、土師器、須恵器、青磁椀	上根子字熊堂
18	ME25-2207	南万丁目Ⅱ	散布地	古代	土師器	南万丁目
19	ME25-2230	谷地	散布地	古代	土師器	南万丁目
20	ME25-2255	南万丁目Ⅰ	散布地	古代	円形周溝、土師器、須恵器、陶器	中根子字滝ノ沢
21	ME25-2257	種市	集落跡	古代	土師器、須恵器	中根子字種市
22	ME25-2281	米倉	集落跡	古代	土師器、須恵器	上根子字米倉
23	ME25-2282	古館Ⅱ	集落跡	古代～近世	竪穴住居跡、柱穴群、井戸跡、墓壙、土坑、土師器、須恵器、土製品	中根子字古館
24	ME25-2285	古館Ⅲ	集落跡	古代	土師器、須恵器、柱穴状ピット	中根子字古館
25	ME25-2287	古館Ⅳ	集落跡	縄文・古代	縄文土器、土師器、須恵器	中根子字古館、字滝ノ沢
26	ME25-2293	古館Ⅰ（中館・万丁目館）	城館跡	中・近世	堀、土塁、土師器、須恵器	中根子字古館
27	ME25-2350	南万丁目Ⅲ	散布地	古代	土師器、須恵器	南方丁目
28	ME25-2356	藤沢	散布地	縄文・古代	縄文土器、石器、土師器	藤沢町
29	ME25-2362	石神	集落跡	縄文・古代	縄文土器(中)、土師器、須恵器	石神町
30	ME35-0078	杉ノ目	集落跡	縄文・平安・古代	縄文土器、石器、土師器、竪穴住居跡	太田第57地割
31	ME35-0107	蒔田Ⅰ	散布地	縄文・古代	縄文土器、土師器、石器、須恵器	太田第55地割
32	ME35-0128	魔王塚	墳墓？		土師器(糸切底)、須恵器	上根子字欠端

3　周辺の遺跡（第３図）

番号	遺跡コード	遺跡名	種別	時代	遺構・遺物	所在地 （いずれも花巻市）
33	ME35-0139	蒔田Ⅱ	集落跡	古代	土師器、土玉	太田第 55 地割
34	ME35-0173	坂井	城館跡・古墳群	古代・中世	墳墓 4 基、土師器	太田第 59 地割
35	ME35-0187	下坂井Ⅱ	集落跡	縄文・古代	縄文土器(晩)、土師器、須恵器、竪穴住居跡	太田第 59 地割
36	ME35-0199	南中根子	散布地	古代・縄文	縄文土器、土師器、須恵器	中根子字弐拾七樋田
37	ME35-0224	古館前	集落跡	古代・縄文	土師器、須恵器、竪穴住居跡	中根子字古館前、字拾六古館前
38	ME35-0292	下根子	散布地	古代	土師器、須恵器、	中根子字参拾参樋田、字参拾四樋田
39	ME35-0347	上諏訪Ⅰ	散布地	縄文・古代	縄文土器、石器、土師器、須恵器	上諏訪、不動
40	ME35-0362	下館	城館跡・集落跡	古代・中世	堀、土師器、砥石、縄文土器、竪穴住居跡	中根子字参拾六館、上諏訪
41	ME35-0378	上諏訪Ⅱ	集落跡	古代・縄文	土師器、須恵器、竪穴住居跡、土坑、縄文土器片、石器類、鉄製品	上諏訪
42	ME35-1116	下坂井Ⅰ	集落跡	古代・縄文	石器、土師器、須恵器、竪穴住居跡、土師器、紡錘車	太田第 60･61 地割
43	ME35-1306	諏訪Ⅰ	散布地	縄文	縄文土器、石匙、石鏃	諏訪
44	ME36-0040	不動Ⅰ	集落跡	縄文・古代	縄文土器(後、晩期)、石器、竪穴住居跡、埋設土器、土師器	不動町二丁目諏訪町二丁目
45	ME36-0043	不動Ⅱ	集落跡・城館跡	古代・縄文・中世	土師器、須恵器、寛永通宝、竪穴住居跡、堀、土錘	不動町一.二丁目諏訪町一.二丁目
46	ME36-2011	山ノ神Ⅱ	散布地	縄文	縄文土器	山の神
47	ME15-1392	下二階	散布地	弥生	弥生土器	椚ノ目第 7 地割
48	ME15-1289	油沢	散布地	古代	土師器、溝跡	椚ノ目第 7 地割
49	ME15-2345	天下田Ⅰ	城館跡	中世	土塁	天下田
50	ME15-2376	天下田Ⅱ	散布地	縄文	石器	松園町
51	ME26-0062	十八ヶ城跡	城館跡	中世～近世	堀	下幅
52	ME26-1021	八幡寺跡	廃寺跡	近世		愛宕町
53	ME35-0083	中川原	散布地	縄文・古代	縄文土器、土師器	太田第 30･47 地割
54	ME35-1229	大谷地Ⅲ	集落跡	縄文・古代	縄文土器、石器、土師器	諏訪、大谷地
55	ME35-0229	拾田屋	散布地	縄文	縄文土器(中)	中根子字拾田屋
56	ME36-1050	実相寺Ⅱ	散布地	縄文	縄文土器	実相寺、諏訪、山の神
57	ME36-1014	実相寺Ⅰ	散布地	縄文・古代	縄文土器、土師器	実相寺、諏訪
58	ME15-1358	遊子Ⅱ	散布地	縄文・古代	柱穴、炭窯、縄文土器、土師器	西宮野目第 2 地割
59	ME15-2378	松園	集落跡	縄文・平安	竪穴住居跡、焼土、縄文土器(晩期)、土師器、須恵器	松園町
60	ME25-1390	四本杉	集落跡	縄文・近世	溝(近世)、石鏃(縄文)	南万丁目

小瀬川
野田
館
北野
北村
大村
高畑
前村
幸神
荒屋敷
地森
一本杉
下新田
大口
新田
上北万丁目
運動公園
総合体育館
南新田
野田
天下田
松園町
技能開発センター
下北万丁目
中北万丁目
南万丁目
下倉
松林
柏田
向野
和田
新田
谷地
米倉
熊堂
樋口
下田
市
杉目
坂井
樋田
下坂井
蒔田
花巻南IC
若葉町一丁目
若葉町二丁目
若葉町三丁目
駒込
石神町
堂前
中根子
道地
明堂
不動
上諏訪
諏訪
南諏訪
大谷地
国立南花巻病院
実相寺
新屋
西
遊子
瀬川
浅沢
下幅
四日町
愛宕町
材木町
末広町
桜木町二丁目
東北
老人ホーム
花巻PA
茨久保
1:25,000　花巻
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60

第３図　周辺の遺跡

第 2 表　周辺の遺跡の関係文献

	遺跡名	文献（文献名は岩手県遺跡検索システムに掲載のあるものを表示のまま記した。）
14	雄鳥Ⅰ	「平成 5 年度　市内遺跡発掘調査報告書」花巻市埋蔵文化財調査報告書第 12 集　花巻市教育委員会　1994
16	熊堂古墳群	「花巻市熊堂古墳群　昭和 61 年度発掘調査概報」花巻市教委　1987 「岩手県・熊堂古墳群の調査」考古学ジャーナル No.272　ニュー・サイエンス社　1987 「熊堂古墳群・浮島古墳群発掘調査報告書」岩手県立博物館調査研究報告書第 6 冊　岩手県立博物館　1990 「花巻市熊堂古墳群　平成元年度発掘調査概報」花巻市教委　1990 「花巻遺跡群　平成 3 年度発掘調査概報」花巻市教委　1992 「平成 12 年度　花巻市内遺跡発掘調査報告書」花巻市埋蔵文化財調査報告書第 25 集　花巻市教委　2001 「平成 17 年度　花巻市内遺跡発掘調査報告書」花巻市埋蔵文化財調査報告書第 35 集　花巻市教委　2006〈試掘調査〉
18	谷地	「岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成 11 年度）」岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書　第 340 集 （財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　2000
21	種市	「平成 15 年度　花巻市内遺跡発掘調査報告書」花巻市埋蔵文化財調査報告書第 31 集　花巻市教委　2004 「平成 17 年度　花巻市内遺跡発掘調査報告書」花巻市埋蔵文化財調査報告書第 35 集　花巻市教委　2006
23	古館Ⅱ	「古館Ⅱ遺跡発掘調査報告書」1986　岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 103 集 （財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
24	古館Ⅲ	「東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書 -Ⅶ-」岩手県文化財調査報告書第 56 集　岩手県教委　1981、 「平成 11 年度　花巻市内遺跡発掘調査報告書」花巻市埋蔵文化財調査報告書第 23 集　花巻市教委　2000
25	古館Ⅳ	「平成 16 年度　花巻市内遺跡発掘調査報告書」花巻市埋蔵文化財調査報告書第 33 集　花巻市教委　2005 「平成 18 年度　花巻市内遺跡発掘調査報告書」花巻市埋蔵文化財発掘調査報告書　第 3 集花巻市教委　2007
30	杉ノ目	「平成 9 年度　花巻市内遺跡発掘調査報告書（久田野Ⅱ遺跡・杉ノ目遺跡・根子館跡・轟木館跡）」 花巻市埋蔵文化財調査報告書　第 19 集　花巻市教育委員会　1998
42	下坂井Ⅰ	「平成 8 年度　花巻市内遺跡発掘調査報告書（久田野Ⅱ遺跡・下坂井Ⅰ遺跡・花巻城三之丸跡）」 花巻市埋蔵文化財調査報告書第 17 集　花巻市教育委員会　1997
43	諏訪Ⅰ	「花巻遺跡群 - 平成 3 年度発掘調査概報 -」花巻市埋蔵文化財調査報告書第 8 集　花巻市教育委員会　1992
44	不動Ⅰ	「平成 2 年度　花巻市内遺跡詳細分布調査報告書」花巻市教委　1991〈試掘〉、 「平成 7 年度　花巻市内遺跡発掘調査報告書」花巻市埋蔵文化財調査報告書第 15 集　花巻市教委　1996、 「不動Ⅰ遺跡　第 6～8 次発掘調査報告書」花巻市埋蔵文化財発掘調査報告書第 8 集　花巻市教委　2009
45	不動Ⅱ	「平成 2 年度　花巻市内遺跡詳細分布調査報告書」花巻市教委　1991〈試掘〉 「平成 11 年度　花巻市内遺跡発掘調査報告書」花巻市埋蔵文化財調査報告書第 23 集　花巻市教委　2000 「不動Ⅱ遺跡　第 4 次発掘調査報告書」花巻市埋蔵文化財調査報告書第 28 集　花巻市教委　2002 「不動Ⅱ遺跡　第 5 次発掘調査報告書」花巻市埋蔵文化財調査報告書第 30 集　花巻市教委　2003 「不動Ⅱ遺跡　第 6～9 次発掘調査報告書」花巻市埋蔵文化財調査報告書第 32 集　花巻市教委　2004 「不動Ⅱ遺跡　第 10～13 次発掘調査報告書」花巻市埋蔵文化財調査報告書第 34 集　花巻市教委　2005 「不動Ⅱ遺跡　第 14 次発掘調査報告書」花巻市埋蔵文化財発掘調査報告書第 2 集　花巻市教委　2007 「不動Ⅱ遺跡　第 15～16、18～21 次発掘調査報告書」花巻市埋蔵文化財発掘調査報告書第 7 集　花巻市教委　2008
58	遊子Ⅱ	「岩手県内遺跡発掘調査報告書（平成 12 年度）」岩手県文化財調査報告書第 112 集　岩手県教委　2001 「岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成 13 年度）」岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 397 集 （財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　2002

4　万丁目遺跡 1985 年調査の概要（第 4 図）

万丁目遺跡は 1985 年（昭和 60 年）に、今回（2018 年度）調査区の南側の地点で発掘調査が行われている。この調査の概要を報告書抄録のスタイルで第 3 表として示す。記載内容は、報告書の記載に従っておこなった。所在地は、花巻市中根子 39 となっているが、1985 年調査区内に一部上根子、中根子の区域が含まれており、誤った表記ではない。ただし、今回調査区を含めた万丁目遺跡のほとんどの範囲は南万丁目に属している。また、出土遺物、要約については、2018 年度調査時の知見、解釈で記した部分もある。（羽柴）

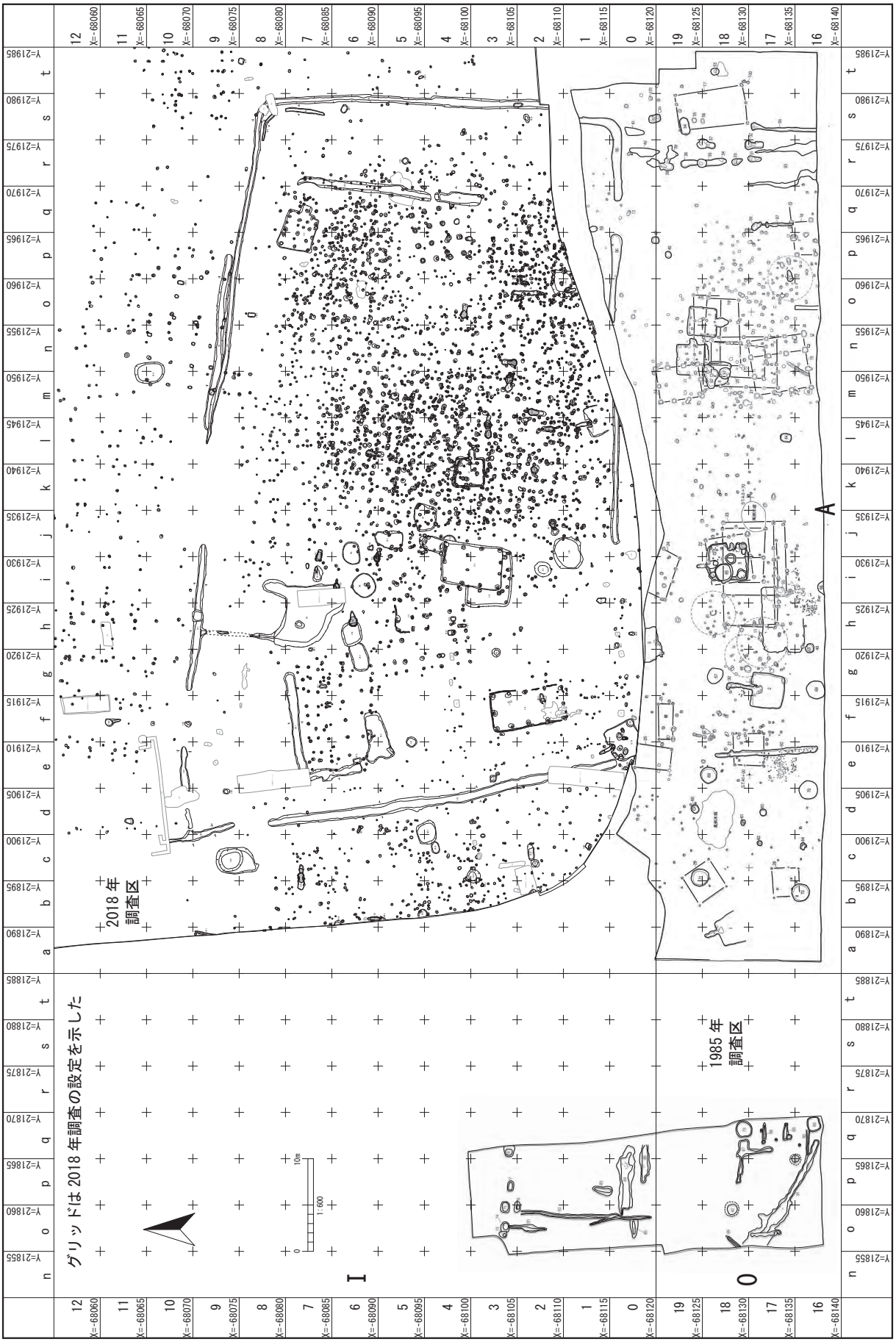
第3表　1985年　万丁目遺跡発掘調査概要

ふりがな	まんちょうめいせきはっくつちょうさほうこくしょ
書名	万丁目遺跡発掘調査報告書
副書名	東北縦貫自動車花巻南インターチェンジ関連遺跡発掘調査
シリーズ名	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第102集
編著者名	中川重紀　片方宗明　近藤宗光　菊池利和
編集機関	（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（当時）
所在地	岩手県紫波郡都南村大字下飯岡11地割185番地（当時）
発行年月日	西暦1986年3月25日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 m²	調査原因
万丁目遺跡（まんちょうめ）	岩手県（いわてけん） 花巻市（はなまきし） 中根子（なかねこ）39	03025 （現行）	ME25- 2242 （現行）	39度 23分 11秒 （日本測地系）	141度 5分 17秒 （日本測地系）	1985.04.11 ～ 1985.07.13	2,614㎡	東北縦貫自動車道花巻南インターチェンジ建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
万丁目遺跡	集落	縄文 奈良 平安 中世 近世 現代	土器埋設炉（縄文）3基 石囲炉（縄文）2基 陥し穴状遺構（縄文）3基 竪穴住居（奈良）3棟 竪穴住居（平安）2棟 竪穴建物（中世）2棟 掘立柱建物（古代～中世）13棟 カマド状遺構 （中世末～近世と推測）12基 土坑（縄文・平安・現代・不詳）46基 溝（時期不詳）17条 柱穴　約500個	縄文土器・石器 （中期末～後期初頭） 土師器（8～9c） 土製紡錘車（8c） 須恵器（9c～） 緑釉陶器碗 （黒笹90号窯式） 灰釉陶器長頸瓶 （折戸53号窯式） 中国産青白磁小壺 （12c） 渥美産陶器甕（12c） 瀬戸産大窯期皿（16c） 永楽通寶 近世～近代の陶磁器 炭化穀類	渥美産陶器甕は不掲載遺物の中にある

要約 今回（2018年調査時）の知見で、記した	万丁目遺跡1985年調査区は、2018年度調査区の南側と一部南西側に位置する。 屋敷跡を区画する溝と推測されていたⅡG01溝、ⅡG02溝は今回（2018年）調査のSD7、SD4にそれぞれ連続すると解釈され、推測通り、屋敷（居館）を囲む溝であることが確認された。 また、12世紀に属する青白磁小壺、渥美産陶器甕片が出土していることが再確認され、今回調査出土の12世紀のかわらけ、渥美産陶器甕に伴う遺物と捉えられる。 この他、1985年調査での特筆すべき遺物として、10世紀後半代に位置付けられる土器群がある。これらは主にⅢE01住居とⅢE02土坑から出土しており、土師器が一般生活に使用されなくなった時代の儀礼用の土器（土師質土器）と捉えられる。掲載番号126の高台坏の坏は実見したところ、高台部が低い「擬似高台」と確認できた。これは、土師質土器のセットに含まれる黒色処理が施される高台付碗に特徴的な形態である。そして、ⅢE01住居からは灰釉陶器の長頸瓶が出土しているが、これは折戸53号窯式のもので、10世紀後半代の時期にあてはまり、土師質土器の年代の裏付けになっている。事例の少ない10世紀後半代の土師質土器及びそれに伴う陶器の事例として貴重である。



第 4 図　1985 年調査区

Ⅲ　調査と整理の方法

1　調 査 の 経 過

平成 30 年 4 月 6 日（金）午前、埋蔵文化財センターから発掘調査機材を 4 t トラックに積み込み、午後から万丁目遺跡調査事務所に搬入した。その後、調査事務所、調査区の環境整備と雑物撤去とともに防護柵の設置をおこなった。同日から屋外作業員も勤務している。9 日（月）からバックホーを使用し粗掘を始め、排土は調査区外の基盤整備事業地内へキャリアダンプで搬出した。この作業は 5 月 14 日（月）までおこない、途中休止期間を挟み 7 月 31 日（火）に再開、8 月 3 日（金）に終了した。バックホーによる粗掘と並行して、人力による粗掘も開始した。人力による粗掘は、重機粗掘後の残土除去、調査区境の壁面掘削が主である。5 月 2 日（水）からは遺構検出を始めた。なお、検出した遺構の平面形を図化し、掘立柱建物のプラン検討をおこなっている。5 月 10 日（木）には県生涯学習文化財課の立会いで部分終了確認をいただき、調査区北西部分（1,300㎡）の調査を終了した。また、6 月 7 日（木）からは検出を完了した遺構から順次、遺構精査、実測を開始した。さらに、10 月 9 日（火）には航空写真撮影を実施し、10 月 27 日（土）には現地説明会を開催している。この間 10 月 23 日（火）には県生涯学習文化財課、県県南広域振興局農政部北上農村整備センターの立会いのもと、5 月の部分終了確認以降の最終的な終了確認（10,200㎡、計 11,500㎡）をいただいた。遺構精査、実測は、10 月 31 日（水）に終了し、調査区域から機材を撤収し、万丁目遺跡の野外調査の一切を終了した。

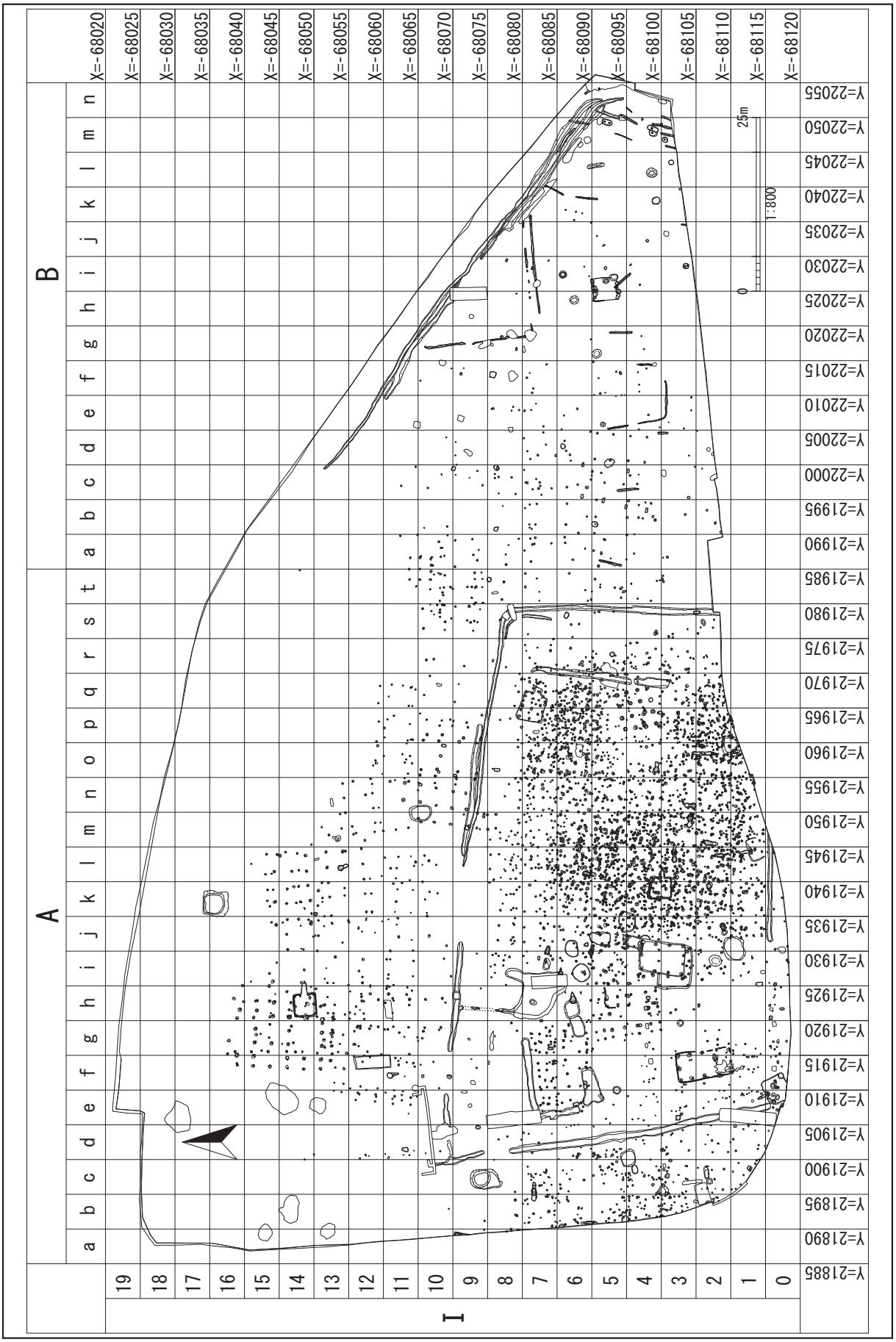
2　野外調査の方法

グリッドの設定

グリッドは平面直角座標のＸ系（世界測地系 2011）に沿って設定している。座標値は第 5 図に示すとおりである。大グリッドは一辺 100 m とし、東西は西から東に向かって A、B、……とアルファベットの大文字を 100 m 毎に付し、南北は南から北に向かってⅠ、Ⅱ、……とローマ数字を 100 m 毎に付している。大グリッドの呼称は南北ラインのローマ数字と東西ラインのアルファベットの大文字との組み合わせで「ＩA」「ⅡB」というように表す。大グリッドはさらに内部を一辺 5 m の小グリッドに細分している。小グリッドは西から東に向かって a、b、c、d～t とアルファベットの小文字で付し、南から北に向かって 0、1、2、3～19 とアラビア数字を付す。グリッドの呼称は大グリッドと小グリッドの組み合わせで「ＩA3c」「ⅡB4d」というように示す。各々のグリッドの呼称は、グリッドの南西隅の杭に表示されることとなる。ＩA0a の座標値は X=−68,120 m、Y=21,885 m、ＩB0a の座標値は X=−68,120 m、Y=21,985 m である。なお、本報告の万丁目遺跡の調査範囲は、大グリッドＩA、ＩB に収まっている。

遺構の名称

遺構の略号は、縄文時代の炉および中世のカマド状遺構（略号 SX）、縄文時代の陥し穴状遺構（略号 SKT）、古代の竪穴住居および中世の竪穴建物（略号 SI）、柱穴（略号 P）とこれらにより構成される掘立柱建物（略号 SB）、井戸（略号 SE）、溝（略号 SD）、苑池（略号 SG）、土坑（略号 SK）を



第5図　グリット、遺構配置全体図

用いた。そして、この略号の下に遺構種別各々の検出順に算用番号を付した。調査、整理の便宜を図るため、大グリッドＩＡ、ＩＢを境に西側の遺構は「1」から、東側の遺構は「501」（ただし、柱穴 [P] は「5001」）からの番号を付した。

粗掘り・遺構検出

雑物撤去後にトレンチを設定し、遺物の包含状況、遺構の検出面を把握した。その後、遺構検出面まで重機を用いて表土を除去した。遺構の確認は表土を除去した面をジョレン、両刃鎌で平滑にし、プランを確認するようにした。掘立柱建物については、個々の柱穴の検出に留まらず、検出の段階で建物プランを把握するように努めた。

遺構の精査

検出した遺構は、土層を観察するベルトを設定して掘り下げることを基本とした。柱穴も半裁し土層を観察しながら掘り下げることを基本とした。

遺物の取り上げ

遺物は遺構ごとに取り上げ、必要と思われる場合、座標とレベルを記録した。また、可能な限り埋土の層位ごとに取り上げるように努めた。遺構外ではグリッド毎の取り上げを基本とした。

実測・写真撮影

平面実測は電子平板（株式会社 CUBIC　遺構実測支援システム）を使用した。また断面実測については、従来通り、レベルを用いて水平を設定し手作業による実測を主体としておこなった。写真撮影は一眼レフデジタルカメラを主に使用した。撮影は埋土堆積状況や遺物の出土状況、遺構の完掘状況などについておこなった。

3　室内整理の方法

出土遺物は水洗の後、注記をおこない、接合、復元作業を実施した。これらの作業終了後、報告書掲載遺物を選び出し、登録をおこなった。

本報告書で掲載した遺構の縮尺は、縄文時代の炉・陥し穴状遺構、古代の竪穴住居、中世の竪穴建物・掘立柱建物・井戸・苑池・土坑：1/60、カマド状遺構：1/30、溝：1/100 を基本とした。適宜縮尺を変更しているものもある。図版には縮尺率を表すスケールと方位を付している。なお平面図、断面図に記載した遺物番号は遺物図版、遺物写真図版と同一である。

遺物実測は原則として実寸で行った。また、遺物の縮尺は、縄文土器、土師器、須恵器、かわらけ、陶磁器、古代・中世の石製品：1/3、銭貨：1/1、鉄製品、木製品：1/2、縄文時代の石器・石製品：2/3 である。図版には縮尺率を表すスケールを付している。なお遺物写真図版の掲載番号は遺物図版と同一である。

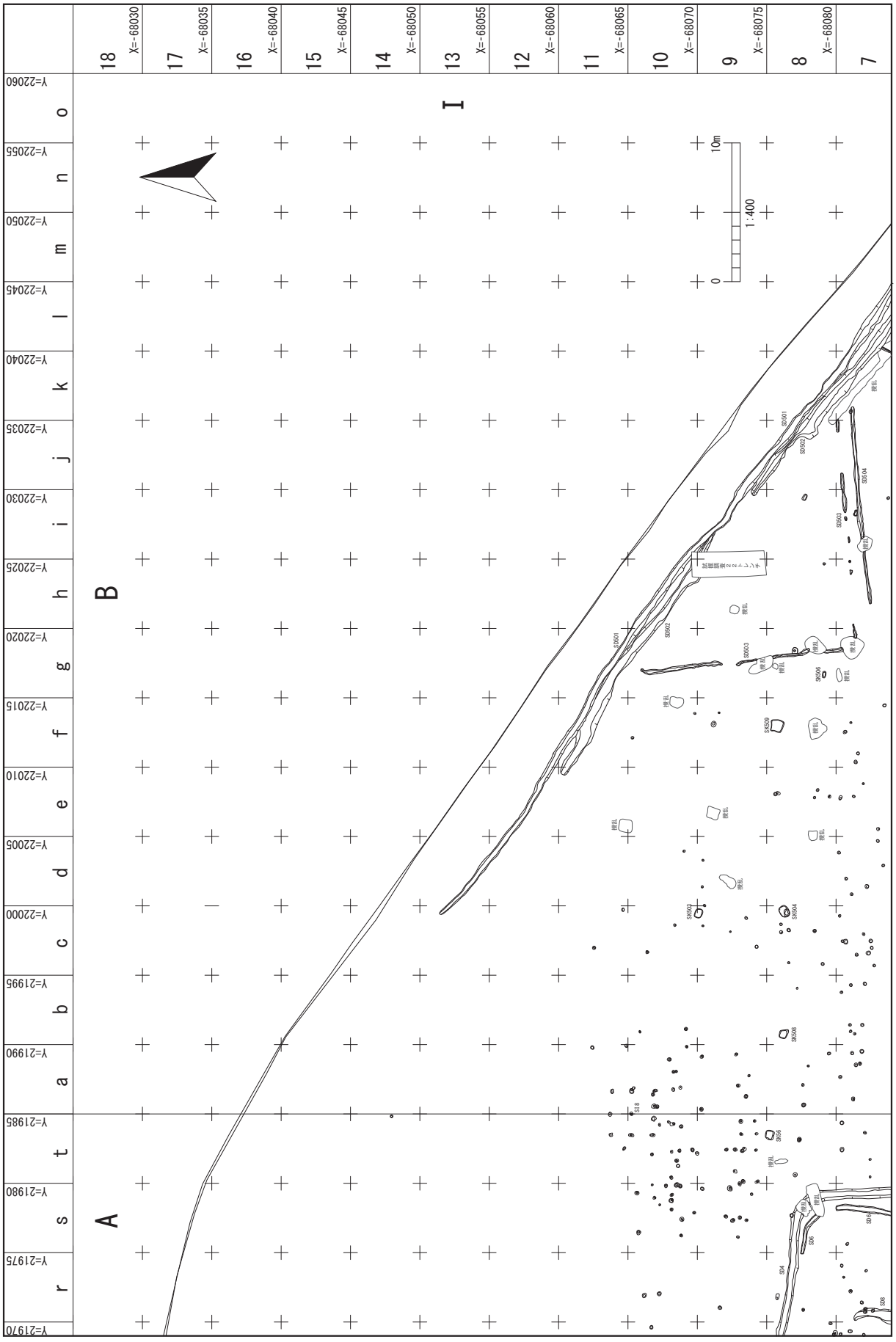
また、電子平板で実測した地形図、遺構データは点検を行い、等高線の補正、断面図の合成等を経て図版としての体裁を整えた。

野外調査で撮影したデジタル写真は台帳を作成し、データごとにフォルダ整理をおこなった。また、報告書掲載分の遺物撮影もデジタルカメラでおこない、データごとに整理した。そして、これらのデジタル写真データから報告書掲載写真を選択し、写真図版版下の作成にあたった。

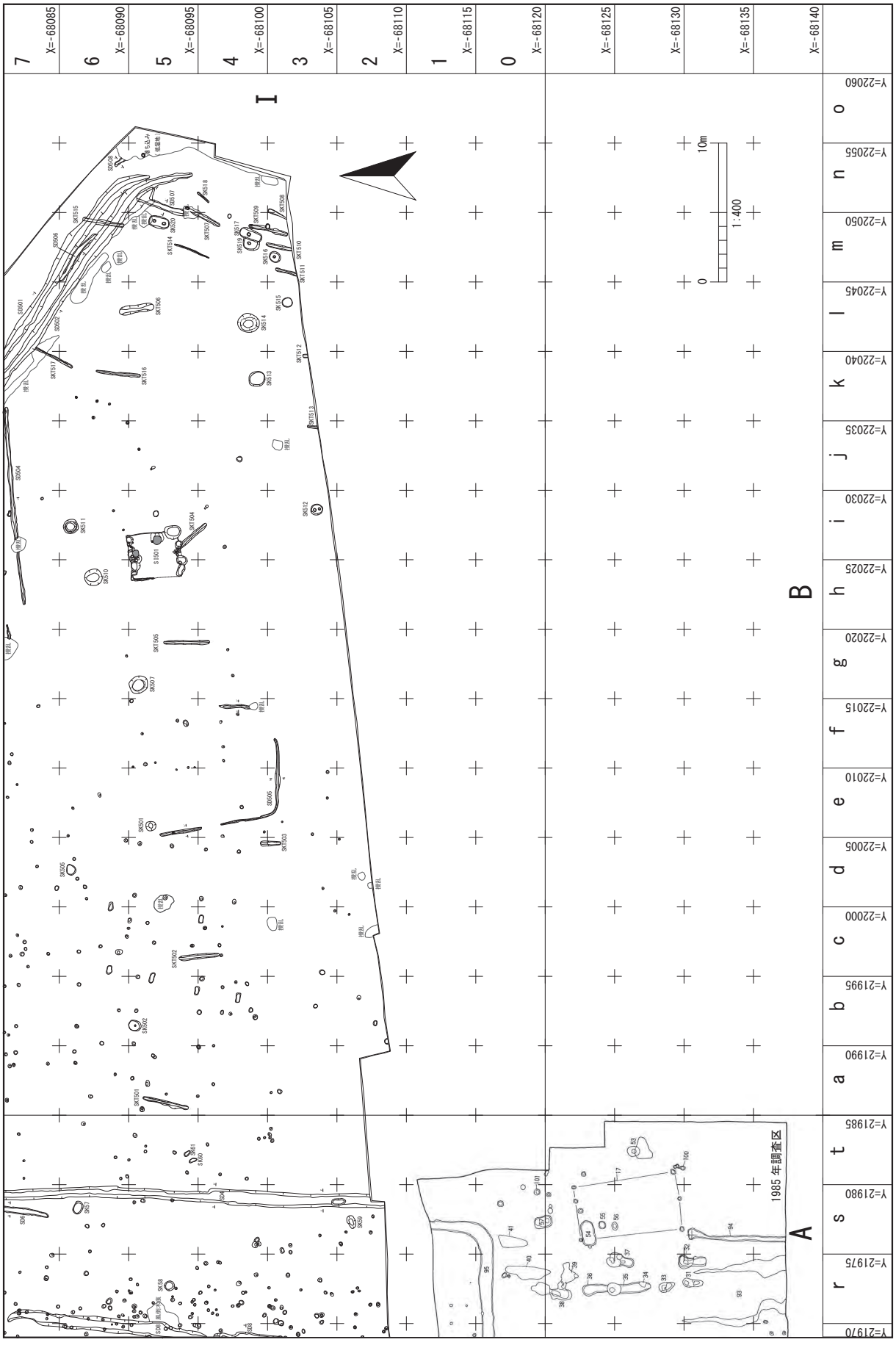
これらの作業の終了後、原稿の執筆を行い、報告書を編集した。　（古川）

第 6 図　遺構配置図（北西部）

第 7 図　遺構配置図（南西部）



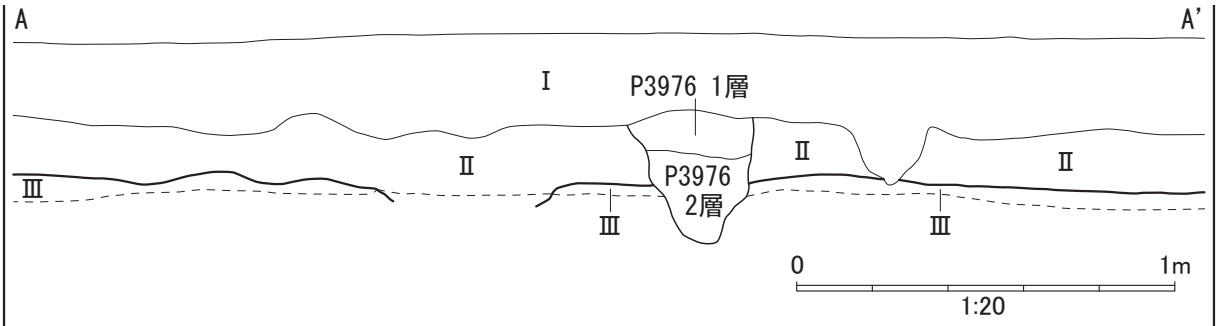
第 8 図　遺構配置図（北東部）



第 9 図　遺構配置図（南東部）

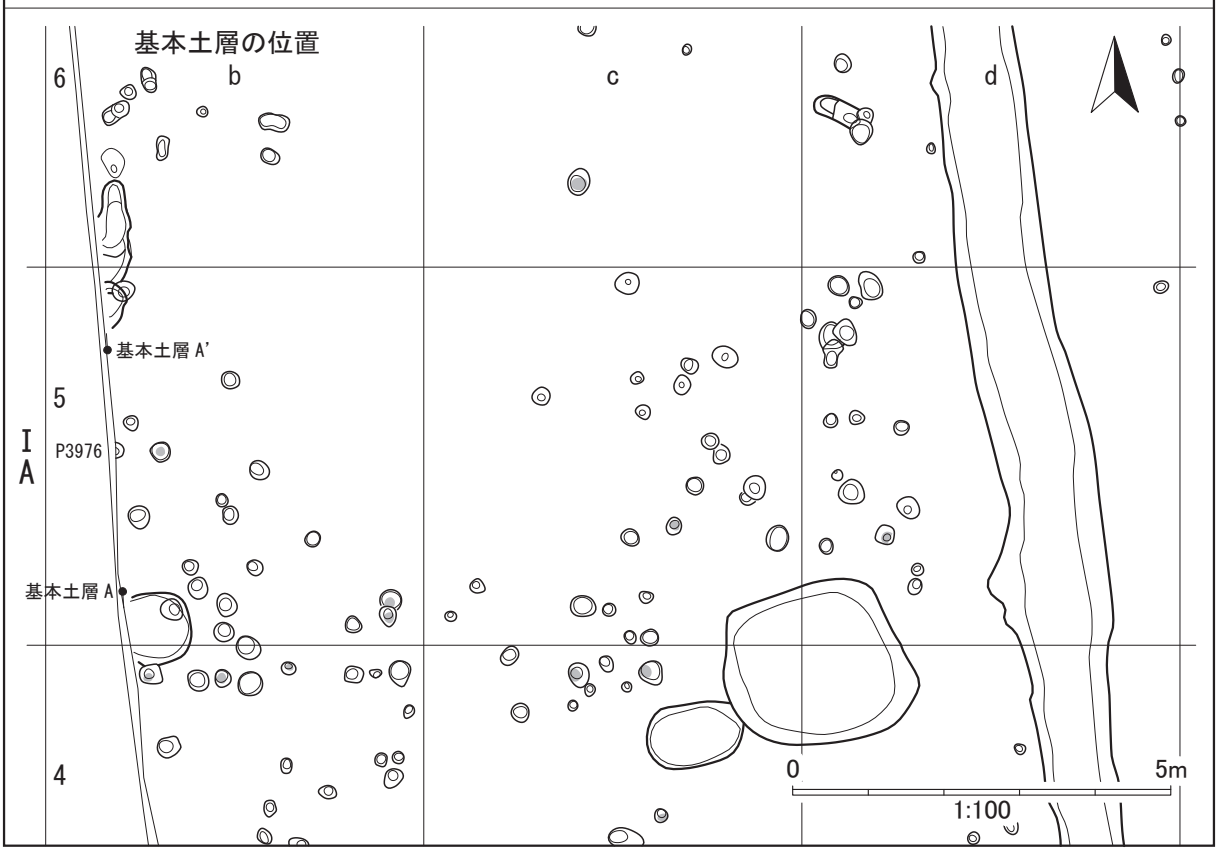
4 基 本 土 層

調査区域は、昭和 30 年代の開田事業によってそのほとんどがⅢ層上面まで削平をうけており、それより上位の土層は、開削されたところに新たに入れられ、水田・畑地の耕作土として利用されたものである。調査区内は概ね平坦であり、基本土層は平均的な層厚と層序を有する。ここでは、西側調査区境界の西壁（ⅠA5b グリッド付近）の層序を示し、基本土層とする。　（山川）



基本土層
Ⅰ層　10YR3/1　黒褐色土　粘性なし　しまり強　表土。草の根が密生する。現在の耕作土層で、遺跡全面にみられる。層厚20 ～ 30cm。
Ⅱ層　10YR2/2　黒褐色土　粘性なし　しまり極めて強　旧表土。現道、旧道部分や遺構埋土として残る。この層の上面が理論上の遺構検出面。層厚15 ～ 20cm。
Ⅲ層　10YR5/6　黄褐色土　粘性なし　しまり極めて強　地山。30cm程度から下は、本層および10YR5/4にぶい黄褐色砂とφ3 ～ 20cm大の亜円礫を極めて多量に含む砂礫層となるところがある。この層の上面が理論上の遺構検出面。層厚50cm以上。

P3976
１層　10YR2/1　黒色土　粘性なし　しまり極めて強　φ１～ 10mm大の地山ブロック少量、焼土粒極微量含む。※上層
２層　10YR2/1　黒色土　粘性なし　しまり極めて強　φ１～ 50mm大の地山ブロック極多量、焼土粒極微量含む。※下層



第 10 図　基本土層

Ⅳ　検出された遺構

検出された遺構は、中世の竪穴建物（略号 SI）8 棟、掘立柱建物（略号 SB）168 棟、カマド状遺構（略号 SX）24 基、井戸（略号 SE）1 基、溝（略号 SD）19 条、苑池（略号 SG）1 基、土坑（略号 SK）81 基、古代の竪穴住居（略号 SI）3 棟、縄文時代の炉（略号 SX）1 基、陥し穴（略号 SKT）18 基である。

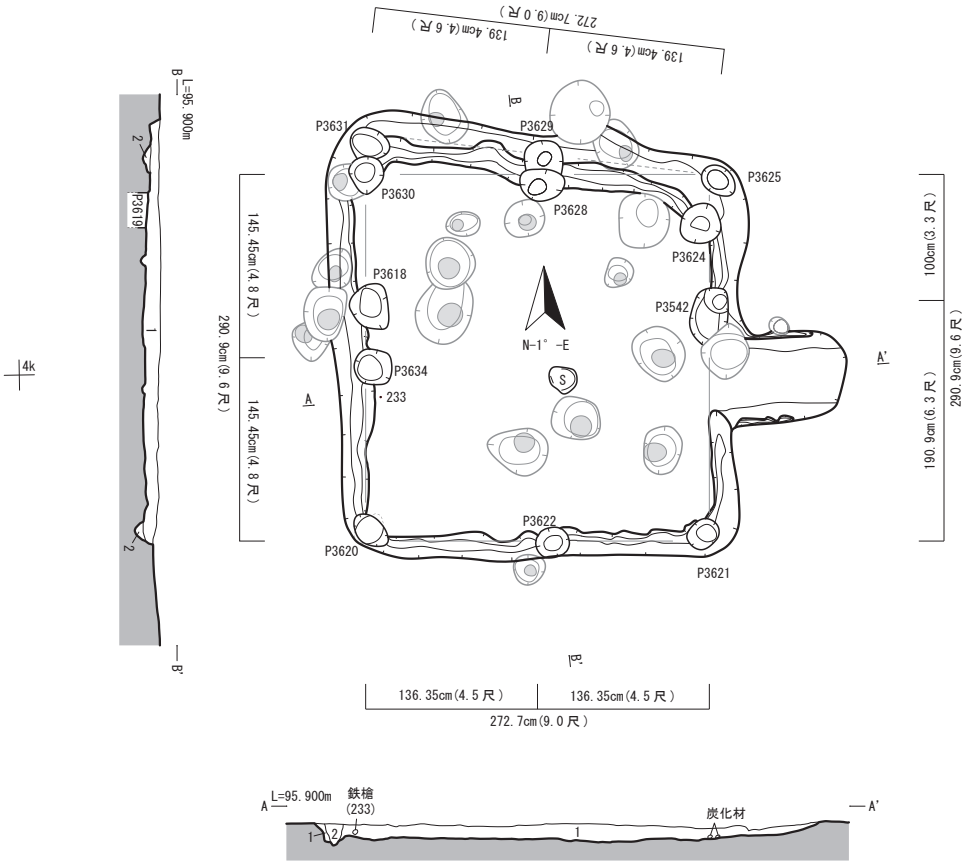
以下、表形式で各遺構の事実記載をおこなう。

1　中世の竪穴建物

今回の調査区域は遺構面の削平が著しい状況で、本項の竪穴建物としたものの中には、壁面が全く残存していないものがある。また柱穴配置や壁溝と推測される溝から竪穴建物と解釈したものもある。遺構の名称は古代の竪穴住居と区分するため、遺構番号を 1 桁（SI1～SI8）とした。古代の竪穴住居も遺構略号は「SI」であるが、これらの番号は「101」番からとし、区分している。また、柱穴配置から造り替えが想定される竪穴建物（SI2、SI7）が存在するが、これらは調査時には分離せず調査しており、遺構番号は単一とし「旧期」「新期」として報告する。表中の「位置」に示した「区画内部」「区画外部」は、居館の区画溝の内部に位置するか、外部に位置するかを示している。また、軸方向は棟方向を示しているのではなく、桁行、梁間を問わず、北から角度が小さい軸の角度を表示している。「想定時期」は居館、屋敷の変遷を以下の 37 年毎の 12 期変遷を想定しており、それに対応した年代を示した。遺構についての記載は、SI3 を山川が、その他を羽柴がおこなった。

SI1（第 11 図　写真図版 9 ）	
位置　ⅠA3k、3l、4k、4l　区画内部	**時期**　1486～1522 年頃と想定する。
東西長　402 cm（竪穴部 318 cm+ 張出部 94 cm）	**南北長**　349 cm
面積　11.3㎡（3.4 坪）	**軸方向**　N-1°-E
埋土　2 層に分けられる。自然堆積、人為堆積の別は不明である。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB2、SB37、SB70、SB83、SB166　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB27、SB31、SB48、SB53、SB64、SB141、SB167、SB168	
床面　平坦である。張り出し部は東側に向かって緩やかに立ち上がる。	
付属施設　壁溝は、張り出し部直下を除く四周に巡る。柱穴は北辺では 2 個ずつあり、前後関係が認められるものもあり、建物の改修の結果と推測される。張出部の側面には幅の狭い溝が施されている。腰板をはめたものであろうか。床面中央部には柱穴は認められなかった。柱間寸法は南辺で 136.35 cm（4 尺 5 寸）が、北辺で 139.4 cm（4 尺 6 寸）が、西辺では 145.45 cm（4 尺 8 寸）が使用されている。東辺は張出部の関係で柱間寸法が均等ではないが、総長が 4 尺 8 寸の 2 倍の 9 尺 6 寸であり、4 尺 8 寸を基準にしていると理解される。	
出土遺物　古代の須恵器大甕片（掲載番号 137）が埋土中から出土している。また、鉄製品槍 ?（233）が埋土 1 層中から出土している。また、床面直上から炭化物が出土しており、樹種はナラ、ヤマウルシであることが判明した。また、AMS 法の放射性炭素年代測定では「西暦 1455～1525 年（51.3%）」「西暦 1557～1632 年（44.1%）」の年代が示されている。	
遺構の形態的特徴から中世の竪穴建物と推測される。炭素年代、遺構の重複関係より、遺構変遷の 10 期（1486～1522 年頃）と想定する。	

SI1 11.3㎡



SI1
1．10YR3/3 暗褐色土 10YR6/8明黄褐色土まだらに多量混入、炭化物粒全体に少量混入
2．10YR3/3 暗褐色土 10YR6/8明黄褐色土まだらに少量混入

P3619. 10YR2/1 黒色土

柱穴番号	深さ（cm）	底面標高（m）
P3542	13.6	95.507
P3618	20.3	95.444
P3620	23.9	95.436
P3621	25.8	95.422
P3622	27.5	95.402
P3624	19.3	95.438
P3625	5.8	95.604
P3628	20.0	95.445
P3629	25.4	95.458
P3630	24.1	95.420
P3631	29.1	95.433
P3634	19.1	95.460

0　2m
1:60

第11図　SI1

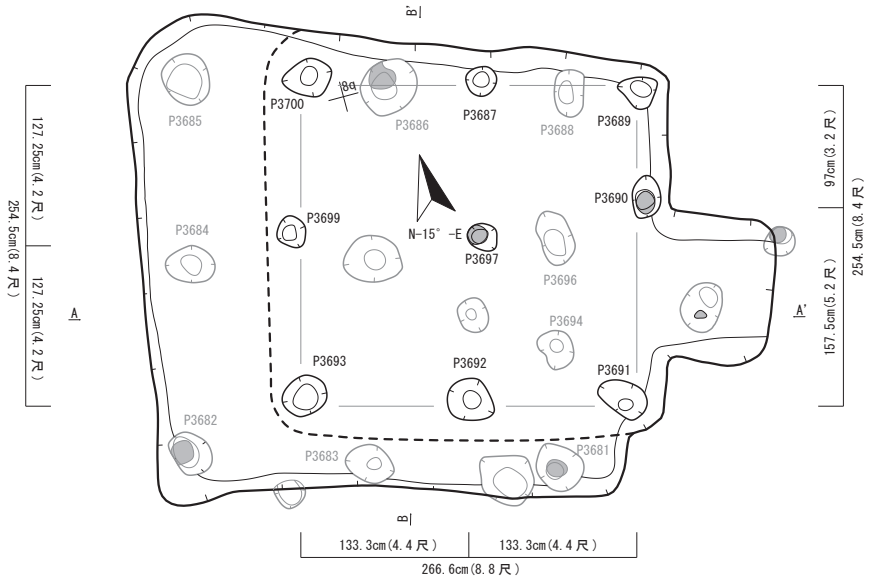
SI2（第 12 図　写真図版 10、11）	
位置　ⅠA7p、8p、7q、8q　区画内部	**時期**　1375～1448 年頃と想定する。
東西長　旧期 405 cm（竪穴部 310 cm+ 張出部 95 cm） 新期 505 cm（竪穴部 378 cm+ 張出部 127 cm）	**南北長**　旧期 311 cm 新規 352 cm
面積　旧期 10.5㎡（3.2 坪） 新期 15.2㎡（4.6 坪）	**軸方向**　旧期 N-15°-E 新期 N-16°-E
埋土　1 層で、自然堆積、人為堆積の別は不明である。2 層は一部施された貼床の土である。埋土は新期の埋土である。	
重複　本建物は柱穴の配置から旧期と新規の 2 時期があると判断される。**本建物より古い遺構**：SB55、SB78、SB160、SB162、SI2　**本建物より新しい遺構**：SB3、SB86　**本建物と重複する遺構**：SB82	
床面　旧期、新期ともに平坦である。張り出し部は東側に向かって緩やかに立ち上がる。	
付属施設　**旧期**　壁溝は存在しない。柱穴は四隅と各辺のおおむね中央に 1 個ずつ、床面中央に 1 個の計 9 個が配置される。柱間寸法は南北辺で 133.3 cm（4 尺 4 寸）が、西辺では 127.25 cm（4 尺 2 寸）が使用されている。東辺は張出部の関係で柱間寸法が均等ではないが、総長が 4 尺 2 寸の 2 倍の 8 尺 4 寸であり、4 尺 2 寸を基準にしていると理解される。**新期**　壁溝は存在しない。柱穴は四隅と南北辺、西辺のおおむね中央に 1 個ずつと、東辺の張出部の両脇に 2 個、床面中央に 1 個の計 10 個が配置される。柱間寸法は南北辺と西辺で 151.cm（5 尺）が、東辺では 101.0 cm（3 尺 3 寸 3 分）が使用されている。	
出土遺物　出土遺物はない。	
遺構の形態的特徴から中世の竪穴建物と推測される。遺構の重複関係等により、旧期は遺構変遷の 7 期（1375～1411 年頃）、新期は遺構変遷の 8 期（1412～1488 年頃）と想定する。	

SI3（第 13 図　写真図版 12、13）	
位置　ⅠA13h、14h、14i　区画外部	**時期**　1449～1485 年頃と想定する。
東西長　495 cm（竪穴部 345 cm+ 張出部 150 cm）	**南北長**　340 cm
面積　面積 12.1㎡（3.7 坪）	**軸方向**　N-5°-W
埋土　1 層で、自然堆積とみられる。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB112　**本建物より新しい遺構**：SB101　**本建物と重複する遺構**：SB106、SB111	
床面　平坦である。張出部は東側に向かって緩やかに立ち上がる。	
付属施設　壁溝は、張出部直下の全てと南壁中央の壁柱穴（P3741）の両側が少し途切れるが、それ以外に巡る。柱穴は床面中央に 1 基（P3747）がある。他に壁柱穴 10 基（P3735～3743、3745）が認められる。南東部に 1 基（P3748）があるが、形状から柱穴とは判断できない。P3748 の埋土は、灰主体で、若干の炭化物が含まれる。柱間寸法は南北辺と西辺で 145.45 cm（4 尺 8 寸）が使用される。東辺は柱間が三分されるが、総長が 4 尺 8 寸の 2 倍の 9 尺 6 寸であり、4 尺 8 寸を基準にしていると理解される。	
出土遺物　出土遺物はない。検出された炭化物の AMS 法の放射性炭素年代測定では「西暦 1436～1492 年（92.6%）」の年代が示されている。	
遺構の形態的特徴から中世の竪穴建物と推測される。放射性炭素年代測定、遺構の重複関係等から、遺構変遷の 9 期（1449～1485 年頃）と想定する。（山川）	

SI2 旧期:推定10.5㎡、新期:推定15.2㎡

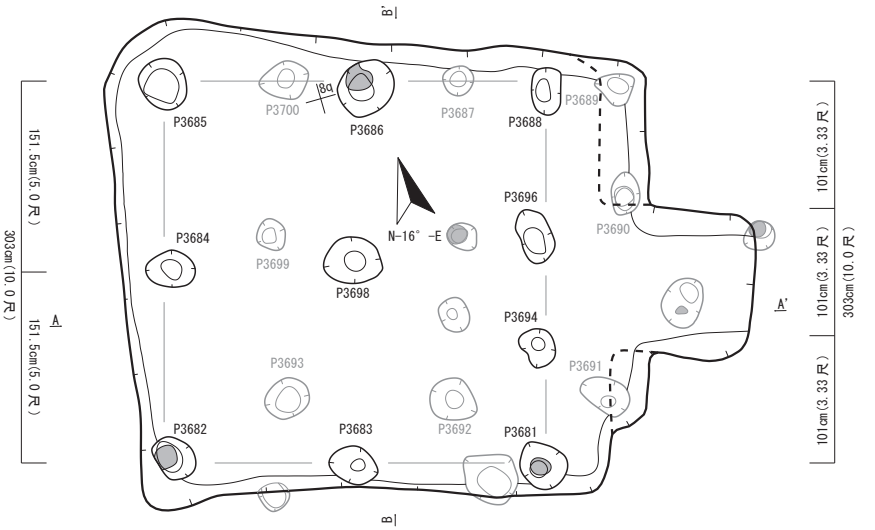
旧期

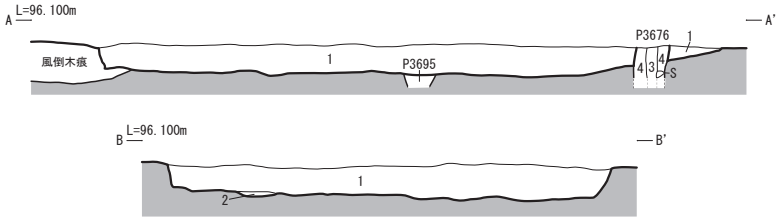
柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P3687	23.7	95.416
P3689	22.2	95.421
P3690	21.8	95.395
P3691	16.6	95.504
P3692	16.7	95.464
P3693	19.4	95.461
P3697	11.5	95.507
P3699	21.0	95.416
P3700	20.5	95.407



新期

柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P3681	25.3	95.403
P3682	9.8	95.541
P3683	21.3	95.480
P3684	14.9	95.554
P3685	21.8	95.431
P3686	30.2	95.362
P3688	15.0	95.477
P3694	17.8	95.447
P3696	20.2	95.396
P3698	20.3	95.438





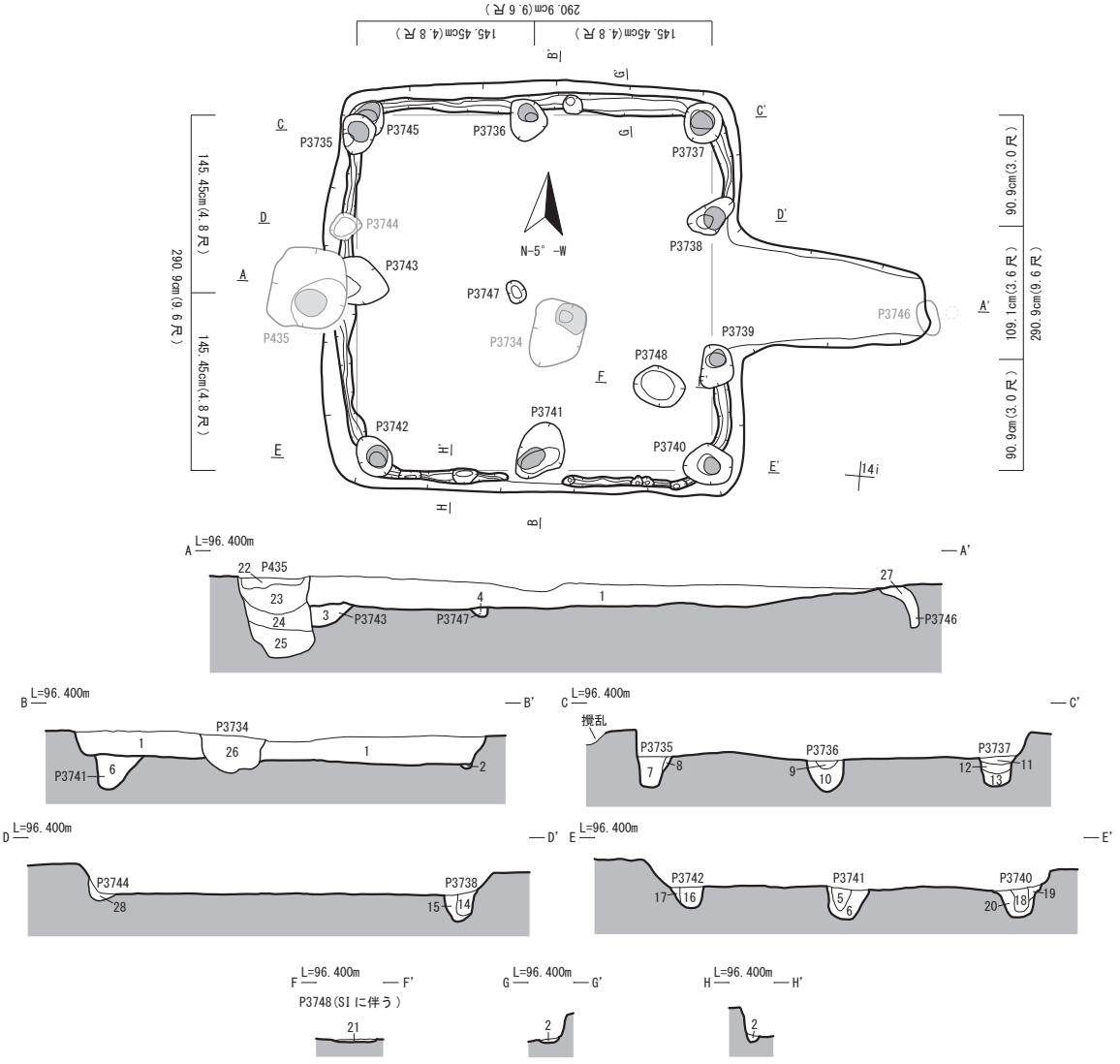
SI2
1．10YR2/1 黒色土 10YR5/6黄褐色土ブロック少量全体に混入 ※人為埋土
2．10YR4/2 灰黄褐色土 10YR7/8黄橙色土まだらに多量混入 ※貼床

P3676
3．10YR3/1 黒褐色土 10YR7/8黄橙色土ブロック少量混入
4．10YR7/8 黄橙色土 10YR3/1黒褐色土まだらに多量混入

0　2m
1:60

第12図　SI2

SI3 12.1㎡



SI3
1．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～50㎜大の地山ブロック中量、φ1～50㎜大の10YR2/1黒色土ブロック微量含む
2．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり強 φ1～15㎜大の地山ブロック少量含む
P3743
3．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり中 φ1～10㎜大の地山ブロック少量含む
P3747
4．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり中 φ1～10㎜大の地山ブロック少量含む
P3741
5．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～30㎜大の地山ブロックやや多く含む ※柱痕跡
6．10YR3/2 黒褐色土10%と地山ブロック90%の混合土 ※掘方埋土
P3735
7．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり中 φ1～30㎜大の地山ブロック中量含む ※柱痕跡
8．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～10㎜大の地山ブロック多量含む ※掘方埋土
P3736
9．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり中 φ1～5㎜大の地山ブロック中量含む
10．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ5～50㎜大の地山ブロック極多量含む
P3737
11．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～50㎜大の地山ブロック中量、10YR2/1黒色土ブロック少量含む
12．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～50㎜大の地山ブロック多量含む
13．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～50㎜大の地山ブロック極多量含む
P3738
14．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～30㎜大の地山ブロック少量 10YR2/1黒色土ブロック微量含む ※柱痕跡
15．10YR3/2 黒褐色土20%と地山ブロック80%の混合土 ※掘方埋土
P3742
16．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまりやや弱 φ1～15㎜大の地山ブロック少多量含む ※柱痕跡
17．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり中 φ1～50㎜大の地山ブロック中量含む ※掘方埋土
P3740
18．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまりやや強 φ1～30㎜大の地山ブロック少量、10YR2/1黒色土ブロック微量含む ※柱痕跡
19．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまりやや強 φ1～30㎜大の地山ブロック多量含む ※掘方埋土上層
20．10YR3/2 黒褐色土10%と地山ブロック90%の混合土 ※掘方埋土下層
P3748
21．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまりやや強 φ1～30㎜大の地山ブロック少量、炭化物粒少量、焼土粒極微量含む ※部分的に灰を多量含む
P435(SB101)
22．10YR3/2 黒褐色粘土質土 粘性中 しまり極強 φ1～50㎜大の地山ブロック多量含む ※掘方埋土最上層
23．10YR2/2 黒褐色粘土質土 粘性中 しまり強 φ1～30㎜大の地山ブロック微量含む ※掘方埋土上層
24．10YR2/2 黒褐色粘土質土 粘性やや強 しまり強 φ1～100㎜大の地山ブロック極多量含む ※掘方埋土中層
25．10YR2/1 黒色粘土質土 粘性強 しまり中 φ1～30㎜大の地山ブロック中量含む ※掘方埋土下層
P3734(SB101)
26．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり強 φ1～15㎜大の地山ブロック微量、焼土粒極微量含む
P3746(SB112)
27．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり中 φ1～30㎜大の地山ブロック少量含む
P3744(SB111)
28．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり強 φ1～50㎜大の地山ブロック多量含む ※柱痕跡

柱穴番号	深さ（cm）	底面標高（m）
P3736	34.7	95.561
P3737	28.8	95.692
P3738	27.4	95.692
P3739	27.4	95.656
P3740	31.5	95.690
P3741	23.3	95.716
P3742	23.2	95.757
P3743	31.6	95.663
P3745	31.4	95.656
P3747	7.6	95.859
P3748	5.4	95.903

0　2m
1:60

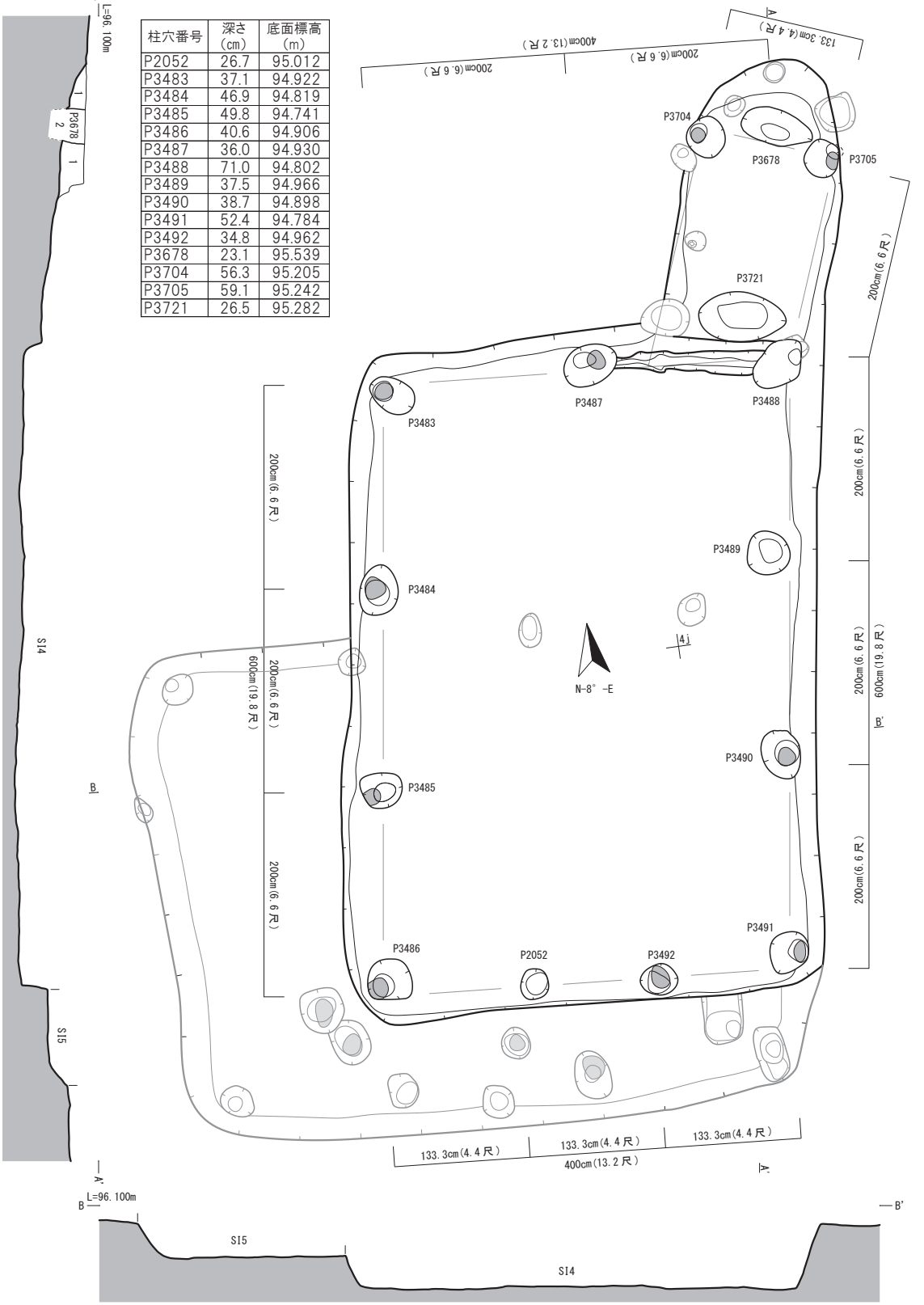
第13図　SI3

SI4（第 14 図　写真図版 14）	
位置　ⅠA3i、3j、4i、4j、5j　区画内部	**時期**　1338～1374 年頃と想定する。
東西長　456 cm	**南北長**　909 cm（竪穴部 638 cm+ 張出部 271 cm）
面積　33.9㎡（10.3 坪）	**軸方向**　N-8°-E
埋土　1 層に分けられる。自然堆積、人為堆積の別は不明である。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB1、SB17、SI5、SK17　**本建物より新しい遺構**：なし **本建物と重複する遺構**：SB14、SB63、SB83	
床面　平坦である。張り出し部は北側に向かって緩やかに立ち上がる。	
付属施設　壁溝は北辺の張出部に対応する部分のみで検出された。柱穴は竪穴部では四隅、東西辺、南辺の途中に 2 個ずつ、北辺の中央に 1 個の合計 11 個の柱穴がある。張出部では北端部の東西にそれぞれに合計 2 個の柱穴がある。張出部にある P3678、P3721 は形状から柱穴とは考えられず、何らかの張出部に設けられた施設の痕跡と推測される。柱間寸法は東西辺、北辺で 200.0 cm（6 尺 6 寸）が使用されている。南辺では 133.3 cm（4 尺 4 寸）が使用されているが、総長は 6 尺 6 寸の 2 倍の 13 尺 2 寸で、南辺も 6 尺 6 寸に準拠した寸法と理解される。張出部の東西幅では 133.3 cm（4 尺 4 寸）を使用している。なお、張出部の軸方向は竪穴部よりも東に偏している。	
出土遺物　出土遺物はない。	
遺構の形態的特徴から中世の竪穴建物と推測される。遺構の重複関係より、遺構変遷の 6 期（1338～1374 年頃）と想定する。	

SI5（第 15 図　写真図版 14）	
位置　ⅠA3h、3i、3j、4h、4i、4j　区画内部	**時期**　1190～1226 年頃と想定する。
東西長　612 cm	**南北長**　488 cm
面積　30.0㎡（9.1 坪）	**軸方向**　N-0°
埋土　調査時のミスにより埋土断面を記録していない。自然堆積、人為堆積の別は不明である。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SI4　**本建物と重複する遺構**：SB14	
床面　床面の半分以上が SI4 の構築により失われているが、検出された部分の床面は平坦である。張り出し部は確認されていない。	
付属施設　壁溝は検出されていない。柱穴は四隅と、南北辺の途中に 2 個ずつ配置される。合計 8 個の柱穴となる。柱間寸法は南北辺で 175.74 cm（5 尺 8 寸）が使用されている。東西辺の柱間寸法は 424.2 cm（14 尺）である。張出部は SI4 に壊されていることを考慮しても、想定が難しく、存在しなかった可能性が高い。	
出土遺物　出土遺物はない。	
遺構の形態的特徴から中世の竪穴建物と推測される。遺構の重複関係より、遺構変遷の 2 期（1190～1226 年頃）と想定する。	

SI4 33.9㎡

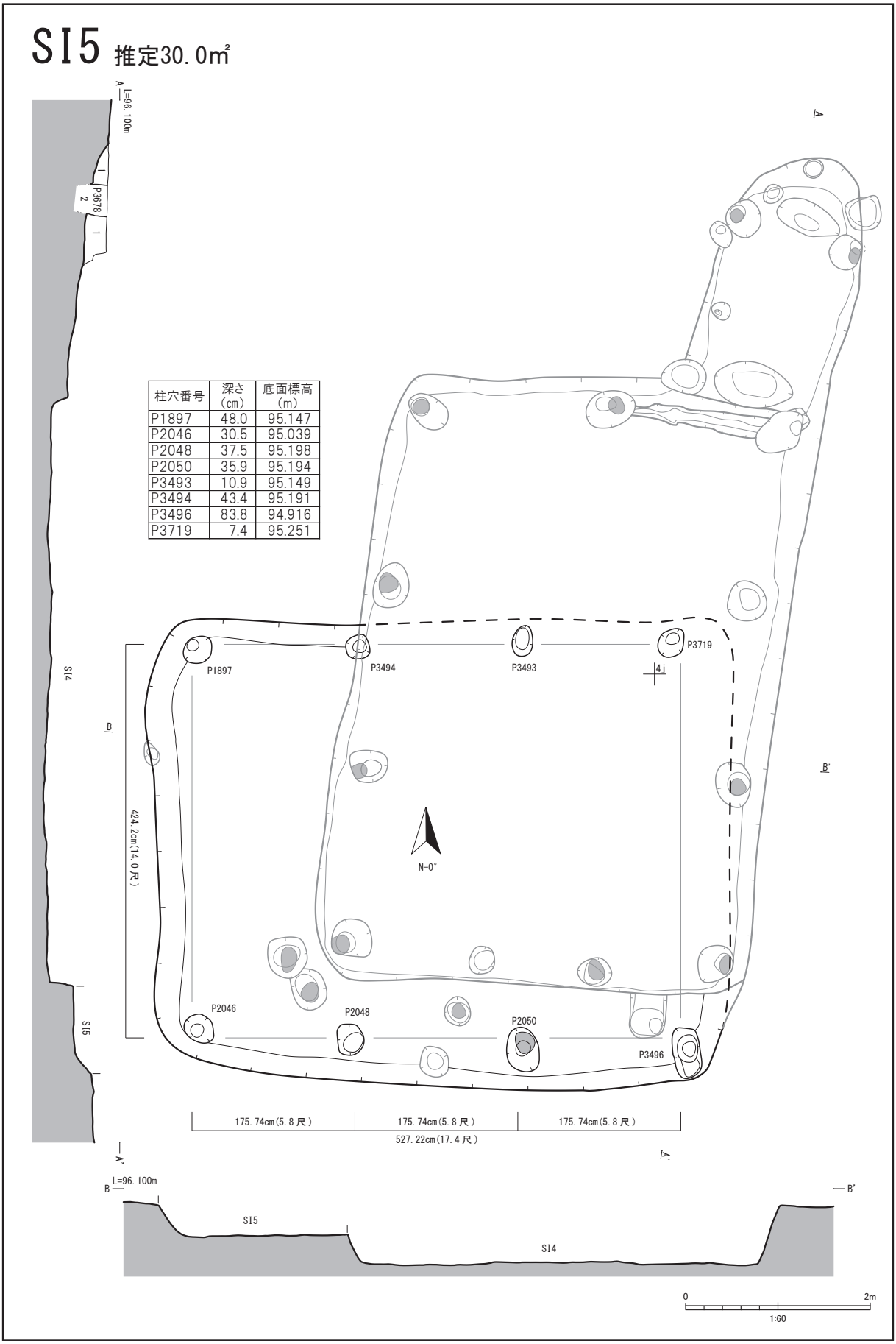
柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2052	26.7	95.012
P3483	37.1	94.922
P3484	46.9	94.819
P3485	49.8	94.741
P3486	40.6	94.906
P3487	36.0	94.930
P3488	71.0	94.802
P3489	37.5	94.966
P3490	38.7	94.898
P3491	52.4	94.784
P3492	34.8	94.962
P3678	23.1	95.539
P3704	56.3	95.205
P3705	59.1	95.242
P3721	26.5	95.282



SI4
1．10YR3/1 黒褐色土 10YR6/8明黄褐色土ブロック多量に混入 ※人為埋土
P3678
2．10YR3/2 黒褐色土 10YR6/8明黄褐色土まだらに多量混入

0　2m
1:60

第14図　SI4



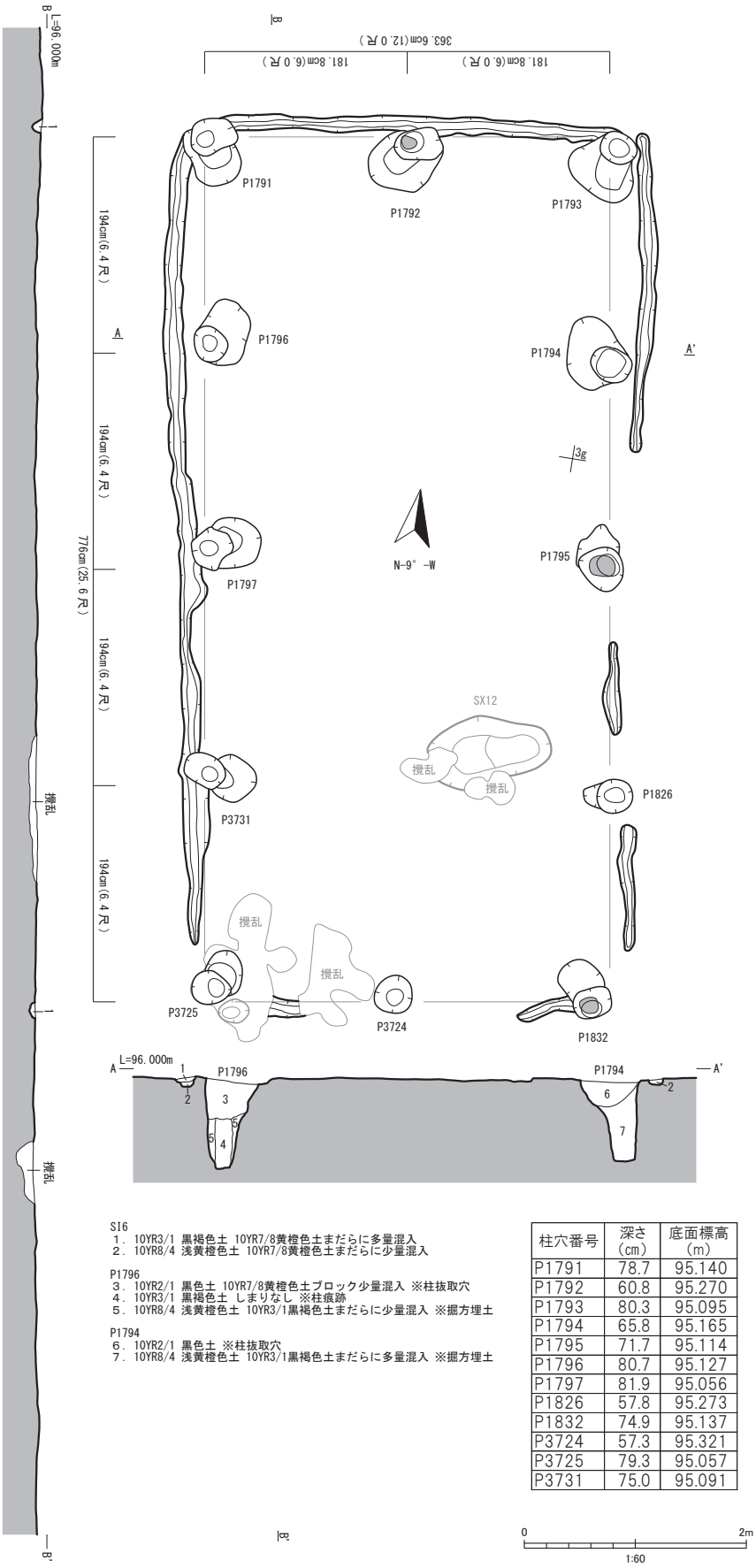
柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1897	48.0	95.147
P2046	30.5	95.039
P2048	37.5	95.198
P2050	35.9	95.194
P3493	10.9	95.149
P3494	43.4	95.191
P3496	83.8	94.916
P3719	7.4	95.251

第15図　SI5

SI6（第 16 図　写真図版 15、16）	
位置　ⅠA1f、1g、2f、2g、3f、3g　区画内部	**時期**　1153～1189 年頃と想定する。
東西長　404～430 cm	**南北長**　809 cm
面積　33.1㎡（10.0 坪）	**軸方向**　N-9°-W
埋土　埋土は残存していない。自然堆積、人為堆積の別は不明である。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SX12	
床面　検出面は元来の床面を削平しており、床面が残存していないと解釈される。	
付属施設　壁溝は切れ切れになっている部分もあるが、四周に巡っていたと推測される。柱穴は四隅と東西辺の途中に 3 個ずつ、南北辺の中央に 1 個の合計 12 個の柱穴がある。各柱穴に重複する形で、上からの掘込が存在しており、断面観察の結果からも、各柱穴は柱の抜き取りがおこなわれていると判断される。張出部は存在していない。壁は全く残存しておらず、竪穴の掘り込みは相対的に浅かったと推測される。	
出土遺物　出土遺物はない。	
遺構の形態的特徴から、古代末～中世の竪穴建物と推測される。遺構の形態等により、遺構変遷の 1 期（1153～1189 年頃）と想定する。	

SI7（第 17 図　写真図版 16、17）	
位置　ⅠA4h、4i、5h、5i　区画内部	**時期**　1486～1559 年頃と想定する。
東西長　旧期推定 395 cm 新期推定 395 cm	**南北長**　旧期推定 399 cm 新規推定 399 cm
面積　旧期、新期ともに推定 16.8㎡（5.0 坪）	**軸方向**　旧期 N-1°-W 新期 N-2°-E
埋土　埋土は残存していない。自然堆積、人為堆積の別は不明である。	
重複　本建物は柱穴の配置から旧期と新規の 2 時期があると判断される。**本建物より古い遺構**：SB1　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：なし	
床面　検出面は元来の床面を削平しており、床面が残存していないと解釈される。	
付属施設　旧期　壁溝は北辺の西側と西辺の北側部分にのみ残存している。この壁溝は新期のものである可能性も高い。元来の壁溝の状況は不明である。柱穴は四隅と各辺のおおむね中央に 1 個ずつ、床面中央に 1 個の計 9 個が配置される。P1380 を除く柱穴はいずれも新期の柱穴に切られている。柱間寸法は南北辺で 160.6 cm（5 尺 3 寸）が、東西辺では 145.45 cm（4 尺 8 寸）が使用されている。 **新期**　壁溝は北辺の西側と西辺の北側部分にのみ残存している。元来の壁溝の状況は不明である。柱穴は四隅と各辺のおおむね中央に 1 個ずつ、床面中央に 1 個の計 9 個が配置される。P1380 を除く柱穴はいずれも旧期の柱穴を切っている。柱間寸法は南北辺、東西辺ともに 160.6 cm（5 尺 3 寸）が使用されている。張出部の痕跡は残っておらず、旧期、新期ともに張出の有無は不明である。図では北側中央に張出がある形態を想定している。	
出土遺物　出土遺物はない。	
遺構の形態的特徴から中世の竪穴建物と推測される。遺構の重複関係、形態等により、旧期は遺構変遷の 10 期（1486～1522 年頃）、新期は遺構変遷の 11 期（1523～1559 年頃）と想定する。	

SI6 推定33.1㎡



SI6
1．10YR3/1 黒褐色土 10YR7/8黄橙色土まだらに多量混入
2．10YR8/4 浅黄橙色土 10YR7/8黄橙色土まだらに少量混入

P1796
3．10YR2/1 黒色土 10YR7/8黄橙色土ブロック少量混入 ※柱抜取穴
4．10YR3/1 黒褐色土 しまりなし ※柱痕跡
5．10YR8/4 浅黄橙色土 10YR3/1黒褐色土まだらに少量混入 ※掘方埋土

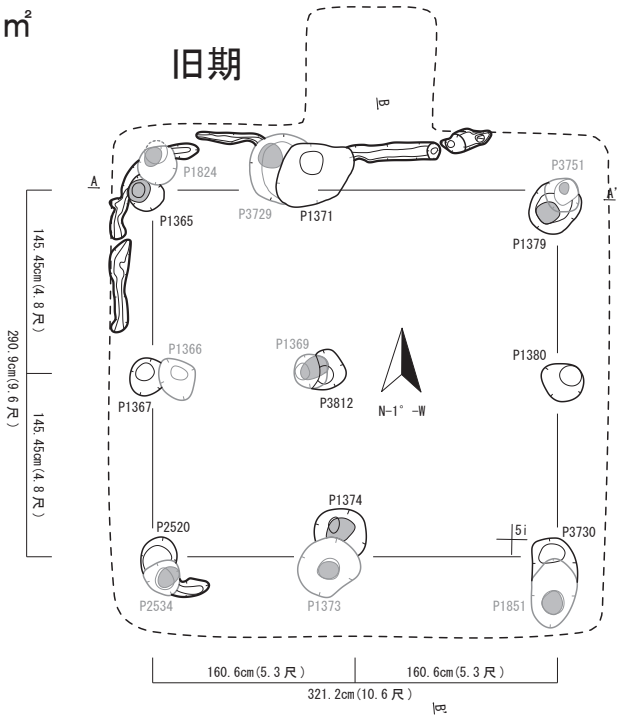
P1794
6．10YR2/1 黒色土 ※柱抜取穴
7．10YR8/4 浅黄橙色土 10YR3/1黒褐色土まだらに多量混入 ※掘方埋土

柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P1791	78.7	95.140
P1792	60.8	95.270
P1793	80.3	95.095
P1794	65.8	95.165
P1795	71.7	95.114
P1796	80.7	95.127
P1797	81.9	95.056
P1826	57.8	95.273
P1832	74.9	95.137
P3724	57.3	95.321
P3725	79.3	95.057
P3731	75.0	95.091

第16図　SI6

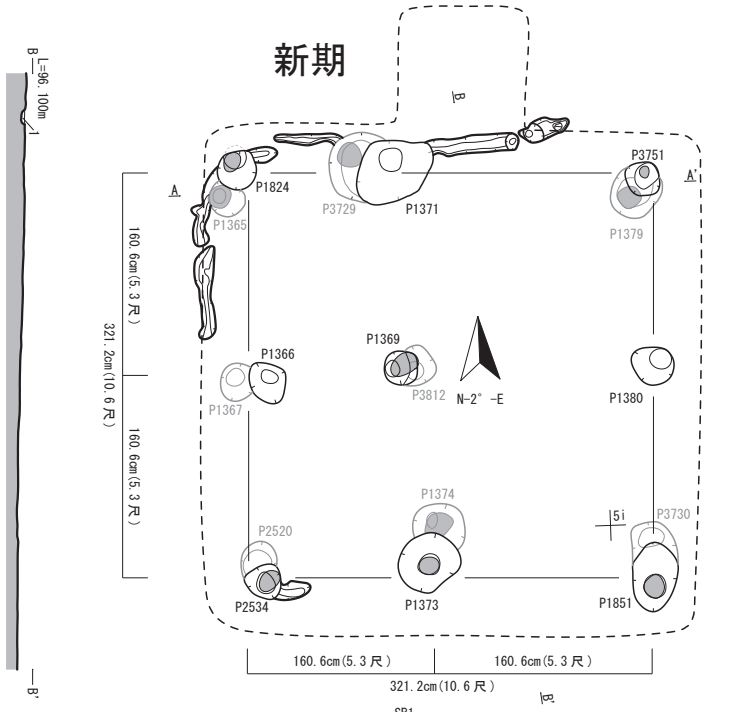
SI7 推定16.8㎡

旧期



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P1365	38.3	95.631
P1367	9.7	95.562
P1371	48.1	95.541
P1374	9.2	95.540
P1379	52.4	95.499
P1380	36.8	95.614
P2520	37.3	95.599
P3730	30.5	95.666
P3812	48.6	95.518

新期



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P1366	35.7	95.803
P1369	64.7	95.365
P1371	48.1	95.541
P1373	26.3	95.208
P1380	36.8	95.614
P1824	53.1	95.471
P1851	59.0	95.390
P2534	50.5	95.476
P3751	57.8	95.454

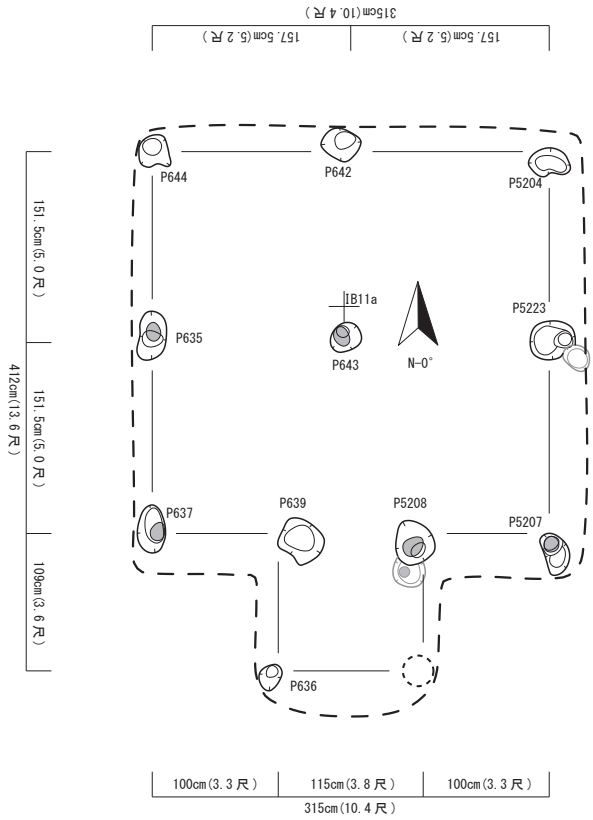
SI7
1. 10YR3/1 黒褐色土 10YR7/8黄橙色土まだらに混入 ※周溝
P1365
2. 10YR7/8 黄橙色土 10YR2/1黒色土ブロック多量混入
P1371(SB1)
3. 10YR3/1 黒褐色土 10YR7/8黄橙色土ブロック多量混入
P1379
4. 10YR3/1 黒褐色土 ※柱痕跡
5. 10YR3/1 黒褐色土 10YR7/8黄橙色土ブロック多量混入
P3729
6. 10YR3/1 黒褐色土 10YR7/8黄橙色土ブロック少量混入

0　2m
1:60

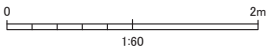
第17図　SI7

SI8（第 18 図　写真図版 17）	
位置　ⅠA10t、11t、ⅠB10a、11a　区画外部	**時期**　1449～1485 年頃と想定する。
東西長　想定 363 cm	**南北長**　想定 468 cm （竪穴部 357 cm+ 張出部 111 cm）
面積　想定 14.3㎡（4.3 坪）	**軸方向**　N-0°
埋土　埋土は残存していない。自然堆積、人為堆積の別は不明である。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB136	
床面　検出面は元来の床面を削平しており、床面が残存していないと解釈される。	
付属施設　壁溝は全く検出されていないが、削平により失われた可能性も考えられる。柱穴は四隅と東西辺、北辺のおおむね中央に 1 個ずつ、南辺の中間に 2 個、床面中央に 1 個の、合計 10 個が配置される。また、張出部の南西隅と推測される位置に P636 が存在している。本建物は、これらの柱穴配置の形態から竪穴建物と判断したものである。柱間寸法は北辺で 157.5 cm（5 尺 2 寸）が、東西辺では 151.5 cm（5 尺）が使用されている。南辺は柱間が三箇所あり、張出部に対応する中央が 115.0 cm（3 尺 8 寸）、その両側が 100.0 cm（3 尺 3 寸）である。	
出土遺物　出土遺物はない。	
遺構の形態的特徴から中世の竪穴建物と推測される。遺構の重複関係、配置等により、遺構変遷の 9 期（1449～1485 年頃）と想定する。	

SI8 推定14.3㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P635	18.1	95.544
P636	15.2	95.647
P637	25.6	95.583
P639	15.6	95.633
P642	10.8	95.660
P643	23.0	95.578
P644	10.4	95.588
P5204	8.4	95.611
P5207	13.5	95.634
P5208	17.2	95.621
P5223	15.3	95.624



第 18 図　SI8

2 掘 立 柱 建 物

掘立柱建物は168棟検出した。調査時はいずれも中世に属する建物と考えていたが、平面プラン等の検討によって、近世に属すると解釈すべき建物も幾棟か存在する。これらは各建物の記載の中で示している。

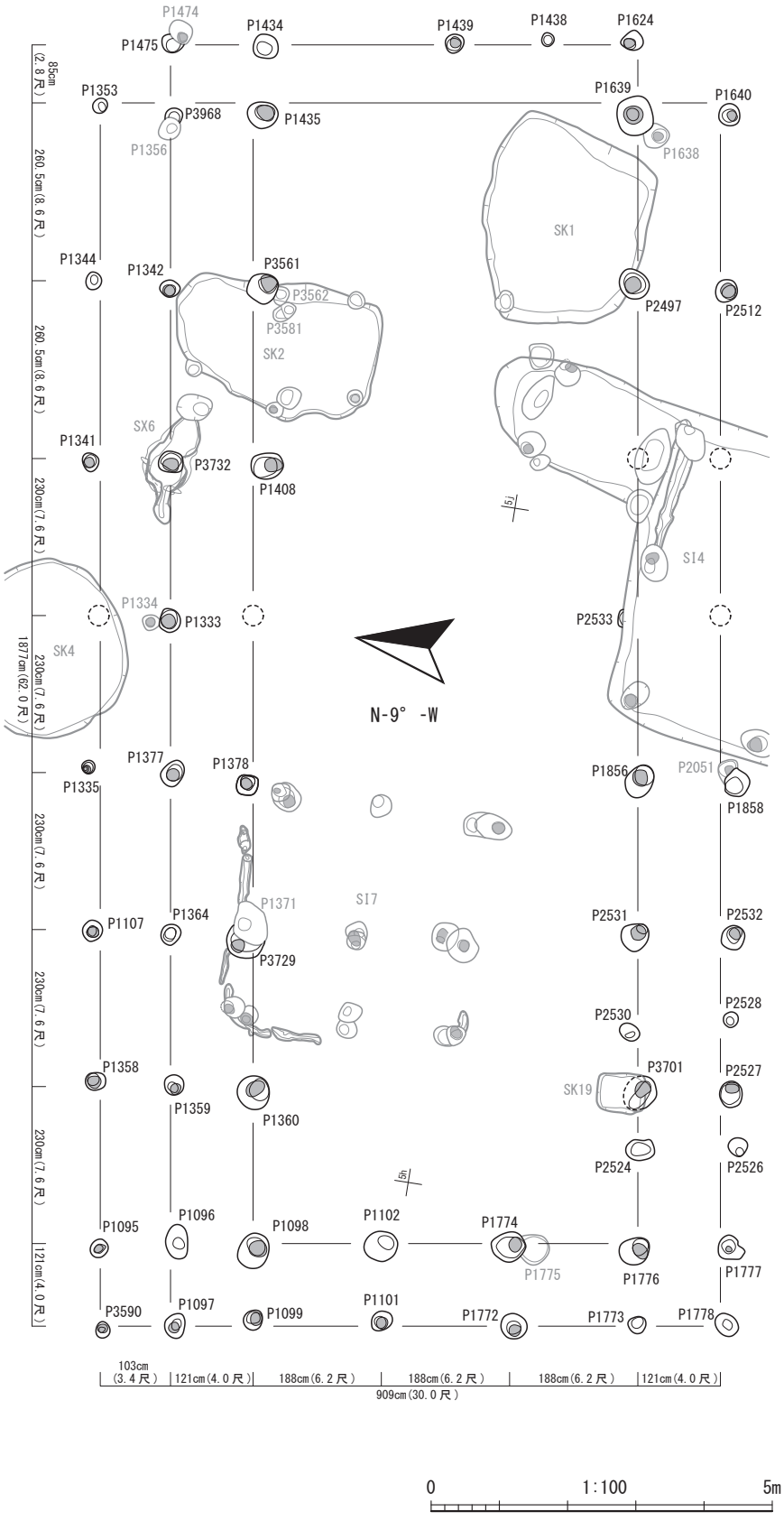
表中の「位置」に示した「区画内部」「区画外部」は、居館の区画溝の内部に位置するか、外部に位置するかを示している。また、「軸方向」は建物の棟方向を示しているのではなく、桁行、梁間を問わず、北から角度が小さい軸の角度を表示している。「想定時期」は居館、屋敷の変遷を以下の37年毎の12期変遷を想定しており、それに対応した年代を示した。あくまで想定時期であり、全てが出土遺物等から検証した客観的な年代を示すものではない。掘立柱建物についての記載はすべて羽柴がおこなった。下に遺構変遷の時期区分を示す。

遺構変遷時期区分（1期37年と想定した）			
1期（1153～1189年頃）	**2期**（1190～1226年頃）	**3期**（1227～1263年頃）	**4期**（1264～1300年頃）
5期（1301～1337年頃）	**6期**（1338～1374年頃）	**7期**（1375～1411年頃）	**8期**（1412～1448年頃）
9期（1449～1485年頃）	**10期**（1486～1522年頃）	**11期**（1523～1559年頃）	**12期**（1680年頃～）

SB1（第19図　写真図版18）	
位置　ⅠA4g、4h、4i、4j、4k、5g、5h、5i、5j、5k、6h、6i、6j、6k　区画内部	**使用した柱穴**　53個
桁行　1877 cm（62尺）	**梁間**　909 cm（30尺）
面積　168.7㎡（51.1坪）	**軸方向**　N-9°-W
柱間寸法　桁行では230 cm（7尺6寸）と260.5 cm（8尺6寸）を用い、梁間では188 cm（6尺2寸）を多用する。	
重複　**本建物より新しい遺構**：SB14、SB167、SI4、SI7、SK1、SK2、SK4、SK19、SX6　**本建物と重複する遺構**：SB17、SB37、SB53、SB60、SB63、SB71、SB80、SB83、SB168、SK17、SK21、SK22、SK23	
大型の建物で、居館の主殿と推測する。564 cm（18.6尺）×1671 cm（55.2尺）の身舎に四面庇、さらに桁行北面に孫庇の構造である。重複、切り合い関係などから、12世紀後半（1153～1189年頃）の建物と想定する。P2532の柱痕跡中から銭貨「天禧通寶」（229）が出土している。これは柱痕からの出土で、建物廃絶後に柱痕跡の空洞に落ち込んだ可能性が高い。またP1333の掘方埋土から土師器長胴甕体部片（不掲載遺物⑳）が出土している。	
想定時期　1期（1153～1189年頃）の建物と想定する。	

SB1 168.7㎡

柱穴番号	深さ（cm）	底面標高（m）
P1095	36.7	95.657
P1096	27.6	95.756
P1097	19.7	95.834
P1098	28.5	95.699
P1099	23.5	95.802
P1101	32.4	95.744
P1102	30.7	95.656
P1107	30.1	95.694
P1333	39.6	95.639
P1335	72.0	95.853
P1341	27.9	95.756
P1342	18.5	95.818
P1344	17.5	95.840
P1353	12.0	95.821
P1358	28.7	95.785
P1359	38.9	95.858
P1360	25.1	95.732
P1364	32.1	95.796
P1377	30.3	95.727
P1378	28.5	95.752
P1408	32.1	95.666
P1434	21.5	95.691
P1435	15.9	95.731
P1438	14.7	95.651
P1439	27.8	95.590
P1475	14.6	95.771
P1624	7.4	95.706
P1639	18.5	95.583
P1640	17.2	95.617
P1772	19.0	95.796
P1773	30.5	95.650
P1774	28.0	95.716
P1776	24.1	95.700
P1777	32.7	95.595
P1778	33.5	95.579
P1856	34.7	95.590
P1858	39.3	95.488
P2497	27.9	95.565
P2512	40.4	95.423
P2524	11.8	95.831
P2526	19.2	95.774
P2527	19.9	95.713
P2528	19.3	95.807
P2530	8.8	95.904
P2531	41.6	95.519
P2532	47.3	95.474
P2533	15.7	95.642
P3561	34.5	95.608
P3590	22.5	95.844
P3701	43.7	95.509
P3729	34.4	95.702
P3732	10.6	95.730
P3968	6.4	95.832



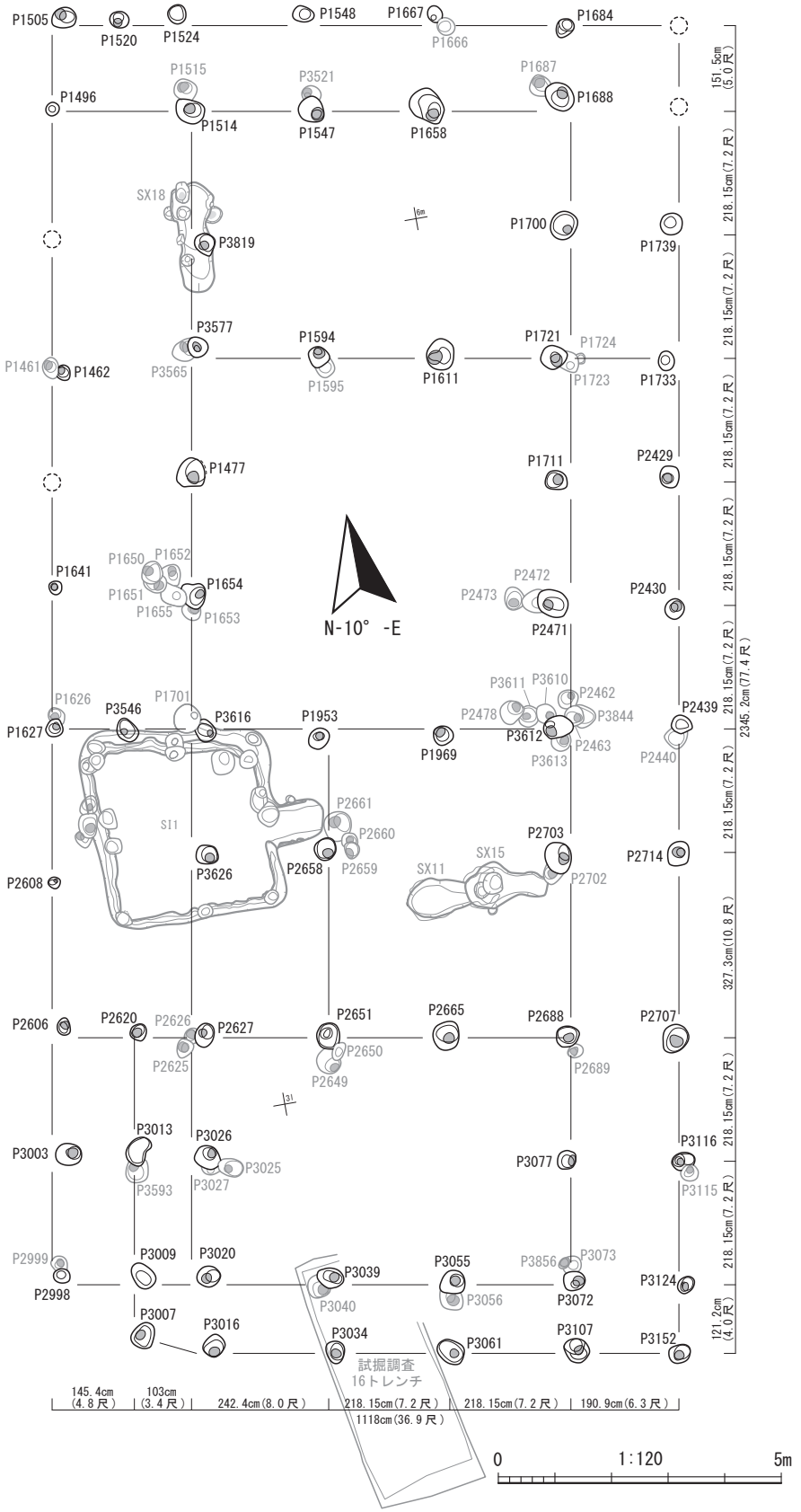
第19図　SB1

SB2（第 20 図　写真図版 19）	
位置　ⅠA1l、1m　2k、2l、2m、3k、3l、3m、4k、4l、4m、5k、5l、5m、6k、6l、6m　区画内部	**使用した柱穴**　64 個
桁行　2345.2 cm（77 尺 4 寸）	**梁間**　1118 cm（36 尺 9 寸）
面積　260.0㎡（78.8 坪）	**軸方向**　N-10°-E
柱間寸法　桁行では 218.15 cm（7 尺 2 寸）を多用する。一部 10.8 尺の柱間寸法が用いられるが、これは 7 尺 2 寸の 1.5 倍の寸法である。梁間でも 218.15 cm（7 尺 2 寸）を多用する。よって本建物の基準寸法は 218.15 cm（7 尺 2 寸）と判断される。	
重複　本建物より古い遺構：SB27、SB29、SB50、SB53、SB64、SB80、SB99、SB145、SB149、SB166、SB168　**本建物より新しい遺構**：SB37、SB48、SB58、SB60、SB143、SI1　**本建物と重複する遺構**：SB22、SB23、SB25、SB31、SB34、SB39、SB40、SB42、SB43、SB45、SB46、SB57、SB61、SB63、SB67、SB69、SB70、SB74、SB77、SB83、SB87、SB91、SB94、SB97、SB100、SB141、SB147、SB167、SK63、SX11、SX13、SX14、SX15、SX16、SX18、SX19	
大型の建物で、居館の主殿と推測する。678.7（22.4 尺）×2072.5 cm（68.4 尺）の身舎に四面庇の構造と解釈される。桁行の東側の庇が 190.9 cm（6.3 尺）、西側の庇が 248.5 cm（8.2 尺）と東西で寸法が異なる。重複、切り合い関係などから、14 世紀第 2 四半期～第 3 四半期頃（1338～1374 年頃）の建物と想定する。直接の出土遺物はない。SB46 と柱穴が重複するが、前後関係を把握できなかった。	
想定時期　6 期（1338～1374 年頃）の建物と想定する。	

SB3（第 21 図　写真図版 20）	
位置　ⅠA5n、5o、5p、5q、6n、6o、6p、6q、7n、7o、7p、7q　区画内部	**使用した柱穴**　42 個
桁行　1506 cm（49.7 尺）	**梁間**　897 cm（29.6 尺）
面積　135.0㎡（40.9 坪）	**軸方向**　N-1°-E
柱間寸法　桁行では 230.25 cm（7 尺 6 寸）を多用する。1 箇所、285.0 cm（9 尺 4 寸）の柱間があるが、これは 7 尺 6 寸の 1.25 倍に近似する寸法である（実際は 1.24 倍）。梁間の身舎では 200.0 cm（6 尺 6 寸）を使用する。	
重複　本建物より古い遺構：SB19、SB57、SB66、SB75、SB85、SB93、SB98、SB146、SB154、SB162、SB164、SI2　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB45、SB52、SB55、SB78、SB82、SB86、SB89、SB96、SB138、SB140、SB142、SB144、SB148、SB150、SB152、SB158、SB160	
大型の建物で、居館の主殿と推測する。600.0 cm（19 尺 8 寸）×1206.0 cm（39 尺 8 寸）の身舎に四面庇の構造と解釈される。間数で表現すると身舎は三間×五間となる。庇（下屋）の出は東面で 5 尺 3 寸、西面で 4 尺 6 寸、南面、北面では 4 尺 9 寸となる。柱穴の配置から図に示した間取りを想定した。間取り、重複、切り合い関係などから、17 世紀後半以降（1680 年頃～）の近世民家の主屋と想定する。直接の出土遺物はない。	
想定時期　12 期（1680 年頃～）の建物と想定する。	

SB2 260.0㎡

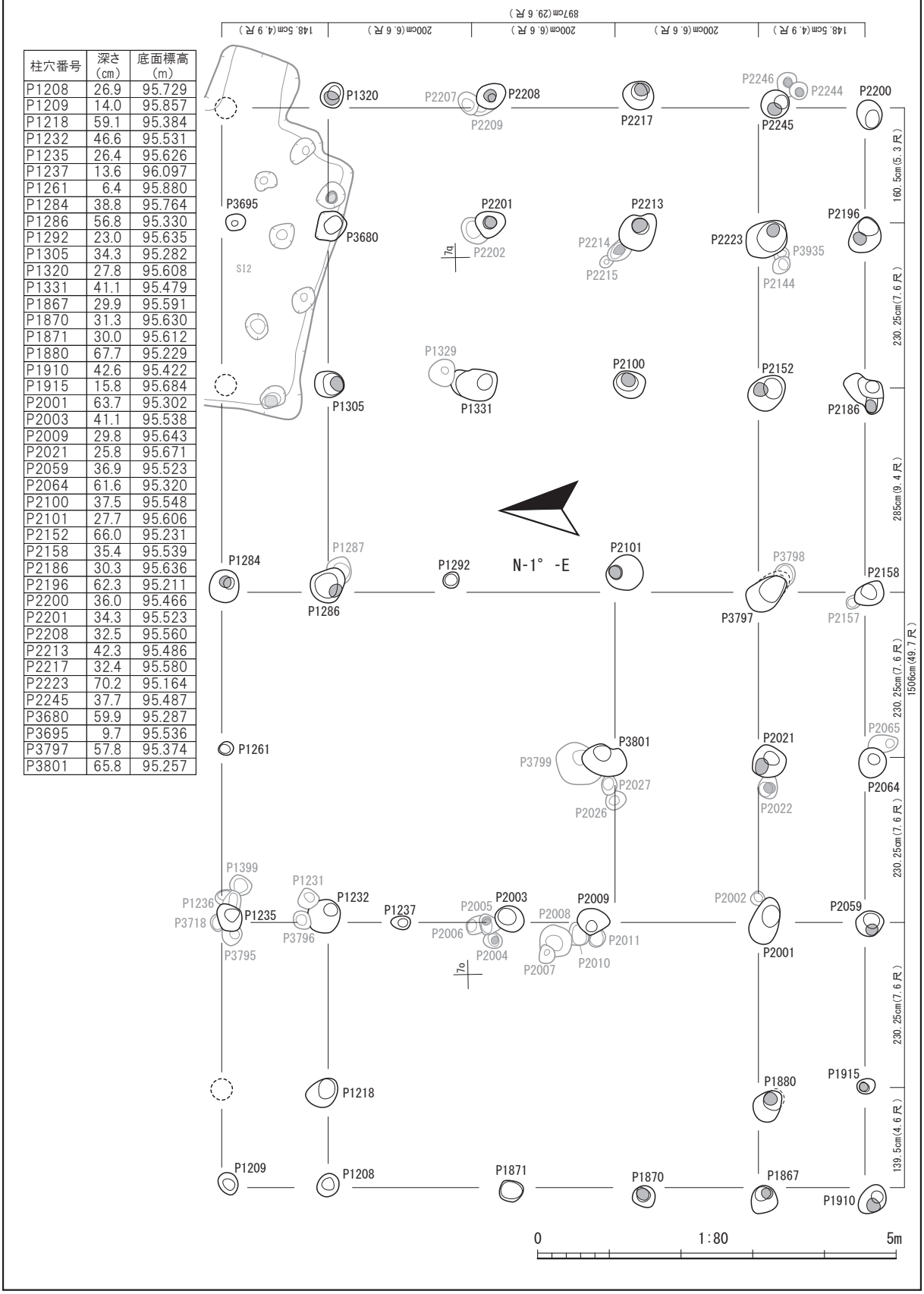
柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1462	76.3	95.759
P1477	77.3	95.366
P1496	11.3	95.774
P1505	31.7	95.545
P1514	38.3	95.510
P1520	23.9	95.605
P1524	10.1	95.793
P1547	28.6	95.591
P1548	23.4	95.775
P1594	31.3	95.339
P1611	40.0	95.471
P1627	25.2	95.526
P1641	12.0	95.659
P1654	40.3	95.373
P1658	65.0	95.455
P1667	15.2	95.783
P1684	29.4	95.778
P1688	45.6	95.450
P1700	12.9	95.775
P1711	45.3	95.392
P1721	38.1	95.454
P1733	34.6	95.523
P1739	7.7	95.725
P1953	24.6	95.526
P1969	19.3	95.559
P2429	35.8	95.467
P2430	35.8	95.441
P2439	12.7	95.680
P2471	37.1	95.386
P2606	13.4	95.632
P2608	10.3	95.670
P2620	12.2	95.638
P2627	54.9	95.193
P2651	23.4	95.458
P2658	24.7	95.518
P2665	37.7	95.385
P2688	31.7	95.410
P2703	37.1	95.399
P2707	32.2	95.410
P2714	30.1	95.489
P2998	23.1	95.583
P3003	38.3	95.381
P3007	12.5	95.648
P3009	23.3	95.520
P3013	22.2	95.531
P3016	18.1	95.558
P3020	39.5	95.339
P3026	46.7	95.283
P3034	10.9	95.539
P3039	39.3	95.276
P3055	51.1	95.246
P3061	23.2	95.494
P3072	61.3	95.154
P3077	44.2	95.303
P3107	47.3	95.599
P3116	48.6	95.352
P3124	40.6	95.427
P3152	30.0	95.500
P3546	26.0	95.481
P3577	33.2	95.617
P3612	41.7	95.353
P3616	45.3	95.271
P3626	21.1	95.408
P3819	49.0	95.445



第 20 図　SB2

SB3 135.0㎡

柱穴番号	深さ（cm）	底面標高（m）
P1208	26.9	95.729
P1209	14.0	95.857
P1218	59.1	95.384
P1232	46.6	95.531
P1235	26.4	95.626
P1237	13.6	96.097
P1261	6.4	95.880
P1284	38.8	95.764
P1286	56.8	95.330
P1292	23.0	95.635
P1305	34.3	95.282
P1320	27.8	95.608
P1331	41.1	95.479
P1867	29.9	95.591
P1870	31.3	95.630
P1871	30.0	95.612
P1880	67.7	95.229
P1910	42.6	95.422
P1915	15.8	95.684
P2001	63.7	95.302
P2003	41.1	95.538
P2009	29.8	95.643
P2021	25.8	95.671
P2059	36.9	95.523
P2064	61.6	95.320
P2100	37.5	95.548
P2101	27.7	95.606
P2152	66.0	95.231
P2158	35.4	95.539
P2186	30.3	95.636
P2196	62.3	95.211
P2200	36.0	95.466
P2201	34.3	95.523
P2208	32.5	95.560
P2213	42.3	95.486
P2217	32.4	95.580
P2223	70.2	95.164
P2245	37.7	95.487
P3680	59.9	95.287
P3695	9.7	95.536
P3797	57.8	95.374
P3801	65.8	95.257



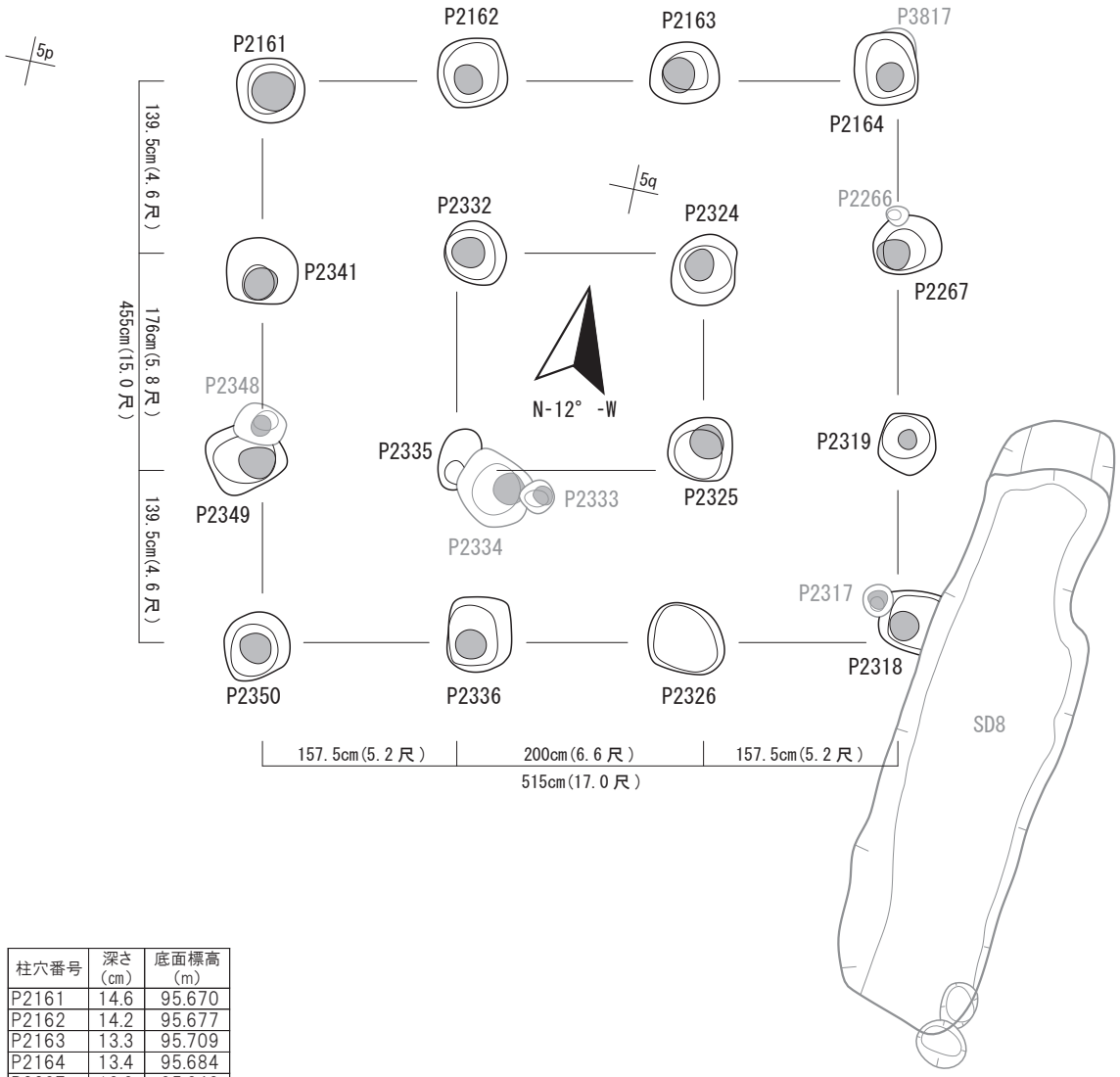
第 21 図　SB3

SB4（第 22 図　写真図版 21）	
位置　ⅠA4p、4q、5p、5q　区画内部	**使用した柱穴**　16 個
桁行　東辺、西辺を桁行とする　515 cm（17 尺）	**梁間**　北辺、南辺を桁行とする 455 cm（15 尺）
面積　23.4㎡（7.1 坪）	**軸方向**　N-12°-W
柱間寸法　身舎は東西辺で 200.0 cm（6 尺 6 寸）、南北辺で 176.0 cm（5 尺 8 寸）を使用している。庇の出は東西では 157.5 cm（5 尺 2 寸）、南北では 139.5 cm（4 尺 6 寸）が使用している。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB7、SD8　**本建物と重複する遺構**：SB59、SB93、SB155	
一間四面の平面形の建物で、仏堂と推測する。身舎は東西辺 200.0 cm（6 尺 6 寸）×南北辺 176.0 cm（5 尺 8 寸）で正方形ではない。また総長も、東西辺 515.0（17 尺）×455.0 cm（15 尺）と正方形ではない。柱穴の深さが今回検出の他の掘立柱建物と比較すると浅く、元来は、基壇が築かれ、その上から柱穴が掘り込まれていたためと推測される。また、検出した平面の四面に縁が巡っていたことも想像される。重複、切り合い関係などから、12 世紀後半（1156～1189 年頃）の建物と想定する。直接の出土遺物はない。	
想定時期　1 期（1153～1189 年頃）の建物と想定する。	

SB5（第 23 図　写真図版 22）	
位置　ⅠA6e、6f、6g、7e、7f、7g　区画内部	**使用した柱穴**　20 個
桁行　994.0 cm（32 尺 8 寸）	**梁間**　685.5 cm（22 尺 6 寸）
面積　68.1㎡（20.6 坪）	**軸方向**　N-1°-W
柱間寸法　桁行では 248.5 cm（8 尺 2 寸）を使用している。梁間身舎は 460.5 cm（15 尺 2 寸）で、その半分の 230.25 cm（7 尺 6 寸）が基準寸法と考えられる。庇（下屋）の出は 112.0 cm（3 尺 7 寸）が使用されている。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB5、SK8、SK9　**本建物と重複する遺構**：SB6、SB8、SK5、SK10、SK31	
460.5 cm（15 尺 2 寸）×685.5 cm（22 尺 6 寸）の身舎に、南面、北面の二面に庇（下屋）の構造と解釈される。直接の出土遺物はない。SK5 との前後関係は、明確に把握できなかったが、本建物が SK5 より古いと推測される。	
想定時期　4 期（1264～1300 年頃）の建物と想定する。	

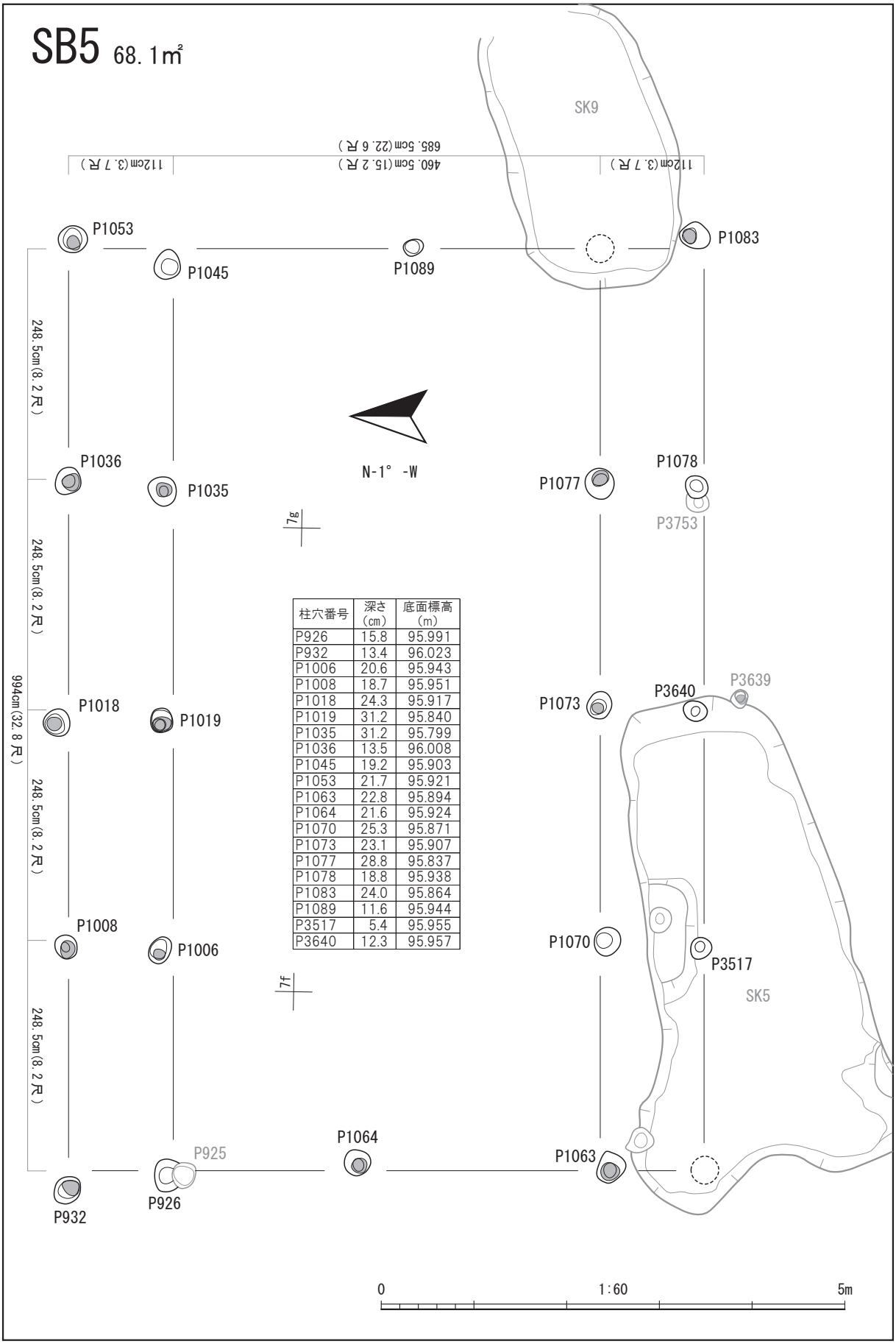
SB6（第 24 図　写真図版 22）	
位置　ⅠA6e、6f、6g、7e、7f、7g　区画内部	**使用した柱穴**　15 個
桁行　859.4 cm（28.35 尺）	**梁間**　406.0 cm（13.4 尺）
面積　34.9㎡（10.6 坪）	**軸方向**　N-8°-W
柱間寸法　桁行では 191.0 cm（6 尺 3 寸）を使用する。桁行の東端の柱間は 95.5 cm（3 尺 1 寸 5 分）であるが、これは 6 尺 3 寸の半分の寸法である。梁間では 203.0 cm（6 尺 7 寸）を使用する。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB5、SB7、SB8、SK31	
庇、下屋が付かない建物である。桁行の柱間寸法が整っており、きちんとした設計の建物と想像される。プランの西側が P1009 の存在によって間仕切があると解釈される。桁行の東端は柱間寸法が他の半分である。直接の出土遺物はない。	
想定時期　5 期（1301～1337 年頃）の建物と想定する。	

SB4 23.4㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2161	14.6	95.670
P2162	14.2	95.677
P2163	13.3	95.709
P2164	13.4	95.684
P2267	19.9	95.640
P2318	22.5	95.582
P2319	5.2	95.762
P2324	10.5	95.726
P2325	13.1	95.692
P2326	3.5	95.761
P2332	13.2	95.702
P2335	25.8	95.528
P2336	20.8	95.572
P2341	65.8	95.659
P2349	65.0	95.601
P2350	21.9	95.570

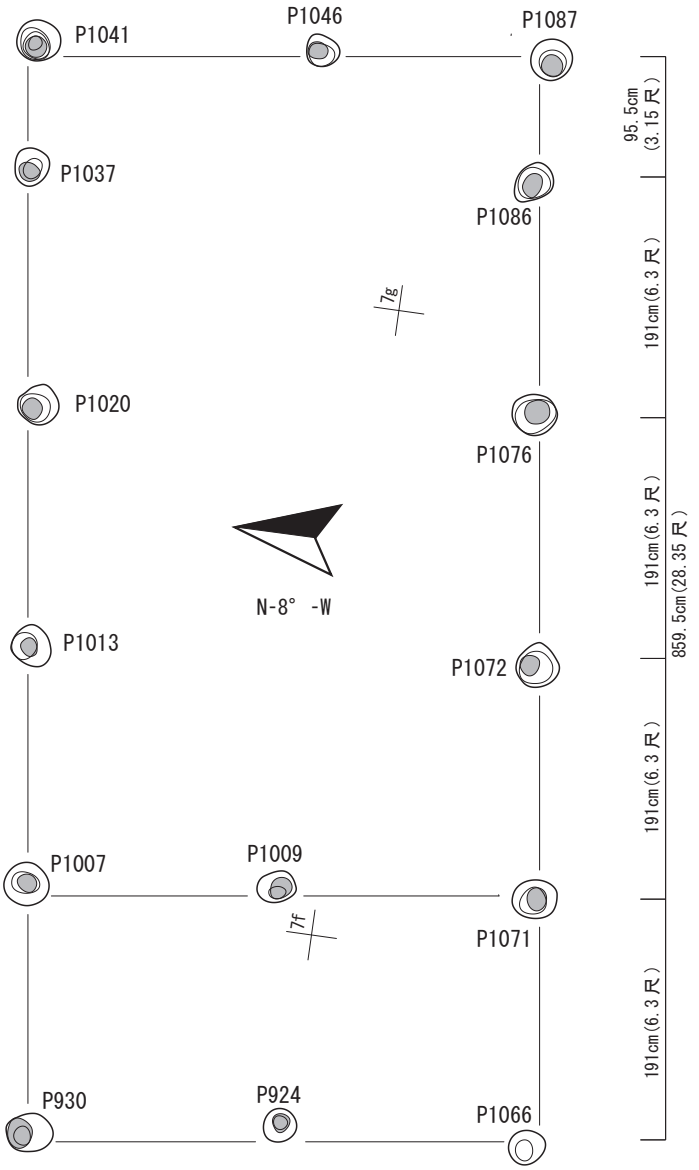
第 22 図　SB4



柱穴番号	深さ（cm）	底面標高（m）
P926	15.8	95.991
P932	13.4	96.023
P1006	20.6	95.943
P1008	18.7	95.951
P1018	24.3	95.917
P1019	31.2	95.840
P1035	31.2	95.799
P1036	13.5	96.008
P1045	19.2	95.903
P1053	21.7	95.921
P1063	22.8	95.894
P1064	21.6	95.924
P1070	25.3	95.871
P1073	23.1	95.907
P1077	28.8	95.837
P1078	18.8	95.938
P1083	24.0	95.864
P1089	11.6	95.944
P3517	5.4	95.955
P3640	12.3	95.957

第 23 図　SB5

SB6 34.9㎡



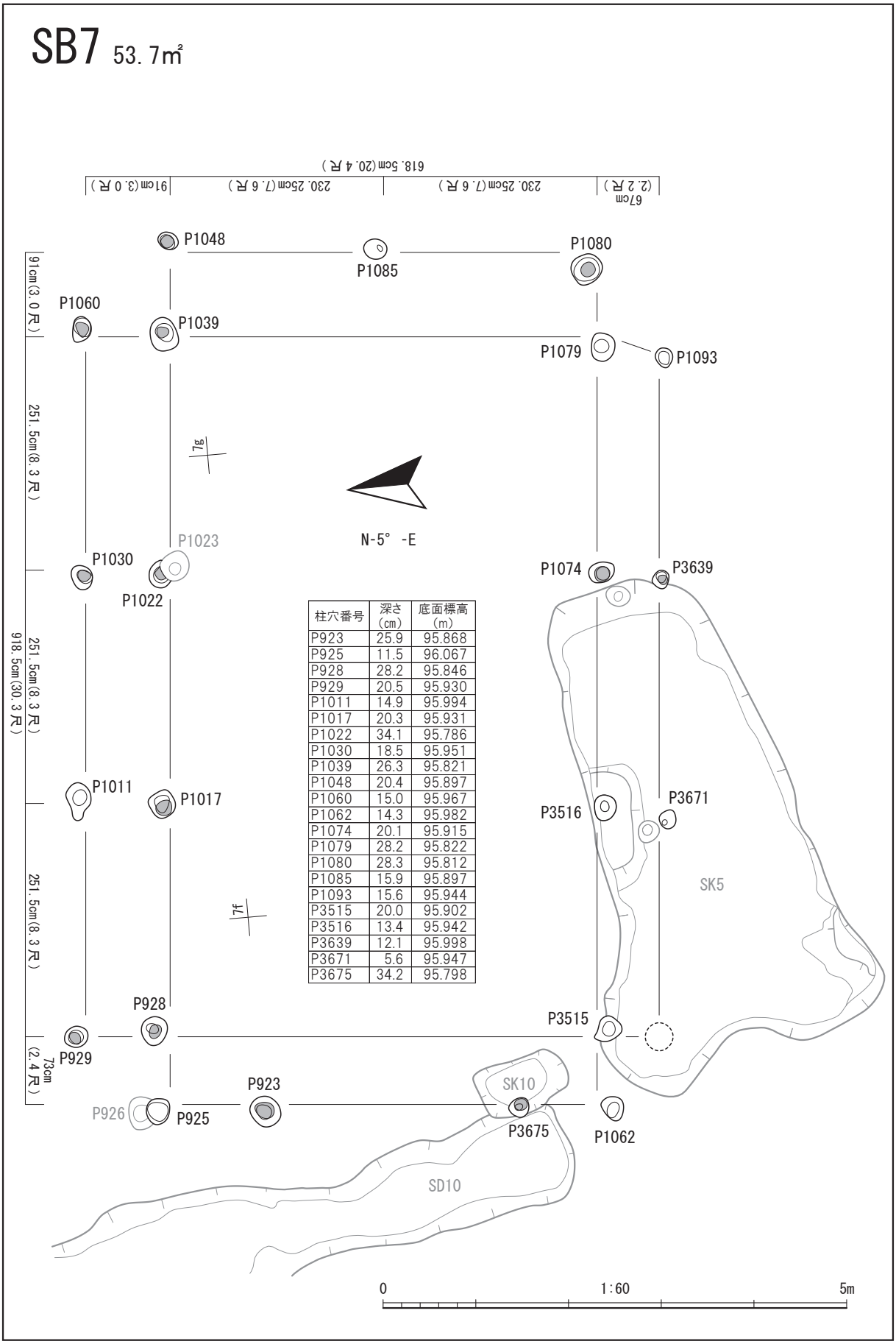
柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P924	30.3	95.831
P930	32.7	95.810
P1007	17.1	96.010
P1009	17.6	95.961
P1013	38.3	95.792
P1020	29.4	95.841
P1037	11.3	96.028
P1041	26.7	95.866
P1046	23.3	95.871
P1066	26.6	95.842
P1071	29.1	95.814
P1072	20.5	95.932
P1076	30.4	95.847
P1086	11.9	95.958
P1087	22.4	95.863

第 24 図　SB6

SB7（第 25 図　写真図版 23）	
位置　ⅠA5g、6e、6f、6g、7e、7f、7g　区画内部	**使用した柱穴**　22 個
桁行　918.5 cm（30.3 尺）	**梁間**　618.5 cm（20.4 尺）
面積　53.7㎡（16.3 坪）	**軸方向**　N-5°-E
柱間寸法　桁行身舎では 251.5 cm（8 尺 3 寸）を使用する。梁間身舎では 230.25 cm（7 尺 6 寸）を使用する。庇（下屋）の出は東側と北側が 91 cm（3 尺）、西側が 73 cm（2 尺 4 寸）、南側が 67 cm（2 尺 2 寸）を使用する。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB5、SK10　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB6、SB8、SK5、SK10、SK31	
754.5 cm（24 尺 9 寸）×460.5 cm（15 尺 2 寸）の身舎に、四面の庇（下屋）が付く構造である。身舎は間数で表現すると二間×三間となる。庇は四面に付くが、庇の接点（隅）に柱穴が無い形態である。直接の出土遺物はない。	
想定時期　6 期（1338～1374 年頃）の建物と想定する。	

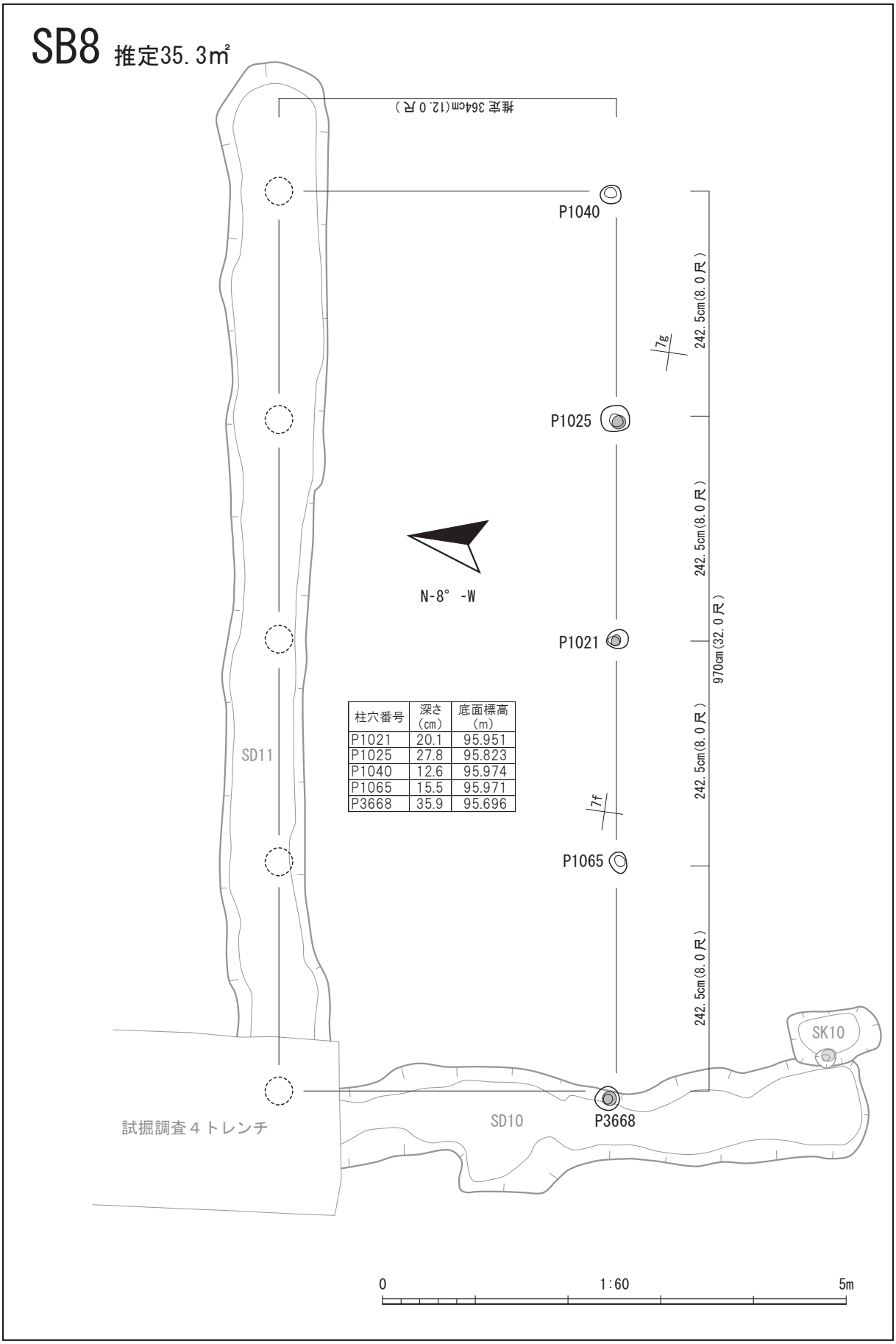
SB8（第 26 図　写真図版 23）	
位置　ⅠA6e、6f、7e、7f、7g　区画内部	**使用した柱穴**　5 個
桁行　970.0 cm（32.0 尺）	**梁間**　推定 364.0 cm（12.0 尺）
面積　推定 35.3㎡（10.7 坪）	**軸方向**　N-8°-W
柱間寸法　桁行では 242.5 cm（8 尺）を基準とする。梁間の長さは北辺の柱穴が損なわれているため不明であるが、8 尺の 1.5 倍の 364.0 cm（12 尺）と想定した。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SD10、SD11　**本建物と重複する遺構**：SB5、SB6、SB7	
南辺とした桁行に向かい合う柱列がなく、SD11 によって北辺の柱穴が損なわれていると判断した。SD11 の深さであれば、柱穴が失われていることも辻褄は合う。庇（下屋）の無い建物である。直接の出土遺物はない。	
想定時期　3 期（1227～1263 年頃）の建物と想定する。	

SB9（第 27 図　写真図版 24）	
位置　ⅠA6g、6h、7g、7h　区画内部	**使用した柱穴**　5 個
桁行　801.0 cm（26 尺 4 寸）	**梁間**　442.0 cm（14 尺 6 寸）
面積　推定 35.4㎡（10.7 坪）	**軸方向**　N-12°-W
柱間寸法　桁行では 267.0 cm（8 尺 8 寸）を使用している。梁間の総長は 442.0 cm（14 尺 6 寸）であるが、その半分の 221.0 cm（7 尺 3 寸）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SG1　**本建物と重複する遺構**：SK8、SK9、SK46、SX2	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で附属屋と推測される。桁行の柱間寸法は整然としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　1 期（1153～1189 年頃）の建物と想定する。	

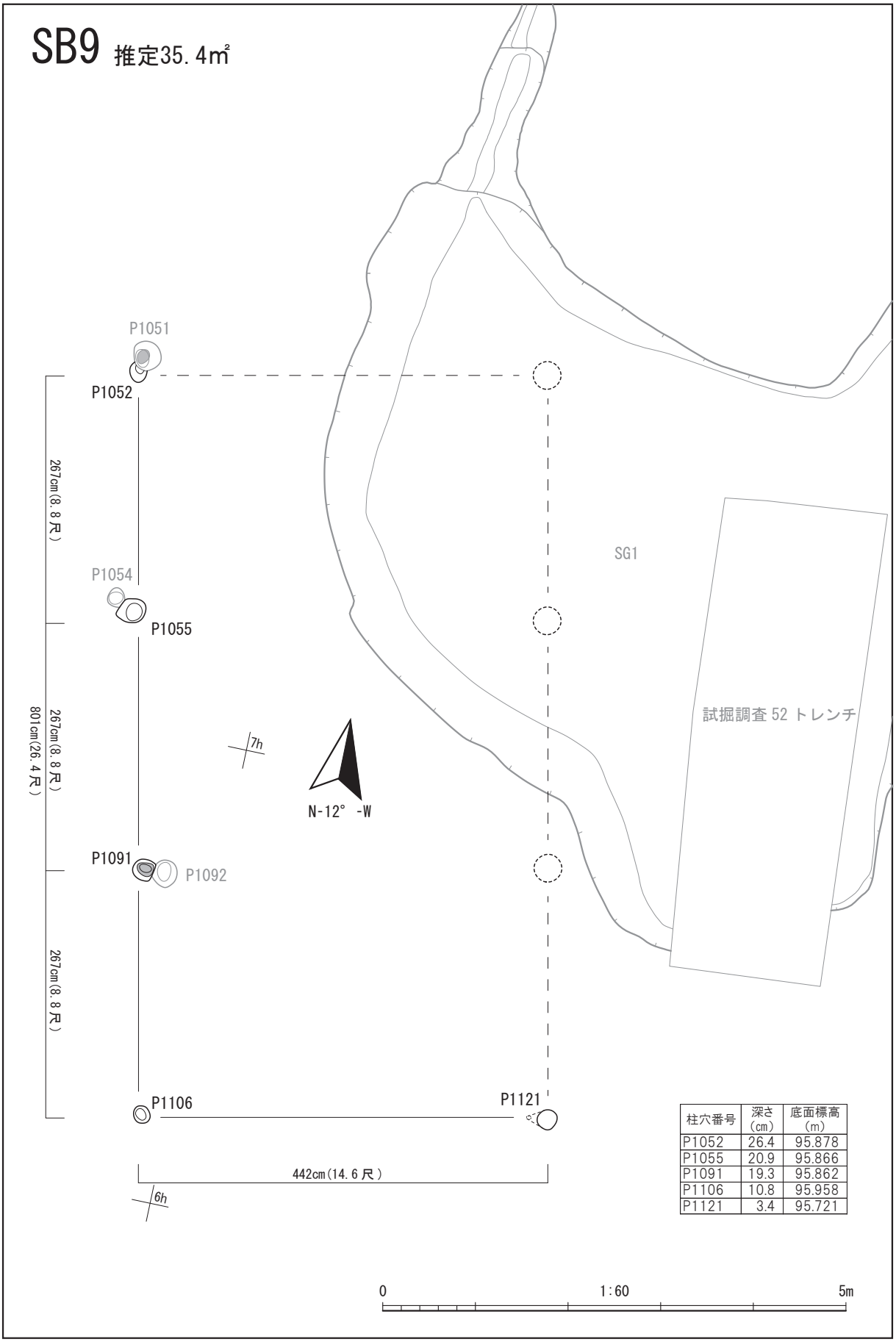


柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P923	25.9	95.868
P925	11.5	96.067
P928	28.2	95.846
P929	20.5	95.930
P1011	14.9	95.994
P1017	20.3	95.931
P1022	34.1	95.786
P1030	18.5	95.951
P1039	26.3	95.821
P1048	20.4	95.897
P1060	15.0	95.967
P1062	14.3	95.982
P1074	20.1	95.915
P1079	28.2	95.822
P1080	28.3	95.812
P1085	15.9	95.897
P1093	15.6	95.944
P3515	20.0	95.902
P3516	13.4	95.942
P3639	12.1	95.998
P3671	5.6	95.947
P3675	34.2	95.798

第 25 図　SB7


SB8 推定35.3㎡
推定 364cm(12.0尺)
P1040
P1025
P1021
P1065
P3668
242.5cm(8.0尺)
242.5cm(8.0尺)
242.5cm(8.0尺)
242.5cm(8.0尺)
970cm(32.0尺)
7g
7f
N-8° -W
柱穴番号 | 深さ(cm) | 底面標高(m)
P1021 | 20.1 | 95.951
P1025 | 27.8 | 95.823
P1040 | 12.6 | 95.974
P1065 | 15.5 | 95.971
P3668 | 35.9 | 95.696
SD11
SD10
SK10
試掘調査４トレンチ
0
1:60
5m

第 26 図　SB8



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P1052	26.4	95.878
P1055	20.9	95.866
P1091	19.3	95.862
P1106	10.8	95.958
P1121	3.4	95.721

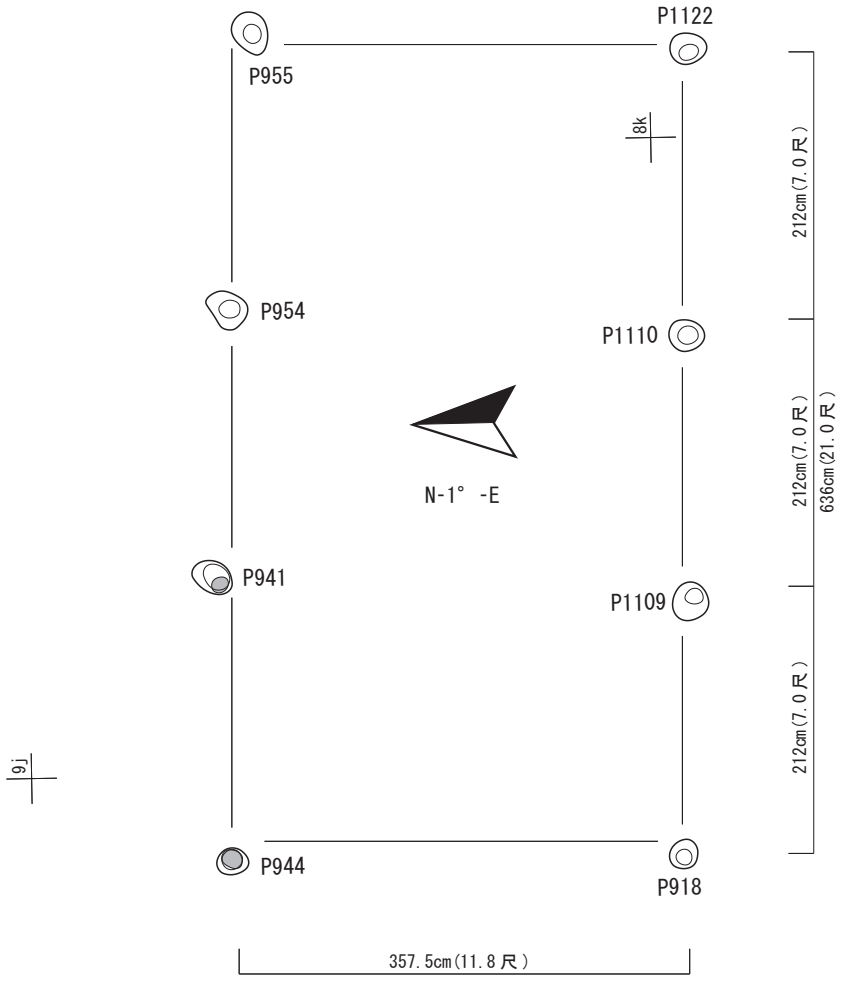
第 27 図　SB9

SB10（第 28 図　写真図版 24）	
位置　ⅠA7i、7j、7k、8i、8j、8k　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　636.0 cm（21 尺）	**梁間**　357.5 cm（11 尺 8 寸）
面積　22.7㎡（6.9 坪）	**軸方向**　N-1°-E
柱間寸法　桁行では 212.0 cm（7 尺）を使用している。梁間の総長は 357.5 cm（11 尺 8 寸）であるが、その半分の 178.5 cm（5 尺 9 寸）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB12、SB15	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で附属屋と推測される。桁行の柱間寸法は整然としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　2 期（1190～1226 年頃）の建物と想定する。	

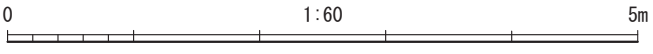
SB11（第 29 図　写真図版 25）	
位置　ⅠA6l、6m、7l、7m　区画内部	**使用した柱穴**　10 個
桁行　745.5 cm（24 尺 6 寸）	**梁間**　445.5 cm（14 尺 7 寸）
面積　33.2㎡（10.1 坪）	**軸方向**　N-3°-E
柱間寸法　桁行では 218.0 cm（7 尺 2 寸）を多用している。梁間の総長は 445.5 cm（14 尺 7 寸）であるが、その半分の 222.75 cm（7 尺 3 寸 5 分）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB25　**本建物と重複する遺構**：SB13、SB16、SB57、SB166	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋と推測する。柱間の寸法はあまり規則性が読み取れない。直接の出土遺物はない。	
想定時期　5 期（1301～1337 年頃）の建物と想定する。	

SB12（第 30 図　写真図版 25）	
位置　ⅠA7j、7k、8j、8k　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　627.0 cm（20 尺 7 寸）	**梁間**　388.0 cm（12 尺 8 寸）
面積　24.3㎡（7.4 坪）	**軸方向**　N-1°-E
柱間寸法　桁行では 209.0 cm（6 尺 9 寸）を使用する。梁間の総長は 388.0 cm（12 尺 8 寸）であるが、その半分の 194.0 cm（6 尺 4 寸）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB10、SB15、SB18	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で附属屋と推測される。桁行の柱間寸法は整然としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　8 期（1412～1448 年頃）の建物と想定する。	

SB10 22.7㎡

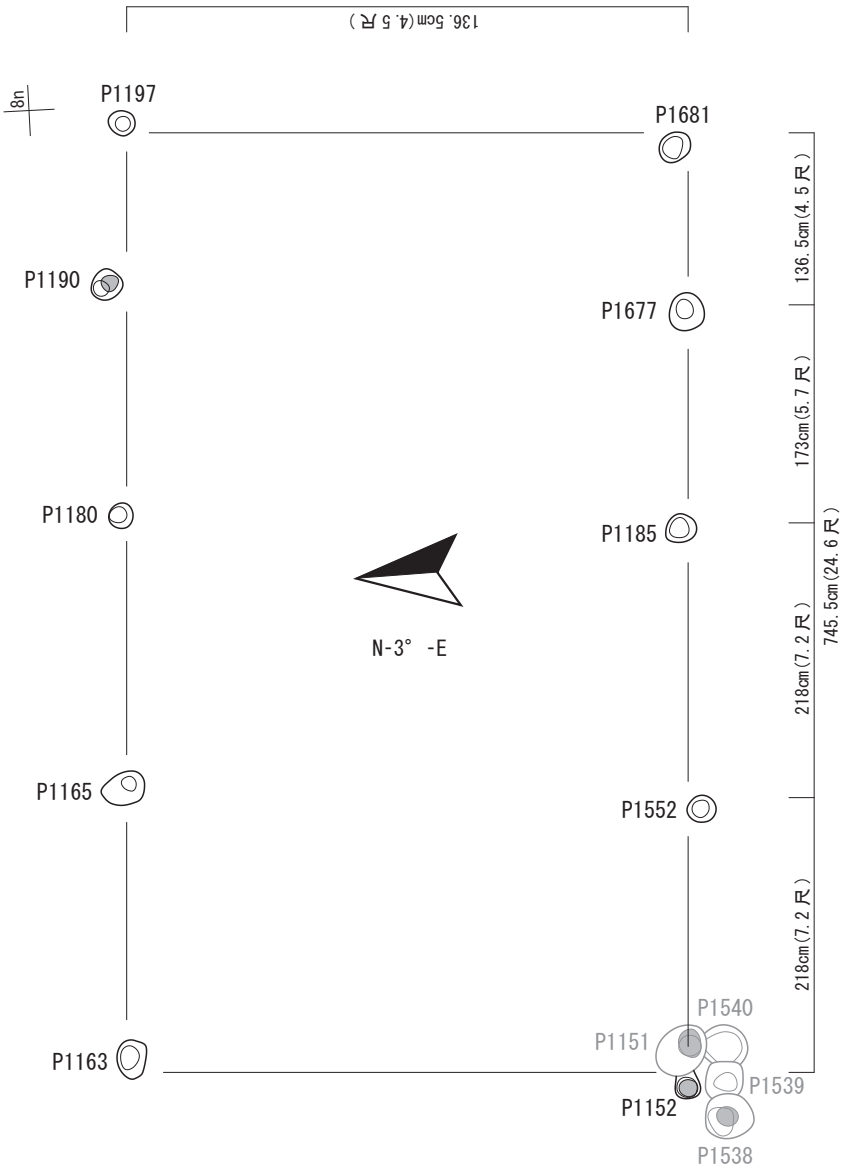


柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P918	24.0	95.781
P941	19.3	95.841
P944	15.0	95.903
P954	23.2	95.738
P955	26.2	95.711
P1109	28.1	95.741
P1110	22.4	95.699
P1122	18.3	95.734



第 28 図　SB10

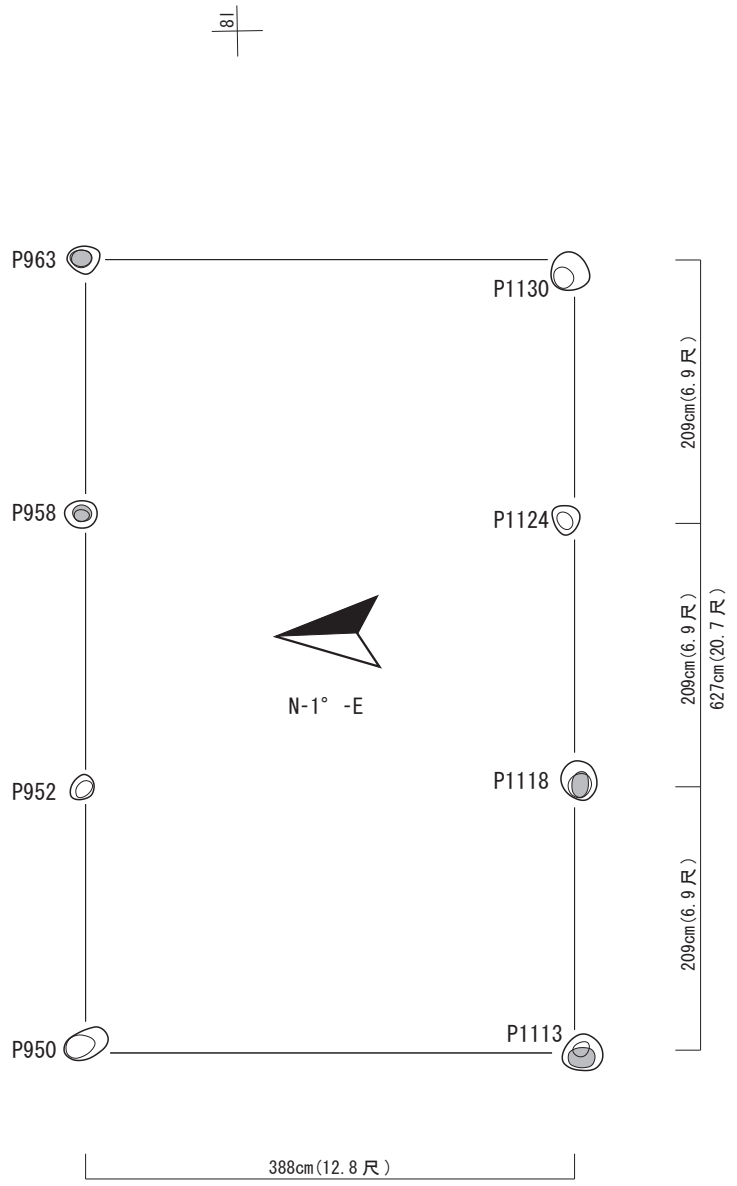
SB11 33.2㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1152	18.5	95.732
P1163	15.5	95.819
P1165	16.3	95.820
P1180	21.7	95.769
P1185	26.1	95.681
P1190	20.1	95.808
P1197	5.0	95.925
P1552	23.2	95.797
P1677	32.6	95.677
P1681	14.5	95.811

第29図　SB11

SB12 24.3㎡



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P950	23.2	95.842
P952	5.0	95.919
P958	9.9	95.871
P963	24.2	95.694
P1113	37.9	95.631
P1118	13.9	95.825
P1124	5.2	95.855
P1130	14.9	95.767

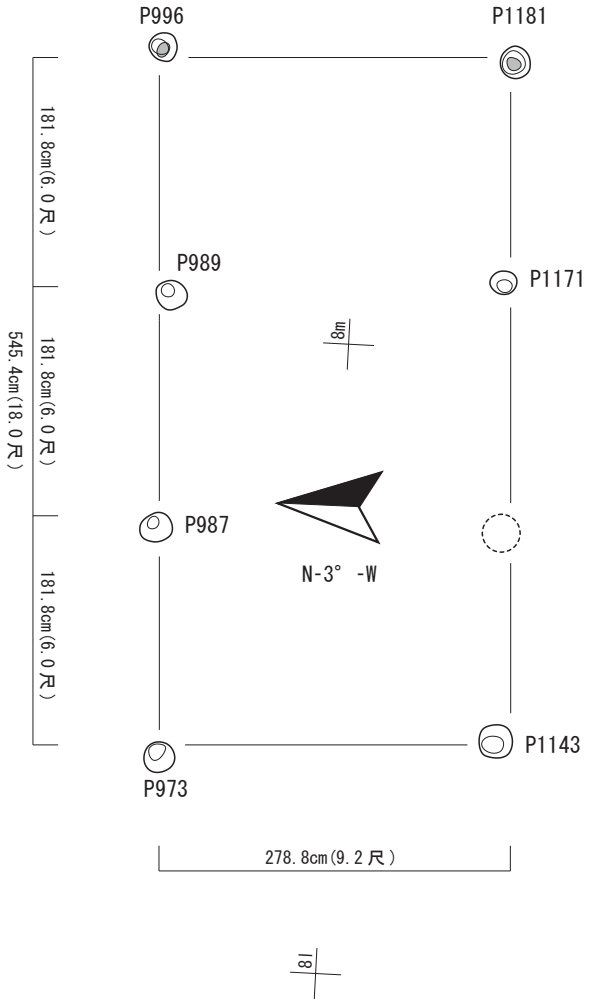
第30図　SB12

SB13（第 31 図　写真図版 26）	
位置　ⅠA7l、7m、8L、8m　区画内部	**使用した柱穴**　7 個
桁行　545.4 cm（18.0 尺）	**梁間**　278.8 cm（9.2 尺）
面積　15.2㎡（4.6 坪）	**軸方向**　N-3°-W
柱間寸法　桁行では 181.8 cm（6 尺）を基準とする。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB11、SB16、SB18、SB21	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で附属屋と推測される。桁行の柱間寸法は整然としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　1 期（1153～1189 年頃）の建物と想定する。	

SB14（第 32 図　写真図版 26）	
位置　ⅠA3i、3j、4i、4j、5i、5j　区画内部	**使用した柱穴**　17 個
桁行　1169.0 cm（38.6 尺）	**梁間**　546.0 cm（18.0 尺）
面積　63.8㎡（19.3 坪）	**軸方向**　N-4°-E
柱間寸法　桁行では 218.0 cm（7 尺 2 寸）と 257.5 cm（8 尺 5 寸）を基準とする。梁間では 182.0 cm（6 尺）を基準とする。	
重複　**本建物より古い遺構**：SK2　**本建物より新しい遺構**：SB1、SB17　**本建物と重複する遺構**：SB63、SB83、SI4、SI5、SK17	
中型の建物である。1169.0（38.6 尺）×364.0 cm（12.0 尺）の身舎の東側一面に庇が付く構造である。SI1 との前後関係は明確にし得なかったが、諸状況から本建物が古いと判断した。直接の出土遺物はない。	
想定時期　3 期（1227～1263 年頃）の建物と想定する。	

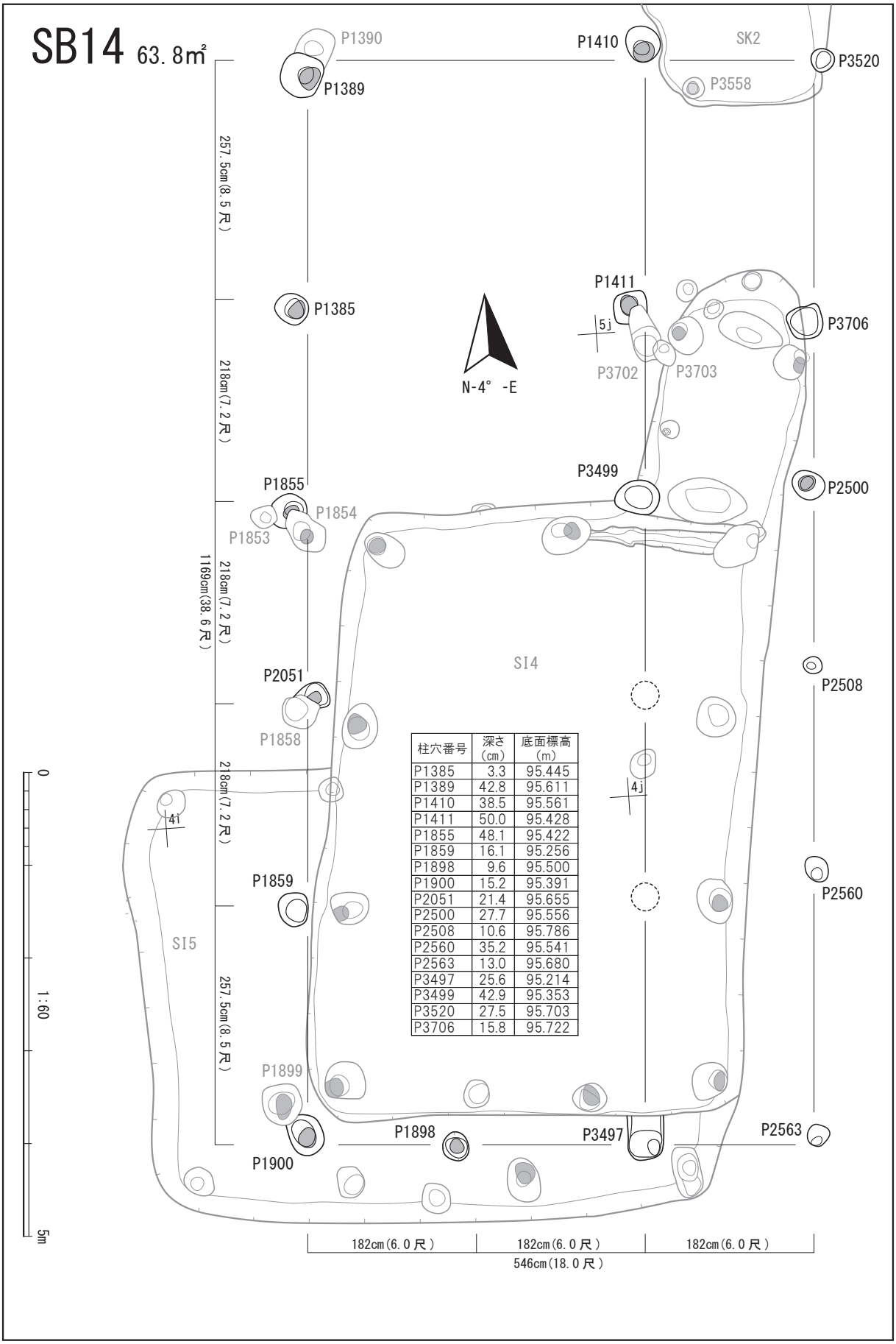
SB15（第 33 図　写真図版 27）	
位置　ⅠA7j、7k、8j、8k　区画内部	**使用した柱穴**　9 個
桁行　731.5 cm（24.15 尺）	**梁間**　418.0 cm（13.8 尺）
面積　30.6㎡（9.2 坪）	**軸方向**　N-2°-E
柱間寸法　桁行では 209.0 cm（6 尺 9 寸）を基準とする。桁行東端の柱間の梁間 104.5 cm（3 尺 4 寸 5 分）は 6 尺 9 寸の 1/2 の寸法である。梁間の 418.0 cm（13 尺 8 寸）も 209.0 cm（6 尺 9 寸）の 2 倍であり、基準は 209.0 cm（6 尺 9 寸）と理解される。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB10、SB12、SB18	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で附属屋と推測される。桁行の柱間寸法は整然としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB13 15.2㎡



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P973	19.5	95.817
P987	24.2	95.761
P989	33.8	95.661
P996	14.6	95.787
P1143	36.7	95.614
P1171	26.3	95.710
P1181	27.7	95.713

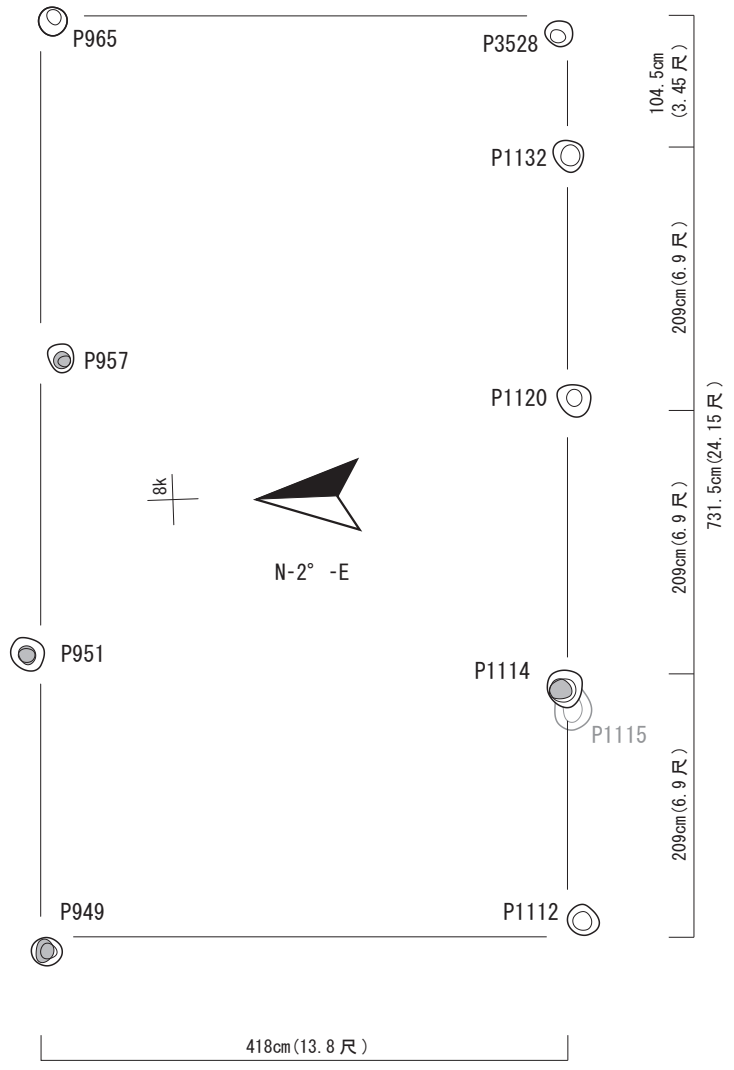
第31図　SB13



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P1385	3.3	95.445
P1389	42.8	95.611
P1410	38.5	95.561
P1411	50.0	95.428
P1855	48.1	95.422
P1859	16.1	95.256
P1898	9.6	95.500
P1900	15.2	95.391
P2051	21.4	95.655
P2500	27.7	95.556
P2508	10.6	95.786
P2560	35.2	95.541
P2563	13.0	95.680
P3497	25.6	95.214
P3499	42.9	95.353
P3520	27.5	95.703
P3706	15.8	95.722

第32図　SB14

SB15 30.6㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P949	10.5	95.941
P951	9.2	95.868
P957	6.7	95.899
P965	12.9	95.820
P1112	12.5	95.858
P1114	11.9	95.858
P1120	13.2	95.780
P1132	10.8	95.799
P3528	4.5	95.889

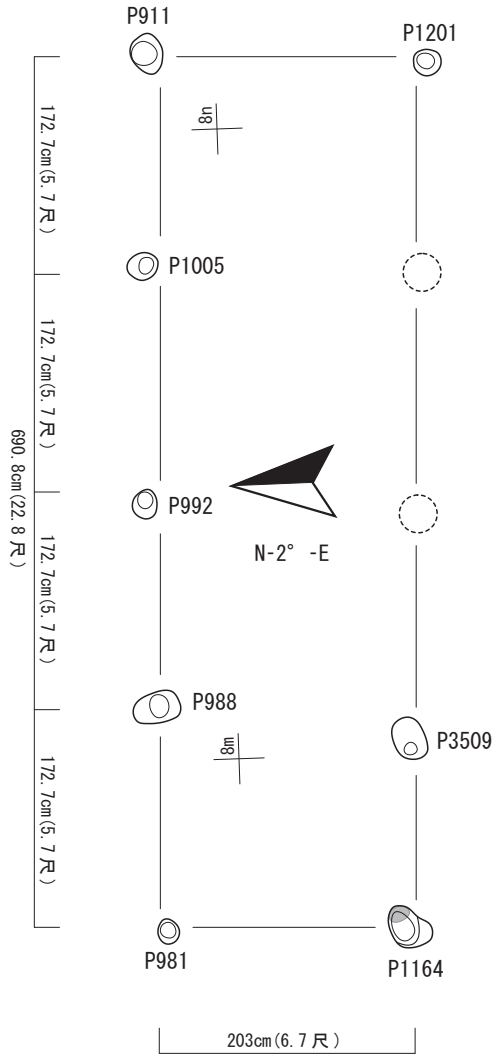
第33図　SB15

SB16（第 34 図　写真図版 27）	
位置　ⅠA7l、7m、7n、8l、8m、8n　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　690.8 cm（22.8 尺）	**梁間**　203.0 cm（6.7 尺）
面積　14.0㎡（4.2 坪）	**軸方向**　N-2°-E
柱間寸法　桁行では 172.7 cm（5 尺 7 寸）を使用している。梁間は 203 cm（6 尺 7 寸）であり、この寸法が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB11、SB13、SB21	
庇、下屋のない平面形である。梁間が一間分の長さしかなく、非常に小型の建物で、臨時的な建物である可能性も高い。桁行の柱間寸法は一応揃ってはいるが、柱筋が柱穴の中心を通らないものも多い。直接の出土遺物はない。	
想定時期　3 期（1227～1263 年頃）の建物と想定する。	

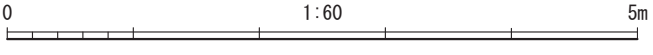
SB17（第 35 図　写真図版 28）	
位置　ⅠA4i、4j、5i、5j、6i、6j　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　957.5 cm（31.6 尺）	**梁間**　442.5 cm（14.6 尺）
面積　42.4㎡（12.8 坪）	**軸方向**　N-3°-E
柱間寸法　桁行では 206.0 cm（6 尺 8 寸）を多用する。梁間は総長 442.5 cm（14 尺 6 寸）で、その半分の 221.25 cm（7 尺 3 寸）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB14、SK2　**本建物より新しい遺構**：SI4、SK22　**本建物と重複する遺構**：SB1、SB63、SB83、SX6、SK1～4	
中型の建物であるが、庇、下屋のない平面形である。直接の出土遺物はない。附属屋と推測される。SK1、SK4 との前後関係は明確に把握できていないが、おそらく、本建物が新しいと推測する。	
想定時期　8 期（1412～1448 年頃）の建物と想定する。	

SB18（第 36 図　写真図版 28）	
位置　ⅠA7k、7l、8k、8l　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　627.0 cm（20 尺 7 寸）	**梁間**　367.0 cm（12 尺 1 寸）
面積　22.8㎡（6.9 坪）	**軸方向**　**桁行**　N-1°-W（90° 傾） **梁間**　N-5°-E
柱間寸法　桁行では 209.0 cm（6 尺 9 寸）を使用する。梁間は総長 367 cm（12 尺 1 寸）で、その半分の 183.5 cm（6 尺 5 分）が基準寸法であろうか	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB12、SB13、SB15、SB21	
桁行の軸方向と梁間の軸方向で角度が異なり、平行四辺形の平面を呈する建物である。平行四辺形の平面であるが、寸法は整然としている。小型の建物で附属屋と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　7 期（1375～1411 年頃）の建物と想定する。	

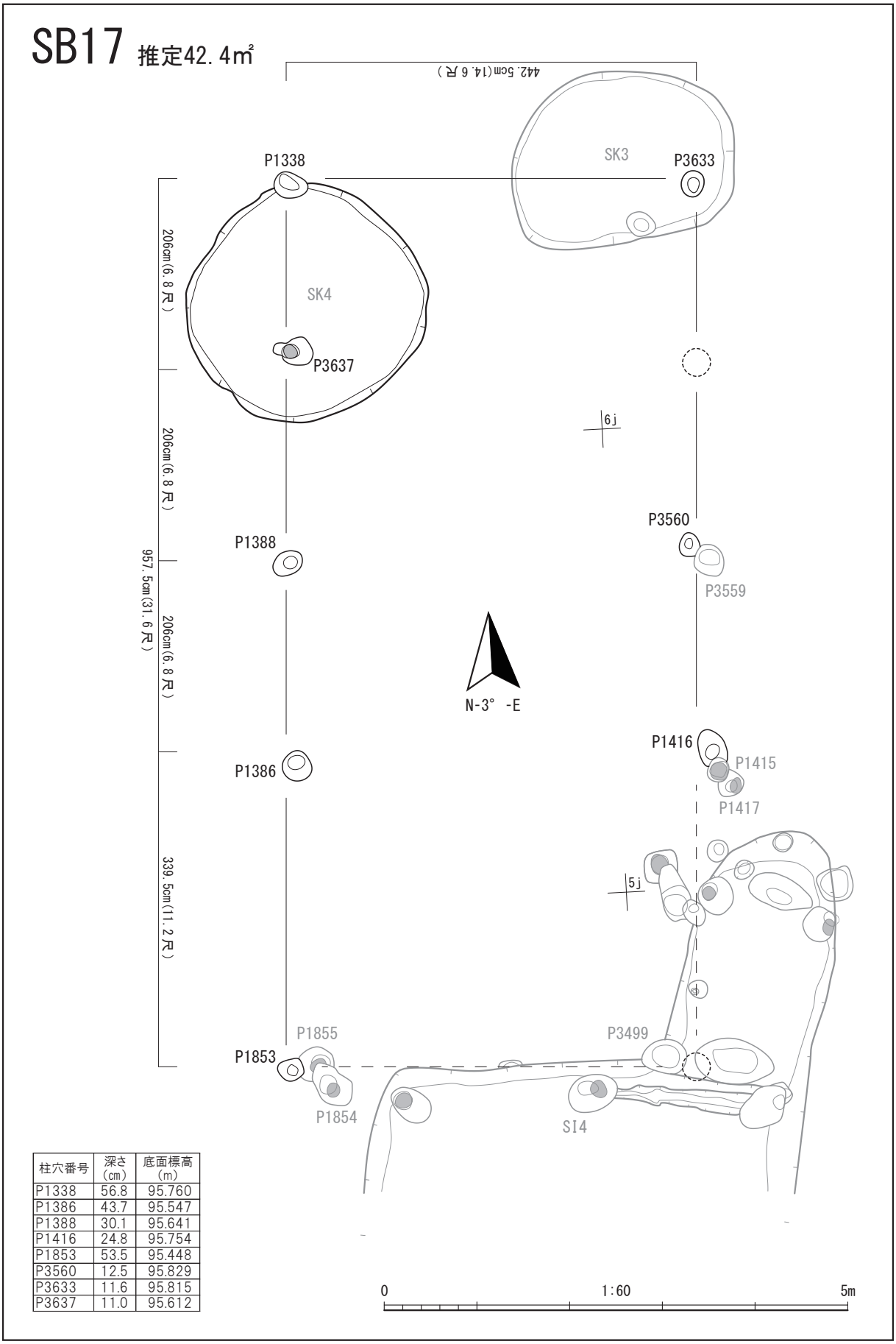
SB16 14.0㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P911	16.3	95.791
P981	22.2	95.791
P988	37.6	95.610
P992	14.5	95.826
P1005	15.3	95.783
P1164	48.7	95.511
P1201	17.9	95.796
P3509	22.9	95.748



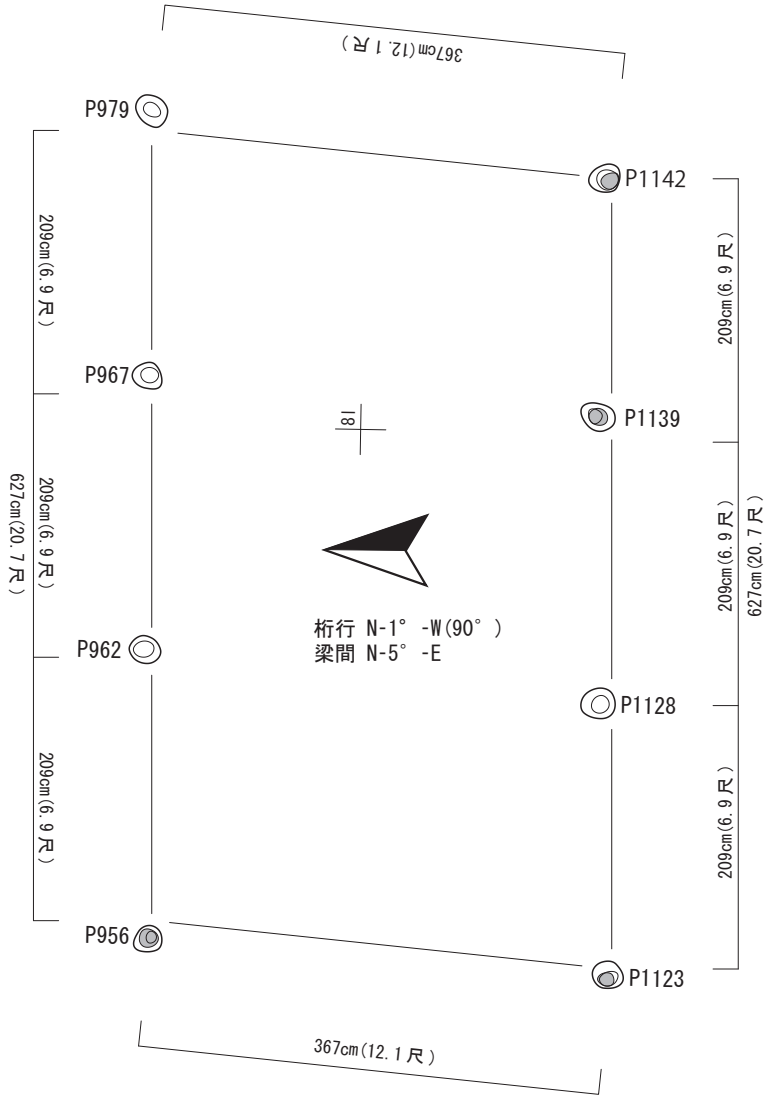
第34図　SB16



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P1338	56.8	95.760
P1386	43.7	95.547
P1388	30.1	95.641
P1416	24.8	95.754
P1853	53.5	95.448
P3560	12.5	95.829
P3633	11.6	95.815
P3637	11.0	95.612

第35図　SB17

SB18 22.8㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P956	7.6	95.865
P962	26.1	95.697
P967	24.9	95.770
P979	16.4	95.858
P1123	13.6	95.756
P1128	21.4	95.697
P1139	26.7	95.693
P1142	37.4	95.587

0　1:60　5m

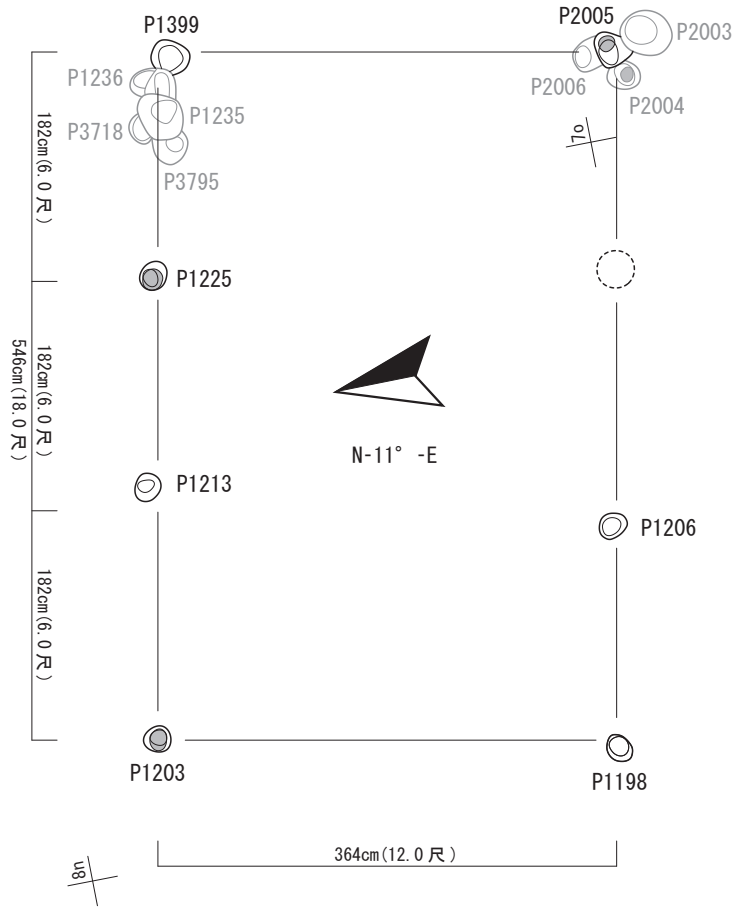
第36図　SB18

SB19（第 37 図　写真図版 29）	
位置　ⅠA6o、7n、7o　区画内部	**使用した柱穴**　7 個
桁行　546.0 cm（18 尺）	**梁間**　364.0 cm（12 尺）
面積　19.9㎡（6.0 坪）	**軸方向**　N-11°-E
柱間寸法　桁行では 182.0 cm（6 尺）を基準とする。梁間の 364.0 cm（12 尺）も 182.0 cm（6 尺）の 2 倍であり、基準は 182.0 cm（6 尺）と理解される。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB138　**本建物より新しい遺構**：SB3　**本建物と重複する遺構**：SB52、SB66、SB78、SB82	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で附属屋と推測される。桁行、梁間の柱間寸法 6 尺の基準で整然としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　6 期（1338～1374 年頃）の建物と想定する。	

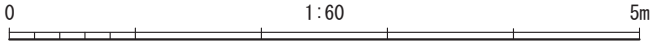
SB20（第 38 図　写真図版 29）	
位置　ⅠA8m、9m　区画内部	**使用した柱穴**　6 個
桁行　272.5 cm（9 尺）	**梁間**　212.0 cm（7 尺）
面積　5.8㎡（1.8 坪）	**軸方向**　N-1°-W
柱間寸法　均一な柱間寸法ではないが、いずれも 30.3 cm(1 尺)の倍数の寸法であり、30.3 cm(1 尺)を基準にしていると理解される。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　　**本建物と重複する遺構**：SD5	
非常に小規模な建物である。居館の区画溝 SD と接しており、位置、規模と形状から、門あるいは櫓の可能性が想定される。	
想定時期　6 期（1338～1374 年頃）の建物と想定する。	

SB21（第 39 図　写真図版 30）	
位置　ⅠA7m、8k、8l、8m　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　609.0 cm（20 尺 1 寸）	**梁間**　460.5 cm（15 尺 2 寸）
面積　27.9㎡（8.5 坪）	**軸方向**　**桁行**　N-3°-W（90° 傾） **梁間**　N-9°-E
柱間寸法　桁行では 203.0 cm（6 尺 7 寸）を基準とする。梁間は総長 460.5 cm（15 尺 2 寸）であり、その半分の 230.25 cm（7 尺 6 寸）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB13、SB16、SB18	
桁行の軸方向と梁間の軸方向で角度が異なり、平行四辺形の平面を呈する建物である。平行四辺形の平面であるが、寸法は整然としている。小型の建物で附属屋と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　4 期（1264～1300 年頃）の建物と想定する。	

SB19 19.9㎡

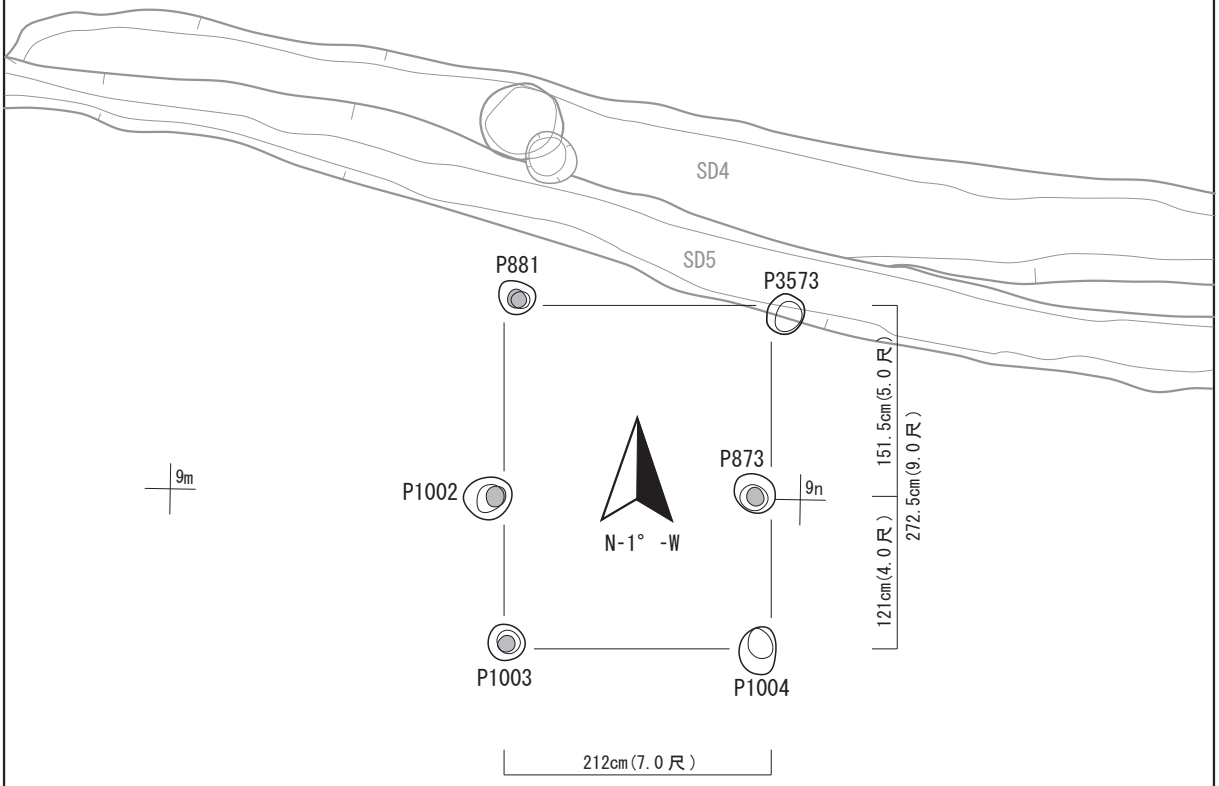


柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P1198	23.1	95.739
P1203	16.7	95.822
P1206	6.2	95.838
P1213	6.0	95.922
P1225	16.2	95.784
P1399	7.3	95.895
P2005	12.5	95.821



第37図　SB19

SB20 5.8㎡

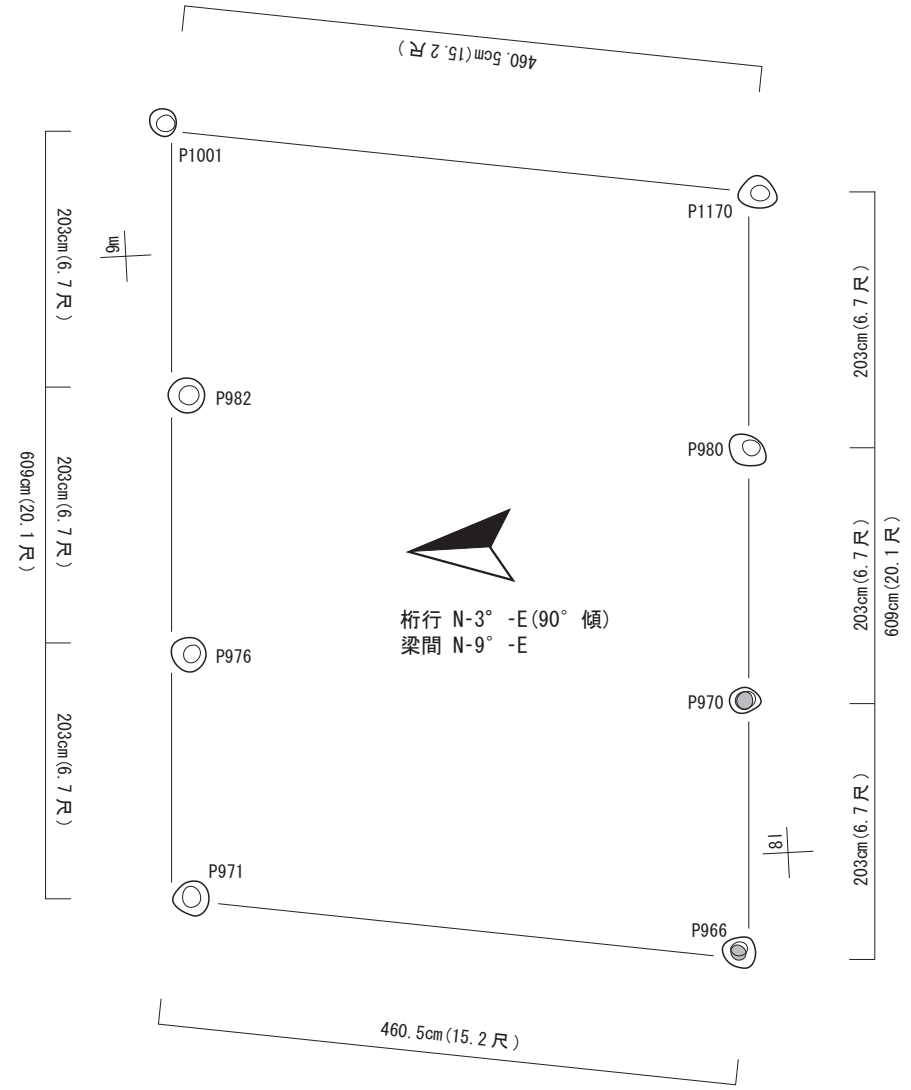


柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P873	35.2	95.621
P881	16.4	95.827
P1002	12.9	95.818
P1003	11.1	95.839
P1004	12.8	95.811
P3573	24.4	95.656

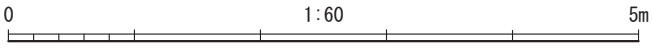
0　1:60　5m

第 38 図　SB20

SB21 27.9㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P966	23.9	95.724
P970	23.2	95.765
P971	2.4	95.915
P976	10.2	95.878
P980	36.1	95.687
P982	19.2	95.793
P1001	2.5	95.908
P1170	37.5	95.596



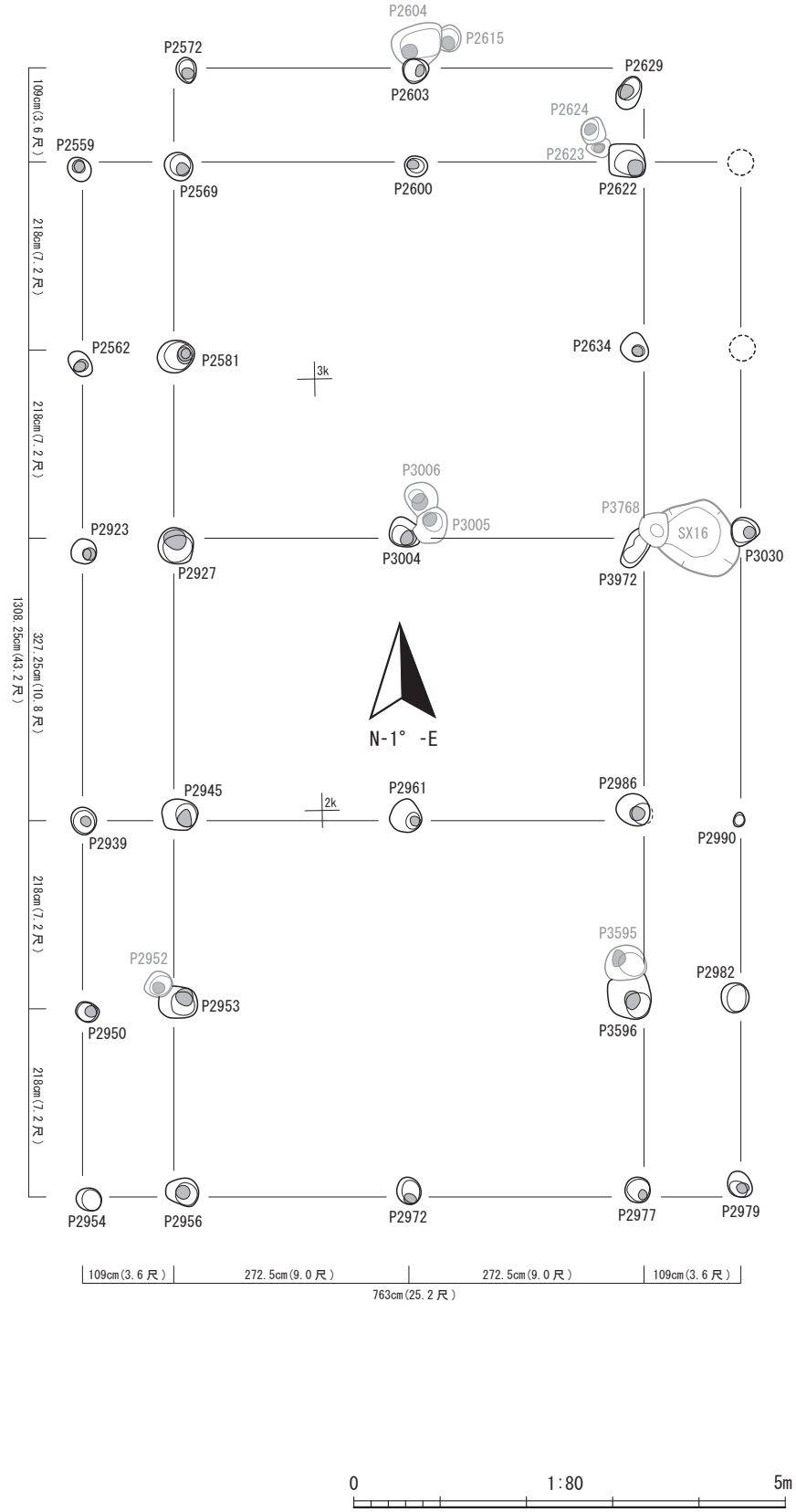
第 39 図　SB21

SB22（第 40 図　写真図版 31）	
位置　ⅠA1j、1k、2j、2k、3j、3k　区画内部	**使用した柱穴**　29 個
桁行　1308.25 cm（43 尺 2 寸）	**梁間**　763.0 cm（25 尺 2 寸）
面積　97.4㎡（29.5 坪）	**軸方向**　N-1°-E
柱間寸法　桁行では 218.0 cm（7 尺 2 寸）を基準とする。一部 10 尺 8 寸の柱間寸法が用いられるが、これは 7 尺 2 寸の 1.5 倍の寸法である。また、3 尺 6 寸の部分は 7 尺 2 寸の 1/2 の寸法である。梁間の身舎の基準寸法は 272.5 cm（9 尺）で、庇の出は 109.0 cm（3 尺 6 寸）である。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB70、SB168、SX16　**本建物より新しい遺構**：SB40　**本建物と重複する遺構**：SB2、SB27、SB31、SB35、SB37、SB48、SB53、SB58、SB64、SB167、SX17	
大型の建物で、居館の主殿と推測する。545.0（18 尺）×1199.25 cm（39 尺 6 寸）の身舎に三面庇（下屋）の構造と理解される。桁行の庇の出が東西ともに 109.0 cm（3 尺 6 寸）、梁間の北側の庇の出も 109.0 cm（3 尺 6 寸）と寸法が整っている。庇の隅柱が無い形態である。身舎は P3004、P2961 の存在から、三室にの間取りを想定した。他の遺構との重複、切り合い関係などから、14 世紀第 4 四半期～15 世紀初頭頃（1375～1411 年頃）の建物と想定する。P3030 の柱痕から土師器長胴甕と思われる破片（不掲載遺物㉑）が出土している。	
想定時期　7 期（1375～1411 年頃）の建物と想定する。	

SB23（第 41 図　写真図版 32）	
位置　ⅠA3l、3m、4l、4m、5l、5m、5n　区画内部	**使用した柱穴**　23 個
桁行　1121.0 cm（37 尺）	**梁間**　745.0 cm（24 尺 6 寸）
面積　80.4㎡（24.3 坪）	**軸方向**　N-5°-E
柱間寸法　桁行では 227.5 cm（7 尺 5 寸）が多用され、基準寸法と理解される。梁間の身舎の基準寸法は 257.5 cm（8 尺 5 寸）で、庇の出は 115.0 cm（3 尺 8 寸）である。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB34、SB69、SB94、SB100、SB151、SB167、SB168、SX9　**本建物より新しい遺構**：SB45、**本建物と重複する遺構**：SB2、SB27、SB31、SB35、SB37、SB43、SB48、SB53、SB58、SB64、SB74、SB77、SB166、SX11、SX15	
やや大型の建物で、屋敷の主屋と推測する。678.7（22.4 尺）×515.0 cm（17 尺）の身舎に三面庇（下屋）の構造と理解される。庇の隅柱が無い形態である。本建物より古い SX9 から採取した炭素の AMS 測定年代は「西暦 1433～1489 年」とされており、本建物は 16 世紀前半～中頃（1523～1559 年頃）の建築と想定する。直接の出土遺物はない。SB43、SB74、SB77 と柱穴が重複するが前後関係を把握できなかった。	
想定時期　11 期（1523～1559 年頃）の建物と想定する。	

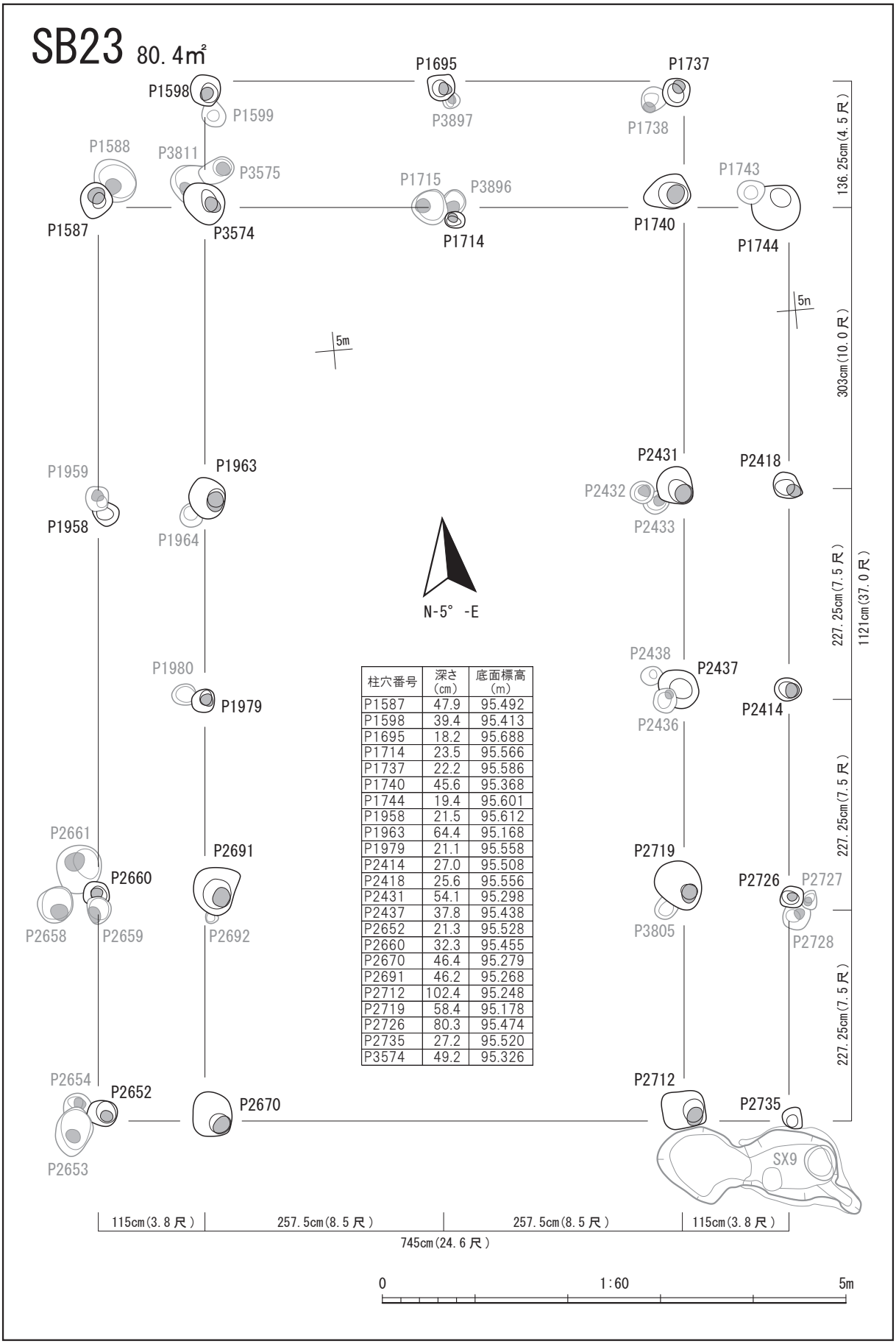
SB24（第 42 図　写真図版 30）	
位置　ⅠA1p、2p、2q　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　564.0 cm（18 尺 6 寸）	**梁間**　282.0 cm（9 尺 3 寸）
面積　15.9㎡（4.8 坪）	**軸方向**　N-19°-W
柱間寸法　桁行では 188.0 cm（6 尺 2 寸）を使用する。梁間の柱間寸法 282.0 cm（9 尺 3 寸）は、6 尺 2 寸の 1.5 倍で、梁間も 188.0 cm（6 尺 2 寸）を準拠していると理解される。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB68　**本建物より新しい遺構**：SB41　**本建物と重複する遺構**：SB32、SB36、SB47、SB59、SB76、SB81、SB88、SB90、SB92、SB95、SX101	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で附属屋と推測される。桁行、梁間の柱間寸法 6 尺 2 寸の基準で整然としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB22 97.4㎡



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P2559	23.3	95.618
P2562	20.3	95.613
P2569	55.1	95.298
P2572	22.7	95.616
P2581	56.8	95.234
P2600	19.9	95.563
P2603	15.4	95.614
P2622	60.3	95.130
P2629	21.3	95.540
P2634	12.7	95.598
P2923	82.5	95.525
P2927	92.1	95.386
P2939	25.5	95.578
P2945	66.3	95.193
P2950	17.8	95.598
P2953	50.1	95.297
P2954	22.9	95.495
P2956	24.5	95.477
P2961	31.9	95.478
P2972	19.5	95.532
P2977	13.0	95.535
P2979	10.9	95.583
P2982	4.8	95.728
P2986	56.5	95.218
P2990	15.4	95.592
P3004	28.0	95.517
P3030	45.3	95.279
P3596	56.1	95.179
P3972	10.3	95.588

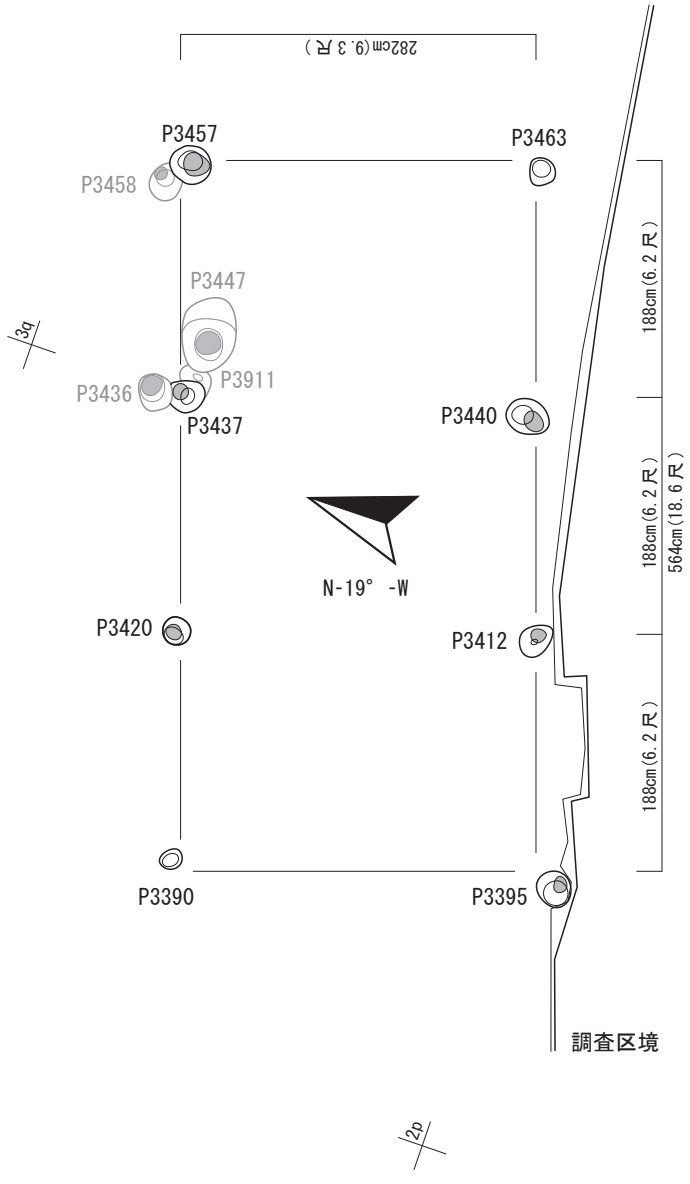
第 40 図　SB22



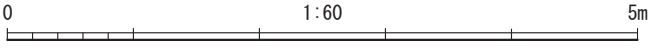
柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P1587	47.9	95.492
P1598	39.4	95.413
P1695	18.2	95.688
P1714	23.5	95.566
P1737	22.2	95.586
P1740	45.6	95.368
P1744	19.4	95.601
P1958	21.5	95.612
P1963	64.4	95.168
P1979	21.1	95.558
P2414	27.0	95.508
P2418	25.6	95.556
P2431	54.1	95.298
P2437	37.8	95.438
P2652	21.3	95.528
P2660	32.3	95.455
P2670	46.4	95.279
P2691	46.2	95.268
P2712	102.4	95.248
P2719	58.4	95.178
P2726	80.3	95.474
P2735	27.2	95.520
P3574	49.2	95.326

第41図　SB23

SB24 15.9㎡



柱穴番号	深さ（cm）	底面標高（m）
P3390	6.0	95.680
P3395	25.2	95.493
P3412	41.2	95.311
P3420	42.8	95.327
P3437	38.3	95.374
P3440	44.8	95.258
P3457	34.8	95.389
P3463	25.7	95.429



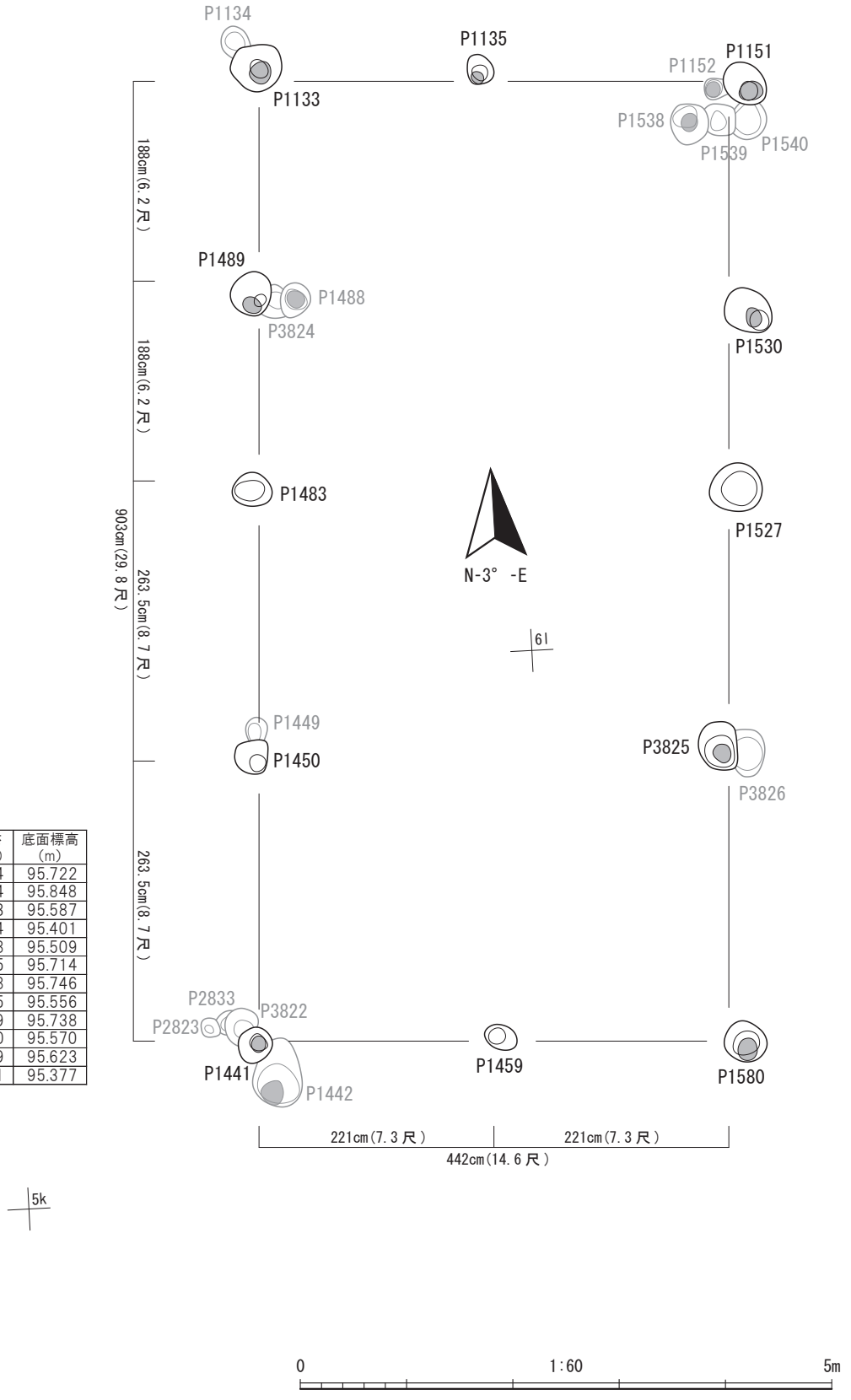
第 42 図　SB24

SB25（第 43 図　写真図版 33）	
位置　ⅠA5k、5l、6k、6l、7k、7l　区画内部	**使用した柱穴**　12 個
桁行　903.0 cm（29 尺 8 寸）	**梁間**　442.0 cm（14 尺 6 寸）
面積　39.9㎡（12.1 坪）	**軸方向**　N-3°-E
柱間寸法　桁行では 188.0 cm（6 尺 2 寸）と 263.5 cm（8 尺 7 寸）を使用している。梁間は 221.0 cm（7 尺 3 寸）を使用している。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB11、SB37、SB42、SB167　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB2、SB31、SB46、SB53、SB60、SB63、SB69、SB71、SB77、SB80、SB99、SB141、SB166、SB168、SX18	
庇、下屋のない平面形である。やや小型の建物で、附属屋と推測される。桁行、梁間の柱間寸法は概ね整然としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　10 期（1486～1522 年頃）の建物と想定する。	

SB26（第 44 図　写真図版 33）	
位置　ⅠA2q、3p、3q、4p、4q、5q　区画内部	**使用した柱穴**　9 個
桁行　1045.0 cm（34 尺 5 寸）	**梁間**　469.5 cm（15 尺 5 寸）
面積　49.1㎡（14.8 坪）	**軸方向**　N-12°-E
柱間寸法　桁行では 212.0 cm（7 尺）を多用する。桁行、梁間のいずれの柱間も 5 寸で割り切れる寸法を用いており、5 寸単位を基準とした可能性もある。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB4　**本建物より新しい遺構**：SD8　**本建物と重複する遺構**：SB32、SB36、SB41、SB47、SB59、SB65、SB68、SB92、SB93、SB155	
庇、下屋のない平面形である。中型の建物で、附属屋と推測される。桁行、梁間の柱間寸法は概ね整然としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　6 期（1338～1374 年頃）の建物と想定する。	

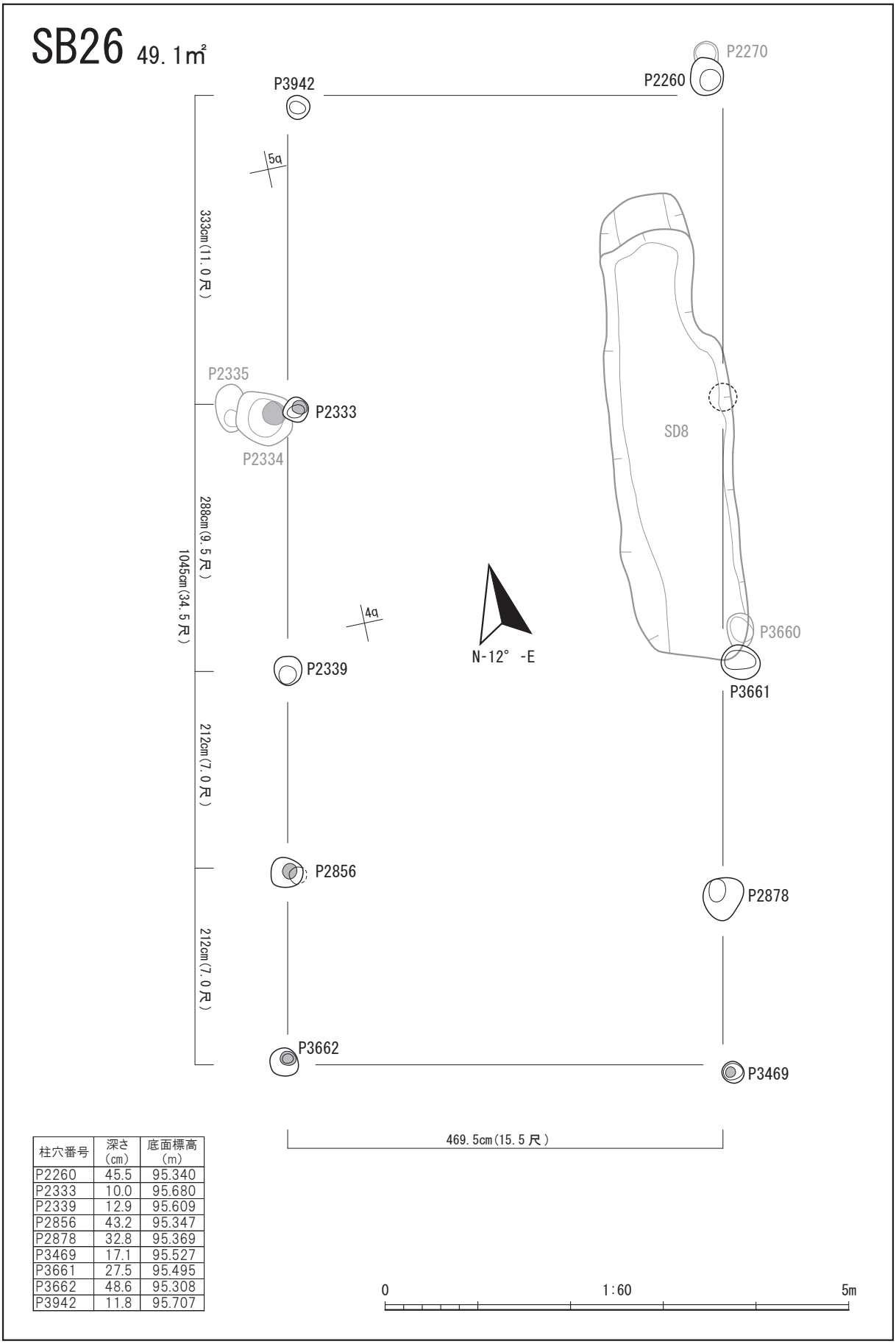
SB27（第 45 図　写真図版 34）	
位置　ⅠA2k、2l、3k、3l、4k、4l　区画内部	**使用した柱穴**　12 個
桁行　1060.0 cm（35 尺）	**梁間**　400.0 cm（13 尺 2 寸）
面積　42.4㎡（12.8 坪）	**軸方向**　N-0°
柱間寸法　桁行では 212.0 cm（7 尺）を基準とする。梁間は 400.0 cm（13 尺 2 寸）であり、その 1/2 の 200.0 cm（6 尺 6 寸）が基準と推測される。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB69、SB166　**本建物より新しい遺構**：SB2、SB40　**本建物と重複する遺構**：SB22、SB31、SB37、SB48、SB53、SB58、SB64、SB70、SB83、SB167、SB168、SI1、SX16	
庇、下屋のない平面形である。中型の建物で、附属屋と推測される。桁行の柱間寸法は 7 尺と整然としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB25 39.9㎡



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P1133	18.4	95.722
P1135	4.4	95.848
P1151	33.3	95.587
P1441	36.4	95.401
P1450	38.8	95.509
P1459	72.5	95.714
P1483	11.8	95.746
P1489	30.5	95.556
P1527	68.9	95.738
P1530	5.0	95.570
P1580	62.9	95.623
P3825	47.1	95.377

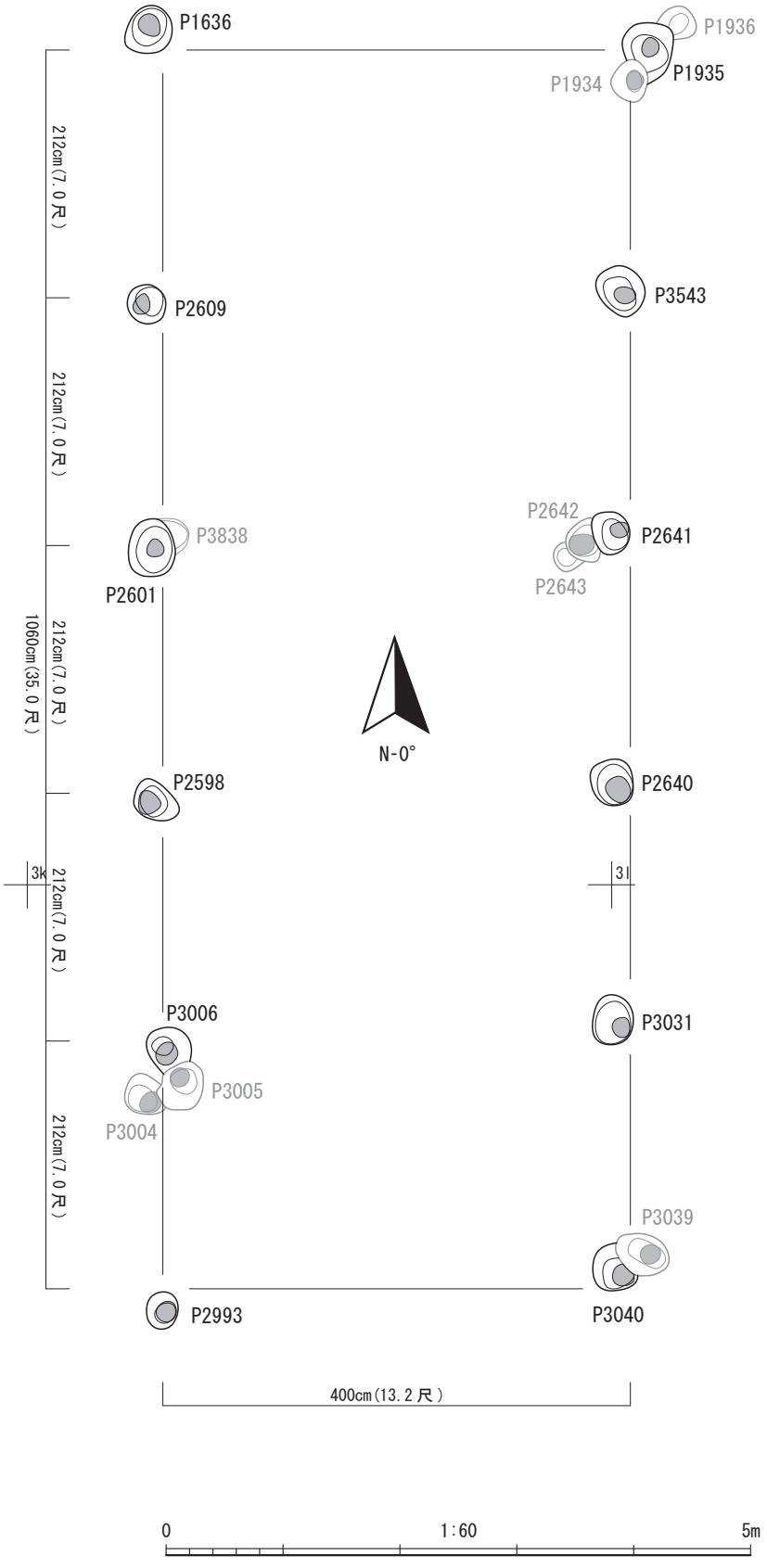
第43図　SB25



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2260	45.5	95.340
P2333	10.0	95.680
P2339	12.9	95.609
P2856	43.2	95.347
P2878	32.8	95.369
P3469	17.1	95.527
P3661	27.5	95.495
P3662	48.6	95.308
P3942	11.8	95.707

第 44 図　SB26

SB27 42.4㎡



柱穴番号	深さ（cm）	底面標高（m）
P1636	29.3	95.481
P1935	29.9	95.438
P2598	7.8	95.708
P2601	28.4	95.471
P2609	15.2	95.624
P2640	30.2	95.403
P2641	34.2	95.393
P2993	43.5	95.335
P3006	26.0	95.509
P3031	23.8	95.506
P3040	26.7	95.418
P3543	21.4	95.421

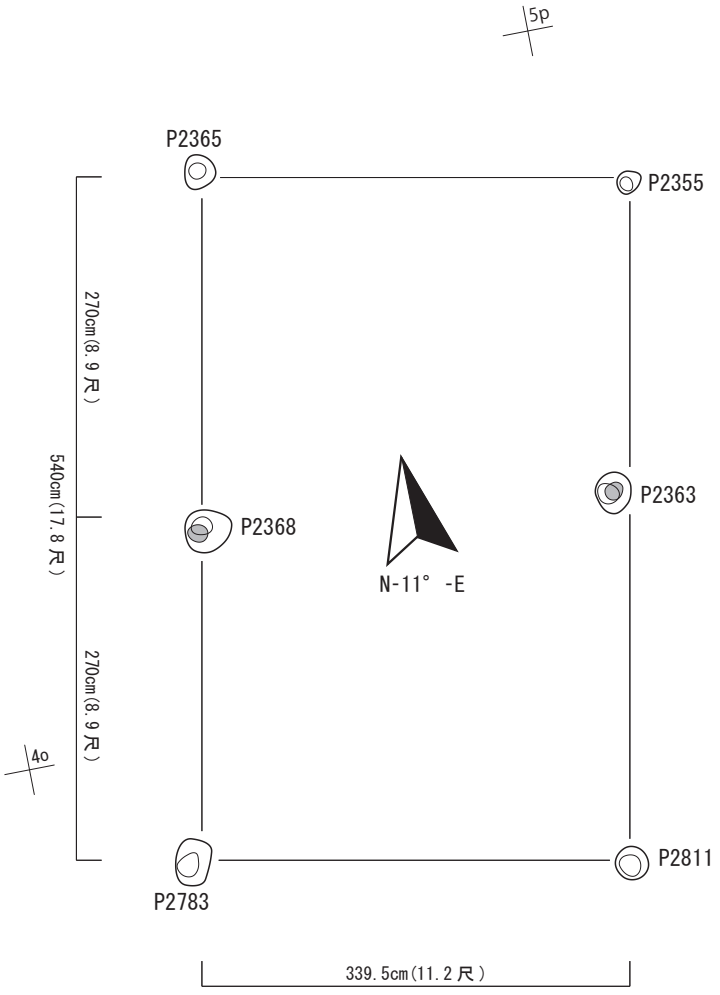
第45図　SB27

SB28（第 46 図　写真図版 34）	
位置　ⅠA3o、4o、4p　区画内部	**使用した柱穴**　6 個
桁行　540.0 cm（17 尺 8 寸）	**梁間**　339.5 cm（11 尺 2 寸）
面積　18.3㎡（5.5 坪）	**軸方向**　N-11°-E
柱間寸法　桁行では 270.0 cm（8 尺 9 寸）を使用する。梁間は 339.5 cm（11 尺 2 寸）で、8 尺 9 寸の 1.25 倍に近似し（実際は 1.258 倍）、8 尺 9 寸に準拠している可能性が高い。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB44、SB59、SB65、SB85、SB88、SB92、SX5	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋と推測される。臨時の建物の可能性も高い柱間寸法は概ね整っている。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

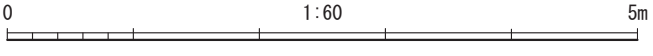
SB29（第 47 図　写真図版 35）	
位置　ⅠA4m、4n、5m、5n、6m　区画内部	**使用した柱穴**　10 個
桁行　969.0 cm（32.0 尺）	**梁間**　485.0 cm（16.0 尺）
面積　47.0㎡（14.2 坪）	**軸方向**　N-8°-W
柱間寸法　桁行では 212.0 cm（7 尺）を多用する。梁間は 485.0 cm（16 尺）であり、その 1/2 の 242.5 cm（8 尺）が基準と推測される。桁行、梁間のいずれの柱間も 1 尺で割り切れる寸法を用いており、1 尺単位を基準とした可能性が高い。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB2　**本建物と重複する遺構**：SB23、SB39、SB42、SB45、SB46、SB48、SB57、SB67、SB69、SB74、SB77、SB87、SB91、SB94、SB97、SB145、SB147、SB151、SB166、SB168、SK63	
庇、下屋のない平面形である。中型の建物で、附属屋と推測される。桁行、梁間の柱間寸法は概ね整然としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。SB145 と SB166 とは柱穴が重複するが前後関係を明確にできなかった。	
想定時期　1 期（1153～1189 年頃）の建物と想定する。	

SB30（第 48 図　写真図版 35、36）	
位置　ⅠA1o、1p、2o、2p、3o、3p　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　621.0 cm（20 尺 5 寸）	**梁間**　304.5 cm（10 尺 5 分）
面積　18.9㎡（5.7 坪）	**軸方向**　N-10°-E
柱間寸法　桁行では 203.0 cm（6 尺 7 寸）を多用する。梁間の寸法 304.5 cm（10 尺 5 分）は 6 尺 7 寸の 1.5 倍であり、203.0 cm（6 尺 7 寸）に準拠した可能性が高い。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB84、SK62　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB38、SB44、SB47、SB49、SB54、SB59、SB62、SB72、SB76、SB79、SB81、SB88、SB90、SB92、SB95、SD9、SX24	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋と推測される。桁行、梁間の柱間寸法は 6 尺 7 寸を基準に整然としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。P3848 埋土から 15 世紀前半の中国産青磁碗（掲載番号 210）が出土している。	
想定時期　8 期（1412～1448 年頃）の建物と想定する。	

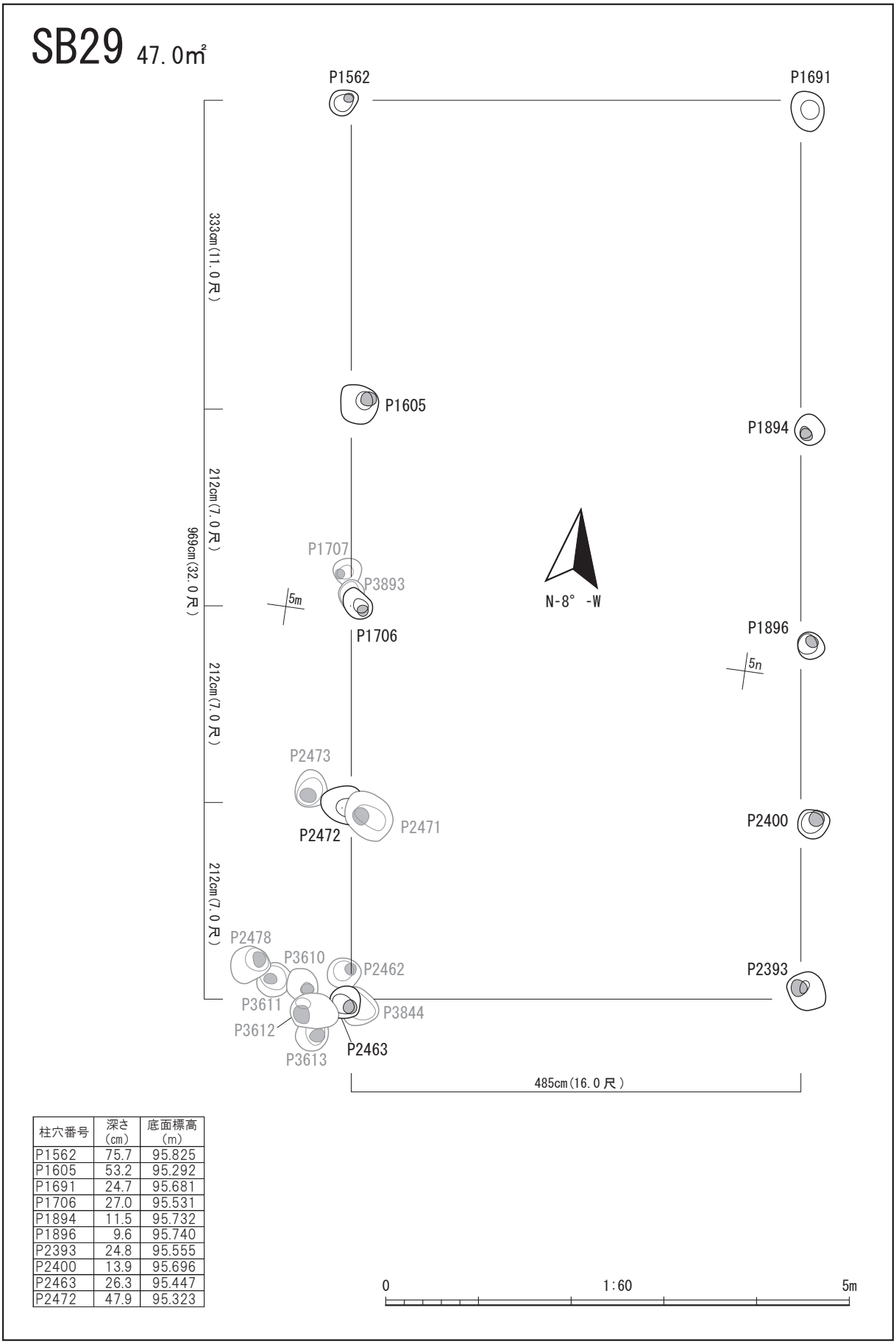
SB28　18.3㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2355	61.8	95.714
P2363	95.5	95.352
P2365	68.1	95.663
P2368	99.1	95.287
P2783	62.7	95.649
P2811	15.7	95.601



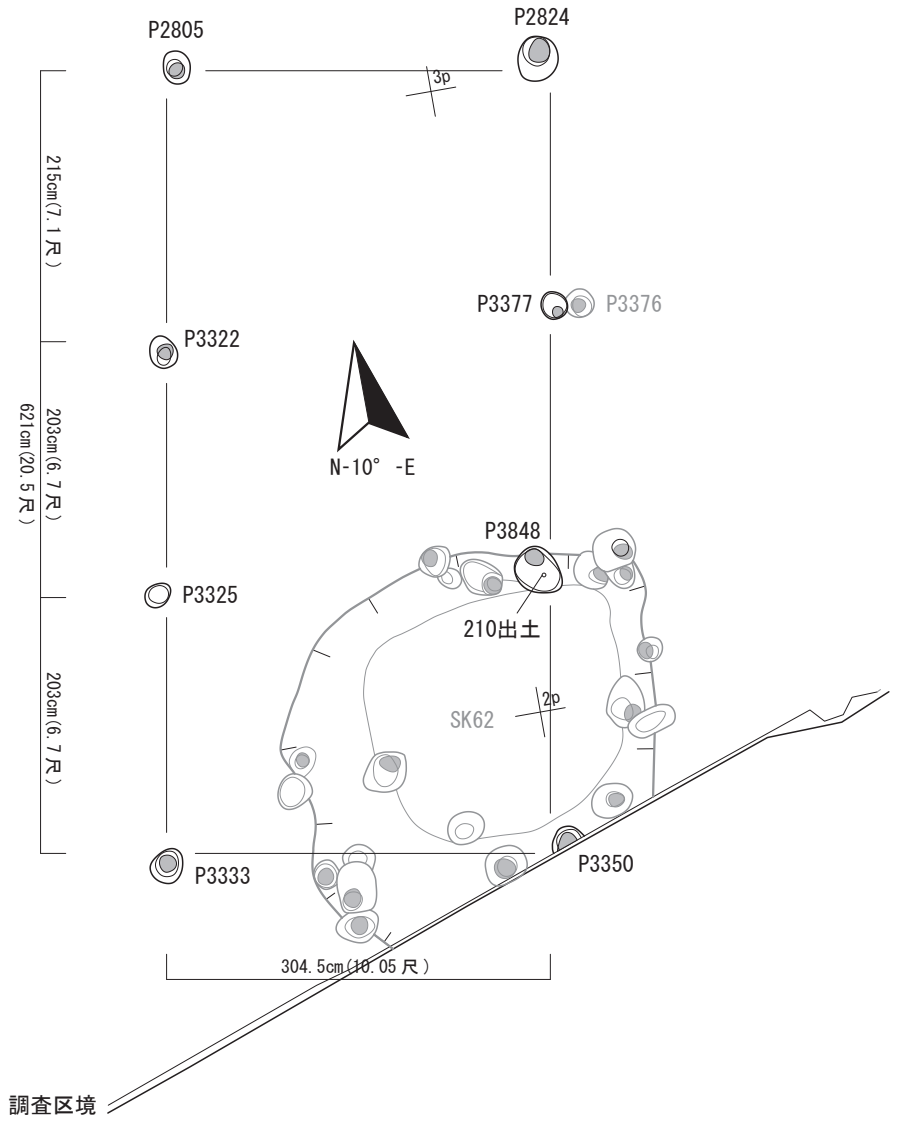
第46図　SB28



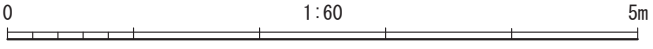
柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1562	75.7	95.825
P1605	53.2	95.292
P1691	24.7	95.681
P1706	27.0	95.531
P1894	11.5	95.732
P1896	9.6	95.740
P2393	24.8	95.555
P2400	13.9	95.696
P2463	26.3	95.447
P2472	47.9	95.323

第 47 図　SB29

SB30 18.9㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2805	91.2	95.334
P2824	52.0	95.254
P3322	25.5	95.483
P3325	24.3	95.499
P3333	26.8	95.470
P3350	51.2	95.195
P3377	44.2	95.282
P3848	12.1	95.564

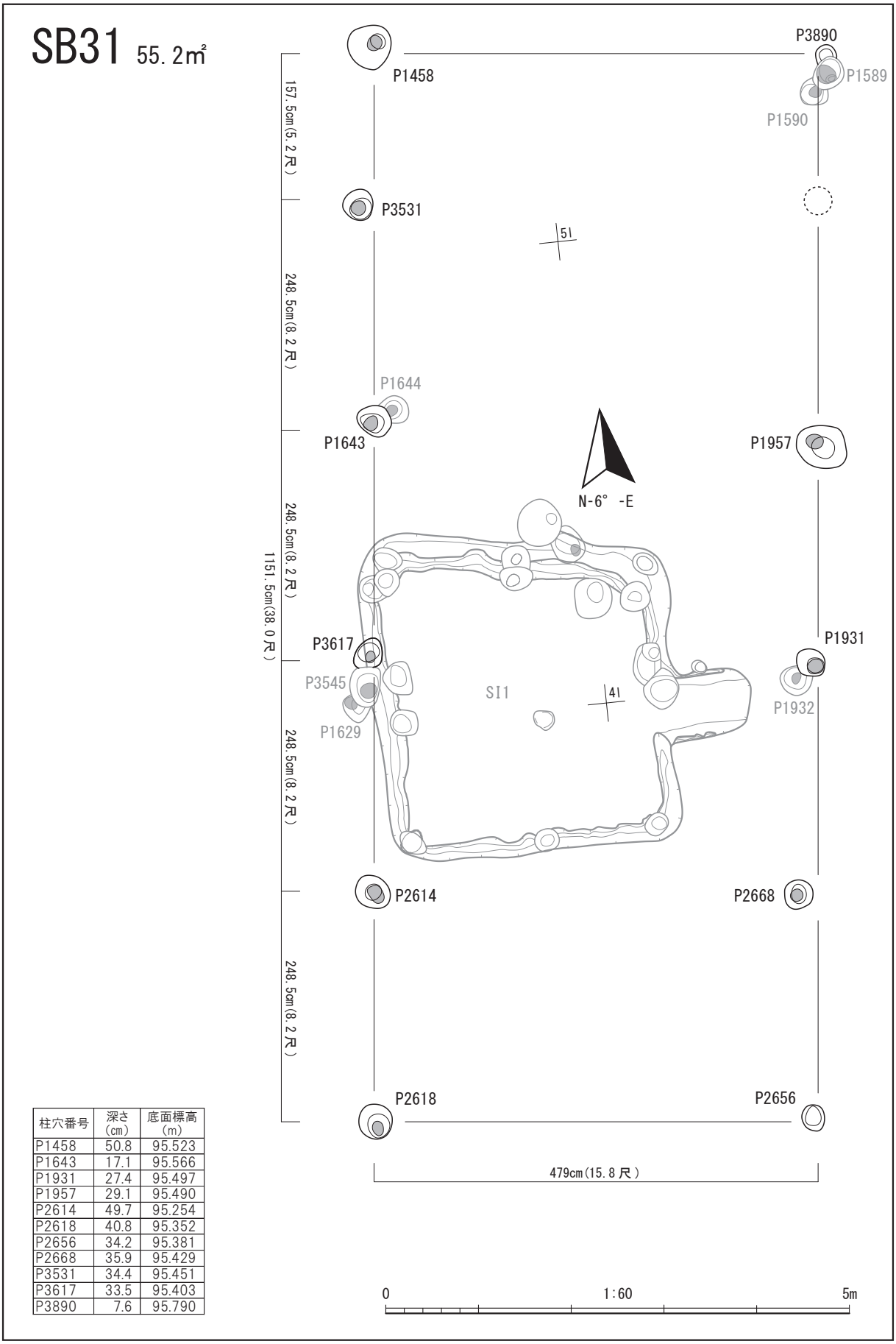


第 48 図　SB30

SB31（第 49 図　写真図版 37）	
位置　ⅠA3k、3l、4k、4l、5k、5l　区画内部	**使用した柱穴**　11 個
桁行　1151.5 cm（38 尺）	**梁間**　479.0 cm（15 尺 8 寸）
面積　55.2㎡（16.7 坪）	**軸方向**　N-6°-E
柱間寸法　桁行では 248.5 cm（8 尺 2 寸）を多用する。梁間は 479.0 cm（15 尺 8 寸）であり、その 1/2 の 239.5 cm（7 尺 9 寸）が基準と推測される。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB50　**本建物より新しい遺構**：SB74　**本建物と重複する遺構**：SB2、SB22、SB23、SB25、SB27、SB37、SB40、SB42、SB43、SB48、SB53、SB63、SB64、SB69、SB70、SB77、SB80、SB83、SB100、SB141、SB166、SB167、SB168、SI1	
庇、下屋のない平面形で、中型の建物である。桁行、梁間の柱間寸法は概ね整然としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。SI1 との前後関係は明確に把握できなかった。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB32（第 50 図　写真図版 37）	
位置　ⅠA2p、2q、3p、3q　区画内部	**使用した柱穴**　10 個
桁行　721.0 cm（23 尺 8 寸）	**梁間**　339.0 cm（11 尺 2 寸）
面積　24.2㎡（7.4 坪）	**軸方向**　N-3°-E
柱間寸法　桁行では 169.5 cm（5 尺 6 寸）と 191.0 cm（6 尺 3 寸）を使用する。梁間は 339.0 cm（11 尺 2 寸）であり、その 1/2 の 169.5 cm（5 尺 6 寸）が基準と推測される。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB76　**本建物と重複する遺構**：SB24、SB26、SB36、SB41、SB47、SB59、SB65、SB68、SB81、SB90、SB92、SB95	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋と推測される。桁行、梁間の柱間寸法は 5 尺 5 寸を多用し、概ね整然としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　7 期（1375～1411 年頃）の建物と想定する。	

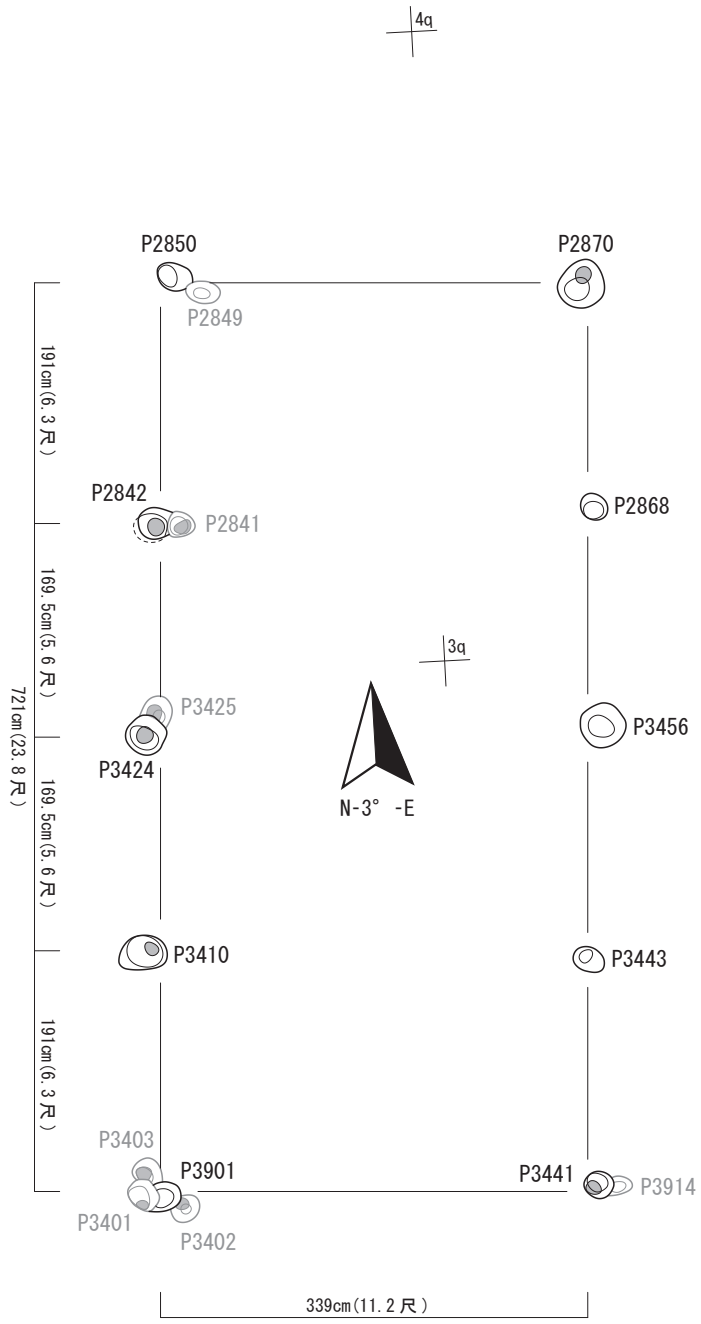
SB33（第 51 図　写真図版 38）	
位置　ⅠA3n、3o、4n、4o　区画内部	**使用した柱穴**　7 個
桁行　618.0 cm（20 尺 4 寸）	**梁間**　218.0 cm（7 尺 2 寸）
面積　13.5㎡（4.1 坪）	**軸方向**　N-5°-W
柱間寸法　桁行では 200.0 cm（6 尺 6 寸）と 218.0 cm（7 尺 2 寸）を使用する。梁間は 218.0 cm（7 尺 2 寸）であり、7 尺 2 寸が本建物の基準寸法の一つといえる。桁行、梁間いずれの柱間も 6 寸で割り切れる寸法であり、6 寸を基準単位にしている可能性も高い。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB56、SB62、SB67、SB85	
庇、下屋のない平面形である。梁間が一間分の長さしかなく、非常に小型の建物で、臨時的な建物である可能性も高い。柱間寸法は一応規則性が読み取れる。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1458	50.8	95.523
P1643	17.1	95.566
P1931	27.4	95.497
P1957	29.1	95.490
P2614	49.7	95.254
P2618	40.8	95.352
P2656	34.2	95.381
P2668	35.9	95.429
P3531	34.4	95.451
P3617	33.5	95.403
P3890	7.6	95.790

第 49 図　SB31

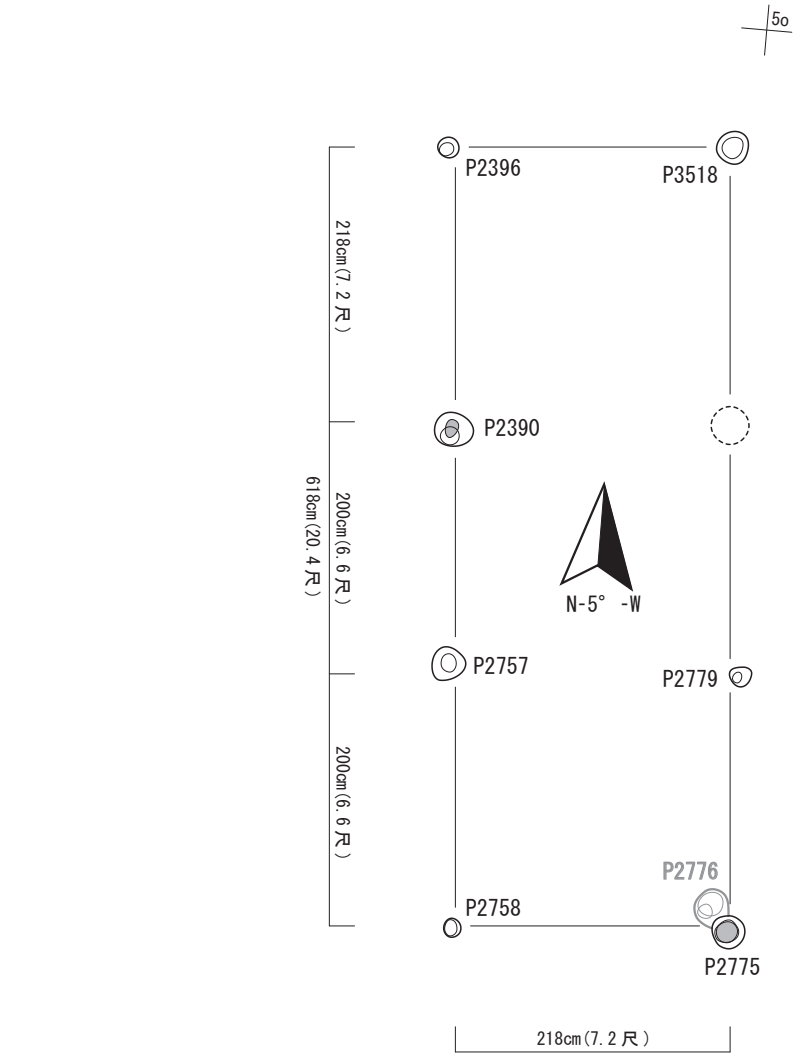
SB32 24.4㎡



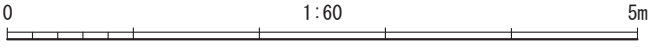
柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2842	33.3	95.446
P2850	14.8	95.642
P2868	22.1	95.382
P2870	13.1	95.531
P3410	25.3	95.502
P3424	32.4	95.451
P3441	39.2	95.342
P3443	41.8	95.282
P3456	33.5	95.388
P3901	28.7	95.422

第 50 図　SB32

SB33 13.5㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2390	88.9	95.399
P2396	10.8	95.730
P2757	70.8	95.574
P2758	55.6	95.675
P2775	63.0	95.596
P2779	58.4	95.699
P3518	4.3	95.734



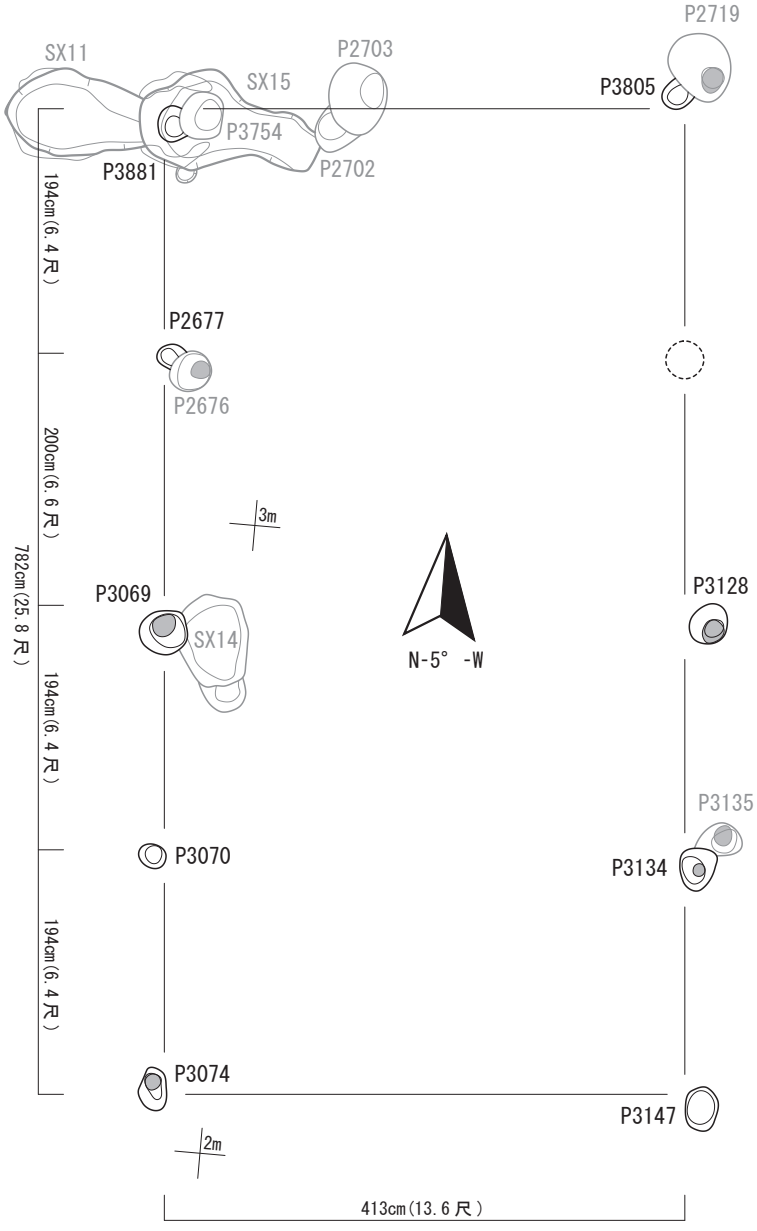
第 51 図　SB33

SB34（第 52 図　写真図版 38）	
位置　ⅠA2l、2m、3l、3m　区画内部	**使用した柱穴**　9 個
桁行　782.0 cm（25 尺 8 寸）	**梁間**　413.0 cm（13 尺 6 寸）
面積　32.3㎡（9.8 坪）	**軸方向**　N-5°-W
柱間寸法　桁行では 194.0 cm（6 尺 4 寸）を多用する。梁間は 413.0 cm（13 尺 6 寸）であり、その半分の 206.5 cm（6 尺 8 寸）が基準と推測される。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB149、SX14　**本建物より新しい遺構**：SB23、SB39、SX15　**本建物と重複する遺構**：SB2、SB43、SB48、SB50、SB58、SB61、SB73、SB87、SB97、SB100、SB139、SB141、SB143、SB145、SB147、SB166、SX9、SX13	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋と推測される。桁行、梁間の柱間寸法は概ね整然としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

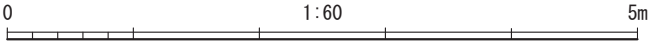
SB35（第 53 図　写真図版 39）	
位置　ⅠA1j、1k　区画内部	**使用した柱穴**　7 個
桁行　618.0 cm（20 尺 4 寸）	**梁間**　330.0 cm（10 尺 9 寸）
面積　20.4㎡（6.2 坪）	**軸方向**　N-1°-W
柱間寸法　桁行では 206.0 cm（6 尺 8 寸）を基準とする。梁間は 330.0 cm（10 尺 9 寸）であり、その半分の 165.0 cm（5 尺 4 寸 5 分）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB22、SB40	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋と推測される。桁行、梁間の柱間寸法はいずれも 10 尺 9 寸で統一されており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。SB40 と重複するが前後関係を把握できなかった。	
想定時期　3 期（1227～1263 年頃）の建物と想定する。	

SB36（第 54 図　写真図版 39）	
位置　ⅠA2p、2q、3p、3q、4p、4q　区画内部	**使用した柱穴**　10 個
桁行　1169.75 cm（38 尺 6 寸）	**梁間**　500.0 cm（16 尺 5 寸）
面積　58.5㎡（17.7 坪）	**軸方向**　N-5°-E
柱間寸法　桁行では 224.25 cm（7 尺 4 寸）と 248.5 cm（8 尺 2 寸）多用する。梁間は 500.0 cm（16 尺 5 寸）であり、その半分の 250.0 cm（8 尺 2 寸 5 分）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB4　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB24、SB26、SB32、SB41、SB47、SB59、SB65、SB68、SB76、SB81、SB90、SB92、SB93、SB95、SX101	
庇、下屋のない平面形で、中型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが具体的な性格については特定できない。桁行、梁間の柱間寸法は概ね整然としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　3 期（1227～1263 年頃）の建物と想定する。	

SB34 32.3㎡

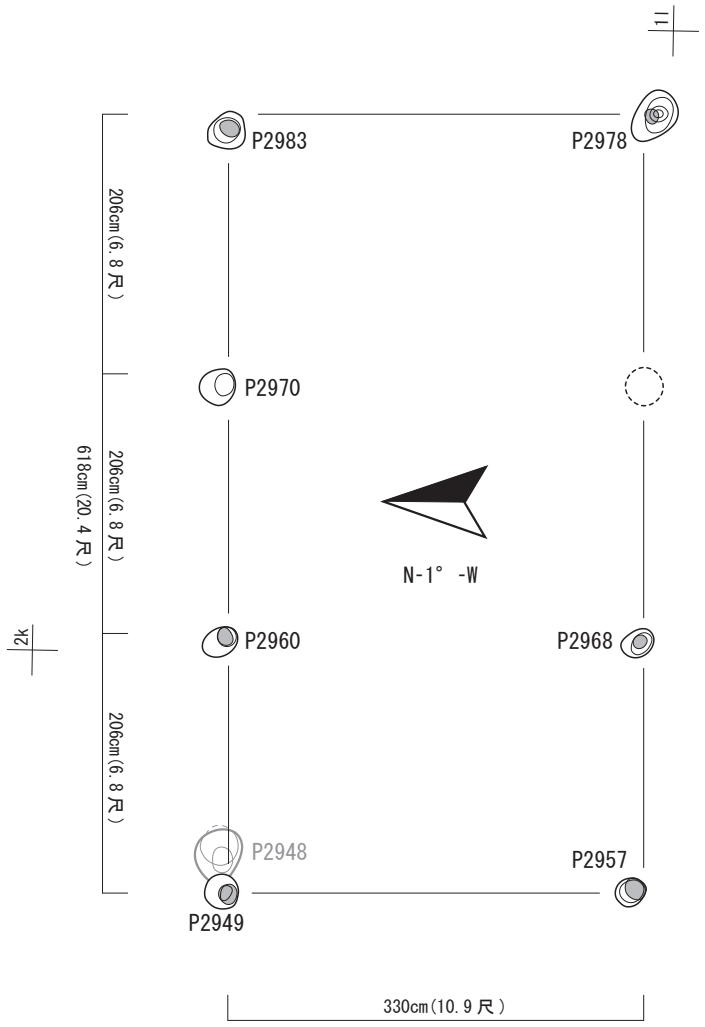


柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P2677	14.3	95.635
P3069	36.5	95.385
P3070	26.9	95.485
P3074	33.2	95.483
P3128	35.6	95.391
P3134	18.8	95.600
P3147	16.7	95.598
P3805	18.5	95.577
P3881	17.1	95.454

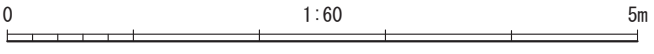


第52図　SB34

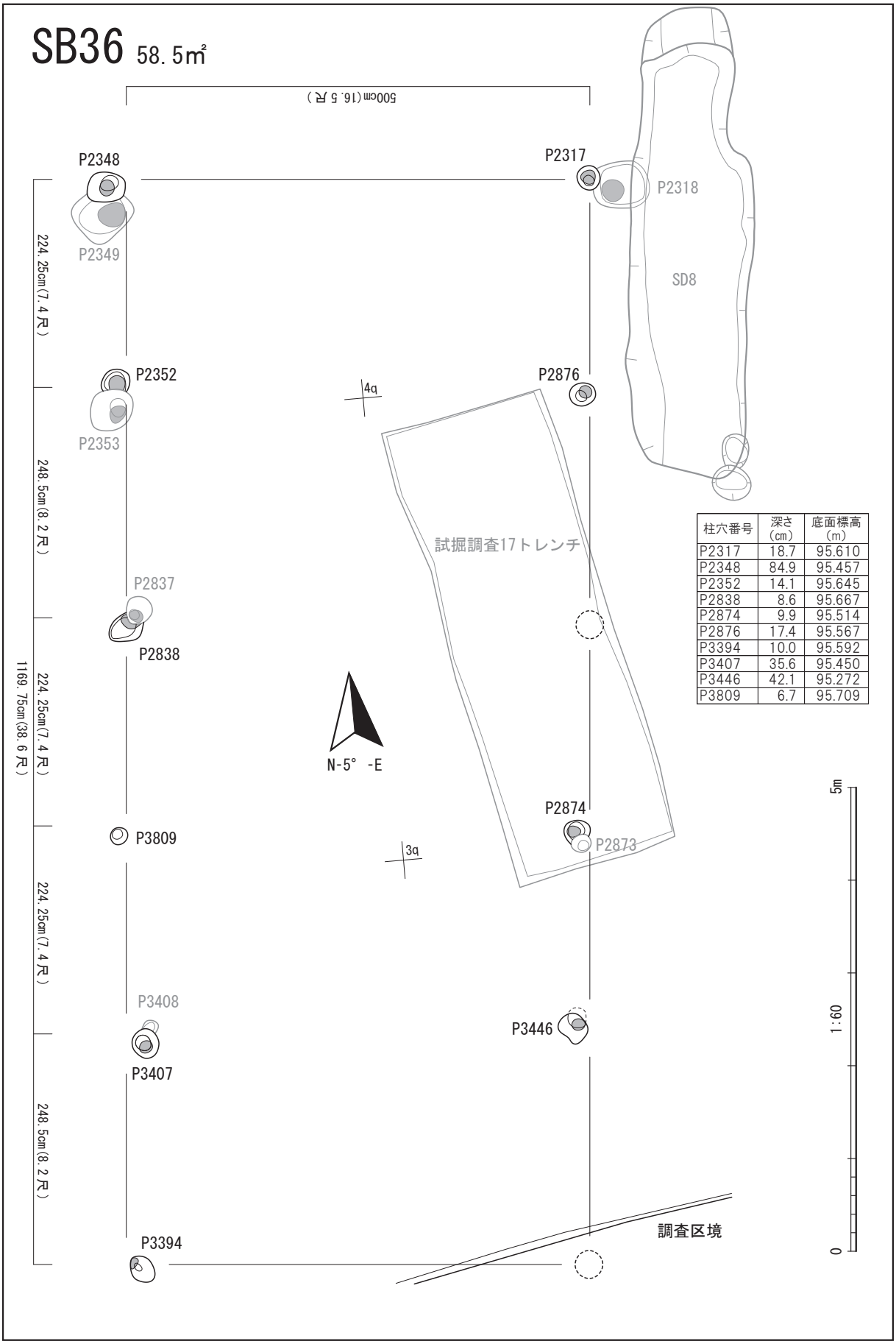
SB35 20.4㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2949	27.2	95.515
P2957	10.3	95.600
P2960	41.1	95.399
P2968	8.0	95.587
P2970	28.3	95.489
P2978	24.1	95.416
P2983	26.6	95.494



第53図　SB35



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P2317	18.7	95.610
P2348	84.9	95.457
P2352	14.1	95.645
P2838	8.6	95.667
P2874	9.9	95.514
P2876	17.4	95.567
P3394	10.0	95.592
P3407	35.6	95.450
P3446	42.1	95.272
P3809	6.7	95.709

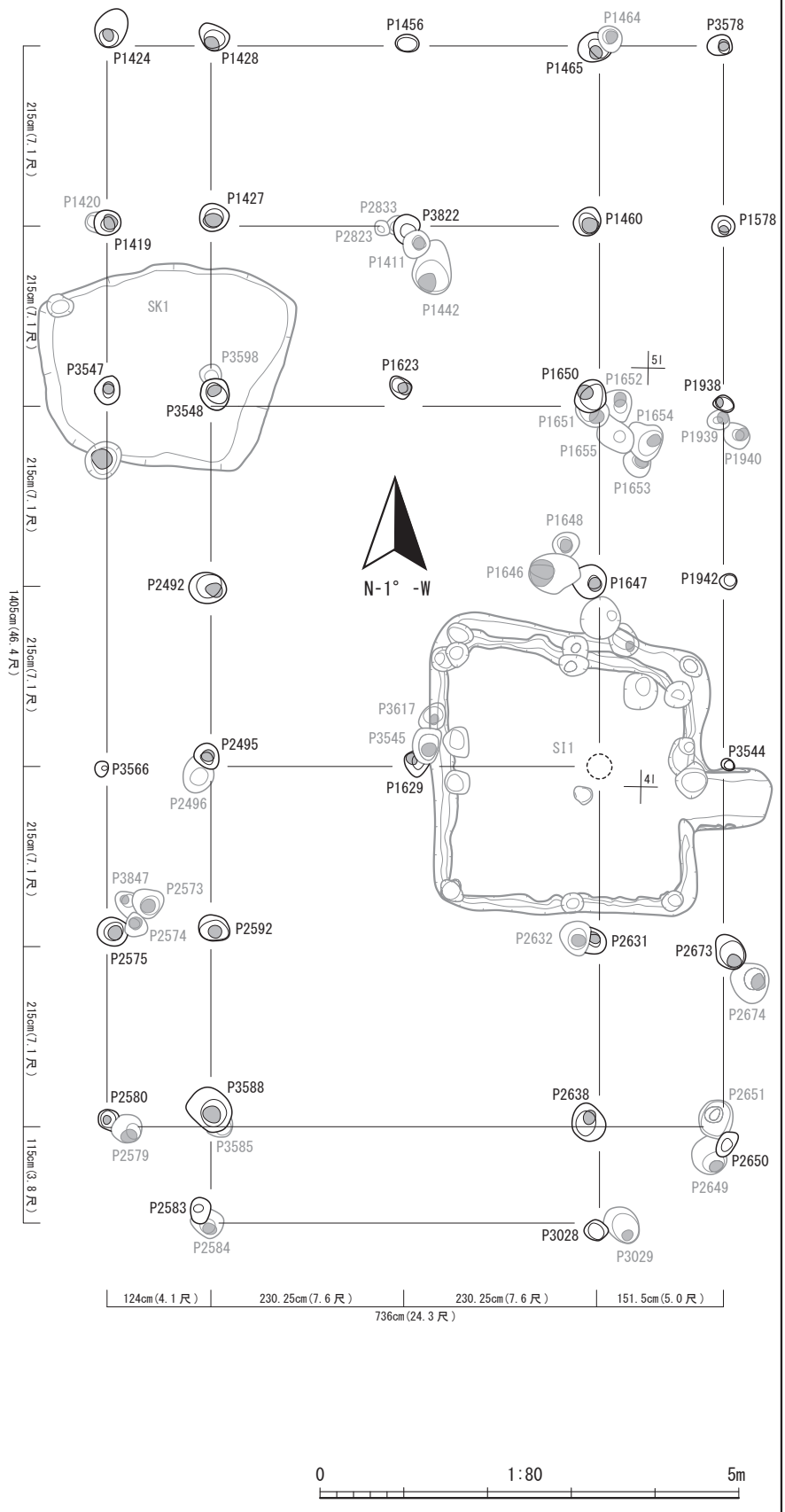
第54図　SB36

SB37（第 55 図　写真図版 40）	
位置　ⅠA2j、2k、3j、3k、3l、4j、4k、4l、5j、5k、5l　区画内部	**使用した柱穴**　32 個
桁行　1405.0 cm（46 尺 4 寸）	**梁間**　736.0 cm（24 尺 3 寸）
面積　100.2㎡（30.4 坪）	**軸方向**　N-1°-W
柱間寸法　桁行では 215.0 cm（7 尺 1 寸）が基本である。梁間の身舎は 230.25 cm（7 尺 6 寸）が基本である。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB2、SB53、SB69、SB83、SB167、SB168、SK1　**本建物より新しい遺構**：SB25、SB40、SI1　**本建物と重複する遺構**：SB1、SB27、SB31、SB46、SB48、SB60、SB63、SB64、SB70、SB71、SB80、SB141、SB166	
大型の建物で、居館の主殿と推測する。460.5 cm（15 尺 2 寸）×1290.0 cm（42 尺 6 寸）の身舎に三面庇の構造と理解される。間数で表現すると身舎は二間×六間となる。桁行の東側の庇の出が 151.5 cm（5 尺）、西側の庇の出が 124.0 cm（4 尺 1 寸）と東西で寸法が異なる。南辺の庇の出は 115 cm（3 尺 8 寸）である。P3822、P1623、P1629 の存在から身舎は四室に分かれると想定される。重複、切り合い関係などから、15 世紀前半頃(1412～1448 年頃)の建物と想定する。出土遺物はない。	
想定時期　8 期（1412～1448 年頃）の建物と想定する。	

SB38（第 56 図　写真図版 41）	
位置　ⅠA1n、1o、2o、2p、3o、3p　区画内部	**使用した柱穴**　11 個
桁行　1108.75 cm（36 尺 6 寸）	**梁間**　442.5 cm（14 尺 6 寸）
面積　49.1㎡（14.9 坪）	**軸方向**　N-7°-E
柱間寸法　桁行では 209.0 cm（6 尺 9 寸）と 230.25 cm（7 尺 6 寸）多用する。梁間は 442.5 cm（14 尺 6 寸）であり、その半分の 221.25 cm（7 尺 3 寸）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB30、SB44、SB47、SB49、SB51、SB54、SB59、SB62、SB67、SB65、SB72、SB76、SB79、SB80、SB81、SB84、SB90、SB92、SB95、SB129、SD9、SX24、SK62	
調査区外南側にプランが伸びる可能性もあるが、図示したプランと想定した。庇、下屋のない平面形で、中型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが具体的な性格については特定できない。桁行、梁間の柱間寸法は概ね整然としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。SB67 と柱穴が重複するが、前後関係を把握できなかった。	
想定時期　4 期（1264～1300 年頃）の建物と想定する。	

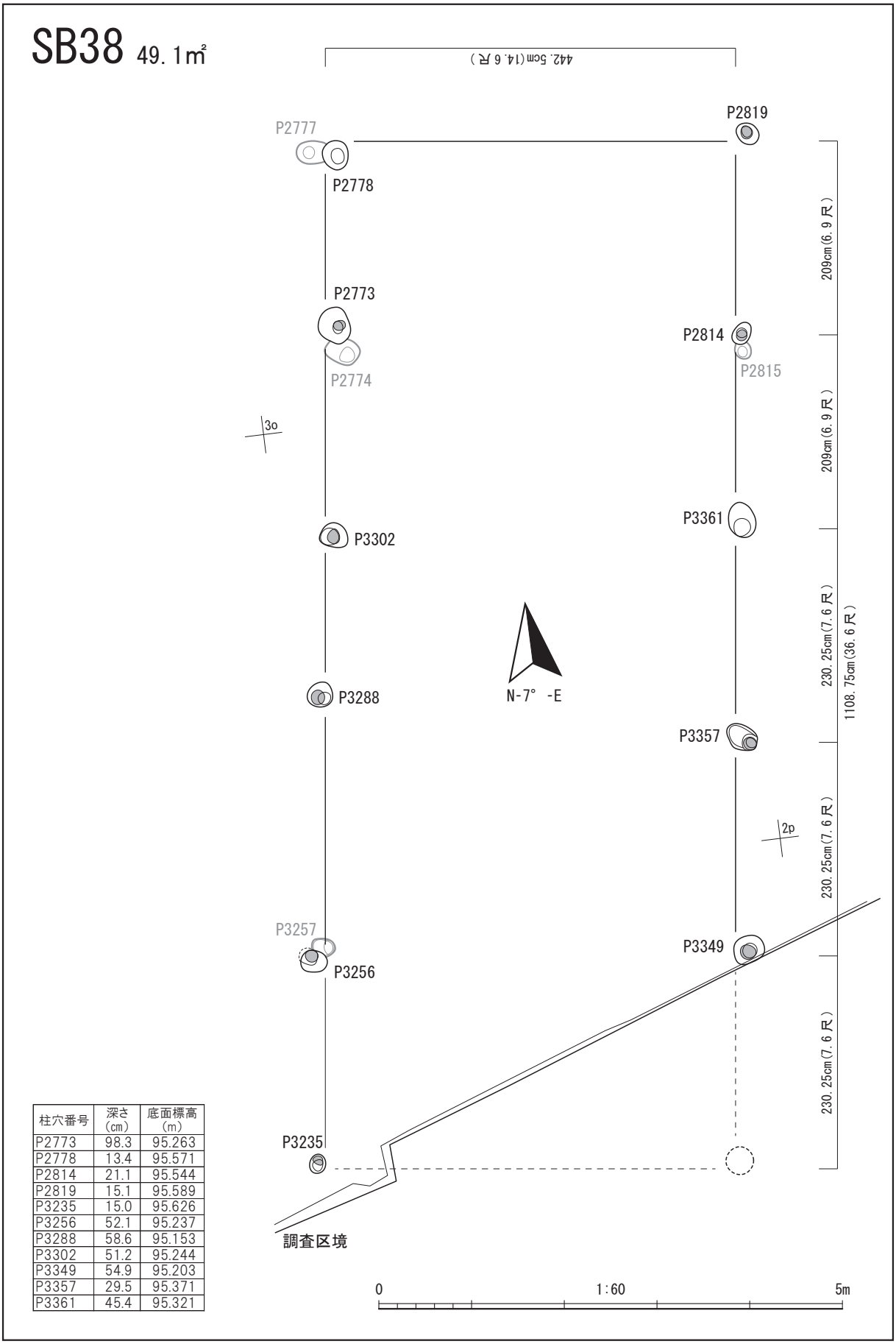
SB39（第 57 図　写真図版 41）	
位置　ⅠA3l、3m、4l、4m　区画内部	**使用した柱穴**　10 個
桁行　西辺 836.0 cm（27 尺 6 寸）	**梁間**　北辺 454.5 cm（15 尺） 南辺 515.0 cm（17 尺）
面積　40.5㎡（12.3 坪）	**軸方向**　N-3°-E
柱間寸法　桁行では 209.0 cm（6 尺 9 寸）が基準寸法である。桁行の東辺は柱筋が一直線に通らないが、個々の柱間寸法は 209.0 cm（6 尺 9 寸）である。梁間は北辺 454.5 cm（15 尺）、南辺 515.0 cm（17 尺）であり、1 尺単位に準拠しているのであろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB34、SB67　**本建物より新しい遺構**：SB141、SX9、SX15　**本建物と重複する遺構**：SB2、SB23、SB29、SB42、SB43、SB48、SB48、SB50、SB69、SB73、SB74、SB77、SB87、SB91、SB94、SB97、SB100、SB139、SB145、SB147、SB149、SB151、SB166　**本建物と接する遺構**：SB143	
東辺の柱筋が一直線に通らないが、適切な位置に柱穴が見出せず図示したプランを想定した。庇、下屋のない小型の建物である。柱間寸法には 6 尺 9 寸という基準を見出せるが、平面形が不整なことから臨時の建物の可能性も推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB37 100.2㎡



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P1419	24.9	95.690
P1424	16.2	95.808
P1427	31.6	95.569
P1428	41.1	95.525
P1456	4.4	95.855
P1460	57.5	95.563
P1465	77.2	95.490
P1578	60.3	95.659
P1623	9.5	95.685
P1629	32.6	95.407
P1647	28.4	95.462
P1650	22.3	95.529
P1938	6.5	95.750
P1942	5.2	95.667
P2492	42.9	95.400
P2495	24.1	95.616
P2575	31.2	95.537
P2580	13.3	95.682
P2583	16.5	95.679
P2592	42.2	95.436
P2631	25.0	95.502
P2638	13.7	95.557
P2650	16.7	95.575
P2673	33.9	95.410
P3028	8.5	95.653
P3544	6.0	95.654
P3547	27.1	95.641
P3548	32.2	95.531
P3566	15.3	95.687
P3578	24.7	95.683
P3588	51.6	95.294
P3822	30.6	95.489

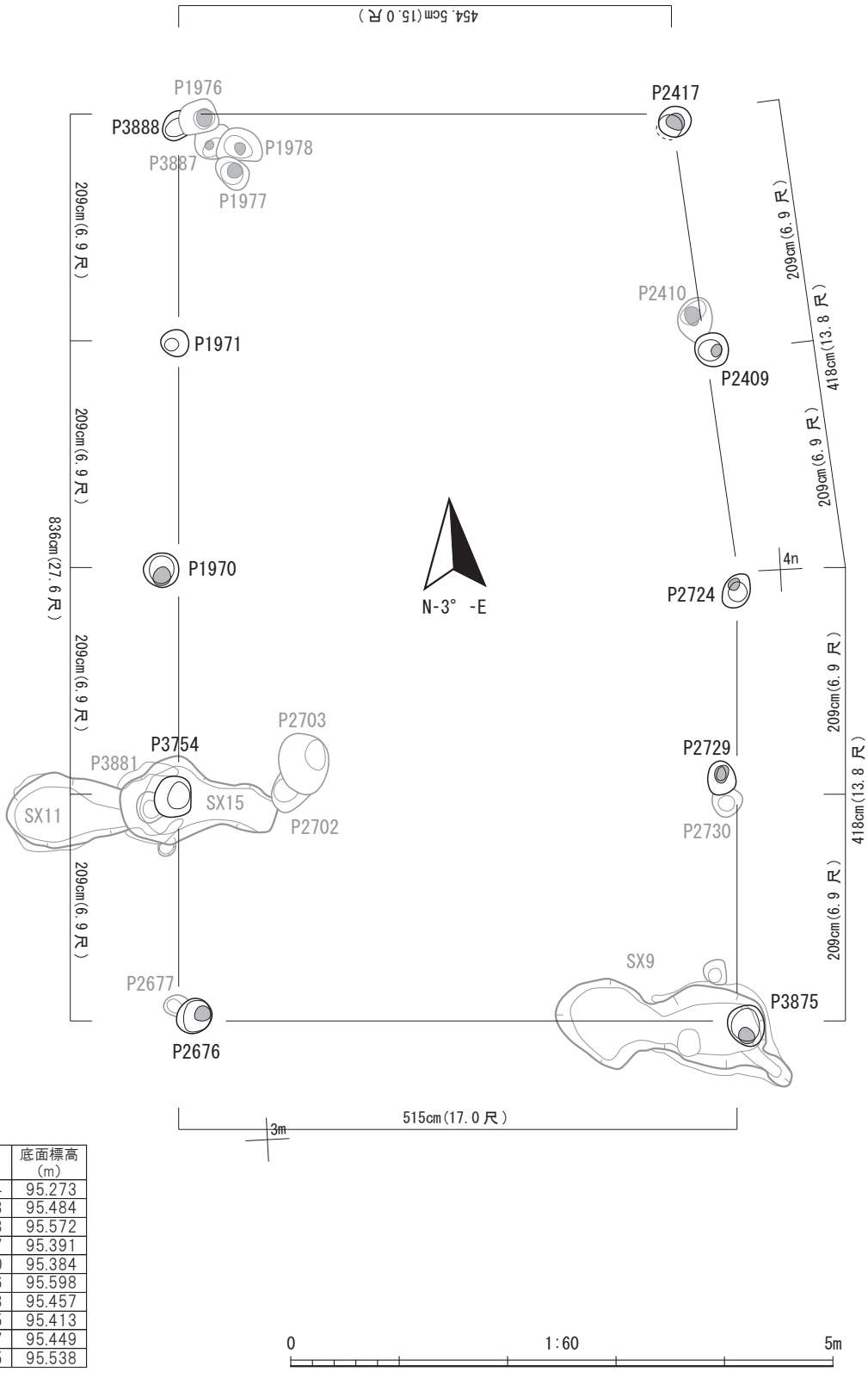
第55図　SB37



柱穴番号	深さ（cm）	底面標高（m）
P2773	98.3	95.263
P2778	13.4	95.571
P2814	21.1	95.544
P2819	15.1	95.589
P3235	15.0	95.626
P3256	52.1	95.237
P3288	58.6	95.153
P3302	51.2	95.244
P3349	54.9	95.203
P3357	29.5	95.371
P3361	45.4	95.321

第 56 図　SB38

SB39 40.5㎡



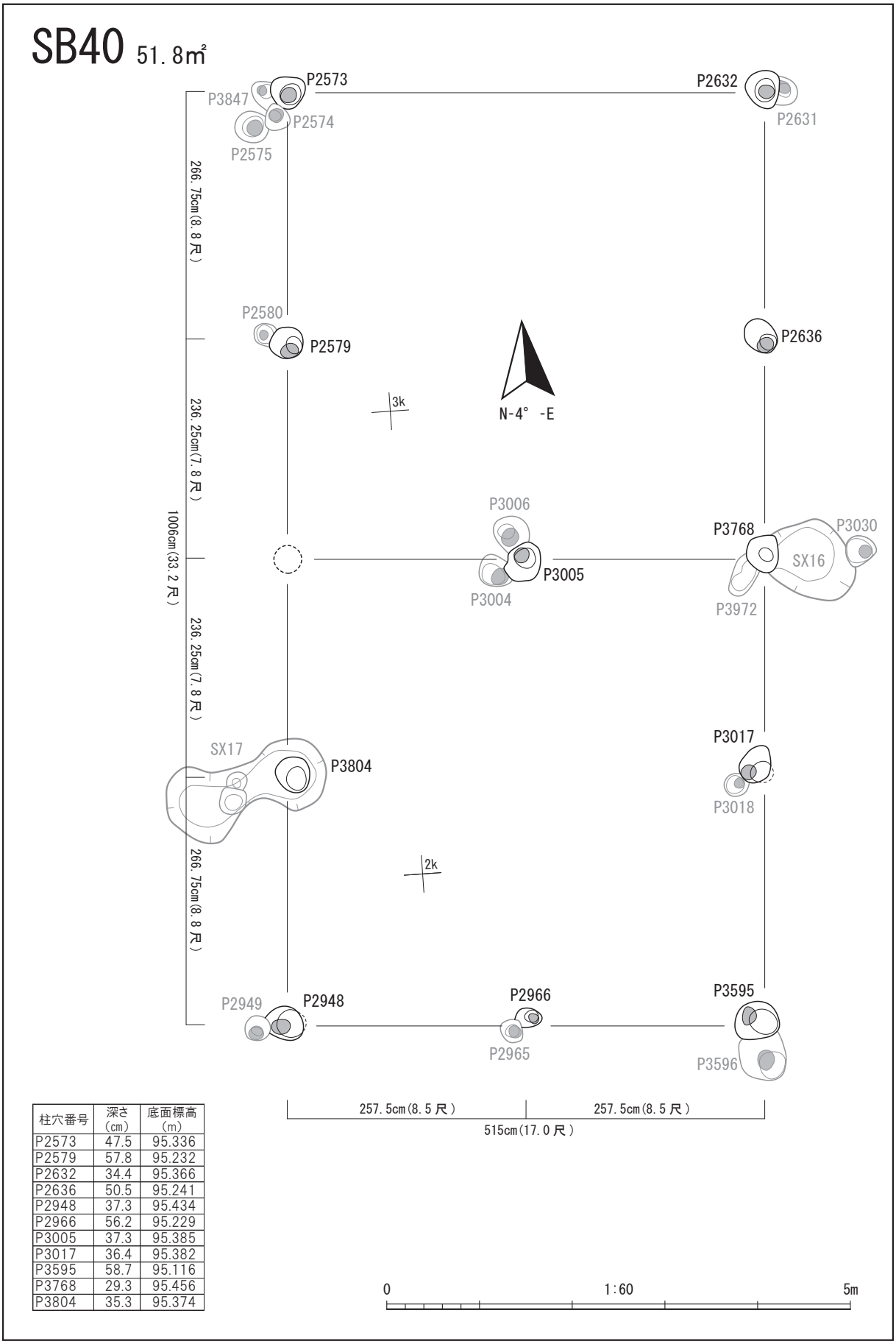
柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P1970	50.4	95.273
P1971	30.3	95.484
P2409	19.8	95.572
P2417	44.7	95.391
P2676	33.0	95.384
P2724	15.6	95.598
P2729	81.8	95.457
P3754	23.5	95.413
P3875	20.7	95.449
P3888	23.5	95.538

第57図　SB39

SB40（第 58 図　写真図版 42）	
位置　ⅠA1j、1k、2j、2k、3j、3k　区画内部	**使用した柱穴**　11 個
桁行　1006.0 cm（33 尺 2 寸）	**梁間**　515.0 cm（17 尺）
面積　51.8㎡（15.7 坪）	**軸方向**　N-4°-E
柱間寸法　桁行では 236.25 cm（7 尺 8 寸）と 266.75 cm（8 尺 8 寸）を使用している。梁間は 257.5 cm（8 尺 5 寸）を使用している。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB22、SB27、SB37、SB58、SX16、SX17　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB2、SB31、SB35、SB53、SB64、SB70、SB167、SB168	
庇、下屋のない平面形で、中型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが具体的な性格については特定できない。桁行、梁間の柱間寸法は概ね整然としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。プラン内部の P3005 の存在により 2 室に分かれることが想定される。本建物より古い SX17 から採取した炭素の AMS 測定年代は「西暦 1402～1440 年」とされており、本建物の年代推定の手がかりになる。P3768 から土師器長胴甕の破片（不掲載遺物⑭）が出土している。SB35 と重複するが前後関係を把握できなかった。	
想定時期　11 期（1523～1559 年頃）の建物と想定する。	

SB41（第 59 図　写真図版 42）	
位置　ⅠA1p、2p、2q、3p、3q　区画内部	**使用した柱穴**　6 個
桁行　684.5 cm（22 尺 6 寸）	**梁間**　367.0 cm（12 尺 1 寸）
面積　推定 25.1㎡（7.6 坪）	**軸方向**　N-8°-E
柱間寸法　桁行では 212.0 cm（7 尺）を多用している。梁間は 367.0 cm（12 尺 1 寸）であり、その半分の 183.5 cm（6 尺 5 分）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB24、SB84　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB26、SB32、SB36、SB44、SB47、SB59、SB68、SB72、SB76、SB81、SB88、SB90、SB92、SK62	
調査区外南側にプランが伸びる可能性もあるが、図示したプランと想定した。庇、下屋のない平面形で、小型の建物である。附属屋の可能性が高い。柱筋が柱穴の中央を通らない部分が多く、不整な印象も感じる。出土遺物はない。SB72 と柱穴が重複するが、前後関係を把握できなかった。	
想定時期　4 期（1264～1300 年頃）の建物と想定する。	

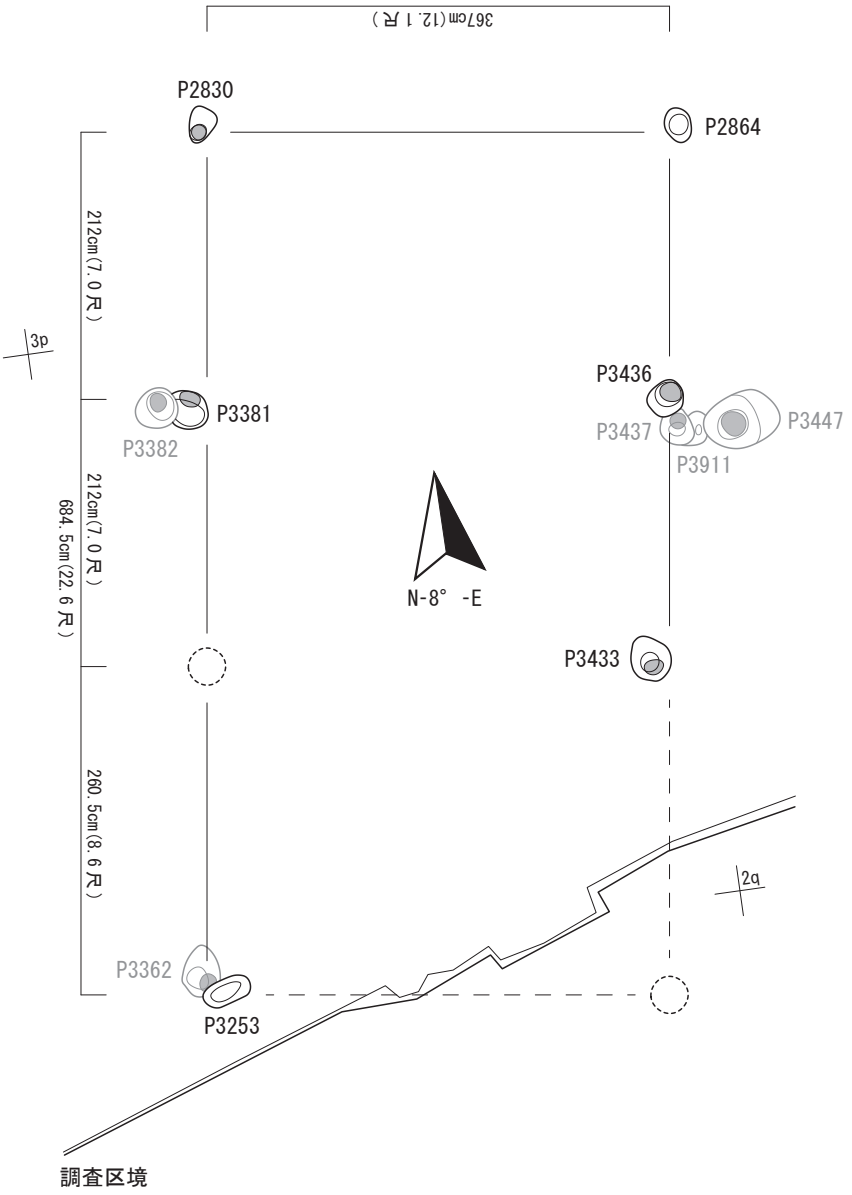
SB42（第 60 図　写真図版 43）	
位置　ⅠA4l、4m、5l、5m、6l、6m　区画内部	**使用した柱穴**　10 個
桁行　939.5 cm（31 尺）	**梁間**　545.5 cm（18 尺）
面積　推定 51.2㎡（15.5 坪）	**軸方向**　N-2°-E
柱間寸法　桁行では 272.75 cm（9 尺）を多用している。それ以外の柱間も 182.0 cm（6 尺）、212.0 cm（7 尺）と 1 尺単位に準拠した寸法である。梁間は 545.5 cm（18 尺）であり、その半分の 272.75 cm（9 尺）が基準と推測される。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB94　**本建物より新しい遺構**：SB25、SB168　**本建物と重複する遺構**：SB2、SB23、SB29、SB31、SB39、SB45、SB46、SB48、SB50、SB57、SB60、SB69、SB74、SB77、SB80、SB87、SB91、SB97、SB99、SB141、SB145、SB147、SB166、SB167、SK63	
庇、下屋のない平面形で、中型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが具体的な性格については特定できない。桁行、梁間の柱間寸法は、均一ではないが規則性が読み取れ、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	



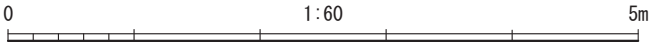
柱穴番号	深さ（cm）	底面標高（m）
P2573	47.5	95.336
P2579	57.8	95.232
P2632	34.4	95.366
P2636	50.5	95.241
P2948	37.3	95.434
P2966	56.2	95.229
P3005	37.3	95.385
P3017	36.4	95.382
P3595	58.7	95.116
P3768	29.3	95.456
P3804	35.3	95.374

第 58 図　SB40

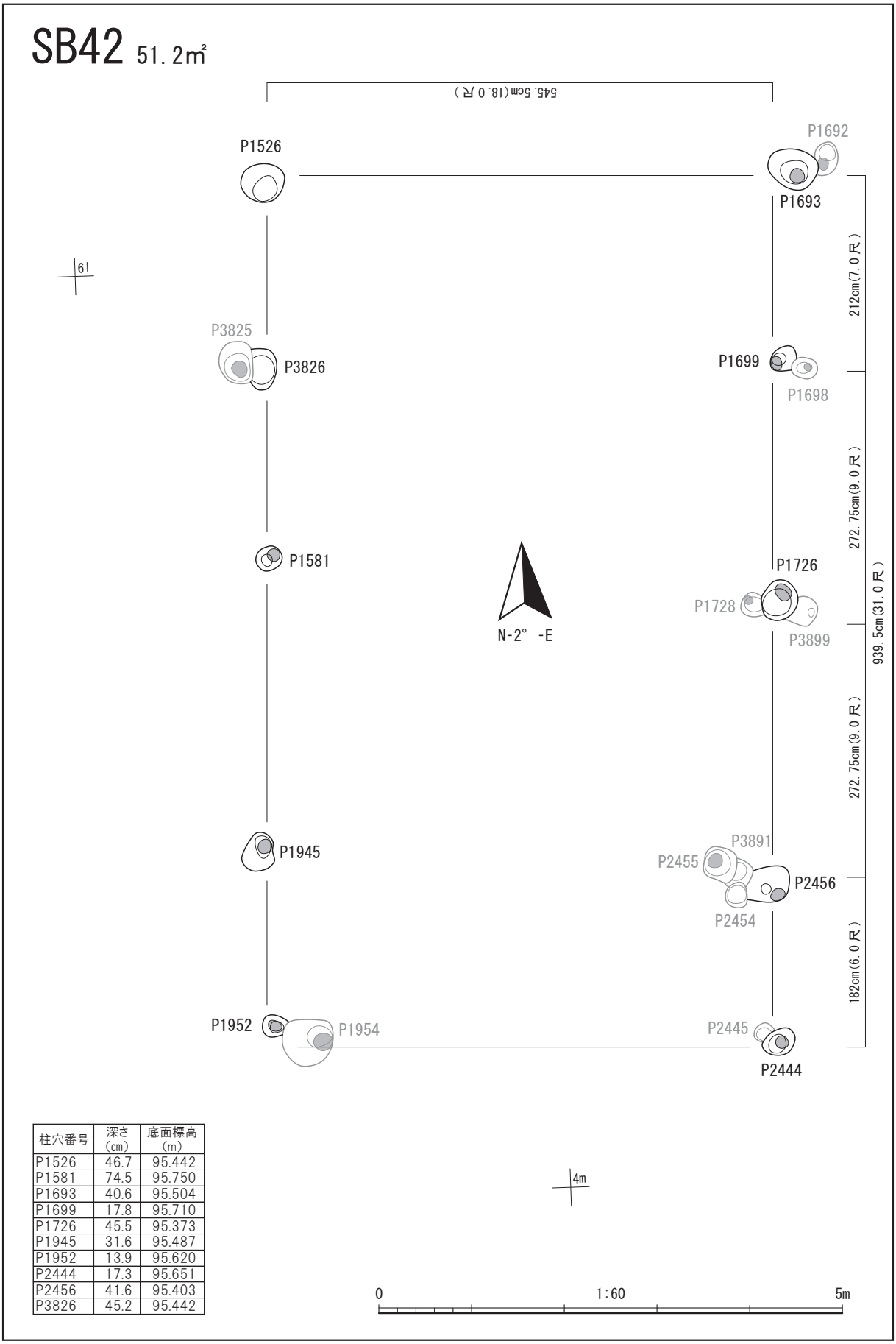
SB41 推定25.1㎡



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P2830	29.7	95.491
P2864	23.3	95.501
P3253	12.2	95.592
P3381	37.3	95.410
P3433	44.5	95.221
P3436	42.6	95.337



第59図　SB41



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1526	46.7	95.442
P1581	74.5	95.750
P1693	40.6	95.504
P1699	17.8	95.710
P1726	45.5	95.373
P1945	31.6	95.487
P1952	13.9	95.620
P2444	17.3	95.651
P2456	41.6	95.403
P3826	45.2	95.442

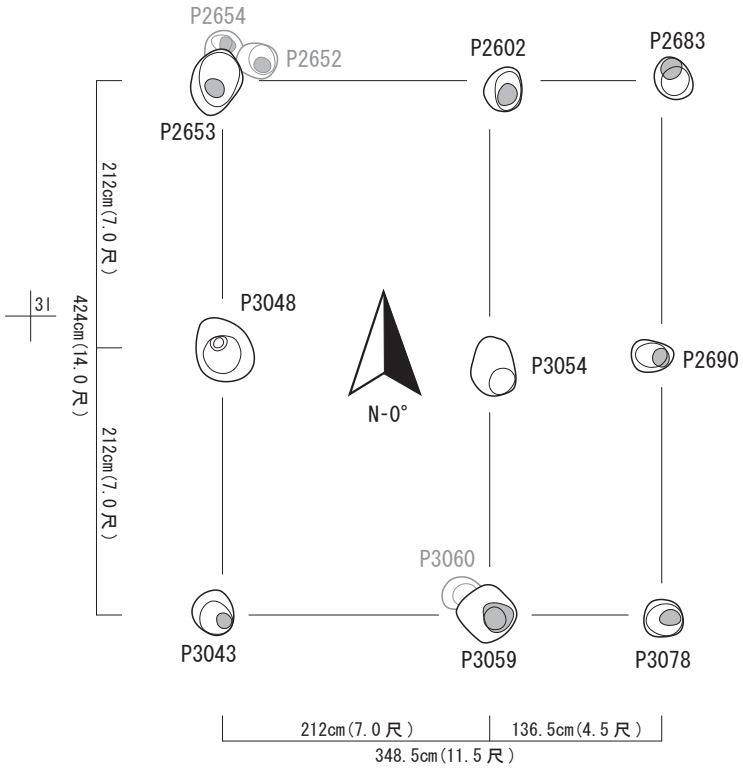
第 60 図　SB42

SB43（第 61 図　写真図版 43）	
位置　ⅠA2l、2m、3l、3m　区画内部	**使用した柱穴**　9 個
桁行　424.0 cm（14 尺）	**梁間**　348.5 cm（11 尺 5 寸）
面積　推定 14.8㎡（4.5 坪）	**軸方向**　N-0°
柱間寸法　桁行では 212.0 cm（7 尺）を使用している。梁間でも身舎分の柱間が 212.0 cm（7 尺）の寸法であり、212.0 cm（7 尺）が本建物の基準と推測される。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB100、SB143　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB2、SB23、SB31、SB34、SB39、SB48、SB50、SB58、SB87、SB97、SB141、SB167、SB168、SX14	
424.0 cm（14 尺）×212.0 cm（7 尺）の身舎の東側に一面庇の構造と解釈する。小型の建物であるが、平面形が特徴的であり、何らかの特殊な用途の建物と推測される。柱間寸法も整然としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。SB23 と重複するが前後関係を把握できなかった。	
想定時期　3 期（1227～1263 年頃）の建物と想定する。	

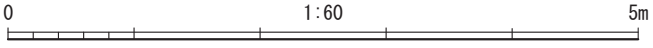
SB44（第 62 図　写真図版 44）	
位置　ⅠA1o、1p、2o、2p、3o、3p　区画内部	**使用した柱穴**　13 個
桁行　1046.0 cm（34 尺 5 寸）	**梁間**　357.5 cm（11 尺 8 寸）
面積　推定 37.4㎡（11.3 坪）	**軸方向**　N-3°-E
柱間寸法　桁行では 179 cm（5 尺 9 寸）を多用している。梁間は 357.5 cm（11 尺 8 寸）であり、その半分は 178.75 cm（約 5 尺 9 寸）の寸法となる。よって本建物の基準寸法は 5 尺 9 寸と推測される。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB88　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB28、SB30、SB38、SB41、SB47、SB49、SB54、SB59、SB65、SB72、SB76、SB79、SB81、SB84、SB90、SB92、SB95、SX10、SX24、SD9、SK62	
調査区外（南側）にプランが伸びる可能性もあるが、図示した形状を想定した。庇、下屋のない平面形でやや小型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが具体的な性格については特定できない。桁行、梁間の柱間寸法は概ね整然としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB45（第 63 図　写真図版 44）	
位置　ⅠA5l、5m、5n、6l、6m、6n　区画内部	**使用した柱穴**　10 個
桁行　957.6 cm（31 尺 6 寸）	**梁間**　418.0 cm（13 尺 8 寸）
面積　40.0㎡（12.1 坪）	**軸方向**　N-9°-E
柱間寸法　桁行では 239.4 cm（7 尺 9 寸）を多用している。異なる柱間寸法は 227.3 cm（7 尺 5 寸）と 251.5 cm（8 尺 3 寸）の部位がそれぞれ一つずつあり、合計すると 478.8 cm（15 尺 8 寸）と 7 尺 9 寸の 2 倍の寸法となり、桁行の基準寸法は 239.4 cm（7 尺 9 寸）と理解される。梁間は 418.5 cm（13 尺 8 寸）であり、その半分の 209.25 cm（6 尺 9 寸）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB23、SB46、SB141　**本建物より新しい遺構**：SB91　**本建物と重複する遺構**：SB2、SB3、SB29、SB42、SB57、SB67、SB69、SB74、SB77、SB80、SB94、SB99、SB166、SB167、SB168、SK63	
庇、下屋のない平面形で、小型～中型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが具体的な性格については特定できない。桁行の柱間寸法は 7 尺 9 寸を基準として整然としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB43 14.8㎡

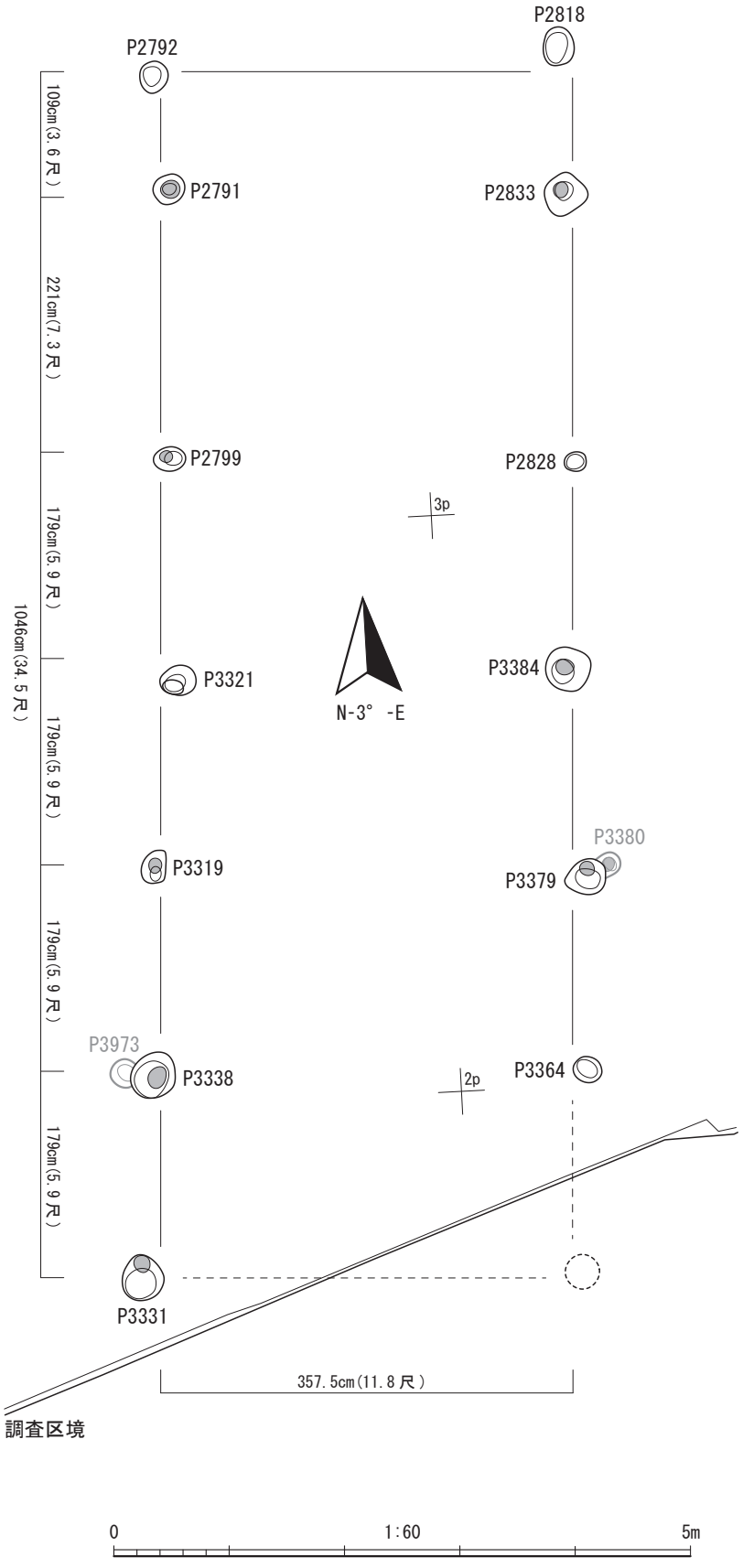


柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2602	31.2	95.419
P2653	33.6	95.406
P2683	29.2	95.405
P2690	15.5	95.579
P3043	29.6	95.445
P3048	37.2	95.345
P3054	46.9	95.262
P3059	41.5	95.364
P3078	21.1	95.529



第61図　SB43

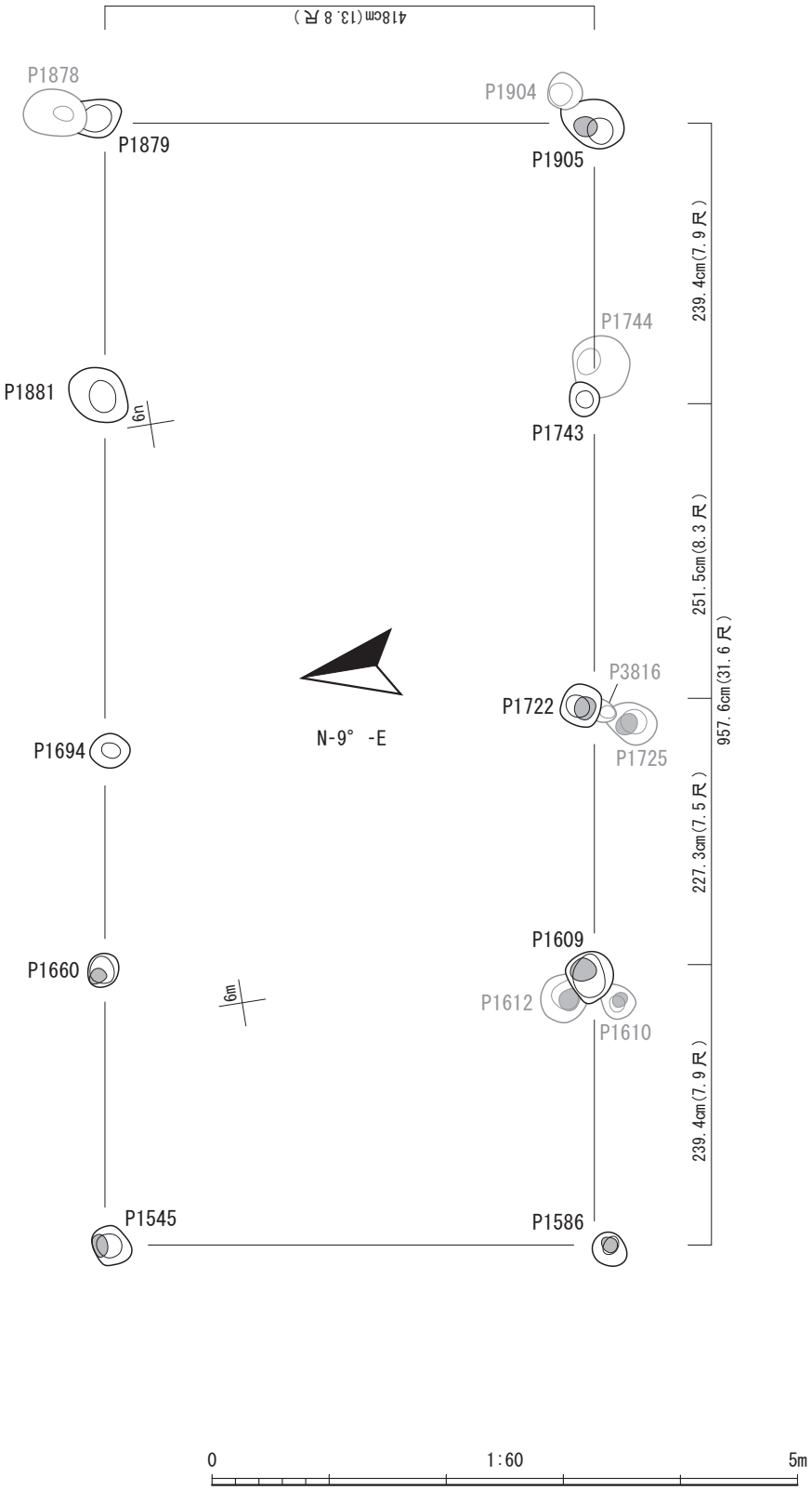
SB44 推定37.4㎡



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P2791	27.6	95.496
P2792	10.4	95.679
P2799	63.1	95.584
P2818	10.2	95.700
P2828	36.6	95.408
P2833	24.8	95.513
P3319	36.9	95.345
P3321	24.9	95.487
P3331	46.8	95.283
P3338	52.4	95.224
P3364	23.1	95.463
P3379	42.9	95.277
P3384	43.0	95.309

第62図　SB44

SB45 40.0㎡



柱穴番号	深さ（cm）	底面標高（m）
P1545	69.7	95.763
P1586	58.3	95.612
P1609	44.4	95.382
P1660	98.5	95.836
P1694	19.1	95.694
P1722	37.6	95.476
P1743	27.2	95.512
P1879	52.5	95.380
P1881	56.1	95.348
P1905	63.1	95.153

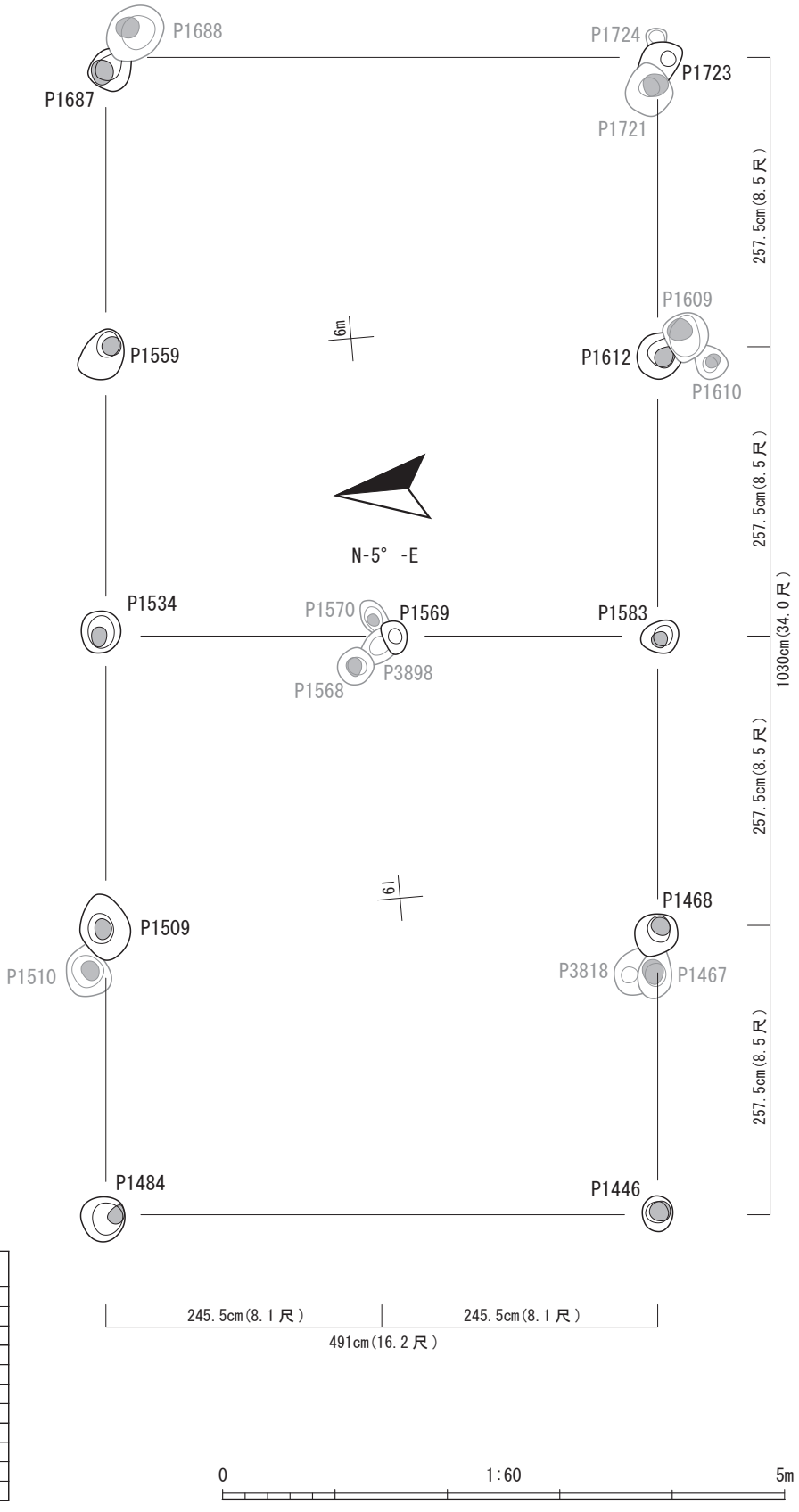
第63図　SB45

SB46（第 64 図　写真図版 45）	
位置　ⅠA5k、5l、5m、6k、6l、6m　区画内部	**使用した柱穴**　10 個
桁行　1030.0 cm（34 尺）	**梁間**　491.0 cm（16 尺 2 寸）
面積　50.6㎡（15.3 坪）	**軸方向**　N-5°-E
柱間寸法　桁行では 257.5 cm（8 尺 5 寸）を使用している。梁間は 245.5 cm（8 尺 1 寸）を使用している。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB80、SB168　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB2、SB23、SB25、SB29、SB37、SB42、SB45、SB53、SB57、SB60、SB63、SB69、SB74、SB77、SB94、SB99、SB166、SB167、SK63、SX18　接する遺構：SB91	
庇、下屋のない平面形で、中型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが具体的な性格については特定できない。桁行の柱間寸法は 8 尺 5 寸を基準とし整然としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。プラン内部の P1569 の存在により 2 室に分かれることが想定される。直接の出土遺物はない。SB2、SB45 と重複するが前後関係を把握できなかった。	
想定時期　12 期（1680 年頃～）の建物と想定する。	

SB47（第 65 図　写真図版 45）	
位置　ⅠA1p、2o、2p、3p　区画内部	**使用した柱穴**　9 個
桁行　781.5 cm（25 尺 8 寸）	**梁間**　363.6 cm（12 尺）
面積　推定 28.4㎡（8.6 坪）	**軸方向**　N-8°-E
柱間寸法　桁行では 212.0 cm（7 尺）を多用している。梁間は 363.6 cm（12 尺）であり、その半分の 181.8 cm（6 尺）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB59、SB90、SK62　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB24、SB26、SB30、SB32、SB36、SB41、SB44、SB54、SB65、SB68、SB72、SB76、SB81、SB84、SB88、SB92、SB95　**接する遺構**：SB47	
桁行が調査区外（南側）にさらに伸びる可能性もあるが、図示したプランを想定した。庇、下屋のない平面形で小型の建物である。附属屋の可能性が高い。柱間寸法は整然としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB48（第 66 図　写真図版 46）	
位置　ⅠA2k、2l、2m、3k、3l、3m、4k、4l、4m 区画内部	**使用した柱穴**　13 個
桁行　909.0 cm（30 尺）	**梁間**　627.0 cm（20 尺 7 寸）
面積　57.0㎡（17.2 坪）	**軸方向**　N-3°-E
柱間寸法　桁行では 227.5 cm（7 尺 5 寸）を使用している。梁間の身舎は 512.0 cm（16 尺 9 寸）であり、その半分の 256.0 cm（8 尺 4 寸 5 分）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB2、SB141、SB145、SB166　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB22、SB23、SB27、SB29、SB31、SB34、SB37、SB39、SB42、SB43、SB50、SB53、SB69、SB74、SB77、SB83、SB87、SB94、SB97、SB100、SB143、SB167、SB168、SI1、SX11、SX15　**本建物と接する遺構**：SB80	
中型の建物である。512.0 cm（16.9 尺）×909.0 cm（30.0 尺）の身舎東側に一面庇の構造と解釈される。庇の出は 115.0 cm（3 尺 8 寸）である。桁行の柱間寸法は 7 尺 5 寸を基準とした整然としたもので、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。また、SI1 と重複するがはっきりした前後関係を捉えることができなかった。SB37、SB69、SB83 と重複するが前後関係を把握できなかった。直接の出土遺物はない。	
想定時期　12 期（1680 年頃～）の建物と想定する。	

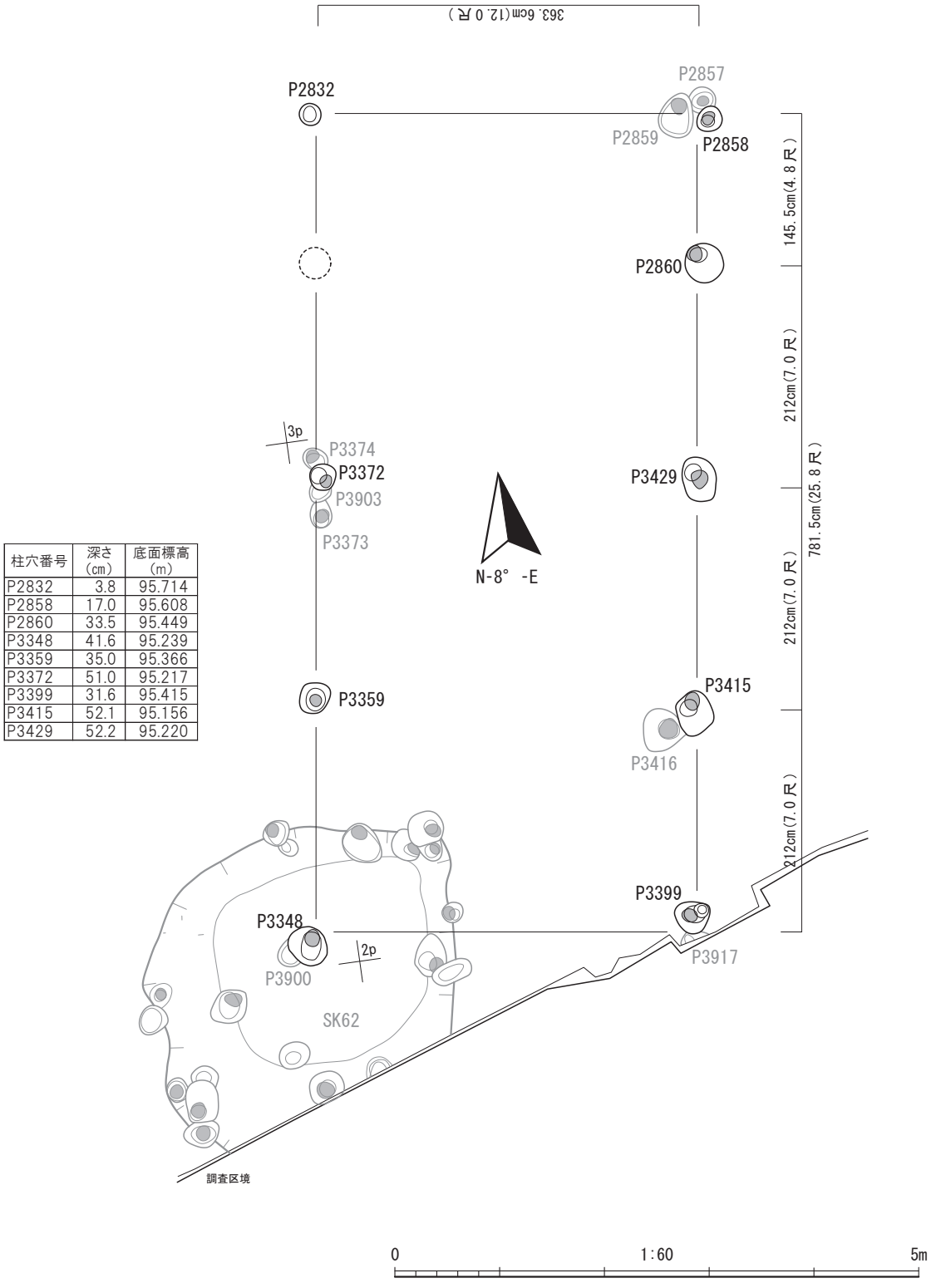
SB46 50.6㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1446	31.9	95.549
P1468	39.1	95.432
P1484	43.2	95.456
P1509	15.2	95.438
P1534	11.7	95.654
P1559	19.0	95.710
P1569	31.7	95.608
P1583	38.1	95.383
P1612	45.4	95.400
P1687	37.2	95.573
P1723	42.2	95.426

第 64 図　SB46

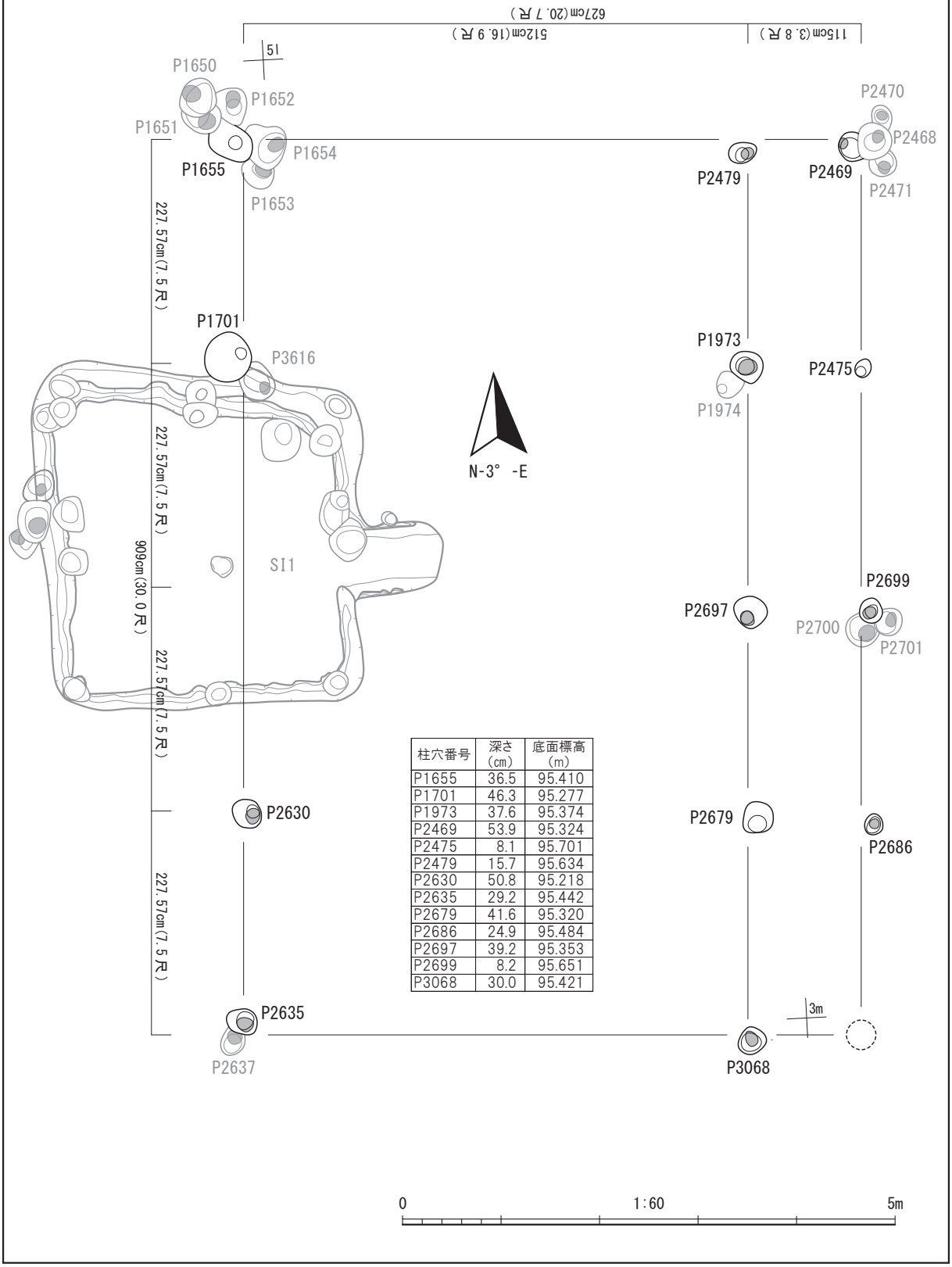
SB47 推定28.4㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2832	3.8	95.714
P2858	17.0	95.608
P2860	33.5	95.449
P3348	41.6	95.239
P3359	35.0	95.366
P3372	51.0	95.217
P3399	31.6	95.415
P3415	52.1	95.156
P3429	52.2	95.220

第65図　SB47

SB48 57.0㎡



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P1655	36.5	95.410
P1701	46.3	95.277
P1973	37.6	95.374
P2469	53.9	95.324
P2475	8.1	95.701
P2479	15.7	95.634
P2630	50.8	95.218
P2635	29.2	95.442
P2679	41.6	95.320
P2686	24.9	95.484
P2697	39.2	95.353
P2699	8.2	95.651
P3068	30.0	95.421

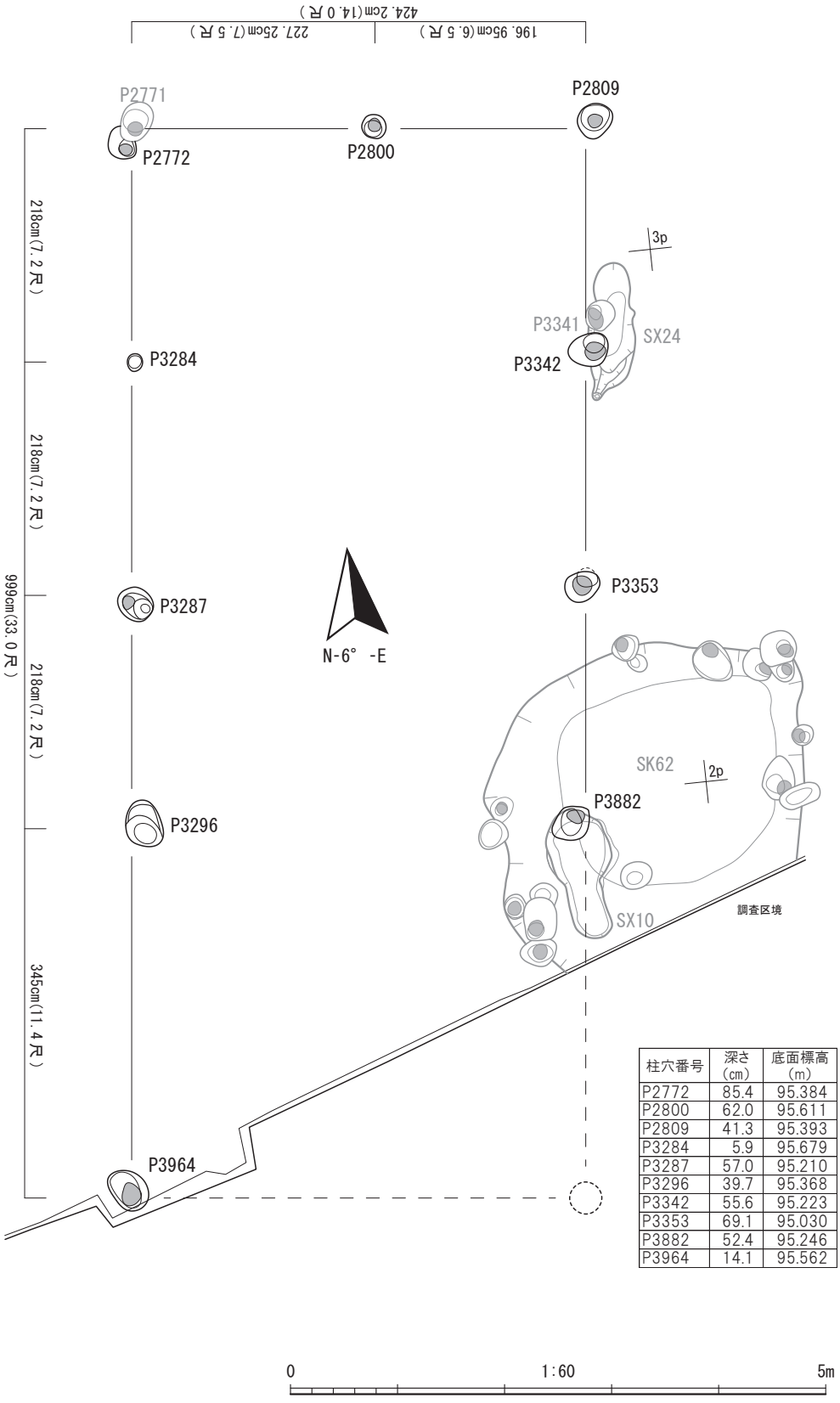
第66図　SB48

SB49（第 67 図　写真図版 46）	
位置　ⅠA1n、1o、2n、2o、3o　区画内部	**使用した柱穴**　10 個
桁行　999.0 cm（33 尺）	**梁間**　424.2 cm（14 尺）
面積　推定 42.4㎡（12.8 坪）	**軸方向**　N-6°-E
柱間寸法　桁行では 218.0 cm（7 尺 2 寸）を多用している。梁間の柱間では 196.95 cm（6 尺 5 寸）と 227.25 cm（7 尺 5 寸）と不揃いの寸法であるが、合計が 14 尺ちょうどになるように設計したと推測される。	
重複　**本建物より古い遺構**：SK62、SX24　**本建物より新しい遺構**：SB51、SX10　**本建物と重複する遺構**：SB30、SB38、SB44、SB54、SB62、SB67、SB72、SB76、SB79、SB84、SB88、SB90、SB92、SB95、SB129、SD9	
桁行が調査区外（南側）にさらに伸びる可能性もあるが、図示したプランを想定した。庇、下屋のない平面形で、やや小型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが具体的な性格については特定できない。柱間寸法はやや不整であるが、桁行、梁間の総長それぞれが 1 尺で割り切れる寸法であり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　2 期（1190～1226 年頃）の建物と想定する。	

SB50（第 68 図　写真図版 47）	
位置　ⅠA2l、2m、3l、3m、4l、4m　区画内部	**使用した柱穴**　7 個
桁行　757.5 cm（25 尺）	**梁間**　303.0 cm（10 尺）
面積　23.0㎡（6.7 坪）	**軸方向**　N-2°-W
柱間寸法　桁行では各々の柱間寸法が異なっており、基準の寸法を見出し難い。桁行の総長が 25 尺ちょうど、梁間の総長が 10 尺ちょうどであり、5 尺を建物の基準寸法に用いた可能性がある。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB2、SB31　**本建物と重複する遺構**：SB23、SB34、SB39、SB42、SB43、SB48、SB69、SB74、SB87、SB94、SB97、SB100、SB141、SB143、SB166、SB167、SB168、SX11、SX15	
庇、下屋のない平面形で、梁間が一間相当の小型の建物である。附属屋あるいは臨時の建物の可能性が高い。柱間寸法が不揃いであり、不整な印象がある。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB51（第 69 図　写真図版 47）	
位置　ⅠA1n、1o、2n、2o、3n、3o　区画内部	**使用した柱穴**　10 個
桁行　948.5 cm（31 尺 3 寸）	**梁間**　433.3 cm（14 尺 3 寸）
面積　41.1㎡（12.5 坪）	**軸方向**　N-2°-E
柱間寸法　桁行では 227.25 cm（7 尺 5 寸）を多用している。梁間は 433.3 cm（14 尺 3 寸）であり、その半分の 216.65 cm（7 尺 1 寸 5 分）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB49、SB129　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB38、SB54、SB56、SB62、SB67、SB73、SB79、SB139、SB149、SB151、SX8	
庇、下屋のない平面形である。やや小型の建物で、附属屋の可能性が高いと推測する。桁行の西辺では柱間寸法が整然としているが、東辺は柱間寸法が不揃いであることを否めない。P3224 埋土から須恵器大甕片（掲載番号 130）が出土している。	
想定時期　7 期（1375～1411 年頃）の建物と想定する。	

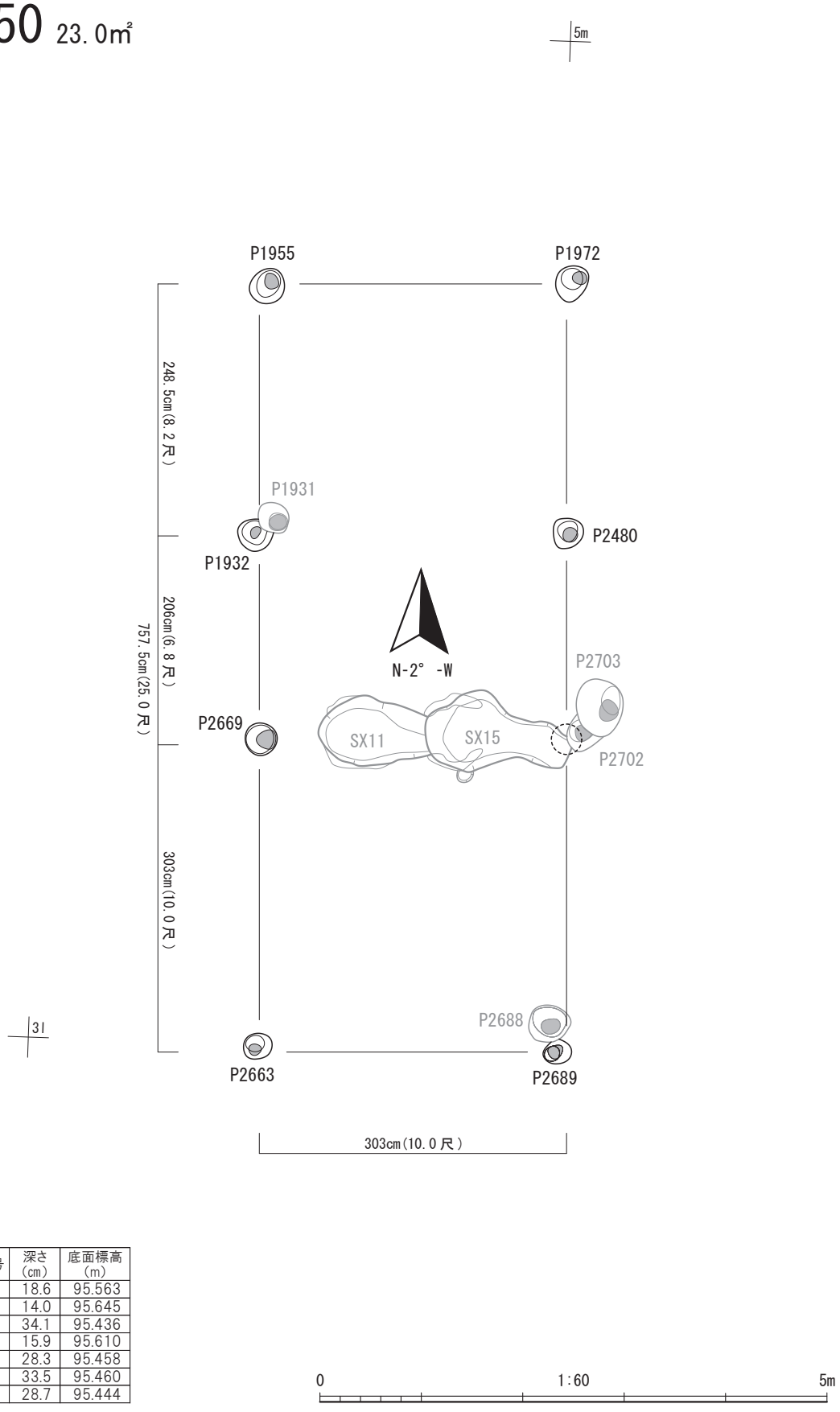
SB49 推定42.4㎡



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P2772	85.4	95.384
P2800	62.0	95.611
P2809	41.3	95.393
P3284	5.9	95.679
P3287	57.0	95.210
P3296	39.7	95.368
P3342	55.6	95.223
P3353	69.1	95.030
P3882	52.4	95.246
P3964	14.1	95.562

第67図　SB49

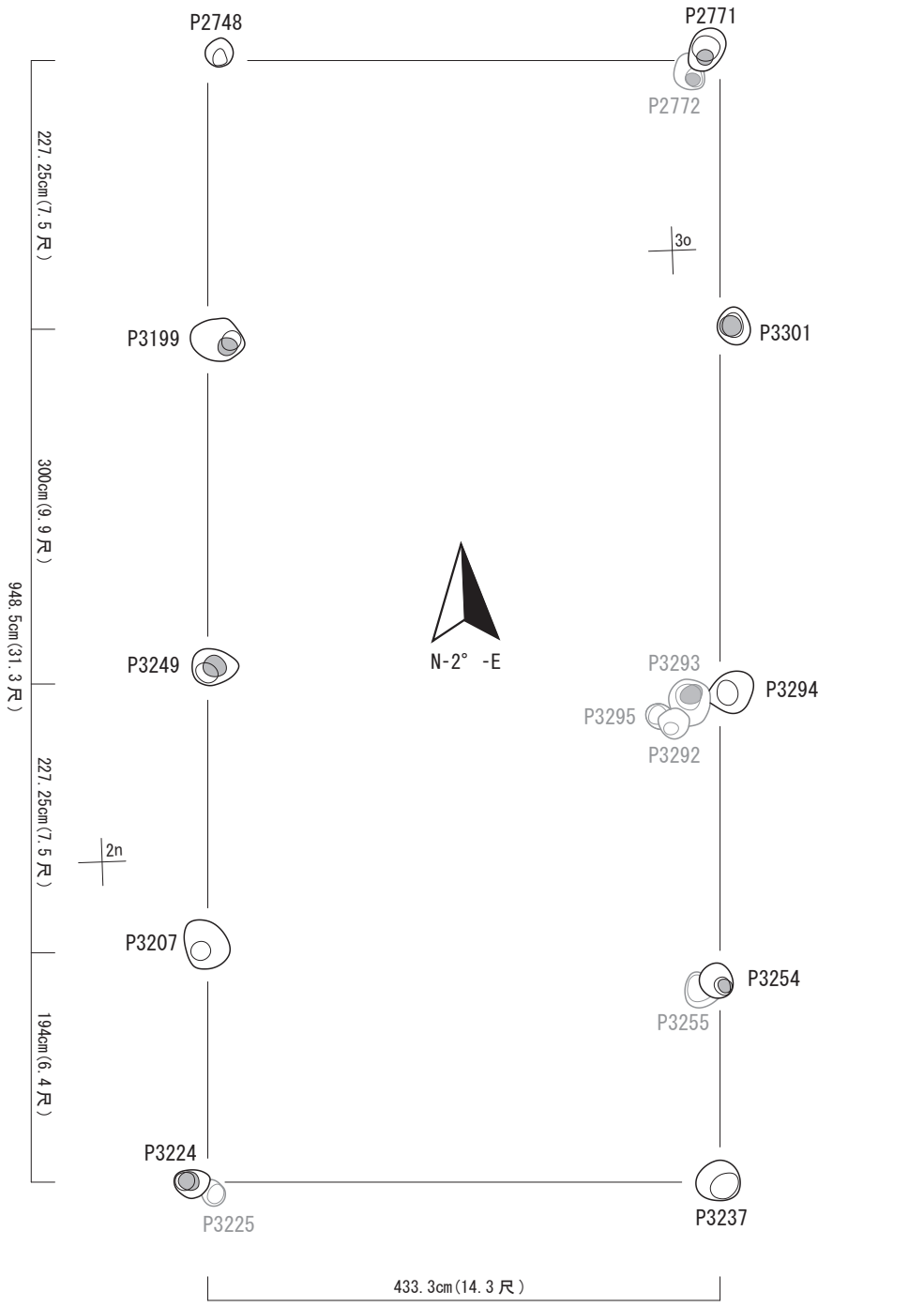
SB50 23.0㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1932	18.6	95.563
P1955	14.0	95.645
P1972	34.1	95.436
P2480	15.9	95.610
P2663	28.3	95.458
P2669	33.5	95.460
P2689	28.7	95.444

第 68 図　SB50

SB51 41.1㎡



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P2748	22.2	95.517
P2771	89.4	95.338
P3199	59.6	95.167
P3207	45.1	95.271
P3224	40.9	95.320
P3237	60.8	95.148
P3249	42.8	95.330
P3254	55.2	95.188
P3294	48.8	95.241
P3301	36.3	95.414

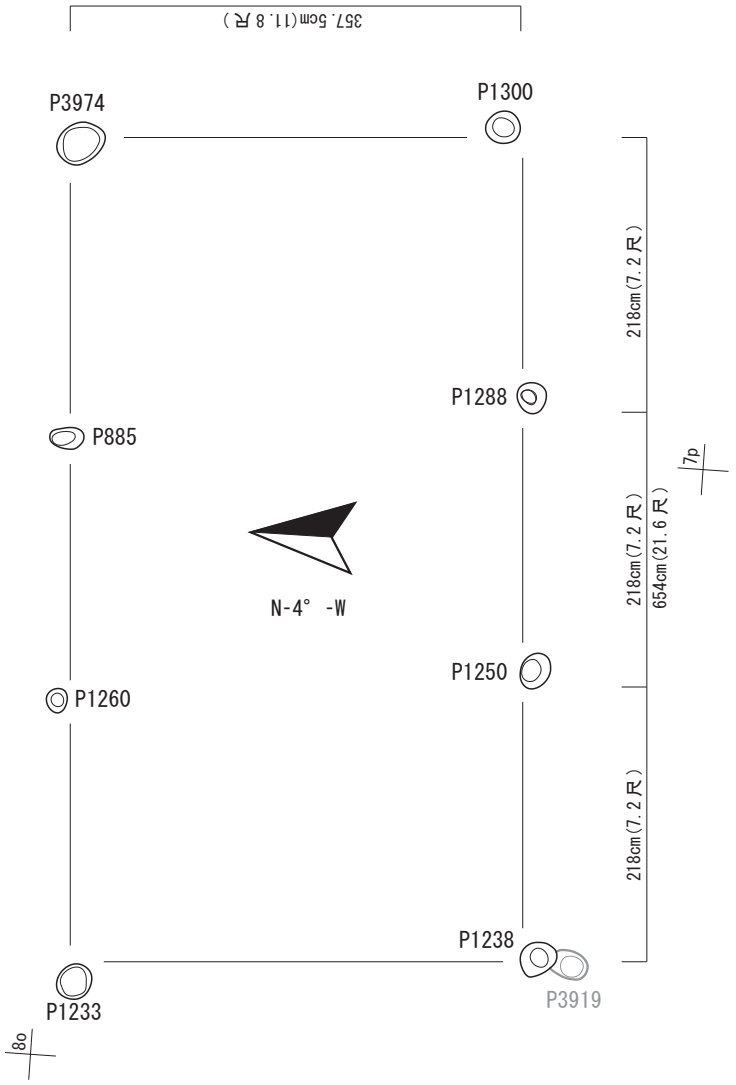
第69図　SB51

SB52（第 70 図　写真図版 48）	
位置　ⅠA7o、7p、8o、8p　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　654.0 cm（21 尺 6 寸）	**梁間**　357.5 cm（11 尺 8 寸）
面積　23.4㎡（7.1 坪）	**軸方向**　N-4°-W
柱間寸法　桁行では 218.0 cm（7 尺 2 寸）を使用している。梁間は 357.5 cm（11 尺 8 寸）であり、その半分の 178.75 cm（5 尺 9 寸）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB78　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB3、SB19、SB66、SB82、SB154、SB160、SB162、SB164	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋の可能性が高いと推測される。桁行、梁間の柱間寸法は概ね整然としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

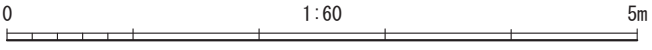
SB53（第 71 図　写真図版 49）	
位　置　ⅠA2j、2k、2l、3j、3k、3l、4j、4k、4l、5j、5k、5l、6j、6k、6l　区画内部	**使用した柱穴**　13 個
桁行　1637.25 cm（54 尺）	**梁間**　606.0 cm（20 尺）
面積　99.2㎡（30.1 坪）	**軸方向**　N-2°-W
柱間寸法　桁行では 273.0 cm（9 尺）を多用している。異なる柱間寸法は 227.25 cm（7 尺 5 寸）と 318.0 cm（10 尺 5 寸）の部位がそれぞれ一箇所ずつあり、合計すると 545.25 cm（18 尺）と 9 尺の 2 倍の寸法となり、桁行の基準寸法は 273.0 cm（9 尺）と理解される。梁間は 606.0 cm（20 尺）であり、その半分の 303.0 cm（10 尺）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB167　**本建物より新しい遺構**：SB2、SB37　**本建物と重複する遺構**：SB1、SB22、SB25、SB27、SB31、SB40、SB46、SB48、SB60、SB63、SB64、SB69、SB70、SB71、SB80、SB83、SB141、SB166、SB168、SI1、SK1	
大型の建物で、居館の主殿と推測する。検出した平面形では庇が無いプランであるが、この規模で身舎のみの構造は不自然であり、元来は庇（下屋）が存在したプランと想像する。庇の柱穴が相対的に身舎の柱穴より浅く、今回の調査の検出面では残存していなかったと解釈する。庇の出を 136.5 cm（4 尺 5 寸）で四面庇と仮定すると、庇部分の面積は 68.4㎡ となり、合計 167.6㎡（50.8 坪）の面積となる。これは今回検出の主殿と解釈される大規模建物 SB1（168.7㎡）、SB168（171.7㎡）などに近似する面積であり違和感はない。柱間も桁行では 273.0 cm（9 尺）基準のきっちりした寸法であり、大規模建物に相応しいものである。重複、切り合い関係などから、14 世紀前半頃（1301～1337 年頃）の建物と想定する。直接の出土遺物はない。	
想定時期　5 期（1301～1337 年頃）の建物と想定する。	

SB54（第 72 図　写真図版 48）	
位置　ⅠA2n、2o、2p、3n、3o、3p　区画内部	**使用した柱穴**　7 個
桁行　681.8 cm（22 尺 5 寸）	**梁間**　254.5 cm（8 尺 4 寸）
面積　17.4㎡（5.3 坪）	**軸方向**　N-6°-E
柱間寸法　桁行では 221.2 cm（7 尺 3 寸）を多用している。梁間は 254.4 cm（8 尺 4 寸）が使用されているが、基準を見出し難い。	
重複　**本建物より古い遺構**：SD9　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB30、SB38、SB44、SB47、SB49、SB51、SB56、SB59、SB62、SB67、SB72、SB76、SB79、SB81、SB84、SB88、SB92、SB129、SX24	
庇、下屋のない平面形で、梁間が一間相当の小型の建物である。附属屋あるいは臨時の建物の可能性が高い。柱間寸法がやや不揃いであり、不整な印象がある。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

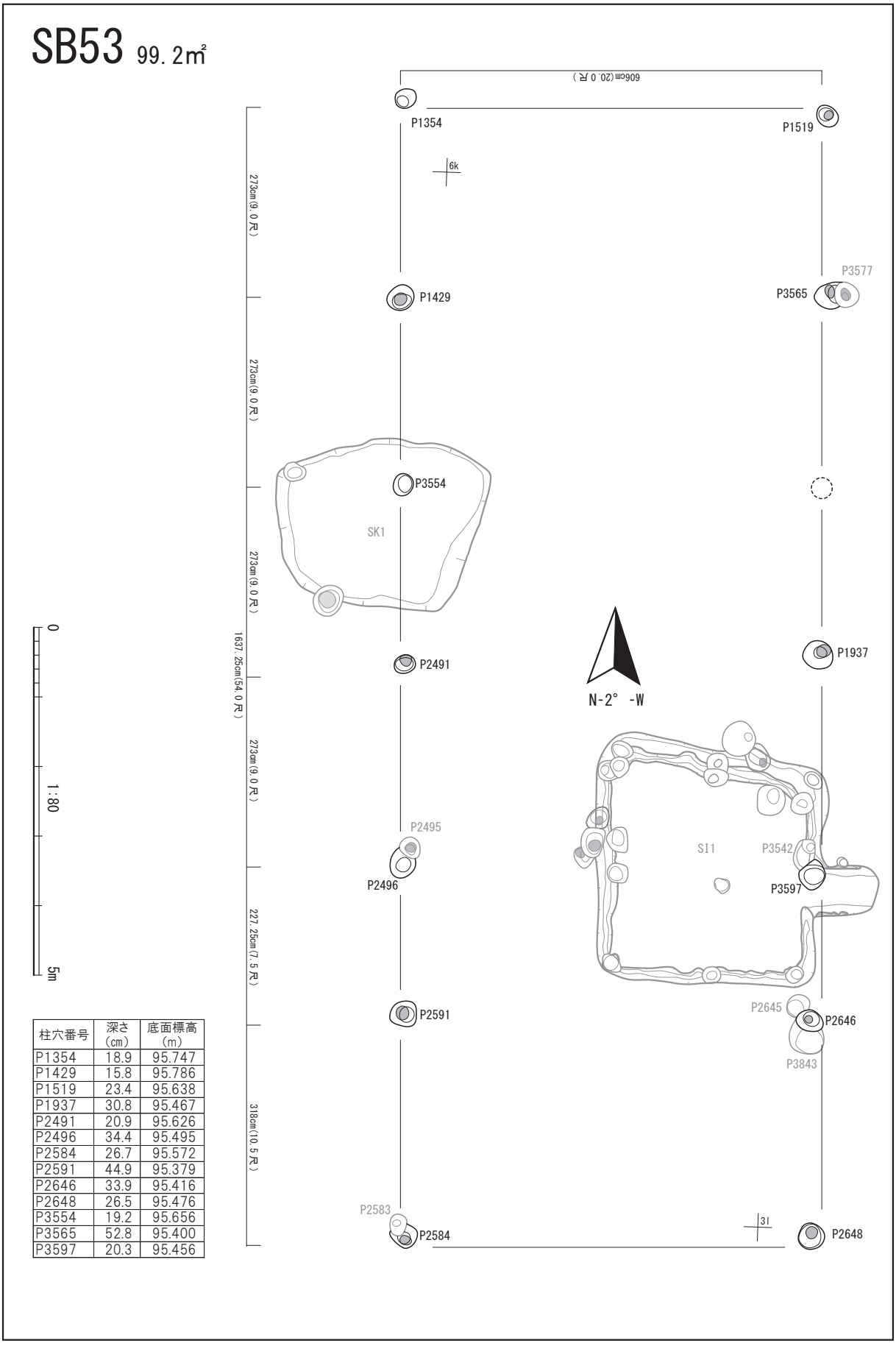
SB52 23.4㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P885	16.9	95.786
P1233	13.4	95.823
P1238	13.9	95.838
P1250	34.2	95.603
P1260	17.0	95.765
P1288	44.0	95.774
P1300	11.2	95.768
P3974	10.8	95.792



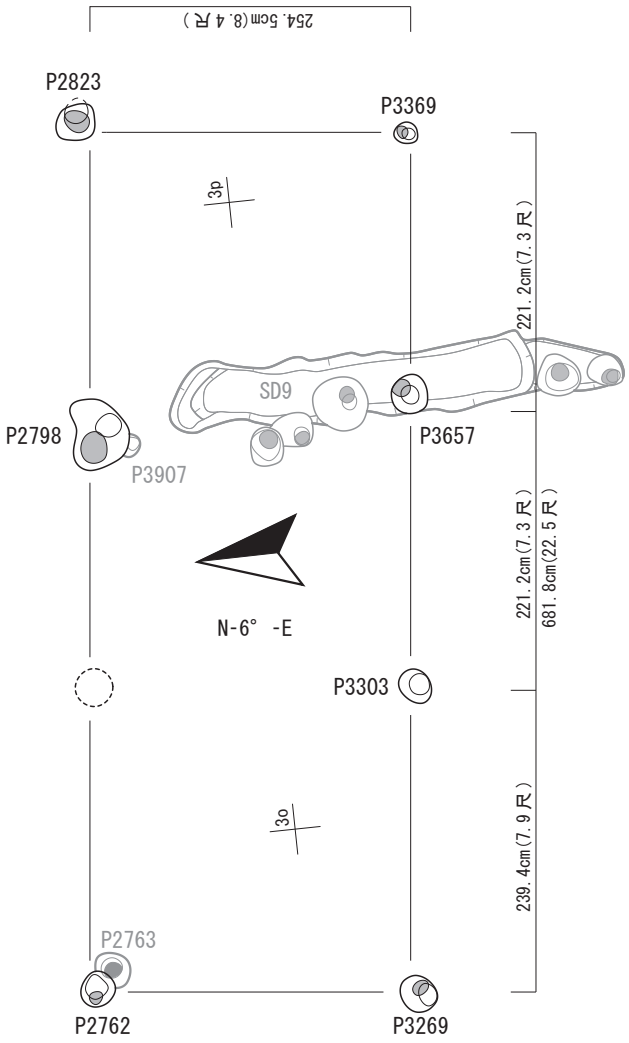
第 70 図　SB52



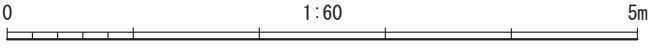
柱穴番号	深さ（cm）	底面標高（m）
P1354	18.9	95.747
P1429	15.8	95.786
P1519	23.4	95.638
P1937	30.8	95.467
P2491	20.9	95.626
P2496	34.4	95.495
P2584	26.7	95.572
P2591	44.9	95.379
P2646	33.9	95.416
P2648	26.5	95.476
P3554	19.2	95.656
P3565	52.8	95.400
P3597	20.3	95.456

第 71 図　SB53

SB54 17.4㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2762	13.0	95.597
P2798	54.9	95.213
P2823	49.3	95.261
P3269	42.0	95.380
P3303	36.7	95.411
P3369	20.9	95.526
P3657	40.2	95.355



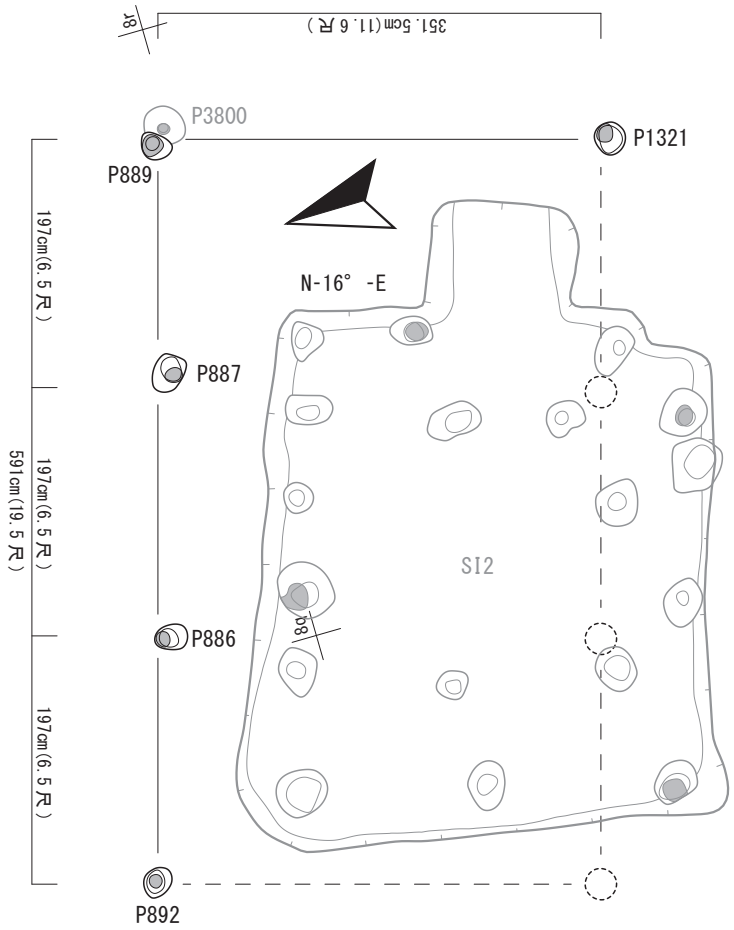
第 72 図　SB54

SB55（第 73 図　写真図版 50）	
位置　ⅠA7p、7q、8p、8q　区画内部	**使用した柱穴**　5 個
桁行　591.0 cm（19 尺 5 寸）	**梁間**　351.5 cm（11 尺 6 寸）
面積　推定 20.8㎡（6.3 坪）	**軸方向**　N-16°-E
柱間寸法　桁行では 197.0 cm（6 尺 5 寸）を使用している。梁間は 351.5 cm（11 尺 6 寸）であり、その半分の 175.75 cm（5 尺 8 寸）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SI2　**本建物と重複する遺構**：SB3、SB78、SB86、SB160、SB162	
プランの南西隅が確定できず、面積は推定とした。庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋の可能性が推測される。桁行の柱間寸法は 6 尺 5 寸で統一されており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　2 期（1190～1226 年頃）の建物と想定する。	

SB56（第 74 図　写真図版 50）	
位置　ⅠA1m、1n、2m、2n、3n　区画内部	**使用した柱穴**　9 個
桁行　909.0 cm（30 尺）	**梁間**　394.0 cm（13 尺）
面積　35.8㎡（10.8 坪）	**軸方向**　N-9°-E
柱間寸法　桁行では 227.25 cm（7 尺 5 寸）を使用している。梁間は 394.0 cm（13 尺）であり、その半分の 197.0 cm（6 尺 5 寸）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB33、SB51、SB54、SB62、SB67、SB73、SB79、SB129、SB139、SB147、SB149、SB151、SX8	
庇、下屋のない平面形で、やや小型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが具体的な性格については特定できない。柱間寸法は桁行では 7 尺 5 寸と均一であり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。SB67 と柱穴が重複するが、前後関係を把握できなかった。	
想定時期　4 期（1264～1300 年頃）の建物と想定する。	

SB57（第 75 図　写真図版 51）	
位置　ⅠA5m、5n、5o、6m、6n、6o、7m　区画内部	**使用した柱穴**　10 個
桁行　1092.0 cm（36 尺）	**梁間**　493.0 cm（16 尺 3 寸）
面積　53.8㎡（16.3 坪）	**軸方向**　N-8°-E
柱間寸法　桁行では 273.0 cm（9 尺）を使用している。梁間は 493.0 cm（16 尺 3 寸）であり、その半分の 246.5 cm（8 尺 1 寸 5 分）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB3　**本建物と重複する遺構**：SB2、SB29、SB42、SB45、SB46、SB66、SB77、SB82、SB85、SB89、SB94、SB138、SB146、SB150、SB154	
庇、下屋のない平面形で、中型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。桁行の柱間寸法は 9 尺を基準とし整然としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。SB85 と重複するが前後関係を把握できなかった。	
想定時期　2 期（1190～1226 年頃）の建物と想定する。	

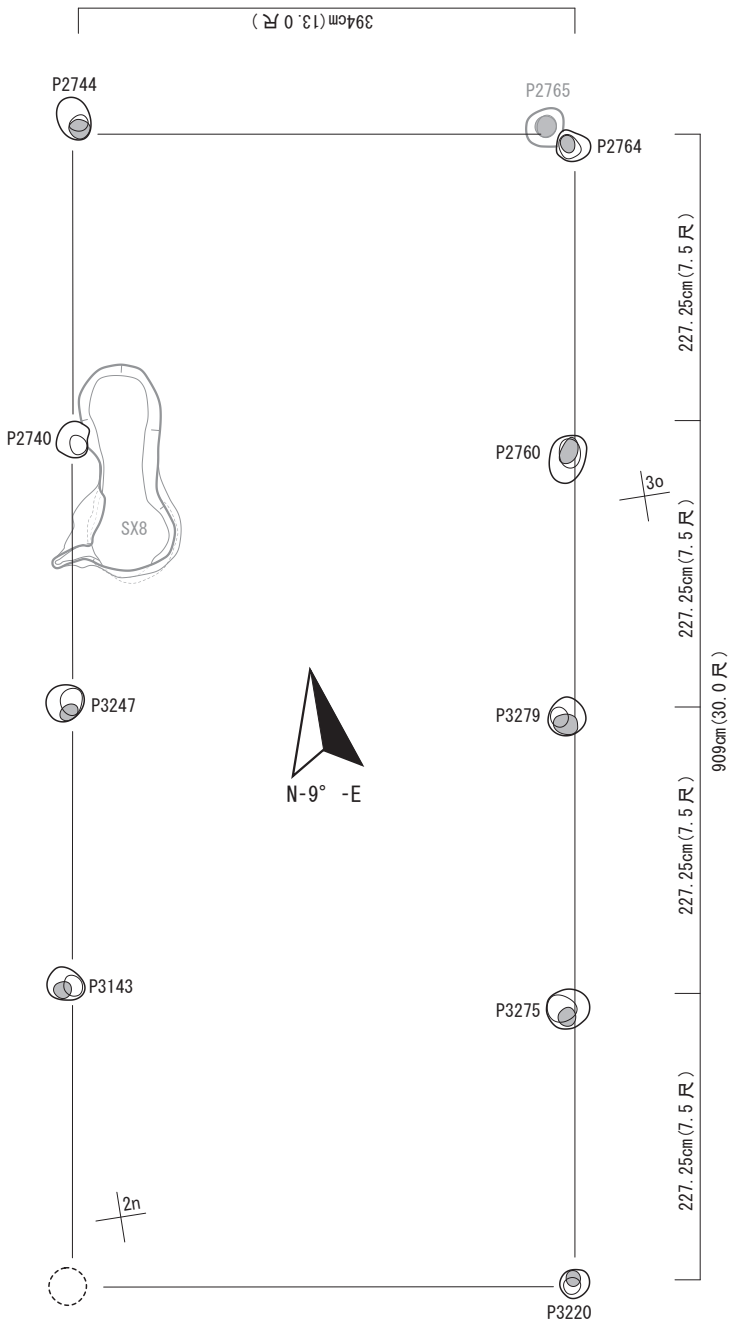
SB55 推定20.8㎡



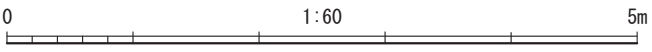
柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P886	22.8	95.598
P887	23.6	95.633
P889	28.5	95.581
P892	30.0	95.633
P1321	13.9	95.760

第 73 図　SB55

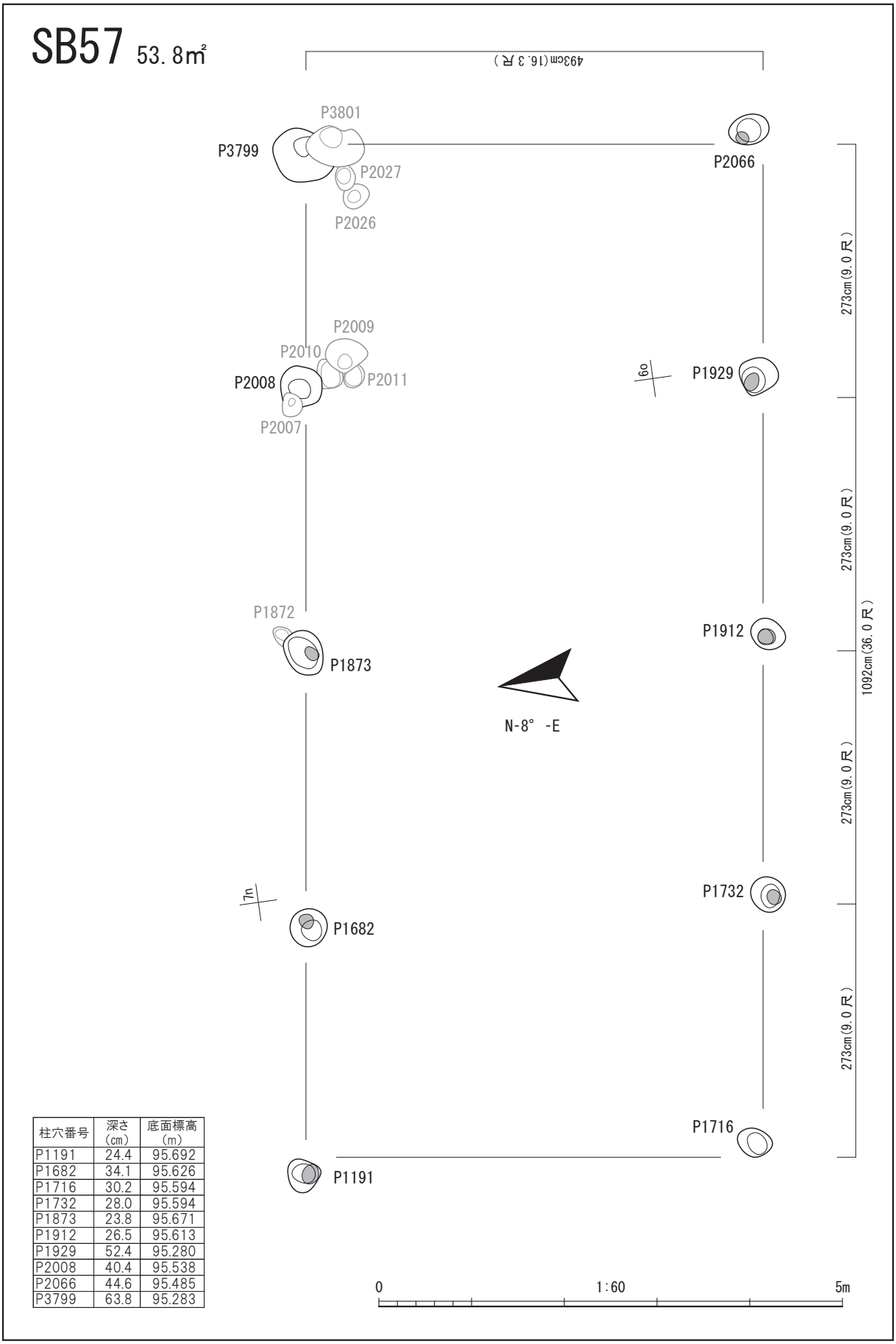
SB56 35.8㎡



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P2740	34.7	95.443
P2744	8.7	95.639
P2760	94.4	95.322
P2764	64.5	95.605
P3143	37.9	95.401
P3220	9.4	95.622
P3247	30.8	95.468
P3275	47.0	95.313
P3279	41.8	95.392



第74図　SB56



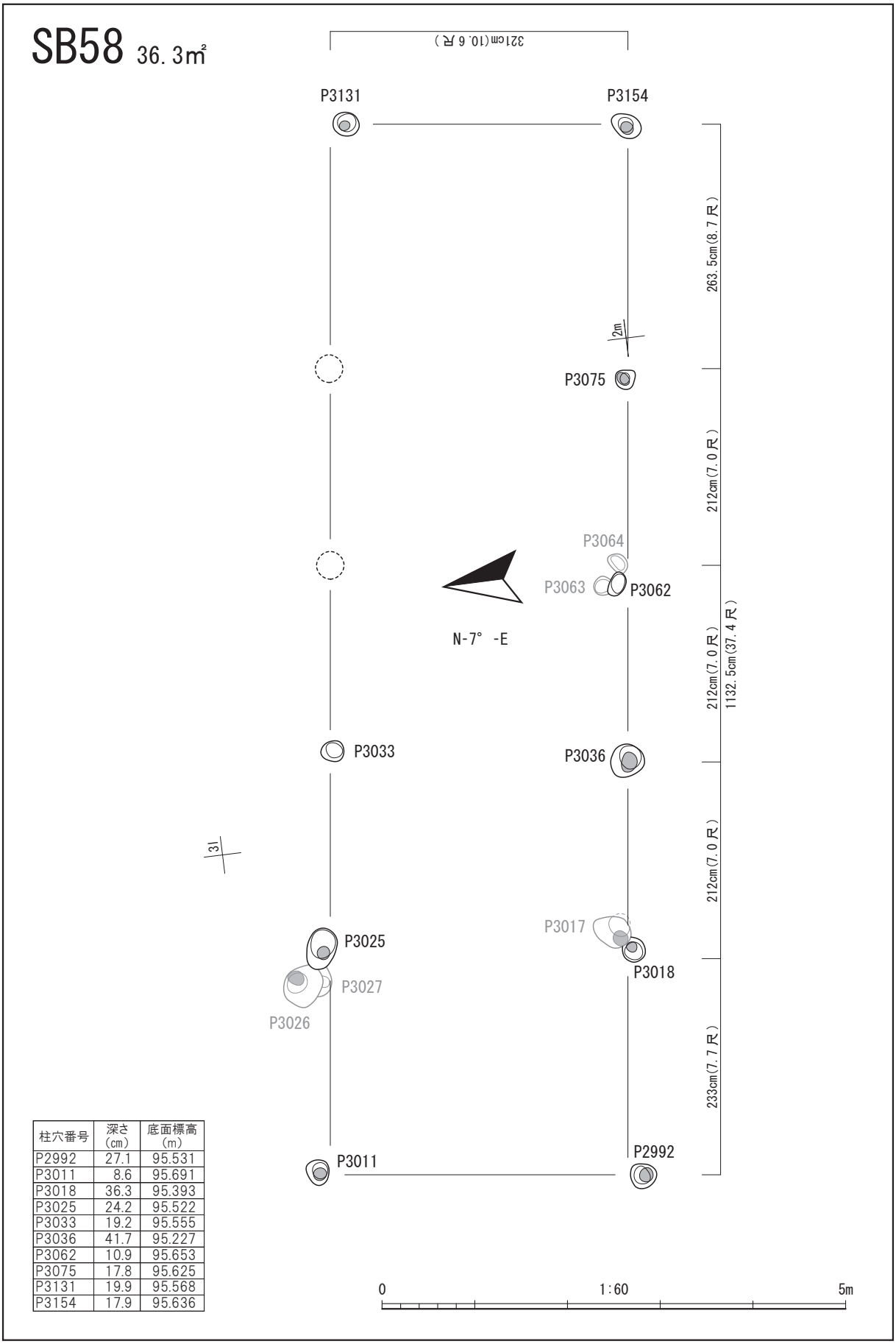
柱穴番号	深さ（cm）	底面標高（m）
P1191	24.4	95.692
P1682	34.1	95.626
P1716	30.2	95.594
P1732	28.0	95.594
P1873	23.8	95.671
P1912	26.5	95.613
P1929	52.4	95.280
P2008	40.4	95.538
P2066	44.6	95.485
P3799	63.8	95.283

第 75 図　SB57

SB58（第 76 図　写真図版 51）	
位置　ⅠA1l、1m、2k、2l、2m　区画内部	**使用した柱穴**　10 個
桁行　1132.5 cm（37 尺 4 寸）	**梁間**　321.0 cm（10 尺 6 寸）
面積　36.3㎡（11.0 坪）	**軸方向**　N-7°-E
柱間寸法　桁行では 212.0 cm（7 尺）を多用している。梁間は 321.0 cm（10 尺 6 寸）であり、その半分の 160.5 cm（5 尺 3 寸）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB2、SB64　**本建物より新しい遺構**：SB40　**本建物と重複する遺構**：SB22、SB27、SB34、SB43、SB61、SB143、SB168、SX13、SX16、SX19	
庇、下屋のない平面形で、やや小型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが具体的な性格については特定できない。柱間寸法はやや不整な部分もあるが、桁行では 7 尺が多用され、桁行の総長も 37 尺 4 寸と長めであり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。P3036 埋土から須恵器大甕片（掲載番号 132）が出土している。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB59（第 77 図　写真図版 52）	
位置　ⅠA2p、3o、3p、4o、4p　区画内部	**使用した柱穴**　9 個
桁行　1078.0 cm（35 尺 6 寸）	**梁間**　445.5 cm（14 尺 7 寸）
面積　48.0㎡（14.5 坪）	**軸方向**　N-5°-W
柱間寸法　桁行では 269.5 cm（8 尺 9 寸）を使用している。梁間は 445.5 cm（14 尺 7 寸）であり、その半分の 222.75 cm（7 尺 3 寸 5 分）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB47　**本建物と重複する遺構**：SBSB4、SB24、SB26、SB28、SB30、SB32、SB36、SB38、SB41、SB44、SB54、SB65、SB68、SB72、SB76、SB81、SB84、SB85、SB88、SB92	
庇、下屋のない平面形で、中型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。桁行の柱間寸法は 8 尺 9 寸で均一であり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　5 期（1301～1337 年頃）の建物と想定する。	

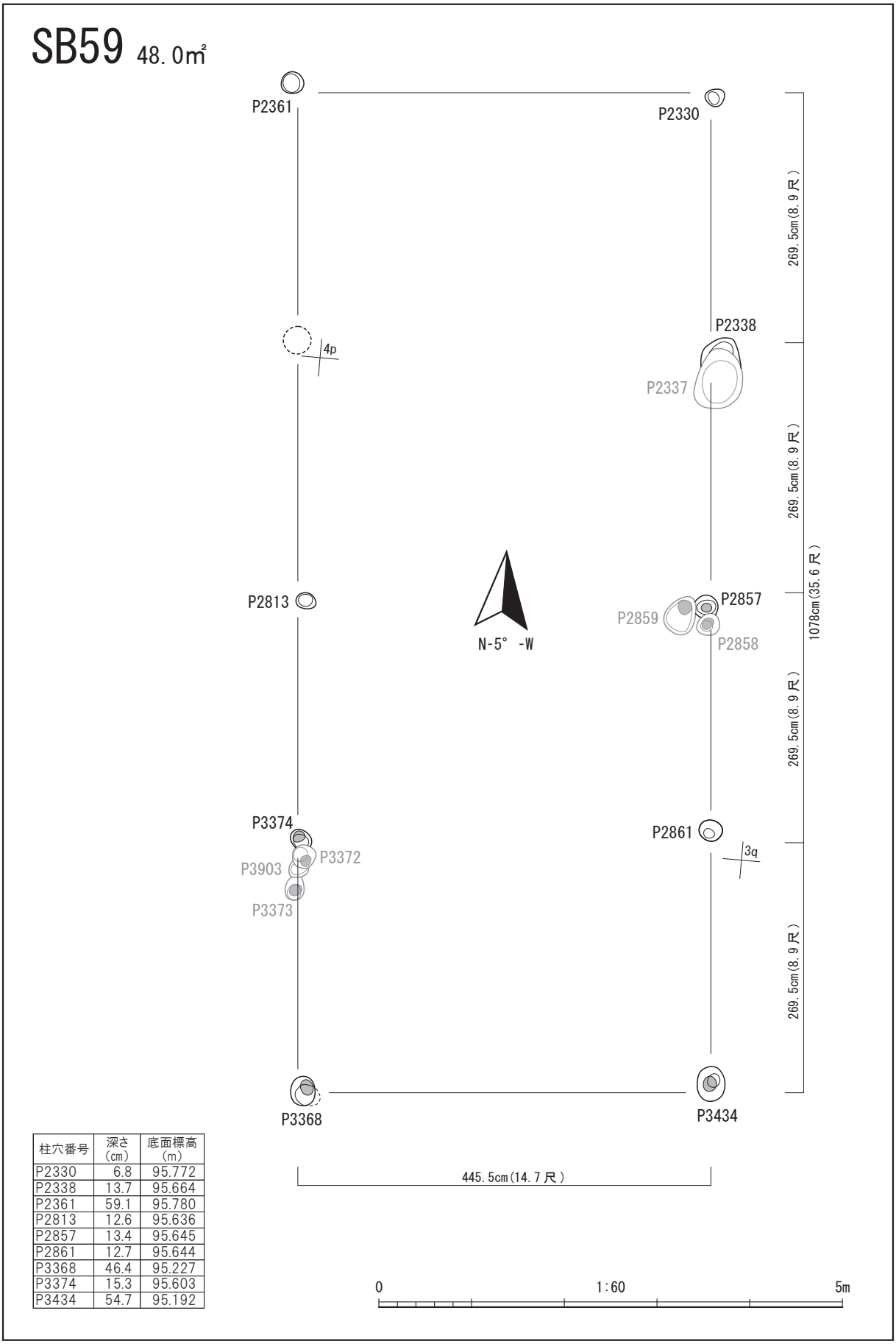
SB60（第 78 図　写真図版 52）	
位置　ⅠA5k、5l、6k、6l　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　672.75 cm（22 尺 2 寸）	**梁間**　485.0 cm（16 尺）
面積　32.6㎡（9.9 坪）	**軸方向**　N-3°-W
柱間寸法　桁行では 224.25 cm（7 尺 4 寸）を使用している。梁間は総長が 485.0 cm（16 尺）であり、その半分の 242.5 cm（8 尺）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB2、SB74　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB1、SB25、SB37、SB42、SB46、SB53、SB63、SB69、SB77、SB99、SB166、SB167、SB168、SX18	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋の可能性が高いと推測される。桁行の柱間寸法は 7 尺 4 寸と均一で、梁間も 16 尺という区切りのよい寸法であり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2992	27.1	95.531
P3011	8.6	95.691
P3018	36.3	95.393
P3025	24.2	95.522
P3033	19.2	95.555
P3036	41.7	95.227
P3062	10.9	95.653
P3075	17.8	95.625
P3131	19.9	95.568
P3154	17.9	95.636

第 76 図　SB58

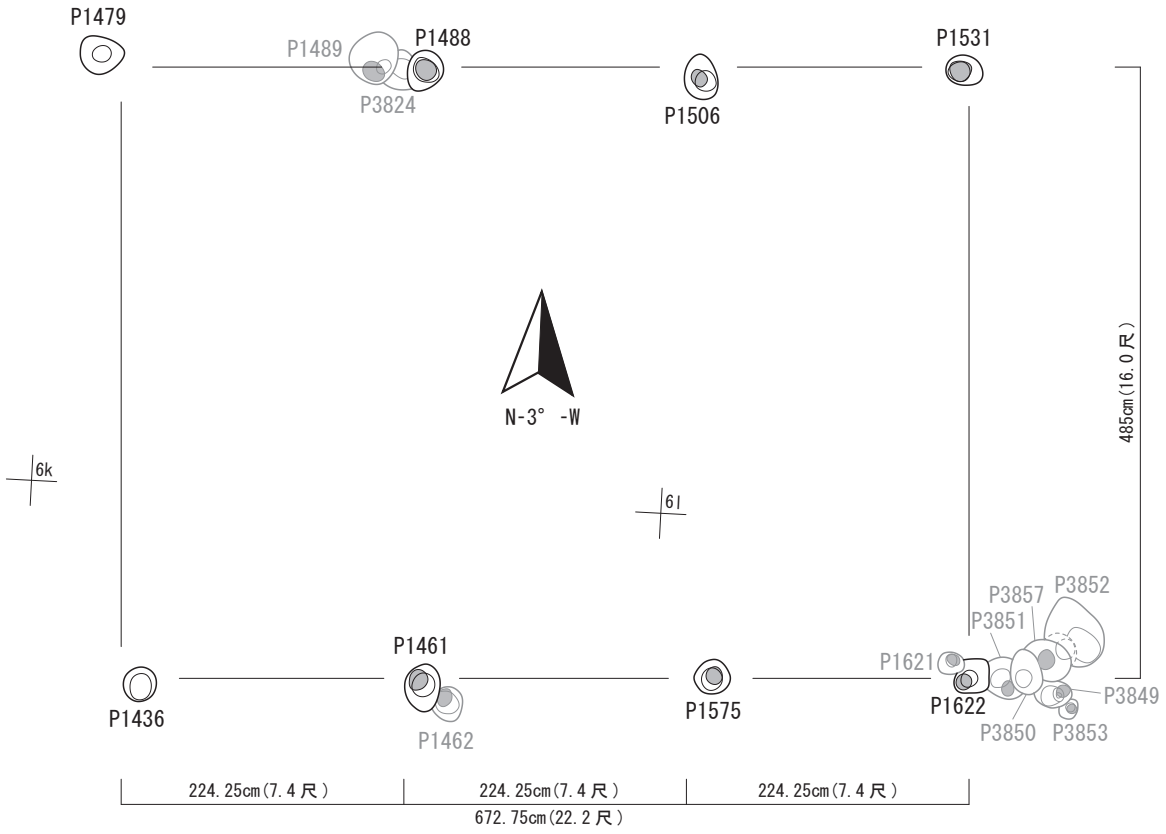
SB59 48.0㎡



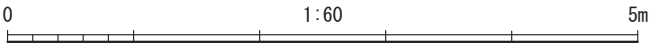
柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P2330	6.8	95.772
P2338	13.7	95.664
P2361	59.1	95.780
P2813	12.6	95.636
P2857	13.4	95.645
P2861	12.7	95.644
P3368	46.4	95.227
P3374	15.3	95.603
P3434	54.7	95.192

第77図　SB59

SB60 32.6㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1436	9.3	95.805
P1461	70.2	95.703
P1479	10.3	95.815
P1488	35.2	95.543
P1506	9.9	95.610
P1531	11.8	95.637
P1575	60.0	95.702
P1622	18.9	95.714



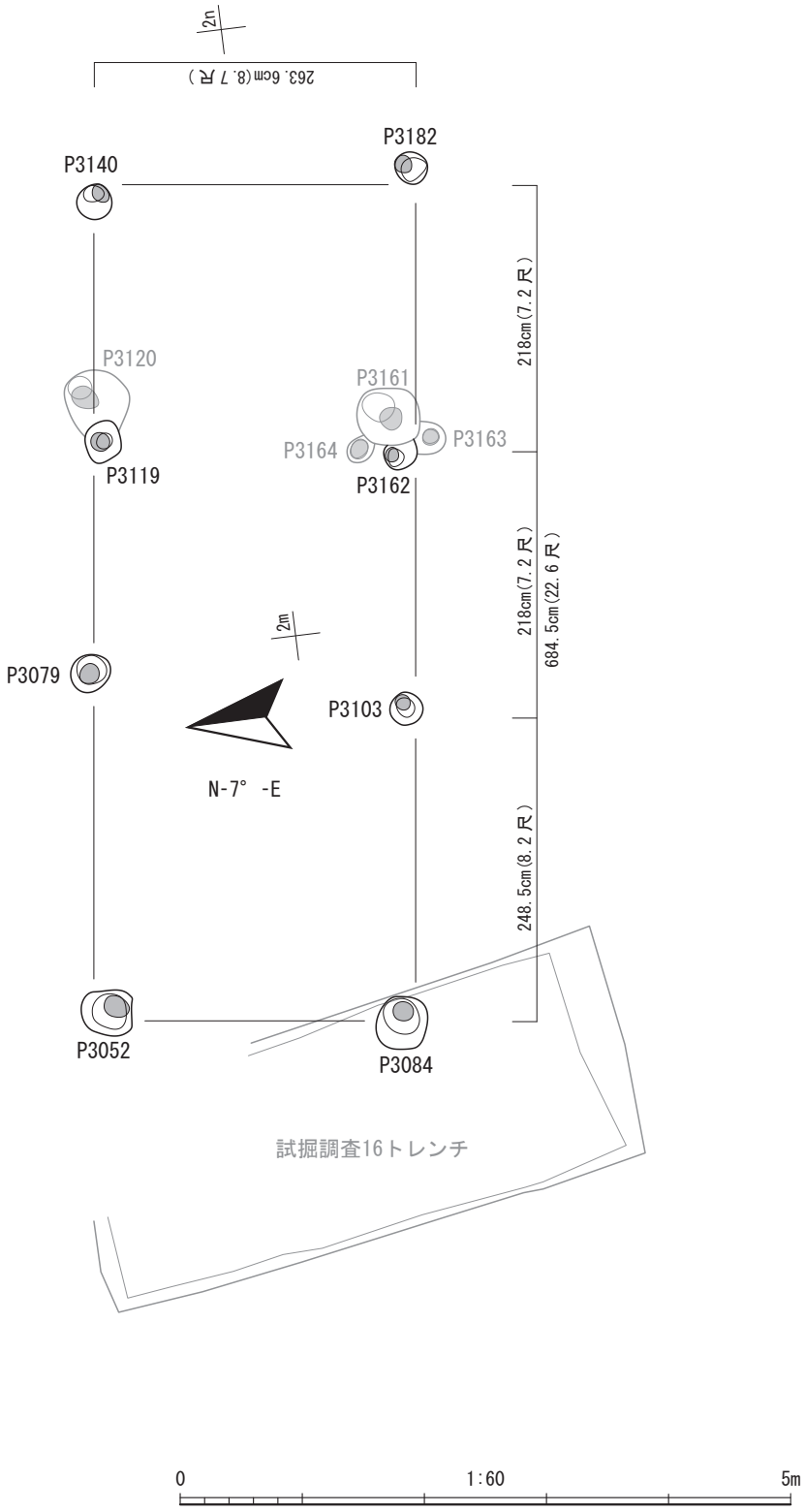
第 78 図　SB60

SB61（第 79 図　写真図版 53）	
位置　ⅠA1l、1m、2l、2m　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　684.5 cm（22 尺 6 寸）	**梁間**　263.6 cm（8 尺 7 寸）
面積　18.0㎡（5.5 坪）	**軸方向**　N-7°-E
柱間寸法　桁行では 218.0 cm（7 尺 2 寸）を多用している。梁間は総長が 263.6 cm（8 尺 7 寸）であるが、その準拠する寸法等を見出すことができない。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB143　**本建物と重複する遺構**：SB2、SB34、SB58、SB139、SX19　**本建物と接する遺構**：SB73	
庇、下屋のない平面形で、梁間が一間相当分かと推測される小型の建物である。附属屋あるいは臨時の建物の可能性が高い。柱間寸法の基準値が見出し難く、不整な印象がある。直接の出土遺物はない。	
想定時期　2 期（1190～1226 年頃）の建物と想定する。	

SB62（第 80 図　写真図版 53）	
位置　ⅠA1n、1o、2n、2o、3n、3o　区画内部	**使用した柱穴**　10 個
桁行　863.75 cm（28 尺 5 寸）	**梁間**　403.0 cm（13 尺 3 寸）
面積　34.8㎡（10.5 坪）	**軸方向**　N-3°-W
柱間寸法　桁行では 227.25 cm（7 尺 5 寸）を多用している。梁間は総長が 403.0 cm（13.3 尺）であり、その半分の 201.5 cm（6 尺 6 寸 5 分）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB88　**本建物と重複する遺構**：SB30、SB33、SB38、SB49、SB51、SB54、SB56、SB67、SB73、SB79、SB95、SB129	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋の可能性が高いと推測される。桁行の柱間寸法は 7 尺 5 寸が多用され、異なる柱間寸法も 6 尺と区切りがよい寸法であり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　5 期（1301～1337 年頃）の建物と想定する。	

SB63（第 81 図　写真図版 54）	
位置　ⅠA5j、5k、6j、6k、6l　区画内部	**使用した柱穴**　9 個
桁行　884.8 cm（29 尺 2 寸）	**梁間**　442.4 cm（14 尺 6 寸）
面積　39.1㎡（11.8 坪）	**軸方向**　桁行　N-1°-W（90° 傾） 梁間　N-3°-E
柱間寸法　桁行では 221.2 cm（7 尺 3 寸）を使用している。梁間は総長が 442.4 cm（14.6 尺）であり、その半分は 221.2 cm（7 尺 3 寸）となる。よって本建物の基準寸法は 221.2 cm（7 尺 3 寸）と理解される。	
重複　**本建物より古い遺構**：SK2　**本建物より新しい遺構**：SB83　**本建物と重複する遺構**：SB1、SB2、SB14、SB25、SB31、SB37、SB46、SB53、SB60、SB71、SB80、SB166、SB167、SB168、SI4、SK1	
桁行の軸方向と梁間の軸方向で角度が異なり、平行四辺形の平面を呈する建物である。平行四辺形の平面であるが、柱間寸法は桁行、梁間ともに 7 尺 3 寸を使用し整然としている。やや小型の建物で附属屋の可能性が高いと推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　7 期（1375～1411 年頃）の建物と想定する。	

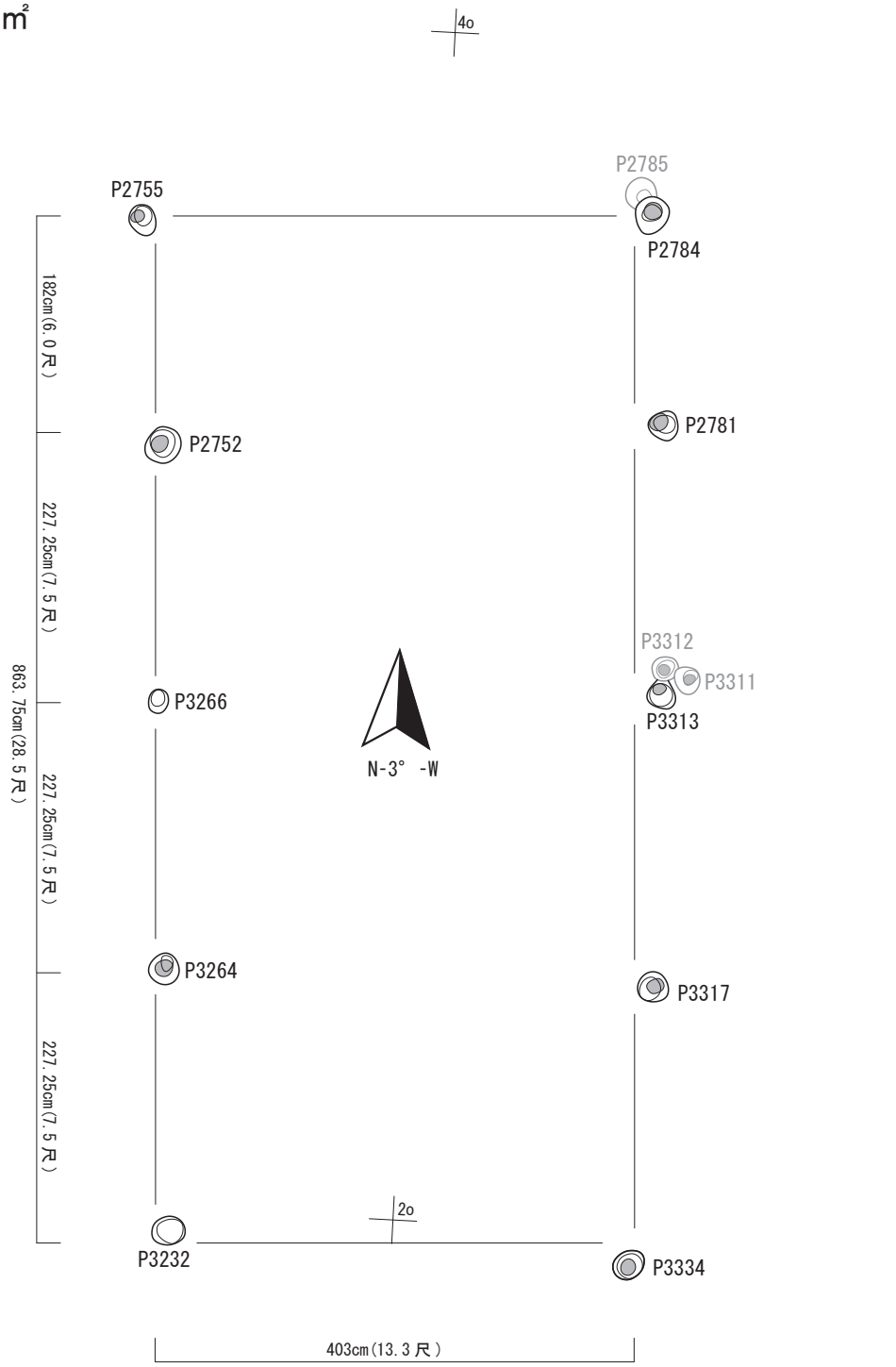
SB61 18.0㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P3052	32.1	95.435
P3079	22.0	95.517
P3084	36.1	95.268
P3103	46.6	95.310
P3119	46.6	95.329
P3140	20.5	95.535
P3162	21.3	95.590
P3182	15.4	95.579

第 79 図　SB61

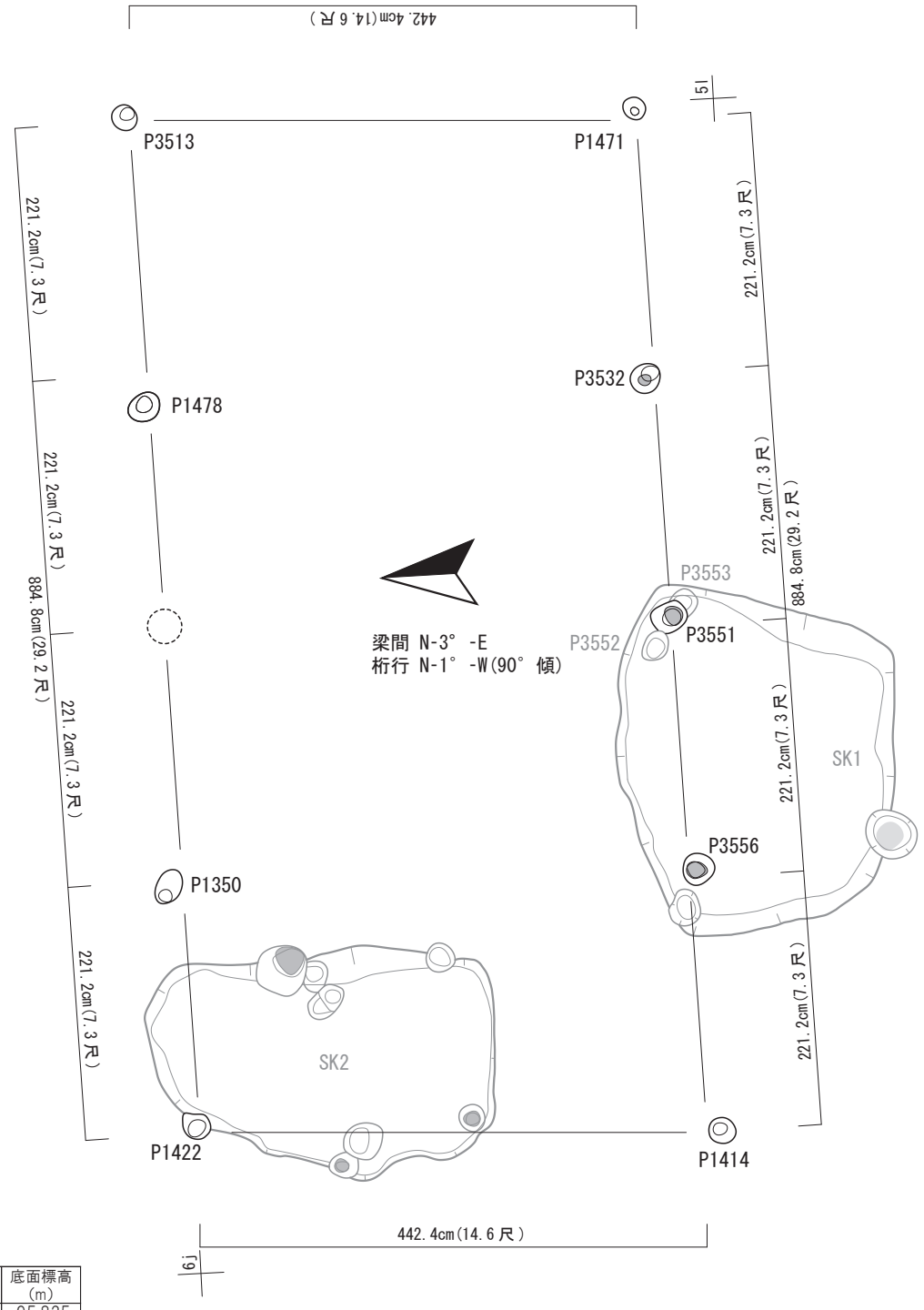
SB62 34.8㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2752	62.9	95.623
P2755	66.1	95.589
P2781	60.6	95.646
P2784	82.8	95.419
P3232	20.7	95.562
P3264	32.9	95.456
P3266	14.1	95.641
P3313	11.4	95.646
P3317	26.6	95.450
P3334	24.5	95.475

第 80 図　SB62

SB63 39.1㎡



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P1350	16.3	95.835
P1414	25.7	95.667
P1422	25.3	95.768
P1471	66.0	95.638
P1478	16.1	95.725
P3513	6.7	95.795
P3532	23.6	95.537
P3551	12.4	95.642
P3556	20.5	95.635

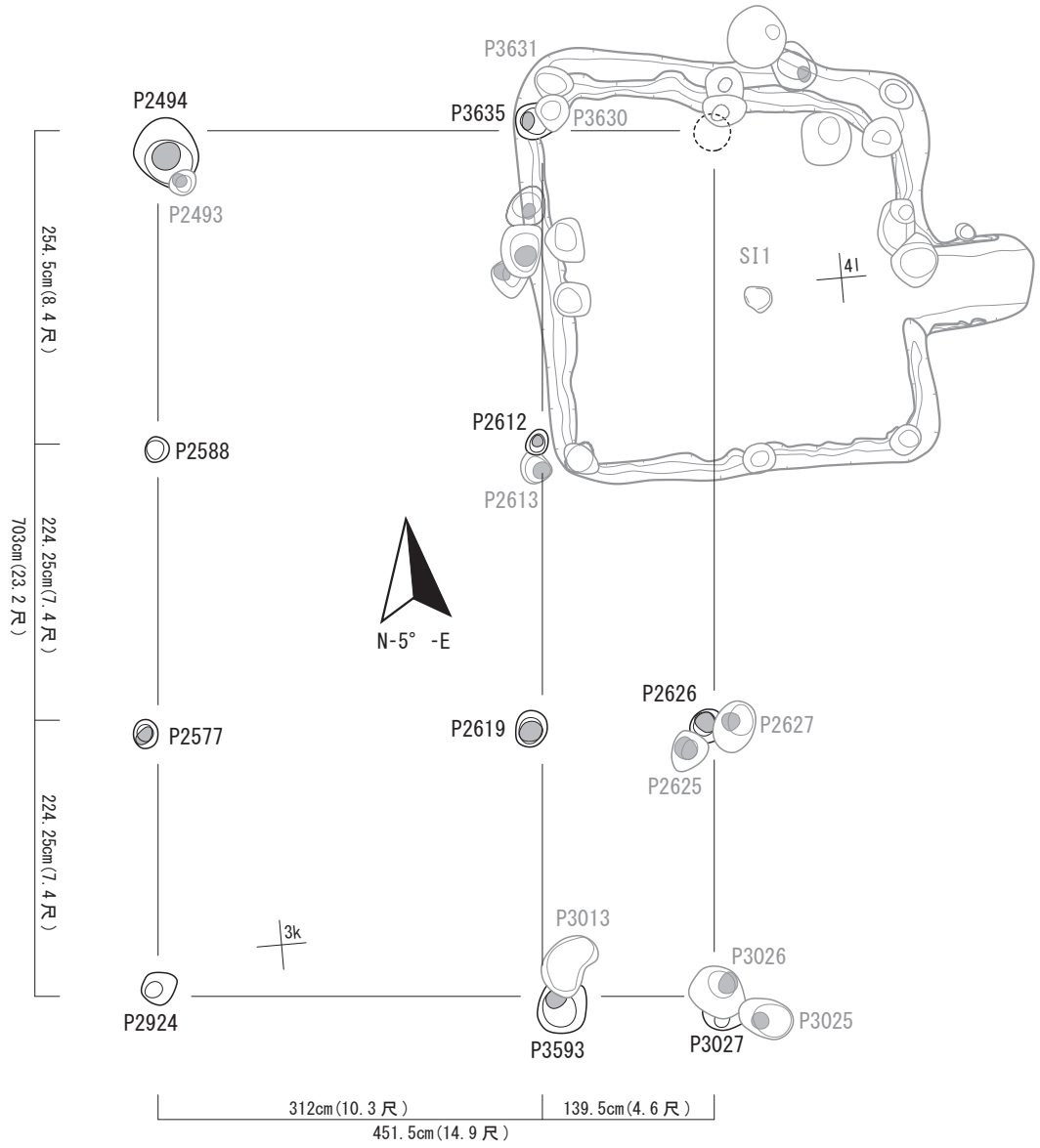
第81図　SB63

SB64（第 82 図　写真図版 54）	
位置　ⅠA2j、2k、3j、3k、4j、4k　区画内部	**使用した柱穴**　10 個
桁行　703.0 cm（23 尺 2 寸）	**梁間**　451.5 cm（14 尺 9 寸）
面積　31.7㎡（9.6 坪）	**軸方向**　N-5°-E
柱間寸法　桁行では 224.25 cm（7 尺 4 寸）を多用している。梁間の身舎は 312.0 cm（10 尺 3 寸）であるが、その準拠する寸法等を見出すことができない。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB2、SB58　**本建物と重複する遺構**：SB22、SB27、SB31、SB37、SB40、SB53、SB70、SB83、SB166、SB167、SB168、SI1	
小型の建物である。312.0 cm（10 尺 3 寸）×703.0 cm（23 尺 2 寸）の身舎東側に一面庇の構造と解釈される。庇の出は 139.5 cm（4 尺 6 寸）である。桁行の柱間寸法は 7 尺 4 寸を多用しているが、柱筋が柱穴から外れるものもあり、やや不整な感じもする。建物の性格は附属屋かあるいは臨時の建物と推測される。SI1 と重複するがはっきりした前後関係を捉えることができなかった。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

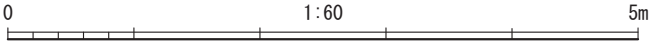
SB65（第 83 図　写真図版 55）	
位置　ⅠA3o、3p、3q、4o、4p、4q　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　772.6 cm（25 尺 5 寸）	**梁間**　321.0 cm（10 尺 6 寸）
面積　24.8㎡（7.5 坪）	**軸方向**　N-1°-W
柱間寸法　桁行では 242.4 cm（8 尺）を多用している。梁間の総長は 321.0 cm（10 尺 6 寸）であるが、その半分の 160.5 cm（5 尺 3 寸）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB26、SB28、SB32、SB36、SB38、SB44、SB47、SB59、SB88、SB92	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋の可能性が高いと推測される。桁行の柱間寸法は 8 尺が多用され、異なる部位も 9 尺 5 寸と区切りのよい寸法であり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。SB92 と柱穴が重複するが、前後関係を把握できなかった。	
想定時期　12 期（1680 年頃～）の建物と想定する。	

SB66（第 84 図　写真図版 55）	
位置　ⅠA6o、6q、7n、7o、8n、8o　区画内部	**使用した柱穴**　7 個
桁行　690.75 cm（22 尺 8 寸）	**梁間**　454.0 cm（15 尺）
面積　31.4㎡（9.5 坪）	**軸方向**　N-5°-W
柱間寸法　桁行では 230.25 cm（7 尺 6 寸）を使用している。梁間の総長は 454.0 cm（15 尺）であり、その半分の 227.0 cm（7 尺 5 寸）が基準と推測される。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB3、SB164　**本建物と重複する遺構**：SB19、SB52、SB57、SB78、SB82、SB85、SB89、SB98、SB138、SB150、SB154、SB160	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋の可能性が高いと推測される。桁行の柱間寸法は 7 尺 6 寸と均一の寸法であり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　5 期（1301～1337 年頃）の建物と想定する。	

SB64 31.7㎡

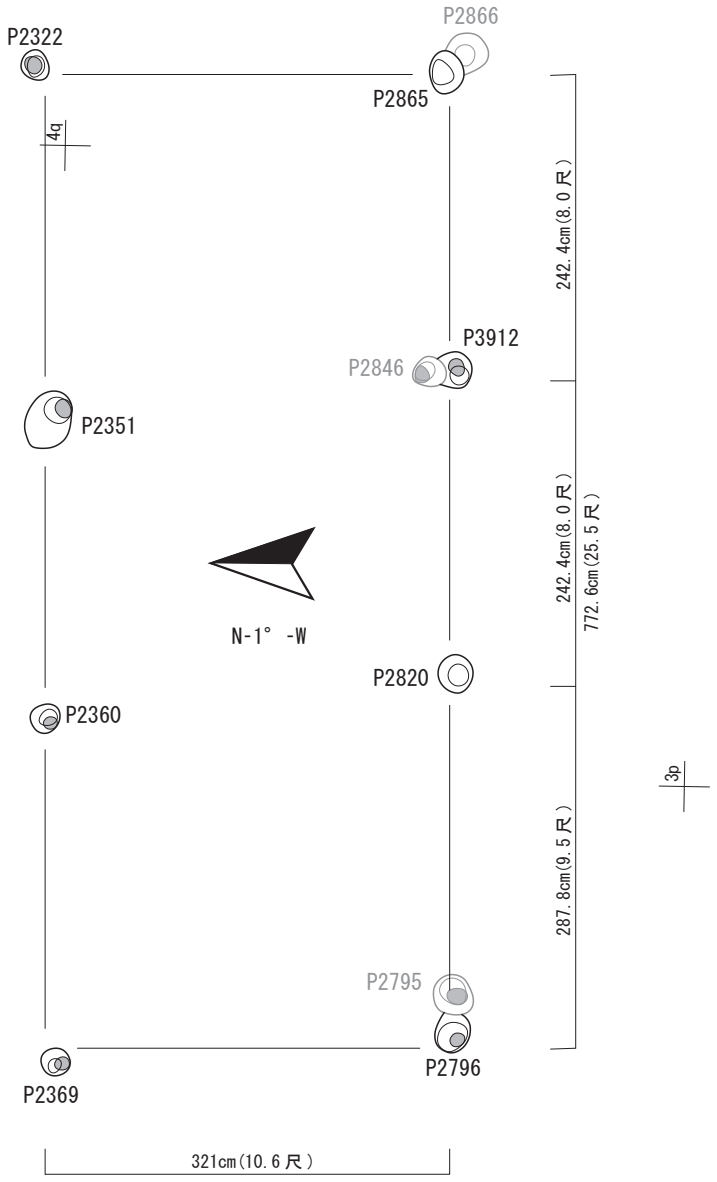


柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2494	52.2	95.284
P2577	9.4	95.749
P2588	17.0	95.662
P2612	12.7	95.620
P2619	19.2	95.559
P2626	39.8	95.317
P2924	69.9	95.595
P3027	17.8	95.614
P3593	20.0	95.557
P3635	29.4	95.452

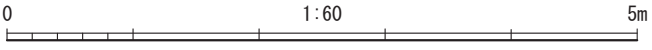


第 82 図　SB64

SB65 24.8㎡

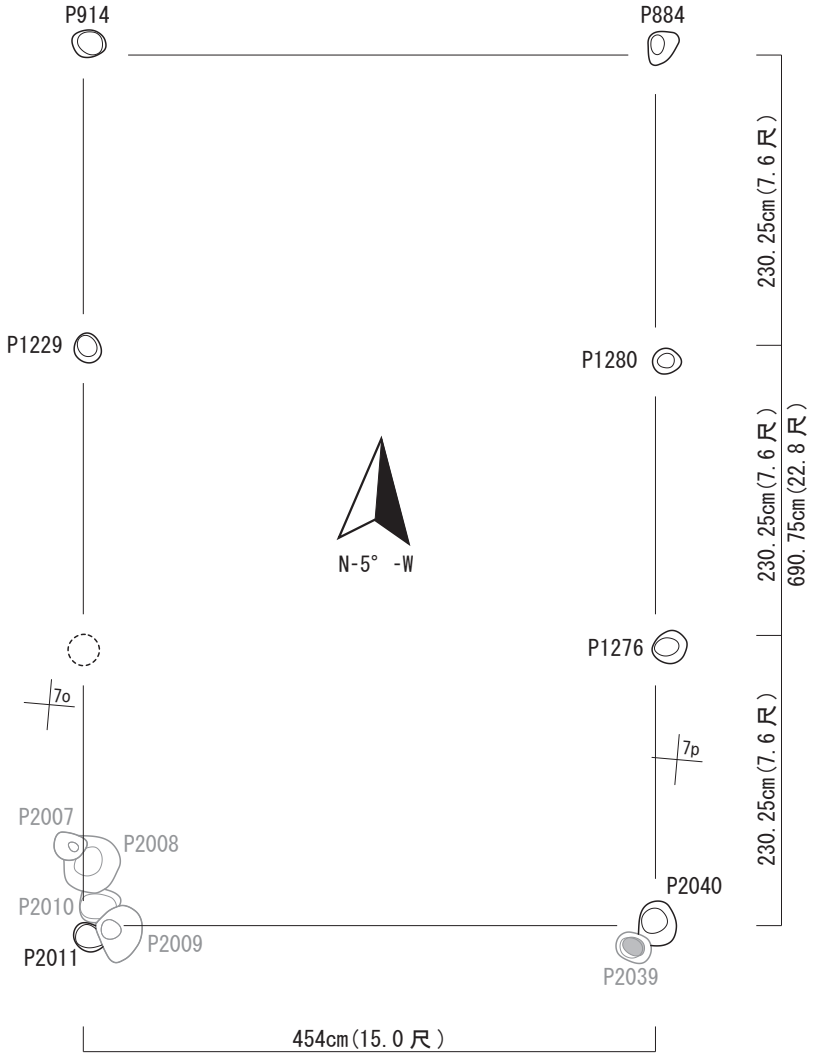


柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2322	12.4	95.594
P2351	32.8	95.437
P2360	59.0	95.697
P2369	66.7	95.640
P2796	45.5	95.323
P2820	49.2	95.266
P2865	30.8	95.431
P3912	43.0	95.341



第 83 図　SB65

SB66 31.4㎡



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P884	23.2	95.743
P914	11.3	95.863
P1229	14.9	95.815
P1276	42.3	95.762
P1280	38.3	95.799
P2011	15.9	95.792
P2040	50.6	95.409

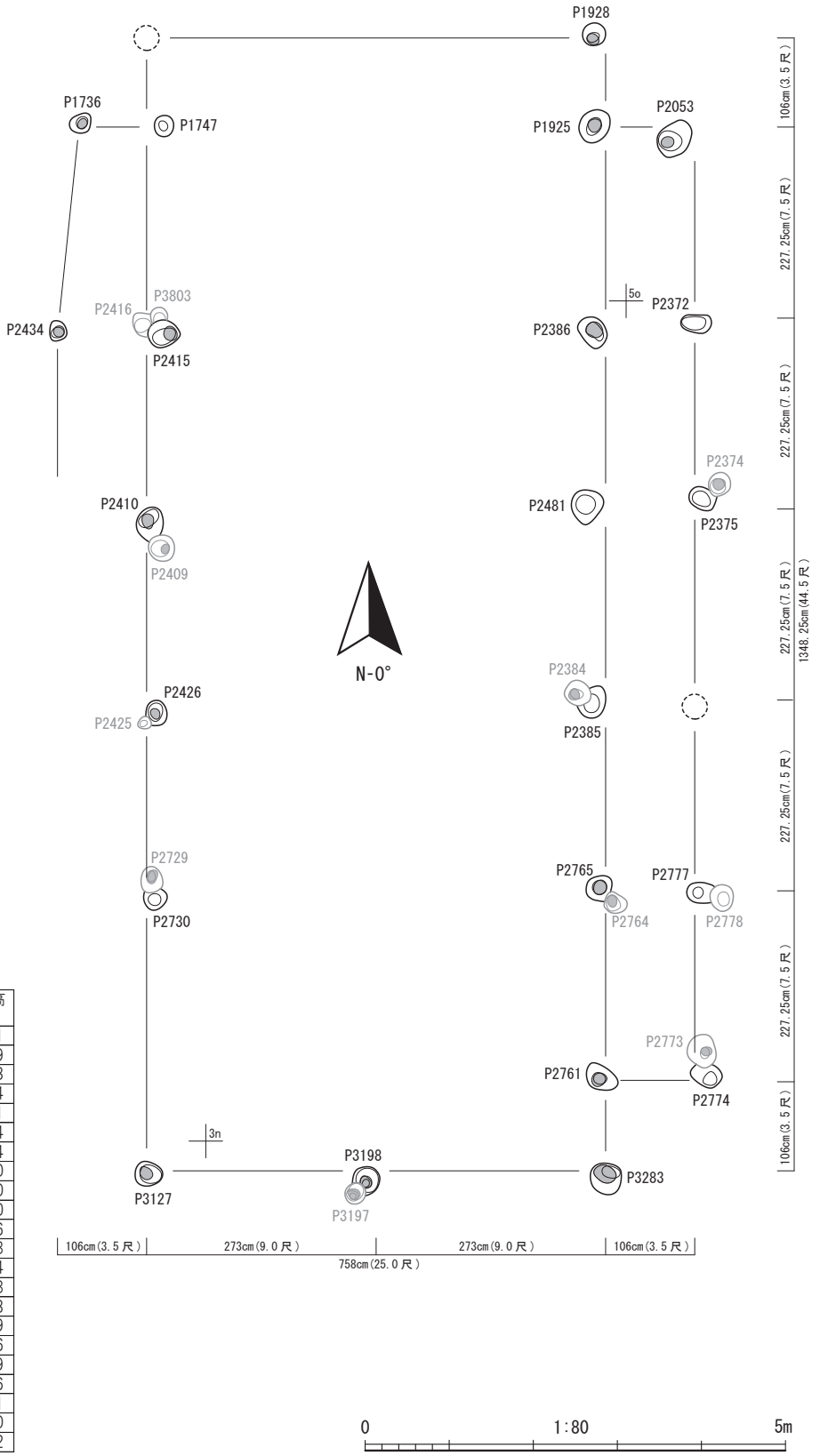
第84図　SB66

SB67（第 85 図　写真図版 56）	
位置　ⅠA2m、2n、3m、3n、3o、4m、4n、4o、5m、5n、5o　区画内部	**使用した柱穴**　22 個
桁行　1348.25 cm（44 尺 5 寸）	**梁間**　758.0 cm（25 尺）
面積　88.1㎡（26.7 坪）	**軸方向**　N-0°
柱間寸法　桁行では 227.25 cm（7 尺 5 寸）を使用している。梁間の身舎では 273.0 cm（9 尺）を使用している。庇の出はいずれも 106.0 cm（3 尺 5 寸）である。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB39　**本建物と重複する遺構**：SB2、SB23、SB29、SB33、SB38、SB45、SB49、SB51、SB54、SB56、SB62、SB73、SB79、SB85、SB91、SB94、SB97、SB129、SB139、SB145、SB147、SB149、SB151、SX5、SX8、SX9	
やや大型の建物である。546.0 cm（18 尺）×1136.25 cm（37 尺 5 寸）の身舎に四面庇の構造と解釈される。南西部の庇の柱穴は検出されていないが、削平等によって失われたと推測する。また、北東隅、南東隅で庇の柱穴が存在せず、北西隅、南西隅にも庇の柱穴がなく、四面庇であるが、庇の隅に柱穴が無い形態と考える。庇の出はいずれの辺でも 106.0 cm（3 尺 5 寸）である。建物の規模から屋敷の主屋と解釈され、居館廃絶後の一般集落になった段階、15 世紀末～16 世紀第 1 四半期頃（1486～1522 年頃）の建物と考える。直接の出土遺物はない。SB38、SB56、SB139 と重複するが前後関係を把握できなかった。	
想定時期　10 期（1486～1522 年頃）の建物と想定する。	

SB68（第 86 図　写真図版 56）	
位置　ⅠA2p、2q、3p、3q　区画内部	**使用した柱穴**　6 個
桁行　600.0 cm（19 尺 8 寸）	**梁間**　357.5 cm（11 尺 8 寸）
面積　推定 21.5㎡（6.5 坪）	**軸方向**　N-0°
柱間寸法　桁行では 200.0 cm（6 尺 6 寸）を使用している。梁間の総長は 357.5 cm（11 尺 8 寸）であり、その半分の 178.75 cm（5 尺 9 寸）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB24　**本建物と重複する遺構**：SB26、SB32、SK36、SK41、SK47、SK59、SK76、SK81、SK90、SK92、SK95	
桁行が調査区外（南側）にさらに伸びる可能性もあるが、図示したプランを想定した。庇、下屋のない平面形で、小型の建物である。具体的な性格については特定できないが附属屋であろうか。柱間寸法は桁行では 200.0 cm（6 尺 6 寸）と均一であり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB69（第 87 図　写真図版 57）	
位置　ⅠA4l、4m、5l、5m、6l、6m　区画内部	**使用した柱穴**　16 個
桁行　955.0 cm（31 尺 5 寸）	**梁間**　521.2 cm（17 尺 2 寸）
面積　推定 49.8㎡（15.1 坪）	**軸方向**　N-6°-E
柱間寸法　桁行では 191.0 cm（6 尺 3 寸）を使用している。梁間の身舎は 421.2 cm（13 尺 9 寸）で、その半分の 210.6 cm（6 尺 9 寸 5 分）が基準であろうか。東辺の下屋（庇）の出は 100.0 cm（3 尺 3 寸）である。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB48、SB80、SB166、SB168　**本建物より新しい遺構**：SB23、SB27、SB37　**本建物と重複する遺構**：SB2、SB25、SB29、SB31、SB39、SB42、SB45、SB46、SB50、SB53、SB57、SB60、SB74、SB77、SB87、SB94、SB97、SB99、SB141、SB145、SB167	
中型の建物である。421.2 cm（17 尺 2 寸）×955.0 cm（31 尺 5 寸）の身舎東面に一面庇の構造である。庇の出は 100.0 cm（3 尺 3 寸）である。桁行の柱間寸法は 6 尺 3 寸を基準とした整然としたもので、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

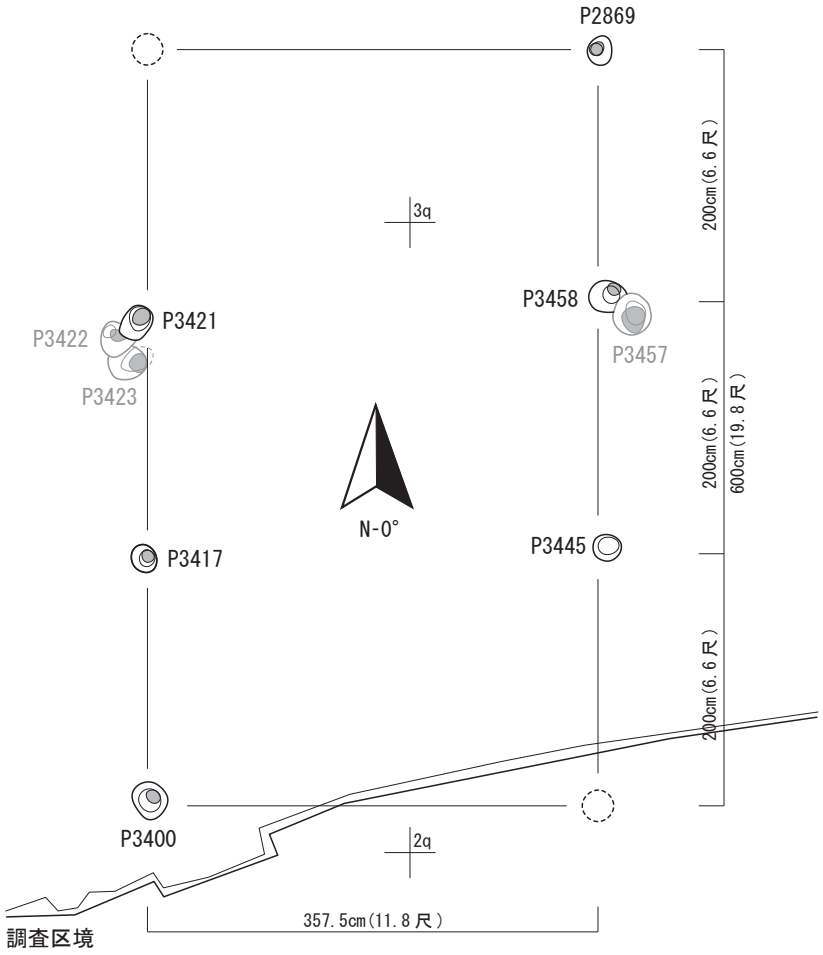
SB67 88.1㎡



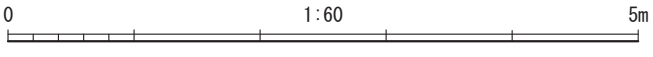
柱穴番号	深さ（cm）	底面標高（m）
P1736	13.9	95.681
P1747	11.3	95.679
P1925	25.2	95.593
P1928	16.1	95.664
P2053	56.3	95.271
P2372	56.7	95.774
P2375	58.8	95.734
P2385	85.7	95.410
P2386	75.7	95.550
P2410	23.1	95.580
P2415	16.5	95.696
P2426	16.7	95.628
P2434	32.0	95.514
P2481	79.9	95.498
P2730	72.1	95.553
P2761	89.2	95.349
P2765	76.4	95.456
P2774	60.9	95.659
P2777	66.2	95.586
P3127	10.6	95.651
P3198	8.1	95.670
P3283	43.1	95.362

第 85 図　SB67

SB68 推定21.5㎡

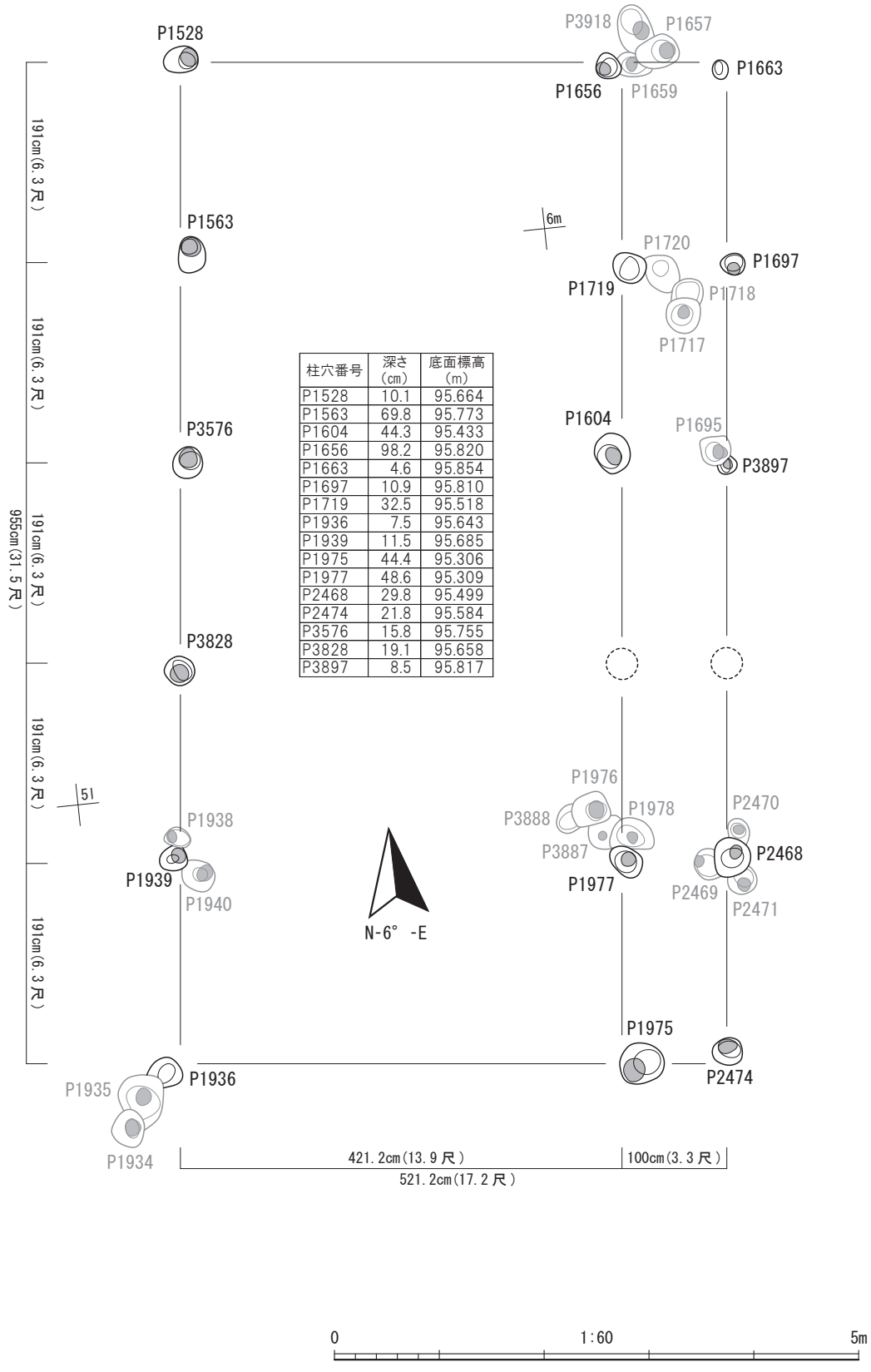


柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2869	16.3	95.468
P3400	36.7	95.367
P3417	50.0	95.228
P3421	48.0	95.299
P3445	38.8	95.291
P3458	32.5	95.398



第 86 図　SB68

SB69 49.8㎡



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P1528	10.1	95.664
P1563	69.8	95.773
P1604	44.3	95.433
P1656	98.2	95.820
P1663	4.6	95.854
P1697	10.9	95.810
P1719	32.5	95.518
P1936	7.5	95.643
P1939	11.5	95.685
P1975	44.4	95.306
P1977	48.6	95.309
P2468	29.8	95.499
P2474	21.8	95.584
P3576	15.8	95.755
P3828	19.1	95.658
P3897	8.5	95.817

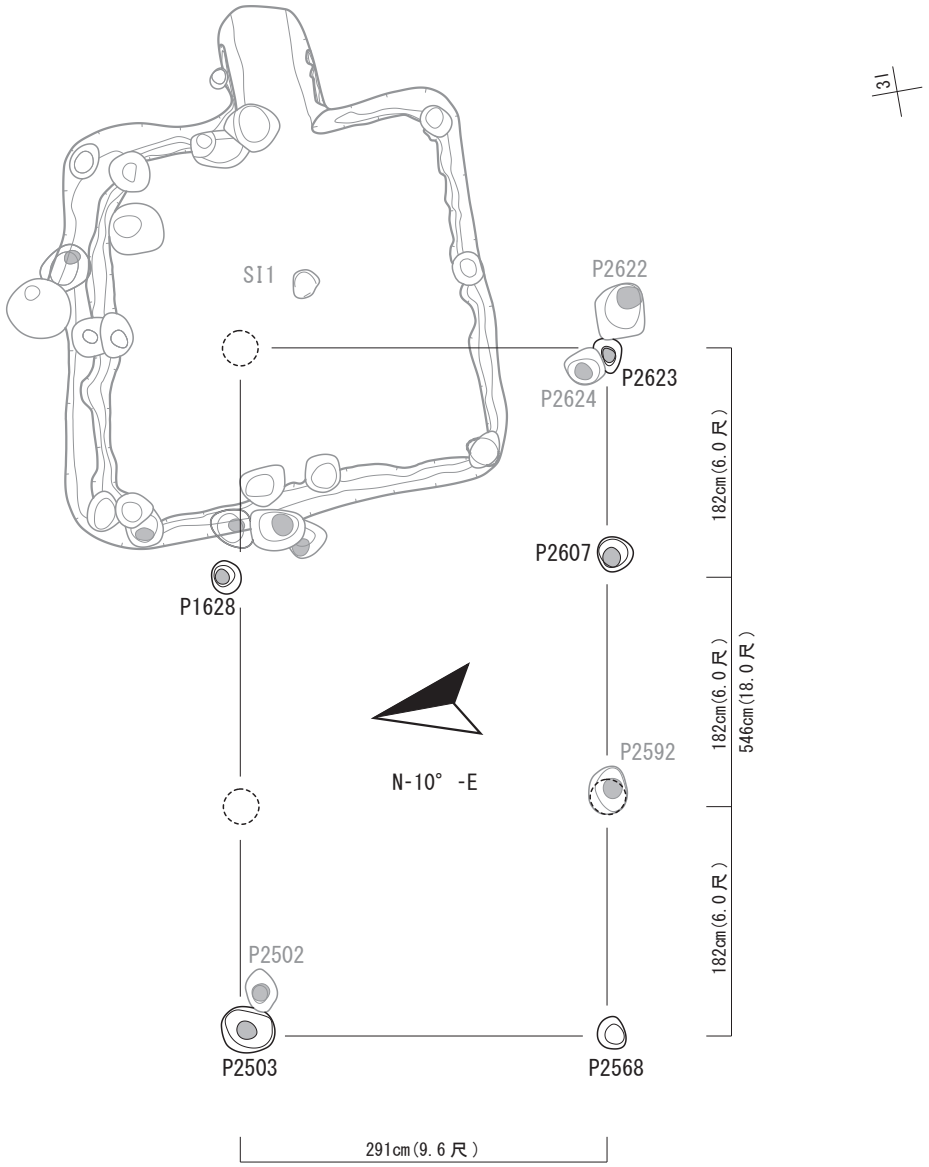
第87図　SB69

SB70（第 88 図　写真図版 57）	
位置　ⅠA3j、3k、4j、4k　区画内部	**使用した柱穴**　5 個
桁行　546.0 cm（18 尺）	**梁間**　291.0 cm（19 尺 6 寸）
面積　15.9㎡（4.8 坪）	**軸方向**　N-10°-E
柱間寸法　桁行では 182.0 cm（6 尺）を使用している。梁間は 291.0 cm（9 尺 6 寸）で、その 2/3 の 194.0 cm（6 尺 4 寸）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB22、SI1　**本建物と重複する遺構**：SB2、SB27、SB31、SB37、SB40、SB53、SB64、SB83、SB167、SB168	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋、あるいは臨時の建物の可能性が高いと推測される。桁行の柱間寸法は 6 尺と均一の寸法であり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB71（第 89 図　写真図版 58）	
位置　ⅠA4j、4k、5j、5k　区画内部	**使用した柱穴**　6 個
桁行　394.0 cm（13 尺）	**梁間**　394.0 cm（13 尺）
面積　15.5㎡（4.7 坪）	**軸方向**　N-8°-E
柱間寸法　正方形のプランで、桁、梁の区分ができないが、南辺、北辺を桁行、東辺、西辺を梁間と仮定する。桁行では 197.0 cm（6 尺 5 寸）を使用している。梁間は総長 394.0 cm（13 尺）で、その半分の 197.0 cm（6 尺 5 寸）が基準と判断される。よって本建物の基準寸法は 197.0 cm（6 尺 5 寸）となる。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB80　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB1、SB25、SB37、SB53、SB63、SB83、SB167、SB168、SK1	
庇、下屋のない正方形の平面形である。小型の建物で、附属屋、あるいは臨時の建物の可能性が高いと推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB72（第 90 図　写真図版 58）	
位置　ⅠA1o、1p、2o、2p　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　519.0 cm（17 尺 1 寸）	**梁間**　282.0 cm（9 尺 3 寸）
面積　14.6㎡（4.4 坪）	**軸方向**　N-3°-E
柱間寸法　桁行では 173.0 cm（5 尺 7 寸）を使用している。梁間は 282.0 cm（9 尺 3 寸）で、その 2/3 の 188.0 cm（6 尺 2 寸）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB79　**本建物と重複する遺構**：SB30、SB38、SB41、SB44、SB47、SB49、SB54、SB59、SB76、SB81、SB84、SB88、SB90、SB92、SB95、SK62、SD9、SX24	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋の可能性が高いと推測される。桁行の柱間寸法は 5 尺 7 寸で均一であり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。SB41、SB90 と柱穴が重複するが前後関係を把握できなかった。	
想定時期　3 期（1227～1263 年頃）の建物と想定する。	

SB70 15.9㎡

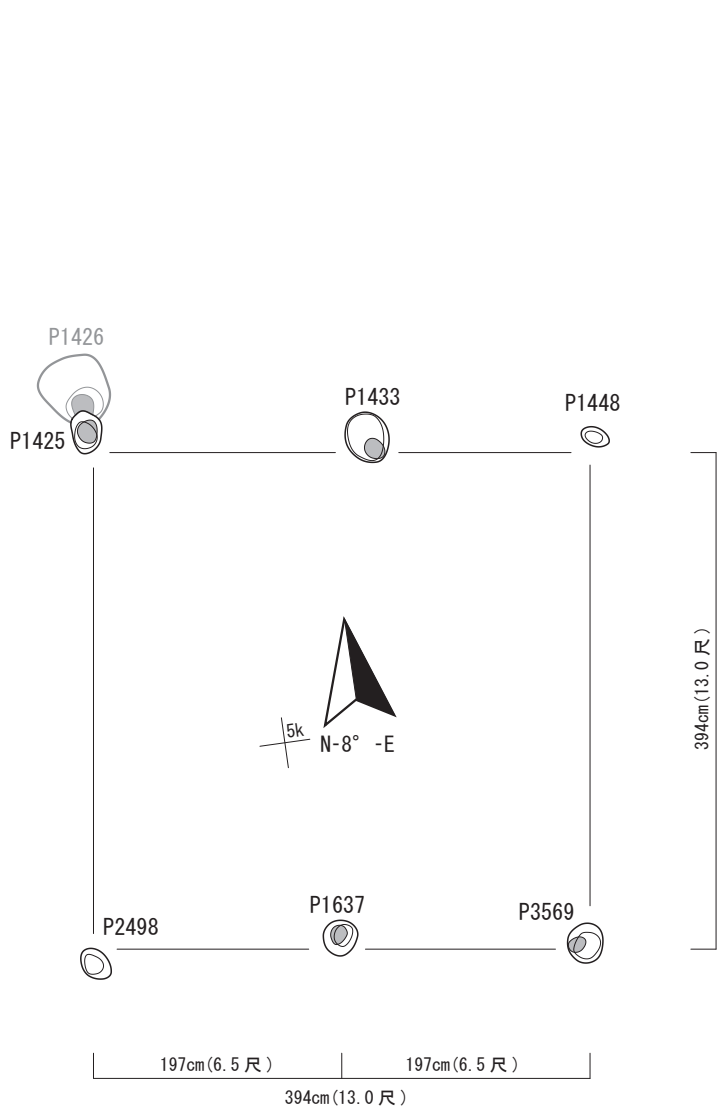


柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1628	11.8	95.625
P2503	32.2	95.539
P2568	20.4	95.647
P2607	20.0	95.550
P2623	17.4	95.557

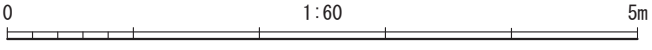
0　1:60　5m

第 88 図　SB70

SB71 15.5㎡

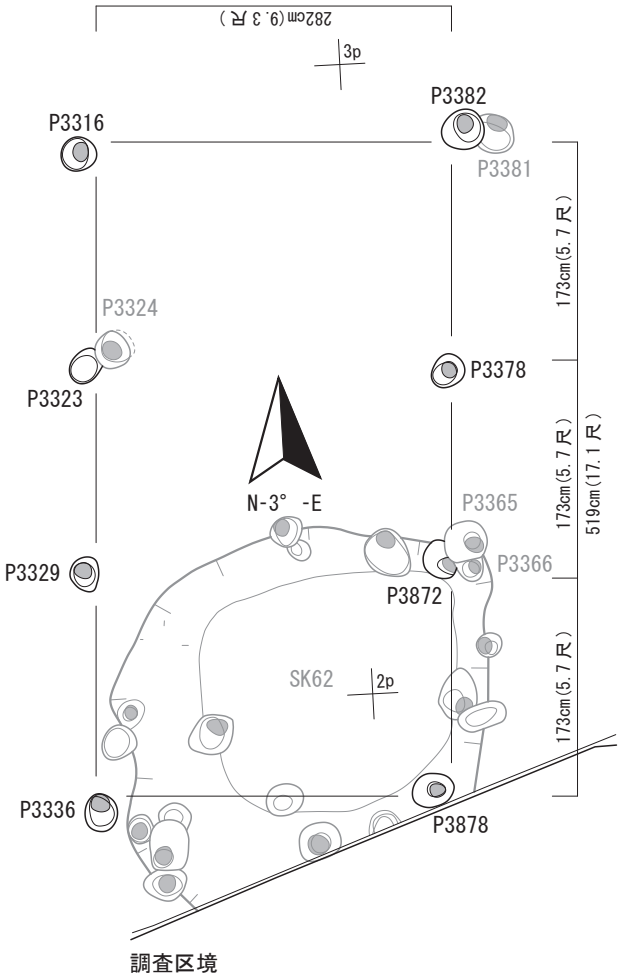


柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1425	23.2	95.732
P1433	50.2	95.400
P1448	80.7	95.802
P1637	24.4	95.550
P2498	16.8	95.734
P3569	5.6	95.698



第 89 図　SB71

SB72 14.6㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P3316	43.9	95.331
P3323	31.0	95.428
P3329	17.2	95.561
P3336	7.0	95.683
P3378	26.3	95.438
P3382	45.3	95.305
P3872	29.0	95.287
P3878	33.1	95.240

0　1:60　5m

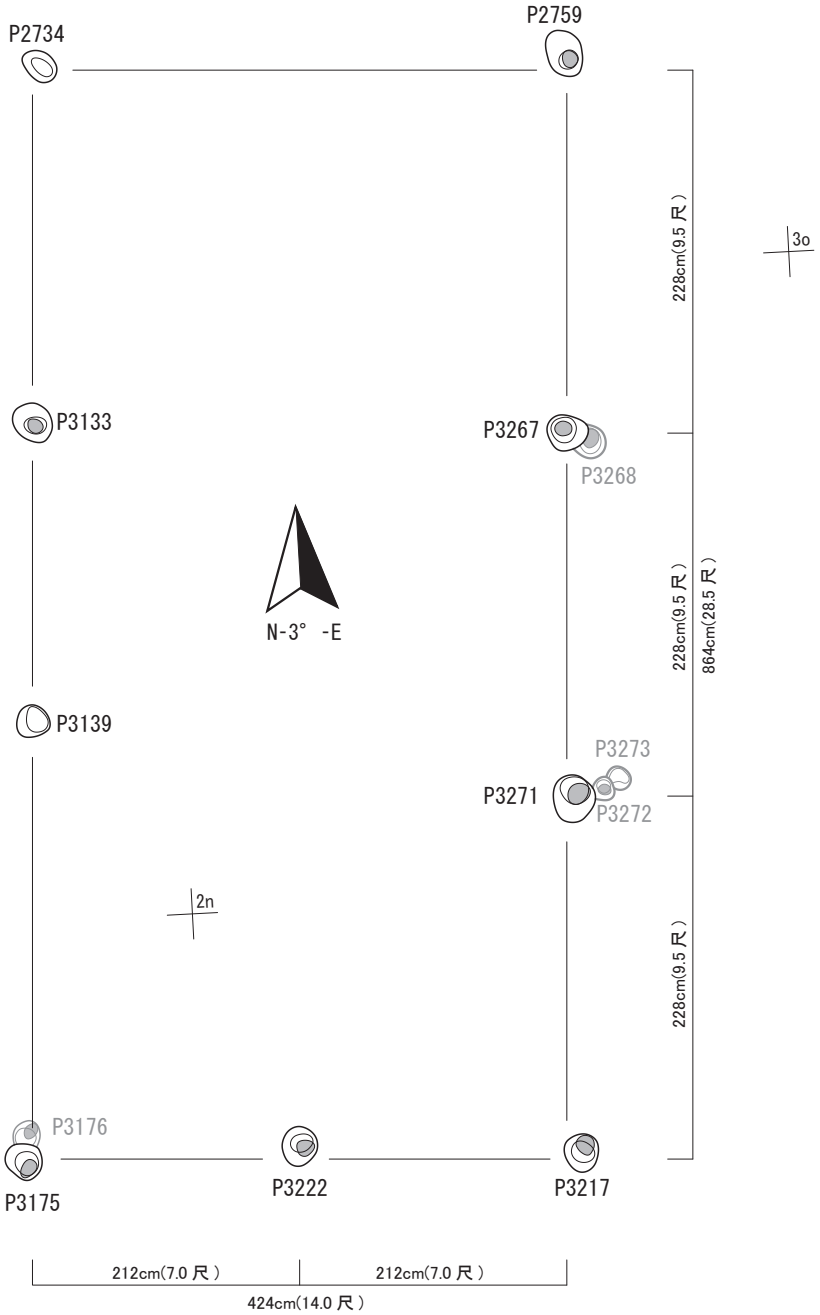
第 90 図　SB72

SB73（第 91 図　写真図版 59）	
位置　ⅠA1m、1n、2m、2n、3m、3n　区画内部	**使用した柱穴**　9 個
桁行　864.0 cm（28 尺 5 寸）	**梁間**　424.0 cm（14 尺）
面積　36.6㎡（11.1 坪）	**軸方向**　N-3°-E
柱間寸法　桁行では 228.0 cm（9 尺 5 寸）を使用している。梁間は 212.0 cm（7 尺）を使用している。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB23、SB34、SB39、SB51、SB56、SB62、SB67、SB129、SB139、SB147、SB149、SB151、SX8、SX9　**本建物と接する遺構**：SB61	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋の可能性が高いと推測される。桁行の柱間寸法は 9 尺 5 寸で均一であり、梁間も 7 尺と区切りのよい柱間寸法であり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　3 期（1227～1263 年頃）の建物と想定する。	

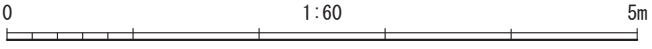
SB74（第 92 図　写真図版 59）	
位置　ⅠA4l、4m、5l、5m、6l、6m　区画内部	**使用した柱穴**　11 個
桁行　1288.0 cm（42 尺 5 寸）	**梁間**　333.0 cm（11 尺）
面積　42.9㎡（13.0 坪）	**軸方向**　N-5°-W
柱間寸法　桁行では 251.5 cm（8 尺 3 寸）を多用している。梁間は 333.0 cm（11 尺）で、その 2/3 の 222.0 cm（7 尺 3 寸 3 分）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB60、SB91　**本建物と重複する遺構**：SB2、SB23、SB29、SB31、SB39、SB42、SB45、SB46、SB48、SB50、SB69、SB77、SB80、SB87、SB94、SB97、SB99、SB141、SB167、SB166、SB168	
庇、下屋のない平面形で、中型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。桁行の柱間寸法は 8 尺 3 寸が多用され、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。SB23、SB31、SB166、SB168 とは柱穴が重複するが、前後関係を明確にできなかった。	
想定時期　1 期（1153～1189 年頃）の建物と想定する。	

SB75（第 93 図　写真図版 60）	
位置　ⅠA5q、6q、6r　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　690.75 cm（22 尺 8 寸）	**梁間**　370.0 cm（12 尺 2 寸）
面積　25.6㎡（7.8 坪）	**軸方向**　N-10°-E
柱間寸法　桁行では 230.25 cm（7 尺 6 寸）を使用している。梁間は 370.0 cm（12 尺 2 寸）で、その半分の 185.0 cm（6 尺 1 寸）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB3、SB142　**本建物と重複する遺構**：SB86、SB93、SB96、SB140、SB144、SB148、SB155、SB158、SB165、SD8	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋の可能性が高いと推測される。桁行の柱間寸法は 7 尺 6 寸で均一であり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。SD8 との前後関係は明確に把握できなかった。	
想定時期　4 期（1264～1300 年頃）の建物と想定する。	

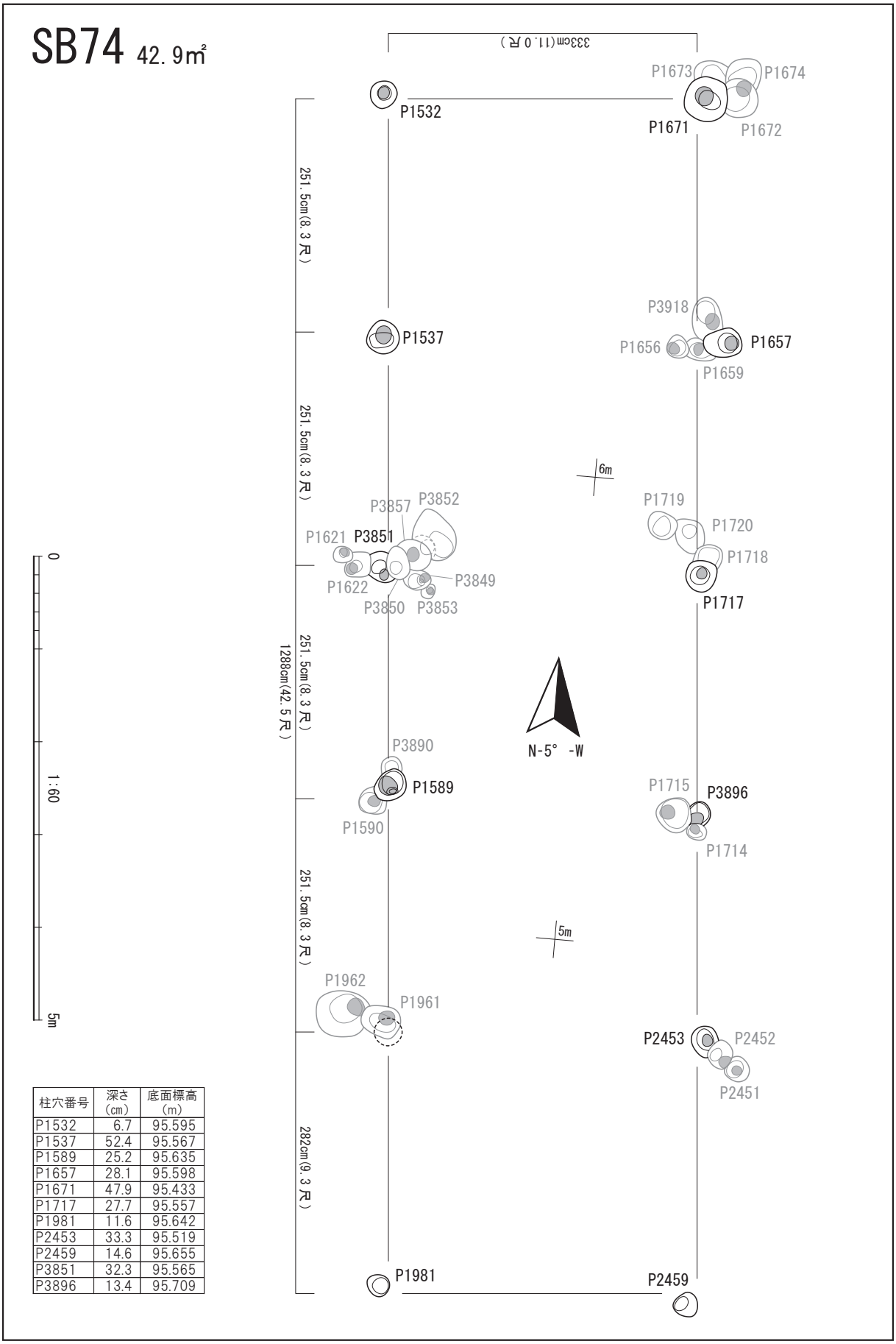
SB73 36.6㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2734	72.1	95.581
P2759	73.8	95.493
P3133	32.3	95.443
P3139	23.1	95.544
P3175	26.9	95.467
P3217	19.8	95.541
P3222	30.6	95.436
P3267	35.9	95.437
P3271	58.9	95.203

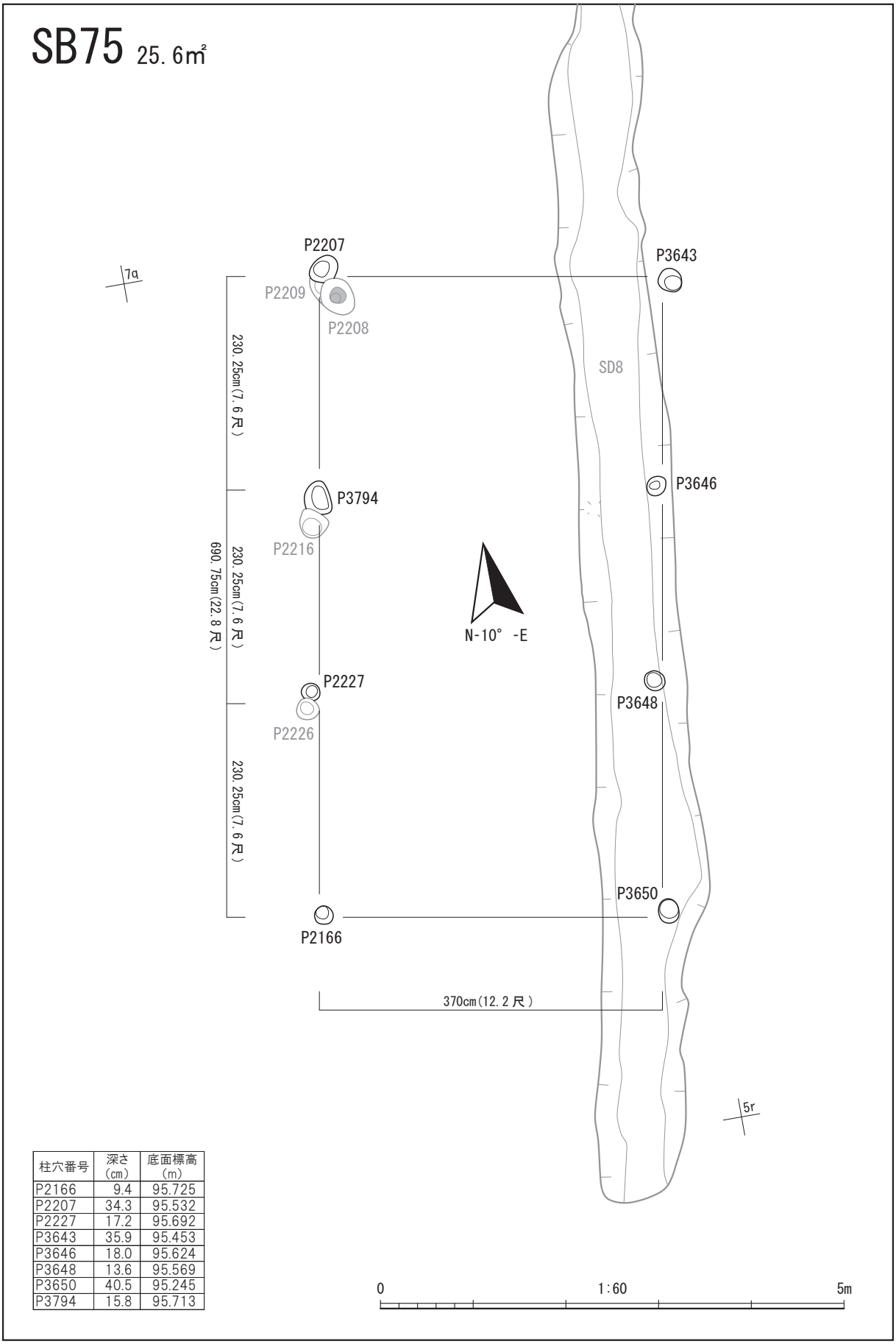


第 91 図　SB73



柱穴番号	深さ（cm）	底面標高（m）
P1532	6.7	95.595
P1537	52.4	95.567
P1589	25.2	95.635
P1657	28.1	95.598
P1671	47.9	95.433
P1717	27.7	95.557
P1981	11.6	95.642
P2453	33.3	95.519
P2459	14.6	95.655
P3851	32.3	95.565
P3896	13.4	95.709

第92図　SB74



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2166	9.4	95.725
P2207	34.3	95.532
P2227	17.2	95.692
P3643	35.9	95.453
P3646	18.0	95.624
P3648	13.6	95.569
P3650	40.5	95.245
P3794	15.8	95.713

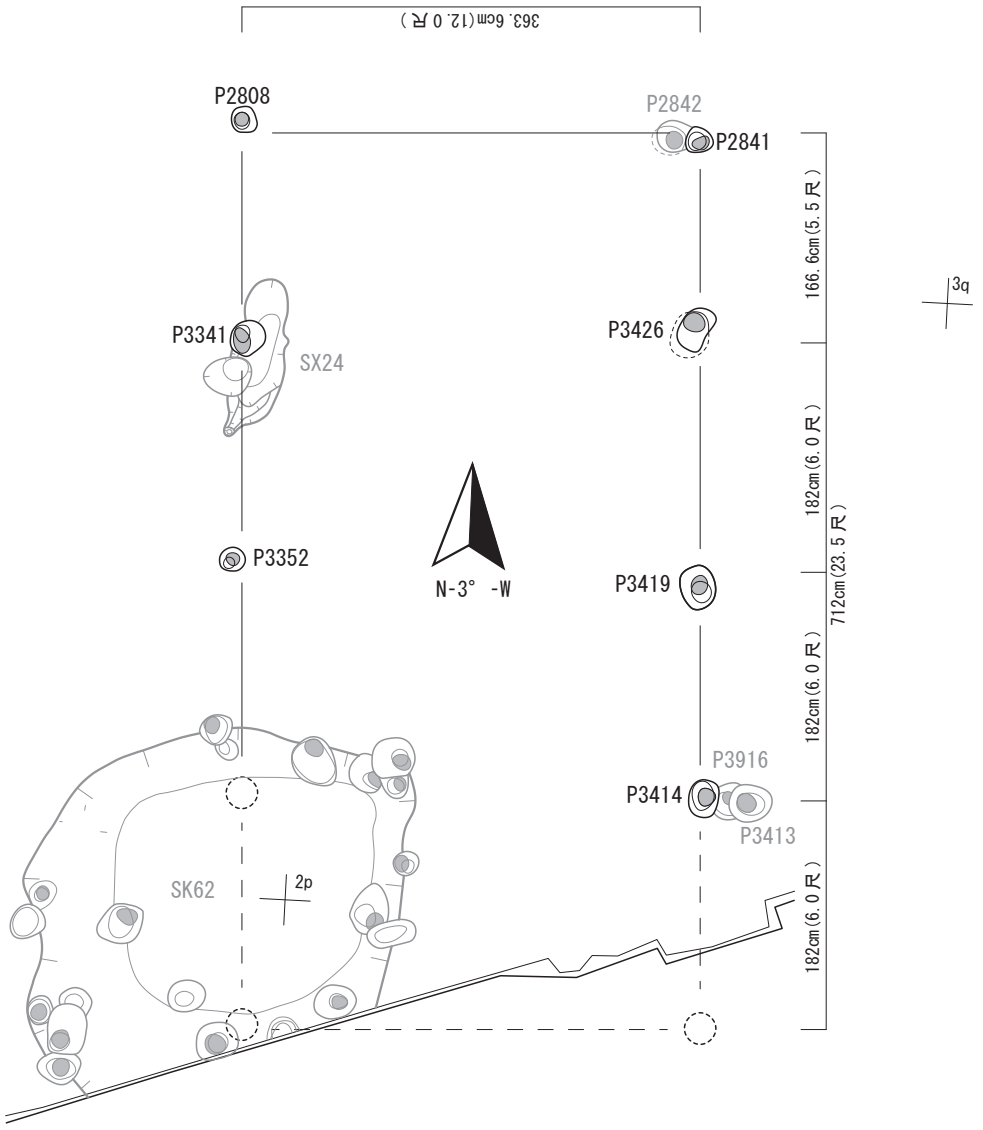
第 93 図　SB75

SB76（第 94 図　写真図版 60）	
位置　ⅠA1o、1p、2o、2p、3o、3p　区画内部	**使用した柱穴**　7 個
桁行　推定 712.0 cm（23 尺 5 寸）	**梁間**　363.6 cm（12 尺）
面積　推定 25.9㎡（7.8 坪）	**軸方向**　N-3°-W
柱間寸法　桁行では 182.0 cm（6 尺）を多用している。梁間は 363.6 cm（12 尺）で、その半分の 181.8 cm（6 尺）が基準と推測される。よって本建物の基準寸法は 6 尺と判断される。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB32、SB95、SX24　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB24、SB30、SB36、SB38、SB41、SB44、SB47、SB49、SB54、SB59、SB68、SB72、SB81、SB84、SB88、SB90、SB92、SK62	
桁行が調査区外（南側）にさらに伸びる可能性もあるが、図示した平面形を想定した。庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋の可能性が高いと推測される。桁行の柱間寸法は 6 尺または 5 尺 5 寸、梁間の総長も 12 尺と区切りのよい寸法であり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

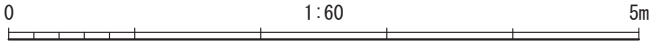
SB77（第 95 図　写真図版 61）	
位置　ⅠA4l、4m、5l、5m、6l、6m　区画内部	**使用した柱穴**　9 個
桁行　818.0 cm（27 尺）	**梁間**　485.0 cm（16 尺）
面積　39.7㎡（12.0 坪）	**軸方向**　N-1°-W
柱間寸法　桁行では 218.0 cm（7 尺 2 寸）を多用している。164.0 cm（5 尺 4 寸）の柱間が一箇所あるが、これは 7 尺 2 寸の 3/4 の寸法であり、7 尺 2 寸に準拠していると理解される。よって桁行の基準寸法は 218.0 cm（7 尺 2 寸）と判断される。梁間は 485.0 cm（16 尺）で、その半分の 242.5 cm（8 尺）が基準と推測される。	
重複　**本建物より古い遺構**：SK63　**本建物より新しい遺構**：SB91　**本建物と重複する遺構**：SB2、SB23、SB29、SB31、SB39、SB42、SB45、SB46、SB48、SB57、SB60、SB69、SB74、SB80、SB87、SB94、SB97、SB99、SB141、SB145、SB166、SB167、SB168	
庇、下屋のない平面形で、中型に近い規模の建物である。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。桁行の柱間寸法は 7 尺 2 寸あるいはそれに準拠した柱間寸法が使用され、梁間の総長も 16 尺と区切りがよく、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。SB23 と柱穴が重複するが、前後関係を把握できなかった。	
想定時期　5 期（1301～1337 年頃）の建物と想定する。	

SB78（第 96 図　写真図版 61）	
位置　ⅠA7n、7o、7p、7q　区画内部	**使用した柱穴**　12 個
桁行　1297.2 cm（42 尺 8 寸）	**梁間**　349.0 cm（11 尺 5 寸）
面積　45.3㎡（13.7 坪）	**軸方向**　N-4°-E
柱間寸法　桁行では 194.0 cm（6 尺 4 寸）を多用している。異なる柱間寸法は 145.6 cm（4 尺 8 寸）と 242.4 cm（8 尺）の部位がそれぞれ一箇所ずつあり、合計すると 388.0 cm（12 尺 8 寸）と 6 尺 4 寸のちょうど 2 倍の寸法となり、これも 6 尺 4 寸に準拠していると理解される。桁行の東端と西端の柱間寸法はどちらも 163.6 cm（5 尺 4 寸）で、これも計画的な柱間寸法と理解される。梁間は 349.0 cm（11 尺 5 寸）で、その半分の 174.5 cm（5 尺 7 寸 5 分）が基準と推測される。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB52、SI2　**本建物と重複する遺構**：SB3、SB19、SB55、SB66、SB82、SB86、SB152、SB154、SB160、SB162、SB164	
庇、下屋のない平面形で、中型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。桁行の柱間寸法は 6 尺 4 寸とそれに準拠した寸法が使用され、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　3 期（1227～1263 年頃）の建物と想定する。	

SB76 推定25.9㎡

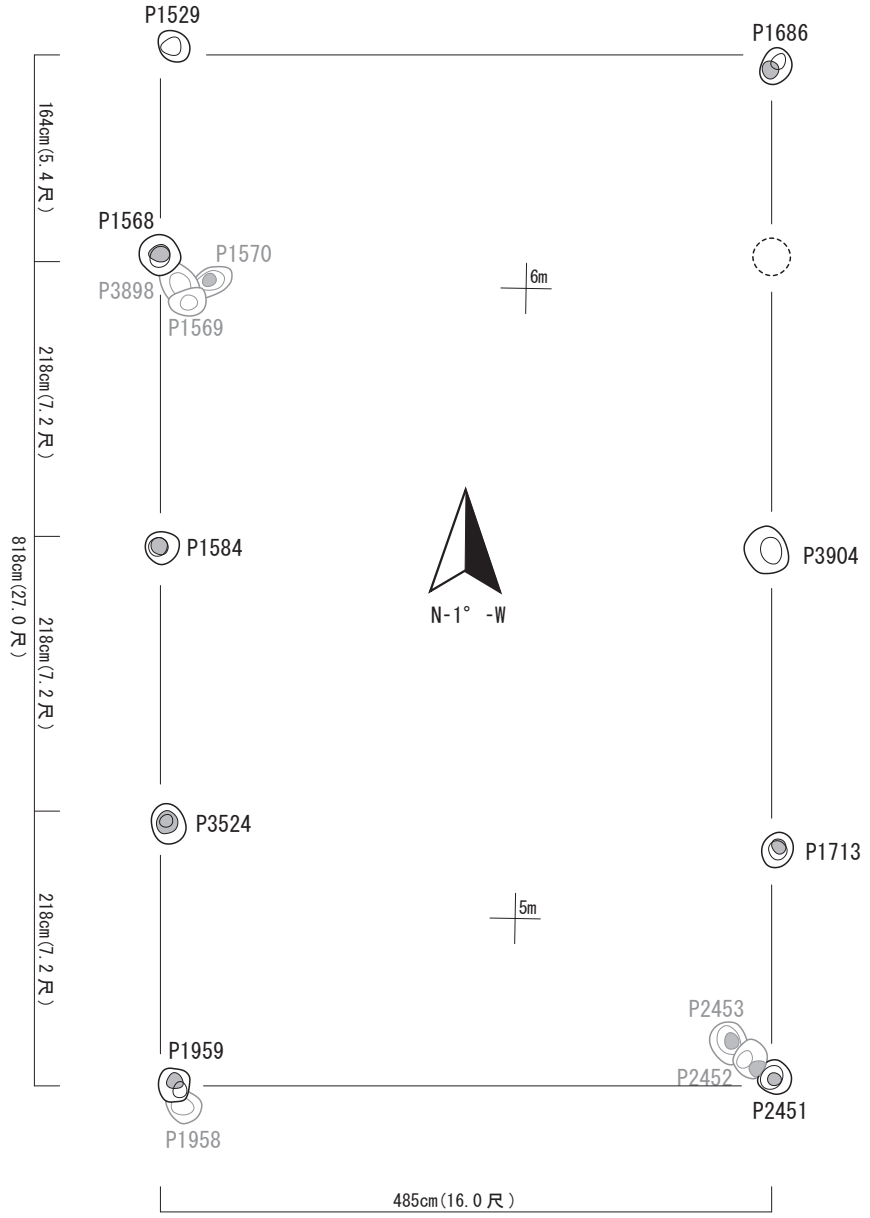


柱穴番号	深さ（cm）	底面標高（m）
P2808	8.7	95.725
P2841	10.5	95.703
P3341	52.3	95.268
P3352	11.4	95.588
P3414	46.2	95.245
P3419	51.9	95.221
P3426	43.5	95.328

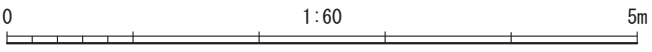


第94図　SB76

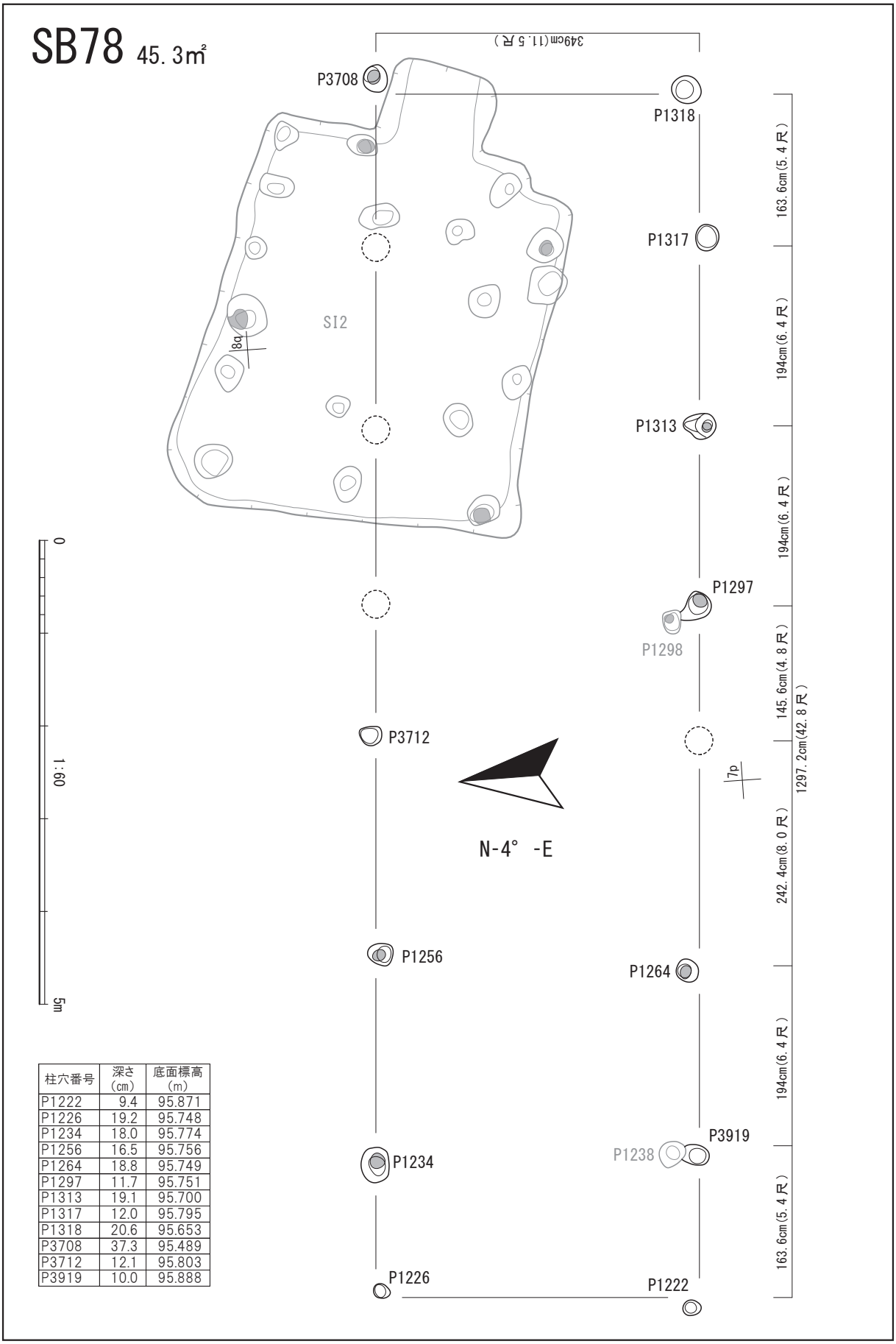
SB77 39.7㎡



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P1529	27.4	95.839
P1568	52.1	95.585
P1584	55.0	95.604
P1686	11.7	95.813
P1713	43.4	95.413
P1959	35.0	95.420
P2451	16.7	95.658
P3524	30.2	95.493
P3904	13.5	95.750



第95図　SB77



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1222	9.4	95.871
P1226	19.2	95.748
P1234	18.0	95.774
P1256	16.5	95.756
P1264	18.8	95.749
P1297	11.7	95.751
P1313	19.1	95.700
P1317	12.0	95.795
P1318	20.6	95.653
P3708	37.3	95.489
P3712	12.1	95.803
P3919	10.0	95.888

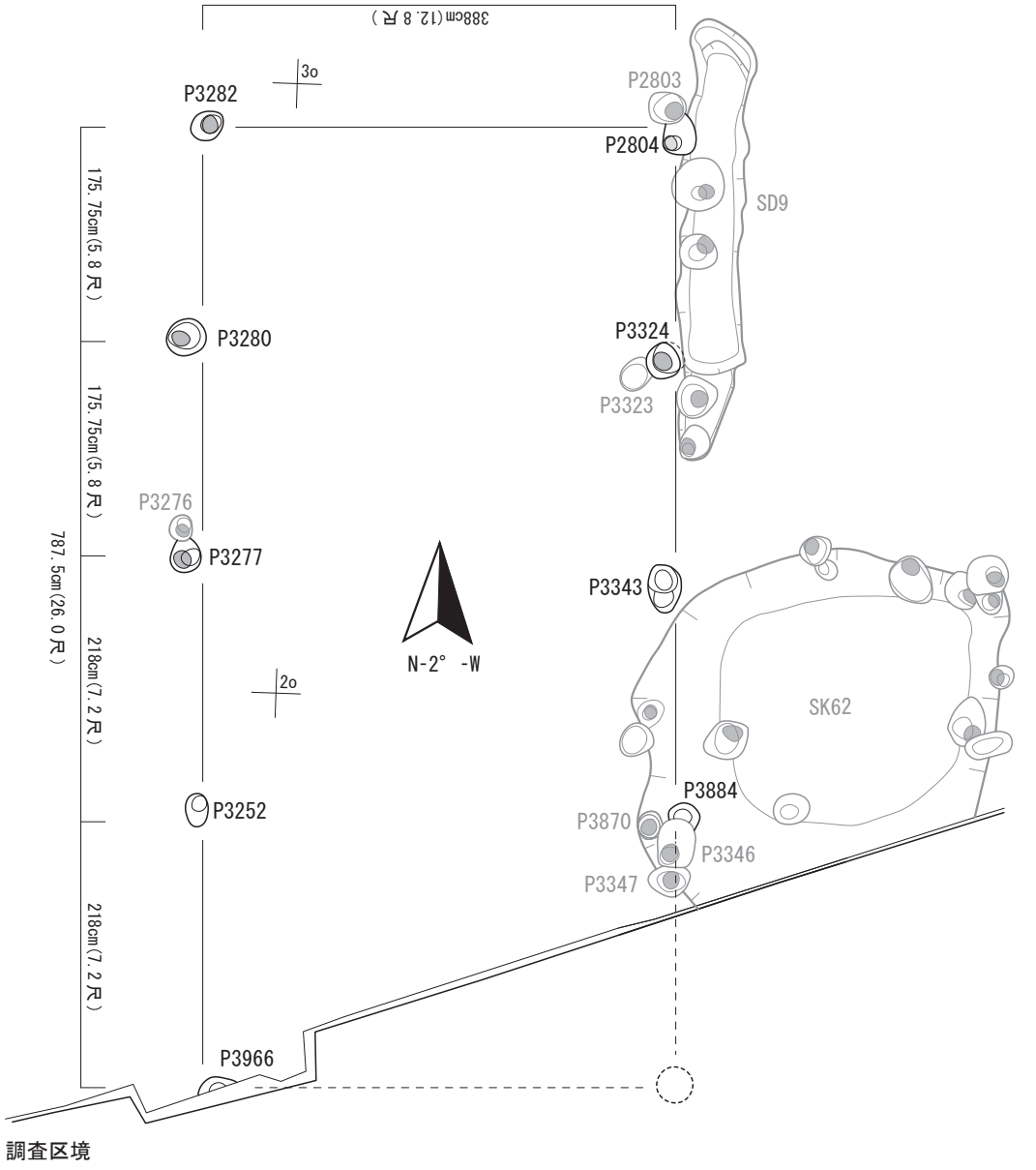
第 96 図　SB78

SB79（第 97 図　写真図版 62）	
位置　ⅠA1n、1o、2n、2o　区画内部	**使用した柱穴**　9 個
桁行　推定 787.5 cm（26 尺）	**梁間**　388.0 cm（12 尺 8 寸）
面積　推定 30.6㎡（9.3 坪）	**軸方向**　N-2°-W
柱間寸法　桁行では 218.0 cm（7 尺 2 寸）と 175.75 cm（5 尺 8 寸）使用している。梁間は 388.0 cm（12 尺 8 寸）であり、その半分の 194.0 cm（6 尺 4 寸）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB72、SD9　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB30、SB38、SB44、SB49、SB51、SB54、SB56、SB62、SB84、SB88、SB90、SB95、SB129、SK62	
桁行が調査区外（南側）にさらに伸びる可能性もあるが、図示したプランを想定した。庇、下屋のない平面形の小型の建物で、附属屋の可能性が高いと推測される。桁行の柱間寸法は 5 尺 8 寸と 7 尺 2 寸いずれかで整っており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　6 期（1338～1374 年頃）の建物と想定する。	

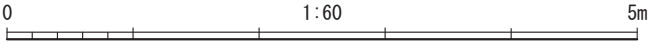
SB80（第 98 図　写真図版 62）	
位置　ⅠA4j、4k、4l、5j、5k、5l　区画内部	**使用した柱穴**　10 個
桁行　916.0 cm（30 尺 2 寸）	**梁間**　370.0 cm（12 尺 2 寸）
面積　33.9㎡（10.3 坪）	**軸方向**　N-2°-E
柱間寸法　桁行では 194.0 cm（6 尺 4 寸）と 176.0 cm（5 尺 8 寸）を使用している。梁間は 370.0 cm（12 尺 2 寸）で、その半分の 185.0 cm（6 尺 1 寸）が基準と推測される。また、桁行で用いられる 194.0 cm（6 尺 4 寸）と 176.0 cm（5 尺 8 寸）の合計は 370.0 cm（12 尺 2 寸）で、その半分はちょうど 6 尺 1 寸となる。よって本建物の基準寸法は 185.0 cm（6 尺 1 寸）の可能性も高い。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB168　**本建物より新しい遺構**：SB2、SB46、SB69、SB71　**本建物と重複する遺構**：SB1、SB23、SB25、SB31、SB37、SB42、SB45、SB48、SB53、SB63、SB74、SB77、SB83、SB141、SB166、SB167　**本建物と接する遺構**：SB48、SK1	
庇、下屋のない平面形のやや小型の建物で、附属屋の可能性が高いと推測される。桁行の柱間寸法は 5 尺 8 寸と 6 尺 4 寸いずれかで整っており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB81（第 99 図　写真図版 63）	
位置　ⅠA1o、1p、2o、2p、3o　区画内部	**使用した柱穴**　7 個
桁行　推定 787.5 cm（26 尺）	**梁間**　424.0 cm（14 尺）
面積　推定 33.4㎡（10.1 坪）	**軸方向**　N-6°-E
柱間寸法　桁行では 212.0 cm（7 尺）を多用している。梁間は 424.0 cm（14 尺）であり、その半分の 212.0 cm（7 尺）が基準と推測され、本建物の基準寸法は 212.0 cm（7 尺）と判断される。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB9、SK62　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB24、SB30、SB32、SB36、SB38、SB41、SB44、SB47、SB54、SB59、SB68、SB72、SB76、SB84、SB88、SB90、SB92	
桁行が調査区外へ広がるが、検出された部分から南へ一間分伸びると想定した。伸びる寸法は基準寸法の 7 尺と想定した。庇、下屋のない平面形の小型の建物で、附属屋の可能性が高いと推測される。桁行の柱間寸法は 5 尺と 7 尺、梁間の総長も 14 尺と区切りのよい柱間寸法であり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　2 期（1190～1226 年頃）の建物と想定する。	

SB79 推定30.6㎡

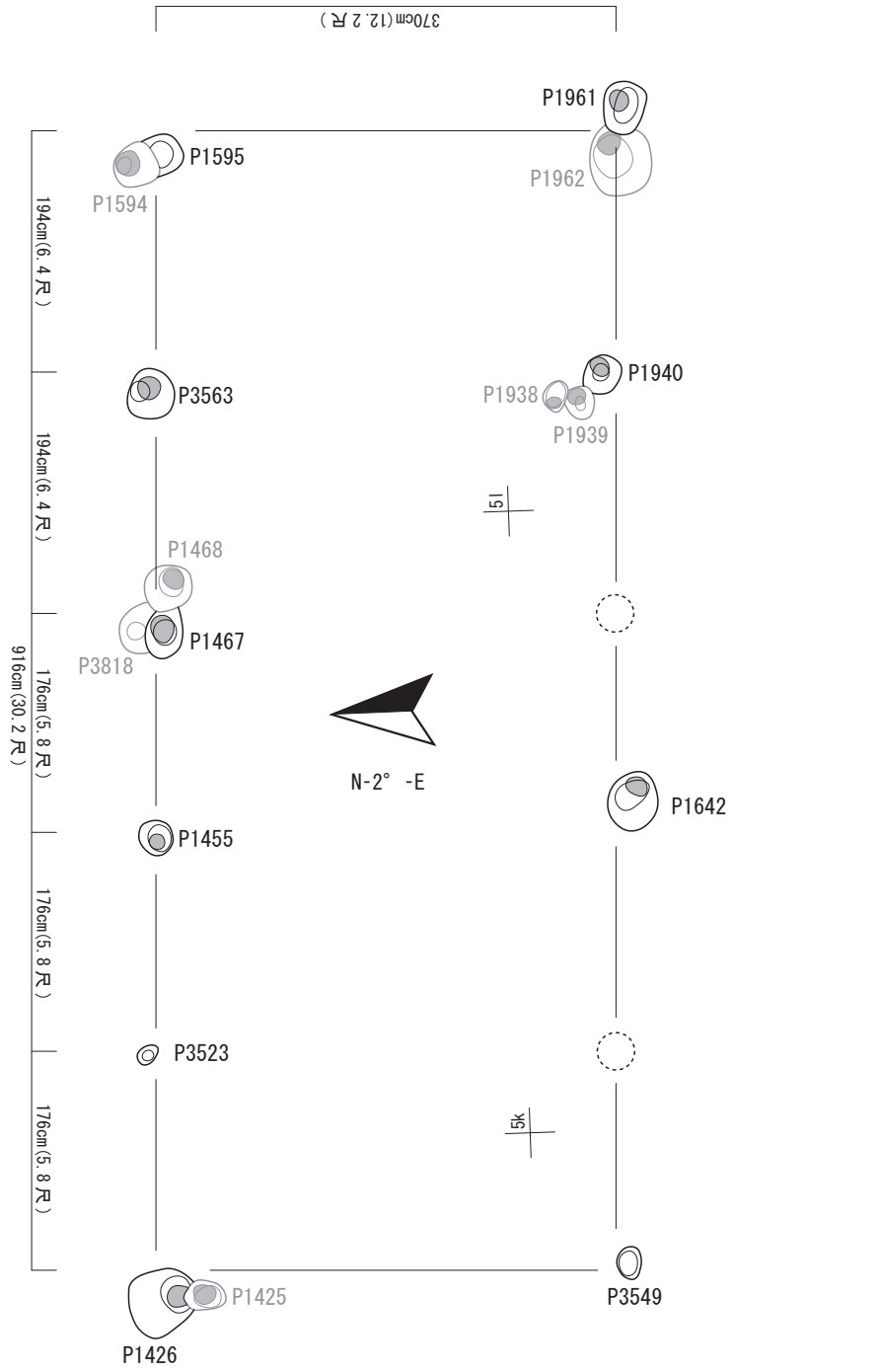


柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P2804	99.0	95.316
P3252	13.2	95.607
P3277	36.5	95.419
P3280	16.9	95.633
P3282	47.1	95.294
P3324	49.4	95.216
P3343	45.3	95.348
P3884	29.8	95.358
P3966	24.7	95.486



第97図　SB79

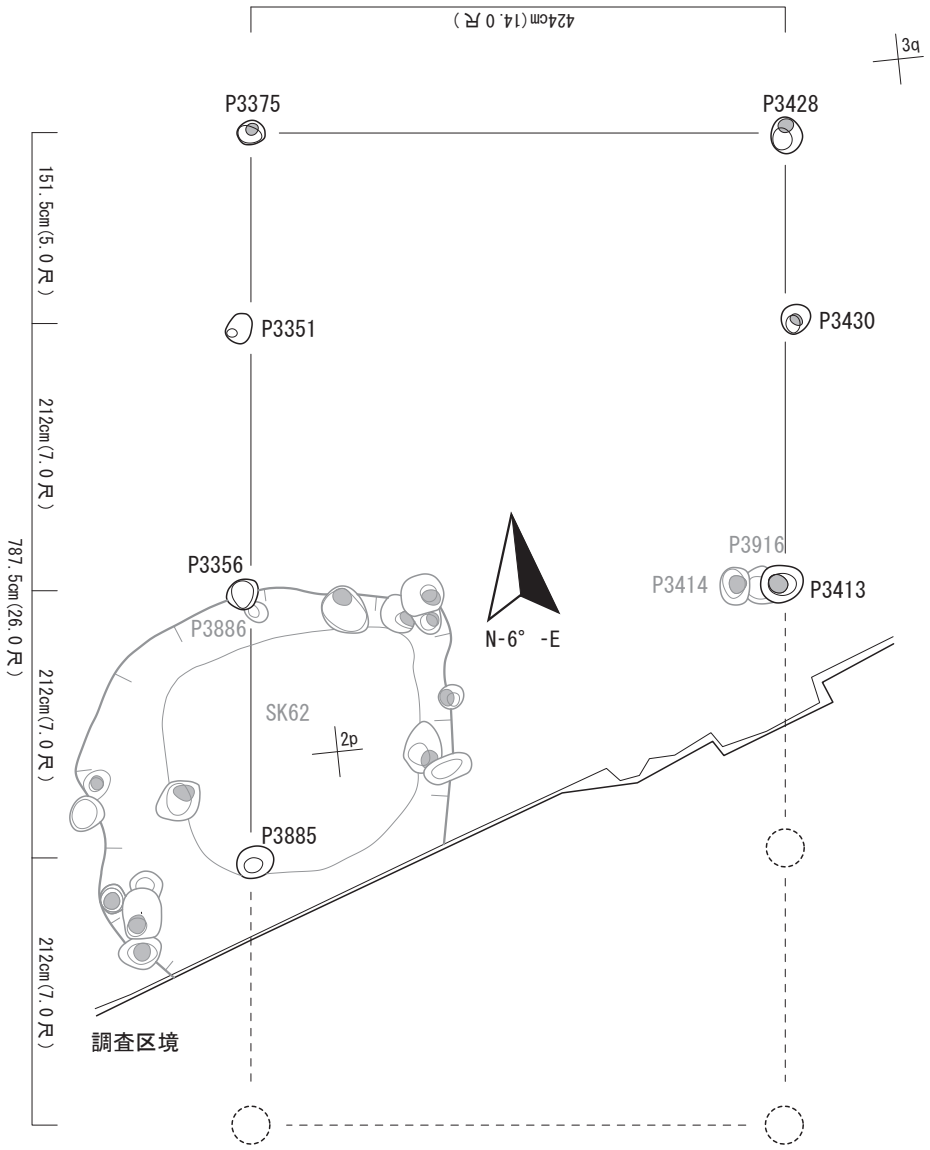
SB80 33.9㎡



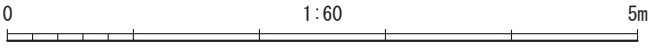
柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1426	59.8	95.352
P1455	10.8	95.748
P1467	38.2	95.450
P1595	42.5	95.431
P1642	12.9	95.620
P1940	27.1	95.538
P1961	29.9	95.466
P3523	8.9	95.812
P3549	14.9	95.680
P3563	47.7	95.436

第 98 図　SB80

SB81 推定33.4㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P3351	33.4	95.408
P3356	27.7	95.435
P3375	12.1	95.646
P3413	45.0	95.253
P3428	40.7	95.329
P3430	7.6	95.691
P3885	32.5	95.177

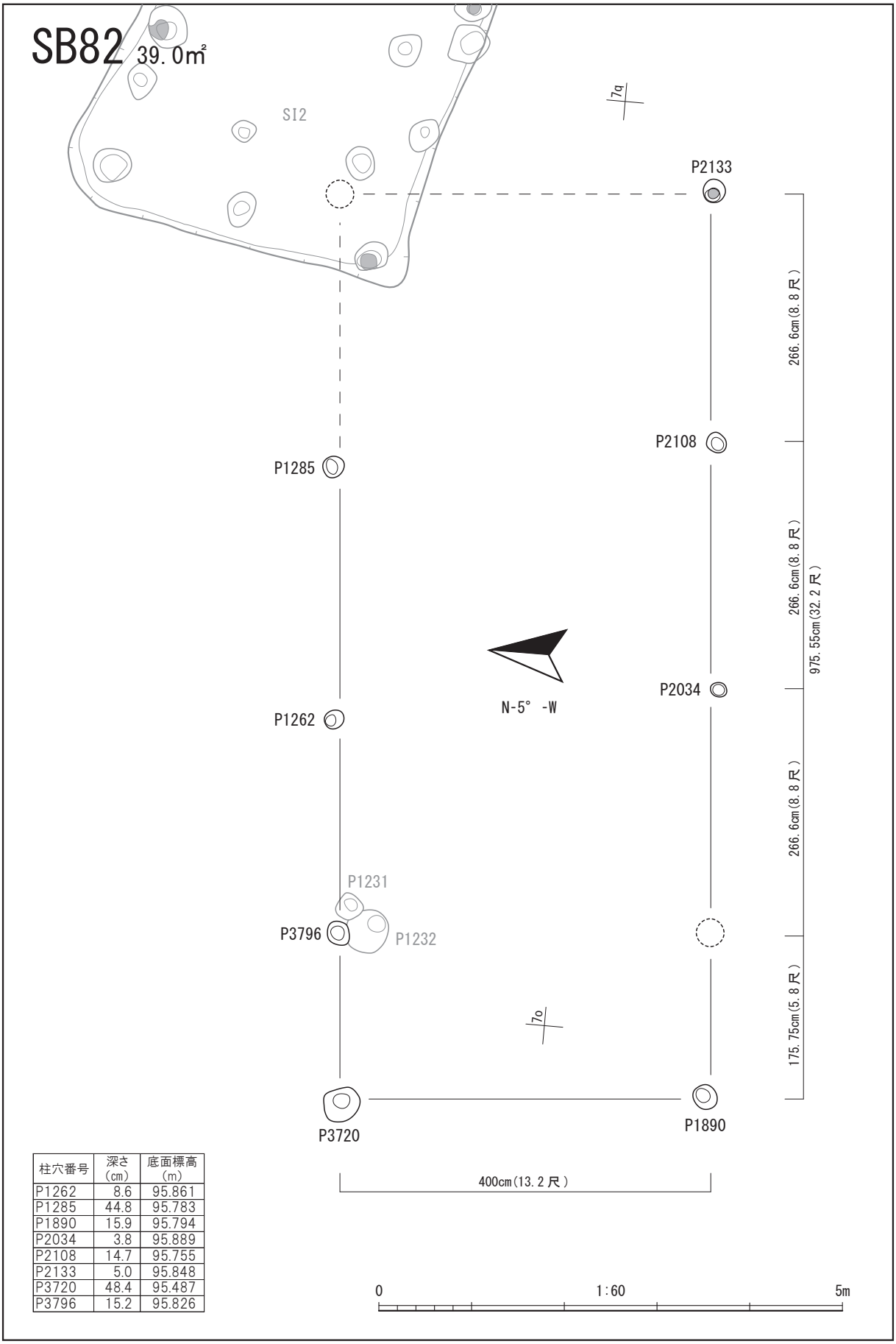


第99図　SB81

SB82（第 100 図　写真図版 63）	
位置　ⅠA6n、6o、6p、7n、7o、7p　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　975.55 cm（32 尺 2 寸）	**梁間**　400.0 cm（13 尺 2 寸）
面積　39.0㎡（11.8 坪）	**軸方向**　N-5°-W
柱間寸法　桁行では 266.6 cm（8 尺 8 寸）を多用している。175.75 cm（5 尺 8 寸）の柱間が一箇所あるが、これは 8 尺 8 寸の 2/3 の寸法に近似し、この柱間も 8 尺 8 寸に準拠していると理解される。梁間は 400.0 cm（13 尺 2 寸）で、その半分の 200.0 cm（6 尺 6 寸）が基準と推測される。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB3、SB19、SB52、SB57、SB66、SB78、SB85、SB86、SB89、SB98、SB138、SB150、SB152、SB154、SB158、SB160、SB162、SB164、SI2　**本建物と接する遺構**：SB165	
庇、下屋のない平面形で、やや小型の中型に近い規模の建物である。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。桁行の柱間寸法は 8 尺 8 寸あるいはそれに準拠した寸法が使用され、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。SI2 との前後関係は明確にできていない。直接の出土遺物はない。SB3 とは柱穴が重複するが前後関係を明確にできなかった。	
想定時期　1 期（1153～1189 年頃）の建物と想定する。	

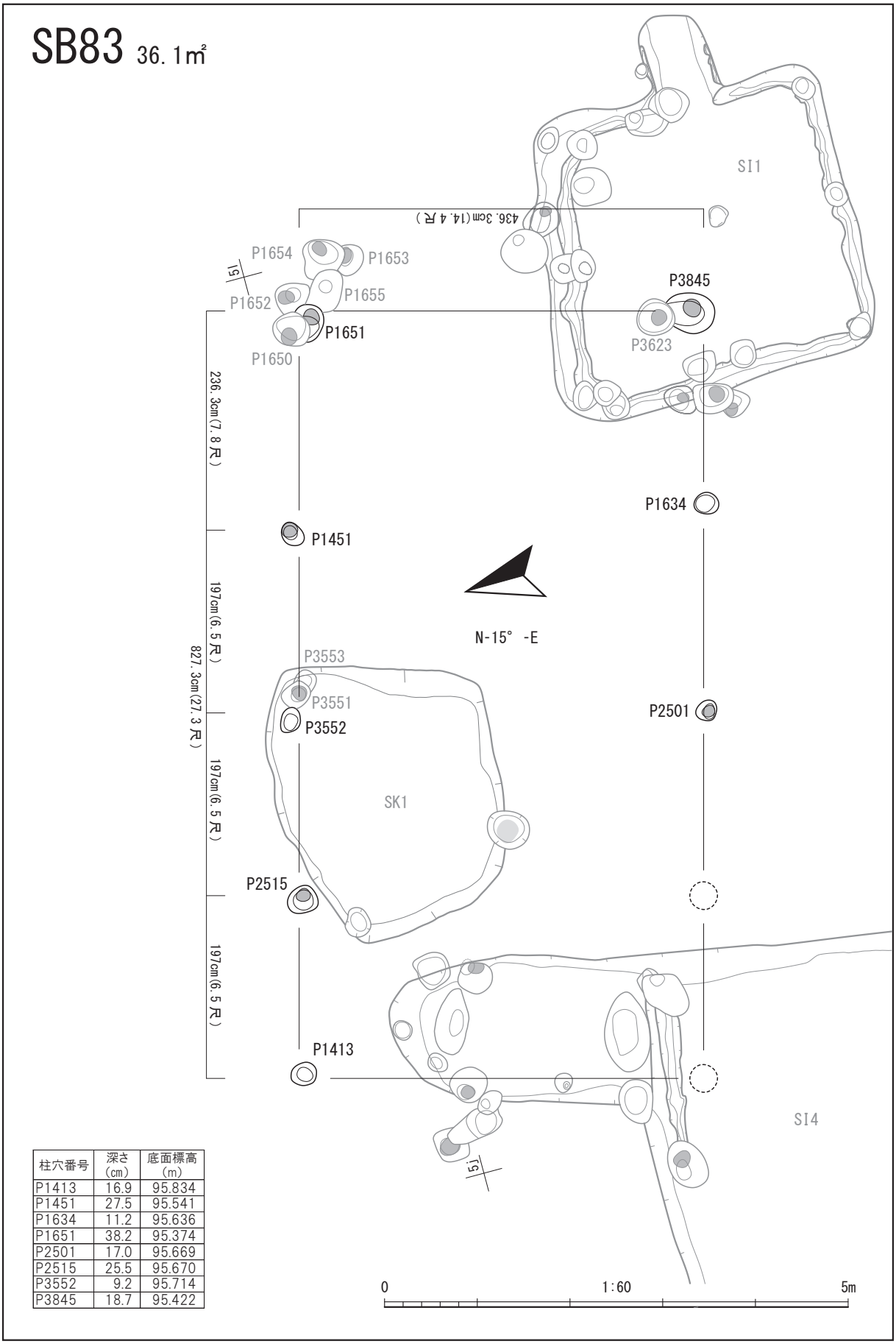
SB83（第 101 図　写真図版 64）	
位置　ⅠA4j、4k、5j、5k　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　827.3 cm（27 尺 3 寸）	**梁間**　436.3 cm（14 尺 4 寸）
面積　36.1㎡（10.9 坪）	**軸方向**　N-15°-E
柱間寸法　桁行では 197.0 cm（6 尺 5 寸）を多用している。236.3 cm（7 尺 8 寸）の柱間が一箇所あるが、これは 6 尺 5 寸のちょうど 1.2 倍の寸法であり、6 尺 5 寸に準拠した寸法とも理解できる。梁間は 436.3 cm（14 尺 4 寸）で、その半分の 218.15 cm（7 尺 2 寸）が基準と推測される。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB48、SB63　**本建物より新しい遺構**：SB37、SI1　**本建物と重複する遺構**：SB1、SB2、SB14、SB17、SB27、SB31、SB53、SB64、SB70、SB71、SB80、SB166、SB167、SB168、SI4、SK1、SK17	
庇、下屋のない平面形の小型の建物で、附属屋あるいは臨時の建物の可能性が高いと推測される。桁行の柱間寸法は 6 尺 5 寸とそれに準拠する柱間寸法が使用され、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB84（第 102 図　写真図版 64）	
位置　ⅠA1o、1p、2o、2p　区画内部	**使用した柱穴**　7 個
桁行　472.5 cm（15 尺 6 寸）	**梁間**　315.0 cm（10 尺 4 寸）
面積　14.9㎡（4.5 坪）	**軸方向**　N-1°-E
柱間寸法　桁行では 157.5 cm（5 尺 2 寸）を使用している。梁間は 315.0 cm（10 尺 4 寸）で、その半分の 157.5 cm（5 尺 2 寸）が基準と推測される。よって本建物は 5 尺 2 寸が基準寸法と判断される。	
重複　**本建物より古い遺構**：SK62　**本建物より新しい遺構**：SB30、SB41　**本建物と重複する遺構**：SB38、SB44、SB47、SB49、SB54、SB59、SB72、SB76、SB79、SB81、SB88、SB90、SB92、SB95、SX24、SD9	
庇、下屋のない平面形の小型の建物で、附属屋あるいは臨時の建物の可能性が高いと推測される。柱間寸法は桁行、梁間ともに 5 尺 2 寸の柱間寸法が使用され、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1262	8.6	95.861
P1285	44.8	95.783
P1890	15.9	95.794
P2034	3.8	95.889
P2108	14.7	95.755
P2133	5.0	95.848
P3720	48.4	95.487
P3796	15.2	95.826

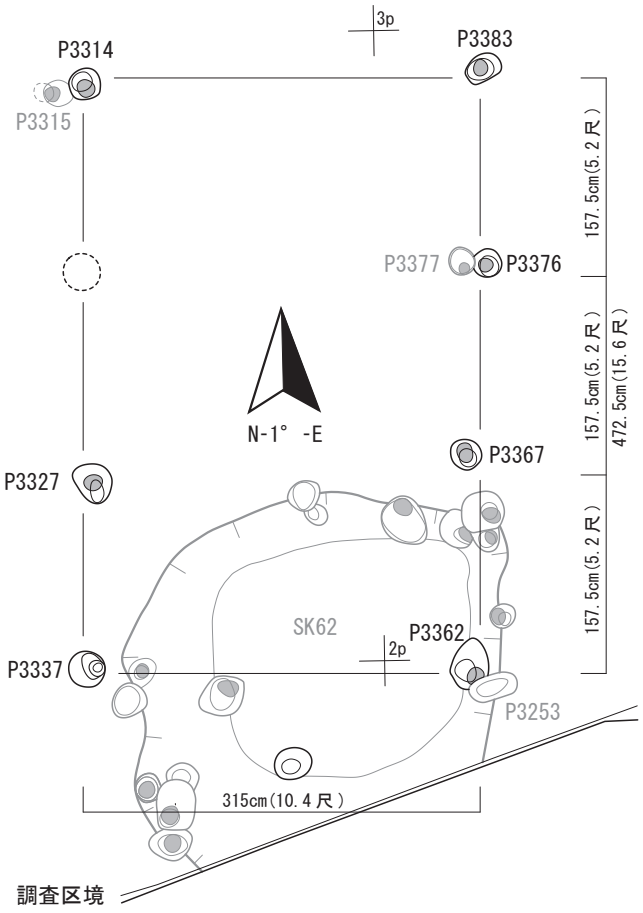
第 100 図　SB82



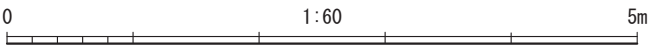
柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1413	16.9	95.834
P1451	27.5	95.541
P1634	11.2	95.636
P1651	38.2	95.374
P2501	17.0	95.669
P2515	25.5	95.670
P3552	9.2	95.714
P3845	18.7	95.422

第101図　SB83

SB84 14.9㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P3314	25.6	95.502
P3327	21.1	95.508
P3337	42.2	95.359
P3362	58.7	95.097
P3367	29.6	95.375
P3376	31.4	95.398
P3383	33.5	95.417



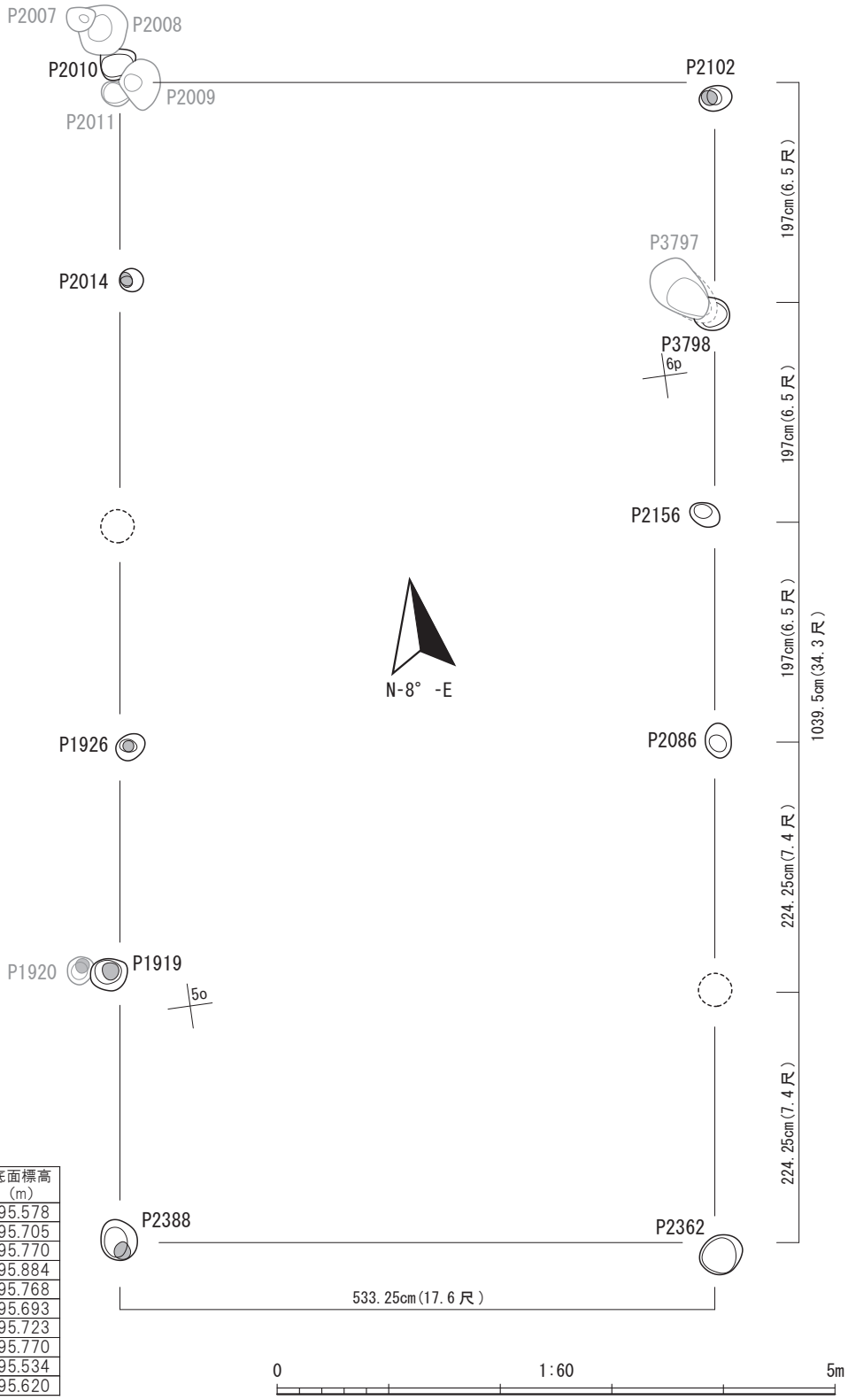
第102図　SB84

SB85（第 103 図　写真図版 65）	
位置　ⅠA4n、4o、5n、5o、5p、6o、6p　区画内部	**使用した柱穴**　10 個
桁行　1039.5 cm（34 尺 3 寸）	**梁間**　533.25 cm（17 尺 6 寸）
面積　55.4㎡（16.8 坪）	**軸方向**　N-8°-E
柱間寸法　桁行では 197.0 cm（6 尺 5 寸）と 224.25 cm（7 尺 4 寸）を使用している。梁間は 533.25 cm（17 尺 6 寸）で、その半分の 266.625 cm（8 尺 8 寸）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB3　**本建物と重複する遺構**：SB28、SB33、SB57、SB66、SB67、SB82、SB89、SB98、SB138、SB146、SB150、SB154、SB165	
庇、下屋のない平面形で、中型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。桁行の柱間寸法は 6 尺 4 寸と 7 尺 4 寸に限定され、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。SB57 と柱穴が重複するが、前後関係を把握できなかった。	
想定時期　6 期（1338～1374 年頃）の建物と想定する。	

SB86（第 104 図　写真図版 65）	
位置　ⅠA5p、6p、6q、7p、7q　区画内部	**使用した柱穴**　6 個
桁行　742.2 cm（24 尺 5 寸）	**梁間**　406.0 cm（13 尺 4 寸）
面積　30.1㎡（9.1 坪）	**軸方向**　N-3°-W
柱間寸法　桁行では 266.6 cm（8 尺 8 寸）を多用している。梁間は 406.0 cm（13 尺 4 寸）で、その半分の 203.0 cm（6 尺 7 寸）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：SI2　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB3、SB55、SB75、SB78、SB82、SB89、SB93、SB96、SB140、SB142、SB144、SB148、SB152、SB154、SB158、SB160、SB162、SB164、SB165	
庇、下屋のない平面形の小型の建物で、附属屋あるいは臨時の建物の可能性が高いと推測される。北西隅の柱穴は把握できなかったが、北東隅の P3676 は SI2 より新しいことを確認しており、本建物は SI2 より新しいものである。直接の出土遺物はない。SB3 と柱穴が重複するが、前後関係を把握できなかった。	
想定時期　10 期（1486～1522 年頃）の建物と想定する。	

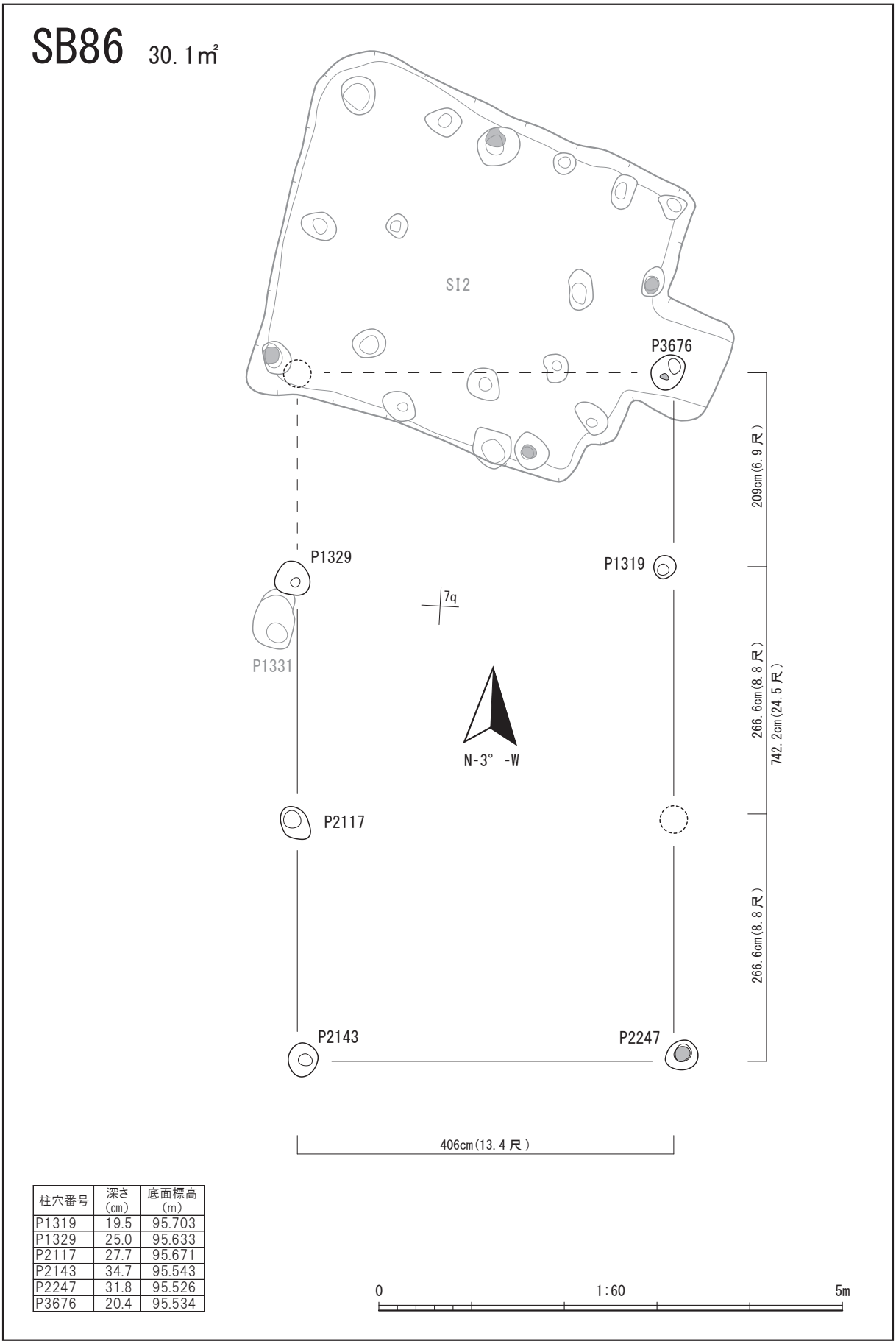
SB87（第 105 図　写真図版 66）	
位置　ⅠA3l、3m、4l、4m、5l、5m　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　945.5 cm（31 尺 2 寸）	**梁間**　476.0 cm（15 尺 7 寸）
面積　45.0㎡（13.6 坪）	**軸方向**　N-5°-E
柱間寸法　桁行では 327.25 cm（10 尺 8 寸）を多用している。梁間は 476.0 cm（15 尺 7 寸）で、その半分の 238.0 cm（7 尺 8 寸 5 分）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB143　**本建物と重複する遺構**：SB2、SB23、SB29、SB34、SB39、SB42、SB43、SB48、SB50、SB69、SB74、SB77、SB80、SB91、SB94、SB100、SB141、SB145、SB147、SB166、SB167、SB168、SX11、SX15	
庇、下屋のない平面形で、やや小型の中型に近い規模の建物である。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。桁行の柱間寸法は 10 尺 8 寸が多用されているが柱間寸法の基準は解釈し難い。梁間、桁行の長さの比は 1：2 に近い数値である。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB85 55.4㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1919	19.5	95.578
P1926	14.1	95.705
P2010	16.7	95.770
P2014	8.8	95.884
P2086	9.9	95.768
P2102	18.1	95.693
P2156	18.6	95.723
P2362	55.3	95.770
P2388	75.9	95.534
P3798	36.5	95.620

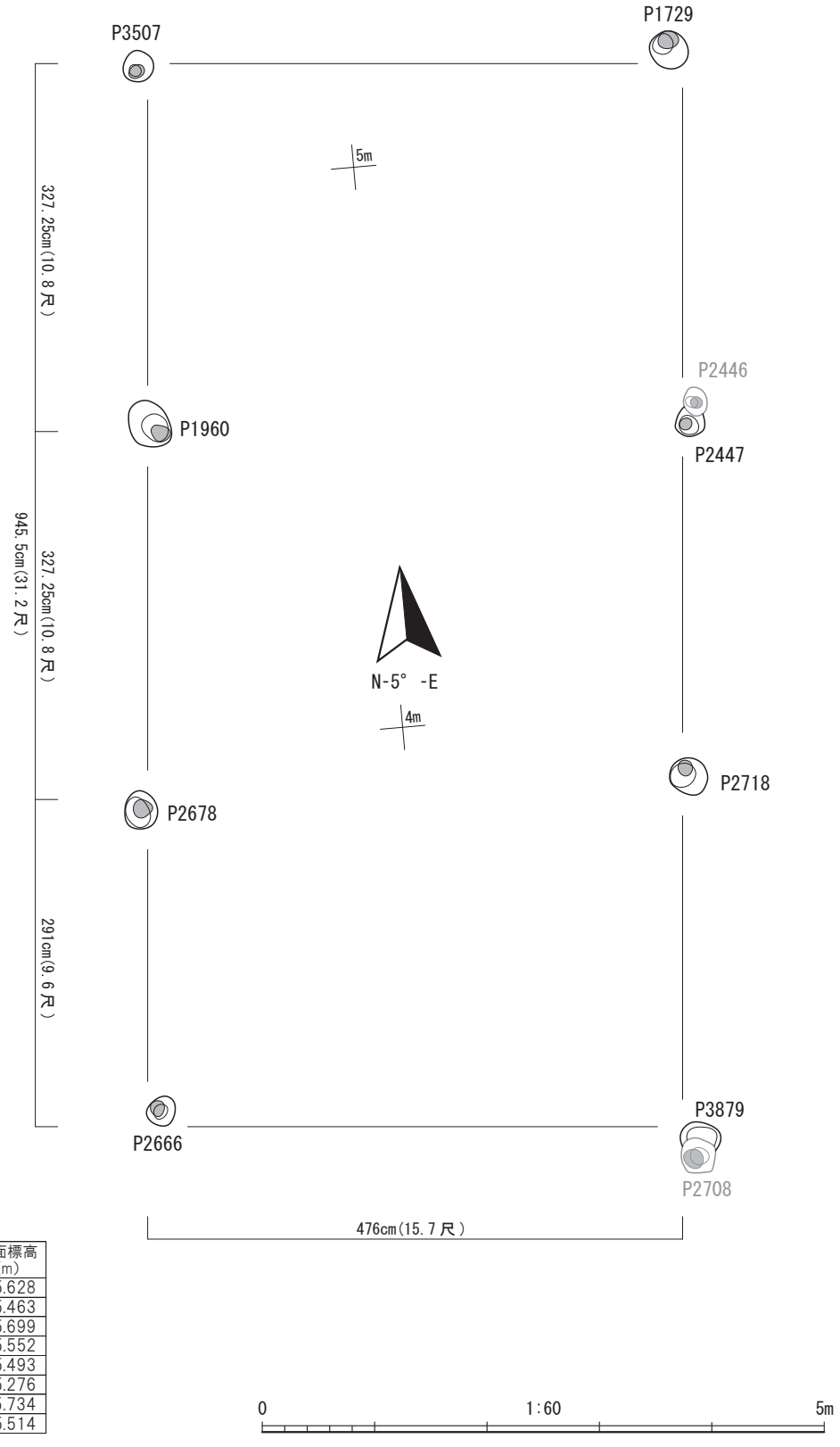
第 103 図　SB85



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1319	19.5	95.703
P1329	25.0	95.633
P2117	27.7	95.671
P2143	34.7	95.543
P2247	31.8	95.526
P3676	20.4	95.534

第104図　SB86

SB87 45.0㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1729	19.3	95.628
P1960	32.8	95.463
P2447	12.3	95.699
P2666	19.1	95.552
P2678	24.8	95.493
P2718	98.4	95.276
P3507	8.1	95.734
P3879	25.2	95.514

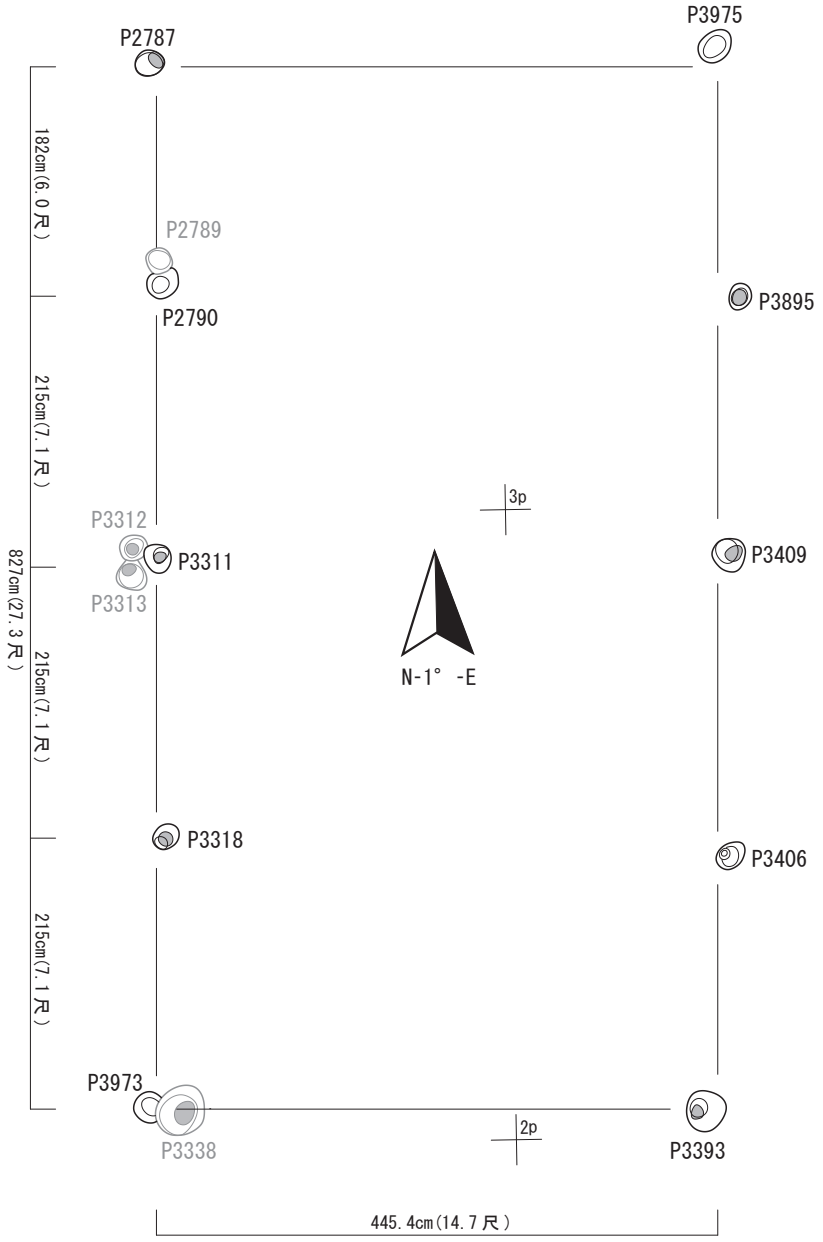
第105図　SB87

SB88（第 106 図　写真図版 66）	
位置　ⅠA2o、2p、3o、3p　区画内部	**使用した柱穴**　10 個
桁行　827.0 cm（27 尺 3 寸）	**梁間**　445.4 cm（14 尺 7 寸）
面積　36.8㎡（11.2 坪）	**軸方向**　N-1°-E
柱間寸法　桁行では 215.0 cm（7 尺 1 寸）を多用している。梁間は 445.4 cm（14 尺 7 寸）で、その半分の 222.7 cm（7 尺 3 寸 5 分）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB62　**本建物より新しい遺構**：SB44　**本建物と重複する遺構**：SB24、SB28、SB30、SB38、SB41、SB47、SB49、SB54、SB59、SB65、SB72、SB76、SB79、SB81、SB84、SB90、SB92、SB95、SK62、SD9、SX24	
庇、下屋のない平面形の小型の建物で、附属屋あるいは臨時の建物の可能性が高いと推測される。柱間寸法は桁行で 7 尺 1 寸の寸法が多用され、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。P3393 埋土からロクロ使用の土師器坏の破片（不掲載遺物㉚）が出土している。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

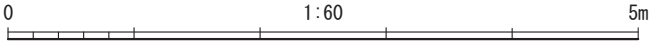
SB89（第 107 図　写真図版 67）	
位置　ⅠA5o、5p、6n、6o、6p　区画内部	**使用した柱穴**　11 個
桁行　994.5 cm（32 尺 8 寸）	**梁間**　403.0 cm（13 尺 3 寸）
面積　40.1㎡（12.2 坪）	**軸方向**　桁行　N-10°-E（90° 傾） 梁間　N-5°-E
柱間寸法　桁行では 182.0 cm（6 尺）と 224.25 cm（7 尺 4 寸）を使用している。梁間は 403.0 cm（13 尺 3 寸）で、その半分の 201.5 cm（6 尺 6 寸 5 分）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB140　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB3、SB57、SB66、SB82、SB85、SB86、SB96、SB98、SB138、SB144、SB146、SB148、SB150、SB152、SB154、SB155、SB158、SB162、SB164、SB165	
桁行の軸方向と梁間の軸方向が異なり、平行四辺形の平面形を呈する。庇、下屋のない平面形で、中型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。桁行の柱間寸法は 6 尺 4 寸と 7 尺 4 寸に限定され、平行四辺形のプランではあるが、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　4 期（1264～1300 年頃）の建物と想定する。	

SB90（第 108 図　写真図版 67）	
位置　ⅠA1o、1p、1q、1r、2o、2p、2q、2r　区画内部	**使用した柱穴**　6 個
桁行　1287.5 cm（42 尺 5 寸）	**梁間**　想定 515.0 cm（17 尺）
面積　検出分　34.4㎡（10.4 坪） 想定　66.3㎡（20.1 坪）	**軸方向**　N-14°-W
柱間寸法　桁行では 257.5 cm（8 尺 5 寸）を使用している。梁間は調査区外に伸び不明であるが、桁行で使用の柱間寸法 257.5 cm（8 尺 5 寸）の 2 倍、515.0 cm（17 尺）と想定した。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB47　**本建物と重複する遺構**：SB24、SB30、SB32、SB36、SB38、SB41、SB44、SB49、SB68、SB72、SB76、SB81、SB84、SB88、SB92、SB95、SK62、SX101	
梁間が調査区外（南側）に伸びており全体形は不明であるが、図示したプランを想定した。庇、下屋のない平面形で、中型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。桁行の柱間寸法は 8 尺 5 寸と均一で、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。SB72 とは柱穴が重複するが前後関係を明確にできなかった。	
想定時期　1 期（1153～1189 年頃）の建物と想定する。	

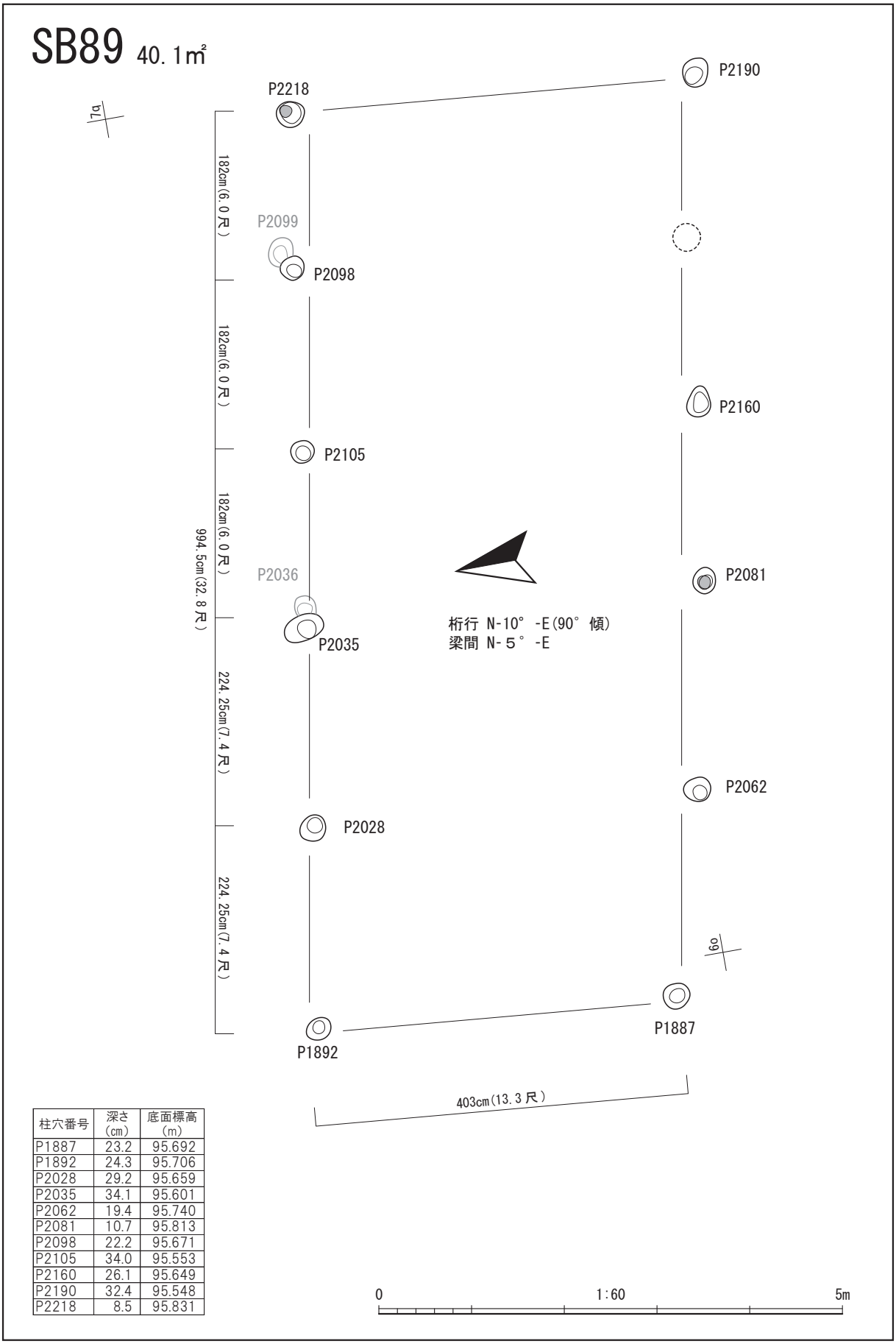
SB88 36.8㎡



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P2787	58.2	95.710
P2790	64.5	95.635
P3311	32.1	95.430
P3318	30.8	95.422
P3393	48.7	95.247
P3406	19.2	95.611
P3409	20.8	95.566
P3895	10.5	95.686
P3973	13.0	95.621
P3975	4.8	95.741

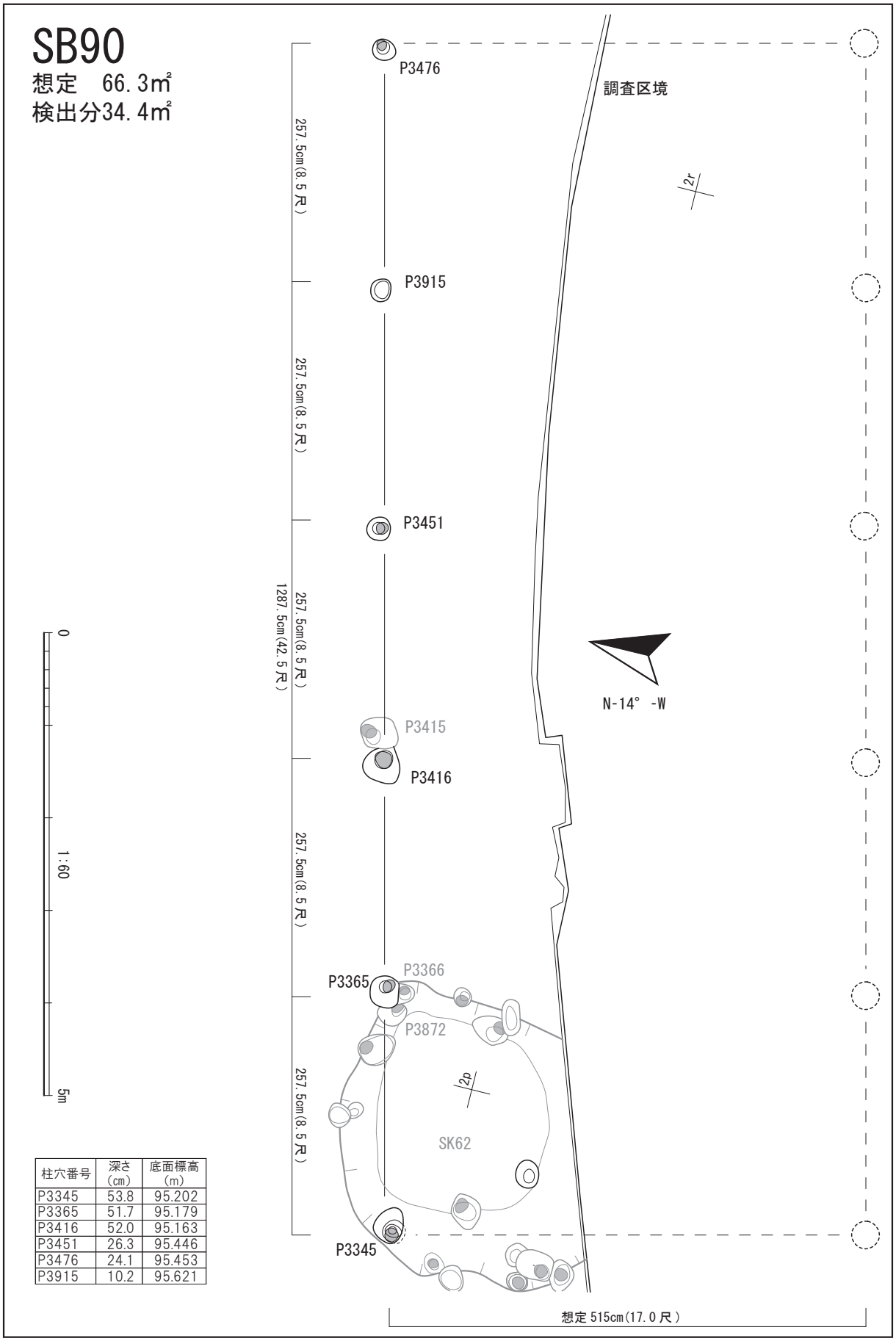


第106図　SB88



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1887	23.2	95.692
P1892	24.3	95.706
P2028	29.2	95.659
P2035	34.1	95.601
P2062	19.4	95.740
P2081	10.7	95.813
P2098	22.2	95.671
P2105	34.0	95.553
P2160	26.1	95.649
P2190	32.4	95.548
P2218	8.5	95.831

第107図　SB89



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P3345	53.8	95.202
P3365	51.7	95.179
P3416	52.0	95.163
P3451	26.3	95.446
P3476	24.1	95.453
P3915	10.2	95.621

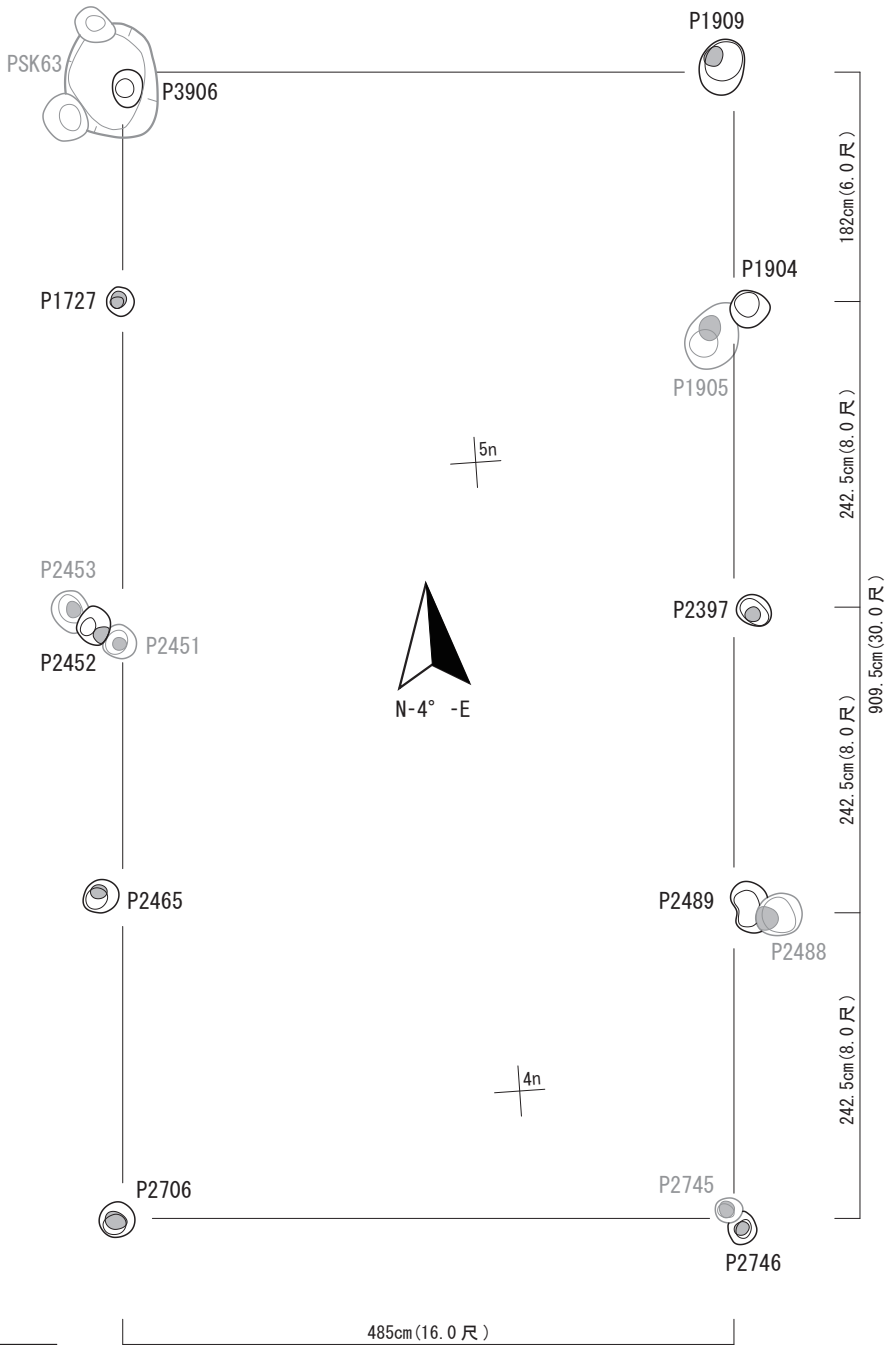
第 108 図　SB90

SB91（第 109 図　写真図版 68）	
位置　ⅠA3m、3n、4m、4n、5m、5n　区画内部	**使用した柱穴**　10 個
桁行　909.5 cm（30 尺）	**梁間**　485.0 cm（16 尺）
面積　44.1㎡（13.4 坪）	**軸方向**　N-4°-E
柱間寸法　桁行では 242.5 cm（8 尺）を使用している。182.0 cm（6 尺）の柱間が一箇所あるが、これは 8 尺のちょうど 3/4 の寸法であり、8 尺に準拠した寸法と理解される。梁間は 485.0 cm（16 尺）で、その半分の 242.5 cm（8 尺）が基準と推測される。よって本建物は 242.5 cm（8 尺）が基準寸法と判断される。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB45、SB74、SB77　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB2、SB23、SB29、SB39、SB42、SB67、SB87、SB94、SB97、SB145、SB147、SB151、SK63　**本建物と接する遺構**：SB46	
庇、下屋のない平面形で、中型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。柱間寸法は梁間、桁行ともに 8 尺を基準にしており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB92（第 110 図　写真図版 68）	
位置　ⅠA1o、1p、2o、2p、3o、3p　区画内部	**使用した柱穴**　9 個
桁行　899.5 cm（29 尺 7 寸）	**梁間**　503.0 cm（16 尺 6 寸）
面積　45.2㎡（13.7 坪）	**軸方向**　N-2°-W
柱間寸法　桁行では 215.0 cm（7 尺 1 寸）を多用している。梁間は 503.0 cm（16 尺 6 寸）で、その半分の 256.5 cm（8 尺 3 寸）が基準と推測される。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB65、SD9　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB24、SB26、SB28、SB30、SB32、SB36、SB38、SB41、SB44、SB47、SB49、SB54、SB59、SB68、SB72、SB76、SB81、SB84、SB88、SB90、SB95、SK62、SX24　**本建物と接する遺構**：SB79	
庇、下屋のない平面形で、中型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。桁行の柱間寸法は 7 尺 1 寸を多用しており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。P3656 埋土から須恵器坏の破片（不掲載遺物㊸）が出土している。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB93（第 111 図　写真図版 69）	
位置　ⅠA4q、4r、5q、5r、6q、6r　区画内部	**使用した柱穴**　11 個
桁行　1105.8 cm（36 尺 5 寸）	**梁間**　南辺　454.5 cm（15 尺） 北辺　479.0 cm（15 尺 8 寸）
面積　52.4㎡（15.9 坪）	**軸方向**　N-6°-E
柱間寸法　東辺の桁行では 227.25 cm（7 尺 5 寸）を多用し、西辺の桁行では 257.5 cm（8 尺 5 寸）を多用している。桁行の他の柱間も 5 寸の倍数の寸法を用いており、5 寸の単位が基準値の可能性が高い。南辺の梁間は 454.5 cm（15 尺）で、その半分の 227.25 cm（7 尺 5 寸）が基準と推測される。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB3、SB142　**本建物と重複する遺構**：SB4、SB26、SB36、SB75、SB86、SB96、SB144、SB148、SB155、SB158、SB165、SD8	
西辺の桁行の柱筋が一直線ではなく、不整なプランとなっている。桁行の東辺と西辺の総長が概ね同じ長さになり、建物として成り立つと判断したものである。庇、下屋のない平面形で、中型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。柱間寸法は桁行では 7 尺 5 寸を多用し、異なる寸法の部位も 5 寸の倍数が使用されている。また、梁間でも 7 尺 5 寸を使用し、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。形状が不整になったのは施工の際の都合によるものと想像される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　2 期（1190～1226 年頃）の建物と想定する。	

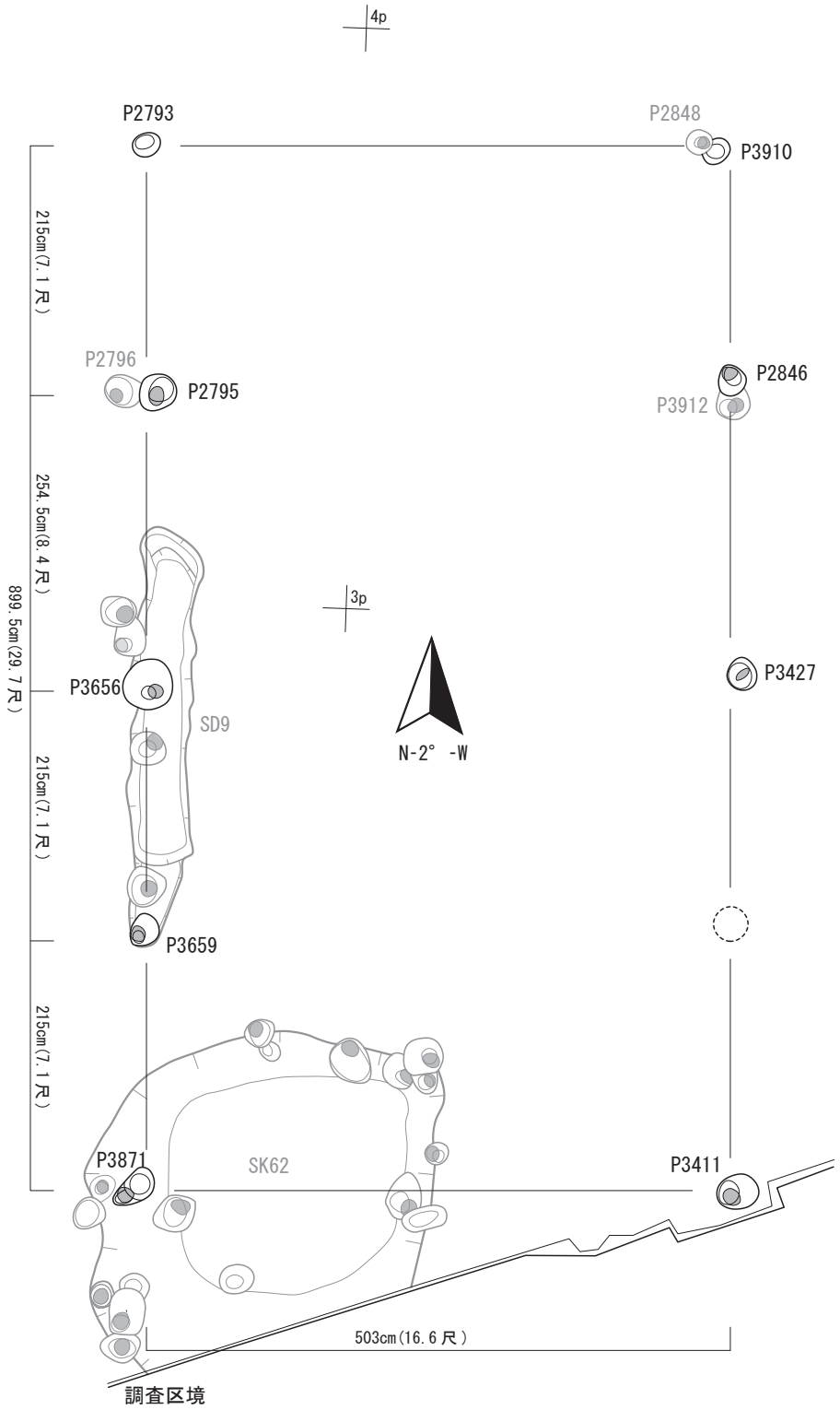
SB91 44.1㎡



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P1727	12.7	95.708
P1904	7.1	95.733
P1909	21.3	95.645
P2397	12.8	95.726
P2452	46.4	95.374
P2465	13.1	95.687
P2489	69.4	95.633
P2706	39.5	95.344
P2746	68.4	95.563
P3906	13.7	95.604

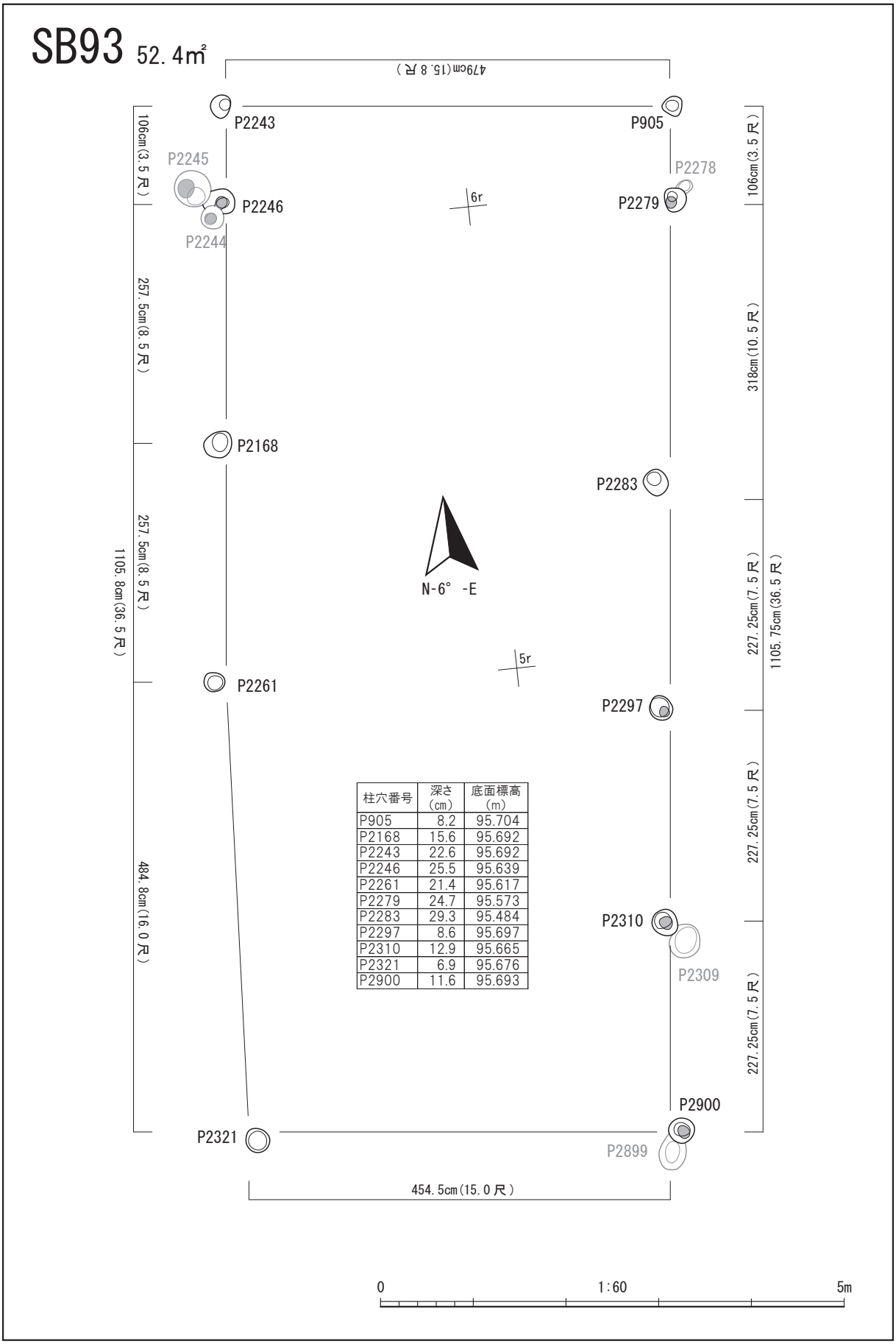
第109図　SB91

SB92 45.2㎡



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P2793	6.2	95.730
P2795	30.8	95.483
P2846	43.6	95.312
P3411	45.2	95.274
P3427	32.8	95.414
P3656	30.6	95.471
P3659	46.2	95.247
P3871	28.4	95.424
P3910	13.4	95.617

第110図　SB92



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P905	8.2	95.704
P2168	15.6	95.692
P2243	22.6	95.692
P2246	25.5	95.639
P2261	21.4	95.617
P2279	24.7	95.573
P2283	29.3	95.484
P2297	8.6	95.697
P2310	12.9	95.665
P2321	6.9	95.676
P2900	11.6	95.693

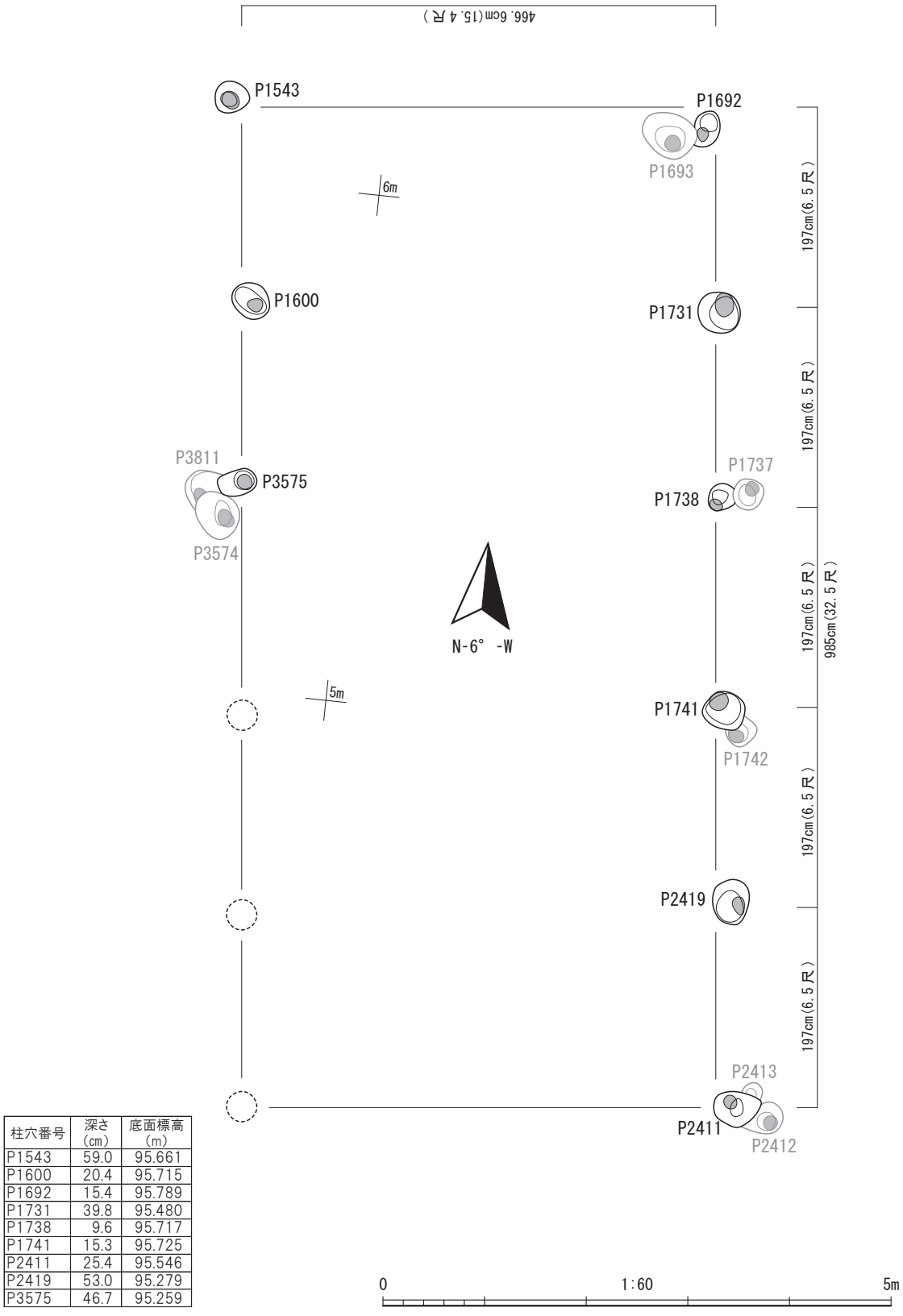
第 111 図　SB93

SB94（第 112 図　写真図版 69）	
位置　ⅠA4l、4m、5l、5m、6l、6m　区画内部	**使用した柱穴**　9 個
桁行　985.0 cm（32 尺 5 寸）	**梁間**　466.6 cm（15 尺 4 寸）
面積　46.0㎡（13.9 坪）	**軸方向**　N-6°-W
柱間寸法　桁行では 197.0 cm（6 尺 5 寸）を使用している。梁間は 466.6 cm（15 尺 4 寸）で、その半分の 233.3 cm（7 尺 7 寸）が基準と推測される。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB97、SB145、SB168　**本建物より新しい遺構**：SB23、SB42 **本建物と重複する遺構**：SB2、SB29、SB39、SB45、SB46、SB48、SB50、SB57、SB67、SB69、SB74、SB77、SB87、SB91、SB141、SB147、SB166、SB167、SK63	
庇、下屋のない平面形で、中型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。柱間寸法は桁行では 6 尺 5 寸と均一であり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB95（第 113 図　写真図版 70）	
位置　ⅠA1o、1p、2o、2p　区画内部	**使用した柱穴**　6 個
桁行　推定 777.3 cm（25 尺 5 寸）	**梁間**　想定 400.0 cm（13 尺 6 寸）
面積　推定 30.9㎡（9.4 坪）	**軸方向**　N-10°-E
柱間寸法　桁行では 200.0 cm（6 尺 6 寸）を多用している。梁間は 400.0 cm（13 尺 2 寸）で、その半分の 200.0 cm（6 尺 6 寸）が基準と推測される。よって本建物の基準寸法は 200.0 cm（6 尺 6 寸）と判断される。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB76、SB81　**本建物と重複する遺構**：SB24、SB30、SB32、SB36、SB38、SB41、SB44、SB47、SB49、SB62、SB68、SB72、SB79、SB84、SB88、SB90、SB92、SK62、SX10	
桁行が調査区外（東側）に伸びる可能性もあるが、図示したプランを想定した。庇、下屋のない平面形の小型の建物で、附属屋あるいは臨時の建物の可能性が高いと推測される。柱間寸法は桁行、梁間ともに 6 尺 6 寸の柱間寸法が多用され、梁間でも 6 尺 6 寸が基準寸法であり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB96（第 114 図　写真図版 70）	
位置　ⅠA5p、5q、6p、6q　区画内部	**使用した柱穴**　10 個
桁行　564.0 cm（18 尺 6 寸）	**梁間**　521.0 cm（17 尺 2 寸）
面積　29.4㎡（8.9 坪）	**軸方向**　N-5°-E
柱間寸法　桁行では 188.0 cm（6 尺 2 寸）を使用している。梁間の身舎は 375.7 cm（12 尺 4 寸）で、その半分の 187.75 cm（約 6 尺 2 寸）が基準と推測される。よって本建物の基準寸法は 188.0 cm（6 尺 2 寸）と判断される。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB3、SB75、SB86、SB89、SB93、SB140、SB142、SB144、SB148、SB152、SB155、SB158、SB162、SB164、SB165、SD8	
小型の建物である。375.7 cm（12 尺 4 寸）×564.0 cm（18 尺 6 寸）の身舎西面に一面庇の構造である。庇の出は 145.3 cm（4 尺 8 寸）である。身舎の柱間寸法は 6 尺 2 寸を基準とした整然としたもので、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。SD8 との前後関係は明確に把握できなかった。	
想定時期　3 期（1227～1263 年頃）の建物と想定する。	

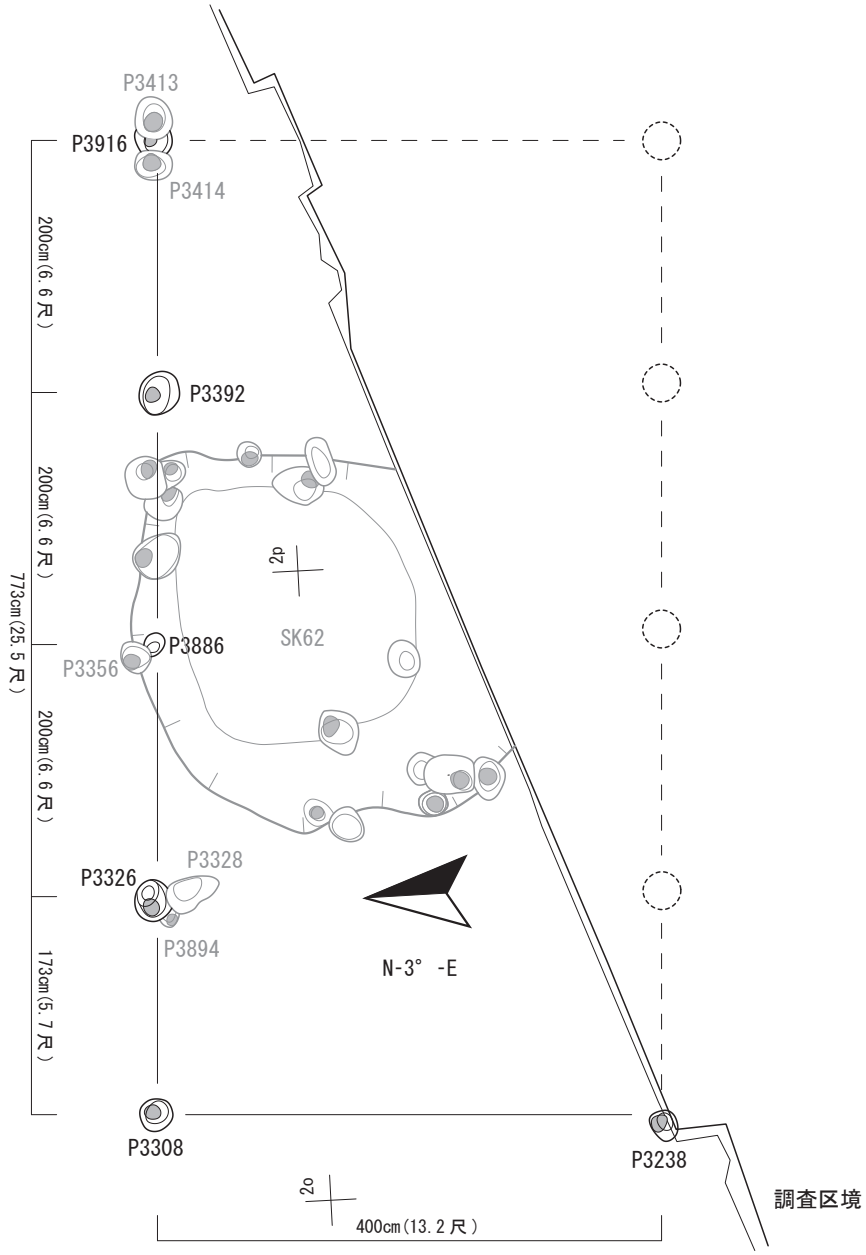
SB94 46.0㎡



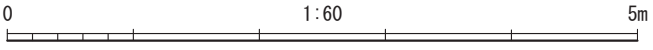
柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P1543	59.0	95.661
P1600	20.4	95.715
P1692	15.4	95.789
P1731	39.8	95.480
P1738	9.6	95.717
P1741	15.3	95.725
P2411	25.4	95.546
P2419	53.0	95.279
P3575	46.7	95.259

第112図　SB94

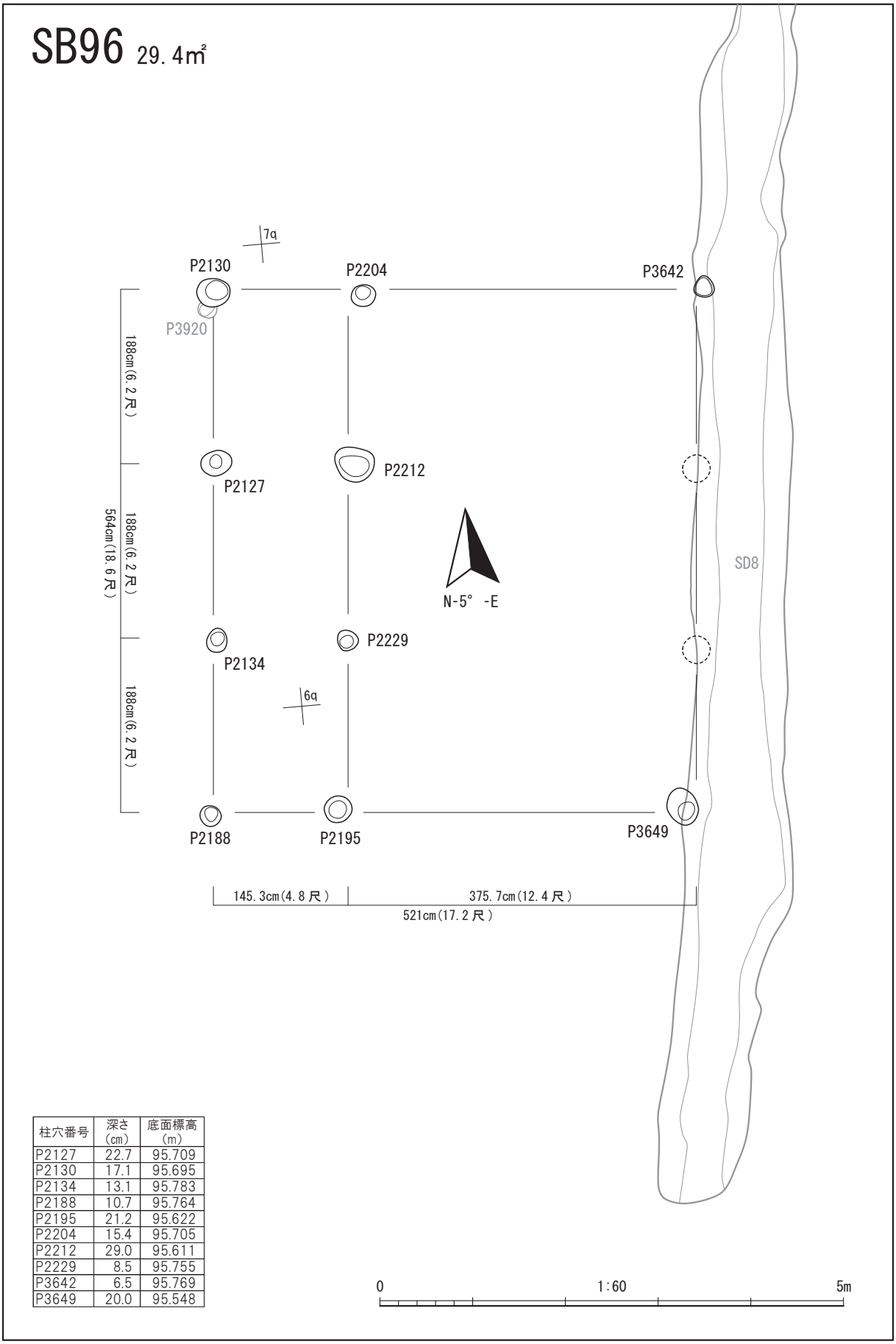
SB95 推定30.9㎡



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P3238	31.8	95.480
P3308	15.3	95.600
P3326	16.3	95.571
P3392	40.7	95.265
P3886	21.5	95.354
P3916	51.4	95.214



第113図　SB95



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2127	22.7	95.709
P2130	17.1	95.695
P2134	13.1	95.783
P2188	10.7	95.764
P2195	21.2	95.622
P2204	15.4	95.705
P2212	29.0	95.611
P2229	8.5	95.755
P3642	6.5	95.769
P3649	20.0	95.548

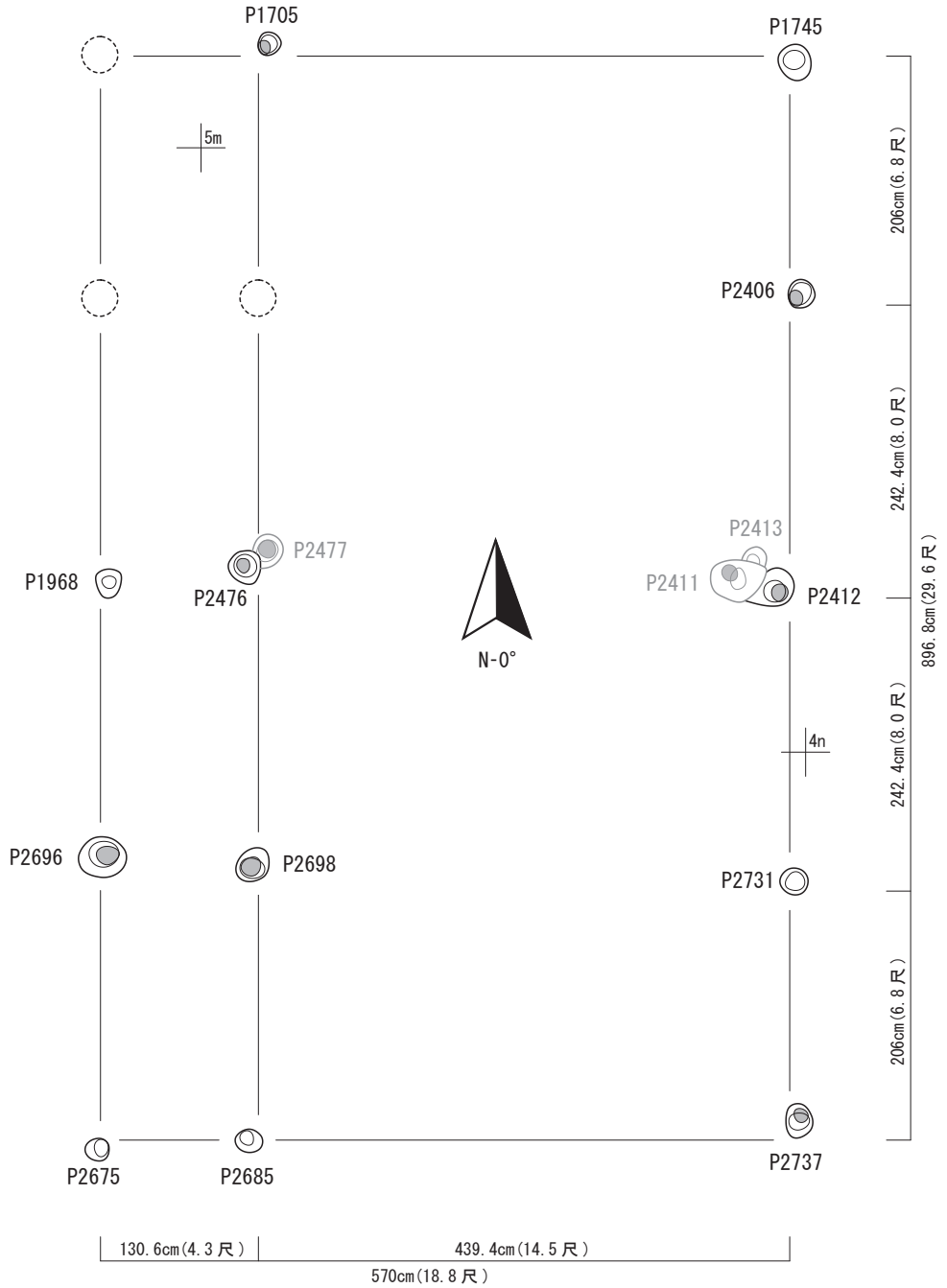
第 114 図　SB96

SB97（第 115 図　写真図版 71）	
位置　ⅠA3l、3m、4l、4m、5l、5m、区画内部	**使用した柱穴**　12 個
桁行　896.8 cm（29 尺 6 寸）	**梁間**　570.0 cm（18 尺 8 寸）
面積　51.1㎡（15.5 坪）	**軸方向**　N-0°
柱間寸法　桁行では 206.0 cm（6 尺 8 寸）と 242.4 cm（8 尺）を使用している。梁間の身舎は 439.4 cm（14 尺 5 寸）で、その半分の 219.7 cm（約 7 尺 2 寸 5 分）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB94　**本建物と重複する遺構**：SB2、SB23、SB29、SB34、SB39、SB42、SB43、SB48、SB50、SB67、SB69、SB74、SB77、SB87、SB91、SB100、SB139、SB141、SB145、SB147、SB149、SB151、SB166、SB168、SX15	
中型の建物である。439.4 cm（14 尺 5 寸）×896.8 cm（29 尺 6 寸）の身舎西面に一面庇の構造である。庇の出は 130.6 cm（4 尺 3 寸）である。身舎の柱間寸法は 6 尺 8 寸と 8 尺のみを使用しており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。直接の出土遺物はない。	
想定時期　7 期（1375～1411 年頃）の建物と想定する。	

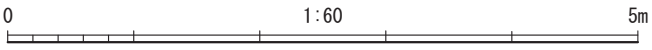
SB98（第 116 図　写真図版 71）	
位置　ⅠA5o、5p、6o、6p、7o、7p、区画内部	**使用した柱穴**　7 個
桁行　600.0 cm（19 尺 8 寸）	**梁間**　412.0 cm（13 尺 6 寸）
面積　24.7㎡（7.5 坪）	**軸方向**　N-2°-E
柱間寸法　桁行では 200.0 cm（6 尺 6 寸）を使用している。梁間は 412.0 cm（13 尺 6 寸）で、その半分の 206.0 cm（約 6 尺 8 寸）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB160　**本建物より新しい遺構**：SB3、SB46、SB154　**本建物と重複する遺構**：SB66、SB82、SB85、SB89、SB138、SB140、SB146、SB150、SB155、SB158、SB162、SB164、SB165	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋の可能性が高いと推測される。桁行の柱間寸法は 6 尺 6 寸で均一であり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　8 期（1412～1448 年頃）の建物と想定する。	

SB99（第 117 図　写真図版 72）	
位置　ⅠA6l　区画内部	**使用した柱穴**　6 個
桁行　424.0 cm（14 尺）	**梁間**　212.0 cm（7 尺）
面積　9.0㎡（2.7 坪）	**軸方向**　N-10°-E
柱間寸法　桁行では 212.0 cm（7 尺）を使用している。梁間は 212.0 cm（7 尺）である。よって本建物の基準寸法は 212.0 cm（7 尺）と判断される。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB2、SX18　**本建物と重複する遺構**：SB25、SB42、SB45、SB46、SB60、SB69、SB74、SB77、SB166、SB167、SB168	
庇、下屋のない平面形である。非常に小型の建物で、附属屋あるいは臨時の建物の可能性が高いと推測される。柱間寸法は桁行、梁間ともに 7 尺で均一であり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB97 51.1㎡

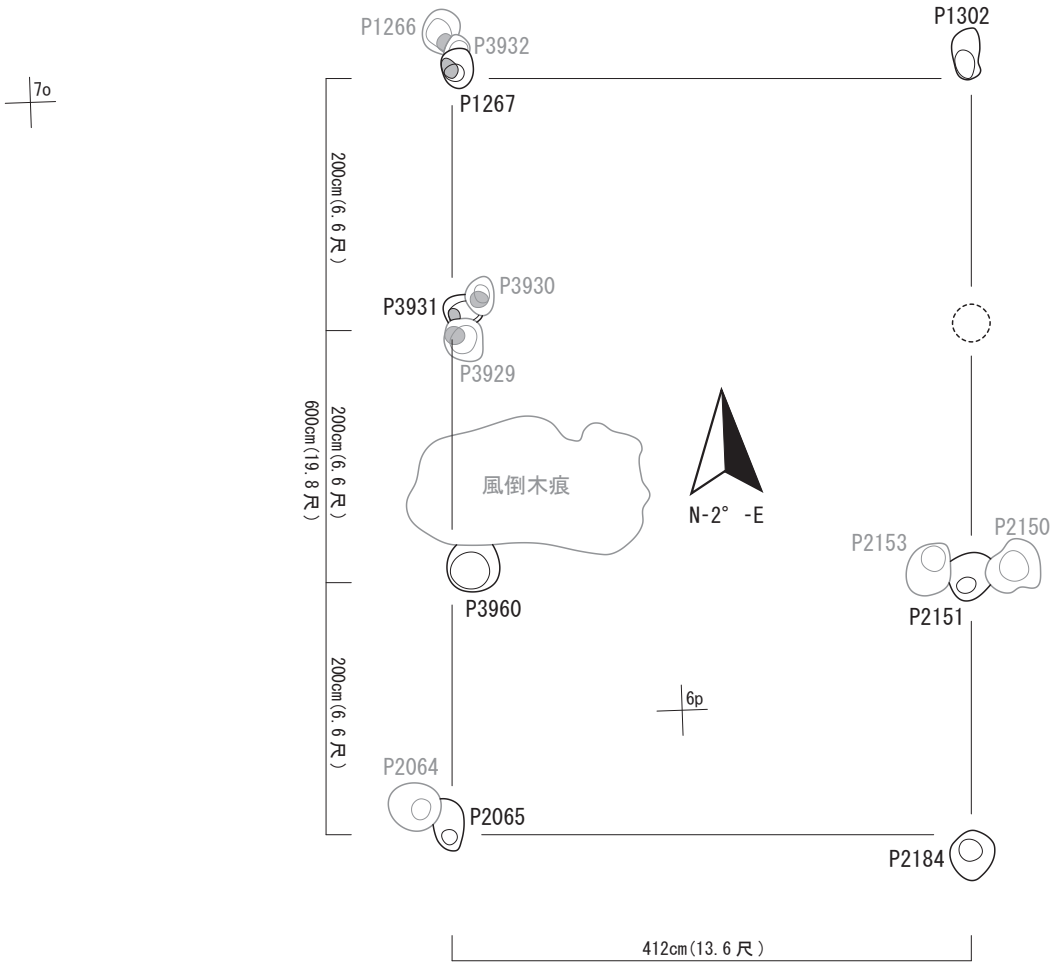


柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P1705	16.6	95.658
P1745	18.3	95.614
P1968	10.9	95.655
P2406	7.8	95.734
P2412	18.9	95.608
P2476	26.4	95.515
P2675	26.8	95.461
P2685	23.8	95.507
P2696	38.5	95.309
P2698	23.4	95.512
P2731	70.2	95.538
P2737	75.2	95.513

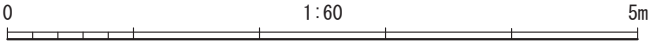


第115図　SB97

SB98 24.7㎡

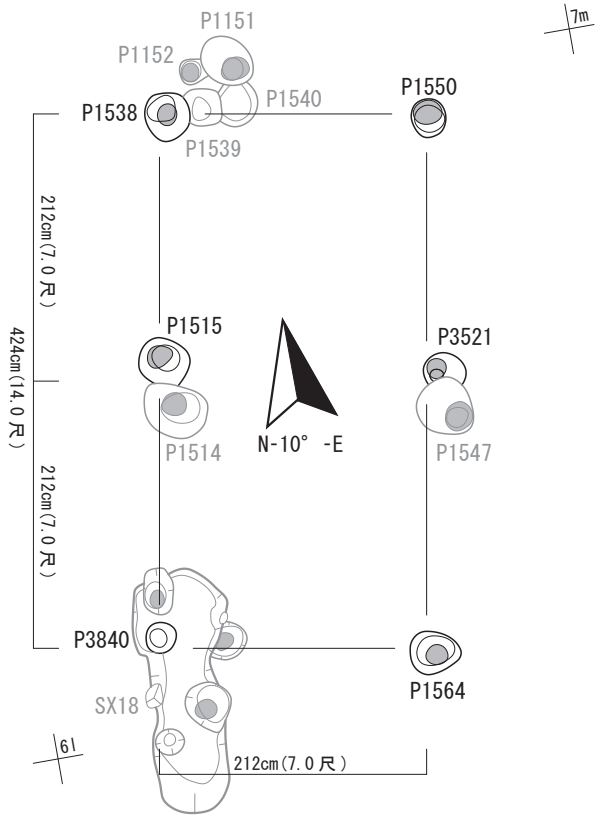


柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P1267	28.6	95.622
P1302	26.8	95.782
P2065	10.1	95.828
P2151	18.8	95.732
P2184	22.1	95.607
P3931	23.2	95.628
P3960	42.3	95.482

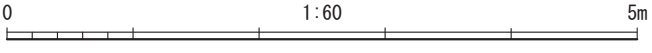


第116図　SB98

SB99 9.0㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1515	18.8	95.381
P1538	6.1	95.539
P1550	24.7	95.815
P1564	13.3	95.793
P3521	11.3	95.770
P3840	10.7	95.697



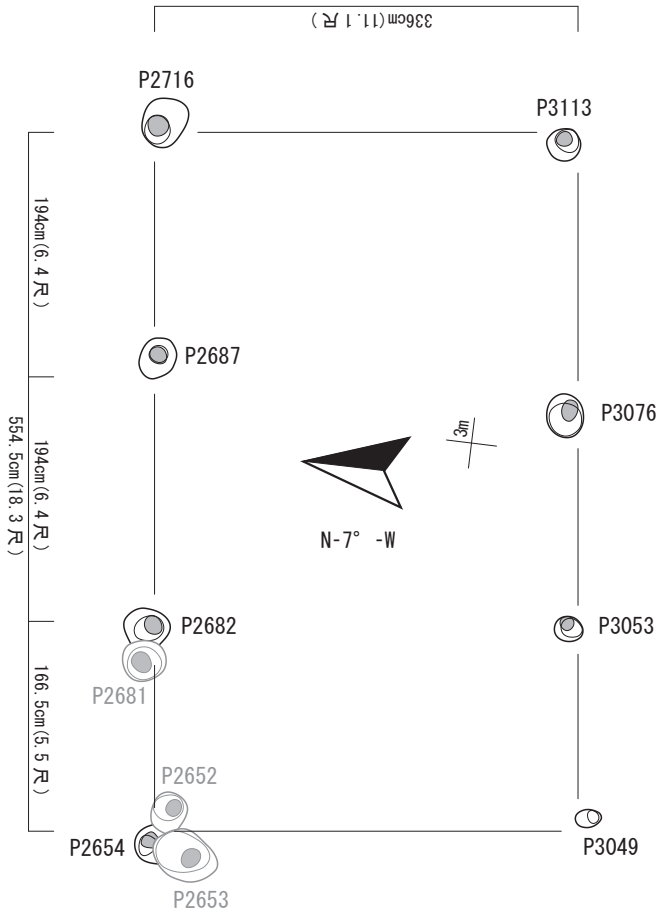
第 117 図　SB99

SB100（第 118 図　写真図版 72）	
位置　ⅠA2l、2m、3l、3m　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　554.5 cm（18 尺 3 寸）	**梁間**　336.0 cm（11 尺 1 寸）
面積　18.6㎡（5.6 坪）	**軸方向**　N-7°-W
柱間寸法　桁行では 194.0 cm（6 尺 4 寸）を多用している。梁間は 336.0 cm（11 尺 1 寸）で、その半分の 168.0 cm（5 尺 5 寸 5 分）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB23、SB43、SB168　**本建物と重複する遺構**：SB2、SB31、SB34、SB39、SB48、SB50、SB87、SB97、SB141、SB143、SB145、SB167、SX14	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋の可能性が高いと推測される。桁行の柱間寸法は 6 尺 4 寸が多用されており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

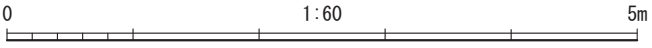
SB101（第 119 図　写真図版 73、74）	
位置　ⅠA13f、13g、13h、14f、14g、14h、15f、15g、15h、16f、16g、16h　区画外部	**使用した柱穴**　35 個
桁行　1515.0 cm（50 尺）	**梁間**　924.3 cm（30 尺 5 寸）
面積　130.8㎡（39.6 坪）	**軸方向**　N-3°-E
柱間寸法　桁行では 242.4 cm（8 尺）と 151.5 cm（5 尺）を使用している。身舎では 8 尺を使用しており、242.4 cm（8 尺）が基準寸法と判断される。梁間の身舎では 197 cm（6 尺 5 寸）を多用する。下屋（庇）では 136.3 cm（4 尺 5 寸）を使用している。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB111、SB117、SI3　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB104、SB106、SB110、SB112	
大型の建物で、主屋として機能した建物と推測する。梁間 591.0 cm（19 尺 5 寸）×桁行 1212.0 cm（40 尺）の身舎（上屋）の四面に下屋が付く構造と解釈する。上屋の東側桁行では柱筋が途中で 2 尺分喰い違っている。身舎を間数で表すと 3 間×5 間ということになる。本建物より古い竪穴建物 SI3 の床面出土炭化物の AMS 年代測定では「西暦 1436～1492 年」の年代が示されている。間取り、重複、切り合い関係などから、17 世紀後半以降（1680 年頃～）の近世民家の主屋と想定する。	
想定時期　12 期（1680 年頃～）の建物と想定する。	

SB102（第 120 図　写真図版 75）	
位置　ⅠA11e、11f、12e、12f　区画外部	**使用した柱穴**　11 個
桁行　身舎　769.5 cm（25.4 尺） 下屋（庇）799.9 cm（26.4 尺）	**梁間**　554.5 cm（18.3 尺）
面積　42.8㎡（13.0 坪）	**軸方向**　N-5°-E
柱間寸法　桁行では 266.6 cm（8 尺 8 寸）を多用している。梁間の身舎は 448.5 cm（14 尺 8 寸）であり、その半分の 224.25 cm（7 尺 4 寸）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB105、SB108、SX23	
中型の建物である。448.5 cm（14 尺 8 寸）×769.5 cm（25 尺 4 寸）の身舎西側に庇（下屋）が付く構造である。庇の北西端の柱穴 P166 位置によって、形状が不整になっているが、他に使用すべき柱穴が無く、示したプランを想定した。身舎の桁行の柱間寸法は 8 尺 8 寸を多用しており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。直接の出土遺物はない。	
想定時期　11 期（1523～1559 年頃）の建物と想定する。	

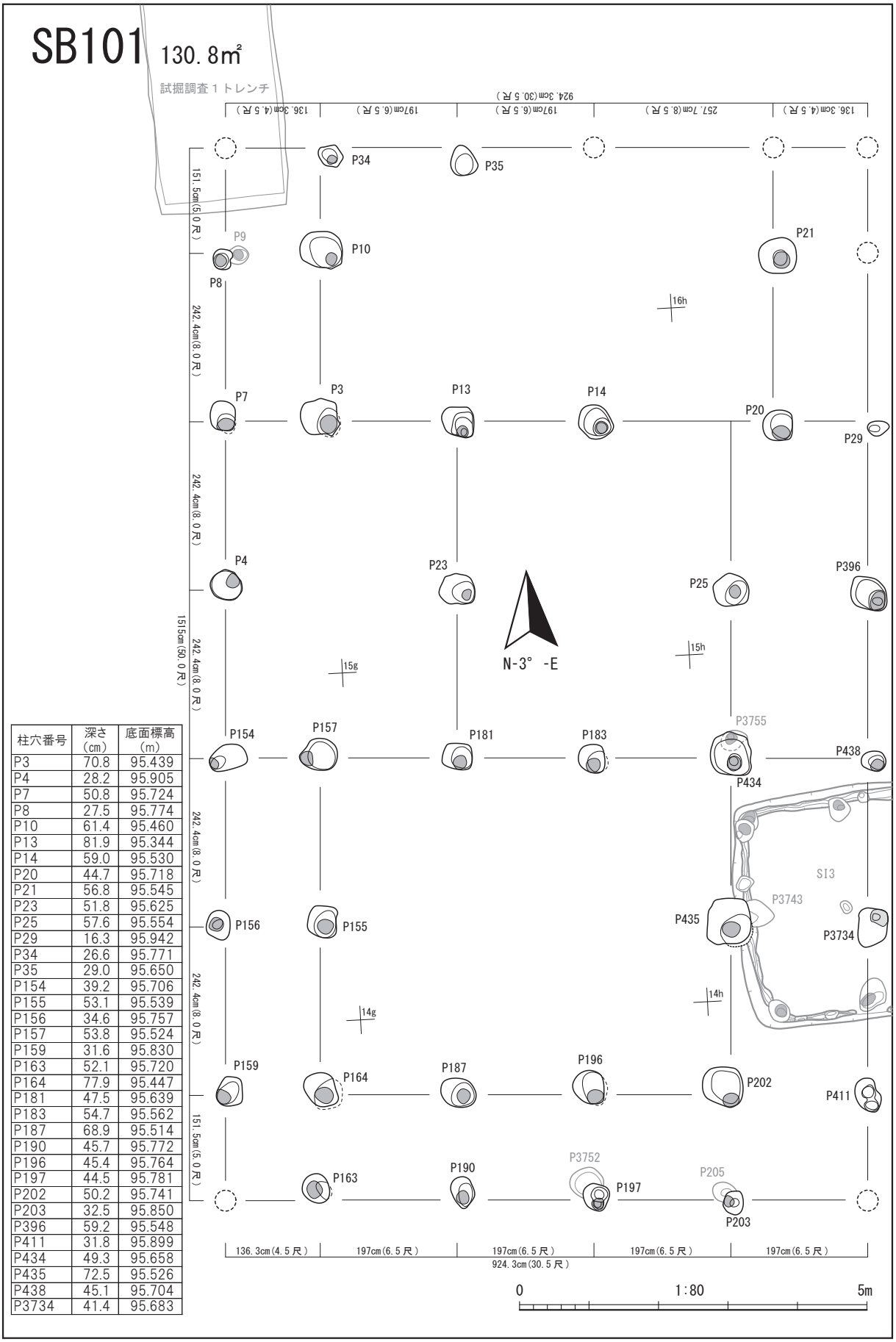
SB100 18.6㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2654	13.1	95.640
P2682	27.5	95.482
P2687	30.0	95.444
P2716	75.5	95.533
P3049	13.4	95.616
P3053	26.0	95.513
P3076	13.3	95.603
P3113	20.7	95.556

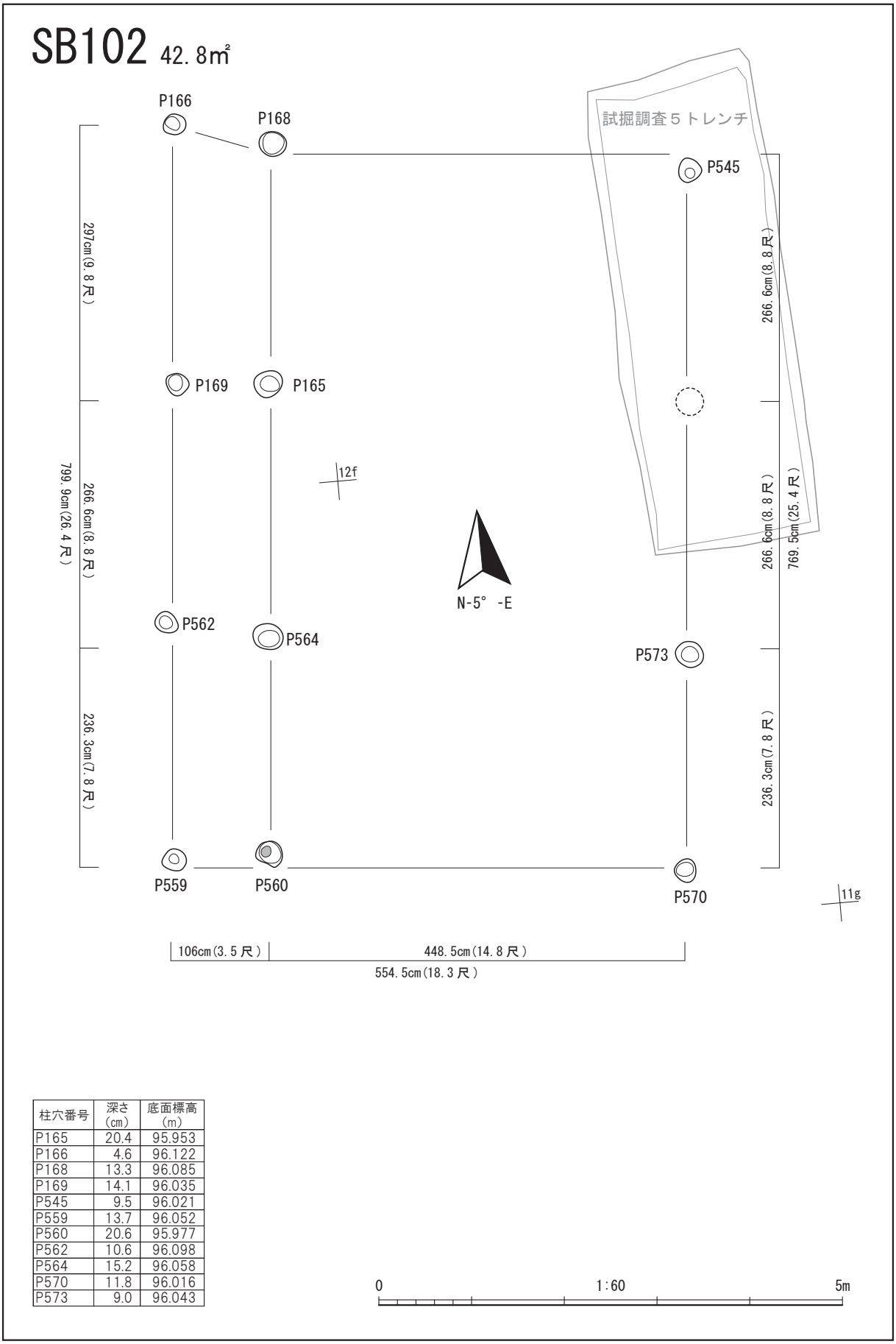


第 118 図　SB100



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P3	70.8	95.439
P4	28.2	95.905
P7	50.8	95.724
P8	27.5	95.774
P10	61.4	95.460
P13	81.9	95.344
P14	59.0	95.530
P20	44.7	95.718
P21	56.8	95.545
P23	51.8	95.625
P25	57.6	95.554
P29	16.3	95.942
P34	26.6	95.771
P35	29.0	95.650
P154	39.2	95.706
P155	53.1	95.539
P156	34.6	95.757
P157	53.8	95.524
P159	31.6	95.830
P163	52.1	95.720
P164	77.9	95.447
P181	47.5	95.639
P183	54.7	95.562
P187	68.9	95.514
P190	45.7	95.772
P196	45.4	95.764
P197	44.5	95.781
P202	50.2	95.741
P203	32.5	95.850
P396	59.2	95.548
P411	31.8	95.899
P434	49.3	95.658
P435	72.5	95.526
P438	45.1	95.704
P3734	41.4	95.683

第119図　SB101



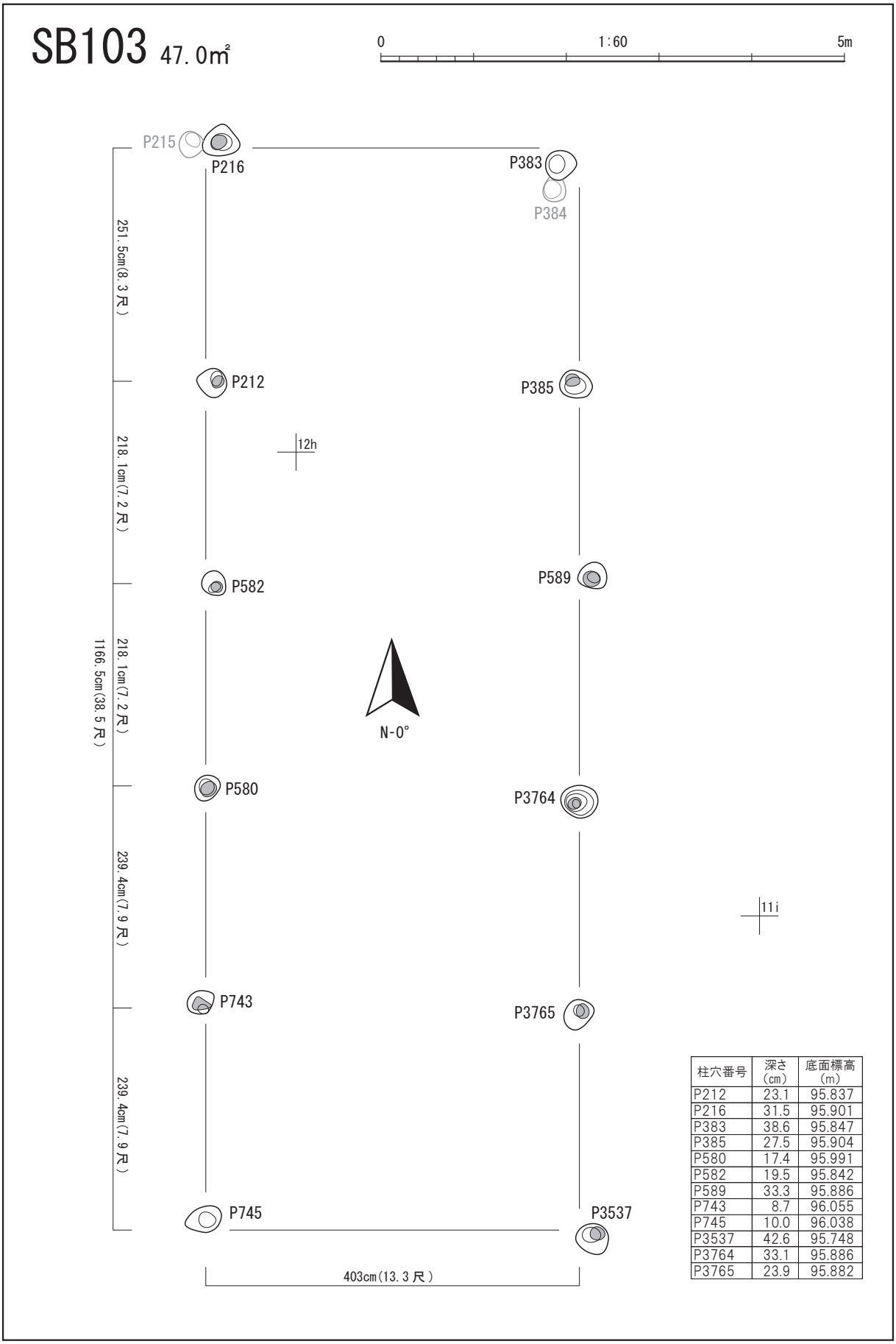
柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P165	20.4	95.953
P166	4.6	96.122
P168	13.3	96.085
P169	14.1	96.035
P545	9.5	96.021
P559	13.7	96.052
P560	20.6	95.977
P562	10.6	96.098
P564	15.2	96.058
P570	11.8	96.016
P573	9.0	96.043

第 120 図　SB102

SB103（第 121 図　写真図版 75）	
位置　ⅠA10g、10h、11g、11h、12g、12h　区画外部	**使用した柱穴**　12 個
桁行　1166.5 cm（38 尺 5 寸）	**梁間**　403.0 cm（13 尺 3 寸）
面積　47.0㎡（14.2 坪）	**軸方向**　N-0°
柱間寸法　桁行では 218.1 cm（7 尺 2 寸）と 239.4 cm（7 尺 9 寸）を多用している。梁間は 403.0 cm（13 尺 3 寸）で、その半分の 201.5 cm（6 尺 6 寸 5 分）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB117　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB107、SB113、SB114	
庇、下屋のない平面形で、中型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。桁行の柱間寸法は 7 尺 2 寸と 7 尺 9 寸を基準としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。SB107 と柱穴が重複するが、前後関係を把握できなかった。	
想定時期　9 期（1449～1485 年頃）の建物と想定する。	

SB104（第 122 図　写真図版 76）	
位置　ⅠA15g、15h、15i、16g、16h、16i　区画外部	**使用した柱穴**　7 個
桁行　748.5 cm（24 尺 7 寸）	**梁間**　382.0 cm（12 尺 6 寸）
面積　28.6㎡（8.7 坪）	**軸方向**　N-0°
柱間寸法　桁行では柱間それぞれの寸法が異なり、基準寸法を見出すことができない。梁間では 191.0 cm（6 尺 3 寸）を使用している。桁行でも 191.0 cm（6 尺 3 寸）の柱間が一箇所あり、本建物の基準寸法は 191.0 cm（6 尺 3 寸）の可能性が高い。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB101、SB111	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋の可能性が高いと推測される。桁行の柱間寸法は均一ではなく、基準寸法を見出し難い。P30 の存在により東西二室に分割される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　10 期（1486～1522 年頃）の建物と想定する。	

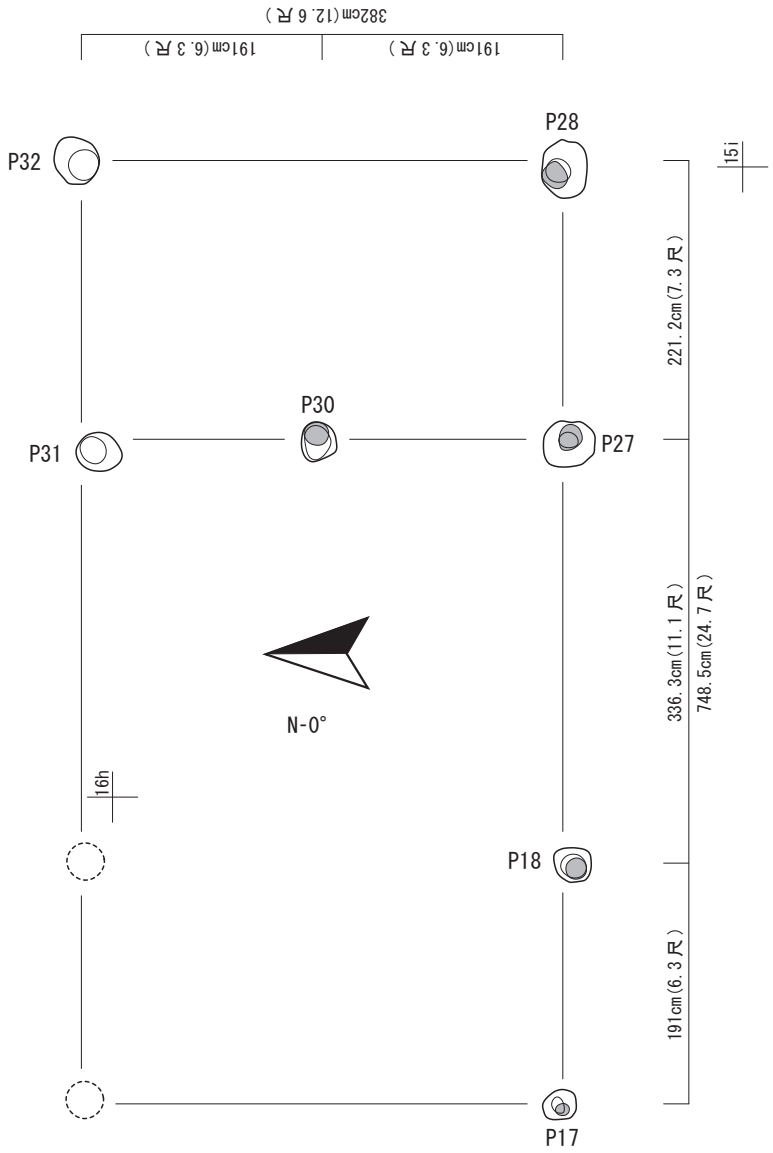
SB105（第 123 図　写真図版 76）	
位置　ⅠA10f、11e、11f、12e、12f　区画外部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　963.75 cm（31 尺 8 寸）	**梁間**　469.7 cm（15 尺 5 寸）
面積　45.3㎡（13.7 坪）	**軸方向**　N-7°-E
柱間寸法　桁行では 224.25 cm（7 尺 4 寸）を多用している。梁間は 469.7 cm（15 尺 5 寸）で、その半分の 234.85 cm（7 尺 7 寸 5 分）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB102、SB108　**本建物と接する遺構**：SB114、SX23	
庇、下屋のない平面形で、中型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。桁行の柱間寸法は 7 尺 4 寸を多用しており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　12 期（1680 年頃～）の建物と想定する。	



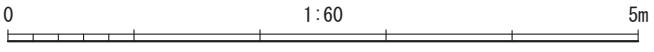
柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P212	23.1	95.837
P216	31.5	95.901
P383	38.6	95.847
P385	27.5	95.904
P580	17.4	95.991
P582	19.5	95.842
P589	33.3	95.886
P743	8.7	96.055
P745	10.0	96.038
P3537	42.6	95.748
P3764	33.1	95.886
P3765	23.9	95.882

第 121 図　SB103

SB104 28.6㎡

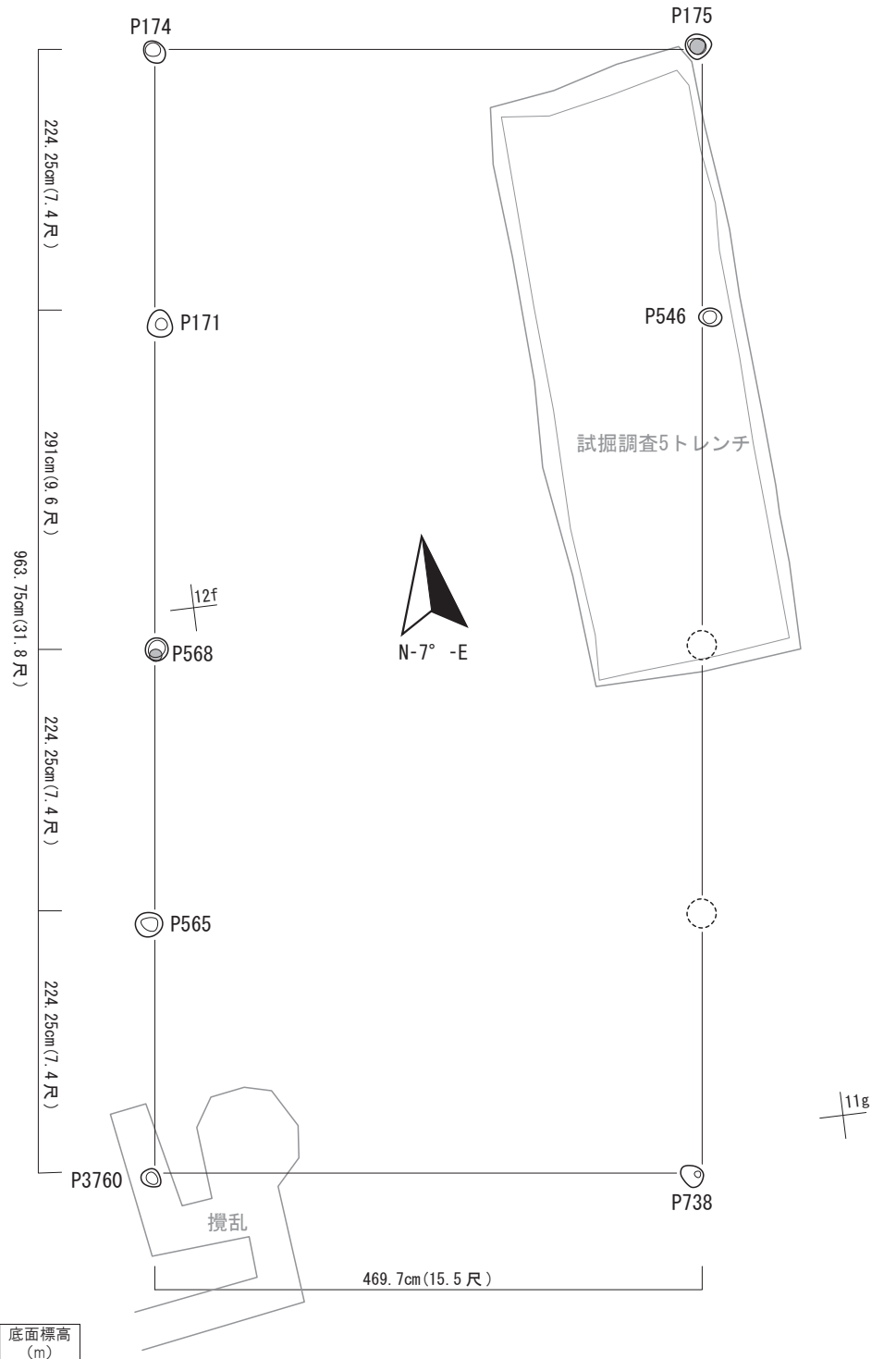


柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P17	19.5	95.952
P18	20.6	95.897
P27	35.7	95.797
P28	39.9	95.748
P30	20.1	95.965
P31	39.9	95.756
P32	35.5	95.745



第122図　SB104

SB105 45.3㎡



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P171	22.9	95.967
P174	10.5	96.062
P175	11.6	96.112
P546	6.6	95.995
P565	19.6	96.018
P568	17.6	96.009
P738	23.7	95.896
P3760	44.8	96.022

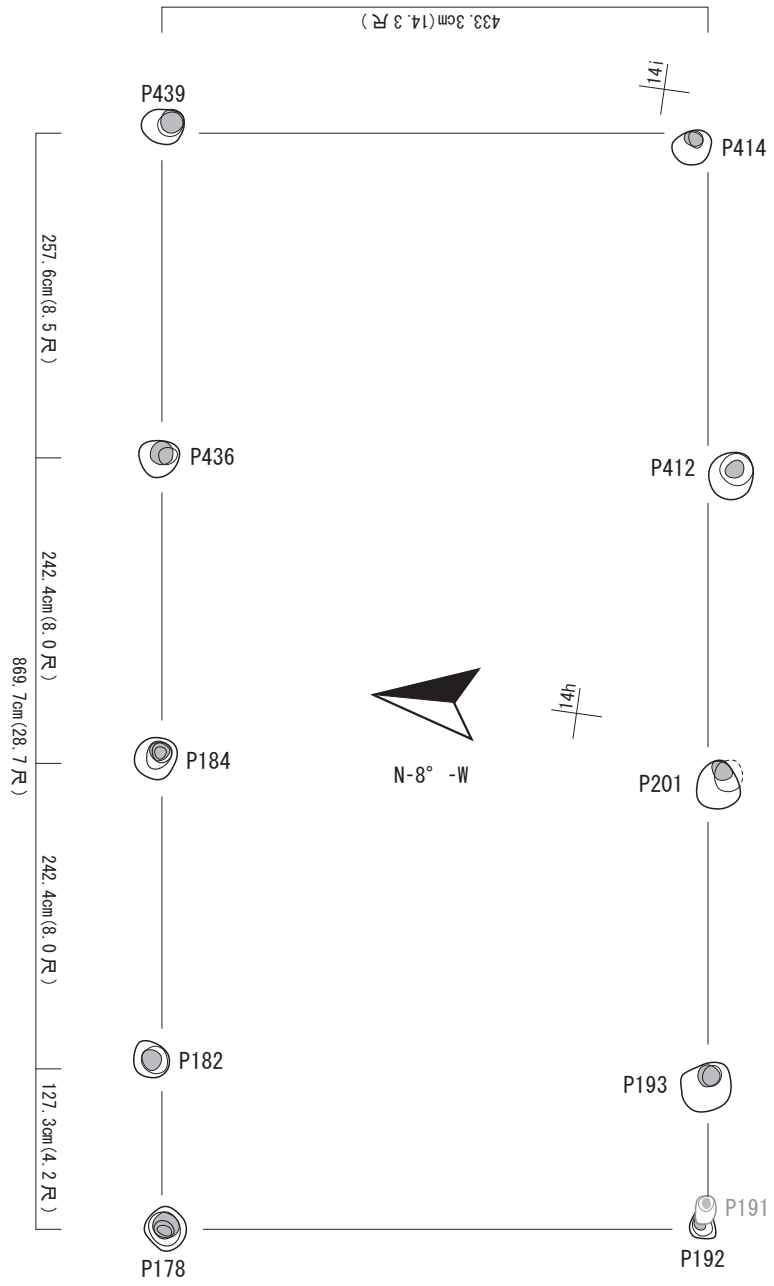
第123図　SB105

SB106（第 124 図　写真図版 77）	
位置　ⅠA13g、13h、14g、14h　区画外部	**使用した柱穴**　10 個
桁行　869.7 cm（28 尺 7 寸）	**梁間**　433.3 cm（14 尺 3 寸）
面積　37.7㎡（11.4 坪）	**軸方向**　N-8°-W
柱間寸法　桁行では 242.4 cm（8 尺）を多用している。梁間は 433.3 cm（14 尺 5 寸）で、その半分の 216.65 cm（7 尺 1 寸 5 分）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB101、SB111、SB112、SI3	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋の可能性が高いと推測される。桁行の柱間寸法は 8 尺が多用されており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　10 期（1486～1522 年頃）の建物と想定する。	

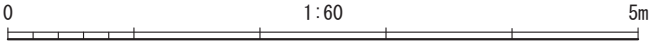
SB107（第 125 図　写真図版 77）	
位置　ⅠA10g、10h、11g、11h、12g、12h　区画外部	**使用した柱穴**　15 個
桁行　1148.3 cm（37 尺 9 寸）	**梁間**　715.0 cm（23 尺 6 寸）
面積　79.0㎡（23.9 坪）	**軸方向**　N-1°-E
柱間寸法　桁行では 254.5 cm（8 尺 4 寸）を多用している。梁間の身舎では 254.5 cm（8 尺 4 寸）を使用している。これを考え合わせ、本建物の基準寸法は 254.5 cm（8 尺 4 寸）と推測する。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB103　**本建物と重複する遺構**：SB113、SB114、SB117	
やや大型の建物である。建物の規模から屋敷の主屋とも解釈できる大きさである。509.0 cm（16 尺 8 寸）×999.8 cm（33 尺）の身舎に三面庇の構造と解釈される。北東隅、南東隅で庇の柱穴が存在せず、庇の隅に柱穴が無い形態と捉えられる。庇の出は東西辺で 103.0 cm（3 尺 4 寸）、北辺で 148.5 cm（4 尺 9 寸）である。直接の出土遺物はない。	
想定時期　10 期（1486～1522 年頃）の建物と想定する。	

SB108（第 126 図　写真図版 78）	
位置　ⅠA11e、11f、12e、12f、12g、13e、13f、13g 区画外部	**使用した柱穴**　20 個
桁行　978.7 cm（32 尺 3 寸）	**梁間**　554.5 cm（18 尺 3 寸）
面積　54.3㎡（16.4 坪）	**軸方向**　N-8°-E
柱間寸法　桁行では 242.4 cm（8 尺）を多用している。桁行の南北両端の柱間では 121.2 cm（4 尺）の寸法が用いられるが、これは 8 尺のちょうど半分である。梁間の身舎では 212.1 cm（7 尺）を使用している。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB102、SB105、SX23	
中型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。424.2 cm（14 尺）×857.5 cm（28 尺 3 寸）の身舎に北面、西面の二面庇の構造と解釈される。庇の北西隅に P3758 が存在し、庇の隅に柱穴がある形態と捉えられる。庇の出は西面で 130.3 cm（4 尺 3 寸）、北面で 121.2 cm（4 尺）である。桁行の柱間寸法は 8 尺を多用し、梁間身舎では 7 尺を使用しており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　8 期（1412～1448 年頃）の建物と想定する。	

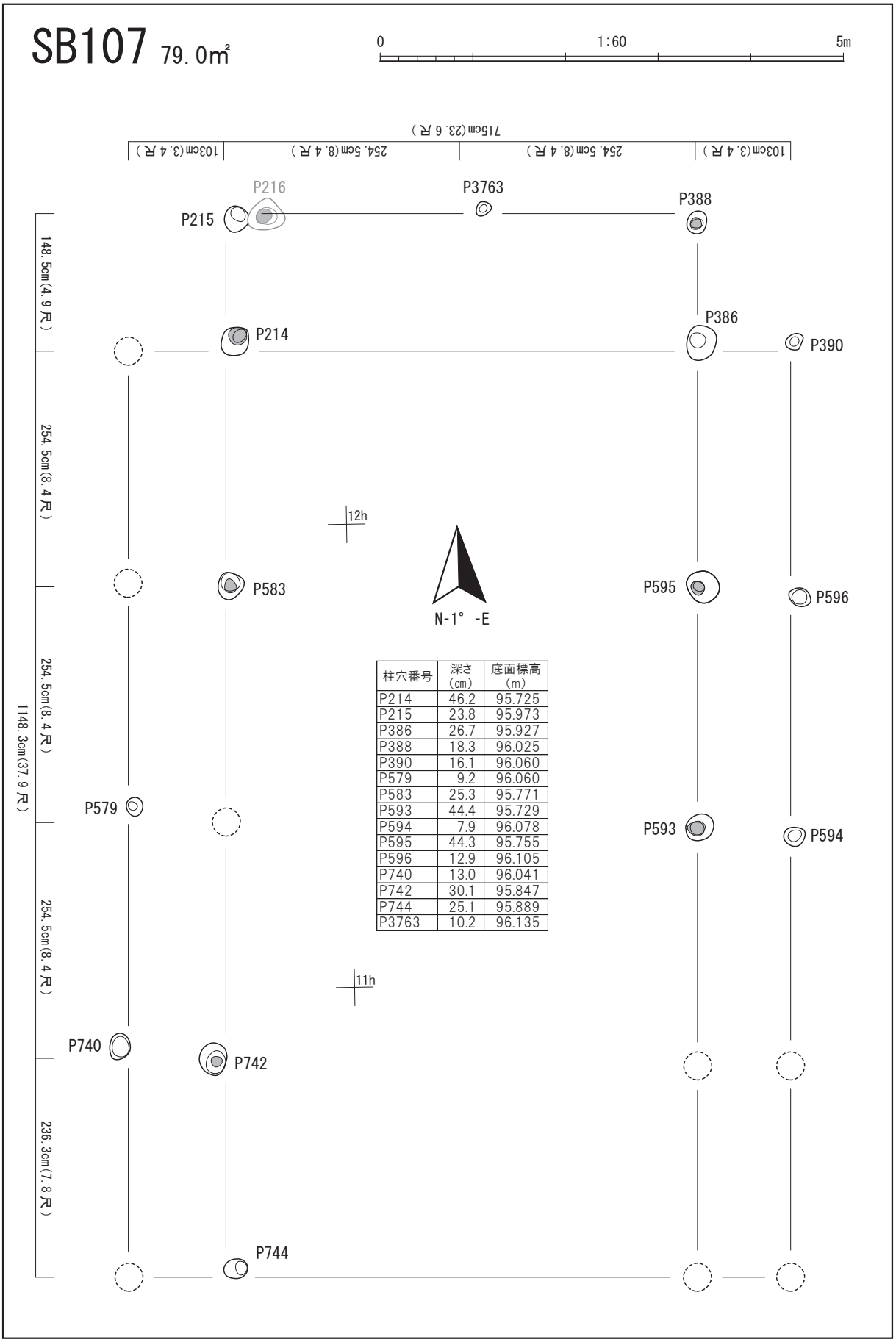
SB106 37.7㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P178	31.7	95.759
P182	34.7	95.825
P184	57.9	95.526
P192	39.2	95.821
P193	53.4	95.675
P201	43.6	95.769
P412	44.5	95.781
P414	51.2	95.617
P436	41.3	95.720
P439	52.7	95.628



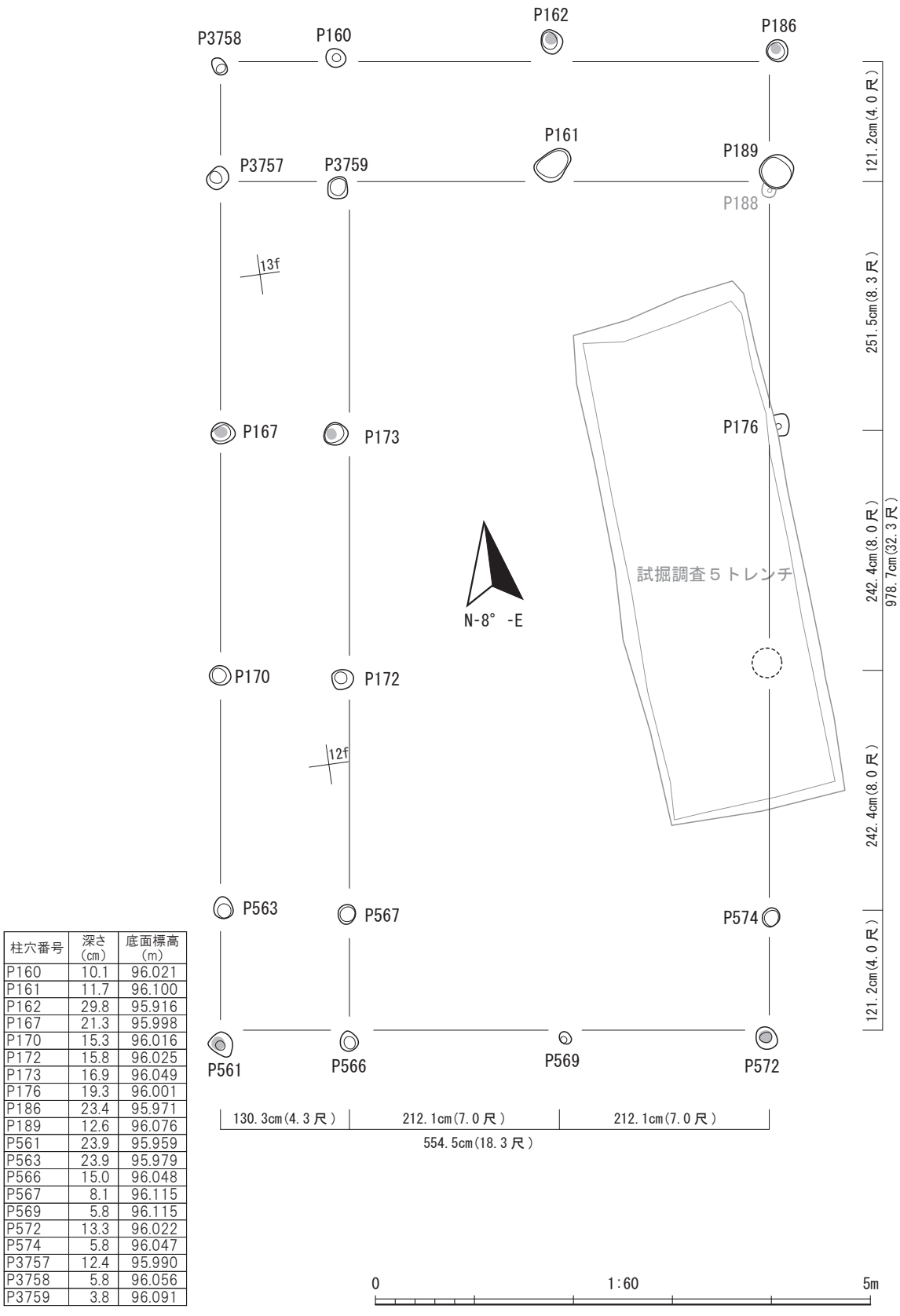
第 124 図　SB106



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P214	46.2	95.725
P215	23.8	95.973
P386	26.7	95.927
P388	18.3	96.025
P390	16.1	96.060
P579	9.2	96.060
P583	25.3	95.771
P593	44.4	95.729
P594	7.9	96.078
P595	44.3	95.755
P596	12.9	96.105
P740	13.0	96.041
P742	30.1	95.847
P744	25.1	95.889
P3763	10.2	96.135

第125図　SB107

SB108 54.3㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P160	10.1	96.021
P161	11.7	96.100
P162	29.8	95.916
P167	21.3	95.998
P170	15.3	96.016
P172	15.8	96.025
P173	16.9	96.049
P176	19.3	96.001
P186	23.4	95.971
P189	12.6	96.076
P561	23.9	95.959
P563	23.9	95.979
P566	15.0	96.048
P567	8.1	96.115
P569	5.8	96.115
P572	13.3	96.022
P574	5.8	96.047
P3757	12.4	95.990
P3758	5.8	96.056
P3759	3.8	96.091

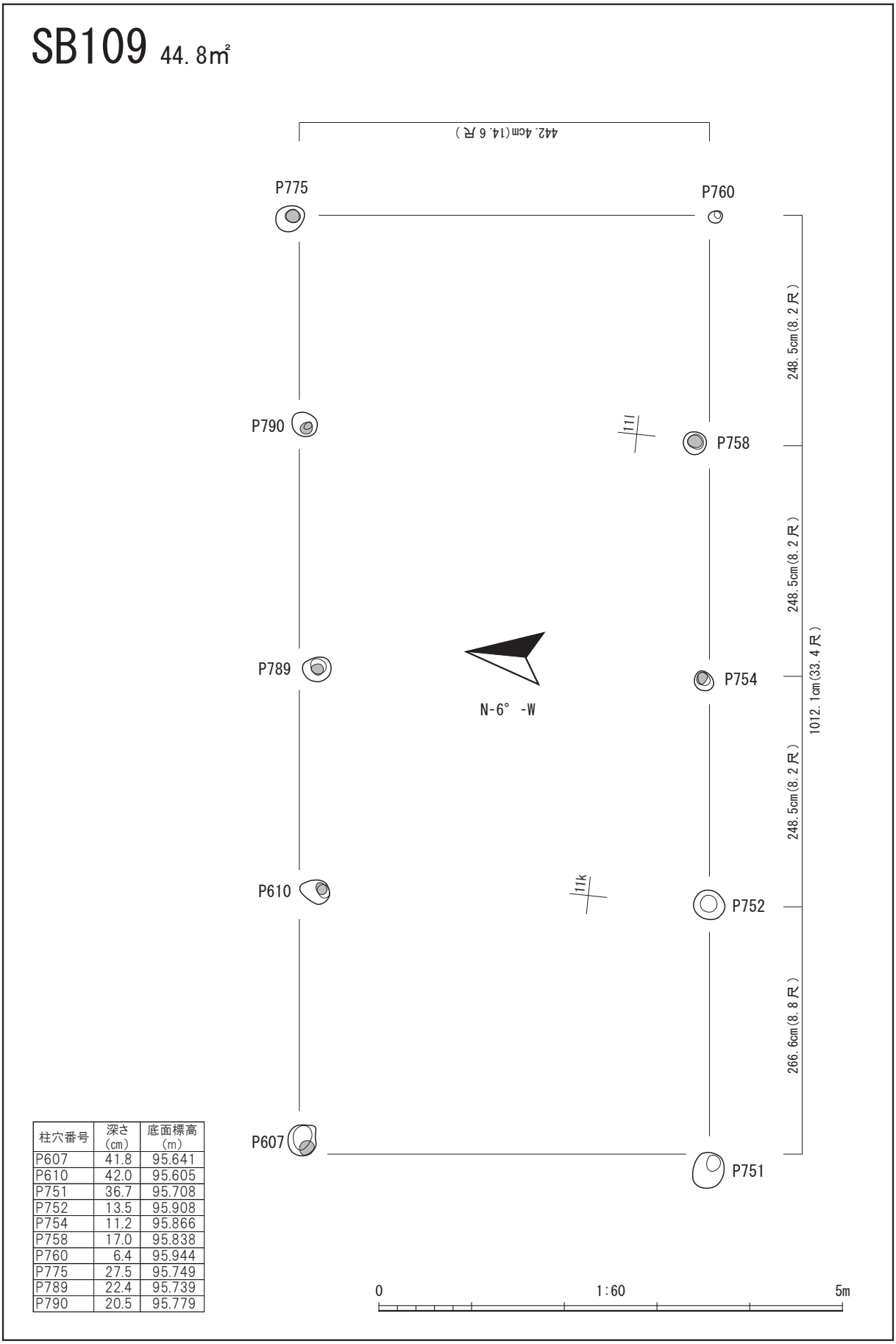
第126図　SB108

SB109（第 127 図　写真図版 78）	
位置　ⅠA10j、10k、10l、11j、11k、11l　区画外部	**使用した柱穴**　10 個
桁行　1012.1 cm（33 尺 4 寸）	**梁間**　442.4 cm（14 尺 6 寸）
面積　44.8㎡（13.6 坪）	**軸方向**　N-6°-W
柱間寸法　桁行では 248.5 cm（8 尺 2 寸）を多用している。梁間は 442.4（14.6 尺）であり、その半分の 221.2 cm（7 尺 4 寸）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB123	
庇、下屋のない平面形で、中型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。桁行の柱間寸法は 8 尺 2 寸を多用しており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　12 期（1680 年頃～）の建物と想定する。	

SB110（第 128 図　写真図版 79）	
位置　ⅠA12g、12h、13g、13h　区画外部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　545.5 cm（18 尺）	**梁間**　318.2 cm（10 尺 5 寸）
面積　17.4㎡（5.3 坪）	**軸方向**　N-5°-E
柱間寸法　桁行では柱間それぞれの寸法が異なり、基準寸法を見出すことができない。梁間は総長が 318.2 cm（10 尺 5 寸）で、その半分の 159.1 cm（5 尺 2 寸 5 分）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB101、SB111、SB117	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋の可能性が高いと推測される。桁行の柱間寸法は均一ではなく、基準寸法を見出し難いが、桁行、梁間の長さが 5 寸の倍数であり、全体形のプランの設計はあったと推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　8 期（1412～1448 年頃）の建物と想定する。	

SB111（第 129 図　写真図版 79、80）	
位置　ⅠA13g、13h、14g、14h、15g、15h、16g、16h　区画外部	**使用した柱穴**　15 個
桁行　1387.5 cm（45 尺 8 寸）	**梁間**　509.0 cm（16 尺 8 寸）
面積　70.6㎡（21.4 坪）	**軸方向**　N-1°-E
柱間寸法　桁行では 218.0 cm（7 尺 2 寸）と 230.25 cm（7 尺 6 寸）を多用している。273.0 cm（9 尺）の柱間が一箇所あるが、これは 7 尺 2 寸のちょうど 5/4 の寸法であり、7 尺 2 寸に準拠した寸法と理解される。梁間では 254.5（8 尺 4 寸）を使用している。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB101　**本建物と重複する遺構**：SB104、SB106、SB110、SI3	
中型～やや大型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。509.0 cm（16 尺 8 寸）×1387.5 cm（45 尺 8 寸）と長大なプランを呈するが、庇（下屋）は検出されていない。庇が存在すれば、十分に主屋としての規模を有するものである。庇の柱穴が浅く検出されなかった可能性も想定される。桁行の柱間寸法は 7 尺 6 寸と 7 尺 2 寸に基づいた寸法が多用され、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　11 期（1523～1559 年頃）の建物と想定する。	

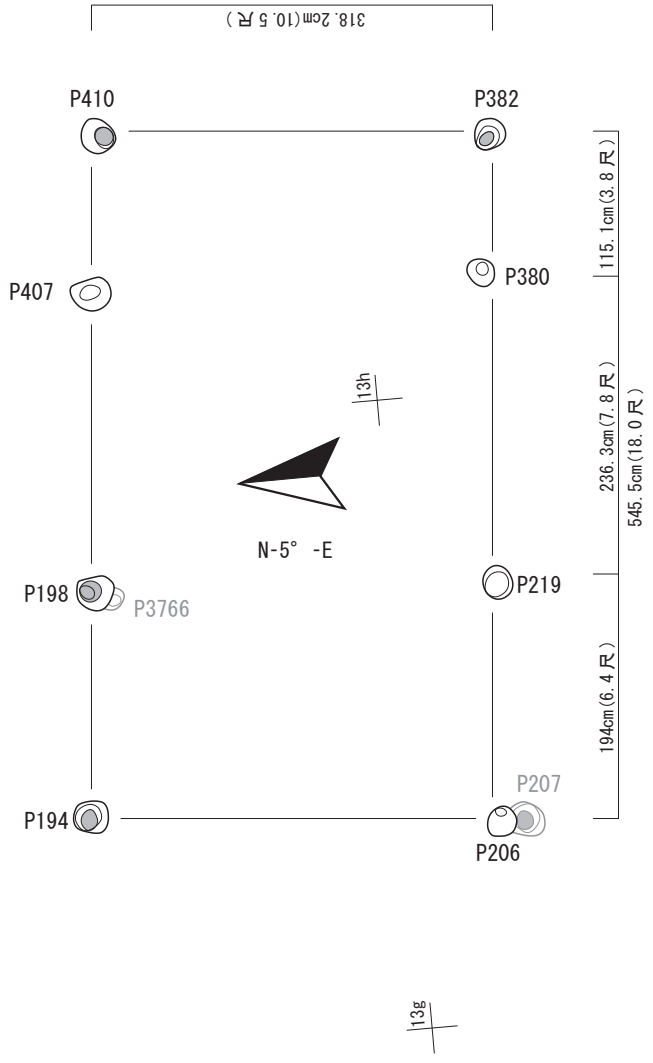
SB109 44.8㎡



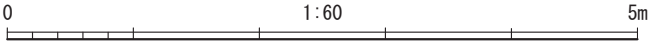
柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P607	41.8	95.641
P610	42.0	95.605
P751	36.7	95.708
P752	13.5	95.908
P754	11.2	95.866
P758	17.0	95.838
P760	6.4	95.944
P775	27.5	95.749
P789	22.4	95.739
P790	20.5	95.779

第127図　SB109

SB110 17.4㎡

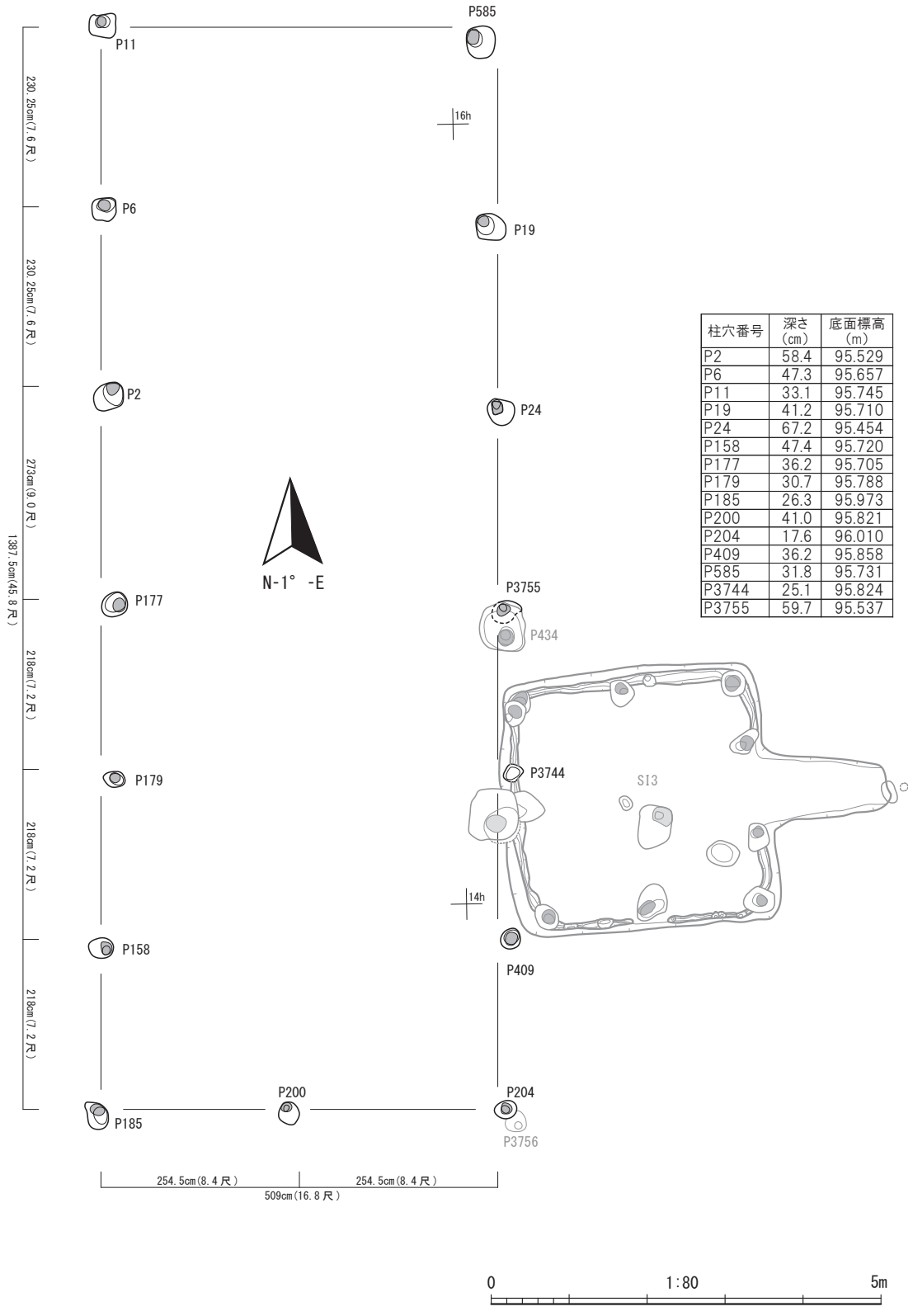


柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P194	13.6	96.069
P198	20.1	95.980
P206	17.2	96.041
P219	19.9	96.049
P380	22.1	95.981
P382	25.1	95.977
P407	18.1	96.022
P410	43.9	95.727



第128図　SB110

SB111 70.6㎡



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P2	58.4	95.529
P6	47.3	95.657
P11	33.1	95.745
P19	41.2	95.710
P24	67.2	95.454
P158	47.4	95.720
P177	36.2	95.705
P179	30.7	95.788
P185	26.3	95.973
P200	41.0	95.821
P204	17.6	96.010
P409	36.2	95.858
P585	31.8	95.731
P3744	25.1	95.824
P3755	59.7	95.537

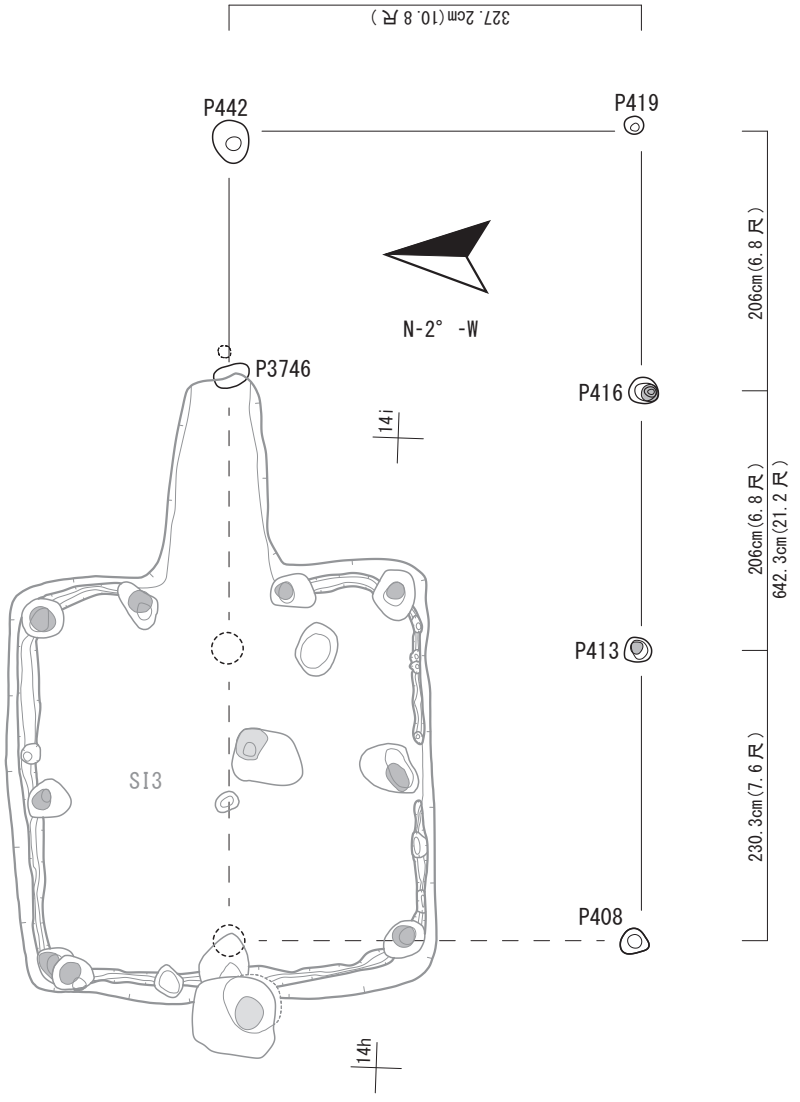
第129図　SB111

SB112（第 130 図　写真図版 80）	
位置　ⅠA13h、13i、14h、14i　区画外部	**使用した柱穴**　6 個
桁行　642.3 cm（21 尺 2 寸）	**梁間**　327.2 cm（10 尺 8 寸）
面積　21.0㎡（6.4 坪）	**軸方向**　N-2°-W
柱間寸法　桁行では 206.0 cm（6 尺 8 寸）を多用している。梁間は 327.2 cm（10 尺 8 寸）であり、その半分の 163.6 cm（5 尺 4 寸）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SI3　**本建物と重複する遺構**：SB101、SB106	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋の可能性が高いと推測される。桁行の柱間寸法は 6 尺 8 寸が多用されており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。竪穴建物 SI3 より古い建物である。	
想定時期　8 期（1412～1448 年頃）の建物と想定する。	

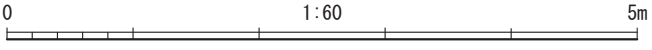
SB113（第 131 図　写真図版 81）	
位置　ⅠA11h、11i、11j　区画外部	**使用した柱穴**　10 個
桁行　北辺 751.4 cm（24 尺 8 寸）	**梁間**　351.5 cm（11 尺 6 寸）
面積　27.0㎡（8.2 坪）	**軸方向**　N-5°-E
柱間寸法　桁行では 212.1 cm（7 尺）を多用している。梁間は西辺で総長 351.5 cm（11 尺 6 寸）であり、その半分の 175.75 cm（5 尺 8 寸）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB103、SB107	
南辺の柱筋が真っ直ぐに通らず、不整な形状になっている。これは南東隅の柱穴 P3767 の位置に起因している。P3767 の他に用いることの可能な柱穴が見い出せず、不整なプランを提示している。構造的には 351.5 cm（11 尺 6 寸）×636.3 cm（21 尺）の身舎の東面に一面庇と解釈される。小型の建物で附属屋の可能性が高いと推測される。身舎桁行の柱間寸法は 7 尺と均一であり、身舎部分はきちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　11 期（1523～1559 年頃）の建物と想定する。	

SB114（第 132 図　写真図版 81）	
位置　ⅠA11f、11g、12f、12g　区画外部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　684.7 cm（22 尺 6 寸）	**梁間**　369.7 cm（12 尺 2 寸）
面積　25.0㎡（7.6 坪）	**軸方向**　桁行　N-15°-E 梁間　N-8°-E（90° 傾）
柱間寸法　桁行では 206.0 cm（6 尺 8 寸）を多用している。梁間は総長が 369.7 cm（12.2 尺）であり、その半分の 184.85 cm（6 尺 1 寸）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB103、SB107　**本建物と接する遺構**：SB105	
桁行の軸方向と梁間の軸方向が異なり、平行四辺形の平面形を呈する。庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋の可能性が高いと推測される。桁行の柱間寸法は東西辺ともに 6 尺 8 寸が多用され、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。平行四辺形になったのは施工の手際によるものであろう。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB112 推定21.0㎡

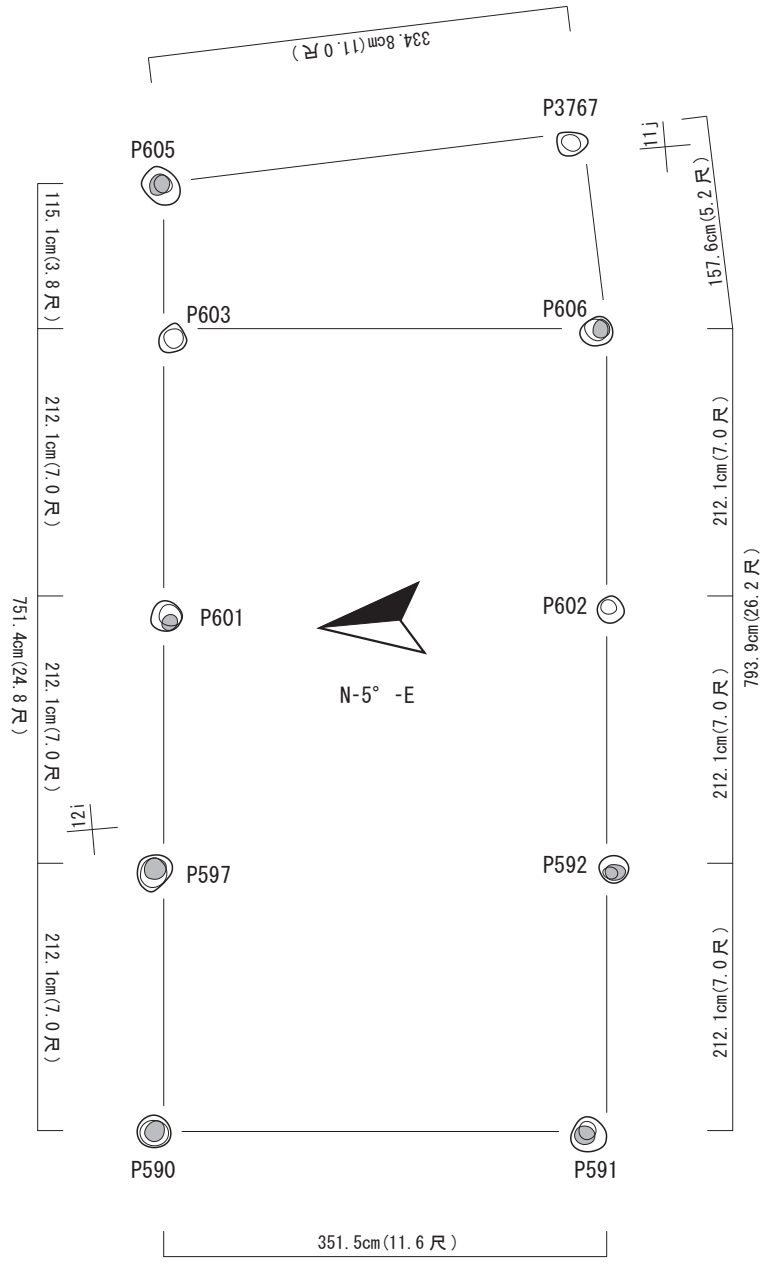


柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P408	12.8	96.076
P413	20.8	95.928
P416	12.6	96.038
P419	7.6	96.098
P442	19.0	95.982
P3746	40.8	95.787

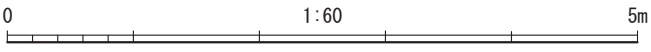


第130図　SB112

SB113 27.0㎡

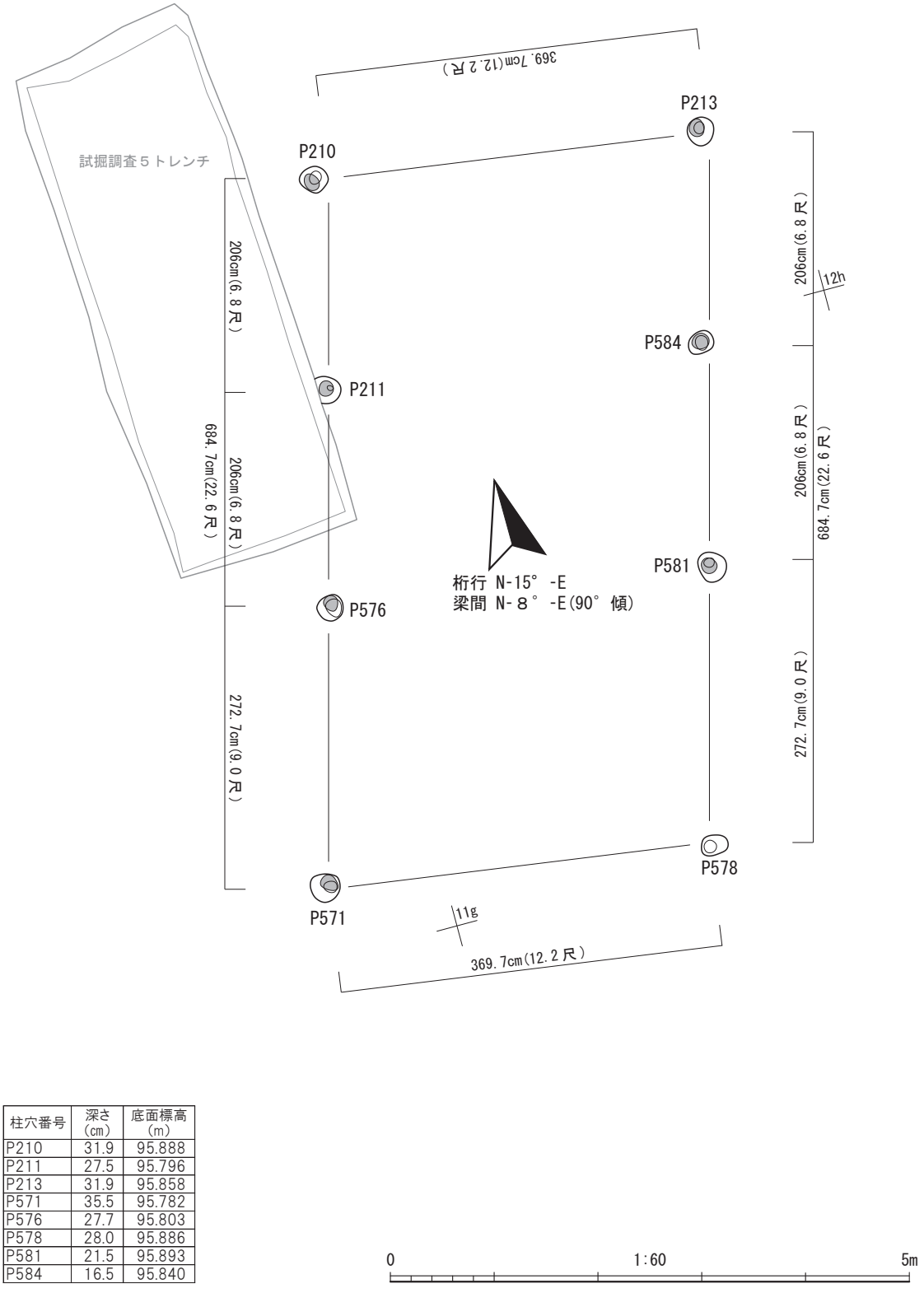


柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P590	23.5	95.942
P591	31.5	95.854
P592	25.5	95.896
P597	25.8	95.929
P601	29.2	95.869
P602	11.0	96.036
P603	22.7	95.915
P605	26.2	95.840
P606	22.2	95.928
P3767	10.5	96.039



第131図　SB113

SB114 25.0㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P210	31.9	95.888
P211	27.5	95.796
P213	31.9	95.858
P571	35.5	95.782
P576	27.7	95.803
P578	28.0	95.886
P581	21.5	95.893
P584	16.5	95.840

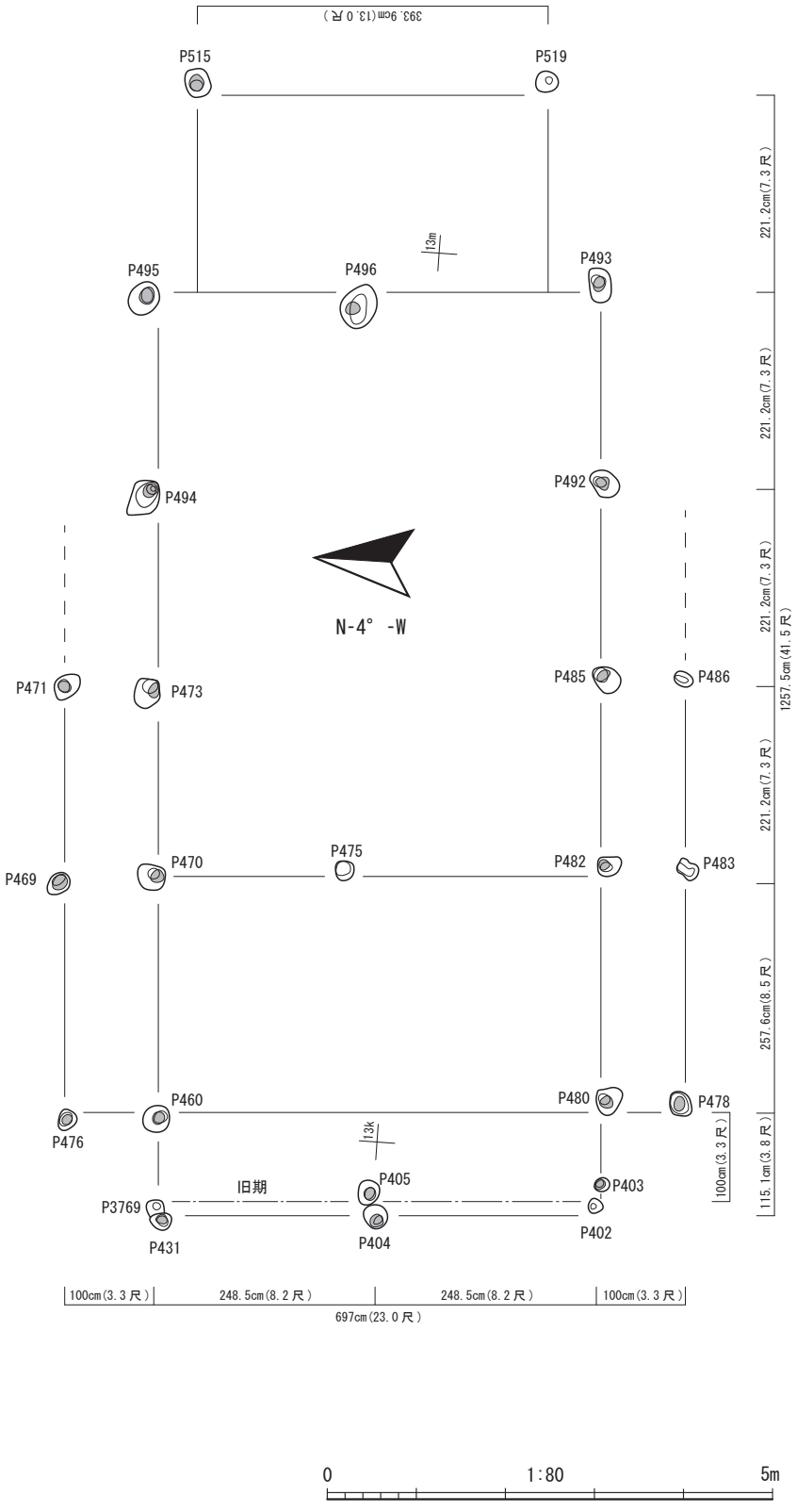
第 132 図　SB114

SB115（第 133 図　写真図版 82）	
位置　ⅠA12j、12k、12l、12m、13j、13k、13l、13m　区画外部	**使用した柱穴**　26 個
桁行　1257.5 cm（41 尺 5 寸）	**梁間**　697.0 cm（23 尺）
面積　69.8㎡（21.5 坪）	**軸方向**　N-4°-W
柱間寸法　桁行では 221.2 cm（7 尺 3 寸）を多用している。梁間の身舎は 248.5 cm（8 尺 2 寸）を使用している。下屋（庇）の柱間寸法は 100.0 cm（3 尺 3 寸）を使用しているが、何らかの理由で西辺では 115.1 cm（3 尺 8 寸）に造り替えている。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB120、SK52、SX1	
中型の建物である。棟方向の東側に 1 間分の突出を付け足した形態である。本体部分は 497.0 cm（16 尺 4 寸）×921.2 cm（30 尺 4 寸）の身舎に三面庇の構造と解釈される。北西隅、南西隅に柱穴がなく、庇の端に柱穴がない形態である。南北面の庇の出は 100.0 cm（3 尺 3 寸）、西面の庇の出は当初 100.0 cm（3 尺 3 寸）だったものを、何らかの理由で 115.1 cm（3 尺 8 寸）に造り替えている。また、身舎部分は P475 の存在により二室に分かれると推測した。桁行の柱間寸法は東側の突出部分を含めても 7 尺 3 寸が多用されており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　9 期（1449～1485 年頃）の建物と想定する。	

SB116（第 134 図　写真図版 82）	
位置　ⅠA13j、13k、14j、14k　区画外部	**使用した柱穴**　11 個
桁行　872.4 cm（28 尺 8 寸）	**梁間**　436.2 cm（14 尺 4 寸）
面積　38.1㎡（11.5 坪）	**軸方向**　N-0°
柱間寸法　桁行では 218.1 cm（7 尺 2 寸）を使用している。梁間では 218.1 cm（7 尺 2 寸）を使用している。よって本建物の基準寸法は 218.1 cm（7 尺 2 寸）と判断される。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB118、SB125、SB127	
庇、下屋のない平面形で、やや小型の中型に近い規模の建物である。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。柱間寸法は桁行、梁間ともに 7 尺 2 寸が基準で整然としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　11 期（1523～1559 年頃）の建物と想定する。	

SB117（第 135 図　写真図版 83）	
位置　ⅠA12h、12i、13g、13h、13i　区画外部	**使用した柱穴**　7 個
桁行　南辺 872.6 cm（28 尺 8 寸） 北辺 893.8 cm（29 尺 5 寸）	**梁間**　西辺 445.4 cm（14 尺 7 寸） 東辺 409.0 cm（13 尺 5 寸）
面積　37.9㎡（11.5 坪）	**軸方向**　N-1°-W（東辺の傾き）
柱間寸法　桁行では 263.6 cm（8 尺 7 寸）を多用している。西辺の梁間は総長 445.4 cm（14 尺 7 寸）でその半分の 222.7 cm（7 尺 3 寸 5 分）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB101、SB103　**本建物と重複する遺構**：SB107、SB110	
各辺の角度が異なり、不整ではあるが、図示した形状の建物を想定した。庇、下屋のない平面形で、やや小型の中型に近い規模の建物である。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない、形状が不整で、臨時的な建物の可能性も高い。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

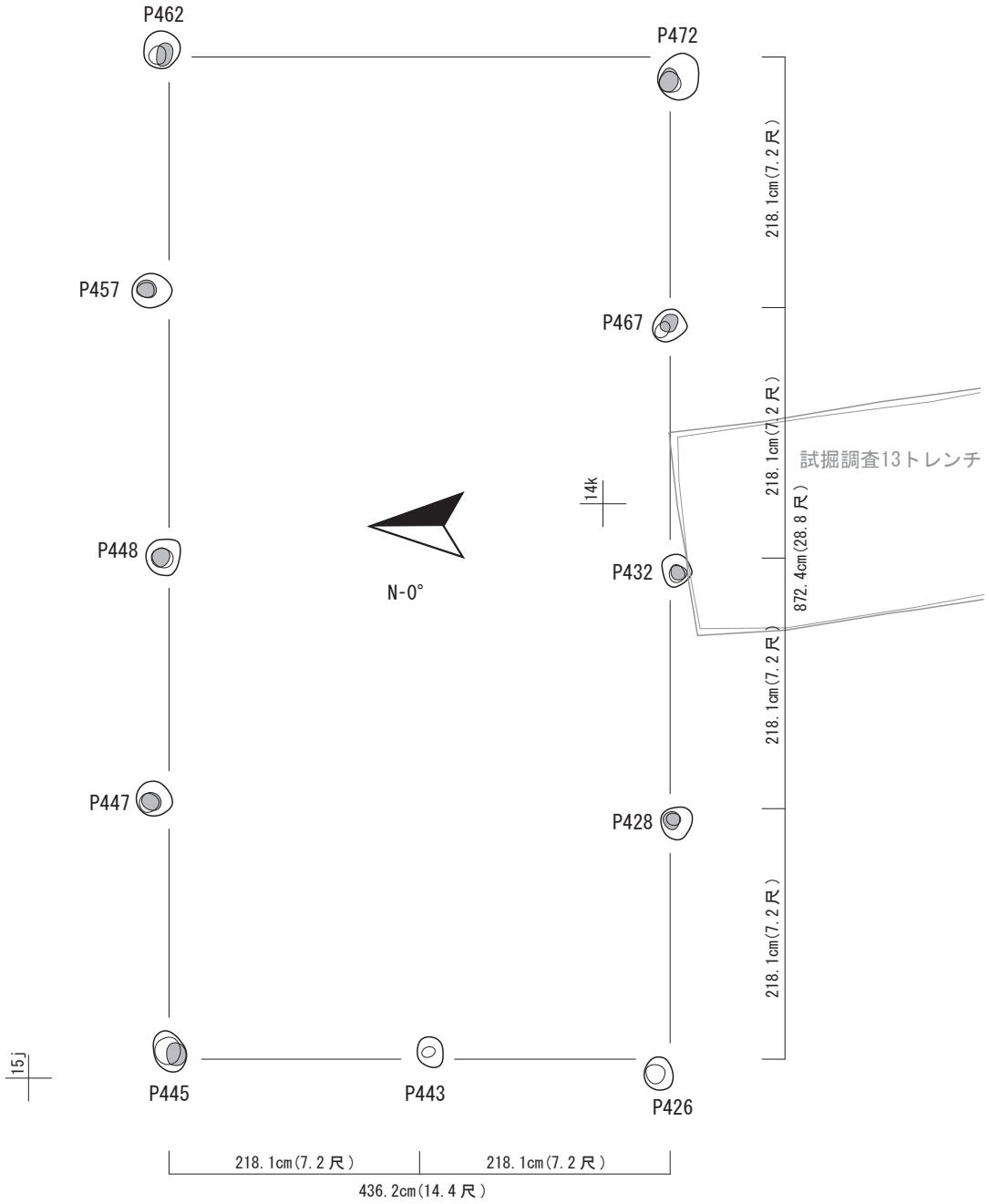
SB115 69.8㎡



柱穴番号	深さ（cm）	底面標高（m）
P402	24.2	95.795
P403	12.1	95.894
P404	35.6	95.705
P405	15.8	95.781
P431	19.8	95.867
P460	34.5	95.663
P469	39.3	95.735
P470	40.5	95.702
P471	24.8	95.845
P473	38.0	95.712
P475	34.4	95.722
P476	17.5	95.832
P478	17.0	95.855
P480	57.0	95.452
P482	35.3	95.648
P483	8.4	95.915
P485	40.8	95.584
P486	10.5	95.808
P492	35.8	95.579
P493	36.2	95.557
P494	43.3	95.648
P495	47.8	95.592
P496	27.1	95.770
P515	25.4	95.757
P519	39.8	95.558
P3769	17.5	95.875

第133図　SB115

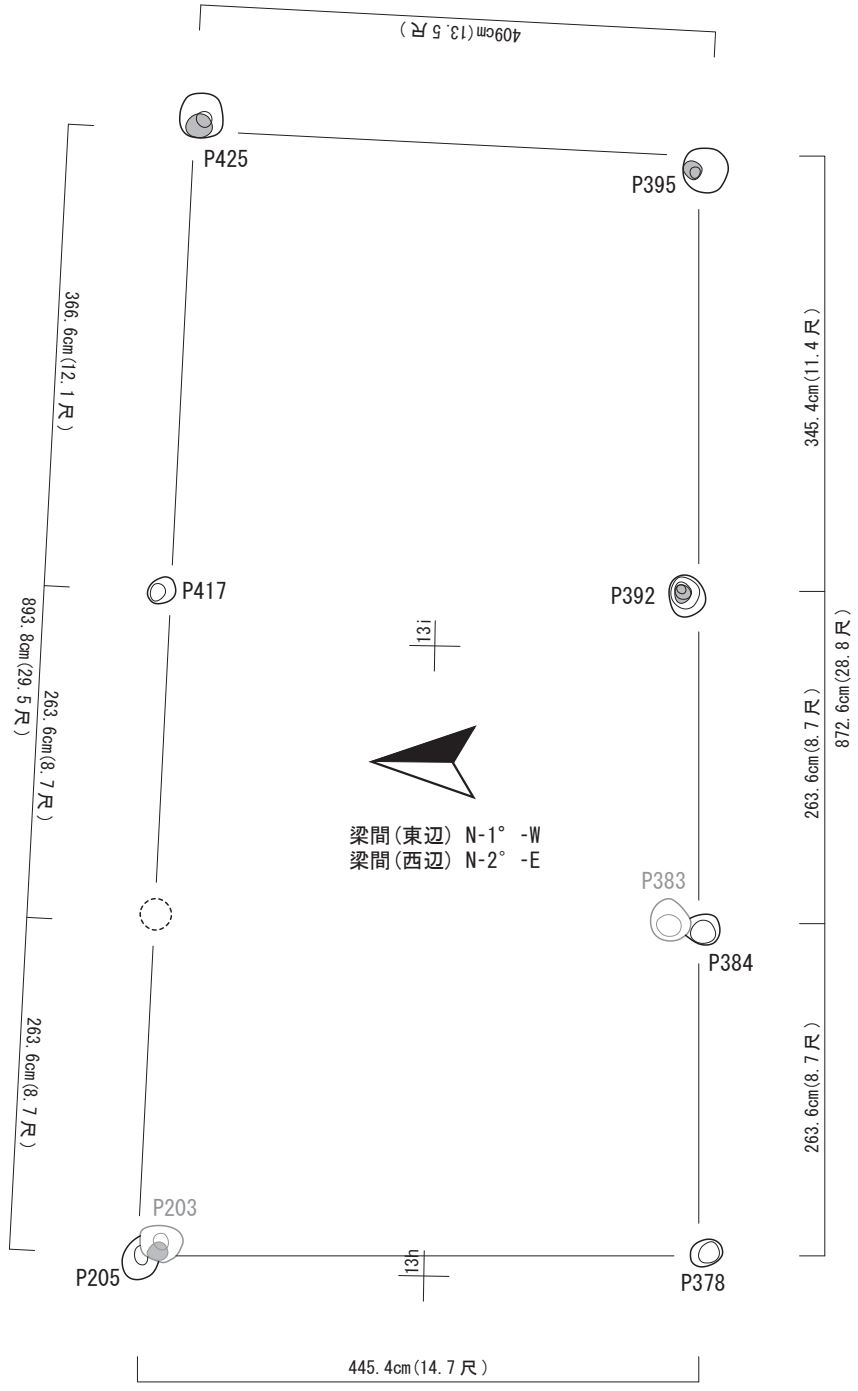
SB116 38.1㎡



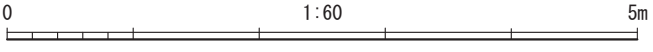
柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P426	32.7	95.790
P428	42.7	95.662
P432	31.7	95.760
P443	29.7	95.852
P445	26.4	95.885
P447	33.9	95.800
P448	37.0	95.742
P457	32.2	95.745
P462	33.1	95.729
P467	64.0	95.464
P472	40.9	95.706

第134図　SB116

SB117 37.9㎡



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P205	41.6	95.758
P378	25.9	95.961
P384	26.5	95.976
P392	25.8	95.860
P395	42.7	95.661
P417	35.8	95.797
P425	35.0	95.779



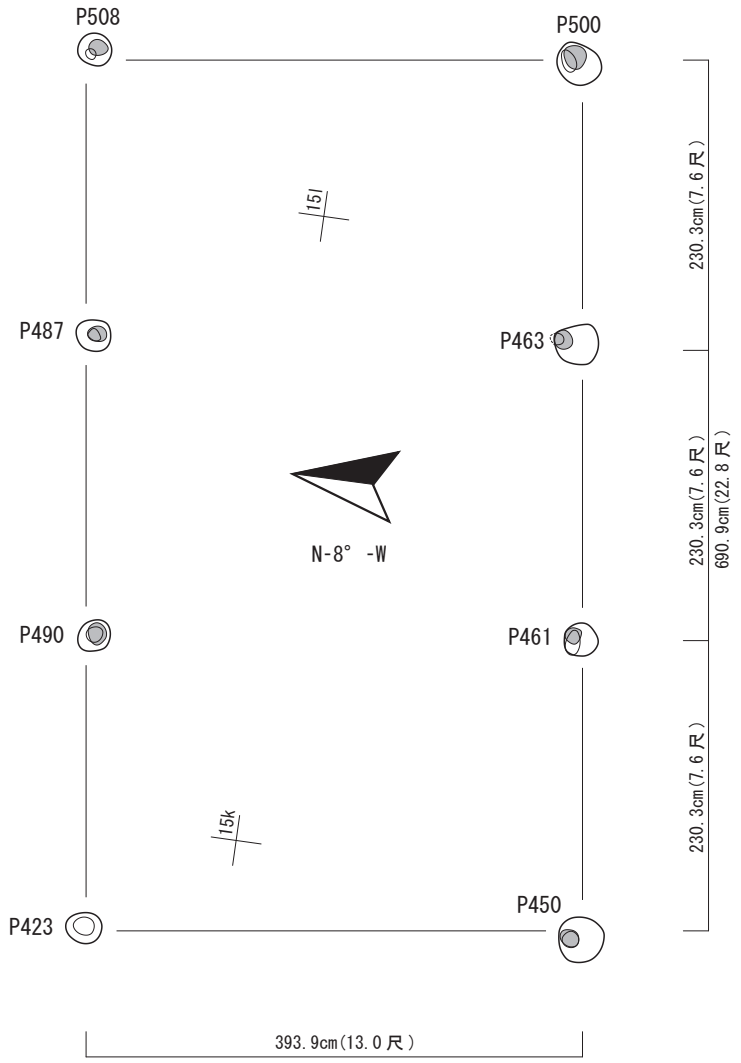
第135図　SB117

SB118（第 136 図　写真図版 83）	
位置　ⅠA14j、14k、14l、15j、15k、15l　区画外部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　690.9 cm（22 尺 8 寸）	**梁間**　393.9 cm（13 尺）
面積　27.2㎡（8.2 坪）	**軸方向**　N-8°-W
柱間寸法　桁行では 230.3 cm（7 尺 6 寸）を使用している。梁間は 393.9 cm（13 尺）であり、その半分の 196.95 cm（6 尺 5 寸）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB116、SB125、SB127	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋の可能性が高いと推測される。桁行の柱間寸法は 7 尺 6 寸で均一であり、梁間の総長も 13 尺と区切りの良い寸法で、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　9 期（1449～1485 年頃）の建物と想定する。	

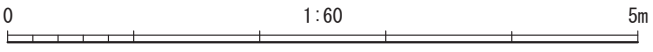
SB119（第 137 図　写真図版 84）	
位置　ⅠA10l、10m、11l、11m、12m　区画外部	**使用した柱穴**　7 個
桁行　573.0 cm（18 尺 9 寸）	**梁間**　400.0 cm（13 尺 2 寸）
面積　22.9㎡（6.9 坪）	**軸方向**　N-4°-W
柱間寸法　桁行では 191.0 cm（6 尺 3 寸）を使用している。梁間は 400.0 cm（13 尺 2 寸）であり、その半分の 200.0 cm（6 尺 6 寸）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：なし	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋の可能性が高いと推測される。桁行の柱間寸法は 6 尺 3 寸で均一であり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　12 期（1680 年頃～）の建物と想定する。	

SB120（第 138 図　写真図版 84）	
位置　ⅠA12m、12n、13m、13n　区画外部	**使用した柱穴**　15 個
桁行　727.5 cm（25 尺）	**梁間**　575.6 cm（19 尺）
面積　32.0㎡（9.7 坪）	**軸方向**　N-7°-W
柱間寸法　桁行の身舎では 212.1 cm（7 尺）を使用している。梁間は寸法を見出し難いが、身舎の総長 406.0 cm（13 尺 4 寸）の半分 203.0 cm（6 尺 2 寸）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB115	
不整な身舎の形状の建物である。P524 は深さを有するしっかりした柱穴であるが、他の建物で使い道がなく、また、本建物の定型的な位置ではどうしても柱穴を見いだせず、P524 を使用したプランを想定した。身舎は 636.3 cm（21 尺）×東辺 406.0 cm（13 尺 4 寸）の規模で、その三面に庇が付く構造である。北西隅、南西隅で庇の柱穴が存在せず、庇の隅に柱穴が無い形態と捉えられる。身舎の形状は不整であるが、柱間寸法は整然としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　10 期（1486～1522 年頃）の建物と想定する。	

SB118 27.2㎡

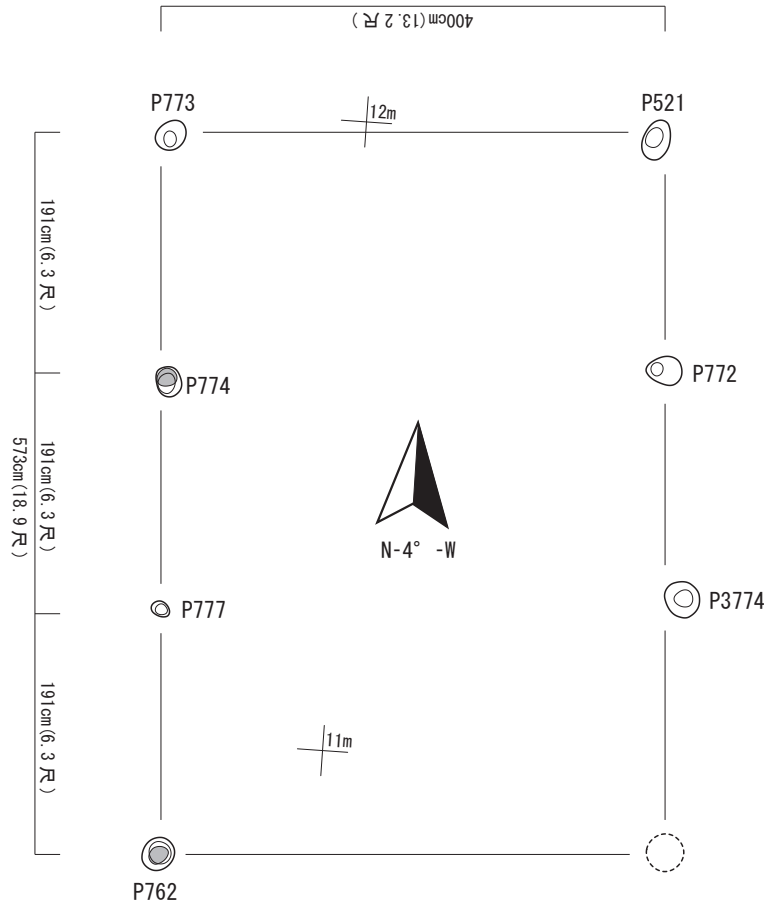


柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P423	19.9	95.883
P450	27.7	95.856
P461	44.0	95.658
P463	59.3	95.477
P487	17.6	95.789
P490	16.3	95.840
P500	39.6	95.607
P508	27.1	95.726

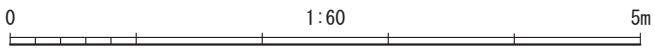


第136図　SB118

SB119 22.9㎡

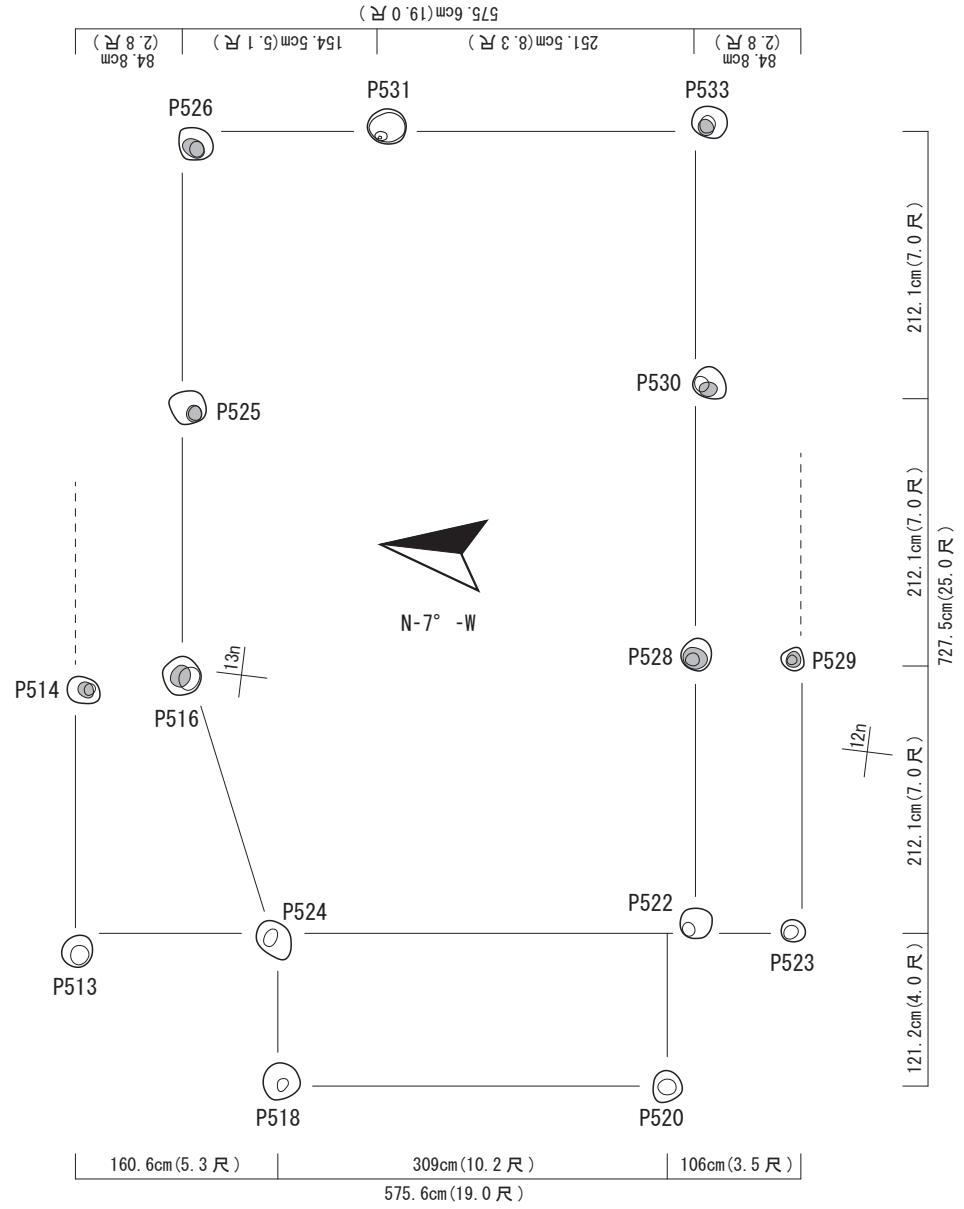


柱穴番号	深さ（cm）	底面標高（m）
P521	12.2	95.857
P762	18.2	95.774
P772	11.7	95.864
P773	17.0	95.836
P774	13.1	95.880
P777	3.9	95.967
P3774	9.3	95.897

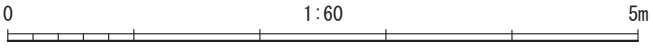


第137図　SB119

SB120 32.0㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P513	29.1	95.753
P514	37.6	95.648
P516	72.8	95.288
P518	46.0	95.546
P520	23.8	95.742
P522	37.7	95.563
P523	12.0	95.842
P524	53.9	95.395
P525	62.7	95.360
P526	55.0	95.409
P528	56.1	95.415
P529	20.6	95.761
P530	38.3	95.604
P531	22.3	95.980
P533	44.4	95.552

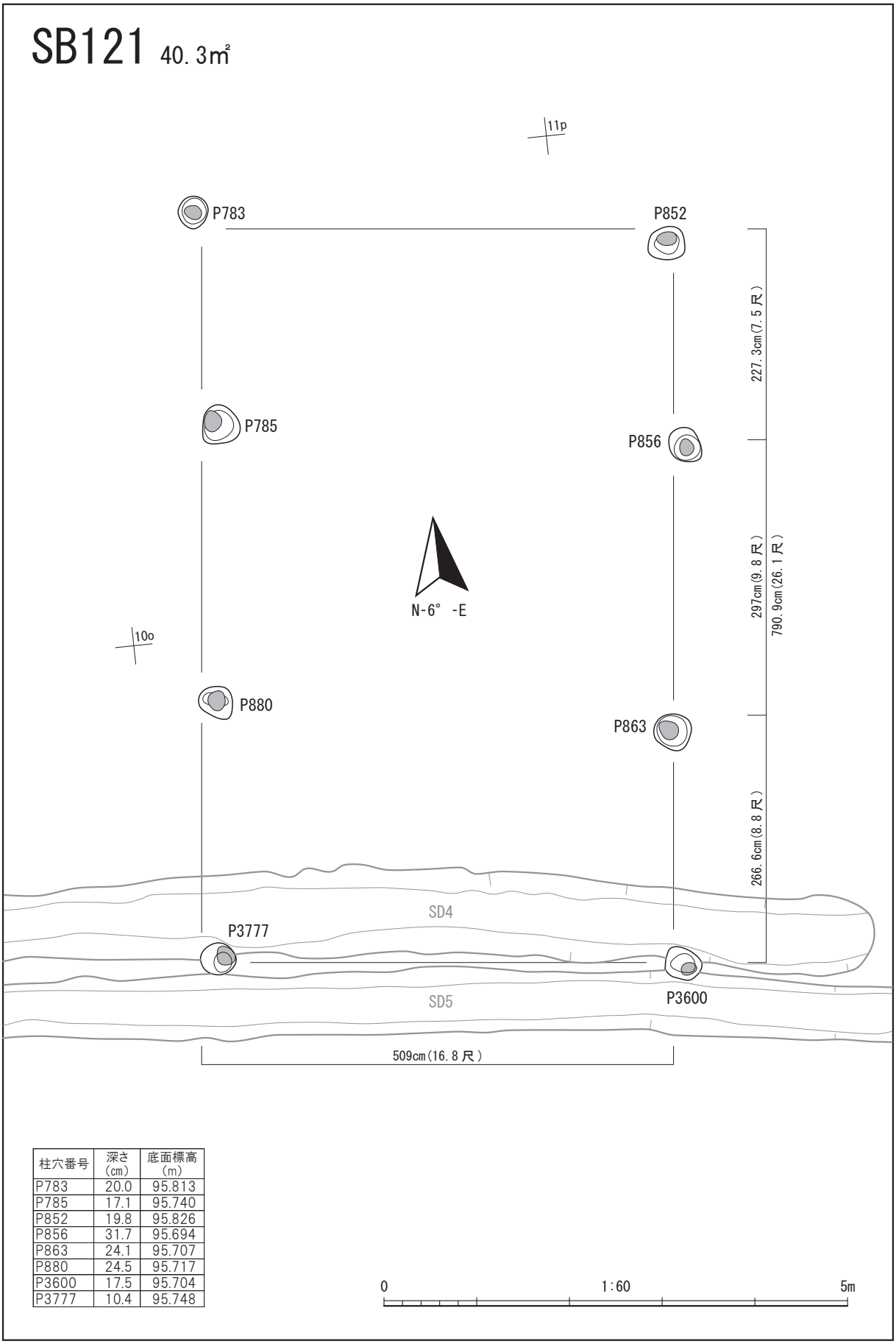


第138図　SB120

SB121（第 139 図　写真図版 85）	
位置　ⅠA9o、9p、10o、10p　区画外部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　790.9 cm（26 尺 1 寸）	**梁間**　509.0 cm（16 尺 8 寸）
面積　40.3㎡（12.2 坪）	**軸方向**　N-6°-E
柱間寸法　桁行では柱間が 3 箇所あるが、いずれの寸法も異なっており、基準寸法を見出し難い。桁行総長の 790.9 cm（26 尺 1 寸）の 1/3 である 263.63 cm（8 尺 7 寸）程度が基準寸法であろうか。梁間は 509.0 cm（16 尺 8 寸）であり、その半分の 254.5 cm（8 尺 4 寸）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB126、SD4、SD5、SK55	
庇、下屋のない平面形で、中型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。桁行の柱間寸法はそれぞれが異なる寸法であり、寸法の基準を読み取れない。直接の出土遺物はない。SD4、SD5 と接しているが、前後関係は把握できていない。	
想定時期　8 期（1412～1448 年頃）の建物と想定する。	

SB122（第 140 図　写真図版 85）	
位置　ⅠA11o、11p、10q　区画外部	**使用した柱穴**　10 個
桁行　南辺 1015.0 cm（33 尺 5 寸）	**梁間**　東辺 330.3 cm（10 尺 9 寸） 西辺 327.25 cm（10 尺 8 寸）
面積　33.5㎡（10.2 坪）	**軸方向**　N-7°-E
柱間寸法　桁行では 242.4 cm（8 尺）と 272.7 cm（9 尺）が多用される。梁間は東辺と西辺で寸法が異なり、基準寸法を見出し難い。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB128	
各辺の長さが異なり、不整な形状である。北辺の P649 は柱筋にのらないが、他に使用すべき柱穴が無く本建物の柱穴として考える。庇、下屋のない平面形で小型の建物である。具体的な性格については特定できない、形状が不整で、臨時的な建物の可能性も高い。直接の出土遺物はない。	
想定時期　8 期（1412～1448 年頃）の建物と想定する。	

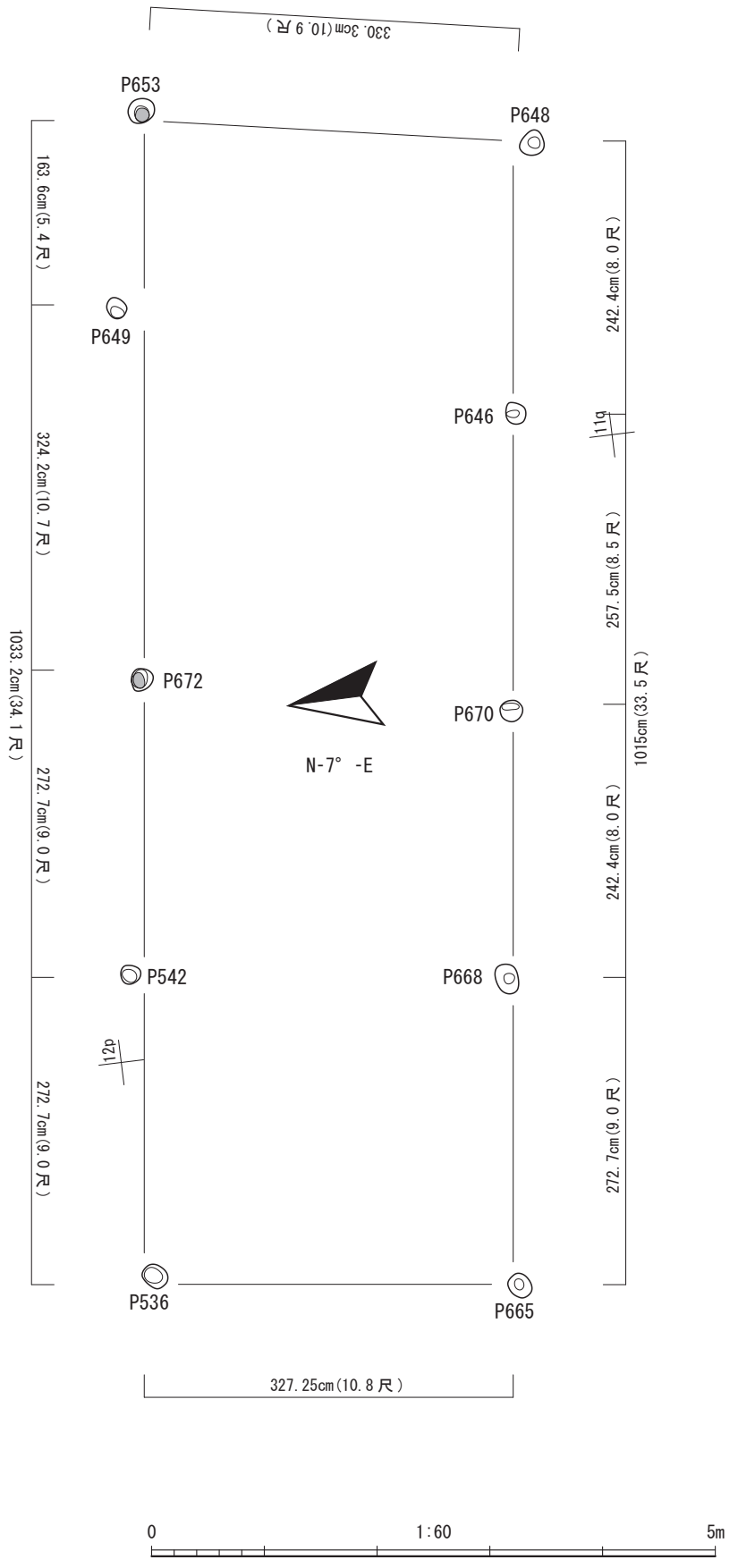
SB123（第 141 図　写真図版 86）	
位置　ⅠA10k、11k　区画外部	**使用した柱穴**　6 個
桁行　454.5 cm（15 尺）	**梁間**　315.1 cm（10 尺 4 寸）
面積　14.3㎡（4.3 坪）	**軸方向**　桁行　N-3°-E 梁間　N-8°-E（90° 傾）
柱間寸法　桁行では 227.25 cm（7 尺 5 寸）を使用している。梁間は 315.1 cm（10 尺 4 寸）であり、その半分の 157.55 cm（5 尺 2 寸）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB109	
桁行の軸方向と梁間の軸方向が異なり、平行四辺形の平面形を呈する。庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋の可能性が高いと推測される。桁行の柱間寸法は東西辺ともに 7 尺 5 寸が使用され、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。平行四辺形になったのは施工の手際によるものであろう。直接の出土遺物はない。	
想定時期　11 期（1523～1559 年頃）の建物と想定する。	



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P783	20.0	95.813
P785	17.1	95.740
P852	19.8	95.826
P856	31.7	95.694
P863	24.1	95.707
P880	24.5	95.717
P3600	17.5	95.704
P3777	10.4	95.748

第139図　SB121

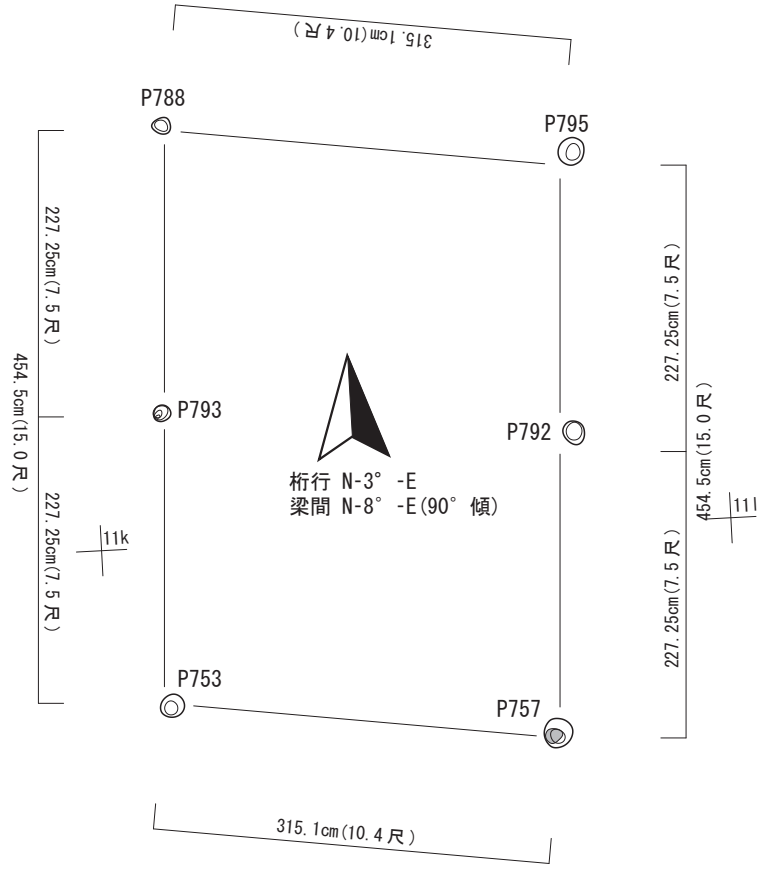
SB122 33.5㎡



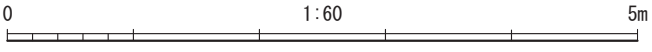
柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P536	6.5	95.952
P542	7.2	95.864
P646	29.5	95.673
P648	13.1	95.834
P649	11.9	95.909
P653	27.5	95.688
P665	12.2	95.847
P668	18.5	95.799
P670	28.8	95.660
P672	11.1	95.875

第 140 図　SB122

SB123 14.3㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P753	11.9	95.894
P757	18.1	95.834
P788	7.1	95.923
P792	9.1	95.937
P793	12.1	95.876
P795	15.8	95.846



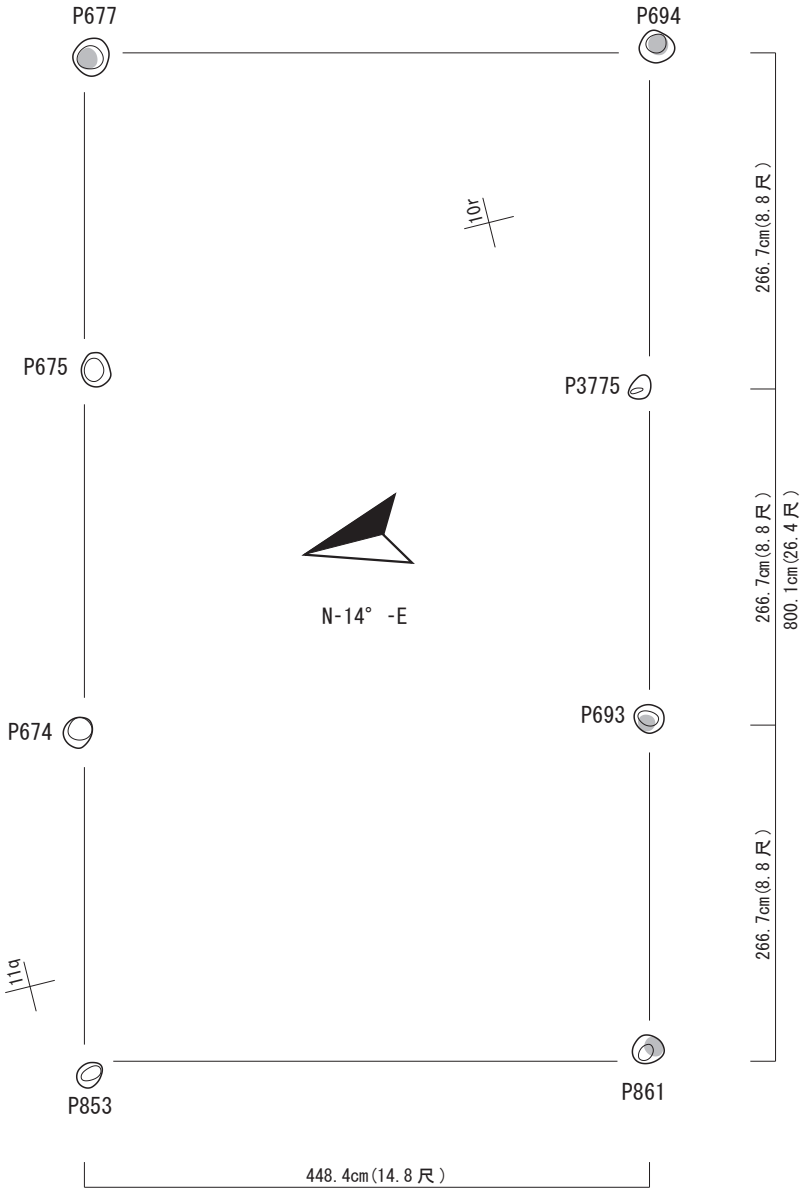
第 141 図　SB123

SB124（第 142 図　写真図版 86）	
位置　ⅠA9p、9q、9r、10p、10q、10r　区画外部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　800.1 cm（26 尺 4 寸）	**梁間**　448.4 cm（14 尺 8 寸）
面積　35.9㎡（10.8 坪）	**軸方向**　N-14°-E
柱間寸法　桁行では 266.7 cm（8 尺 8 寸）を使用している。梁間は 448.4 cm（14 尺 8 寸）であり、その半分の 224.2 cm（7 尺 4 寸）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：なし	
庇、下屋のない平面形で、やや小型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。柱間寸法が桁行では 8 尺 8 寸で整然としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

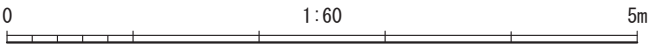
SB125（第 143 図　写真図版 87）	
位置　ⅠA14j、14k、14l、15j、15k、15l　区画外部	**使用した柱穴**　10 個
桁行　981.5 cm（32 尺 4 寸）	**梁間**　493.9 cm（16 尺 3 寸）
面積　46.1㎡（14.0 坪）	**軸方向**　N-4°-W
柱間寸法　桁行では 218.1 cm（7 尺 2 寸）を多用している。この他、桁行の柱間では 133.3 cm（4 尺 4 寸）と 193.9 cm（6 尺 4 寸）の寸法が一箇所ずつあるが、その合計 327.2 cm（10 尺 8 寸）は 7 尺 2 寸のちょうど 1.5 倍であり、7 尺 2 寸に準拠した寸法と推測される。梁間は 493.9 cm（16 尺 3 寸）であり、その半分の 246.95 cm（8 尺 1 寸 5 分）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB116、SB118、SB127	
763.4 cm（25 尺 2 寸）×493.9 cm（16 尺 3 寸）の平面プランの本体東側に 218.1 cm（7 尺 2 寸）×384.9 cm（12 尺 7 寸）の突出が付く平面形である。突出部を加えると中型の建物の規模となる。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。柱間寸法が桁行では突出部を含め 7 尺 2 寸ないし 7 尺 2 寸に準拠する寸法で整然としており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　10 期（1486～1522 年頃）の建物と想定する。	

SB126（第 144 図　写真図版 87）	
位置　ⅠA9n、9o、9p、10n、10o、10p、11n、11o、11p　区画外部	**使用した柱穴**　15 個
桁行　963.5 cm（31 尺 8 寸）	**梁間**　606.0 cm（20 尺）
面積　58.4㎡（17.7 坪）	**軸方向**　N-4°-E
柱間寸法　桁行では 287.8 cm（9 尺 5 寸）を多用している。梁間の身舎は 251.5 cm（8 尺 3 寸）を使用している。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB121、SK55、SD5	
中型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。503.0 cm（16 尺 6 寸）×963.5 cm（31 尺 8 寸）の身舎に、西面一面庇の構造と解釈される。西面の庇の出は 103.0 cm（3 尺 4 寸）である。桁行の柱間寸法は 9 尺 5 寸を多用し、梁間の総長 20 尺と区切りがよく、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。SD4 と重複し SD5 に接しているが、前後関係は把握できていない。	
想定時期　9 期（1449～1485 年頃）の建物と想定する。	

SB124 35.9㎡

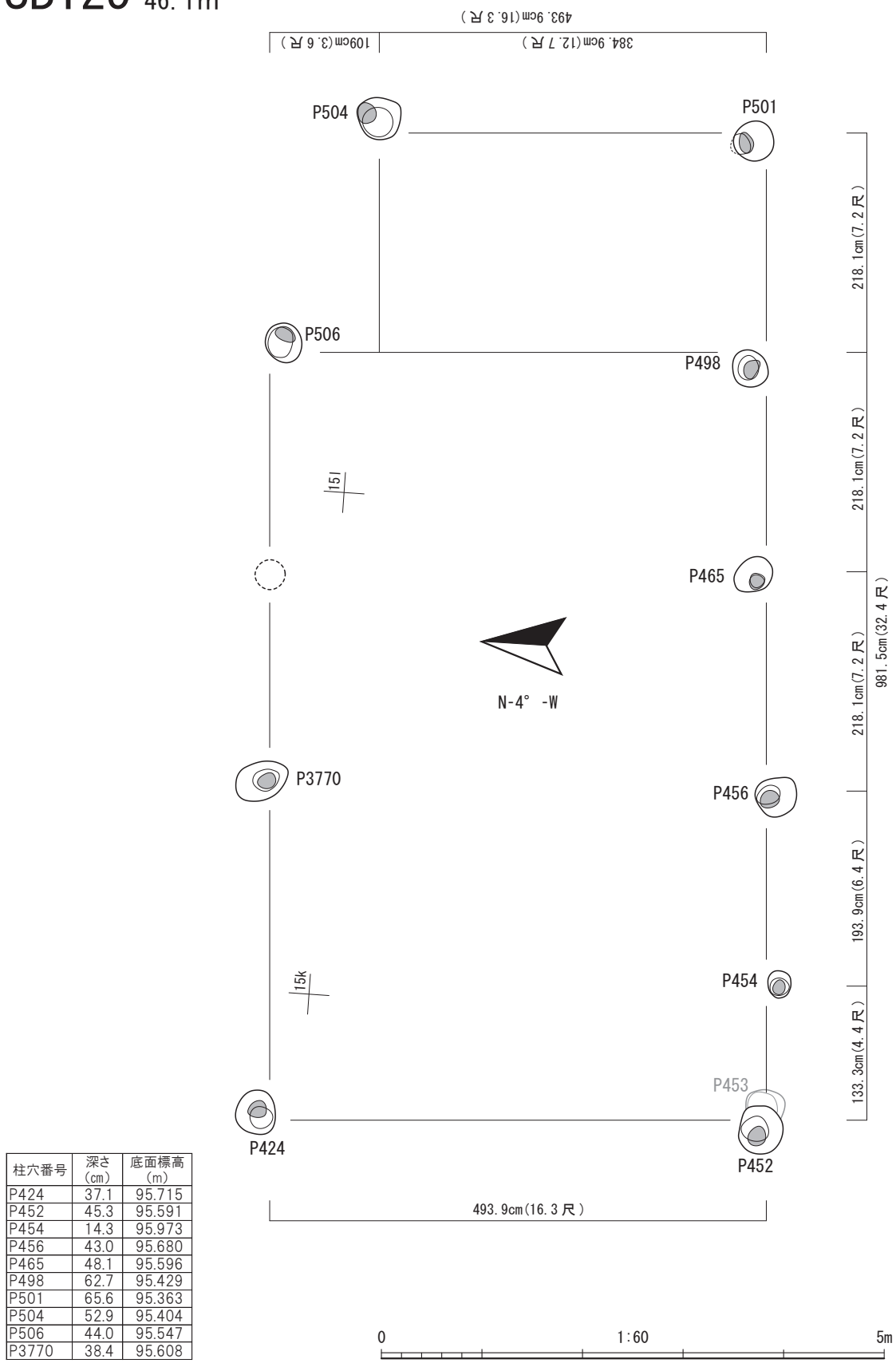


柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P674	11.1	95.850
P675	7.8	95.835
P677	25.5	95.674
P693	17.4	95.740
P694	24.1	95.698
P853	8.8	95.900
P861	15.7	95.792
P3775	12.3	95.783



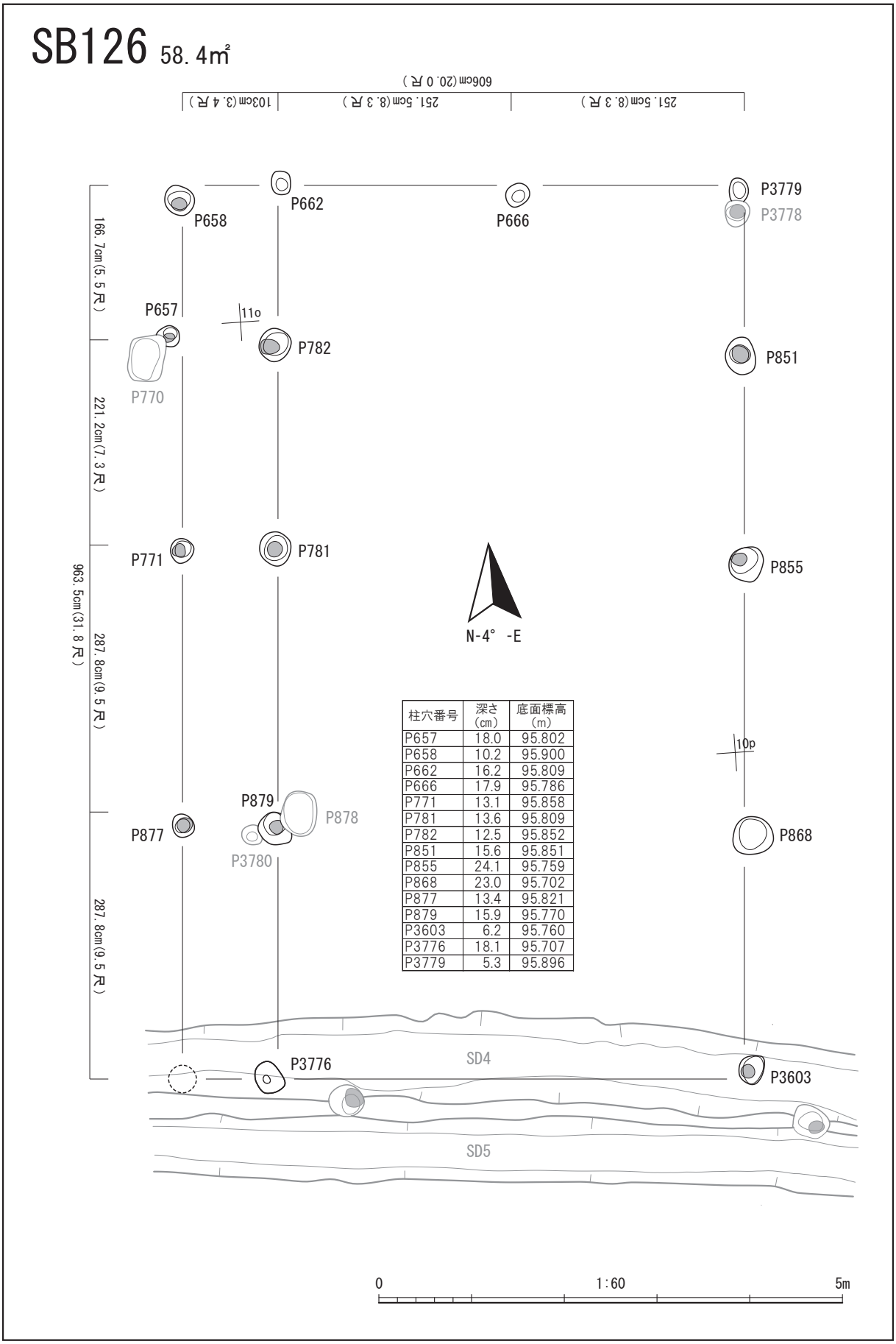
第142図　SB124

SB125 46.1㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P424	37.1	95.715
P452	45.3	95.591
P454	14.3	95.973
P456	43.0	95.680
P465	48.1	95.596
P498	62.7	95.429
P501	65.6	95.363
P504	52.9	95.404
P506	44.0	95.547
P3770	38.4	95.608

第143図　SB125



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P657	18.0	95.802
P658	10.2	95.900
P662	16.2	95.809
P666	17.9	95.786
P771	13.1	95.858
P781	13.6	95.809
P782	12.5	95.852
P851	15.6	95.851
P855	24.1	95.759
P868	23.0	95.702
P877	13.4	95.821
P879	15.9	95.770
P3603	6.2	95.760
P3776	18.1	95.707
P3779	5.3	95.896

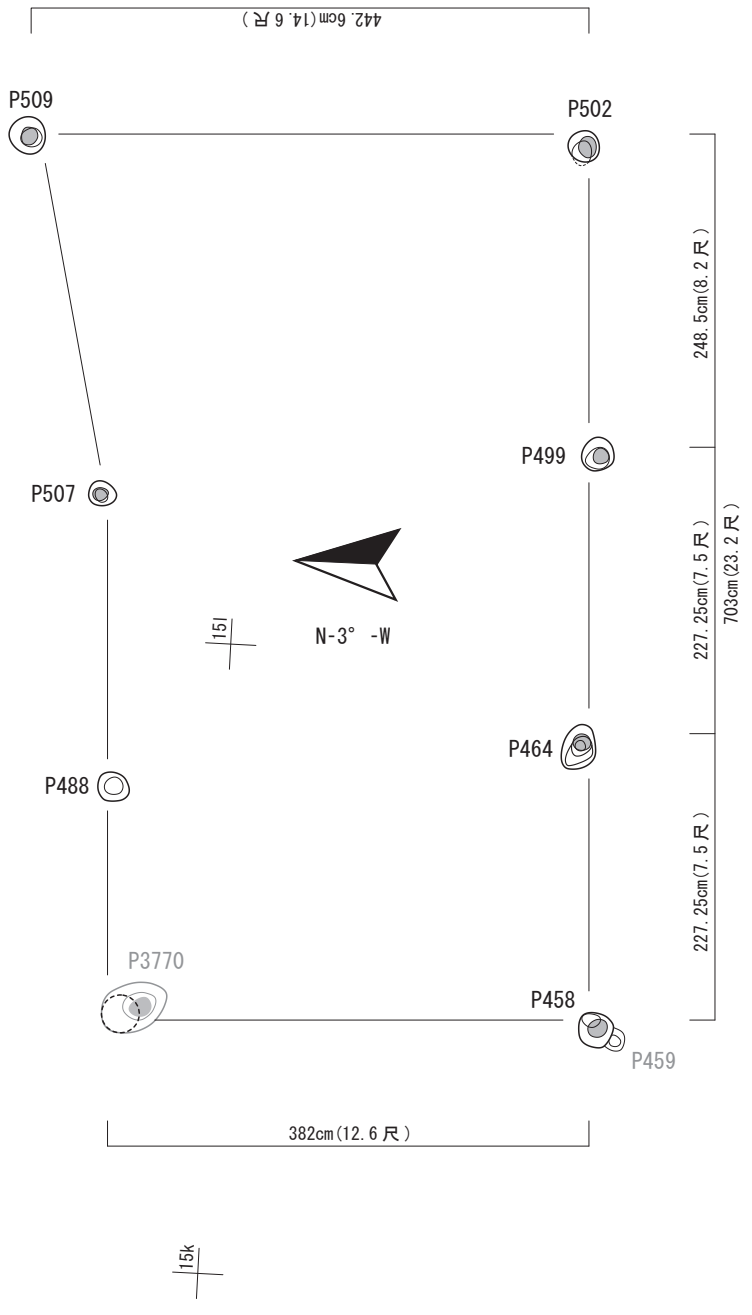
第144図　SB126

SB127（第 145 図　写真図版 88）	
位置　ⅠA14k、14l、15k、15l　区画外部	**使用した柱穴**　7 個
桁行　南辺 703.0 cm（23 尺 2 寸）	**梁間**　東辺　442.6 cm（14 尺 6 寸） 西辺　382.0 cm（12 尺 6 寸）
面積　27.7㎡（8.4 坪）	**軸方向**　N-3°-W
柱間寸法　桁行南辺では 227.25 cm（7 尺 5 寸）を多用している。梁間は東辺と西辺で長さが異なるが、西辺は 382.0 cm（12 尺 6 寸）であり、その半分の 191.0 cm（6 尺 3 寸）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB116、SB118、SB125	
北辺の柱筋が真っ直ぐに通らず、不整な形状になっている。これは北東隅の柱穴 P509 の位置に起因している。P509 の他に用いることの可能な柱穴が見い出せず、不整なプランを提示している。庇、下屋のない平面形で小型の建物である。具体的な性格については特定できない、形状が不整で、臨時的な建物の可能性も高い。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB128（第 146 図　写真図版 88）	
位置　ⅠA11o、11p、11q、12o、12p、12q　区画外部	**使用した柱穴**　9 個
桁行　1078.6 cm（35 尺 6 寸）	**梁間**　472.2 cm（14 尺 1 寸）
面積　46.1㎡（14.0 坪）	**軸方向**　N-4°-E
柱間寸法　桁行では 257.5 cm（8 尺 5 寸）と 281.8 cm（9 尺 3 寸）を使用している。梁間は 427.2 cm（14 尺 1 寸）であり、その半分の 213.5 cm（7 尺 5 分）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB122	
庇、下屋のない平面形で、中型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。桁行の柱間寸法は 8 尺 5 寸と 9 尺 3 寸のみを使用しており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　9 期（1449～1485 年頃）の建物と想定する。	

SB129（第 147 図　写真図版 89）	
位置　ⅠA1n、1o、2n、2o、3n、3o、区画内部	**使用した柱穴**　7 個
桁行　627.2 cm（20 尺 7 寸）	**梁間**　448.4 cm（14 尺 8 寸）
面積　28.1㎡（8.5 坪）	**軸方向**　N-5°-E
柱間寸法　桁行では柱間が 3 箇所あるが、いずれの寸法も異なっており、基準寸法を見出し難い。梁間は 448.4 cm（14 尺 8 寸）であり、その半分の 224.2 cm（7 尺 4 寸）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB149　**本建物より新しい遺構**：SB51、SX8　**本建物と重複する遺構**：SB38、SB49、SB54、SB56、SB62、SB67、SB73、SB79、SB139、SB151	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋あるいは臨時の建物の可能性が高いと推測される。桁行の柱間寸法はばらばらで、基準寸法を見出し難い。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB127 27.7㎡

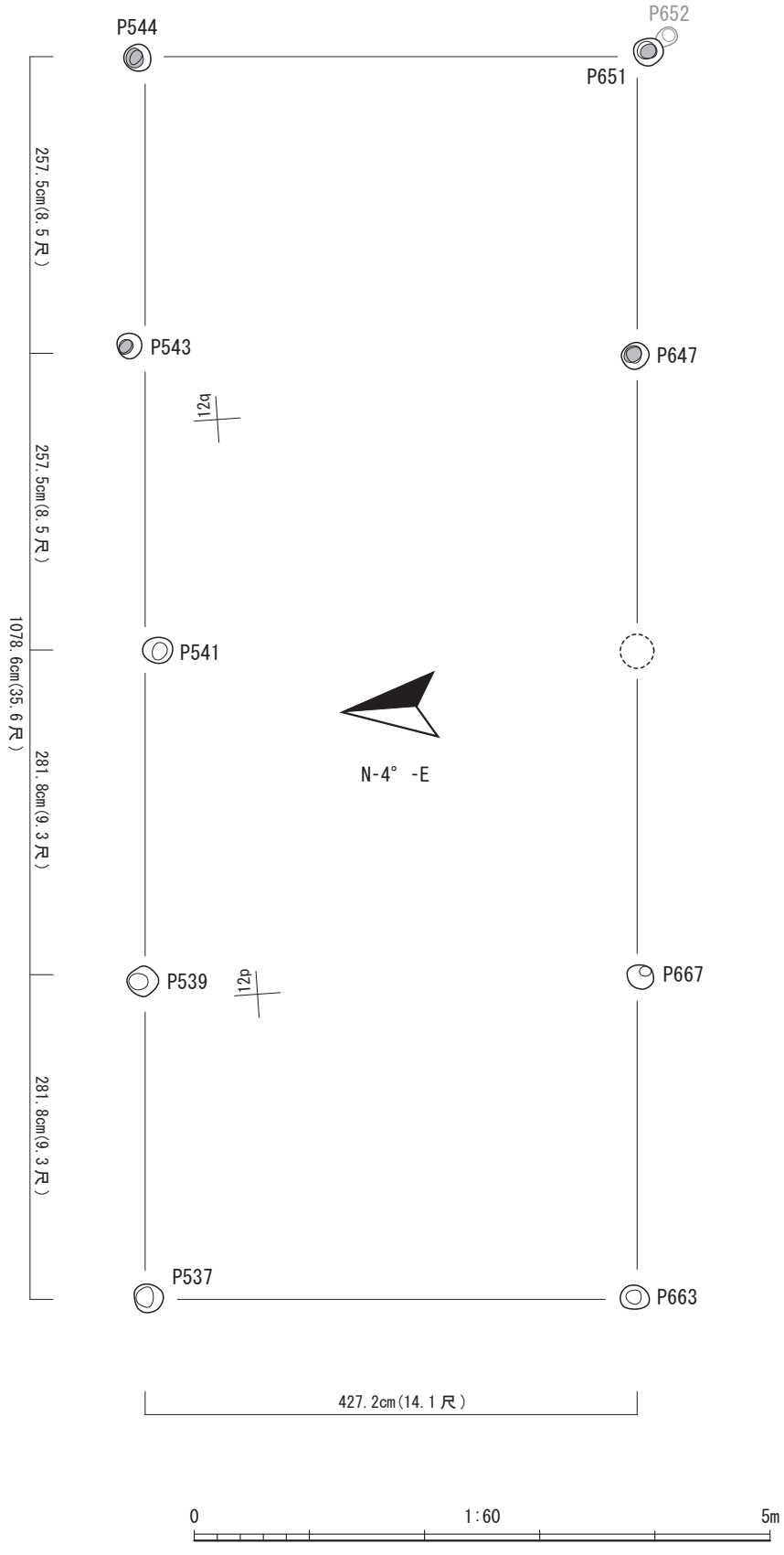


柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P458	41.8	95.683
P464	32.1	95.795
P488	11.3	95.834
P499	50.7	95.500
P502	41.4	95.561
P507	13.3	95.842
P509	32.1	95.597

0　1:60　5m

第145図　SB127

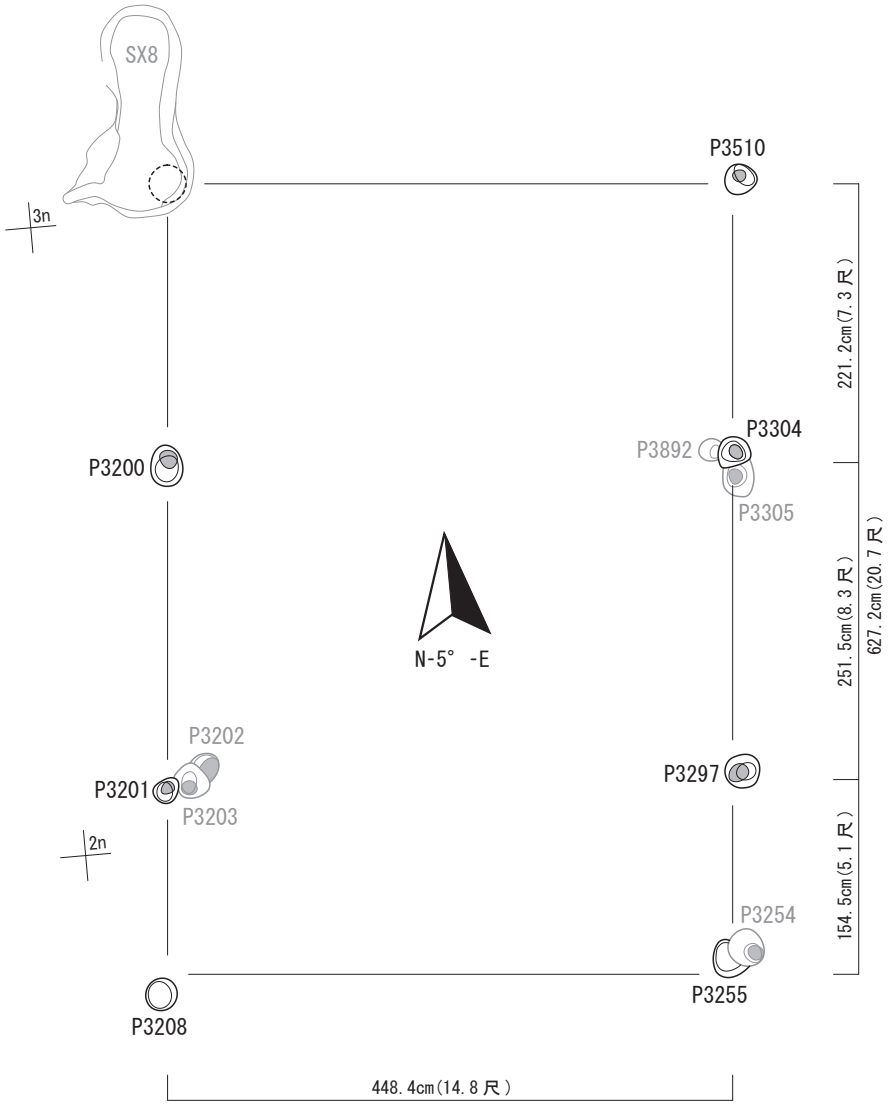
SB128 46.1㎡



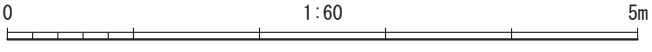
柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P537	13.6	95.912
P539	11.5	95.933
P541	14.6	95.832
P543	15.4	95.828
P544	13.9	95.853
P647	21.9	95.735
P651	19.3	95.730
P663	6.6	95.899
P667	5.0	95.907

第146図　SB128

SB129 28.1㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P3200	33.3	95.449
P3201	21.9	95.530
P3208	27.0	95.458
P3255	49.6	95.240
P3297	56.1	95.200
P3304	20.7	95.564
P3510	21.5	95.558



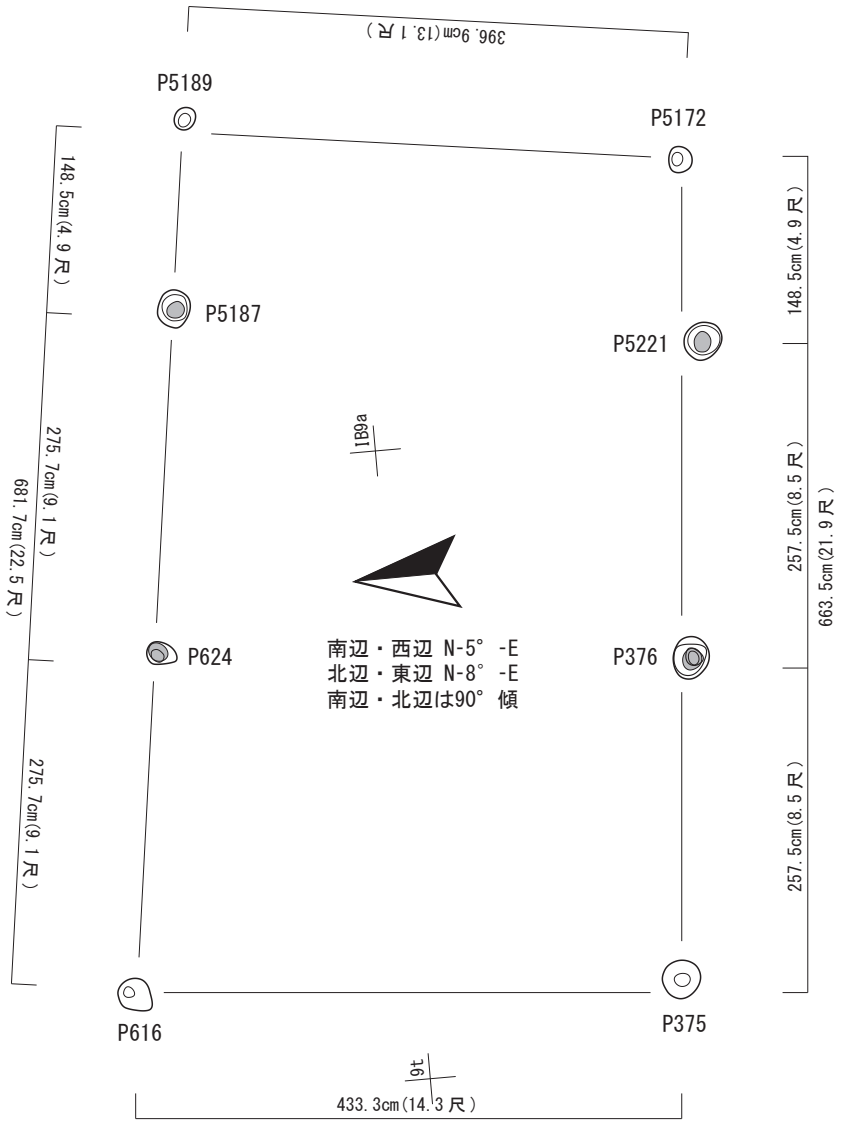
第147図　SB129

SB130（第 148 図　写真図版 89）	
位置　ⅠA8t、9t、ⅠB8a、8b　区画外部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　南辺 663.5 cm（21 尺 9 寸） 北辺 681.7 cm（22 尺 5 寸）	**梁間**　東辺 396.9 cm（13 尺 1 寸） 西辺 433.3 cm（14 尺 3 寸）
面積　27.9㎡（8.5 坪）	**軸方向**　南辺、西辺 N-5°-E 北辺、東辺 N-8°-E
柱間寸法　桁行南辺では 257.5 cm（8 尺 5 寸）を、桁行北辺では 275.7 cm（9 尺 1 寸）を多用している。両辺で共通する柱間は見出し難い。梁間も東辺と西辺で長さが異なり基準寸法を見出し難い。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB136、SB137、SK56	
各辺の長さ、又は角度が異なり、台形の平面形を呈する。庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋のあるいは臨時の建物の可能性が高いと推測される。平面形は柱間寸法は各辺ともに異なっており不整な感じは否めない。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

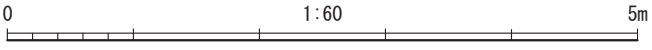
SB131（第 149 図　写真図版 90）	
位置　ⅠA5t、6t、ⅠB5a、6a、6b　区画外部	**使用した柱穴**　7 個
桁行　600.0 cm（19 尺 8 寸）	**梁間**　382.0 cm（12 尺 6 寸）
面積　22.9㎡（6.9 坪）	**軸方向**　N-14°-E
柱間寸法　桁行では 200.0 cm（6 尺 6 寸）を使用している。梁間は 382.0 cm（12 尺 6 寸）であり、その半分の 191.0 cm（6 尺 3 分）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SKT501	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋の可能性が高いと推測される。桁行の柱間寸法は 6 尺 6 寸で均一であり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。P5021 埋土から須恵器甕か長頸壺の体部上半部破片（不掲載遺物㊼）が出土している。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB132（第 150 図　写真図版 90）	
位置　ⅠB6a、6b、6c、7a、7b、7c　区画外部	**使用した柱穴**　16 個
桁行　800.05 cm（26 尺 4 寸）	**梁間**　506.0 cm（16 尺 7 寸）
面積　40.5㎡（12.3 坪）	**軸方向**　桁行　N-3°-E（90° 傾） 梁間　N-2°-W
柱間寸法　桁行では柱間が 4 箇所あるが、いずれも寸法が異なっており、基準寸法を見出すことができない。梁間の身舎は 215.1 cm（7 尺 1 寸）を使用している。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：なし	
桁行の軸方向と梁間の軸方向が異なり、平行四辺形の平面形を呈する。中型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。430.2 cm（14 尺 2 寸）×715.25 cm（23 尺 6 寸）の身舎に北面、西面の二面庇の構造と解釈される。庇の北西隅に柱穴がなく、庇の隅に柱穴がない形態と捉えられる。庇の出は西面で 84.8 cm（2 尺 8 寸）、北面で 75.8 cm（2 尺 5 寸）である。桁行の柱間寸法は見出せないが、平行四辺形にもかかわず南辺、北辺で同じ寸法であり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。平行四辺形になったのは施工の手際によるものであろう。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB130 27.9㎡

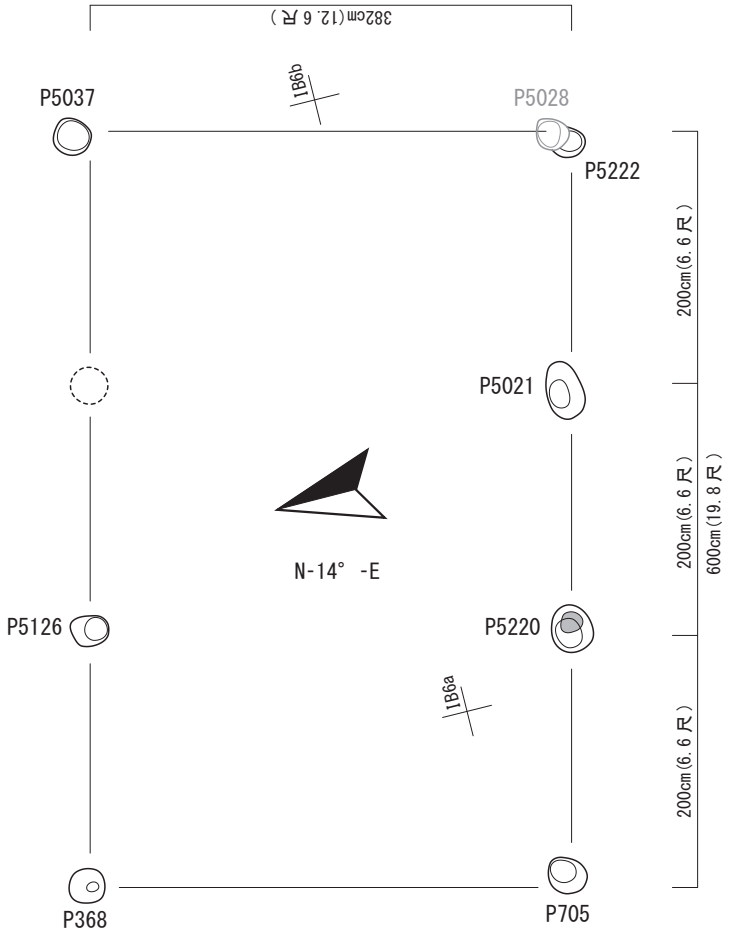


柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P375	13.1	95.670
P376	11.5	95.733
P616	14.3	95.713
P624	16.7	95.668
P5172	15.6	95.554
P5187	9.0	95.687
P5189	10.8	95.657
P5221	20.8	95.563



第148図　SB130

SB131 22.9㎡

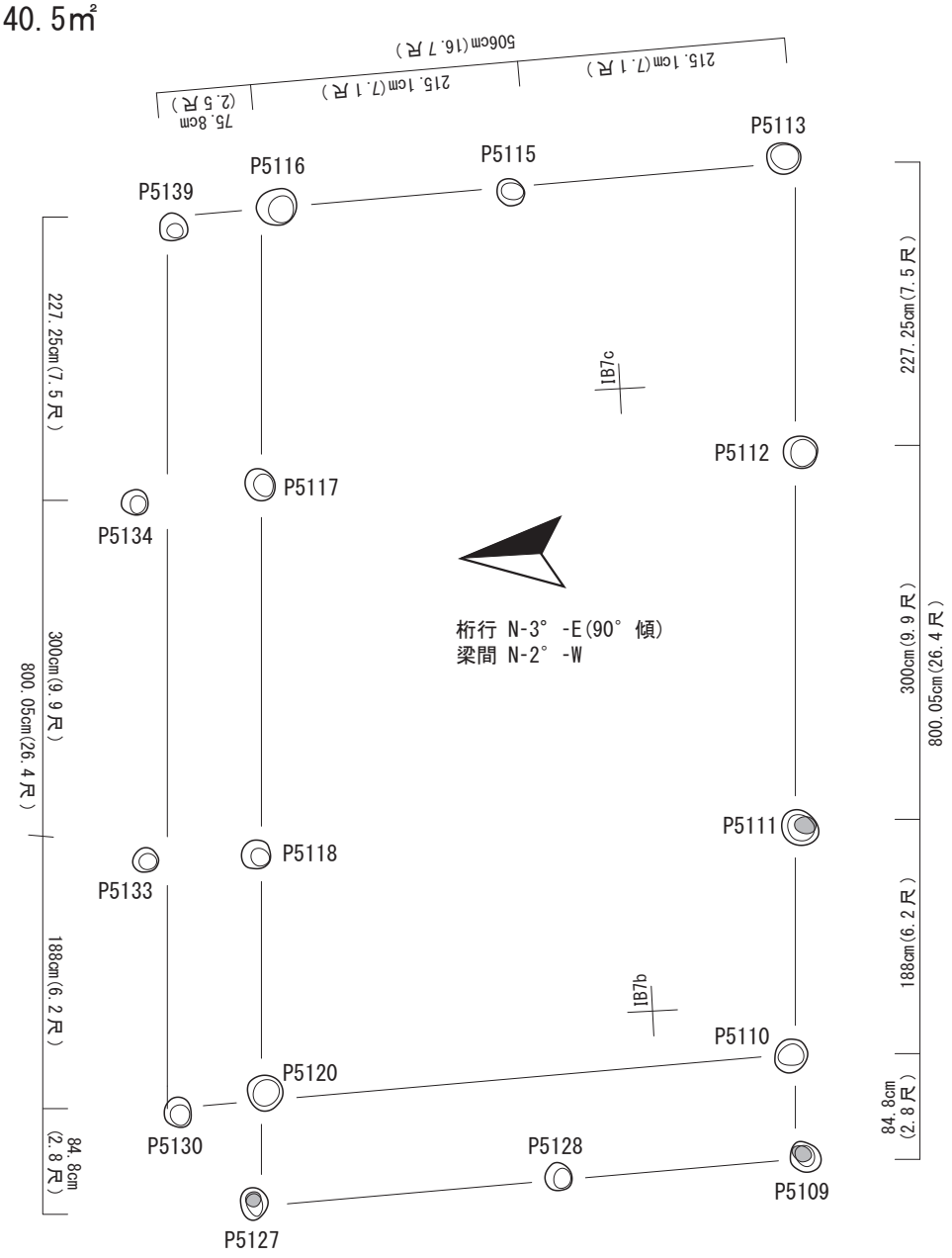


柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P368	36.2	95.305
P705	34.8	95.417
P5021	26.1	95.401
P5037	15.7	95.470
P5126	47.0	95.190
P5220	30.9	95.354
P5222	23.8	95.401

0　1:60　5m

第149図　SB131

SB132 40.5㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P5109	13.0	95.534
P5110	13.6	95.492
P5111	17.7	95.450
P5112	12.9	95.444
P5113	10.0	95.448
P5115	14.0	95.521
P5116	18.4	95.468
P5117	11.2	95.538
P5118	11.9	95.526
P5120	19.0	95.491
P5127	5.0	95.645
P5128	9.5	95.491
P5130	17.8	95.514
P5133	10.3	95.528
P5134	11.4	95.542
P5139	19.9	95.432

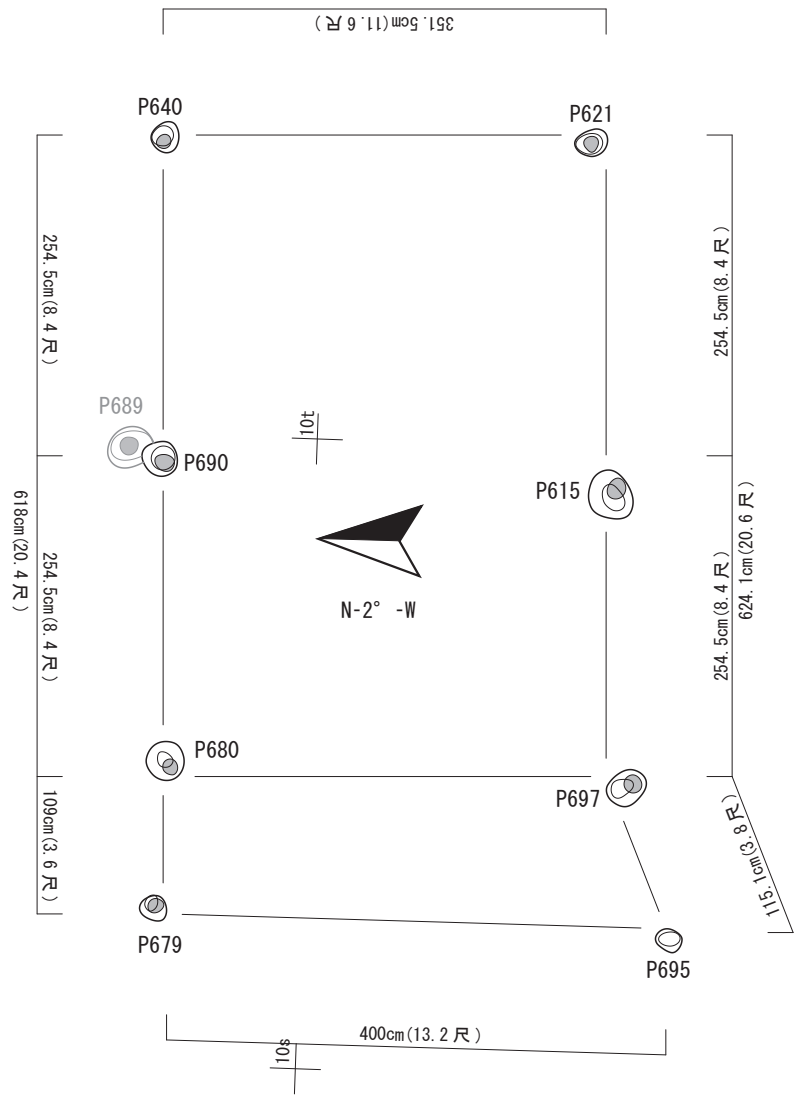
第 150 図　SB132

SB133（第 151 図　写真図版 91）	
位置　ⅠA9s、9t、10s、10t　区画外部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　北辺 618.0 cm（20.4 尺）	**梁間**　東辺　351.5 cm（11.6 尺） 西辺　400.0 cm（13.2 尺）
面積　26.2㎡（7.9 坪）	**軸方向**　N-2°-W
柱間寸法　桁行身舎では 254.5 cm（8 尺 4 寸）を使用している。梁間の身舎は 351.5 cm（11 尺 6 寸）であり、その半分の 175.75 cm（5 尺 8 寸）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB136　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB137	
南西隅の P695 の位置が南に寄りすぎ、不整なプランとなっている。P695 の他に使用すべき柱穴が無く示したプランを想定している。構造的には 351.5 cm（11 尺 6 寸）×509.0 cm（16 尺 8 寸）の身舎の西面に一面庇と解釈される。小型の建物で附属屋の可能性が高いと推測される。身舎桁行の柱間寸法は 8 尺 4 寸と均一であり、身舎部分はきちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

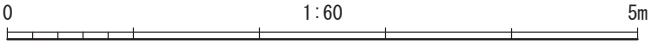
SB134（第 152 図　写真図版 91）	
位置　ⅠB4a、4b、4c、5a、5b、5c　区画外部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　南辺 863.3 cm（28 尺 5 寸）	**梁間**　西辺　457.5 cm（15 尺 1 寸） 東辺　412.0 cm（13 尺 6 寸）
面積　37.8㎡（11.5 坪）	**軸方向**　N-3°-E
柱間寸法　桁行では 245.3 cm（8 尺 1 寸）を多用している。梁間は西辺と東辺で長さが異なり、基準寸法を見出し難いが、西辺の総長 457.5 cm（15 尺 1 寸）の半分の 228.75（7 尺 5 寸 5 分）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SK502、SKT502	
北辺の柱筋が真っ直ぐに通らず、不整な形状になっている。これは北東隅の柱穴 P5054 の位置に起因している。P5054 の他に用いることの可能な柱穴が見い出せず、不整なプランを提示している。やや小型の中型に近い規模の建物である。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない、形状が不整で、臨時的な建物の可能性も高い。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB135（第 153 図　写真図版 92）	
位置　ⅠB4d、5d　区画外部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　718.2 cm（23 尺 7 寸）	**梁間**　366.6 cm（12 尺 1 寸）
面積　26.3㎡（8.0 坪）	**軸方向**　N-4°-E
柱間寸法　桁行では 239.4 cm（7 尺 9 寸）を使用している。梁間は総長 366.6 cm（12 尺 1 寸）の半分の 183.3 cm（6 尺 5 分）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：なし	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋あるいは臨時の建物と推測される。桁行の柱間寸法は 7 尺 9 寸で統一されており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB133 26.2㎡

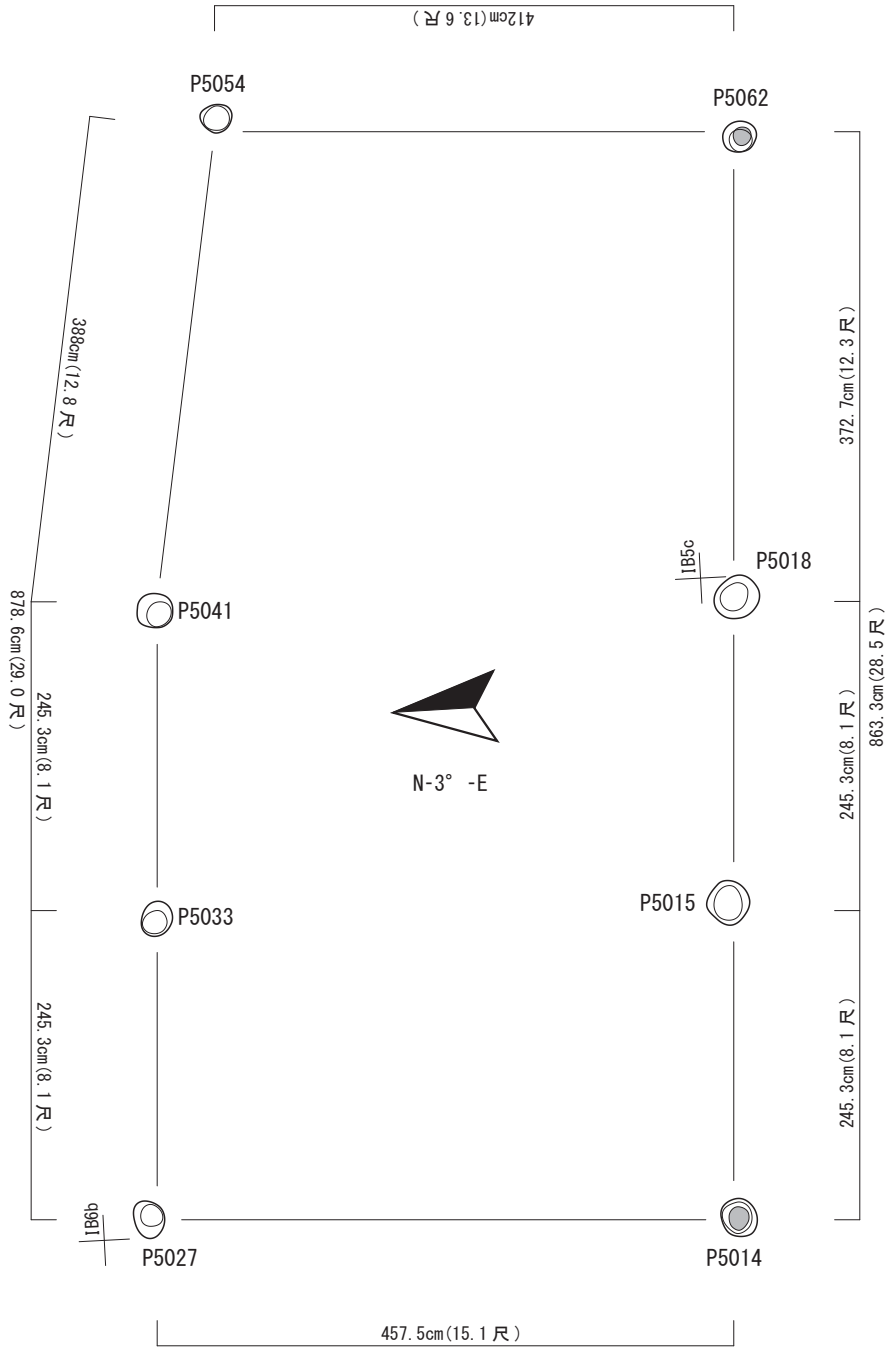


柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P615	38.0	95.423
P621	17.5	95.690
P640	10.6	95.752
P679	48.5	95.352
P680	60.3	95.246
P690	25.4	95.573
P695	16.7	95.628
P697	47.0	95.331



第 151 図　SB133

SB134 37.8㎡

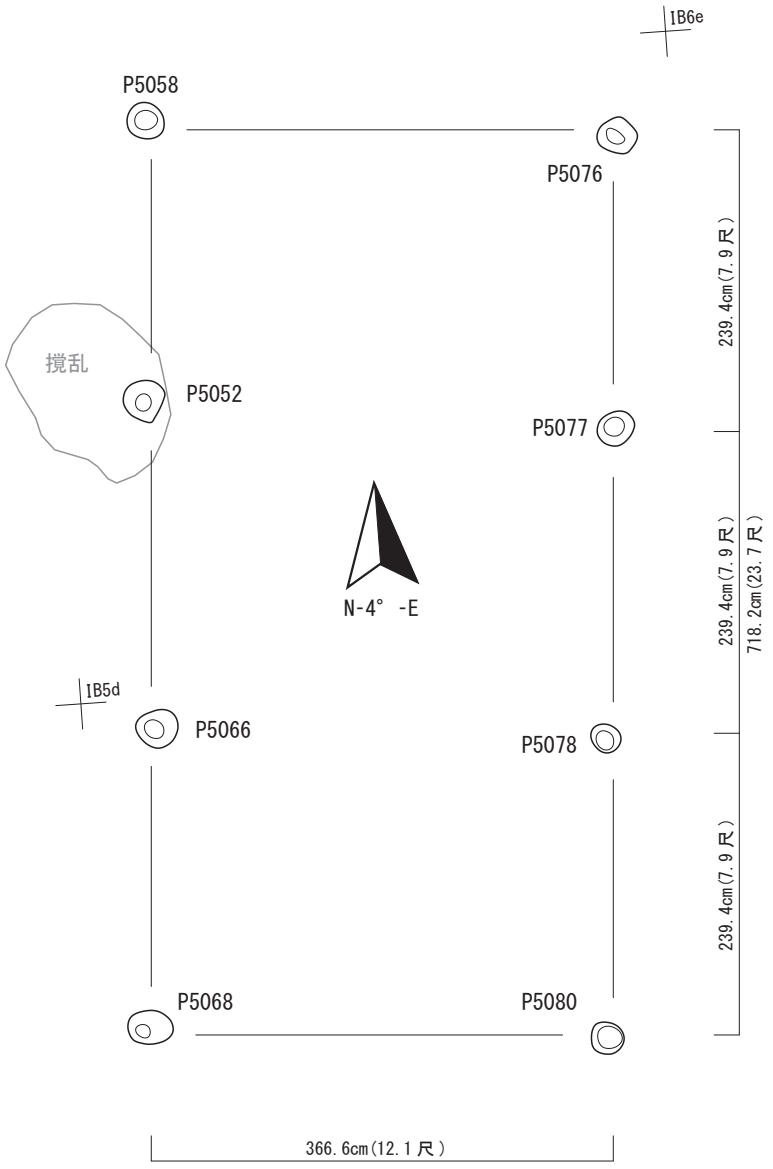


柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P5014	29.8	95.289
P5015	37.3	95.256
P5018	36.2	95.236
P5027	26.4	95.374
P5033	24.0	95.395
P5041	32.6	95.300
P5054	22.4	95.413
P5062	42.3	95.198

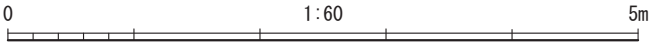
0　1:60　5m

第 152 図　SB134

SB135 26.3㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P5052	21.5	95.413
P5058	12.0	95.536
P5066	28.7	95.330
P5068	30.0	95.301
P5076	21.4	95.420
P5077	20.3	95.401
P5078	26.3	95.334
P5080	25.3	95.372



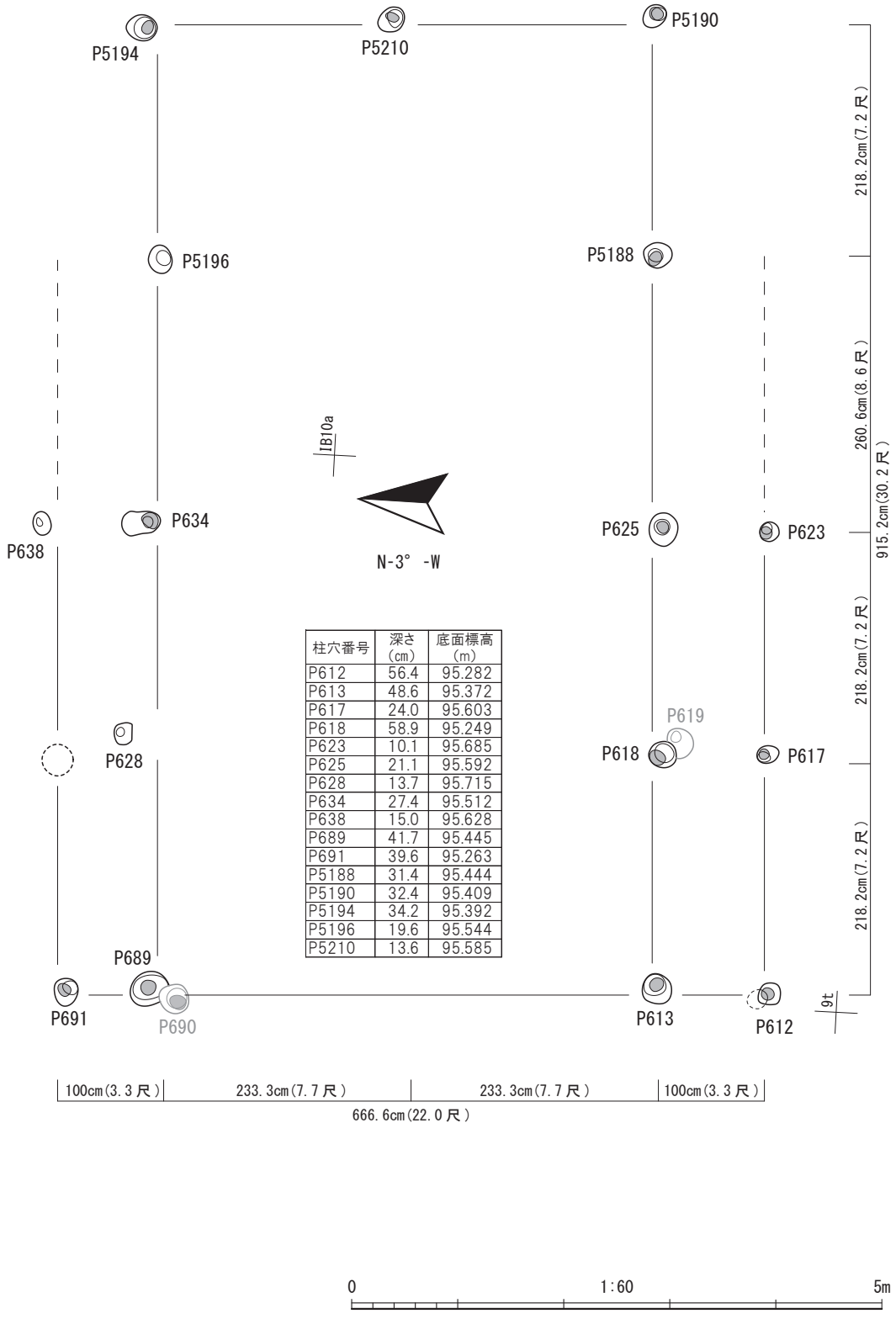
第153図　SB135

SB136（第 154 図　写真図版 92）	
位置　ⅠA9t、10t、ⅠB9a、10a　区画外部	**使用した柱穴**　16 個
桁行　915.2 cm（30 尺 2 寸）	**梁間**　666.6 cm（22 尺）
面積　51.4㎡（15.5 坪）	**軸方向**　N-3°-W
柱間寸法　桁行では 218.2 cm（7 尺 2 寸）を多用している。梁間の身舎では 233.3 cm（7 尺 7 寸）を使用している。また下屋（庇）の出は南北ともに 100.0 cm（3 尺 3 寸）を使用している。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB133　**本建物と重複する遺構**：SB130、SB137、SI8	
中型の建物である。466.6 cm（15 尺 4 寸）×915.2 cm（30 尺 2 寸）の身舎の北面、南面に二面庇の構造である。庇の出は両面ともに 100.0 cm（3 尺 3 寸）である。身舎の柱間寸法は 7 尺 2 寸を多用し、梁間の総長も 22 尺と区切りがよく、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB137（第 155 図　写真図版 93）	
位置　ⅠA9s、9t、10t　区画外部	**使用した柱穴**　5 個
桁行　527.2 cm（17 尺 4 寸）	**梁間**　278.8 cm（9 尺 2 寸）
面積　14.7㎡（4.5 坪）	**軸方向**　N-9°-W
柱間寸法　桁行では 263.6 cm（8 尺 7 寸）を使用している。梁間は総長の 278.8 cm（9 尺 2 寸）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB130、SB133、SB136	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋あるいは臨時の建物と推測される。桁行の柱間寸法は 8 尺 7 寸で統一されており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB138（第 156 図　写真図版 93）	
位置　ⅠA6n、6p、7n　区画内部	**使用した柱穴**　10 個
桁行　794.0 cm（26 尺 2 寸）	**梁間**　327.2 cm（12 尺 3 寸）
面積　29.6㎡（9.0 坪）	**軸方向**　N-5°-E
柱間寸法　桁行では 187.9 cm（6 尺 2 寸）を多用している。梁間は 372.7 cm（12 尺 3 寸）であり、その半分の 186.35 cm（6 尺 1 寸 5 分）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB19　**本建物と重複する遺構**：SB3、SB57、SB66、SB82、SB85、SB89、SB98、SB146、SB150、SB154、SB164	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋あるいは臨時の建物と推測される。桁行の柱間寸法は 6 尺 2 寸が多用されており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

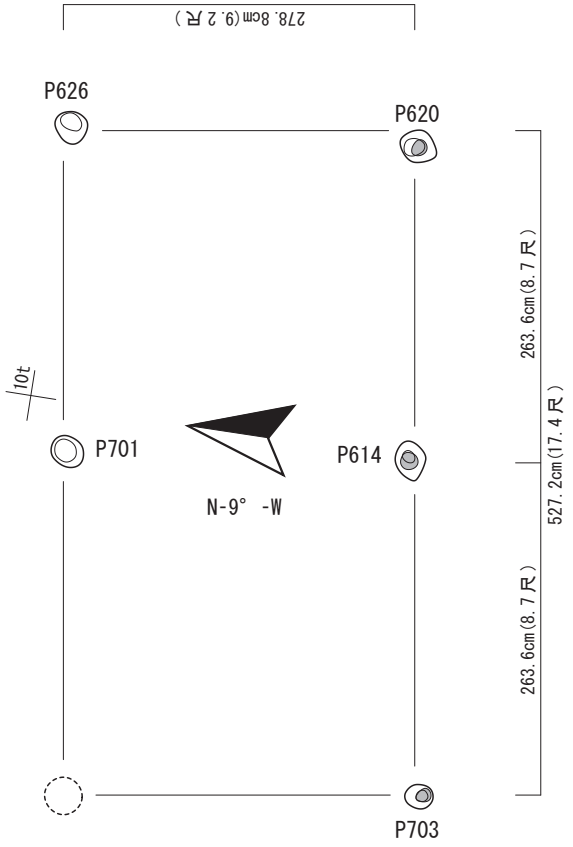
SB136 51.4㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P612	56.4	95.282
P613	48.6	95.372
P617	24.0	95.603
P618	58.9	95.249
P623	10.1	95.685
P625	21.1	95.592
P628	13.7	95.715
P634	27.4	95.512
P638	15.0	95.628
P689	41.7	95.445
P691	39.6	95.263
P5188	31.4	95.444
P5190	32.4	95.409
P5194	34.2	95.392
P5196	19.6	95.544
P5210	13.6	95.585

第 154 図　SB136

SB137 14.7㎡

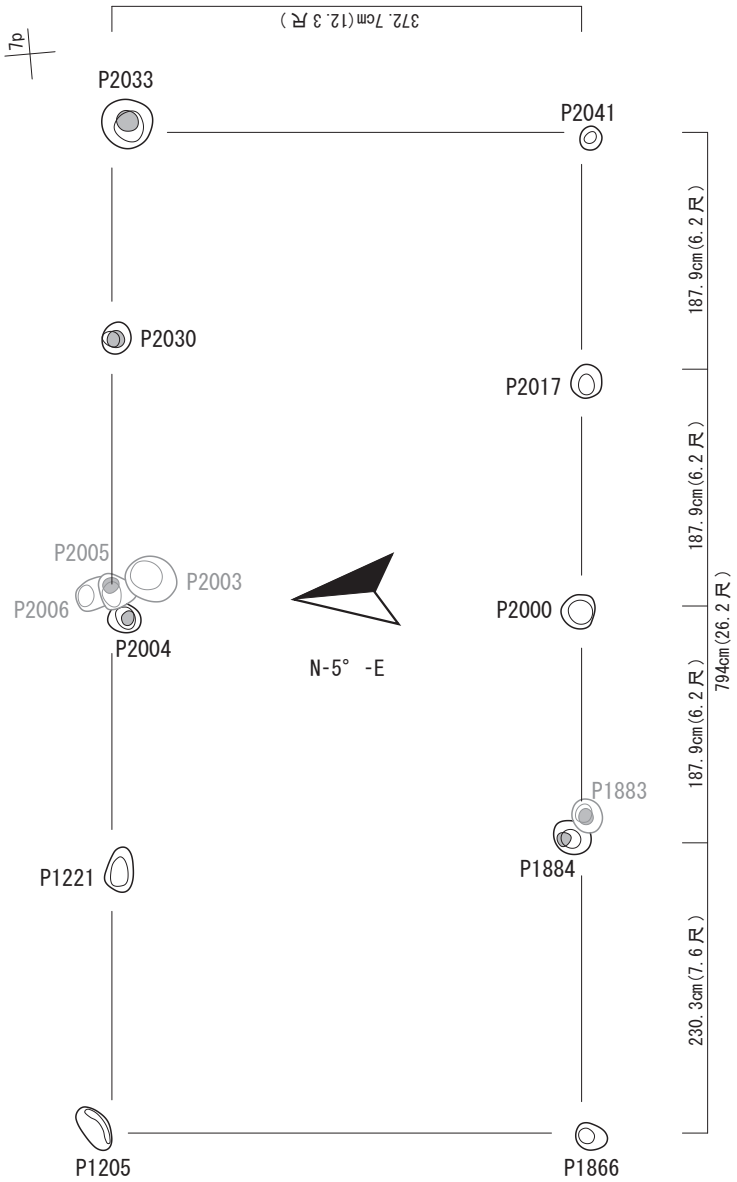


柱穴番号	深さ（cm）	底面標高（m）
P614	24.9	95.627
P620	19.8	95.683
P626	25.5	95.609
P701	38.7	95.469
P703	9.9	95.642

0　1:60　5m

第155図　SB137

SB138 29.6㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1205	9.3	95.846
P1221	8.3	95.831
P1866	20.6	95.717
P1884	13.6	95.792
P2000	19.1	95.707
P2004	12.9	95.808
P2017	14.3	95.807
P2030	11.5	95.813
P2033	29.4	95.606
P2041	8.5	95.837

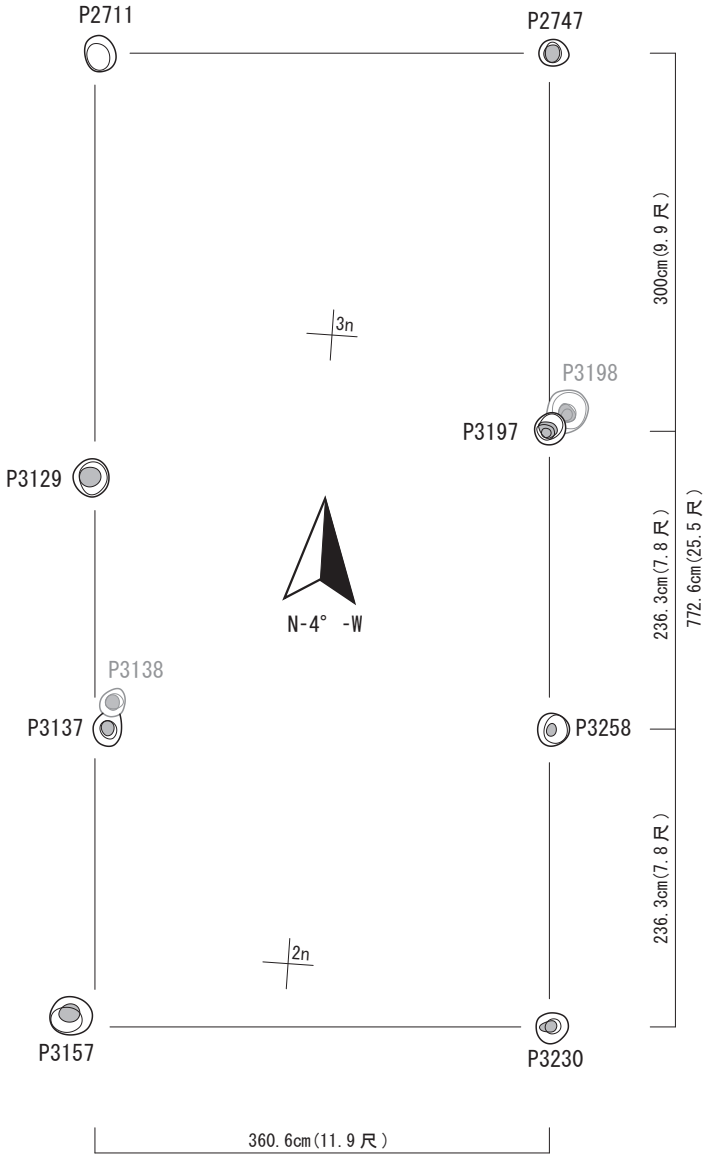
第 156 図　SB138

SB139（第 157 図　写真図版 94）	
位置　ⅠA1m、1n、2m、2n、3m、3n　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　772.6 cm（25 尺 5 寸）	**梁間**　360.6 cm（11 尺 9 寸）
面積　27.9㎡（8.5 坪）	**軸方向**　N-4°-W
柱間寸法　桁行では 236.3 cm（7 尺 8 寸）を多用している。梁間は 360.6 cm（11 尺 9 寸）であり、その半分の 180.3 cm（5 尺 9 寸 5 分）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB23、SB34、SB39、SB51、SB56、SB61、SB67、SB73、SB97、SB129、SB147、SB149、SB151、SX8、SX9	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋あるいは臨時の建物と推測される。桁行の柱間寸法は 7 尺 8 寸が多用されており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。SB67 と柱穴が重複するが、前後関係を把握できなかった。	
想定時期　5 期（1301～1337 年頃）の建物と想定する。	

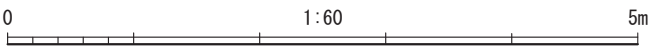
SB140（第 158 図　写真図版 94）	
位置　ⅠA5p、5q、6p、6q　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　581.7 cm（19 尺 2 寸）	**梁間**　327.2 cm（10 尺 8 寸）
面積　19.0㎡（5.8 坪）	**軸方向**　N-6°-E
柱間寸法　桁行では柱間が 3 箇所あるがいずれも寸法が異なっており、基準寸法を見出すことが困難である。桁行の総長は 581.7 cm（19 尺 2 寸）で、その 1/3 の 193.9 cm（6 尺 4 寸）が基準であろうか。梁間は 327.2 cm（10 尺 8 寸）であり、その半分の 163.6 cm（5 尺 4 寸）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB89　**本建物と重複する遺構**：SB3、SB75、SB86、SB96、SB98、SB142、SB144、SB148、SB152、SB154、SB158、SB162、SB164、SB165	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋あるいは臨時の建物と推測される。桁行の柱間寸法はそれぞれ異なった寸法であり、規則性をみいだすことが困難である。P2173 埋土から鉄製品の刀子（掲載番号 239）が出土している。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB141（第 159 図　写真図版 95）	
位置　ⅠA3l、3m、4l、4m、5l　区画内部	**使用した柱穴**　7 個
桁行　1005.5 cm（33 尺 2 寸）	**梁間**　418.0 cm（13 尺 8 寸）
面積　42.0㎡（12.7 坪）	**軸方向**　N-9°-W
柱間寸法　桁行では 209.0 cm（6 尺 9 寸）を多用している。梁間は 418.0 cm（13 尺 8 寸）であり、その半分は 209.0 cm（6 尺 9 寸）となる。よって本建物の基準寸法は 209.0 cm（6 尺 9 寸）と判断される。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB45、SB48、SB145、SB166　**本建物と重複する遺構**：SB2、SB23、SB25、SB31、SB34、SB37、SB39、SB42、SB43、SB50、SB53、SB69、SB74、SB77、SB80、SB87、SB94、SB97、SB100、SB167、SB168、SI1、SX11、SX15	
庇、下屋のない平面形で、中型の建物である。それなりの規模を有した建物であるが、具体的な性格については特定できない。柱間寸法は桁行、梁間ともに 6 尺 9 寸ないしはそれに準じた寸法が使用され、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。SB39 とは柱穴が重複するが前後関係を明確にできなかった。	
想定時期　1 期（1153～1189 年頃）の建物と想定する。	

SB139 27.9㎡

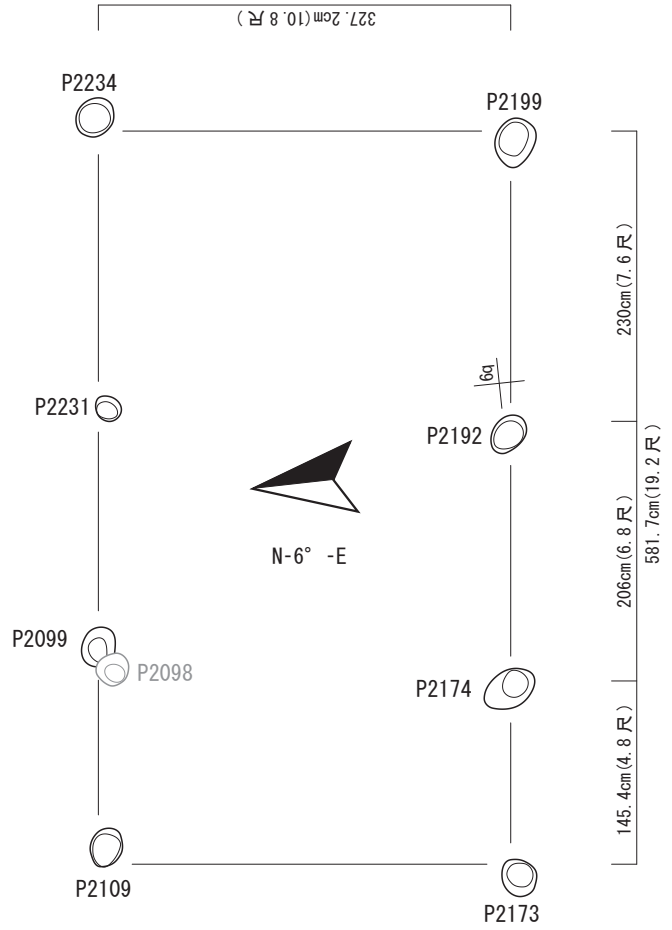


柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2711	76.7	95.537
P2747	59.3	95.667
P3129	22.4	95.550
P3137	21.9	95.549
P3157	47.6	95.290
P3197	16.8	95.639
P3230	20.4	95.541
P3258	23.0	95.510

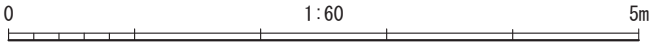


第157図　SB139

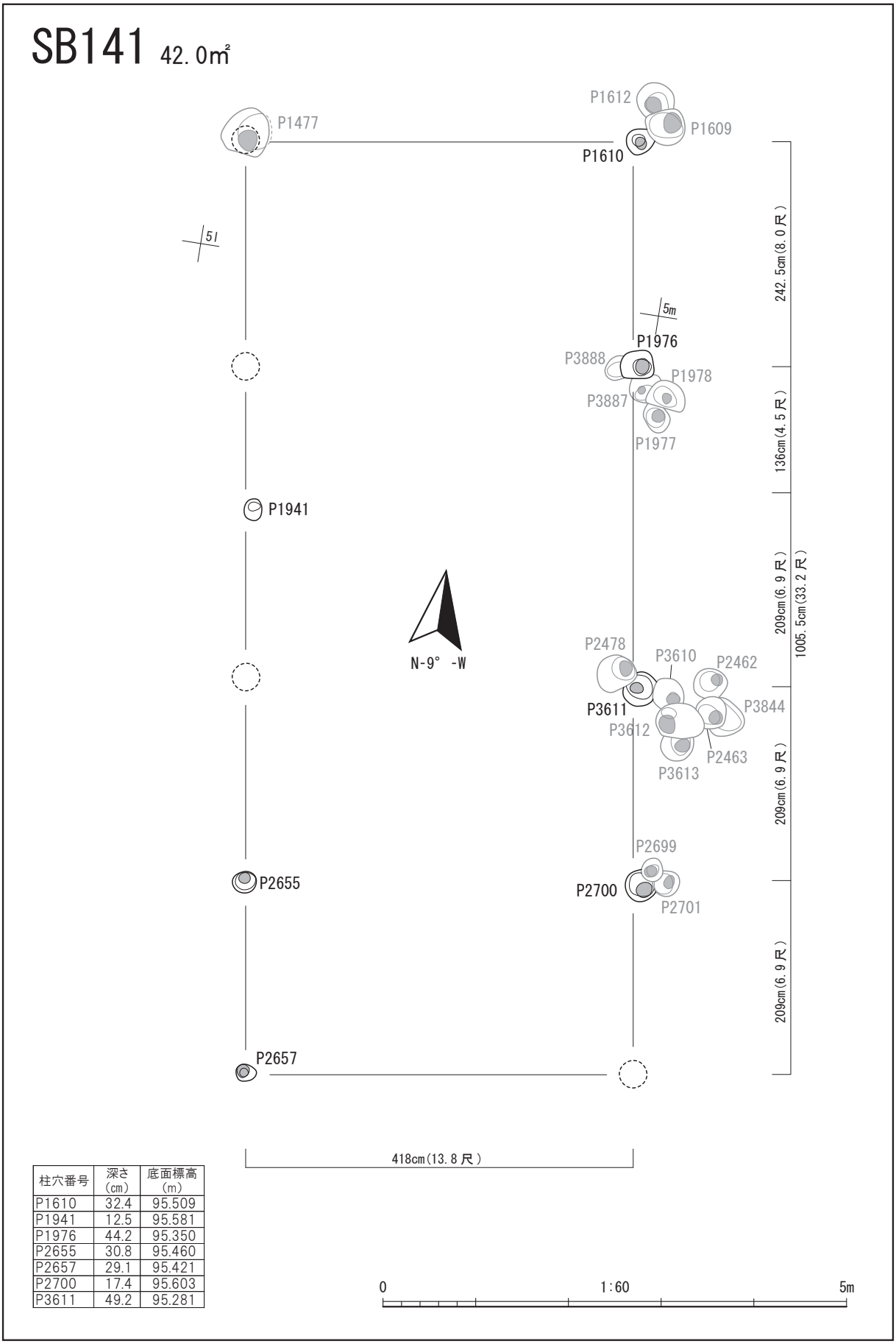
SB140 19.0㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2099	17.5	95.737
P2109	18.6	95.738
P2173	30.0	95.651
P2174	16.4	95.730
P2192	24.7	95.640
P2199	20.2	95.682
P2231	4.1	95.859
P2234	13.6	95.758



第158図　SB140



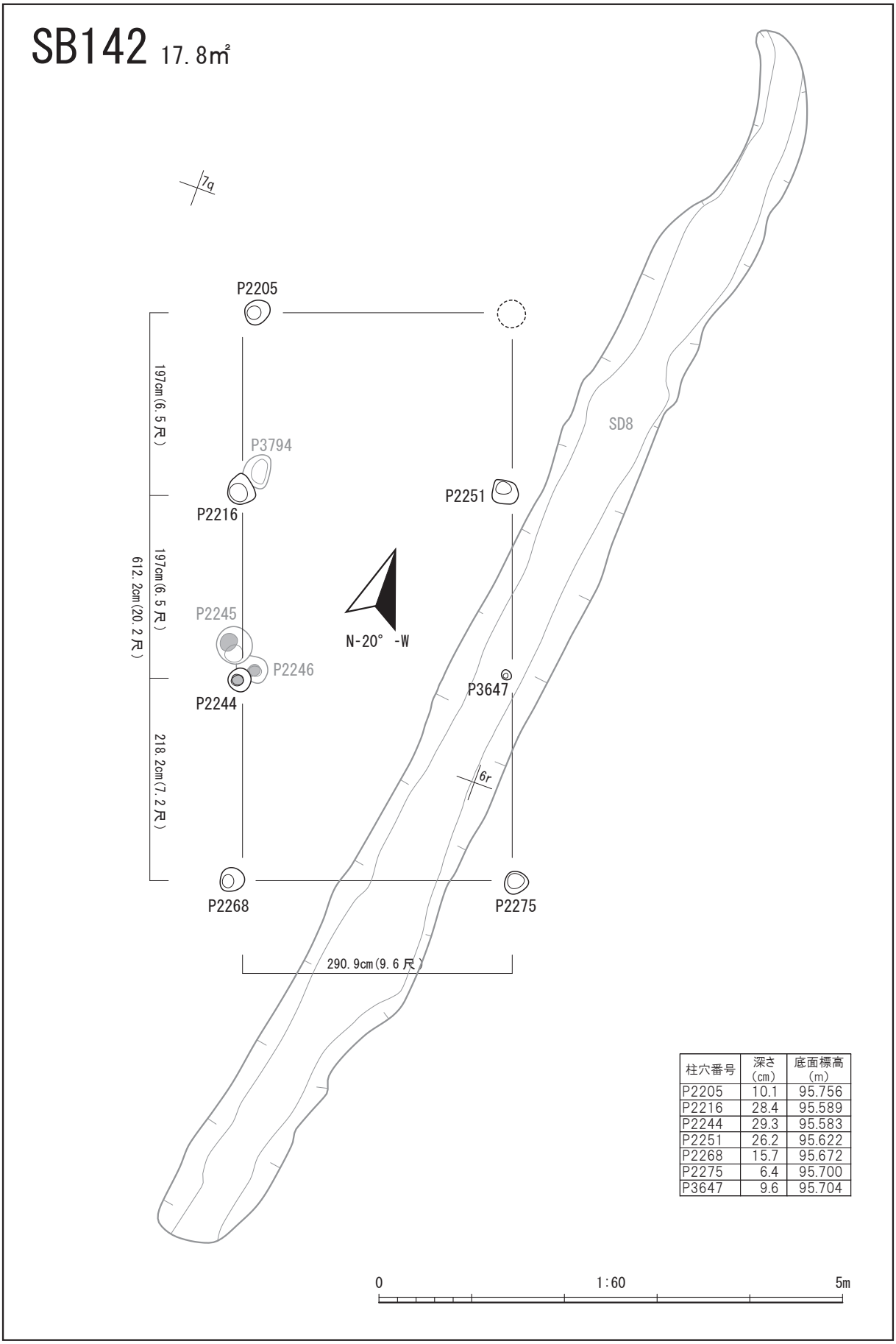
柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1610	32.4	95.509
P1941	12.5	95.581
P1976	44.2	95.350
P2655	30.8	95.460
P2657	29.1	95.421
P2700	17.4	95.603
P3611	49.2	95.281

第 159 図　SB141

SB142（第 160 図　写真図版 95）	
位置　ⅠA5q、5r、6q、6r　区画内部	**使用した柱穴**　7 個
桁行　612.2 cm（20 尺 2 寸）	**梁間**　290.9 cm（9 尺 6 寸）
面積　17.8㎡（5.4 坪）	**軸方向**　N-20°-W
柱間寸法　桁行では 197.0 cm（6 尺 5 寸）を多用している。梁間は 290.9 cm（9 尺 6 寸）であり、その 2/3 の約 194.0 cm（6 尺 4 寸）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB75、SB93　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB3、SB86、SB96、SB140、SB144、SB148、SB155、SB158、SB165、SD8	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋あるいは臨時の建物と推測される。桁行の柱間寸法は 6 尺 5 寸が多用されており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。P2251 埋土から鉄製品の鏃（掲載番号 232）が出土している。SD8 との前後関係は明確にできなかったが、おそらく本建物が古い。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB143（第 161 図　写真図版 96）	
位置　ⅠA1l、1m、2l、2m、3l、3m　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　690.9 cm（22 尺 8 寸）	**梁間**　357.0 cm（11 尺 8 寸）
面積　24.7㎡（7.5 坪）	**軸方向**　N-5°-E
柱間寸法　桁行では 169.7 cm（5 尺 6 寸）を多用している。梁間は 357.0 cm（11 尺 8 寸）であり、その半分の約 178.5 cm（5 尺 9 寸）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB2、SB61、SB87　**本建物より新しい遺構**：SB43　**本建物と重複する遺構**：SB34、SB39、SB48、SB50、SB58、SB100、SX13、SX14、SX19	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋あるいは臨時の建物と推測される。桁行の柱間寸法は 5 尺 6 寸が多用されており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

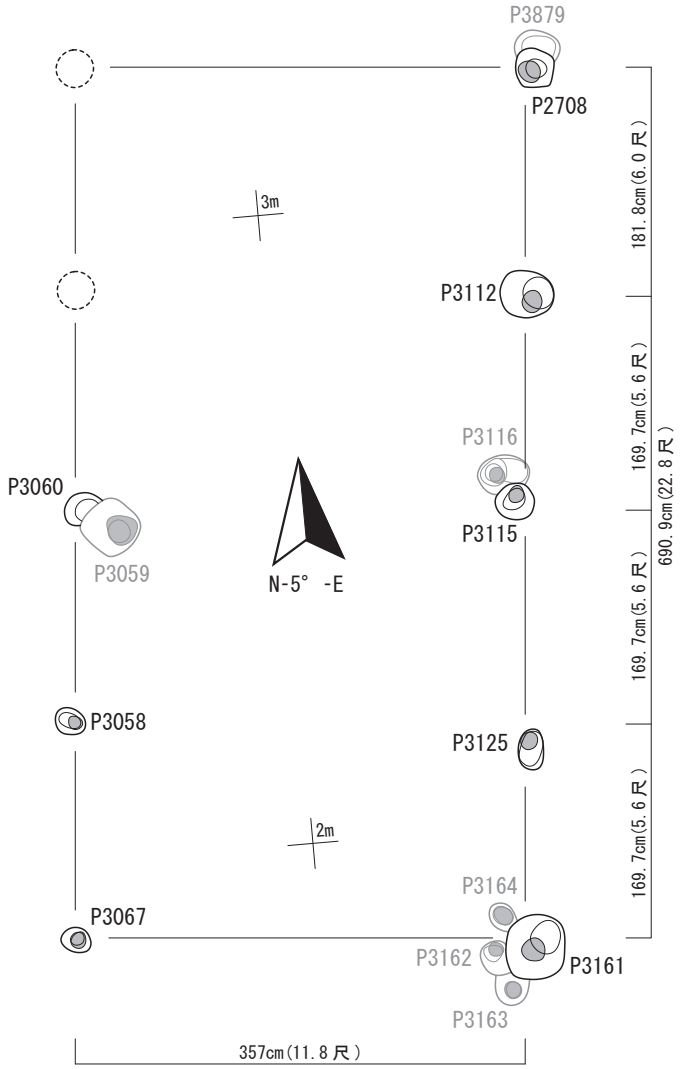
SB144（第 162 図　写真図版 96）	
位置　ⅠA5p、5q、5r、6p、6q　区画内部	**使用した柱穴**　7 個
桁行　654.6 cm（21 尺 6 寸）	**梁間**　351.5 cm（11 尺 6 寸）
面積　23.0㎡（7.0 坪）	**軸方向**　N-14°-E
柱間寸法　桁行では 218.2 cm（7 尺 2 寸）を使用している。梁間は 351.5 cm（11 尺 6 寸）であり、その半分の約 175.75 cm（5 尺 8 寸）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB3、SB75、SB86、SB89、SB93、SB96、SB140、SB142、SB148、SB152、SB155、SB165、SD8	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋あるいは臨時の建物と推測される。桁行の柱間寸法は 7 尺 2 寸で統一されており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　6 期（1338～1374 年頃）の建物と想定する。	



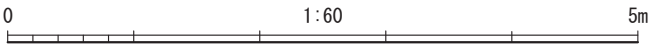
柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2205	10.1	95.756
P2216	28.4	95.589
P2244	29.3	95.583
P2251	26.2	95.622
P2268	15.7	95.672
P2275	6.4	95.700
P3647	9.6	95.704

第 160 図　SB142

SB143 24.7㎡

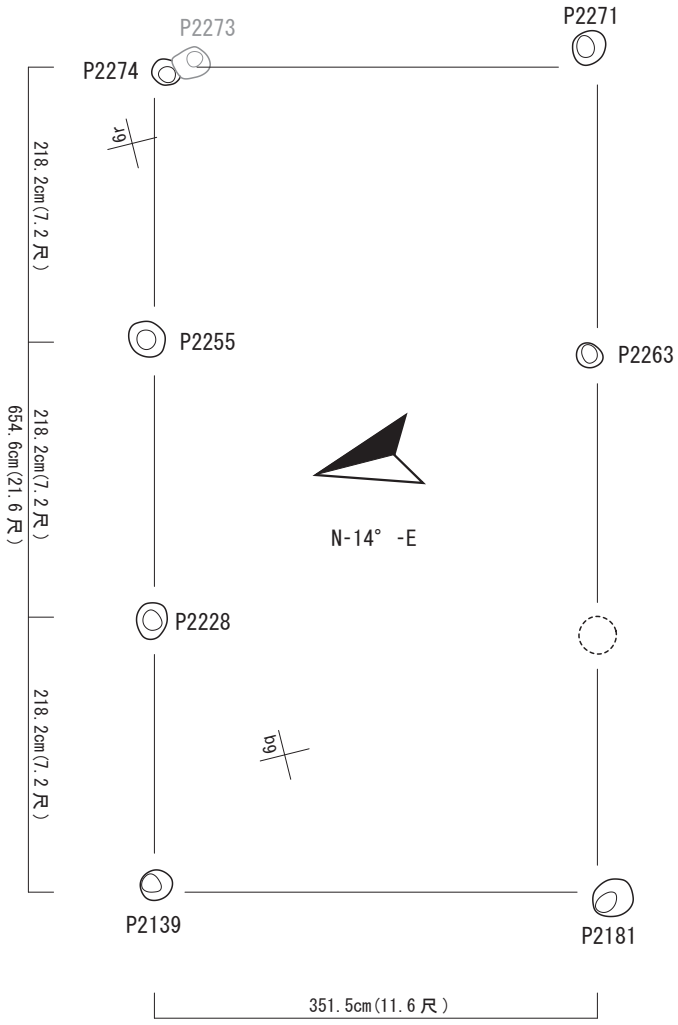


柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2708	37.0	95.371
P3058	8.6	95.722
P3060	51.5	95.269
P3067	14.0	95.633
P3112	42.7	95.334
P3115	38.2	95.388
P3125	27.4	95.507
P3161	62.2	95.185

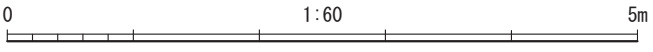


第 161 図　SB143

SB144 23.0㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2139	21.0	95.690
P2181	21.9	95.665
P2228	17.2	95.709
P2255	22.3	95.634
P2263	14.7	95.682
P2271	30.2	95.404
P2274	20.1	95.614



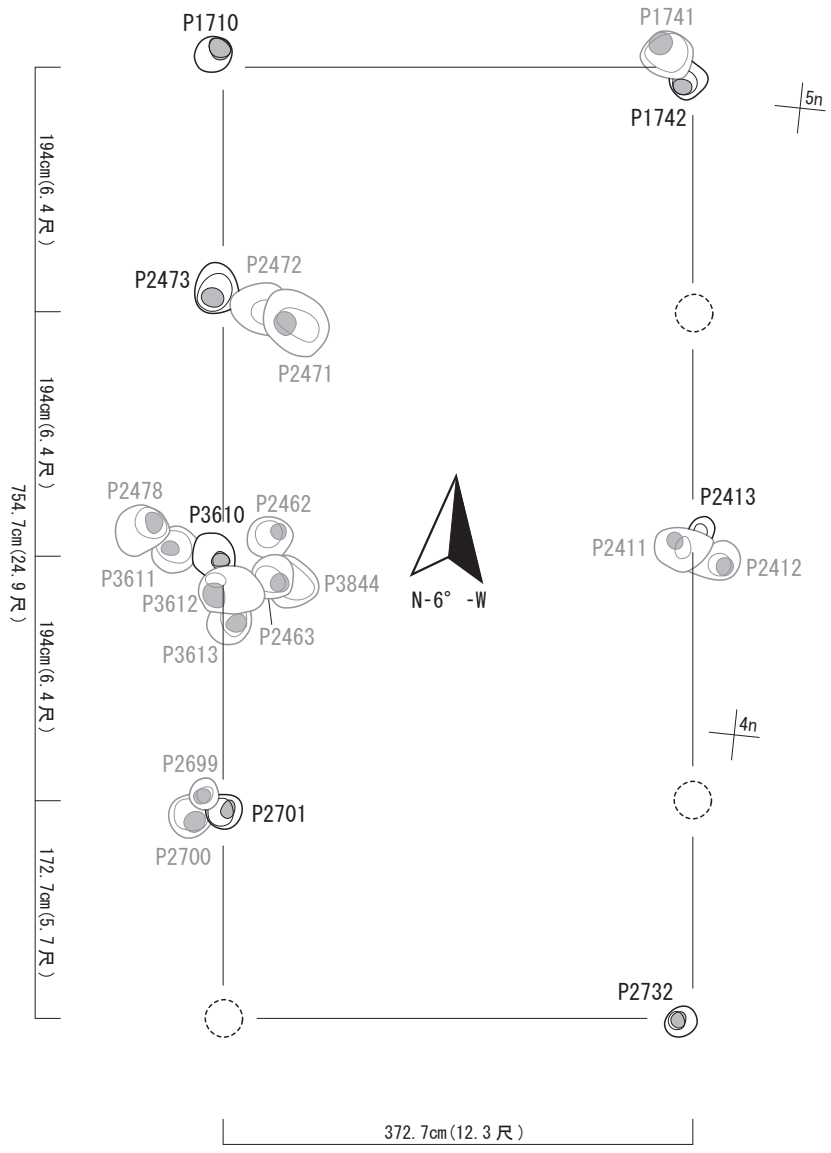
第162図　SB144

SB145（第 163 図　写真図版 97）	
位置　ⅠA3m、4m、5m　区画内部	**使用した柱穴**　7 個
桁行　754.7 cm（24 尺 9 寸）	**梁間**　372.7 cm（12 尺 3 寸）
面積　28.1㎡（8.5 坪）	**軸方向**　N-6°-W
柱間寸法　桁行では 194.0 cm（6 尺 4 寸）を使用している。梁間は 372.7 cm（12 尺 3 寸）であり、その半分の 186.35 cm（6 尺 1 寸 5 分）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB141　**本建物より新しい遺構**：SB2、SB29、SB48、SB94　**本建物と重複する遺構**：SB23、SB34、SB39、SB42、SB67、SB69、SB74、SB77、SB87、SB91、SB97、SB100、SB147、SB149、SB151、SB166	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋あるいは臨時の建物と推測される。桁行の柱間寸法は 6 尺 4 寸が多用されており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

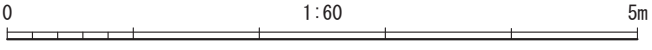
SB146（第 164 図　写真図版 97）	
位置　ⅠA5n、5o、5p、6n、6o、6p　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　597.1 cm（19 尺 7 寸）	**梁間**　448.4 cm（14 尺 8 寸）
面積　26.8㎡（8.1 坪）	**軸方向**　N-42°-W
柱間寸法　桁行では 191.0 cm（6 尺 3 寸）を多用している。梁間は 448.4 cm（14 尺 8 寸）であり、その半分の 224.2 cm（7 尺 4 寸）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB150　**本建物より新しい遺構**：SB3　**本建物と重複する遺構**：SB57、SB85、SB89、SB98、SB138、SB154、SB155、SB165	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋あるいは臨時の建物と推測される。桁行の柱間寸法は 6 尺 3 寸が多用されており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB147（第 165 図　写真図版 98）	
位置　ⅠA3m、3n、4m、4n　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　657.6 cm（21 尺 7 寸）	**梁間**　281.8 cm（9 尺 3 寸）
面積　18.5㎡（5.6 坪）	**軸方向**　N-3°-W
柱間寸法　桁行では 163.6 cm（5 尺 4 寸）を多用している。梁間は 281.8 cm（9 尺 3 寸）であり、その半分の 140.9 cm（4 尺 6 寸 5 分）あるいは 2/3 の 187.87 cm（6 尺 2 寸）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB2、SB23、SB29、SB34、SB39、SB42SB56、SB67、SB73、SB87、SB91、SB94、SB97、SB139、SB145、SB149、SB151、SX9	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋あるいは臨時の建物と推測される。桁行の柱間寸法は 5 尺 4 寸が多用されており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB145 28.1㎡

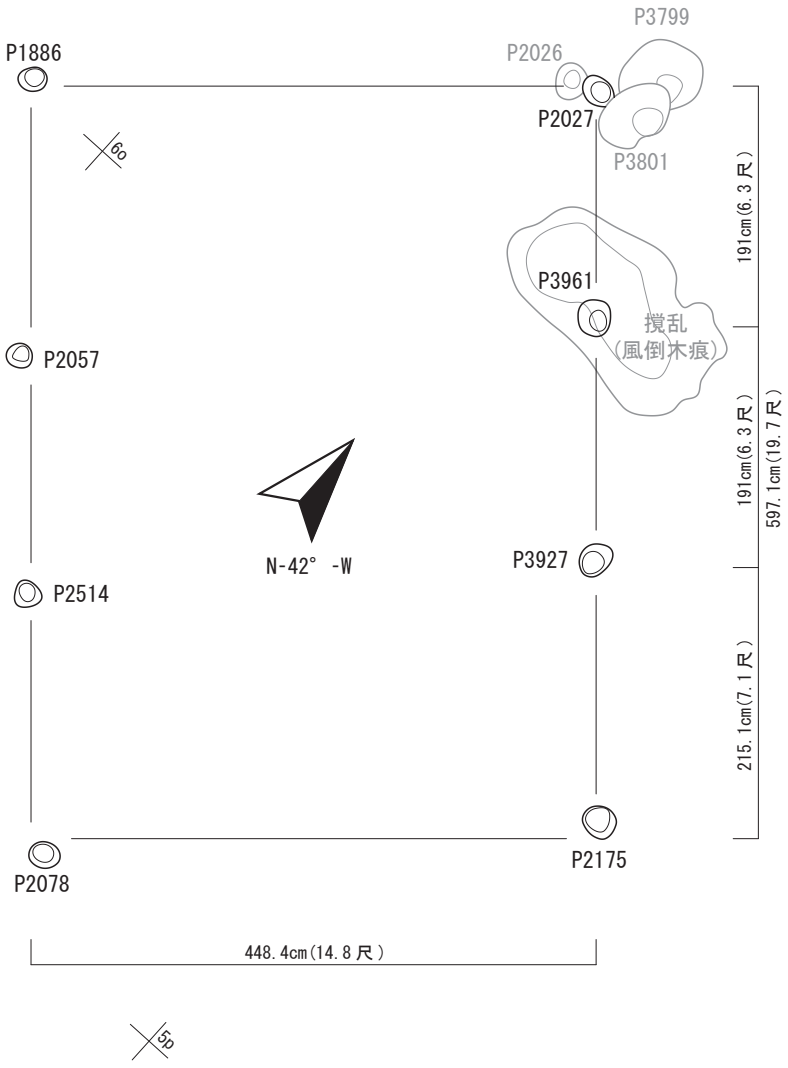


柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P1710	42.7	95.386
P1742	43.3	95.406
P2413	19.4	95.612
P2473	28.8	95.419
P2701	11.3	95.635
P2732	74.9	95.521
P3610	54.0	95.217

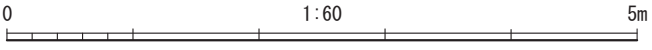


第163図　SB145

SB146 26.8㎡

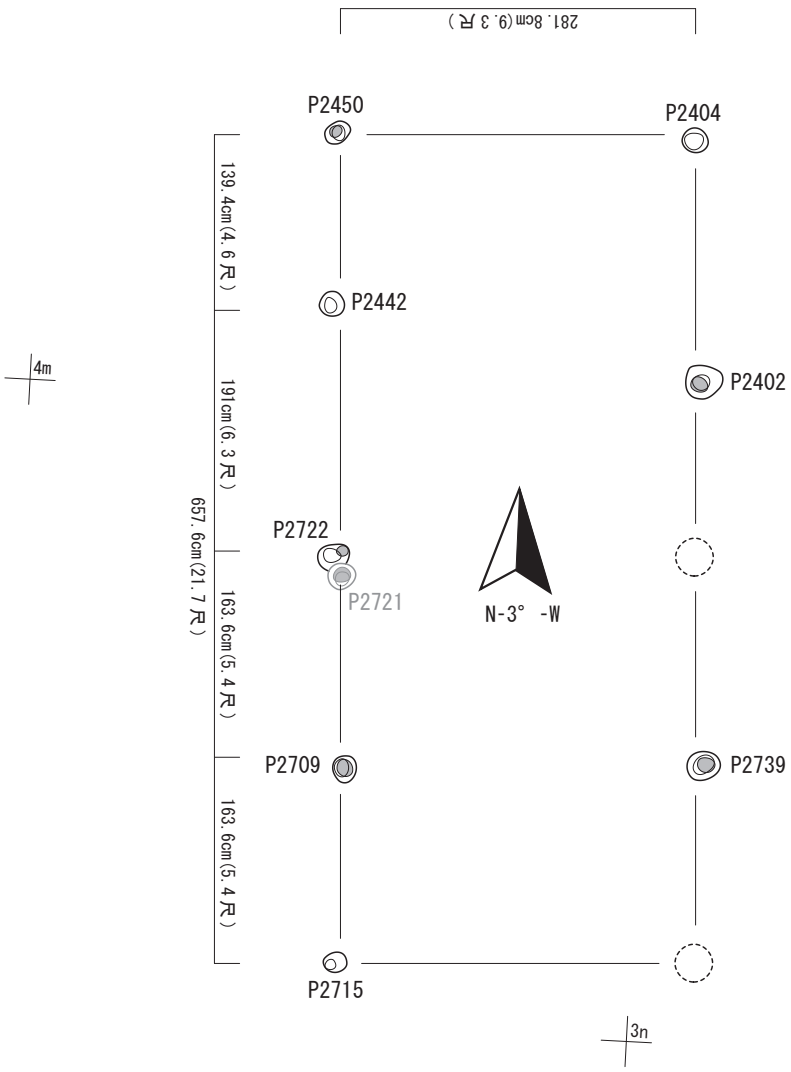


柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1886	8.4	95.819
P2027	17.9	95.743
P2057	5.4	95.836
P2078	19.5	95.678
P2175	16.5	95.687
P2514	16.1	95.714
P3927	19.2	95.687
P3961	26.2	95.436

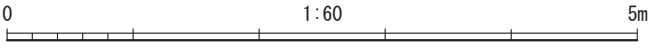


第 164 図　SB146

SB147 18.5㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2402	33.6	95.439
P2404	8.0	95.690
P2442	13.4	95.669
P2450	16.7	95.676
P2709	74.4	95.551
P2715	80.3	95.472
P2722	15.6	95.616
P2739	59.7	95.658



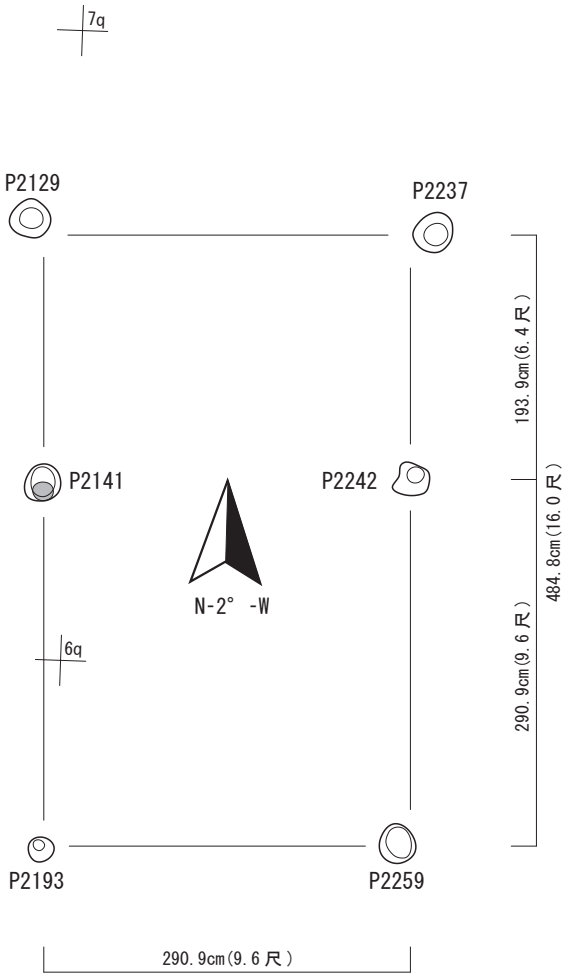
第165図　SB147

SB148（第 166 図　写真図版 98）	
位置　ⅠA5p、5q、6p、6q　区画内部	**使用した柱穴**　6 個
桁行　484.8 cm（16 尺）	**梁間**　290.9 cm（9 尺 6 寸）
面積　14.1㎡（4.3 坪）	**軸方向**　N-2°-W
柱間寸法　桁行では 193.9 cm（6 尺 4 寸）と 290.9 cm（9 尺 6 寸）を使用している。9 尺 6 寸は 6 尺 4 寸のちょうど 1.5 倍であり、193.9 cm（6 尺 4 寸）を基準とした寸法と推測される。梁間は 290.9 cm（9 尺 6 寸）である。この寸法も 6 尺 4 寸のちょうど 1.5 倍であり、梁間の基準寸法も 193.9 cm（6 尺 4 寸）と推測される。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB3、SB75、SB86、SB89、SB93、SB96、SB140、SB142、SB144、SB152、SB155、SB158、SB162、SB165	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋あるいは臨時の建物と推測される。柱間寸法は桁行も梁間も 6 尺 4 寸に準拠した寸法であり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

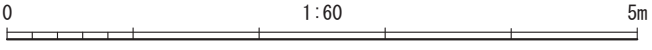
SB149（第 167 図　写真図版 99）	
位置　ⅠA1m、1n、2m、2n、3m、3n、4m　区画内部	**使用した柱穴**　10 個
桁行　1212.0 cm（40 尺）	**梁間**　169.7 cm（5 尺 6 寸）
面積　20.6㎡（6.2 坪）	**軸方向**　N-8°-W
柱間寸法　桁行では 244.4 cm（8 尺）を使用している。梁間は 169.7 cm（5 尺 6 寸）である。8 尺のちょうど 7/10 の長さであり、8 尺に準拠した柱間寸法の可能性が高い。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB151　**本建物より新しい遺構**：SB2、SB34、SB129　**本建物と重複する遺構**：SB23、SB39、SB51、SB56、SB67、SB73、SB91、SB97、SB139、SB145、SB147、SX9	
庇、下屋のない平面形である。面積的には小型の建物である。形状が特異で建物として成り立つのか疑問も残るが、寸法が整っている柱穴列で構成され、建物として提示している。柱間寸法は桁行では 8 尺で均等で、梁間の柱間寸法も 8 尺に準拠した可能性が高くあり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　1 期（1153～1189 年頃）の建物と想定する。	

SB150（第 168 図　写真図版 99）	
位置　ⅠA5o、5p、6o、6p　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　715.1 cm（23 尺 6 寸）	**梁間**　254.5 cm（8 尺 4 寸）
面積　18.2㎡（5.5 坪）	**軸方向**　N-2°-W
柱間寸法　桁行では柱間が 3 箇所あるが、194.0 cm（6 尺 4 寸）、236.3 cm（7 尺 8 寸）、284.8 cm（9 尺 4 寸）といずれも寸法が異なっており、基準寸法を見出し難い。桁行の総長 715.1 cm（23 尺 6 寸）の 1/3 は約 238.3 cm（7 尺 8 寸 6 分）であり、使用されている 7 尺 8 寸に値が近く、236.3 cm（7 尺 8 寸）が基準寸法の可能性もある。梁間は 254.5 cm（8 尺 4 寸）であり、基準寸法を見出し難い。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB146　**本建物と重複する遺構**：SB3、SB57、SB66、SB82、SB85、SB89、SB98、SB138、SB154、SB164、SB165	
庇、下屋のない平面形で、梁間が一間相当の小型の建物である。附属屋あるいは臨時の建物の可能性が高い。桁行の柱間はそれぞれ寸法が異なっており、不整な感じは否めない。直接の出土遺物はない。	
想定時期　7 期（1375～1411 年頃）の建物と想定する。	

SB148 14.1㎡

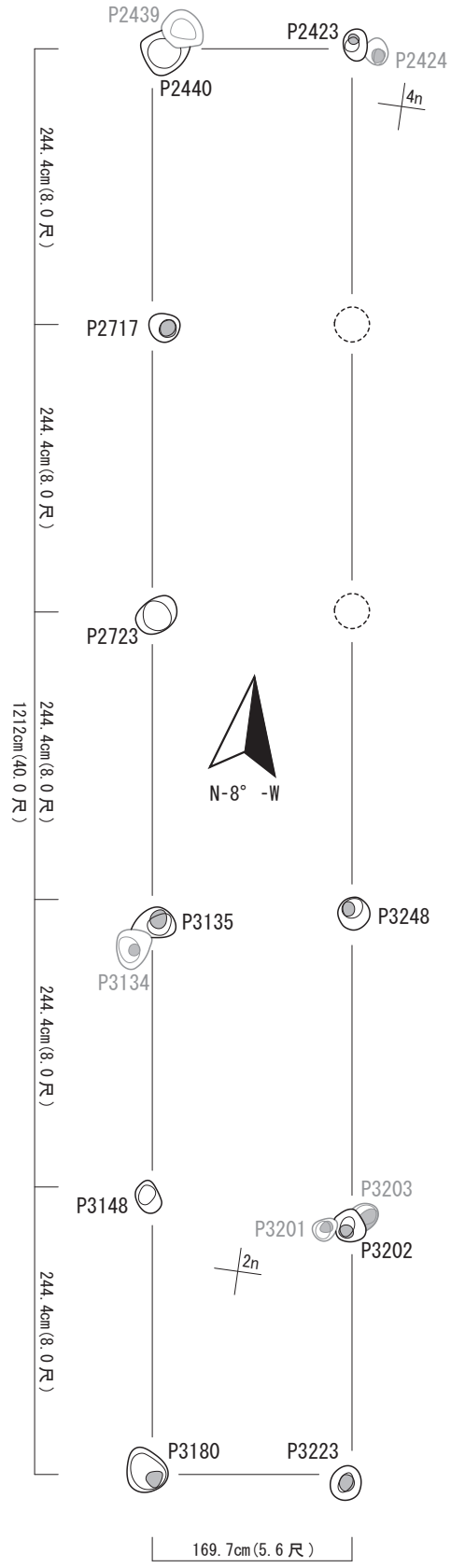


柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2129	23.8	95.661
P2141	11.4	95.824
P2193	16.4	95.716
P2237	23.7	95.649
P2242	19.0	95.679
P2259	18.7	95.649



第166図　SB148

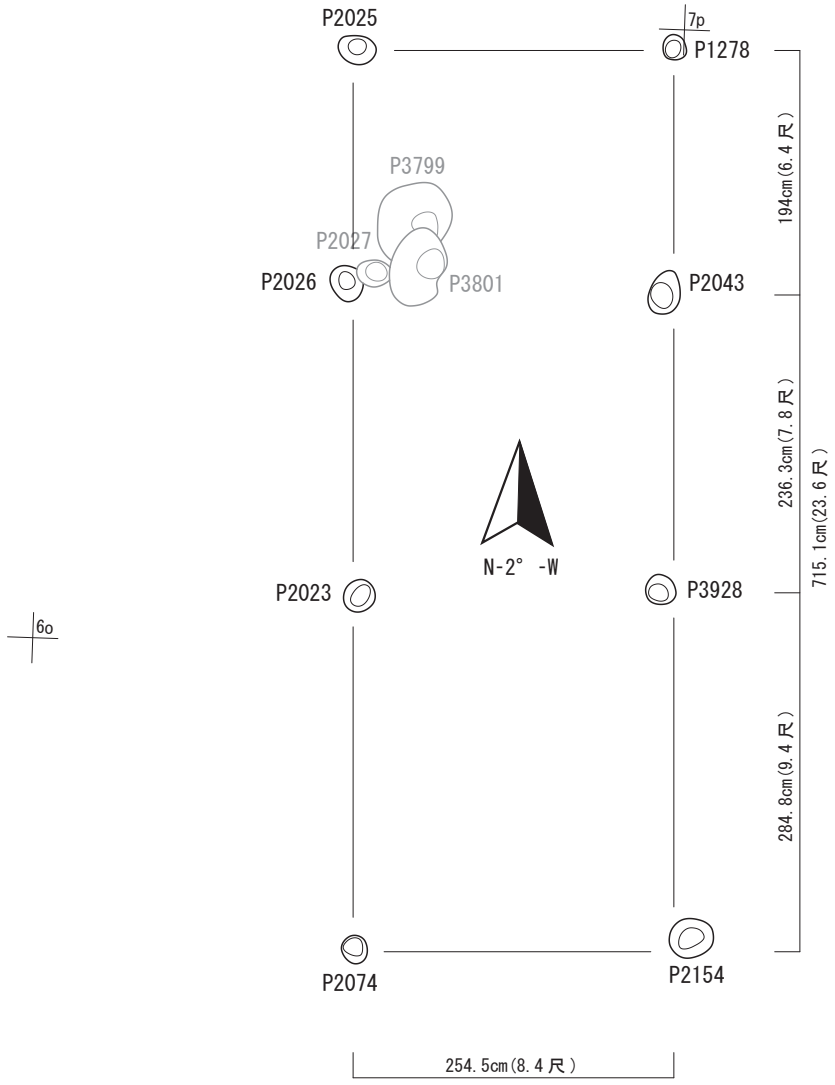
SB149 20.6㎡



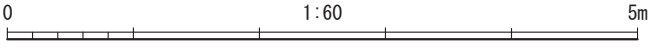
柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P2423	20.7	95.576
P2440	39.5	95.393
P2717	68.4	95.620
P2723	80.1	95.496
P3135	11.9	95.670
P3148	10.5	95.666
P3180	22.4	95.516
P3202	21.6	95.565
P3223	12.4	95.652
P3248	37.0	95.409

第167図　SB149

SB150 18.2㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1278	44.3	95.736
P2023	18.6	95.765
P2025	13.2	95.803
P2026	21.1	95.719
P2043	30.9	95.632
P2074	5.8	95.856
P2154	13.6	95.661
P3928	15.7	95.754



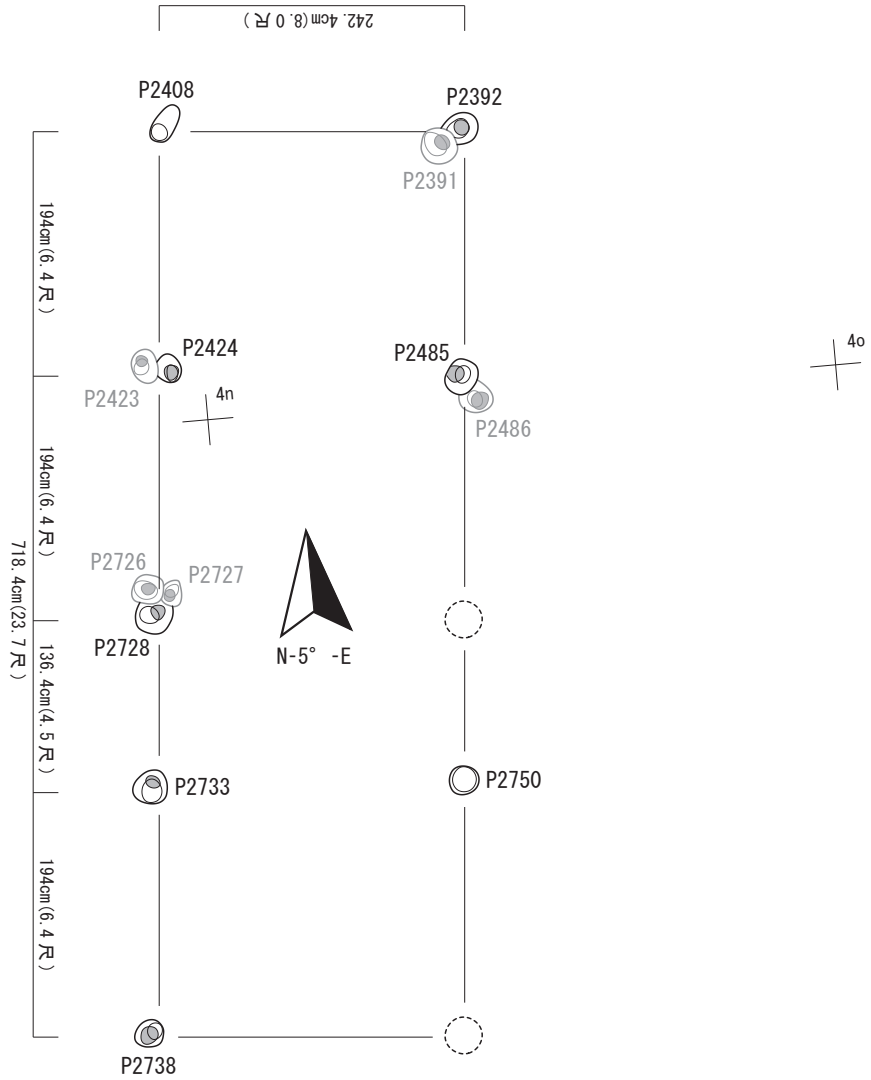
第168図　SB150

SB151（第 169 図　写真図版 100）	
位置　ⅠA3m、3n、4m、4n　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　718.4 cm（23 尺 7 寸）	**梁間**　242.4 cm（8 尺）
面積　17.4㎡（5.3 坪）	**軸方向**　N-5°-E
柱間寸法　桁行では 194.0 cm（6 尺 4 寸）を多用している。梁間は総長 242.4 cm（8 尺）である。ちょうど 8 尺であることから、この寸法が梁間の基準寸法と推測する。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB23、SB149　**本建物と重複する遺構**：SB29、SB39、SB51、SB56、SB67、SB73、SB91、SB97、SB129、SB139、SB145、SB147、SX8、SX9	
庇、下屋のない平面形で、梁間が一間相当の小型の建物である。附属屋あるいは臨時の建物の可能性が高い。桁行の柱間寸法西辺では 6 尺 4 寸が多用されており、梁間も 8 尺ちょうどであり、ある程度の設計はあった建物と解釈される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

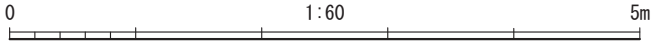
SB152（第 170 図　写真図版 100）	
位置　ⅠA5p、5q、6p、6q、7p、7q　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　675.7 cm（22 尺 3 寸）	**梁間**　194.0 cm（6 尺 4 寸）
面積　13.1㎡（4.0 坪）	**軸方向**　N-7°-W
柱間寸法　桁行では 203.0 cm（6 尺 7 寸）を多用している。梁間は総長 194.0 cm（6 尺 4 寸）で、この寸法が梁間の基準寸法と推測する。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB3、SB78、SB82、SB86、SB89、SB96、SB140、SB144、SB148、SB154、SB158、SB160、SB162、SB164、SB165	
庇、下屋のない平面形で、梁間が一間相当の小型の建物である。附属屋あるいは臨時の建物の可能性が高い。桁行の柱間寸法西辺では 6 尺 7 寸が多用されているが、東辺ではずれが認められ、不整な感じは否めない。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB153（第 171 図　写真図版 101）	
位置　ⅠA3b、3c、4b、4c、5b、5c　区画外部	**使用した柱穴**　15 個
桁行　検出分 593.6 cm（18 尺 6 寸）	**梁間**　657.6 cm（6 尺 4 寸）
面積　検出分 44.2㎡（13.4 坪）	**軸方向**　N-3°-W
柱間寸法　身舎桁行では 230.3 cm（7 尺 6 寸）を使用している。身舎梁間は総長 442.4 cm（14 尺 6 寸）で、その半分の 221.2 cm（7 尺 3 寸）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：SK30　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB157、SB159、SB161、SB163、SK25、SK28	
桁行が調査区外（西側）に伸びており全体形は不明である。身舎に三面（以上）の庇が付く構造である。身舎は 442.4 cm（14 尺 6 寸）×460.6 cm（15 尺 2 寸）以上の規模である。庇の出は南面で 4 尺 1 寸、北面 3 尺、東面で 4 尺とそれぞれ異なる。庇の北東隅、南東隅にも柱穴が存在する。身舎の柱間寸法は桁行で 7 尺 6 寸と整っており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。全体の規模は中型の建物と推測される。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB151 17.4㎡

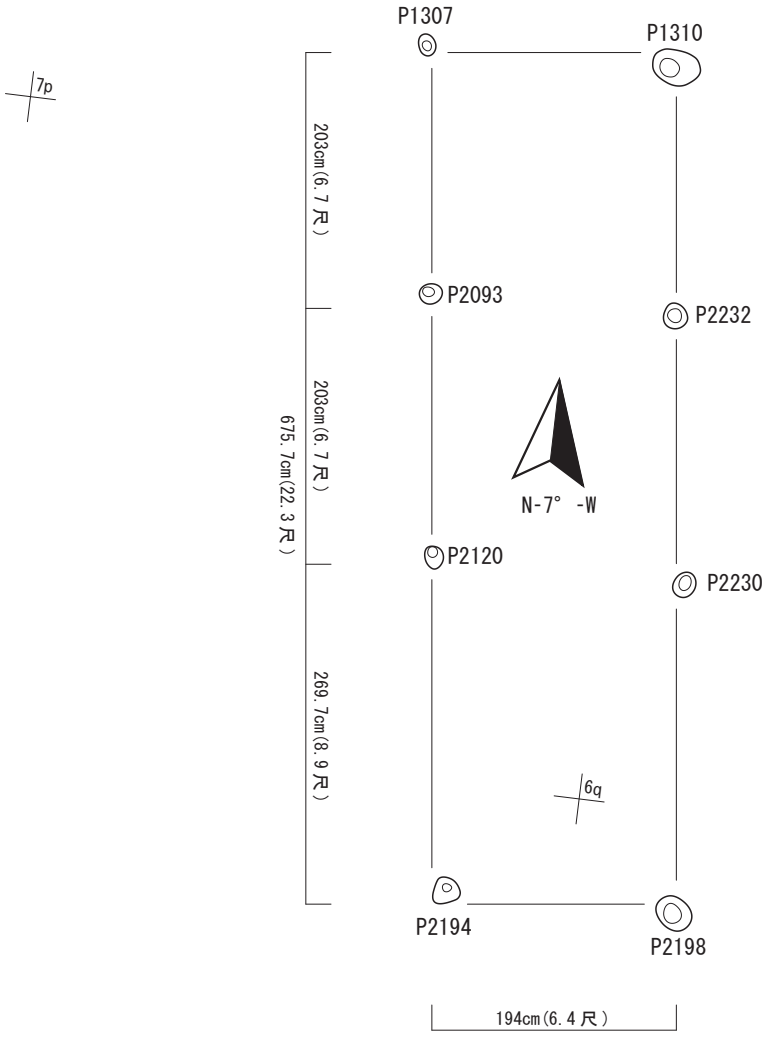


柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2392	71.4	95.643
P2408	11.5	95.689
P2424	9.1	95.686
P2485	59.9	95.681
P2728	87.2	95.408
P2733	71.7	95.558
P2738	61.1	95.632
P2750	58.6	95.664

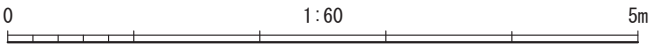


第169図　SB151

SB152 13.1㎡

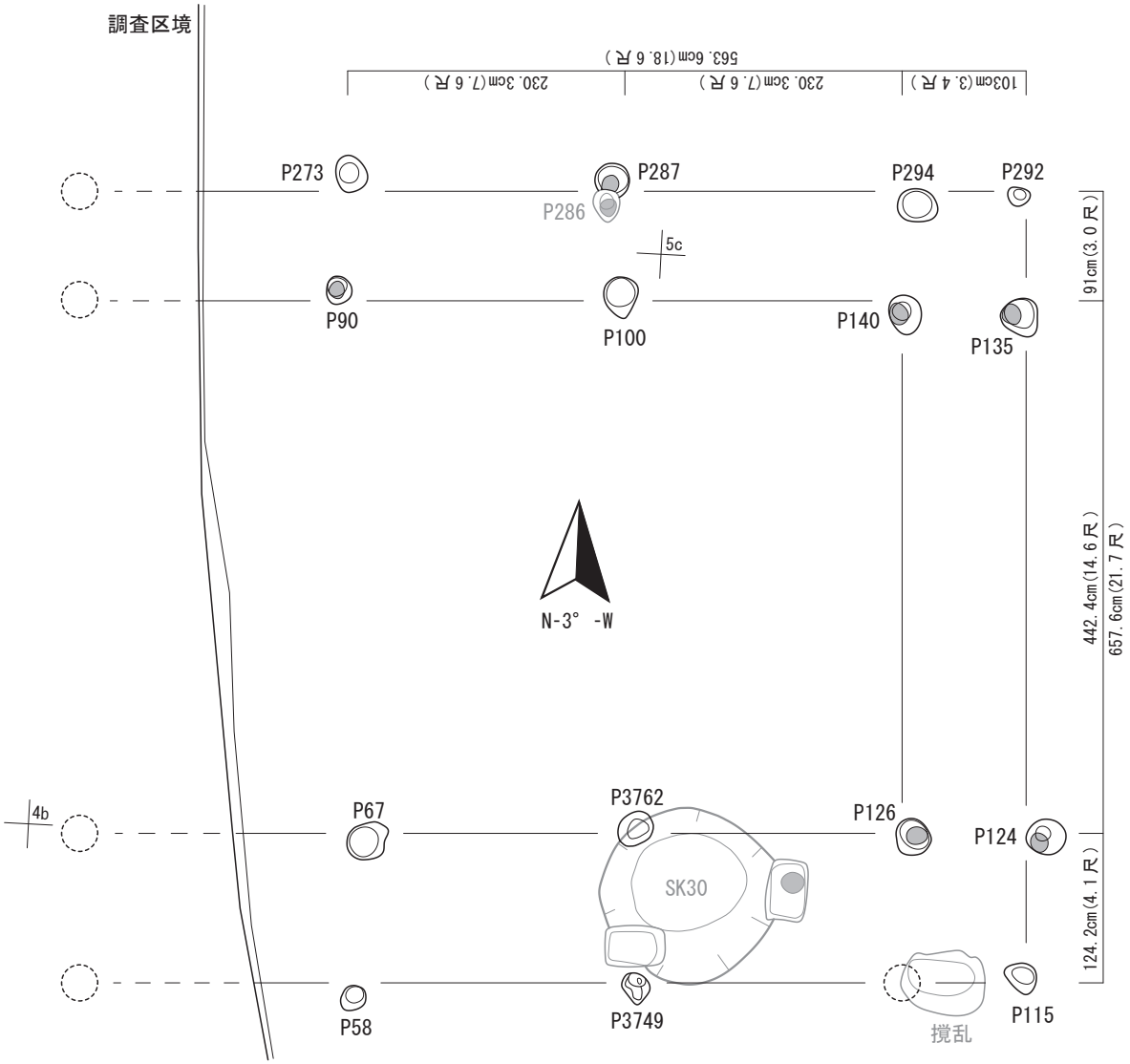


柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1307	25.0	95.811
P1310	6.7	95.596
P2093	4.8	95.870
P2120	5.4	95.857
P2194	13.0	95.752
P2198	37.7	95.456
P2230	8.4	95.809
P2232	9.5	95.798



第 170 図　SB152

SB153 検出分44.2㎡



柱穴番号	深さ（cm）	底面標高（m）
P58	11.1	95.952
P67	27.4	95.774
P90	11.8	95.996
P100	28.7	95.825
P115	11.4	95.906
P124	31.7	95.743
P126	15.7	95.879
P135	29.7	95.781
P140	25.1	95.857
P273	25.1	95.864
P287	25.2	95.914
P292	9.6	96.025
P294	11.9	96.002
P3749	18.9	95.951
P3762	22.2	95.832

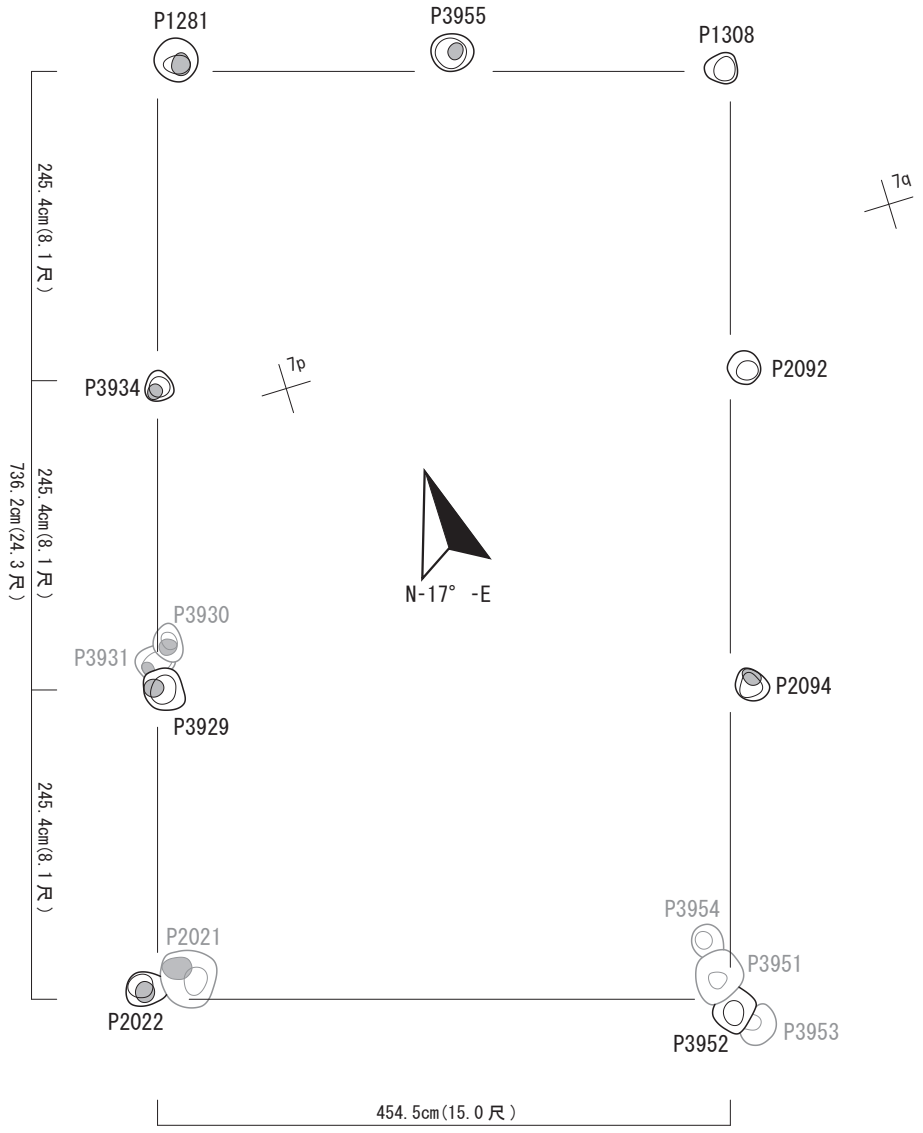
第171図　SB153

SB154（第 172 図　写真図版 101）	
位置　ⅠA5o、5p、6o、6p、7o、7p　区画内部	**使用した柱穴**　9 個
桁行　736.2 cm（24 尺 3 寸）	**梁間**　454.5 cm（15 尺）
面積　検出分 33.5㎡（10.2 坪）	**軸方向**　N-17°-E
柱間寸法　身舎桁行では 245.4 cm（8 尺 1 寸）を使用している。身舎梁間は総長 454.5 cm（15 尺）で、その半分の 227.25 cm（7 尺 5 寸）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB98　**本建物より新しい遺構**：SB3　**本建物と重複する遺構**：SB52、SB57、SB66、SB78、SB82、SB85、SB86、SB88、SB138、SB140、SB146、SB150、SB152、SB158、SB160、SB162、SB164、SB165	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋あるいは臨時の建物と推測される。桁行の柱間寸法は 8 尺 1 寸と均一であり、梁間も 15 尺ちょうどであり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

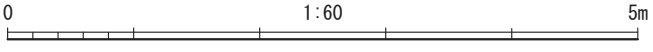
SB155（第 173 図　写真図版 102）	
位置　ⅠA4p、4q、4r、5p、5q、5r　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　987.8 cm（32 尺 6 寸）	**梁間**　387.8 cm（12 尺 8 寸）
面積　38.3㎡（11.6 坪）	**軸方向**　N-1°-E
柱間寸法　桁行では柱間が 4 箇所あるが、242.4 cm（8 尺）、200.0 cm（6 尺 6 寸）、260.6 cm（8 尺 6 寸）、284.8 cm（9 尺 4 寸）といずれも寸法が異なっており、基準寸法を見出し難い。桁行の総長 987.8 cm（32 尺 6 寸）の 1/4 の 246.95 cm（8 尺 1 寸 5 分）程度が基準寸法であろうか。梁間は 387.8 cm（12 尺 8 寸）で、その半分の 193.9 cm（6 尺 4 寸）が基準寸法と推測する。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB4、SB26、SB75、SB89、SB93、SB96、SB98、SB142、SB144、SB146、SB148、SD8	
庇、下屋のない平面形で、やや小型の建物である。附属屋あるいは臨時の建物の可能性が高い。柱間寸法がやや不揃いであり、不整な印象がある。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB156（第 174 図　写真図版 102）	
位置　ⅠA7b、7c、8a、8b、8c　区画外部	**使用した柱穴**　13 個
桁行　検出分 522.4 cm（17 尺 9 寸）	**梁間**　624.2 cm（20 尺 6 寸）
面積　検出分 30.8㎡（9.3 坪）	**軸方向**　N-5°-W
柱間寸法　身舎桁行では 221.2 cm（7 尺 3 寸）を使用している。身舎梁間では 221.2 cm（7 尺 3 寸）を使用している。よって本建物は 221.2 cm（7 尺 3 寸）が基準寸法と判断される。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SX4	
桁行が調査区外（西側）に伸びており全体形は不明である。身舎に三面（以上）の庇が付く構造である。身舎は 442.4 cm（14 尺 6 寸）×442.4 cm（14 尺 6 寸）以上の規模である。庇の出は南北面で 3 尺、東面で 3 尺 3 寸である。庇の北東隅、南東隅には柱穴は配置されない。身舎の柱間寸法は桁行、梁間ともに 7 尺 3 寸と整っており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。全体の規模は中型の建物と推測される。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB154 33.5㎡

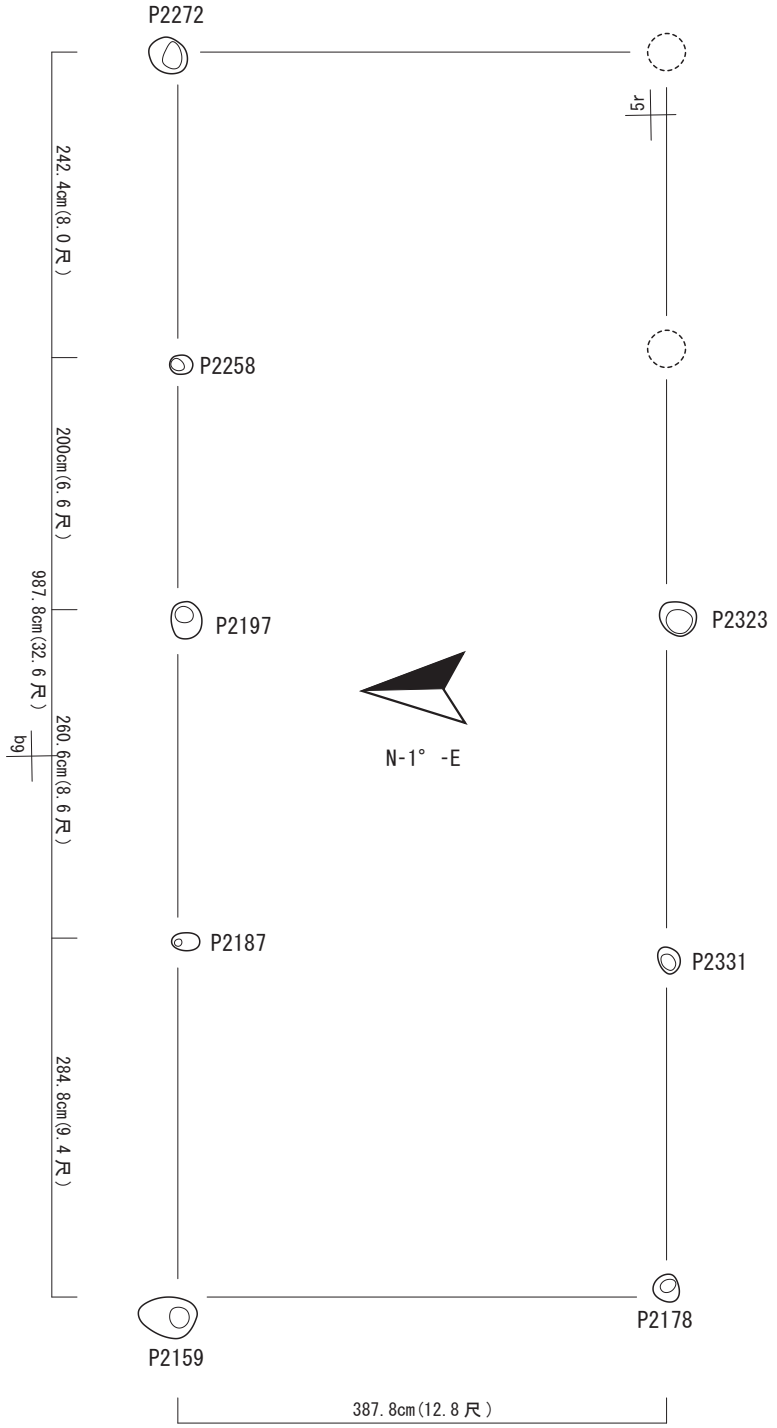


柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P1281	31.6	95.725
P1308	14.9	95.701
P2022	41.7	95.514
P2092	20.9	95.721
P2094	6.2	95.830
P3929	23.6	95.648
P3934	10.2	95.792
P3952	20.7	95.617
P3955	11.7	95.734

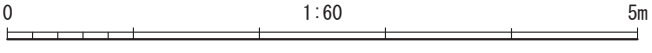


第172図　SB154

SB155 38.3㎡

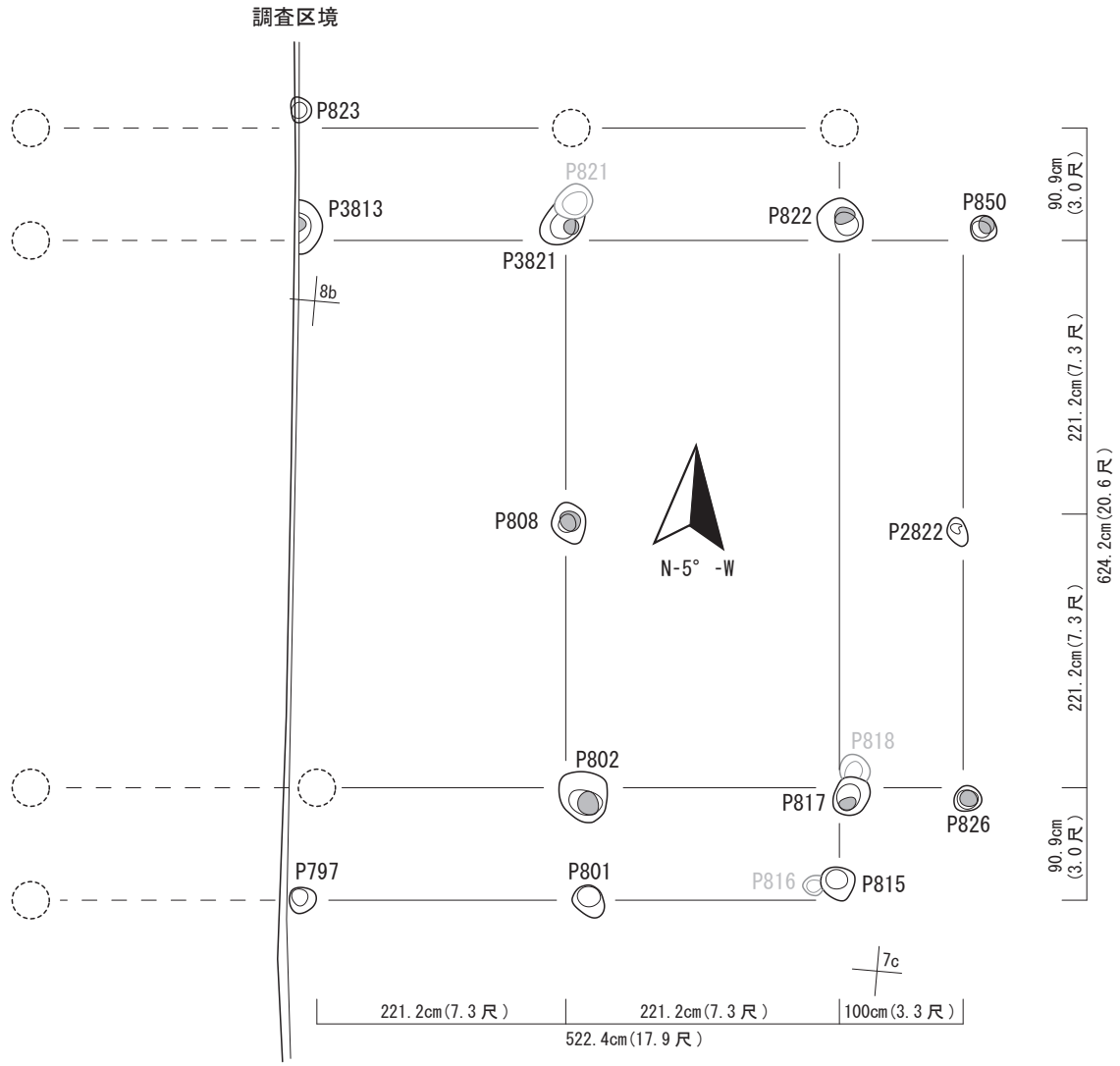


柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2159	17.2	95.753
P2178	27.7	95.574
P2187	16.6	95.698
P2197	13.4	95.718
P2258	7.6	95.754
P2272	27.5	95.498
P2323	18.8	95.660
P2331	9.5	95.756

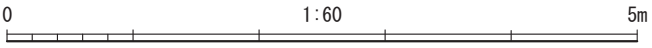


第173図　SB155

SB156 検出分30.8㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P797	27.7	95.909
P801	19.4	95.984
P802	21.2	96.003
P808	33.2	95.909
P815	25.5	95.924
P817	17.2	96.048
P822	31.5	95.914
P823	15.4	96.175
P826	19.4	96.003
P850	22.8	96.003
P2822	19.1	96.061
P3813	46.0	95.661
P3821	19.2	96.082



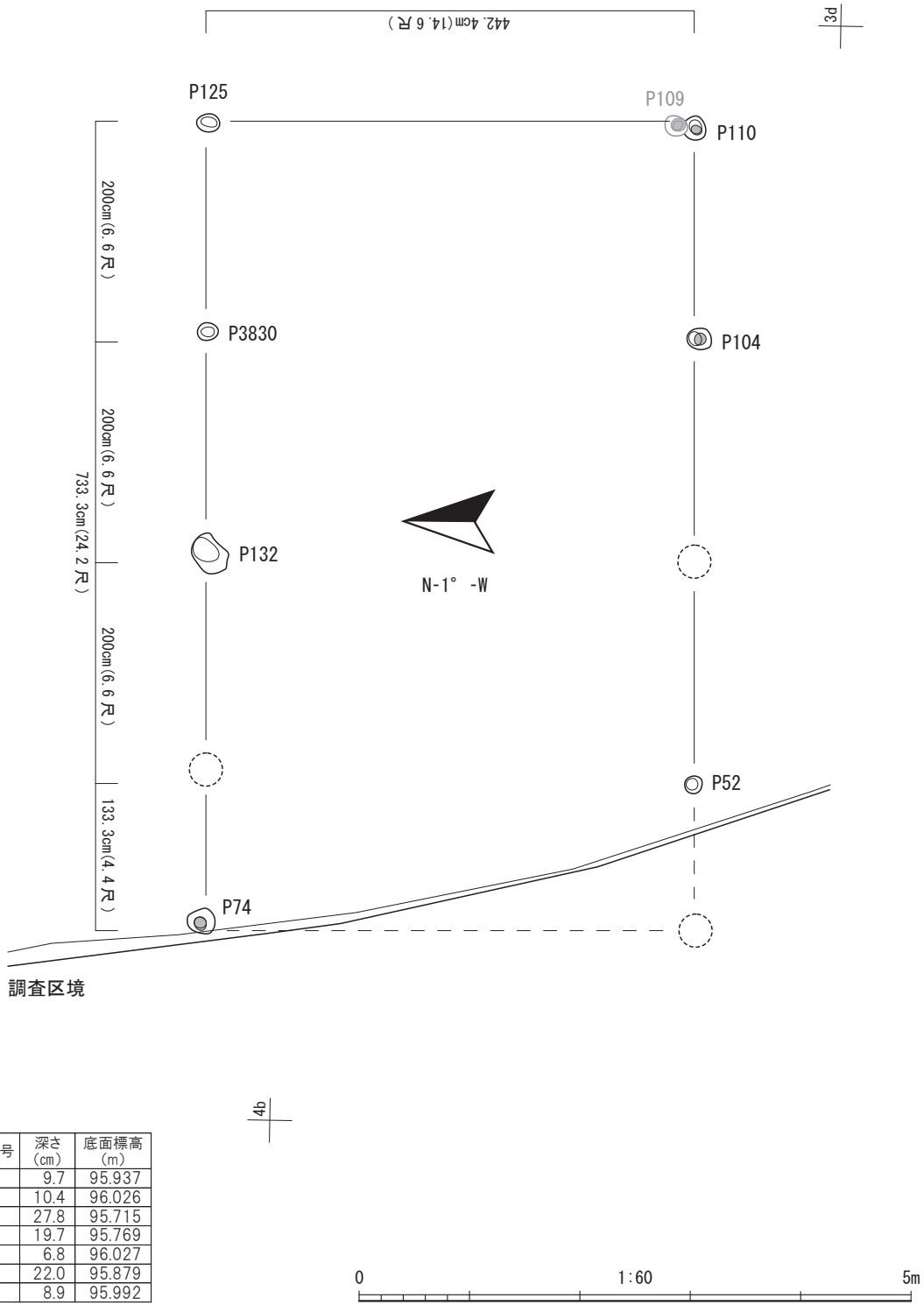
第 174 図　SB156

SB157（第 175 図　写真図版 103）	
位置　ⅠA3b、3c、4b、4c　区画外部	**使用した柱穴**　7 個
桁行　推定 733.3 cm（24 尺 2 寸）	**梁間**　442.4 cm（14 尺 6 寸）
面積　推定 32.4㎡（9.8 坪）	**軸方向**　N-1°-W
柱間寸法　桁行では 200.0 cm（6 尺 6 寸）を多用している。133.3 cm（4 尺 4 寸）の柱間が一箇所あるが、これは 6 尺 6 寸のちょうど 2/3 の寸法であり、6 尺 6 寸に準拠しているものである。梁間は 442.4 cm（14 尺 6 寸）であり、その半分の 221.2 cm（7 尺 3 寸）が基準寸法であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB159　**本建物と重複する遺構**：SB153、SB159、SB161、SB163、SK30	
桁行が調査区外（西側）に伸びる可能性もあるが、図示したプランを推定した。庇、下屋のない平面形の小型の建物である。附属屋の可能性が高いと推測される。桁行の柱間寸法は 6 尺 6 寸とそれに準拠した寸法で規則性が見出せ、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB158（第 176 図　写真図版 103）	
位置　ⅠA6p、6q、7p　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　618.0 cm（20 尺 4 寸）	**梁間**　224.2 cm（7 尺 4 寸）
面積　13.9㎡（4.2 坪）	**軸方向**　N-16°-E
柱間寸法　桁行では 206.0 cm（6 尺 8 寸）を使用している。梁間は総長 224.2 cm（7 尺 4 寸）で、この寸法が基準寸法と推測する。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB164、SB165　**本建物と重複する遺構**：SB3、SB75、SB82、SB86、SB89、SB93、SB96、SB98、SB140、SB142、SB148、SB152、SB154、SB162、SB164、SB165	
庇、下屋のない平面形で、梁間が一間相当の小型の建物である。附属屋あるいは臨時の建物の可能性が高い。桁行の柱間寸法は 6 尺 8 寸と均一であり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB159（第 177 図　写真図版 104）	
位置　ⅠA3b、3c、4b、4c　区画外部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　推定 696.9 cm（23 尺）	**梁間**　363.6 cm（12 尺）
面積　推定 25.3㎡（7.7 坪）	**軸方向**　N-1°-W
柱間寸法　桁行では 181.8 cm（6 尺）を多用している。151.5 cm（5 尺）の柱間が一箇所あるが、これは 6 尺のちょうど 5/6 の寸法であり、6 尺に準拠しているものである。梁間は 363.6 cm（12 尺）であり、その半分の 181.8 cm（6 尺）が基準と推測される。よって本建物の基準寸法は 181.8 cm（6 尺）と判断される。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB157　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB153、SB161、SK30	
桁行が調査区外（西側）に伸びる可能性もあるが、図示したプランを推定した。庇、下屋のない平面形の小型の建物で、附属屋の可能性が高いと推測される。柱間寸法は桁行では 6 尺、あるいは 5 尺、梁間でも 12 尺と区切りのよい寸法であり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

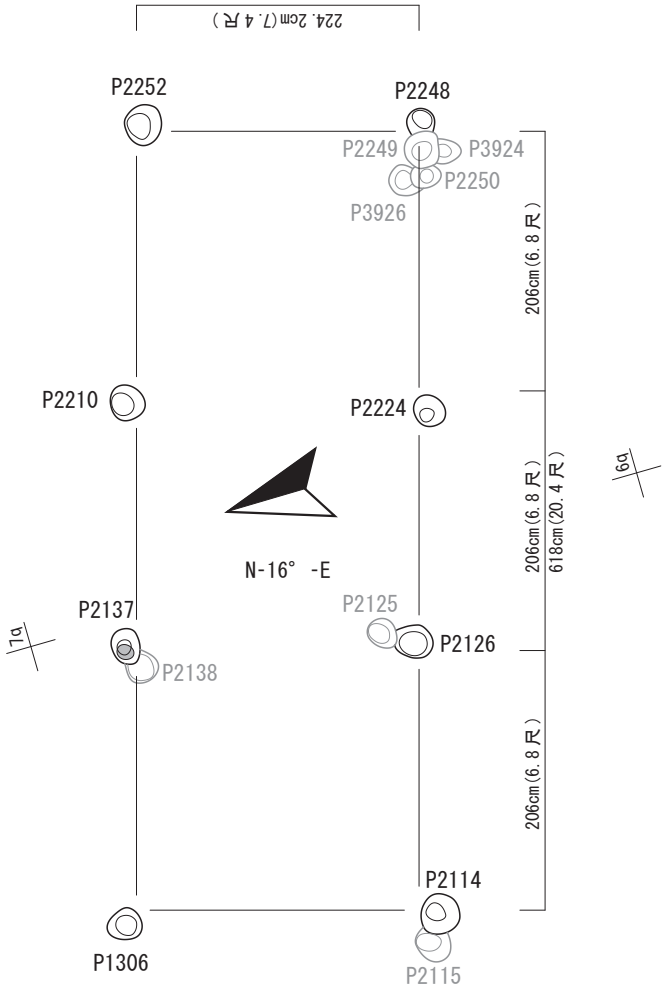
SB157 推定32.4㎡



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P52	9.7	95.937
P74	10.4	96.026
P104	27.8	95.715
P110	19.7	95.769
P125	6.8	96.027
P132	22.0	95.879
P3830	8.9	95.992

第175図　SB157

SB158 13.9㎡

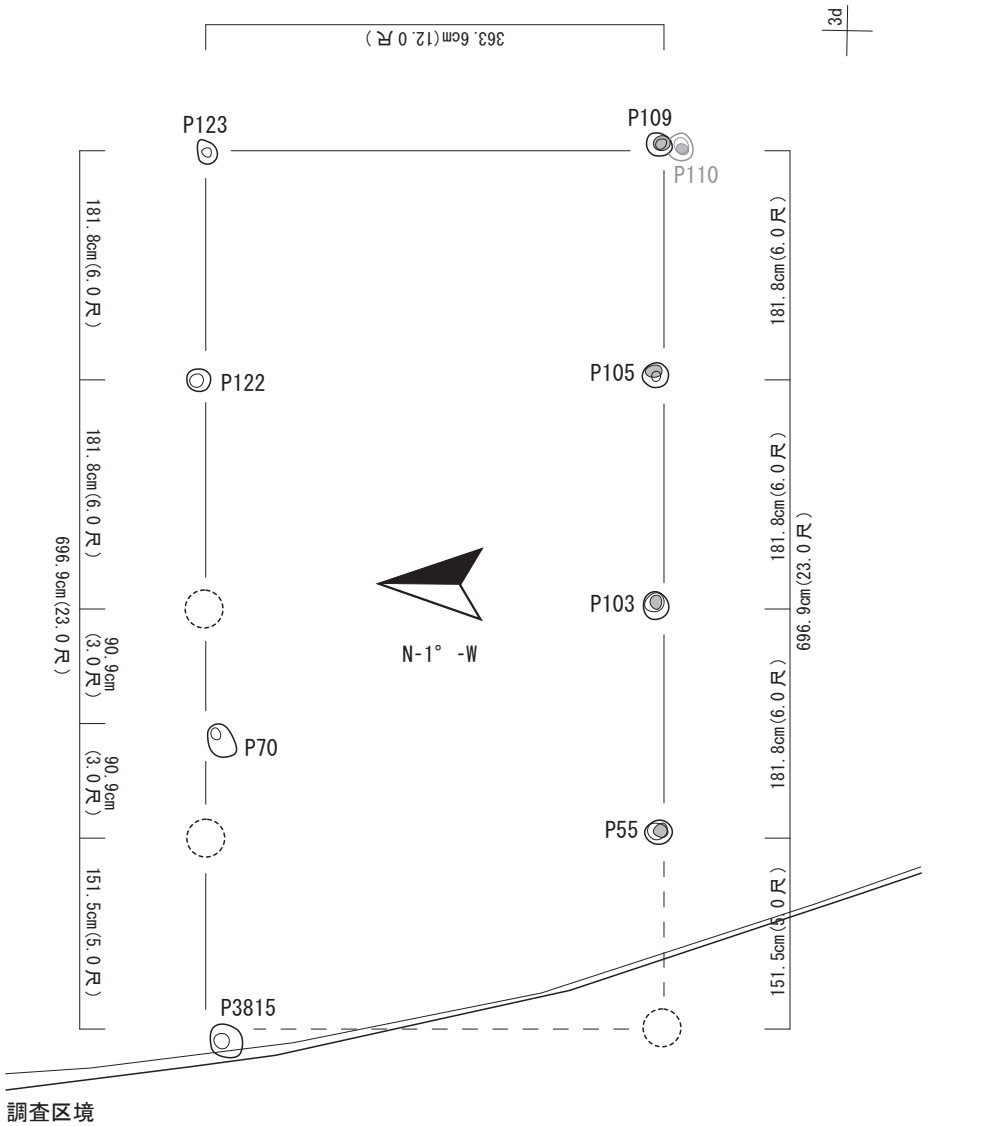


柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1306	14.8	95.697
P2114	37.5	95.504
P2126	27.0	95.649
P2137	11.1	95.788
P2210	29.0	95.590
P2224	18.5	95.697
P2248	15.6	95.691
P2252	10.2	95.775

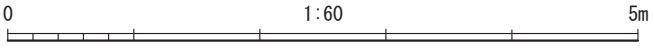
0　1:60　5m

第 176 図　SB158

SB159 推定25.3㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P55	15.6	95.866
P70	11.1	95.941
P103	12.0	95.869
P105	22.4	95.764
P109	21.1	95.765
P122	15.1	95.890
P123	24.7	95.778
P3815	32.6	95.701

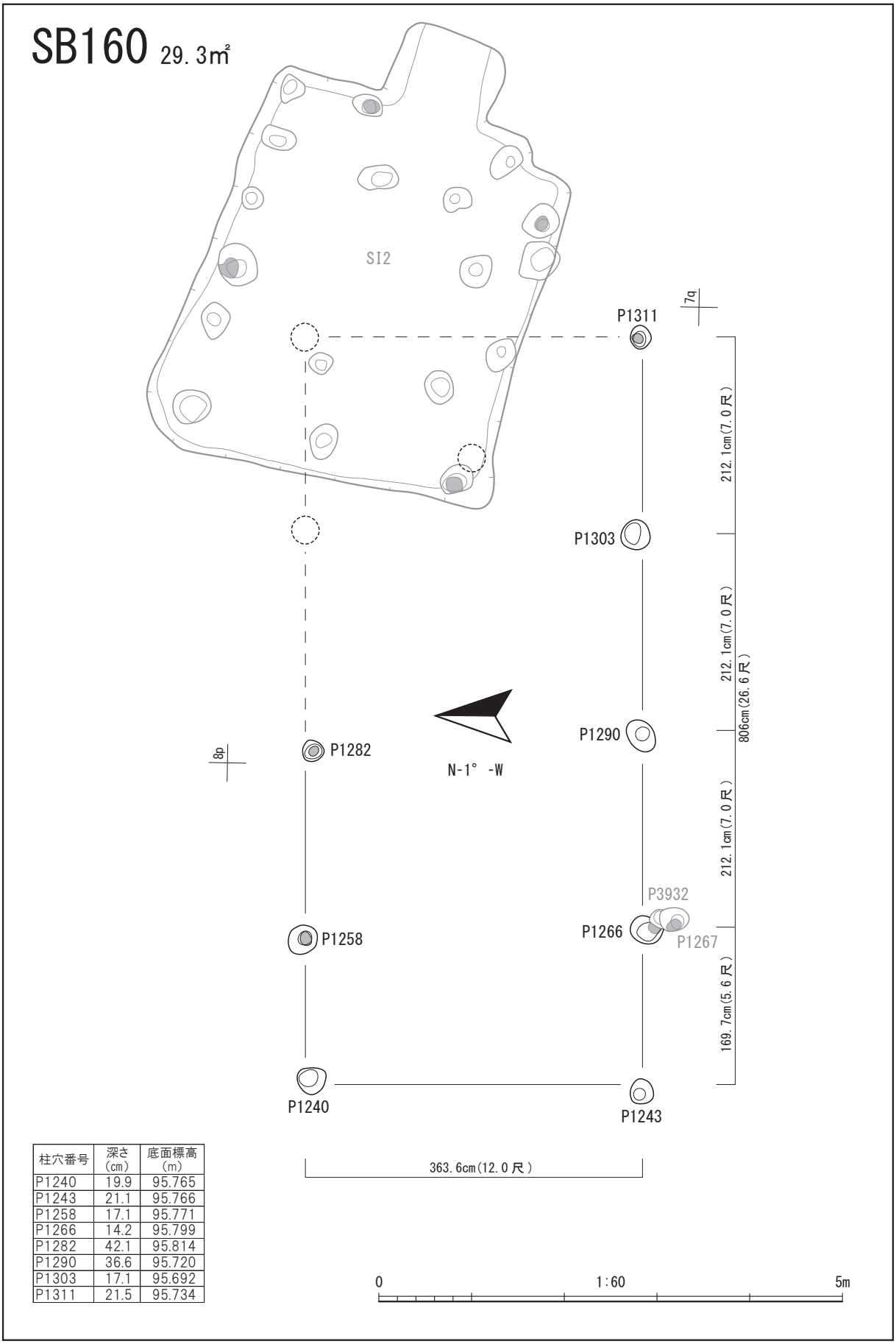


第 177 図　SB159

SB160（第 178 図　写真図版 104）	
位置　ⅠA7o、7p　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　806.0 cm（26 尺 6 寸）	**梁間**　363.6 cm（12 尺）
面積　29.3㎡（8.8 坪）	**軸方向**　N-1°-W
柱間寸法　桁行では 212.1 cm（7 尺）を多用している。169.7 cm（5 尺 6 寸）の柱間が一箇所あるが、これは 7 尺のちょうど 4/5 の寸法であり、7 尺に準拠しているものである。梁間は 363.6 cm（12 尺）で、その半分の 181.8 cm（6 尺）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB98、SI2　**本建物と重複する遺構**：SB3、SB52、SB55、SB66、SB78、SB82、SB86、SB152、SB154、SB162、SB164	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋あるいは臨時の建物と推測される。桁行の柱間寸法は 7 尺ないし、7 尺に準拠する寸法で統一され、梁間も 12 尺ちょうどであり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB161（第 179 図　写真図版 105）	
位置　ⅠA3b、3c、4b、4c　区画外部	**使用した柱穴**　6 個
桁行　検出分 621.05 cm（20 尺 5 寸）	**梁間**　424.2 cm（14 尺）
面積　検出分 28.0㎡（8.5 坪）	**軸方向**　N-6°-W
柱間寸法　桁行では柱間が 3 箇所あるが、187.8 cm（6 尺 2 寸）、206.0 cm（6 尺 8 寸）、227.25 cm（7 尺 5 寸）といずれも寸法が異なっており、基準寸法を見出し難い。桁行の総長 621.05 cm（20 尺 5 寸）の 1/3 は約 207.0 cm（6 尺 8 寸 3 分）であり、使用されている 6 尺 8 寸に値が近く、206.0 cm（6 尺 8 寸）が基準寸法の可能性もある。梁間は 424.2 cm（14 尺）であり、その半分の 212.1 cm（7 尺）が基準と推測される。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB153、SB157、SB159、SB163、SK30	
桁行が調査区外（西側）に伸びており全体形は不明である。庇、下屋のない平面形である。小型の建物と推測されるが、用途は明らかにし得ない。検出された分の桁行の柱間寸法は均一ではなく柱間寸法を見出し難いが、梁間の長さは 14 尺と区切りのよい長さであり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

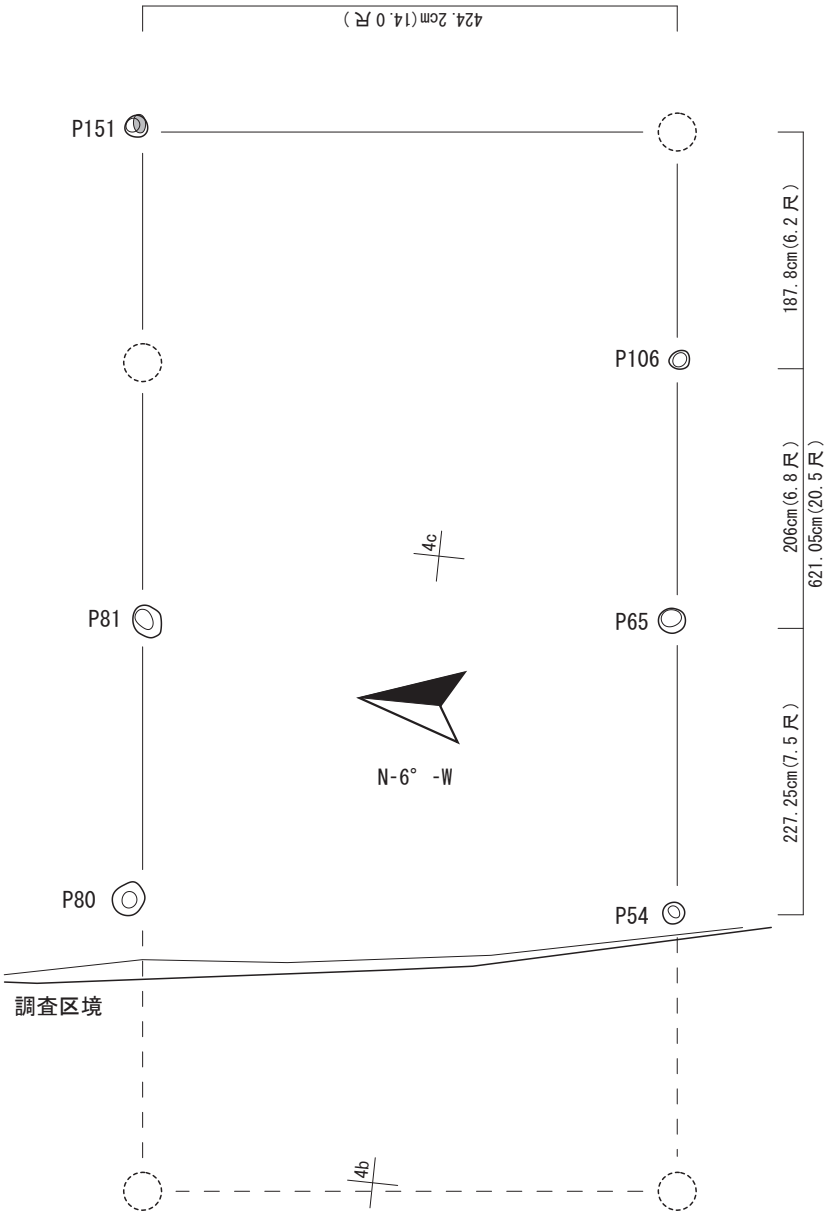
SB162（第 180 図　写真図版 105）	
位置　ⅠA6p、6q、7p、7q　区画内部	**使用した柱穴**　6 個
桁行　663.6 cm（21 尺 9 寸）	**梁間**　400.0 cm（13 尺 2 寸）
面積　26.5㎡（8.0 坪）	**軸方向**　N-1°-W
柱間寸法　桁行では 221.2 cm（7 尺 3 寸）を使用している。梁間は 400.0 cm（13 尺 2 寸）で、その半分の 200.0 cm（6 尺 6 寸）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：SB3、SI2　**本建物と重複する遺構**：SB52、SB55、SB78、SB82、SB86、SB89、SB96、SB98、SB140、SB148、SB152、SB154、SB158、SB160、SB164、SB165	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋あるいは臨時の建物と推測される。桁行の柱間寸法はいずれも 7 尺 3 寸で統一されており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　5 期（1301～1337 年頃）の建物と想定する。	



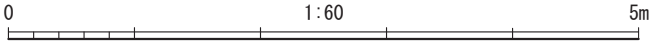
柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1240	19.9	95.765
P1243	21.1	95.766
P1258	17.1	95.771
P1266	14.2	95.799
P1282	42.1	95.814
P1290	36.6	95.720
P1303	17.1	95.692
P1311	21.5	95.734

第 178 図　SB160

SB161 検出分28.0㎡

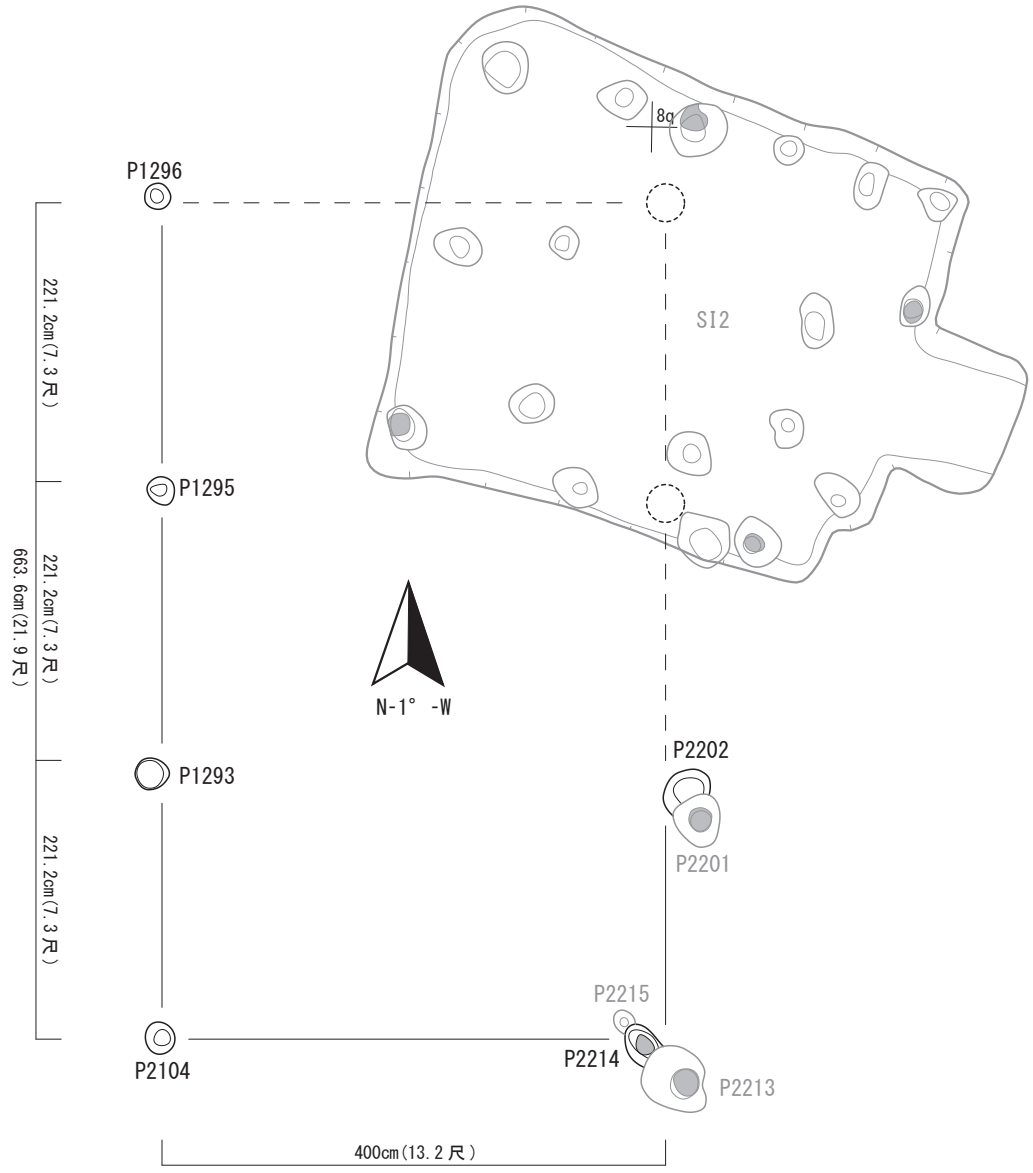


柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P54	28.9	95.795
P65	10.3	95.922
P80	14.0	95.977
P81	22.2	95.885
P106	9.3	95.875
P151	28.2	95.775



第179図　SB161

SB162 26.5㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1293	29.9	95.585
P1295	44.9	95.804
P1296	34.1	95.704
P2104	19.8	95.710
P2202	18.4	95.692
P2214	10.8	95.806

0　1:60　5m

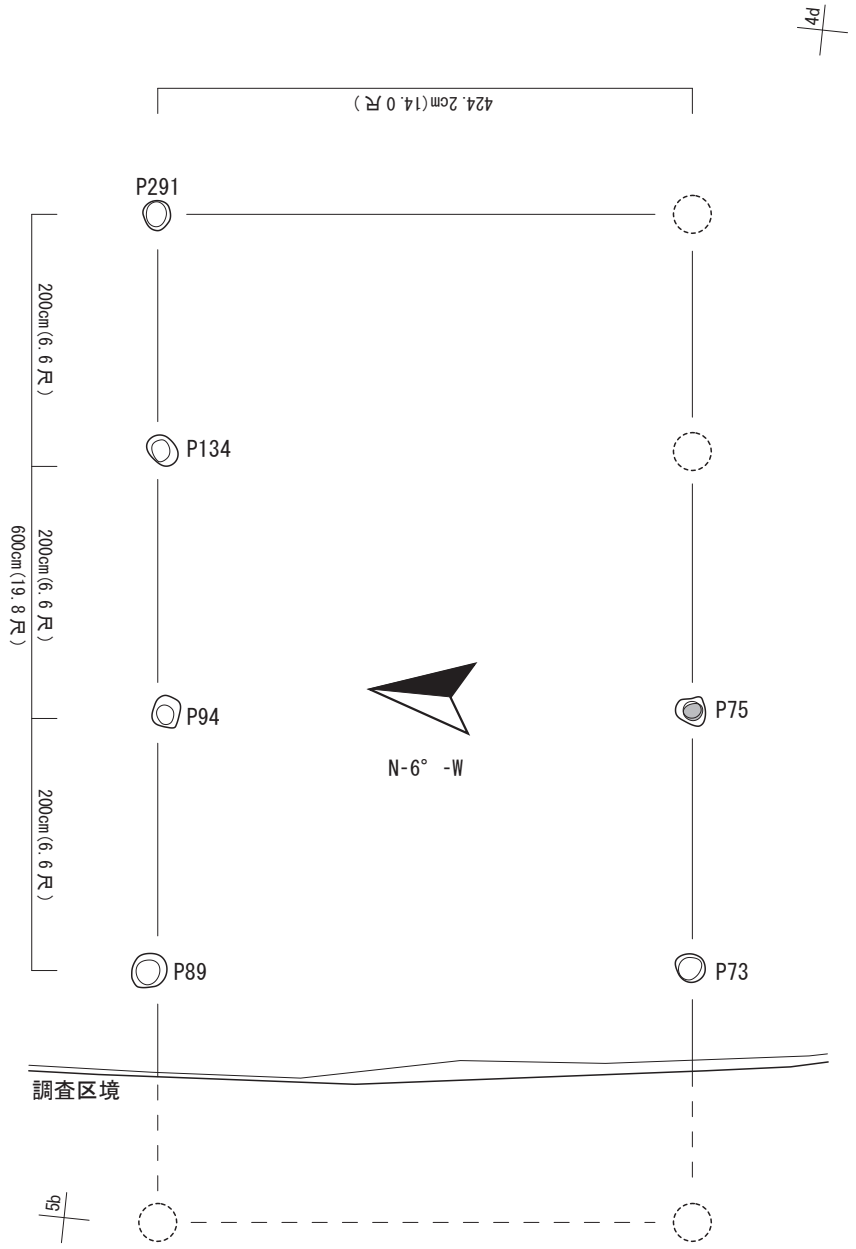
第180図　SB162

SB163（第 181 図　写真図版 106）	
位置　ⅠA4b、4c、5c　区画外部	**使用した柱穴**　6 個
桁行　検出分 600.0 cm（19 尺 8 寸）	**梁間**　424.2 cm（14 尺）
面積　検出分 29.2㎡（8.8 坪）	**軸方向**　N-6°-W
柱間寸法　桁行では 200.0 cm（6 尺 6 寸）を使用している。梁間は 424.2 cm（14 尺）であり、その半分の 212.1 cm（7 尺）が基準と推測される。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB153、SB157、SB161、SK25	
桁行が調査区外（西側）に伸びており全体形は不明である。庇、下屋のない平面形である。小型の建物と推測されるが、用途は明らかにし得ない。検出された分の桁行の柱間寸法は 6 尺 6 寸で、梁間の長さも 14 尺と区切りのよい長さであり、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

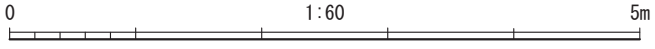
SB164（第 182 図　写真図版 106）	
位置　ⅠA6o、6p、7o、7p、7q　区画内部	**使用した柱穴**　8 個
桁行　690.75 cm（22 尺 8 寸）	**梁間**　327.0 cm（10 尺 8 寸）
面積　22.6㎡（6.8 坪）	**軸方向**　N-14°-E
柱間寸法　桁行では 230.25 cm（7 尺 6 寸）を使用している。梁間は 327.0 cm（10 尺 8 寸）で、その 2/3 の 218.0 cm（7 尺 2 寸）が基準であろうか。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB66、SB158　**本建物より新しい遺構**：SB3　**本建物と重複する遺構**：SB52、SB78、SB82、SB86、SB89、SB96、SB98、SB138、SB140、SB150、SB152、SB154、SB160、SB162、SB165	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋、あるいは臨時の建物と推測される。桁行、の柱間寸法 7 尺 6 寸で統一されており、きちんとした設計に基づいた建物と推測される。直接の出土遺物はない。	
想定時期　6 期（1338～1374 年頃）の建物と想定する。	

SB165（第 183 図　写真図版 107）	
位置　ⅠA6o、6p、6q　区画内部	**使用した柱穴**　7 個
桁行　818.1 cm（27 尺）	**梁間**　318.5 cm（10 尺 5 寸）
面積　26.1㎡（7.9 坪）	**軸方向**　N-5°-W
柱間寸法　桁行では柱間が 3 箇所あるが、315.1 cm（10 尺 4 寸）、242.4 cm（8 尺）、260.6 cm（8 尺 6 寸）といずれも寸法が異なっており、基準寸法を見出し難い。桁行の総長 818.1 cm（27 尺）の 1/3 の 272.7 cm（9 尺）が基準寸法であろうか。梁間は総長の 318.5 cm（10 尺 5 寸）が基準であろうか。あるいはその 2/3 の 212.3 cm（7 尺）が基準の可能性もある。。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB158　**本建物より新しい遺構**：なし　**本建物と重複する遺構**：SB3、SB75、SB85、SB86、SB89、SB93、SB96、SB98、SB140、SB142、SB144、SB146、SB148、SB150、SB152、SB154、SB158、SB162、SB164　**本建物と接する遺構**：SB82	
庇、下屋のない平面形である。小型の建物で、附属屋あるいは臨時の建物と推測される。柱間寸法は均一ではなく、基準の寸法を見出し難い。桁行総長は 27 尺、梁間総長は 10 尺 5 寸と区切りがよく、個別の柱間寸法ではなく、梁、桁の総長を基準に建てた可能性が高い。直接の出土遺物はない。	
想定時期　中世の建物と推測するが、詳細な年代は不明である。	

SB163 検出分29.2㎡

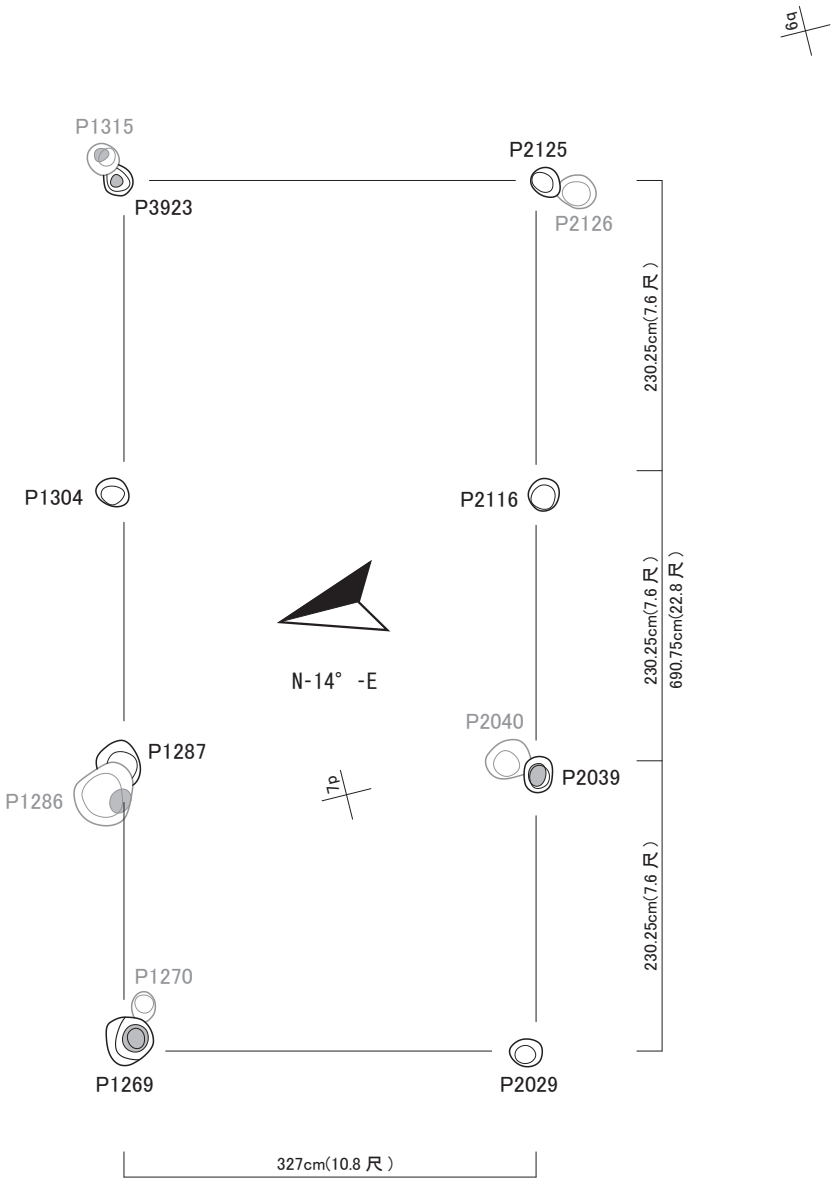


柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P73	29.2	95.781
P75	24.7	95.819
P89	35.7	95.749
P94	20.9	95.939
P134	12.2	96.000
P291	14.9	95.958

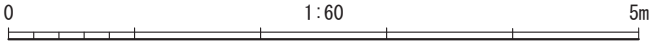


第181図　SB163

SB164 22.6㎡

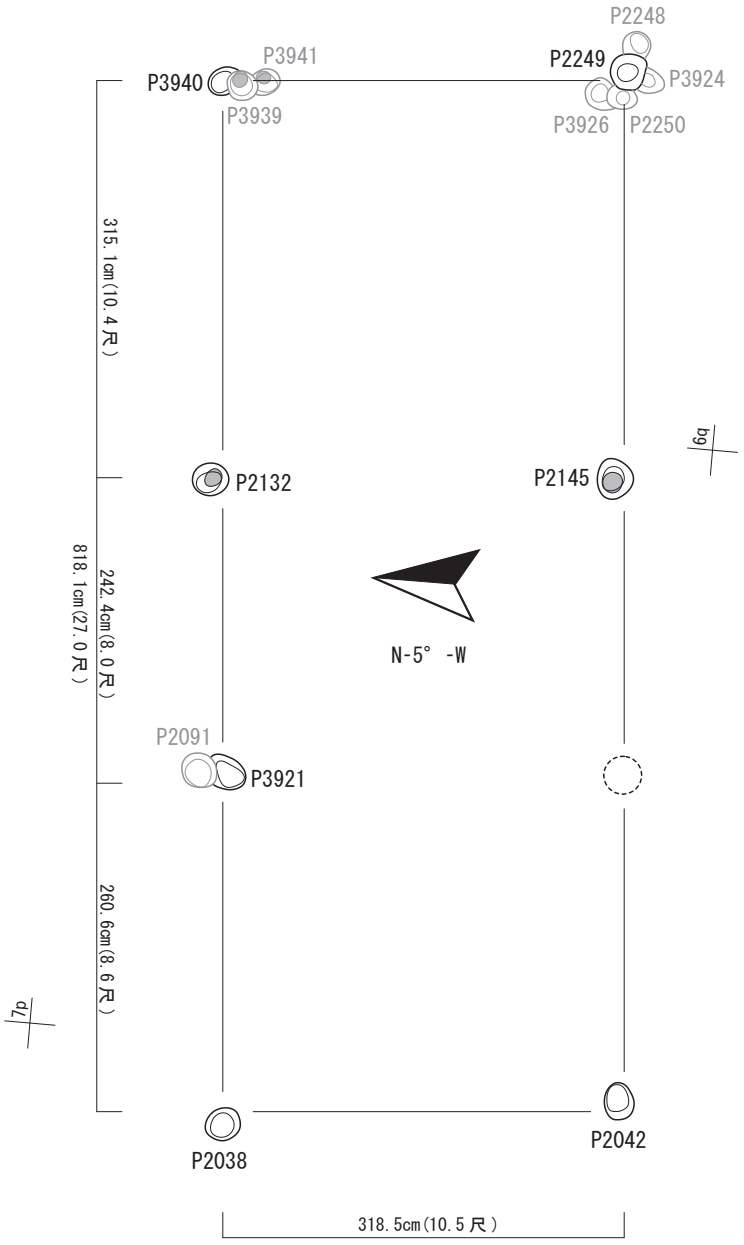


柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1269	26.9	95.642
P1287	19.0	95.665
P1304	11.9	95.652
P2029	18.6	95.741
P2039	30.5	95.626
P2116	14.9	95.773
P2125	11.9	95.795
P3923	14.1	95.808

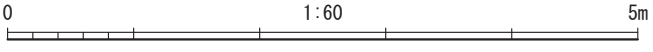


第 182 図　SB164

SB165 26.1㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P2038	17.1	95.742
P2042	31.6	95.628
P2132	10.8	95.792
P2145	24.0	95.613
P2249	20.5	95.668
P3921	16.7	95.745
P3940	11.8	95.772

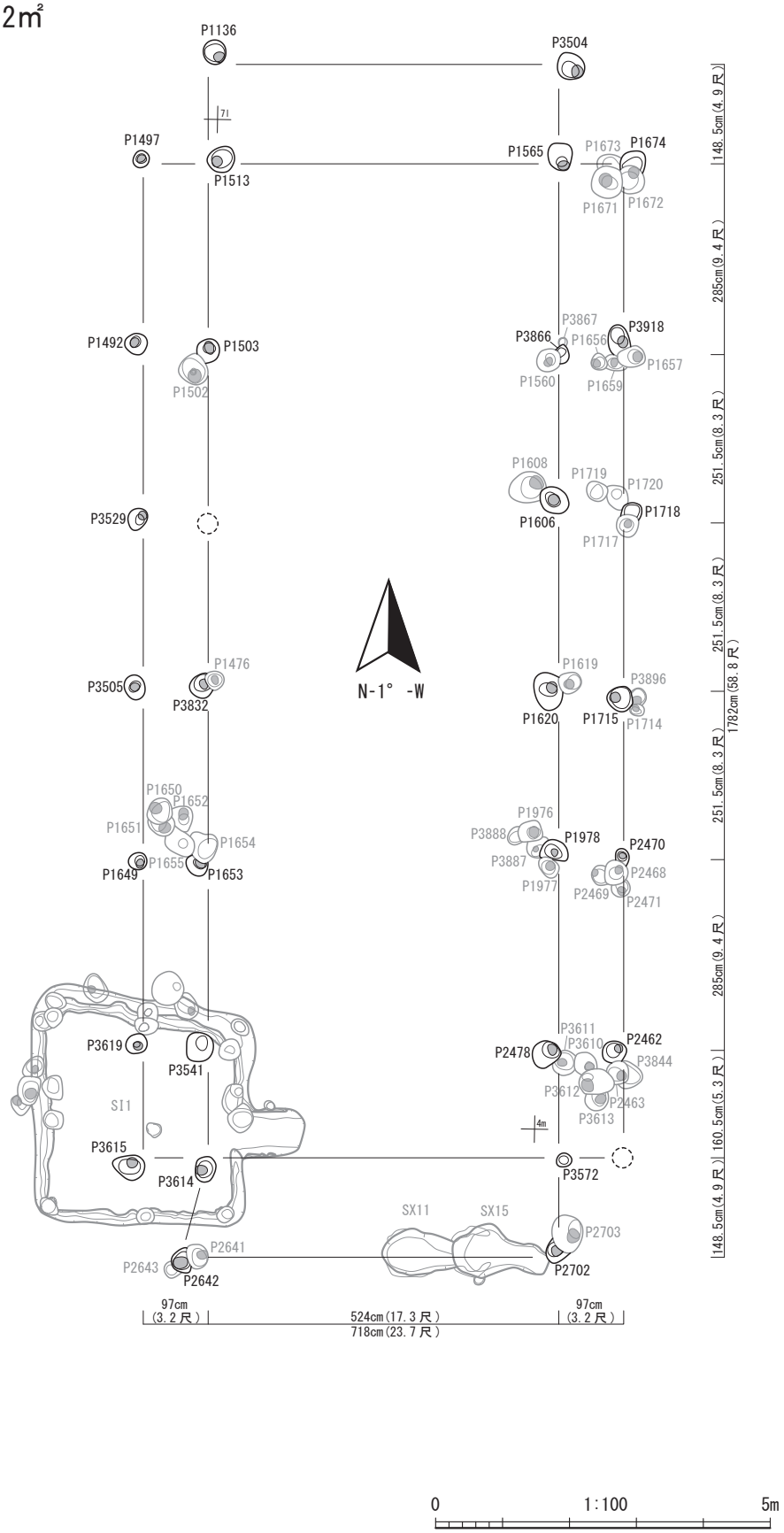


第183図　SB165

SB166（第 184 図　写真図版 107、108）	
位置　ⅠA3k、3l、3m、4k、4l、4m、5k、5l、5m、6k、6l、6m、7k、7l、7m　区画内部	**使用した柱穴**　30 個
桁行　1782.0 cm（58 尺 8 寸）	**梁間**　718.0 cm（23 尺 7 寸）
面積　122.2㎡（37.0 坪）	**軸方向**　N-1°-W
柱間寸法　桁行では 251.5 cm（8 尺 3 寸）を多用している。また 285.0 cm（9 尺 4 寸）の寸法も複数個所使用されている。南北の下屋（庇）の出は 148.5 cm（4 尺 9 寸）である。身舎梁間は総長 524.0 cm（17 尺 3 寸）で、その半分の 262.0 cm（8 尺 6 寸 5 分）が基準寸法であろうか。梁間の下屋（庇）の出は 97.0 cm（3 尺 2 寸）を使用している。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB141、SB167　**本建物より新しい遺構**：SB2、SB27、SB48、SB69、SI1　**本建物と重複する遺構**：SB11、SB23、SB25、SB29、SB31、SB34、SB37、SB39、SB42、SB45、SB46、SB50、SB53、SB60、SB63、SB64、SB74、SB77、SB80、SB83、SB87、SB94、SB97、SB99、SB145、SB168、SX11、SX15、SX18	
大型の建物で、居館の主殿と推測する。524.0 cm（17 尺 3 寸）×1485.0 cm（49 尺）の身舎に四面庇の構造と解釈される。庇のそれぞれの隅には柱穴が配置されていない。南面の庇の南西の柱 P2642 の位置が適切な位置からずれているが、他に適切な柱穴が無く使用している。身舎を間数で表すと二間×六間ということになる。庇の出は東西面で 3 尺 2 寸、南北面は 4 尺 9 寸である。間仕切りは見出せなかった。重複、切り合い関係などから、13 世紀第 2 四半期～中頃（1227～1263 年頃）の建物と想定する。直接の出土遺物はない。SB23、SB29、SB74 と柱穴が重複するが前後関係を把握できなかった。	
想定時期　3 期（1227～1263 年頃）の建物と想定する。	

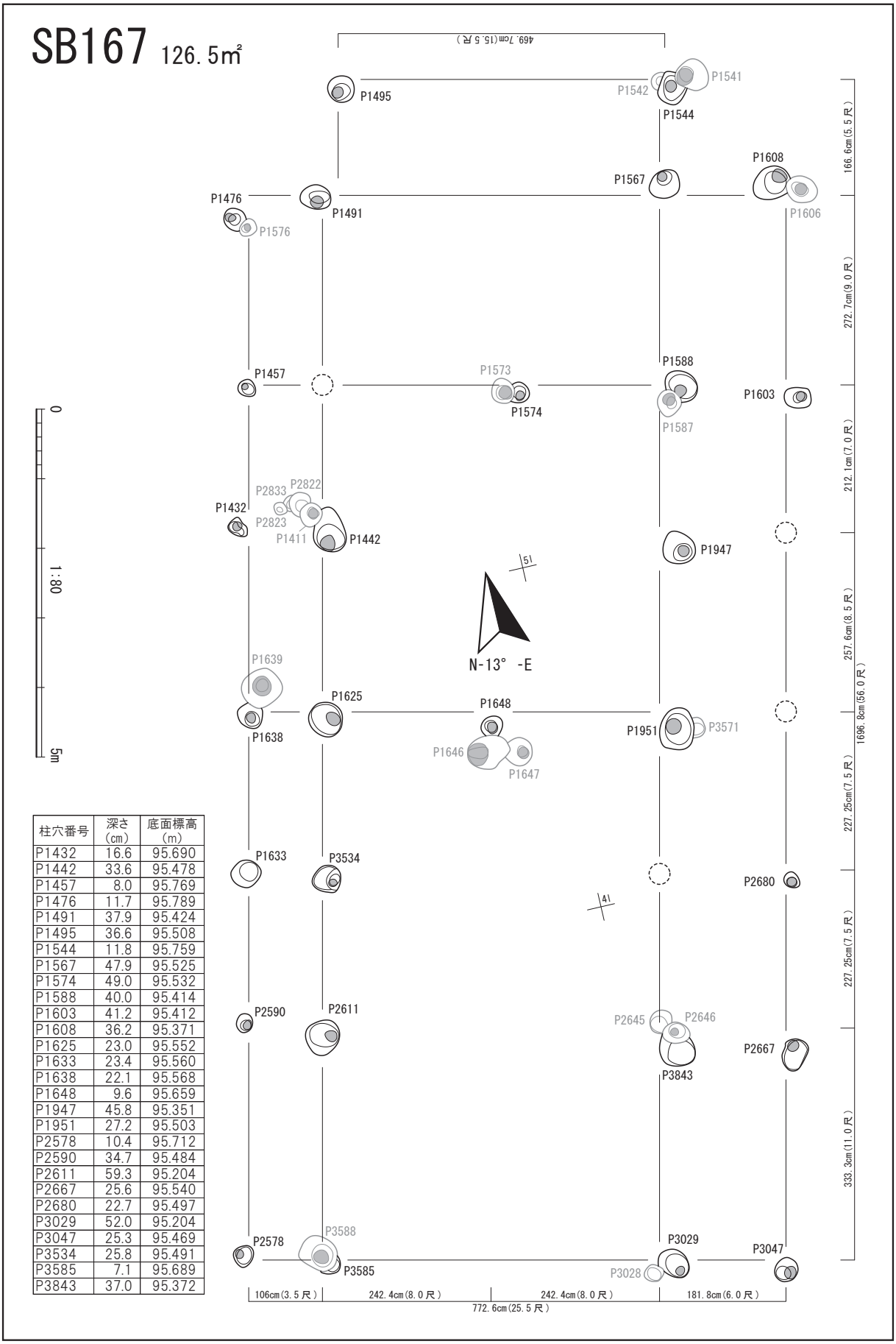
SB167（第 185 図　写真図版 109）	
位置　ⅠA2k、2l、3j、3k、3l、4j、4k、4l、5k、5l、6k、6l　区画内部	**使用した柱穴**　28 個
桁行　1696.8 cm（56 尺）	**梁間**　772.6 cm（25 尺 5 寸）
面積　126.5㎡（38.3 坪）	**軸方向**　N-13°-E
柱間寸法　桁行では 227.25 cm（7 尺 5 寸）が複数個所で使用されている。他の柱間は 11 尺、8 尺 5 寸、9 尺、5 尺 5 寸とそれぞれ寸法が異なるが、いずれも 5 寸で割り切れる寸法である。桁行の総長が 56 尺で柱間が 7 箇所あるので、等分した 242.4 cm（8 尺）が基準寸法の可能性もある。桁行の身舎では 242.4 cm（8 尺）が使用されている。下屋（庇）の出も東側 181.8 cm（6 尺）、西側 106 cm（3 尺 5 寸）と 5 寸の倍数の寸法が使用されている。	
重複　**本建物より古い遺構**：なし　**本建物より新しい遺構**　SB1、SB23、SB25、SB37、SB53、SB166　**本建物と重複する遺構**：SB2、SB22、SB27、SB31、SB40、SB42、SB43、SB45、SB46、SB48、SB50、SB60、SB63、SB64、SB69、SB70、SB71、SB74、SB77、SB80、SB83、SB87、SB94、SB99、SB100、SB141、SB168、SI1、SX18	
大型の建物で、居館の主殿と推測する。484.8 cm（16 尺）×1530.2 cm（50 尺 5 寸）の身舎に三面庇の構造と解釈される。庇の北西隅、北東隅には柱穴が配置されていない。身舎を間数で表すと二間×六間ということになる。庇の出は西面で 3 尺 5 寸、東面は 6 尺で東西不均一である。北面では 5 尺 5 寸である。P1574、P1648 の存在により身舎を三室に想定したが、妥当か否か疑問は残る。重複、切り合い関係などから、12 世紀末～13 世紀第 1 四半期頃（1190～1226 年頃）の建物と想定する。直接の出土遺物はない。P2590 埋土から須恵器大甕片（不掲載遺物㊻）が出土している。古代の遺物であり、本建物の年代観に関係する遺物ではない。	
想定時期　2 期（1190～1226 年頃）の建物と想定する。	

SB166 122.2㎡



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1136	18.6	95.694
P1492	35.2	95.498
P1497	17.9	95.686
P1503	18.7	95.370
P1513	44.1	95.395
P1565	21.9	95.404
P1606	32.3	95.514
P1620	62.9	95.184
P1649	9.0	95.640
P1653	41.5	95.341
P1674	23.9	95.648
P1715	46.0	95.342
P1718	9.4	95.769
P1978	44.4	95.348
P2462	14.6	95.581
P2470	11.5	95.698
P2478	53.5	95.253
P2642	20.3	95.527
P2702	44.6	95.293
P3504	31.6	95.617
P3505	22.0	95.570
P3529	13.0	95.734
P3541	34.6	95.309
P3572	2.4	95.732
P3614	22.3	95.424
P3615	31.6	95.322
P3619	16.5	95.509
P3832	39.3	95.408
P3866	39.0	95.476
P3918	32.0	95.558

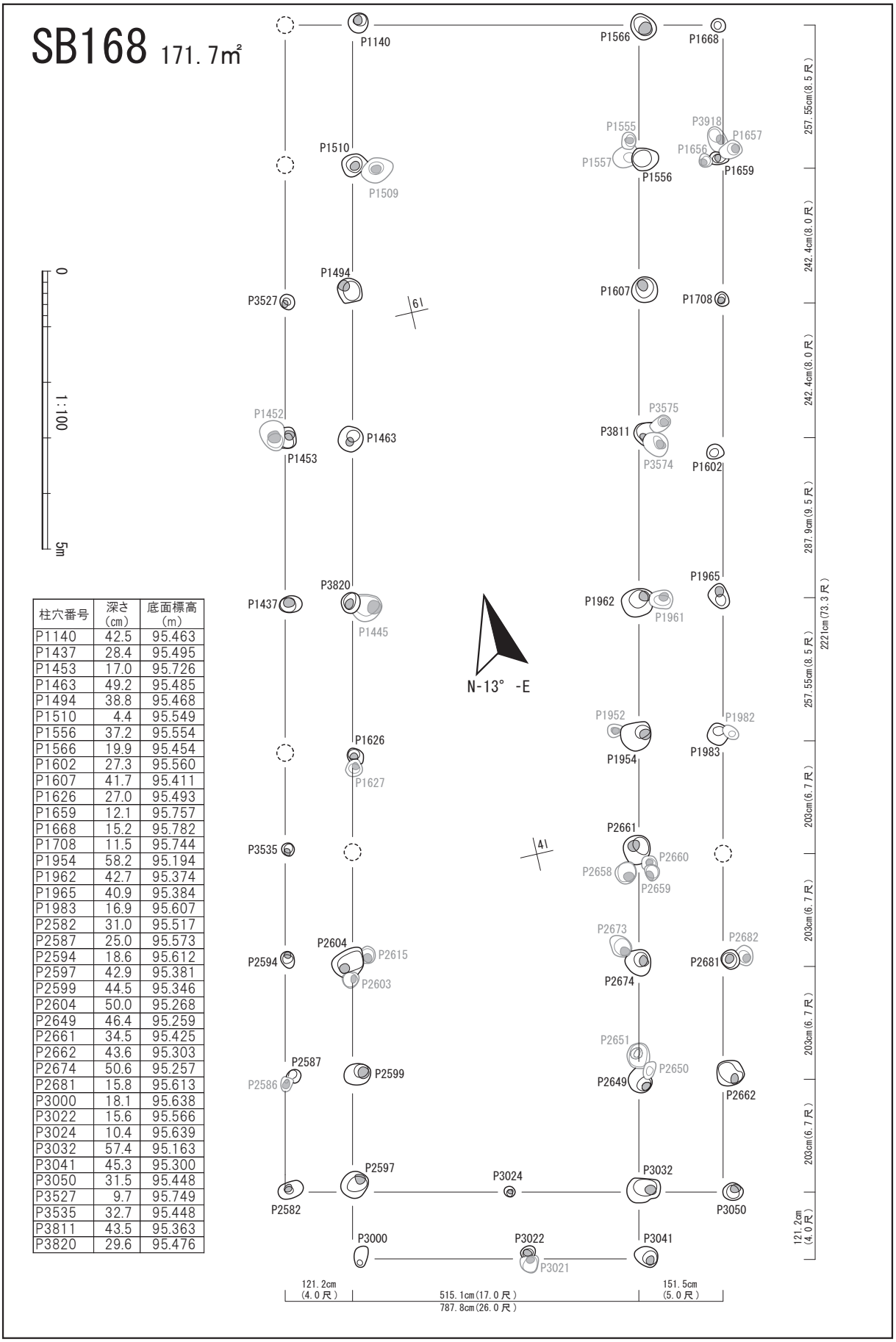
第 184 図　SB166



柱穴番号	深さ(cm)	底面標高(m)
P1432	16.6	95.690
P1442	33.6	95.478
P1457	8.0	95.769
P1476	11.7	95.789
P1491	37.9	95.424
P1495	36.6	95.508
P1544	11.8	95.759
P1567	47.9	95.525
P1574	49.0	95.532
P1588	40.0	95.414
P1603	41.2	95.412
P1608	36.2	95.371
P1625	23.0	95.552
P1633	23.4	95.560
P1638	22.1	95.568
P1648	9.6	95.659
P1947	45.8	95.351
P1951	27.2	95.503
P2578	10.4	95.712
P2590	34.7	95.484
P2611	59.3	95.204
P2667	25.6	95.540
P2680	22.7	95.497
P3029	52.0	95.204
P3047	25.3	95.469
P3534	25.8	95.491
P3585	7.1	95.689
P3843	37.0	95.372

第185図　SB167

SB168（第 186 図　写真図版 110）	
位置　ⅠA2j、2k、2l、3j、3k、3l、4k、4l、5k、5l、5m、6k、6l、6m、7k、7l　区画内部	**使用した柱穴**　39 個
桁行　2221.1 cm（73 尺 3 寸）	**梁間**　787.8 cm（26 尺）
面積　171.7㎡（52.0 坪）	**軸方向**　N-13°-E
柱間寸法　桁行では 203.0 cm（6 尺 7 寸）が多用されている。その他 257.55 cm（8 尺 5 寸）、242.4 cm（8 尺）が 2 箇所ずつ、287.9 cm（9 尺 5 寸）が 1 箇所使用されている。8 尺の 2 箇所と 9 尺 5 寸の 1 箇所の合計 25 尺 5 寸を 3 等分すると、8 尺 5 寸となり、本建物桁行の基準寸法の一つが 257.55 cm（8 尺 5 寸）と推測される。8 尺 5 寸の寸法は、多用される 6 尺 7 寸の 1.25 倍に近い数値でもある（実際は 1.26 倍）。南側の下屋（庇）の出は 121.2 cm（4 尺）が使用されている。梁間の身舎は総長 515.1 cm（17 尺）で、その半分の 257.55 cm（8 尺 5 寸）が基準寸法と推測される。下屋（庇）の東側の出は 151.5 cm（5 尺）、西側の出は 121.2（4 尺）である。まとめると本建物の基準寸法は 257.55 cm（8 尺 5 寸）と 203.0 cm（6 尺 7 寸）といえる。	
重複　**本建物より古い遺構**：SB42、SB100、SB166　**本建物より新しい遺構**：SB2、SB22、SB23、SB37、SB46、SB69、SB80、SB94　**本建物と重複する遺構**：SB1、SB25、SB27、SB29、SB31、SB40、SB43、SB45、SB48、SB50、SB53、SB58、SB60、SB63、SB64、SB70、SB71、SB74、SB77、SB83、SB87、SB97、SB99、SB141、SB167、SI1、SX11、SX16、SX18	
大型の建物で、居館の主殿と推測する。515.1 cm（17 尺）×2099.8 cm（69 尺 3 寸）の身舎に三面庇の構造と解釈される。庇の南西隅、南東隅には柱穴が配置されていない。身舎を間数で表すと二間×九間ということになる。庇の出は西面、南面で 4 尺、東面は 5 尺で東西での庇の出が均一ではない。間仕切りは見いだせない。重複、切り合い関係などから、13 世紀後半頃（1264～1300 年頃）の建物と想定する。P3022 埋土から土師器のロクロ坏片（不掲載遺物㉙）が出土している。SB74 と柱穴が重複するが、前後関係を把握できなかった。	
想定時期　4 期（1264～1300 年頃）の建物と想定する。	



柱穴番号	深さ (cm)	底面標高 (m)
P1140	42.5	95.463
P1437	28.4	95.495
P1453	17.0	95.726
P1463	49.2	95.485
P1494	38.8	95.468
P1510	4.4	95.549
P1556	37.2	95.554
P1566	19.9	95.454
P1602	27.3	95.560
P1607	41.7	95.411
P1626	27.0	95.493
P1659	12.1	95.757
P1668	15.2	95.782
P1708	11.5	95.744
P1954	58.2	95.194
P1962	42.7	95.374
P1965	40.9	95.384
P1983	16.9	95.607
P2582	31.0	95.517
P2587	25.0	95.573
P2594	18.6	95.612
P2597	42.9	95.381
P2599	44.5	95.346
P2604	50.0	95.268
P2649	46.4	95.259
P2661	34.5	95.425
P2662	43.6	95.303
P2674	50.6	95.257
P2681	15.8	95.613
P3000	18.1	95.638
P3022	15.6	95.566
P3024	10.4	95.639
P3032	57.4	95.163
P3041	45.3	95.300
P3050	31.5	95.448
P3527	9.7	95.749
P3535	32.7	95.448
P3811	43.5	95.363
P3820	29.6	95.476

第186図　SB168

3　カマド状遺構

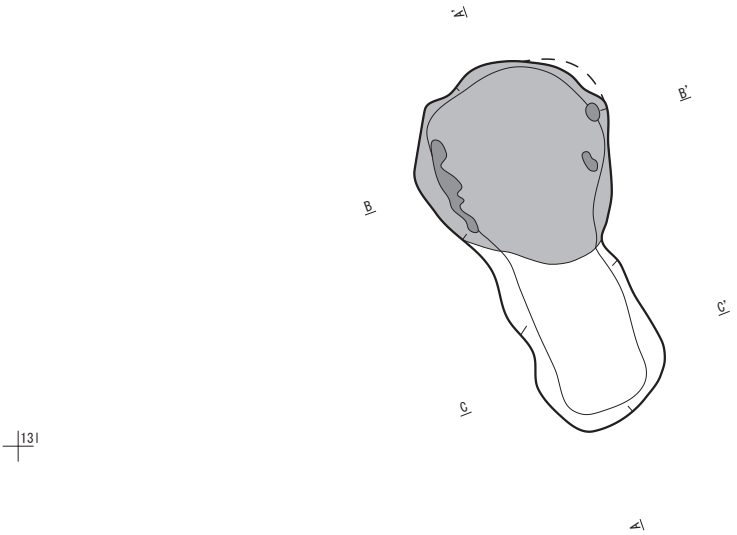
24基をカマド状遺構と認識した。出土した炭化種実の同定結果は「Ⅵ自然科学分析　2万丁目遺跡から出土した炭化種実」に記載している。カマド状遺構の記載は全て光井がおこなった。

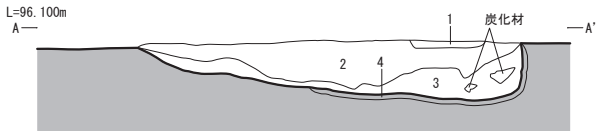
SX1（第187図　写真図版111）	
位置　ⅠA13l	**長軸方向**－南北方向、**燃焼部の位置**－北側
形態　平面形－手鏡形。燃焼部－ほぼ円形、焚口部－隅丸長方形。　長軸約151 cm、短軸約81 cm、深さ約23 cm。煙道－検出されてない。底面－燃焼部は浅い皿状、燃焼部から焚口部に向かって緩く立ち上がっている。壁－燃焼部の壁はやや内湾している。焚口部の壁は外反している。	
埋土　3層に分かれる。1層は自然堆積、2、3層は炭化材、焼土化した天井壁崩壊土等含まれており人為的堆積とみられる。燃焼部底面直上には燃料として使用された炭化した小枝や材として堆積している。炭化樹種同定した9点の樹種はアカマツ2点、ヤマウルシ3点、クリ3点、ホウノキ1点である。	
重複　なし。	
出土遺物　最下部から炭化した種実が18点出土している。内15点を同定している。	
時期・性格　時期は埋土、形態等から中世に属すると考えられる。放射性炭素年代測定での暦年較正用（1σ）では1450-1490calAD（61.0%）である。炭化穀物が出土していることから、煮炊きするカマドとして利用されたと考えられる。遺構変遷の10期（1486～1522年頃）に想定した。	

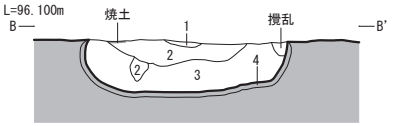
SX2（第188図　写真図版112）	
位置　ⅠA6h	**長軸方向**－東西方向、**燃焼部の位置**－西側
形態　平面形－手鏡形。燃焼部－不整円形、焚口部－隅丸三角形。長軸約164 cm、短軸約90 cm、深さ約24 cm。煙道－検出されていない。底面－燃焼部は平坦、燃焼部から焚口部に向かってなだらかに立ち上がっている。壁－燃焼部の南壁はオーバーハングし、残りの壁は外反している。焚口部の壁は外反している。	
埋土　8層に分かれる。1・2層は自然堆積、3層～8層は人為的堆積とみられる。4～6層には焼土化した天井部崩壊土、7・8層には地山起源の黄褐褐色土のブロックが含まれる。底面直上から検出された炭化材の樹種はヤマウルシである。	
重複　SK8を切っている。	
出土遺物　炭化した穀類30点のうち、20点を種実同定した。	
時期・性格　埋土、形態等から中世に属すると考えられる。放射性炭素年代測定での暦年較正用（1σ）では、1446-1485calAD（62.2%）である。炭化した穀類が出土していることや遺構の形態などから煮炊き用のカマドとして利用されたと考えられる。遺構変遷時期の8期（1412～1448年頃）に想定される。	

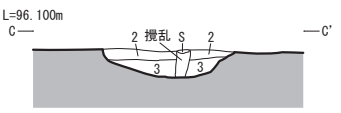
SX3（第189図　写真図版113）	
位置　ⅠA7c	**長軸方向**－東西方向、**燃焼部の位置**－西側
形態　平面形－瓢箪形。長軸-84 cm以上、短軸約51 cm、深さ約20 cm。煙道－検出されていない。底面－燃焼部は平坦で、燃焼部から焚口部に向かって緩く傾斜して上がり、端部近くで更に緩くなる。燃焼部の壁はオーバーハングし、焚口部の壁は外反している。	
埋土　6層に分かれる（図では14層から19層まで本遺構の埋土）。14・16層には地山起源のにぶい黄褐色土のブロック、15層には焼成を受けて赤変した焼土ブロックが含まれており、人為的堆積とみられる。	
重複　SX4に切られている。	
出土遺物　炭化した穀類が1点出土している。	
時期・性格　重複関係、埋土、形態から中世に属すると考えられる。放射性炭素年代測定での暦年較正用（1σ）では、1404-1427calAD（68.2%）である。煮炊きをするカマド用として利用していたと推定される。	

SX1

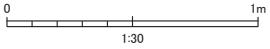






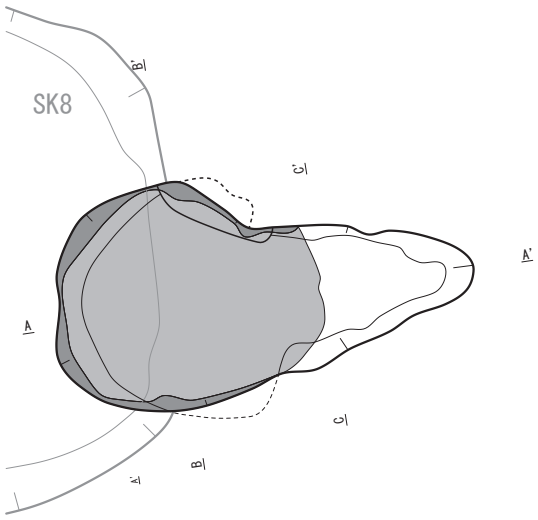


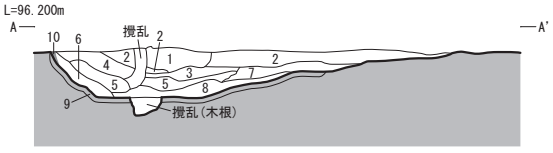
SX1 A-A',B-B',C-C'
1．10YR 2/1 黒色粘土質土 炭化物粒少量含む
2．10YR3/1　黒褐色土 炭化物粒を少量、10YR5/6黄褐色土の小ブロック、焼土ブロックを多く含む
3．10YR2/1　黒色粘土質土 焼土粒を少量、炭化材を多量に含む
4．5YR3/4　暗赤褐色土 焼土

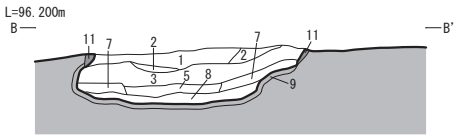


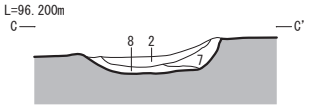
第 187 図　SX1

SX2







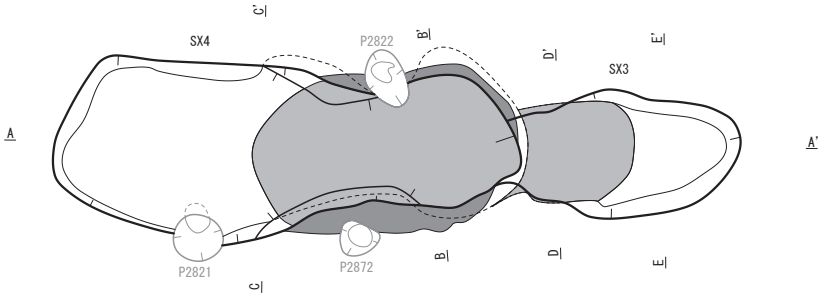


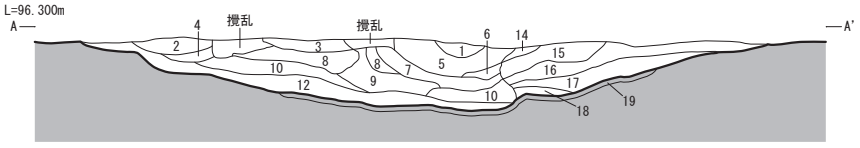
SX2 A-A',B-B',C-C'
1．10YR2/2　黒褐色土
2．10YR2/3　黒褐色土 焼土粒を少量含む
3．10YR2/3　黒褐色土 5YR6/6橙色焼土粒を多く、10YR5/8黄褐色土の小ブロックを少量含む
4．5YR5/6　明赤褐色焼土 壁崩壊土
5．5YR4/4　にぶい赤褐色焼土 壁崩壊土、5YR5/6明赤褐色焼土ブロックを多量に含む
6．5YR5/6　明赤褐色焼土 壁崩壊土、5YR6/6橙色焼土ブロックを少し含む
7．10YR2/3　黒褐色土 5YR5/6黄褐色土の小ブロックを多く含む
8．10YR2/2　黒褐色土 炭化物を多量、10YR5/6黄褐色土の小ブロック・焼土粒を少量含む
9．5YR3/4　暗赤褐色土 焼土
10．2.5YR2/2 極暗赤褐色土 焼土
11．5YR4/3　にぶい赤褐色土 焼土

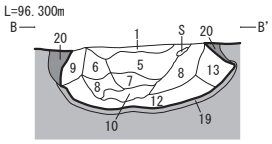
0　1m
1:30

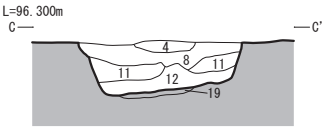
第 188 図　SX2

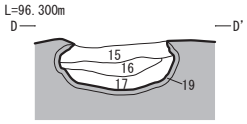
SX3・4

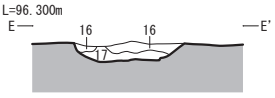




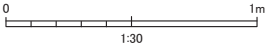








SX3・4 A-A', B-B', C-C', D-D', E-E', SX4(1 ～ 13), SX3(14 ～ 19)
1. 10YR2/2　黒褐色土 焼土粒を多く含む
2. 10YR5/4　にぶい黄褐色土 10YR2/2黒色土の小ブロックを少し含む
3. 10YR3/2　黒褐色土 10YR5/4にぶい黄褐色土の小ブロックを含む
4. 5YR3/3　暗赤褐色焼土 壁崩壊土 5YR5/6明赤褐色焼土・5YR3/4暗赤褐色焼土の小ブロックを少量含む
5. 7.5YR2/2　黒褐色土 10YR4/6褐色土ブロックを多量に含む
6. 10YR3/1　黒褐色土 10YR4/6褐色土小ブロックを少し含む
7. 10YR2/1　黒色土 焼土粒・炭化物粒・10YR5/6黄褐色土ブロックを少し含む
8. 5YR3/3　暗赤褐色焼土 壁崩壊土 炭化物粒を少量、5YR6/5明赤褐色焼土ブロックを多量に含む
9. 5YR4/6　赤褐色焼土　壁崩壊土　5YR7/6明赤褐色焼土ブロックを少量含む
10. 10YR1.7/1 黒色土 焼土粒・炭化物粒・10YR5/6黄褐色土ブロックを少し含む
11. 5YR4/4　にぶい赤褐色焼土 5YR5/6明赤褐色焼土ブロック・5YR5/4赤褐色焼土ブロックを少量含む
12. 10YR1.7/1 黒色土 炭化物粒・5YR4/6赤褐色焼土ブロックを少量含む
13. 7.5YR4/2　灰褐色土 7.5YR7/6橙色粘土質土ブロックを多量に含む
14. 10YR2/2　黒褐色土 10YR5/4にぶい黄褐色土ブロックを少し含む
15. 7.5YR7/6　橙色土 焼土ブロック・10YR2/2黒褐色土ブロックを少量含む
16. 10YR2/2　黒褐色土 10YR5/4にぶい黄褐色土の小ブロックを少量含む
17. 10YR2/1　黒色土 炭化物粒を少量含む
18. 10YR2/1　黒色土 焼土粒を少し、炭化物粒を少量含む
19. 5YR3/4　暗赤褐色土 焼土
20. 5YR4/6　赤褐色土 焼土



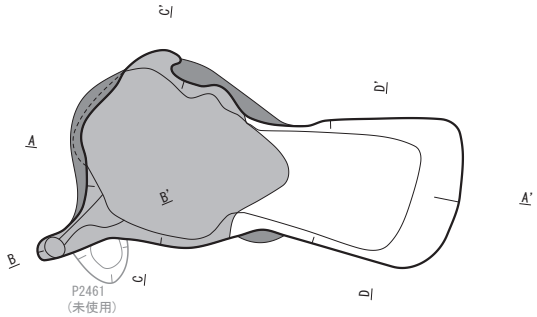
第189図　SX3・4

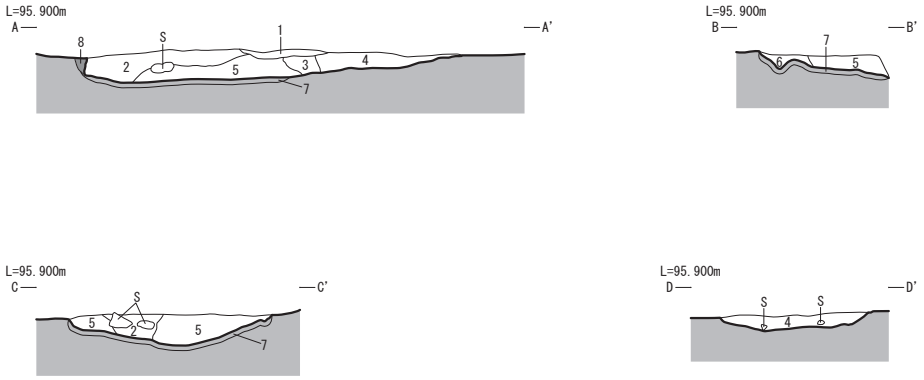
SX4（第 189 図　写真図版 114）	
位置　ⅠA7b、7c	**長軸方向** – 東西方向、**燃焼部の位置** – 東側
形態　平面形 – 瓢箪形。長軸約 188 cm、短軸約 70 cm、深さ約 27 cm。煙道 – 検出されていない。底面 – 燃焼部は皿状で、燃焼部から焚口部に向かって緩く傾斜して上がる。壁 – 燃焼部の壁はオーバーハングし、焚口部の壁は外反している。	
埋土　13 層に分かれる。12 層以外は人為的堆積である。層中には地山起源のにぶい黄褐色土・黄褐色土のブロックまたは、焼成を受け焼土化した天井部の崩壊土のブロックが含まれている。12 層は底面直上の層で、使用時に堆積したものと考えられる。底面直上に堆積していた炭化材のうち 6 点を樹種同定した。ヤマウルシ 2 点、クリ 3 点、ホウノキ 1 点である。	
重複　SX3 を切っている。柱穴 P2821、P2822、P2872 に切られている	
出土遺物　炭化した穀類が 22 点出土している。	
時期・性格　重複関係、埋土、形態等から中世に属すると考えられる。放射性炭素年代測定での暦年較正用（1σ）では 1412–1431calAD（68.2%）が示されている。本遺構を切っている SX3 との年代とも整合しており、15 世紀前半台と考えられる。穀類が出土しており、煮炊き用のカマドと考える。	

SX5（第 190 図　写真図版 115）	
位置　ⅠA4o	**長軸方向** – 東西方向、**燃焼部の位置** – 西側
形態　平面形 – 手鏡形。長軸約 156 cm、短軸約 76 cm、深さ約 12 cm。煙道 – 長さ・約 32 cm、幅・約 10～15 cm、位置・西壁で南西方向に延びる。底面 – 燃焼部は平坦で、燃焼部から焚口部に向かって、緩く傾斜して上がる。壁 – 燃焼部前面の西壁はほぼ真直ぐに立ち上がり、南北の壁は緩く外傾し、焚口部の両壁も緩く外傾している。煙道部は燃焼部から緩い傾斜で上がっている。	
埋土　6 層に分かれる。人為的堆積とみられる。各層には、地山起源のにぶい黄褐色土のブロックまたは、焼成を受け赤変している天井崩壊土のブロックが含まれている。	
重複　柱穴 P2461 を切っている。	
出土遺物　なし	
時期・性格　重複関係、埋土、形態等から中世に属すると考えられる。同じ形態の遺構から、煮炊き用のカマドと推定される。	

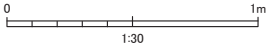
SX6（第 191 図　写真図版 116）	
位置　ⅠA5i、5j、6i、6j	**長軸方向** – 東西方向、**燃焼部の位置** – 西側
形態　平面 – 瓢箪形。長軸約 118 cm、短軸約 73 cm、深さ約 29 cm。煙道 – 長さ・約 48 cm、幅・約 14～27 cm、位置・西壁で西方向に延びている。底面 – 燃焼部は浅皿状で、燃焼部から焚口部に向かって、傾斜して上がる。壁 – 燃焼部の壁は前方、南北壁ともオーバーハングし、焚口部の壁は外反している。煙道部は燃焼部から緩い傾斜で立ち上がる。	
埋土　11 層に分かれる。人為的堆積とみられる。各層には、地山起源のにぶい黄褐色土のブロックまたは焼成を受け赤変している天井部崩壊土のブロック等が含まれている。	
重複　柱穴 P1421 に切られ柱穴 P3732、P3733 を切っている。	
出土遺物　炭化した穀類 4 点のうち、3 点を種実同定した。	
時期・性格　他のカマド遺構と同じ中世と考えられる。炭化した穀類などが出土していることから煮炊きするカマドとして利用されていたと推定される。時期区分の 7 期（1375～1411 年頃）と想定する。	

SX5



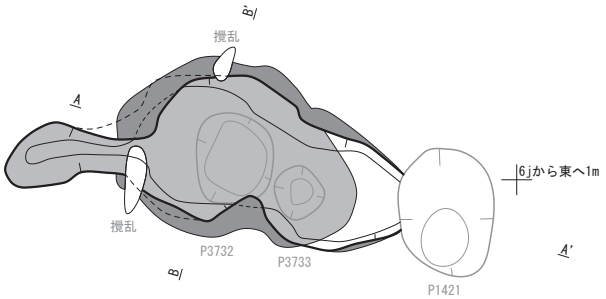


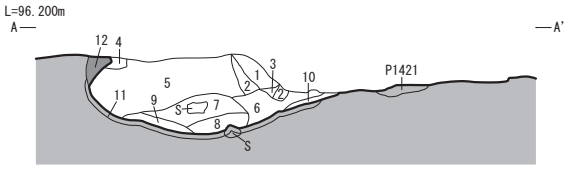
SX5 A-A',B-B',C-C',D-D'
1．10YR3/1 黒褐色土 10YR6/4にぶい黄橙色土の小ブロックを僅かに含む
2．10YR2/2 黒褐色土 5YR6/6明赤褐色焼土ブロックを少し、10YR6/4にぶい黄橙色土の小ブロックを少量含む
3．10YR2/2 黒褐色土 焼土粒・7.5YR5/6にぶい褐色土ブロックを少し含む
4．10YR2/2 黒褐色土 10YR6/4にぶい黄橙色土の小ブロックを多量に含む
5．10YR2/3 黒褐色土 5YR5/6明赤褐色焼土ブロックを多量に含む
6．10YR5/4 にぶい黄褐色土 煙道埋土
7．5YR3/4　暗赤褐色土 焼土
8．5YR5/6　明赤褐色土 焼土

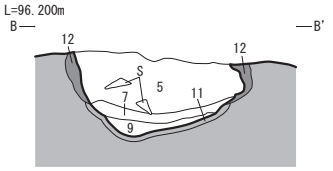


第 190 図　SX5

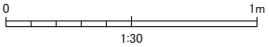
SX6







SX6 A-A', B-B'
1．10YR3/2 黒褐色土 7.5YR7/6橙色焼土の小ブロックを少量含む
2．10YR2/2 黒褐色土 10YR5/4にぶい黄褐色土の小ブロックを少し含む
3．5YR5/8　明赤褐色焼土 壁崩壊土
4．5YR3/4　赤褐色土焼土 壁崩壊土 10YR3/3暗褐色土ブロックを多量に含む
5．10YR2/2 黒褐色土 炭化物粒を少し、10YR5/4にぶい黄褐色土を多量に含む
6．5YR4/6　赤褐色焼土 壁崩壊土 10YR2/2黒褐色土の小ブロックを少し含む
7．5YR2/4　極暗赤褐色焼土 壁崩壊土 受熱した小円礫を少し含む
8．5YR4/6　赤褐色焼土 壁崩壊土
9．5YR3/1　黒褐色土 焼土粒・炭化物粒を多く含む
10. 5YR2/4　極暗赤褐色焼土 炭化物粒・炭化材を多く含む
11. 5YR3/4　暗赤褐色土 焼土
12. 5YR5/8　明赤褐色土 焼土



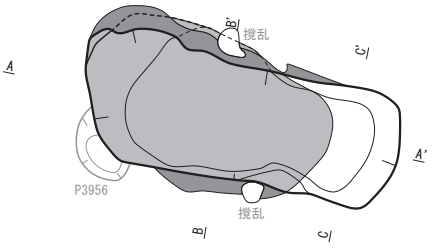
第 191 図　SX6

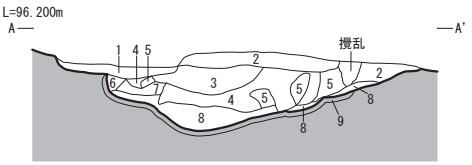
SX7（第 192 図　写真図版 117）	
位置　ⅠA7i、7j	**長軸方向**－東西方向、**燃焼部の位置**－西側
形態　平面形－瓢箪形。長軸約 131 cm、短軸約 62 cm、深さ約 42 cm。煙道は検出されていない。底面－燃焼部は中央が窪む皿状で、燃焼部から焚口部に向かって傾斜して上がる。壁－燃焼部の北壁は内弯して外反、南壁は外反し、焚口部は両壁が外反している。	
埋土　8 層に分かれる。1～5 層には、地山起源の黄褐色土や明黄褐色土のブロックまたは焼成をうけ赤変した天井部崩壊土のブロックが含まれており、人為的堆積とみられる。単層で、自然堆積とみられる。底面直上及び埋土に堆積していた炭化材 7 点の樹種同定結果はクリ 2 点、ナラ 4 点、ホウノキ 1 点である。	
重複　柱穴 P3956 を切っている。	
出土遺物　炭化した穀類が 87 点出土している。46 点の種実同定をおこなった。	
時期・性格　詳しい時期は不明であるが、埋土、形態等から中世に属すると考える。炭化した穀類が多く出土していることから、煮炊きするカマドとして利用していたと推定される。	

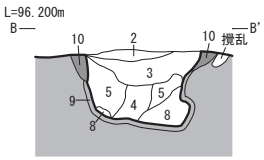
SX8（第 193 図　写真図版 118）	
位置　ⅠA3n	**長軸方向**－南北方向、**燃焼部の位置**－南側
形態　平面形－瓢箪形。長軸約 173 cm、短軸約 72 cm、深さ約 26 cm。煙道－長さ・約 53 cm、幅約 9～14 cm、位置・南壁で西方向に延びている。底面－燃焼部は浅皿状で、燃焼部から焚口部に向かって、緩やかな傾斜で上がる。壁－燃焼部は内弯し、焚口部は外反している。煙道部－燃焼部底面から急な傾斜で上がる。	
埋土　8 層に分かれる。1～7 層は人為的堆積とみられ、地山の起源のにぶい黄褐色土や黄褐色土のブロックまたは焼成を受け赤変した天井部崩壊土のブロックを多く含んでいる。底面直上には炭化物が堆積している。炭化材樹種同定した 3 点の樹種はクリ 2 点、ヤマウルシ 1 点である。	
重複　柱穴 P2740 に切られている。	
出土遺物　炭化した穀類が 40 点出土している。22 点の種実同定をおこなった。	
時期・性格　埋土、形態等から中世に属すると考えられる。放射性炭素年代測定での暦年較正用（1σ）では 1445-1480calAD（68.2%）である。炭化した穀類が多く出土していることから、煮炊きするカマド用として使用されていたと推定される。時期区分の 8 期（1412～1448 年頃）と想定される。	

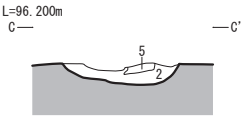
SX9（第 194 図　写真図版 119）	
位置　ⅠA3m	**長軸方向**－東西方向、**燃焼部の位置**－東側
形態　平面形－瓢箪形。長軸約 193 cm、短軸約 72 cm、深さ約 14 cm。煙道－長さ・約 48 cm、幅約 13～18 cm、位置・東壁で南東方向に延びている。底面－燃焼部は平坦で、燃焼部から焚口部に向って緩い傾斜で上がっている。壁－燃焼部前方の東壁はほぼ真直ぐに立ち上がり、南北壁および焚口部の両壁はゆるく外反している。煙道部は緩い傾斜で上がっている。	
埋土　8 層に分かれる。各層に地山起源のにぶい黄褐色土ブロックや焼成を受け赤変した崩壊土のブロックが含まれ、人為的堆積とみられる。埋土最下部から出土した炭化材 1 点の樹種同定の結果はクリである。	
重複　柱穴 P3875 を切り、柱穴 P2735 に切られている。	
出土遺物　なし。	
時期・性格　重複関係、埋土、形態から中世に属すると考えられる。放射性炭素年代測定での暦年較正用（1σ）では、1441-1467calAD（68.2%）である。煮炊き用のカマドとして使用されたと推定される。時期区分の 8 期（1412～1448 年頃）と想定した。	

SX7







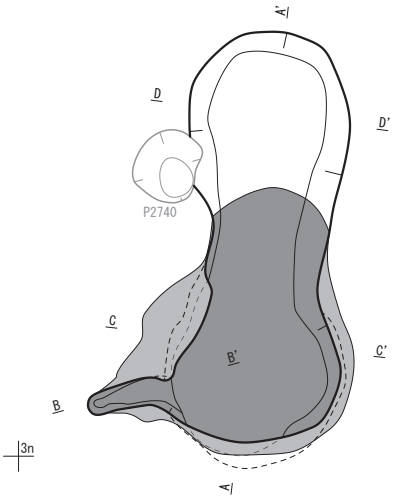


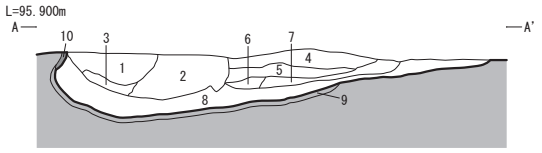
SX7 A-A',B-B',C-C'
1．10YR3/3 暗褐色土 10YR6/6明黄褐色土の小ブロックを多く含む
2．10YR3/2 黒褐色土 10YR5/6黄褐色土の小ブロック・10YR6/3にぶい黄橙色ブロックを多量に含む
3．10YR2/3 黒褐色土 5YR4/6赤褐色焼土ブロック・5YRにぶい黄橙色焼土ブロックを多量に含む
4．5YR3/6　暗赤褐色焼土 壁崩壊土 5YR7/8橙色焼土ブロックを多量に含む
5．5YR5/6　明赤褐色焼土 壁崩壊土
6．5YR2/1　黒褐色土 炭化物粒を少し含む
7．10YR2/1 黒色土 炭化物・炭化材を多量に含む
8．10YR2/1 黒色土 焼土粒・炭化物粒を少量含む
9．5YR3/4　暗赤褐色土 焼土
10．5YR4/6　赤褐色土 焼土

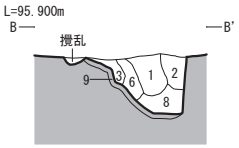
0　1m
1:30

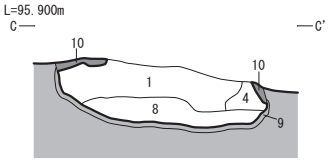
第 192 図　SX7

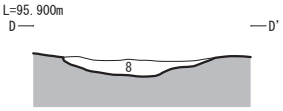
SX8









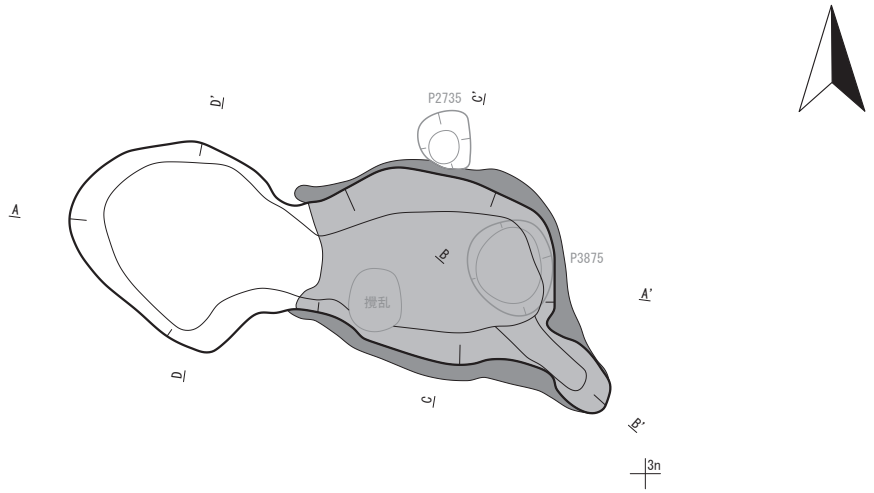


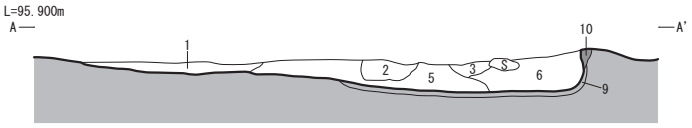
SX8 A-A',B-B',C-C',D-D'
1．10YR2/1　黒色粘土質土 炭化物粒・5YR4/6赤褐色焼土の小ブロック・10YR6/6明黄褐色土ブロックを少量含む
2．7.5YR3/1　黒褐色土 10YR5/4粘土質土ブロックを多量に含む
3．5YR3/6　暗赤褐色焼土 壁崩壊土
4．10YR5/4　にぶい黄褐色粘土質土 焼土粒・10YR5/6粘土質土ブロックを少量、10YR2/1黒色土の小ブロックを多く含む
5．10YR2/1　粘土質土 焼土粒を少し含む
6．5YR4/7　赤褐色焼土 壁崩壊土
7．10YR5/4　にぶい黄褐色粘土質土 5YR5/8明赤褐色焼土粒を少し、10YR2/1黒色土ブロックを少量含む
8．10YR1.7/1 黒色粘土質土 焼土粒・炭化材を多量に含む
9．5YR3/4　暗赤褐色土 焼土
10．5YR4/6　赤褐色土 焼土

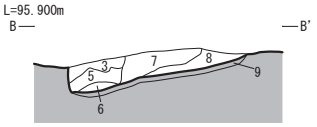
0　1m
1:30

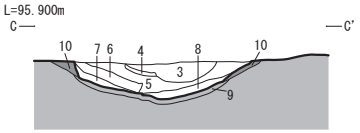
第193図　SX8

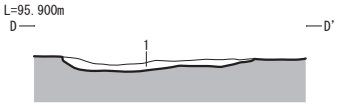
SX9



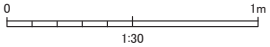








SX9 A-A', B-B', C-C', D-D'
1．7.5YR2/2 黒褐色土 10YR6/4にぶい黄褐色土ブロックを少量含む
2．7.5YR2/2 黒褐色土 10YR6/4にぶい黄褐色土の大ブロックを多量に含む
3．10YR2/2　黒褐色土 焼土粒を少し含む
4．5YR4/6　赤褐色土 焼土・再堆積土
5．5YR5/8　明赤褐色土 焼土・壁崩壊土
6．10YR2/1　黒色土 焼土粒・炭化物粒・10YR6/4にぶい黄橙色土の小ブロックを少量含む
7．5YR5/6　明赤褐色土 焼土・壁崩壊土 5YR3/3暗赤褐色焼土のブロックを多量に含む
8．5YR2/3　極暗赤褐色土 5YR5/6明赤褐色焼土粒を少量含む
9．5YR3/4　暗赤褐色土 焼土
10．5YR4/6　赤褐色土 焼土



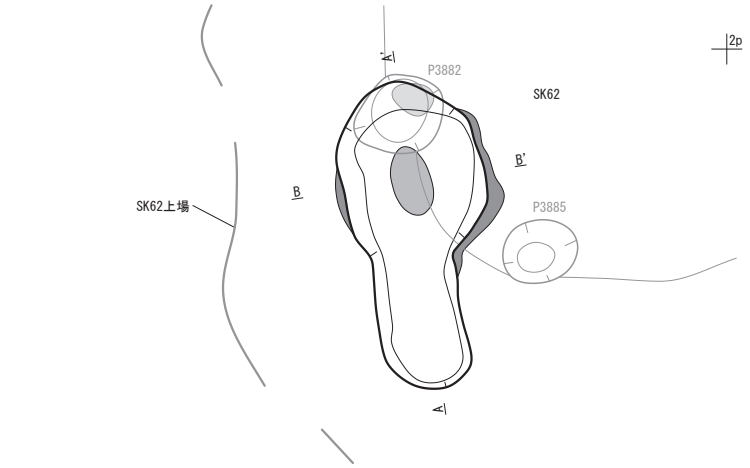
第 194 図　SX9

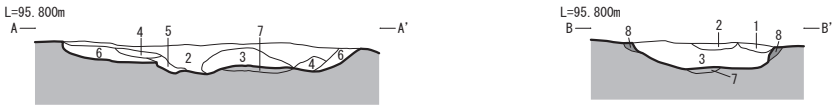
SX10（第 195 図　写真図版 120）	
位置　ⅠA1o	**長軸方向**－南北方向、**燃焼部の位置**－北側
形態　平面形－手鏡形。長軸約 123 cm、短軸約 63 cm、深さ約 12 cm。煙道－検出されていない。底面－燃焼部は平坦で、燃焼部から焚口部に向けて緩い傾斜で上がる。壁－南北壁、西壁は緩く外反し、東壁は真直ぐに立ち上がっている。	
埋土　6 層に分かれる。人為的堆積とみられ、各層に明赤褐色焼土の小ブロックまたはにぶい黄褐色土のブロックが含まれている。	
重複　SK62 を切る。	
出土遺物　炭化した穀類が 7 点出土している。6 点の種実同定をおこなった。	
時期・性格　埋土、形態等から中世に属すると考えられる。煮炊きするカマド用として使用していたと推定される。	

SX11（第 196 図、写真図版 121）	
位置　ⅠA3l	**長軸方向**－東西方向、**燃焼部の位置**－西側
形態　平面形－手鏡形。長軸約 145 cm、短軸約 69 cm、深さ約 12 cm。煙道－検出されていない。底面－燃焼部は平坦、燃焼部から焚口部に向ってすごく緩い傾斜で上がる。壁－燃焼部の壁は丸味を帯びて外反する。	
埋土　2 層（5・6 層）に分かれる。5 層には焼成を受け赤変している天井部崩壊土のブロック、6 層には地山起源のにぶい黄褐色土や焼土のブロックが含まれ、人為堆積とみられる。炭化樹種同定した 2 点の樹種は、クリである。	
重複　SX15 に切られている。	
出土遺物　なし。	
時期・性格　重複関係、埋土、形態等から中世に属すると考えられる。放射性炭素年代測定での暦年較正用（1σ）では 1437-1456calAD（68.2%）である。煮炊き用のカマドとして使用されていたと推定される。時期区分の 8 期（1412～1448 年頃）と想定した。	

SX12（第 195 図、写真図版 120）	
位置　ⅠA2f、2g	**長軸方向**－東西方向、**燃焼部の位置**－西側
形態　平面形－楕円形。長軸約 110 cm、短軸約 62 cm、深さ約 8 cm。煙道－検出されてない。燃焼部は浅皿状にやや窪み、緩い傾斜で立ち上がり、焚口部につながっている。壁－両壁とも緩く外反している。	
埋土　4 層に分けられる。各層に黄褐色土のブロックまたは焼土のブロックが含まれ、人為的堆積とみられる。	
重複　SI6 と重複するが前後関係は不明である。	
出土遺物　なし。	
時期・性格　重複関係、埋土、形態から、時期は中世に位置づけられるのかもしれない。遺構の性格は、遺構そのものが削平されており、残存する部分が少なく不明である。	

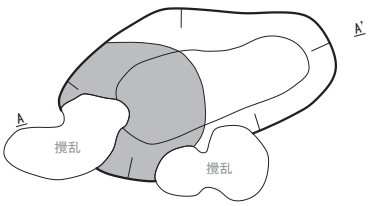
SX10

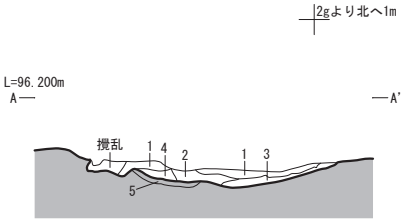




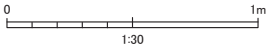
SX10 A-A',B-B'
1．10YR2/2　黒褐色土 5YR5/8明赤褐色焼土粒・10YR5/4にぶい黄褐色土の小ブロックを少し含む
2．10YR2/2　黒褐色土 5YR5/8明赤褐色焼土粒を多量に含む
3．10YR2/1　黒色粘土質土
4．7.5YR5/2 灰褐色土 焼土粒を少し含む
5．10YR2/3　黒褐色土 10YR5/4にぶい黄褐色土の小ブロックを少し含む
6．7.5YR2/2 黒褐色土 5YR5/8明赤褐色焼土粒を少量含む
7．5YR2/4　極暗赤褐色土 焼土
8．5YR4/6　赤褐色土 焼土

SX12



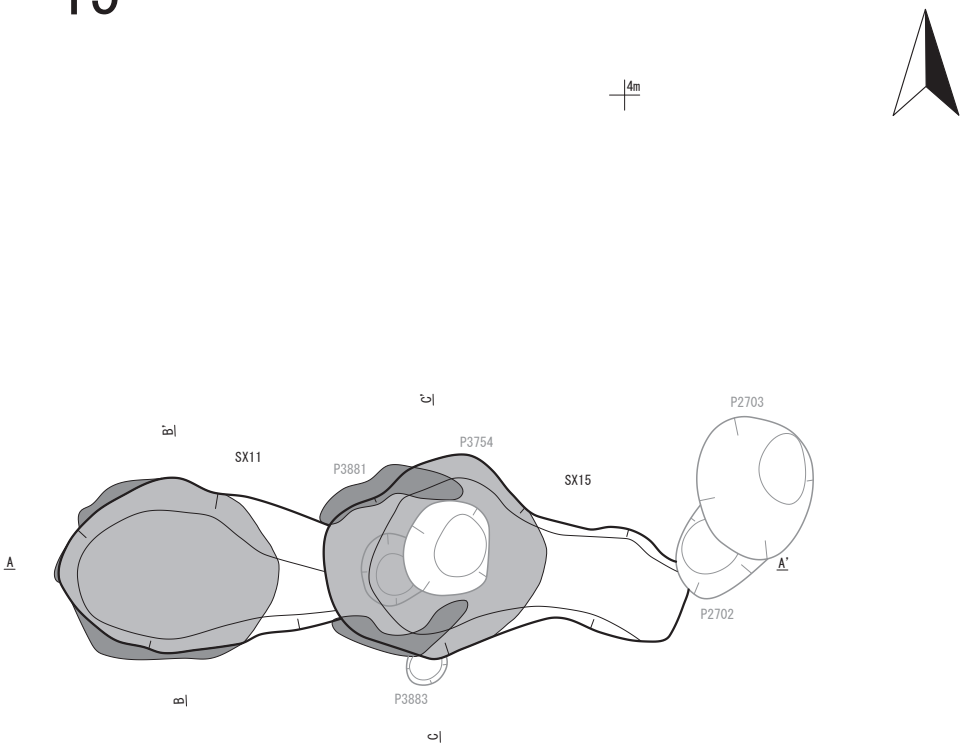


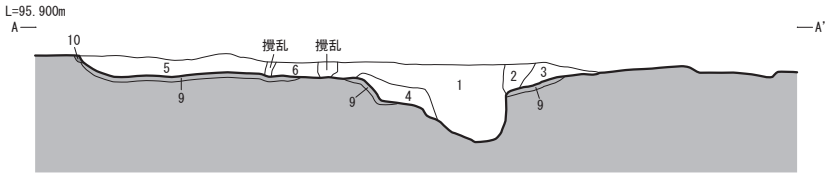
SX12 A-A'
1．10YR6/3 にぶい黄橙色土 10YR6/6明黄褐色土の中ブロックを多量に含む 人為的堆積
2．10YR6/2 灰黄褐色土 10YR6/1明黄褐色土のラミネも含まれる
3．10YR5/2 灰黄褐色土 10YR6/1明黄褐土のブロックを少量含む
4．5YR5/4　にぶい赤褐色土 焼土・再堆積 10YR2/1黒土が下底部に薄く(2mm程度)堆積
5．5YR3/4　暗赤褐色土 焼土

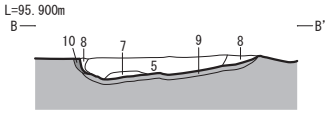


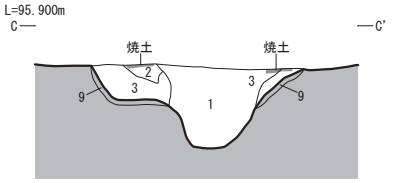
第 195 図　SX10・12

SX11・15









SX11・15 A-A',B-B',C-C' SX11(5・6) SX15(1～5)
1. 10YR2/2　黒褐色粘土質土 5YR5/8明赤褐色焼土・5YR3/3暗赤褐色焼土ブロックを少量、10YR6/4にぶい黄橙色粘土質土ブロックを多量に含む
2. 10YR2/3　黒褐色土 5YR3/3暗赤褐色焼土の小ブロック・10YR4/4褐色土の小ブロックを少量含む
3. 10YR 3/1 黒褐色土 10YR6/4にぶい黄褐色土の小ブロックを少量含む
4. 5YR2/1　黒褐色粘土質土 10YR6/4にぶい黄褐色の小ブロックを少量含む
5. 5YR3/4　暗赤褐色焼土 再堆積 炭化物粒を少量、5YR5/8明赤褐色焼土粒・ブロックを多量に含む
6. 10YR2/2　黒褐色土 10YR6/4にぶい黄褐色土の小ブロックを少量含む
7. 5YR3/4　暗赤褐色土 焼土
8. 5YR4/6　赤褐色土 焼土
9. 5YR3/4　暗赤褐色 焼土
10. 5YR4/6　赤褐色 焼土

0　1m
1:30

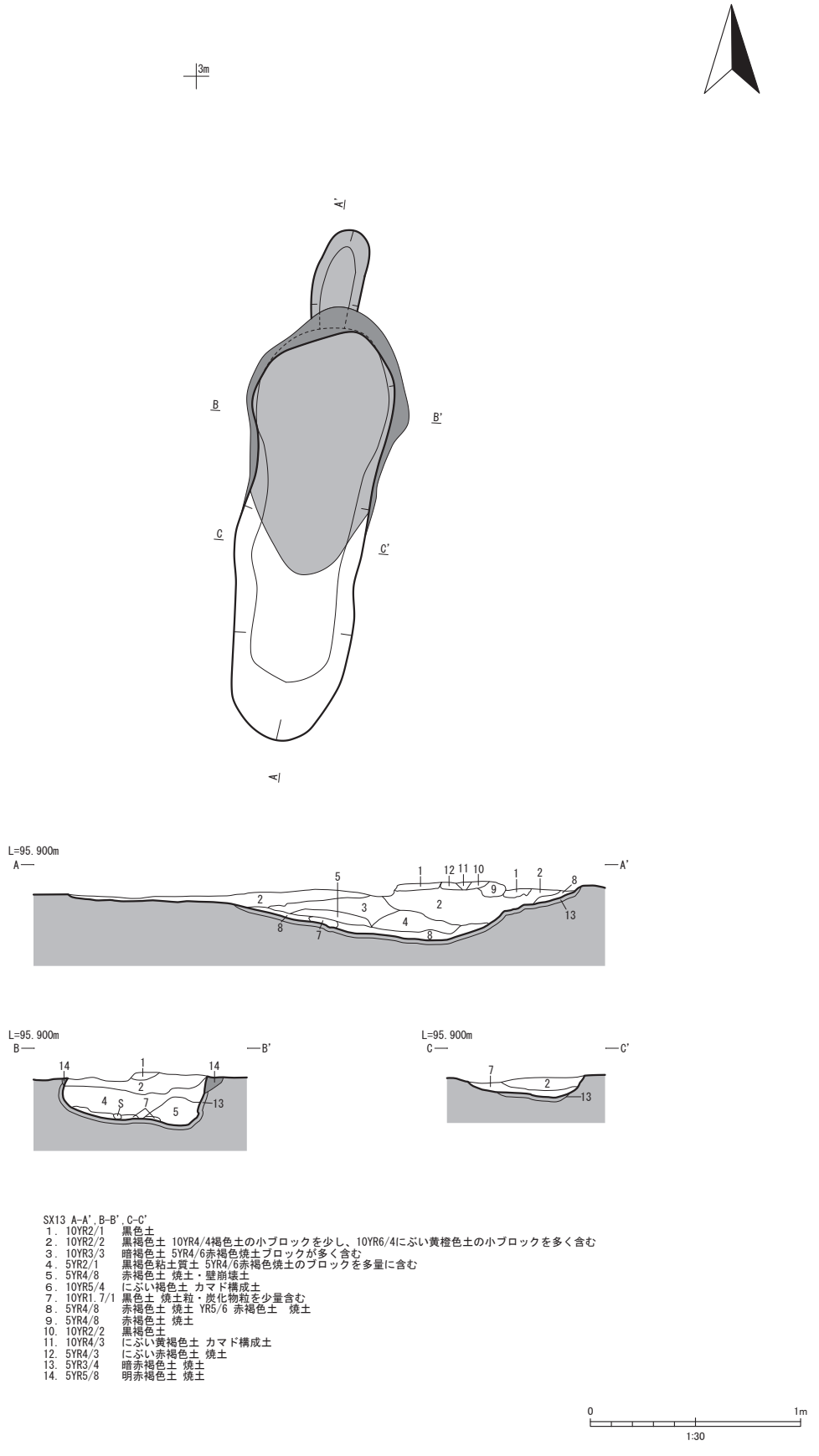
第196図　SX11・15

SX13（第 197 図、写真図版 122）	
位置　ⅠA2m	**長軸方向** – 南北方向、**燃焼部の位置** – 北側
形態　平面形 – 瓢箪形。長軸約 206 cm、短軸約 53 cm、深さ約 28 cm。煙道 – 長さ・約 45 cm、幅・約 12～14 cm、位置・北壁で北方向に延びている。底面 – 燃焼部ではやや浅皿状で、燃焼部から焚口部に向って緩い傾斜で上がっている。煙道部は燃焼部より緩く立ち上がっている。壁 – 燃焼部前方の北壁や南北壁は内弯しながら立ち上がり、焚口部は両壁とも緩く外反している。	
埋土　8 層に分けられる。1 層は自然堆積、2 層～8 層には地山起源のにぶい黄褐色土・褐色土のブロックまたは焼成により赤変した天井部崩壊土のブロックが含まれていることから、人為的堆積とみられる。炭化材として、クリ 5 点、ホウノキ 2 点、ナラ 1 点が検出されている。	
重複　なし。	
出土遺物　炭化材が出土した。	
時期・性格　埋土、形態から、中世に属すると考えられる。煮炊き用のカマドとして使用されていたと推定される。	

SX14（第 198 図、写真図版 123）	
位置　ⅠA2l	**長軸方向** – 南北方向、**燃焼部の位置** – 北側
形態　平面形 – 瓢箪形。長軸約 116 cm、短軸約 55 cm、深さ約 11 cm。煙道 – 検出されていない。底面 – 燃焼部は浅皿状で、燃焼部から焚口部に向って緩い傾斜で上がり、更に途中で平坦に近い傾きになる。壁 – 燃焼部の壁は丸味を帯びて内弯し、焚口部の壁は外反している。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
時期・性格　埋土、形態から中世に属すると考えられる。性格を決める遺物は出土していないが、煮炊き用のカマドとして使用されていたものと推定される。	

SX15（第 196 図、写真図版 121・124）	
位置　ⅠA3l、3m	**長軸方向** – 東西方向、**燃焼部の位置** – 西側
形態　平面形 – 手鏡形。長軸 – 約 145 cm、短軸 – 約 78 cm、深さ約 12 cm。煙道 – 検出されていない。底面 – 燃焼部は平坦で、燃焼部から焚口部に向けて緩く傾斜して上がる。壁 – 燃焼部の南北壁は緩く外反している。	
埋土　4 層に分けられる。各層に地山起源のにぶい黄橙色粘土質土・褐色土のブロックや明赤褐色焼土のブロックが含まれていることから、人為堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし	
時期・性格　埋土、形態から中世に属すると考えられる。放射性炭素年代測定での暦年校正用（1σ）では 1458–1499calAD（44.8%）である。煮炊き用のカマドに使用されていたと推定される。時期変遷の 10 期（1486～1522 年頃）と想定する。	

SX13

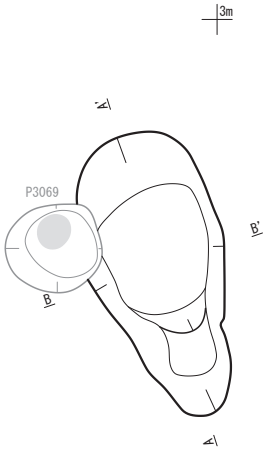


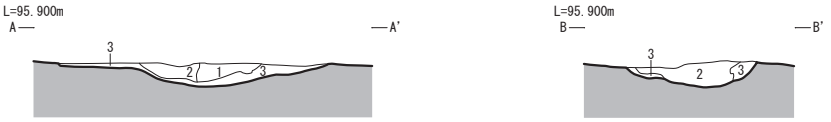
SX13 A-A',B-B',C-C'
1．10YR2/1　黒色土
2．10YR2/2　黒褐色土 10YR4/4褐色土の小ブロックを少し、10YR6/4にぶい黄橙色土の小ブロックを多く含む
3．10YR3/3　暗褐色土 5YR4/6赤褐色焼土ブロックが多く含む
4．5YR2/1　黒褐色粘土質土 5YR4/6赤褐色焼土のブロックを多量に含む
5．5YR4/8　赤褐色土 焼土・壁崩壊土
6．10YR5/4　にぶい褐色土 カマド構成土
7．10YR1.7/1 黒色土 焼土粒・炭化物粒を少量含む
8．5YR4/8　赤褐色土 焼土 YR5/6 赤褐色土　焼土
9．5YR4/8　赤褐色土 焼土
10．10YR2/2　黒褐色土
11．10YR4/3　にぶい黄褐色土 カマド構成土
12．5YR4/3　にぶい赤褐色土 焼土
13．5YR3/4　暗赤褐色土 焼土
14．5YR5/8　明赤褐色土 焼土

0　1m
1:30

第 197 図　SX13

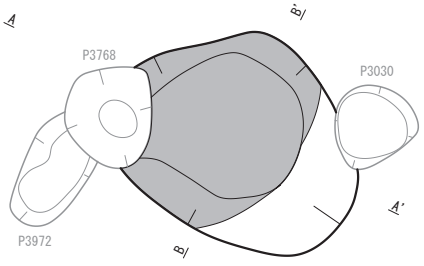
SX14

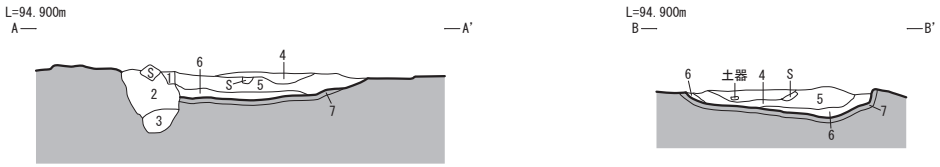




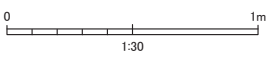
SX14 A-A',B-B'
1．5YR2/3　極暗赤褐色土 焼土・再堆積、5YR5/6明赤褐色焼土のブロックを4割含む
2．5YR2/2　黒褐色土 炭化物粒・5YR5/6焼土の小ブロックを多く含む
3．7.5YR2/1 黒色粘土質土 焼土粒・10YR5/4にぶい黄褐色土を少量、炭化物を多量に含む

SX16





SX16 A-A',B-B' 柱穴P3768埋土(1～3),SX16(4～6)
1．5YR6/6　橙色土 10YR6/4にぶい黄橙色土のブロックを多量に含む
2．10YR2/2 黒褐色土
3．10YR2/1 黒褐色土 5YR5/6明赤褐色焼土のブロック・10YR5/6黄褐色砂質土のブロックを少量含む
4．10YR2/3 黒褐色土 10YR6/1褐灰色土のブロック多く含む
5．5YR5/6　明赤褐色土 焼土・壁の崩壊土
6．10YR2/1 10YR6/4にぶい黄褐色シルトのブロック多く含む
7．5YR 3/4 暗赤褐色土 焼土



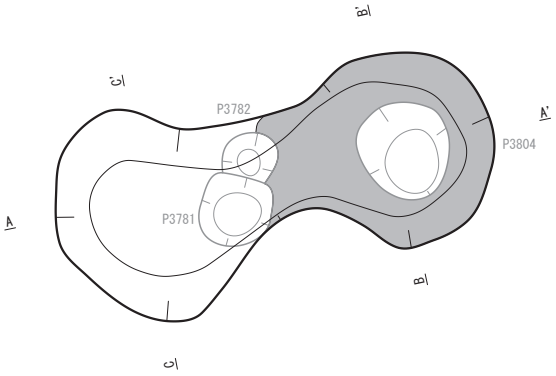
第198図　SX14・16

SX16（第 198 図、写真図版 124）	
位置　ⅠA2k	**長軸方位** – 東西方向、**燃焼部の位置** – 西側
形態　平面形 – 楕円形。長軸約 104 cm、短軸約 83 cm、深さ約 12 cm、煙道 – 検出されていない。底面 – 燃焼部は平坦で、燃焼部から焚口部に向って緩い傾斜をして上がっている。壁 – 燃焼部前方の西壁は柱穴によって切られていて不明であるが、南・北壁は外反している。	
埋土　3 層に分けられる。各層に黄褐色土・褐色土のブロックまたは焼成により赤変したカマド崩壊土のブロックが含まれており、人為的堆積とみられる。	
重複　柱穴 P3768（SB40）、P3030（SB22）に切られている。	
出土遺物　埋土から土師器坏（124、125）が出土している。124 は二次的に被熱しており、黒色処理が消失している。	
時期・性格　埋土から出土している土師器は平安時代に位置づけられが、直接遺構に伴うものではないと考える。埋土、形態等から古代から中世に属すると考えられる。煮炊き用のカマドとして使用されていた可能性がある。	

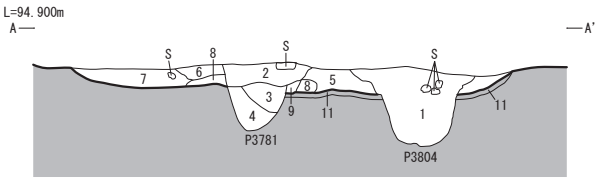
SX17（第 199 図、写真図版 125）	
位置　ⅠA2j	**長軸方向** – 東西方向、**燃焼部の位置** – 東側
形態　平面形 – 瓢箪形、長軸約 178 cm、短軸約 76 cm、深さ約 9 cm。煙道 – 検出されていない。底辺 – 燃焼部は平坦で、燃焼部から焚口部に向って緩い傾斜で上がる。壁 – 燃焼部で外反、焚口部で緩く外反している。	
埋土　5 層に分かれる。柱穴に切られているが、残存する埋土の各層には、焼土のブロック、焼土粒が多く含まれ、人為的堆積とみられる。埋土下部から出土した炭化材 1 点の樹種同定結果はナラである。	
重複　柱穴 P3781、P3804 に切られ、P3782 を切っている。	
出土遺物　炭化した穀類が 1 点出土している。	
時期・性格　重複関係、埋土、形態から中世に属すると考えられる。放射性炭素年代測定での暦年較正用では、1412-1430calAD（68.2%）である。煮炊き用のカマドとして使用されたと推定される。時期変遷の 8 期（1412～1448 年頃）と想定する。	

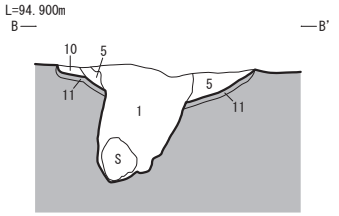
SX18（第 200 図、写真図版 126）	
位置　ⅠA5l、6l	**長軸方向** – 南北方向、**燃焼部の位置** – 北側
形態　平面形 – 瓢箪形。長軸約 192 cm、短軸約 77 cm、深さ約 16 cm。煙道 – 検出されていない。底面 – 燃焼部は平坦で、燃焼部から平坦部に向って緩い傾斜で上がる。壁 – 燃焼部の東・西壁は外反し、焚口部の両壁も外反する。	
埋土　13 層に分かれる。各層ににぶい黄褐色土・黄褐色土のブロックまたは明赤褐色焼土・赤褐色焼土のブロック等が含まれており、人為的堆積とみられる。	
重複　柱穴 P3819（SB2）、P3839・P3840、P3841 に切られ、柱穴 P3821、P3965 を切っている	
出土遺物　なし。	
時期・性格　柱穴との切り合い関係、埋土、形態等から、中世に位置づけられる。煮炊き用のカマドとして使用されていたと推定される。	

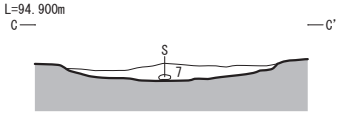
SX17



2k





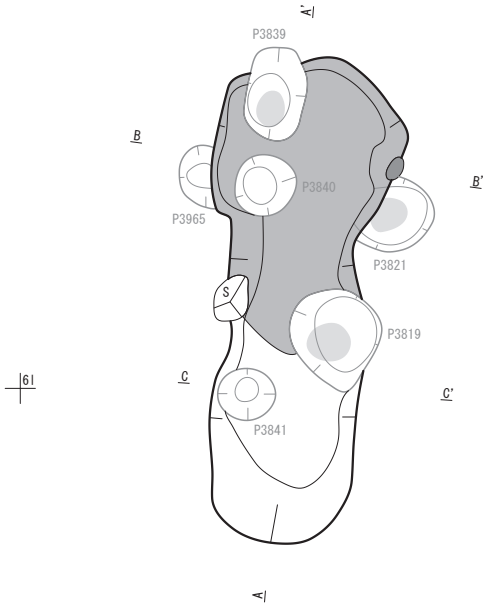


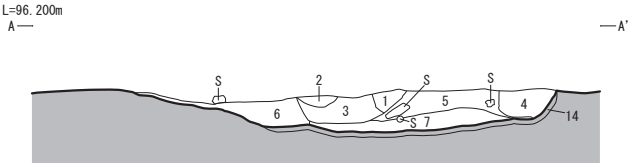
SX17 A-A',B-B'　P3781・P3782柱穴埋土断面
1．10YR2/2　黒褐色土 小円礫を少量、10YR6/4にぶい黄橙色土のブロックを多く含む
2．10YR3/2　黒褐色土 10YR6/4にぶい黄橙色土を少量含む
3．10YR2/2　黒褐色土
4．10YR2/2　黒褐色土 10YR5/4にぶい黄褐色土ブロックを多く含む
5．7.5YR3/2 黒褐色土 5YR5/4にぶい黄褐色土のブロックを多量に含む
6．10YR3/1　黒褐色土 5YR5/4にぶい黄褐色の中ブロックを2～3割含む
7．10YR3/2　黒褐色土
8．10YR2/1　黒色土 炭化物粒・焼土粒を多く含む
9．5YR4/4　にぶい赤褐色土 焼土・再堆積土
10．10YR6/4　にぶい黄橙色土
11．5YR3/4　暗赤褐色土 焼土

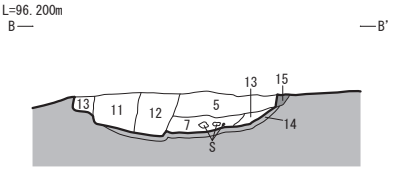
0　1m
1:30

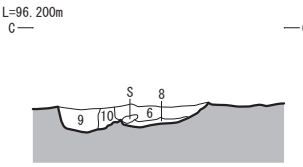
第199図　SX17

SX18

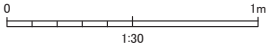








SX18 A-A',B-B',C-C'
1．5YR4/8　赤褐色土 焼土・壁崩壊土
2．10YR5/4　にぶい黄褐色粘土質土 10YR4/4赤褐色焼土のブロックを多く含む
3．5YR3/1　黒褐色粘土質土 5YR6/8赤褐色焼土ブロックを多く、5YR4/8赤褐色焼土ブロックを少し含む
4．10YR2/2　黒褐色粘土質土 5YR4/3にぶい赤褐色焼土粒を多量に含む
5．7.5YR3/1 黒褐色土 10YR5/6黄褐色土ブロック、亜円礫を少し含む
6．7.5YR3/1 黒褐色土 5YR4/4黄褐色土ブロックを少し含む
7．7.5YR2/3 極暗褐色土 炭化物粒を少し、5YR4/4にぶい赤褐色焼土粒を多量に含む
8．10YR3/2　黒褐色土 炭化物粒、焼土粒を少し含む
9．10YR2/2　黒褐色土 10YR6/4にぶい黄橙色土の小ブロックを多量に含む
10．10YR4/3　にぶい黄褐色土
11．7.5YR2/2 黒褐色土 5YR5/3明赤褐色焼土粒、小円礫を少量含む
12．7.5YR2/3 極暗褐色土 炭化物粒を少し、5YR4/4にぶい赤褐色焼土粒を多量に含む
13．5YR4/4　にぶい赤褐色土 焼土・崩壊土
14．5YR3/4　暗赤褐色土 焼土
15．5YR4/6　赤褐色土 焼土



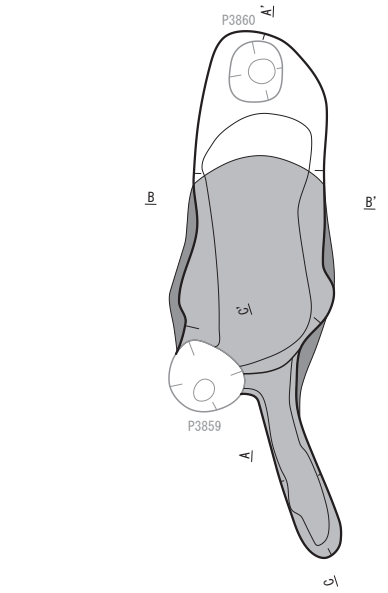
第 200 図　SX18

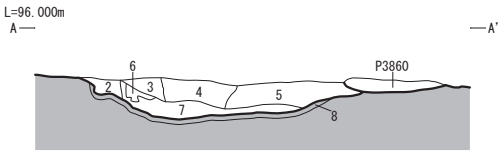
SX19（第 201 図、写真図版 127）	
位置　ⅠA2l	**長軸方向**－南北方向、**燃焼部の位置**－南側
形態　平面形－瓢箪形、長軸約 144 cm、短軸約 61 cm、深さ約 17 cm。煙道－長さ・約 75 cm、幅・約 14～17 cm、位置・南壁で南東方向に延びている。底面－燃焼部は浅皿状で、燃焼部から焚口部に向って緩い傾斜で上がり途中から傾きが強くなっている。壁－燃焼部前方の南壁は外反してから平坦になり更に立ち上がっている。東西壁は内弯している。煙道部－燃焼部から立ち上がり、一旦下がり平坦になった後、緩い傾斜で立ち上がっている。	
埋土　7 層に分かれる。各層にはにぶい黄褐色土のブロックまたは焼成を受け赤変した天井部崩壊土や焼土粒等が含まれることから、大半が人為堆積とみられる。	
重複　柱穴 P3859、P3860 に切られている。	
出土遺物　なし。	
時期・性格　重複関係、埋土、形態から中世に属するものと考えられる。遺物は出土していないが、他のカマド状遺構と同じ煮炊き用のカマドとして使用されていたと推定される。	

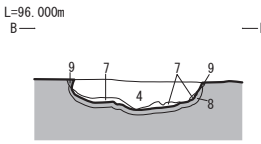
SX20（第 202 図、写真図版 128）	
位置　ⅠA6i	**長軸方向**－東西方向、**燃焼部の位置**－西側
形態　平面形－燃焼部－円形。長軸約 54 cm 以上、短軸約 65 cm、深さ約 22 cm。煙道－長さ・約 46 cm、幅・約 19～24 cm、位置・東壁で東方向に延びている。底面－燃焼部浅皿状である。壁－燃焼部は内弯しながら立ち上がっている。煙道部－燃焼部から内弯した後、緩い傾斜で立ち上がっている。	
埋土　7 層に分かれる。6 層は灰や炭化物などが含まれており、使用時に堆積した層と考えられる。その他の層には、にぶい黄橙色土のブロックまたは明赤褐色焼土のブロックを含まれており、人為的堆積とみられる。埋土下部から出土した炭化材 1 点の樹種同定結果は、ナラである。	
重複　西側半分を試掘トレンチに壊されている。また、苑池（SG1）と重複関係にあるが、本遺構が新しい。	
出土遺物　炭化した穀類が 34 点出土している。20 点の樹種同定をおこなった。	
時期・性格　中世に属すると考えられる。放射性炭素年代測定での暦年較正用（1σ）では、1420–1437calAD（68.2%）である。炭化した穀類が出土していることから、煮炊き用のカマドとして使用していたと推定される。時期変遷 8 期（1412～1448 年頃）と想定する。	

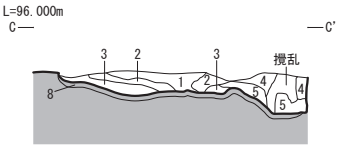
SX21（第 203 図、写真図版 129）	
位置　ⅠA5b、6b	**長軸方向**－南北方向、**燃焼部の位置**－南側
形態　平面形－瓢箪形か。長軸約 134 cm 以上、短軸約 42 cm 以上、深さ約 33 cm。煙道－検出されていない。底面－浅皿状、燃焼部から焚口部に向って緩い傾斜で上がっている。壁－燃焼部は内弯し、焚口部は外反している。	
埋土　8 層に分かれる。最下層を除いて、各層には暗褐色土・褐色土・にぶい黄褐色土のブロックまたは赤褐色焼土のブロックが含まれ、人為的堆積とみられる。最下層（10 層）は使用時に堆積していた層と考えられる。埋土最下部に堆積していた炭化材 2 点の樹種同定結果は、クリ 1 点、サワグルミ 1 点である。	
重複　SK64、柱穴 P3808 に切られている。	
出土遺物　なし。	
時期・性格　切り合い関係、埋土、形態等から、中世に属するものと考えられる。出土遺物はないが、他のカマド状遺構と同じく煮炊き用のカマドとして使用されていたと推定される。	

SX19

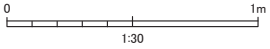






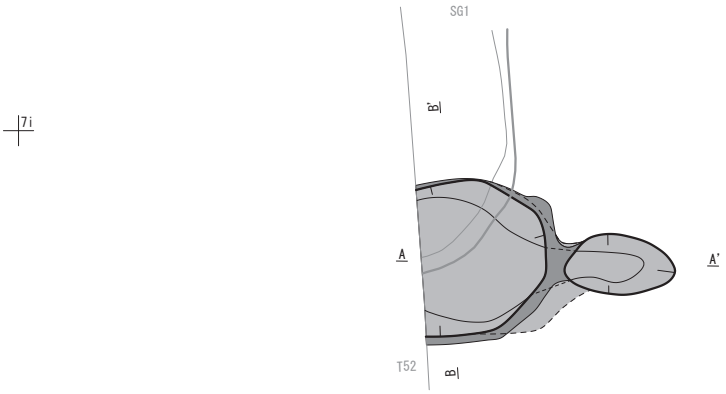


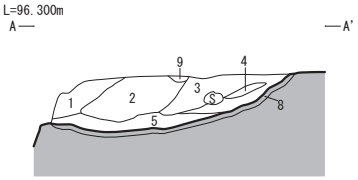
SX19 A-A',B-B',C-C'
1．10YR3/1 黒褐色土 10YR6/4にぶい黄橙色土の小ブロックを多く含む
2．10YR2/2 黒褐色土 5YR5/8暗明赤褐色焼土粒を少量含む
3．10YR3/1 黒褐色土 5YR5/8明赤褐色焼土粒を少し含む
4．5YR3/2 暗赤褐色土 焼土・再堆積、5YR5/8明赤褐色焼土ブロックを多量に含む
5．5YR5/8 明赤褐色土 焼土・壁崩壊土 炭化物粒を少し含む
6．5YR6/8 橙色焼土 再堆積土
7．10YR2/1 黒色土 炭化物粒・5YR5/8明褐色焼土粒を少量含む
8．5YR3/4 暗赤色土 焼土
9．5YR4/6 赤褐色土 焼土

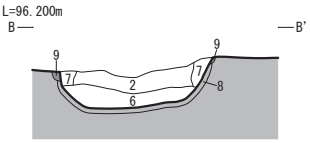


第 201 図　SX19

SX20





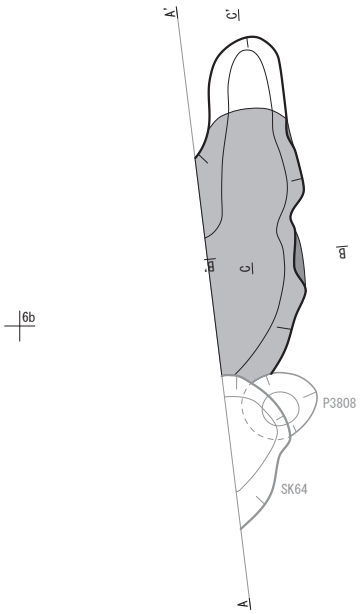


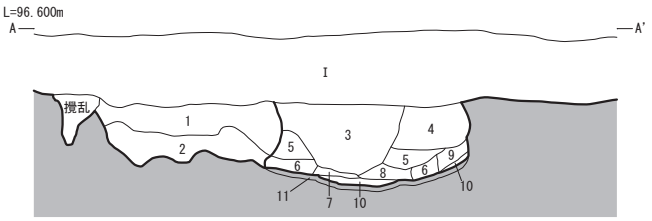
SX20 A-A', B-B'
1．10YR2/2　黒褐色土 10YR6/3にぶい黄橙色土の小ブロックを少し含む
2．10YR2/3　黒褐色土 5YR5/8明赤褐色焼土・10YR6/8明黄褐色土を少量含む
3．7.5YR2/1　黒色土 焼土粒を少し含む
4．7.5YR4/3　褐色土 にぶい赤褐色焼土粒を少し含む
5．7.5YR4/4　極暗褐色土 炭化物粒を多く含む
6．10YR1.7/1 黒色土 灰のブロックを少量、炭化物粒を多量に含む
7．10YR2/2　黒褐色土 炭化物粒・10YR6/4にぶい黄橙色土を少し含む
8．5YR3/4　暗赤褐色土 焼土
9．5YR4/6　赤褐色土 焼土

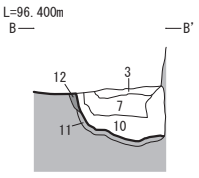
0　1m
1:30

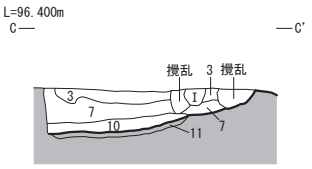
第 202 図　SX20

SX21



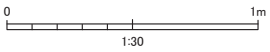






SK64
1．10YR2/2　黒褐色土 10YR4/4褐色土の小ブロックを少し含む
2．10YR2/2　黒褐色土 10YR4/3暗褐色土ブロックを少し、10YR3/3暗褐色土のブロックを少量含む

SX21 A-A',B-B',C-C'
3．10YR 2/1 黒色土 5YR5/8明赤褐色焼土粒・10YR3/4暗褐色土のブロックを少量含む
4．7.5YR2/2 黒褐色土 炭化物粒を少し、10YR3/2暗褐色土の小ボロックを多く含む
5．7.5YR2/2 黒褐色土 10YR4/4褐色土の小ブロック・10YR5/6黄褐色土の小ブロックを多く含む
6．7.5YR2/2 黒褐色土 10YR5/4にぶい黄褐色土を多く含む
7．5YR2/3　極暗赤褐色焼土 再堆積 5YR4/8赤褐色焼土粒を多く含む
8．5YR3/6　暗赤褐色焼土 再堆積 5YR5/4赤褐色焼土粒も少し含む
9．7.5YR2/2 黒褐色土
10. 10YR2/1　黒色土 炭化物粒・5YR4/8赤褐色焼土粒を少し含む
11. 5YR3/4　暗赤褐色土 焼土
12. 5YR4/6　赤褐色土 焼土



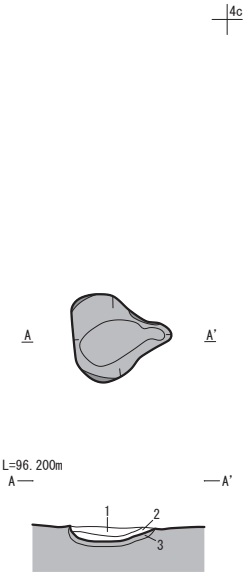
第 203 図　SX21

SX22（第 204 図、写真図版 123）	
位置　ⅠA3b	**長軸方向** – 東西方向、**燃焼部の位置** – 東側
形態　平面形 – 楕円形か。長軸約 41 cm、短軸約 34 cm、深さ約 6 cm。煙道 – 長さ・約 8 cm、幅・約 9～11 cm、位置・東壁で東方向に延びている。底面 – 北側（燃焼部）は幾分凹凸があり浅皿状を呈し、一旦立ち上がった後、緩い傾斜で南（焚口部）に向って上がっていっている。壁 – 北壁・東壁はオーバーハングし、南壁、西壁は外反している。	
埋土　2 層に分かれる。各層に焼土や炭化物が多く含まれ人為堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
時期・性格　削平され最下底部のみ残存したものと捉えた。詳しい時期は不明であるが、他のカマド状遺構から、中世に属すると考えられる。出土遺物はないが、他の遺構と同じように煮炊きするカマド用として使用されていたと推測される。	

SX23（第 204 図、写真図版 130）	
位置　ⅠA11f	**長軸方向** – 南北方向、**燃焼部** – 存在しない
形態　平面形 – 手鏡形。長軸約 168 cm、短軸約 81 cm、深さ約 35 cm。煙道 – 検出されていない。底面 – 北側（燃焼部）は幾分凹凸があり浅皿状を呈し、一旦立ち上がった後、南（焚口部）に向って緩く上がっていっている。壁 – 北壁、東壁はオーバーハングし南壁、西壁は外反している。	
埋土　9 層に分けられる。各層ににぶい黄橙色のブロックが含まれ、人為的堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　近代～現代の洋釘が含まれていた。	
時期・性格　使用の痕跡がなく、形態から考えてカマド状遺構としたもので、未完成、未使用のものとして取り扱った。時期は近代以降である。	

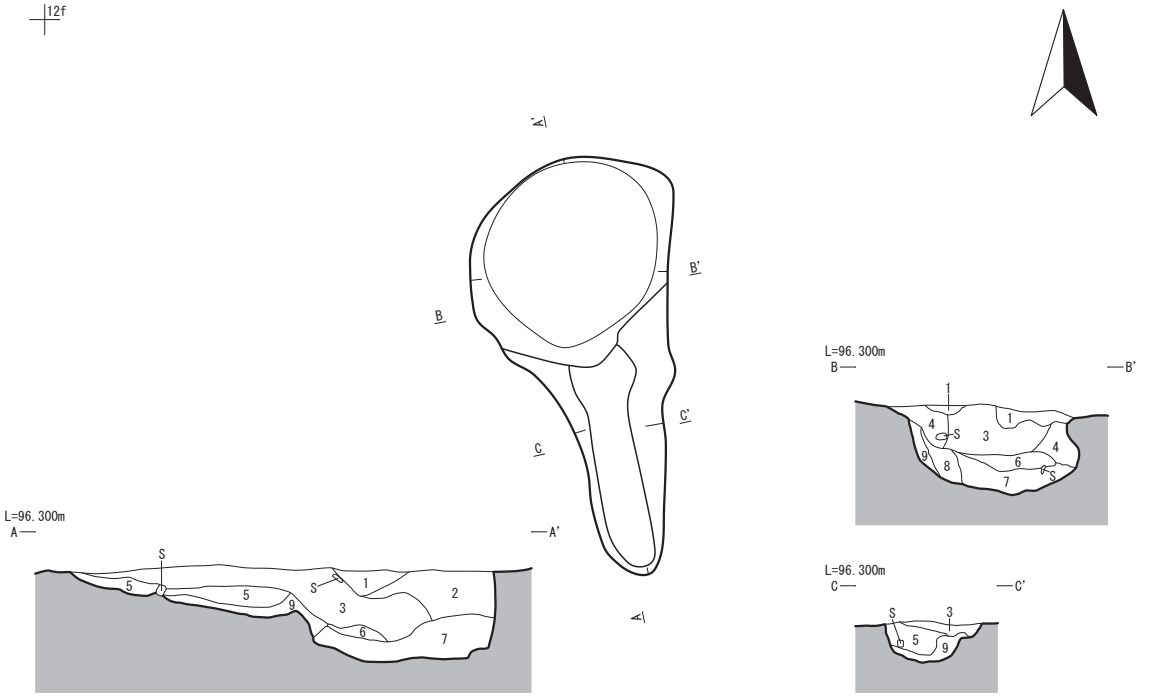
SX24（第 205 図、写真図版 131）	
位置　ⅠA2o	**長軸方向** – 南北方向、**燃焼部の位置** – 南側
形態　平面形 – 瓢箪形、長軸約 113 cm、短軸約 36 cm、深さ約 14 cm。煙道 – 長さ・約 16 cm、幅・約 9～14 cm、位置・南壁で南西方向に延びている。底面 – 燃焼部は浅皿状、燃焼部から焚口部に向って一旦上がり、その後緩い傾斜で上がっている。壁 – 燃焼部の東西壁は内弯し、焚口部は緩く外反している。煙道部は緩く外反している。	
埋土　9 層に分かれる。各層にはにぶい黄褐色土のブロックや焼成を受けて赤変している天井部崩壊土・焼土ブロックが含まれており、人為的堆積とみられる。埋土最下部から出土した炭化材 2 点の樹種同定結果は、クリ 1 点、サワグルミ 1 点である。	
重複　柱穴 P3341、P3342 に切られている。	
出土遺物　炭化した穀類が 2 点出土している。2 点の種実同定をおこなった。	
時期・性格　切り合い関係、埋土、形態から、中世に属すると考えられる。煮炊きするカマド用として使用されていたと推定される。	

SX22



SX22 A-A'
1．10YR2/1　黒色土 焼土粒少し、炭化物粒多く含む
2．7.5YR2/2 黒褐色土 小石を少し、5YR5/6明赤褐色焼土粒を多く含む
3．5YR3/4　暗赤褐色土 焼土

SX23

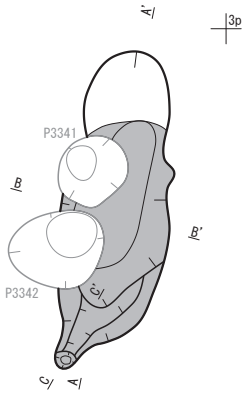


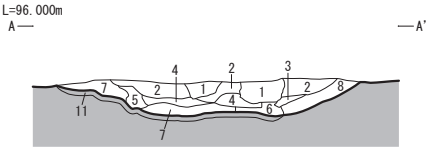
SX23 A-A',B-B',C-C'
1．10YR2/3　黒褐色土 10YR6/4にぶい黄橙色土を少量含む
2．10YR2/2　黒褐色土 小円礫を少量含む
3．7.5YR2/2 黒褐色土 炭化物粒・10YR6/4にぶい黄橙色土の小ブロック
4．7.5YR2/2 黒褐色土 小円礫を少量、10YR6/6明黄褐色土のブロックを多量に含む
5．10YR2/2　黒褐色土 10YR6/4にぶい黄橙色土の小ブロックを少量含む
6．10YR5/4　にぶい黄褐色土 10YR6/4にぶい黄橙色土のブロックを多量に含む
7．10YR2/2　黒褐色土 10YR6/4にぶい黄橙色土のブロックを多く含む
8．10YR2/1　黒色土 10YR7/4にぶい黄橙色土の小ブロックを少し含む
9．10YR5/4　にぶい黄褐色土

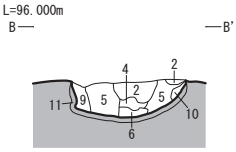
0　1m
1:30

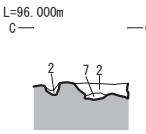
第 204 図　SX22・23

SX24

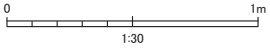








SX24 A-A',B-B',C-C'
1．10YR2/3　黒褐色土 5YR4/8赤褐色焼土粒・10YR5/4にぶい黄褐色土ブロックを少量含む
2．5YR5/6　明赤褐色焼土 再堆積　5YR3/3暗赤褐色焼土粒も少量含む
3．5YR6/8　橙色土 焼土・再堆積
4．5YR2/1　黒褐色土 5YR5/8明赤褐色焼土粒を少し、5YR3/3暗赤褐色焼土粒を多量に含む
5．5YR2/2　黒褐色土 5YR6/8橙色焼土粒・5YR2/1黒褐色土ブロックを少量含む
6．5YR2/2　黒褐色土
7．10YR2/2　黒褐色土 炭化物粒・5YR5/3にぶい赤褐色焼土粒を少量含む
8．7.5YR2/2 黒褐色土 2.5YR6/1橙色焼土粒を多く含む
9．5YR3/1　黒褐色土 5YR7/8明赤褐色焼土粒を少量、5YR6/6橙色焼土粒を多く含む
10．10YR6/6　明黄褐色土
11．5YR3/4　暗赤褐色土 焼土

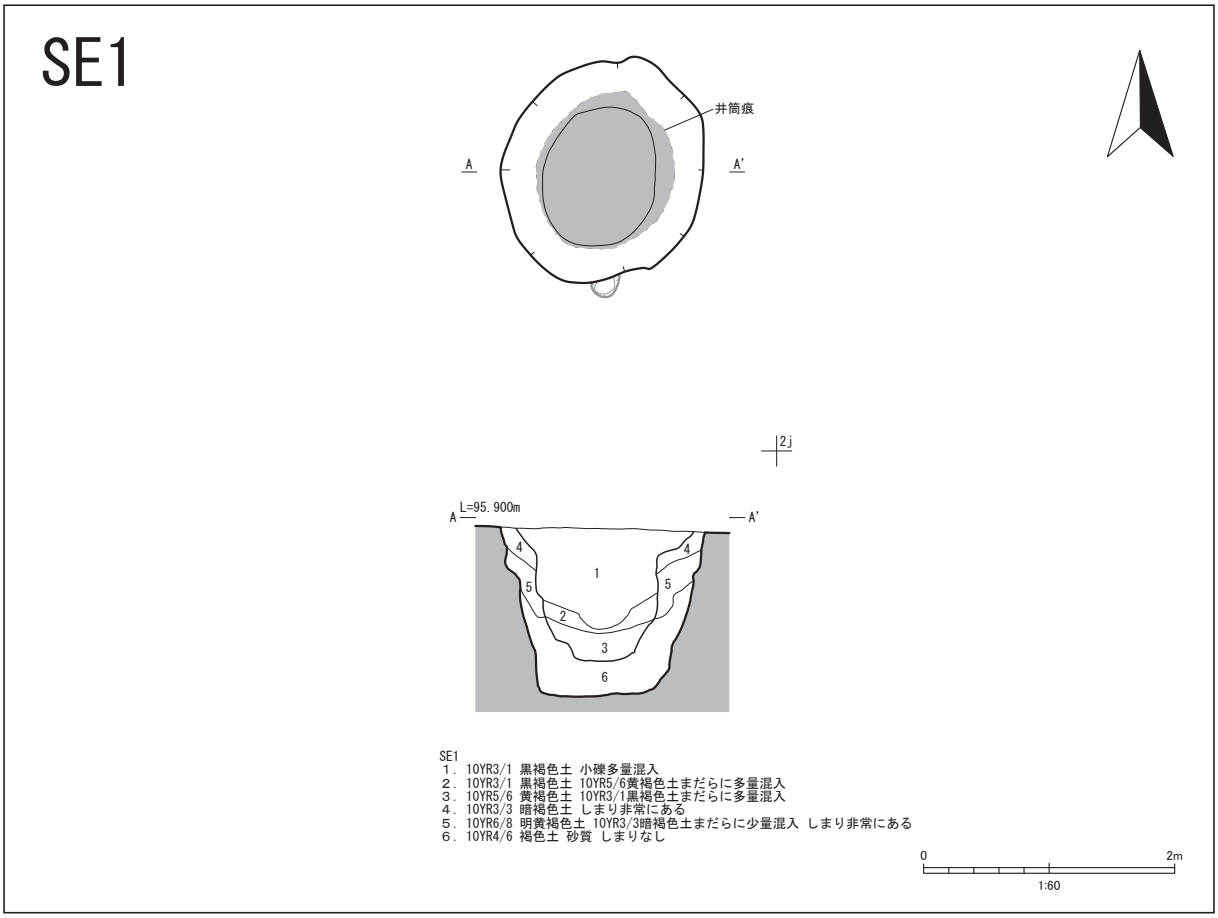


第 205 図　SX24

4 井　　戸

今回検出の遺構で井戸と推測されるものは1基のみである。遺構略号はSEとし、表形式で事実記載をおこなう。記載は羽柴がおこなった。

SE1（第206図　写真図版132）	
位置　ⅠA2i　区画内部	**時期**　1153～1189年頃と想定する。
規模　158 cm×175 cm	**深さ**　検出面から133 cm
埋土　6層に分けられる。	
重複　直接重複する遺構はない。	
形態　土層の観察から、筒状のものを据え、その周囲に土を充填して埋設した遺構と判断した。深さ等も考え合わせ、井筒を据えた井戸と解釈したい。1～3層と4、5層では土のしまり、色調が全く異なっており、1～3層が井筒内部に堆積した土、4、5層が井筒を埋設するために充填した土と解釈する。1、2、3層と4、5層の境界部が井筒そのもの痕跡と理解されるが、土層としては確認できない幅であり、井筒は曲物のような薄い素材であったと推測される。1層上部が広がっているのは、井筒の上半部が腐食した後に1層が堆積したものであろうか。最下層の6層は、掘方を掘った後、6層を構成する砂質土を充填し、その上に井筒を置いたものと解釈する。井筒の痕跡の平面形は106 cm×123 cmの楕円形である。	
出土遺物　出土遺物は全くなかった。また、井筒の部材の残存は全くなかった。	
遺構の形態的特徴から井戸と判断する。遺構の配置関係等により、遺構変遷の1期（1153～1189年頃）と想定する。	



第206図　SE1

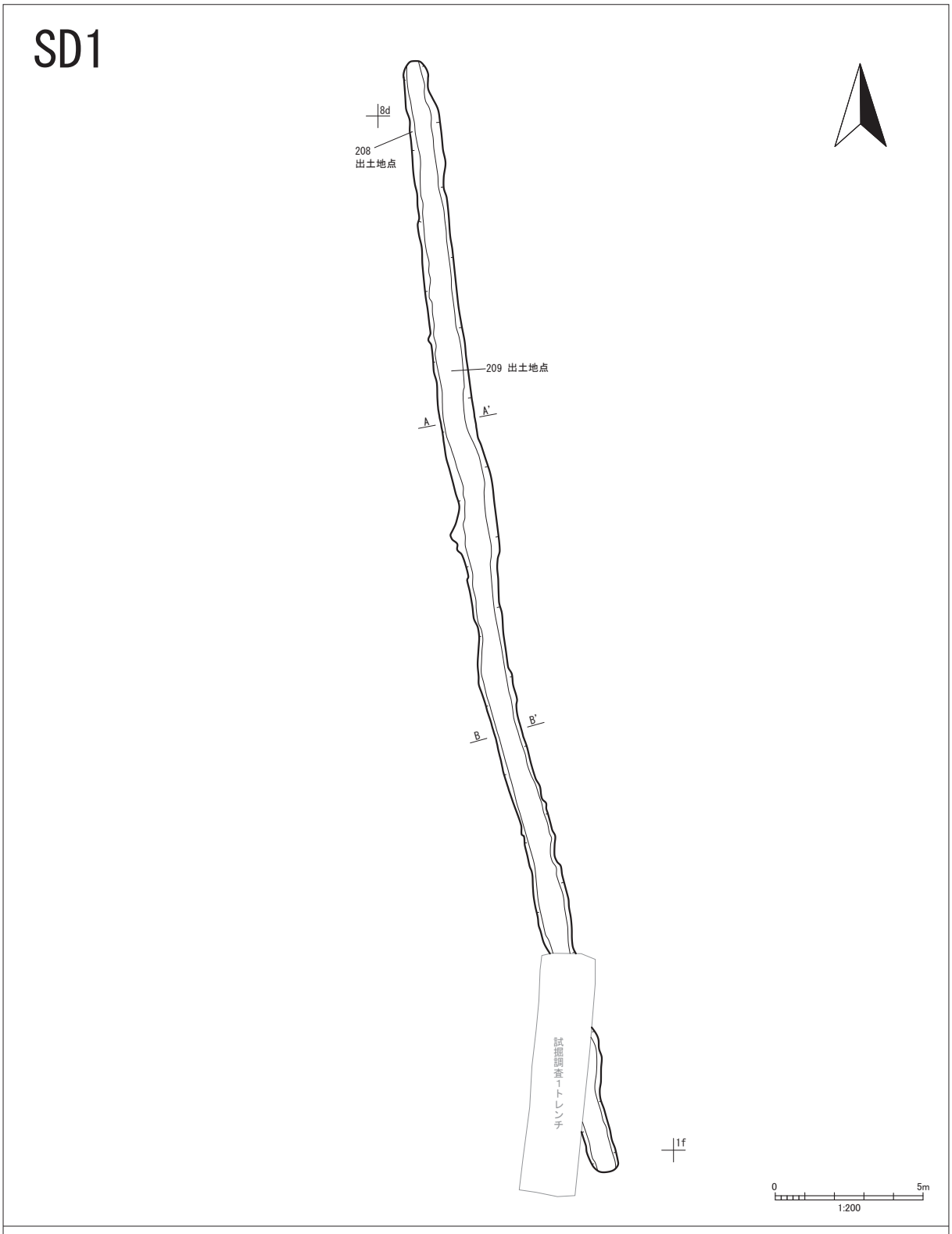
5 溝

19条検出した。これは本来連続していたと推測されるものでも、現況（分断状況）でのカウントである。時代の内訳は、中世11条、近代6条、不明2条である。中世に属する11条のうち、居館の区画溝が7条、その他4条は居館内部のもので、想定時期は居館、屋敷の12期変遷に準じた。溝についての記載は全て山川がおこなった。

SD1（第207図　写真図版133）		
位置　ⅠA0e、1e、2e、3d、3e、4d、5d、6d、7d、8d	**時期**　1～8期	**長さ**　38.0m
幅　80～170cm	**深さ**　5～15cm	**軸方向**　N-9°-W
形態　中世の居館である長方形区画の西辺を構成する。検出した北端とSD2(長方形区画の北西コーナーを構成）との間は途切れるが、元来はつながっていたと推測される。また、検出した南端からそのまま東に折れると丁度SD7（長方形区画の南辺を構成）に合う。ただし、ここは削平が著しいことから、さらに南へのみ延びていたのか、東へ折れ曲がり南西コーナーを形成していたのか、南側・東側両方に延びていたのかは確認できなかった。断面形は皿状を呈し、底面は比較的平坦である。相対的に南側が深く、水は北側から南側に流れていたと考えられる。		
埋土　2層に分かれる。いずれも自然堆積であると推測される。		
重複　試掘調査1トレンチより古い。		
出土遺物　埋土中から14世紀前半の白磁枢府手坏（208）、14世紀代とみられる青磁碗（209）、砥石（254、255）が出土した。その他に須恵器大甕体部片（139、141）、使用痕のある礫（不掲載遺物㉟）、被熱した礫（不掲載遺物㊱）がある。		
中世の居館である長方形区画の西辺を構成する溝である。同じ長方形区画を構成する溝群も同様、1期（1153～1189年頃）～8期（1412～1448年頃）にわたって機能していたと想定した。		

SD2（第208図　写真図版133、134）		
位置　ⅠA9c、9d、10c、10d、10e	**時期**　1～8期	**長さ**　南北7.3m以上 東西9.7m
幅　30～95cm	**深さ**　5～20cm	**軸方向**　南北：N-14°-W 東西：N-85°-E
形態　中世の居館である長方形区画の北西コーナーを構成する。北端は撹乱によって壊されており、それ以上北には延びない。本遺構は3か所に分かれているが、元来はつながっていたと推測される。検出した南端とSD1（長方形区画の西辺を構成）、検出した東端とSD3（長方形区画の北辺を構成）も同様につながっていたと考えられる。断面形は皿状を呈し、底面の凹凸が顕著である。南北は相対的に南側が深く、東西は相対的に東側が深いことから、水は北側から南側、西側から東側に流れていたと考えられる。		
埋土　2層に分かれる。いずれも自然堆積であると推測される。		
重複　撹乱より古い。		
出土遺物　火打石？（265）が出土した。		
中世の居館である長方形区画の北西コーナーを構成する溝である。同じ長方形区画を構成する溝群と同様、1期（1153～1189年頃）～8期（1412～1448年頃）にわたって機能していたと想定した。		

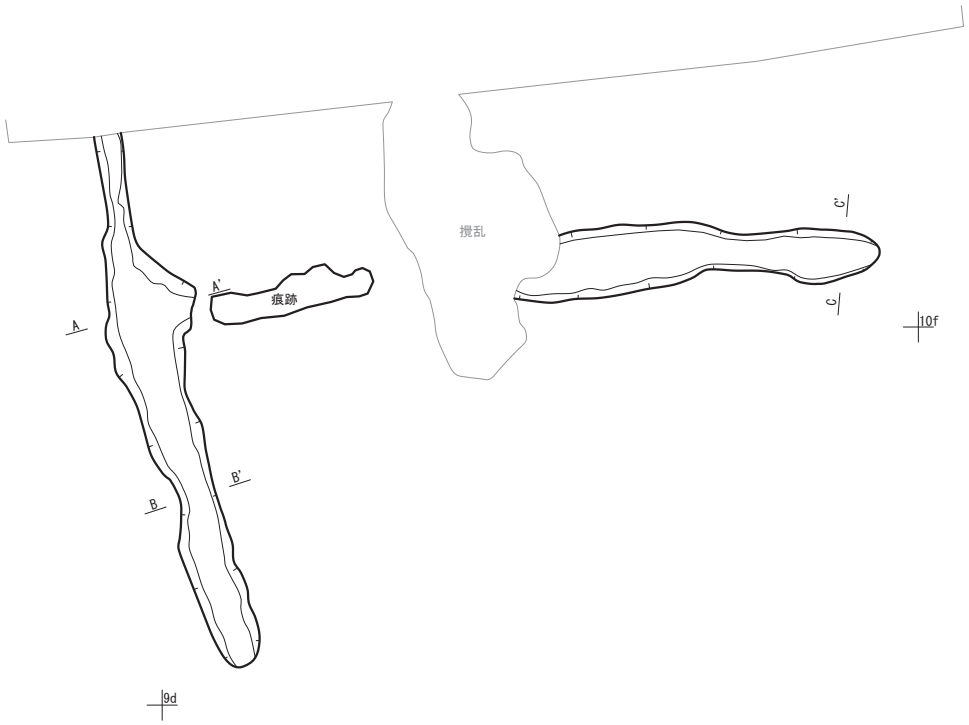
SD1



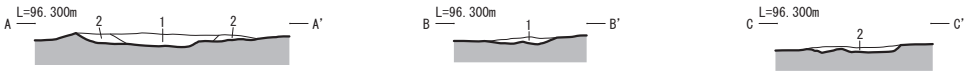
SD1 Aベルト
1．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ3～10mm大の地山ブロック少量、炭化物粒及び白色粒子(φ1～3mm大)極微量含む
2．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロック中量含む
SD1 Bベルト
1．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ3～10mm大の地山ブロック微量、炭化物粒及び白色粒子(φ1～3mm大)極微量含む
2．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロック中量含む

第207図　SD1

SD2



0 5m
1:100



SD2 Aベルト
1．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ3～10mm大の地山ブロック少量、炭化物粒及び白色粒子(φ1～3mm)極微量含む
2．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロック中量含む

SD2 Bベルト
1．Aベルト1と同じ

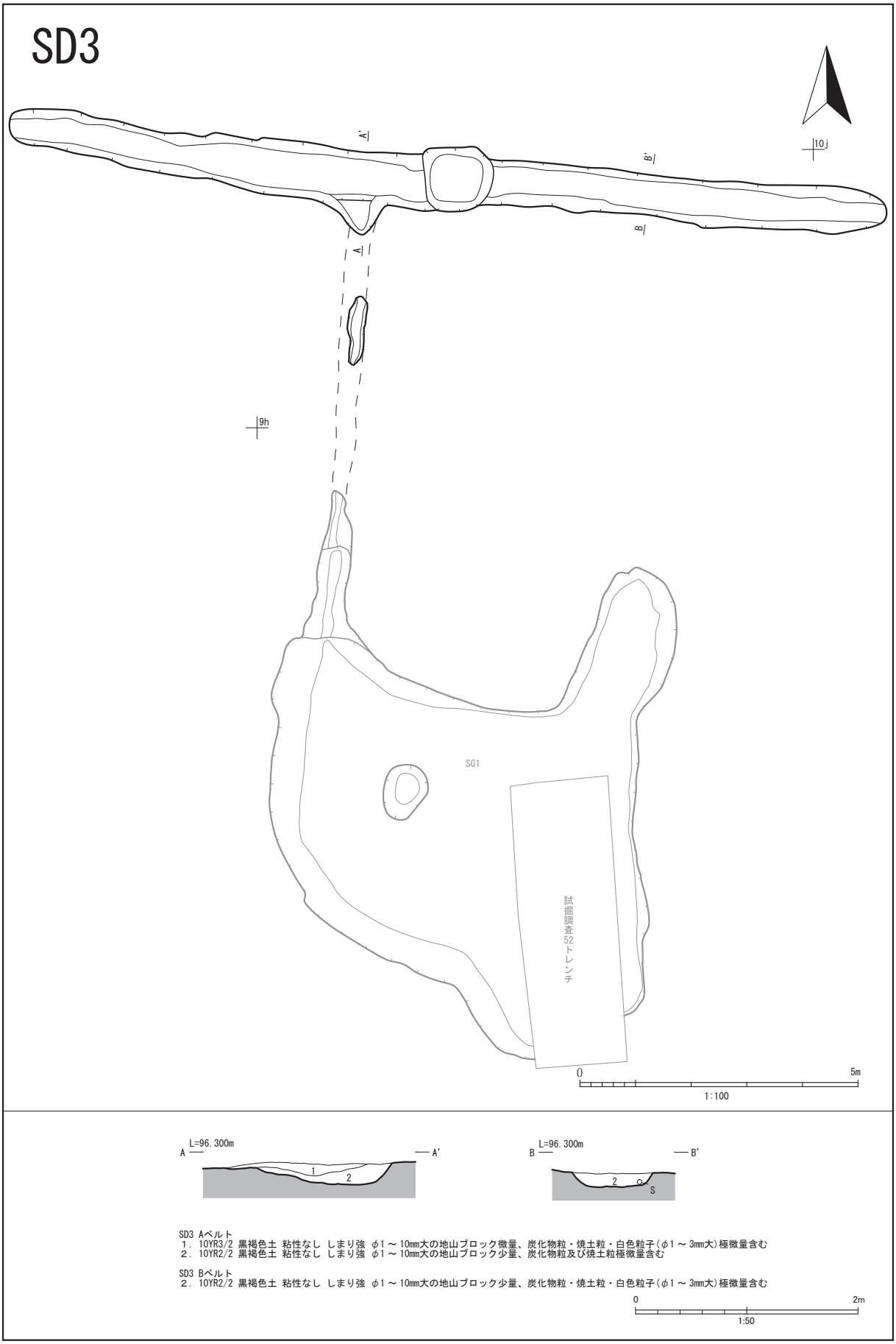
SD2 Cベルト
2．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロックやや多く、炭化物粒及び焼土粒極微量含む

0 2m
1:50

第208図　SD2

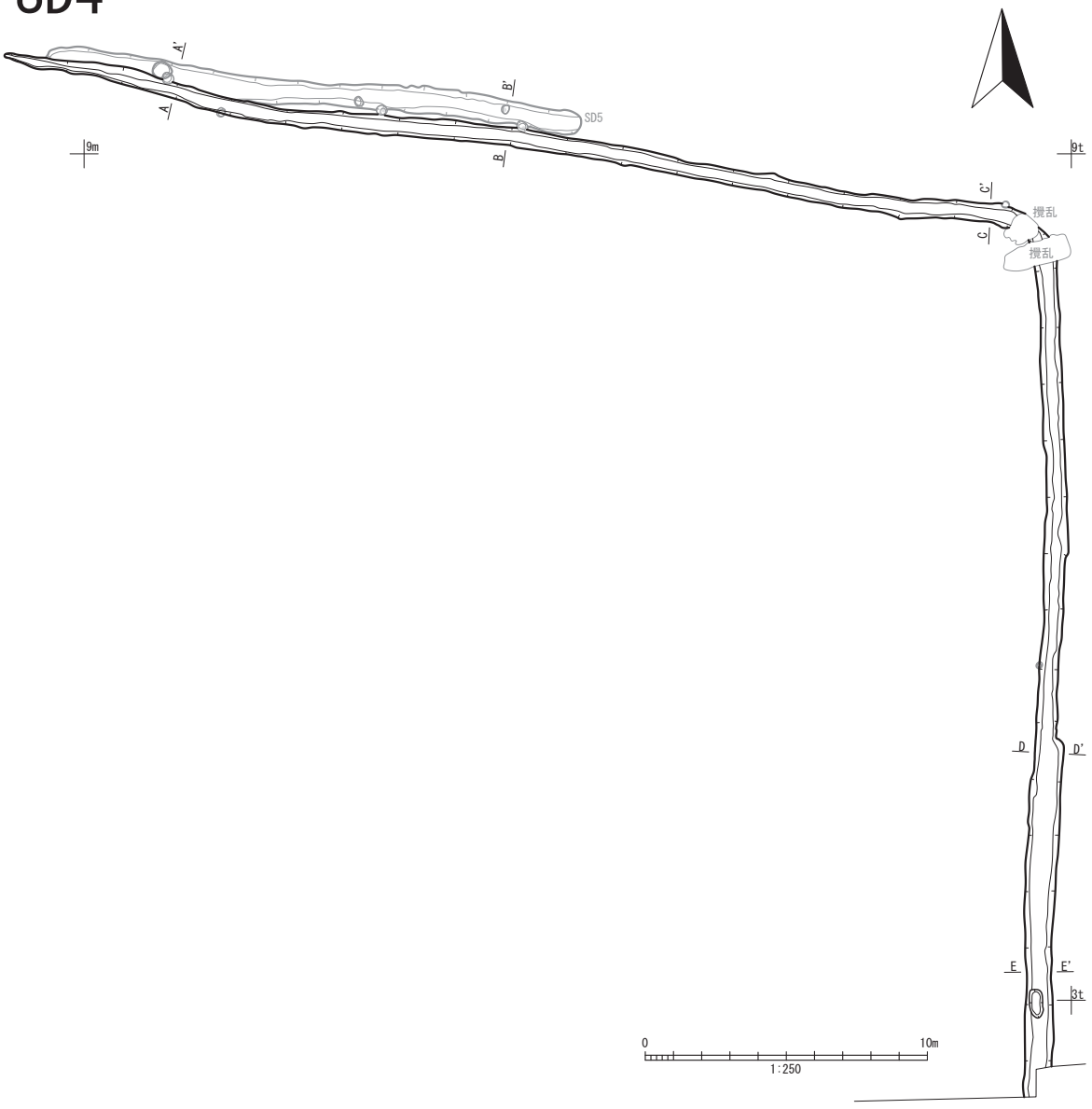
SD3（第 209 図　写真図版 134）		
位置　ⅠA9g、9h、9i、9j、10g、10h	**時期**　1～8 期	**長さ**　15.9m
幅　70～150 cm	**深さ**　5～20 cm	**軸方向**　N-6°-E
形態　中世の居館である長方形区画の北辺を構成する。検出した西端と SD2(長方形区画の北西コーナーを構成)、同じく東端と SD4（長方形区画の北辺を構成）との間は途切れるが、元来はつながっていたと推測される。また、中央やや西寄りの南壁が僅かに突出する。この突出と SG1（池）との間は途切れるが、元来はつながっており、導水施設であった可能性がある。断面形は壁が緩やかに立ち上がる「U」字形を呈し、底面は比較的平坦である。本体部分は、相対的に東側が深く、水は西側から東側に流れていたと考えられる。		
埋土　2 層に分かれる。いずれも自然堆積であると推測される。		
重複　なし。		
出土遺物　なし。		
中世の居館である長方形区画の北辺を構成する溝である。池（SG1）と連結していたと解釈される。同じ長方形区画を構成する溝群と同様、1 期（1153～1189 年頃）～8 期（1412～1448 年頃）にわたって機能していたと想定した。		

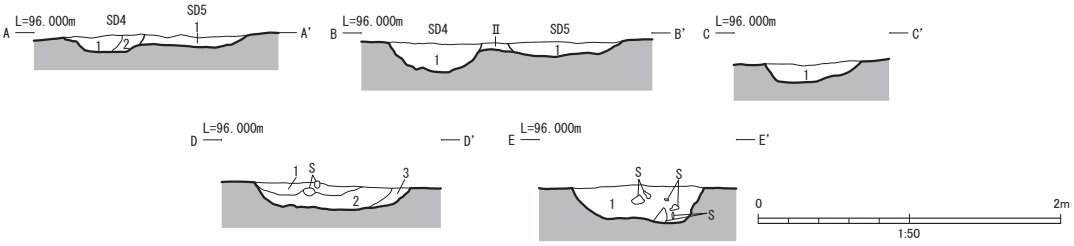
SD4（第 210 図　写真図版 135、136）		
位置　ⅠA2s、3s、4s、5s、6s、7s、8p、8q、8r、8s、9l、9m、9n、9o、9p、9q	**時期**　1～8 期	**長さ**　東西 36.5m 南北 31.0m
幅　20～110 cm	**深さ**　5～25 cm	**軸方向**　東西 N-80°-W 南北 N-1°-E
形態　中世の居館である長方形区画の北辺・東辺を構成する。検出した西端と SD3（本遺構とともに長方形区画の北辺を構成）との間は途切れるが、元来はつながっていたと推測される。断面形は遺存状態が悪い部分は皿状、やや遺存状態がよい部分は壁が緩やかに立ち上がる「U」字形を呈し、底面は比較的平坦である。東西は相対的に東側が深く、南北は相対的に南側が深いことから、水は西側から東側、北側から南側に流れていたと考えられる。		
埋土　3 層に分かれる。いずれも自然堆積であると推測される。		
重複　SB20 は本遺構と接しており同時存在の可能性がある。SD5、SK53 より新しい。SB121 とはプランが重複するが、前後関係は不明である。		
出土遺物　縄文土器深鉢胴部片（不掲載遺物⑨）が出土しているが、混入によるものとみられる。		
中世の居館である長方形区画の北辺・東辺を構成する溝である。 同じ長方形区画を構成する溝群と同様、1 期（1153～1189 年頃）～8 期（1412～1448 年頃）にわたって機能していたと想定した。		


SD3
A'
B'
B
A
10j
9h
SG1
試掘調査52トレンチ
0
5m
1:100
L=96.300m
A
A'
1
2
L=96.300m
B
B'
2
S
SD3 Aベルト
1．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロック微量、炭化物粒・焼土粒・白色粒子(φ1～3mm大)極微量含む
2．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロック少量、炭化物粒及び焼土粒極微量含む
SD3 Bベルト
2．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロック少量、炭化物粒・焼土粒・白色粒子(φ1～3mm大)極微量含む
0
2m
1:50

第 209 図　SD3

SD4





SD4 Aベルト
1．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロック少量、炭化物粒・焼土粒・白色粒子(φ1～3mm大)極微量含む
2．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロック中量、炭化物粒・焼土粒・白色粒子(φ1～3mm大)極微量含む

SD4 Bベルト
1．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロック少量、炭化物粒・焼土粒・白色粒子(φ1～3mm大)極微量含む

SD4 Cベルト
1．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロック中量、炭化物粒・焼土粒・白色粒子(φ1～3mm大)極微量含む

SD4 Dベルト
1．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロック少量、炭化物粒・焼土粒・白色粒子(φ1～3mm大)極微量含む
2．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロック中量含む
3．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまりやや強 φ1～10mm大の地山ブロック中量、2層ブロック微量含む

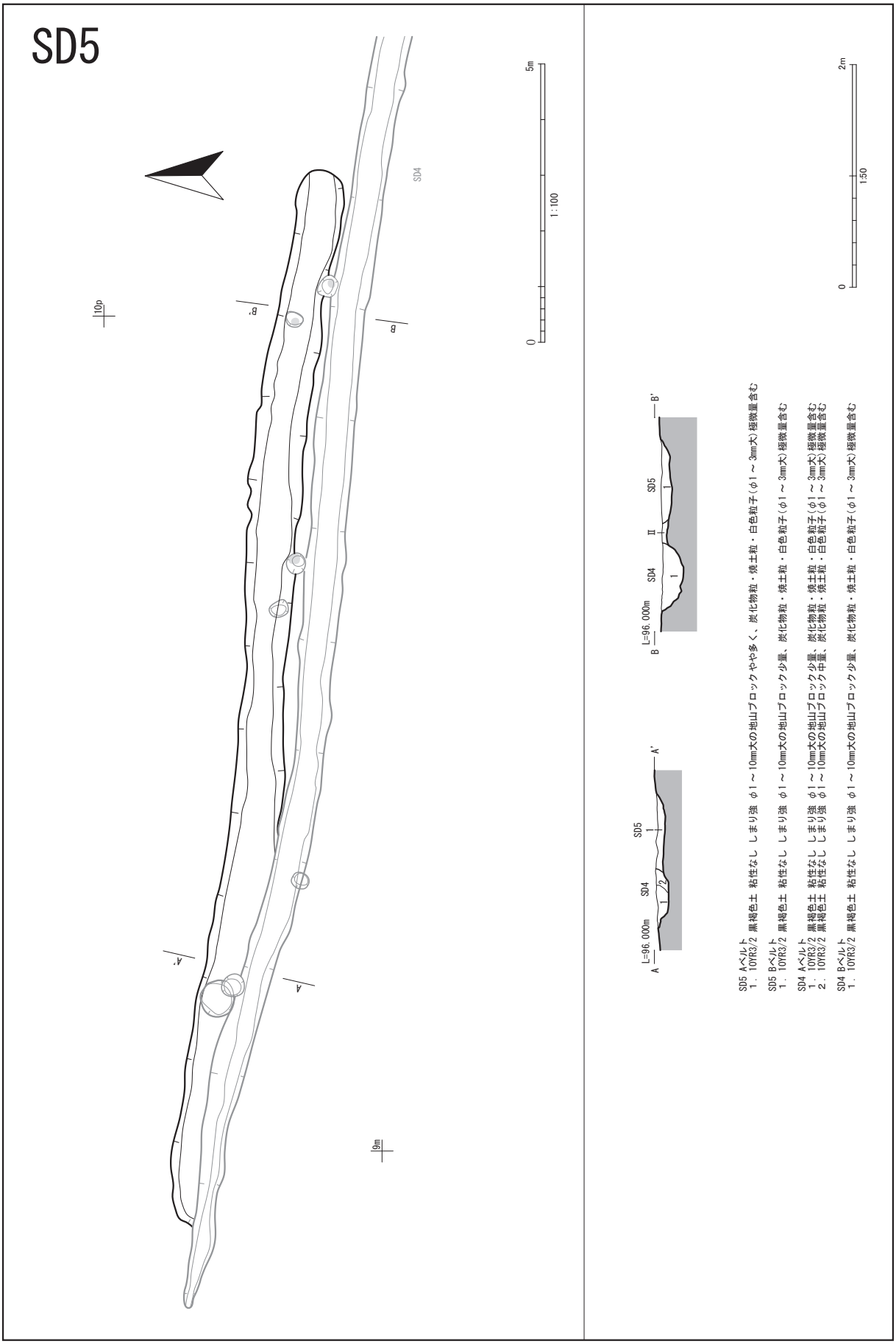
SD4 Eベルト
1．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロック微量、白色粒子極微量含む

第 210 図　SD4

SD5（第 211 図　写真図版 135）		
位置　ⅠA9l、9m、9n、9o、9p	**時期**　1～8 期	**長さ**　19.0m
幅　70～90 cm 以上	**深さ**　5～10 cm	**軸方向**　N-82°-W
形態　SD4（中世の居館である長方形区画の北辺・東辺を構成）と並行して走る。断面形は皿状を呈し、底面は比較的平坦である。相対的に東側が深く、水は西側から東側に流れていたと考えられる。		
埋土　単層で、自然堆積であると推測される。		
重複　SD4 より古く、SK53 より新しい。、SB121、SB126 とはプランが重複するが、前後関係は不明である。		
出土遺物　なし。		
SD4 と並行して走る長方形区画の北辺を構成していた溝である。同じ長方形区画を構成する溝群と同様、1 期（1153～1189 年頃）～8 期（1412～1448 年頃）の間のいずれかに機能していたと想定した。		

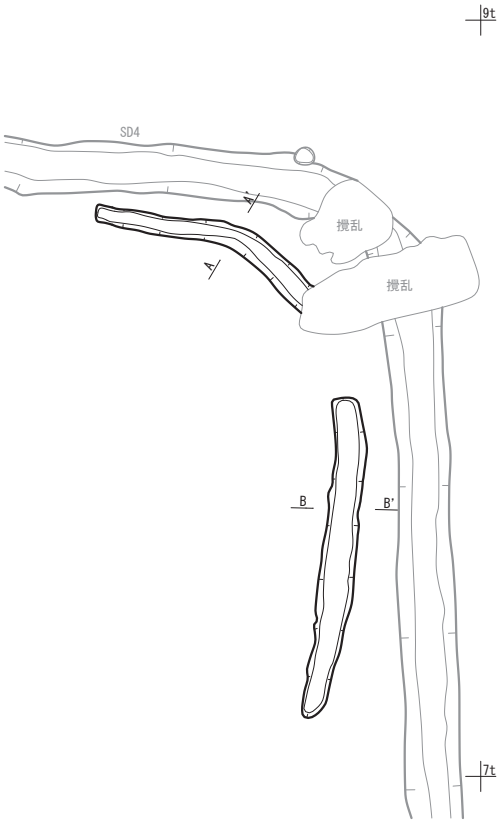
SD6（第 212 図　写真図版 136）		
位置　ⅠA7s、8r、8s	**時期**　1～8 期	**長さ**　東西 3.0m 以上 南北 4.25m
幅　25～45 cm	**深さ**　4～5 cm	**軸方向**　東西 N-80°-W 南北 N-7°-E
形態　SD4 と並行して走る。北側、南側の 2 か所に分かれて検出したが、元来はつながっていたと推測される。断面形は皿状を呈し、底面は比較的平坦である。東西は相対的に東側が深く、南北は相対的に南側が深いことから、水は西側から東側、北側から南側に流れていたと考えられる。		
埋土　単層で、自然堆積であると推測される。		
重複　撹乱より古い。		
出土遺物　なし。		
ある段階に中世の居館である長方形区画の東辺を構成していた溝である。同じ長方形区画を構成する溝群と同様、1 期（1153～1189 年頃）～8 期（1412～1448 年頃）の間のいずれかに機能していたと想定した。		

SD7（第 213 図　写真図版 137）		
位置　ⅠA0j、0k、0l、0m	**時期**　1～8 期	**長さ**　15.8m 以上
幅　50～80 cm	**深さ**　20 cm	**軸方向**　N-89°-E
形態　中世の居館である長方形区画の南辺を構成する。検出した西端の上端・下端間は、約 15 cm の段差があり、ここから西側は、掘り残されていたと考えられるが、SD1（長方形区画の西辺を構成）までのすべてが途切れていたかは不明である。断面形は壁が緩やかに立ち上がる「U」字形を呈し、底面は平坦である。相対的に東側が深く、水は西側から東側に流れていたと考えられる。		
埋土　単層で、自然堆積であると推測される。		
重複　P（柱穴）と重複するが、前後関係は不明である。		
出土遺物　須恵器大甕体部片（143）、石棒未製品（4）が出土している。その他に土師器坏・甕の小片（不掲載遺物㉝）、縄文土器深鉢片（不掲載遺物⑥）、石の剥片（不掲載遺物⑫）がある。		
中世の居館である長方形区画の南辺を構成する溝である。出土遺物は、縄文土器、古代の土師器・須恵器であるが混入によるものとみられる。同じ長方形区画を構成する溝群と同様、1 期（1153～1189 年頃）～8 期（1412～1448 年頃）にわたって機能していたと想定した。		


SD5
SD4
10p
9m
A
A'
B
B'
0
5m
1:100
L=96.000m
SD5
SD4
0
2m
1:50
SD5 Aベルト
1. 10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロックやや多く、炭化物粒・焼土粒・白色粒子(φ1～3mm大)極微量含む
SD5 Bベルト
1. 10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロック少量、炭化物粒・焼土粒・白色粒子(φ1～3mm大)極微量含む
SD4 Aベルト
1. 10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロック少量、炭化物粒・焼土粒・白色粒子(φ1～3mm大)極微量含む
2. 10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロック中量、炭化物粒・焼土粒・白色粒子(φ1～3mm大)極微量含む
SD4 Bベルト
1. 10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロック少量、炭化物粒・焼土粒・白色粒子(φ1～3mm大)極微量含む

第 211 図　SD5

SD6



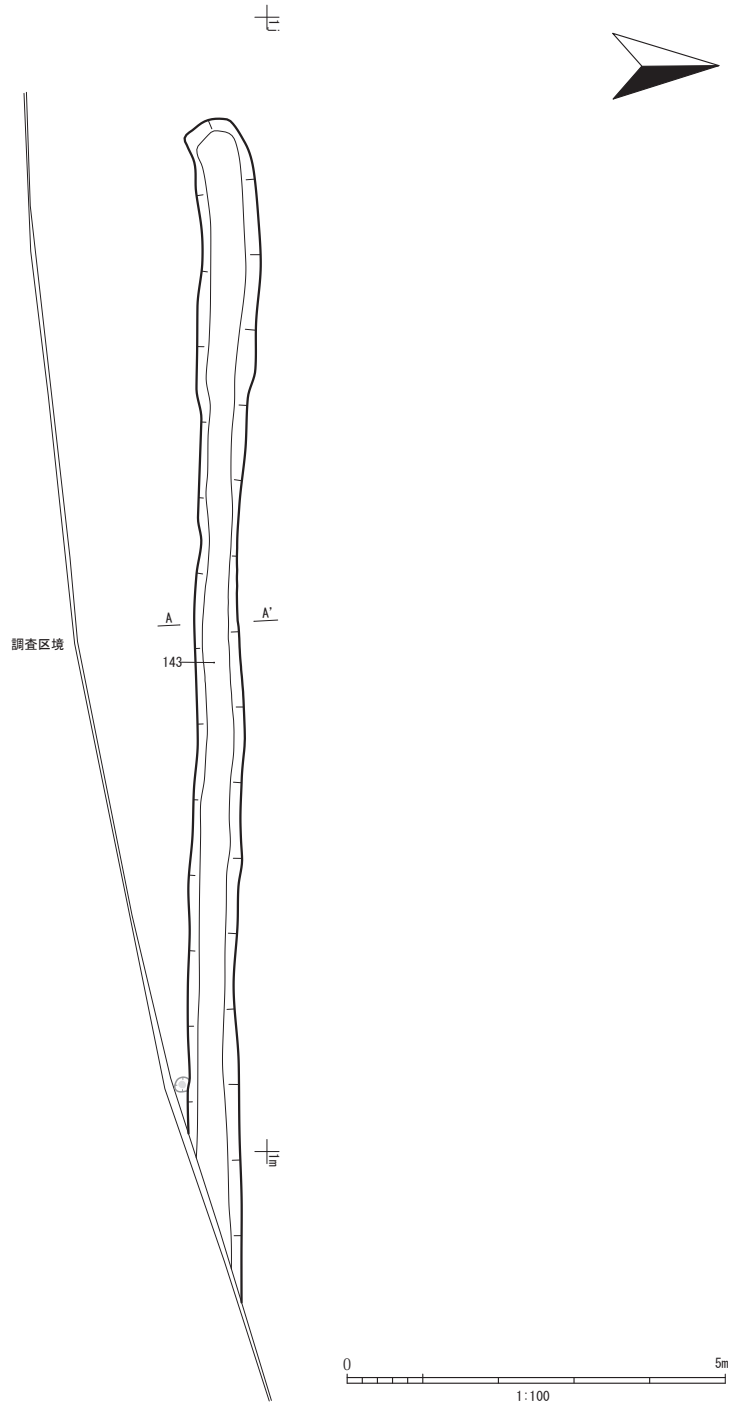
0 5m
1:100

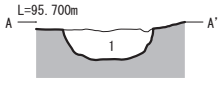
SD6
1．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロック少量、炭化物粒・焼土粒・白色粒子(φ1～3mm大)極微量含む

0 2m
1:50

第 212 図　SD6

SD7





SD7
1．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～10mm大の地山ブロック少量、炭化物粒及び焼土粒極微量含む

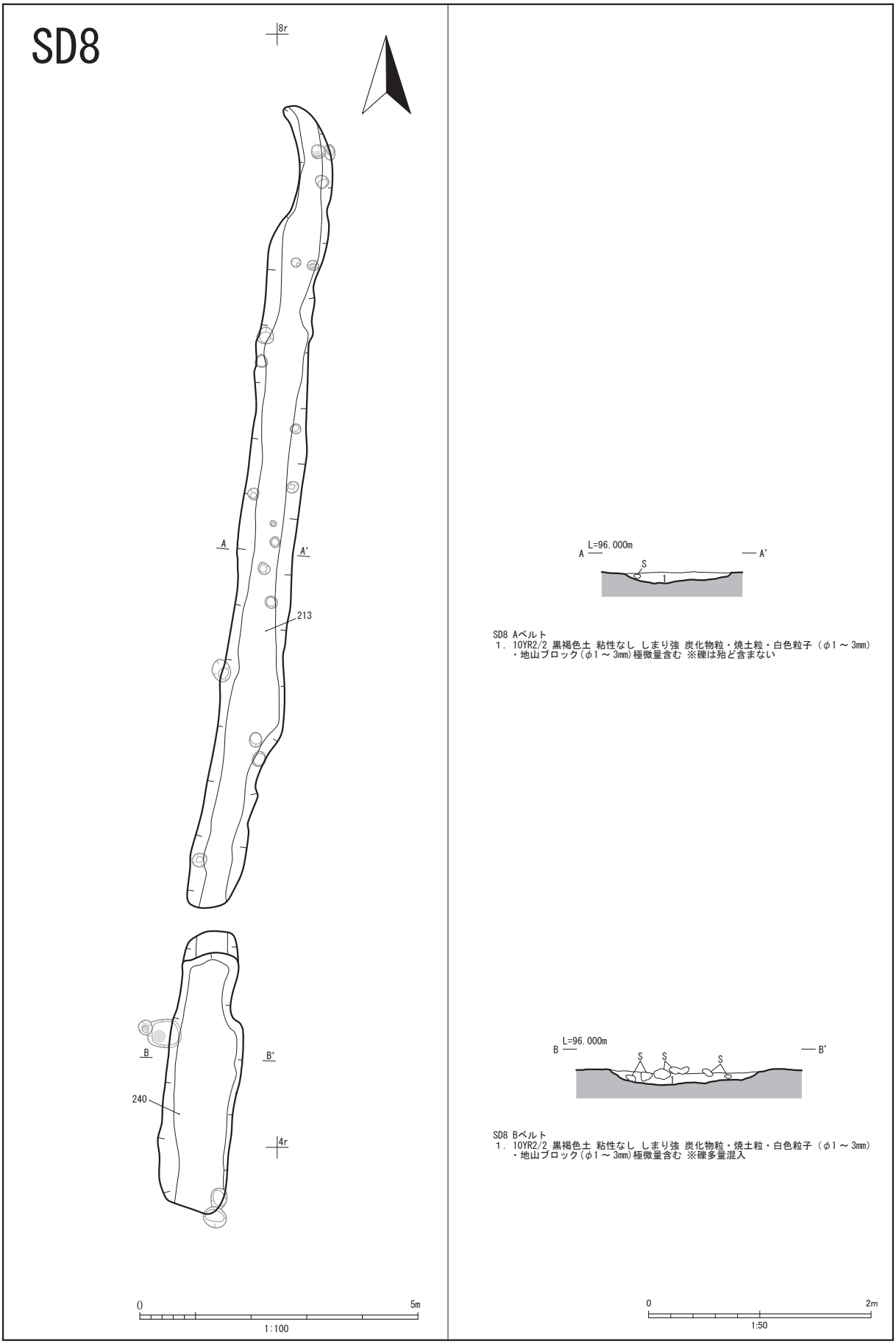
0　2m
1:50

第 213 図　SD7

SD8（第 214 図　写真図版 137）		
位置　ⅠA3q、4q、5q、6q、7q、5r、6r、7r	**時期**　10・11 期	**長さ**　北側 14.5m 南側 5.0m
幅　30～140 cm	**深さ**　5～10 cm	**軸方向**　N-4°-E
形態　検出した北端が西側に緩く曲がっている。また、北側、南側の 2 か所に分かれて検出したが、元来はつながっていたと推測される。断面形は皿状を呈し、底面はやや凹凸がある。相対的に南側が深いことから、水は北側から南側に流れていたと考えられる。		
埋土　単層で、自然堆積であると推測される。		
重複　SB4、SB26 より新しい。SB75、93、96、142、144、155 とはプランが重複するが、前後関係は不明である。		
出土遺物　15 世紀中頃の陶器古瀬戸瓶子（213）、器種不明鉄製品（240）が出土した。その他に須恵器大甕体部片（140）、鉄塊（不掲載遺物㊺）、土師器坏の小片（不掲載遺物㉗）がある。		
埋土から 8 期の遺物（陶器古瀬戸瓶子）が出土していることから、それ以降に長方形区画内部が利用される 10・11 期に機能していたと想定した。		

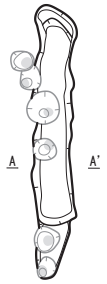
SD9（第 215 図　写真図版 138）		
位置　ⅠA2o、3o	**時期**　7 期以前	**長さ**　3.6m
幅　30～50 cm	**深さ**　10～15 cm	**軸方向**　N-0°-S
形態　壁が緩やかに立ち上がる「U」字形を呈し、底面はほぼ平坦である。相対的に南側が深く、水は北側から南側に流れていたと考えられる。		
埋土　単層で、地山ブロックを多量に含み、人為堆積であると推測される。		
重複　SB54、SB79、SB92 より古い。SB30、72、84 とはプランが重複するが、前後関係は不明である。		
出土遺物　近世とみられる磁器の微細片（不掲載遺物㊾）が出土しているが、混入によるものと考えたい。		
SB79（8 期）より古く、7 期以前のものと想定した。		

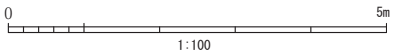
SD10（第 215 図　写真図版 138）		
位置　ⅠA6e、7e	**時期**　4～6 期	**長さ**　5.7m 以上
幅　85～135 cm	**深さ**　5～15 cm	**軸方向**　N-10°-W
形態　検出した北端は、試掘調査 4 トレンチに切られているが、元来は SD11 とつながっていたと推測される。断面形は皿状を呈し、底面はほぼ平坦である。相対的に南側が深く、水は北側から南側に流れていたと考えられる。		
埋土　単層で、自然堆積であると推測される。		
重複　試掘調査 4 トレンチ、撹乱、SK10 より古く、SB8 より新しい。		
出土遺物　なし。		
SD11 とともに中世の居館である長方形区画内にある掘立柱建物（SB5～7）の西辺、北辺の直近を区切るものと解釈される。 出土遺物はないが、SB5～7 と同時期（4～6 期）と想定した。		

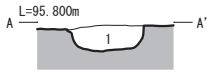

SD8
8r
4r
A
A'
B
B'
213
240
0
5m
1:100
L=96.000m
A
A'
S
1
SD8 Aベルト
1．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 炭化物粒・焼土粒・白色粒子（φ1～3mm）
・地山ブロック（φ1～3mm）極微量含む ※礫は殆ど含まない
L=96.000m
B
B'
S
S
S
1
SD8 Bベルト
1．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 炭化物粒・焼土粒・白色粒子（φ1～3mm）
・地山ブロック（φ1～3mm）極微量含む ※礫多量混入
0
2m
1:50

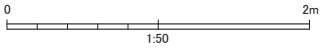
第 214 図　SD8

SD9



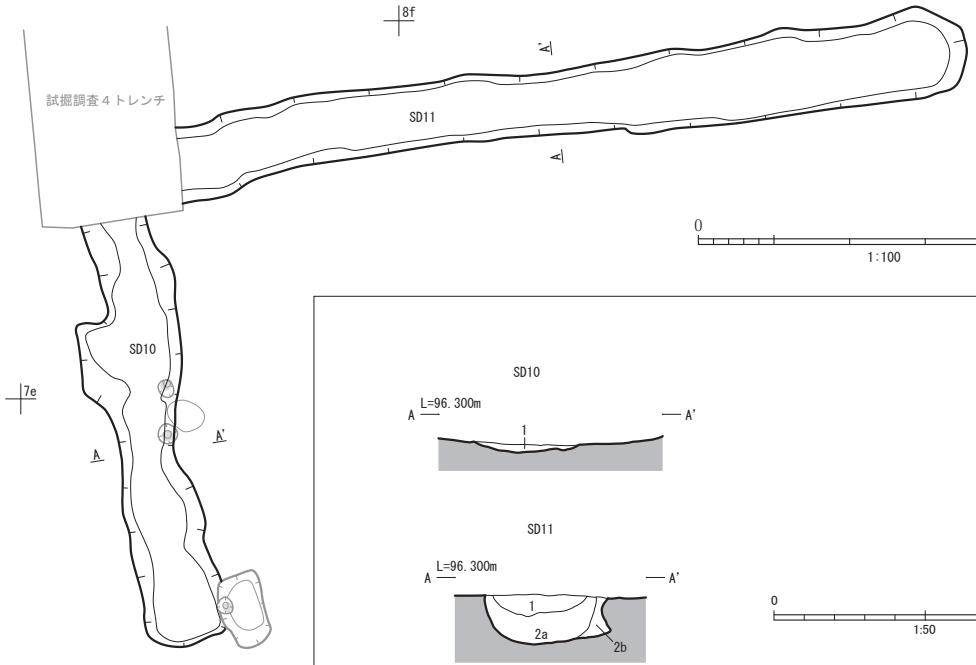


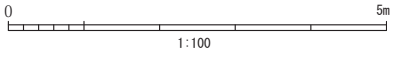


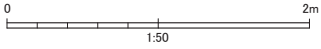


SD9 Aベルト
1．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～50mm大の地山ブロック多量、焼土粒微量、炭化物粒及び白色粒子(φ1～3mm) 極微量含む ※人為埋土か

SD10・11







SD10
1．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロック中量含む

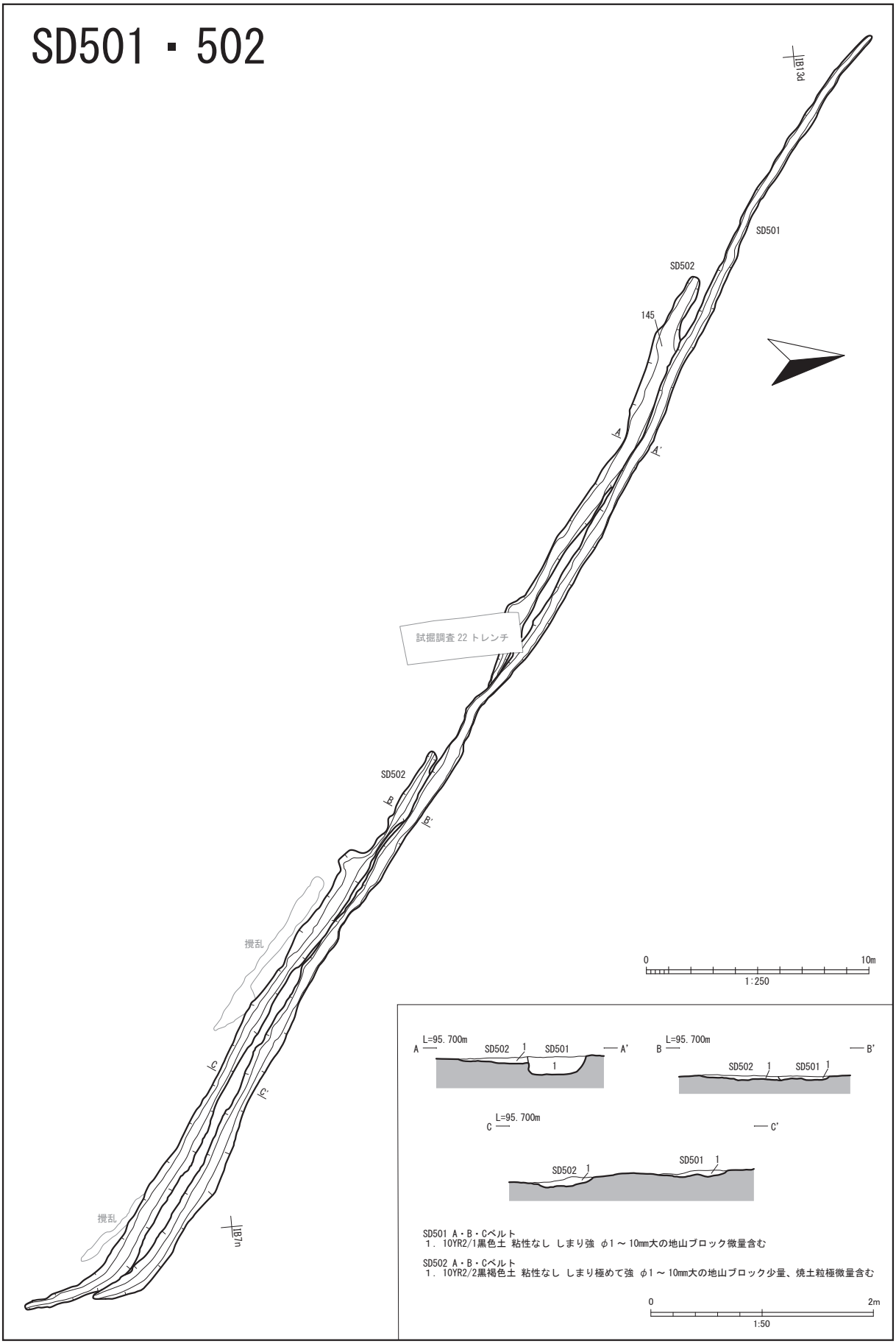
SD11
1．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 炭化物粒・焼土粒・白色粒子(φ1～3mm)・φ1～10mm大の地山ブロック極微量含む
2a．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロック少量、白色粒子(φ1～3mm) 極微量含む
2b．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～30mm大の地山ブロック多量含む ※壁崩壊土

第215図 SD9・10・11

SD11（第 215 図　写真図版 138）		
位置　ⅠA7e、7f、7g、8g	**時期**　4～6 期	**長さ**　10.5m 以上
幅　80～120 cm	**深さ**　25～30 cm	**軸方向**　N-81°-E
形態　検出した西端は、試掘調査 4 トレンチに切られているが、元来は SD10 とつながっていたと推測される。壁が緩やかに立ち上がる「U」字形を呈し、底面はほぼ平坦である。相対的に東側が深く、水は西側から東側に流れていたと考えられる。		
埋土　3 層に分かれ、いずれも自然堆積であるとみられる。3 層は地山ブロックを多量に含むことから壁際の崩壊土と思われる。その後、遺構外からの流入によって埋没したと推測される。		
重複　試掘調査 4 トレンチより古く、SB8 より新しい。		
出土遺物　なし。		
SD10 とともに中世の居館である長方形区画内にある掘立柱建物（SB5～7）の西辺、北辺の直近を区切るものと解釈される。 出土遺物はないが、SB5～7 と同時期（4～6 期）と想定した。		

SD501（第 216 図　写真図版 139）		
位置　ⅠB5n、6m、6n、7k、7l、7m，8j、8k、9i、9j、10g、10h、10i、11f、11g、12d、12e、12f、13c、13d	**時期**　近代	**長さ**　67.0m
幅　30～120 cm	**深さ**　2～15 cm	**軸方向**　N-53°-W
形態　SD502 と並行に走り、確認した東端付近で、緩やかに南側に曲がる。断面形は、やや遺存状態がよい西側部分は壁が緩やかに立ち上がる「U」字形、遺存状態が悪い中央～東側部分は皿状を呈し、底面西側は比較的平坦であるが、中央～東側部は凹凸が著しい。相対的に南東側が深く、水は北西側からに南東側、さらに南側（調査区東端の落ち込み［低湿地］）に流れていたと考えられる。		
埋土　単層で、自然堆積であると推測される。		
重複　試掘調査 22 トレンチより古く、SD502、506、SKT515 より新しい。		
出土遺物　なし。		
調査区北端に沿う現道とその南側（調査以前まで耕作されていた水田域）を区画する溝である。SD502 と走行方向が同じであることから、近代以降のものと考えられる。		

SD502（第 216 図　写真図版 139）		
位置　ⅠB5n、6l、6m、6n、7k、7l、8j、8k、9i、9j、10g、10h、11e、11f、11g	**時期**　近代	**長さ**　52.0m
幅　30～130 cm	**深さ**　2～8 cm	**軸方向**　N-53°-W
形態　SD501 と並行に走り、確認した東端付近で、緩やかに南側に曲がる。本遺構は 2 か所に分かれているが、元来はつながっていたと推測される。断面形は、皿状を呈し、底面は凹凸が著しい。相対的に南東側が深く、水は北西側からに南東側、さらに南側（調査区東端の落ち込み［低湿地］）に流れていたと考えられる。		
埋土　単層で、自然堆積であると推測される。		
重複　試掘調査 22 トレンチ、撹乱、SD501 より古く、SD506、507、SKT515 より新しい。		
出土遺物　火打石？（266）、石鏃（5）、須恵器大甕の口縁部片（145）、近世～近代の陶磁器片（不掲載遺物㊻～㊾）、鉄釘（不掲載遺物㊼）が出土している。		
調査区北端に沿う現道とその南側（調査以前まで耕作されていた水田域）を区画する溝である。出土遺物から、近代以降のものと考えられる。		



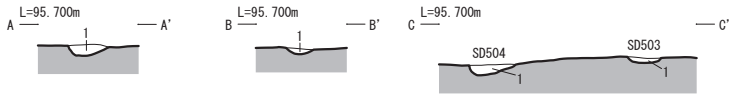
第 216 図　SD501・502

SD503（第 217 図　写真図版 139）		
位置　ⅠB7g、8g、9g、10g、7i、7j	**時期**　近代	**長さ**　東西 15.8m 以上 南北 14.7m 以上
幅　10～35 cm	**深さ**　3～7 cm	**軸方向**　東西 N-84°-E 南北 N-6°-W
形態　南北方向と東西方向からなり、東西方向は SD504 と並行に走る。数か所で途切れるが、元来はつながっていたと推測される。断面形は、皿状を呈し、底面は比較的平坦である。相対的に南北方向は南側、東西方向は東側が深く、水は北側からに南側、さらに西側から東側に流れていたと考えられる。		
埋土　単層で、自然堆積であると推測される。東西方向の一部は地山ブロックを多量に含むことから、水田畦畔構築土、水田耕作土などにより自然に埋没したか、あるいは人為的に埋められたと考えられる。		
重複　撹乱より古く、P5119 より新しい。P5218 とはプランが重複すると考えられるが、削平をうけている部分で前後関係は不明である。おそらく本溝の方が新しい。		
出土遺物　近代の磁器片（不掲載遺物㊿）が出土したが、図化していない。		
水田畦畔（本遺構と SD504 の間）に伴っていたと思われ、本遺構の内側（東側および北側）が水田区画であったとみられる。遺構の重複関係から調査区北端に沿う現道とその南側（調査以前まで耕作されていた水田域）を区画する溝よりも古い。ただし、出土遺物からみても時期差はほとんどなく、近代以降のものと考えられる。		

SD504（第 217 図　写真図版 139）		
位置　ⅠB7h、7i、7j、7k	**時期**　近代	**長さ**　15.7m 以上
幅　10～25 cm	**深さ**　3～7 cm	**軸方向**　N-84°-E
形態　SD503 と並行に走る。断面形は、皿状を呈し、底面は比較的平坦である。相対的に東側が深く、水は西側から東側に流れていたと考えられる。		
埋土　単層で、自然堆積であると推測される。		
重複　撹乱より古く、P5240、5241 より新しい。		
出土遺物　近代の磁器片（不掲載遺物㊶）、土師器長胴甕の小片（不掲載遺物㉟）が出土したが、図化していない。		
水田畦畔（本遺構と SD503 の間）に伴っていたと思われる。SD503 との関係から調査区北端に沿う現道とその南側（調査以前まで耕作されていた水田域）を区画する溝よりも古いと考えられるが、出土遺物からみても時期差はほとんどなく、近代以降のものとみられる。		

SD503・504

0 5m
1:150



SD503 A・Bベルト
1．10YR2/2黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～10mm大の地山ブロック少量含む

SD503 Cベルト
1．10YR2/2黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～50mm大の地山ブロック多量含む

SD504 Cベルト
1．10YR2/2黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～10mm大の地山ブロック少量含む

0 2m
1:50

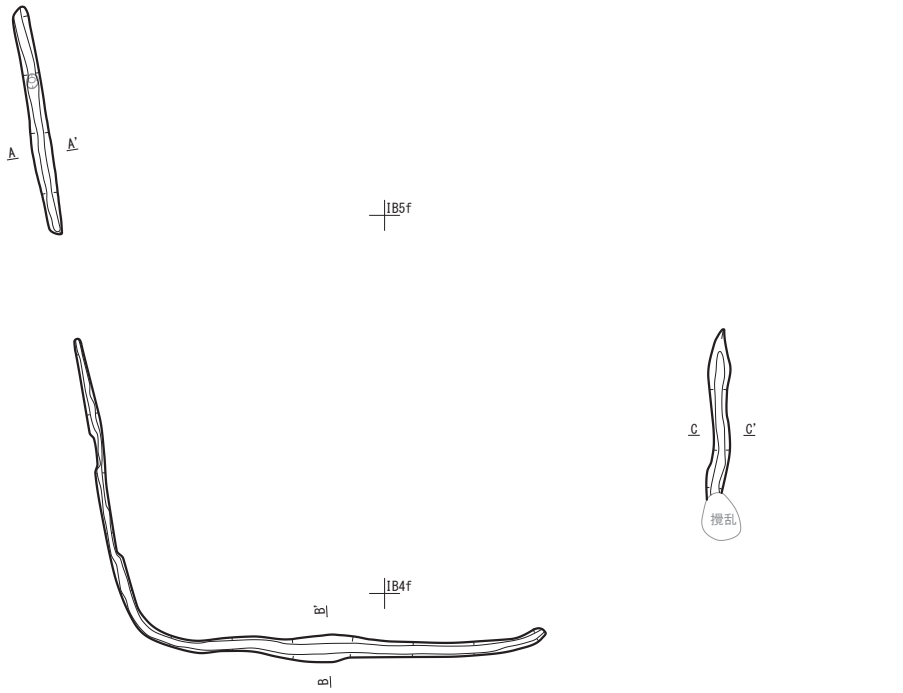
第 217 図　SD503・504

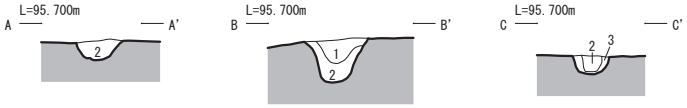
SD505（第 218 図　写真図版 140、141）		
位置　ⅠB3e、3f、4e、4f、5e	**時期**　不明	**長さ**　東辺 4.5m 以上 西辺 16.7m 以上 南辺 10.7m 以上
幅　20～70 cm	**深さ**　10～25 cm	**軸方向**　東辺 N-0°-S 西辺 N-10°-W 南辺 W-0°-E
形態　検出した西辺の一部と南東コーナー付近は途切れるが、元来はつながっていたと推測される。断面形は壁が緩やかに立ち上がる「U」字形を呈し、底面は比較的平坦である。相対的に西辺は南側が、南辺は東側が、東辺は南側が深いことから、水は北側から南側、西側から東側、つまり南東に向かって流れていたと考えられる。		
埋土　3 層に分かれ、いずれも自然堆積であるとみられる。3 層は地山ブロックを多量に含むことから壁際の崩壊土と思われる。その後、遺構外からの流入によって埋没したと推測される。		
重複　撹乱より古い。P5242 と重複するが、前後関係は不明である。おそらく本溝の方が新しい。		
出土遺物　なし。		
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、具体的な時期も不明である。		

SD506（第 219 図　写真図版 141）		
位置　ⅠB6m	**時期**　近代	**長さ**　4.4m 以上
幅　30～50 cm	**深さ**　5～6 cm	**軸方向**　N-53°-W
形態　北西から南東方向に走る。断面形は皿状を呈し、底面は比較的平坦である。相対的に南東側が深く、水は北西側から南東側に流れていたと考えられる。		
埋土　単層である。地山ブロックを多量に含むことから人為的に埋められた可能性もある。		
重複　SD501、502 より古い。		
出土遺物　なし。		
遺構の重複関係から調査区北端に沿う現道とその南側（調査以前まで耕作されていた水田域）を区画する溝（SD501、502）よりも古いが、走行方向が一致することから時期差はほとんどなく、近代以降のものと考えたい。		

SD507（第 219 図　写真図版 141）		
位置　ⅠB5m、5n	**時期**　近代	**長さ**　3.5m 以上
幅　35～140 cm	**深さ**　4～6 cm	**軸方向**　N-20°-E
形態　北東から南西方向に走る。断面形は皿状を呈し、底面は比較的平坦である。底面はほぼ傾斜がないが、水は北東側から南西側に流れていたと考えられる。		
埋土　単層で、自然堆積であると推測される。地山ブロックをやや多く含むことから人為的に埋められた可能性もある。		
重複　撹乱、SD502 より古い。		
出土遺物　なし。		
遺構の重複関係から調査区北端に沿う現道とその南側（調査以前まで耕作されていた水田域）を区画する溝（SD502）よりも古い。SD506 の埋土と特徴が似通っていることから時期差はほとんどなく、近代以降の可能性が高いと判断する。		

SD505





SD503 A・Bベルト
1．10YR2/2黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～10mm大の地山ブロック少量含む

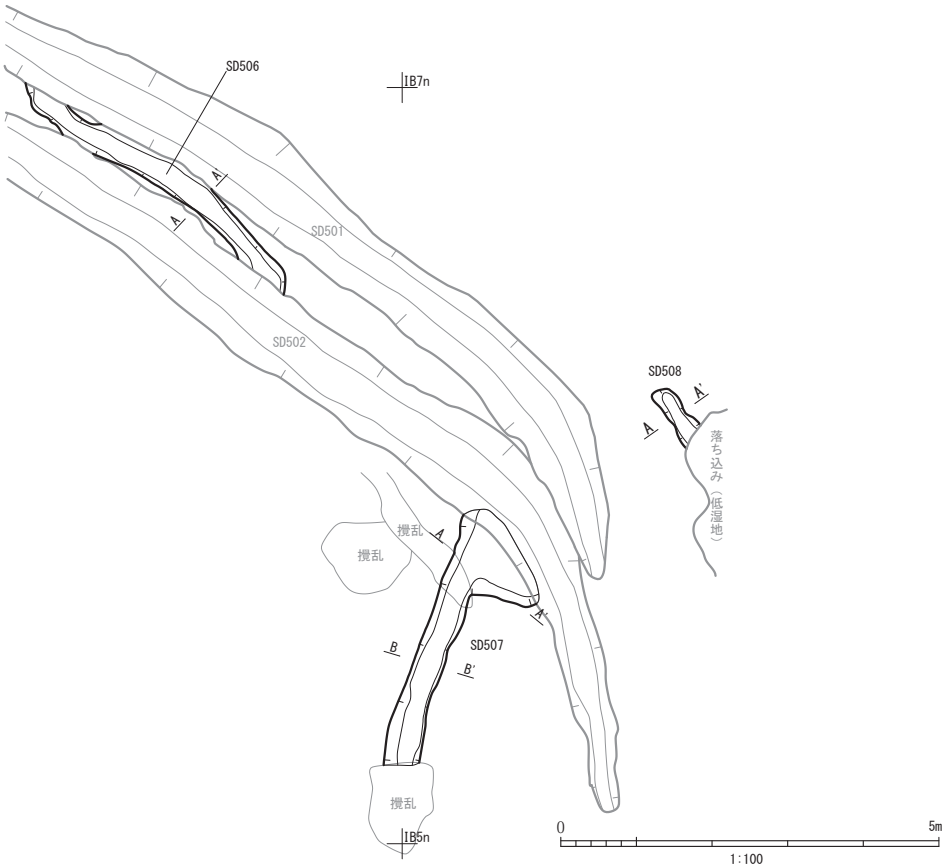
SD503 Cベルト
1．10YR2/2黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～50mm大の地山ブロック多量含む

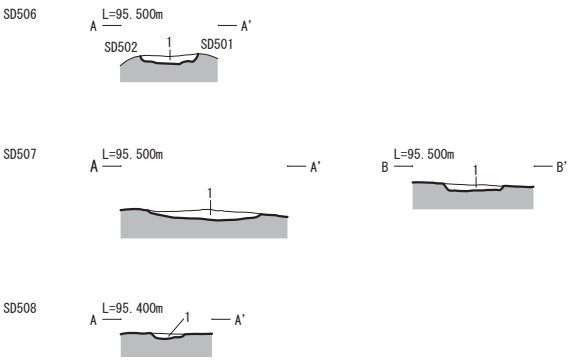
SD504 Aベルト
1．10YR2/2黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～10mm大の地山ブロック少量含む

0 2m
1:50

第218図　SD505

SD506・507・508

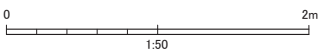




SD506
1．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～50mm大の地山ブロック多量含む

SD507
1．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～30mm大の地山ブロックやや多く含む

SD508
1．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～30mm大の地山ブロック少量、焼土粒極微量含む



第 219 図　SD506・507・508

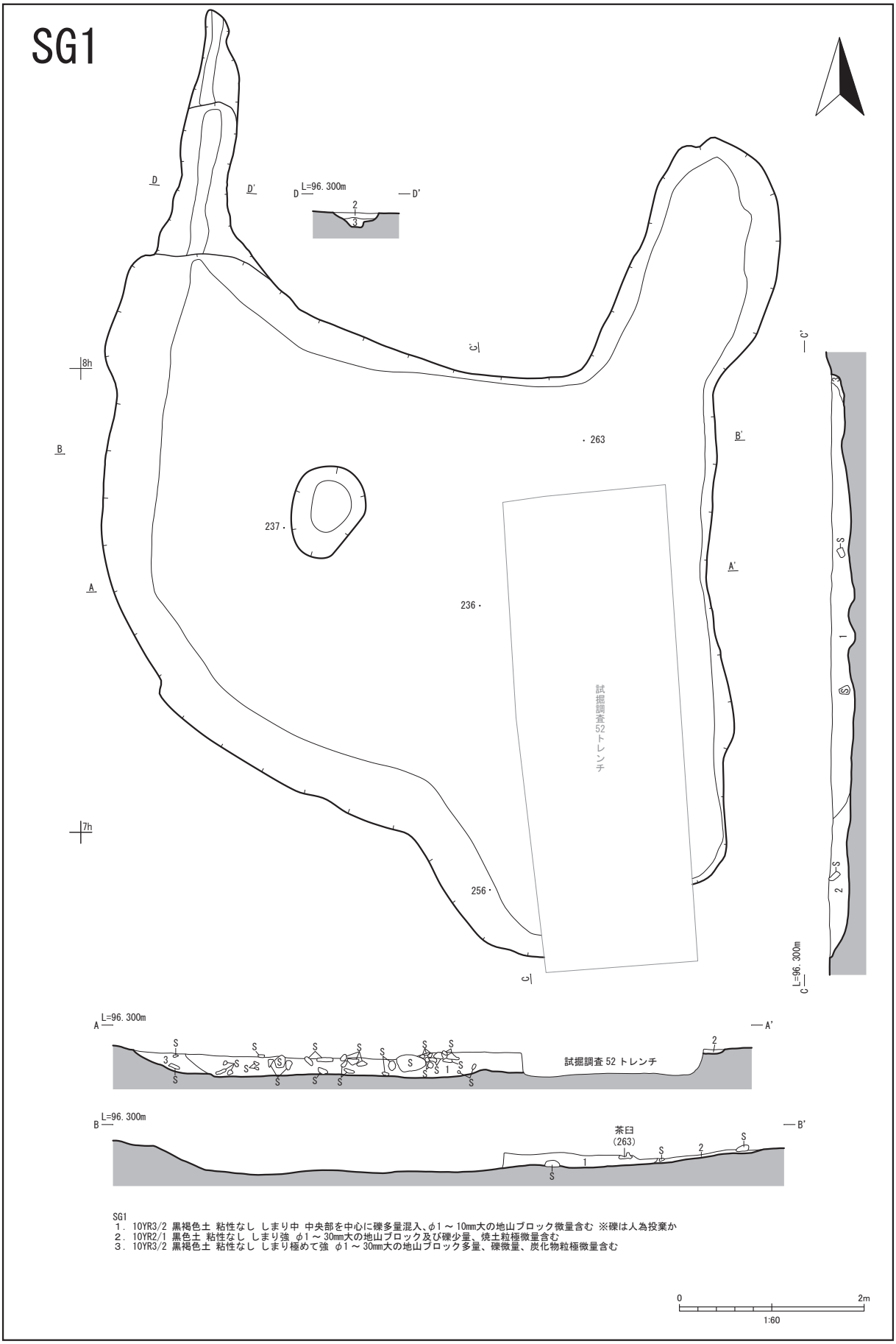
SD508（第 219 図　写真図版 141）		
位置　ⅠB6n	**時期**　不明	**長さ**　0.75m
幅　25～35 cm	**深さ**　2～5 cm	**軸方向**　N-30°-W
形態　断面形は皿状を呈する。底面はほぼ傾斜がないが、水は北西側から南東側に流れていたと考えられる。		
埋土　単層で、自然堆積であると推測される。		
重複　調査区東端の落ち込み（低湿地）より古い。		
出土遺物　なし。		
調査区北端に沿う現道とその南側（調査以前まで耕作されていた水田域）を区画する溝（SD501、502）と走行方向が近いこと、調査区東端の落ち込み（低湿地）に流れていたと考えられることから、近代以降のものであった可能性もあるが、出土遺物がなく具体的な年代は不明である。		

6　苑　　池

今回、苑池と認識できた遺構は 1 基のみである。遺構略号は SG とした。想定時期は居館、屋敷の 12 期変遷に準じた。

以下、表形式で事実記載を行う。記載は山川がおこなった。

SG1（第 220 図　写真図版 142、143）	
位置　ⅠA6h、7h、8h、9h、6i、7i、8i	**時期**　3～6 期
長さ　本体部分：（最大）9.1m　　溝状部分：6.15m 以上	
幅　本体部分：（最大）7.5m　　溝状部分：0.25～0.9m	
深さ　本体部分：0.1～0.55m　　溝状部分：～0.15m	
形態　北西端および北東端が北側に、南東端が南側に張り出す不整形を呈する。北西の張り出しは、そのまま溝状に北側に延びている。この張り出しと、中世の居館である長方形区画の北辺を構成する SD3 の中央やや西寄りの南壁の突出との間は途切れるが、元来はつながっており、導水施設であった可能性がある。また、中央からやや西側に楕円形（長軸 100 cm、短軸 80 cm）の落ち込みがあり、庭石の据え方であった可能性もある。断面形は皿状を呈し、底面は地山中の礫が露出している。北西部北側の溝状の部分は、相対的に南側が深く、水は北側から南側に流れていたと考えられる。なお、本体部分は、中央部が深く、ある程度の水量がないと南東端まで達しないことがわかる。	
埋土　3 層に分かれる。すべて自然堆積と考えられる。1 層中に多量に混入する礫は、人為的に投棄されたとみられる。3 層は地山ブロックを多量に含むことから壁際の崩壊土と思われる。その後、遺構外からの流入によって埋没したと推測される。	
重複　試掘調査 52 トレンチより古い。またカマド状遺構 SX20 より本苑池が古い。SX20 出土の炭化財の放射性炭素年代測定での暦年較正用（1σ）では、1420-1437calAD（68.2%）で時期変遷 8 期（1412～1448 年頃）遺構と想定している。よって本苑池はそれよりも以前に構築、廃棄されたものと解釈できる。SB9 とはプランが重複するが、前後関係は不明である。おそらく本苑池が新しい。	
出土遺物　埋土中から中世の石製品茶臼（263）、挽臼（264）、砥石（256～259）、火打石？（267、268）、鉄製品馬具の轡引手（236）、鉄製品轡？部品（237）、使用痕のある礫（270、271）、庭石（272～275）が出土している。また、須恵器大甕の頸部片（146）および体部片（131、138、142）を図化した。その他不掲載遺物で、縄文土器深鉢の胴部、底部の小片（不掲載遺物①、⑤）、柱状礫（不掲載遺物㊼）、火打石？（不掲載遺物㊶）、使用痕のある礫（不掲載遺物㊿）、被熱した礫（不掲載遺物(102)、(103)）があるが、図化していない。上述した茶臼は漆継ぎによる補修が行われており、その接着剤の漆の放射性炭素年代測定（AMS 法）では、「西暦 1514～1600 年（70.2%）」「西暦 1616～1649 年（25.2%）」の年代が示されている。補修を行った後に本遺構廃絶後の窪地に投棄されたとみられ、本遺構の存続年代を示すものではないと解釈している。	
出土遺物から具体的な年代を明らかにすることはできないが、中世の居館である長方形区画内の掘立柱建物を主とした遺構配置などから、3～6 期に機能した苑池と解釈される。	



SG1
1．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり中 中央部を中心に礫多量混入、φ1 ～ 10mm大の地山ブロック微量含む ※礫は人為投棄か
2．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり強 φ1 ～ 30mm大の地山ブロック及び礫少量、焼土粒極微量含む
3．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ1 ～ 30mm大の地山ブロック多量、礫微量、炭化物粒極微量含む

第 220 図　SG1

7　土　　坑

81 基検出した。時代の内訳は、中世 22 基、古代 6 基、縄文 17 基、時期不明 36 基である。中世のもののうち 2 基（SK10、SK54）は、火葬骨が出土し墓坑と判断される。また古代のもの（SK32～37）は、すべて竪穴住居（SI101）に伴うものである。縄文時代のもののうち 3 基が陥し穴状遺構、4 基がフラスコ状土坑、4 基が陥し穴状遺構もしくはフラスコ状土坑と判断される。中世の土坑の想定時期は居館、屋敷の 12 期変遷に準じたものを示した。記名のないものは山川の記載である。

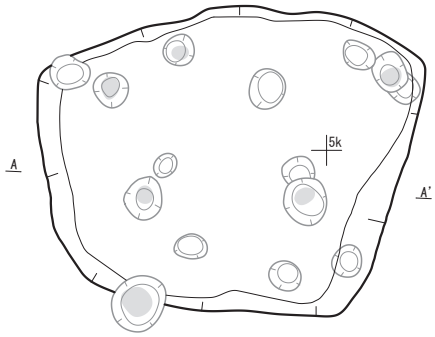
SK1（第 221 図　写真図版 144）	
位置　ⅠA4j、4k、5j、5k	**時期**　中世（3～6 期）
形態　長軸 305 cm、短軸 225 cm の不整楕円形。深さ 10 cm。	
埋土　単層で地山ブロックを多量に含み人為堆積とみられる。	
重複　SB1 より新しく、SB37 より古い。SB71 とはプランが重複するが、前後関係は不明である。	
出土遺物　なし。	
本遺構および SK2～5、8、9 は、苑池の南側にほぼ等間隔で位置しており、苑池に伴う庭木の植穴（植栽痕）の可能性が推測される。よって、苑池が機能していた 3 期（1227～1263 年頃）～6 期（1338～1374 年頃）のものと推測される。	

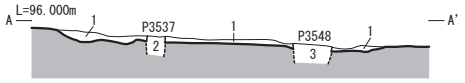
SK2（第 221 図　写真図版 144）	
位置　ⅠA5j、6j	**時期**　中世（3～6 期）
形態　長軸 300 cm、短軸 150 cm の不整楕円形。深さ 10 cm。	
埋土　単層で地山ブロックを多量に含み人為堆積とみられる。	
重複　SB1 より新しく、SB14、SB17、SB63 より古い。	
出土遺物　なし。	
本遺構および SK1、3～5、8、9 は、苑池の南側にほぼ等間隔で位置している。庭木の植穴（植栽痕）の可能性があることから、苑池が機能していた 3 期（1227～1263 年頃）～6 期（1338～1374 年頃）のものと推測される。	

SK3（第 221 図　写真図版 145）	
位置　ⅠA6i、6j	**時期**　中世（3～6 期）
形態　長軸 240 cm、短軸 170 cm の楕円形。深さ 15 cm。	
埋土　単層で地山ブロックを斑状に多量含み人為堆積の可能性がある。	
重複　SB17 と重複するが、前後関係は不明である。	
出土遺物　なし。	
本遺構および SK1、2、4、5、8、9 は、苑池の南側にほぼ等間隔で位置している。庭木の植穴（植栽痕）の可能性があることから、苑池が機能していた 3 期（1227～1263 年頃）～6 期（1338～1374 年頃）のものと推測される。	

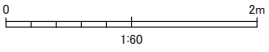
SK4（第 221 図　写真図版 145）	
位置　ⅠA6i	**時期**　中世（3～6 期）
形態　直径 260 cm の円形。深さ 25 cm。	
埋土　2 層に分かれる。2 層は地山ブロックを斑状に多量含み人為堆積の可能性がある。	
重複　SB17 と重複するが、前後関係は不明である。	
出土遺物　埋土中よりロクロ使用の土師器坏の破片（不掲載遺物㉔）が出土している。	
本遺構および SK1～3、5、8、9 は、苑池の南側にほぼ等間隔で位置している。庭木の植穴（植栽痕）の可能性があることから、苑池が機能していた 3 期（1227～1263 年頃）～6 期（1338～1374 年頃）のものと推測される。	

SK1

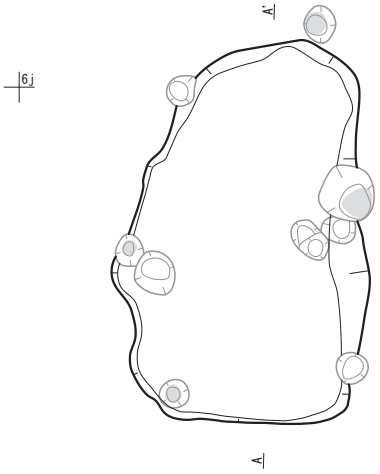


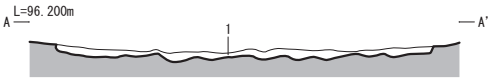


SK1
1．10YR2/1 黒色土 10YR8/2灰白色ロームブロック多量混入 ※人為埋土
P3537
2．10YR3/1 黒褐色土
P3548
3．10YR3/1 黒褐色土

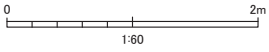


SK2

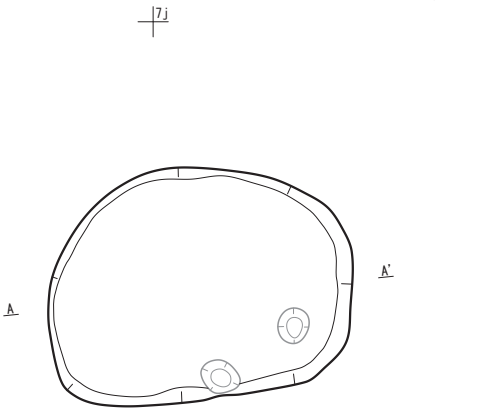


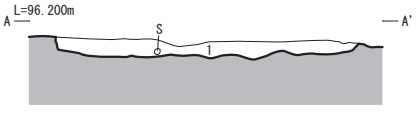


SK2
1．10YR2/1 黒褐色土 10YR8/2灰白色ロームブロック多量混入 ※人為埋土



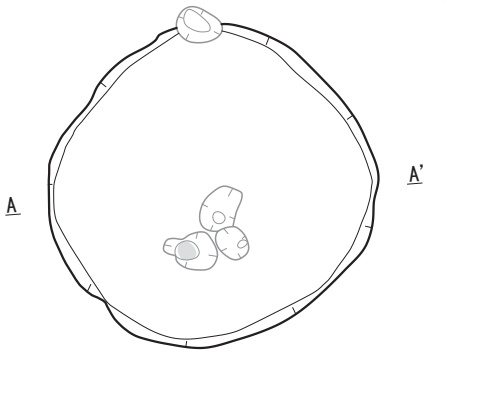
SK3

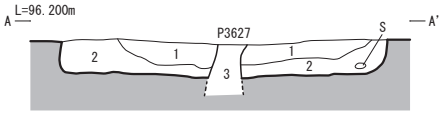




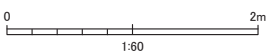
SK3
1．10YR2/1 黒色土 10YR8/2灰白土まだらに多量混入 ※人為埋土か

SK4





SK4
1．10YR3/1 黒褐色土 炭化物粒及び草根多量混入 しまりなし
2．10YR3/1 黒褐色土 10YR4/3にぶい黄褐色土まだらに多量混入
P3627
3．10YR4/2 灰黄褐色土 10YR7/8黄橙色ローム粒多量混入



第 221 図　SK1～4

SK5（第 222 図　写真図版 146）	
位置　ⅠA5e、5f、6e、6f	**時期**　中世（3～6 期）
形態　長軸 545 cm、短軸 175 cm の不整楕円形。深さ 15 cm。	
埋土　2 層に分かれる。2 層は、地山ブロックを多量に含む。	
重複　SB5、7 と重複するが、前後関係は不明である。	
出土遺物　なし。	
本遺構および SK1～4、8、9 は、苑池の南側にほぼ等間隔で位置している。庭木の植穴（植栽痕）の可能性があることから、苑池が機能していた 3 期（1227～1263 年頃）～6 期（1338～1374 年頃）のものと推測される。	

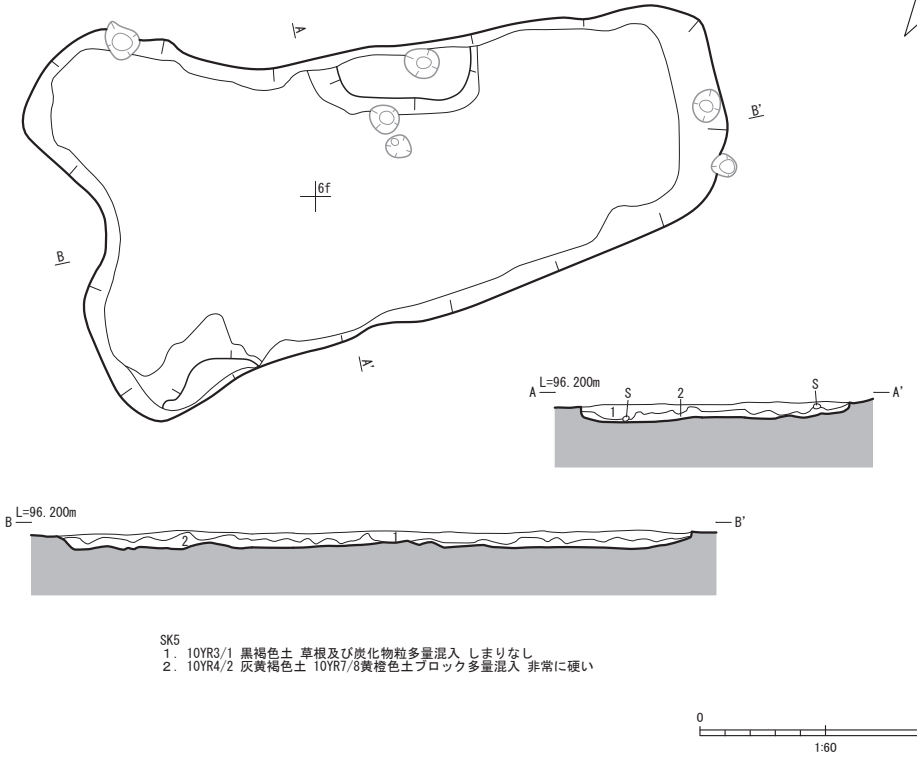
SK6（第 222 図　写真図版 147）	
位置　ⅠA1i、1j、2i、2j	**時期**　中世（1 期）
形態　長軸 345 cm、短軸 290 cm の楕円形。深さ 25 cm。	
埋土　2 層に分かれる。人為、自然堆積の別は不明。	
重複　P（柱穴）と重複するが、前後関係は不明である。	
出土遺物　埋土中からロクロかわらけ小皿（201）、大皿（202･203）、手づくねかわらけ小皿（204･205）が出土している。その他に土師器ロクロ使用坏（内黒）、長胴甕（不掲載遺物㉕）がある。	
性格は不明である。出土遺物から 1 期（1153～1189 年頃）の土坑と推測する。	

SK7（第 222 図　写真図版 148）	
位置　ⅠA5e、5f	**時期**　不明
形態　直径 115 cm の円形。深さ 15 cm。	
埋土　単層で、地山粒を少量含む。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

SK8（第 223 図　写真図版 148）	
位置　ⅠA6h	**時期**　中世（3～6 期）
形態　長軸 250 cm、短軸 220 cm の楕円形。深さ 25 cm。	
埋土　単層で自然堆積とみられる。	
重複　SX2 より古い。SB9 とはプランが重複するが、前後関係は不明である。	
出土遺物　なし。	
本遺構および SK1～5、9 は、苑池の南側にほぼ等間隔で位置している。庭木の植穴（植栽痕）の可能性があることから、苑池が機能していた 3 期（1227～1263 年頃）～6 期（1338～1374 年頃）のものと推測される。	

SK9（第 223 図　写真図版 148）	
位置　ⅠA6g、6h	**時期**　中世（3～6 期）
形態　長軸 300 cm 以上、短軸 170 cm の楕円形。深さ 30 cm。	
埋土　2 層に分かれ、自然堆積であると推測される。	
重複　SB5 より古い。SB9 とはプランが重複するが、前後関係は不明である。	
出土遺物　なし。	
本遺構および SK1～5、8 は、苑池の南側にほぼ等間隔で位置している。庭木の植穴（植栽痕）の可能性があることから、苑池が機能していた 3 期（1227～1263 年頃）～6 期（1338～1374 年頃）のものと推測される。	

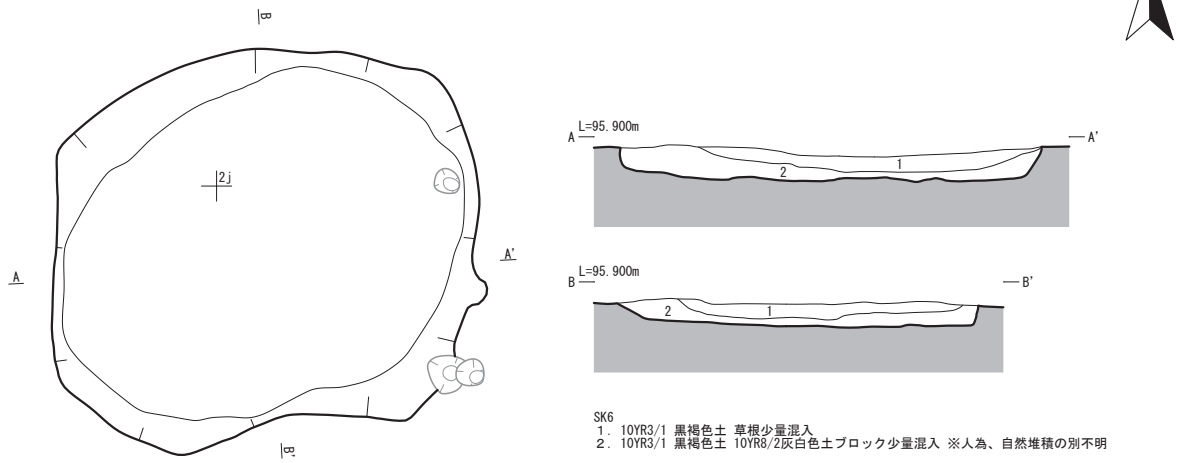
SK5



SK5
1．10YR3/1 黒褐色土 草根及び炭化物粒多量混入 しまりなし
2．10YR4/2 灰黄褐色土 10YR7/8黄橙色土ブロック多量混入 非常に硬い

0　2m
1:60

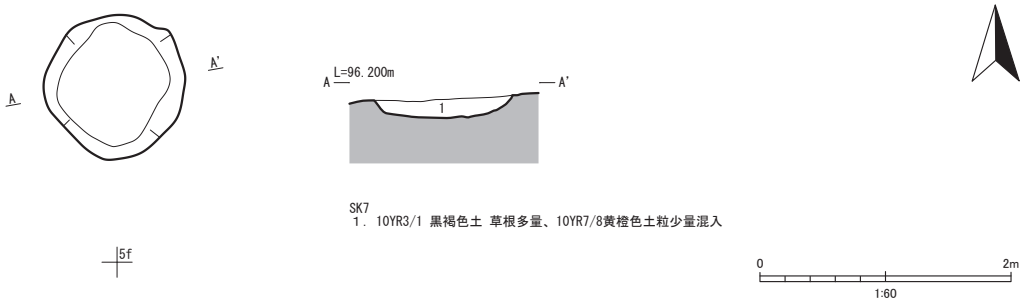
SK6



SK6
1．10YR3/1 黒褐色土 草根少量混入
2．10YR3/1 黒褐色土 10YR8/2灰白色土ブロック少量混入 ※人為、自然堆積の別不明

0　2m
1:60

SK7

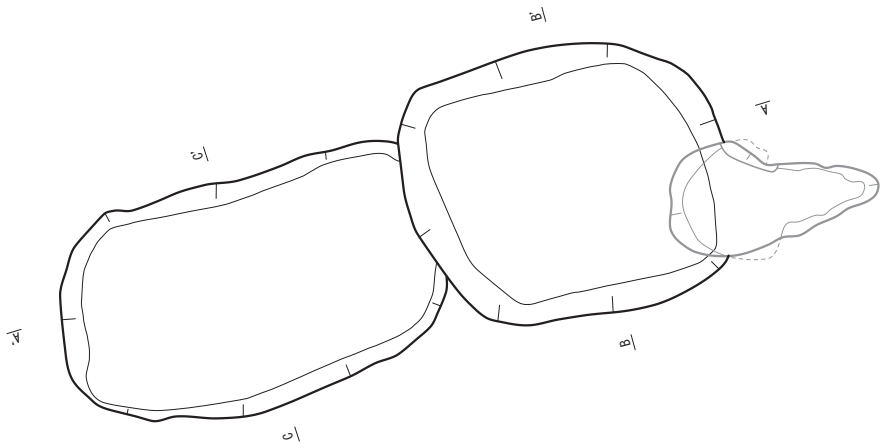


SK7
1．10YR3/1 黒褐色土 草根多量、10YR7/8黄橙色土粒少量混入

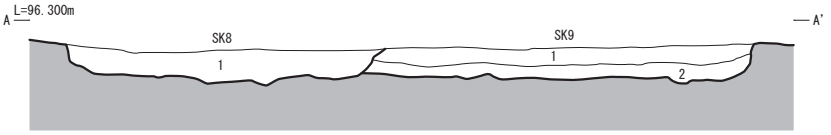
0　2m
1:60

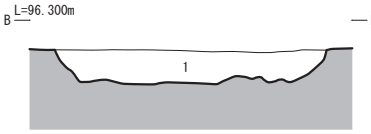
第 222 図　SK5～7

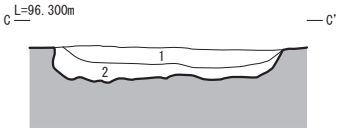
SK8・9



6h





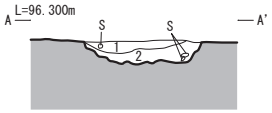


SK8
1．10YR3/1 黒褐色土 10YR7/8明黄褐色土ブロック及び炭化物粒少量混入
SK9
1．10YR3/1 黒褐色土 10YR7/8明黄褐色土ブロック微量混入
2．10YR2/1 黒色土 10YR7/8明黄褐色土まだらに少量混入

0　2m
1:60

SK10

7f



SK10
1．10YR3/2 黒褐色土 10YR5/6黄褐色土ブロック多量混入
2．10YR3/1 黒褐色土 骨片・灰・炭化物粒・焼土塊（2次焼土）少量全体に混入 ※中世墓坑

0　2m
1:60

第 223 図　SK8～10

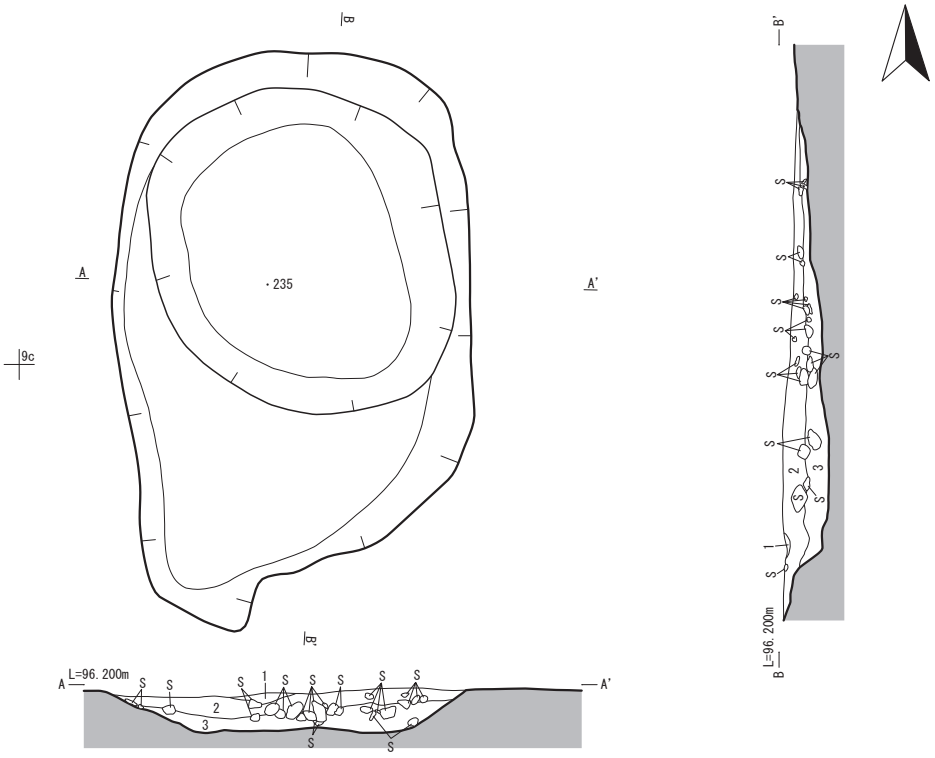
SK10（第 223 図　写真図版 149）	
位置　ⅠA6e	**時期**　中世（10 期）
形態　長軸 90 cm、短軸 50 cm の楕円形。深さ 20 cm。	
埋土　2 層に分かれ、ともに人為堆積である。2 層は全体的に骨片、灰、焼土塊（2 次焼土）を含み、1 層は地山ブロックを多量に混入する。	
重複　SD10 より新しく、SB7 より古い。SB5 とはプランが重複するが、前後関係は不明である。	
出土遺物　埋土中から火葬骨（276）が出土している。また、埋土下部から炭化物が出土しており、AMS 法の放射性炭素年代測定では「西暦 1445～1522 年（72.1%）」「西暦 1575～1624 年（23.3%）」の年代が示されている。	
中世の火葬骨が埋納された墓坑である。副葬品がなく構築された詳細な年代は不明であるが、炭素年代測定の結果から 10 期（1486～1522 年頃）と想定する。（羽柴）	

SK11（第 224 図　写真図版 149）	
位置　ⅠA8c、9c	**時期**　中世
形態　長軸 460 cm、短軸 300 cm の不整楕円形。深さ 35 cm。底面は地山中の礫が露出している。	
埋土　3 層に分かれる。1 層は地山ブロックを極めて多量に含む人為堆積、2、3 層は自然堆積とみられるが、人為的に投棄されたとみられる礫を多量に含む。	
重複　なし。	
出土遺物　埋土中から器種不明鉄製品（235）、砥石（260）、擦痕のある礫（269）、石棒（6）が出土している。その他に被熱した礫（不掲載遺物㊼～㊿）がある。	
性格は不明である。人為的に投棄されたとみられる礫の在り方が、苑池（SG1）と類似していることから、中世に構築された可能性を考えておきたい。	

SK13（第 224 図　写真図版 150）	
位置　ⅠA10m、10n、11m、11n	**時期**　中世
形態　長軸 320 cm、短軸 230 cm の楕円形。深さ 25 cm。	
埋土　3 層に分かれる。3 層とも自然堆積とみられる。	
重複　P（柱穴）より古い。	
出土遺物　埋土中から須恵器大甕体部片（133）が出土している。その他に須恵器坏体部の小片（不掲載遺物㊹）があるが、図化していない。	
遺構の形態、埋土の特徴から、中世に構築された可能性を考えておきたい。	

SK15（第 225 図　写真図版 151）	
位置　ⅠA16k、17k	**時期**　中世
形態　長軸 460 cm、短軸 360 cm の不整方形。深さ 25 cm。	
埋土　単層で、自然堆積とみられる。人為的に投棄されたとみられる礫を多量に含む。	
重複　なし。	
出土遺物　埋土中から鉄製品刀子（238）、円盤状石製品（262）が出土している。その他に剥片（不掲載遺物㊸）がある。	
性格は不明である。人為的に投棄されたとみられる礫の在り方が、苑池（SG1）と類似していることから、中世に構築された可能性を考えておきたい。	

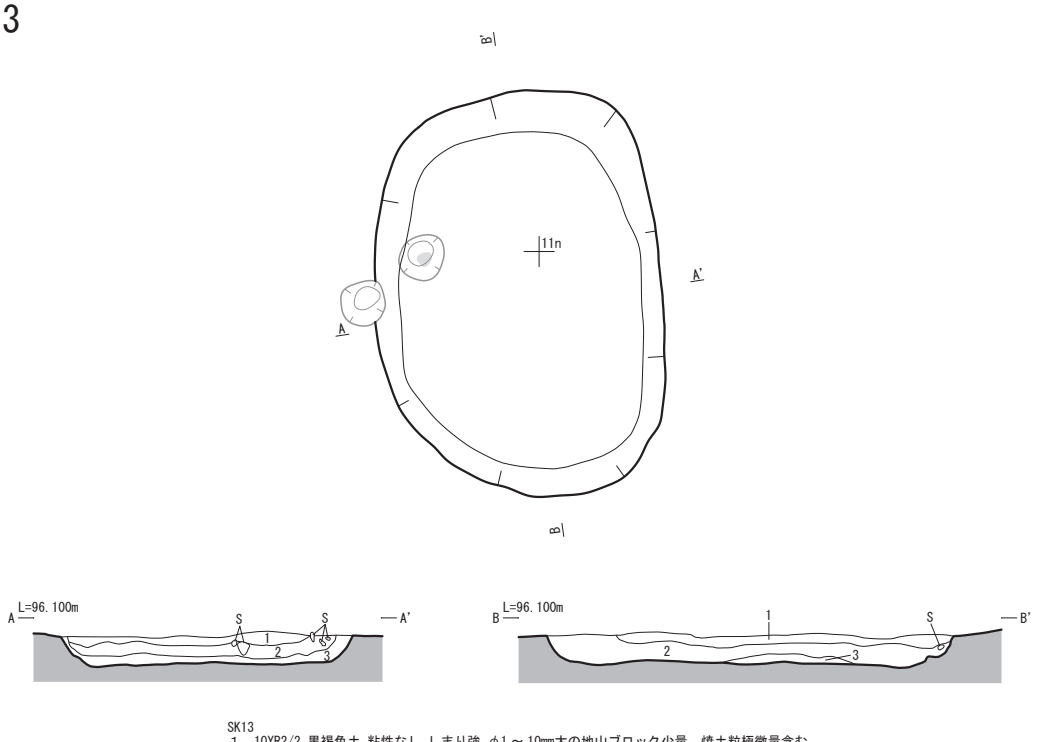
SK11



SK11
1．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり極強 φ5mm ～ 10cm大の地山ブロック極多量含む ※人為埋土
2．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまりやや強 φ1 ～ 5mm大の地山ブロック微量、炭化物粒・焼土粒・白色粒子(φ1 ～ 3mm)極微量含む、礫多量混入
3．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1 ～ 5mm大の地山ブロック微量、白色粒子(φ1 ～ 3mm)極微量含む、礫多量混入

0　2m
1:60

SK13

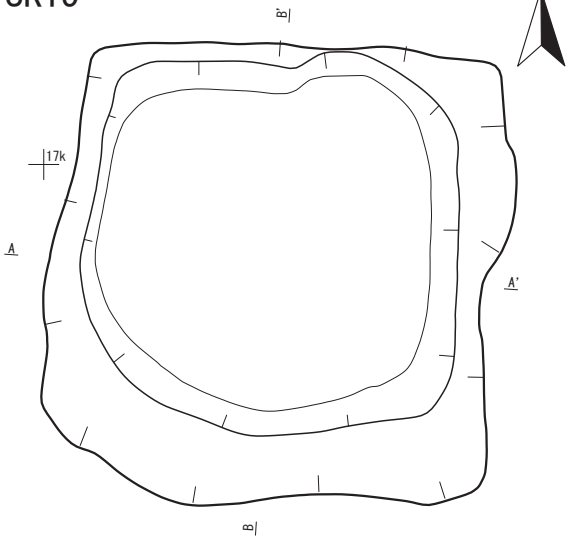


SK13
1．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1 ～ 10mm大の地山ブロック少量、焼土粒極微量含む
2．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまりやや強 φ1 ～ 3cm大の地山ブロック中量、焼土粒極微量含む
3．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり強 φ1 ～ 10mm大の地山ブロック微量含む

0　2m
1:60

第 224 図　SK11・13

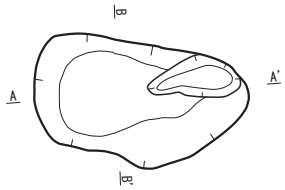
SK15

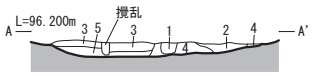


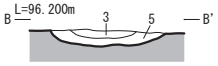
SK15
1．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～5mm大の地山ブロック及び焼土粒微量、白色粒子(φ1～3mm)極微量含む、礫多量混入

0　2m
1:60

SK16



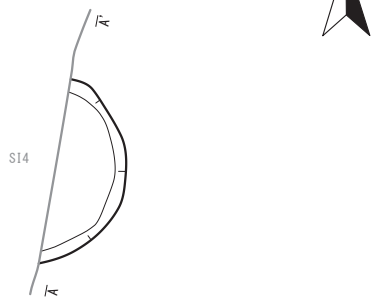




SK16
1．10YR3/1　黒褐色土 粘性なし ややしまっている 小円礫(9×7×3cm)、(6×4×2cm)を含む
2．10YR2/3　黒褐色土 粘性ややあり しまっている 10YR5/6黄褐色土の小ブロックを多く含む
3．5YR2/2　黒褐色土 粘性なし しまりなし 焼土(5YR5/6明赤褐色)を多量 炭化材を少量含む
4．10YR2/2　黒褐色土 粘性なし しまっている 10YR6/8明黄褐色土ブロックを少量含む
5．10YR1.7/1 黒色土 粘性なし しまりなし 炭化材を多量に含む

0　2m
1:60

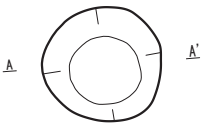
SK17

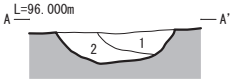


SK17
1．10YR3/1 黒褐色土 10YR6/8明黄褐色土ブロック少量混入、炭化物粒少量混入

0　2m
1:60

SK18





SK18
1．10YR2/1 黒色土 10YR7/8黄橙色土ブロック多量混入
2．10YR2/1 黒色土 10YR7/8黄橙色土ブロック少量混入

0　2m
1:60

第 225 図　SK15～18

SK16（第 225 図　写真図版 152）	
位置　ⅠA7i	**時期**　中世
形態　長軸約 156 cm、短軸約 91 cm の不整楕円形、深さ約 22 cm。壁は長軸方向の東西が緩く浅皿状に、南北が内湾しながら立ち上がる。底面は大小の凹凸があり平坦でない。副穴はない。	
埋土　6 層に分かれる。2・4 層には黄褐色シルトまたは明黄褐色シルトの小ブロック、3 層には明赤褐色の焼土ブロックを多く含み、人為的堆積とみられる。下位層の 5 層には炭化材が多く含まれている。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
検出時、西側の部分に炭化材と焼土粒混じりが円形状に広がっていた。そのためカマド状遺構が一部残存したものと想定して精査した。底面が浅く、凹凸が大きく形態的にも他のカマド状遺構と異なるため、土坑として取り扱った。出土遺物や重複関係がないことから、所属時期についての詳細は不明である。埋土から中世と推定した。（光井）	

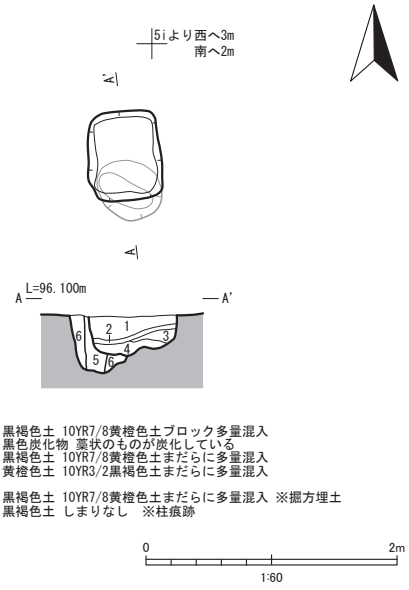
SK17（第 225 図　写真図版 152）	
位置　ⅠA4j	**時期**　中世（5 期以前）
形態　長軸 150 cm、短軸 55 cm 以上。西側を中世の竪穴建物（SI4）に切られるが、当初は直径 150 cm 程の円形であったと推測する。深さ 15 cm。	
埋土　単層で自然堆積とみられる。	
重複　SI4 より古い。SB1、14、83 とはプランが重複するが、前後関係は不明である。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。SI4（6 期：1338～1374 年頃）より古いことからそれ以前に構築されたと推測する。	

SK18（第 225 図　写真図版 152）	
位置　A3g、3h	**時期**　不明
形態　直径 90 cm の円形。深さ 25 cm。	
埋土　2 層に分かれる。1 層は地山ブロックを多量に混入する。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

SK19（第 226 図　写真図版 153）	
位置　ⅠA4h	**時期**　不明
形態　長軸 70 cm、短軸 60 cm の楕円形。深さ 30 cm。	
埋土　4 層に分かれる。1・3・4 層は地山ブロックを多量に混入する。人為堆積で、2 層に藁状の炭化物を挟む。	
重複　SB1 より新しい。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

SK20（第 226 図　写真図版 153）	
位置　ⅠA1h、1i	**時期**　不明
形態　長軸 100 cm、短軸 40 cm の不整楕円形。深さ 15 cm。	
埋土　2 層に分かれ、自然堆積であると推測される。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

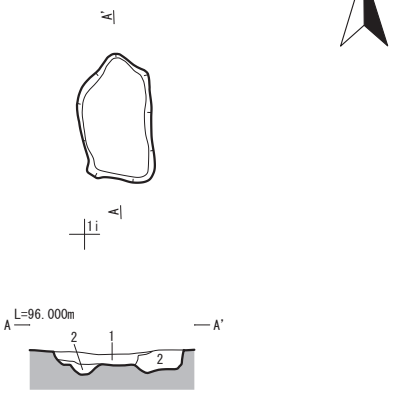
SK19



SK19
1．10YR3/1　黒褐色土 10YR7/8黄橙色土ブロック多量混入
2．10YR1.7/1 黒色炭化物 葉状のものが炭化している
3．10YR3/2　黒褐色土 10YR7/8黄橙色土まだらに多量混入
4．10YR7/8　黄橙色土 10YR3/2黒褐色土まだらに多量混入
P3701
5．10YR3/2　黒褐色土 10YR7/8黄橙色土まだらに多量混入 ※掘方埋土
6．10YR3/1　黒褐色土 しまりなし　※柱痕跡

0　2m
1:60

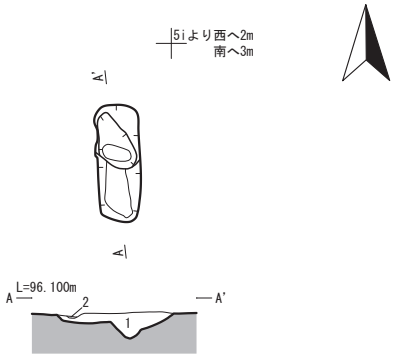
SK20



SK20
1．10YR3/1 黒褐色土 10YR7/8黄橙色土ブロック少量混入
2．10YR7/8 黄橙色土 10YR3/1黒褐色土ブロック少量混入

0　2m
1:60

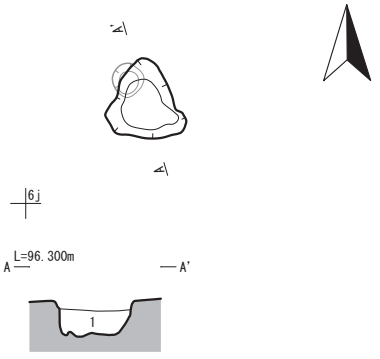
SK21



SK21
1．10YR4/1 褐灰色土 10YR7/8黄橙色ロームブロック少量混入、
10YR1.7/1黒色炭化物（種子？）を挟む

0　2m
1:60

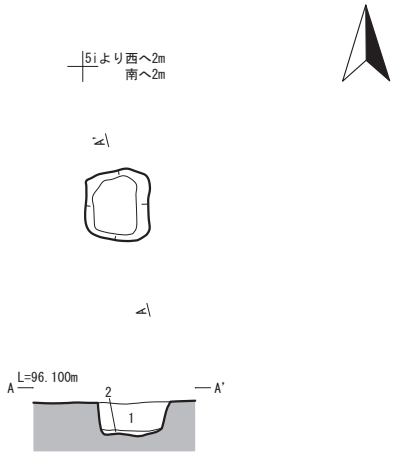
SK22



SK22
1．10YR3/1 黒褐色土 10YR8/2灰白色まだらに少量混入

0　2m
1:60

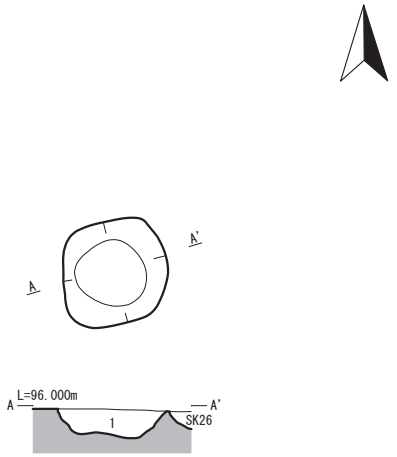
SK23



SK23
1．10YR3/2 黒褐色土 10YR7/8黄橙色土ブロック多量混入
2．10YR7/8 黄橙色土 10YR3/2黒褐色土まだらに少量混入

0　2m
1:60

SK24



SK24
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり中 φ1～10mm大の地山ブロック微量、焼土粒極微量含む

0　2m
1:60

第 226 図　SK19～24

SK21（第 226 図　写真図版 153）	
位置　ⅠA4h	**時期**　不明
形態　長軸 95 cm、短軸 35 cm の楕円形。深さ 20 cm。	
埋土　2 層に分かれる。1 層には炭化物を挟む。	
重複　SB1 とはプランが重複するが、前後関係は不明である。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

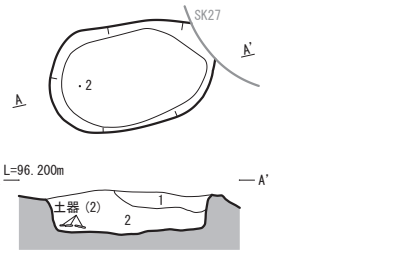
SK22（第 226 図　写真図版 153）	
位置　ⅠA6j	**時期**　不明
形態　長軸 65 cm、短軸 55 cm の不整形。深さ 25 cm。	
埋土　単層で地山を斑状に少量混入する。	
重複　SB17 より新しい。SB1 とはプランが重複するが、前後関係は不明である。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

SK23（第 226 図　写真図版 154）	
位置　ⅠA4h	**時期**　不明
形態　長軸 60 cm、短軸 50 cm の楕円形。深さ 25 cm。	
埋土　2 層に分かれる。1 層は地山ブロックを多量に混入し、人為堆積とみられる。	
重複　SB1 とはプランが重複するが、前後関係は不明である。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。（羽柴）	

SK24（第 226 図　写真図版 154）	
位置　ⅠA2c	**時期**　不明
形態　長軸 100 cm、短軸 80 cm の楕円形。深さ 20 cm。	
埋土　単層で自然堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

SK25（第 227 図　写真図版 154、155）	
位置　ⅠA4c	**時期**　縄文時代後期
形態　長軸 135 cm、短軸 85 cm の楕円形。深さ 35 cm。	
埋土　2 層に分かれる。1 層は自然堆積とみられる。2 層は、地山ブロック、黒褐色土の混合土であり、人為堆積である可能性がある。	
重複　SK27 より古い。	
出土遺物　2 層中から縄文土器深鉢の口縁部～胴部（2）が出土している。	
出土遺物から縄文時代後期の遺構とみられる。	

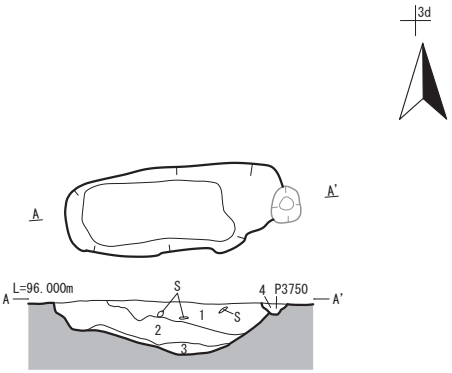
SK25



SK25
1．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり中 φ1～30㎜大の地山ブロック少量、炭化物粒及び焼土粒極微量含む
2．10YR 2/1 黒色土10%、10YR3/2黒褐色土40%、地山ブロック50%の混合土 ※縄文後期初頭の土坑

0　2m
1:60

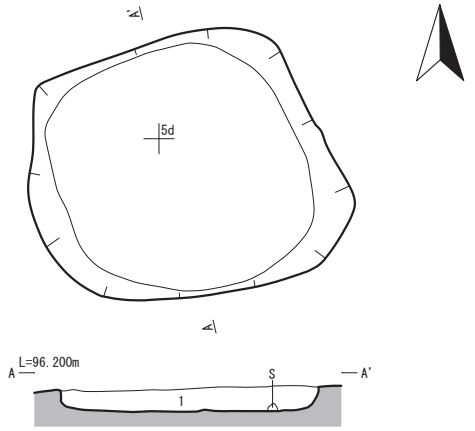
SK26



SK26
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり中 φ1～5㎜大の地山ブロック及び炭化物粒微量、焼土粒極微量含む
2．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～10㎜大の焼土ブロック微量、φ1～50㎜大の地山ブロック極多量含む
3．10YR4/2灰黄褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ10～50㎜大の地山ブロック少量含む
P3750
4．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～10㎜大の地山ブロック中量、炭化物粒及び焼土粒極微量含む

0　2m
1:60

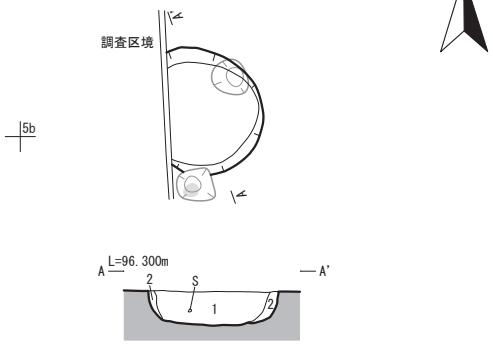
SK27



SK27
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり強 炭化物粒・焼土粒・地山(φ1～5㎜大)ブロック極微量含む

0　2m
1:60

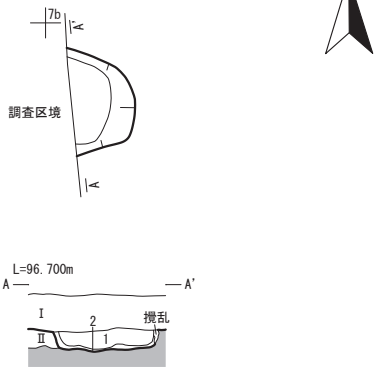
SK28



SK28
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～5㎜大の地山ブロック微量、炭化物粒及び焼土粒極微量含む
2．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～30㎜大の地山ブロック多量含む ※壁崩壊土

0　2m
1:60

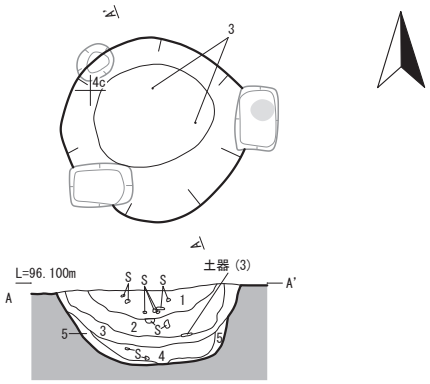
SK29



SK29
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり中 φ1～10㎜大の地山ブロック微量、炭化物粒及び焼土粒極微量含む
2．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～10㎜大の地山ブロック多量含む ※壁崩壊土

0　2m
1:60

SK30



SK30
1．10YR3/1 黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 礫少量、炭化物粒・焼土粒・地山粒極微量含む
2．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり極めて強 礫微量、炭化物粒及び焼土粒極微量含む ※3層との層理面に土器が入る
3．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～30㎜大の地山ブロックやや多く含む ※壁崩壊土
4．10YR3/1 黒褐色土 粘性なし しまり中 φ1～10㎜大の地山ブロック少量含む
5．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり強 φ30㎜以上の地山ブロック極多量含む ※壁崩壊土

0　2m
1:60

第 227 図　SK25～30

SK26（第 227 図　写真図版 155）	
位置　ⅠA2c	**時期**　中世
形態　長軸 175 cm、短軸 65 cm の不整長楕円形。深さ 45 cm。	
埋土　3 層に分かれる。1、3 層は自然堆積とみられる。2 層は地山ブロックを極めて多量に含むため人為堆積の可能性がある。	
重複　P3750（柱穴）より古い。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。中世の柱穴に切られることから、中世に構築された可能性を考えておきたい。	

SK27（第 227 図　写真図版 155）	
位置　ⅠA4c、4d、5c、5d	**時期**　不明
形態　長軸 265 cm、短軸 205 cm の不整円形。深さ 20 cm。	
埋土　単層で、自然堆積とみられる。	
重複　SK25 より新しい。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

SK28（第 227 図　写真図版 155）	
位置　ⅠA4b、5b	**時期**　中世
形態　直径 105 cm の円形（推定）。深さ 25 cm。	
埋土　2 層に分かれる。1 層は自然堆積、2 層は地山ブロックを多量に含み、壁面の崩壊土と考えられる。	
重複　SB153 とはプランが重複するが、前後関係は不明である。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。中世の柱穴に切られることから、中世に構築された可能性を考えておきたい。	

SK29（第 227 図　写真図版 156）	
位置　ⅠA6b	**時期**　不明
形態　長軸 75 cm 以上、短軸 70 cm 以上の楕円形（推定）。深さ 20 cm。	
埋土　2 層に分かれる。1 層は自然堆積、2 層は地山ブロックを多量に含み、壁面の崩壊土と考えられる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

SK30（第 227 図　写真図版 156）	
位置　ⅠA3b、3c、4b、4c	**時期**　縄文時代後期
形態　直径 145 cm の円形。深さ 60 cm。	
埋土　5 層に分かれる。1、2、4 層は自然堆積、5 層は地山ブロックを極めて多量に含むことから壁面の崩壊土とみられる。3 層も地山ブロックをやや多く含むことから壁面の崩壊土であった可能性もある。	
重複　SB153 より古い。	
出土遺物　1 層中および 2、3 層層離面から縄文土器深鉢の口縁部～胴部（3）が出土している。	
出土遺物から縄文時代後期の遺構とみられる。	

SK31（第 228 図　写真図版 156）	
位置　ⅠA7g	**時期**　不明
形態　長軸 95 cm、短軸 40 cm の不整楕円形。深さ 45 cm。	
埋土　3 層に分かれる。3 層は地山ブロックを多量に混入し、人為堆積とみられる。	
重複　SB5、6、7、8 とはプランが重複するが、前後関係は不明である。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。（羽柴）	

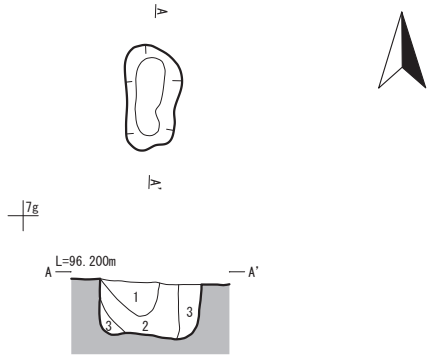
SK32（第 238 図　写真図版 173）	
位置　ⅠA0e	**時期**　7 世紀末～8 世紀初頭
形態　長軸 80 cm、短軸 40 cm の楕円形。深さ 40 cm。SI101 竪穴部北西コーナーにあり、北壁に接している。	
埋土　2 層に分かれる。1 層は地山ブロックをやや多く含むものの、1、2 層ともに自然堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。ただし、直上の SI101 埋土中からロクロ不使用の土師器坏（102、104）、長胴甕（105）が出土しており、本遺構に伴っていた可能性もある。	
SI101 に伴う。出土遺物がなく性格は不明である。	

SK33（第 238 図　写真図版 173）	
位置　ⅠA0e	**時期**　7 世紀末～8 世紀初頭
形態　長軸 70 cm、短軸 40 cm の不整楕円形。深さ 20 cm。SI101 竪穴部北西コーナーにある。中央部付近で緩やかな段がつき、西側が一段低い。西側底面の一部は被熱し焼面となっている。	
埋土　2 層に分かれる。2 層は地山ブロックを多量に含み、人為堆積の可能性もある。	
重複　なし。	
出土遺物　土師器長胴甕体部の小片（不掲載遺物⑮）があるが、図化していない。	
SI101 に伴う。部分的に火を受けているが、性格は不明である。	

SK34（第 238 図　写真図版 173、174）	
位置　ⅠA0e	**時期**　7 世紀末～8 世紀初頭
形態　長軸 60 cm、短軸 45 cm の楕円形。深さ 15 cm。	
埋土　2 層に分かれる。2 層は地山ブロックを極めて多量に含み、人為堆積の可能性もある。	
重複　なし。	
出土遺物　土師器長胴甕（105）と同一個体とみられる破片（不掲載遺物㊵）が出土している。	
SI101 に伴う。性格は不明である。	

SK35（第 238 図　写真図版 174）	
位置　ⅠA0e	**時期**　7 世紀末～8 世紀初頭
形態　長軸 75 cm、短軸 55 cm の楕円形。深さ 10 cm。	
埋土　単層で、地山ブロックを多量に含むことから人為堆積の可能性もある。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
SI101 に伴う。性格は不明である。	

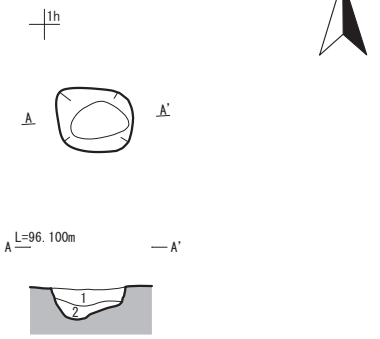
SK31



SK31
1．10YR3/1 黒褐色土 10YR7/8黄橙色土ブロック多量混入
2．10YR4/2 灰黄褐色土 10YR7/8黄橙色土まだらに混入
3．10YR2/1 黒色土 10YR7/8黄橙色土粒少量混入

0　2m
1:60

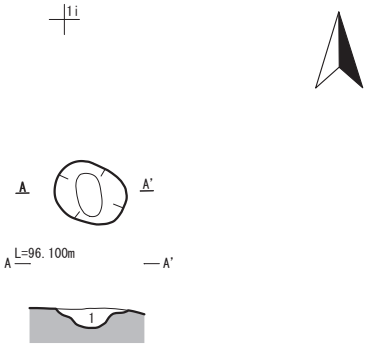
SK38



SK38
1．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～50㎜大の地山ブロック少量含む
2．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり中 φ1～100㎜大の地山ブロック極めて多量含む

0　2m
1:60

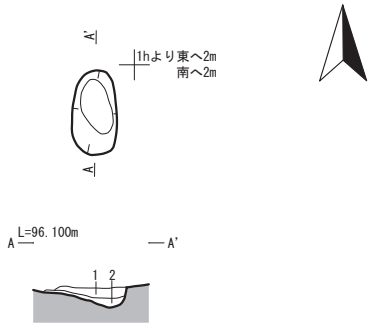
SK39



SK39
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり中 φ1～10㎜大の地山ブロック中量含む

0　2m
1:60

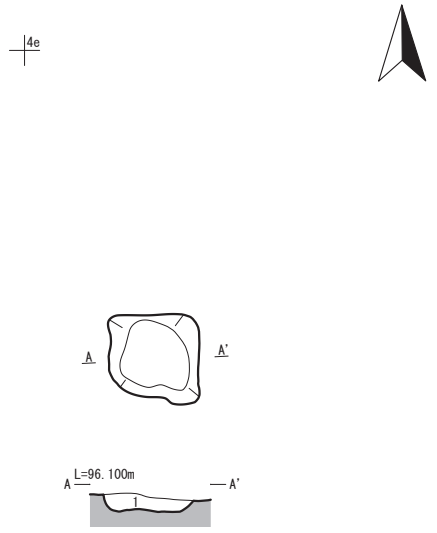
SK40



SK40
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～10㎜大の地山ブロック少量含む
2．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～10㎜大の地山ブロック少量含む

0　2m
1:60

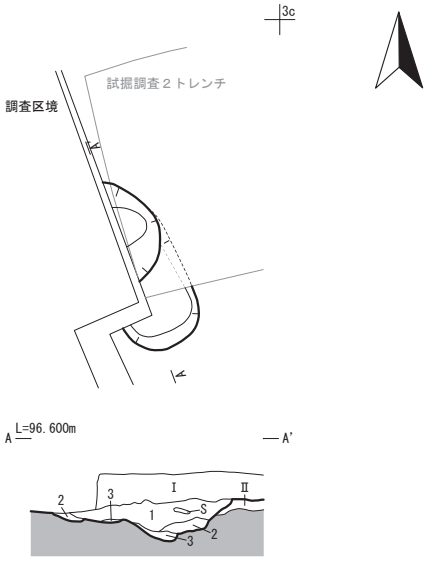
SK42



SK42
1．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～50㎜大の地山ブロック多量、
焼土粒極微量含む

0　2m
1:60

SK43



SK43
1．10YR3/1 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～30㎜大の地山ブロック及び3層
φ1～30㎜大のブロック微量、焼土粒極微量含む
2．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～30㎜大の地山ブロック少量、
φ10㎜大の3層ブロック微量含む
3．10YR4/2 灰黄褐色粘土質土 粘性ややあり しまり極めて強 φ1～30㎜大の
地山ブロック少量含む

0　2m
1:60

第 228 図　SK31、38～40、42・43

SK36（第 238 図　写真図版 174）	
位置　ⅠA0f	**時期**　7 世紀末～8 世紀初頭
形態　長軸 80 cm、短軸 60 cm の楕円形。深さ 25 cm。	
埋土　2 層に分かれる。2 層は地山ブロックをやや多く含むことから、人為堆積の可能性もある。	
重複　撹乱より古い。	
出土遺物　なし。ただし、直上の SI101 埋土中からロクロ不使用の土師器坏（101）が出土しており、本遺構に伴っていた可能性もある。	
SI101 に伴う可能性がある。性格は不明である。	

SK37（第 238 図　写真図版 174）	
位置　ⅠA0f	**時期**　7 世紀末～8 世紀初頭
形態　長軸 85 cm、短軸 80 cm の楕円形。深さ 20 cm。SI101 竪穴部の南東コーナーにある。	
埋土　単層で、自然堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　土師器長胴甕体部の小片（不掲載遺物㉞）があるが、図化していない。	
SI101 に伴う。性格は不明である。	

SK38（第 228 図　写真図版 156）	
位置　ⅠA0h	**時期**　不明
形態　長軸 65 cm、短軸 50 cm の楕円形。深さ 25 cm。	
埋土　2 層に分かれる。2 層は地山ブロックを極めて多量に含み人為堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　火打石？（不掲載遺物㉜）が出土している。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

SK39（第 228 図　写真図版 157）	
位置　ⅠA0i	**時期**　不明
形態　長軸 60 cm、短軸 45 cm の楕円形。深さ 15 cm。	
埋土　単層で、自然堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

SK40（第 228 図　写真図版 157）	
位置　ⅠA0h	**時期**　不明
形態　長軸 65 cm、短軸 35 cm の楕円形。深さ 15 cm。	
埋土　2 層に分かれ、ともに自然堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

SK42（第 228 図　写真図版 157）	
位置　ⅠA3e	**時期**　不明
形態　長軸 95 cm、短軸 65 cm の不整楕円形。深さ 15 cm。	
埋土　単層で、地山ブロックを多量に含むことから人為堆積の可能性もある。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

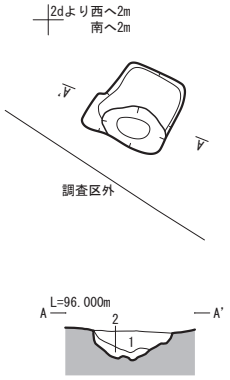
SK43（第 228 図　写真図版 157）	
位置　ⅠA2b	**時期**　不明
形態　長軸 145 cm 以上、短軸 65 cm の楕円形（推定）。深さ 35 cm。	
埋土　3 層に分かれ、すべて自然堆積とみられる。	
重複　試掘調査 2 トレンチより古い。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

SK44（第 229 図　写真図版 158）	
位置　ⅠA1c	**時期**　不明
形態　一辺 65 cm の不整方形。深さ 25 cm。	
埋土　2 層に分かれる。1 層は地山ブロックを極めて多量に含む人為堆積、2 層は自然堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

SK45（第 229 図　写真図版 158）	
位置　ⅠA6d	**時期**　中世
形態　長軸 65 cm 以上、短軸 25 cm の楕円形。深さ 20 cm。	
埋土　単層で、自然堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。中世に構築された可能性を考えておきたい。	

SK46（第 229 図　写真図版 158）	
位置　ⅠA7g、7h	**時期**　不明
形態　長軸 45 cm、短軸 40 cm の楕円形。深さ 10 cm。	
埋土　単層で、地山ブロックを多量に含むことから人為堆積の可能性もある。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

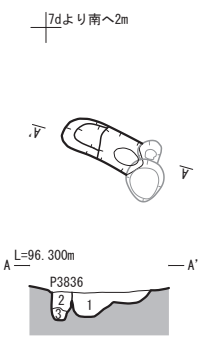
SK44



SK44
1．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～50㎜大の地山ブロック極多量含む
2．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり極めて弱 φ1～10㎜大の地山ブロック微量含む

0　2m
1:60

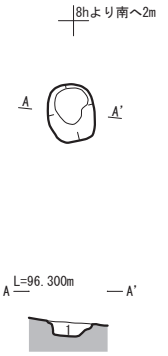
SK45



SK45
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまりやや弱 φ1～30㎜大の地山ブロック少量、焼土粒極微量含む
P3836
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり弱 φ1～10㎜大の地山ブロック少量含む
2．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～30㎜大の地山ブロック極多量含む

0　2m
1:60

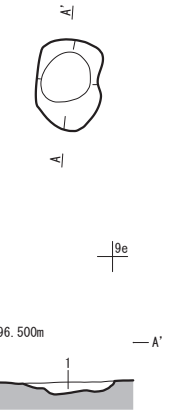
SK46



SK46
1．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～30㎜大の地山ブロック多量含む

0　2m
1:60

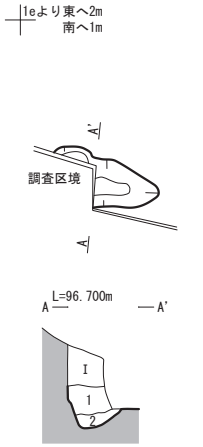
SK47



SK47
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり強 φ1～30㎜大の地山ブロック少量含む

0　2m
1:60

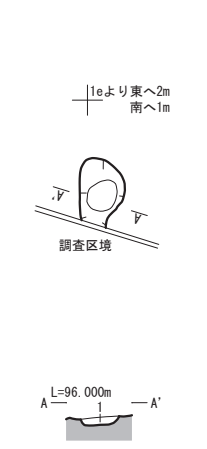
SK48



SK48
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり強 φ1～50㎜大の地山ブロック微量、焼土粒極微量含む
2．10YR3/1 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～30㎜大の地山ブロック極多量含む

0　2m
1:60

SK49



SK49
1．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～30㎜大の地山ブロック少量、焼土粒極微量含む

0　2m
1:60

第 229 図　SK44～49

SK47（第 229 図　写真図版 158）	
位置　ⅠA9d	**時期**　不明
形態　長軸 70 cm、短軸 50 cm の不整楕円形。深さ 10 cm。	
埋土　単層で、自然堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

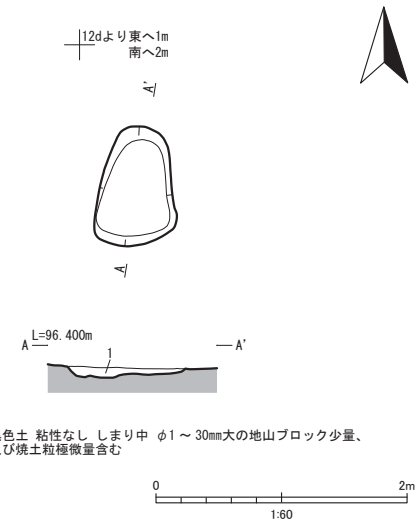
SK48（第 229 図　写真図版 159）	
位置　ⅠA0e	**時期**　不明
形態　長軸 85 cm 以上、短軸 40 cm の不整楕円形。深さ 35 cm。	
埋土　2 層に分かれる。2 層は地山ブロックを極めて多量に含む人為堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

SK49（第 229 図　写真図版 159）	
位置　ⅠA0e	**時期**　不明
形態　長軸 50 cm 以上、短軸 20 cm の不整楕円形（推定）。深さ 5 cm。	
埋土　単層で、自然堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

SK50（第 230 図　写真図版 159）	
位置　ⅠA11d	**時期**　不明
形態　長軸 95 cm、短軸 55 cm の楕円形。深さ 10 cm。	
埋土　単層で、自然堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

SK51（第 230 図　写真図版 159）	
位置　ⅠA10f	**時期**　不明
形態　長軸 80 cm、短軸 40 cm の不整楕円形。深さ 10 cm。	
埋土　単層で、地山ブロックを極めて多量に含む人為堆積である。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

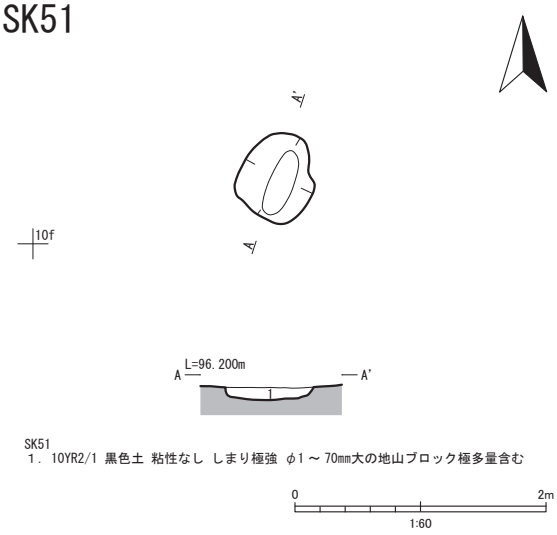
SK50



SK50
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり中 φ1～30㎜大の地山ブロック少量、炭化物粒及び焼土粒極微量含む

0　2m
1:60

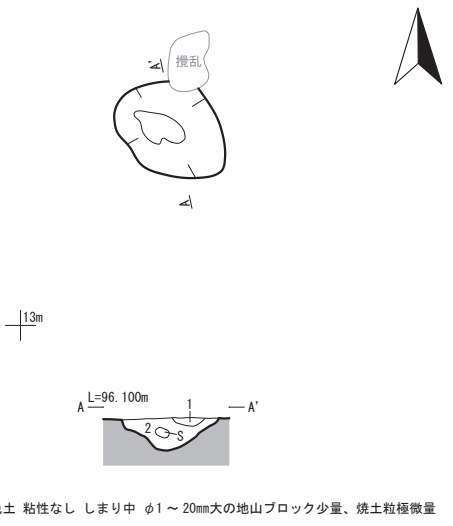
SK51



SK51
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり極強 φ1～70㎜大の地山ブロック極多量含む

0　2m
1:60

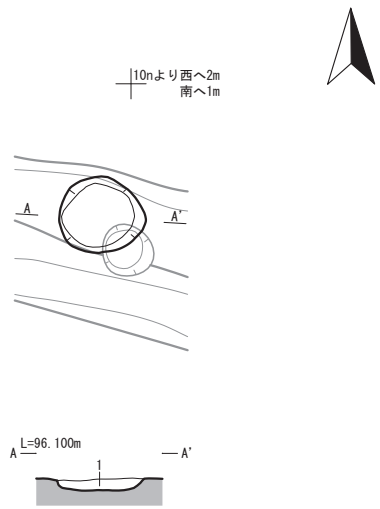
SK52



SK52
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり中 φ1～20㎜大の地山ブロック少量、焼土粒極微量含む
2．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり極強 φ1～50㎜大の地山ブロック極多量、1層ブロック少量含む

0　2m
1:60

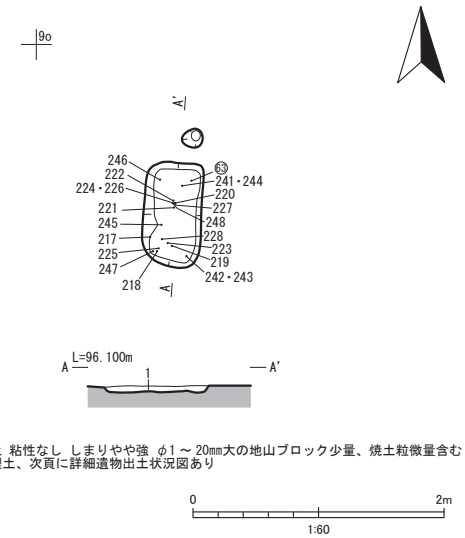
SK53



SK53
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり強 φ1～30㎜大の地山ブロック少量、焼土粒微

0　2m
1:60

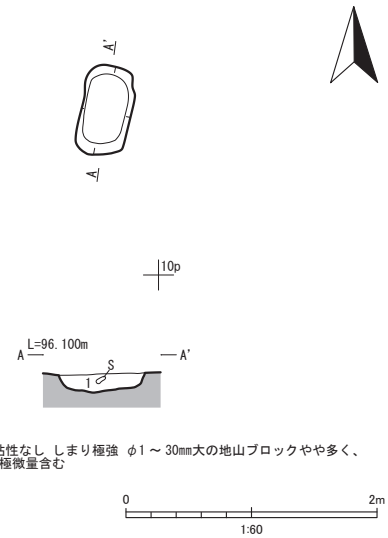
SK54



SK54
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまりやや強 φ1～20㎜大の地山ブロック少量、焼土粒微量含む
※中世の墓坑埋土、次頁に詳細遺物出土状況図あり

0　2m
1:60

SK55



SK55
1．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり極強 φ1～30㎜大の地山ブロックやや多く、炭化物粒及び焼土粒極微量含む

0　2m
1:60

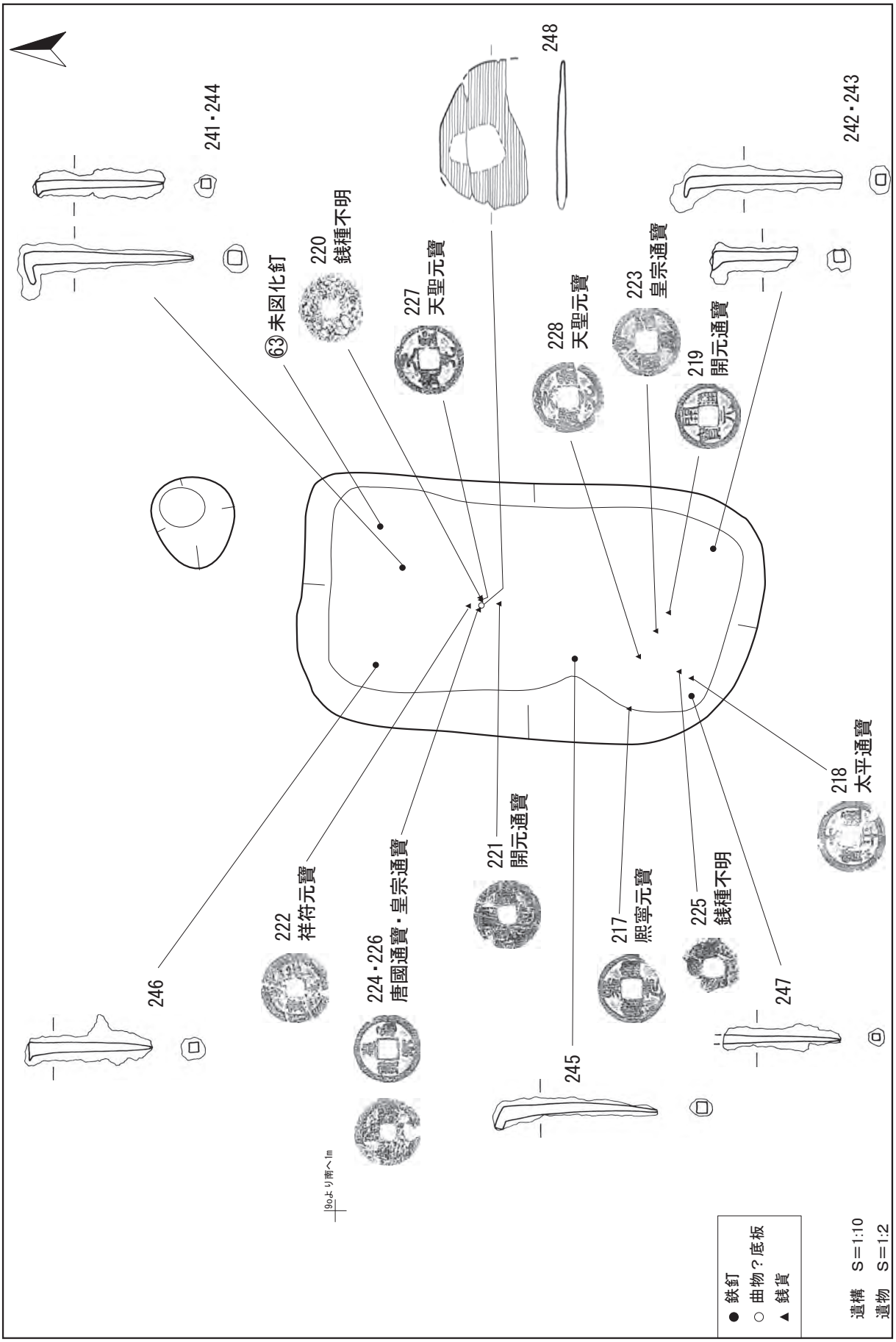
第 230 図　SK50～55

SK52（第 230 図　写真図版 160）	
位置　ⅠA13m	**時期**　不明
形態　長軸 100 cm、短軸 75 cm の不整楕円形。深さ 25 cm。	
埋土　2 層に分かれる。2 層は地山ブロックを極めて多量に含む人為堆積である。	
重複　撹乱より古い。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

SK53（第 230 図　写真図版 160）	
位置　ⅠA9m	**時期**　中世
形態　長軸 70 cm、短軸 60 cm の楕円形。深さ 10 cm。	
埋土　単層で、自然堆積とみられる。	
重複　SD4、SD5 より古い。	
出土遺物　須恵器坏体部の小片（不掲載遺物㊷）があるが、図化していない。	
性格は不明である。中世の居館である長方形区画の北辺を構成する SD4、SD5 より古いことから、中世に構築された可能性を考えておきたい。	

SK54（第 230、231 図　写真図版 160、161）	
位置　ⅠA8o	**時期**　中世（10 期）
形態　長軸 85 cm、短軸 45 cm の楕円形。深さ 5 cm。すぐ北側に直径 20 cm、深さ 10 cm の小穴があり、本遺構に伴うと考えた。	
埋土　単層である。墓坑という性格上、人為的に埋められていると考えられるが、地山ブロックの含有は少量にとどまる。	
重複　なし。	
出土遺物　埋土中から火葬骨（277）、火葬骨および副葬品を納めるための木製箱に使用されていたとみられる鉄釘（241～247）、副葬品とみられる銭貨（217～228）、副葬品を納めるための木製容器曲物？底板（248）が出土している。その他に鉄釘の破片（不掲載遺物㊸）がある。また、底面直上から炭化物が出土しており、AMS 法の放射性炭素年代測定では、「西暦 1449～1523 年（62.8%）」「西暦 1572～1630 年（32.6%）」の年代が示されている。	
中世の火葬骨が埋納された墓坑である。鉄釘のうち 246、不掲載遺物㊸、242･243、247 を木製箱の四隅と推定すると、その大きさは南北約 60 cm、東西約 30 cm となり、その中に火葬骨および副葬品（銭貨）が納められていたと考えられる。 副葬品として埋納された銭名を確認できる銭貨のうち、最も新しい熙寧元寶（初鋳年：1068 年）以降に構築されたことは明らかであるが、詳細な年代は不明である。炭素年代測定の結果から 10 期（1486～1522 年頃）と想定する。	

SK55（第 230 図　写真図版 162）	
位置　ⅠA10o	**時期**　不明
形態　長軸 70 cm、短軸 40 cm の不整楕円形。深さ 15 cm。	
埋土　単層で、自然堆積とみられる。	
重複　SB121、126 とはプランが重複するが、前後関係は不明である。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	



第 231 図　SK54 遺物出土状況

SK56（第 232 図　写真図版 162）	
位置　ⅠA8t	**時期**　不明
形態　長軸 65 cm、短軸 60 cm の楕円形。深さ 25 cm。	
埋土　単層で、自然堆積とみられる。	
重複　SB130 とはプランが重複するが、前後関係は不明である。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

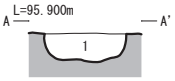
SK57（第 232 図　写真図版 162）	
位置　ⅠA6s	**時期**　不明
形態　長軸 90 cm、短軸 65 cm の楕円形。深さ 35 cm。	
埋土　単層である。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

SK58（第 232 図　写真図版 162）	
位置　ⅠA5r	**時期**　不明
形態　直径 70 cm の円形。深さ 25 cm。	
埋土　単層で、自然堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

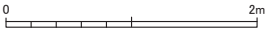
SK59（第 232 図　写真図版 163）	
位置　ⅠA2s	**時期**　不明
形態　長軸 95 cm、短軸 55 cm の不整楕円形。深さ 20 cm。	
埋土　単層で、自然堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

SK60（第 232 図　写真図版 163）	
位置　ⅠA5t	**時期**　不明
形態　長軸 60 cm、短軸 25 cm の不整楕円形。深さ 15 cm。	
埋土　単層で、自然堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

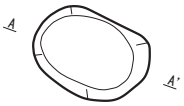
SK56

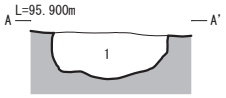


SK56
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり強 φ1～50mm大の地山ブロック少量、
炭化物粒及び焼土粒極微量含む

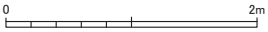


SK57

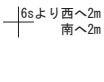


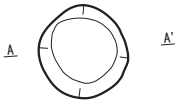


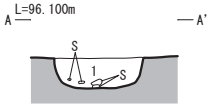
SK57
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり強 10YR2/2黒褐色土ブロック中量、
φ1～30mm大の地山ブロック少量、焼土粒微量、炭化物粒極微量含む



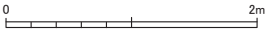
SK58



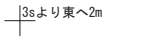


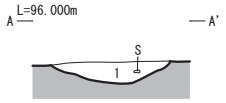


SK58
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり極強 φ1～10mm大の地山ブロック及び礫少量、
焼土粒微量含む

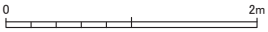


SK59

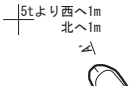


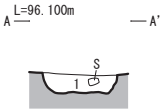


SK59
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり極強 φ1～10mm大の地山ブロック微量、焼土粒

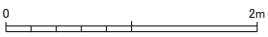


SK60

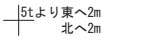


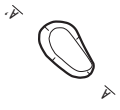


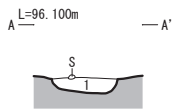
SK60
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり極強 10YR2/2黒褐色土ブロック及びφ1～10mm大の
地山ブロック少量、焼土粒極微量含む



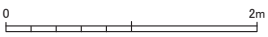
SK61







SK61
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり極強 10YR2/黒褐色土ブロック及びφ1～10mm大の
地山ブロック少量、焼土粒極微量含む



第 232 図　SK56～61

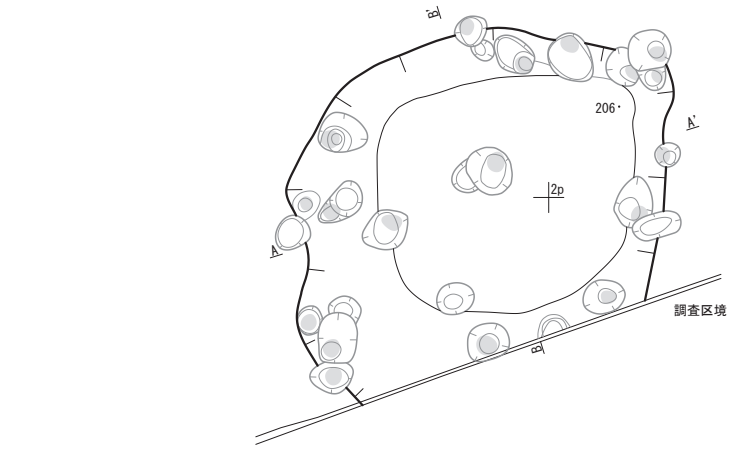
SK61（第 232 図　写真図版 163）	
位置　ⅠA5t	**時期**　不明
形態　長軸 55 cm、短軸 25 cm の楕円形。深さ 10 cm。	
埋土　単層で、自然堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

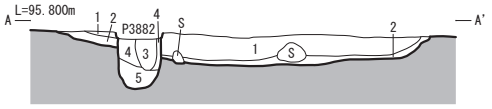
SK62（第 233 図　写真図版 163、164）	
位置　ⅠA1o、1p、2o、2p	**時期**　中世（1 期）
形態　長軸約 360 cm の不整楕円形（推定）。深さ 25 cm。	
埋土　2 層に分かれ、ともに自然堆積とみられる。	
重複　SB30、SB47、SB49、SB81、SB84、SX10 より古い。SB38、41、44、72、76、79、88、90、92、95 とはプランが重複するが、前後関係は不明である。	
出土遺物　埋土中から 12 世紀代の渥美産陶器甕（206）が出土している。また、打ち欠きのある礫（不掲載遺物㉞）、縄文土器深鉢胴部（不掲載遺物⑦、⑧）、土師器坏・長胴甕体部の小片（不掲載遺物㊱～㊳）があるが、図化していない。	
性格は不明である。2 期に構築された SB49、SB81 よりも古いことから、1 期（1153～1189 年頃）の可能性を考えておきたい。	

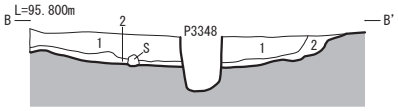
SK63（第 233 図　写真図版 165）	
位置　ⅠA5m	**時期**　中世（4 期以前）
形態　長軸 90 cm、短軸 70 cm の楕円形。深さ 15 cm。	
埋土　単層で、自然堆積とみられる。	
重複　SB77 より古い。SB2、29、42、45、46、91、94 とはプランが重複するが、前後関係は不明である。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。SB77 より古いことから、4 期（1264～1300 年頃）以前と想定する。	

SK64（第 233 図　写真図版 129）	
位置　ⅠA5b	**時期**　中世
形態　長軸約 60 cm、短軸約 25 cm 以上の不整円形、深さ約 10 cm。埋土断面の観察から、壁は幾分内湾して立ち上がっている。底面は大小の凹凸あり平坦でない。副穴はない。	
埋土　2 層に分かれる。下位層は暗褐色シルトブロックが多く含まれ、層離面が大きい凹凸を呈しており人為堆積とみられる。	
重複　柱穴 P3808 に切られ、SX21 を切っている。	
出土遺物　なし。	
中世の遺構を切り、中世の遺構に切られていることから、中世に属する。詳細については不明である。	

SK62





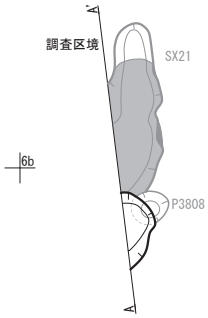


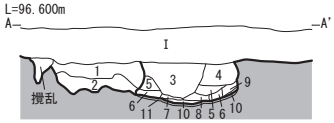
SK62
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり極強 φ1～10mm大の地山ブロック微量、炭化物粒及び焼土粒極微量含む
2．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり極強 φ1～10mm大の地山ブロック少量含む

P3882
1．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり中 φ1～10mm大の地山ブロック少量、焼土粒及び焼土ブロック微量含む ※柱痕跡
2．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり極強 φ1～1mm大の地山ブロック多量、焼土粒及び焼土ブロック少量含む ※掘方埋土
3．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり極強 φ1～30mm大の地山ブロック極多量、焼土ブロック極微量含む ※掘方整形土

0　2m
1:60

SK64



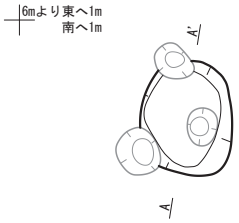


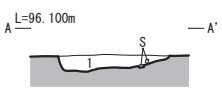
SK64 A-A'
1．10YR2/2　黒褐色土 10YR4/4褐色土の小ブロックを少し含む
2．10YR2/2　黒褐色土 10YR4/3暗褐色土ブロックを少し、10YR3/3暗褐色土のブロックを少量含む

SX21
3．10YR 2/1 黒色土 5YR5/8明赤褐色焼土粒・10YR3/4暗褐色土のブロックを少量含む
4．7.5YR2/2 黒褐色土 炭化物粒を少し、10YR3/2暗褐色土の小ボロックを多く含む
5．7.5YR2/2 黒褐色土 10YR4/4褐色土の小ブロック・10YR5/6黄褐色土の小ブロックを多く含む
6．7.5YR2/2 黒褐色土 10YR5/4にぶい黄褐色土を多く含む
7．5YR2/3　極暗赤褐色焼土 再堆積 5YR4/8赤褐色焼土粒を多く含む
8．5YR3/6　暗赤褐色焼土 再堆積 5YR5/4赤褐色焼土粒も少し含む
9．7.5YR2/2 黒褐色土
10．10YR2/1　黒色土 炭化物粒・5YR4/8赤褐色焼土粒を少し含む
11．5YR3/4　暗赤褐色土 焼土

0　2m
1:60

SK63

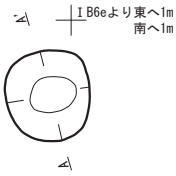


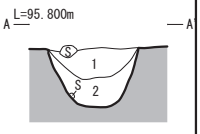


SK63
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり極強 φ1～5mm大の地山ブロック微量、焼土粒極微量含む

0　2m
1:60

SK501





SK501
1．10YR2/1　黒色土 10YR5/3にぶい黄褐色土のブロックを少量含む
2．10YR1.7/1 黒粘土質土 10YR3/3暗褐色土の小ブロック・10YR4/4褐色土の小ブロックを少し含む

0　2m
1:60

第 233 図　SK62～64、501

SK501（第 233 図　写真図版 165）	
位置　ⅠB5e	**時期**　縄文時代
形態　長軸約 72 cm、短軸約 68 cm の円形、深さ約 68 cm。壁は底面から丸味を帯び外反して立ち上がっている。底面は礫層下の砂層まで掘り込んでつくられ、平坦である。副穴はない。	
埋土　2 層に分かれる。自然堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
人為的な堆積でないので、墓壙とは考えられず、貯蔵穴や陥し穴等の可能性がある。詳しい時期は不明であるが、埋土、形態などから、縄文時代に属するものと考えられる。	

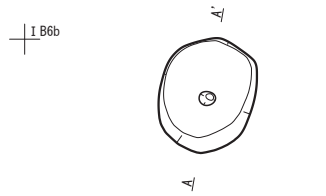
SK502（第 234 図　写真図版 165、166）	
位置　ⅠB5b	**時期**　縄文時代
形態　長軸約 168 cm、短軸約 81 cm、深さ約 35 cm。壁は底面からやや外反しながら立ち上がっている。底面中央部は小円礫が露出し凹凸があり、壁際周囲は平坦である。径約 12 cm、深さ約 18 cm の副穴が中央部に 1 個検出されている。	
埋土　7 層に分けられる。自然堆積とみられる。4・6 層は壁からの崩壊土が大半を占めている。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
形態や底面中央部に副穴のあることから、縄文時代のフラスコ状土坑あるいは陥し穴状遺構であると考えられる。（光井）	

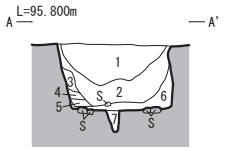
SK503（第 234 図　写真図版 166）	
位置　ⅠB9c、10c	**時期**　不明
形態　長軸 70 cm、短軸 55 cm の楕円形。深さ 10 cm。	
埋土　2 層に分かれ、ともに自然堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

SK504（第 234 図　写真図版 166）	
位置　ⅠB8c	**時期**　縄文時代
形態　長軸 85 cm、短軸 65 cm の楕円形。深さ 20 cm。中央部付近で段がつき、南西側が一段低い。	
埋土　単層で、自然堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
埋土の特徴から縄文時代に構築された可能性を考えておきたい。	

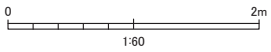
SK505（第 234 図　写真図版 166）	
位置　ⅠB6d	**時期**　不明
形態　長軸 80 cm、短軸 65 cm の不整楕円形。深さ 10 cm。	
埋土　2 層に分かれる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

SK502

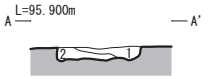




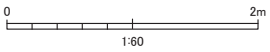
SK502
1．10YR2/1 黒色土
2．10YR2/2 黒褐色粘土質土 10YR3/3暗褐色粘土質土ブロックを少量含む
3．10YR3/2 黒褐色粘土質土
4．10YR3/4 暗褐色粘土質土 10YR4/6褐色粘土質土の小ブロックを少し含む
5．10YR2/3 黒褐色粘土質土
6．10YR4/6 褐色土
7．10YR4/6 褐色土 しまりあり



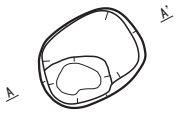
SK503

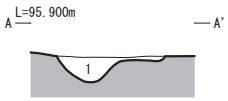


SK503
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり強 φ1～5mm大の地山ブロック微量、炭化物粒及び焼土粒極微量含む
2．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～5mm大の地山ブロック少量含む

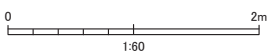


SK504

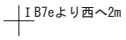


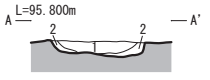


SK504
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロック微量、焼土粒極微量含む



SK505





SK505
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり極強 φ1～10mm大の地山ブロック少量、焼土粒極微量含む
2．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり極強 φ1～50mm大の地山ブロック多量含む

第 234 図　SK502～505

SK506（第 235 図　写真図版 167）	
位置　ⅠB8g	**時期**　不明
形態　長軸 50 cm、短軸 25 cm の楕円形。深さ 20 cm。	
埋土　単層で、自然堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

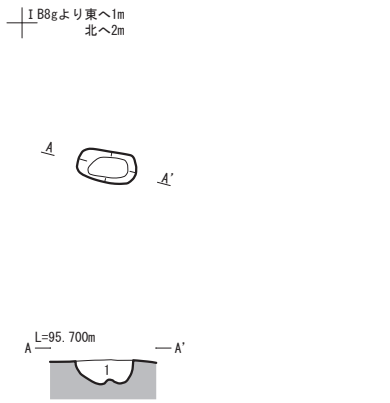
SK507（第 235 図　写真図版 167）	
位置　ⅠB5g	**時期**　縄文時代
形態　長軸 135 cm、短軸 120 cm の楕円形。深さ 70 cm。	
埋土　8 層に分かれる。4〜6、8 層は地山ブロックを多量に含むことから壁際の崩壊土と思われる。壁際の崩壊と遺構外からの流入（1〜3、7 層）を繰り返しながら自然堆積により埋没したと推測される。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
遺構の形態的特徴から縄文時代のフラスコ状土坑であると考えられる。	

SK508（第 235 図　写真図版 167）	
位置　ⅠB8b	**時期**　不明
形態　長軸 80 cm、短軸 65 cm の不整楕円形。深さ 20 cm。	
埋土　単層で、地山ブロックを多量に含むことから人為堆積である可能性もある。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

SK509（第 235 図　写真図版 167）	
位置　ⅠB8f	**時期**　不明
形態　長軸 110 cm、短軸 85 cm の不整方形。深さ 20 cm。	
埋土　単層で、自然堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
性格は不明である。また、出土遺物、鍵となる遺構との重複がなく、時期も不明である。	

SK510（第 236 図　写真図版 168）	
位置　ⅠB6h	**時期**　縄文時代
形態　長軸 125 cm、短軸 120 cm の楕円形。深さ 75 cm。	
埋土　10 層に分かれる。2〜4、6、8、10 層は地山ブロックを多量に含むことから壁際の崩壊土と思われる。壁際の崩壊と遺構外からの流入（1、5、7、9 層）を繰り返しながら自然堆積により埋没したと推測される。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
遺構の形態的特徴から縄文時代のフラスコ状土坑であると考えられる。	

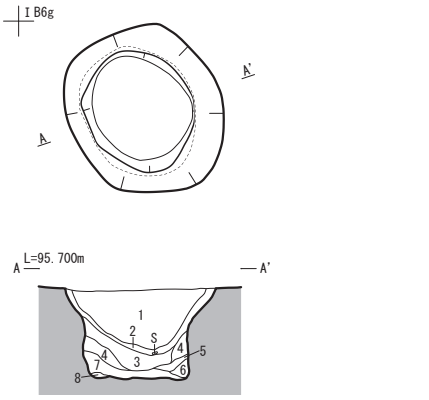
SK506



SK506
1．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～10㎜大の地山ブロック少量含む

0　2m
1:60

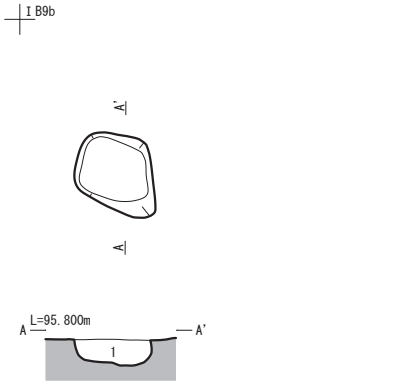
SK507



SK507
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり強　焼土粒極微量含む
2．10YR3/3 暗褐色土 粘性なし しまり極強　地山粒微量含む
3．10YR3/1 黒褐色土 粘性なし しまり中 φ1～10㎜大の地山ブロック少量含む
4．10YR3/3 暗褐色土 粘性なし しまり極強 地山ブロック極多量含む
5．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり極強 地山ブロック多量含む
6．10YR3/3 暗褐色土 粘性なし しまり極強 地山ブロック極多量含む
7．10YR3/1 黒褐色土 粘性なし しまり中 φ1～10㎜大の地山ブロック少量含む
8．10YR3/3 暗褐色土 粘性なし しまり極強 地山ブロック極多量含む

0　2m
1:60

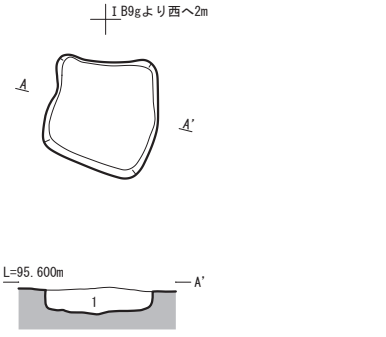
SK508



SK508
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり強 φ1～50㎜大の地山ブロック多量、焼土粒極微量含む

0　2m
1:60

SK509



SK509
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり強 φ1～100㎜大の地山ブロック少量、焼土粒
極微量含む

0　2m
1:60

第 235 図　SK506～509

SK511（第 236 図　写真図版 168）	
位置　ⅠB6i	**時期**　縄文時代
形態　長軸 110 cm、短軸 105 cm の楕円形。深さ 70 cm。	
埋土　7 層に分かれる。1、3、5、7 層は地山ブロックを多量に含むことから壁際の崩壊土と思われる。壁際の崩壊と遺構外からの流入（2、4、6 層）を繰り返しながら自然堆積により埋没したと推測される。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
遺構の形態的特徴から縄文時代のフラスコ状土坑であると考えられる。	

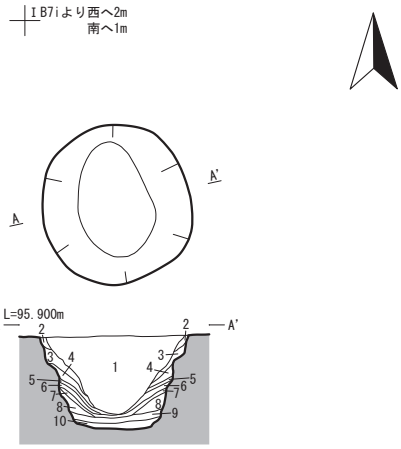
SK512（第 236 図　写真図版 168）	
位置　ⅠB3i	**時期**　縄文時代
形態　長軸 90 cm、短軸 80 cm の楕円形。深さ 65 cm。底面に副穴 2 基（直径 20 cm・深さ 10 cm、直径 15 cm・深さ 5 cm）が認められる。	
埋土　7 層に分かれる。4〜6 層は地山ブロックを多量に含むことから壁際の崩壊土と思われる。壁際の崩壊と遺構外からの流入（1〜3、7 層）を繰り返しながら自然堆積により埋没したと推測される。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
底面に副穴をもつ縄文時代のフラスコ状土坑あるいは陥し穴であると考えられる	

SK513（第 236 図　写真図版 168）	
位置　ⅠB4k	**時期**　縄文時代
形態　長軸 120 cm、短軸 110 cm の楕円形。深さ 60 cm。	
埋土　7 層に分かれる。3〜7 層は地山ブロックを多量に含むことから壁際の崩壊土と思われる。さらに、遺構外からの流入（1、2 層）を経て自然堆積により埋没したと推測される。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
遺構の形態的特徴から縄文時代の土坑であると考えられる。	

SK514（第 236 図　写真図版 169）	
位置　ⅠB4l	**時期**　縄文時代
形態　長軸 155 cm、短軸 140 cm の楕円形。深さ 90 cm。	
埋土　12 層に分かれる。2、7、8、10、12 層は地山ブロックを多量に含むことから壁際の崩壊土と思われる。壁際の崩壊と遺構外からの流入（1、3〜6、9、11 層）を繰り返しながら自然堆積により埋没したと推測される。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
遺構の形態的特徴から縄文時代のフラスコ状土坑であると考えられる。	

SK515（第 237 図　写真図版 169）	
位置　ⅠB3l	**時期**　縄文時代
形態　長軸 75 cm、短軸 70 cm の楕円形。深さ 30 cm。	
埋土　4 層に分かれる。4 層は黒色土と地山ブロックの互層であり、水成堆積か。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
遺構の形態的特徴から縄文時代の土坑であると考えられる。	

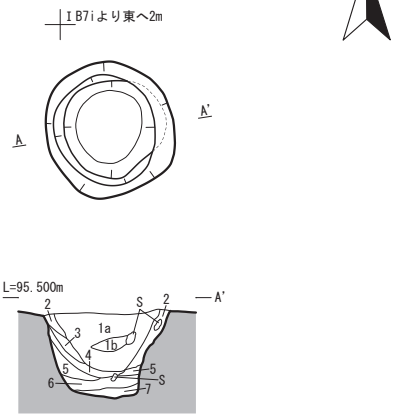
SK510



SK510
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり強 φ1～5mm大の地山ブロック少量、焼土粒極微量含む
2．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり極強 φ10～30mm大の地山ブロック多量含む
3．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり極強 φ1～30mm大の地山ブロック多量含む
4．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 地山ブロック極多量含む
5．10YR4/2 灰黄褐色土 粘性なし しまり極強 φ1～30mm大の地山ブロック中量含む
6．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 地山ブロック極多量含む
7．10YR4/2 灰黄褐色土 粘性なし しまり極強 φ1～30mm大の地山ブロック中量含む
8．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 地山ブロック極多量含む
9．10YR4/2 灰黄褐色土 粘性なし しまり極強 φ1～30mm大の地山ブロック中量含む
10．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 地山ブロック極多量含む

0　2m
1:60

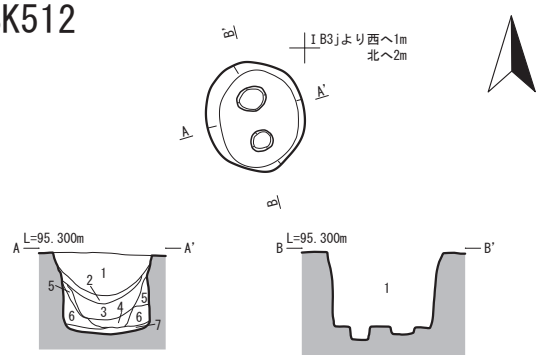
SK511



SK511
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり極強 焼土粒及び地山粒極微量含む、間に礫及び10YR2/2(黒褐色土 粘性なし しまり極強 φ1～3mm大の地山ブロック多量含む)を挟む
2．10YR3/3 暗褐色土 粘性なし しまり極強 φ1～10mm大の地山ブロック微量含む
3．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～5mm大の地山ブロック多量含む
4．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり中 φ1～3mm大の地山ブロック微量含む
5．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり極強 地山ブロック極多量含む
6．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり中 φ1～3mm大の地山ブロック中量含む
7．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり極強 地山ブロック極多量含む

0　2m
1:60

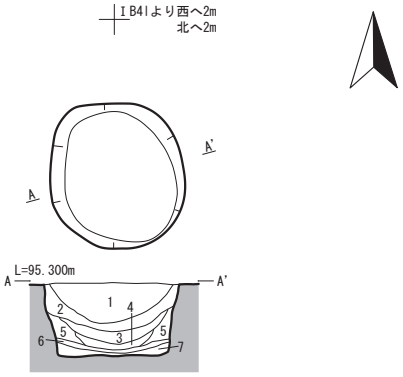
SK512



SK512
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり強 明瞭な混入物なし
2．10YR3/1 黒褐色土 粘性なし しまり中 φ1～3mm大の地山ブロック中量含む
3．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～3mm大の地山ブロック微量含む
4．10YR3/1 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～3mm大の地山ブロック多量含む
5．10YR3/1 黒褐色土 粘性なし しまり強 地山ブロック多量含む
6．10YR3/1 黒褐色土 粘性なし しまり極強 地山ブロック極多量含む
7．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり極強 φ1～10mm大の地山ブロック中量含む

0　2m
1:60

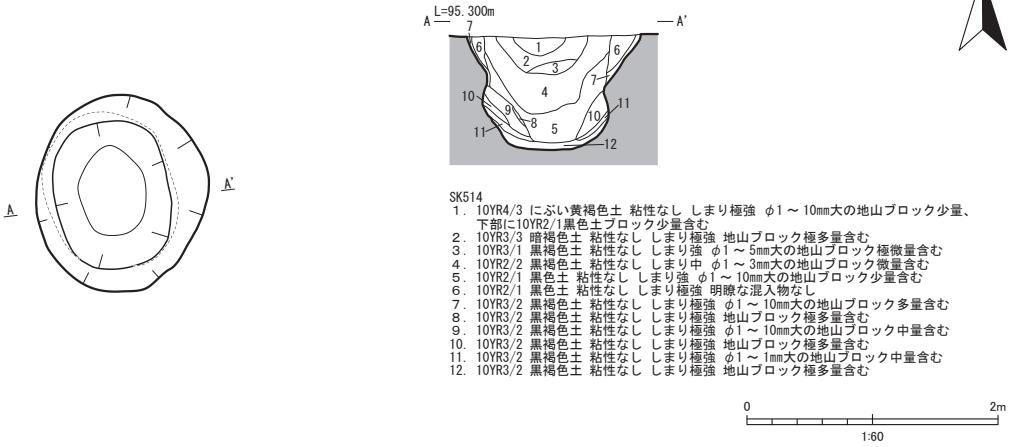
SK513



SK513
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり極強 明瞭な混入物なし
2．10YR3/1 黒褐色土 粘性なし しまり極強 φ1～10mm大の地山ブロック少量含む
3．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロック多量含む
4．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり極強 地山ブロック極多量含む
5．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり極強 ブロック微量に地山ブロック極多量含む
6．10YR3/1 黒褐色土 粘性なし しまり極強 φ1～30mm大の地山ブロック多量含む
7．10YR3/1 黒褐色土 粘性なし しまり極強 ブロック微量に地山ブロック極多量含む

0　2m
1:60

SK514



SK514
1．10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性なし しまり極強 φ1～10mm大の地山ブロック少量、下部に10YR2/1黒色土ブロック少量含む
2．10YR3/3 暗褐色土 粘性なし しまり極強 地山ブロック極多量含む
3．10YR3/1 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～5mm大の地山ブロック極微量含む
4．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり中 φ1～3mm大の地山ブロック微量含む
5．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロック少量含む
6．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり極強 明瞭な混入物なし
7．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり極強 φ1～10mm大の地山ブロック多量含む
8．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり極強 地山ブロック極多量含む
9．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり極強 φ1～10mm大の地山ブロック中量含む
10．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり極強 地山ブロック極多量含む
11．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり極強 φ1～1mm大の地山ブロック中量含む
12．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり極強 地山ブロック極多量含む

0　2m
1:60

第 236 図　SK510～514

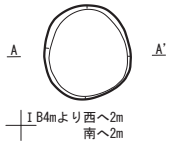
SK516（第 237 図　写真図版 169）	
位置　ⅠB3m	**時期**　縄文時代
形態　長軸 85 cm、短軸 75 cm の楕円形。深さ 35 cm。底面に副穴 1 基（直径 20 cm・深さ 10 cm）が認められる。	
埋土　7層に分かれる。5､7層は地山ブロックを極めて多量に含むことから壁際の崩壊土と思われる。それ以外は遺構外からの流入による自然堆積により埋没したと推測される。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
底面に副穴をもつ縄文時代のフラスコ状土坑あるいは陥し穴であると考えられる。	

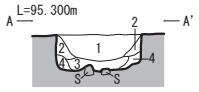
SK517（第 237 図　写真図版 169）	
位置　ⅠB4m	**時期**　縄文時代
形態　長軸 170 cm、短軸 65 cm の楕円形。深さ 50 cm。底面に副穴 1 基（直径 25 cm・深さ 10 cm）が認められる。	
埋土　5 層に分かれる。3～5 層は地山ブロックを比較的多く含むことから壁際の崩壊土と思われる。1、2 層は遺構外からの流入による自然堆積により埋没したと推測される。	
重複　SK519 より新しい。	
出土遺物　なし。	
底面に副穴をもつ縄文時代の陥し穴であると考えられる。	

SK518（第 237 図　写真図版 170）	
位置　ⅠB4n	**時期**　縄文時代
形態　長軸 110 cm、短軸 15 cm の楕円形。深さ 10 cm。	
埋土　2 層に分かれる。2 層は地山ブロックを多量に含むことから壁際の崩壊土と思われる。1 層は遺構外からの流入による自然堆積により埋没したと推測される。。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
縄文時代の（溝状）陥し穴であると考えられる。	

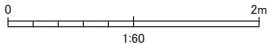
SK519（第 237 図　写真図版 170）	
位置　ⅠB4m	**時期**　縄文時代
形態　長軸 120 cm、短軸 80 cm 以上の楕円形（推定）。深さ 45 cm。底面に副穴 1 基（長軸 25 cm ×短軸 20 cm・深さ 10 cm）が認められる。	
埋土　6層に分かれる。3､5層は地山ブロックを極めて多量に含むことから壁際の崩壊土と思われる。1、2、4、6 層は遺構外からの流入による自然堆積により埋没したと推測される。	
重複　SK517 より古い。	
出土遺物　なし。	
底面に副穴をもつ縄文時代のフラスコ状土坑あるいは陥し穴であると考えられる。	

SK515

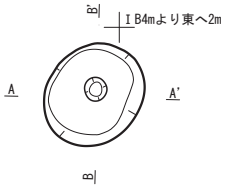


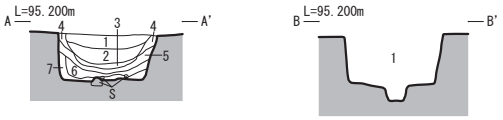


SK515
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり強 明瞭な混入物なし
2．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり極強 φ1～5mm大の地山ブロック少量含む
3．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり極強 φ1～5mm大の地山ブロック微量含む
4．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり極強 地山ブロックを層状に挟む

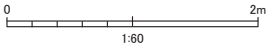


SK516

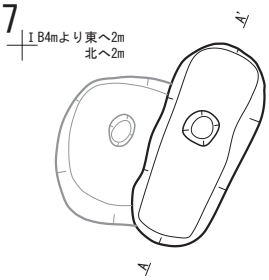


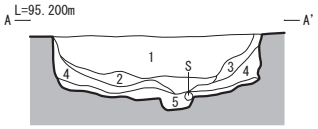


SK516
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり強 明瞭な混入物なし
2．10YR3/1 黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 明瞭な混入物なし
3．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 地山粒微量含む
4．10YR3/1 黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～10mm大の地山ブロック少量含む
5．10YR4/2 灰黄褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～30mm大の地山ブロック極多量含む
6．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～10mm大の地山ブロック微量含む
7．10YR4/2 灰黄褐色土 粘性なし しまり極めて強 地山ブロック極多量含む

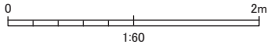


SK517

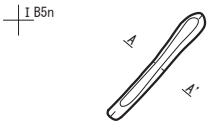


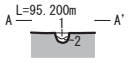


SK517
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり中 地山粒極微量含む
2．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロック少量含む
3．10YR3/1 黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～50mm大の地山ブロック中量含む
4．10YR4/2 灰黄褐色土 粘性なし しまり極めて強 地山ブロック極多量含む
5．10YR3/1 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～30mm大の地山ブロック中量含む

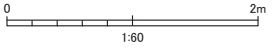


SK518

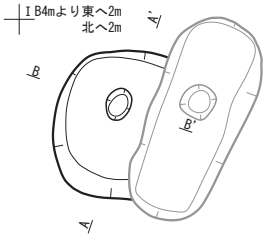


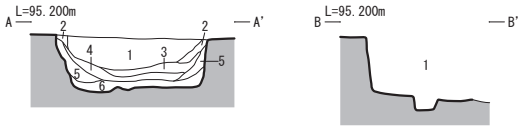


SK518
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロック微量含む
2．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～10mm大の地山ブロック多量含む

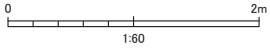


SK519

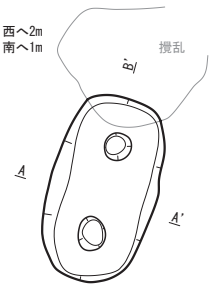


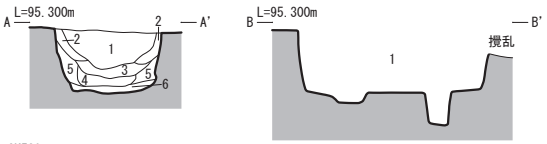


SK519
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり極めて強 明瞭な混入物なし
2．10YR3/1 黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～30mm大の地山ブロック中量含む
3．10YR4/2 灰黄褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～10mm大の地山ブロック極多量含む
4．10YR3/1 黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～10mm大の地山ブロック少量含む
5．10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性なし しまり極めて強 地山ブロック極多量含む
6．10YR3/3 暗褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～10mm大の地山ブロックやや多く含む

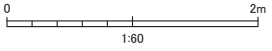


SK520





SK520
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり強 明瞭な混入物なし
2．10YR3/1 黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～10mm大の地山ブロック少量含む
3．10YR3/1 黒褐色土 粘性なし しまり極めて強 φ1～10mm大の地山ブロック微量含む
4．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～50mm大の地山ブロック多量含む
5．10YR4/2 灰黄褐色土 粘性なし しまり極めて強 地山ブロック極多量含む
6．10YR4/2 灰黄褐色土 粘性なし しまり極めて強 4層及び地山ブロック少量含む



第 237 図　SK515～520

SK520（第 237 図　写真図版 170）	
位置　ⅠB5m	**時期**　縄文時代
形態　長軸 150 cm、短軸 85 cm の楕円形。深さ 50 cm。底面に副穴 2 基（長軸 25 cm× 短軸 20 cm・深さ 5 cm、直径 20 cm・深さ 25 cm）が認められる。	
埋土　6 層に分かれる。4、5 層は地山ブロックを多量に含むことから壁際の崩壊土と思われる。1〜3、6 層は遺構外からの流入による自然堆積により埋没したと推測される。	
重複　撹乱より古い。	
出土遺物　なし。	
底面に副穴をもつ縄文時代の陥し穴であると考えられる。	

8　竪　穴　住　居

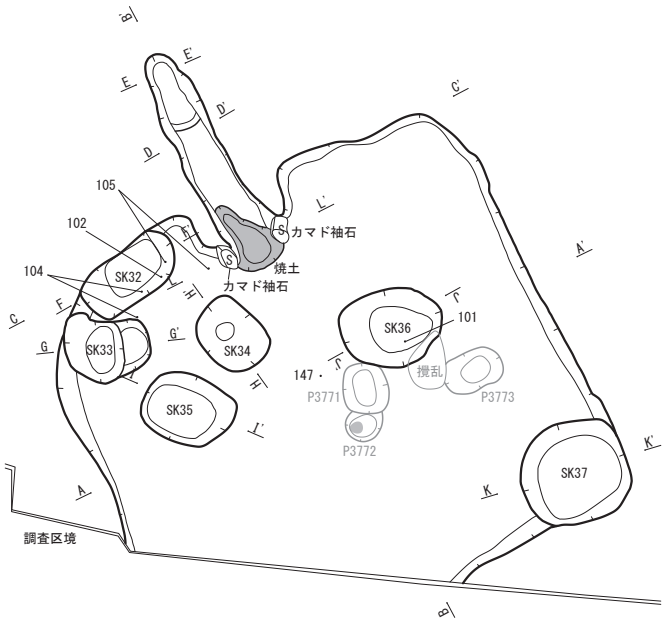
古代の竪穴住居を示す。7 世紀末〜8 世紀初頭のもの 2 棟、9 世紀前葉のもの 1 棟の合計 3 棟を検出した。規模は最大長がすべて 3〜4 m におさまり、火処はカマドである。

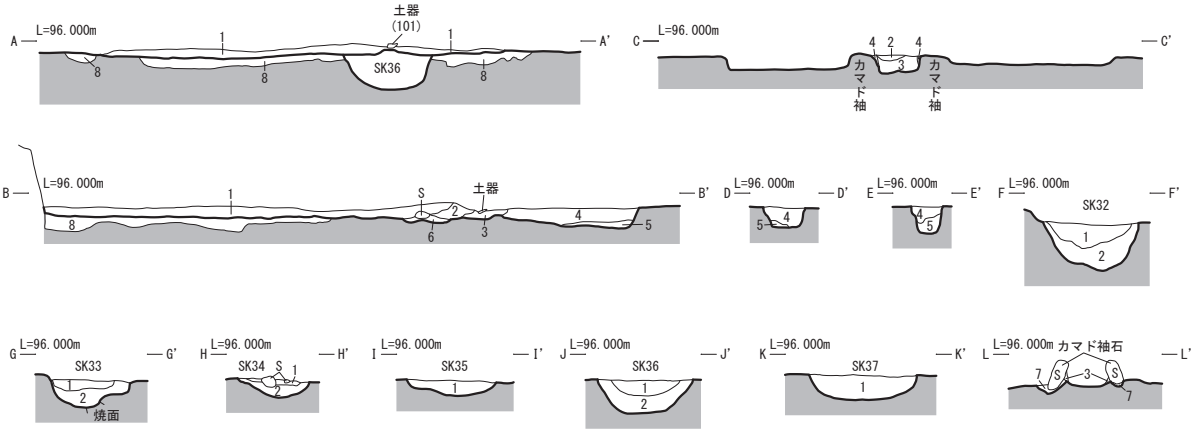
SI101（第 238 図　写真図版 171、172、173、174）	
位置　ⅠA0e、0f、1e、1f	**カマド**　北壁中央
北西〜北東長　約 3.5m	**北東〜南東長**　約 3.4m
残存壁高　約 5〜15 cm	**軸方向**　N-28°-W
面積　検出部分（竪穴部）約 11.8㎡	**平面形**　隅丸方形
埋土　1 層で、自然堆積とみられる。	
重複　P（柱穴）と重複するが、いずれも本遺構が古い。	
床面　貼床が施され、比較的平坦である。	
付属施設　壁溝、柱穴は認められない。カマドは北壁中央にある。長煙道を持ち、袖部の心材に礫（不掲載遺物点㊼㊽）が使われている。全長 1.9m、燃焼部長 0.6m、煙道部長 1.3m、燃焼部焼土範囲 0.6×0.4m の不整楕円形、被熱土厚さ 6 cm。また、土坑 6 基（SK32〜37）は、本遺構に伴うと判断した。	
出土遺物　埋土中よりロクロ不使用の土師器坏（101〜104）、土師器長胴甕（105）、石製品砥石（147）が出土した。その他に礫（不掲載遺物点㊷）、被熱した礫（不掲載遺物点㊾〜㊶、㊸〜㊻）がある。	
出土遺物から 7 世紀末〜8 世紀初頭の竪穴住居と推測される。（山川）	

SI102（第 239 図　写真図版 175、176）	
位置　ⅠA1l、1m	**カマド**　北壁中央
北西〜北東長　約 3.2m	**北東〜南東長**　2.1m 以上
残存壁高　約 5〜25 cm	**軸方向**　N-13°-W
面積　検出部分（竪穴部）約 5.2㎡	**平面形**　隅丸方形（推定）
埋土　1 層で、自然堆積とみられる。	
重複　P（柱穴）と重複するが、いずれも本遺構が古い。	
床面　貼床が施され、比較的平坦である。	
付属施設　壁溝、柱穴は認められない。カマドは北壁中央にあり、長煙道を持つ。全長 1.85m、燃焼部長 0.5m、煙道部長 1.35m、燃焼部焼土範囲 0.5×0.35m の楕円形、被熱土厚さ 10〜12 cm。カマド右側は地山（北東壁）から削り出されず（袖状にならず）、北東コーナー付近で床面とつながる。	
出土遺物　カマド燃焼部から土師器小型長胴甕（108）を逆位に据えられた状態のままで確認した。支脚として用いられたとみられる。また、埋土中からロクロ不使用の土師器坏（106・107）、土師器小型甕（109）が出土した。また、煙道埋土（2 層）から出土した炭化物は、樹種同定の結果、ヤマウルシであることが判明している。	
出土遺物から 7 世紀末〜8 世紀初頭の竪穴住居と推測される。（山川）	

SI101 検出分11.8㎡ 推定13.3㎡

SK32
SK33
SK34
SK35
SK36
SK37





SI101
1．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロック少量、焼土粒微量、炭化物粒極微量含む ※カマド部分以外の全域を覆う
2．10YR6/6 明黄褐色土 粘性なし しまり極強 1層及び焼土ブロック少量含む ※カマド天井部崩落土
3．10YR2/3 黒褐色土 粘性なし しまり強 焼土粒及び焼土ブロック微量、炭化物粒極微量含む ※カマド燃焼部上層
4．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり強 φ1～30mm大の地山ブロック少量、炭化物粒及び焼土ブロック極微量含む ※カマド煙道部上層
5．10YR3/3 暗褐色土 粘性なし しまり強 φ1～5mm大の地山ブロック微量、炭化物粒及び焼土粒極微量含む ※カマド煙道部下層
6．10YR3/4 暗褐色土 粘性なし しまり極強 焼土粒及び焼土ブロック極めて多量、1層(φ3～30mm大)ブロック微量含む ※カマド燃焼部下層
7．10YR3/4 暗褐色土 粘性なし しまり極強 焼土粒・焼土ブロック及びφ1～15mm大の地山ブロック少量含む ※カマド袖石掘方埋土
8．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり極強 φ1～150mm大の地山ブロック極多量含む ※竪穴部掘方埋土（貼床）

SK32
1．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～50mm大の地山ブロックやや多く含む
2．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり中 φ1～5mm大の地山ブロック少量 焼土粒極微量含む

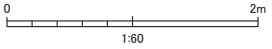
SK33
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロック及び焼土粒少量、炭化物粒微量含む
2．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり極強 φ1～30mm大の地山ブロック多量、焼土粒及び焼土ブロック中量含む ※底面部分的に被熱

SK34
1．10YR3/1 黒褐色土 粘性なし しまり極強 炭化物粒・焼土粒・地山粒微量含む
2．10YR3/3 暗褐色土 粘性なし しまり極強 φ1～30mm大の地山ブロック極多量、焼土粒極微量含む

SK35
1．10YR3/1 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～100mm大の地山ブロック多量、炭化物粒極多量含む

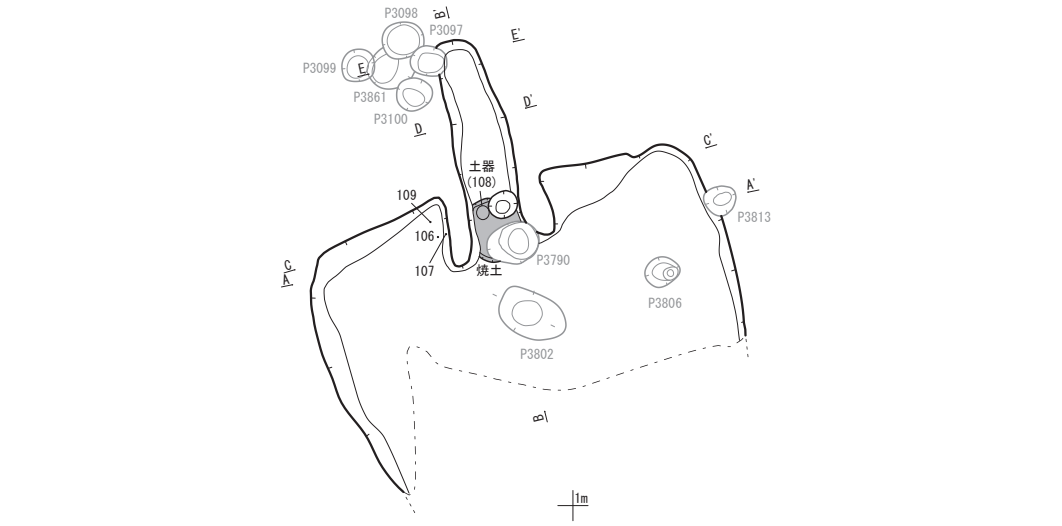
SK36
1．10YR3/1 黒褐色土 粘性なし しまり中 炭化物粒及びφ1～10mm大の地山ブロック微量、焼土粒極微量含む
2．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～50mm大の地山ブロックやや多く、焼土粒微量、炭化物粒極微量含む

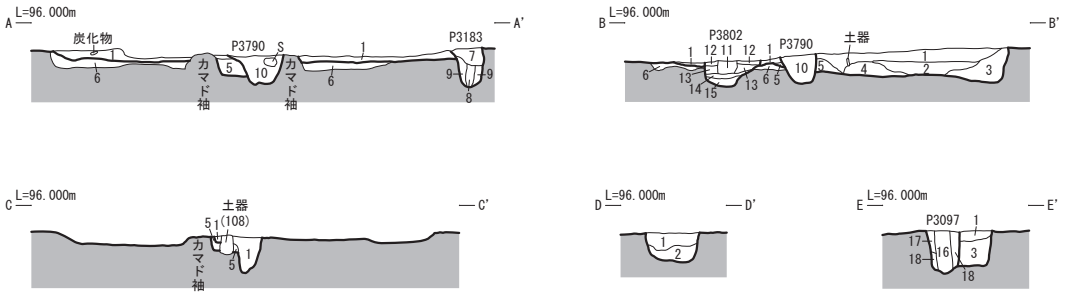
SK37
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり極強 φ1～50mm大の地山ブロック中量、炭化物粒及び焼土粒極微量含む



第 238 図　SI101、SK32～37

SI102 検出分5.2㎡





SI102
1．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり強 カマド周辺に焼土粒、焼土ブロック少量、全体的にφ1～10mm大の地山ブロック微量含む ※ほぼ全域を覆う
2．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～30mm大の地山ブロック中量、焼土粒及び焼土ブロック少量含む ※カマド煙道部上層
3．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり極強 φ1～50mm大の地山ブロック少量含む ※カマド煙道部中層
4．7.5YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり極強 焼土粒及び焼土ブロック多量、炭化物粒微量含む ※カマド煙道部下層
5．10YR3/4 暗褐色土 粘性なし しまり極強 焼土粒及び焼土ブロック極多量、1層(φ3～30mm大)ブロック微量含む ※カマド燃焼部
6．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり極強 φ1～50mm大の地山ブロック極多量、10YR3/2黒褐色土ブロック少量含む ※竪穴部掘方埋土（貼床）

P3183
7．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり極強 φ1～30mm大の地山ブロックやや多く含む ※柱抜取穴
8．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり中 φ1～10mm大の地山ブロック少量含む ※柱痕跡
9．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり極強 φ1～10mm大の地山ブロック多量含む ※掘方埋土

P3790
10．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり強 φ1～50mm大の地山ブロック中量、焼土粒及び焼土ブロック微量、炭化物粒極微量含む

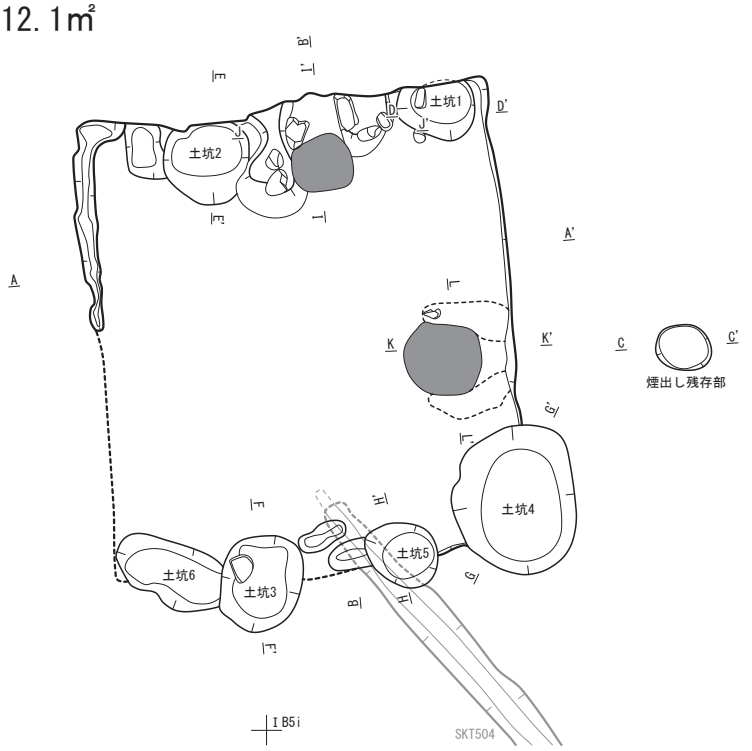
P3802
11．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり強 φ1～10mm大の地山ブロック少量含む ※柱痕跡
12．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり極強 φ1～30mm大の地山ブロック及び焼土粒・焼土ブロック少量、炭化物粒極微量含む ※掘方埋土上層
13．10YR3/2 黒褐色土 粘性なし しまり強 φ1～5mm大の地山ブロックやや多量、焼土粒極微量含む ※掘方埋土下層
14．10YR4/4 褐色粘土質土 粘性強 しまり極強 φ30～50mm大の地山ブロック極微量含む ※掘方整形土上層
15．10YR3/3 暗褐色土 粘性なし しまり極強 焼土粒及び焼土ブロック少量、炭化物粒極微量含む ※掘方整形土下層

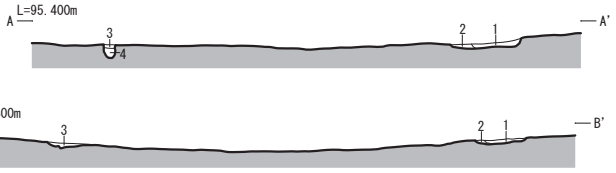
P3097
16．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり中 φ1～10mm大の地山ブロック及び焼土粒極微量含む ※柱痕跡
17．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり極強 φ1～5mm大の地山ブロック微量含む ※掘方埋土上層
18．10YR2/1 黒色土 粘性なし しまり極強 φ1～15mm大の地山ブロック多量含む ※掘方埋土下層

0　2m
1:60

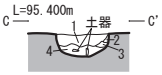
第239図　SI102

SI501 12.1㎡

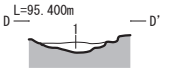




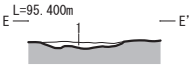
SI501 A-A',B-B'
1．10YR3/2 黒褐色土 10YR4/4褐色土のブロックを少量、炭化物粒・炭化材、5YR7/8橙色焼土のブロックを多く含む
2．10YR3/3 暗褐色土
3．10YR3/1 黒褐色土 炭化粒粒・5YR3/6暗赤褐色焼土粒を少量含む
4．10YR5/4 にぶい黄褐色土 10YR2/2黒褐色土の小ブロックを少量含む



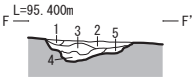
SI501 煙出し C-C'
1．10YR3/1 黒褐色土 炭化物粒・焼土粒を少量。10YR6/3にぶい黄橙色土のブロック多量に含む
2．10YR3/2 黒褐色土
3．10YR2/2 黒褐色土 10YR6/3黒褐色土のブロックを多く含む
4．10YR2/3 黒褐色土 炭化物・炭化材・焼土粒を多く含む



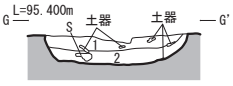
SI501 土坑1 D-D'
1．10YR2/2 黒褐色土 炭化物粒・5YR4/6赤褐色焼土粒を少量含む



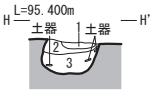
SI501 土坑2 E-E'
1．10YR3/1 黒褐色土 5YR3/6暗赤褐色焼土粒・10YR5/4にぶい黄褐色土のブロックを少量含む



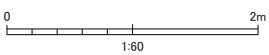
SI501 土坑3 F-F'
1．10YR2/2 黒褐色土
2．10YR2/1 黒色土 10YR2/1黄褐色土のブロックを少量を含む
3．10YR2/1 黒色土 10YR5/6黄褐色土のブロックを多量に含む
4．10YR5/6 黄褐色土 10YR2/2黒褐色土の帯状ブロックを多く含む
5．10YR5/8 明赤褐色焼土 再堆積



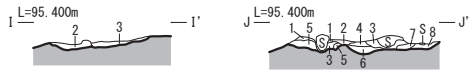
SI501 土坑4 G-G'
1．5YR3/3 暗赤褐色焼土 炭化物・炭化材・5YR4/4にぶい赤褐色焼土ブロック・5YR5/6明赤褐色焼土ブロックを多く含む
2．5YR2/1 黒褐色土 炭化物・5YR4/4にぶい赤褐色焼土のブロックを多く含む



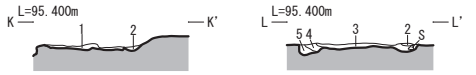
SI501 土坑5 H-H'
1．5YR2/1 黒褐色土 5YR2/3極暗赤褐色焼土粒を多く含む
2．10YR2/1 黒色土
3．5YR3/4 暗赤褐色土 焼土再堆積、炭化物粒、5YR4/6赤褐色の焼土粒を少量含む



第 240 図　SI501（1）

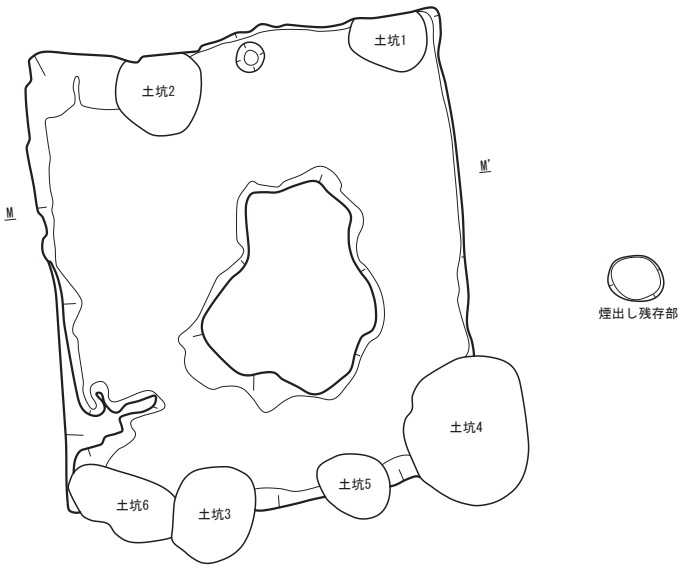


SI501 1号カマド断面 I-I', J-J'
1．7.5YR3/3 暗褐色土 5YR5/8明赤褐色焼土粒を多く含む
2．5YR4/8　赤褐色焼土 現地性焼土(燃焼部)
3．10YR5/4　にぶい黄褐色土 10YR2/3黒褐色土・10YR6/6にぶい黄橙色土を少量含む
4．10YR4/4　褐色砂質土 5YR3/4暗赤褐色焼土粒を多量に含む
5．10YR4/4　褐色土 10YR2/3黒褐色土を多く含む
6．10YR2/3　褐色土
7．10YR4/6　褐色土
8．10YR4/4　褐色砂質土

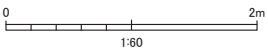


SI501 2号カマド断面 K-K', L-L'
1．5YR3/4　暗赤褐色土 焼土・再堆積
2．5YR5/8　明赤褐色土 再堆積 焼土ブロックを多く含む
3．5YR4/8　赤褐色土 焼土 現地性焼土(燃焼部)
4．7.5YR3/3 暗褐色土
5．10YR4/6　褐色シルト 7.5YR6/4にぶい橙色粘土質土

SI501・掘方



SI501 掘方埋土 M-M'
1．10YR4/6 褐色土 黒色土(10YR2/2)のブロックを少量含む
2．10YR4/6 褐色土 明赤褐色焼土(8YR4/6)ブロックを少量含む



第 241 図　SI501（2）

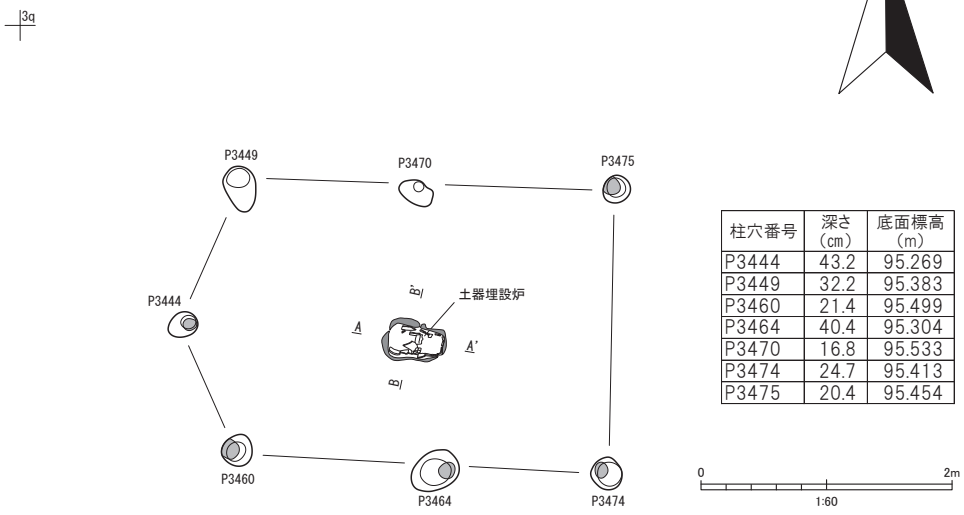
SI501（第 240、241 図　写真図版 177、178、179）	
位置　ⅠB5h、6h、5i、6i	**カマド**　東壁中央やや南寄り（2 号）→北壁中央やや東寄り（1 号）
南北長　約 3.65m	**東西長**　約 3.25m
残存壁高　約 5 cm	**軸方向**　N-13°-W
面積　（竪穴部）約 12.1㎡	**平面形**　南北に長い長方形
埋土　単層である（上部が削平されている）。検出状況から焼失住居である。自然堆積とみられる。	
重複　SKT504 を切り、土坑 4・土坑 5 に切られている。	
床面　掘り方が伴う貼り床が施されている。平坦でしっかりしまっている。	
付属施設　カマドの作り替えが行われている。古いカマドはカマド本体が東壁中央部南寄りにつくられ、焼土化して赤変している燃焼部使用面とカマド袖の掘り方の一部、煙道の煙出し口が残存する。残存部からカマド本体は規模が、南北径 95 cm, 東西径 81 cm で、燃焼部の焼土範囲は 55×62 cm、厚さ 4 cm の規模である。煙道の大部分は削平されているが、煙出し部が残っていた。煙出し口の部分は東側にやや傾斜し、底面が浅皿状の円柱を呈し、規模が径 42 cm、深さ 32 cm のものである。、煙出しの長さは 154 cm である。新しいカマドは北壁中央部東寄りにつくられ、扁平な亜角礫を袖の芯にして構築されている。カマド本体の規模は東西径 115 cm、南北径 91 cm、燃焼部の焼土の範囲は 46×43 cm、厚さ 4 cm である。煙道は検出されていない。周溝－西壁北半分に検出されている。柱穴－なし。本住居に伴う土坑 -6 基検出されている。埋土、位置、検出状況等から、土坑 4、土坑 5 には、焼土ブロックと炭化材物が多く含まれるもので、住居の焼失後、南側の土坑 4、土坑 5 を掘って消失した土器や、焼土塊、残骸を埋めたとものと考えられる。	
出土遺物　埋土下部から須恵器甕体部片（123）、2 号カマド煙出し埋め土から土師器長胴甕体部片（119）、土坑 4 埋土から須恵器坏（110、113）、土師器長胴甕口縁部片（114、118、120）、土坑 5 埋土下部から土師器甕底部片（117）、土坑 4・5 埋土から須恵器坏（111、112）、土師器長胴甕口縁片（115）・底部片（116）、須恵器体部片（122）、土坑 1・4・5 から土師器鉢口縁片（121）が出土している。土師器長胴甕、鉢はロクロ不使用で、底部外面に木葉痕をもつものである。　炭化種実の同定もおこなっている。	
出土遺物から本住居跡は 9 世紀代の平安前期に位置づけられるものと考えられる。　（光井）	

9　炉

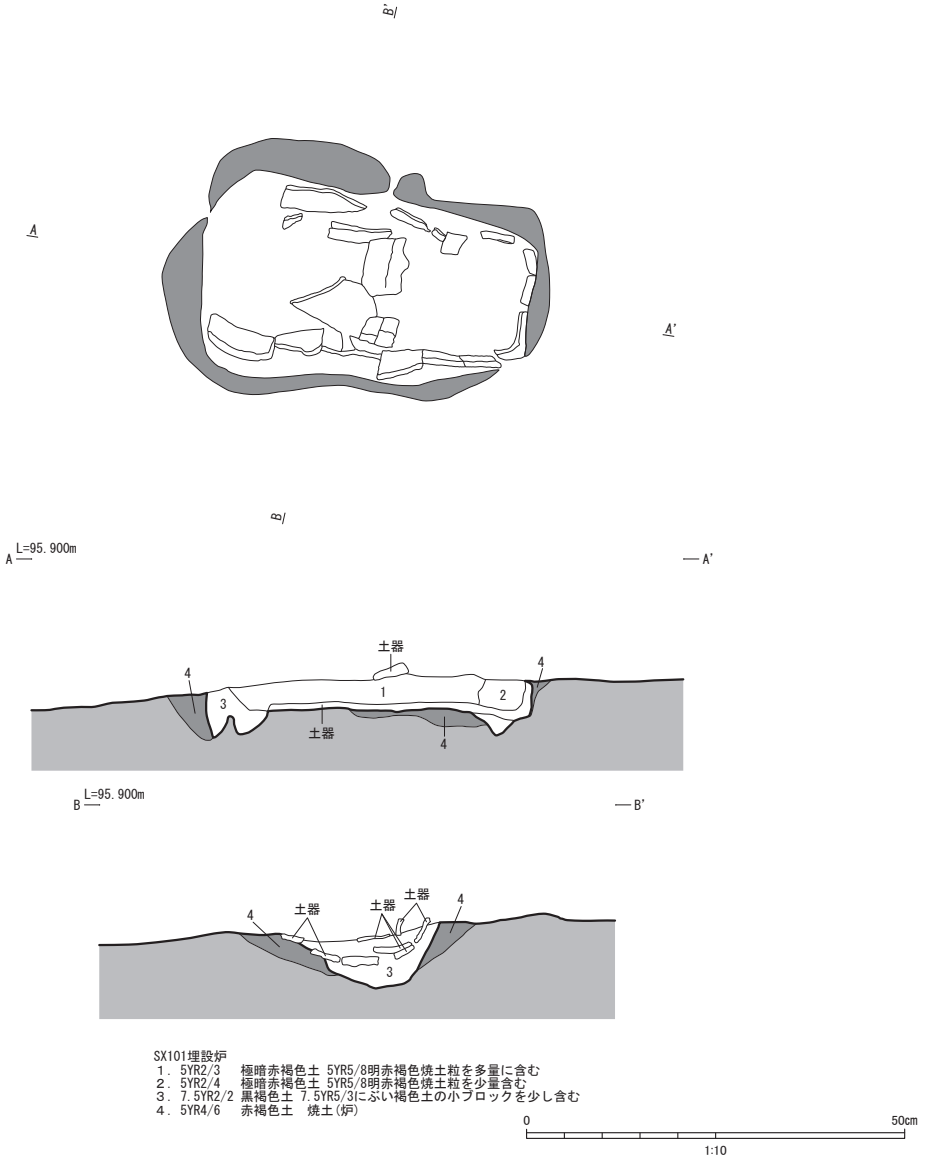
縄文時代の土器埋設炉を 1 基検出した。略号は SX とし、他の遺構と区分するため番号は 101 とした。記載は光井がおこなった。

SX101 埋設土器炉（第 242 図、写真図版 180）	
位置　ⅠA2q	**時期**　縄文時代後期初頭
形態　炉－長軸約 51 cm、短軸約 36 cm の不整楕円形、中央部に土器を横位に埋設している。土器の周りは赤変し焼土化している。焼土の厚さ 2～4 cm である。床面－大半は削平され炉周辺のみ残存し、面は平坦で堅くしまっている。柱穴配置－中世に使用されていた柱穴を除いて、柱穴配置を考えてみると、東に開いた五角形（P3444、P3449、P3470、P3475、P3474、P3464、P3460）の配置が想定できた。周溝や壁は削平され残存してないと考えると、竪穴住居跡であった可能性が高い。とりあえず、ここでは、埋設土器炉として取り扱っている。	
出土遺物　埋設土器として使用された深鉢型土器（1）が出土している。口縁部は欠損しており、体部全体に絡条体撚糸文が施文されている。中期末の大木 10 式よりも以後の後期初頭に位置付けられるのものと考えている。	

SX101 土器埋設炉（柱穴想定配置図）



柱穴番号	深さ（cm）	底面標高（m）
P3444	43.2	95.269
P3449	32.2	95.383
P3460	21.4	95.499
P3464	40.4	95.304
P3470	16.8	95.533
P3474	24.7	95.413
P3475	20.4	95.454



第 242 図　SK101

10　陥し穴状遺構

ここでは、調査時から陥し穴状遺構と認識していたものを示している。18基を検出した。記載はSKT1のみ山川、記名のないものは光井がおこなった。遺跡略号はSKTとした。

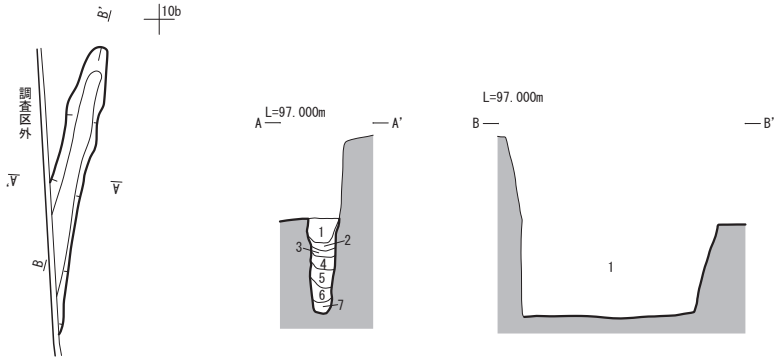
SKT1（第243図　写真図版181）	
位置　ⅠA9a	**時期**　縄文時代
形態等　長さ230cm以上、幅25cmの溝形。深さ75cm。	
埋土　7層に分かれる。3・5層は地山主体、6層は地山ブロックを多量に含むことから、遺構外からの流入と壁際の崩壊を繰り返しながら自然堆積により埋没したと推測される。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
遺構の形態的特徴から縄文時代の陥し穴と推測される。（山川）	

SKT501（第243図　写真図版181）	
位置　ⅠB5a	**時代**　縄文時代
形態　長径約151cm、短径約29cmの溝形、深さ約79cm。南北壁は大きくオーバーハングしている。底面はほぼ平坦である。副穴はない。	
埋土　9層に分かれる。自然堆積とみられる。8・9層は壁崩壊土の堆積である。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
その他　遺構の形態等から陥し穴と考えられる。	

SKT502（第244図　写真図版181）	
位置　ⅠB4c、5c	**時代**　縄文時代
形態　長径約291cm、短形約33cmの溝形、深さ約66cm。南北壁は大きくオーバーハングしている。底面は中央部が幾分高い。副穴はない。	
埋土　5層に分かれる。自然堆積とみられる。3層・5層は壁崩壊土の堆積、4層はラミナが形成されており、水による堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし	
その他　遺構の形態等から陥し穴と考えられる。	

SKT503（第244図　写真図版181）	
位置　ⅠB3d、4d	**時期**　縄文時代
形態　長径約147cm、短径約34cmの溝形、深さ約61cm。南北壁はほぼ真直ぐに立ち上がっている。底面は南側が幾分高い。副穴はない。	
埋土　6層に分かれる。自然堆積とみられる。4層は壁崩壊土の堆積である。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
その他　遺構の形態等から陥し穴と考えられる。	

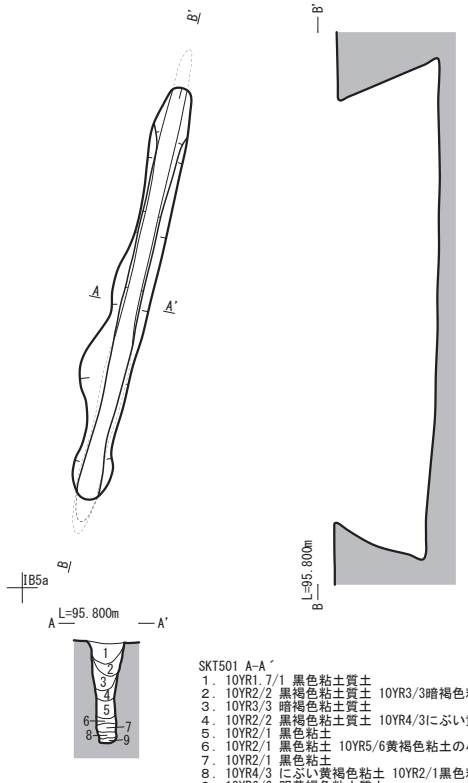
SKT1



SKT1
1．10YR2/1 黒色土　粘性なし しまり強　φ1～3mm大の地山ブロック極微量含む
2．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり極強 1層ブロック及びφ1～5mm大の地山ブロック少量含む
3．10YR2/1 黒色土　粘性なし しまり強　地山ブロック極多量含む　※地山主体
4．10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまり強　10YR2/1黒色土ブロック少量含む
5．10YR2/1 黒色土　粘性なし しまり極強 地山ブロック極多量含む　※地山主体
6．10YR3/3 暗褐色土 粘性なし しまり中　φ1～10mm大の地山ブロック多量含む
7．10YR2/1 黒色土　粘性なし しまり中　φ1～10mm大の地山ブロック微量含む

0　2m
1:60

SKT501

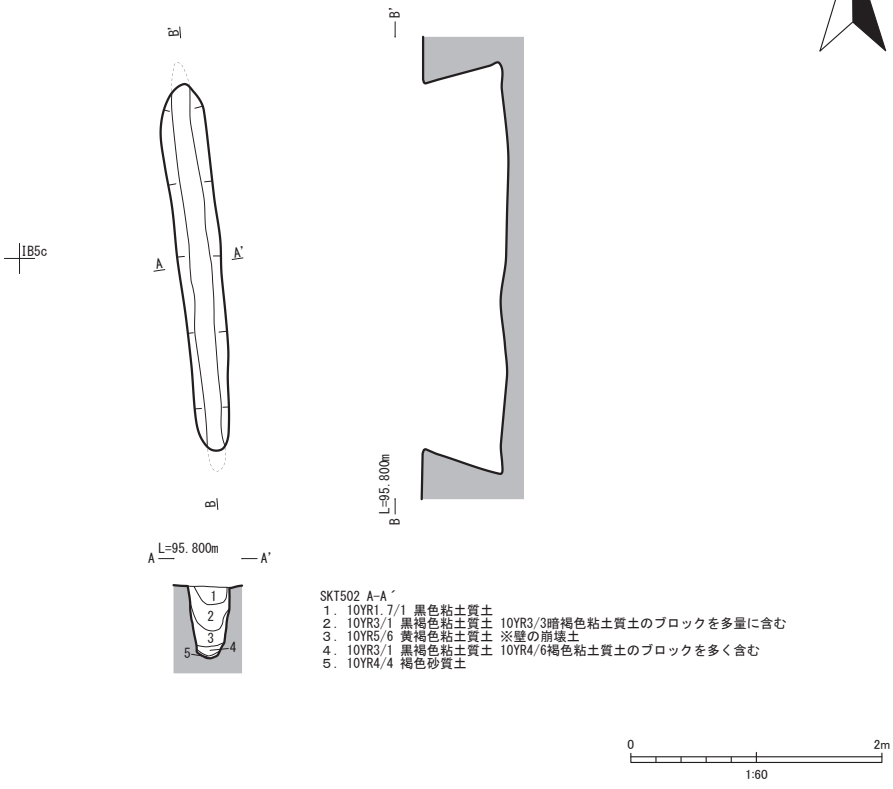


SKT501 A-A´
1．10YR1.7/1 黒色粘土質土
2．10YR2/2 黒褐色粘土質土 10YR3/3暗褐色粘土質土の小ブロックを少量含む
3．10YR3/3 暗褐色粘土質土
4．10YR2/2 黒褐色粘土質土 10YR4/3にぶい黄褐色粘土の小ブロックを少量含む
5．10YR2/1 黒色粘土
6．10YR2/1 黒色粘土 10YR5/6黄褐色粘土の小ブロックを多く含む
7．10YR2/1 黒色粘土
8．10YR4/3 にぶい黄褐色粘土 10YR2/1黒色粘土の小ブロックを多く含む
9．10YR6/6 明黄褐色粘土質土

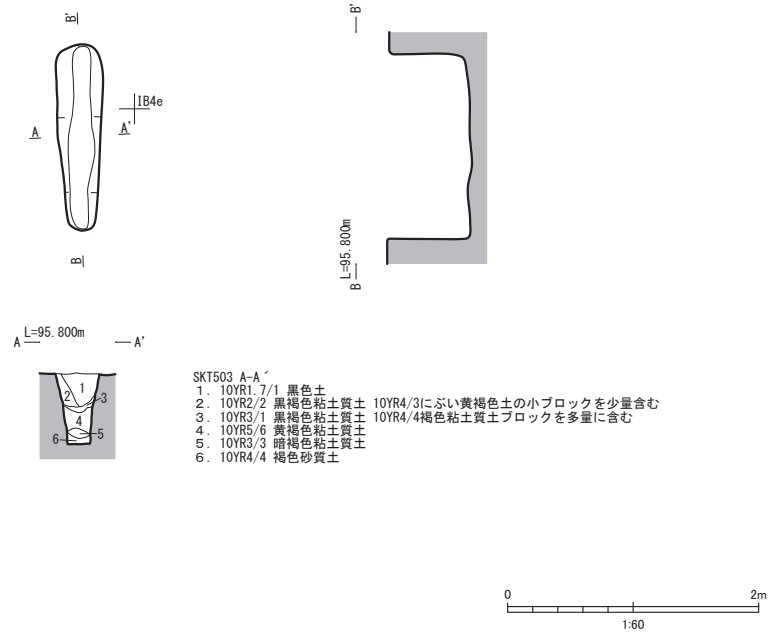
0　2m
1:60

第 243 図　SKT1・501

SKT502



SKT503



第 244 図　SKT502・503

SKT504（第 245 図　写真図版 182）	
位置　ⅠB4i、5i	**時期**　縄文時代
形態　長径約 313 cm、短径約 28 cm の溝形、深さ約 71 cm。長軸の両端の壁はオーバーハングしている。底面はほぼ平坦である。副穴はない。	
埋土　7 層に分かれる。自然堆積とみられる。2・4・6・7 層の大半は壁から崩壊土が占めていると推測される。	
重複　SI501 に一部上部を切られている。	
出土遺物　なし。	
その他　遺構の形態等から、陥し穴と考えられる。	

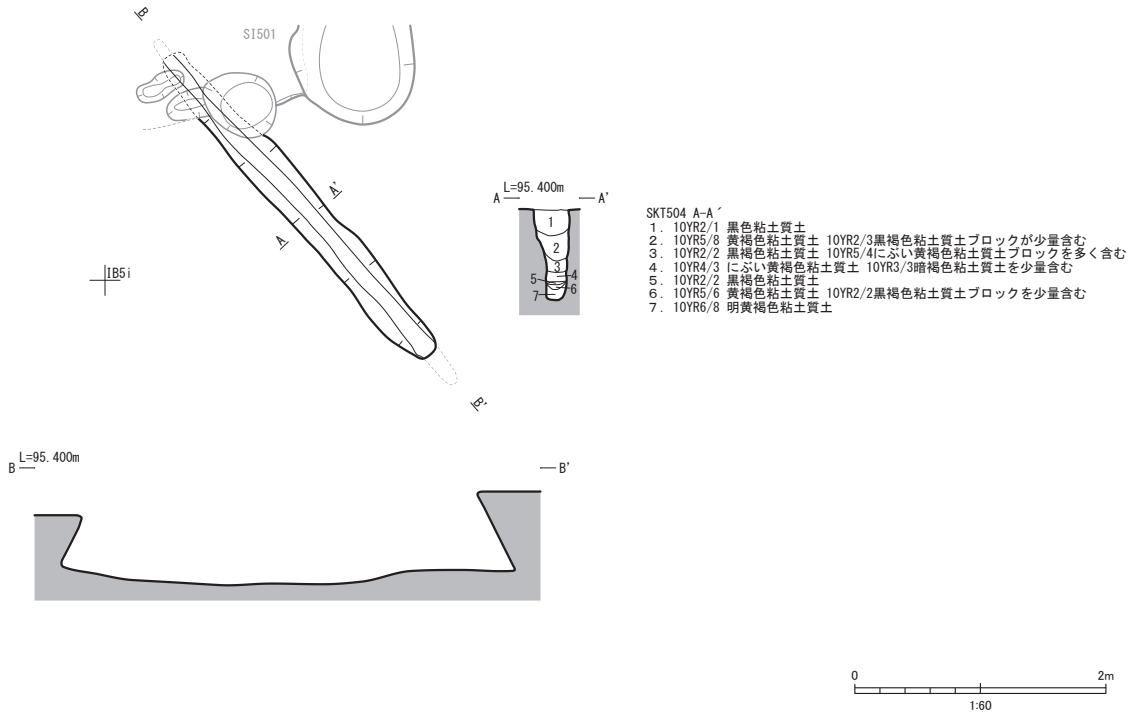
SKT505（第 245 図　写真図版 182）	
位置　ⅠB4g、5g	**時期**　縄文時代
形態　長径約 329 cm、短軸径約 26 cm の溝形、深さ約 90 cm。南北の壁面は底面からオーバーハングして立ち上がる。底面は幾分凹凸があり、南側が幾分深い。副穴はない。	
埋土　8 層に分かれる。自然堆積とみられる。5・6・8 層の大半は壁の崩壊土が占めている。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
その他　遺構の形態等から陥し穴と考えられる。	

SKT506（第 246 図　写真図版 182）	
位置　ⅠB5l、6l	**時期**　縄文時代
形態　長径約 250 cm、短径約 52 cm の溝形、深さ約 69 cm。南北壁ともオーバーハングしている。底面は北側が平坦であるが南側が端部近くで深く掘り下げられた形になる。一部礫層まで掘り込んでつくられている。副穴はない。	
埋土　7 層に分かれる。自然堆積とみられる。5 層は壁からの崩壊土が大半を占めている。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
その他　やや幅広の溝状の形態であるが、陥し穴と考えられる。	

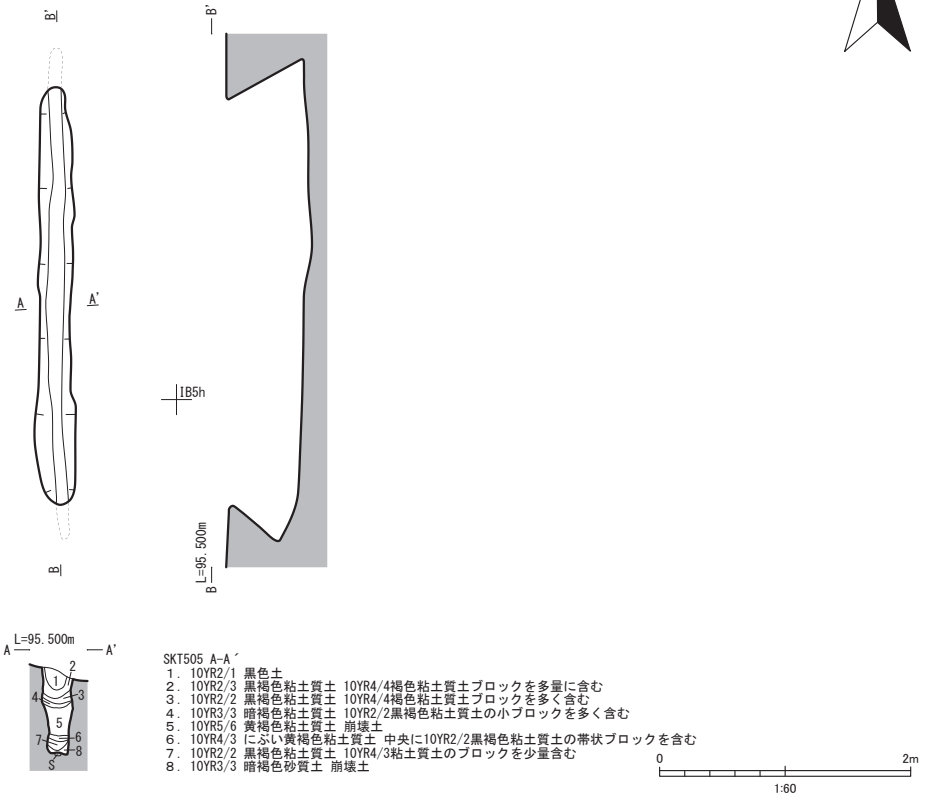
SKT507（第 246 図　写真図版 182）	
位置　ⅠB4m、5m、5n	**時期**　縄文時代
形態　長径約 282 cm、短径約 29 cm の溝形、深さ約 49 cm。南北壁はオーバーハングしている。底面は両端に向って幾分上がっている。副穴なし。	
埋土　5 層に分かれる。自然堆積とみられる。4 層は壁から崩壊土が大半占めている。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
その他　遺構の形態等から陥し穴と考えられる。	

SKT508（第 247 図　写真図版 183）	
位置　ⅠB3m、3n	**時期**　縄文時代
形態　長径約 146 cm 以上、短径約 13 cm の溝形、深さ約 26 cm。検出されている北壁は幾分外反しながら立ち上がる。底面はやや凹凸がある。副穴なし。	
埋土　4 層に分かれる。自然堆積とみられる。2・4 層は壁からの崩壊土が大半を占めている。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
その他　遺構の形態等から、陥し穴と考えられる。	

SKT504

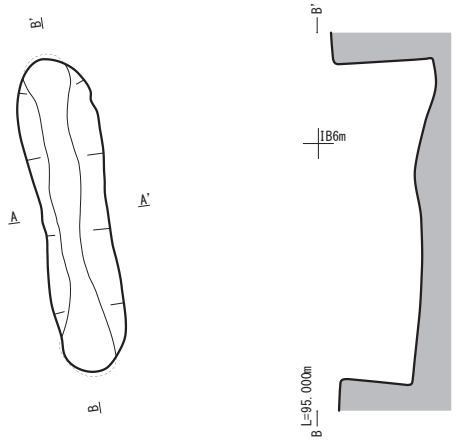


SKT505

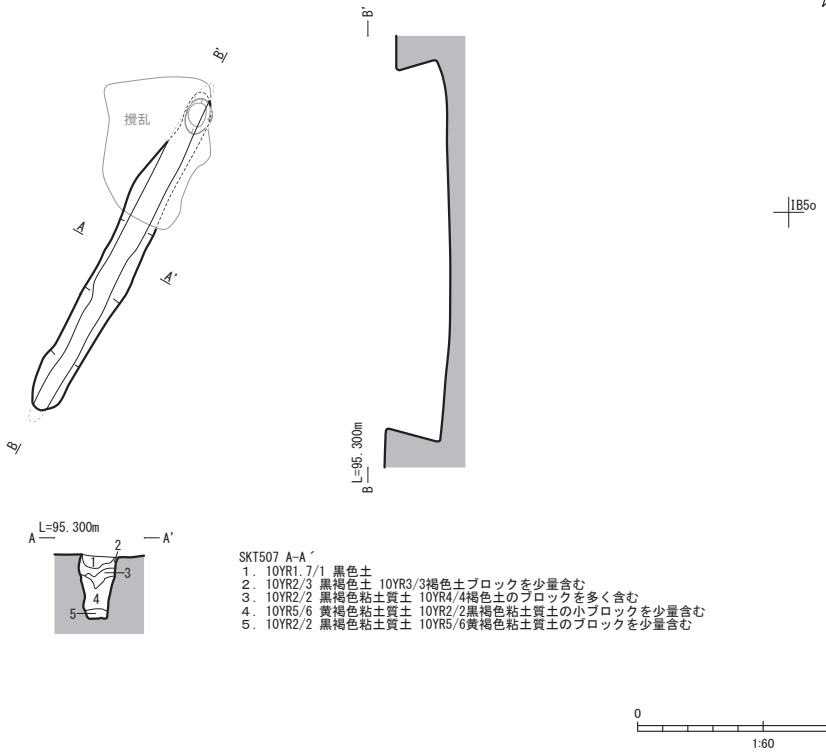


第 245 図　SKT504・505

SKT506

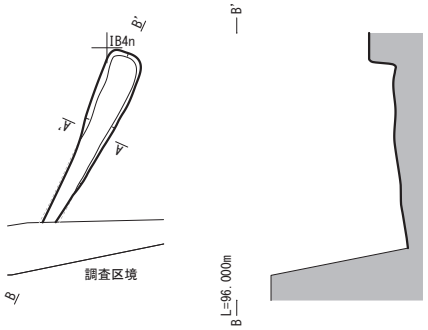


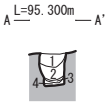
SKT507



第 246 図　SKT506・507

SKT508

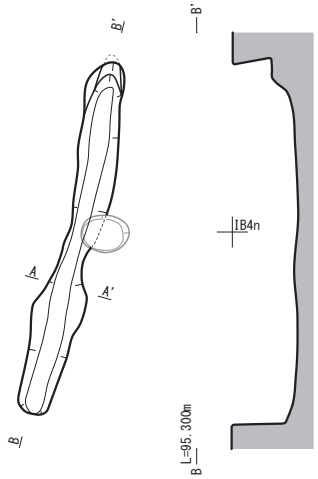


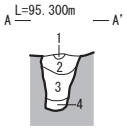


SKT508 A-A´
1．10YR3/1 黒褐色粘土質土
2．10YR5/4 にぶい黄褐色粘土質土
3．10YR2/2 黒褐色粘土質土
4．10YR5/6 黄色褐色粘土質土

0　2m
1:60

SKT509





SKT509 A-A´
1．10YR2/1 黒色土
2．10YR5/6 黄褐色土 10YR4/4褐色土の大ブロックが含まれる
3．10YR4/6 褐色粘土質土
4．10YR3/4 暗褐色粘土質土

0　2m
1:60

第 247 図　SKT508・509

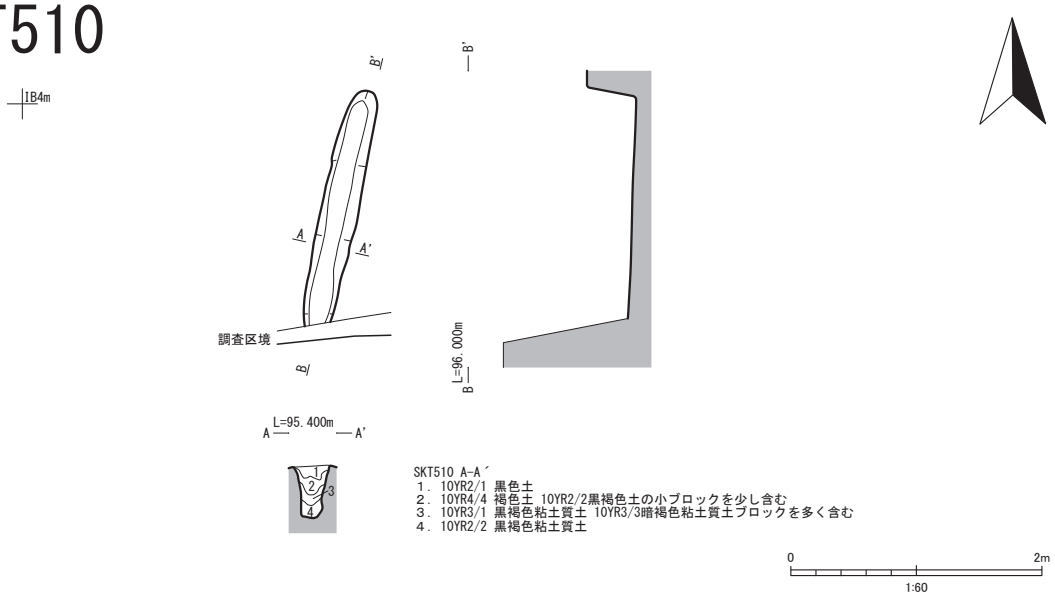
SKT509（第 247 図　写真図版 183）	
位置　ⅠB3m、4m	**時期**　縄文時代
形態　長径約 273 cm、短径約 16 cm の溝形、深さ 44 cm。北壁は底面から幾分オーバーハングし、南壁はほぼまっすぐに立ち上がっている。底面は幾分凹凸がある。副穴はない。	
埋土　4 層に分かれる。2〜4 層は壁からの崩壊土か周りを掘った土が埋まったものと考えられる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
その他　遺構の形態等から陥し穴と考えられる。	

SKT510（第 248 図　写真図版 183、184）	
位置　ⅠB3m、4m	**時期**　縄文時代
形態　長径約 187 cm 以上、短径約 29 cm の溝形、深さ 29 cm。検出されている北壁は底面から幾分外反して立ち上がる。底面は平坦である。副穴は検出されていない。	
埋土　4 層に分かれる。3 層は不明だが、その他の層は自然堆積とみられる。2 層は壁からの崩壊土が多くを占めていると推測される。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
その他　遺構の形態等から、陥し穴と考えられる。	

SKT511（第 248 図、写真図版 183、184）	
位置　ⅠB3m	**時期**　縄文時代
形態　長径約 156 cm 以上、短径約 17 cm の溝形、深さ約 42 cm。検出されている北壁は底面からややオーバーハングしながら立ち上がっている。底面は中央部がやや浅いがほぼ平坦である。副穴は検出されていない。	
埋土　5 層に分かれる。縦状に堆積したり、明黄褐色土や黄褐色土、褐色土の小ブロックを含んだりして、いくつかは人為的堆積層である可能性がある。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
その他　遺構の形態等から、陥し穴と考えられる。	

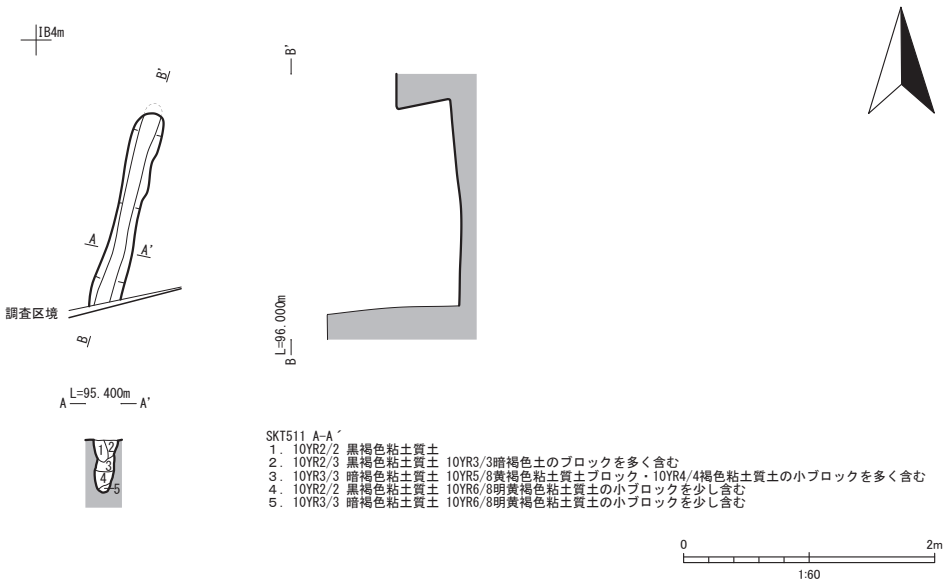
SKT512（第 248 図、写真図版 184）	
位置　ⅠB3k	**時期**　縄文時代
形態　長径約 36 cm 以上、短軸 24 cm の溝形、深さ約 43 cm。検出されている北壁は底面からオーバーハングして立ち上がる。底面はほぼ平坦である。副穴は検出されてない。	
埋土　6 層に分けられる。2 層は不明であるが、そのほかは、自然堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
その他　遺構の形態等から、陥し穴と考えられる。	

SKT510



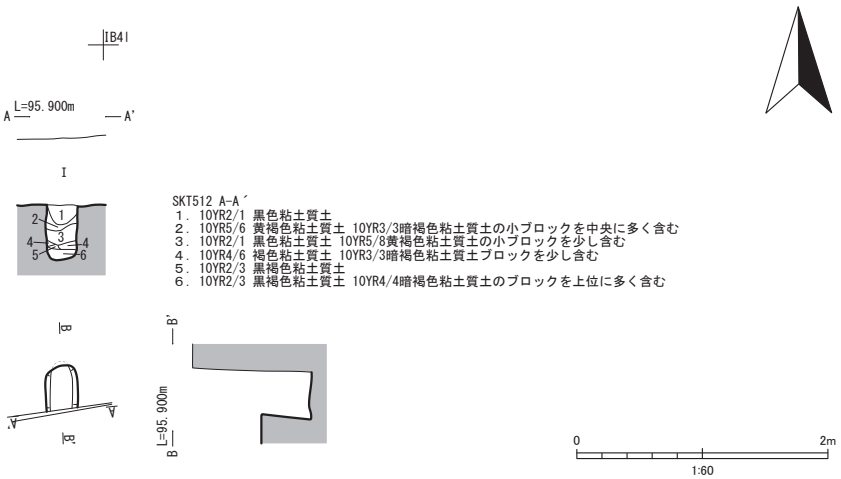
SKT510 A-A´
1．10YR2/1 黒色土
2．10YR4/4 褐色土 10YR2/2黒褐色土の小ブロックを少し含む
3．10YR3/1 黒褐色粘土質土 10YR3/3暗褐色粘土質土ブロックを多く含む
4．10YR2/2 黒褐色粘土質土

SKT511



SKT511 A-A´
1．10YR2/2 黒褐色粘土質土
2．10YR2/3 黒褐色粘土質土 10YR3/3暗褐色土のブロックを多く含む
3．10YR3/3 暗褐色粘土質土 10YR5/8黄褐色粘土質土ブロック・10YR4/4褐色粘土質土の小ブロックを多く含む
4．10YR2/2 黒褐色粘土質土 10YR6/8明黄褐色粘土質土の小ブロックを少し含む
5．10YR3/3 暗褐色粘土質土 10YR6/8明黄褐色粘土質土の小ブロックを少し含む

SKT512



SKT512 A-A´
1．10YR2/1 黒色粘土質土
2．10YR5/6 黄褐色粘土質土 10YR3/3暗褐色粘土質土の小ブロックを中央に多く含む
3．10YR2/1 黒色粘土質土 10YR5/8黄褐色粘土質土の小ブロックを少し含む
4．10YR4/6 褐色粘土質土 10YR3/3暗褐色粘土質土ブロックを少し含む
5．10YR2/3 黒褐色粘土質土
6．10YR2/3 黒褐色粘土質土 10YR4/4暗褐色粘土質土のブロックを上位に多く含む

第 248 図　SK510～512

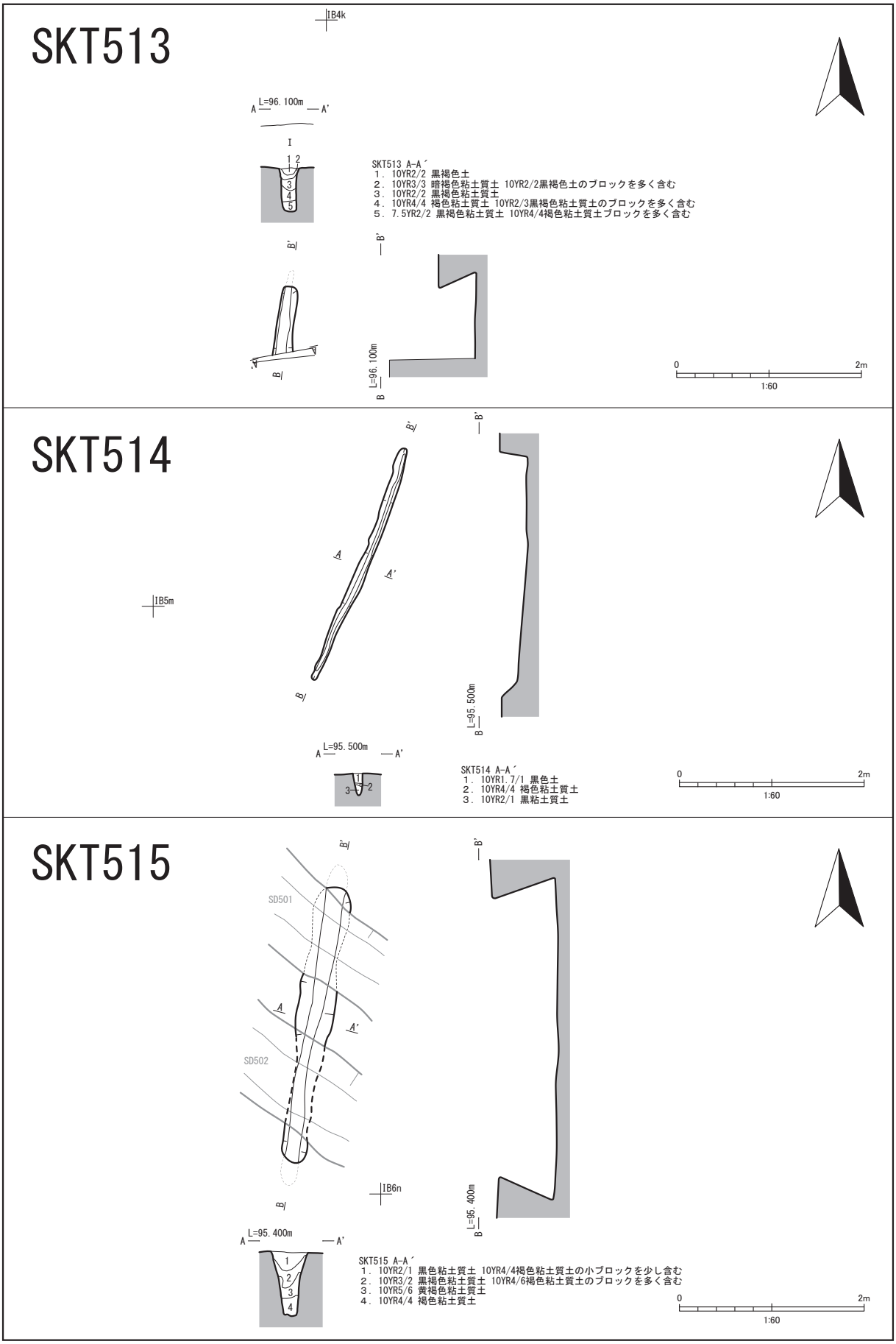
SKT513（第 249 図、写真図版 184）	
位置　ⅠB3j	**時期**　縄文時代
形態　長径約 71 cm 以上、短径約 16 cm の溝形、深さ約 48 cm。検出されている北壁は底面から大きくオーバーハングして立ち上がる。底面は平坦である。副穴はない。	
埋土　5 層に分けられる。自然堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
その他　遺構の形態等から、陥し穴と考えられる。	

SKT514（第 249 図、写真図版 185）	
位置　ⅠB4m、5m	**時期**　縄文時代
形態　長径約 267 cm、短径約 8 cm、深さ約 11 cm。北壁は底面からやや外反、南壁は緩く外反している。底面は小さい凹凸があるが、ほぼ平坦である。副穴はない。	
埋土　3 層に分けられる。2 層は壁からの崩壊土と推定され、全体も自然堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
その他　遺構の形態等から、陥し穴と考えられる。	

SKT515（第 249 図、写真図版 185）	
位置　ⅠB6m	**時期**　縄文時代
形態　長径約 301 cm、短軸－約 26 cm で両端が円状に広がる溝形、深さ約 67 cm。南北壁は底面から大きくオーバーハングして立ち上がる。底面は緩い凹凸があるが、ほぼ平坦である。副穴はない。	
埋土　4 層に分けられる。自然堆積とみられる。3・4 層は地山起源土である。	
重複　なし。	
出土遺物　なし	
その他　遺構の形態等から、陥し穴と考えられる。	

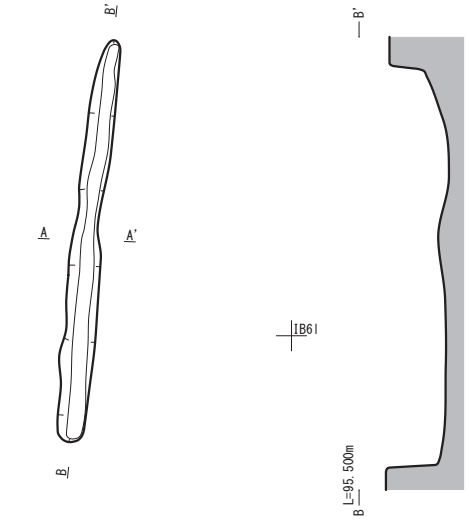
SKT516（第 250 図、写真図版 185）	
位置　ⅠB5k、6k	**時期**　縄文時代
形態　長径約 319 cm、短径約 15 cm の溝形、深さ約 42 cm。南北壁は底面から少し外反して立ち上がる。底面は北半部が礫層を掘ってつくられ礫が露出しており、南半部が平坦である。副穴はない。	
埋土　5 層に分けられる。各層は自然堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
その他　遺構の形態等から、陥し穴と考えられる。	

SKT517（第 250 図、写真図版 185）	
位置　ⅠB6k、7k、7l	**時期**　縄文時代
形態　長径約 301 cm、短径約 12 cm の溝形、深さ約 34 cm。両壁は底面からやや外反して立ち上がる。底面は平坦である。副穴はない。	
埋土　4 層に分かれる。自然堆積とみられる。	
重複　なし。	
出土遺物　なし。	
その他　遺構の形態等から陥し穴と考えられる。	



第 249 図　SK513～515

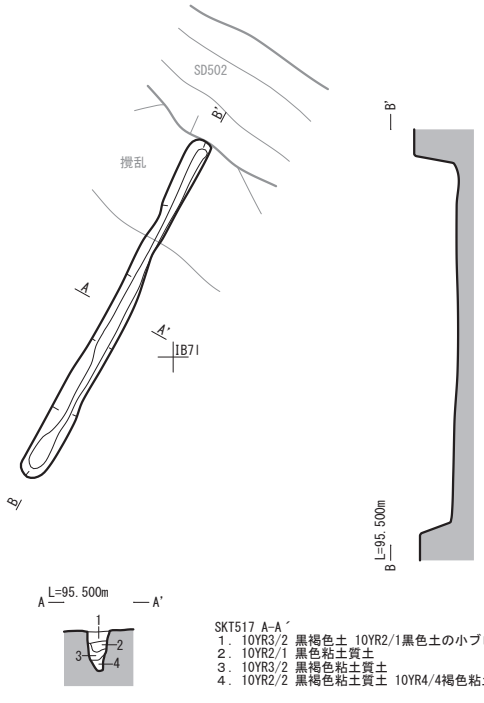
SKT516



SKT516 A-A´
1．10YR2/1 黒色土
2．10YR2/2 黒褐色粘土質土
3．10YR3/2 黒褐色粘土質土
4．10Yr4/4 褐色土 10YR4/4黒色土のブロックを帯状に多く含む
5．10YR2/2 黒褐色粘土質土 10YR4/4褐色土の小ブロックを多量に含む

0　2m
1:60

SKT517



SKT517 A-A´
1．10YR3/2 黒褐色土 10YR2/1黒色土の小ブロックを少量含む
2．10YR2/1 黒色粘土質土
3．10YR3/2 黒褐色粘土質土
4．10YR2/2 黒褐色粘土質土 10YR4/4褐色粘土質土ブロックを帯状に多く含む

0　2m
1:60

第 250 図　SK516・517

第 4 表　柱穴一覧表①

柱穴番号	遺構名	グリッド	深さ（cm）	底面標高（m）
P1	欠番			
P2	SB111	Ⅰ A15g	58.4	95.529
P3	SB101	Ⅰ A15f	70.8	95.439
P4	SB101	Ⅰ A15f	28.2	95.905
P5		Ⅰ A15g	13.1	96.013
P6	SB111	Ⅰ A15g	47.3	95.657
P7	SB101	Ⅰ A15f	50.8	95.724
P8	SB101	Ⅰ A16f	27.5	95.774
P9		Ⅰ A16f	27.1	95.782
P10	SB101	Ⅰ A16f	61.4	95.460
P11	SB111	Ⅰ A16g	33.1	95.745
P12	欠番			
P13	SB101	Ⅰ A15g	81.9	95.344
P14	SB101	Ⅰ A15g	59.0	95.530
P15		Ⅰ A15g	23.5	95.898
P16		Ⅰ A15g	16.1	95.928
P17	SB104	Ⅰ A15g	19.5	95.952
P18	SB104	Ⅰ A15g	20.6	95.897
P19	SB111	Ⅰ A15h	41.2	95.710
P20	SB101	Ⅰ A15h	44.7	95.718
P21	SB101	Ⅰ A16h	56.8	95.545
P22	欠番			
P23	SB101	Ⅰ A15g	51.8	95.625
P24	SB111	Ⅰ A15h	67.2	95.454
P25	SB101	Ⅰ A15h	57.6	95.554
P26		Ⅰ A15h	18.7	96.049
P27	SB104	Ⅰ A15h	35.7	95.797
P28	SB104	Ⅰ A15h	39.9	95.748
P29	SB101	Ⅰ A15h	16.3	95.942
P30	SB104	Ⅰ A15h	20.1	95.965
P31	SB104	Ⅰ A16h	39.9	95.756
P32	SB104	Ⅰ A16h	35.5	95.745
P33		Ⅰ A15i	6.6	96.070
P34	SB101	Ⅰ A16g	26.6	95.771
P35	SB101	Ⅰ A16g	29.0	95.650
P36		Ⅰ A2b	13.3	95.895
P37		Ⅰ A2b	11.3	95.929
P38		Ⅰ A2b	15.3	95.833
P39		Ⅰ A2c	7.1	95.798
P40		Ⅰ A2b	12.0	95.896
P41		Ⅰ A2c	16.3	95.812
P42		Ⅰ A2c	12.1	95.862
P43		Ⅰ A2c	2.6	95.926
P44		Ⅰ A2c	20.2	95.719
P45		Ⅰ A2c	11.2	95.724
P46		Ⅰ A2c	8.0	95.854
P47		Ⅰ A2c	3.0	95.897
P48		Ⅰ A2c	9.8	95.890
P49		Ⅰ A2c	9.0	95.845
P50	欠番			
P51	欠番			
P52	SB157	Ⅰ A3b	9.7	95.937
P53		Ⅰ A3b	12.3	95.935
P54	SB161	Ⅰ A3b	28.9	95.795
P55	SB159	Ⅰ A3b	15.6	95.866
P56		Ⅰ A3b	40.7	95.620
P57		Ⅰ A3b	18.6	95.876
P58	SB153	Ⅰ A3b	11.1	95.952
P59		Ⅰ A3b	35.0	95.733
P60		Ⅰ A3b	15.3	95.937
P61		Ⅰ A3b	6.4	95.960
P62		Ⅰ A3b	13.7	95.878
P63		Ⅰ A3b	16.5	95.842
P64		Ⅰ A3b	9.3	95.916
P65	SB161	Ⅰ A3b	10.3	95.922
P66		Ⅰ A3b	31.1	95.762
P67	SB153	Ⅰ A4b	27.4	95.774
P68		Ⅰ A3b	10.8	95.974
P69		Ⅰ A3b	31.4	95.774
P70	SB159	Ⅰ A3b	11.1	95.941
P71		Ⅰ A3b	5.6	95.992
P72		Ⅰ A4b	23.8	95.825
P73	SB163	Ⅰ A4b	29.2	95.781
P74	SB157	Ⅰ A4b	10.4	96.026
P75	SB163	Ⅰ A4b	24.7	95.819
P76		Ⅰ A4b	19.0	95.912
P77		Ⅰ A4b	21.6	95.852
P78		Ⅰ A4b	25.6	95.808
P79		Ⅰ A4b	5.9	96.083
P80	SB161	Ⅰ A4b	14.0	95.977
P81	SB161	Ⅰ A4b	22.2	95.885
P82		Ⅰ A4b	23.8	95.846
P83		Ⅰ A4b	9.9	96.001
P84		Ⅰ A4b	19.2	95.891
P85		Ⅰ A4b	37.4	95.723
P86		Ⅰ A4b	19.7	95.862
P87		Ⅰ A4b	13.8	96.002
P88		Ⅰ A4b	29.2	95.846
P89	SB163	Ⅰ A4b	35.7	95.749
P90	SB153	Ⅰ A4b	11.8	95.996
P91		Ⅰ A4b	28.8	95.841
P92		Ⅰ A4b	26.4	95.864
P93		Ⅰ A4b	21.1	95.892
P94	SB163	Ⅰ A4b	20.9	95.939
P95		Ⅰ A4b	5.8	96.069
P96		Ⅰ A4b	22.1	95.889
P97		Ⅰ A4b	10.4	96.013
P98		Ⅰ A4b	4.2	96.070
P99		Ⅰ A4b	6.5	96.057
P100	SB153	Ⅰ A4b	28.7	95.825
P101		Ⅰ A3c	6.8	95.933
P102		Ⅰ A3c	27.4	95.749
P103	SB159	Ⅰ A3c	12.0	95.869
P104	SB157	Ⅰ A3c	27.8	95.715
P105	SB159	Ⅰ A3c	22.4	95.764
P106	SB161	Ⅰ A3c	9.3	95.875
P107		Ⅰ A3c	16.5	95.866
P108		Ⅰ A3c	8.8	95.950
P109	SB159	Ⅰ A3c	21.1	95.765
P110	SB157	Ⅰ A3c	19.7	95.769
P111		Ⅰ A3c	12.1	95.806
P112	欠番			
P113	欠番			
P114		Ⅰ A3c	10.3	95.888
P115	SB153	Ⅰ A3c	11.4	95.906
P116		Ⅰ A3c	8.5	95.911
P117		Ⅰ A3c	12.3	95.889
P118	欠番			
P119		Ⅰ A3c	8.3	95.913
P120		Ⅰ A3c	39.1	95.630
P121		Ⅰ A3c	16.5	95.862
P122	SB159	Ⅰ A4c	15.1	95.890
P123	SB159	Ⅰ A4c	24.7	95.778
P124	SB153	Ⅰ A4c	31.7	95.743
P125	SB157	Ⅰ A4c	6.8	96.027
P126	SB153	Ⅰ A4c	15.7	95.879
P127		Ⅰ A4c	31.6	95.801
P128		Ⅰ A4c	12.8	95.939
P129		Ⅰ A4c	12.0	95.938
P130		Ⅰ A4c	9.6	95.989
P131		Ⅰ A4c	2.1	96.015
P132	SB157	Ⅰ A4c	22.0	95.879
P133		Ⅰ A4c	16.4	95.948
P134	SB163	Ⅰ A4c	12.2	96.000
P135	SB153	Ⅰ A4c	29.7	95.781
P136		Ⅰ A4c	17.1	95.880
P137		Ⅰ A4c	13.5	95.918
P138		Ⅰ A4c	5.7	96.055
P139		Ⅰ A4c	5.3	96.040
P140	SB153	Ⅰ A4c	25.1	95.857
P141		Ⅰ A4c	8.4	96.023
P142		Ⅰ A1c	5.1	95.896
P143		Ⅰ A1c	14.3	95.768
P144		Ⅰ A1c	14.5	95.622
P145		Ⅰ A1c	8.0	95.773
P146		Ⅰ A1c	6.4	95.894
P147		Ⅰ A1c	12.0	95.660
P148		Ⅰ A1c	16.9	95.742
P149		Ⅰ A1c	6.2	95.872
P150		Ⅰ A4c	29.5	95.700
P151	SB161	Ⅰ A4c	28.2	95.775
P152		Ⅰ A13d	11.6	96.155
P153		Ⅰ A14d	13.2	96.167
P154	SB101	Ⅰ A14f	39.2	95.706
P155	SB101	Ⅰ A14f	53.1	95.539
P156	SB101	Ⅰ A14f	34.6	95.757
P157	SB101	Ⅰ A14f	53.8	95.524
P158	SB111	Ⅰ A13g	47.4	95.720
P159	SB101	Ⅰ A13f	31.6	95.830
P160	SB108	Ⅰ A13f	10.1	96.021
P161	SB108	Ⅰ A13f	11.7	96.100
P162	SB108	Ⅰ A13f	29.8	95.916
P163	SB101	Ⅰ A13f	52.1	95.720
P164	SB101	Ⅰ A13f	77.9	95.447
P165	SB102	Ⅰ A12e	20.4	95.953
P166	SB102	Ⅰ A12e	4.6	96.122
P167	SB108	Ⅰ A12e	21.3	95.998
P168	SB102	Ⅰ A12e	13.3	96.085
P169	SB102	Ⅰ A12e	14.1	96.035
P170	SB108	Ⅰ A12e	15.3	96.016
P171	SB105	Ⅰ A12f	22.9	95.967
P172	SB108	Ⅰ A12f	15.8	96.025
P173	SB108	Ⅰ A12f	16.9	96.049
P174	SB105	Ⅰ A12f	10.5	96.062
P175	SB105	Ⅰ A12f	11.6	96.112
P176	SB108	Ⅰ A12g	19.3	96.001
P177	SB111	Ⅰ A14g	36.2	95.705
P178	SB106	Ⅰ A14g	31.7	95.759
P179	SB111	Ⅰ A14g	30.7	95.788
P180		Ⅰ A14g	20.6	95.884
P181	SB101	Ⅰ A14g	47.5	95.639
P182	SB106	Ⅰ A14g	34.7	95.825
P183	SB101	Ⅰ A14g	54.7	95.562
P184	SB106	Ⅰ A14g	57.9	95.526
P185	SB111	Ⅰ A13g	26.3	95.973
P186	SB108	Ⅰ A13g	23.4	95.971
P187	SB101	Ⅰ A13g	68.9	95.514
P188		Ⅰ A13g	14.5	96.041
P189	SB108	Ⅰ A13g	12.6	96.076
P190	SB101	Ⅰ A13g	45.7	95.772
P191		Ⅰ A13g	30.4	95.883
P192	SB106	Ⅰ A13g	39.2	95.821
P193	SB106	Ⅰ A13g	53.4	95.675
P194	SB110	Ⅰ A13g	13.6	96.069
P195		Ⅰ A13g	25.8	95.989
P196	SB101	Ⅰ A13g	45.4	95.764
P197	SB101	Ⅰ A13g	44.5	95.781
P198	SB110	Ⅰ A13g	20.1	95.980
P199		Ⅰ A13g	16.3	96.018
P200	SB111	Ⅰ A13g	41.0	95.821
P201	SB106	Ⅰ A13g	43.6	95.769
P202	SB101	Ⅰ A13h	50.2	95.741
P203	SB101	Ⅰ A13h	32.5	95.850
P204	SB111	Ⅰ A13h	17.6	96.010
P205	SB117	Ⅰ A13h	41.6	95.758
P206	SB110	Ⅰ A12g	17.2	96.041
P207		Ⅰ A12g	27.0	95.905
P208		Ⅰ A12g	11.5	96.067
P209	欠番			
P210	SB114	Ⅰ A12g	31.9	95.888
P211	SB114	Ⅰ A12g	27.5	95.796
P212	SB103	Ⅰ A12g	23.1	95.837
P213	SB114	Ⅰ A12g	31.9	95.858
P214	SB107	Ⅰ A12g	46.2	95.725
P215	SB107	Ⅰ A12g	23.8	95.973
P216	SB103	Ⅰ A12g	31.5	95.901
P217		Ⅰ A12g	30.9	95.908
P218		Ⅰ A12g	34.9	95.860
P219	SB110	Ⅰ A12g	19.9	96.049
P220		Ⅰ A1d	8.7	95.845
P221	欠番			
P222	欠番			
P223		Ⅰ A1d	9.2	95.805
P224		Ⅰ A1d	12.0	95.776
P225		Ⅰ A1d	19.7	95.705
P226		Ⅰ A1d	6.2	95.854
P227		Ⅰ A1d	29.0	95.569
P228		Ⅰ A1d	7.8	95.860
P229		Ⅰ A1d	15.8	95.789
P230		Ⅰ A1d	8.5	95.869
P231		Ⅰ A2d	7.9	95.855
P232		Ⅰ A2d	6.0	95.795
P233		Ⅰ A2d	24.8	95.705
P234		Ⅰ A2d	7.3	95.912
P235		Ⅰ A2d	22.4	95.731
P236		Ⅰ A2d	10.0	95.859
P237		Ⅰ A2d	5.2	95.926
P238		Ⅰ A2d	12.3	95.867
P239		Ⅰ A3d	5.2	95.900
P240		Ⅰ A3d	5.6	95.968
P241		Ⅰ A3d	7.7	95.951
P242		Ⅰ A3d	9.3	95.964
P243		Ⅰ A3d	8.1	95.946
P244		Ⅰ A3d	11.3	95.941
P245		Ⅰ A3d	13.8	95.921
P246		Ⅰ A3d	15.9	95.872
P247		Ⅰ A3d	15.5	95.864
P248		Ⅰ A3d	18.6	95.862
P249		Ⅰ A3d	19.2	95.856

第4表　柱穴一覧表②

柱穴番号	遺構名	グリッド	深さ(cm)	底面標高(m)
P250		Ⅰ A3d	11.0	95.934
P251		Ⅰ A4d	14.8	95.883
P252		Ⅰ A4d	11.3	95.926
P253		Ⅰ A4d	6.7	95.985
P254		Ⅰ A4d	15.3	95.863
P255		Ⅰ A5d	21.0	95.864
P256		Ⅰ A5d	8.1	96.011
P257		Ⅰ A5d	9.6	95.990
P258		Ⅰ A5d	14.3	95.948
P259		Ⅰ A5d	13.9	95.956
P260		Ⅰ A5d	10.1	96.002
P261		Ⅰ A5d	37.4	95.732
P262		Ⅰ A5d	6.6	96.066
P263		Ⅰ A5d	17.1	95.953
P264		Ⅰ A5d	13.4	95.950
P265		Ⅰ A5d	20.3	95.881
P266		Ⅰ A5d	21.1	95.935
P267		Ⅰ A5d	19.6	95.929
P268		Ⅰ A5d	11.2	96.004
P269		Ⅰ A5d	15.6	95.962
P270		Ⅰ A5d	22.3	95.846
P271		Ⅰ A5d	27.3	95.837
P272		Ⅰ A5b	28.2	95.843
P273	SB153	Ⅰ A5b	25.1	95.864
P274		Ⅰ A5b	37.7	95.734
P275		Ⅰ A5b	23.5	95.895
P276		Ⅰ A5b	26.0	95.869
P277		Ⅰ A5b	20.7	95.922
P278		Ⅰ A5b	8.5	96.035
P279		Ⅰ A5b	33.1	95.822
P280		Ⅰ A5b	27.8	95.859
P281		Ⅰ A5b	15.2	95.966
P282		Ⅰ A5b	21.7	95.886
P283		Ⅰ A5b	29.4	95.807
P284		Ⅰ A5b	12.1	96.034
P285		Ⅰ A5b	21.7	95.931
P286		Ⅰ A5b	34.9	95.807
P287	SB153	Ⅰ A5b	25.2	95.914
P288		Ⅰ A5c	32.4	95.839
P289		Ⅰ A5c	8.8	96.049
P290		Ⅰ A5c	16.1	95.956
P291	SB163	Ⅰ A4c	14.9	95.958
P292	SB153	Ⅰ A5c	9.6	96.025
P293		Ⅰ A5c	9.8	96.057
P294	SB153	Ⅰ A5c	11.9	96.002
P295		Ⅰ A5c	21.9	95.915
P296		Ⅰ A5c	8.9	96.052
P297		Ⅰ A5c	19.1	95.953
P298		Ⅰ A5c	19.5	95.892
P299		Ⅰ A5c	27.5	95.834
P300		Ⅰ A5c	17.8	95.960
P301		Ⅰ A5c	19.1	95.925
P302		Ⅰ A5c	35.9	95.761
P303		Ⅰ A5c	26.6	95.888
P304		Ⅰ A5c	33.1	95.788
P305		Ⅰ A5c	11.2	96.029
P306		Ⅰ A5c	23.7	95.899
P307		Ⅰ A5c	19.2	95.947
P308		Ⅰ A5c	24.5	95.896
P309		Ⅰ A5c	20.7	95.939
P310		Ⅰ A6b	18.3	95.966
P311		Ⅰ A6b	11.2	96.051
P312		Ⅰ A6b	22.1	95.939
P313		Ⅰ A6b	11.0	96.049
P314		Ⅰ A6b	17.7	95.970
P315		Ⅰ A6b	18.9	95.961
P316		Ⅰ A6b	14.2	96.032
P317		Ⅰ A6b	8.2	96.099
P318		Ⅰ A6b	19.4	95.955
P319		Ⅰ A6b	21.0	95.973
P320		Ⅰ A6b	27.7	95.874
P321		Ⅰ A6b	6.4	96.115
P322		Ⅰ A6b	20.2	95.970
P323		Ⅰ A6b	6.8	96.121
P324		Ⅰ A6b	13.2	96.040
P325		Ⅰ A6c	21.6	95.996
P326		Ⅰ A6c	15.8	96.021
P327		Ⅰ A6c	48.2	95.700
P328		Ⅰ A6c	29.5	95.859
P329		Ⅰ A6c	16.0	95.986
P330		Ⅰ A6c	26.1	95.817
P331		Ⅰ A6c	13.2	96.008
P332		Ⅰ A6c	21.4	95.959
P333		Ⅰ A6c	7.1	96.065
P334		Ⅰ A6d	8.9	96.048
P335		Ⅰ A6d	18.7	95.912
P336		Ⅰ A6d	9.5	96.040
P337		Ⅰ A6d	11.0	96.021
P338		Ⅰ A5d	12.9	96.006
P339		Ⅰ A6e	15.4	95.988
P340		Ⅰ A6d	10.9	96.064
P341		Ⅰ A6d	5.5	96.098
P342		Ⅰ A6d	2.9	96.109
P343		Ⅰ A7d	7.0	96.119
P344		Ⅰ A7d	16.2	96.087
P345		Ⅰ A6d	2.7	96.110
P346		Ⅰ A7d	5.2	96.140
P347		Ⅰ A8d	7.3	96.130
P348		Ⅰ A7d	12.4	96.102
P349		Ⅰ A8d	5.2	96.137
P350		Ⅰ A8d	6.4	96.125
P351		Ⅰ A8c	3.8	96.095
P352		Ⅰ A7s	32.6	95.465
P353		Ⅰ A7r	13.8	95.642
P354	欠番			
P355	欠番			
P356		Ⅰ A6s	17.0	95.658
P357		Ⅰ A6s	12.1	95.706
P358		Ⅰ A6s	10.3	95.687
P359	欠番			
P360		Ⅰ A5s	17.1	95.577
P361		Ⅰ A5s	26.6	95.481
P362	欠番			
P363	欠番			
P364	欠番			
P365	欠番			
P366		Ⅰ A6t	15.3	95.597
P367		Ⅰ A6t	38.0	95.395
P368	SB131	Ⅰ A6t	36.2	95.305
P369		Ⅰ A7t	29.7	96.004
P370		Ⅰ A7t	37.2	95.310
P371		Ⅰ A6t	30.3	95.438
P372		Ⅰ A7t	11.6	95.601
P373		Ⅰ A7t	13.8	95.579
P374		Ⅰ A7t	25.2	95.528
P375	SB130	Ⅰ A8t	13.1	95.670
P376	SB130	Ⅰ A8t	11.5	95.733
P377		Ⅰ A12h	16.0	96.086
P378	SB117	Ⅰ A12h	25.9	95.961
P379		Ⅰ A12h	28.9	95.930
P380	SB110	Ⅰ A12h	22.1	95.981
P381		Ⅰ A12h	16.4	96.046
P382	SB110	Ⅰ A12h	25.1	95.977
P383	SB103	Ⅰ A12h	38.6	95.847
P384	SB117	Ⅰ A12h	26.5	95.976
P385	SB103	Ⅰ A12h	27.5	95.904
P386	SB107	Ⅰ A12h	26.7	95.927
P387		Ⅰ A12h	54.8	95.671
P388	SB107	Ⅰ A12h	18.3	96.025
P389		Ⅰ A12h	14.6	95.988
P390	SB107	Ⅰ A12h	16.1	96.060
P391		Ⅰ A12i	24.1	95.942
P392	SB117	Ⅰ A12i	25.8	95.860
P393		Ⅰ A12i	18.1	95.929
P394		Ⅰ A12i	30.2	95.748
P395	SB117	Ⅰ A12i	42.7	95.661
P396	SB101	Ⅰ A15h	59.2	95.548
P397		Ⅰ A15h	11.4	96.036
P398		Ⅰ A12j	6.8	95.956
P399		Ⅰ A12j	13.6	95.935
P400		Ⅰ A12j	10.1	95.989
P401		Ⅰ A12j	7.2	95.952
P402	SB115	Ⅰ A12j	24.2	95.795
P403	SB115	Ⅰ A12j	12.1	95.894
P404	SB115	Ⅰ A13j	35.6	95.705
P405	SB115	Ⅰ A13j	15.8	95.781
P406		Ⅰ A13h	16.7	96.008
P407	SB110	Ⅰ A13h	18.1	96.022
P408	SB112	Ⅰ A13h	12.8	96.076
P409	SB111	Ⅰ A13h	36.2	95.858
P410	SB110	Ⅰ A13h	43.9	95.727
P411	SB101	Ⅰ A13h	31.8	95.899
P412	SB106	Ⅰ A13h	44.5	95.781
P413	SB112	Ⅰ A13h	20.8	95.928
P414	SB106	Ⅰ A13h	51.2	95.617
P415		Ⅰ A13i	12.0	96.008
P416	SB112	Ⅰ A13i	12.6	96.038
P417	SB117	Ⅰ A13i	35.8	95.797
P418		Ⅰ A13i	14.5	95.973
P419	SB112	Ⅰ A13i	7.6	96.098
P420		Ⅰ A15i	19.0	95.937
P421		Ⅰ A15i	35.3	95.822
P422		Ⅰ A15i	18.1	95.928
P423	SB118	Ⅰ A15j	19.9	95.883
P424	SB125	Ⅰ A15j	37.1	95.715
P425	SB117	Ⅰ A13i	35.0	95.779
P426	SB116	Ⅰ A13j	32.7	95.790
P427		Ⅰ A13j	35.3	95.699
P428	SB116	Ⅰ A13j	42.7	95.662
P429		Ⅰ A13j	11.4	96.002
P430		Ⅰ A13j	24.5	95.824
P431	SB115	Ⅰ A13j	19.8	95.867
P432	SB116	Ⅰ A13j	31.7	95.760
P433		Ⅰ A13k	91.0	95.752
P434	SB101	Ⅰ A14h	49.3	95.658
P435	SB101	Ⅰ A14h	72.5	95.526
P436	SB106	Ⅰ A14h	41.3	95.720
P437		Ⅰ A14h	10.4	96.017
P438	SB101	Ⅰ A14h	45.1	95.704
P439	SB106	Ⅰ A14h	52.7	95.628
P440		Ⅰ A14h	16.1	95.955
P441	欠番			
P442	SB112	Ⅰ A14i	19.0	95.982
P443	SB116	Ⅰ A14j	29.7	95.852
P444		Ⅰ A14j	16.1	95.997
P445	SB116	Ⅰ A14j	26.4	95.885
P446		Ⅰ A14j	12.0	95.972
P447	SB116	Ⅰ A14j	33.9	95.800
P448	SB116	Ⅰ A14j	37.0	95.742
P449		Ⅰ A14j	13.4	95.988
P450	SB118	Ⅰ A14j	27.7	95.856
P451		Ⅰ A14j	31.9	95.804
P452	SB125	Ⅰ A14j	45.3	95.591
P453		Ⅰ A14j	19.9	95.902
P454	SB125	Ⅰ A14k	14.3	95.973
P455		Ⅰ A14k	1.1	95.924
P456	SB125	Ⅰ A14k	43.0	95.680
P457	SB116	Ⅰ A14k	32.2	95.745
P458	SB127	Ⅰ A14k	41.8	95.683
P459		Ⅰ A14k	21.0	95.894
P460	SB115	Ⅰ A13k	34.5	95.663
P461	SB118	Ⅰ A14k	44.0	95.658
P462	SB116	Ⅰ A14k	33.1	95.729
P463	SB118	Ⅰ A14k	59.3	95.477
P464	SB127	Ⅰ A14k	32.1	95.795
P465	SB125	Ⅰ A14k	48.1	95.596
P466		Ⅰ A14i	42.4	95.702
P467	SB116	Ⅰ A13k	64.0	95.464
P468		Ⅰ A13k	18.4	95.913
P469	SB115	Ⅰ A13k	39.3	95.735
P470	SB115	Ⅰ A13k	40.5	95.702
P471	SB115	Ⅰ A13k	24.8	95.845
P472	SB116	Ⅰ A13k	40.9	95.706
P473	SB115	Ⅰ A13k	38.0	95.712
P474		Ⅰ A13k	13.1	95.691
P475	SB115	Ⅰ A13k	34.4	95.722
P476	SB115	Ⅰ A13j	17.5	95.832
P477		Ⅰ A12k	17.8	95.832
P478	SB115	Ⅰ A12k	17.0	95.855
P479	欠番			
P480	SB115	Ⅰ A12k	57.0	95.452
P481	欠番			
P482	SB115	Ⅰ A12k	35.3	95.648
P483	SB115	Ⅰ A12k	8.4	95.915
P484	欠番			
P485	SB115	Ⅰ A12l	40.8	95.584
P486	SB115	Ⅰ A12l	10.5	95.808
P487	SB118	Ⅰ A15k	17.6	95.789
P488	SB127	Ⅰ A15k	11.3	95.834
P489		Ⅰ A15k	17.6	95.804
P490	SB118	Ⅰ A15k	16.3	95.840
P491		Ⅰ A14j	6.7	96.076
P492	SB115	Ⅰ A12l	35.8	95.579
P493	SB115	Ⅰ A12l	36.2	95.557
P494	SB115	Ⅰ A13l	43.3	95.648
P495	SB115	Ⅰ A13l	47.8	95.592
P496	SB115	Ⅰ A13l	27.1	95.770
P497		Ⅰ A13l	27.2	95.799
P498	SB125	Ⅰ A14l	62.7	95.429

第4表　柱穴一覧表③

柱穴番号	遺構名	グリッド	深さ(cm)	底面標高(m)
P499	SB127	Ⅰ A14l	50.7	95.500
P500	SB118	Ⅰ A14l	39.6	95.607
P501	SB125	Ⅰ A14l	65.6	95.363
P502	SB127	Ⅰ A14l	41.4	95.561
P503		Ⅰ A14l	41.6	95.539
P504	SB125	Ⅰ A14l	52.9	95.404
P505		Ⅰ A15l	22.5	95.727
P506	SB125	Ⅰ A15l	44.0	95.547
P507	SB127	Ⅰ A15l	13.3	95.842
P508	SB118	Ⅰ A15l	27.1	95.726
P509	SB127	Ⅰ A15l	32.1	95.597
P510		Ⅰ A15l	12.3	95.915
P511		Ⅰ A14m	12.6	95.900
P512		Ⅰ A13m	15.7	95.872
P513	SB120	Ⅰ A13m	29.1	95.753
P514	SB120	Ⅰ A13m	37.6	95.648
P515	SB115	Ⅰ A13m	25.4	95.757
P516	SB120	Ⅰ A13m	72.8	95.288
P517		Ⅰ A12m	19.9	95.744
P518	SB120	Ⅰ A12m	46.0	95.546
P519	SB115	Ⅰ A12m	39.8	95.558
P520	SB120	Ⅰ A12m	23.8	95.742
P521	SB119	Ⅰ A12m	12.2	95.857
P522	SB120	Ⅰ A12m	37.7	95.563
P523	SB120	Ⅰ A12m	12.0	95.842
P524	SB120	Ⅰ A12m	53.9	95.395
P525	SB120	Ⅰ A13n	62.7	95.360
P526	SB120	Ⅰ A13n	55.0	95.409
P527		Ⅰ A12n	38.6	95.585
P528	SB120	Ⅰ A12n	56.1	95.415
P529	SB120	Ⅰ A12n	20.6	95.761
P530	SB120	Ⅰ A12n	38.3	95.604
P531	SB120	Ⅰ A12n	22.3	95.980
P532		Ⅰ A12n	14.2	95.859
P533	SB120	Ⅰ A12n	44.4	95.552
P534		Ⅰ A12o	13.2	95.923
P535		Ⅰ A12o	12.6	95.936
P536	SB122	Ⅰ A11o	6.5	95.952
P537	SB128	Ⅰ A12o	13.6	95.912
P538		Ⅰ A12o	7.6	95.968
P539	SB128	Ⅰ A12p	11.5	95.933
P540	欠番			
P541	SB128	Ⅰ A12p	14.6	95.832
P542	SB122	Ⅰ A11p	7.2	95.864
P543	SB128	Ⅰ A12q	15.4	95.828
P544	SB128	Ⅰ A12q	13.9	95.853
P545	SB102	Ⅰ A12f	9.5	96.021
P546	SB105	Ⅰ A12f	6.6	95.995
P547	欠番			
P548	欠番			
P549	欠番			
P550		Ⅰ A12d	7.2	96.174
P551		Ⅰ A12d	20.5	96.042
P552		Ⅰ A12d	17.6	96.064
P553		Ⅰ A11d	8.5	96.112
P554		Ⅰ A11d	2.7	95.853
P555		Ⅰ A11d	6.0	96.151
P556		Ⅰ A11d	8.5	96.164
P557		Ⅰ A11d	11.8	96.138
P558		Ⅰ A11e	9.4	96.092
P559	SB102	Ⅰ A11e	13.7	96.052
P560	SB102	Ⅰ A11e	20.6	95.977
P561	SB108	Ⅰ A11e	23.9	95.959
P562	SB102	Ⅰ A11e	10.6	96.098
P563	SB108	Ⅰ A11e	23.9	95.979
P564	SB102	Ⅰ A11e	15.2	96.058
P565	SB105	Ⅰ A11e	19.6	96.018
P566	SB108	Ⅰ A11e	15.0	96.048
P567	SB108	Ⅰ A11e	8.1	96.115
P568	SB105	Ⅰ A11e	17.6	96.009
P569	SB108	Ⅰ A11f	5.8	96.115
P570	SB102	Ⅰ A11f	11.8	96.016
P571	SB114	Ⅰ A11f	35.5	95.782
P572	SB108	Ⅰ A11f	13.3	96.022
P573	SB102	Ⅰ A11f	9.0	96.043
P574	SB108	Ⅰ A11f	5.8	96.047
P575		Ⅰ A11f	5.7	96.052
P576	SB114	Ⅰ A11f	27.7	95.803
P577		Ⅰ A11g	15.5	95.998
P578	SB114	Ⅰ A11g	28.0	95.886
P579	SB107	Ⅰ A11g	9.2	96.060
P580	SB103	Ⅰ A11g	17.4	95.991
P581	SB114	Ⅰ A11g	21.5	95.893
P582	SB103	Ⅰ A11g	19.5	95.842
P583	SB107	Ⅰ A11g	25.3	95.771
P584	SB114	Ⅰ A12g	16.5	95.840
P585	SB111	Ⅰ A16h	31.8	95.731
P586		Ⅰ A11h	19.3	95.912
P587		Ⅰ A11h	15.1	96.040
P588		Ⅰ A11h	20.3	96.004
P589	SB103	Ⅰ A11h	33.3	95.886
P590	SB113	Ⅰ A11h	23.5	95.942
P591	SB113	Ⅰ A11h	31.5	95.854
P592	SB113	Ⅰ A11h	25.5	95.896
P593	SB107	Ⅰ A11h	44.4	95.729
P594	SB107	Ⅰ A11h	7.9	96.078
P595	SB107	Ⅰ A11h	44.3	95.755
P596	SB107	Ⅰ A11h	12.9	96.105
P597	SB113	Ⅰ A11h	25.8	95.929
P598		Ⅰ A11h	31.0	95.909
P599		Ⅰ A11i	14.3	96.056
P600		Ⅰ A11i	10.8	96.069
P601	SB113	Ⅰ A11i	29.2	95.869
P602	SB113	Ⅰ A11i	11.0	96.036
P603	SB113	Ⅰ A11i	22.7	95.915
P604		Ⅰ A11i	52.1	95.618
P605	SB113	Ⅰ A11j	26.2	95.840
P606	SB113	Ⅰ A11i	22.2	95.928
P607	SB109	Ⅰ A11j	41.8	95.641
P608		Ⅰ A11j	17.7	95.870
P609		Ⅰ A11j	31.0	95.740
P610	SB109	Ⅰ A11j	42.0	95.605
P611		Ⅰ A11j	11.3	95.914
P612	SB136	Ⅰ A9t	56.4	95.282
P613	SB136	Ⅰ A9t	48.6	95.372
P614	SB137	Ⅰ A9s	24.9	95.627
P615	SB133	Ⅰ A9s	38.0	95.423
P616	SB130	Ⅰ A9t	14.3	95.713
P617	SB136	Ⅰ A9t	24.0	95.603
P618	SB136	Ⅰ A9t	58.9	95.249
P619		Ⅰ A9t	7.6	95.757
P620	SB137	Ⅰ A9t	19.8	95.683
P621	SB133	Ⅰ A9t	17.5	95.690
P622		Ⅰ A9t	13.6	95.708
P623	SB136	Ⅰ A9t	10.1	95.685
P624	SB130	Ⅰ A9t	16.7	95.668
P625	SB136	Ⅰ A9t	21.1	95.592
P626	SB137	Ⅰ A9t	25.5	95.609
P627		Ⅰ A10t	18.2	95.665
P628	SB136	Ⅰ A10t	13.7	95.715
P629		Ⅰ A10t	12.6	95.738
P630		Ⅰ A10t	7.9	95.818
P631		Ⅰ A10t	19.2	95.679
P632		Ⅰ A10t	36.8	95.511
P633		Ⅰ A10t	14.2	95.638
P634	SB136	Ⅰ A10t	27.4	95.512
P635	SI8	Ⅰ A10t	18.1	95.544
P636	SI8	Ⅰ A10t	15.2	95.647
P637	SI8	Ⅰ A10t	25.6	95.583
P638	SB136	Ⅰ A10t	15.0	95.628
P639	SI8	Ⅰ A10t	15.6	95.633
P640	SB133	Ⅰ A10t	10.6	95.752
P641		Ⅰ A11t	13.0	95.691
P642	SI8	Ⅰ A11t	10.8	95.660
P643	SI8	Ⅰ B10a	23.0	95.578
P644	SI8	Ⅰ A11t	10.4	95.588
P645		Ⅰ A14t	11.1	95.711
P646	SB122	Ⅰ A11q	29.5	95.673
P647	SB128	Ⅰ A11q	21.9	95.735
P648	SB122	Ⅰ A11q	13.1	95.834
P649	SB122	Ⅰ A11q	11.9	95.909
P650		Ⅰ A11q	22.0	95.676
P651	SB128	Ⅰ A11q	19.3	95.730
P652		Ⅰ A11q	7.7	95.863
P653	SB122	Ⅰ A11q	27.5	95.688
P654	植栽痕か	Ⅰ A11n	6.8	95.947
P655	植栽痕	Ⅰ A10n	15.0	95.869
P656		Ⅰ A11n	18.5	95.825
P657	SB126	Ⅰ A10n	18.0	95.802
P658	SB126	Ⅰ A11n	10.2	95.900
P659		Ⅰ A11n	9.1	95.898
P660		Ⅰ A11n	4.3	95.971
P661		Ⅰ A11o	5.9	95.890
P662	SB126	Ⅰ A11o	16.2	95.809
P663	SB128	Ⅰ A11o	6.6	95.899
P664		Ⅰ A11o	9.5	95.826
P665	SB122	Ⅰ A11o	12.2	95.847
P666	SB126	Ⅰ A11o	17.9	95.786
P667	SB128	Ⅰ A11o	5.0	95.907
P668	SB122	Ⅰ A11p	18.5	95.799
P669	欠番			
P670	SB122	Ⅰ A11p	28.8	95.660
P671		Ⅰ A11p	7.7	95.898
P672	SB122	Ⅰ A11p	11.1	95.875
P673		Ⅰ A11p	11.6	95.861
P674	SB124	Ⅰ A10q	11.1	95.850
P675	SB124	Ⅰ A10q	7.8	95.835
P676		Ⅰ A10r	24.7	95.616
P677	SB124	Ⅰ A10r	25.5	95.674
P678		Ⅰ A10s	46.5	95.401
P679	SB133	Ⅰ A10s	48.5	95.352
P680	SB133	Ⅰ A10s	60.3	95.246
P681		Ⅰ A10s	42.1	95.395
P682		Ⅰ A10s	41.7	95.398
P683		Ⅰ A10s	9.1	95.776
P684		Ⅰ A10s	15.6	95.676
P685	欠番			
P686		Ⅰ A10s	21.8	95.643
P687		Ⅰ A10s	38.0	95.502
P688		Ⅰ A10s	13.1	95.729
P689	SB136	Ⅰ A10s	41.7	95.445
P690	SB133	Ⅰ A10s	25.4	95.573
P691	SB136	Ⅰ A10s	39.6	95.263
P692		Ⅰ A10s	8.4	95.753
P693	SB124	Ⅰ A9q	17.4	95.740
P694	SB124	Ⅰ A9r	24.1	95.698
P695	SB133	Ⅰ A9s	16.7	95.628
P696		Ⅰ A9s	21.3	95.591
P697	SB133	Ⅰ A9s	47.0	95.331
P698		Ⅰ A9s	13.2	95.702
P699	欠番			
P700	欠番			
P701	SB137	Ⅰ A9s	38.7	95.469
P702		Ⅰ A9s	7.8	95.739
P703	SB137	Ⅰ A9s	9.9	95.642
P704		Ⅰ A5t	18.1	95.581
P705	SB131	Ⅰ A5t	34.8	95.417
P706		Ⅰ A5t	16.9	95.564
P707		Ⅰ A5t	19.5	95.537
P708		Ⅰ A5t	22.2	95.480
P709		Ⅰ A5t	26.8	95.425
P710		Ⅰ A4t	12.2	95.574
P711		Ⅰ A4t	29.7	95.375
P712		Ⅰ A4t	25.1	95.427
P713		Ⅰ A4t	25.6	95.366
P714		Ⅰ A4t	4.7	95.567
P715		Ⅰ A3t	15.9	95.468
P716		Ⅰ A3t	15.5	95.489
P717		Ⅰ A3t	10.6	95.500
P718		Ⅰ A3t	11.7	95.475
P719	欠番			
P720		Ⅰ A3s	26.7	95.441
P721		Ⅰ A3s	24.0	95.469
P722		Ⅰ A3s	14.3	95.551
P723		Ⅰ A3s	24.2	95.460
P724		Ⅰ A2s	12.7	95.642
P725		Ⅰ A2s	32.5	95.365
P726		Ⅰ A2s	30.8	95.309
P727		Ⅰ A2s	12.5	95.548
P728		Ⅰ A9a	14.7	96.064
P729		Ⅰ A9a	2.6	96.110
P730		Ⅰ A9b	7.1	96.061
P731		Ⅰ A10b	6.6	96.055
P732		Ⅰ A10d	8.8	96.109
P733		Ⅰ A10d	9.6	96.137
P734	欠番			
P735		Ⅰ A10f	9.3	96.021
P736		Ⅰ A10f	16.2	96.011
P737		Ⅰ A10f	4.7	96.030
P738	SB105	Ⅰ A11f	23.7	95.896
P739	欠番			
P740	SB107	Ⅰ A10g	13.0	96.041
P741		Ⅰ A11g	9.4	96.095
P742	SB107	Ⅰ A10g	30.1	95.847
P743	SB103	Ⅰ A10g	8.7	96.055
P744	SB107	Ⅰ A10g	25.1	95.889
P745	SB103	Ⅰ A10g	10.0	96.038
P746		Ⅰ A10h	22.3	95.976
P747		Ⅰ A10i	17.2	95.926

第 4 表　柱穴一覧表④

柱穴番号	遺構名	グリッド	深さ(cm)	底面標高(m)
P748		Ⅰ A10i	8.0	96.004
P749		Ⅰ A10j	9.6	95.948
P750	欠番			
P751	SB109	Ⅰ A10j	36.7	95.708
P752	SB109	Ⅰ A10k	13.5	95.908
P753	SB123	Ⅰ A10k	11.9	95.894
P754	SB109	Ⅰ A10k	11.2	95.866
P755	欠番			
P756		Ⅰ A10k	8.9	95.952
P757	SB123	Ⅰ A10k	18.1	95.834
P758	SB109	Ⅰ A10k	17.0	95.838
P759		Ⅰ A10l	10.9	95.981
P760	SB109	Ⅰ A10l	6.4	95.944
P761		Ⅰ A10l	36.1	95.645
P762	SB119	Ⅰ A10l	18.2	95.774
P763	植栽痕	Ⅰ A10m	6.5	95.907
P764	植栽痕	Ⅰ A10m	7.2	95.922
P765	植栽痕か	Ⅰ A10m	19.8	95.726
P766	植栽痕	Ⅰ A10n	10.2	95.837
P767	植栽痕	Ⅰ A9n	8.5	95.881
P768	植栽痕	Ⅰ A10n	4.5	95.861
P769	植栽痕	Ⅰ A10n	8.1	95.859
P770	植栽痕	Ⅰ A10n	17.2	95.844
P771	SB126	Ⅰ A10n	13.1	95.858
P772	SB119	Ⅰ A11m	11.7	95.864
P773	SB119	Ⅰ A11l	17.0	95.836
P774	SB119	Ⅰ A11l	13.1	95.880
P775	SB109	Ⅰ A11l	27.5	95.749
P776		Ⅰ A11l	20.1	95.817
P777	SB119	Ⅰ A11l	3.9	95.967
P778		Ⅰ A11l	23.9	95.773
P779		Ⅰ A11l	18.7	95.833
P780		Ⅰ A11l	19.8	95.789
P781	SB126	Ⅰ A10o	13.6	95.809
P782	SB126	Ⅰ A10o	12.5	95.852
P783	SB121	Ⅰ A10o	20.0	95.813
P784	植栽痕	Ⅰ A10o	5.3	95.852
P785	SB121	Ⅰ A10o	17.1	95.740
P786	植栽痕	Ⅰ A10o	10.5	95.912
P787	欠番			
P788	SB123	Ⅰ A11k	7.1	95.923
P789	SB109	Ⅰ A11k	22.4	95.739
P790	SB109	Ⅰ A11k	20.5	95.779
P791		Ⅰ A11l	10.6	95.888
P792	SB123	Ⅰ A11k	9.1	95.937
P793	SB123	Ⅰ A11k	12.1	95.876
P794		Ⅰ A11k	9.6	95.874
P795	SB123	Ⅰ A11k	15.8	95.846
P796		Ⅰ A12l	10.8	95.867
P797	SB156	Ⅰ A7b	27.7	95.909
P798		Ⅰ A7b	35.7	95.812
P799		Ⅰ A7b	22.3	95.961
P800		Ⅰ A7b	14.5	96.050
P801	SB156	Ⅰ A7b	19.4	95.984
P802	SB156	Ⅰ A7b	21.2	96.003
P803		Ⅰ A7b	14.9	96.120
P804		Ⅰ A7b	16.2	96.089
P805		Ⅰ A7b	7.5	96.163
P806		Ⅰ A7b	13.7	96.111
P807		Ⅰ A7b	20.4	96.024
P808	SB156	Ⅰ A7b	33.2	95.909
P809		Ⅰ A7b	21.4	96.017
P810		Ⅰ A7b	8.5	96.139
P811		Ⅰ A7b	12.7	96.091
P812		Ⅰ A7b	12.0	96.113
P813		Ⅰ A7b	17.8	95.990
P814		Ⅰ A7b	19.8	96.015
P815	SB156	Ⅰ A7b	25.5	95.924
P816		Ⅰ A7b	8.7	96.125
P817	SB156	Ⅰ A7b	17.2	96.048
P818		Ⅰ A7b	16.8	96.068
P819		Ⅰ A7b	8.3	96.108
P820		Ⅰ A7b	14.4	96.069
P821		Ⅰ A8b	26.6	95.993
P822	SB156	Ⅰ A8b	31.5	95.914
P823	SB156	Ⅰ A8a	15.4	96.175
P824		Ⅰ A8a	17.3	96.063
P825		Ⅰ A7c	11.2	96.088
P826	SB156	Ⅰ A7c	19.4	96.003
P827		Ⅰ A7c	11.0	96.102
P828		Ⅰ A7c	16.0	96.059
P829		Ⅰ A7c	45.2	95.740
P830		Ⅰ A7c	30.8	95.903
P831		Ⅰ A7c	10.2	96.090
P832		Ⅰ A7c	13.0	96.101
P833		Ⅰ A7c	9.6	96.114
P834		Ⅰ A7c	11.2	96.079
P835		Ⅰ A7c	12.4	96.059
P836		Ⅰ A7c	15.8	96.018
P837		Ⅰ A7c	18.8	96.005
P838		Ⅰ A7c	13.6	96.112
P839		Ⅰ A7c	13.5	96.115
P840		Ⅰ A7c	11.3	96.111
P841		Ⅰ A7c	15.2	96.078
P842		Ⅰ A7c	15.4	96.038
P843		Ⅰ A7c	16.9	96.047
P844		Ⅰ A9f	9.4	96.029
P845		Ⅰ A8a	15.4	96.188
P846		Ⅰ A8a	11.4	96.224
P847		Ⅰ A9f	8.3	96.063
P848	欠番			
P849		Ⅰ A9h	18.2	95.987
P850	SB156	Ⅰ A8c	22.8	96.003
P851	SB126	Ⅰ A10p	15.6	95.851
P852	SB121	Ⅰ A10p	19.8	95.826
P853	SB124	Ⅰ A10p	8.8	95.900
P854		Ⅰ A10p	19.6	95.791
P855	SB126	Ⅰ A10p	24.1	95.759
P856	SB121	Ⅰ A10p	31.7	95.694
P857	欠番			
P858		Ⅰ A10p	9.9	95.898
P859		Ⅰ A10p	22.1	95.761
P860		Ⅰ A10p	22.9	95.754
P861	SB124	Ⅰ A10p	15.7	95.792
P862		Ⅰ A9p	15.7	95.782
P863	SB121	Ⅰ A9p	24.1	95.707
P864		Ⅰ A9p	18.9	95.780
P865		Ⅰ A9p	20.1	95.747
P866	欠番			
P867		Ⅰ A9p	21.4	95.627
P868	SB126	Ⅰ A9p	23.0	95.702
P869		Ⅰ A9m	14.8	95.787
P870		Ⅰ A9m	11.5	95.861
P871		Ⅰ A9m	27.2	95.677
P872		Ⅰ A9m	15.1	95.815
P873	SB20	Ⅰ A9m	35.2	95.621
P874	植栽痕	Ⅰ A9n	7.6	95.895
P875	植栽痕	Ⅰ A9n	10.4	95.885
P876		Ⅰ A8r	29.5	95.503
P877	SB126	Ⅰ A9n	13.4	95.821
P878	植栽痕	Ⅰ A9o	12.6	95.875
P879	SB126	Ⅰ A9n	15.9	95.770
P880	SB121	Ⅰ A9o	24.5	95.717
P881	SB20	Ⅰ A9m	16.4	95.827
P882		Ⅰ A8r	31.2	95.570
P883		Ⅰ A8o	17.6	95.753
P884	SB66	Ⅰ A8o	23.2	95.743
P885	SB52	Ⅰ A8o	16.9	95.786
P886	SB55	Ⅰ A8q	22.8	95.598
P887	SB55	Ⅰ A8q	23.6	95.633
P888		Ⅰ A8q	18.2	95.656
P889	SB55	Ⅰ A8q	28.5	95.581
P890		Ⅰ A8q	27.5	95.564
P891		Ⅰ A8p	8.2	95.841
P892	SB55	Ⅰ A8p	30.0	95.633
P893		Ⅰ A8p	21.6	95.748
P894		Ⅰ A7r	16.4	95.639
P895		Ⅰ A7r	8.0	95.663
P896		Ⅰ A7r	40.0	95.373
P897		Ⅰ A7r	7.0	95.642
P898		Ⅰ A7r	32.9	95.458
P899		Ⅰ A7r	28.6	95.436
P900		Ⅰ A7r	24.9	95.531
P901		Ⅰ A6r	25.9	95.521
P902		Ⅰ A6r	20.4	95.620
P903		Ⅰ A6r	16.3	95.663
P904		Ⅰ A6r	23.0	95.606
P905	SB93	Ⅰ A6r	8.2	95.704
P906		Ⅰ A6r	23.2	95.610
P907		Ⅰ A9i	10.1	96.037
P908		Ⅰ A8n	4.4	95.914
P909		Ⅰ A8n	25.4	95.706
P910		Ⅰ A8n	13.1	95.806
P911	SB16	Ⅰ A8n	16.3	95.791
P912		Ⅰ A8n	11.4	95.879
P913		Ⅰ A8n	11.8	95.815
P914	SB66	Ⅰ A8n	11.3	95.863
P915		Ⅰ A8n	2.7	95.922
P916		Ⅰ A8n	16.6	95.785
P917		Ⅰ A7i	1.8	95.924
P918	SB10	Ⅰ A7i	24.0	95.781
P919		Ⅰ A7i	16.1	95.944
P920		Ⅰ A7i	10.0	96.043
P921		Ⅰ A8g	26.5	95.875
P922		Ⅰ A8g	27.3	95.888
P923	SB7	Ⅰ A7e	25.9	95.868
P924	SB6	Ⅰ A7e	30.3	95.831
P925	SB7	Ⅰ A7e	11.5	96.067
P926	SB5	Ⅰ A7e	15.8	95.991
P927		Ⅰ A7e	14.6	95.991
P928	SB7	Ⅰ A7e	28.2	95.846
P929	SB7	Ⅰ A7e	20.5	95.930
P930	SB6	Ⅰ A7e	32.7	95.810
P931		Ⅰ A7e	16.3	95.934
P932	SB5	Ⅰ A7e	13.4	96.023
P933		Ⅰ A8i	11.9	96.039
P934		Ⅰ A8i	15.2	95.964
P935		Ⅰ A8i	20.7	95.919
P936		Ⅰ A8i	16.4	95.955
P937		Ⅰ A8i	11.8	96.006
P938		Ⅰ A8i	16.1	95.955
P939		Ⅰ A8i	16.4	95.907
P940		Ⅰ A8i	7.2	95.954
P941	SB10	Ⅰ A8j	19.3	95.841
P942		Ⅰ A8i	11.4	96.002
P943		Ⅰ A8i	15.6	95.926
P944	SB10	Ⅰ A8i	15.0	95.903
P945		Ⅰ A8i	14.8	95.947
P946		Ⅰ A8j	8.3	95.906
P947		Ⅰ A8j	8.6	95.915
P948		Ⅰ A8j	9.4	95.931
P949	SB15	Ⅰ A8j	10.5	95.941
P950	SB12	Ⅰ A8j	23.2	95.842
P951	SB15	Ⅰ A8j	9.2	95.868
P952	SB12	Ⅰ A8j	5.0	95.919
P953		Ⅰ A8j	7.6	95.844
P954	SB10	Ⅰ A8j	23.2	95.738
P955	SB10	Ⅰ A8k	26.2	95.711
P956	SB18	Ⅰ A8k	7.6	95.865
P957	SB15	Ⅰ A8k	6.7	95.899
P958	SB12	Ⅰ A8k	9.9	95.871
P959		Ⅰ A8k	4.4	95.936
P960	欠番			
P961		Ⅰ A8k	33.5	95.648
P962	SB18	Ⅰ A8k	26.1	95.697
P963	SB12	Ⅰ A8k	24.2	95.694
P964		Ⅰ A8k	4.2	95.945
P965	SB15	Ⅰ A8k	12.9	95.820
P966	SB21	Ⅰ A8k	23.9	95.724
P967	SB18	Ⅰ A8l	24.9	95.770
P968		Ⅰ A8l	6.9	95.972
P969		Ⅰ A8l	30.8	95.668
P970	SB21	Ⅰ A8l	23.2	95.765
P971	SB21	Ⅰ A8k	2.4	95.915
P972		Ⅰ A8l	8.9	95.907
P973	SB13	Ⅰ A8l	19.5	95.817
P974		Ⅰ A8l	4.4	95.964
P975		Ⅰ A8l	16.4	95.867
P976	SB21	Ⅰ A8l	10.2	95.878
P977		Ⅰ A8l	17.8	95.850
P978		Ⅰ A8l	26.0	95.796
P979	SB18	Ⅰ A8l	16.4	95.858
P980	SB21	Ⅰ A8l	36.1	95.687
P981	SB16	Ⅰ A8l	22.2	95.791
P982	SB21	Ⅰ A8l	19.2	95.793
P983		Ⅰ A8l	15.0	95.832
P984		Ⅰ A8l	9.6	95.923
P985		Ⅰ A8l	32.1	95.658
P986		Ⅰ A8l	11.9	95.892
P987	SB13	Ⅰ A8l	24.2	95.761
P988	SB16	Ⅰ A8m	37.6	95.610
P989	SB13	Ⅰ A8m	33.8	95.661
P990		Ⅰ A8m	8.1	95.864
P991		Ⅰ A8m	7.6	95.869
P992	SB16	Ⅰ A8m	14.5	95.826
P993		Ⅰ A8m	9.0	95.894
P994		Ⅰ A8m	17.9	95.832
P995		Ⅰ A8m	11.2	95.856
P996	SB13	Ⅰ A8m	14.6	95.787

第 4 表　柱穴一覧表⑤

柱穴番号	遺構名	グリッド	深さ(cm)	底面標高(m)
P997		Ⅰ A8m	18.6	95.834
P998		Ⅰ A8m	15.6	95.830
P999		Ⅰ A8m	14.8	95.800
P1000		Ⅰ A8m	5.9	95.912
P1001	SB21	Ⅰ A8m	2.5	95.908
P1002	SB20	Ⅰ A9m	12.9	95.818
P1003	SB20	Ⅰ A8m	11.1	95.839
P1004	SB20	Ⅰ A8m	12.8	95.811
P1005	SB16	Ⅰ A8m	15.3	95.783
P1006	SB5	Ⅰ A7f	20.6	95.943
P1007	SB6	Ⅰ A7f	17.1	96.010
P1008	SB5	Ⅰ A7f	18.7	95.951
P1009	SB6	Ⅰ A7f	17.6	95.961
P1010	欠番			
P1011	SB7	Ⅰ A7f	14.9	95.994
P1012		Ⅰ A7f	21.4	95.953
P1013	SB6	Ⅰ A7f	38.3	95.792
P1014	欠番			
P1015	欠番			
P1016	欠番			
P1017	SB7	Ⅰ A7f	20.3	95.931
P1018	SB5	Ⅰ A7f	24.3	95.917
P1019	SB5	Ⅰ A7f	31.2	95.840
P1020	SB6	Ⅰ A7f	29.4	95.841
P1021	SB8	Ⅰ A7f	20.1	95.951
P1022	SB7	Ⅰ A7f	34.1	95.786
P1023		Ⅰ A7f	25.8	95.898
P1024		Ⅰ A7f	16.0	95.944
P1025	SB8	Ⅰ A7f	27.8	95.823
P1026		Ⅰ A7f	22.3	95.915
P1027		Ⅰ A7f	23.6	95.865
P1028		Ⅰ A6f	6.7	96.049
P1029		Ⅰ A7f	10.8	96.037
P1030	SB7	Ⅰ A7f	18.5	95.951
P1031		Ⅰ A7g	15.0	95.991
P1032		Ⅰ A7g	20.5	95.892
P1033		Ⅰ A6g	30.4	95.747
P1034	欠番			
P1035	SB5	Ⅰ A7g	31.2	95.799
P1036	SB5	Ⅰ A7g	13.5	96.008
P1037	SB6	Ⅰ A7g	11.3	96.028
P1038	欠番			
P1039	SB7	Ⅰ A7g	26.3	95.821
P1040	SB8	Ⅰ A7g	12.6	95.974
P1041	SB6	Ⅰ A7g	26.7	95.866
P1042		Ⅰ A7g	15.0	95.981
P1043		Ⅰ A7g	23.8	95.882
P1044		Ⅰ A7g	24.8	95.862
P1045	SB5	Ⅰ A7g	19.2	95.903
P1046	SB6	Ⅰ A7g	23.3	95.871
P1047		Ⅰ A7g	25.5	95.841
P1048	SB7	Ⅰ A7g	20.4	95.897
P1049		Ⅰ A7g	17.0	95.914
P1050	欠番			
P1051		Ⅰ A7g	45.2	95.708
P1052	SB9	Ⅰ A7g	26.4	95.878
P1053	SB5	Ⅰ A7g	21.7	95.921
P1054		Ⅰ A7g	16.7	95.928
P1055	SB9	Ⅰ A7g	20.9	95.866
P1056		Ⅰ A7g	12.8	95.995
P1057		Ⅰ A7g	22.8	95.862
P1058	欠番			
P1059	欠番			
P1060	SB7	Ⅰ A7g	15.0	95.967
P1061		Ⅰ A6e	17.1	95.979
P1062	SB7	Ⅰ A6e	14.3	95.982
P1063	SB5	Ⅰ A6e	22.8	95.894
P1064	SB5	Ⅰ A7e	21.6	95.924
P1065	SB8	Ⅰ A6e	15.5	95.971
P1066	SB6	Ⅰ A6e	26.6	95.842
P1067		Ⅰ A5e	5.0	96.048
P1068		Ⅰ A5e	11.5	95.962
P1069		Ⅰ A5e	7.3	95.997
P1070	SB5	Ⅰ A6f	25.3	95.871
P1071	SB6	Ⅰ A6f	29.1	95.814
P1072	SB6	Ⅰ A6f	20.5	95.932
P1073	SB5	Ⅰ A6f	23.1	95.907
P1074	SB7	Ⅰ A6f	20.1	95.915
P1075		Ⅰ A6f	23.5	95.881
P1076	SB6	Ⅰ A6f	30.4	95.847
P1077	SB5	Ⅰ A6g	28.8	95.837
P1078	SB5	Ⅰ A6g	18.8	95.938
P1079	SB7	Ⅰ A6g	28.2	95.822
P1080	SB7	Ⅰ A6g	28.3	95.812
P1081		Ⅰ A6g	19.9	95.890
P1082		Ⅰ A6g	9.6	96.012
P1083	SB5	Ⅰ A6g	24.0	95.864
P1084		Ⅰ A6g	15.6	95.934
P1085	SB7	Ⅰ A6g	15.9	95.897
P1086	SB6	Ⅰ A6g	11.9	95.958
P1087	SB6	Ⅰ A6g	22.4	95.863
P1088		Ⅰ A6g	21.9	95.859
P1089	SB5	Ⅰ A6g	11.6	95.944
P1090		Ⅰ A6g	31.6	95.779
P1091	SB9	Ⅰ A6g	19.3	95.862
P1092		Ⅰ A6g	14.4	95.948
P1093	SB7	Ⅰ A6g	15.6	95.944
P1094		Ⅰ A5g	10.4	95.949
P1095	SB1	Ⅰ A5g	36.7	95.657
P1096	SB1	Ⅰ A5g	27.6	95.756
P1097	SB1	Ⅰ A5g	19.7	95.834
P1098	SB1	Ⅰ A5g	28.5	95.699
P1099	SB1	Ⅰ A5g	23.5	95.802
P1100		Ⅰ A5g	15.6	95.891
P1101	SB1	Ⅰ A5g	32.4	95.744
P1102	SB1	Ⅰ A5g	30.7	95.656
P1103	欠番			
P1104		Ⅰ A6g	9.7	95.954
P1105		Ⅰ A6h	16.4	95.886
P1106	SB9	Ⅰ A6g	10.8	95.958
P1107	SB1	Ⅰ A6h	30.1	95.694
P1108		Ⅰ A7i	12.1	95.975
P1109	SB10	Ⅰ A7j	28.1	95.741
P1110	SB10	Ⅰ A7j	22.4	95.699
P1111		Ⅰ A7j	9.5	95.905
P1112	SB15	Ⅰ A7j	12.5	95.858
P1113	SB12	Ⅰ A7j	37.9	95.631
P1114	SB15	Ⅰ A7j	11.9	95.858
P1115		Ⅰ A7j	9.2	95.912
P1116		Ⅰ A7j	7.0	95.871
P1117		Ⅰ A7j	15.4	95.797
P1118	SB12	Ⅰ A7j	13.9	95.825
P1119		Ⅰ A7k	9.6	95.825
P1120	SB15	Ⅰ A7k	13.2	95.780
P1121	SB9	Ⅰ A6h	3.4	95.721
P1122	SB10	Ⅰ A7k	18.3	95.734
P1123	SB18	Ⅰ A7k	13.6	95.756
P1124	SB12	Ⅰ A7k	5.2	95.855
P1125		Ⅰ A7k	4.1	95.849
P1126	欠番			
P1127	欠番			
P1128	SB18	Ⅰ A7k	21.4	95.697
P1129		Ⅰ A7k	6.5	95.826
P1130	SB12	Ⅰ A7k	14.9	95.767
P1131		Ⅰ A7k	6.9	95.823
P1132	SB15	Ⅰ A7k	10.8	95.799
P1133	SB25	Ⅰ A7k	18.4	95.722
P1134		Ⅰ A7k	27.4	95.615
P1135	SB25	Ⅰ A7k	4.4	95.848
P1136	SB166	Ⅰ A7k	18.6	95.694
P1137		Ⅰ A7k	11.1	95.783
P1138		Ⅰ A7k	34.2	95.612
P1139	SB18	Ⅰ A7l	26.7	95.693
P1140	SB168	Ⅰ A7l	42.5	95.463
P1141		Ⅰ A7l	10.0	95.830
P1142	SB18	Ⅰ A7l	37.4	95.587
P1143	SB13	Ⅰ A7l	36.7	95.614
P1144		Ⅰ A7l	10.2	95.872
P1145		Ⅰ A7l	39.0	95.553
P1146		Ⅰ A7l	6.3	95.885
P1147		Ⅰ A7l	49.7	95.439
P1148		Ⅰ A7l	9.0	95.843
P1149		Ⅰ A7l	11.7	95.847
P1150		Ⅰ A7l	11.5	95.832
P1151	SB25	Ⅰ A7l	33.3	95.587
P1152	SB11	Ⅰ A7l	18.5	95.732
P1153		Ⅰ A7l	6.3	95.872
P1154		Ⅰ A7l	17.9	95.785
P1155		Ⅰ A7l	31.1	95.686
P1156		Ⅰ A7l	48.3	95.514
P1157		Ⅰ A7l	20.1	95.709
P1158		Ⅰ A7l	16.4	95.787
P1159		Ⅰ A7l	22.3	95.731
P1160		Ⅰ A7l	10.3	95.854
P1161		Ⅰ A7l	9.2	95.857
P1162		Ⅰ A7l	5.0	95.871
P1163	SB11	Ⅰ A7l	15.5	95.819
P1164	SB16	Ⅰ A7l	48.7	95.511
P1165	SB11	Ⅰ A7l	16.3	95.820
P1166		Ⅰ A16h	10.8	96.026
P1167		Ⅰ A7l	25.4	95.638
P1168		Ⅰ A7l	4.9	95.896
P1169		Ⅰ A7l	5.6	95.870
P1170	SB21	Ⅰ A7m	37.5	95.596
P1171	SB13	Ⅰ A7m	26.3	95.710
P1172		Ⅰ A7m	21.4	95.762
P1173		Ⅰ A7l	26.9	95.702
P1174		Ⅰ A7m	15.6	95.763
P1175		Ⅰ A7m	11.9	95.802
P1176		Ⅰ A7m	7.7	95.826
P1177		Ⅰ A7m	44.4	95.496
P1178		Ⅰ A7m	30.9	95.727
P1179		Ⅰ A7m	9.3	95.891
P1180	SB11	Ⅰ A7m	21.7	95.769
P1181	SB13	Ⅰ A7m	27.7	95.713
P1182		Ⅰ A7m	12.8	95.880
P1183		Ⅰ A7m	5.2	95.900
P1184	欠番			
P1185	SB11	Ⅰ A7m	26.1	95.681
P1186		Ⅰ A7m	8.2	95.840
P1187		Ⅰ A7m	24.9	95.750
P1188		Ⅰ A7m	24.9	95.750
P1189		Ⅰ A7m	21.2	95.742
P1190	SB11	Ⅰ A7m	20.1	95.808
P1191	SB57	Ⅰ A6m	24.4	95.692
P1192		Ⅰ A7m	19.8	95.775
P1193		Ⅰ A7m	19.4	95.786
P1194		Ⅰ A7m	17.7	95.786
P1195		Ⅰ A7m	21.3	95.790
P1196		Ⅰ A7m	9.0	95.885
P1197	SB11	Ⅰ A7m	5.0	95.925
P1198	SB19	Ⅰ A7n	23.1	95.739
P1199		Ⅰ A7n	11.2	95.827
P1200		Ⅰ A7n	18.9	95.751
P1201	SB16	Ⅰ A7n	17.9	95.796
P1202		Ⅰ A7n	20.4	95.766
P1203	SB19	Ⅰ A7n	16.7	95.822
P1204		Ⅰ A7n	19.1	95.808
P1205	SB138	Ⅰ A7n	9.3	95.846
P1206	SB19	Ⅰ A7n	6.2	95.838
P1207		Ⅰ A7n	19.5	95.783
P1208	SB3	Ⅰ A7n	26.9	95.729
P1209	SB3	Ⅰ A7n	14.0	95.857
P1210		Ⅰ A7n	5.5	95.936
P1211		Ⅰ A7n	4.9	95.848
P1212		Ⅰ A7n	11.6	95.882
P1213	SB19	Ⅰ A7n	6.0	95.922
P1214		Ⅰ A7n	12.6	95.822
P1215		Ⅰ A7n	28.8	95.701
P1216		Ⅰ A7n	16.9	95.813
P1217		Ⅰ A7n	19.5	95.778
P1218	SB3	Ⅰ A7n	59.1	95.384
P1219		Ⅰ A7n	27.3	95.713
P1220		Ⅰ A7n	5.7	95.788
P1221	SB138	Ⅰ A6n	8.3	95.831
P1222	SB78	Ⅰ A7n	9.4	95.871
P1223		Ⅰ A7n	13.4	95.824
P1224		Ⅰ A7n	6.3	95.891
P1225	SB19	Ⅰ A7n	16.2	95.784
P1226	SB78	Ⅰ A7n	19.2	95.748
P1227		Ⅰ A7n	17.1	95.816
P1228		Ⅰ A7n	10.6	95.843
P1229	SB66	Ⅰ A7o	14.9	95.815
P1230	欠番			
P1231		Ⅰ A7o	12.9	95.862
P1232	SB3	Ⅰ A7o	46.6	95.531
P1233	SB52	Ⅰ A7o	13.4	95.823
P1234	SB78	Ⅰ A7o	18.0	95.774
P1235	SB3	Ⅰ A7o	26.4	95.626
P1236		Ⅰ A7o	18.0	95.883
P1237	SB3	Ⅰ A7o	13.6	96.097
P1238	SB52	Ⅰ A7o	13.9	95.838
P1239		Ⅰ A7o	17.0	95.799
P1240	SB160	Ⅰ A7o	19.9	95.765
P1241		Ⅰ A7o	20.6	95.752
P1242	欠番			
P1243	SB160	Ⅰ A7o	21.1	95.766
P1244		Ⅰ A7o	17.6	95.819
P1245		Ⅰ A7o	12.7	95.835

第4表　柱穴一覧表⑥

柱穴番号	遺構名	グリッド	深さ(cm)	底面標高(m)
P1246		Ⅰ A7o	22.6	95.742
P1247		Ⅰ A7o	23.0	95.766
P1248		Ⅰ A7o	9.3	95.872
P1249		Ⅰ A7o	24.0	95.707
P1250	SB52	Ⅰ A7o	34.2	95.603
P1251		Ⅰ A7o	22.2	95.732
P1252		Ⅰ A7o	16.8	95.785
P1253		Ⅰ A7o	7.3	95.888
P1254		Ⅰ A7o	12.8	95.805
P1255		Ⅰ A7o	15.7	95.741
P1256	SB78	Ⅰ A7o	16.5	95.756
P1257	欠番			
P1258	SB160	Ⅰ A7o	17.1	95.771
P1259		Ⅰ A7o	7.8	95.866
P1260	SB52	Ⅰ A7o	17.0	95.765
P1261	SB3	Ⅰ A7o	6.4	95.880
P1262	SB82	Ⅰ A7o	8.6	95.861
P1263		Ⅰ A7o	9.5	95.854
P1264	SB78	Ⅰ A7o	18.8	95.749
P1265		Ⅰ A7o	9.6	95.812
P1266	SB160	Ⅰ A7o	14.2	95.799
P1267	SB98	Ⅰ A7o	28.6	95.622
P1268		Ⅰ A7o	19.6	95.725
P1269	SB164	Ⅰ A7o	26.9	95.642
P1270		Ⅰ A7o	5.6	95.865
P1271		Ⅰ A7o	10.5	95.809
P1272		Ⅰ A7o	47.3	95.876
P1273		Ⅰ A7o	35.3	95.570
P1274		Ⅰ A7o	31.4	95.676
P1275		Ⅰ A7o	47.4	95.826
P1276	SB66	Ⅰ A7o	42.3	95.762
P1277		Ⅰ A7p	35.9	95.679
P1278	SB150	Ⅰ A6o	44.3	95.736
P1279		Ⅰ A7o	43.3	95.836
P1280	SB66	Ⅰ A7o	38.3	95.799
P1281	SB154	Ⅰ A7o	31.6	95.725
P1282	SB160	Ⅰ A7p	42.1	95.814
P1283		Ⅰ A7p	48.4	95.853
P1284	SB3	Ⅰ A7p	38.8	95.764
P1285	SB82	Ⅰ A7p	44.8	95.783
P1286	SB3	Ⅰ A7p	56.8	95.330
P1287	SB164	Ⅰ A7p	19.0	95.665
P1288	SB52	Ⅰ A7p	44.0	95.774
P1289		Ⅰ A7p	44.2	95.788
P1290	SB160	Ⅰ A7p	36.6	95.720
P1291		Ⅰ A7p	43.2	95.753
P1292	SB3	Ⅰ A7p	23.0	95.635
P1293	SB162	Ⅰ A6p	29.9	95.585
P1294		Ⅰ A7p	43.1	95.750
P1295	SB162	Ⅰ A7p	44.9	95.804
P1296	SB162	Ⅰ A7p	34.1	95.704
P1297	SB78	Ⅰ A7p	11.7	95.751
P1298		Ⅰ A7p	4.6	95.804
P1299	欠番			
P1300	SB52	Ⅰ A7p	11.2	95.768
P1301		Ⅰ A7p	39.6	95.751
P1302	SB98	Ⅰ A7p	26.8	95.782
P1303	SB160	Ⅰ A7p	17.1	95.692
P1304	SB164	Ⅰ A7p	11.9	95.652
P1305	SB3	Ⅰ A7p	34.3	95.282
P1306	SB158	Ⅰ A6p	14.8	95.697
P1307	SB152	Ⅰ A7p	25.0	95.811
P1308	SB154	Ⅰ A7p	14.9	95.701
P1309		Ⅰ A7p	15.8	95.745
P1310	SB152	Ⅰ A7q	6.7	95.596
P1311	SB160	Ⅰ A7p	21.5	95.734
P1312		Ⅰ A7p	10.2	95.771
P1313	SB78	Ⅰ A7p	19.1	95.700
P1314		Ⅰ A6p	22.9	95.783
P1315		Ⅰ A7q	17.9	95.710
P1316		Ⅰ A7q	14.2	95.716
P1317	SB78	Ⅰ A6q	12.0	95.795
P1318	SB78	Ⅰ A7q	20.6	95.653
P1319	SB86	Ⅰ A7q	19.5	95.703
P1320	SB3	Ⅰ A7q	27.8	95.608
P1321	SB55	Ⅰ A7q	13.9	95.760
P1322		Ⅰ A7q	14.8	95.721
P1323		Ⅰ A7q	30.3	95.585
P1324		Ⅰ A7q	22.1	95.638
P1325		Ⅰ A7q	33.9	95.511
P1326		Ⅰ A7q	33.3	95.554
P1327		Ⅰ A7q	45.4	95.418
P1328		Ⅰ A7q	21.8	95.658
P1329	SB86	Ⅰ A7p	25.0	95.633
P1330		Ⅰ A6p	21.8	95.760
P1331	SB3	Ⅰ A6p	41.1	95.479
P1332		Ⅰ A6p	23.1	95.800
P1333	SB1	Ⅰ A5i	39.6	95.639
P1334		Ⅰ A6i	21.2	95.842
P1335	SB1	Ⅰ A6i	72.0	95.853
P1336		Ⅰ A6i	54.9	95.756
P1337		Ⅰ A6i	66.9	95.864
P1338	SB17	Ⅰ A6i	56.8	95.760
P1339	欠番			
P1340		Ⅰ A6i	57.6	95.779
P1341	SB1	Ⅰ A6i	27.9	95.756
P1342	SB1	Ⅰ A6j	18.5	95.818
P1343		Ⅰ A6j	16.2	95.847
P1344	SB1	Ⅰ A6j	17.5	95.840
P1345		Ⅰ A6j	6.1	95.928
P1346		Ⅰ A6j	7.2	95.893
P1347		Ⅰ A6j	17.3	95.830
P1348		Ⅰ A6j	16.4	95.789
P1349		Ⅰ A6j	14.3	95.791
P1350	SB63	Ⅰ A6j	16.3	95.835
P1351		Ⅰ A6j	25.1	95.723
P1352		Ⅰ A6j	14.8	95.821
P1353	SB1	Ⅰ A6j	12.0	95.821
P1354	SB53	Ⅰ A6j	18.9	95.747
P1355		Ⅰ A6i	58.1	95.853
P1356		Ⅰ A6j	24.0	95.690
P1357		Ⅰ A5h	37.5	95.861
P1358	SB1	Ⅰ A5h	28.7	95.785
P1359	SB1	Ⅰ A5h	38.9	95.858
P1360	SB1	Ⅰ A5h	25.1	95.732
P1361	欠番			
P1362	欠番			
P1363		Ⅰ A5h	44.9	95.947
P1364	SB1	Ⅰ A5h	32.1	95.796
P1365	SI7（旧期）	Ⅰ A5h	38.3	95.631
P1366	SI7（新期）	Ⅰ A5h	35.7	95.803
P1367	SI7（旧期）	Ⅰ A5h	9.7	95.562
P1368	欠番			
P1369	SI7（新期）	Ⅰ A5h	64.7	95.365
P1370	欠番			
P1371	SI7	Ⅰ A5h	48.1	95.541
P1372		Ⅰ A5h	43.6	95.947
P1373	SI7（新期）	Ⅰ A4h	26.3	95.208
P1374	SI7（旧期）	Ⅰ A5h	9.2	95.540
P1375		Ⅰ A4h	24.8	95.686
P1376		Ⅰ A5h	41.3	95.861
P1377	SB1	Ⅰ A5i	30.3	95.727
P1378	SB1	Ⅰ A5i	28.5	95.752
P1379	SI7（旧期）	Ⅰ A5i	52.4	95.499
P1380	SI7	Ⅰ A5i	36.8	95.614
P1381		Ⅰ A5i	44.9	95.560
P1382	欠番			
P1383	欠番			
P1384		Ⅰ A5i	37.9	95.820
P1385	SB14	Ⅰ A5i	3.3	95.445
P1386	SB17	Ⅰ A5i	43.7	95.547
P1387		Ⅰ A5i	41.9	95.861
P1388	SB17	Ⅰ A5i	30.1	95.641
P1389	SB14	Ⅰ A5i	42.8	95.611
P1390		Ⅰ A5i	35.5	95.677
P1391		Ⅰ A5i	36.3	95.757
P1392		Ⅰ A4i	40.7	95.799
P1393	欠番			
P1394	欠番			
P1395		Ⅰ A5i	12.4	95.901
P1396		Ⅰ A5i	18.2	95.818
P1397		Ⅰ A5i	25.7	95.753
P1398		Ⅰ A5i	44.5	95.592
P1399	SB19	Ⅰ A7o	7.3	95.895
P1400		Ⅰ A5i	32.0	95.698
P1401		Ⅰ A5i	20.3	95.566
P1402		Ⅰ A5i	37.9	95.756
P1403		Ⅰ A5i	34.6	95.752
P1404		Ⅰ A5i	9.5	95.835
P1405		Ⅰ A5i	17.3	95.771
P1406		Ⅰ A5i	29.2	95.751
P1407		Ⅰ A5i	25.3	95.717
P1408	SB1	Ⅰ A5j	32.1	95.666
P1409		Ⅰ A5j	28.7	95.671
P1410	SB14	Ⅰ A5j	38.5	95.561
P1411	SB14	Ⅰ A5j	50.0	95.428
P1412		Ⅰ A5j	20.0	95.749
P1413	SB83	Ⅰ A5j	16.9	95.834
P1414	SB63	Ⅰ A5j	25.7	95.667
P1415		Ⅰ A5j	23.2	95.743
P1416	SB17	Ⅰ A5j	24.8	95.754
P1417		Ⅰ A5j	17.2	95.803
P1418		Ⅰ A5j	27.0	95.771
P1419	SB37	Ⅰ A5j	24.9	95.690
P1420		Ⅰ A5j	14.6	95.826
P1421		Ⅰ A5j	11.9	95.903
P1422	SB63	Ⅰ A5j	25.3	95.768
P1423		Ⅰ A5j	16.7	95.821
P1424	SB37	Ⅰ A5j	16.2	95.808
P1425	SB71	Ⅰ A5j	23.2	95.732
P1426	SB80	Ⅰ A5j	59.8	95.352
P1427	SB37	Ⅰ A5j	31.6	95.569
P1428	SB37	Ⅰ A5j	41.1	95.525
P1429	SB53	Ⅰ A5j	15.8	95.786
P1430		Ⅰ A5j	14.5	95.770
P1431		Ⅰ A5k	15.9	95.684
P1432	SB167	Ⅰ A5k	16.6	95.690
P1433	SB71	Ⅰ A5k	50.2	95.400
P1434	SB1	Ⅰ A5k	21.5	95.691
P1435	SB1	Ⅰ A5k	15.9	95.731
P1436	SB60	Ⅰ A5k	9.3	95.805
P1437	SB168	Ⅰ A5k	28.4	95.495
P1438	SB1	Ⅰ A5k	14.7	95.651
P1439	SB1	Ⅰ A5k	27.8	95.590
P1440		Ⅰ A5k	7.7	95.805
P1441	SB25	Ⅰ A5k	36.4	95.401
P1442	SB167	Ⅰ A5k	33.6	95.478
P1443	欠番			
P1444		Ⅰ A5k	29.9	95.503
P1445		Ⅰ A5k	32.5	95.411
P1446	SB46	Ⅰ A5k	31.9	95.549
P1447		Ⅰ A5k	21.9	95.576
P1448	SB71	Ⅰ A5k	80.7	95.802
P1449		Ⅰ A5k	7.8	95.835
P1450	SB25	Ⅰ A5k	38.8	95.509
P1451	SB83	Ⅰ A5k	27.5	95.541
P1452		Ⅰ A5k	43.0	95.441
P1453	SB168	Ⅰ A5k	17.0	95.726
P1454		Ⅰ A5k	7.7	95.775
P1455	SB80	Ⅰ A5k	10.8	95.748
P1456	SB37	Ⅰ A5k	4.4	95.855
P1457	SB167	Ⅰ A5k	8.0	95.769
P1458	SB31	Ⅰ A5k	50.8	95.523
P1459	SB25	Ⅰ A5k	72.5	95.714
P1460	SB37	Ⅰ A5k	57.5	95.563
P1461	SB60	Ⅰ A5k	70.2	95.703
P1462	SB2	Ⅰ A5k	76.3	95.759
P1463	SB168	Ⅰ A5k	49.2	95.485
P1464		Ⅰ A5k	67.5	95.709
P1465	SB37	Ⅰ A5k	77.2	95.490
P1466		Ⅰ A5k	79.4	95.844
P1467	SB80	Ⅰ A5k	38.2	95.450
P1468	SB46	Ⅰ A5k	39.1	95.432
P1469		Ⅰ A5k	43.4	95.410
P1470		Ⅰ A5k	54.8	95.569
P1471	SB63	Ⅰ A5k	66.0	95.638
P1472		Ⅰ A5l	78.5	95.771
P1473		Ⅰ A6k	8.7	95.850
P1474		Ⅰ A6k	23.0	95.671
P1475	SB1	Ⅰ A6k	14.6	95.771
P1476	SB167	Ⅰ A6k	11.7	95.789
P1477	SB2	Ⅰ A6k	77.3	95.366
P1478	SB63	Ⅰ A6k	16.1	95.725
P1479	SB60	Ⅰ A6k	10.3	95.815
P1480		Ⅰ A6k	2.1	95.897
P1481		Ⅰ A6k	6.0	95.861
P1482		Ⅰ A6k	10.6	95.812
P1483	SB25	Ⅰ A6k	11.8	95.746
P1484	SB46	Ⅰ A6k	43.2	95.456
P1485		Ⅰ A6k	5.3	95.837
P1486		Ⅰ A6k	8.2	95.868
P1487		Ⅰ A7k	7.0	95.836
P1488	SB60	Ⅰ A6k	35.2	95.543
P1489	SB25	Ⅰ A6k	30.5	95.556
P1490		Ⅰ A6k	17.2	95.702
P1491	SB167	Ⅰ A6k	37.9	95.424
P1492	SB166	Ⅰ A6k	35.2	95.498
P1493		Ⅰ A6k	4.8	95.819
P1494	SB168	Ⅰ A6k	38.8	95.468

第 4 表　柱穴一覧表⑦

柱穴番号	遺構名	グリッド	深さ(cm)	底面標高(m)
P1495	SB167	Ⅰ A6k	36.6	95.508
P1496	SB2	Ⅰ A6k	11.3	95.774
P1497	SB166	Ⅰ A6k	17.9	95.686
P1498		Ⅰ A6k	5.1	95.820
P1499		Ⅰ A6k	5.3	95.831
P1500		Ⅰ A6k	40.6	95.458
P1501		Ⅰ A6k	3.2	95.839
P1502		Ⅰ A6k	14.6	95.522
P1503	SB166	Ⅰ A6k	18.7	95.370
P1504		Ⅰ A6k	48.4	95.396
P1505	SB2	Ⅰ A6k	31.7	95.545
P1506	SB60	Ⅰ A6l	9.9	95.610
P1507		Ⅰ A6l	27.7	95.801
P1508		Ⅰ A6l	26.5	95.828
P1509	SB46	Ⅰ A6k	15.2	95.438
P1510	SB168	Ⅰ A6k	4.4	95.549
P1511	欠番			
P1512		Ⅰ A6l	11.2	95.680
P1513	SB166	Ⅰ A6l	44.1	95.395
P1514	SB2	Ⅰ A6l	38.3	95.510
P1515	SB99	Ⅰ A6l	18.8	95.381
P1516		Ⅰ A6k	13.3	95.792
P1517		Ⅰ A6k	7.5	95.846
P1518		Ⅰ A6k	6.8	95.841
P1519	SB53	Ⅰ A6l	23.4	95.638
P1520	SB2	Ⅰ A6l	23.9	95.605
P1521		Ⅰ A6l	32.7	95.559
P1522		Ⅰ A6l	9.1	95.777
P1523	欠番			
P1524	SB2	Ⅰ A6l	10.1	95.793
P1525		Ⅰ A6l	25.4	95.639
P1526	SB42	Ⅰ A6l	46.7	95.442
P1527	SB25	Ⅰ A6l	68.9	95.738
P1528	SB69	Ⅰ A6l	10.1	95.664
P1529	SB77	Ⅰ A6l	27.4	95.839
P1530	SB25	Ⅰ A6l	5.0	95.570
P1531	SB60	Ⅰ A6l	11.8	95.637
P1532	SB74	Ⅰ A6l	6.7	95.595
P1533		Ⅰ A6l	9.1	95.787
P1534	SB46	Ⅰ A6l	11.7	95.654
P1535		Ⅰ A6l	8.9	95.806
P1536		Ⅰ A6l	14.9	95.690
P1537	SB74	Ⅰ A6l	52.4	95.567
P1538	SB99	Ⅰ A6l	6.1	95.539
P1539		Ⅰ A6l	8.4	95.859
P1540		Ⅰ A6l	9.8	95.833
P1541		Ⅰ A6l	52.7	95.403
P1542		Ⅰ A6l	20.0	95.682
P1543	SB94	Ⅰ A6l	59.0	95.661
P1544	SB167	Ⅰ A6l	11.8	95.759
P1545	SB45	Ⅰ A6l	69.7	95.763
P1546	欠番			
P1547	SB2	Ⅰ A6l	28.6	95.591
P1548	SB2	Ⅰ A6l	23.4	95.775
P1549		Ⅰ A6l	21.8	95.784
P1550	SB99	Ⅰ A6l	24.7	95.815
P1551		Ⅰ A6l	23.9	95.791
P1552	SB11	Ⅰ A6l	23.2	95.797
P1553		Ⅰ A6l	21.6	95.755
P1554		Ⅰ A6l	9.4	95.510
P1555		Ⅰ A6l	15.8	95.759
P1556	SB168	Ⅰ A6l	37.2	95.554
P1557		Ⅰ A6l	41.2	95.506
P1558		Ⅰ A6l	23.5	95.810
P1559	SB46	Ⅰ A6m	19.0	95.710
P1560		Ⅰ A6m	48.2	95.377
P1561		Ⅰ A6l	61.2	95.694
P1562	SB29	Ⅰ A6l	75.7	95.825
P1563	SB69	Ⅰ A6l	69.8	95.773
P1564	SB99	Ⅰ A6l	13.3	95.793
P1565	SB166	Ⅰ A6m	21.9	95.404
P1566	SB168	Ⅰ A6m	19.9	95.454
P1567	SB167	Ⅰ A5l	47.9	95.525
P1568	SB77	Ⅰ A6l	52.1	95.585
P1569	SB46	Ⅰ A5l	31.7	95.608
P1570		Ⅰ A6l	76.2	95.801
P1571		Ⅰ A5l	6.6	95.828
P1572		Ⅰ A5l	78.6	95.842
P1573		Ⅰ A5l	44.1	95.480
P1574	SB167	Ⅰ A5l	49.0	95.532
P1575	SB60	Ⅰ A5l	60.0	95.702
P1576		Ⅰ A6k	15.4	95.680
P1577	欠番			
P1578	SB37	Ⅰ A5l	60.3	95.659
P1579		Ⅰ A5l	27.9	95.508
P1580	SB25	Ⅰ A5l	62.9	95.623
P1581	SB42	Ⅰ A5l	74.5	95.750
P1582		Ⅰ A5l	72.6	95.801
P1583	SB46	Ⅰ A5l	38.1	95.383
P1584	SB77	Ⅰ A5l	55.0	95.604
P1585		Ⅰ A5l	67.4	95.710
P1586	SB45	Ⅰ A5l	58.3	95.612
P1587	SB23	Ⅰ A5l	47.9	95.492
P1588	SB167	Ⅰ A5l	40.0	95.414
P1589	SB74	Ⅰ A5l	25.2	95.635
P1590		Ⅰ A5l	42.4	95.403
P1591		Ⅰ A5l	17.1	95.662
P1592		Ⅰ A5l	26.5	95.564
P1593		Ⅰ A5l	27.6	95.551
P1594	SB2	Ⅰ A5l	31.3	95.339
P1595	SB80	Ⅰ A4l	42.5	95.431
P1596		Ⅰ A5l	69.9	95.752
P1597		Ⅰ A5l	76.4	95.811
P1598	SB23	Ⅰ A5l	39.4	95.413
P1599		Ⅰ A5l	50.3	95.531
P1600	SB94	Ⅰ A5l	20.4	95.715
P1601		Ⅰ A5l	67.7	95.750
P1602	SB168	Ⅰ A5l	27.3	95.560
P1603	SB167	Ⅰ A5l	41.2	95.412
P1604	SB69	Ⅰ A5m	44.3	95.433
P1605	SB29	Ⅰ A5m	53.2	95.292
P1606	SB166	Ⅰ A5m	32.3	95.514
P1607	SB168	Ⅰ A5l	41.7	95.411
P1608	SB167	Ⅰ A5l	36.2	95.371
P1609	SB45	Ⅰ A5l	44.4	95.382
P1610	SB141	Ⅰ A5l	32.4	95.509
P1611	SB2	Ⅰ A5m	40.0	95.471
P1612	SB46	Ⅰ A5l	45.4	95.400
P1613		Ⅰ A5l	68.5	95.720
P1614		Ⅰ A5m	52.5	95.534
P1615		Ⅰ A5m	76.2	95.787
P1616		Ⅰ A5l	16.9	95.683
P1617		Ⅰ A5l	70.2	95.756
P1618		Ⅰ A5m	6.8	95.779
P1619		Ⅰ A5m	44.3	95.412
P1620	SB166	Ⅰ A5m	62.9	95.184
P1621		Ⅰ A5l	33.1	95.572
P1622	SB60	Ⅰ A5l	18.9	95.714
P1623	SB37	Ⅰ A4k	9.5	95.685
P1624	SB1	Ⅰ A4k	7.4	95.706
P1625	SB167	Ⅰ A4k	23.0	95.552
P1626	SB168	Ⅰ A4k	27.0	95.493
P1627	SB2	Ⅰ A4k	25.2	95.526
P1628	SB70	Ⅰ A4k	11.8	95.625
P1629	SB37	Ⅰ A4k	32.6	95.407
P1630		Ⅰ A4k	12.2	95.638
P1631		Ⅰ A4k	9.6	95.705
P1632		Ⅰ A4k	8.3	95.697
P1633	SB167	Ⅰ A4k	23.4	95.560
P1634	SB83	Ⅰ A4k	11.2	95.636
P1635		Ⅰ A4k	4.6	95.726
P1636	SB27	Ⅰ A4k	29.3	95.481
P1637	SB71	Ⅰ A4k	24.4	95.550
P1638	SB167	Ⅰ A4k	22.1	95.568
P1639	SB1	Ⅰ A4k	18.5	95.583
P1640	SB1	Ⅰ A4k	17.2	95.617
P1641	SB2	Ⅰ A4k	12.0	95.659
P1642	SB80	Ⅰ A4k	12.9	95.620
P1643	SB31	Ⅰ A4k	17.1	95.566
P1644		Ⅰ A4k	17.1	95.566
P1645		Ⅰ A4k	11.4	95.644
P1646		Ⅰ A4k	29.6	95.473
P1647	SB37	Ⅰ A4k	28.4	95.462
P1648	SB167	Ⅰ A4k	9.6	95.659
P1649	SB166	Ⅰ A4k	9.0	95.640
P1650	SB37	Ⅰ A4k	22.3	95.529
P1651	SB83	Ⅰ A5k	38.2	95.374
P1652		Ⅰ A4k	41.2	95.380
P1653	SB166	Ⅰ A4k	41.5	95.341
P1654	SB2	Ⅰ A4l	40.3	95.373
P1655	SB48	Ⅰ A4k	36.5	95.410
P1656	SB69	Ⅰ A6m	98.2	95.820
P1657	SB74	Ⅰ A6m	28.1	95.598
P1658	SB2	Ⅰ A6m	65.0	95.455
P1659	SB168	Ⅰ A6m	12.1	95.757
P1660	SB45	Ⅰ A6m	98.5	95.836
P1661		Ⅰ A6m	20.6	95.741
P1662		Ⅰ A6m	98.4	95.851
P1663	SB69	Ⅰ A6m	4.6	95.854
P1664		Ⅰ A6m	91.3	95.763
P1665		Ⅰ A6m	12.9	95.804
P1666		Ⅰ A6m	15.2	95.800
P1667	SB2	Ⅰ A6m	15.2	95.783
P1668	SB168	Ⅰ A6m	15.2	95.782
P1669		Ⅰ A6m	25.3	95.729
P1670		Ⅰ A6m	19.8	95.763
P1671	SB74	Ⅰ A6m	47.9	95.433
P1672		Ⅰ A6m	41.8	95.482
P1673		Ⅰ A6m	34.2	95.668
P1674	SB166	Ⅰ A6m	23.9	95.648
P1675		Ⅰ A6m	8.6	95.873
P1676		Ⅰ A6m	9.2	95.896
P1677	SB11	Ⅰ A6m	32.6	95.677
P1678		Ⅰ A6m	7.1	95.917
P1679		Ⅰ A6m	5.7	95.928
P1680		Ⅰ A6m	11.2	95.877
P1681	SB11	Ⅰ A6m	14.5	95.811
P1682	SB57	Ⅰ A6m	34.1	95.626
P1683		Ⅰ A6m	16.1	95.814
P1684	SB2	Ⅰ A6m	29.4	95.778
P1685		Ⅰ A6m	25.0	95.678
P1686	SB77	Ⅰ A6m	11.7	95.813
P1687	SB46	Ⅰ A6m	37.2	95.573
P1688	SB2	Ⅰ A6m	45.6	95.450
P1689		Ⅰ A6m	28.0	95.664
P1690		Ⅰ A6n	32.6	95.636
P1691	SB29	Ⅰ A6m	24.7	95.681
P1692	SB94	Ⅰ A6m	15.4	95.789
P1693	SB42	Ⅰ A6m	40.6	95.504
P1694	SB45	Ⅰ A6m	19.1	95.694
P1695	SB23	Ⅰ A5m	18.2	95.688
P1696		Ⅰ A5m	12.4	95.800
P1697	SB69	Ⅰ A5m	10.9	95.810
P1698		Ⅰ A5m	17.9	95.698
P1699	SB42	Ⅰ A5m	17.8	95.710
P1700	SB2	Ⅰ A5m	12.9	95.775
P1701	SB48	Ⅰ A4k	46.3	95.277
P1702		Ⅰ A5m	5.6	95.776
P1703		Ⅰ A5m	10.6	95.713
P1704		Ⅰ A5m	27.5	95.560
P1705	SB97	Ⅰ A5m	16.6	95.658
P1706	SB29	Ⅰ A5m	27.0	95.531
P1707		Ⅰ A5m	35.3	95.479
P1708	SB168	Ⅰ A5m	11.5	95.744
P1709		Ⅰ A5m	7.0	95.750
P1710	SB145	Ⅰ A4m	42.7	95.386
P1711	SB2	Ⅰ A5m	45.3	95.392
P1712		Ⅰ A5m	27.8	95.566
P1713	SB77	Ⅰ A5m	43.4	95.413
P1714	SB23	Ⅰ A5m	23.5	95.566
P1715	SB166	Ⅰ A5m	46.0	95.342
P1716	SB57	Ⅰ A6m	30.2	95.594
P1717	SB74	Ⅰ A5m	27.7	95.557
P1718	SB166	Ⅰ A5m	9.4	95.769
P1719	SB69	Ⅰ A5m	32.5	95.518
P1720		Ⅰ A5m	14.0	95.713
P1721	SB2	Ⅰ A5m	38.1	95.454
P1722	SB45	Ⅰ A5m	37.6	95.476
P1723	SB46	Ⅰ A5m	42.2	95.426
P1724		Ⅰ A5m	3.9	95.808
P1725		Ⅰ A5m	29.8	95.536
P1726	SB42	Ⅰ A5m	45.5	95.373
P1727	SB91	Ⅰ A5m	12.7	95.708
P1728		Ⅰ A5m	21.8	95.661
P1729	SB87	Ⅰ A5m	19.3	95.628
P1730		Ⅰ A5m	15.3	95.724
P1731	SB94	Ⅰ A5m	39.8	95.480
P1732	SB57	Ⅰ A5m	28.0	95.594
P1733	SB2	Ⅰ A5m	34.6	95.523
P1734		Ⅰ A5m	4.3	95.822
P1735		Ⅰ A5m	6.0	95.794
P1736	SB67	Ⅰ A5m	13.9	95.681
P1737	SB23	Ⅰ A5m	22.2	95.586
P1738	SB94	Ⅰ A5m	9.6	95.717
P1739	SB2	Ⅰ A5m	7.7	95.725
P1740	SB23	Ⅰ A5m	45.6	95.368
P1741	SB94	Ⅰ A5m	15.3	95.725
P1742	SB145	Ⅰ A5m	43.3	95.406
P1743	SB45	Ⅰ A5m	27.2	95.512

第 4 表　柱穴一覧表⑧

柱穴番号	遺構名	グリッド	深さ（cm）	底面標高（m）
P1744	SB23	Ⅰ A5m	19.4	95.601
P1745	SB97	Ⅰ A5m	18.3	95.614
P1746		Ⅰ A5m	11.8	95.716
P1747	SB67	Ⅰ A5m	11.3	95.679
P1748		Ⅰ A5n	7.2	95.804
P1749		Ⅰ A4e	9.3	95.959
P1750		Ⅰ A4e	5.1	95.987
P1751		Ⅰ A4e	28.1	95.773
P1752		Ⅰ A4e	10.8	95.933
P1753		Ⅰ A4e	10.8	95.795
P1754		Ⅰ A4e	8.7	95.970
P1755		Ⅰ A4e	4.6	95.954
P1756		Ⅰ A4e	16.8	95.850
P1757		Ⅰ A4e	11.9	95.809
P1758		Ⅰ A4e	6.2	95.921
P1759	欠番			
P1760		Ⅰ A4f	6.9	95.979
P1761		Ⅰ A4f	8.7	95.952
P1762		Ⅰ A4f	6.8	95.967
P1763		Ⅰ A4f	6.0	95.934
P1764		Ⅰ A4f	11.7	95.864
P1765		Ⅰ A4f	5.8	95.998
P1766		Ⅰ A4f	7.6	95.961
P1767		Ⅰ A4f	13.2	95.864
P1768		Ⅰ A4f	3.8	96.012
P1769		Ⅰ A4g	28.2	95.740
P1770		Ⅰ A4g	27.9	95.761
P1771		Ⅰ A4g	10.8	95.922
P1772	SB1	Ⅰ A4g	19.0	95.796
P1773	SB1	Ⅰ A4g	30.5	95.650
P1774	SB1	Ⅰ A4g	28.0	95.716
P1775		Ⅰ A4g	24.9	95.748
P1776	SB1	Ⅰ A4g	24.1	95.700
P1777	SB1	Ⅰ A4g	32.7	95.595
P1778	SB1	Ⅰ A4g	33.5	95.579
P1779	欠番			
P1780		Ⅰ A3e	6.6	95.917
P1781		Ⅰ A3e	13.7	95.832
P1782		Ⅰ A3e	4.3	95.931
P1783		Ⅰ A3e	2.1	95.961
P1784		Ⅰ A3e	6.9	95.884
P1785		Ⅰ A3e	8.1	95.888
P1786		Ⅰ A3e	10.1	95.844
P1787		Ⅰ A3e	6.2	95.856
P1788		Ⅰ A3e	12.7	95.825
P1789		Ⅰ A3f	7.9	95.872
P1790	欠番			
P1791	SI6	Ⅰ A3f	78.7	95.140
P1792	SI6	Ⅰ A3f	60.8	95.270
P1793	SI6	Ⅰ A3f	80.3	95.095
P1794	SI6	Ⅰ A3g	65.8	95.165
P1795	SI6	Ⅰ A2g	71.7	95.114
P1796	SI6	Ⅰ A3f	80.7	95.127
P1797	SI6	Ⅰ A2f	81.9	95.056
P1798		Ⅰ A2e	8.2	95.878
P1799		Ⅰ A2e	23.1	95.715
P1800		Ⅰ A2e	6.3	95.878
P1801		Ⅰ A3f	10.5	95.783
P1802		Ⅰ A3g	13.6	95.812
P1803		Ⅰ A2e	7.8	95.871
P1804		Ⅰ A3f	16.7	95.755
P1805		Ⅰ A2f	17.7	95.725
P1806		Ⅰ A2e	6.1	95.885
P1807		Ⅰ A2e	5.9	95.879
P1808		Ⅰ A2e	11.6	95.830
P1809		Ⅰ A1e	8.4	95.821
P1810		Ⅰ A2e	10.1	95.819
P1811		Ⅰ A2e	7.1	95.872
P1812		Ⅰ A2f	17.6	95.729
P1813		Ⅰ A1e	7.1	95.841
P1814		Ⅰ A1e	16.7	95.724
P1815		Ⅰ A1e	6.7	95.841
P1816		Ⅰ A1e	7.9	95.837
P1817		Ⅰ A1f	16.0	95.743
P1818		Ⅰ A1e	12.9	95.794
P1819		Ⅰ A1e	4.9	95.829
P1820		Ⅰ A1e	4.7	95.841
P1821		Ⅰ A1e	4.3	95.754
P1822	欠番			
P1823		Ⅰ A1e	16.4	95.716
P1824	SI7（新期）	Ⅰ A5h	53.1	95.471
P1825		Ⅰ A2g	60.1	95.295
P1826	SI6	Ⅰ A2g	57.8	95.273
P1827		Ⅰ A2g	60.3	95.288
P1828	欠番			
P1829		Ⅰ A2g	5.2	95.808
P1830		Ⅰ A2g	10.8	95.746
P1831		Ⅰ A2g	27.6	95.632
P1832	SI6	Ⅰ A2g	74.9	95.137
P1833		Ⅰ A2g	15.6	95.712
P1834		Ⅰ A2f	13.3	95.708
P1835		Ⅰ A1f	13.2	95.777
P1836		Ⅰ A1f	21.1	95.707
P1837		Ⅰ A1f	12.6	95.766
P1838		Ⅰ A1f	18.5	95.709
P1839		Ⅰ A1f	16.8	95.710
P1840		Ⅰ A1f	20.5	95.708
P1841		Ⅰ A1f	11.9	95.765
P1842		Ⅰ A1f	7.6	95.827
P1843		Ⅰ A1f	7.4	95.845
P1844		Ⅰ A1f	23.2	95.698
P1845		Ⅰ A1g	22.0	95.685
P1846		Ⅰ A1g	25.8	95.640
P1847		Ⅰ A1g	5.4	95.857
P1848		Ⅰ A1g	28.3	95.610
P1849		Ⅰ A1g	14.9	95.732
P1850		Ⅰ A1g	5.1	95.852
P1851	SI7（新期）	Ⅰ A4i	59.0	95.390
P1852		Ⅰ A4i	15.6	95.769
P1853	SB17	Ⅰ A4i	53.5	95.448
P1854		Ⅰ A4i	56.0	95.388
P1855	SB14	Ⅰ A4i	48.1	95.422
P1856	SB1	Ⅰ A4i	34.7	95.590
P1857	欠番			
P1858	SB1	Ⅰ A4i	39.3	95.488
P1859	SB14	Ⅰ A3i	16.1	95.256
P1860		Ⅰ A1g	7.7	95.764
P1861		Ⅰ A6n	3.1	95.924
P1862		Ⅰ A6n	7.0	95.873
P1863		Ⅰ A6n	23.8	95.710
P1864		Ⅰ A6n	13.6	95.851
P1865		Ⅰ A6n	11.6	95.822
P1866	SB138	Ⅰ A6n	20.6	95.717
P1867	SB3	Ⅰ A6n	29.9	95.591
P1868		Ⅰ A6n	9.4	95.858
P1869		Ⅰ A6n	15.8	95.787
P1870	SB3	Ⅰ A6n	31.3	95.630
P1871	SB3	Ⅰ A6n	30.0	95.612
P1872		Ⅰ A6n	8.7	95.838
P1873	SB57	Ⅰ A6n	23.8	95.671
P1874		Ⅰ A6n	17.3	95.770
P1875		Ⅰ A6n	28.2	95.650
P1876		Ⅰ A6n	7.1	95.895
P1877		Ⅰ A6n	8.4	95.845
P1878		Ⅰ A6n	56.5	95.343
P1879	SB45	Ⅰ A6n	52.5	95.380
P1880	SB3	Ⅰ A6n	67.7	95.229
P1881	SB45	Ⅰ A6n	56.1	95.348
P1882		Ⅰ A5n	32.3	95.563
P1883		Ⅰ A6n	18.5	95.756
P1884	SB138	Ⅰ A6n	13.6	95.792
P1885		Ⅰ A6n	11.0	95.827
P1886	SB146	Ⅰ A6n	8.4	95.819
P1887	SB89	Ⅰ A6n	23.2	95.692
P1888		Ⅰ A6n	23.7	95.733
P1889		Ⅰ A6n	23.3	95.752
P1890	SB82	Ⅰ A6n	15.9	95.794
P1891		Ⅰ A6n	24.0	95.708
P1892	SB89	Ⅰ A6n	24.3	95.706
P1893		Ⅰ A6o	14.1	95.842
P1894	SB29	Ⅰ A5n	11.5	95.732
P1895		Ⅰ A6n	24.4	95.665
P1896	SB29	Ⅰ A5n	9.6	95.740
P1897	SI5	Ⅰ A4i	48.0	95.147
P1898	SB14	Ⅰ A3i	9.6	95.500
P1899		Ⅰ A3i	24.5	95.275
P1900	SB14	Ⅰ A3i	15.2	95.391
P1901		Ⅰ A5n	19.4	95.632
P1902		Ⅰ A5n	6.9	95.728
P1903		Ⅰ A4n	4.8	95.749
P1904	SB91	Ⅰ A5n	7.1	95.733
P1905	SB45	Ⅰ A5n	63.1	95.153
P1906		Ⅰ A5n	15.2	95.676
P1907		Ⅰ A5n	16.3	95.705
P1908		Ⅰ A5n	24.7	95.593
P1909	SB91	Ⅰ A5n	21.3	95.645
P1910	SB3	Ⅰ A5n	42.6	95.422
P1911		Ⅰ A5n	44.5	95.376
P1912	SB57	Ⅰ A5n	26.5	95.613
P1913		Ⅰ A5n	12.6	95.750
P1914		Ⅰ A5n	4.9	95.727
P1915	SB3	Ⅰ A5n	15.8	95.684
P1916		Ⅰ A5n	16.2	95.643
P1917		Ⅰ A5n	17.0	95.640
P1918		Ⅰ A5n	7.8	95.725
P1919	SB85	Ⅰ A5n	19.5	95.578
P1920		Ⅰ A5n	9.4	95.688
P1921		Ⅰ A5n	7.5	95.754
P1922		Ⅰ A5n	3.2	95.800
P1923		Ⅰ A5n	4.7	95.791
P1924		Ⅰ A5n	4.8	95.794
P1925	SB67	Ⅰ A5n	25.2	95.593
P1926	SB85	Ⅰ A5n	14.1	95.705
P1927		Ⅰ A5n	6.4	95.772
P1928	SB67	Ⅰ A5n	16.1	95.664
P1929	SB57	Ⅰ A5n	52.4	95.280
P1930		Ⅰ A4l	4.3	95.713
P1931	SB31	Ⅰ A4l	27.4	95.497
P1932	SB50	Ⅰ A4l	18.6	95.563
P1933		Ⅰ A4l	11.2	95.652
P1934		Ⅰ A4l	43.6	95.314
P1935	SB27	Ⅰ A4l	29.9	95.438
P1936	SB69	Ⅰ A4l	7.5	95.643
P1937	SB53	Ⅰ A4l	30.8	95.467
P1938	SB37	Ⅰ A4l	6.5	95.750
P1939	SB69	Ⅰ A4l	11.5	95.685
P1940	SB80	Ⅰ A4l	27.1	95.538
P1941	SB141	Ⅰ A4l	12.5	95.581
P1942	SB37	Ⅰ A4l	5.2	95.667
P1943		Ⅰ A4l	11.3	95.657
P1944		Ⅰ A4l	8.7	95.741
P1945	SB42	Ⅰ A4l	31.6	95.487
P1946		Ⅰ A4l	5.4	95.754
P1947	SB167	Ⅰ A4l	45.8	95.351
P1948		Ⅰ A4l	8.1	95.754
P1949		Ⅰ A4l	15.8	95.658
P1950		Ⅰ A4l	11.3	95.695
P1951	SB167	Ⅰ A4l	27.2	95.503
P1952	SB42	Ⅰ A4l	13.9	95.620
P1953	SB2	Ⅰ A4l	24.6	95.526
P1954	SB168	Ⅰ A4l	58.2	95.194
P1955	SB50	Ⅰ A4l	14.0	95.645
P1956		Ⅰ A4l	12.5	95.658
P1957	SB31	Ⅰ A4l	29.1	95.490
P1958	SB23	Ⅰ A4l	21.5	95.612
P1959	SB77	Ⅰ A4l	35.0	95.420
P1960	SB87	Ⅰ A4l	32.8	95.463
P1961	SB80	Ⅰ A4l	29.9	95.466
P1962	SB168	Ⅰ A4l	42.7	95.374
P1963	SB23	Ⅰ A4l	64.4	95.168
P1964		Ⅰ A4l	26.0	95.578
P1965	SB168	Ⅰ A4l	40.9	95.384
P1966		Ⅰ A4l	6.0	95.729
P1967		Ⅰ A4l	15.0	95.627
P1968	SB97	Ⅰ A4l	10.9	95.655
P1969	SB2	Ⅰ A4l	19.3	95.559
P1970	SB39	Ⅰ A4l	50.4	95.273
P1971	SB39	Ⅰ A4l	30.3	95.484
P1972	SB50	Ⅰ A4m	34.1	95.436
P1973	SB48	Ⅰ A4l	37.6	95.374
P1974		Ⅰ A4l	11.1	95.654
P1975	SB69	Ⅰ A4m	44.4	95.306
P1976	SB141	Ⅰ A4l	44.2	95.350
P1977	SB69	Ⅰ A4m	48.6	95.309
P1978	SB166	Ⅰ A4m	44.4	95.348
P1979	SB23	Ⅰ A4l	21.1	95.558
P1980		Ⅰ A4l	11.9	95.681
P1981	SB74	Ⅰ A4l	11.6	95.642
P1982		Ⅰ A4l	20.9	95.553
P1983	SB168	Ⅰ A4l	16.9	95.607
P1984		Ⅰ A0f	8.5	95.748
P1985		Ⅰ A0f	10.5	95.769
P1986		Ⅰ A0f	25.2	95.590
P1987		Ⅰ A0g	11.7	95.753
P1988		Ⅰ A0g	12.4	95.648
P1989		Ⅰ A0g	12.4	95.715
P1990		Ⅰ A0f	10.3	95.733
P1991		Ⅰ A0g	7.0	95.779
P1992		Ⅰ A0g	13.7	95.727

第 4 表　柱穴一覧表⑨

柱穴番号	遺構名	グリッド	深さ（cm）	底面標高（m）
P1993	欠番			
P1994	欠番			
P1995		Ⅰ A0g	24.4	95.599
P1996		Ⅰ A0g	4.7	95.811
P1997		Ⅰ A0g	14.0	95.681
P1998		Ⅰ A0g	7.1	95.784
P1999		Ⅰ A6o	53.9	95.395
P2000	SB138	Ⅰ A6o	19.1	95.707
P2001	SB3	Ⅰ A6o	63.7	95.302
P2002		Ⅰ A6o	18.4	95.797
P2003	SB3	Ⅰ A6o	41.1	95.538
P2004	SB138	Ⅰ A6o	12.9	95.808
P2005	SB19	Ⅰ A6o	12.5	95.821
P2006		Ⅰ A6o	14.9	95.812
P2007		Ⅰ A6o	27.1	95.653
P2008	SB57	Ⅰ A6o	40.4	95.538
P2009	SB3	Ⅰ A6o	29.8	95.643
P2010	SB85	Ⅰ A6o	16.7	95.770
P2011	SB66	Ⅰ A6o	15.9	95.792
P2012		Ⅰ A6o	27.5	95.656
P2013		Ⅰ A6o	48.0	95.465
P2014	SB85	Ⅰ A6o	8.8	95.884
P2015		Ⅰ A6o	9.0	95.890
P2016		Ⅰ A6o	16.3	95.759
P2017	SB138	Ⅰ A6o	14.3	95.807
P2018		Ⅰ A6o	28.6	95.657
P2019		Ⅰ A6o	19.2	95.767
P2020		Ⅰ A6o	12.2	95.857
P2021	SB3	Ⅰ A6o	25.8	95.671
P2022	SB154	Ⅰ A6o	41.7	95.514
P2023	SB150	Ⅰ A6o	18.6	95.765
P2024		Ⅰ A6o	10.4	95.853
P2025	SB150	Ⅰ A6o	13.2	95.803
P2026	SB150	Ⅰ A6o	21.1	95.719
P2027	SB146	Ⅰ A6o	17.9	95.743
P2028	SB89	Ⅰ A6o	29.2	95.659
P2029	SB164	Ⅰ A6o	18.6	95.741
P2030	SB138	Ⅰ A6o	11.5	95.813
P2031		Ⅰ A7o	7.4	95.866
P2032		Ⅰ A6o	37.7	95.576
P2033	SB138	Ⅰ A6o	29.4	95.606
P2034	SB82	Ⅰ A6o	3.8	95.889
P2035	SB89	Ⅰ A6o	34.1	95.601
P2036		Ⅰ A6o	24.5	95.669
P2037		Ⅰ A6o	6.8	95.864
P2038	SB165	Ⅰ A6o	17.1	95.742
P2039	SB164	Ⅰ A6o	30.5	95.626
P2040	SB66	Ⅰ A6o	50.6	95.409
P2041	SB138	Ⅰ A6o	8.5	95.837
P2042	SB165	Ⅰ A6o	31.6	95.628
P2043	SB150	Ⅰ A6o	30.9	95.632
P2044		Ⅰ A6o	4.2	95.898
P2045		Ⅰ A6o	11.4	95.783
P2046	SI5	Ⅰ A3i	30.5	95.039
P2047		Ⅰ A3h	19.6	95.728
P2048	SI5	Ⅰ A3i	37.5	95.198
P2049		Ⅰ A3i	29.1	95.408
P2050	SI5	Ⅰ A3i	35.9	95.194
P2051	SB14	Ⅰ A4i	21.4	95.655
P2052	SI4	Ⅰ A3i	26.7	95.012
P2053	SB67	Ⅰ A5o	56.3	95.271
P2054		Ⅰ A5o	6.7	95.785
P2055		Ⅰ A5o	21.2	95.673
P2056		Ⅰ A5o	13.2	95.752
P2057	SB146	Ⅰ A5o	5.4	95.836
P2058		Ⅰ A5o	12.0	95.773
P2059	SB3	Ⅰ A5o	36.9	95.523
P2060		Ⅰ A5o	16.4	95.739
P2061		Ⅰ A5o	16.5	95.777
P2062	SB89	Ⅰ A5o	19.4	95.740
P2063		Ⅰ A5o	11.9	95.800
P2064	SB3	Ⅰ A5o	61.6	95.320
P2065	SB98	Ⅰ A5o	10.1	95.828
P2066	SB57	Ⅰ A5o	44.6	95.485
P2067		Ⅰ A5o	19.3	95.722
P2068		Ⅰ A5o	11.8	95.774
P2069		Ⅰ A5o	6.7	95.827
P2070		Ⅰ A5o	10.3	95.780
P2071		Ⅰ A5o	8.5	95.819
P2072		Ⅰ A5o	8.4	95.831
P2073		Ⅰ A5o	7.7	95.815
P2074	SB150	Ⅰ A5o	5.8	95.856
P2075		Ⅰ A5o	4.0	95.847
P2076		Ⅰ A5o	5.2	95.832
P2077		Ⅰ A5o	15.6	95.679
P2078	SB146	Ⅰ A5o	19.5	95.678
P2079		Ⅰ A5o	4.5	95.871
P2080		Ⅰ A5o	7.6	95.763
P2081	SB89	Ⅰ A5o	10.7	95.813
P2082		Ⅰ A5o	10.7	95.827
P2083	欠番			
P2084	欠番			
P2085	欠番			
P2086	SB85	Ⅰ A5p	9.9	95.768
P2087		Ⅰ A6p	10.6	95.751
P2088		Ⅰ A6p	7.1	95.848
P2089		Ⅰ A6p	28.3	95.584
P2090		Ⅰ A6p	18.3	95.711
P2091		Ⅰ A6p	14.0	95.749
P2092	SB154	Ⅰ A6p	20.9	95.721
P2093	SB152	Ⅰ A6p	4.8	95.870
P2094	SB154	Ⅰ A6p	6.2	95.830
P2095		Ⅰ A6p	10.6	95.808
P2096		Ⅰ A6p	33.0	95.575
P2097		Ⅰ A6p	23.7	95.671
P2098	SB89	Ⅰ A6p	22.2	95.671
P2099	SB140	Ⅰ A6p	17.5	95.737
P2100	SB3	Ⅰ A6p	37.5	95.548
P2101	SB3	Ⅰ A6p	27.7	95.606
P2102	SB85	Ⅰ A6p	18.1	95.693
P2103		Ⅰ A6p	20.0	95.701
P2104	SB162	Ⅰ A6p	19.8	95.710
P2105	SB89	Ⅰ A6p	34.0	95.553
P2106		Ⅰ A6p	9.5	95.814
P2107		Ⅰ A6p	4.4	95.859
P2108	SB82	Ⅰ A6p	14.7	95.755
P2109	SB140	Ⅰ A6p	18.6	95.738
P2110		Ⅰ A6p	6.2	95.859
P2111		Ⅰ A6p	20.2	95.695
P2112		Ⅰ A6p	11.6	95.829
P2113		Ⅰ A6p	31.6	95.617
P2114	SB158	Ⅰ A6p	37.5	95.504
P2115		Ⅰ A6p	24.9	95.631
P2116	SB164	Ⅰ A6p	14.9	95.773
P2117	SB86	Ⅰ A6p	27.7	95.671
P2118		Ⅰ A6p	6.2	95.826
P2119		Ⅰ A6p	14.1	95.733
P2120	SB152	Ⅰ A6p	5.4	95.857
P2121		Ⅰ A6p	18.2	95.701
P2122		Ⅰ A6p	9.2	95.817
P2123		Ⅰ A6p	18.5	95.755
P2124		Ⅰ A6p	7.5	95.883
P2125	SB164	Ⅰ A6p	11.9	95.795
P2126	SB158	Ⅰ A6p	27.0	95.649
P2127	SB96	Ⅰ A6p	22.7	95.709
P2128	欠番			
P2129	SB148	Ⅰ A6p	23.8	95.661
P2130	SB96	Ⅰ A6p	17.1	95.695
P2131		Ⅰ A6p	6.6	95.836
P2132	SB165	Ⅰ A6p	10.8	95.792
P2133	SB82	Ⅰ A6p	5.0	95.848
P2134	SB96	Ⅰ A6p	13.1	95.783
P2135		Ⅰ A6p	10.0	95.818
P2136		Ⅰ A6p	12.6	95.782
P2137	SB158	Ⅰ A6p	11.1	95.788
P2138		Ⅰ A6p	7.5	95.880
P2139	SB144	Ⅰ A6p	21.0	95.690
P2140		Ⅰ A6p	12.5	95.767
P2141	SB148	Ⅰ A6p	11.4	95.824
P2142		Ⅰ A6p	7.8	95.839
P2143	SB86	Ⅰ A6p	34.7	95.543
P2144		Ⅰ A6p	29.0	95.573
P2145	SB165	Ⅰ A6p	24.0	95.613
P2146	欠番			
P2147		Ⅰ A6p	9.1	95.801
P2148		Ⅰ A6p	4.7	95.889
P2149		Ⅰ A6p	4.3	95.827
P2150		Ⅰ A6p	28.9	95.595
P2151	SB98	Ⅰ A6p	18.8	95.732
P2152	SB3	Ⅰ A6p	66.0	95.231
P2153		Ⅰ A6p	22.4	95.666
P2154	SB150	Ⅰ A5p	13.6	95.661
P2155		Ⅰ A5p	9.7	95.743
P2156	SB85	Ⅰ A5p	18.6	95.723
P2157		Ⅰ A5p	14.8	95.825
P2158	SB3	Ⅰ A5p	35.4	95.539
P2159	SB155	Ⅰ A5p	17.2	95.753
P2160	SB89	Ⅰ A5p	26.1	95.649
P2161	SB4	Ⅰ A5p	14.6	95.670
P2162	SB4	Ⅰ A5p	14.2	95.677
P2163	SB4	Ⅰ A5q	13.3	95.709
P2164	SB4	Ⅰ A5q	13.4	95.684
P2165		Ⅰ A5q	17.2	95.664
P2166	SB75	Ⅰ A5q	9.4	95.725
P2167		Ⅰ A5q	21.2	95.597
P2168	SB93	Ⅰ A5q	15.6	95.692
P2169		Ⅰ A5q	7.4	95.745
P2170		Ⅰ A5q	10.8	95.728
P2171		Ⅰ A6o	27.8	95.654
P2172		Ⅰ A5p	14.4	95.804
P2173	SB140	Ⅰ A6p	30.0	95.651
P2174	SB140	Ⅰ A6p	16.4	95.730
P2175	SB146	Ⅰ A5p	16.5	95.687
P2176	欠番			
P2177		Ⅰ A5p	7.7	95.781
P2178	SB155	Ⅰ A5p	27.7	95.574
P2179		Ⅰ A5p	13.8	95.688
P2180		Ⅰ A5p	17.9	95.684
P2181	SB144	Ⅰ A5p	21.9	95.665
P2182		Ⅰ A5p	17.8	95.668
P2183		Ⅰ A5p	5.9	95.780
P2184	SB98	Ⅰ A5p	22.1	95.607
P2185		Ⅰ A5p	41.0	95.458
P2186	SB3	Ⅰ A5p	30.3	95.636
P2187	SB155	Ⅰ A5p	16.6	95.698
P2188	SB96	Ⅰ A5p	10.7	95.764
P2189		Ⅰ A5p	5.4	95.833
P2190	SB89	Ⅰ A5p	32.4	95.548
P2191		Ⅰ A5p	8.6	95.763
P2192	SB140	Ⅰ A5p	24.7	95.640
P2193	SB148	Ⅰ A5p	16.4	95.716
P2194	SB152	Ⅰ A5p	13.0	95.752
P2195	SB96	Ⅰ A5q	21.2	95.622
P2196	SB3	Ⅰ A5q	62.3	95.211
P2197	SB155	Ⅰ A5q	13.4	95.718
P2198	SB152	Ⅰ A5q	37.7	95.456
P2199	SB140	Ⅰ A5q	20.2	95.682
P2200	SB3	Ⅰ A5q	36.0	95.466
P2201	SB3	Ⅰ A6q	34.3	95.523
P2202	SB162	Ⅰ A6q	18.4	95.692
P2203		Ⅰ A6q	23.9	95.660
P2204	SB96	Ⅰ A6q	15.4	95.705
P2205	SB142	Ⅰ A6q	10.1	95.756
P2206		Ⅰ A6q	15.1	95.734
P2207	SB75	Ⅰ A6q	34.3	95.532
P2208	SB3	Ⅰ A6q	32.5	95.560
P2209		Ⅰ A6q	25.0	95.648
P2210	SB158	Ⅰ A6q	29.0	95.590
P2211	欠番			
P2212	SB96	Ⅰ A6q	29.0	95.611
P2213	SB3	Ⅰ A6q	42.3	95.486
P2214	SB162	Ⅰ A6q	10.8	95.806
P2215		Ⅰ A6p	13.1	95.772
P2216	SB142	Ⅰ A6q	28.4	95.589
P2217	SB3	Ⅰ A6q	32.4	95.580
P2218	SB89	Ⅰ A6p	8.5	95.831
P2219		Ⅰ A6q	28.1	95.617
P2220		Ⅰ A6q	32.2	95.549
P2221		Ⅰ A6q	26.4	95.605
P2222		Ⅰ A6q	12.1	95.742
P2223	SB3	Ⅰ A6q	70.2	95.164
P2224	SB158	Ⅰ A6q	18.5	95.697
P2225		Ⅰ A6q	20.0	95.657
P2226		Ⅰ A6q	16.2	95.677
P2227	SB75	Ⅰ A6q	17.2	95.692
P2228	SB144	Ⅰ A6q	17.2	95.709
P2229	SB96	Ⅰ A6q	8.5	95.755
P2230	SB152	Ⅰ A6q	8.4	95.809
P2231	SB140	Ⅰ A6q	4.1	95.859
P2232	SB152	Ⅰ A6q	9.5	95.798
P2233		Ⅰ A6q	4.4	95.847
P2234	SB140	Ⅰ A6q	13.6	95.758
P2235		Ⅰ A6q	22.3	95.660
P2236		Ⅰ A6q	20.6	95.688
P2237	SB148	Ⅰ A6q	23.7	95.649
P2238		Ⅰ A6q	9.2	95.778
P2239		Ⅰ A6q	20.0	95.787
P2240		Ⅰ A6q	28.1	95.588
P2241		Ⅰ A6q	16.3	95.716

第4表　柱穴一覧表⑩

柱穴番号	遺構名	グリッド	深さ(cm)	底面標高(m)
P2242	SB148	Ⅰ A6q	19.0	95.679
P2243	SB93	Ⅰ A6q	22.6	95.692
P2244	SB142	Ⅰ A6q	29.3	95.583
P2245	SB3	Ⅰ A6q	37.7	95.487
P2246	SB93	Ⅰ A6q	25.5	95.639
P2247	SB86	Ⅰ A6q	31.8	95.526
P2248	SB158	Ⅰ A6q	15.6	95.691
P2249	SB165	Ⅰ A6q	20.5	95.668
P2250		Ⅰ A6q	28.1	95.582
P2251	SB142	Ⅰ A6q	26.2	95.622
P2252	SB158	Ⅰ A6q	10.2	95.775
P2253		Ⅰ A6q	14.5	95.779
P2254		Ⅰ A6q	29.2	95.577
P2255	SB144	Ⅰ A6q	22.3	95.634
P2256		Ⅰ A5q	9.3	95.742
P2257	欠番			
P2258	SB155	Ⅰ A5q	7.6	95.754
P2259	SB148	Ⅰ A5q	18.7	95.649
P2260	SB26	Ⅰ A4q	45.5	95.340
P2261	SB93	Ⅰ A5q	21.4	95.617
P2262		Ⅰ A5q	8.5	95.735
P2263	SB144	Ⅰ A5q	14.7	95.682
P2264		Ⅰ A5q	17.2	95.627
P2265		Ⅰ A5q	17.7	95.642
P2266		Ⅰ A5q	5.6	95.781
P2267	SB4	Ⅰ A5q	19.9	95.640
P2268	SB142	Ⅰ A5q	15.7	95.672
P2269		Ⅰ A5q	10.3	95.739
P2270		Ⅰ A5q	17.7	95.659
P2271	SB144	Ⅰ A5q	30.2	95.404
P2272	SB155	Ⅰ A5r	27.5	95.498
P2273		Ⅰ A5r	39.4	95.387
P2274	SB144	Ⅰ A5r	20.1	95.614
P2275	SB142	Ⅰ A5r	6.4	95.700
P2276		Ⅰ A5r	21.4	95.581
P2277		Ⅰ A5r	28.0	95.539
P2278		Ⅰ A5r	13.9	95.677
P2279	SB93	Ⅰ A5r	24.7	95.573
P2280		Ⅰ A5r	7.5	95.679
P2281		Ⅰ A5r	17.2	95.645
P2282		Ⅰ A5r	12.2	95.634
P2283	SB93	Ⅰ A5r	29.3	95.484
P2284		Ⅰ A5r	6.2	95.712
P2285		Ⅰ A5r	17.3	95.636
P2286		Ⅰ A5r	28.3	95.461
P2287		Ⅰ A5r	6.5	95.733
P2288		Ⅰ A5r	8.7	95.680
P2289		Ⅰ A5r	8.3	95.698
P2290	欠番			
P2291		Ⅰ A5r	6.4	95.733
P2292		Ⅰ A5r	9.7	95.710
P2293		Ⅰ A4r	16.2	95.639
P2294		Ⅰ A4r	7.2	95.712
P2295		Ⅰ A4r	16.9	95.594
P2296		Ⅰ A4r	3.5	95.741
P2297	SB93	Ⅰ A4r	8.6	95.697
P2298		Ⅰ A4r	15.5	95.614
P2299		Ⅰ A4r	12.0	95.631
P2300		Ⅰ A4r	15.6	95.621
P2301		Ⅰ A5r	21.0	95.547
P2302		Ⅰ A4r	19.3	95.528
P2303		Ⅰ A4r	6.9	95.658
P2304		Ⅰ A4r	22.5	95.501
P2305		Ⅰ A4r	36.6	95.347
P2306		Ⅰ A4r	17.2	95.486
P2307		Ⅰ A4r	15.6	95.636
P2308		Ⅰ A4r	10.1	95.671
P2309		Ⅰ A4r	12.7	95.698
P2310	SB93	Ⅰ A4r	12.9	95.665
P2311		Ⅰ A4r	11.6	95.675
P2312	欠番			
P2313	欠番			
P2314		Ⅰ A4r	7.2	95.742
P2315		Ⅰ A4q	32.5	95.448
P2316		Ⅰ A4q	8.6	95.742
P2317	SB36	Ⅰ A4q	18.7	95.610
P2318	SB4	Ⅰ A4q	22.5	95.582
P2319	SB4	Ⅰ A4q	5.2	95.762
P2320		Ⅰ A4q	15.2	95.694
P2321	SB93	Ⅰ A4q	6.9	95.676
P2322	SB65	Ⅰ A3q	12.4	95.594
P2323	SB155	Ⅰ A4q	18.8	95.660
P2324	SB4	Ⅰ A4q	10.5	95.726
P2325	SB4	Ⅰ A4q	13.1	95.692
P2326	SB4	Ⅰ A4q	3.5	95.761
P2327		Ⅰ A4p	11.3	95.732
P2328		Ⅰ A4q	9.4	95.711
P2329		Ⅰ A4p	5.4	95.775
P2330	SB59	Ⅰ A4p	6.8	95.772
P2331	SB155	Ⅰ A4p	9.5	95.756
P2332	SB4	Ⅰ A4p	13.2	95.702
P2333	SB26	Ⅰ A4p	10.0	95.680
P2334		Ⅰ A4p	45.6	95.313
P2335	SB4	Ⅰ A4p	25.8	95.528
P2336	SB4	Ⅰ A4p	20.8	95.572
P2337		Ⅰ A4p	42.5	95.329
P2338	SB59	Ⅰ A4p	13.7	95.664
P2339	SB26	Ⅰ A3p	12.9	95.609
P2340		Ⅰ A3p	8.0	95.674
P2341	SB4	Ⅰ A4p	65.8	95.659
P2342		Ⅰ A4p	62.3	95.700
P2343		Ⅰ A4p	53.8	95.773
P2344		Ⅰ A4p	11.9	95.673
P2345		Ⅰ A4p	59.0	95.694
P2346		Ⅰ A4p	67.5	95.620
P2347		Ⅰ A4p	64.7	95.640
P2348	SB36	Ⅰ A4p	84.9	95.457
P2349	SB4	Ⅰ A4p	65.0	95.601
P2350	SB4	Ⅰ A4p	21.9	95.570
P2351	SB65	Ⅰ A3p	32.8	95.437
P2352	SB36	Ⅰ A4p	14.1	95.645
P2353		Ⅰ A4p	44.5	95.312
P2354		Ⅰ A4p	65.3	95.675
P2355	SB28	Ⅰ A4p	61.8	95.714
P2356		Ⅰ A4p	58.1	95.745
P2357		Ⅰ A4p	54.3	95.782
P2358		Ⅰ A4p	54.8	95.768
P2359		Ⅰ A4p	55.0	95.790
P2360	SB65	Ⅰ A3p	59.0	95.697
P2361	SB59	Ⅰ A4o	59.1	95.780
P2362	SB85	Ⅰ A4o	55.3	95.770
P2363	SB28	Ⅰ A4o	95.5	95.352
P2364		Ⅰ A4o	58.0	95.712
P2365	SB28	Ⅰ A4o	68.1	95.663
P2366		Ⅰ A4o	55.0	95.799
P2367		Ⅰ A4o	61.5	95.714
P2368	SB28	Ⅰ A4o	99.1	95.287
P2369	SB65	Ⅰ A3o	66.7	95.640
P2370		Ⅰ A4o	59.0	95.700
P2371		Ⅰ A4o	56.0	95.770
P2372	SB67	Ⅰ A4o	56.7	95.774
P2373		Ⅰ A4o	57.9	95.762
P2374		Ⅰ A4o	61.2	95.724
P2375	SB67	Ⅰ A4o	58.8	95.734
P2376		Ⅰ A4o	5.6	95.733
P2377		Ⅰ A4o	55.8	95.740
P2378		Ⅰ A4o	62.6	95.668
P2379		Ⅰ A4o	12.7	95.638
P2380		Ⅰ A3o	57.1	95.721
P2381		Ⅰ A4o	64.1	95.707
P2382		Ⅰ A4o	58.1	95.727
P2383		Ⅰ A4o	58.6	95.730
P2384		Ⅰ A4n	64.2	95.627
P2385	SB67	Ⅰ A4n	85.7	95.410
P2386	SB67	Ⅰ A4n	75.7	95.550
P2387		Ⅰ A4n	59.4	95.726
P2388	SB85	Ⅰ A4n	75.9	95.534
P2389		Ⅰ A4n	74.6	95.551
P2390	SB33	Ⅰ A4n	88.9	95.399
P2391		Ⅰ A4n	32.2	95.525
P2392	SB151	Ⅰ A4n	71.4	95.643
P2393	SB29	Ⅰ A4n	24.8	95.555
P2394		Ⅰ A4n	18.0	95.663
P2395		Ⅰ A4n	17.3	95.711
P2396	SB33	Ⅰ A4n	10.8	95.730
P2397	SB91	Ⅰ A4n	12.8	95.726
P2398		Ⅰ A4n	25.6	95.580
P2399		Ⅰ A4n	8.9	95.754
P2400	SB29	Ⅰ A4n	13.9	95.696
P2401		Ⅰ A4n	7.2	95.757
P2402	SB147	Ⅰ A4n	33.6	95.439
P2403		Ⅰ A4n	9.0	95.696
P2404	SB147	Ⅰ A4n	8.0	95.690
P2405		Ⅰ A4n	13.2	95.691
P2406	SB97	Ⅰ A4m	7.8	95.734
P2407		Ⅰ A4m	13.8	95.656
P2408	SB151	Ⅰ A4m	11.5	95.689
P2409	SB39	Ⅰ A4m	19.8	95.572
P2410	SB67	Ⅰ A4m	23.1	95.580
P2411	SB94	Ⅰ A4m	25.4	95.546
P2412	SB97	Ⅰ A4m	18.9	95.608
P2413	SB145	Ⅰ A4m	19.4	95.612
P2414	SB23	Ⅰ A4m	27.0	95.508
P2415	SB67	Ⅰ A4m	16.5	95.696
P2416		Ⅰ A4m	37.5	95.436
P2417	SB39	Ⅰ A4m	44.7	95.391
P2418	SB23	Ⅰ A4m	25.6	95.556
P2419	SB94	Ⅰ A4m	53.0	95.279
P2420		Ⅰ A4k	14.9	95.618
P2421		Ⅰ A4m	17.1	95.676
P2422		Ⅰ A4m	12.6	95.701
P2423	SB149	Ⅰ A4m	20.7	95.576
P2424	SB151	Ⅰ A4m	9.1	95.686
P2425		Ⅰ A3m	12.1	95.689
P2426	SB67	Ⅰ A4m	16.7	95.628
P2427		Ⅰ A4m	18.0	95.608
P2428		Ⅰ A4m	15.9	95.632
P2429	SB2	Ⅰ A4m	35.8	95.467
P2430	SB2	Ⅰ A4m	35.8	95.441
P2431	SB23	Ⅰ A4m	54.1	95.298
P2432		Ⅰ A4m	22.0	95.596
P2433		Ⅰ A4m	25.3	95.575
P2434	SB67	Ⅰ A4m	32.0	95.514
P2435		Ⅰ A4m	14.2	95.685
P2436		Ⅰ A4m	11.2	95.696
P2437	SB23	Ⅰ A4m	37.8	95.438
P2438		Ⅰ A4m	15.0	95.670
P2439	SB2	Ⅰ A4m	12.7	95.680
P2440	SB149	Ⅰ A4m	39.5	95.393
P2441		Ⅰ A4m	24.7	95.563
P2442	SB147	Ⅰ A4m	13.4	95.669
P2443		Ⅰ A4m	11.1	95.689
P2444	SB42	Ⅰ A4m	17.3	95.651
P2445		Ⅰ A4m	9.5	95.707
P2446		Ⅰ A4m	11.5	95.689
P2447	SB87	Ⅰ A4m	12.3	95.699
P2448		Ⅰ A4m	13.5	95.663
P2449		Ⅰ A4m	6.1	95.759
P2450	SB147	Ⅰ A4m	16.7	95.676
P2451	SB77	Ⅰ A4m	16.7	95.658
P2452	SB91	Ⅰ A4m	46.4	95.374
P2453	SB74	Ⅰ A4m	33.3	95.519
P2454		Ⅰ A4m	11.6	95.686
P2455		Ⅰ A4m	51.6	95.318
P2456	SB42	Ⅰ A4m	41.6	95.403
P2457		Ⅰ A4m	4.7	95.781
P2458		Ⅰ A4m	8.2	95.703
P2459	SB74	Ⅰ A4m	14.6	95.655
P2460		Ⅰ A4m	8.7	95.697
P2461	欠番			
P2462	SB166	Ⅰ A4m	14.6	95.581
P2463	SB29	Ⅰ A4m	26.3	95.447
P2464	欠番			
P2465	SB91	Ⅰ A4m	13.1	95.687
P2466		Ⅰ A4m	13.2	95.678
P2467		Ⅰ A4m	17.4	95.649
P2468	SB69	Ⅰ A4m	29.8	95.499
P2469	SB48	Ⅰ A4m	53.9	95.324
P2470	SB166	Ⅰ A4m	11.5	95.698
P2471	SB2	Ⅰ A4m	37.1	95.386
P2472	SB29	Ⅰ A4m	47.9	95.323
P2473	SB145	Ⅰ A4m	28.8	95.419
P2474	SB69	Ⅰ A4m	21.8	95.584
P2475	SB48	Ⅰ A4m	8.1	95.701
P2476	SB97	Ⅰ A4m	26.4	95.515
P2477		Ⅰ A4m	24.3	95.544
P2478	SB166	Ⅰ A4m	53.5	95.253
P2479	SB48	Ⅰ A4l	15.7	95.634
P2480	SB50	Ⅰ A4m	15.9	95.610
P2481	SB67	Ⅰ A4n	79.9	95.498
P2482		Ⅰ A4n	59.1	95.722
P2483		Ⅰ A4n	65.1	95.640
P2484		Ⅰ A4n	62.3	95.652
P2485	SB151	Ⅰ A4n	59.9	95.681
P2486		Ⅰ A3n	72.4	95.529
P2487		Ⅰ A3n	77.0	95.493
P2488		Ⅰ A4n	66.9	95.697
P2489	SB91	Ⅰ A4n	69.4	95.633
P2490		Ⅰ A4n	14.3	95.663

第 4 表　柱穴一覧表⑪

柱穴番号	遺構名	グリッド	深さ（cm）	底面標高（m）
P2491	SB53	Ⅰ A4j	20.9	95.626
P2492	SB37	Ⅰ A4j	42.9	95.400
P2493		Ⅰ A4j	23.8	95.641
P2494	SB64	Ⅰ A4j	52.2	95.284
P2495	SB37	Ⅰ A4j	24.1	95.616
P2496	SB53	Ⅰ A4j	34.4	95.495
P2497	SB1	Ⅰ A4j	27.9	95.565
P2498	SB71	Ⅰ A4j	16.8	95.734
P2499		Ⅰ A4j	9.2	95.784
P2500	SB14	Ⅰ A4j	27.7	95.556
P2501	SB83	Ⅰ A4j	17.0	95.669
P2502		Ⅰ A4j	21.2	95.634
P2503	SB70	Ⅰ A4j	32.2	95.539
P2504		Ⅰ A4j	43.2	95.429
P2505		Ⅰ A4j	8.2	95.730
P2506		Ⅰ A4j	6.7	95.800
P2507		Ⅰ A4j	31.7	95.573
P2508	SB14	Ⅰ A4j	10.6	95.786
P2509		Ⅰ A4j	9.4	95.750
P2510		Ⅰ A4j	37.5	95.452
P2511		Ⅰ A4j	30.5	95.520
P2512	SB1	Ⅰ A4j	40.4	95.423
P2513		Ⅰ A4j	38.9	95.437
P2514	SB146	Ⅰ A5o	16.1	95.714
P2515	SB83	Ⅰ A5j	25.5	95.670
P2516		Ⅰ A5j	6.6	95.897
P2517		Ⅰ A5j	8.9	95.870
P2518		Ⅰ A5j	20.6	95.790
P2519		Ⅰ A5j	12.7	95.883
P2520	SI7（旧期）	Ⅰ A4h	37.3	95.599
P2521	欠番			
P2522	欠番			
P2523	欠番			
P2524	SB1	Ⅰ A4h	11.8	95.831
P2525		Ⅰ A4h	13.5	95.796
P2526	SB1	Ⅰ A4h	19.2	95.774
P2527	SB1	Ⅰ A4h	19.9	95.713
P2528	SB1	Ⅰ A4h	19.3	95.807
P2529		Ⅰ A4h	13.7	95.861
P2530	SB1	Ⅰ A4h	8.8	95.904
P2531	SB1	Ⅰ A4h	41.6	95.519
P2532	SB1	Ⅰ A4h	47.3	95.474
P2533	SB1	Ⅰ A4i	15.7	95.642
P2534	SI7（新期）	Ⅰ A4h	50.5	95.476
P2535		Ⅰ A4h	30.1	95.664
P2536	欠番			
P2537	欠番			
P2538	欠番			
P2539	欠番			
P2540		Ⅰ A3h	14.7	95.774
P2541		Ⅰ A3h	16.4	95.734
P2542		Ⅰ A3h	17.6	95.732
P2543		Ⅰ A2h	21.1	95.671
P2544		Ⅰ A2h	17.0	95.712
P2545		Ⅰ A0h	60.6	95.659
P2546		Ⅰ A0h	62.1	95.635
P2547		Ⅰ A0h	57.1	95.692
P2548		Ⅰ A0h	64.5	95.632
P2549		Ⅰ A0h	66.7	95.600
P2550		Ⅰ A0h	63.9	95.649
P2551		Ⅰ A0h	62.3	95.649
P2552		Ⅰ A1i	56.6	95.695
P2553		Ⅰ A1i	60.1	95.658
P2554		Ⅰ A1i	57.3	95.750
P2555		Ⅰ A1i	61.4	95.687
P2556		Ⅰ A1i	61.5	95.680
P2557		Ⅰ A1i	68.0	95.556
P2558		Ⅰ A1i	80.4	95.450
P2559	SB22	Ⅰ A3j	23.3	95.618
P2560	SB14	Ⅰ A3j	35.2	95.541
P2561		Ⅰ A3j	17.1	95.645
P2562	SB22	Ⅰ A3j	20.3	95.613
P2563	SB14	Ⅰ A3j	13.0	95.680
P2564		Ⅰ A3j	15.7	95.702
P2565		Ⅰ A3j	35.4	95.510
P2566		Ⅰ A3j	20.4	95.666
P2567		Ⅰ A3j	10.4	95.777
P2568	SB70	Ⅰ A3j	20.4	95.647
P2569	SB22	Ⅰ A3j	55.1	95.298
P2570		Ⅰ A3j	25.8	95.552
P2571		Ⅰ A3j	12.2	95.737
P2572	SB22	Ⅰ A3j	22.7	95.616
P2573	SB40	Ⅰ A3j	47.5	95.336
P2574		Ⅰ A3j	29.2	95.557
P2575	SB37	Ⅰ A3j	31.2	95.537
P2576		Ⅰ A3j	21.9	95.558
P2577	SB64	Ⅰ A3j	9.4	95.749
P2578	SB167	Ⅰ A3j	10.4	95.712
P2579	SB40	Ⅰ A3j	57.8	95.232
P2580	SB37	Ⅰ A3j	13.3	95.682
P2581	SB22	Ⅰ A3j	56.8	95.234
P2582	SB168	Ⅰ A3j	31.0	95.517
P2583	SB37	Ⅰ A2j	16.5	95.679
P2584	SB53	Ⅰ A2j	26.7	95.572
P2585	欠番			
P2586		Ⅰ A3j	39.4	95.428
P2587	SB168	Ⅰ A3j	25.0	95.573
P2588	SB64	Ⅰ A3j	17.0	95.662
P2589		Ⅰ A3j	32.7	95.518
P2590	SB167	Ⅰ A3j	34.7	95.484
P2591	SB53	Ⅰ A3j	44.9	95.379
P2592	SB37	Ⅰ A3j	42.2	95.436
P2593		Ⅰ A3j	19.2	95.620
P2594	SB168	Ⅰ A3k	18.6	95.612
P2595		Ⅰ A3k	30.9	95.496
P2596		Ⅰ A3k	33.0	95.550
P2597	SB168	Ⅰ A2k	42.9	95.381
P2598	SB27	Ⅰ A3k	7.8	95.708
P2599	SB168	Ⅰ A3k	44.5	95.346
P2600	SB22	Ⅰ A3k	19.9	95.563
P2601	SB27	Ⅰ A3k	28.4	95.471
P2602	SB43	Ⅰ A3l	31.2	95.419
P2603	SB22	Ⅰ A3k	15.4	95.614
P2604	SB168	Ⅰ A3k	50.0	95.268
P2605		Ⅰ A3k	47.2	95.295
P2606	SB2	Ⅰ A3k	13.4	95.632
P2607	SB70	Ⅰ A3k	20.0	95.550
P2608	SB2	Ⅰ A3k	10.3	95.670
P2609	SB27	Ⅰ A4k	15.2	95.624
P2610		Ⅰ A3k	13.3	95.625
P2611	SB167	Ⅰ A3k	59.3	95.204
P2612	SB64	Ⅰ A3k	12.7	95.620
P2613		Ⅰ A3k	19.7	95.555
P2614	SB31	Ⅰ A3k	49.7	95.254
P2615		Ⅰ A3k	16.0	95.644
P2616		Ⅰ A3k	7.5	95.689
P2617		Ⅰ A3k	25.5	95.513
P2618	SB31	Ⅰ A3k	40.8	95.352
P2619	SB64	Ⅰ A3k	19.2	95.559
P2620	SB2	Ⅰ A3k	12.2	95.638
P2621		Ⅰ A3k	11.9	95.594
P2622	SB22	Ⅰ A3k	60.3	95.130
P2623	SB70	Ⅰ A3k	17.4	95.557
P2624		Ⅰ A3k	17.9	95.556
P2625		Ⅰ A3k	32.1	95.416
P2626	SB64	Ⅰ A3k	39.8	95.317
P2627	SB2	Ⅰ A3k	54.9	95.193
P2628		Ⅰ A3k	9.2	95.653
P2629	SB22	Ⅰ A3k	21.3	95.540
P2630	SB48	Ⅰ A3k	50.8	95.218
P2631	SB37	Ⅰ A3k	25.0	95.502
P2632	SB40	Ⅰ A3k	34.4	95.366
P2633		Ⅰ A3k	13.6	95.577
P2634	SB22	Ⅰ A3k	12.7	95.598
P2635	SB48	Ⅰ A3k	29.2	95.442
P2636	SB40	Ⅰ A3k	50.5	95.241
P2637		Ⅰ A3k	19.5	95.534
P2638	SB37	Ⅰ A3k	13.7	95.557
P2639		Ⅰ A3k	30.1	95.418
P2640	SB27	Ⅰ A3k	30.2	95.403
P2641	SB27	Ⅰ A3k	34.2	95.393
P2642	SB166	Ⅰ A3k	20.3	95.527
P2643		Ⅰ A3k	11.9	95.619
P2644		Ⅰ A3l	10.2	95.620
P2645		Ⅰ A3l	18.3	95.565
P2646	SB53	Ⅰ A3l	33.9	95.416
P2647	欠番			
P2648	SB53	Ⅰ A2l	26.5	95.476
P2649	SB168	Ⅰ A3l	46.4	95.259
P2650	SB37	Ⅰ A3l	16.7	95.575
P2651	SB2	Ⅰ A3l	23.4	95.458
P2652	SB23	Ⅰ A3l	21.3	95.528
P2653	SB43	Ⅰ A3l	33.6	95.406
P2654	SB100	Ⅰ A3l	13.1	95.640
P2655	SB141	Ⅰ A3l	30.8	95.460
P2656	SB31	Ⅰ A3l	34.2	95.381
P2657	SB141	Ⅰ A3l	29.1	95.421
P2658	SB2	Ⅰ A3l	24.7	95.518
P2659		Ⅰ A3l	10.8	95.691
P2660	SB23	Ⅰ A3l	32.3	95.455
P2661	SB168	Ⅰ A3l	34.5	95.425
P2662	SB168	Ⅰ A3l	43.6	95.303
P2663	SB50	Ⅰ A3l	28.3	95.458
P2664		Ⅰ A3l	13.6	95.618
P2665	SB2	Ⅰ A3l	37.7	95.385
P2666	SB87	Ⅰ A3l	19.1	95.552
P2667	SB167	Ⅰ A3l	25.6	95.540
P2668	SB31	Ⅰ A3l	35.9	95.429
P2669	SB50	Ⅰ A3l	33.5	95.460
P2670	SB23	Ⅰ A3l	46.4	95.279
P2671	欠番			
P2672		Ⅰ A4m	27.2	95.548
P2673	SB37	Ⅰ A3l	33.9	95.410
P2674	SB168	Ⅰ A3l	50.6	95.257
P2675	SB97	Ⅰ A3l	26.8	95.461
P2676	SB39	Ⅰ A3l	33.0	95.384
P2677	SB34	Ⅰ A3l	14.3	95.635
P2678	SB87	Ⅰ A3l	24.8	95.493
P2679	SB48	Ⅰ A3l	41.6	95.320
P2680	SB167	Ⅰ A3l	22.7	95.497
P2681	SB168	Ⅰ A3l	15.8	95.613
P2682	SB100	Ⅰ A3l	27.5	95.482
P2683	SB43	Ⅰ A3m	29.2	95.405
P2684	欠番			
P2685	SB97	Ⅰ A3m	23.8	95.507
P2686	SB48	Ⅰ A3m	24.9	95.484
P2687	SB100	Ⅰ A3m	30.0	95.444
P2688	SB2	Ⅰ A3m	31.7	95.410
P2689	SB50	Ⅰ A3m	28.7	95.444
P2690	SB43	Ⅰ A2l	15.5	95.579
P2691	SB23	Ⅰ A3l	46.2	95.268
P2692		Ⅰ A3l	12.7	95.612
P2693		Ⅰ A3l	10.8	95.643
P2694		Ⅰ A3l	11.4	95.642
P2695		Ⅰ A3l	17.2	95.564
P2696	SB97	Ⅰ A3l	38.5	95.309
P2697	SB48	Ⅰ A3l	39.2	95.353
P2698	SB97	Ⅰ A3m	23.4	95.512
P2699	SB48	Ⅰ A3m	8.2	95.651
P2700	SB141	Ⅰ A3m	17.4	95.603
P2701	SB145	Ⅰ A3m	11.3	95.635
P2702	SB166	Ⅰ A3m	44.6	95.293
P2703	SB2	Ⅰ A3m	37.1	95.399
P2704		Ⅰ A3m	62.1	95.638
P2705		Ⅰ A3m	78.5	95.486
P2706	SB91	Ⅰ A3m	39.5	95.344
P2707	SB2	Ⅰ A2m	32.2	95.410
P2708	SB143	Ⅰ A3m	37.0	95.371
P2709	SB147	Ⅰ A3m	74.4	95.551
P2710		Ⅰ A3m	60.9	95.659
P2711	SB139	Ⅰ A3m	76.7	95.537
P2712	SB23	Ⅰ A3m	102.4	95.248
P2713		Ⅰ A3m	72.5	95.563
P2714	SB2	Ⅰ A3m	30.1	95.489
P2715	SB147	Ⅰ A3m	80.3	95.472
P2716	SB100	Ⅰ A3m	75.5	95.533
P2717	SB149	Ⅰ A3m	68.4	95.620
P2718	SB87	Ⅰ A3m	98.4	95.276
P2719	SB23	Ⅰ A3m	58.4	95.178
P2720		Ⅰ A3m	8.7	95.686
P2721		Ⅰ A3m	64.8	95.626
P2722	SB147	Ⅰ A3m	15.6	95.616
P2723	SB149	Ⅰ A3m	80.1	95.496
P2724	SB39	Ⅰ A3m	15.6	95.598
P2725		Ⅰ A3m	97.9	95.282
P2726	SB23	Ⅰ A3m	80.3	95.474
P2727		Ⅰ A3m	58.3	95.702
P2728	SB151	Ⅰ A3m	87.2	95.408
P2729	SB39	Ⅰ A3m	81.8	95.457
P2730	SB67	Ⅰ A3m	72.1	95.553
P2731	SB97	Ⅰ A3m	70.2	95.538
P2732	SB145	Ⅰ A3m	74.9	95.521
P2733	SB151	Ⅰ A3m	71.7	95.558
P2734	SB73	Ⅰ A3m	72.1	95.581
P2735	SB23	Ⅰ A3m	27.2	95.520
P2736		Ⅰ A3m	27.7	95.481
P2737	SB97	Ⅰ A3m	75.2	95.513
P2738	SB151	Ⅰ A3m	61.1	95.632
P2739	SB147	Ⅰ A3n	59.7	95.658

第4表　柱穴一覧表⑫

柱穴番号	遺構名	グリッド	深さ(cm)	底面標高(m)
P2740	SB56	Ⅰ A3n	34.7	95.443
P2741		Ⅰ A3n	59.6	95.657
P2742		Ⅰ A3n	58.9	95.680
P2743		Ⅰ A3n	57.4	95.668
P2744	SB56	Ⅰ A3n	8.7	95.639
P2745		Ⅰ A3n	55.4	95.707
P2746	SB91	Ⅰ A3n	68.4	95.563
P2747	SB139	Ⅰ A3n	59.3	95.667
P2748	SB51	Ⅰ A3n	22.2	95.517
P2749		Ⅰ A3n	74.2	95.506
P2750	SB151	Ⅰ A3n	58.6	95.664
P2751		Ⅰ A3n	63.5	95.608
P2752	SB62	Ⅰ A3n	62.9	95.623
P2753		Ⅰ A3n	57.9	95.649
P2754		Ⅰ A3n	66.4	95.593
P2755	SB62	Ⅰ A3n	66.1	95.589
P2756		Ⅰ A3n	13.3	95.594
P2757	SB33	Ⅰ A3n	70.8	95.574
P2758	SB33	Ⅰ A3n	55.6	95.675
P2759	SB73	Ⅰ A3n	73.8	95.493
P2760	SB56	Ⅰ A3n	94.4	95.322
P2761	SB67	Ⅰ A3n	89.2	95.349
P2762	SB54	Ⅰ A3n	13.0	95.597
P2763		Ⅰ A3n	62.5	95.604
P2764	SB56	Ⅰ A3n	64.5	95.605
P2765	SB67	Ⅰ A3n	76.4	95.456
P2766		Ⅰ A3n	71.9	95.505
P2767		Ⅰ A3n	79.7	95.418
P2768		Ⅰ A3n	57.6	95.650
P2769		Ⅰ A3n	55.5	95.677
P2770		Ⅰ A3n	79.5	95.439
P2771	SB51	Ⅰ A3o	89.4	95.338
P2772	SB49	Ⅰ A3o	85.4	95.384
P2773	SB38	Ⅰ A3o	98.3	95.263
P2774	SB67	Ⅰ A3o	60.9	95.659
P2775	SB33	Ⅰ A3o	63.0	95.596
P2776		Ⅰ A3o	60.6	95.620
P2777	SB67	Ⅰ A3o	66.2	95.586
P2778	SB38	Ⅰ A3o	13.4	95.571
P2779	SB33	Ⅰ A3o	58.4	95.699
P2780		Ⅰ A3o	59.9	95.696
P2781	SB62	Ⅰ A3o	60.6	95.646
P2782		Ⅰ A3o	72.3	95.542
P2783	SB28	Ⅰ A3o	62.7	95.649
P2784	SB62	Ⅰ A3o	82.8	95.419
P2785		Ⅰ A3o	66.8	95.612
P2786		Ⅰ A3o	57.7	95.734
P2787	SB88	Ⅰ A3o	58.2	95.710
P2788		Ⅰ A3o	6.2	95.673
P2789		Ⅰ A3o	59.2	95.691
P2790	SB88	Ⅰ A3o	64.5	95.635
P2791	SB44	Ⅰ A3o	27.6	95.496
P2792	SB44	Ⅰ A3o	10.4	95.679
P2793	SB92	Ⅰ A3o	6.2	95.730
P2794		Ⅰ A3o	7.5	95.713
P2795	SB92	Ⅰ A3o	30.8	95.483
P2796	SB65	Ⅰ A3o	45.5	95.323
P2797		Ⅰ A3o	19.5	95.554
P2798	SB54	Ⅰ A3o	54.9	95.213
P2799	SB44	Ⅰ A3o	63.1	95.584
P2800	SB49	Ⅰ A3o	62.0	95.611
P2801		Ⅰ A2o	93.3	95.350
P2802		Ⅰ A3o	80.2	95.464
P2803		Ⅰ A2o	87.6	95.406
P2804	SB79	Ⅰ A2o	99.0	95.316
P2805	SB30	Ⅰ A3o	91.2	95.334
P2806		Ⅰ A3o	48.8	95.287
P2807		Ⅰ A3o	26.6	95.487
P2808	SB76	Ⅰ A3o	8.7	95.725
P2809	SB49	Ⅰ A3o	41.3	95.393
P2810		Ⅰ A3o	15.6	95.629
P2811	SB28	Ⅰ A3o	15.7	95.601
P2812		Ⅰ A3o	6.5	95.674
P2813	SB59	Ⅰ A3p	12.6	95.636
P2814	SB38	Ⅰ A3p	21.1	95.544
P2815		Ⅰ A3p	15.9	95.600
P2816		Ⅰ A3p	25.0	95.507
P2817		Ⅰ A3p	12.2	95.663
P2818	SB44	Ⅰ A3p	10.2	95.700
P2819	SB38	Ⅰ A3p	15.1	95.589
P2820	SB65	Ⅰ A3p	49.2	95.266
P2821		Ⅰ A7b	28.1	95.947
P2822	SB156	Ⅰ A7c	19.1	96.061
P2823	SB54	Ⅰ A3p	49.3	95.261
P2824	SB30	Ⅰ A3p	52.0	95.254
P2825		Ⅰ A3p	8.3	95.696
P2826		Ⅰ A3p	37.0	95.380
P2827		Ⅰ A3p	28.3	95.466
P2828	SB44	Ⅰ A3p	36.6	95.408
P2829		Ⅰ A3p	27.9	95.512
P2830	SB41	Ⅰ A3p	29.7	95.491
P2831		Ⅰ A3p	9.7	95.659
P2832	SB47	Ⅰ A3p	3.8	95.714
P2833	SB44	Ⅰ A3p	24.8	95.513
P2834		Ⅰ A3p	16.1	95.610
P2835		Ⅰ A3p	27.6	95.484
P2836		Ⅰ A3p	9.6	95.679
P2837		Ⅰ A3p	13.9	95.617
P2838	SB36	Ⅰ A3p	8.6	95.667
P2839		Ⅰ A3p	5.6	95.713
P2840		Ⅰ A3p	39.6	95.384
P2841	SB76	Ⅰ A3p	10.5	95.703
P2842	SB32	Ⅰ A3p	33.3	95.446
P2843		Ⅰ A3p	30.1	95.465
P2844		Ⅰ A3p	28.8	95.498
P2845		Ⅰ A3p	18.6	95.596
P2846	SB92	Ⅰ A3p	43.6	95.312
P2847		Ⅰ A3p	14.9	95.631
P2848		Ⅰ A3p	19.2	95.560
P2849		Ⅰ A3p	20.2	95.554
P2850	SB32	Ⅰ A3p	14.8	95.642
P2851		Ⅰ A3p	23.4	95.517
P2852		Ⅰ A3p	15.7	95.634
P2853		Ⅰ A3p	13.5	95.649
P2854		Ⅰ A3p	9.7	95.680
P2855		Ⅰ A3p	24.5	95.484
P2856	SB26	Ⅰ A3p	43.2	95.347
P2857	SB59	Ⅰ A3p	13.4	95.645
P2858	SB47	Ⅰ A3p	17.0	95.608
P2859		Ⅰ A3p	13.3	95.650
P2860	SB47	Ⅰ A3p	33.5	95.449
P2861	SB59	Ⅰ A3p	12.7	95.644
P2862		Ⅰ A3q	26.2	95.477
P2863		Ⅰ A3q	18.8	95.530
P2864	SB41	Ⅰ A3q	23.3	95.501
P2865	SB65	Ⅰ A3q	30.8	95.431
P2866		Ⅰ A3q	45.7	95.237
P2867		Ⅰ A3q	18.7	95.445
P2868	SB32	Ⅰ A3q	22.1	95.382
P2869	SB68	Ⅰ A3q	16.3	95.468
P2870	SB32	Ⅰ A3q	13.1	95.531
P2871		Ⅰ A3q	7.8	95.516
P2872		Ⅰ A7c	4.1	96.168
P2873		Ⅰ A2q	10.0	95.534
P2874	SB36	Ⅰ A3q	9.9	95.514
P2875		Ⅰ A3q	24.0	95.448
P2876	SB36	Ⅰ A3q	17.4	95.567
P2877		Ⅰ A3q	19.0	95.526
P2878	SB26	Ⅰ A3q	32.8	95.369
P2879		Ⅰ A3q	9.5	95.643
P2880		Ⅰ A3q	17.2	95.655
P2881		Ⅰ A3q	12.5	95.624
P2882		Ⅰ A3q	34.4	95.435
P2883		Ⅰ A3r	16.4	95.509
P2884		Ⅰ A3r	40.7	95.367
P2885		Ⅰ A3r	23.5	95.579
P2886		Ⅰ A3r	25.8	95.429
P2887		Ⅰ A3r	8.5	95.611
P2888		Ⅰ A3r	18.7	95.585
P2889		Ⅰ A3r	9.6	95.669
P2890		Ⅰ A3r	8.1	95.676
P2891		Ⅰ A3r	16.1	95.574
P2892		Ⅰ A3r	15.3	95.531
P2893		Ⅰ A3r	17.6	95.516
P2894		Ⅰ A3r	13.2	95.597
P2895	欠番			
P2896		Ⅰ A3r	9.8	95.606
P2897	欠番			
P2898		Ⅰ A3r	21.3	95.496
P2899		Ⅰ A3r	11.4	95.687
P2900	SB93	Ⅰ A3r	11.6	95.693
P2901		Ⅰ A2i	63.8	95.711
P2902		Ⅰ A2i	71.4	95.690
P2903		Ⅰ A3i	60.9	95.713
P2904		Ⅰ A2i	68.6	95.615
P2905		Ⅰ A2i	58.6	95.738
P2906		Ⅰ A2i	74.4	95.561
P2907		Ⅰ A2i	69.7	95.632
P2908		Ⅰ A2i	62.0	95.721
P2909		Ⅰ A2i	84.9	95.470
P2910		Ⅰ A2i	83.0	95.473
P2911		Ⅰ A2i	84.7	95.481
P2912		Ⅰ A2i	71.9	95.683
P2913		Ⅰ A2i	71.9	95.585
P2914		Ⅰ A2j	92.7	95.369
P2915		Ⅰ A2j	80.4	95.480
P2916		Ⅰ A2i	76.2	95.511
P2917		Ⅰ A2j	60.8	95.592
P2918		Ⅰ A2j	67.2	95.576
P2919		Ⅰ A2j	66.7	95.661
P2920		Ⅰ A2j	76.4	95.588
P2921		Ⅰ A2j	83.0	95.487
P2922		Ⅰ A2j	67.2	95.681
P2923	SB22	Ⅰ A2j	82.5	95.525
P2924	SB64	Ⅰ A2j	69.9	95.595
P2925		Ⅰ A2j	70.1	95.644
P2926		Ⅰ A2j	59.3	95.756
P2927	SB22	Ⅰ A2j	92.1	95.386
P2928		Ⅰ A2j	64.5	95.647
P2929		Ⅰ A2j	62.8	95.687
P2930		Ⅰ A2j	22.2	95.632
P2931		Ⅰ A2j	61.5	95.711
P2932		Ⅰ A2j	11.7	95.703
P2933		Ⅰ A0i	25.0	95.513
P2934		Ⅰ A0i	29.3	95.437
P2935		Ⅰ A0i	25.4	95.503
P2936		Ⅰ A0j	28.2	95.381
P2937		Ⅰ A0i	62.2	95.661
P2938		Ⅰ A0i	59.5	95.675
P2939	SB22	Ⅰ A1j	25.5	95.578
P2940		Ⅰ A1j	29.0	95.506
P2941		Ⅰ A1j	5.8	95.736
P2942		Ⅰ A1j	27.9	95.540
P2943		Ⅰ A1j	24.2	95.559
P2944		Ⅰ A1j	17.1	95.645
P2945	SB22	Ⅰ A1j	66.3	95.193
P2946		Ⅰ A1j	17.1	95.678
P2947		Ⅰ A1j	30.1	95.527
P2948	SB40	Ⅰ A1j	37.3	95.434
P2949	SB35	Ⅰ A1j	27.2	95.515
P2950	SB22	Ⅰ A1j	17.8	95.598
P2951		Ⅰ A1j	22.9	95.545
P2952		Ⅰ A1j	24.0	95.567
P2953	SB22	Ⅰ A1j	50.1	95.297
P2954	SB22	Ⅰ A1j	22.9	95.495
P2955		Ⅰ A1j	3.3	95.703
P2956	SB22	Ⅰ A1j	24.5	95.477
P2957	SB35	Ⅰ A1j	10.3	95.600
P2958		Ⅰ A1j	32.2	95.450
P2959		Ⅰ A1k	23.5	95.585
P2960	SB35	Ⅰ A1k	41.1	95.399
P2961	SB22	Ⅰ A1k	31.9	95.478
P2962		Ⅰ A2k	7.7	95.728
P2963		Ⅰ A1k	32.8	95.442
P2964		Ⅰ A1k	37.2	95.419
P2965		Ⅰ A1k	31.6	95.497
P2966	SB40	Ⅰ A1k	56.2	95.229
P2967		Ⅰ A1k	8.5	95.723
P2968	SB35	Ⅰ A1k	8.0	95.587
P2969		Ⅰ A1k	25.1	95.663
P2970	SB35	Ⅰ A1k	28.3	95.489
P2971		Ⅰ A1k	3.9	95.710
P2972	SB22	Ⅰ A1k	19.5	95.532
P2973		Ⅰ A1k	9.9	95.621
P2974		Ⅰ A1k	38.1	95.380
P2975		Ⅰ A1k	45.2	95.311
P2976		Ⅰ A1k	16.4	95.581
P2977	SB22	Ⅰ A1k	13.0	95.535
P2978	SB35	Ⅰ A1k	24.1	95.416
P2979	SB22	Ⅰ A1k	10.9	95.583
P2980		Ⅰ A1k	24.9	95.495
P2981		Ⅰ A1k	10.2	95.676
P2982	SB22	Ⅰ A4o	4.8	95.728
P2983	SB35	Ⅰ A1k	26.6	95.494
P2984		Ⅰ A1k	22.5	95.554
P2985		Ⅰ A1k	13.3	95.636
P2986	SB22	Ⅰ A1k	56.5	95.218
P2987		Ⅰ A2k	6.7	95.671
P2988		Ⅰ A0j	14.8	95.582

第４表　柱穴一覧表⑬

柱穴番号	遺構名	グリッド	深さ(cm)	底面標高(m)
P2989		ⅠA0k	12.2	95.533
P2990	SB22	ⅠA1k	15.4	95.592
P2991		ⅠA0k	25.8	95.378
P2992	SB58	ⅠA2k	27.1	95.531
P2993	SB27	ⅠA2k	43.5	95.335
P2994		ⅠA2k	38.3	95.399
P2995		ⅠA2k	7.6	95.717
P2996		ⅠA2k	10.6	95.660
P2997		ⅠA2k	11.9	95.671
P2998	SB2	ⅠA2k	23.1	95.583
P2999		ⅠA2k	36.0	95.442
P3000	SB168	ⅠA2k	18.1	95.638
P3001		ⅠA2k	32.8	95.526
P3002		ⅠA2k	10.7	95.673
P3003	SB2	ⅠA2k	38.3	95.381
P3004	SB22	ⅠA2k	28.0	95.517
P3005	SB40	ⅠA2k	37.3	95.385
P3006	SB27	ⅠA2k	26.0	95.509
P3007	SB2	ⅠA2k	12.5	95.648
P3008		ⅠA2k	26.8	95.474
P3009	SB2	ⅠA2k	23.3	95.520
P3010		ⅠA2k	15.3	95.607
P3011	SB58	ⅠA2k	8.6	95.691
P3012		ⅠA2k	11.7	95.660
P3013	SB2	ⅠA2k	22.2	95.531
P3014		ⅠA2k	22.8	95.529
P3015		ⅠA2k	8.8	95.651
P3016	SB2	ⅠA2k	18.1	95.558
P3017	SB40	ⅠA2k	36.4	95.382
P3018	SB58	ⅠA2k	36.3	95.393
P3019		ⅠA2k	29.2	95.466
P3020	SB2	ⅠA2k	39.5	95.339
P3021		ⅠA2k	17.8	95.533
P3022	SB168	ⅠA2k	15.6	95.566
P3023		ⅠA2k	36.5	95.387
P3024	SB168	ⅠA2k	10.4	95.639
P3025	SB58	ⅠA2k	24.2	95.522
P3026	SB2	ⅠA2k	46.7	95.283
P3027	SB64	ⅠA2k	17.8	95.614
P3028	SB37	ⅠA2k	8.5	95.653
P3029	SB167	ⅠA2k	52.0	95.204
P3030	SB22	ⅠA2k	45.3	95.279
P3031	SB27	ⅠA2k	23.8	95.506
P3032	SB168	ⅠA2l	57.4	95.163
P3033	SB58	ⅠA2l	19.2	95.555
P3034	SB2	ⅠA2l	10.9	95.539
P3035		ⅠA2l	35.6	95.305
P3036	SB58	ⅠA2l	41.7	95.227
P3037		ⅠA2l	13.3	95.525
P3038		ⅠA2l	21.8	95.515
P3039	SB2	ⅠA2l	39.3	95.276
P3040	SB27	ⅠA2l	26.7	95.418
P3041	SB168	ⅠA2l	45.3	95.300
P3042		ⅠA2l	38.9	95.360
P3043	SB43	ⅠA2l	29.6	95.445
P3044		ⅠA2l	23.7	95.522
P3045		ⅠA2l	13.6	95.609
P3046		ⅠA2l	23.2	95.507
P3047	SB167	ⅠA2l	25.3	95.469
P3048	SB43	ⅠA2l	37.2	95.345
P3049	SB100	ⅠA2l	13.4	95.616
P3050	SB168	ⅠA2l	31.5	95.448
P3051		ⅠA2l	6.3	95.621
P3052	SB61	ⅠA2l	32.1	95.435
P3053	SB100	ⅠA2l	26.0	95.513
P3054	SB43	ⅠA2l	46.9	95.262
P3055	SB2	ⅠA2l	51.1	95.246
P3056		ⅠA2l	45.1	95.262
P3057		ⅠA2l	3.8	95.726
P3058	SB143	ⅠA2l	8.6	95.722
P3059	SB43	ⅠA2l	41.5	95.364
P3060	SB143	ⅠA2l	51.5	95.269
P3061	SB2	ⅠA2l	23.2	95.494
P3062	SB58	ⅠA2l	10.9	95.653
P3063		ⅠA2l	11.4	95.626
P3064		ⅠA2l	11.5	95.654
P3065	欠番			
P3066		ⅠA1l	16.9	95.620
P3067	SB143	ⅠA1l	14.0	95.633
P3068	SB48	ⅠA2l	30.0	95.421
P3069	SB34	ⅠA2l	36.5	95.385
P3070	SB34	ⅠA2l	26.9	95.485
P3071		ⅠA2l	34.2	95.402
P3072	SB2	ⅠA2l	61.3	95.154
P3073		ⅠA2l	35.0	95.400
P3074	SB34	ⅠA2l	33.2	95.483
P3075	SB58	ⅠA2l	17.8	95.625
P3076	SB100	ⅠA2m	13.3	95.603
P3077	SB2	ⅠA2l	44.2	95.303
P3078	SB43	ⅠA2m	21.1	95.529
P3079	SB61	ⅠA2l	22.0	95.517
P3080		ⅠA2l	15.8	95.613
P3081		ⅠA1l	21.1	95.550
P3082	欠番			
P3083		ⅠA1l	16.5	95.489
P3084	SB61	ⅠA1l	36.1	95.268
P3085		ⅠA1l	13.9	95.491
P3086		ⅠA1l	19.5	95.473
P3087		ⅠA1l	17.4	95.580
P3088		ⅠA1l	20.6	95.513
P3089		ⅠA1l	29.3	95.429
P3090		ⅠA1l	11.4	95.600
P3091		ⅠA2m	7.1	95.717
P3092		ⅠA0j	16.7	95.520
P3093	欠番			
P3094		ⅠA1l	18.8	95.618
P3095		ⅠA1l	33.5	95.430
P3096		ⅠA1l	37.2	95.408
P3097		ⅠA1l	36.1	95.464
P3098		ⅠA1l	20.7	95.577
P3099		ⅠA1l	13.4	95.622
P3100		ⅠA1l	13.0	95.643
P3101		ⅠA1l	6.0	95.722
P3102		ⅠA1l	8.8	95.689
P3103	SB61	ⅠA1l	46.6	95.310
P3104		ⅠA1l	15.8	95.638
P3105		ⅠA1l	16.0	95.641
P3106		ⅠA1l	19.1	95.614
P3107	SB2	ⅠA1l	47.3	95.599
P3108		ⅠA1l	31.8	95.480
P3109		ⅠA1l	27.9	95.525
P3110		ⅠA2m	29.2	95.455
P3111		ⅠA2m	26.0	95.516
P3112	SB143	ⅠA2m	42.7	95.334
P3113	SB100	ⅠA2m	20.7	95.556
P3114		ⅠA2m	5.2	95.703
P3115	SB143	ⅠA2m	38.2	95.388
P3116	SB2	ⅠA2m	48.6	95.352
P3117	欠番			
P3118		ⅠA2m	15.1	95.638
P3119	SB61	ⅠA2m	46.6	95.329
P3120		ⅠA2m	38.0	95.424
P3121		ⅠA1m	5.0	95.728
P3122		ⅠA2m	8.4	95.684
P3123		ⅠA2m	22.0	95.568
P3124	SB2	ⅠA2m	40.6	95.427
P3125	SB143	ⅠA2m	27.4	95.507
P3126		ⅠA2m	18.7	95.591
P3127	SB67	ⅠA2m	10.6	95.651
P3128	SB34	ⅠA2m	35.6	95.391
P3129	SB139	ⅠA2m	22.4	95.550
P3130		ⅠA2m	12.2	95.633
P3131	SB58	ⅠA2m	19.9	95.568
P3132		ⅠA2m	19.4	95.582
P3133	SB73	ⅠA2m	32.3	95.443
P3134	SB34	ⅠA2m	18.8	95.600
P3135	SB149	ⅠA2m	11.9	95.670
P3136		ⅠA2m	17.6	95.608
P3137	SB139	ⅠA2m	21.9	95.549
P3138		ⅠA2m	11.7	95.660
P3139	SB73	ⅠA2m	23.1	95.544
P3140	SB61	ⅠA2m	20.5	95.535
P3141		ⅠA2m	49.4	95.248
P3142		ⅠA2m	9.5	95.662
P3143	SB56	ⅠA2m	37.9	95.401
P3144		ⅠA2m	8.1	95.677
P3145		ⅠA2m	17.0	95.632
P3146		ⅠA2m	9.0	95.693
P3147	SB34	ⅠA2m	16.7	95.598
P3148	SB149	ⅠA2m	10.5	95.666
P3149		ⅠA2m	10.1	95.678
P3150		ⅠA2m	13.2	95.674
P3151		ⅠA1m	6.7	95.738
P3152	SB2	ⅠA1m	30.0	95.500
P3153		ⅠA1m	34.6	95.455
P3154	SB58	ⅠA1m	17.9	95.636
P3155		ⅠA2m	23.2	95.524
P3156		ⅠA1m	9.2	95.685
P3157	SB139	ⅠA1m	47.6	95.290
P3158		ⅠA1m	19.4	95.607
P3159		ⅠA1m	23.2	95.577
P3160		ⅠA1m	34.0	95.462
P3161	SB143	ⅠA1m	62.2	95.185
P3162	SB61	ⅠA1m	21.3	95.590
P3163		ⅠA1m	29.5	95.503
P3164		ⅠA1m	20.2	95.600
P3165		ⅠA1m	22.9	95.560
P3166		ⅠA1m	58.4	95.213
P3167		ⅠA1m	25.8	95.450
P3168		ⅠA1m	25.0	95.533
P3169		ⅠA1m	19.4	95.514
P3170		ⅠA1m	15.7	95.572
P3171		ⅠA1m	11.9	95.623
P3172		ⅠA1m	16.2	95.597
P3173		ⅠA1m	10.6	95.652
P3174		ⅠA1m	5.8	95.688
P3175	SB73	ⅠA1m	26.9	95.467
P3176		ⅠA1m	6.9	95.659
P3177		ⅠA1m	18.1	95.555
P3178		ⅠA1n	5.1	95.685
P3179		ⅠA1n	13.3	95.600
P3180	SB149	ⅠA1m	22.4	95.516
P3181		ⅠA1m	9.2	95.644
P3182	SB61	ⅠA1m	15.4	95.579
P3183		ⅠA1m	34.1	95.470
P3184		ⅠA1m	26.1	95.537
P3185		ⅠA1m	21.6	95.560
P3186		ⅠA1m	11.5	95.619
P3187		ⅠA1m	22.6	95.549
P3188		ⅠA1m	32.8	95.409
P3189		ⅠA1m	39.2	95.344
P3190		ⅠA2o	9.3	95.640
P3191		ⅠA0l	65.5	95.464
P3192		ⅠA0l	15.1	95.465
P3193		ⅠA1l	20.4	95.409
P3194		ⅠA1m	15.5	95.535
P3195		ⅠA1m	32.1	95.429
P3196		ⅠA2n	13.8	95.614
P3197	SB139	ⅠA2n	16.8	95.639
P3198	SB67	ⅠA2n	8.1	95.670
P3199	SB51	ⅠA2n	59.6	95.167
P3200	SB129	ⅠA2n	33.3	95.449
P3201	SB129	ⅠA2n	21.9	95.530
P3202	SB149	ⅠA2n	21.6	95.565
P3203		ⅠA2n	48.0	95.247
P3204		ⅠA2n	9.8	95.645
P3205		ⅠA2n	11.1	95.617
P3206		ⅠA1n	20.2	95.536
P3207	SB51	ⅠA1n	45.1	95.271
P3208	SB129	ⅠA1n	27.0	95.458
P3209		ⅠA1n	8.4	95.663
P3210		ⅠA1n	12.8	95.607
P3211		ⅠA1n	54.6	95.179
P3212		ⅠA1n	53.7	95.191
P3213		ⅠA1n	22.0	95.494
P3214		ⅠA1n	9.6	95.624
P3215		ⅠA1n	7.4	95.651
P3216		ⅠA1n	21.9	95.516
P3217	SB73	ⅠA1n	19.8	95.541
P3218		ⅠA1n	12.4	95.607
P3219		ⅠA1n	15.2	95.613
P3220	SB56	ⅠA1n	9.4	95.622
P3221		ⅠA1n	21.3	95.505
P3222	SB73	ⅠA1n	30.6	95.436
P3223	SB149	ⅠA1n	12.4	95.652
P3224	SB51	ⅠA1n	40.9	95.320
P3225		ⅠA1n	18.1	95.548
P3226		ⅠA1n	32.7	95.600
P3227		ⅠA1n	18.3	95.610
P3228		ⅠA1n	27.8	95.459
P3229		ⅠA1n	6.4	95.672
P3230	SB139	ⅠA1n	20.4	95.541
P3231		ⅠA1n	8.6	95.651
P3232	SB62	ⅠA1n	20.7	95.562
P3233		ⅠA1n	21.2	95.527
P3234		ⅠA1n	32.5	95.424
P3235	SB38	ⅠA2n	15.0	95.626
P3236		ⅠA1n	39.9	95.346
P3237	SB51	ⅠA1o	60.8	95.148

第4表　柱穴一覧表⑭

柱穴番号	遺構名	グリッド	深さ(cm)	底面標高(m)
P3238	SB95	ⅠA1o	31.8	95.480
P3239		ⅠA1n	12.8	95.637
P3240		ⅠA1o	28.2	95.522
P3241		ⅠA2n	31.9	95.429
P3242		ⅠA1m	16.4	95.592
P3243		ⅠA1m	11.7	95.601
P3244		ⅠA2n	39.7	95.390
P3245		ⅠA2n	9.7	95.688
P3246		ⅠA2m	22.3	95.556
P3247	SB56	ⅠA2n	30.8	95.468
P3248	SB149	ⅠA2n	37.0	95.409
P3249	SB51	ⅠA2n	42.8	95.330
P3250		ⅠA2n	17.2	95.606
P3251		ⅠA1n	17.6	95.590
P3252	SB79	ⅠA1n	13.2	95.607
P3253	SB41	ⅠA1p	12.2	95.592
P3254	SB51	ⅠA1o	55.2	95.188
P3255	SB129	ⅠA1o	49.6	95.240
P3256	SB38	ⅠA1n	52.1	95.237
P3257		ⅠA1n	10.9	95.680
P3258	SB139	ⅠA2n	23.0	95.510
P3259		ⅠA2n	28.3	95.484
P3260		ⅠA2n	25.0	95.526
P3261		ⅠA1m	6.5	95.698
P3262		ⅠA2n	11.5	95.673
P3263		ⅠA2n	13.7	95.668
P3264	SB62	ⅠA2n	32.9	95.456
P3265		ⅠA2n	15.1	95.621
P3266	SB62	ⅠA2n	14.1	95.641
P3267	SB73	ⅠA2n	35.9	95.437
P3268		ⅠA2n	19.3	95.615
P3269	SB54	ⅠA2n	42.0	95.380
P3270		ⅠA2n	32.0	95.458
P3271	SB73	ⅠA2n	58.9	95.203
P3272		ⅠA2n	13.8	95.653
P3273		ⅠA2n	6.6	95.717
P3274		ⅠA2n	47.6	95.308
P3275	SB56	ⅠA2n	47.0	95.313
P3276		ⅠA2n	26.4	95.529
P3277	SB79	ⅠA2n	36.5	95.419
P3278		ⅠA2n	9.3	95.719
P3279	SB56	ⅠA2n	41.8	95.392
P3280	SB79	ⅠA2n	16.9	95.633
P3281		ⅠA1m	30.8	95.459
P3282	SB79	ⅠA2n	47.1	95.294
P3283	SB67	ⅠA2n	43.1	95.362
P3284	SB49	ⅠA2o	5.9	95.679
P3285		ⅠA2n	32.0	95.475
P3286		ⅠA2n	26.9	95.523
P3287	SB49	ⅠA2n	57.0	95.210
P3288	SB38	ⅠA2o	58.6	95.153
P3289		ⅠA2o	58.2	95.174
P3290		ⅠA2n	32.5	95.471
P3291		ⅠA2n	12.0	95.666
P3292		ⅠA2n	28.1	95.470
P3293		ⅠA2n	27.3	95.495
P3294	SB51	ⅠA2o	48.8	95.241
P3295		ⅠA2n	10.8	95.661
P3296	SB49	ⅠA2n	39.7	95.368
P3297	SB129	ⅠA2o	56.1	95.200
P3298		ⅠA1o	27.3	95.482
P3299		ⅠA1o	24.2	95.496
P3300		ⅠA2o	48.2	95.256
P3301	SB51	ⅠA2o	36.3	95.414
P3302	SB38	ⅠA2o	51.2	95.244
P3303	SB54	ⅠA2o	36.7	95.411
P3304	SB129	ⅠA2o	20.7	95.564
P3305		ⅠA2o	20.8	95.569
P3306		ⅠA2o	7.0	95.659
P3307		ⅠA2o	10.4	95.632
P3308	SB95	ⅠA2o	15.3	95.600
P3309		ⅠA2o	14.0	95.616
P3310		ⅠA2o	19.6	95.563
P3311	SB88	ⅠA2o	32.1	95.430
P3312		ⅠA2o	15.8	95.595
P3313	SB62	ⅠA2o	11.4	95.646
P3314	SB84	ⅠA2o	25.6	95.502
P3315		ⅠA2o	46.8	95.291
P3316	SB72	ⅠA2o	43.9	95.331
P3317	SB62	ⅠA2o	26.6	95.450
P3318	SB88	ⅠA2o	30.8	95.422
P3319	SB44	ⅠA2o	36.9	95.345
P3320		ⅠA2o	33.7	95.373
P3321	SB44	ⅠA2o	24.9	95.487
P3322	SB30	ⅠA2o	25.5	95.483
P3323	SB72	ⅠA2o	31.0	95.428
P3324	SB79	ⅠA2o	49.4	95.216
P3325	SB30	ⅠA2o	24.3	95.499
P3326	SB95	ⅠA2o	16.3	95.571
P3327	SB84	ⅠA2o	21.1	95.508
P3328		ⅠA2o	40.1	95.336
P3329	SB72	ⅠA2o	17.2	95.561
P3330		ⅠA2o	37.0	95.340
P3331	SB44	ⅠA1o	46.8	95.283
P3332		ⅠA1o	9.2	95.682
P3333	SB30	ⅠA1o	26.8	95.470
P3334	SB62	ⅠA1o	24.5	95.475
P3335		ⅠA1o	7.9	95.677
P3336	SB72	ⅠA1o	7.0	95.683
P3337	SB84	ⅠA1o	42.2	95.359
P3338	SB44	ⅠA2o	52.4	95.224
P3339		ⅠA1o	7.6	95.665
P3340		ⅠA2o	36.2	95.346
P3341	SB76	ⅠA2o	52.3	95.268
P3342	SB49	ⅠA2o	55.6	95.223
P3343	SB79	ⅠA2o	45.3	95.348
P3344		ⅠA2q	6.7	95.618
P3345	SB90	ⅠA2o	53.8	95.202
P3346		ⅠA1o	61.4	95.150
P3347		ⅠA1o	16.9	95.577
P3348	SB47	ⅠA2o	41.6	95.239
P3349	SB38	ⅠA1o	54.9	95.203
P3350	SB30	ⅠA1p	51.2	95.195
P3351	SB81	ⅠA2o	33.4	95.408
P3352	SB76	ⅠA2o	11.4	95.588
P3353	SB49	ⅠA2o	69.1	95.030
P3354		ⅠA2o	12.0	95.592
P3355		ⅠA2o	40.6	95.303
P3356	SB81	ⅠA2o	27.7	95.435
P3357	SB38	ⅠA2o	29.5	95.371
P3358		ⅠA2o	35.9	95.356
P3359	SB47	ⅠA2o	35.0	95.366
P3360		ⅠA2o	35.3	95.368
P3361	SB38	ⅠA2p	45.4	95.321
P3362	SB84	ⅠA1p	58.7	95.097
P3363		ⅠA1p	7.8	95.648
P3364	SB44	ⅠA2p	23.1	95.463
P3365	SB90	ⅠA2p	51.7	95.179
P3366		ⅠA2p	56.6	95.094
P3367	SB84	ⅠA2p	29.6	95.375
P3368	SB59	ⅠA2p	46.4	95.227
P3369	SB54	ⅠA2p	20.9	95.526
P3370		ⅠA2p	12.3	95.624
P3371		ⅠA2o	36.8	95.409
P3372	SB47	ⅠA2p	51.0	95.217
P3373		ⅠA2p	42.0	95.346
P3374	SB59	ⅠA2p	15.3	95.603
P3375	SB81	ⅠA2o	12.1	95.646
P3376	SB84	ⅠA2p	31.4	95.398
P3377	SB30	ⅠA2p	44.2	95.282
P3378	SB72	ⅠA2p	26.3	95.438
P3379	SB44	ⅠA2p	42.9	95.277
P3380		ⅠA2p	41.6	95.322
P3381	SB41	ⅠA2p	37.3	95.410
P3382	SB72	ⅠA2p	45.3	95.305
P3383	SB84	ⅠA2p	33.5	95.417
P3384	SB44	ⅠA2p	43.0	95.309
P3385		ⅠA2p	28.5	95.471
P3386		ⅠA2p	8.2	95.692
P3387		ⅠA2p	58.4	95.199
P3388		ⅠA2p	24.2	95.523
P3389		ⅠA2p	6.0	95.721
P3390	SB24	ⅠA2p	6.0	95.680
P3391		ⅠA2p	31.1	95.374
P3392	SB95	ⅠA2p	40.7	95.265
P3393	SB88	ⅠA2p	48.7	95.247
P3394	SB36	ⅠA2p	10.0	95.592
P3395	SB24	ⅠA1p	25.2	95.493
P3396		ⅠA1p	26.0	95.503
P3397		ⅠA2p	28.7	95.438
P3398		ⅠA2p	42.3	95.297
P3399	SB47	ⅠA2p	31.6	95.415
P3400	SB68	ⅠA2p	36.7	95.367
P3401		ⅠA2p	36.0	95.353
P3402		ⅠA2p	35.6	95.360
P3403		ⅠA2p	21.5	95.494
P3404		ⅠA2p	7.7	95.622
P3405		ⅠA2p	21.9	95.473
P3406	SB88	ⅠA2p	19.2	95.611
P3407	SB36	ⅠA2p	35.6	95.450
P3408		ⅠA2p	12.0	95.669
P3409	SB88	ⅠA2p	20.8	95.566
P3410	SB32	ⅠA2p	25.3	95.502
P3411	SB92	ⅠA2p	45.2	95.274
P3412	SB24	ⅠA2p	41.2	95.311
P3413	SB81	ⅠA2p	45.0	95.253
P3414	SB76	ⅠA2p	46.2	95.245
P3415	SB47	ⅠA2p	52.1	95.156
P3416	SB90	ⅠA2p	52.0	95.163
P3417	SB68	ⅠA2p	50.0	95.228
P3418		ⅠA2p	33.2	95.422
P3419	SB76	ⅠA2p	51.9	95.221
P3420	SB24	ⅠA2p	42.8	95.327
P3421	SB68	ⅠA2p	48.0	95.299
P3422		ⅠA2p	31.1	95.463
P3423		ⅠA2p	51.8	95.253
P3424	SB32	ⅠA2p	32.4	95.451
P3425		ⅠA2p	39.5	95.380
P3426	SB76	ⅠA2p	43.5	95.328
P3427	SB92	ⅠA2p	32.8	95.414
P3428	SB81	ⅠA2p	40.7	95.329
P3429	SB47	ⅠA2p	52.2	95.220
P3430	SB81	ⅠA2p	7.6	95.691
P3431		ⅠA2p	36.6	95.328
P3432		ⅠA2p	9.9	95.592
P3433	SB41	ⅠA2p	44.5	95.221
P3434	SB59	ⅠA2p	54.7	95.192
P3435		ⅠA2p	47.3	95.299
P3436	SB41	ⅠA2q	42.6	95.337
P3437	SB24	ⅠA2q	38.3	95.374
P3438		ⅠA2q	37.7	95.280
P3439		ⅠA2q	34.8	95.354
P3440	SB24	ⅠA2q	44.8	95.258
P3441	SB32	ⅠA2q	39.2	95.342
P3442		ⅠA2q	21.1	95.489
P3443	SB32	ⅠA2q	41.8	95.282
P3444	SX101	ⅠA2q	43.2	95.269
P3445	SB68	ⅠA2q	38.8	95.291
P3446	SB36	ⅠA2q	42.1	95.272
P3447		ⅠA2q	46.8	95.281
P3448		ⅠA2q	18.0	95.561
P3449	SX101	ⅠA2q	32.2	95.383
P3450		ⅠA2q	31.9	95.358
P3451	SB90	ⅠA2q	26.3	95.446
P3452		ⅠA2q	37.2	95.369
P3453		ⅠA2q	8.1	95.598
P3454		ⅠA2q	7.3	95.620
P3455		ⅠA2q	11.9	95.603
P3456	SB32	ⅠA2q	33.5	95.388
P3457	SB24	ⅠA2q	34.8	95.389
P3458	SB68	ⅠA2q	32.5	95.398
P3459		ⅠA2q	39.1	95.308
P3460	SX101	ⅠA2q	21.4	95.499
P3461		ⅠA2q	3.6	95.661
P3462		ⅠA2q	32.9	95.360
P3463	SB24	ⅠA2q	25.7	95.429
P3464	SX101	ⅠA2q	40.4	95.304
P3465		ⅠA2q	41.2	95.274
P3466		ⅠA2q	18.6	95.491
P3467		ⅠA2q	8.5	95.613
P3468		ⅠA2q	12.7	95.578
P3469	SB26	ⅠA2q	17.1	95.527
P3470	SX101	ⅠA2q	16.8	95.533
P3471		ⅠA2q	41.2	95.279
P3472		ⅠA2q	29.2	95.381
P3473		ⅠA2q	13.7	95.527
P3474	SX101	ⅠA2q	24.7	95.413
P3475	SX101	ⅠA2q	20.4	95.454
P3476	SB90	ⅠA2r	24.1	95.453
P3477		ⅠA2r	31.1	95.368
P3478		ⅠA2r	32.4	95.369
P3479		ⅠA2r	12.0	95.643
P3480		ⅠA2r	12.1	95.579
P3481		ⅠA2r	24.8	95.463
P3482		ⅠA5h	46.3	95.518
P3483	SI4	ⅠA4i	37.1	94.922
P3484	SI4	ⅠA4i	46.9	94.819
P3485	SI4	ⅠA3i	49.8	94.741
P3486	SI4	ⅠA3i	40.6	94.906

第 4 表　柱穴一覧表⑮

柱穴番号	遺構名	グリッド	深さ（cm）	底面標高（m）
P3487	SI4	Ⅰ A4i	36.0	94.930
P3488	SI4	Ⅰ A4j	71.0	94.802
P3489	SI4	Ⅰ A4j	37.5	94.966
P3490	SI4	Ⅰ A3j	38.7	94.898
P3491	SI4	Ⅰ A3j	52.4	94.784
P3492	SI4	Ⅰ A3i	34.8	94.962
P3493	SI5	Ⅰ A4i	10.9	95.149
P3494	SI5	Ⅰ A4i	43.4	95.191
P3495		Ⅰ A4j	23.8	95.433
P3496	SI5	Ⅰ A3j	83.8	94.916
P3497	SB14	Ⅰ A3i	25.6	95.214
P3498		Ⅰ A1o	31.9	95.408
P3499	SB14	Ⅰ A4j	42.9	95.353
P3500		Ⅰ A9m	6.8	95.894
P3501		Ⅰ A5k	4.7	95.754
P3502		Ⅰ A5m	5.0	95.836
P3503		Ⅰ A6l	8.1	95.780
P3504	SB166	Ⅰ A7m	31.6	95.617
P3505	SB166	Ⅰ A5k	22.0	95.570
P3506		Ⅰ A6l	13.3	95.786
P3507	SB87	Ⅰ A5l	8.1	95.734
P3508		Ⅰ A5m	8.4	95.759
P3509	SB16	Ⅰ A7m	22.9	95.748
P3510	SB129	Ⅰ A2o	21.5	95.558
P3511		Ⅰ A2n	25.1	95.513
P3512		Ⅰ A5l	10.8	95.782
P3513	SB63	Ⅰ A6l	6.7	95.795
P3514		Ⅰ A5k	5.8	95.805
P3515	SB7	Ⅰ A6e	20.0	95.902
P3516	SB7	Ⅰ A6f	13.4	95.942
P3517	SB5	Ⅰ A6f	5.4	95.955
P3518	SB33	Ⅰ A4n	4.3	95.734
P3519		Ⅰ A5j	5.8	95.828
P3520	SB14	Ⅰ A5j	27.5	95.703
P3521	SB99	Ⅰ A6l	11.3	95.770
P3522		Ⅰ A5k	11.0	95.762
P3523	SB80	Ⅰ A5k	8.9	95.812
P3524	SB77	Ⅰ A5l	30.2	95.493
P3525		Ⅰ A2q	15.4	95.555
P3526		Ⅰ A5k	10.2	95.769
P3527	SB168	Ⅰ A6k	9.7	95.749
P3528	SB15	Ⅰ A7k	4.5	95.889
P3529	SB166	Ⅰ A5k	13.0	95.734
P3530		Ⅰ A5k	9.4	95.692
P3531	SB31	Ⅰ A5k	34.4	95.451
P3532	SB63	Ⅰ A5k	23.6	95.537
P3533		Ⅰ A4k	15.8	95.585
P3534	SB167	Ⅰ A4k	25.8	95.491
P3535	SB168	Ⅰ A4k	32.7	95.448
P3536		Ⅰ A4j	24.1	95.578
P3537	SB103	Ⅰ A10h	42.6	95.748
P3538		Ⅰ A6j	6.2	95.869
P3539		Ⅰ A6l	5.3	95.835
P3540		Ⅰ A4l	12.3	95.670
P3541	SB166	Ⅰ A4k	34.6	95.309
P3542	SI1	Ⅰ A4l	13.6	95.507
P3543	SB27	Ⅰ A4l	21.4	95.421
P3544	SB37	Ⅰ A4l	6.0	95.654
P3545		Ⅰ A4k	32.7	95.410
P3546	SB2	Ⅰ A4k	26.0	95.481
P3547	SB37	Ⅰ A4j	27.1	95.641
P3548	SB37	Ⅰ A4j	32.2	95.531
P3549	SB80	Ⅰ A4j	14.9	95.680
P3550		Ⅰ A4k	15.4	95.609
P3551	SB63	Ⅰ A5k	12.4	95.642
P3552	SB83	Ⅰ A5k	9.2	95.714
P3553		Ⅰ A5k	17.3	95.591
P3554	SB53	Ⅰ A5j	19.2	95.656
P3555		Ⅰ A5j	21.0	95.667
P3556	SB63	Ⅰ A5j	20.5	95.635
P3557		Ⅰ A5j	31.8	95.627
P3558		Ⅰ A5j	18.7	95.752
P3559		Ⅰ A5j	23.4	95.706
P3560	SB17	Ⅰ A5j	12.5	95.829
P3561	SB1	Ⅰ A5j	34.5	95.608
P3562		Ⅰ A5j	19.0	95.797
P3563	SB80	Ⅰ A5l	47.7	95.436
P3564		Ⅰ A5l	9.5	95.847
P3565	SB53	Ⅰ A5l	52.8	95.400
P3566	SB37	Ⅰ A4j	15.3	95.687
P3567		Ⅰ A4g	8.6	95.969
P3568		Ⅰ A5k	14.2	95.733
P3569	SB71	Ⅰ A4k	5.6	95.698
P3570		Ⅰ A7j	20.2	95.848
P3571		Ⅰ A4l	8.1	95.692
P3572	SB166	Ⅰ A3m	2.4	95.732
P3573	SB20	Ⅰ A9m	24.4	95.656
P3574	SB23	Ⅰ A5l	49.2	95.326
P3575	SB94	Ⅰ A5l	46.7	95.259
P3576	SB69	Ⅰ A5l	15.8	95.755
P3577	SB2	Ⅰ A5l	33.2	95.617
P3578	SB37	Ⅰ A5l	24.7	95.683
P3579		Ⅰ A5l	8.5	95.846
P3580	欠番			
P3581		Ⅰ A5j	17.6	95.856
P3582		Ⅰ A4k	8.9	95.669
P3583		Ⅰ A4k	14.9	95.585
P3584		Ⅰ A5h	8.9	95.907
P3585	SB167	Ⅰ A3k	7.1	95.689
P3586		Ⅰ A1m	18.6	95.519
P3587		Ⅰ A1m	26.1	95.318
P3588	SB37	Ⅰ A3j	51.6	95.294
P3589		Ⅰ A7k	6.6	95.847
P3590	SB1	Ⅰ A5g	22.5	95.844
P3591		Ⅰ A6i	12.2	95.900
P3592		Ⅰ A6i	29.0	95.768
P3593	SB64	Ⅰ A2k	20.0	95.557
P3594	欠番			
P3595	SB40	Ⅰ A1k	58.7	95.116
P3596	SB22	Ⅰ A1k	56.1	95.179
P3597	SB53	Ⅰ A4l	20.3	95.456
P3598		Ⅰ A4j	14.4	95.630
P3599		Ⅰ A4j	12.4	95.706
P3600	SB121	Ⅰ A9p	17.5	95.704
P3601		Ⅰ A8s	11.5	95.706
P3602		Ⅰ A5s	18.6	95.550
P3603	SB126	Ⅰ A9o	6.2	95.760
P3604		Ⅰ A7r	28.8	95.496
P3605		Ⅰ A7r	30.1	95.500
P3606		Ⅰ A7r	28.1	95.526
P3607		Ⅰ A7r	9.6	95.697
P3608		Ⅰ A7r	16.3	95.645
P3609		Ⅰ A7r	18.0	95.626
P3610	SB145	Ⅰ A4m	54.0	95.217
P3611	SB141	Ⅰ A4m	49.2	95.281
P3612	SB2	Ⅰ A4m	41.7	95.353
P3613		Ⅰ A4m	30.4	95.424
P3614	SB166	Ⅰ A3l	22.3	95.424
P3615	SB166	Ⅰ A3k	31.6	95.322
P3616	SB2	Ⅰ A4k	45.3	95.271
P3617	SB31	Ⅰ A4k	33.5	95.403
P3618	SI1	Ⅰ A4k	20.3	95.444
P3619	SB166	Ⅰ A4k	16.5	95.509
P3620	SI1	Ⅰ A3k	23.9	95.436
P3621	SI1	Ⅰ A3l	25.8	95.422
P3622	SI1	Ⅰ A3k	27.5	95.402
P3623		Ⅰ A4k	16.6	95.455
P3624	SI1	Ⅰ A4l	19.3	95.438
P3625	SI1	Ⅰ A4l	5.8	95.604
P3626	SB2	Ⅰ A3k	21.1	95.408
P3627		Ⅰ A6i	34.7	95.651
P3628	SI1	Ⅰ A4k	20.0	95.445
P3629	SI1	Ⅰ A4k	25.4	95.458
P3630	SI1	Ⅰ A4k	24.1	95.420
P3631	SI1	Ⅰ A4k	29.1	95.433
P3632		Ⅰ A6j	12.4	95.786
P3633	SB17	Ⅰ A6j	11.6	95.815
P3634	SI1	Ⅰ A4k	19.1	95.460
P3635	SB64	Ⅰ A4k	29.4	95.452
P3636		Ⅰ A6i	8.1	95.668
P3637	SB17	Ⅰ A6i	11.0	95.612
P3638		Ⅰ A4k	10.7	95.527
P3639	SB7	Ⅰ A6f	12.1	95.998
P3640	SB5	Ⅰ A6f	12.3	95.957
P3641		Ⅰ A6q	15.7	95.662
P3642	SB96	Ⅰ A6q	6.5	95.769
P3643	SB75	Ⅰ A6r	35.9	95.453
P3644		Ⅰ A6r	9.5	95.719
P3645		Ⅰ A6q	15.4	95.651
P3646	SB75	Ⅰ A6r	18.0	95.624
P3647	SB142	Ⅰ A6q	9.6	95.704
P3648	SB75	Ⅰ A5q	13.6	95.569
P3649	SB96	Ⅰ A5q	20.0	95.548
P3650	SB75	Ⅰ A5q	40.5	95.245
P3651		Ⅰ A5q	23.1	95.471
P3652		Ⅰ A5q	14.3	95.611
P3653		Ⅰ A6r	16.8	95.660
P3654		Ⅰ A6r	8.9	95.706
P3655		Ⅰ A6r	10.2	95.685
P3656	SB92	Ⅰ A2o	30.6	95.471
P3657	SB54	Ⅰ A2o	40.2	95.355
P3658		Ⅰ A2o	52.8	95.165
P3659	SB92	Ⅰ A2o	46.2	95.247
P3660		Ⅰ A3q	24.3	95.510
P3661	SB26	Ⅰ A3q	27.5	95.495
P3662	SB26	Ⅰ A3p	48.6	95.308
P3663		Ⅰ A6q	11.3	95.641
P3664		Ⅰ A6q	5.1	95.732
P3665	欠番			
P3666		Ⅰ A7e	13.3	95.934
P3667		Ⅰ A6e	12.8	95.990
P3668	SB8	Ⅰ A6e	35.9	95.696
P3669	植栽痕か	Ⅰ A10m	19.3	95.748
P3670		Ⅰ A2i	7.6	95.738
P3671	SB7	Ⅰ A6f	5.6	95.947
P3672		Ⅰ A2j	94.3	95.477
P3673		Ⅰ A7q	29.1	95.560
P3674		Ⅰ A7q	13.7	95.719
P3675	SB7	Ⅰ A6e	34.2	95.798
P3676	SB86	Ⅰ A7q	20.4	95.534
P3677		Ⅰ A7i	20.7	95.889
P3678	SI4	Ⅰ A4j	23.1	95.539
P3679	欠番			
P3680	SB3	Ⅰ A7q	59.9	95.287
P3681	SI2（新期）	Ⅰ A7q	25.3	95.403
P3682	SI2（新期）	Ⅰ A7p	9.8	95.541
P3683	SI2（新期）	Ⅰ A7p	21.3	95.480
P3684	SI2（新期）	Ⅰ A7p	14.9	95.554
P3685	SI2（新期）	Ⅰ A8p	21.8	95.431
P3686	SI2（新期）	Ⅰ A7q	30.2	95.362
P3687	SI2（旧期）	Ⅰ A7q	23.7	95.416
P3688	SI2（新期）	Ⅰ A7q	15.0	95.477
P3689	SI2（旧期）	Ⅰ A7q	22.2	95.421
P3690	SI2（旧期）	Ⅰ A7q	21.8	95.395
P3691	SI2（旧期）	Ⅰ A7q	16.6	95.504
P3692	SI2（旧期）	Ⅰ A7q	16.7	95.464
P3693	SI2（旧期）	Ⅰ A7p	19.4	95.461
P3694	SI2（新期）	Ⅰ A7q	17.8	95.447
P3695	SB3	Ⅰ A7q	9.7	95.536
P3696	SI2（新期）	Ⅰ A7q	20.2	95.396
P3697	SI2（旧期）	Ⅰ A7q	11.5	95.507
P3698	SI2（新期）	Ⅰ A7p	20.3	95.438
P3699	SI2（旧期）	Ⅰ A7p	21.0	95.416
P3700	SI2（旧期）	Ⅰ A8p	20.5	95.407
P3701	SB1	Ⅰ A4h	43.7	95.509
P3702		Ⅰ A4j	50.4	95.404
P3703		Ⅰ A4j	33.4	95.415
P3704	SI4	Ⅰ A4j	56.3	95.205
P3705	SI4	Ⅰ A4j	59.1	95.242
P3706	SB14	Ⅰ A4j	15.8	95.722
P3707		Ⅰ A5j	14.2	95.795
P3708	SB78	Ⅰ A7q	37.3	95.489
P3709		Ⅰ A7p	17.9	95.751
P3710		Ⅰ A4h	5.7	95.890
P3711		Ⅰ A5j	13.8	95.690
P3712	SB78	Ⅰ A7p	12.1	95.803
P3713		Ⅰ A7q	26.4	95.584
P3714		Ⅰ A7q	18.2	95.701
P3715		Ⅰ A7q	27.7	95.551
P3716		Ⅰ A6j	30.5	95.732
P3717		Ⅰ A7o	7.5	95.874
P3718		Ⅰ A7o	8.0	95.873
P3719	SI5	Ⅰ A4j	7.4	95.251
P3720	SB82	Ⅰ A7n	48.4	95.487
P3721	SI4	Ⅰ A4j	26.5	95.282
P3722		Ⅰ A4j	30.9	95.271
P3723		Ⅰ A2g	27.2	95.600
P3724	SI6	Ⅰ A1f	57.3	95.321
P3725	SI6	Ⅰ A1f	79.3	95.057
P3726		Ⅰ A1f	13.7	95.715
P3727	欠番			
P3728		Ⅰ A6f	17.0	95.972
P3729	SB1	Ⅰ A5h	34.4	95.702
P3730	SI7（旧期）	Ⅰ A4i	30.5	95.666
P3731	SI6	Ⅰ A2f	75.0	95.091
P3732	SB1	Ⅰ A6i	10.6	95.730
P3733		Ⅰ A5j	12.9	95.753
P3734	SB101	Ⅰ A14h	41.4	95.683
P3735		Ⅰ A14h	34.4	95.622

第4表　柱穴一覧表⑯

柱穴番号	遺構名	グリッド	深さ(cm)	底面標高(m)
P3736	SI3	Ⅰ A14h	34.7	95.561
P3737	SI3	Ⅰ A14h	28.8	95.692
P3738	SI3	Ⅰ A14h	27.4	95.692
P3739	SI3	Ⅰ A14h	27.4	95.656
P3740	SI3	Ⅰ A13h	31.5	95.690
P3741	SI3	Ⅰ A13h	23.3	95.716
P3742	SI3	Ⅰ A13h	23.2	95.757
P3743	SI3	Ⅰ A14h	31.6	95.663
P3744	SB111	Ⅰ A14h	25.1	95.824
P3745	SI3	Ⅰ A14h	31.4	95.656
P3746	SB112	Ⅰ A14i	40.8	95.787
P3747	SI3	Ⅰ A14h	7.6	95.859
P3748	SI3	Ⅰ A14h	5.4	95.903
P3749	SB153	Ⅰ A3c	18.9	95.951
P3750		Ⅰ A2c	10.0	95.859
P3751	SI7（新期）	Ⅰ A5i	57.8	95.454
P3752		Ⅰ A13g	33.5	95.898
P3753		Ⅰ A6g	11.9	95.979
P3754	SB39	Ⅰ A3l	23.5	95.413
P3755	SB111	Ⅰ A14h	59.7	95.537
P3756		Ⅰ A13h	42.2	95.757
P3757	SB108	Ⅰ A13e	12.4	95.990
P3758	SB108	Ⅰ A13e	5.8	96.056
P3759	SB108	Ⅰ A13f	3.8	96.091
P3760	SB105	Ⅰ A11e	44.8	96.022
P3761		Ⅰ A5b	22.7	95.646
P3762	SB153	Ⅰ A4c	22.2	95.832
P3763	SB107	Ⅰ A12h	10.2	96.135
P3764	SB103	Ⅰ A11h	33.1	95.886
P3765	SB103	Ⅰ A10h	23.9	95.882
P3766		Ⅰ A13g	29.5	95.871
P3767	SB113	Ⅰ A11j	10.5	96.039
P3768	SB40	Ⅰ A2k	29.3	95.456
P3769	SB115	Ⅰ A13j	17.5	95.875
P3770	SB125	Ⅰ A15k	38.4	95.608
P3771		Ⅰ A0f	9.5	95.725
P3772		Ⅰ A0f	13.7	95.652
P3773		Ⅰ A0f	11.5	95.687
P3774	SB119	Ⅰ A11m	9.3	95.897
P3775	SB124	Ⅰ A9q	12.3	95.783
P3776	SB126	Ⅰ A9n	18.1	95.707
P3777	SB121	Ⅰ A9o	10.4	95.748
P3778		Ⅰ A11p	6.7	95.890
P3779	SB126	Ⅰ A11p	5.3	95.896
P3780		Ⅰ A9n	28.8	95.618
P3781		Ⅰ A2j	16.4	95.587
P3782		Ⅰ A2j	17.8	95.584
P3783		Ⅰ A1m	2.8	95.582
P3784		Ⅰ A1m	4.7	95.543
P3785	欠番			
P3786	欠番			
P3787	欠番			
P3788		Ⅰ A1m	28.1	95.387
P3789	欠番			
P3790		Ⅰ A1l	29.2	95.453
P3791		Ⅰ A12o	2.5	96.020
P3792		Ⅰ A11n	17.1	95.841
P3793	植栽痕	Ⅰ A11n	16.6	95.877
P3794	SB75	Ⅰ A6q	15.8	95.713
P3795		Ⅰ A7o	13.0	95.732
P3796	SB82	Ⅰ A7o	15.2	95.826
P3797	SB3	Ⅰ A6p	57.8	95.374
P3798	SB85	Ⅰ A6p	36.5	95.620
P3799	SB57	Ⅰ A6o	63.8	95.283
P3800		Ⅰ A8q	30.2	95.536
P3801	SB3	Ⅰ A6o	65.8	95.257
P3802		Ⅰ A1l	21.5	95.471
P3803		Ⅰ A4m	17.8	95.641
P3804	SB40	Ⅰ A2j	35.3	95.374
P3805	SB34	Ⅰ A3m	18.5	95.577
P3806		Ⅰ A1m	18.8	95.555
P3807		Ⅰ A1l	13.4	95.457
P3808		Ⅰ A5b	42.5	95.707
P3809	SB36	Ⅰ A3p	6.7	95.709
P3810		Ⅰ A4b	16.0	95.979
P3811	SB168	Ⅰ A5l	43.5	95.363
P3812	SI7（旧期）	Ⅰ A5h	48.6	95.518
P3813	SB156	Ⅰ A8a	46.0	95.661
P3814		Ⅰ A2e	12.5	95.864
P3815	SB159	Ⅰ A3b	32.6	95.701
P3816		Ⅰ A5m	22.0	95.550
P3817		Ⅰ A5q	31.4	95.504
P3818		Ⅰ A5k	38.9	95.456
P3819	SB2	Ⅰ A6l	49.0	95.445
P3820	SB168	Ⅰ A5k	29.6	95.476
P3821	SB156	Ⅰ A8b	19.2	96.082
P3822	SB37	Ⅰ A5k	30.6	95.489
P3823	欠番			
P3824		Ⅰ A6k	21.9	95.642
P3825	SB25	Ⅰ A5l	47.1	95.377
P3826	SB42	Ⅰ A5l	45.2	95.442
P3827		Ⅰ A5l	19.2	95.619
P3828	SB69	Ⅰ A5l	19.1	95.658
P3829		Ⅰ A4b	30.5	95.830
P3830	SB157	Ⅰ A4c	8.9	95.992
P3831		Ⅰ A5l	20.2	95.581
P3832	SB166	Ⅰ A5k	39.3	95.408
P3833		Ⅰ A0e	10.1	95.763
P3834		Ⅰ A4b	29.9	95.785
P3835		Ⅰ A7d	6.9	96.140
P3836		Ⅰ A6d	25.8	95.858
P3837		Ⅰ A2l	35.1	95.597
P3838		Ⅰ A3k	19.1	95.567
P3839		Ⅰ A6l	29.4	95.634
P3840	SB99	Ⅰ A6l	10.7	95.697
P3841		Ⅰ A5l	10.9	95.759
P3842		Ⅰ A9g	19.6	95.955
P3843	SB167	Ⅰ A3l	37.0	95.372
P3844		Ⅰ A4m	9.7	95.676
P3845	SB83	Ⅰ A4k	18.7	95.422
P3846		Ⅰ A4k	9.2	95.521
P3847		Ⅰ A3j	28.7	95.552
P3848	SB30	Ⅰ A2p	12.1	95.564
P3849		Ⅰ A5l	23.3	95.642
P3850		Ⅰ A5l	36.7	95.583
P3851	SB74	Ⅰ A5l	32.3	95.565
P3852		Ⅰ A5l	58.7	95.317
P3853		Ⅰ A5l	9.9	95.777
P3854		Ⅰ A1k	15.7	95.625
P3855		Ⅰ A1l	16.6	95.629
P3856		Ⅰ A2l	38.9	95.399
P3857		Ⅰ A5l	55.3	95.343
P3858	欠番			
P3859		Ⅰ A2l	26.6	95.553
P3860		Ⅰ A2l	8.3	95.678
P3861		Ⅰ A1l	17.6	95.637
P3862		Ⅰ A4s	14.9	95.478
P3863		Ⅰ A4s	17.6	95.465
P3864		Ⅰ A4s	13.9	95.458
P3865		Ⅰ A7m	15.5	95.772
P3866	SB166	Ⅰ A6m	39.0	95.476
P3867		Ⅰ A6m	4.1	95.847
P3868		Ⅰ A1n	6.9	95.660
P3869		Ⅰ A1o	29.3	95.373
P3870		Ⅰ A1o	6.2	95.647
P3871	SB92	Ⅰ A1o	28.4	95.424
P3872	SB72	Ⅰ A2p	29.0	95.287
P3873		Ⅰ A2m	14.6	95.630
P3874		Ⅰ A2m	16.9	95.617
P3875	SB39	Ⅰ A3m	20.7	95.449
P3876		Ⅰ A3m	25.3	95.542
P3877		Ⅰ A3m	9.0	95.711
P3878	SB72	Ⅰ A1p	33.1	95.240
P3879	SB87	Ⅰ A3m	25.2	95.514
P3880		Ⅰ A4l	7.6	95.775
P3881	SB34	Ⅰ A3l	17.1	95.454
P3882	SB49	Ⅰ A1o	52.4	95.246
P3883		Ⅰ A3l	7.4	95.543
P3884	SB79	Ⅰ A1o	29.8	95.358
P3885	SB81	Ⅰ A1o	32.5	95.177
P3886	SB95	Ⅰ A2o	21.5	95.354
P3887		Ⅰ A4l	42.0	95.365
P3888	SB39	Ⅰ A4l	23.5	95.538
P3889		Ⅰ A2p	25.4	95.365
P3890	SB31	Ⅰ A5l	7.6	95.790
P3891		Ⅰ A4m	19.6	95.539
P3892		Ⅰ A2o	8.8	95.681
P3893		Ⅰ A5m	19.1	95.625
P3894		Ⅰ A2o	9.4	95.627
P3895	SB88	Ⅰ A3p	10.5	95.686
P3896	SB74	Ⅰ A5m	13.4	95.709
P3897	SB69	Ⅰ A5m	8.5	95.817
P3898		Ⅰ A6l	28.5	95.598
P3899		Ⅰ A5m	35.2	95.479
P3900		Ⅰ A2o	14.2	95.313
P3901	SB32	Ⅰ A2p	28.7	95.422
P3902		Ⅰ A2p	13.2	95.603
P3903		Ⅰ A2p	28.8	95.495
P3904	SB77	Ⅰ A5m	13.5	95.750
P3905		Ⅰ A5m	18.8	95.698
P3906	SB91	Ⅰ A5m	13.7	95.604
P3907		Ⅰ A3o	38.6	95.403
P3908		Ⅰ A2q	20.5	95.568
P3909		Ⅰ A2q	39.5	95.324
P3910	SB92	Ⅰ A3p	13.4	95.617
P3911		Ⅰ A2q	38.7	95.378
P3912	SB65	Ⅰ A3p	43.0	95.341
P3913		Ⅰ A7l	9.3	95.857
P3914		Ⅰ A2q	24.8	95.480
P3915	SB90	Ⅰ A2q	10.2	95.621
P3916	SB95	Ⅰ A2p	51.4	95.214
P3917		Ⅰ A1p	33.1	95.383
P3918	SB166	Ⅰ A6m	32.0	95.558
P3919	SB78	Ⅰ A7o	10.0	95.888
P3920		Ⅰ A6p	10.8	95.812
P3921	SB165	Ⅰ A6p	16.7	95.745
P3922		Ⅰ A6q	6.4	95.817
P3923	SB164	Ⅰ A7q	14.1	95.808
P3924		Ⅰ A6q	8.2	95.760
P3925		Ⅰ A5p	13.7	95.716
P3926		Ⅰ A6q	11.2	95.786
P3927	SB146	Ⅰ A6p	19.2	95.687
P3928	SB150	Ⅰ A6o	15.7	95.754
P3929	SB154	Ⅰ A6o	23.6	95.648
P3930		Ⅰ A6o	21.1	95.718
P3931	SB98	Ⅰ A6o	23.2	95.628
P3932		Ⅰ A7o	16.4	95.771
P3933		Ⅰ A5p	8.5	95.720
P3934	SB154	Ⅰ A7o	10.2	95.792
P3935		Ⅰ A6p	32.5	95.540
P3936		Ⅰ A6p	29.0	95.612
P3937		Ⅰ A6o	15.9	95.722
P3938		Ⅰ A6o	7.8	95.840
P3939		Ⅰ A6q	17.2	95.698
P3940	SB165	Ⅰ A6q	11.8	95.772
P3941		Ⅰ A6q	9.6	95.761
P3942	SB26	Ⅰ A5q	11.8	95.707
P3943		Ⅰ A6o	21.6	95.689
P3944		Ⅰ A6o	19.0	95.743
P3945		Ⅰ A6o	15.0	95.813
P3946		Ⅰ A6p	25.6	95.646
P3947		Ⅰ A6p	28.0	95.653
P3948		Ⅰ A6p	21.9	95.727
P3949		Ⅰ A6p	11.1	95.773
P3950		Ⅰ A5n	3.4	95.741
P3951		Ⅰ A5p	25.8	95.602
P3952	SB154	Ⅰ A5p	20.7	95.617
P3953		Ⅰ A5p	23.4	95.633
P3954		Ⅰ A5p	17.7	95.745
P3955	SB154	Ⅰ A7p	11.7	95.734
P3956		Ⅰ A7i	12.8	95.856
P3957		Ⅰ A4k	9.0	95.671
P3958		Ⅰ A2l	11.0	95.733
P3959		Ⅰ A5n	13.0	95.738
P3960	SB98	Ⅰ A6o	42.3	95.482
P3961	SB146	Ⅰ A6o	26.2	95.436
P3962		Ⅰ A6i	27.1	95.829
P3963		Ⅰ A2m	26.8	95.507
P3964	SB49	Ⅰ A1n	14.1	95.562
P3965		Ⅰ A6l	11.8	95.819
P3966	SB79	Ⅰ A1n	24.7	95.486
P3967		Ⅰ A5m	12.7	95.731
P3968	SB1	Ⅰ A6j	6.4	95.832
P3969		Ⅰ A6h	27.1	95.816
P3970		Ⅰ A2q	20.3	95.469
P3971		Ⅰ A2m	15.5	95.666
P3972	SB22	Ⅰ A2k	10.3	95.588
P3973	SB88	Ⅰ A2o	13.0	95.621
P3974	SB52	Ⅰ A8p	10.8	95.792
P3975	SB88	Ⅰ A3p	4.8	95.741
P3976		Ⅰ A5b	12.8	96.030
P5001		Ⅰ B2b	14.7	95.252
P5002		Ⅰ B2b	33.2	95.109
P5003		Ⅰ B3b	11.8	95.360
P5004		Ⅰ B3c	17.7	95.353
P5005		Ⅰ B4b	20.4	95.366
P5006		Ⅰ B4b	15.2	95.386
P5007		Ⅰ B4b	11.3	95.476
P5008		Ⅰ B4b	14.7	95.457

第 4 表　柱穴一覧表⑰

柱穴番号	遺構名	グリッド	深さ(cm)	底面標高(m)
P5009		I B4b	10.5	95.492
P5010		I B4b	11.5	95.485
P5011		I B4b	15.0	95.456
P5012		I B4b	8.8	95.513
P5013		I B4a	8.1	95.491
P5014	SB134	I B4a	29.8	95.289
P5015	SB134	I B4b	37.3	95.256
P5016	欠番			
P5017		I B5b	16.0	95.435
P5018	SB134	I B4b	36.2	95.236
P5019		I B4c	12.0	95.488
P5020	欠番			
P5021	SB131	I B5a	26.1	95.401
P5022	欠番			
P5023		I B5a	38.1	95.282
P5024		I B6a	25.0	95.441
P5025	欠番			
P5026	欠番			
P5027	SB134	I B5b	26.4	95.374
P5028		I B5a	11.3	95.523
P5029	欠番			
P5030		I B4g	16.2	95.295
P5031		I B4i	12.2	95.204
P5032	欠番			
P5033	SB134	I B5b	24.0	95.395
P5034	欠番			
P5035		I B6b	8.3	95.539
P5036	欠番			
P5037	SB131	I B6b	15.7	95.470
P5038	欠番			
P5039		I B6c	15.5	95.493
P5040		I B4i	61.5	94.705
P5041	SB134	I B5b	32.6	95.300
P5042		I B5f	11.7	95.468
P5043		I B5b	17.4	95.403
P5044		I B5f	23.5	95.342
P5045		I B5f	17.4	95.400
P5046	欠番			
P5047		I B6c	14.8	95.464
P5048		I B6c	5.8	95.585
P5049		I B6c	15.1	95.476
P5050		I B6c	7.5	95.542
P5051		I B5c	4.0	95.599
P5052	SB135	I B5d	21.5	95.413
P5053		I B5c	26.4	95.351
P5054	SB134	I B5c	22.4	95.413
P5055		I B6c	12.9	95.521
P5056	欠番			
P5057		I B4f	10.7	95.469
P5058	SB135	I B5d	12.0	95.536
P5059		I B4f	21.0	95.341
P5060		I B4g	13.7	95.313
P5061		I B5c	28.0	95.316
P5062	SB134	I B4c	42.3	95.198
P5063		I B4c	11.4	95.512
P5064		I B4c	34.6	95.242
P5065		I B4c	6.1	95.538
P5066	SB135	I B4d	28.7	95.330
P5067	欠番			
P5068	SB135	I B4d	30.0	95.301
P5069	欠番			
P5070	欠番			
P5071		I B3c	16.6	95.340
P5072		I B2c	12.2	95.349
P5073	欠番			
P5074		I B3d	16.7	95.345
P5075		I B6d	28.8	95.326
P5076	SB135	I B5d	21.4	95.420
P5077	SB135	I B5d	20.3	95.401
P5078	SB135	I B4d	26.3	95.334
P5079		I B4e	4.0	95.568
P5080	SB135	I B4d	25.3	95.372
P5081		I B4e	4.5	95.528
P5082		I B3e	11.2	95.420
P5083	欠番			
P5084		I B3e	14.4	95.325
P5085	欠番			
P5086	欠番			
P5087		I B2d	9.5	95.368
P5088	欠番			
P5089		I B3e	10.5	95.361
P5090		I B3e	24.6	95.194
P5091		I B6e	28.0	95.351
P5092	欠番			
P5093		I B6d	17.5	95.463
P5094		I B5f	13.7	95.454
P5095	欠番			
P5096		I B5f	10.6	95.488
P5097		I B5f	4.6	95.526
P5098		I B5e	20.9	95.361
P5099		I B5f	19.8	95.378
P5100		I B5f	14.9	95.433
P5101		I B4e	21.6	95.370
P5102		I B6g	9.6	95.450
P5103		I B5f	30.0	95.255
P5104		I B4f	16.0	95.383
P5105		I B4f	16.0	95.360
P5106	欠番			
P5107		I B7i	21.2	95.192
P5108		I B7a	30.9	95.400
P5109	SB132	I B6a	13.0	95.534
P5110	SB132	I B6a	13.6	95.492
P5111	SB132	I B6b	17.7	95.450
P5112	SB132	I B6b	12.9	95.444
P5113	SB132	I B6c	10.0	95.448
P5114		I B7f	9.4	95.529
P5115	SB132	I B7c	14.0	95.521
P5116	SB132	I B7c	18.4	95.468
P5117	SB132	I B7b	11.2	95.538
P5118	SB132	I B7b	11.9	95.526
P5119		I B8g	3.6	95.501
P5120	SB132	I B7a	19.0	95.491
P5121		I B5a	9.8	95.572
P5122		I B5a	9.9	95.541
P5123		I B4a	13.4	95.466
P5124		I B3a	6.1	95.554
P5125		I B3a	14.1	95.443
P5126	SB131	I B6a	47.0	95.190
P5127	SB132	I B7a	5.0	95.645
P5128	SB132	I B7a	9.5	95.491
P5129		I B7a	10.8	95.607
P5130	SB132	I B7a	17.8	95.514
P5131		I B7b	10.2	95.554
P5132		I B7b	14.6	95.513
P5133	SB132	I B7b	10.3	95.528
P5134	SB132	I B7b	11.4	95.542
P5135		I B7c	15.4	95.487
P5136		I B7c	19.9	95.446
P5137		I B7c	21.9	95.450
P5138		I B7c	6.1	95.549
P5139	SB132	I B7c	19.9	95.432
P5140	欠番			
P5141		I B7c	9.7	95.538
P5142		I B7c	7.7	95.591
P5143		I B7a	10.8	95.614
P5144		I B8a	9.3	95.609
P5145		I B8c	22.9	95.471
P5146		I B8c	5.2	95.614
P5147		I B7c	17.1	95.490
P5148		I B6e	11.2	95.471
P5149		I B6d	13.5	95.463
P5150		I B6d	12.7	95.463
P5151		I B6e	8.2	95.503
P5152		I B7d	15.7	95.461
P5153		I B7d	23.2	95.430
P5154		I B7d	18.7	95.460
P5155		I B7d	10.7	95.509
P5156		I B7e	25.0	95.386
P5157		I B7d	11.3	95.529
P5158		I B7d	10.4	95.506
P5159		I B7d	10.0	95.527
P5160		I B7e	8.0	95.520
P5161		I B7e	15.4	95.465
P5162		I B7e	13.1	95.521
P5163		I B8e	15.3	95.484
P5164		I B8e	7.5	95.573
P5165		I B8e	7.4	95.612
P5166		I B8e	29.3	95.328
P5167		I B8e	29.1	95.316
P5168		I B7f	7.0	95.539
P5169		I B7f	15.6	95.465
P5170		I B7f	10.4	95.516
P5171		I B7f	12.1	95.479
P5172	SB130	I B8a	15.6	95.554
P5173		I B8a	18.5	95.526
P5174		I B8b	17.6	95.558
P5175		I B8c	14.9	95.544
P5176		I B8c	20.7	95.472
P5177		I B8c	38.9	95.295
P5178		I B8c	21.7	95.431
P5179		I B10d	4.3	95.624
P5180		I B9d	33.0	95.294
P5181		I B9d	25.3	95.391
P5182		I B9d	22.5	95.442
P5183		I B9c	12.9	95.532
P5184		I B9c	12.4	95.549
P5185		I B9c	11.4	95.569
P5186		I B9c	8.9	95.609
P5187	SB130	I B9a	9.0	95.687
P5188	SB136	I B9a	31.4	95.444
P5189	SB130	I B9a	10.8	95.657
P5190	SB136	I B9a	32.4	95.409
P5191		I B9a	16.9	95.609
P5192		I B10a	23.5	95.523
P5193		I B10a	7.6	95.670
P5194	SB136	I B10a	34.2	95.392
P5195		I B10a	20.0	95.565
P5196	SB136	I A10a	19.6	95.544
P5197		I B10a	24.4	95.469
P5198		I B10b	28.9	95.369
P5199		I B10c	24.6	95.437
P5200		I B11c	10.4	95.550
P5201		I B11c	20.1	95.390
P5202		I B11a	19.4	95.495
P5203		I B11a	12.1	95.518
P5204	SI8	I B11a	8.4	95.611
P5205		I B10a	9.5	95.655
P5206		I B10a	17.3	95.563
P5207	SI8	I B10a	13.5	95.634
P5208	SI8	I B10a	17.2	95.621
P5209		I B10a	16.3	95.640
P5210	SB136	I B9a	13.6	95.585
P5211		I B10b	5.4	95.607
P5212		I B7b	7.6	95.598
P5213		I B10f	14.6	95.481
P5214		I B10f	23.6	95.410
P5215		I B9f	3.6	95.595
P5216		I B9f	17.6	95.472
P5217		I B8h	8.1	95.376
P5218		I B7h	11.1	95.299
P5219		I B6d	21.2	95.426
P5220	SB131	I B5a	30.9	95.354
P5221	SB130	I B8a	20.8	95.563
P5222	SB131	I B5a	23.8	95.401
P5223	SI8	I B10a	15.3	95.624
P5224		I B4j	18.6	95.141
P5225		I B5j	53.8	94.800
P5226		I B5j	23.4	95.117
P5227		I B6k	20.1	95.099
P5228		I B6j	34.2	95.000
P5229		I B6k	7.5	95.200
P5230		I B6k	9.2	95.263
P5231		I B6k	6.6	95.253
P5232		I B4m	12.0	94.932
P5233		I B3m	9.7	94.939
P5234		I B10c	14.2	95.538
P5235	欠番			
P5236		I B8i	12.7	95.332
P5237		I B5n	19.8	94.903
P5238	欠番			
P5239		I B5n	12.8	95.162
P5240		I B7i	16.7	95.268
P5241		I B7k	16.2	95.218
P5242		I B5e	11.7	95.348
P5243		I B6i	16.5	95.180
P5244		I B6i	16.1	95.194
P5245		I B2b	22.1	95.205

Ⅴ 出 土 遺 物

出土遺物は縄文時代の土器、石器・石製品、古代の土師器、須恵器、石製品、12 世紀のかわらけ、渥美産陶器、中世陶磁器、銭貨、鉄製品、木製品、石製品がある。以下表型式で各遺物の属性を示す。

1 縄文時代の土器、石器・石製品

縄文時代の土器、石器・石製品を示す。図示したのは土器 3 点（重量合計 1721.9 g）、石器 5 点（重量合計 1649.0 g）である。

(1) 土器

1 の深鉢は SX101 とした埋設土器で、土器埋設炉と推測される。この他、不掲載の縄文時代の土器片が合計 475.8 g 出土している。重量での縄文時代の土器の掲載率は 78% となる。

第 5 表 縄文土器観察表

番号	種別	器種	出土位置	法量（cm）			重量（g）	推定時期
				口径	高さ	底径		
1	土器	深鉢	SX101 埋設土器	11.8	31.2	6.3	1354.3	後期初頭
	L 撚糸の絡条体 外底面木葉痕か							
2	土器	深鉢	SK25 2 層	15.4	(18.1)	—	147.0	後期初頭
	口縁部突起は 5 単位と推測 体部に沈線による文様 突起下に輪状の貼付 口縁部に単節 LR 縄文							
3	土器	深鉢	SK30 1 層	9.9	(15.3)	—	220.6	後期初頭
	R 撚糸の網目状の絡条体							

（観察 羽柴）

(2) 石器・石製品

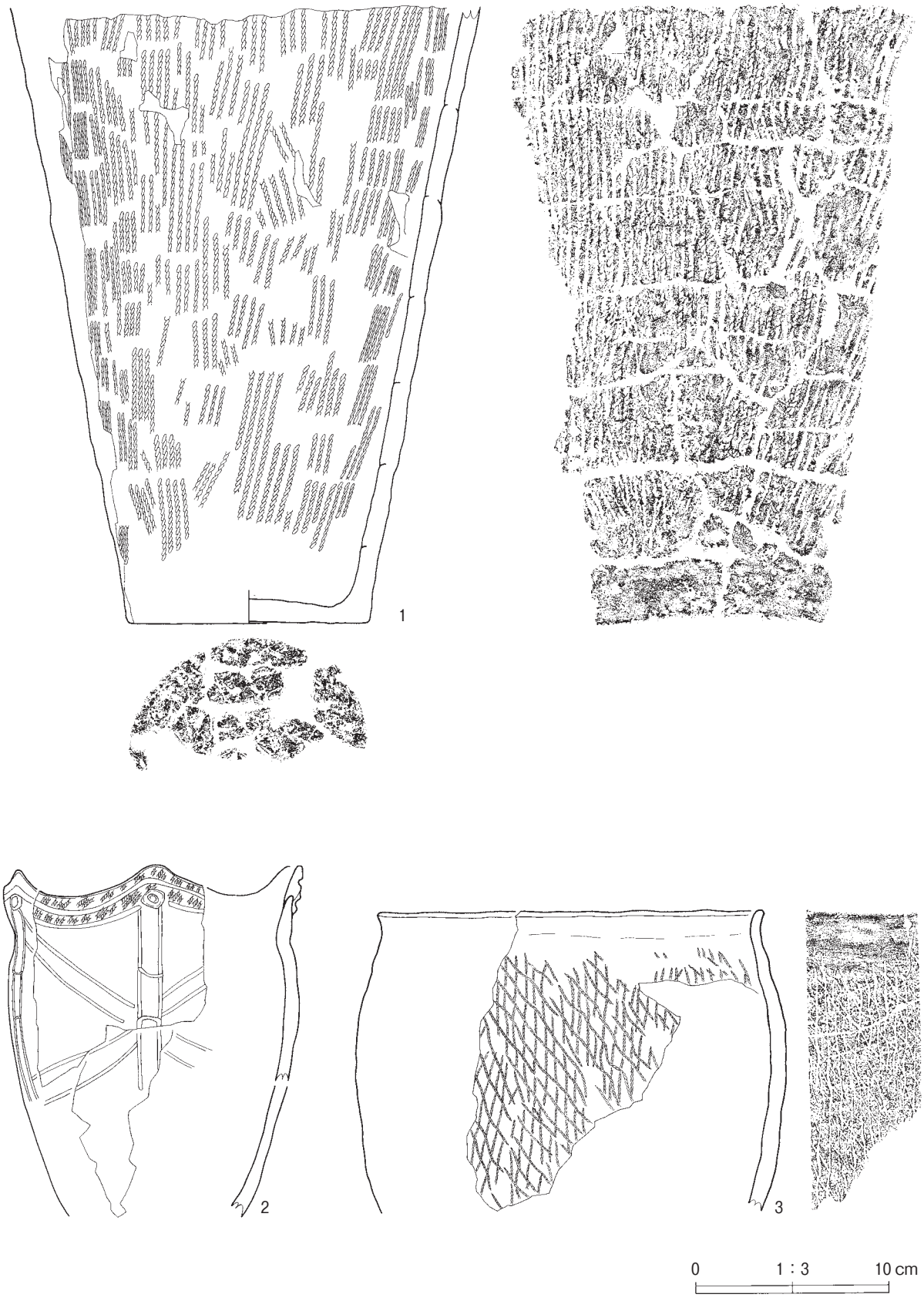
石器（石鏃、敲磨器）、石製品（石棒、石棒未製品）の計 5 点を図示した。

この他、不掲載の剥片、打ち欠きのある礫、柱状礫が合計 2926.9 g 出土している。図化、不掲載遺物ともにすべて縄文時代の遺構に伴うものではない。

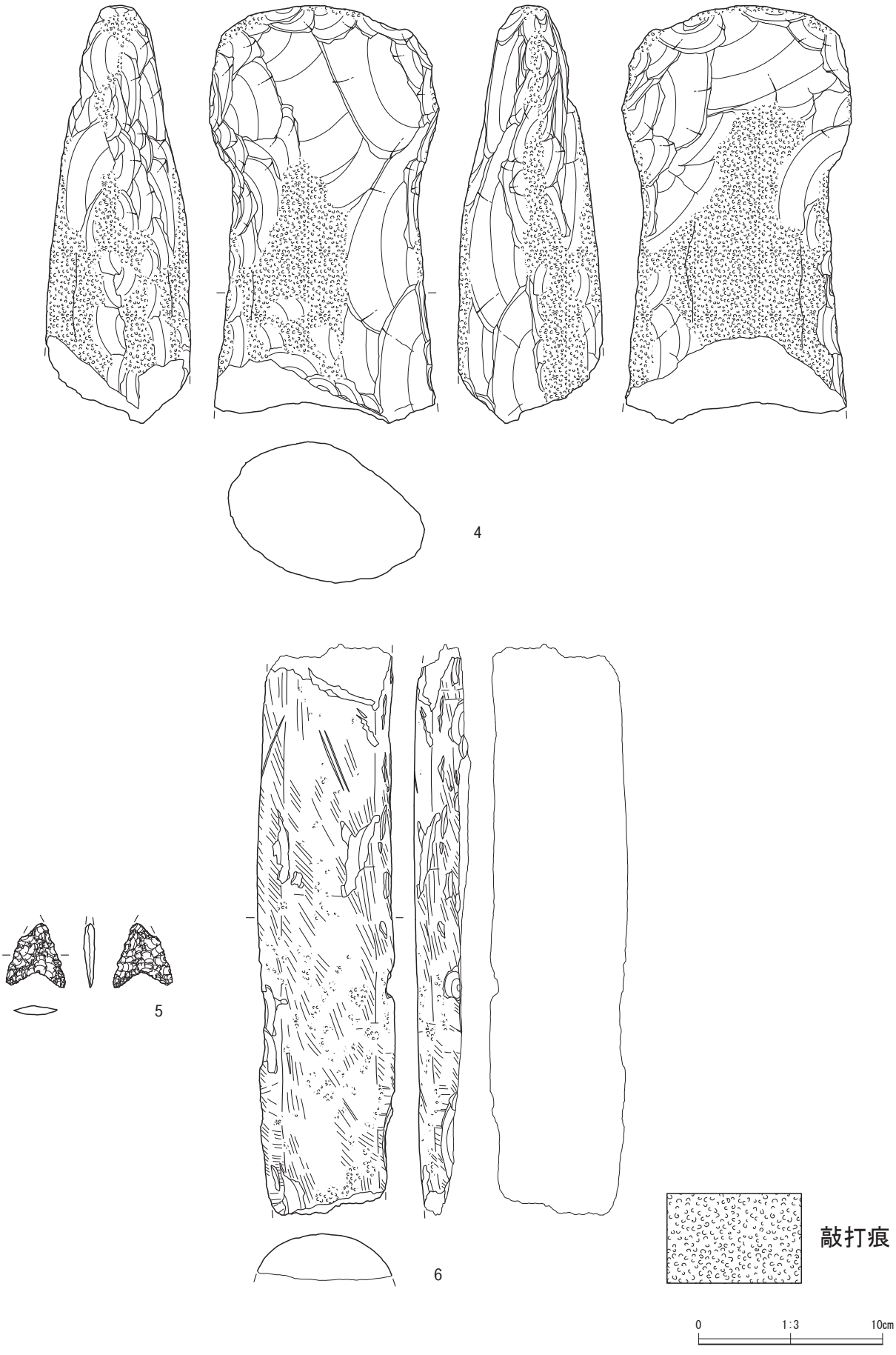
第 6 表 縄文時代の石器・石製品観察表

番号	種別	種類	出土位置	法量（cm）			重量（g）	石質 産地（生成年代）
				長さ	幅	厚さ		
4	石製品	石棒未製品	SD7 1 層	10.7	6.1	3.9	328.0	砂岩 中生代（北上山地）
	敲打痕顕著。							
5	石器	石鏃	SD502 1 層	1.4	1.6	0.3	0.5	赤色頁岩 新生代新第三紀（奥羽山脈）
6	石製品	石棒	SK11 2 層	15.1	3.6	1.5	114.2	粘板岩 古生代（北上山地）
7	石器	敲磨器	Ⅰ A7p 攪乱	12.4	10.1	6.7	1176.4	花崗岩 中生代白亜紀（奥羽山脈基盤）
	表面中央に敲打痕顕著。							
8	石器	敲磨器	Ⅰ A8h 攪乱	4.2	3.8	1.1	29.9	頁岩 古生代（北上山地）
	端部を打ち欠く。あるいは石錘か。							

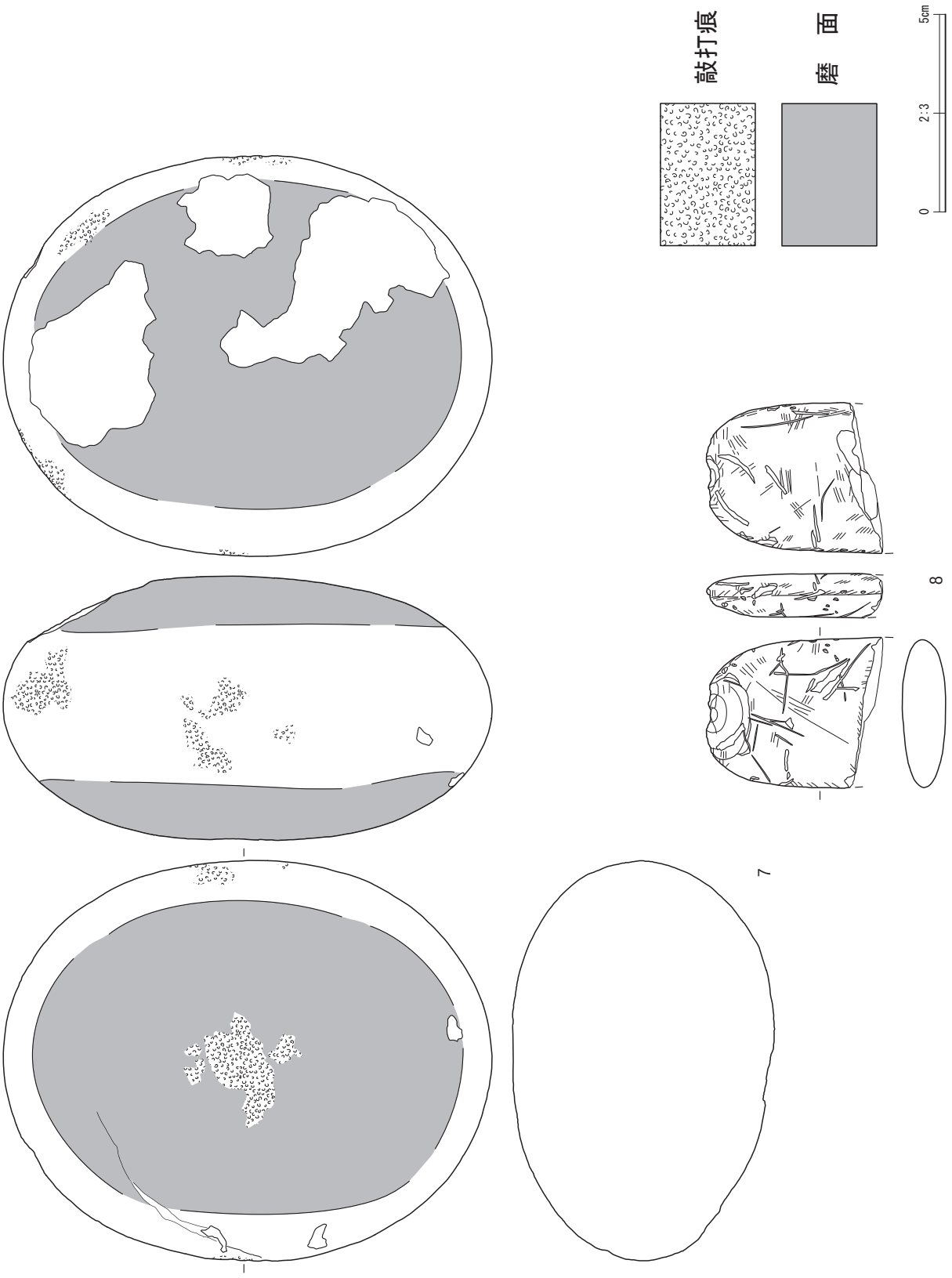
（観察 山川）



第 251 図　縄文時代の土器



第 252 図　縄文時代の石器①、石製品



第 253 図　縄文時代の石器②

2　古代の土師器・須恵器、石製品

古代の土師器・須恵器、石製品を示す。図示したのは土師器 20 点（重量合計 4,562.5 g）、須恵器 26 点（重量合計 1,812.5 g）、石製品 1 点（重量 565.5 g）である。

(1) 土師器・須恵器

土師器 20 点（重量合計 4,562.5 g）、須恵器 26 点（重量合計 1,812.5 g）を図示した。この他、不掲載の土師器 2,520.6 g・須恵器 72.0 g がある。重量での掲載率は土師器が 64%、須恵器が 96% となる。SI101 の掲載土師器の合計は 1,066.9 g、不掲載は 256.1 g、SI102 の掲載土師器の合計は 777.1 g、不掲載は 147.5 g、SI501 の掲載土師器の合計は 2,679.3 g、不掲載は 1699.5 g、掲載須恵器の合計は 423.1 g、不掲載は 17.9 g である。

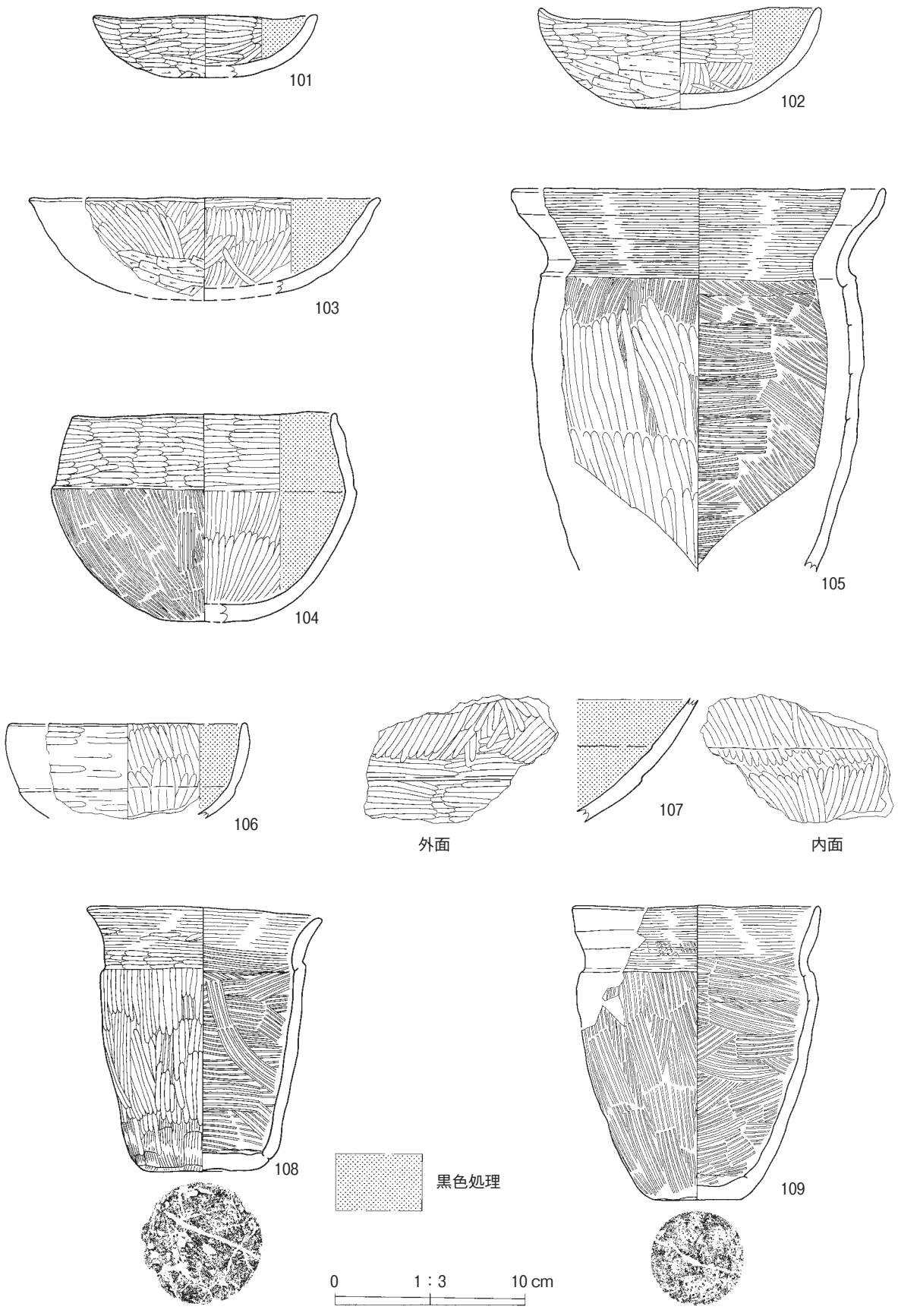
第 7 表　土師器・須恵器観察表

番号	種別	器種	出土位置	法量（cm）			重量（g）	推定時期
				口径	高さ	底径		
101	土師器	坏	SI101　1 層	11.8	3.3	丸底	51.4	7C 末～8C 初
	ロクロ不使用の坏　外面ヘラケズリの後ヘラミガキ　内面ヘラミガキ、黒色処理							
102	土師器	坏	SI101 北西 1 層	14.9	5.4	丸底	179.9	7C 末～8C 初
	ロクロ不使用の坏　外面ヘラケズリの後ヘラミガキ　内面ヘラミガキ、黒色処理							
103	土師器	坏	SI101 南西 1 層	18.5	(5.2)	—	38.3	7C 末～8C 初
	ロクロ不使用の坏　外面ヘラミガキの後ヘラケズリ　内面ヘラミガキ、黒色処理							
104	土師器	坏	SI101 北西 1 層 1 層	13.8	11.1	丸底	428.8	7C 末～8C 初 C
	ロクロ不使用の坏　深い器形「まり」形　外面下半ハケメ　外面上半ヘラミガキ　内面ヘラミガキ、黒色処理　外面に段、内面に稜がみられる							
105	土師器	長胴甕	SI101 北西 1 層、南西 1 層	19.6	(20.3)	—	368.5	7C 末～8C 初
	口縁部ヨコナデ　頚部に段　体部外面ハケメの後ヘラミガキ　体部内面ハケメ　口縁部外面の稜が明瞭で 3 段に分かれる							
106	土師器	坏	SI102　1 層	12.8	(5.0)	—	22.4	7C 末～8C 初
	ロクロ不使用の坏　外面ヘラミガキであるが、器面が荒れており不明瞭　内面ヘラミガキ、黒色処理　外面に段、内面に稜がみられる。							
107	土師器	坏	SI102　1 層	—	(6.5)	—	73.3	7C 末～8C 初
	ロクロ不使用の坏　大型品である　口径 30 cm 程度と推測　外面ヘラミガキ　内面ヘラミガキ、黒色処理　外面に段、内面に稜がみられる。							
108	土師器	長胴甕	SI102　カマド 5 層	12.2	13.9	6.2	435.2	7C 末～8C 初
	小型の長胴甕　口縁部外面ヨコナデの後ヘラミガキ　頚部外面に段　体部外面ハケメ、ヘラナデの後ヘラミガキ　口縁部内面ヨコナデ　体部内面ハケメ　底部外面木葉痕　カマド火床面に倒立の状態で出土し、支脚として使用と判断される							
109	土師器	長胴甕	SI102　1 層	13.1	15.5	4.8	246.2	7C 末～8C 初
	小型の長胴甕　外面口縁ハケメの後ヨコナデ　体部外面ハケメ　口縁部内面ヨコナデ　体部内面ハケメ　頚部外面に段　口縁部外面が稜により 3 段に分かれる　底部外面摩耗で調整等不明瞭							
110	須恵器	坏	SI501　住居内土坑 4 埋土	13.7	4.2	5.5	65.7	9C
	内外面ロクロ　底部外面回転糸切痕　硬質な焼成							
111	須恵器	坏	SI501 住居内土坑 4・5 埋土	12.9	4.0	5.8	76.1	9C
	内外面ロクロ　底部外面回転糸切痕　硬質な焼成							
112	須恵器	坏	SI501 住居内土坑 4・5 埋土	14.4	4.4	6.8	140.7	9C
	内外面ロクロ　底部外面回転糸切痕　軟質な焼成							

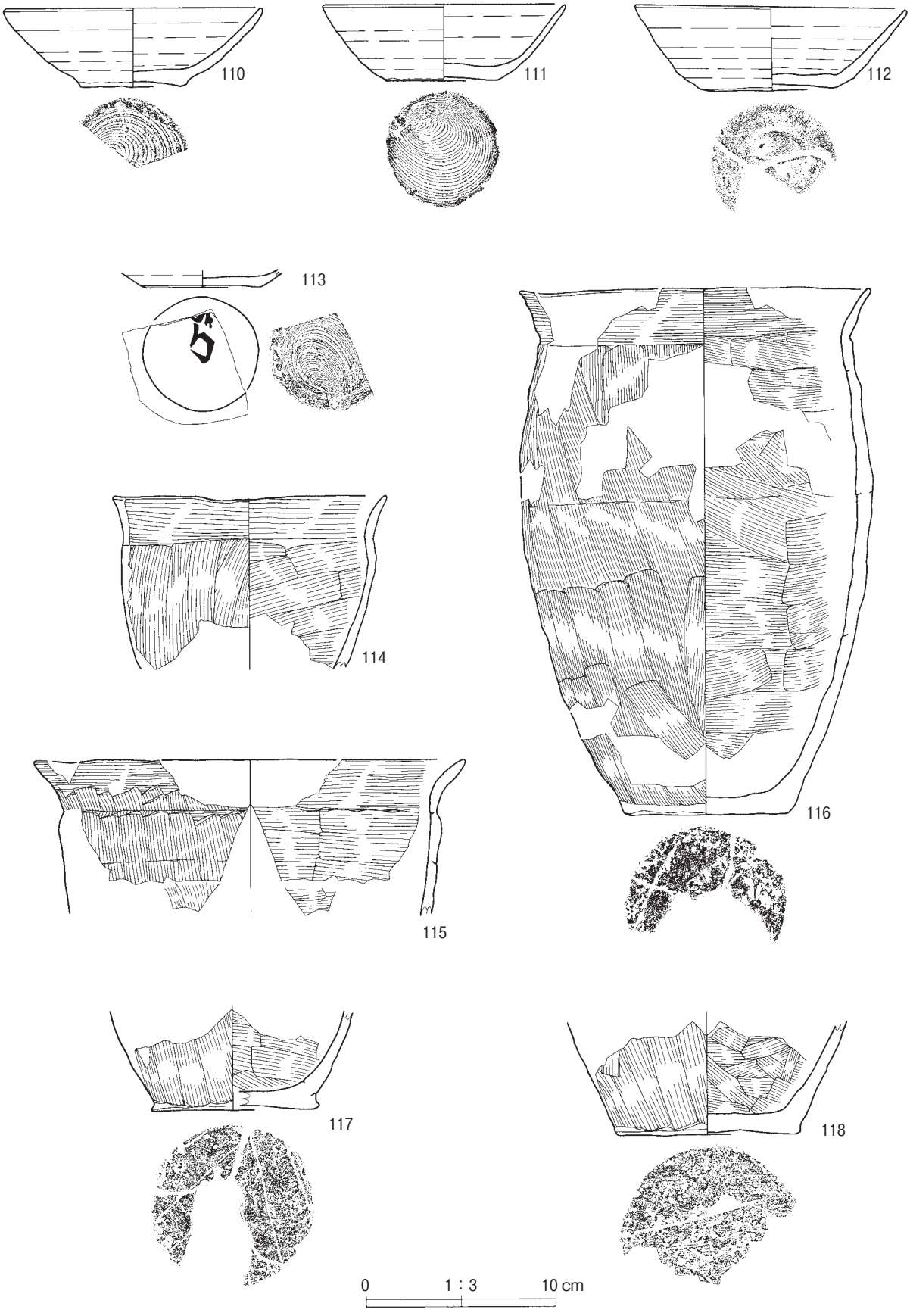
番号	種別	器種	出土位置	法量（cm）			重量（g）	推定時期
				口径	高さ	底径		
113	須恵器	坏	SI501 住居内土坑 4 埋土	—	(0.9)	6.1	21.2	9C
	内外面ロクロ　底部外面回転糸切痕　硬質な焼成　底部外面に墨書あり、文字は確定できないが「駕」の可能性を想定している							
114	土師器	長胴甕	SI501 住居内土坑 4 埋土	14.4	(9.1)	—	136.9	9C
	小型の長胴甕　口縁部ヨコナデ　体部ヘラナデ　内面口縁部に煤が帯状に付着							
115	土師器	長胴甕	SI501 住居内土坑 4・5 埋土	22.9	(7.8)	—	123.3	9C
	口縁部外面ヨコナデ、ヘラナデ　体部ヘラナデ　口縁部内面ヨコナデ　内外面に輪積痕みえる							
116	土師器	長胴甕	SI501 住居内土坑 4・5 埋土	18.5	27.8	8.6	814.8	9C
	口縁部ヨコナデ　体部ヘラナデ　外底面木葉痕							
117	土師器	長胴甕	SI501 住居内土坑 5 埋土下部	—	(5.3)	8.9	160.7	9C
	体部ヘラナデ　底部外面木葉痕							
118	土師器	長胴甕	SI501 住居内土坑 4 埋土	—	(5.9)	9.9	156.1	9C
	体部ヘラナデ　底部外面木葉痕							
119	土師器	長胴甕	SI501　2 号カマド煙出し埋土	—	(14.1)	8.1	340.1	9C
	体部内外面ヘラナデ　外面粘土付着　底部外面ヘラナデ							
120	土師器	長胴甕	SI501 住居内土坑 4・5 埋土	—	(13.1)	11.3	400.8	9C
	体部内外面ヘラナデ　底部外面木葉痕　割れた後に被熱している							
121	土師器	鉢	SI501　住居内土坑 1.4・5 埋土	24.8	(21.5)	—	546.6	9C
	接合しないが口唇部片があり、器形を復元できた　口縁部外面ヨコナデ　体部外面ヘラナデ　内面ヘラミガキ、黒色処理　外面に炭化物付着　割れた後被熱している							
122	須恵器	甕	SI501　住居内土坑 4・5 埋土	—	(11.1)	—	55.2	9C
	体部下半片　外面ヘラケズリ　内面ヘラナデ　破断面 5YR4/4 にぶい赤褐色を呈する							
123	須恵器	甕	SI501 埋土下部	—	(7.0)	—	64.2	9C
	体部中央～下半片　外面ヘラケズリ　内面ヘラナデ							
124	土師器	坏	SX16　5 層	11.4	(3.1)	—	9.6	9C 以降
	ロクロ不使用の坏型の器形　口縁部外面ヨコナデ　体部ヘラケズリ　内面ヘラミガキ　割れた後被熱している　黒色処理が残っていないが、二次被熱により炭素がとんだものか							
125	土師器	坏	SX16　5 層	13.1	(2.6)	—	8.0	9C 以降
	内外面ロクロ　土器質の焼成であり、土師器とした							
126	土師器	坏	P3021 埋土（IA2k）	—	(1.4)	5.6	21.6	9C 以降
	内外面ロクロ　底部に低い高台　高台貼付けの指あと顕著につく							
127	須恵器	坏	P3212 埋土（IA1n）	—	(1.1)	7.0	19.0	8～9C
	内外面ロクロ　底部外面回転ヘラ切痕　底辺部と底部の境界の稜不明瞭							
128	須恵器	双耳坏	P3391 埋土（IA2p）	3.7（長）	2.3（幅）	0.8（厚）	7.8	9C か
	双耳坏の耳部破片と推測される　側面切り取ったように稜が明瞭　下面に指紋が顕著につく							
129	須恵器	大甕	P3212 埋土（IA1n）	—	(8.4)	—	146.1	9C 以降
	外面ハケメ状の調整の後、タタキ目　内面アテ具痕							
130	須恵器	大甕	SB51、P3224 埋土（IA1n）	—	(3.5)	—	28.4	9C 以降
	外面タタキ目　内面アテ具痕							
131	須恵器	大甕	SG1　1 層	—	(5.5)	—	92.3	9C 以降
	外面タタキ目　内面アテ具痕							
132	須恵器	大甕	SB58、P3036 埋土（IA2l）	—	(5.0)	—	25.3	9C 以降
	外面タタキ目　内面アテ具痕							
133	須恵器	大甕	SK13　3 層	—	(7.1)	—	120.4	9C 以降
	外面タタキ目か、ほとんど剥離している　内面アテ具痕、ヘラナデ							
134	須恵器	大甕	P2337 埋土（IA4P）	—	(4.4)	—	93.4	9C 以降
	外面タタキ目　内面アテ具痕							
135	須恵器	大甕	P3498 埋土（IA1n）	—	(6.7)	—	409.0	9C 以降
	外面タタキ目　内面カキメ　上半部の破片							
136	須恵器	大甕	P3293 埋土（IA2n）	—	(3.5)	—	22.9	9C 以降
	外面タタキ目　内面アテ具痕　破断面 2.5YR4/4 にぶい赤褐色を呈する							

番号	種別	器種	出土位置	法量（cm）			重量（g）	推定時期
				口径	高さ	底径		
137	須恵器	大甕	SI1　1層	—	(4.5)	—	58.7	9C 以降
	外面タタキ目　内面ヘラナデ							
138	須恵器	大甕	SG1　1層	—	(5.8)	—	95.6	9C 以降
	外面タタキ目　内面ヘラナデ							
139	須恵器	大甕	SD1　2層（ⅠA6d）	—	(6.2)	—	62.6	9C 以降
	外面タタキ目　内面ヘラナデ							
140	須恵器	大甕	SD8　1層（ⅠA5q）	—	(6.4)	—	103.5	9C 以降
	外面タタキ目　内面アテ具痕　破断面 5YR4/4 にぶい赤褐色を呈する部分がある							
141	須恵器	大甕	SD1　1層	—	(4.1)	—	97.4	9C 以降
	外面タタキ目　内面ヘラナデ							
142	須恵器	大甕	SG1　1層	—	(4.1)	—	54.1	9C 以降
	外面タタキ目　内面ヘラナデ							
143	須恵器	大甕	SD7　1層（ⅠA0k）	—	(8.4)	—	158.2	9C 以降
	外面タタキ目、ヘラナデ　内面ヘラナデ							
144	須恵器	大甕	P3859 埋土	—	(4.2)	—	30.6	9C 以降
	外面タタキ目　内面アテ具痕　P3859 は SX19 より新しい							
145	須恵器	大甕	SD502　1層	—	(3.9)	—	67.4	9C 以降
	口縁部片　内外面ヨコナデ　口唇部に面取りをしている							
146	須恵器	大甕	SG1　1層	—	(4.0)	—	64.8	9C 以降
	口縁部付近の破片　内外面ヨコナデ、一部ヘラナデ状の調整もみえる							

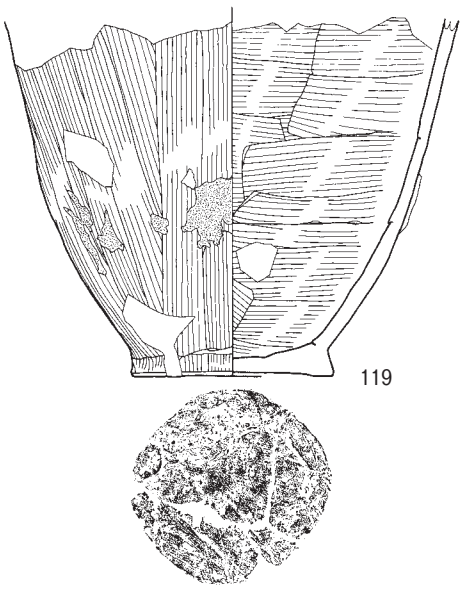
（土師器、須恵器観察　羽柴）

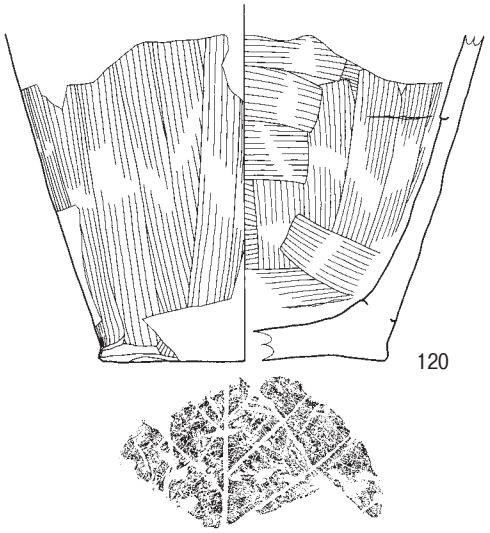


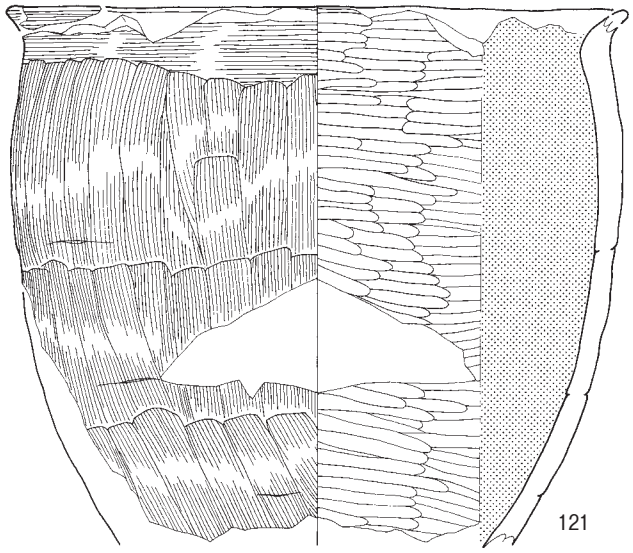
第 254 図　古代の土師器（SI101・SI102）

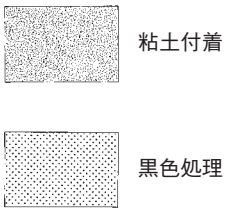


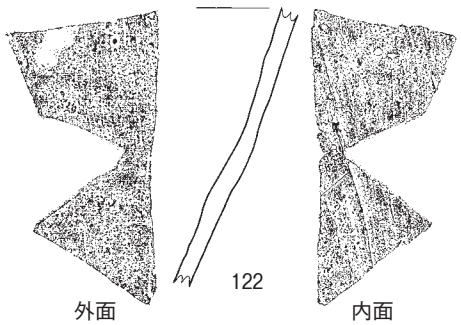
第 255 図　古代の土師器・須恵器（SI501 ①）

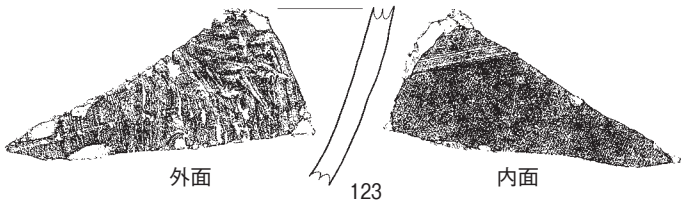


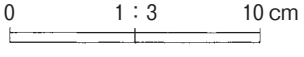




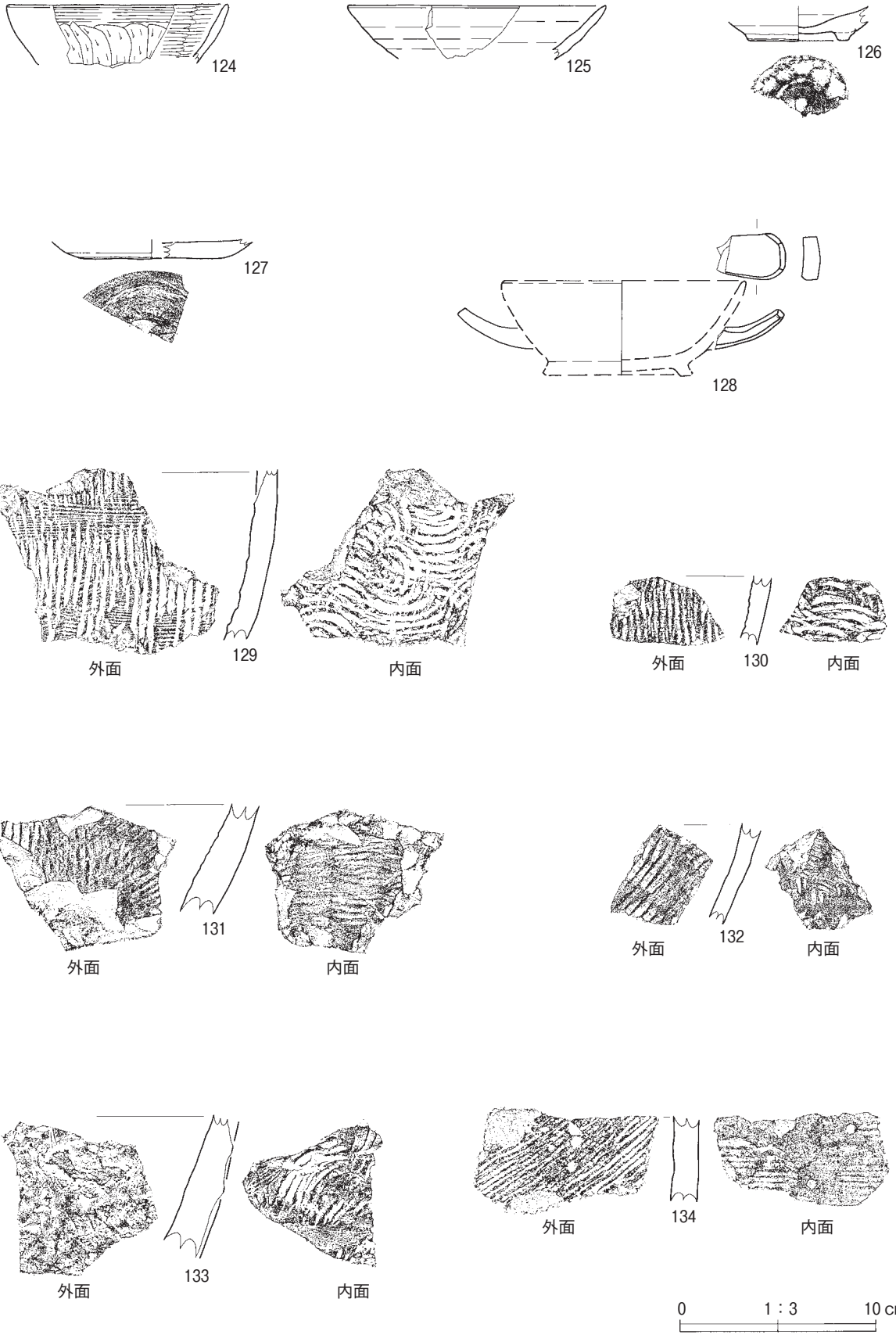




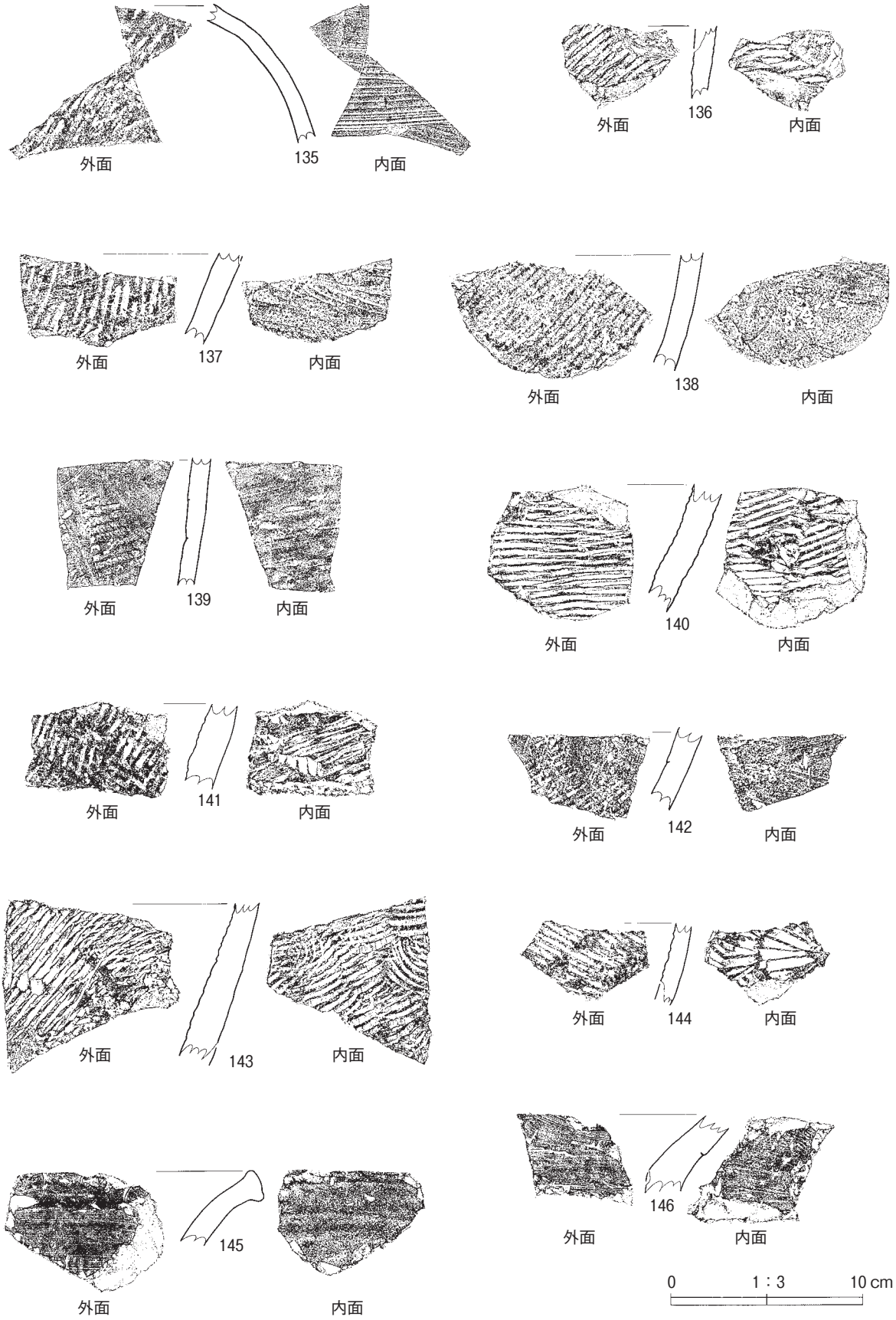




第 256 図　古代の土師器・須恵器（SI501 ②）



第 257 図　古代の土師器・須恵器



第 258 図　古代の須恵器

(2) 石製品

砥石 1 点を図示した。この他、不掲載のカマド袖石、被熱した礫などが合計 31535.7 g 出土している。すべて竪穴住居（SI101 および SI501）に関係するものである。

第 8 表　古代の石製品観察表

番号	種別	種類	出土位置	法量（cm）			重量（g）	石質　産地（生成年代）
				長さ	幅	厚さ		
147	石製品	砥石	SI101　1 層	16.5	5.2	4.5	565.5	デイサイト　新生代新第三紀（奥羽山脈）
	砥面は 1 面。中砥か。裏面の敲打痕が顕著で窪む。敲打を伴う作業の台石としても使用か。							

（石製品観察　山川）

3　12 世紀の遺物

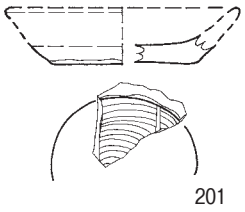
12 世紀に属する遺物を示す。図示したのはロクロかわらけ 3 点（重量合計 32.1 g）、手づくねかわらけ 2 点（重量合計 15.3 g）、渥美産陶器 1 点（重量 118.0 g）である。この他、参考のため 1985 年度調査（財団法人岩手県文化振興事業団 1986『万丁目遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 102 集）の際出土している中国青白磁小壺 1 点の実測図を番外として掲載する。

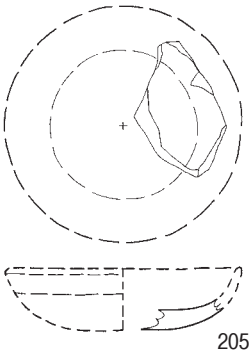
また、1985 年調査の報告書不掲載遺物の中に、12 世紀に属する可能性が高い渥美産陶器片が 3 片存在することを確認している。

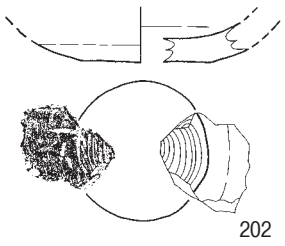
第 9 表　12 世紀の遺物観察表

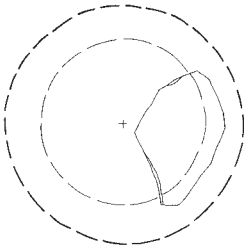
番号	種別	器種	出土位置	法量（cm）			重量（g）	産地	製造年代
				口径	器高	底径			
201	ロクロかわらけ	小皿	SK6 埋土	—	(0.9)	6.6	10.4	比爪産と推測	12c 後半
	色調 5YR6/8 橙色～7.5YR6/8 橙色～を呈する　底面にすのこ痕								
202	ロクロかわらけ	大皿	SK6 埋土	—	(1.1)	6.1	15.2	比爪産と推測	12c 後半
	色調 5YR6/6 橙色を呈する　外底面回転糸切痕								
203	ロクロかわらけ	大皿	SK6 埋土	—	(1.2)	—	6.5	比爪産と推測	12c 後半
	ロクロかわらけ大皿と推測する　外底面回転糸切痕　色調 10YR8/3 浅黄橙色を呈する								
204	手づくねかわらけ	小皿	SK6 埋土	—	(1.0)	—	3.8	比爪産と推測	12c 後半
	手づくねかわらけ小皿と推測する　色調 7.5YR6/6 を呈する								
205	手づくねかわらけ	小皿	SK6 埋土	—	(1.0)	—	11.5	比爪産と推測	12c 後半
	色調 7.5YR7/6 橙色を呈する								
206	陶器	甕	SK62　1 層	—	(10.0)	—	118.0	渥美	12 世紀
	器種は甕と推測するが、壺の可能性もある　年代は 13 世紀前半の可能性も含まれるが、ここでは 12 世紀に属するものと捉えておく								
番外	青白磁	小壺	1985 年調査区 F 区トレンチ粗掘	—	(8.0)	—	未計測	中国	12 世紀
	蓋付小壺の壺の破片　財団法人岩手県文化振興事業団 1986『万丁目遺跡発掘調査報告書』では 135 頁、掲載番号「写真図版 35：陶磁器 174」で掲載　出土位置の「F 区」は今回調査範囲のⅠA0m～ⅠA0P 付近の南に相当する　今回の掲載図は新規に実測したものである。								

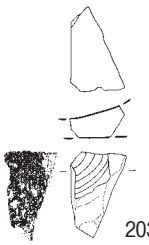
（12 世紀の遺物観察　羽柴）

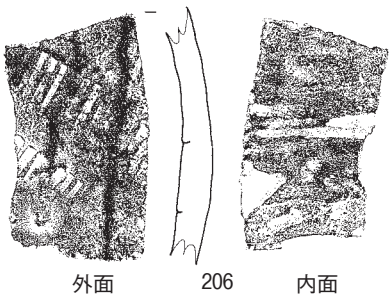


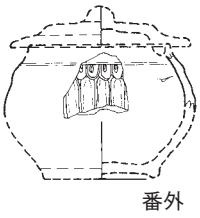


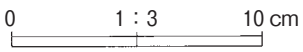












第 259 図　12 世紀の遺物

4 中 世 の 遺 物

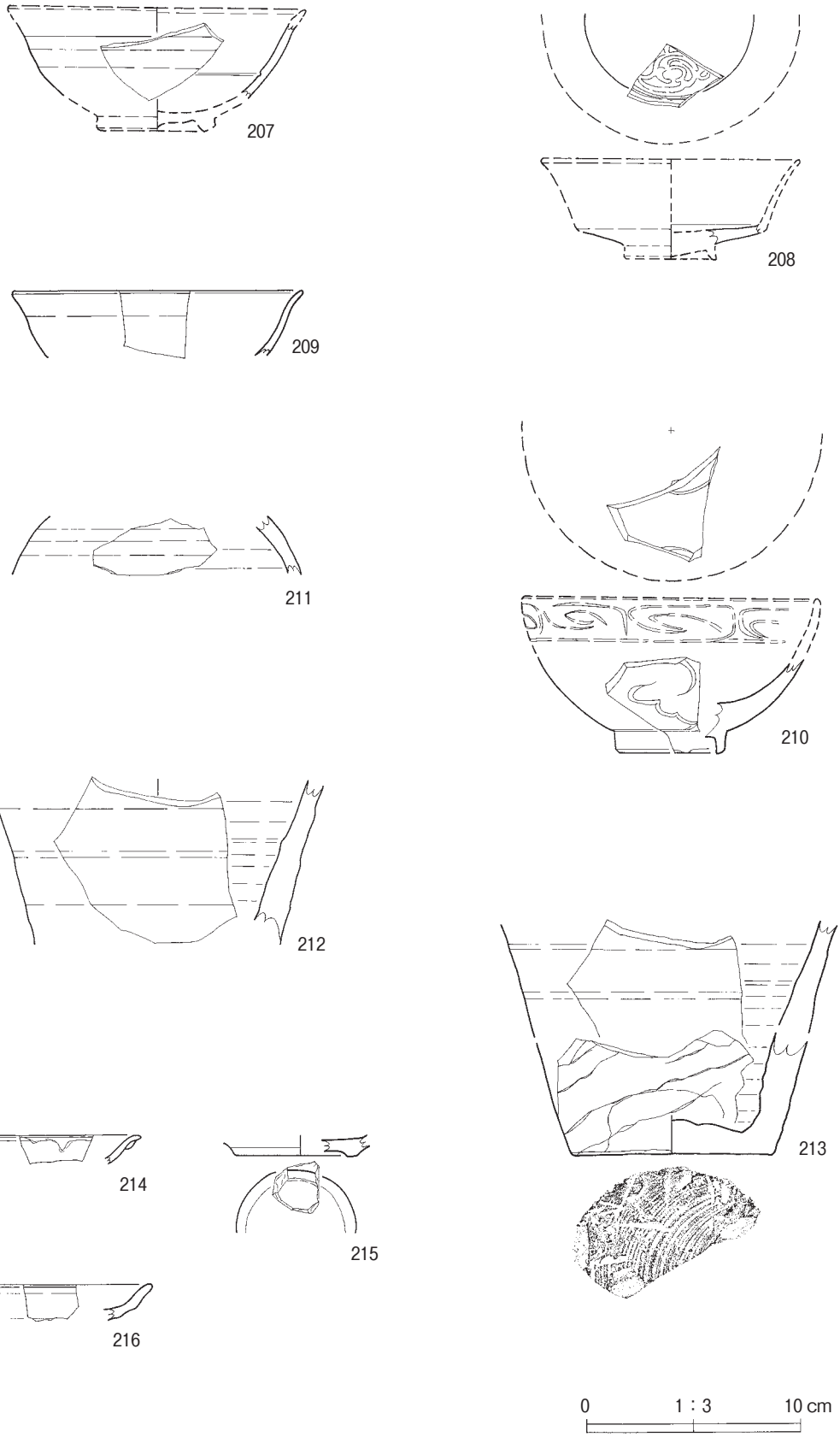
(1) 陶磁器

中世に属する陶磁器を示す。図示したのは中国産白磁、青磁5点（重量合計68.2 g）、国産陶器5点（重量合計294.0 g）の計10点（重量合計362.2 g）である。今回の調査で出土した中世の陶磁器はこれが全てである。

第10表　中世陶磁器観察表

番号	種別	器種	出土位置	法量（cm）			重量（g）	産地	製造年代
				口径	器高	底径			
207	白磁	碗	ⅠA3c 粗掘中	—	(3.6)	—	12.3	中国	13c 後半
	「大宰府分類Ⅸ類」白磁碗　口唇部に釉薬が施されていない「口禿碗」といわれる碗。内面下方に沈線が施される								
208	白磁	坏	SD1　2層（IA7d）	—	(0.8)	—	9.7	中国	14c
	「枢府手（すうふて）」と分類されるタイプの白磁坏。内面に型おこしの浮彫がみられ、その上から白濁した釉が施される								
209	青磁	碗	SD1　2層（IA6d）	13.5	(3.1)	—	9.4	中国	14c
	「上田分類D類」　口縁部が外反し灰色味のある透明感の強い釉が薄くかかるタイプ								
210	青磁	碗	SB30、P3848 埋土（IA2P）	—	(4.5)	4.9	32.3	中国	15c 前半
	「上田分類C類」　口縁部に雷文帯が施されるタイプ　体部には幅広の片切彫の蓮弁文が施される								
211	陶器	瓶子	P3029 埋土（IA2k）	—	(2.6)	—	14.0	瀬戸	15c 中頃
	藤澤良祐編年古瀬戸後期様式Ⅳ期古段階　肩部片　内外面に灰釉　内面に釉はない回転糸切　212・213と同一個体の可能性もあるが確定できない								
212	陶器	瓶子	P1669 埋土（IA6m）	—	(7.7)	—	93.1	瀬戸	15c 中頃
	藤澤良祐編年古瀬戸後期様式Ⅳ期古段階　体部破片　外面に灰釉　内面に釉はない　213と同一個体と判断される								
213	陶器	瓶子	SD8　1層（IA5q）	—	(5.4)	9.4	176.1	瀬戸	15c 中頃
	藤澤良祐編年古瀬戸後期様式Ⅳ期古段階　体部下半～底部破片　外面に灰釉　外底面回転糸切　体部外面粘土巻き上げ痕が顕著　212と同一個体と判断される　図示した実測図は212を加えて合成したもの								
214	白磁	皿	調査区最東端落ち込み（低湿地）	8.4	(1.3)	—	4.5	中国	16c
	口縁部外反　調査区最東端の落ち込みから、礫、近世陶磁器等とともに出土								
215	陶器	丸皿	IA6j 遺構検出時	—	(0.9)	5.8	4.6	瀬戸・美濃	16c 中頃
	藤澤良祐編年大窯第2段階か第3段階　緑色を呈する灰釉がかかる　摩耗が著しい　水田面造成土に混入していたものか								
216	陶器	丸皿	IA15g 遺構検出時	9.4	(1.6)	—	6.2	瀬戸・美濃	16c 第3四半期頃
	藤澤良祐編年大窯第3段階前半　黄色を呈する灰釉がかかる								

（中世の陶磁器観察　羽柴）



第 260 図　中世の陶磁器

(2) 銭貨

中世～近世の銭貨 15 点（合計重量 28.1 g）を図示した。これは今回出土の銭貨の全点である。この内 12 点（217～228）は墓坑と推測される SK54 からの出土である。また 231 の寛永通宝は昭和 40 年代頃と推測される水田造成の際の造成土に混入したものと推測される。

第 11 表　銭貨観察表

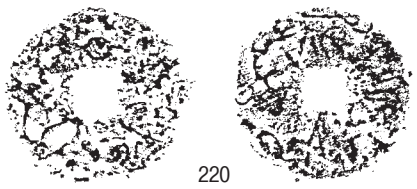
番号	種別	種類	出土位置	直径（cm）	重量（g）	素材	製造年代（初鋳年代）
217	銭貨	熙寧元寶	SK54 埋土	2.45	2.1	銅	1068 年
218	銭貨	太平通寶	SK54 埋土	2.50	1.1	銅	976 年
	模鋳銭か						
219	銭貨	開元通寶	SK54 埋土	2.25	2.0	銅	621 年
	模鋳銭か						
220	銭貨	不明	SK54 埋土	2.20	0.7	銅	不明
	銭種読み取れない　模鋳銭か						
221	銭貨	開元通寶	SK54 埋土	2.40	3.4	銅	621 年
	本銭か						
222	銭貨	祥符元寶	SK54 埋土	2.35	1.4	銅	1009 年
	模鋳銭か						
223	銭貨	皇宗通寶	SK54 埋土	2.35	1.4	銅	1038 年
	模鋳銭か						
224	銭貨	唐國通寶	SK54 埋土	2.30	2.0	銅	959 年
	226 と癒着して出土　模鋳銭						
225	銭貨	不明	SK54 埋土	(1.90)	0.8	銅	不明
	劣化著しい　模鋳銭か						
226	銭貨	皇宗通寶	SK54 埋土	2.4	3.4	銅	1038 年
	224 と癒着して出土　本銭か						
227	銭貨	天聖元寶	SK54 埋土	2.4	2.5	銅	1023 年
	模鋳銭か						
228	銭貨	天聖元寶	SK54 埋土	2.4	1.1	銅	1023 年
	模鋳銭か						
229	銭貨	天禧通寶	SB1、P2531 柱痕	2.35	1.5	銅	1017 年
	柱穴柱痕跡からの出土で、建物廃絶後の混入の可能性もある						
230	銭貨	洪武通寶	IA4l 遺構検出時	2.1	2.0	銅	1368 年
	本銭か						
231	銭貨	寛永通寶	1A2j 水田造成土	2.2	2.7	銅	1668 年以降
	新寛永						

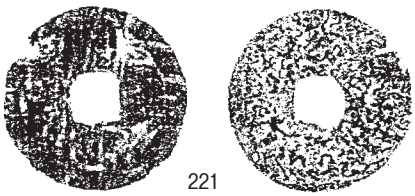
（銭貨観察　羽柴・山川）

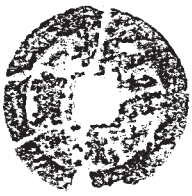
217

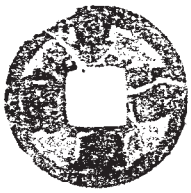
218

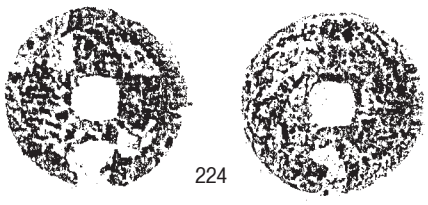
219

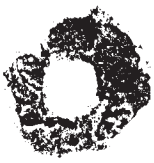

220

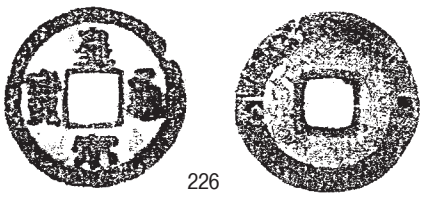

221

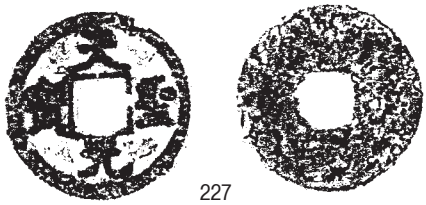

222


223


224


225

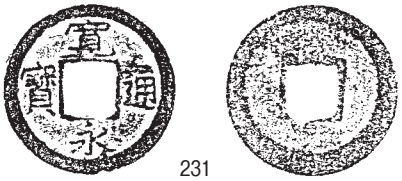

226

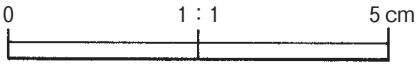

227

228

229

230


231



第 261 図　銭貨

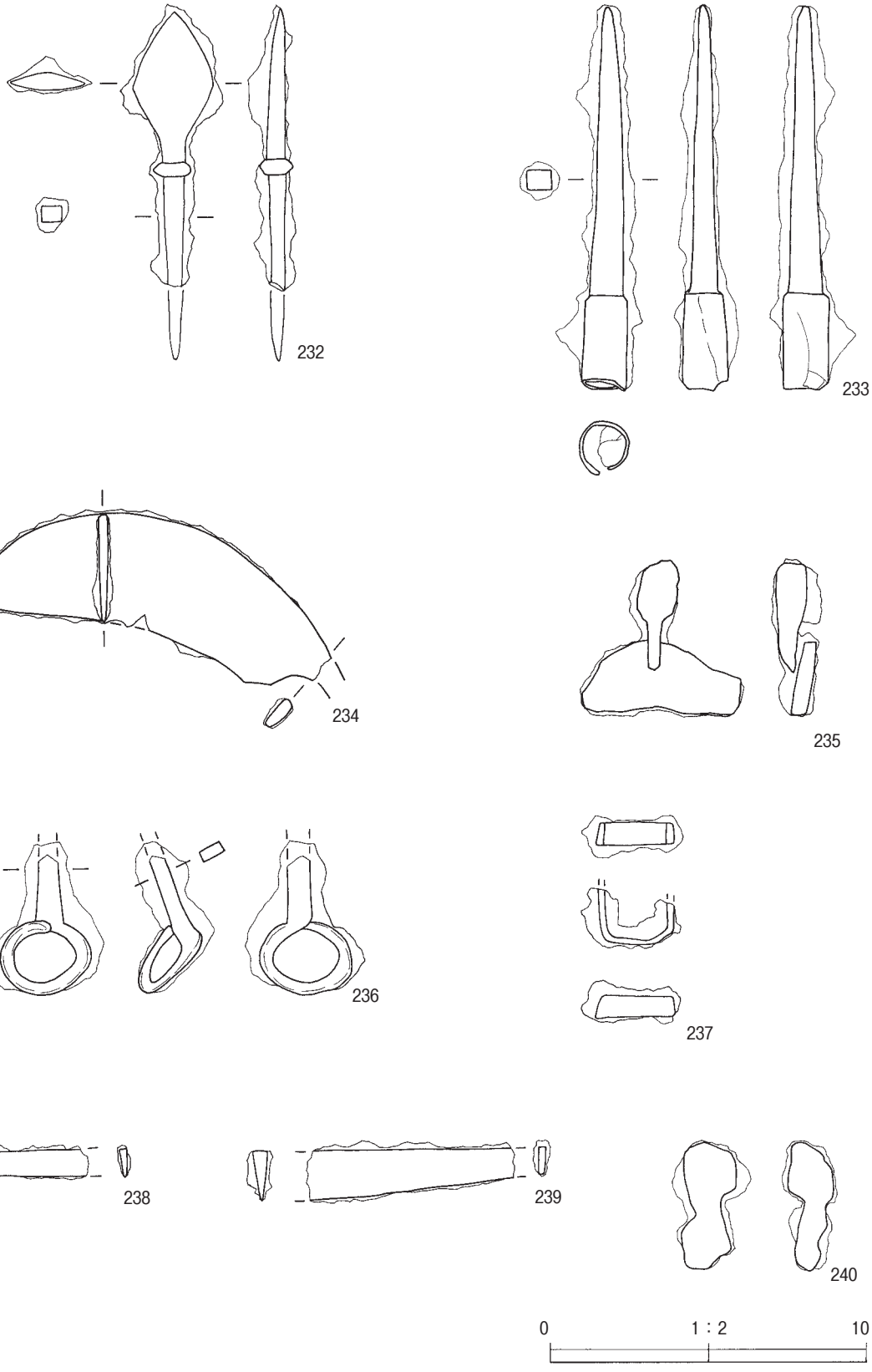
(3) 鉄製品

鉄製品を示す。図示したのは 16 点（重量合計 6,757 g）である。法量の値は錆部分も含み、欠損も考慮せず保存処理前の現状での値である。

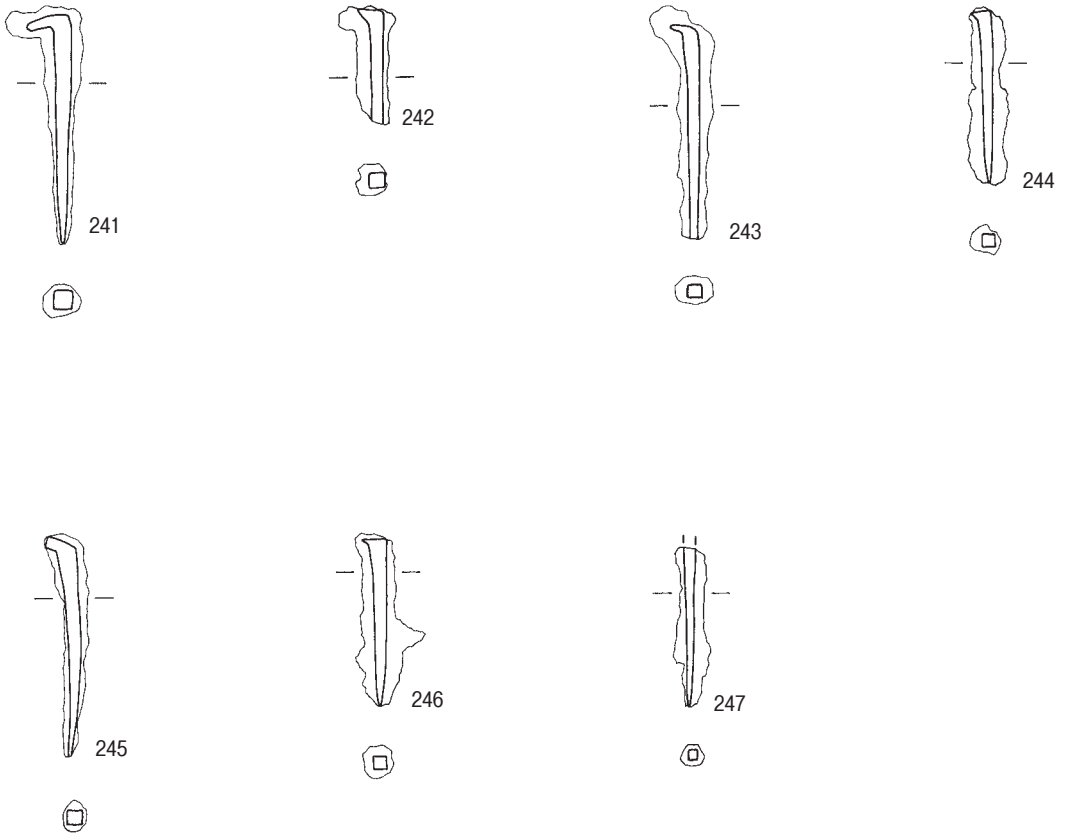
第 12 表　鉄製品観察表

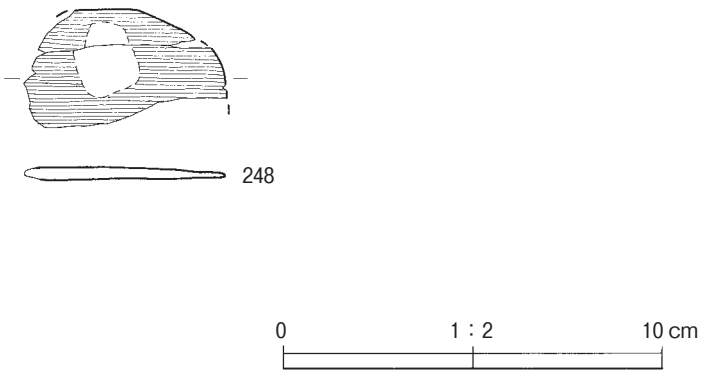
番号	種別	種類	出土位置	法量（cm）			重量（g）	保存処理整理番号
				長さ	幅	厚さ		
232	鉄製品	鏃	SB142、P2251 埋土（IA6q）	8.9	3.2	1.2	30.0	1
	基部欠損							
233	鉄製品	槍か	SI1　1 層	12.0	1.7	1.8	39.4	2
	端部がソケット状になっている。弭槍か							
234	鉄製品	鎌	P3439 埋土　IA2q	11.6	3.9	0.6	34.4	3
	柄部欠損							
235	鉄製品	不明	SK11　3 層	4.8	5.0	1.4	18.1	6
	板状の部位と棒状の部位からなる　両者は錆で癒着しているだけか　何の製品か判断できない							
236	鉄製品	轡	SG1　1 層	4.4	3.7	3.1	23.0	4
	轡の「引手」部分							
237	鉄製品	不明	SG1　1 層	1.9	3.1	1.2	4.9	7
	板状の鉄を丸めたもの　轡の「立聞」の端部か　確定できない							
238	鉄製品	刀子	SK15　1 層	4.6	0.9	0.4	2.8	8
	断面形から刀子とした							
239	鉄製品	刀子	SB140、P2173 埋土　IA6p	6.5	1.9	0.7	12.0	5
	刀子の先端部を欠損する							
240	鉄製品	不明	SD8　1 層	4.1	2.3	1.8	12.6	9
	塊状の鉄　何の製品か判断できない							
241	鉄製品	釘	SK54　埋土	6.1	1.8	0.9	8.4	12
	墓壙と推測される SK54 の出土　火葬骨の容器、又は副葬品の木製箱に使用された釘か							
242	鉄製品	釘	SK54　埋土	2.9	1.4	0.9	4.2	13
	墓壙と推測される SK54 の出土　火葬骨の容器、又は副葬品の木製箱に使用された釘か							
243	鉄製品	釘	SK54　埋土	6.0	1.4	0.7	7.8	10
	墓壙と推測される SK54 からの出土　火葬骨の容器、又は副葬品の木製箱に使用された釘か							
244	鉄製品	釘	SK54　埋土	4.6	1.0	0.8	5.5	16
	墓壙と推測される SK54 の出土　火葬骨の容器、又は副葬品の木製箱に使用された釘か							
245	鉄製品	釘	SK54　埋土	6.0	1.0	0.7	5.1	11
	墓壙と推測される SK54 の出土　火葬骨の容器、又は副葬品の木製箱に使用された釘か							
246	鉄製品	釘	SK54　埋土	4.6	1.6	0.9	5.5	14
	墓壙と推測される SK54 からの出土　火葬骨の容器、又は副葬品の木製箱に使用された釘か							
247	鉄製品	釘	SK54　埋土	4.2	0.9	0.9	3.3	15
	墓壙と推測される SK54 の出土　火葬骨の容器、又は副葬品の木製箱に使用された釘か							

（鉄製品観察　羽柴）



第 262 図　鉄製品①





第 263 図　鉄製品②・木製品

(4) 木製品

今回の調査で出土した木製品は、中世の墓坑である SK54 の曲物の底板？ 1 点のみである。重量は 3.3 g を測る。

第 13 表　木製品観察表

番号	種別	種類	出土位置	法量（cm）			重量（g）
				長さ	幅	厚さ	
248	木製品	曲物の底板？	SK54　埋土	5.4　以上	3.1　以上	0.3	3.3
	副葬品を納めるための容器の底板か。樹種：クリ						

（木製品観察　山川）

(5) 石製品・石材

砥石、円盤状石製品、茶臼、挽臼の計 16 点（249～264）を図示した。重量合計は 18,998.7 g である。

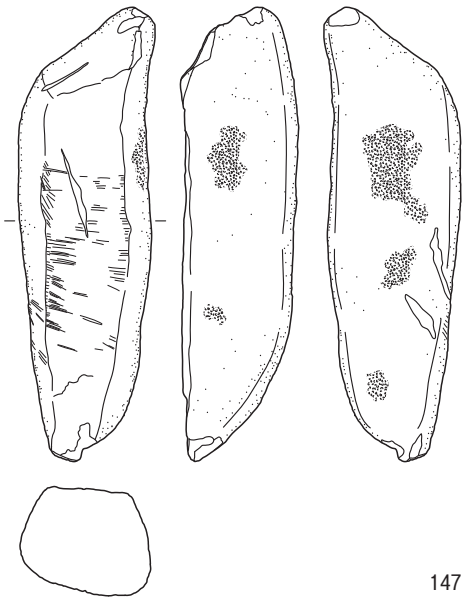
また、火打石と思われるもの及び使用痕のある礫の一部、擦痕のある礫、庭石（苑池の景石）とみられるものの計 11 点（265～275）は写真のみを掲載した。この他、不掲載の火打石と思われるもの及び使用痕のある礫の一部、軽石、被熱した礫などが出土している。写真掲載のみものの重量合計は 14,264.1 g、不掲載の重量合計は 15,526.1 g である。

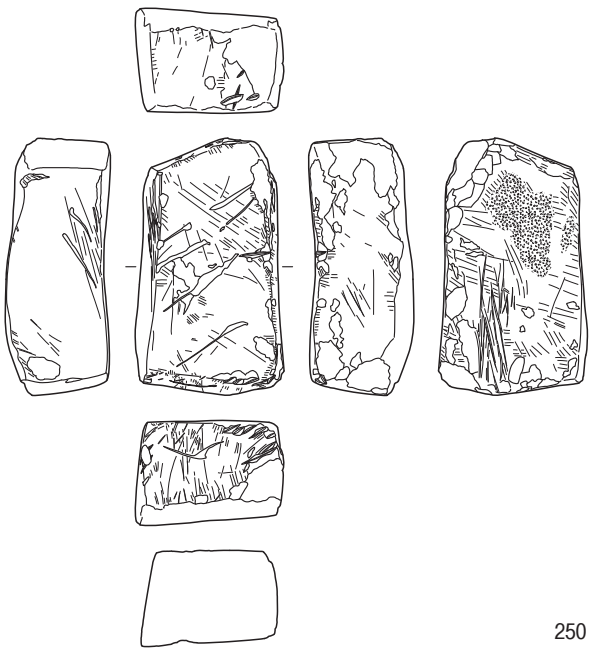
第 14 表　中世の石製品・石材観察表

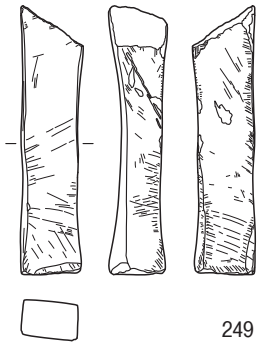
番号	種別	種類	出土位置	法量（cm）			重量（g）	石質・生成年代（産地）
				長さ	幅	厚さ		
249	石製品	砥石	SI2 北西部埋土	10.6	2.4	2.3	79.7	流紋岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）
	砥面は 4 面。各面とも使用されている。仕上げ砥とみられる。							
250	石製品	砥石	SB31　P1957 埋土	10.2	5.8	4.0	387.9	流紋岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）
	砥面は 6 面。うち 2 面（表面・側面）が主に使用されている。裏面の鉄製刃具痕が顕著。仕上げ砥とみられる。							
251	石製品	砥石	P1397 埋土	13.1	5.8	5.3	483.8	流紋岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）
	砥面は 4 面。うち 1 面（裏面）が主に使用されている。仕上げ砥とみられる。							
252	石製品	砥石	P2613 埋土	10.0	2.3	1.7	62.0	流紋岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）
	砥面は 4 面。2 面（側面・裏面）が主に使用されている。仕上げ砥とみられる。							
253	石製品	砥石	P3909 埋土	10.2	4.5	3.0	204.4	流紋岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）
	砥面は 4 面。表面は左右に稜が付き多角形状の断面形を有し、擦痕が顕著に残る。仕上げ砥とみられる。							
254	石製品	砥石	SD1　2 層	6.0	5.4	0.9	37.6	流紋岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）
	顕著な砥面は 2 面（両側面）。表・裏面は剥離欠損か。仕上げ砥とみられる。							
255	石製品	砥石	SD1　1 層	7.1	7.5	1.3	80.4	流紋岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）
	顕著な砥面は 1 面（側面）。表裏面はあるいは剥離欠損か。仕上げ砥とみられる。							
256	石製品	砥石	SG1　2 層	33.0	10.9	7.4	2,535.9	流紋岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）
	砥面は 4 面。表面が主に使用され、鉄製刃具痕も顕著。仕上げ砥とみられる。							
257	石製品	砥石	SG1　1 層	8.4	4.8	4.4	264.7	流紋岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）
	砥面は 4 面。うち 2 面（表・裏面）が主に使用されている。裏面に付着物あり。仕上げ砥とみられる。							
258	石製品	砥石	SG1　1 層	12.0	5.3	4.3	270.3	デイサイト　新生代新第三紀（奥羽山脈）
	砥面は 4 面。うち 2 面（表・裏面）が主に使用されている。側面に鉄製刃具痕が顕著。仕上げ砥とみられる。被熱。							
259	石製品	砥石	SG1　1 層	12.2	7.6	3.3	370.2	流紋岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）
	砥面は 4 面。仕上げ砥とみられる。							

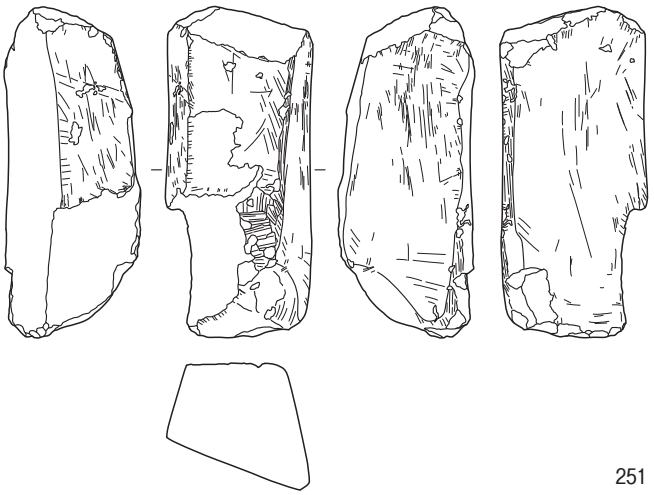
番号	種別	種類	出土位置	法量（cm）			重量（g）	石質・生成年代（産地）
				長さ	幅	厚さ		
260	石製品	砥石	SK11　3層	8.0	3.4	2.1	93.7	デイサイト　新生代新第三紀（奥羽山脈）
	砥面は3面。仕上げ砥とみられる。							
261	石製品	砥石	調査区東端落ち込み（湿地）　埋土	13.9	6.1	5.5	583.5	デイサイト　新生代新第三紀（奥羽山脈）
	砥面は3面。側面中央に稜が付く。2面（表・裏面）が主に使用されている。表・裏面の鉄製刃具痕が顕著。仕上げ砥とみられる。被熱。							
262	石製品	円盤状石製品	SK15　1層	4.8	5.0	1.4	47.3	凝灰岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）
	周縁を剥離・研磨し、略円形とする。表・裏面の擦痕が顕著。							
263	石製品	茶臼	SG1　1層	27.9	36.6	11.8	7,297.3	凝灰岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）
	下臼。臼面部径19.0 cm、高さ3.5 cm、受け皿部径36.6 cm、高さ4.2 cm、台部径23.4 cm、高さ4.1 cm、芯棒（軸）孔径2.7 cm。中央部で大きく半分に割れた際の補修（漆継ぎ）痕跡が認められる。裏面に製作時の鉄製打突具痕（鏨痕）が顕著。							
264	石製品	挽臼	生涯学習文化財課試掘52トレンチ	28.4	15.8	11.1	6,200.0	凝灰質礫岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）
	下臼。臼面部径24.8 cm、芯棒（軸）孔径2.4 cm。臼面に放射状の目あり。							
265	石製品	火打石か	SD2　1層	2.2	1.6	1.0	3.4	メノウ　新生代新第三紀（奥羽山脈）
	—							
266	石製品	火打石か	SD502　1層	0.9 1.1	0.8 0.8	0.5 0.3	0.4 0.3	メノウ　新生代新第三紀（奥羽山脈）
	2点あり。—							
267	石製品	火打石か	SG1　1層	2.0	1.0	0.8	1.4	メノウ　新生代新第三紀（奥羽山脈）
	—							
268	石製品	火打石か	SG1　1層	3.4	2.6	1.4	12.5	石英　中生代（北上山地）
	—							
269	石製品	擦痕のある礫	SK11　3層	11.4	5.4	3.0	257.2	流紋岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）
	表・裏・側面に粗い擦痕が顕著。あるいは中砥か。							
270	石材	使用痕のある礫	SG1　1層	9.9	9.5	4.0	429.9	流紋岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）
	内面中央に煤付着							
271	石材	使用痕のある礫	SG1　1層	25.1	19.4	6.7	3,101.0	斑岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）
	内面中央に煤？付着							
272	石材	庭石	SG1　1層	26.3	10.0	7.0	1,758.1	片岩　古生代オルドビス紀（北上山地母体変成岩）
	苑池の景石と考えられる							
273	石材	庭石	SG1　1層	24.4	14.4	9.0	3,003.1	礫岩　古生代（北上山地）
	苑池の景石と考えられる							
274	石材	庭石	SG1　1層	25.8	13.4	11.1	3,961.4	花崗斑岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）
	苑池の景石と考えられる							
275	石材	庭石	SG1　1層	16.3	10.1	9.9	1,735.4	頁岩　古生代（北上山地）
	苑池の景石と考えられる							

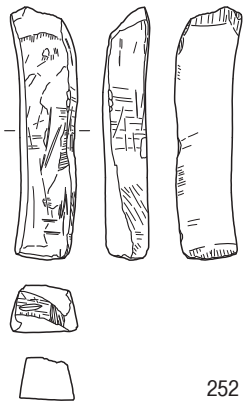
（石製品、石材観察　山川）

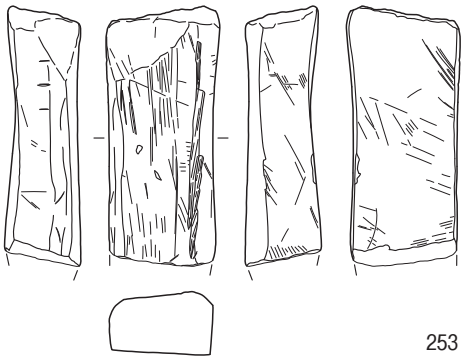


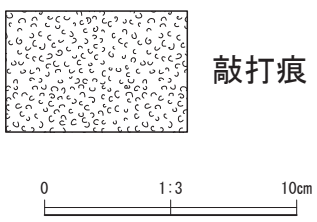






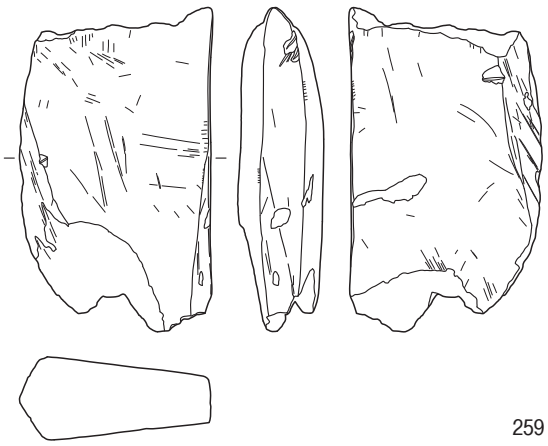


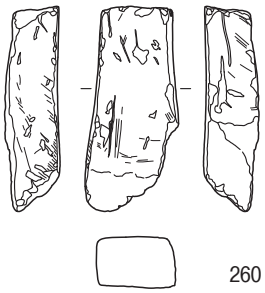


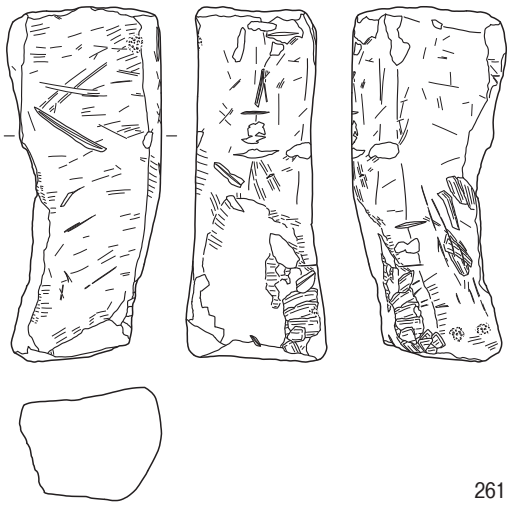


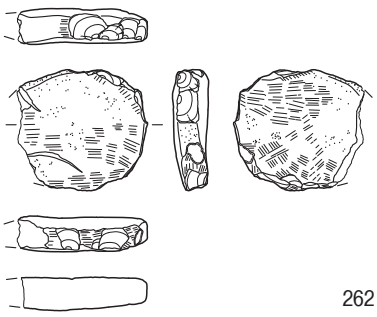
第 264 図　古代の石製品、中世の石製品①

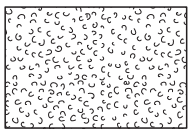
第 265 図　中世の石製品②

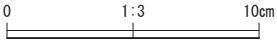




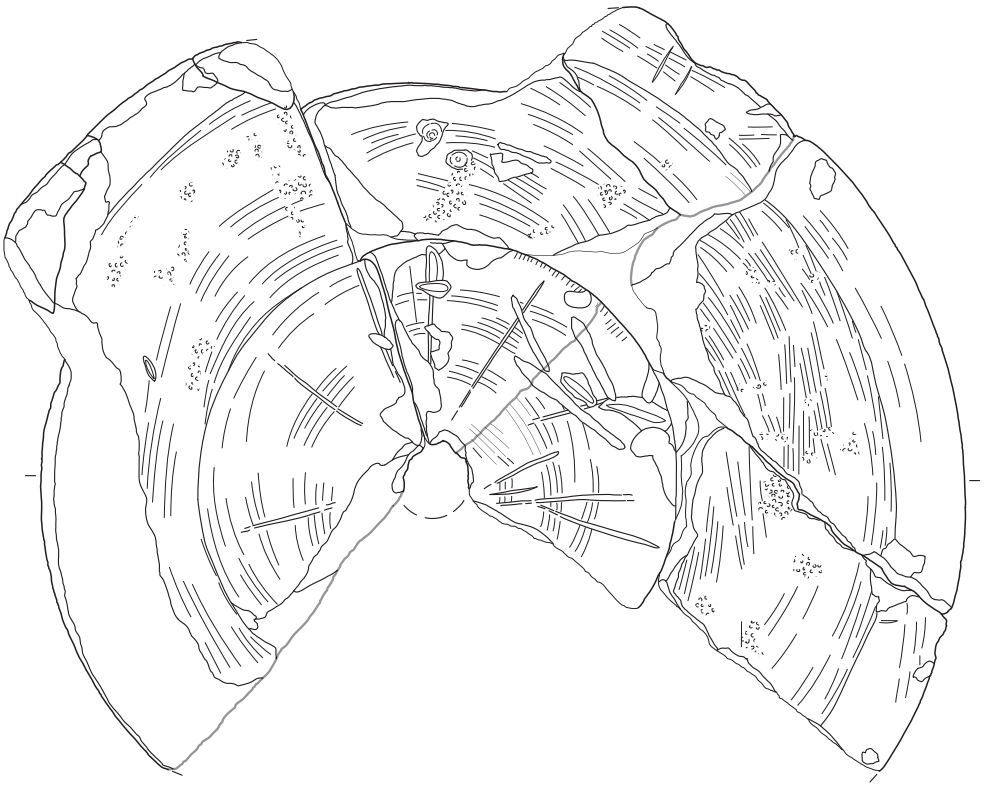




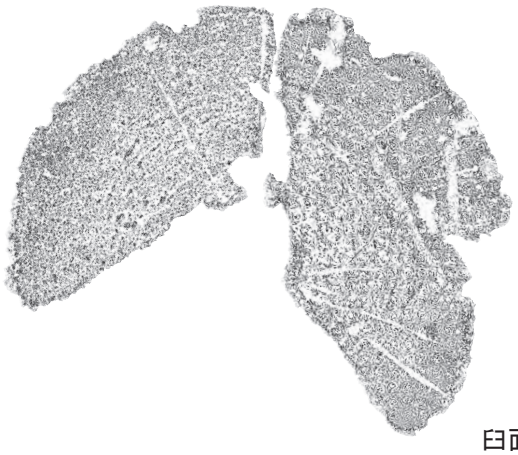

敲打痕



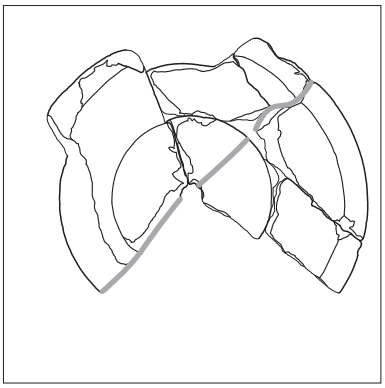
第 266 図　中世の石製品③



263



臼面拓本

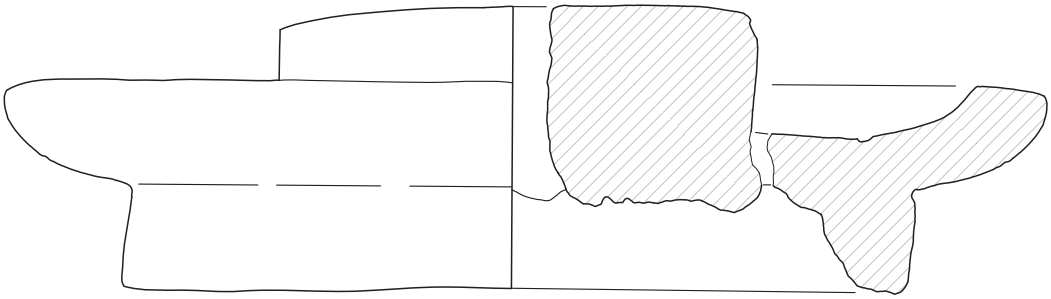


漆継ぎ痕模式図

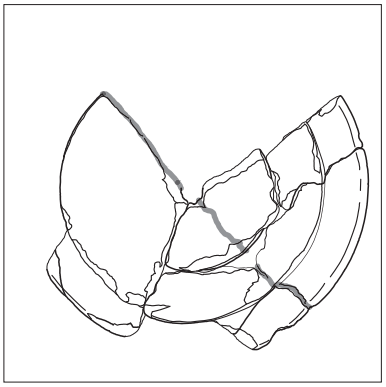
敲打痕　漆継ぎ痕

0　1:3　10cm

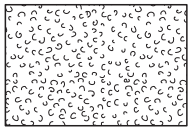
第 267 図　中世の石製品④ -1



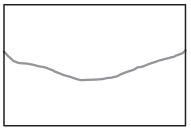
263



漆継ぎ痕模式図



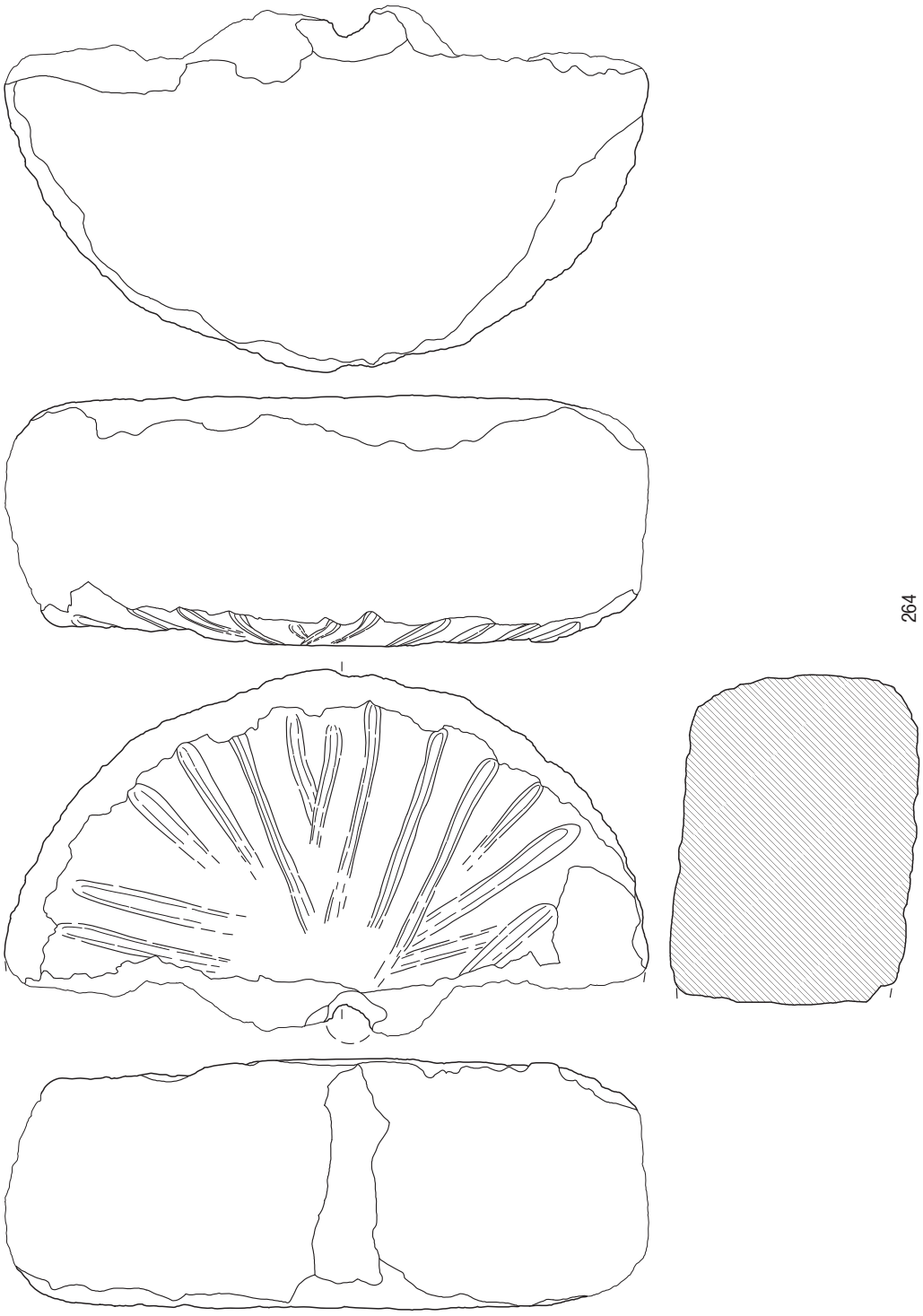
敲 打 痕



漆継ぎ痕

0　1:3　10cm

第 268 図　中世の石製品④ -2



第 269 図　中世の石製品⑤

5 不 掲 載 遺 物

不掲載の遺物を表で示す。不掲載遺物は、遺構の属性に関係しないものや、微細で図化が不能なもの、近代以降の物などが多い。番号は不掲載遺物収納の袋ごとに付したものである。

第 15 表　不掲載遺物

縄文時代の土器

番号	出土位置	種別　数量など	重量（g）
①	SG1　2 層	縄文土器片体部片	4.9
②	P144　埋土	縄文土器体部片	8.1
③	ⅠA5t　遺構検出面	縄文土器体部片	7.5
④	P3802　埋土	縄文土器体部片	6.4
⑤	SG1　1 層	縄文土器底辺部片 1、体部片 1	38.6
⑥	SD7　1 層	縄文土器体部片 9	37.9
⑦	SK62 南西 1 層	縄文土器体部片 2	20.7
⑧	SK62 北東 1 層	縄文土器体部片 2	20.4
⑨	SD4 東部 1 層	縄文土器体部片約 30	322.5
⑩	生涯学習文化財課試掘トレンチ埋戻し土中	縄文土器体部片 1	8.8
		重量合計　475.8g	

古代の土師器・須恵器

番号	出土位置	種別　数量など	重量（g）
⑪	SI101	土師器片	256.1
⑫	SI102	土師器片	147.5
⑬	SI501	土師器片（須恵器 1 片 17.9g を含む）	1,717.4
⑭	SB40、P3768 埋土上部	土師器長胴甕体部片（ロクロ不使用）	9.5
⑮	SK33　2 層	土師器坏 ?1　土師器長胴甕 1	8.7
⑯	ⅠA2t　攪乱	土師器長胴甕底部片（木葉痕）	23.4
⑰	P3790　掘方埋土	土師器坏（内黒　非ロクロ）	18.7
⑱	P3790　1 層	土師器長胴甕体部片	12.7
⑲	ⅠA4q　遺構検出中	土師器坏（ロクロ）	18.2
⑳	SB1、P1333 掘方埋土	土師器長胴甕体部片	20.5
㉑	SB22、P3030 柱痕	土師器長胴甕？片	3.9
㉒	P3193　掘方埋土	土師器長胴甕体部片	6.5
㉓	P3525　埋土　ⅠA2q	土師器長胴甕体部片	3.1
㉔	SK4　1 層	土師器坏（ロクロ）	8.6
㉕	SK6　埋土	土師器長胴甕、ロクロ坏（内黒）など 9 片	35.2
㉖	ⅠA1i 遺構検出時	土師器長胴甕片	10.5
㉗	SD8　1 層（ⅠA4q）	土師器坏？片 2	4.9
㉘	P3802 埋土	土師器長胴甕体部片 3（同一個体）	12.5
㉙	SB168、P3022　埋土	土師器坏ロクロ片 3	5.8
㉚	SB88　P3393 埋土	土師器ロクロ坏片	3.0
㉛	SX16　検出面	土師器長胴甕口縁部付近片	7.3
㉜	調査区南西部付近　表土	土師器片 5	52.8

番号	出土位置	種別　数量など	重量（g）
㉝	SD7　1 層	土師器片約 13	79.1
㉞	SK37　1 層	土師器長胴甕体部片 2	11.5
㉟	SD504　ベルト付近埋土	土師器長胴甕体部片	5.5
㊱	SK62　1 層	土師器長胴甕？片 1	4.1
㊲	SK62　1 層	土師器長胴甕片 3	13.8
㊳	SK62 西側ベルト埋土	土師器長胴甕片 2　土師器ロクロ内黒坏片 1	8.6
㊴	SX16 ベルト埋土焼土 5 層	土師器内黒ロクロ坏底部片　回転糸切	9.4
㊵	SK34　1 層	土師器長胴甕　掲載番号 105（SI101 出土）と同一個体	19.7
㊶	SX3 検出面	須恵器甕か長頸壺体部下半片	6.6
㊷	SK53　1 層	須恵器坏片	3.4
㊸	SB92、P3656　埋土	須恵器坏片	2.3
㊹	SK13　3 層	須恵器坏片	4.2
㊺	P3299 埋土（ⅠA1o）	須恵器大甕片	7.3
㊻	SB167、P2590 埋土	須恵器大甕片	7.0
㊼	SB131、P5021 埋土	須恵器甕か長頸壺体部上半片	3.2
㊽	ⅠB 区東半　排土中	須恵器坏	20.1
			重量合計　2592.6g

陶磁器（近世、近代）

番号	出土位置	種別　数量など	重量（g）
㊾	SD9 検出面	染付微細片　近世か？　分類困難	0.2
㊿	SD4 北東隅攪乱の近く（ⅠA8q）	肥前産染付碗　1690～1780 か	3.6
(51)	SD4 北東角攪乱の近く（ⅠA8r）	大堀相馬産？陶器　土瓶破片　19 世紀以降	0.7
(52)	SD4 北東角の攪乱中（ⅠA8s）	陶器擂鉢（施釉していない）片 1　19 世紀以降	5.4
(53)	SD4 北東角の攪乱中（ⅠA8s）	近代陶磁器 4 片　銅版転写刷片を含む	9.7
(54)	ⅠA0h　遺構検出中	肥前産染付皿　近世と思われる　微細片	1.7
(55)	ⅠA7p の攪乱中	ランプの笠 1　近代陶磁器片 4	90.9
(56)	SD502 埋土　東端北側南溝	肥前産染付皿片 2　1690～1780 年か　どちらも微細片	3.4
(57)	SD502 埋土　1 層　ⅠB5n	近代磁器皿　1 片	4.4
(58)	SD502 埋土　1 層　東端北側南溝	近代陶磁器 10 片	48.9
(59)	SD502　1 層	陶器土瓶片　産地不明　近代以降と思われる	17.5
(60)	SD503 埋土　東辺 A ベルト付近	近代磁器　銅版転写刷片 1	0.6
(61)	SD504 埋土　1 層ベルト付近	近代磁器 2 片	3.5
(62)	調査区東端　落ち込み埋土	肥前産染付碗 1 片　1690～1780	4.3
			重量合計　194.8g

鉄製品など

番号	出土位置	種別　数量など	重量（g）
(63)	SK54　埋土	釘　微細になった断片	13.3
(64)	P765 埋土	釘？微細な断片　重量 0.1g 以下	—
(65)	SD8　1 層	鉄塊？　自然の酸化鉄分？	12.1
(66)	P306 埋土	微細な鉄片？	3.7
(67)	SD502 埋土	近代以降の釘か	17.1
			重量合計　46.2g

焼土塊など

番号	出土位置	種別　数量など	重量（g）
㊽	P3771　1層	焼土塊　壁土とは認識できず	38.3
㊾	SX21　埋土下部　燃焼部	焼土塊　壁土とは認識できず	59.2
㊿	SX3　燃焼部埋土最下部	焼土塊　壁土ではない	11.3
			重量合計　108.8g

（ここまで不掲載遺物観察　羽柴）

縄文時代の可能性が高い石器・石製品石材

番号	出土位置	種別　数量など	石質・生成年代（産地）	重量（g）
(71)	P3451　埋土	剥片2点	頁岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）	1.8、0.1
(72)	SD7　1層	剥片2点	赤色頁岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）	6.3、0.1
(73)	SK15　1層	剥片	赤色頁岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）	19.0
(74)	SK62　1層	打ち欠きのある礫	赤色頁岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）	146.3
(75)	ⅠA8d 遺構検出面	剥片	頁岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）	3.3
(76)	ⅠA9d　遺構検出面	剥片	頁岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）	4.0
(77)	SG1　1層	柱状礫　搬入され石棒として用いられた可能性あるか？	流紋岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）	1437.6
(78)	排土中	柱状礫　搬入され石棒として用いられた可能性あるか？	流紋岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）	1308.4
				重量合計　2926.9g

古代の石材

番号	出土位置	種別　数量など	石質・生成年代（産地）	重量（g）
(79)	SI101　1層	被熱した礫	花崗斑岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）	1,691.3
(80)	SI101　1層	被熱した礫	流紋岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）	635.1
(81)	SI101　1層	カマド袖石	斑岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）	2,588.3
(82)	SI101　1層	礫	花崗斑岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）	8,600.0
(83)	SI101　3層（カマド燃焼部）	被熱した礫	流紋岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）	1,220.4
(84)	SI101　3層（カマド燃焼部）	被熱した礫	斑岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）	229.8
(85)	SI101　3層（カマド燃焼部）	被熱した礫	流紋岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）	729.2
(86)	SI101　3層（カマド燃焼部）	被熱した礫	デイサイト　新生代新第三紀（奥羽山脈）	637.5
(87)	SI101　カマド西袖	カマド袖石	斑岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）	6,014.9
(88)	SI101　カマド東袖	カマド袖石	花崗斑岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）	6,124.4
(89)	攪乱（SI501　1号カマド東袖東側）	カマド袖石	花崗斑岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）	160.0
(90)	攪乱（SI501　1号カマド東袖東側）	カマド袖石	花崗斑岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）	2,904.8
				重量合計　31,535.7g

中世の可能性が高い石製品・石材

番号	出土位置	種別　数量など	石質・生成年代（産地）	重量　(g)
⑨①	SG1　1層	火打石か	石英　中生代（北上山地）	8.1
⑨②	SK38　1層	火打石か　3点	メノウ　新生代新第三紀（奥羽山脈）、石英　中生代（北上山地）	計2.6
⑨③	P3768　埋土	使用痕のある礫	デイサイト　新生代新第三紀（奥羽山脈）	438.9
⑨④	P3790　1層	軽石	玄武岩質溶岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）	36.6
⑨⑤	SD1　1層	使用痕のある礫	デイサイト　新生代新第三紀（奥羽山脈）	156.3
⑨⑥	SD1　1層	被熱した礫	デイサイト　新生代新第三紀（奥羽山脈）	433.4
⑨⑦	SK11　3層	被熱した礫	安山岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）	2,407.2
⑨⑧	SK11　2層	被熱した礫	斑岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）	1,347.0
⑨⑨	SK11　2層	被熱した礫	安山岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）	1,104.6
⑩⓪	SK11　2層	被熱した礫	流紋岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）	2,707.9
⑩①	SG1　1層	使用痕のある礫	流紋岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）	873.8
⑩②	生涯学習文化財課試掘52トレンチ	被熱した礫	斑岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）	1,167.0
⑩③	SG1　1層	被熱した礫	流紋岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）	653.6
⑩④	SK16　埋土	被熱した礫	花崗斑岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）	765.5
⑩⑤	P227　埋土	礎盤か	花崗斑岩　新生代新第三紀（奥羽山脈）	3,066.0
			重量合計　15,168.5g	

（石関係観察　山川）

Ⅵ　自然科学分析

1　放射性炭素年代（AMS 測定）

（株）加速器分析研究所

1　測定対象試料

万丁目遺跡は、岩手県花巻市南万丁目 844-1 他（北緯 39°23′11″、東経 141°05′17″）に所在する。測定対象試料は、竪穴建物等から出土した木炭 14 点と漆 1 点である（表 1）。

2　測 定 の 意 義

遺構の年代を知るとともに、他の遺構との関連を考えるため。

3　化学処理工程

(1) メス・ピンセットを使い、土等の付着物を取り除く。
(2) 酸－アルカリ－酸（AAA：AcidAlkaliAcid）処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA 処理における酸処理では、通常 1 mol/ℓ（1M）の塩酸（HCl）を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム（NaOH）水溶液を用い、0.001M から 1M まで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が 1M に達した時には「AAA」、1M 未満の場合は「AaA」と表 1 に記載する。
(3) 試料を燃焼させ、二酸化炭素（CO_2）を発生させる。
(4) 真空ラインで二酸化炭素を精製する。
(5) 精製した二酸化炭素を、鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト（C）を生成させる。
(6) グラファイトを内径 1 mm のカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

4　測　定　方　法

加速器をベースとした ^{14}C-AMS 専用装置（NEC 社製）を使用し、^{14}C の計数、^{13}C 濃度（$^{13}C/^{12}C$）、^{14}C 濃度（$^{14}C/^{12}C$）の測定を行う。測定では、米国国立標準局（NIST）から提供されたシュウ酸（HOx Ⅱ）を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

5　算　出　方　法

(1) $\delta^{13}C$ は、試料炭素の ^{13}C 濃度（$^{13}C/^{12}C$）を測定し、基準試料からのずれを千分偏差（‰）で表した値である（表 1）。AMS 装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。
(2) ^{14}C 年代（LibbyAge：yrBP）は、過去の大気中 ^{14}C 濃度が一定であったと仮定して測定され、1950 年を基準年（0yrBP）として遡る年代である。年代値の算出には、Libby の半減期（5568 年）を使用する（StuiverandPolach1977）。^{14}C 年代は $\delta^{13}C$ によって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を表 1 に、補正していない値を参考値として表 2 に示した。^{14}C 年代と誤差は、下 1

桁を丸めて 10 年単位で表示される。また、^{14}C 年代の誤差（±1σ）は、試料の ^{14}C 年代がその誤差範囲に入る確率が 68.2% であることを意味する。

（3）pMC（percentModernCarbon）は、標準現代炭素に対する試料炭素の ^{14}C 濃度の割合である。pMC が小さい（^{14}C が少ない）ほど古い年代を示し、pMC が 100 以上（^{14}C の量が標準現代炭素と同等以上）の場合 Modern とする。この値も δ^{13}C によって補正する必要があるため、補正した値を表 1 に、補正していない値を参考値として表 2 に示した。

（4）暦年較正年代とは、年代が既知の試料の ^{14}C 濃度をもとに描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の ^{14}C 濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、^{14}C 年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1 標準偏差（1σ=68.2%）あるいは 2 標準偏差（2σ=95.4%）で表示される。グラフの縦軸が ^{14}C 年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、δ^{13}C 補正を行い、下 1 桁を丸めない ^{14}C 年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal13 データベース（Reimeretal.2013）を用い、OxCalv4.3 較正プログラム（BronkRamsey2009）を使用した。暦年較正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として表 2 に示した。暦年較正年代は、^{14}C 年代に基づいて較正（calibrate）された年代値であることを明示するために「calBC/AD」または「calBP」という単位で表される。

6　測　定　結　果

測定結果を表 1、2 に示す。試料の ^{14}C 年代は、530±20yrBP（資料 7）から 300±20yrBP（資料 15）の間にある。暦年較正年代（1σ）は、最も古い資料 7 が 1404～1427calAD の範囲、最も新しい資料 15 が 1523～1645calAD の間に 2 つの範囲で示される。測定した試料のうち、漆 1 点を除く 14 点は木炭と観察されたことから、以下に記述する古木効果を考慮する必要がある。

樹木の年輪の放射性炭素年代は、その年輪が成長した年の年代を示す。したがって樹皮直下の最外年輪の年代が、樹木が伐採され死んだ年代を示し、内側の年輪は、最外年輪からの年輪数の分、古い年代値を示すことになる（古木効果）。今回測定された木炭試料はいずれも樹皮が確認されていないことから、木炭となった木が死んだ年代は測定された年代値よりも新しい可能性がある。試料の炭素含有率は 58% を超える適正な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。

文献

Bronk Ramsey, C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, *Radiocarbon* 51(1), 337-360

Reimer, P.J. et al. 2013 IntCal13 and Marine13 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, *Radiocarbon* 55(4), 1869-1887

Stuiver, M. and Polach, H.A. 1977 Discussion : Reporting of ^{14}C data, *Radiocarbon* 19(3), 355-363

表 1　放射性炭素年代測定結果（δ^{13}C 補正値）（1）

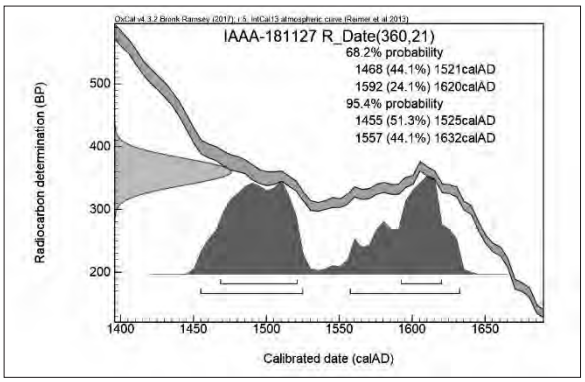
測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	δ^{13}C（‰）（AMS）	δ^{13}C 補正あり	
						LibbyAge（yrBP）	pMC（%）
IAAA-181127	資料 1	遺構：SI1　層位：床面直上	木炭	AAA	−27.67 ± 0.21	360 ± 20	95.61 ± 0.25
IAAA-181128	資料 2	遺構：SI3　層位：床面直上	木炭	AAA	−28.42 ± 0.22	420 ± 20	94.96 ± 0.25
IAAA-181129	資料 3	遺構：SK10　層位：埋土下部	木炭	AAA	−24.33 ± 0.24	380 ± 20	95.34 ± 0.26
IAAA-181130	資料 4	遺構：SK54　層位：底面直上	木炭	AaA	−28.35 ± 0.24	370 ± 20	95.47 ± 0.26
IAAA-181131	資料 5	遺構：SX1　層位：底面直上	木炭	AAA	−26.52 ± 0.23	390 ± 20	95.27 ± 0.26
IAAA-181132	資料 6	遺構：SX2　層位：底面直上	木炭	AAA	−25.14 ± 0.27	400 ± 20	95.13 ± 0.27
IAAA-181133	資料 7	遺構：SX3　層位：埋土下部	木炭	AAA	−24.51 ± 0.23	530 ± 20	93.61 ± 0.26
IAAA-181134	資料 8	遺構：SX4　層位：底面直上	木炭	AaA	−25.23 ± 0.23	510 ± 20	93.81 ± 0.26
IAAA-181135	資料 9	遺構：SX8　層位：底面直上	木炭	AAA	−28.99 ± 0.21	410 ± 20	95.07 ± 0.25
IAAA-181136	資料 10	遺構：SX9　層位：埋土最下部	木炭	AAA	−25.29 ± 0.23	420 ± 20	94.89 ± 0.26
IAAA-181137	資料 11	遺構：SX11　層位：底面直上	木炭	AAA	−26.86 ± 0.22	430 ± 20	94.75 ± 0.25
IAAA-181138	資料 12	遺構：SX15　層位：埋土下部	木炭	AAA	−27.96 ± 0.26	370 ± 20	95.46 ± 0.25
IAAA-181139	資料 13	遺構：SX17　層位：埋土最下部	木炭	AAA	−23.07 ± 0.29	510 ± 20	93.80 ± 0.24
IAAA-181140	資料 14	遺構：SX20　層位：埋土下部	木炭	AAA	−25.92 ± 0.22	490 ± 20	94.07 ± 0.24
IAAA-181631	資料 15	遺構：SG1　層位：1 層	漆	AAA	−28.96 ± 0.29	300 ± 20	96.30 ± 0.24

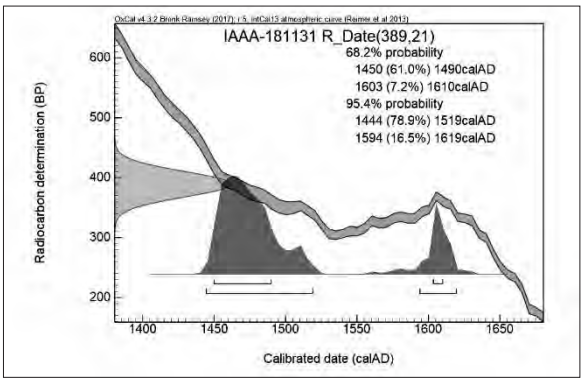
（IAA 登録番号：#9253, 9348）

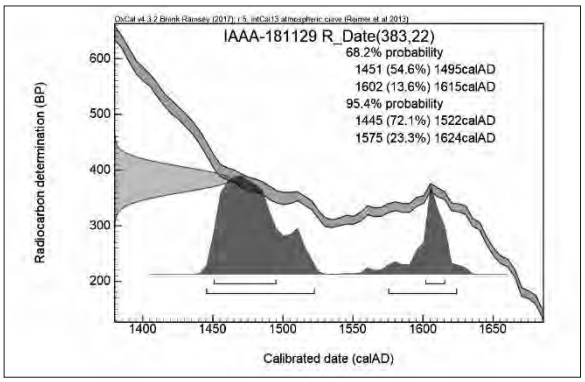
表 2　放射性炭素年代測定結果（δ^{13}C 未補正値、暦年較正用 ^{14}C 年代、較正年代）（1）

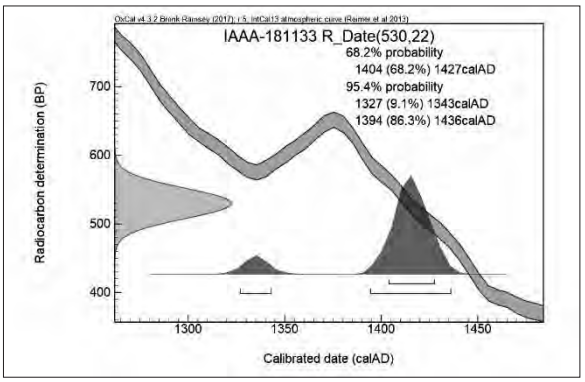
測定番号	δ^{13}C 補正なし		暦年較正用（yrBP）	1σ 暦年代範囲	2σ 暦年代範囲
	Age（yrBP）	pMC（%）			
IAAA-181127	400 ± 20	95.09 ± 0.25	360 ± 21	1468calAD–1521calAD（44.1%） 1592calAD–1620calAD（24.1%）	1455calAD–1525calAD（51.3%） 1557calAD–1632calAD（44.1%）
IAAA-181128	470 ± 20	94.29 ± 0.25	415 ± 21	1443calAD–1469calAD（68.2%）	1436calAD–1492calAD（92.6%） 1602calAD–1611calAD（2.8%）
IAAA-181129	370 ± 20	95.47 ± 0.26	383 ± 22	1451calAD–1495calAD（54.6%） 1602calAD–1615calAD（13.6%）	1445calAD–1522calAD（72.1%） 1575calAD–1624calAD（23.3%）
IAAA-181130	430 ± 20	94.81 ± 0.26	372 ± 22	1458calAD–1513calAD（52.0%） 1601calAD–1617calAD（16.2%）	1449calAD–1523calAD（62.8%） 1572calAD–1630calAD（32.6%）
IAAA-181131	420 ± 20	94.96 ± 0.26	389 ± 21	1450calAD–1490calAD（61.0%） 1603calAD–1610calAD（7.2%）	1444calAD–1519calAD（78.9%） 1594calAD–1619calAD（16.5%）
IAAA-181132	400 ± 20	95.11 ± 0.26	400 ± 22	1446calAD–1485calAD（68.2%）	1440calAD–1515calAD（85.1%） 1599calAD–1618calAD（10.3%）
IAAA-181133	520 ± 20	93.70 ± 0.26	530 ± 22	1404calAD–1427calAD（68.2%）	1327calAD–1343calAD（9.1%） 1394calAD–1436calAD（86.3%）
IAAA-181134	520 ± 20	93.77 ± 0.26	513 ± 22	1412calAD–1431calAD（68.2%）	1401calAD–1442calAD（95.4%）
IAAA-181135	470 ± 20	94.29 ± 0.25	405 ± 21	1445calAD–1480calAD（68.2%）	1439calAD–1498calAD（88.3%） 1601calAD–1616calAD（7.1%）
IAAA-181136	430 ± 20	94.83 ± 0.26	421 ± 22	1441calAD–1467calAD（68.2%）	1433calAD–1489calAD（94.2%） 1604calAD–1608calAD（1.2%）
IAAA-181137	460 ± 20	94.38 ± 0.24	433 ± 20	1437calAD–1456calAD（68.2%）	1430calAD–1475calAD（95.4%）
IAAA-181138	420 ± 20	94.88 ± 0.24	373 ± 20	1458calAD–1499calAD（44.8%） 1504calAD–1512calAD（6.6%） 1601calAD–1616calAD（16.8%）	1450calAD–1522calAD（65.6%） 1575calAD–1625calAD（29.8%）
IAAA-181139	480 ± 20	94.17 ± 0.24	514 ± 20	1412calAD–1430calAD（68.2%）	1402calAD–1440calAD（95.4%）
IAAA-181140	510 ± 20	93.89 ± 0.23	491 ± 20	1420calAD–1437calAD（68.2%）	1412calAD–1444calAD（95.4%）
IAAA-181631	370 ± 20	95.52 ± 0.24	302 ± 20	1523calAD–1572calAD（52.3%） 1630calAD–1645calAD（15.9%）	1514calAD–1600calAD（70.2%） 1616calAD–1649calAD（25.2%）

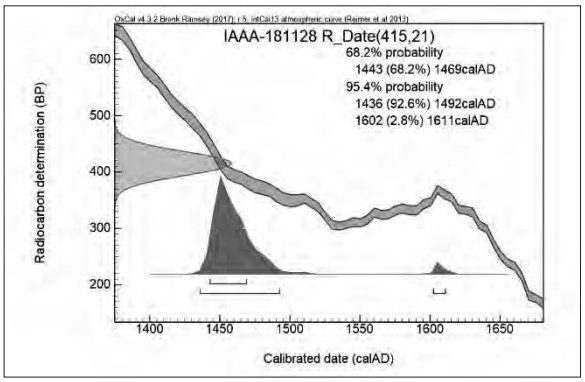
（参考値）

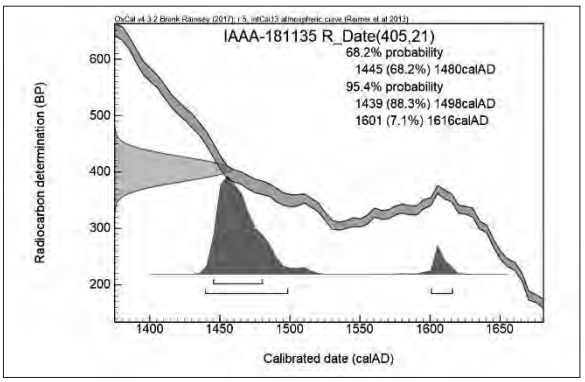

IAAA-181127 R_Date(360,21)
68.2% probability
1468 (44.1%) 1521calAD
1592 (24.1%) 1620calAD
95.4% probability
1455 (51.3%) 1525calAD
1557 (44.1%) 1632calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

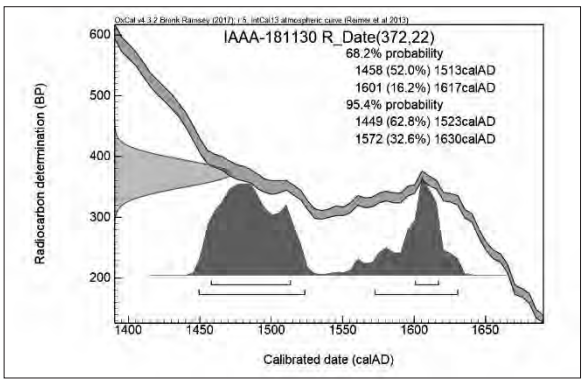

IAAA-181131 R_Date(389,21)
68.2% probability
1450 (61.0%) 1490calAD
1603 (7.2%) 1610calAD
95.4% probability
1444 (78.9%) 1519calAD
1594 (16.5%) 1619calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

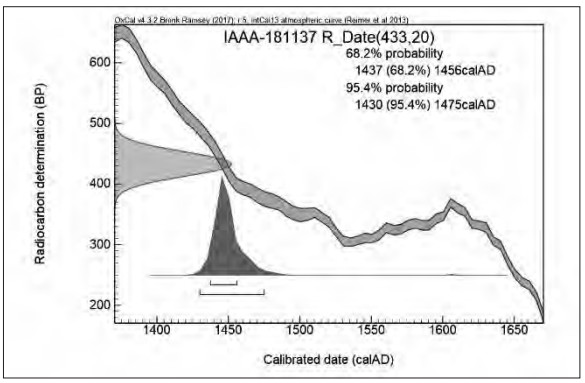

IAAA-181129 R_Date(383,22)
68.2% probability
1451 (54.6%) 1495calAD
1602 (13.6%) 1615calAD
95.4% probability
1445 (72.1%) 1522calAD
1575 (23.3%) 1624calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

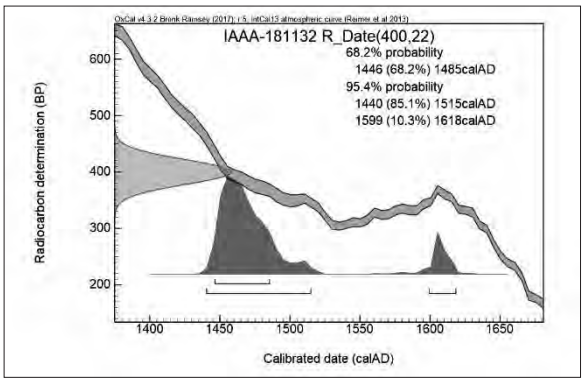

IAAA-181133 R_Date(530,22)
68.2% probability
1404 (68.2%) 1427calAD
95.4% probability
1327 (9.1%) 1343calAD
1394 (86.3%) 1436calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

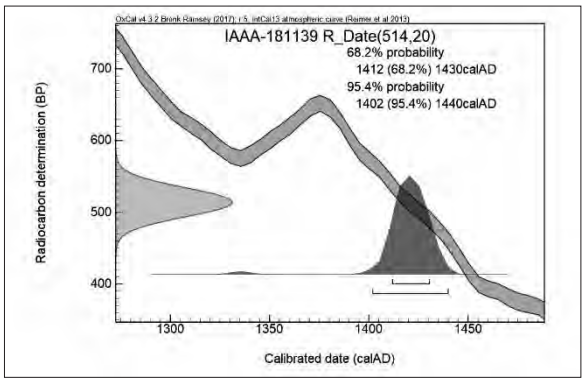

IAAA-181128 R_Date(415,21)
68.2% probability
1443 (68.2%) 1469calAD
95.4% probability
1436 (92.6%) 1492calAD
1602 (2.8%) 1611calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

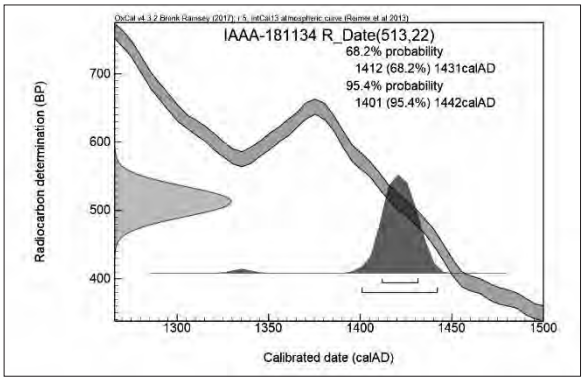

IAAA-181135 R_Date(405,21)
68.2% probability
1445 (68.2%) 1480calAD
95.4% probability
1439 (88.3%) 1498calAD
1601 (7.1%) 1616calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

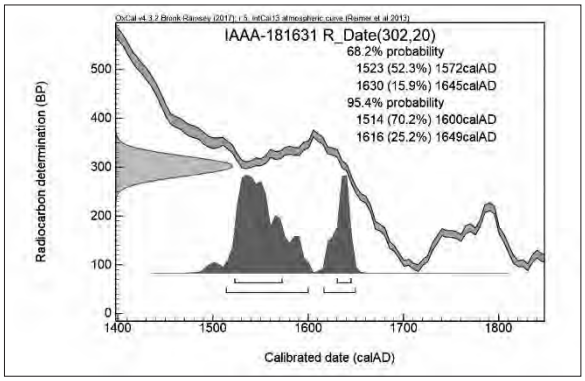

IAAA-181130 R_Date(372,22)
68.2% probability
1458 (52.0%) 1513calAD
1601 (16.2%) 1617calAD
95.4% probability
1449 (62.8%) 1523calAD
1572 (32.6%) 1630calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)

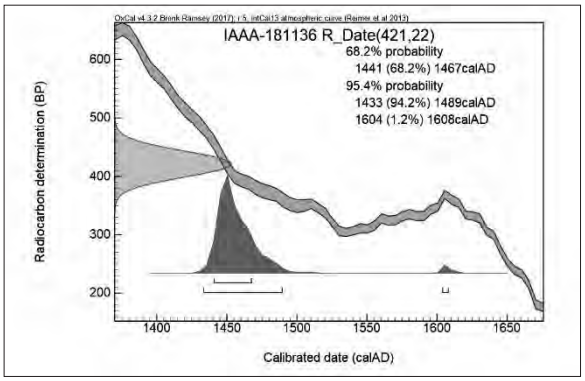

IAAA-181137 R_Date(433,20)
68.2% probability
1437 (68.2%) 1456calAD
95.4% probability
1430 (95.4%) 1475calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)











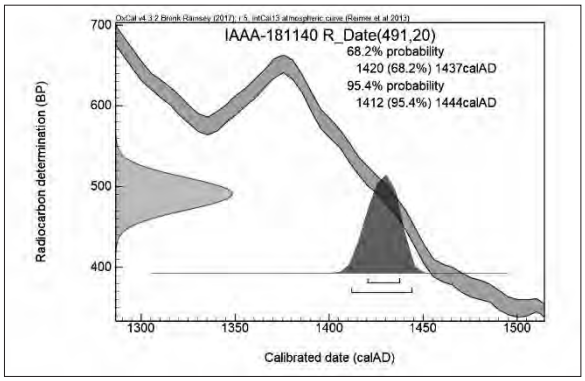
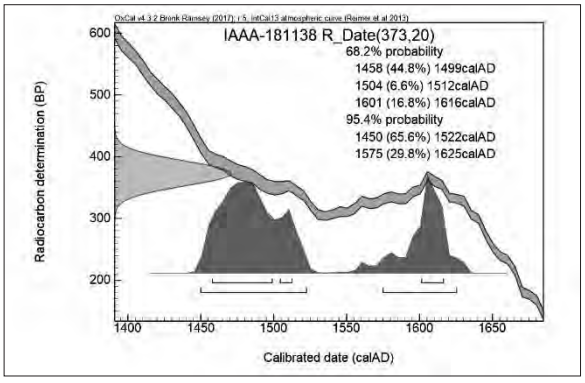


図１　暦年較正年代グラフ（参考）



2 炭 化 種 実

吉川純子（古代の森研究舎）

万丁目遺跡は花巻市南万丁目の東北自動車道花巻南インター付近に立地する古代・中世の集落、居館跡である。本遺跡の古代の竪穴住居および中世のカマド状遺構から若干の炭化種実を検出したため、当時の植物質食料の利用状況を調査する目的でこれら炭化種実の分析をおこなった。

本遺跡のカマド状遺構から出土した炭化種実同定結果を表１にまとめ、詳細な観察結果は表３に示した。中世の床面及び埋土からはイネ、オオムギ、コムギ、ムギ類、マメ科、炭化した菌類、不明炭化粒子を出土した。古代の竪穴住居からはイネ、オオムギ、コムギを出土した。

表１　万丁目遺跡出土炭化種実

時期	遺構	層位	イネ	オオムギ	コムギ	ムギ類	マメ科	菌類？	不明種子
			炭化胚乳	炭化種子	炭化種子	炭化種子	炭化種子		
中世	SX1	埋土最下部	－	1	10	－	1	1	1
中世	SX2	埋土最下部	11	3	6	－	－	－	－
中世	SX3	埋土	1	－	－	－	－	－	－
中世	SX4	埋土下部	1	－	8	－	－	－	－
中世	SX4	底面直上	－	－	11	－	－	－	－
中世	SX6	埋土	2	－	1	－	－	－	－
中世	SX7	埋土下部	22	－	10	－	－	－	－
中世	SX7	埋土最下部	4	－	8	－	－	－	2
中世	SX8	埋土	4	1	1	1	－	－	
中世	SX8	埋土最下部	10	－	3	－	－	－	2
中世	SX10	埋土下部	6	－	－	－	－	－	－
中世	SX17	埋土下部	1	－	－	－	－	－	－
中世	SX20	埋土下部	20	－	－	－	－	－	－
中世	SX24	埋土下部	2	－	－	－	－	－	－
古代	SI501　住居内土坑４	埋土	2	1	1	－	－	－	－

以下に出土した炭化種実のうち特筆すべき分類群の形態記載をおこなう。

オオムギ：出土した種子は長さ 6.5–4.3 mm で現在の栽培オオムギより少し小さめで楕円形であるが基部が細く上下端は尖っていて厚さが幅より薄い。片面中央には縦に深い溝がある。

コムギ：出土した種子は長さ 5.5–3.2 mm、円筒形で上下端は丸く、基部に三角形の突起があり胚の抜けた楕円形の孔がある。厚さは幅と同じかやや厚く、本遺跡では穂軸が残っているものがあった。種皮が取れると粉になりやすく、内部が抜けている種子があった。

マメ科：炭化した種子は長さ6.5 mmの円筒形で種皮は剥がれているが、へその部分がへこんでいる。

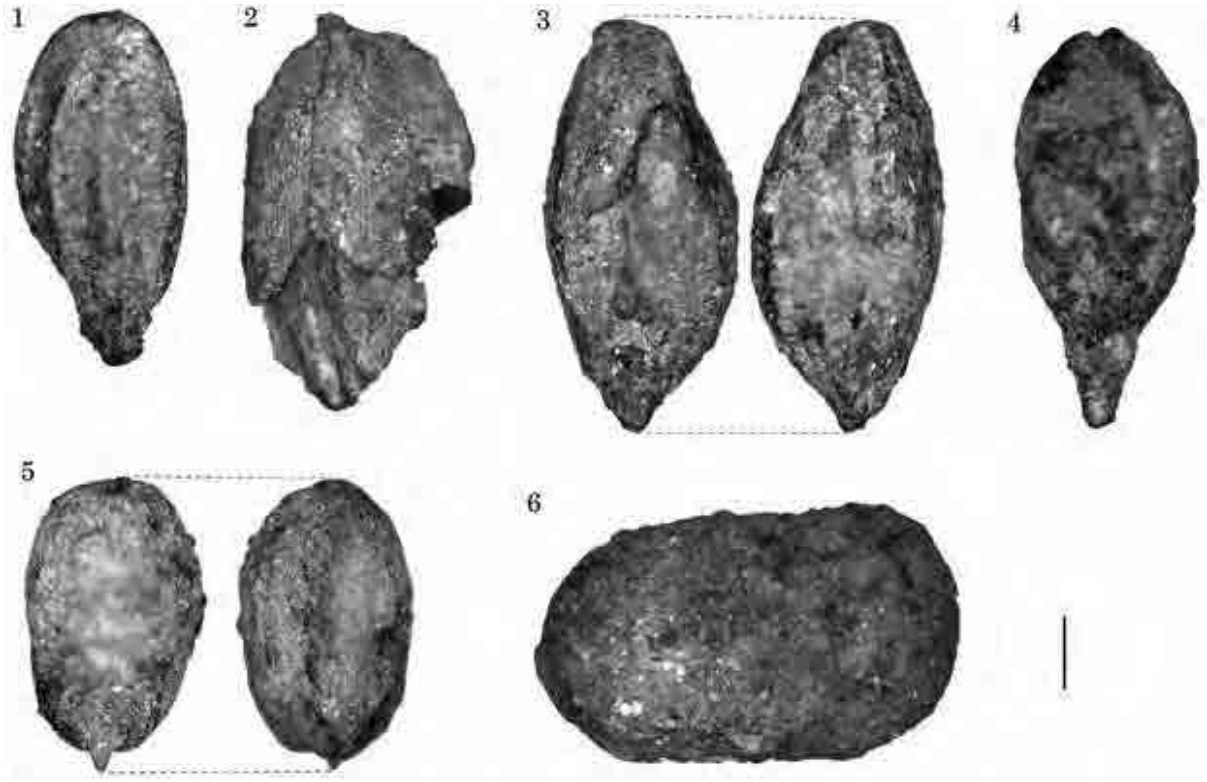
不明炭化粒子：長さは 5–6 mm で楕円形でやや扁平であるが外面に特徴が無い。イネもしくはオオムギが焼け膨れたものの可能性がある。

本遺跡の中世のカマド状遺構からはイネとコムギをやや多く出土し、これらを常食としていた可能性が高い。イネは粒食であるがコムギは種子が崩れるため粉食で利用することから、麺製品として利

用していたことが考えられる。やや地域が異なるが久慈市北の越遺跡では中世の住居跡からやや多くのコムギとオオムギ、ムギ類を出土し、イネやほかの雑穀を検出しなかった。岩手県内の平安時代の住居跡からはイネとオオムギは比較的多く出土するがコムギはあまり確認されず、中世になると粉食として利用するコムギが確認される傾向があるようである。一方オオムギはイネとともに粒食とされるか家畜の飼料とするのが一般的であるため、本遺跡においては利用方法が異なる可能性がある穀類が同時に出土している。

表 2　炭化種実のサイズ

	標本数（個）	最大値（mm）	最小値（mm）	平均値（mm）
イネ	75	5.7	3.2	4.35
オオムギ	4	6.5	4.3	-
コムギ	57	5.5	3.2	4.21



図版 1　万丁目遺跡から出土した炭化種実

1. イネ、炭化胚乳基部残（SX7 埋土下部 96）　2. イネ、炭化胚乳穎残（SX20 埋土下部 224）
3. オオムギ、炭化種子（SX2 埋土最下部 27）　4. コムギ、炭化種子穂軸残（SX4 底面直上 65）
5. コムギ、炭化種子（SX2 埋土最下部 23）　6. マメ科、炭化種子（SX1 埋土最下部 3）

スケールは 1 mm

表３　万丁目遺跡出土炭化種実観察表

試料番号	遺構	層位	登録番号	時期	分類群名	出土部位	高さ（mm）	備考
1	SX1	埋土最下部	1	中世	コムギ	炭化種子	5.4	資料 16
2	SX1	埋土最下部	2	中世	コムギ	炭化種子	5.5	資料 17
3	SX1	埋土最下部	3	中世	マメ科	炭化種子	—	種皮剥がれ、資料 18
4	SX1	埋土最下部	4	中世	コムギ	炭化種子	4.4	資料 19
5	SX1	埋土最下部	5	中世	コムギ	炭化種子	3.8	資料 20
6	SX1	埋土最下部	6	中世	不明粒子		—	資料 21
7	SX1	埋土最下部	7	中世	コムギ	炭化種子	4.8	資料 22
8	SX1	埋土最下部	8	中世	コムギ	炭化種子	4.4	資料 23
9	SX1	埋土最下部	9	中世	コムギ	炭化種子	4.7	資料 24
10	SX1	埋土最下部	10	中世	菌類？		—	資料 25
11	SX1	埋土最下部	11	中世	コムギ	炭化種子	4.8	資料 26
12	SX1	埋土最下部	12	中世	コムギ	炭化種子	4.9	資料 27
13	SX1	埋土最下部	13	中世	コムギ	炭化種子	4.1	資料 28
14	SX1	埋土最下部	14	中世	オオムギ	炭化種子	4.6	資料 29
15	SX1	埋土最下部	15	中世	土塊		—	資料 30
16	SX2	埋土最下部	19	中世	イネ	炭化胚乳	4.9	胚付き、資料 31
17	SX2	埋土最下部	20	中世	イネ	炭化胚乳	5.7	胚付き、資料 32
18	SX2	埋土最下部	21	中世	オオムギ	炭化種子	6.5	資料 33
19	SX2	埋土最下部	22	中世	コムギ	炭化種子	4.3	資料 34
20	SX2	埋土最下部	23	中世	コムギ	炭化種子	4.1	資料 35
21	SX2	埋土最下部	24	中世	コムギ	炭化種子	4.2	資料 36
22	SX2	埋土最下部	25	中世	イネ	炭化胚乳	4.0	胚付き、資料 37
23	SX2	埋土最下部	26	中世	イネ	炭化胚乳	4.5	胚付き、資料 38
24	SX2	埋土最下部	27	中世	オオムギ	炭化種子	5.7	資料 39
25	SX2	埋土最下部	28	中世	コムギ	炭化種子	3.5	資料 40
26	SX2	埋土最下部	29	中世	イネ	炭化胚乳	4.3	胚付き、資料 41
27	SX2	埋土最下部	30	中世	イネ	炭化胚乳	4.5	胚付き、資料 42
28	SX2	埋土最下部	31	中世	イネ	炭化胚乳	4.7	焼け膨れ、資料 43
29	SX2	埋土最下部	32	中世	イネ	炭化胚乳	4.3	焼け膨れ、資料 44
30	SX2	埋土最下部	33	中世	イネ	炭化胚乳	4.6	資料 45
31	SX2	埋土最下部	34	中世	イネ	炭化胚乳	4.0	焼け膨れ、資料 46
32	SX2	埋土最下部	35	中世	イネ	炭化胚乳	5.1	焼け膨れ、資料 47
33	SX2	埋土最下部	36	中世	オオムギ	炭化種子	—	欠け、資料 48
34	SX2	埋土最下部	37	中世	コムギ	炭化種子	3.8	焼け膨れ、資料 49
35	SX2	埋土最下部	38	中世	コムギ	炭化種子	3.3	資料 50
36	SX3	埋土	39	中世	イネ	炭化胚乳	4.0	胚付き、資料 51
37	SX4	埋土下部	50	中世	イネ	炭化胚乳	4.1	焼け膨れ、資料 52
38	SX4	埋土下部	51	中世	コムギ	炭化種子	4.0	焼け膨れ、資料 53
39	SX4	埋土下部	52	中世	コムギ	炭化種子	4.2	焼け膨れ、資料 54
40	SX4	埋土下部	53	中世	コムギ	炭化種子	4.3	焼け膨れ、資料 55
41	SX4	埋土下部	54	中世	コムギ	炭化種子	4.0	焼け膨れ、資料 56
42	SX4	埋土下部	55	中世	コムギ	炭化種子	3.4	焼け膨れ、資料 57
43	SX4	埋土下部	56	中世	コムギ	炭化種子	4.0	焼け膨れ、資料 58
44	SX4	埋土下部	57	中世	コムギ	炭化種子	4.5	資料 59
45	SX4	埋土下部	58	中世	コムギ	炭化種子	3.7	焼け膨れ、資料 60
46	SX4	底面直上	59	中世	コムギ	炭化種子	4.7	資料 61
47	SX4	底面直上	60	中世	コムギ	炭化種子	4.4	資料 62
48	SX4	底面直上	61	中世	コムギ	炭化種子	4.8	資料 63
49	SX4	底面直上	62	中世	コムギ	炭化種子	4.3	資料 64
50	SX4	底面直上	63	中世	コムギ	炭化種子	4.1	資料 65
51	SX4	底面直上	64	中世	コムギ	炭化種子	4.6	資料 66
52	SX4	底面直上	65	中世	コムギ	炭化種子	4.2	穂軸付き、資料 67
53	SX4	底面直上	66	中世	コムギ	炭化種子	3.9	資料 68
54	SX4	底面直上	67	中世	コムギ	炭化種子	4.0	資料 69

試料番号	遺構	層位	登録番号	時期	分類群名	出土部位	高さ（mm）	備考
55	SX4	底面直上	68	中世	コムギ	炭化種子	4.4	資料 70
56	SX4	底面直上	69	中世	コムギ	炭化種子	4.2	資料 71
57	SX6	埋土	72	中世	イネ	炭化胚乳	4.2	資料 72
58	SX6	埋土	73	中世	イネ	炭化胚乳	4.5	資料 73
59	SX6	埋土	74	中世	コムギ	炭化種子	3.8	欠け、資料 74
60	SX7	埋土下部	76	中世	コムギ	炭化種子	4.0	焼け膨れ、資料 75
61	SX7	埋土下部	77	中世	コムギ	炭化種子	4.4	焼け膨れ、資料 76
62	SX7	埋土下部	78	中世	コムギ	炭化種子	4.9	焼け膨れ、資料 77
63	SX7	埋土下部	79	中世	イネ	炭化胚乳	3.9	焼け膨れ、資料 78
64	SX7	埋土下部	80	中世	イネ	炭化胚乳	—	焼け膨れ、資料 79
65	SX7	埋土下部	81	中世	イネ	炭化胚乳	—	焼け膨れ、資料 80
66	SX7	埋土下部	82	中世	イネ	炭化胚乳	4.3	胚付き、資料 81
67	SX7	埋土下部	83	中世	イネ	炭化胚乳	4.0	胚付き、資料 82
68	SX7	埋土下部	84	中世	イネ	炭化胚乳	4.3	胚付き、資料 83
69	SX7	埋土下部	85	中世	イネ	炭化胚乳	3.8	焼け膨れ、資料 84
70	SX7	埋土下部	86	中世	イネ	炭化胚乳	4.4	胚付き、資料 85
71	SX7	埋土下部	87	中世	イネ	炭化胚乳	4.3	焼け膨れ、資料 86
72	SX7	埋土下部	88	中世	イネ	炭化胚乳	3.4	焼け膨れ、資料 87
73	SX7	埋土下部	89	中世	イネ	炭化胚乳	4.3	焼け膨れ、資料 88
74	SX7	埋土下部	90	中世	イネ	炭化胚乳	4.5	焼け膨れ、資料 89
75	SX7	埋土下部	91	中世	イネ	炭化胚乳	4.6	胚付き、資料 90
76	SX7	埋土下部	92	中世	コムギ	炭化種子	4.2	欠け、資料 91
77	SX7	埋土下部	93	中世	コムギ	炭化種子	4.1	欠け、資料 92
78	SX7	埋土下部	94	中世	コムギ	炭化種子	3.3	資料 93
79	SX7	埋土下部	95	中世	イネ	炭化胚乳	4.3	焼け膨れ、資料 94
80	SX7	埋土下部	96	中世	イネ	炭化胚乳	5.2	穎残、資料 95
81	SX7	埋土下部	97	中世	イネ	炭化胚乳	4.2	焼け膨れ、資料 96
82	SX7	埋土下部	98	中世	イネ	炭化胚乳	4.2	焼け膨れ、資料 97
83	SX7	埋土下部	99	中世	イネ	炭化胚乳	3.7	胚付き、資料 98
84	SX7	埋土下部	100	中世	イネ	炭化胚乳	4.1	焼け膨れ、資料 99
85	SX7	埋土下部	101	中世	イネ	炭化胚乳	4.2	資料 100
86	SX7	埋土下部	102	中世	コムギ	炭化種子	4.5	資料 101
87	SX7	埋土下部	103	中世	コムギ	炭化種子	3.8	資料 102
88	SX7	埋土下部	104	中世	イネ	炭化胚乳	4.3	胚付き、資料 103
89	SX7	埋土下部	105	中世	イネ	炭化胚乳	4.0	胚付き、資料 104
90	SX7	埋土下部	106	中世	コムギ	炭化種子	4.9	資料 105
91	SX7	埋土下部	107	中世	コムギ	炭化種子	3.7	穂軸付き、資料 106
92	SX7	埋土最下部	146	中世	コムギ	炭化種子	4.0	欠け、資料 107
93	SX7	埋土最下部	147	中世	イネ	炭化胚乳	4.5	焼け膨れ、資料 108
94	SX7	埋土最下部	148	中世	不明粒子		—	資料 109
95	SX7	埋土最下部	149	中世	不明粒子		—	資料 110
96	SX7	埋土最下部	150	中世	コムギ	炭化種子	4.5	焼け膨れ、資料 111
97	SX7	埋土最下部	151	中世	コムギ	炭化種子	4.0	焼け膨れ、資料 112
98	SX7	埋土最下部	152	中世	コムギ	炭化種子	3.3	焼け膨れ、資料 113
99	SX7	埋土最下部	153	中世	コムギ	炭化種子	4.2	焼け膨れ、資料 114
100	SX7	埋土最下部	154	中世	コムギ	炭化種子	3.6	焼け膨れ、資料 115
101	SX7	埋土最下部	155	中世	イネ	炭化胚乳	3.6	焼け膨れ、資料 116
102	SX7	埋土最下部	156	中世	イネ	炭化胚乳	4.2	胚付き、資料 117
103	SX7	埋土最下部	157	中世	コムギ	炭化種子	4.4	焼け膨れ、資料 118
104	SX7	埋土最下部	158	中世	コムギ	炭化種子	3.2	欠け、資料 119
105	SX7	埋土最下部	159	中世	イネ	炭化胚乳	4.2	欠け、資料 120
106	SX8	埋土	163	中世	オオムギ	炭化種子	4.3	資料 121
107	SX8	埋土	164	中世	ムギ類	炭化種子	4.6	焼け膨れ、資料 122
108	SX8	埋土	165	中世	コムギ	炭化種子	4.2	焼け膨れ、資料 123
109	SX8	埋土	166	中世	イネ	炭化胚乳	4.4	焼け膨れ、資料 124

試料番号	遺構	層位	登録番号	時期	分類群名	出土部位	高さ（mm）	備考
110	SX8	埋土	167	中世	イネ	炭化胚乳	3.9	胚付き、資料 125
111	SX8	埋土	168	中世	イネ	炭化胚乳	4.2	焼け膨れ、資料 126
112	SX8	埋土	169	中世	イネ	炭化胚乳	3.9	焼け膨れ、資料 127
113	SX8	埋土最下部	174	中世	イネ	炭化胚乳	4.5	焼け膨れ、資料 128
114	SX8	埋土最下部	175	中世	イネ	炭化胚乳	5.5	焼け膨れ、資料 129
115	SX8	埋土最下部	176	中世	コムギ	炭化種子	5.0	焼け膨れ、資料 130
116	SX8	埋土最下部	177	中世	コムギ	炭化種子	4.2	焼け膨れ、資料 131
117	SX8	埋土最下部	178	中世	イネ	炭化胚乳	4.8	胚付き、資料 132
118	SX8	埋土最下部	179	中世	イネ	炭化胚乳	4.7	胚付き、資料 133
119	SX8	埋土最下部	180	中世	イネ	炭化胚乳	5.5	穎残、資料 134
120	SX8	埋土最下部	181	中世	イネ	炭化胚乳	4.6	穎残、資料 135
121	SX8	埋土最下部	182	中世	イネ	炭化胚乳	5.0	焼け膨れ、資料 136
122	SX8	埋土最下部	183	中世	不明粒子		—	資料 137
123	SX8	埋土最下部	184	中世	不明粒子		—	資料 138
124	SX8	埋土最下部	185	中世	イネ	炭化胚乳	4.7	焼け膨れ、資料 139
125	SX8	埋土最下部	186	中世	イネ	炭化胚乳	4.0	焼け膨れ、資料 140
126	SX8	埋土最下部	187	中世	イネ	炭化胚乳	4.8	焼け膨れ、資料 141
127	SX8	埋土最下部	188	中世	コムギ	炭化種子	—	欠け、資料 142
128	SX10	埋土下部	203	中世	イネ	炭化胚乳	—	焼け膨れ、資料 143
129	SX10	埋土下部	204	中世	イネ	炭化胚乳	4.1	焼け膨れ、資料 144
130	SX10	埋土下部	205	中世	イネ	炭化胚乳	4.4	焼け膨れ、資料 145
131	SX10	埋土下部	206	中世	イネ	炭化胚乳	—	焼け膨れ、資料 146
132	SX10	埋土下部	207	中世	イネ	炭化胚乳	4.6	焼け膨れ、資料 147
133	SX10	埋土下部	208	中世	イネ	炭化胚乳	—	欠け、資料 148
134	SX17	埋土下部	210	中世	イネ	炭化胚乳	4.7	資料 149
135	SX20	埋土下部	211	中世	イネ	炭化胚乳	4.3	資料 150
136	SX20	埋土下部	212	中世	イネ	炭化胚乳	—	焼け膨れ、資料 151
137	SX20	埋土下部	213	中世	イネ	炭化胚乳	4.2	資料 152
138	SX20	埋土下部	214	中世	イネ	炭化胚乳	4.1	焼け膨れ、資料 153
139	SX20	埋土下部	215	中世	イネ	炭化胚乳	4.7	穎残、資料 154
140	SX20	埋土下部	216	中世	イネ	炭化胚乳	4.6	焼け膨れ、資料 155
141	SX20	埋土下部	217	中世	イネ	炭化胚乳	4.0	穎残、資料 156
142	SX20	埋土下部	218	中世	イネ	炭化胚乳	4.9	焼け膨れ、資料 157
143	SX20	埋土下部	219	中世	イネ	炭化胚乳	4.4	穎残、資料 158
144	SX20	埋土下部	220	中世	イネ	炭化胚乳	4.0	資料 159
145	SX20	埋土下部	221	中世	イネ	炭化胚乳	3.5	焼け膨れ、資料 160
146	SX20	埋土下部	222	中世	イネ	炭化胚乳	3.9	焼け膨れ、資料 161
147	SX20	埋土下部	223	中世	イネ	炭化胚乳	4.4	穎残、資料 162
148	SX20	埋土下部	224	中世	イネ	炭化胚乳	5.4	穎残、資料 163
149	SX20	埋土下部	225	中世	イネ	炭化胚乳	4.0	焼け膨れ、資料 164
150	SX20	埋土下部	226	中世	イネ	炭化胚乳	4.5	焼け膨れ、資料 165
151	SX20	埋土下部	227	中世	イネ	炭化胚乳	—	焼け膨れ、資料 166
152	SX20	埋土下部	228	中世	イネ	炭化胚乳	4.2	焼け膨れ、資料 167
153	SX20	埋土下部	229	中世	イネ	炭化胚乳	—	焼け膨れ、資料 168
154	SX20	埋土下部	230	中世	イネ	炭化胚乳	—	焼け膨れ、資料 169
155	SX24	埋土下部	245	中世	イネ	炭化胚乳	3.4	焼け膨れ、資料 170
156	SX24	埋土下部	246	中世	イネ	炭化胚乳	3.2	資料 171
157	SI501 住居内土坑 4	埋土	247	古代	オオムギ	炭化種子	4.7	欠け、資料 172
158	SI501 住居内土坑 4	埋土	248	古代	イネ	炭化胚乳	3.7	資料 173
159	SI501 住居内土坑 4	埋土	249	古代	コムギ	炭化種子	4.5	資料 174
160	SI501 住居内土坑 4	埋土	250	古代	イネ	炭化胚乳	—	焼け膨れ、資料 175

3　炭化材樹種同定

万丁目遺跡から出土した炭化材の樹種同定を阿部利吉氏（元岩手県木炭協会）に依頼した。カマド状遺構では燃料の特定、住居跡では建築材を特定することが主なねらいである。また、カマド状遺構の燃料の変化から生活、環境の変化を探る一資料とするためである。

万丁目遺跡炭化材樹種同定名一覧表

番号	遺構名	出土層位	採取年月日	樹　種　名	保管資料番号
1	SX1 No.1	底面直上	2018,05,24	アカマツ	資料 176
2	SX1 No.2	底面直上	2018,05,24	アカマツ	資料 177
3	SX1 No.3	底面直上	2018,05,24	ヤマウルシ	資料 178
4	SX1 No.4	底面直上	2018,05,24	ヤマウルシ	資料 179
5	SX1 No.5	底面直上	2018,05,24	クリ	資料 180
6	SX1 No.6	底面直上	2018,05,24	クリ	資料 181
7	SX1 No.7	底面直上	2018,05,24	ホウノキ	資料 182
8	SX1 No.8	底面直上	2018,05,24	クリ	資料 183
9	SX1 No.9	埋土下部	2018,05,24	ヤマウルシ	資料 184
10	SX2 No.1	底面直上	2018,06,08	ヤマウルシ	資料 185
11	SX4 No.1	底面直上	2018,06,18	ヤマウルシ	資料 186
12	SX4 No.2	底面直上	2018,06,18	ヤマウルシ	資料 187
13	SX4 No.3	底面直上	2018,06,18	ホウノキ	資料 188
14	SX4 No.4	底面直上	2018,06,18	クリ	資料 189
15	SX4 No.5	底面直上	2018,06,18	クリ	資料 190
16	SX4 No.6	底面直上	2018,06,18	クリ	資料 191
17	SX7 No.1	底面直上	2018,06,25	クリ	資料 192
18	SX7 No.2	底面直上	2018,06,25	ナラ	資料 193
19	SX7 No.3	底面直上	2018,06,25	ナラ	資料 194
20	SX7 No.4	底面直上	2018,06,25	ナラ	資料 195
21	SX7	底面直上	2018,06,25	クリ、ヤマウルシ	資料 196
22	SX7	底面直上	2018,06,25	ホウノキ、ヤマウルシ	資料 197
23	SX7	埋土下部	2018,06,28	ナラ、ヤマウルシ	資料 198
24	SX8	底面直上	2018,07,10	クリ	資料 199
25	SX8	埋土	2018,06,25	クリ、ヤマウルシ	資料 200
26	SX9	埋土最下部	2018,07,09	クリ	資料 201
27	SX11	底面直上	2018,07,12	クリ	資料 202
28	SX11	埋土下部	2018,07,12	クリ	資料 203
29	SX13	埋土下部	2018,07,19	ホウノキ	資料 204
30	SX13	埋土最下部	2018,07,19	ナラ	資料 205
31	SX13	底面直上	2018,07,13	ホウノキ	資料 206
32	SX13	底面直上	2018,07,13	クリ	資料 207
33	SX13	煙道埋土下部	2018,07,23	クリ	資料 208
34	SX13	煙道埋土下部	2018,07,23	クリ	資料 209
35	SX13	底面直上	2018,07,24	クリ	資料 210
36	SX13	底面直上	2018,07,24	クリ	資料 211
37	SX17	埋土下部	2018,07,24	ナラ	資料 212
38	SX20	埋土下部	2018,08,07	ナラ	資料 213
39	SX21	埋土最下部	2018,08,21	クリ	資料 214
40	SX21	埋土最下部	2018,08,21	サワグルミ	資料 215
41	SX24	埋土下部	2018,08,25	サワグルミ	資料 216
42	SI501	床面	2018,09,20	サワグルミ	資料 217
43	SI501	土坑 4 埋土	2018,09,20	ナラ	資料 218
44	SI102	煙道埋土（2 層）	2018,08,01	ヤマウルシ	資料 219
45	SI 1	床面	2018,08,	ヤマウルシ	資料 220
46	SI 1	床面	2018,08,	ナラ	資料 221
47	SI 1	床面	2018,08	ナラ、ヤマウルシ	資料 222

Ⅶ　ま　と　め

はじめに

今回の万丁目遺跡の発掘調査で得られた成果は、大部分が中世に関わるものである。よって、ここでは中世の遺構の展開を総合的に示し、まとめとして提示する。

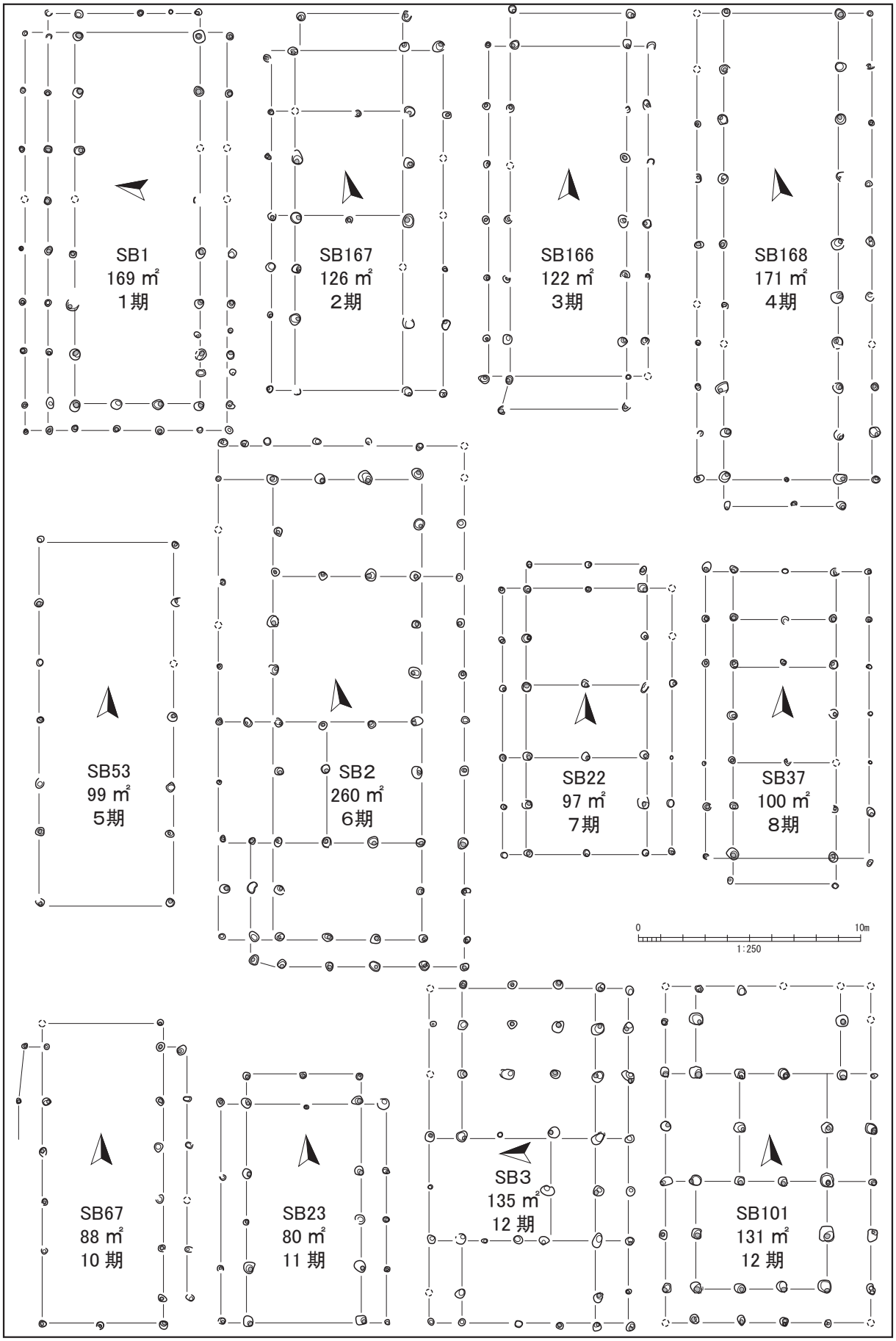
遺構変遷の中心となる遺構は掘立柱建物であるが、掘立柱建物は遺構の構造上、時期、遺構の前後関係の特定に大きな制限がある。プランが重複している建物どうしはともかくも、離れて建っている建物の時期関係を示すことは客観的には不可能である。よって、客観的な実証に基づく居館の変遷を示すことは不可能なのである。しかしながら、それを踏まえた上で、想定、主観も加え、居館の変遷を考察する。想定を含んだ変遷を示すことは、報告書の在り方の原則に外れるかもしれないが、調査者が変遷の見通しを最も有していることはまぎれもないことであり、今後の研究のたたき台として見通しを示したい。掘立柱建物の柱間寸法が時代によって変化するという見方、同時存在の建物の軸方位は揃っているという見方もあるが、どちらも仮説であり、実際上は必ずしも当てはまらない場合も多いと考えており、これらを絶対視はしていない。

時期区分と各時期の主屋の設定（第 270 図　第 16 表）

今回の調査で検出された掘立柱建物は 168 棟であるが、この内、面積が 97㎡ 以上の建物が 10 棟ある。これらは、その他の建物とは明確に一線を画す規模であり、主殿、主屋と想定できる建物である。これらのうち 2 棟（SB3、SB101）は形態、間取りから近世の掘立柱民家の主屋と判断した。間取りの形態から 17 世紀後半以降、便宜的に 1680 年以降の年代として想定する。よって、この 2 棟を除いた 8 棟を中世の居館の主殿と設定し、これらの建物を基軸に居館の時期区分を想定する。これら 8 棟はいずれも居館を区画する溝の内部（以後区画内部とする）に位置し、大半はプランが重複しており、これらの建物は 1 時期に 1 棟のみ存在したと解釈すべき状況である。

各々の建物の柱穴が切り合い関係を有しておらず、前後関係を客観的に示せるわけではないが、切り合い関係、重複関係、その他を考慮して建物の建て替え順序を想定した。そして、各々の主殿の順序に 8 時期の居館変遷を想定した。8 時期全部通しての居館の存続期間は出土遺物の年代観から 12 世紀後半～15 世紀中頃と推測される。この時間幅を便宜的に 1153 年～1448 年という実年代と想定し、この時間幅を 8 時期で均等割りすると 1 時期 37 年間となる。掘立柱建物の耐久年代などを考慮するとこの 37 年という数字は妥当な年代幅と感じられる。当然ながら各期が一律に 37 年ということはあり得ないのではあるが、論を進めるため便宜的に設定したものである。よって実年代で示したものも前後を含んだ年代ということを承知いただきたい。

また、面積 97㎡ 以上の建物 10 棟（居館の主殿 8 棟、近世民家主屋 2 棟）の他に、それに准ずる面積 69.8㎡～88㎡ の建物 5 棟がある。この 5 棟の面積もそれ以下の面積の建物と一線を画しており、ある段階の主要建物と解釈すべきである。この 5 棟の内 2 棟（SB67、SB23）は区画内部に、他 3 棟（SB115、SB107、SB111）は区画外部にある。これらは居館の主殿よりは面積が小さいため、屋敷、在家の主屋といった性格が考えられ、居館が廃絶した後の 15 世紀後半～16 世紀代の屋敷の主屋と解釈する。この年代観は、竪穴建物、カマド状遺構に伴う炭化物の炭素年代測定結果、僅かな量ではあるが 16 世紀代の陶磁器の存在から推測できる。これらの主屋は同時に複数棟存在した時期もあると解釈し、居館に後続する 3 時期に想定した。想定した年代幅は 1449 年～1559 年とし、これを 3 時期に分割した。



第 270 図　主殿・主屋の建物一覧

第 271 図　建物全体配置図

全体を通してまとめると、居館としての時期が1～8期、居館廃絶後、屋敷が展開した時期9～11期、そして空白時期があり、近世屋敷の時期を一括し12期とする。

次の作業としては39.1㎡～68.1㎡を中型の建物（区画内36棟、区画外12棟）として抽出し、これらの前後関係を検討し、各時期の主殿、主屋に割り振った。その後、小型の建物、その他の遺構を各時期に検討の上に割り振った。

第16表　万丁目遺跡時期区分（主殿・主屋の面積は0.1㎡以下を四捨五入）

期	推定年代（1期37年）	主殿主屋	面積㎡	伴う建物　遺構
1期	1153～1189年頃	SB1	169	SB4、SB9、SB13、SB29、SB74、SB82、SB90、SB149、SI6、SE1、SK6、SD1～SD7
2期	1190～1226年頃	SB167	126	SB10、SB49、SB55、SB57、SB61、SB81、SB93、SI5、SD1～SD7
3期	1227～1263年頃	SB166	122	SB8、SB14、SB16、SB35、SB36、SB43、SB72、SB73、SB78、SB96、SG1、SK1、SK2、SK3、SK4、SK5、SK8、SK9、SD1～SD7
4期	1264～1300年頃	SB168	171	SB5、SB21、SB38、SB41、SB56、SB75、SB89、SG1、SK1、SK2、SK3、SK4、SK5、SK8、SK9、SD1～SD7、SD10、SD11
5期	1301～1337年頃	SB53	99	SB6、SB11、SB59、SB62、SB66、SB77、SB139、SB162、SG1、SK1、SK2、SK3、SK4、SK5、SK8、SK9、SD1～SD7、SD10、SD11
6期	1338～1374年頃	SB2	260	SB7、SB19、SB20、SB26、SB79、SB85、SB144、SB164、SI4、SG1、SK1、SK2、SK3、SK4、SK5、SK8、SK9、SD1～SD7、SD10、SD11
7期	1375～1411年頃	SB22	97	SB18、SB32、SB51、SB63、SB97、SB150、SI2（旧）、SX6、SD1～SD7
8期	1412～1448年頃	SB37	100	SB12、SB17、SB30、SB98、SI2（新）、SX2、SX8、SX9、SX11、SX17、SX20、SD1～SD7　区画外：SB108、SB110、SB112、SB121、SB122
区画溝（SD1～SD7）の消滅　居館の終了　屋敷へと変化				
9期	1449～1485年頃	SB115	70	元区画外：SB103、SB118、SB126、SB128、SI3、SI8
10期	1486～1522年頃	SB67	88	南部（元区画内）：SB25、SB86、SI1、SI7（旧）、SK10、SK54、SD8
		SB107	79	北部（元区画外）：SB104、SB106、SB120、SB125、SX1
11期	1523～1559年頃	SB23	80	南部：SB40、SI7（新）、SD8
		SB111	71	北部：SB102、SB111、SB113、SB116、SB123
空白期				
12期	1680年頃～	SB3	135	南部：SB46、SB48、SB65
		SB101	131	北部：SB105、SB109、SB119

各期の様相

居館期（1～8期）を通しての様相

本遺跡で今回検出された1期から8期までの中世の遺構群の性格は「居館」と想定する。居館は有力者の住居であるとともに、地域支配の拠点であり、一般の屋敷とは一線を画す規模、格式を有するものと考える。今回検出の居館は、SD1～SD7で構成される区画溝で囲まれている。SD1～SD7は現況では分断されているが、これは削平等の結果であり、元来は基本的には連続した溝と推測される。一部溝が重なっている部分（SD4とSD5・SD6）もあるが、これは、溝のメンテナンスで浚渫などがおこなわれた痕跡と解釈する。現況の溝の上幅は最大でも110cm程度しかなく、削平された度合いを考慮しても、「堀」とするには規模が小さく、区画溝と表現する。

区画溝の居館内部側に沿う幅4m程の地帯には、掘立柱建物等の遺構が基本的に存在しておらず、土塁の存在も仮定された。しかし、調査区域が水田造成によって削平される以前の地籍図、航空写真

の観察では土塁、区画溝の形状は全く看取されず、土塁は存在しなかったと判断する。おそらく区画溝内部側には、生垣、地下に痕跡が残らない簡便な構造の塀などが巡らされていたと推測する。

1 期（1153〜1189 年頃）の様相（第 272 図）

奥州藤原氏が比爪、平泉に拠点をかまえていた時代に相当する。この期の後とは異なり、主殿 SB1 は東西棟で区画内部の西半に位置する。その南面には井戸、土坑が存在するものの広い空間となっており、主殿に面する庭、広場と解釈される。区画内部東側中央には仏堂と推測される SB4 が建っており、居館の住人の持仏堂と理解される。区画内部中央には南北棟の棟長の建物、SB29、SB74、SB149 が建ち並び（SB29 と SB74 はプランが重複するが、1 期の時間幅の中での建て替えと解釈している。）、東西を仕切る形に配置されており、主殿と広場からなる西部と仏堂が建つ宗教的空間の東部に区画内部が二分割されていたと理解される。これは、居館の大区画内部が館、御所、寺院に区分される比爪館、平泉館の構造に通ずるものと考える。

今回の出土遺物には宴会儀礼用の土器であるかわらけがあり、比爪や平泉と同様の宴会儀礼の執行を示す。これは居館の住人が奥州藤原氏に准ずる階層の者であることを物語っている。そして、出土かわらけは、その胎土の特徴から比爪産のかわらけと判別され、居館の住人は、平泉よりも比爪の奥州藤原氏と強い関係を有していたと推測される。また比爪の視点からみれば比爪の勢力が稗貫郡まで及んでいたことを示す資料となる。

平泉の奥州藤原氏の居館遺跡とされる柳之御所遺跡の 28SE16 からは、「人々給絹日記」のタイトルの墨書折敷が出土している。これは何らかの儀礼の際に人々に給することになった絹（織物）のリストを記した記録で、人名と給する絹が書き連ねてある。この人名の中の「瀬川次郎　赤根染綾　一」について大石直正は稗貫郡内「瀬川」の地名を名字とする者と推測している（大石直正 1992）。これは稗貫郡に出自を有する者が平泉に出仕しているという見解でもある。これは稗貫郡内の万丁目遺跡の住人が比爪との強い関係を有するという見解と矛盾するように感じられるかもしれない。しかし、稗貫郡内の有力者が、平泉と比爪両方に関係を有していることも当然想定され、また瀬川次郎が比爪の名代として平泉に出仕していることも十分考えられ、「瀬川次郎」の出自が稗貫郡であることと、万丁目遺跡と比爪の関係性は相矛盾しないと考える。また「瀬川」が地名に由来するとしても、その地名が何処に相当するのか検討の余地はあると思われる。ちなみに万丁目遺跡から河川の瀬川までは最短で 3.7km の距離である。

奥州藤原氏の居館である比爪館、平泉館（柳之御所遺跡）から望見できる西方の山には経塚が築かれている（比爪→新山経塚、平泉→金鶏山経塚）。これは奥州藤原氏の宗教観の表れと理解される。万丁目遺跡から望見される西方の山に八方山（716 m）がある。八方山の山頂部は「八方山遺跡（ME22-2169）、時期・古代、種別・廃寺跡」が登録されている。現在のところ 12 世紀の経塚が確認されているわけではないが、納経がなされている可能性は非常に高い遺跡内容であり、比爪館、平泉館と共通する要素といえる。八方山頂部の寺院跡は花巻市太田に所在する「清水寺」の奥の院が所在したとされており、大正 8 年（1919）刊行の太田村史（太田公民館 1985）には「清水寺　山号　音羽山　天台宗寺門派　・・・猶、元奥の院は同所を去る西方約二里なる八方山（和賀郡界標高七一六米）にありし由にて、今尚お礎石等あり。・・其の現地（現所在地）に移れるは何等の伝説なけれども天和三年（1689）再建の時ならんか。」との記載がある。八方山には実際に筆者も登頂した（2018 年 11 月 29 日）が、頂上手前の東面が奥の院跡と標柱が立つ平らな地形となっており、平場からみる山頂部はこんもりと盛りあがっており、納経がおこなわれるに相応しいロケーションと感じられた。

また、万丁目遺跡のほぼ真東の方位には高松山経塚（ME27-2212　花巻市高松第 13 地割）が位置し、

12 世紀の常滑産広口壺、常滑産三筋壺、白磁四耳壺等が出土した経塚が存在する。また、さらに西北西の方位に望見できる江釣子森山の基部に位置する円万寺館跡（ME14-2267　花巻市膝立字観音山）では塚から 12 世紀のかわらけが出土しており（花巻市教育委員会 1999）、12 世紀の経塚と推測される遺構である。これも万丁目遺跡の居館とは関連が考えられる遺跡である。

2 期（1190～1226 年頃）の様相（第 272 図）

1189 年に平泉の奥州藤原氏は廃絶するが、居館を囲む区画の範囲は変更が見受けられず、本居館は断絶無く存続したと考える。その一方で内部の構造は 1 期と比較すると大きな変化がみられる。主殿が 1 期では東西棟で区画内西側にあったものが、本期では南北棟になり、区画の中央部に位置するようになる。この主殿の棟方向、位置は居館が廃絶するまで踏襲され続ける。そして、1 期に存在した持仏堂 SB4 が廃され、主殿の東側に付属の建物群が配置される。その配置は主殿と附属建物で空間を囲む形である。この主殿の東面に相当する空間が庭、広場といった機能と思われる。また、区画内部西側には遺構のない空間が広がる。このように、2 期では、1 期の居館内の配置は大きく変更されており、時間として居館の空白はないが、住人の意識、在り方の変化、あるいは住人の系統が入れ替わった可能性も考えられる。しかしながら、平泉奥州藤原氏滅亡直後の稗貫郡の様相は、文献史料から伺うことはほとんどできず具体的な様相は不明である。

3 期（1227～1263 年頃））の様相（第 273 図）

主殿の配置と附属屋がその東側に展開するという基本構造は 2 期の配置が踏襲される。主殿東面の庭、広場の確保も同様である。この期の大きな変化は庭園の造成である。苑池 SG1 が主殿の北西側に配され、その南側に分布する SK1～SK5、SK8、SK9 は庭園の植木の植穴ではないかと推測している。苑池西側の建物 SB8 は庭園に伴う建物と推測する。苑池の東側は遺構空白地帯となっており、庭園鑑賞のポイントと想定される。掘立柱建物 SB14 と植穴と推測する SK2 はプランが重複するが、植木を植えた状態では土坑は埋まっており、その部分に SB14 の軒が重複しても問題ないと考える。また、区画内部南西部に遺構のない空間が広がる。

4 期（1264～1300 年頃）の様相（第 273 図）

主殿、附属屋、庭・広場、庭園等の基本配置は前の期を踏襲している。区画内部南西部に遺構のない空間が広がるのも同様である。変化としてあげられるのは、主殿の規模が 2 期、3 期に比較すると面積比で 1.4 倍も大きくなっており、居館の格式の充実が伺える。また庭園に伴うと考えられる建物 SB5 の北面、西面を L 字形に区画するように SD10、SD11（元来は連続した L 字形の溝と推測する）が新たに配置される。

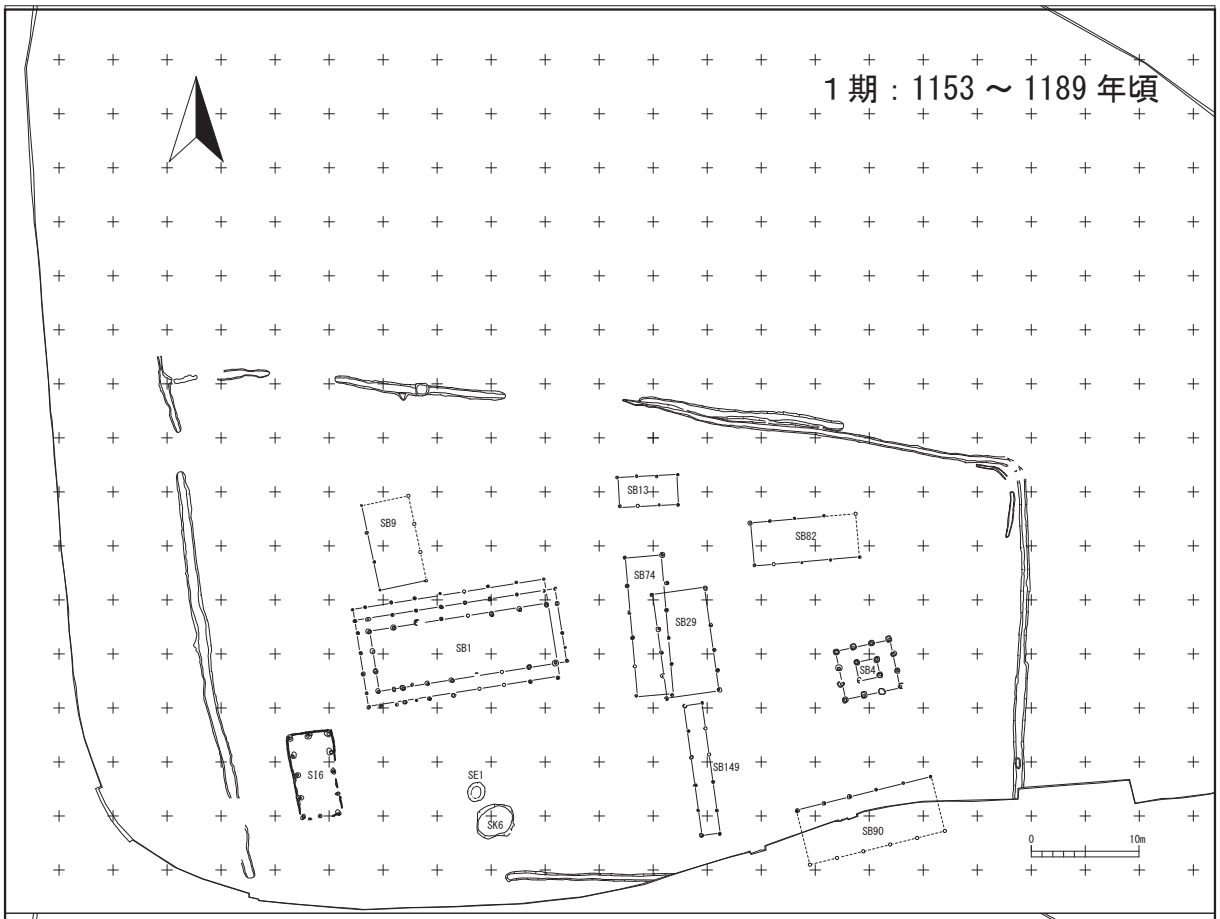
5 期（1301～1337 年頃）の様相（第 274 図）

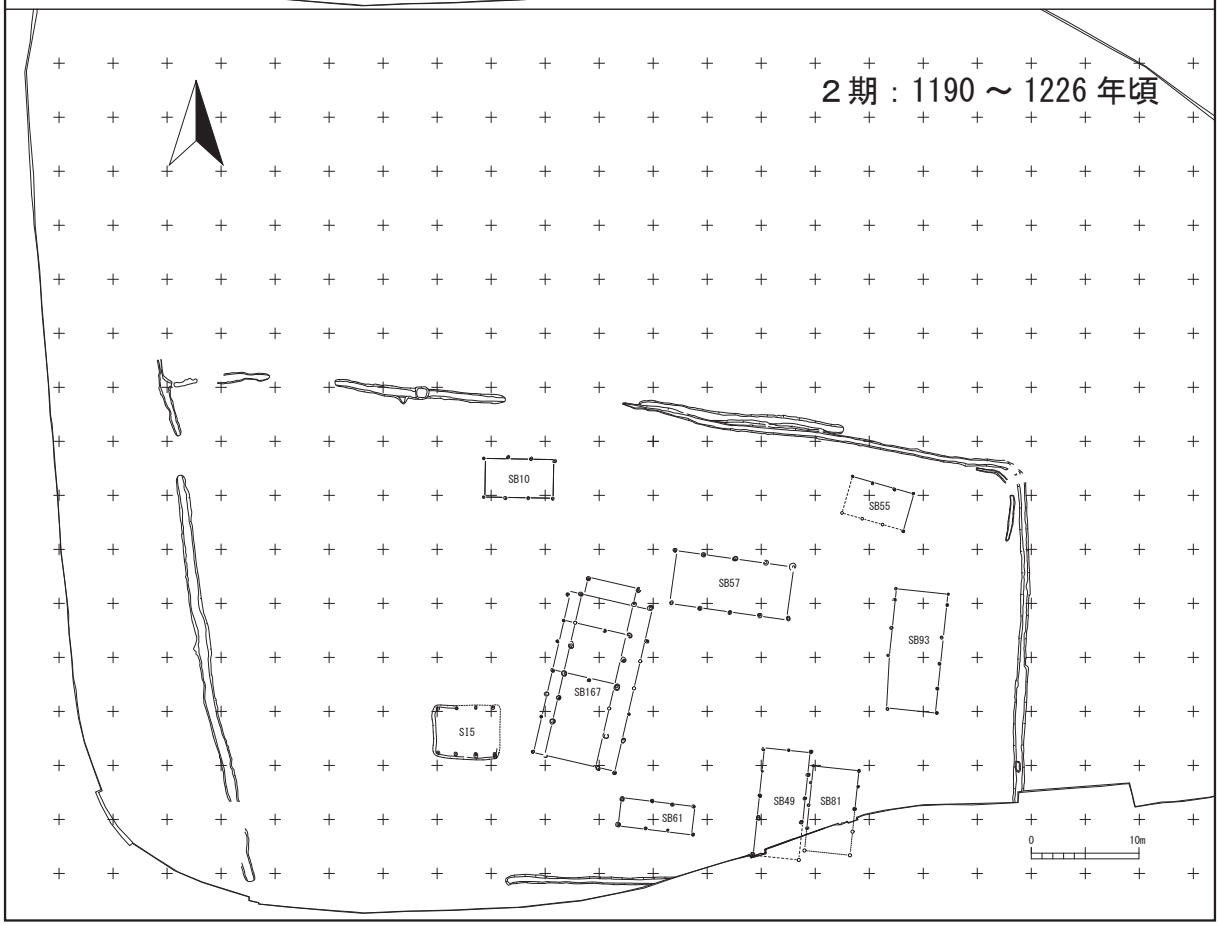
主殿、附属屋、庭・広場、庭園等の基本配置は前の期を踏襲している。区画内部南西部に遺構のない空間が広がるのも同様である。主殿 SB53 の規模が小さくなっているように見えるが、SB53 は庇（下屋）部分の柱穴が相対的に浅く、身舎のみ検出された掘立柱建物と解釈しており、庇部分を補完すれば、他の期の主殿建物と遜色ない規模と考えられる。また植木の植穴 SK1 と重複することは、上記 3 の SB14 と SK2 との関係で述べた理由で問題ないと考える。

この 5 期の終り頃、建武元年（1334 年）の遠野南部文書「多田貞綱書状」（岩手県教育委員会 1960 所収）に糠部の地所に関する文書に「戸貫出羽前司」の名が記され、陸奥国で活動する戸貫（稗貫）の名を有する人物の存在がうかがい知れるが、本居館との関連は不明である。

6 期（1338～1374 年頃）の様相（第 274 図）

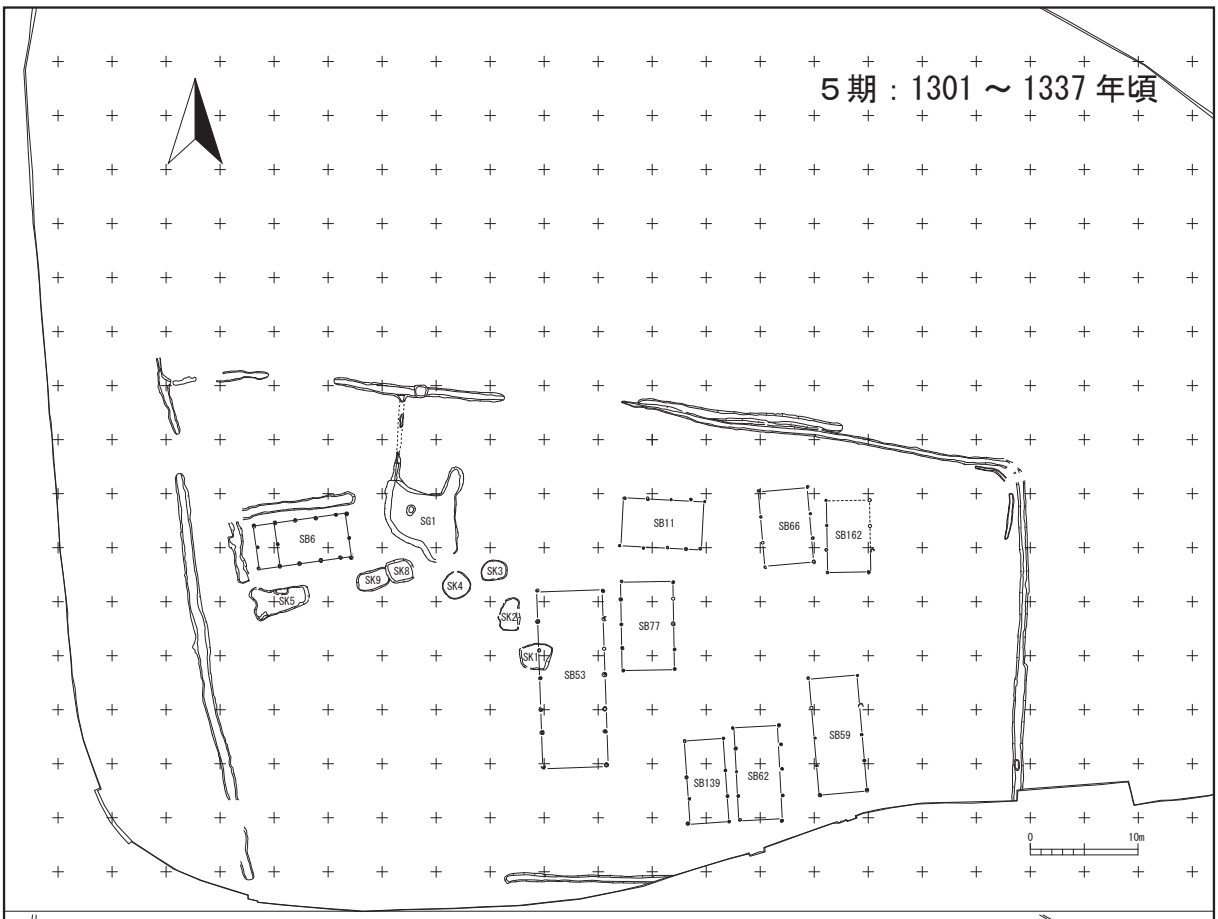
主殿、附属屋、庭・広場、庭園等の基本配置は前の期を踏襲している。区画内部南西部に遺構のな

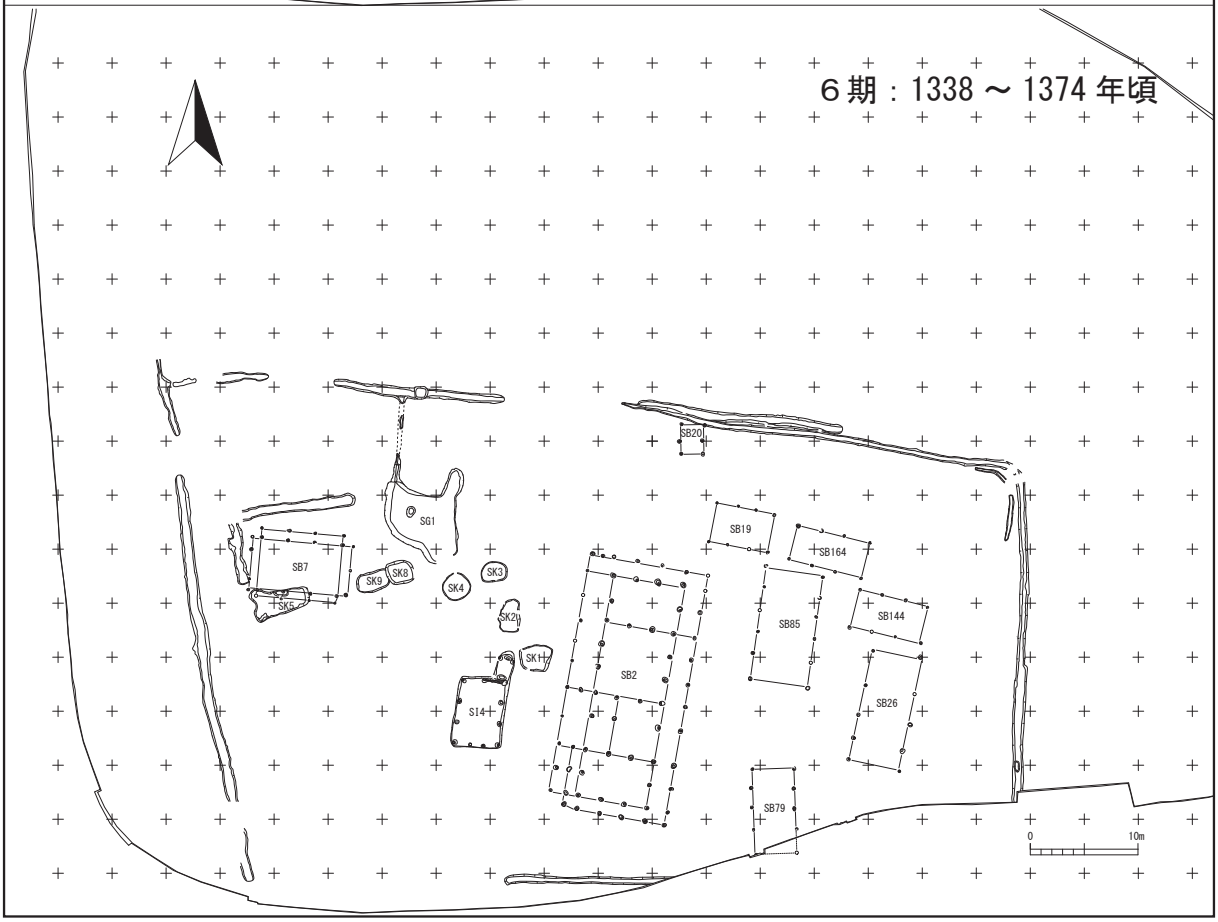




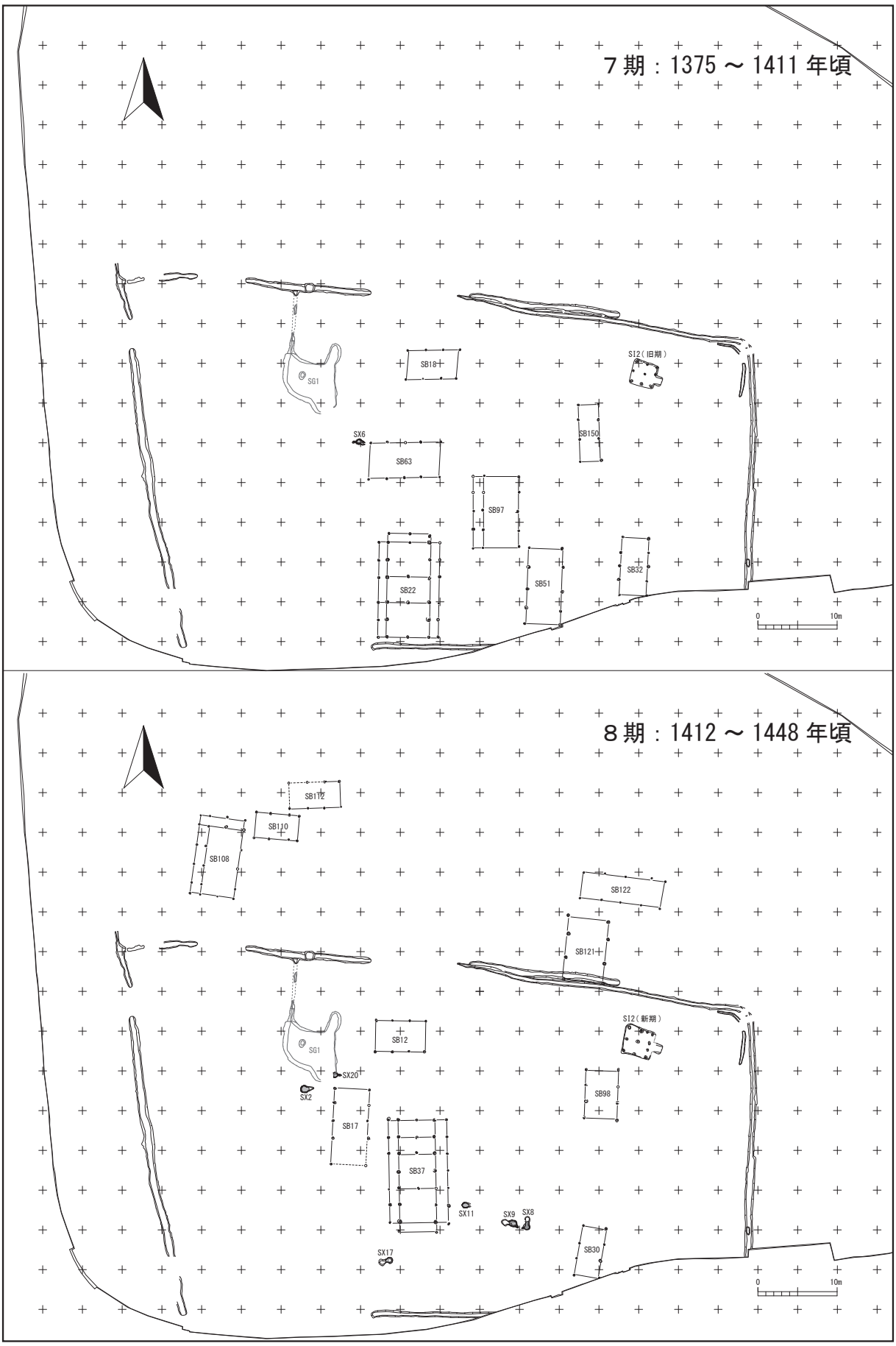
第 272 図　遺構変遷 1 期・2 期

第 273 図　遺構変遷 3 期・4 期

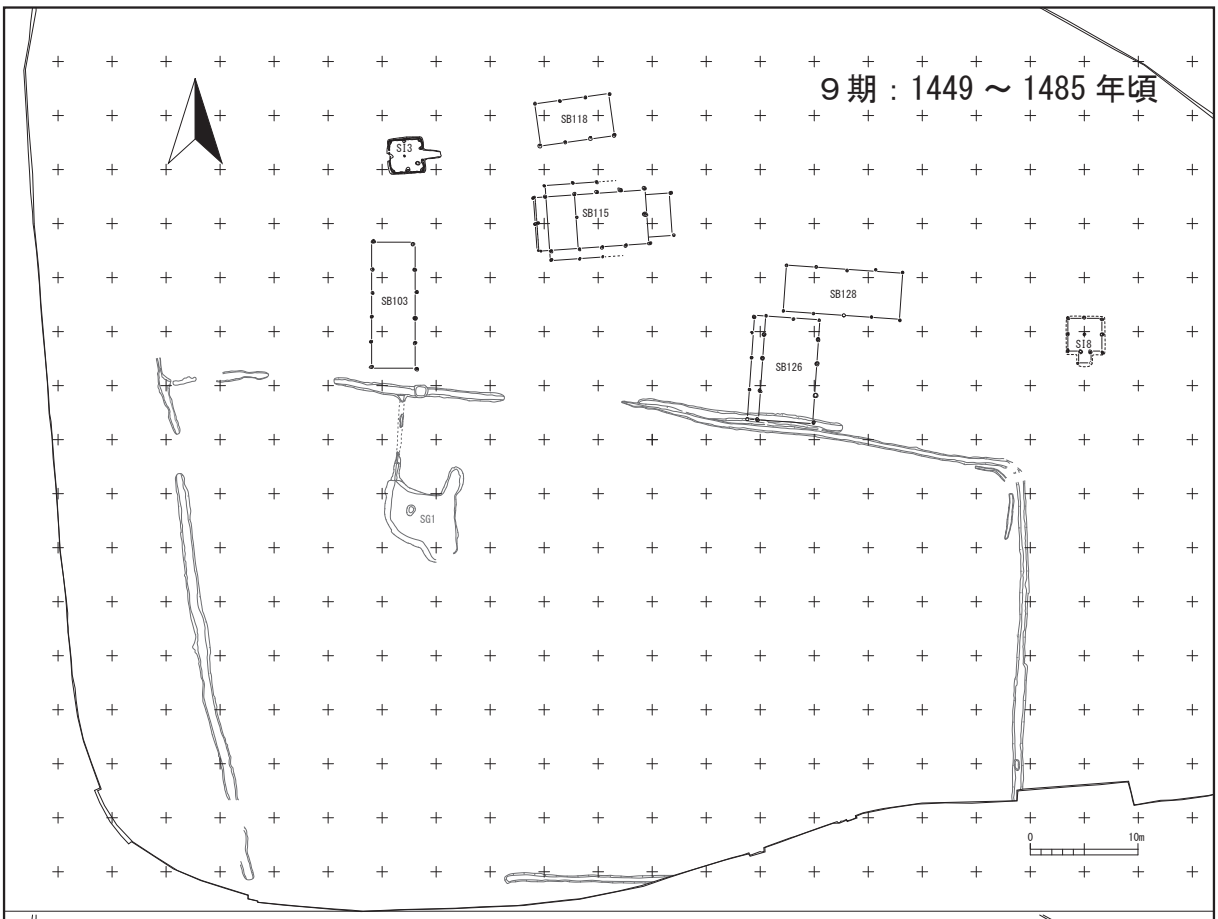


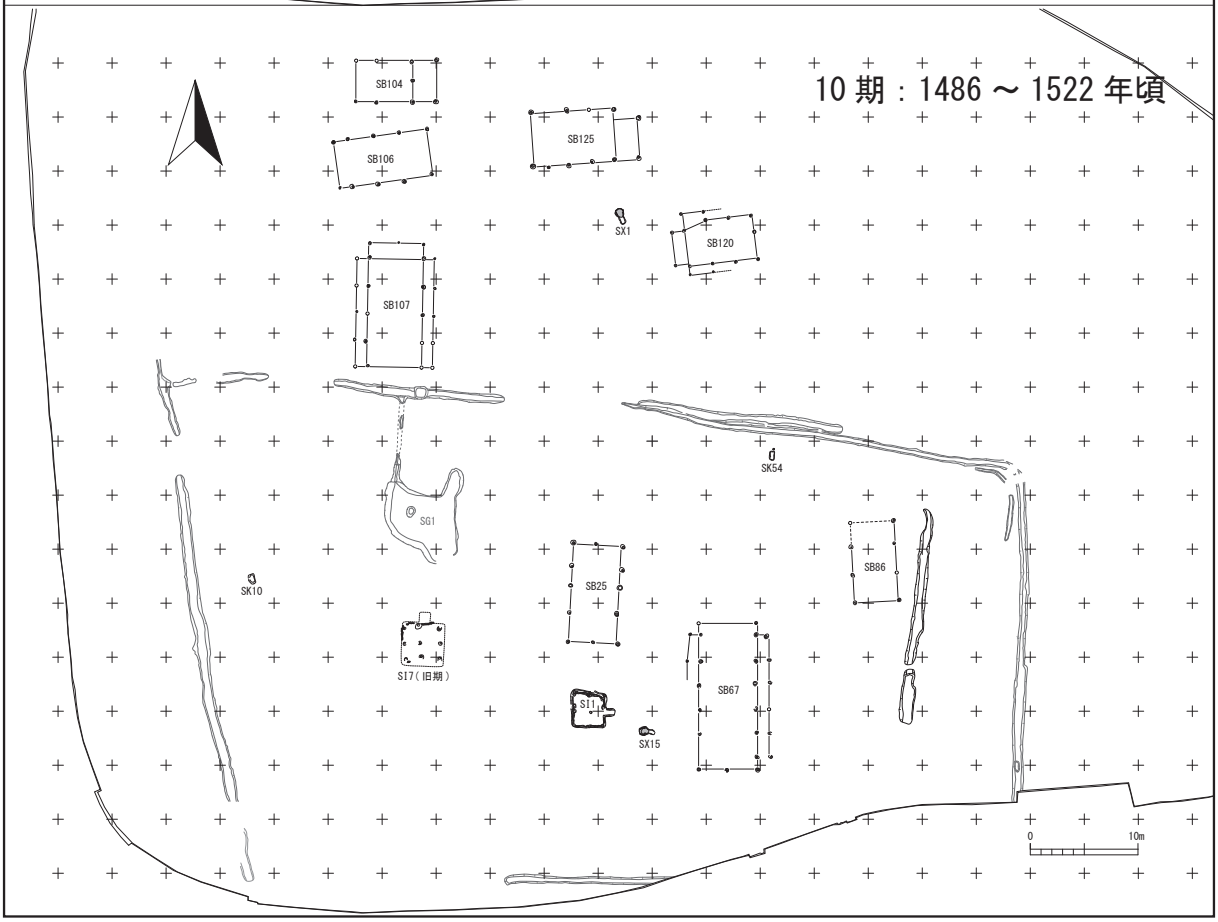


第 274 図　遺構変遷 5 期・6 期

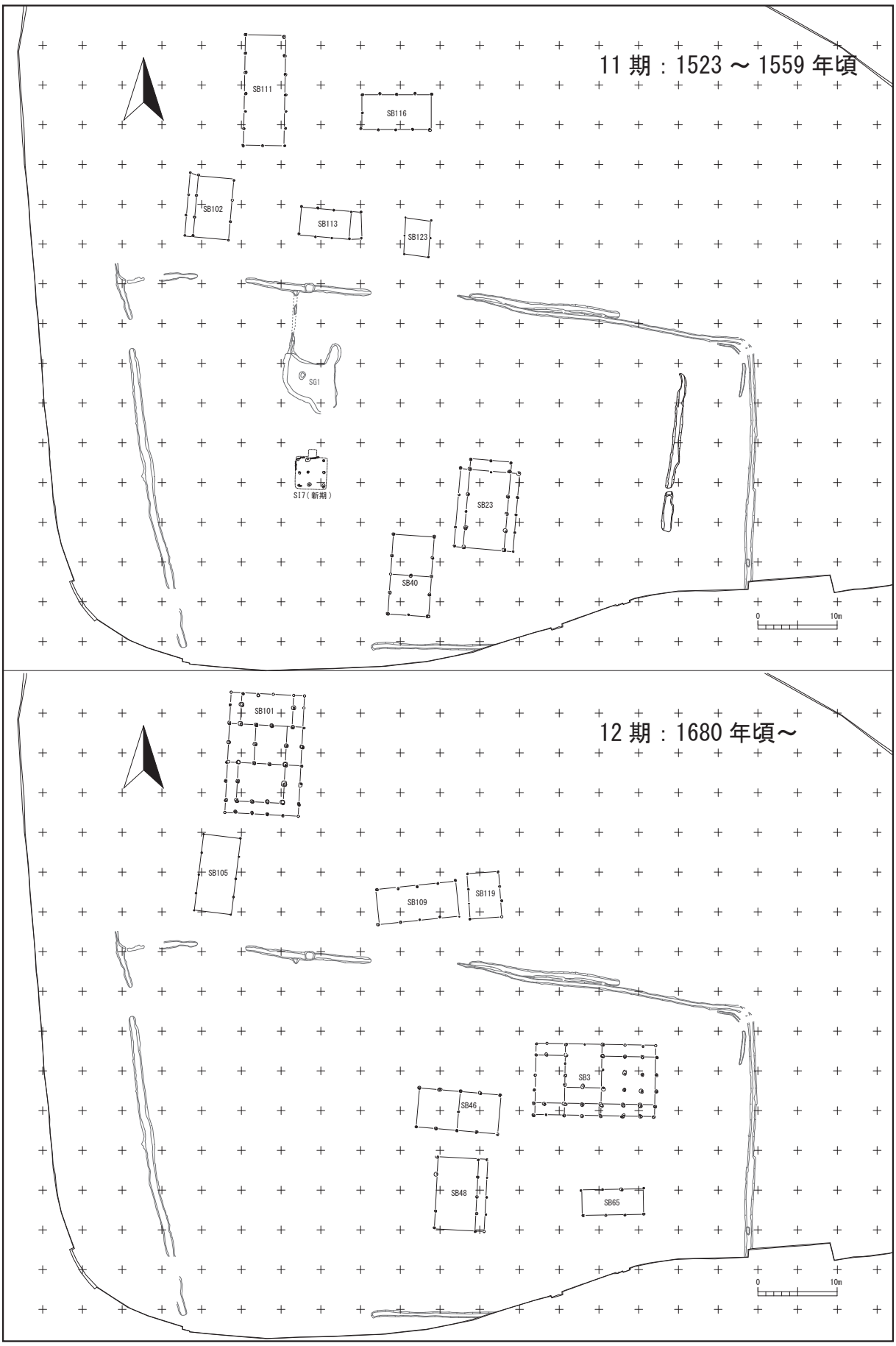


第 275 図　遺構変遷 7 期・8 期





第 276 図　遺構変遷 9 期・10 期



第 277 図　遺構変遷 11 期・12 期

い空間が広がるのも同様である。変化としては、主殿の西側に大規模な竪穴建物 SI4 が構築されている。また、区画溝北辺の中央内側に接する位置に SB20 が構築されている。門あるいは櫓の機能が想像される。そして、この時期の主殿 SB2 は、今回検出された掘立柱建物の中で最大規模を有している。主殿の規模という視点からすると、本 6 期が居館の最盛期と位置付けられる。

この期の史料には興国二年（1341）の「清顕書状」（岩手県教育委員会 1960 所収）に「稗貫出羽權守一族等宗者共数輩討取了」、また同年の北畠親房書状（岩手県教育委員会 1960 所収）に「於栗谷河與部拔黨合戦」とある。これは、南北朝の争いで、北朝方の稗貫勢が敗れた旨の史料である。似内壮蔵はこの史料から中條系稗貫氏は途絶えたとしている（似内 1995）。

そして、文和二年（1353）の鬼柳文書「吉良貞家施行状」（岩手県教育委員会 1960 所収）に「稗貫禰子兵庫助」の名がある。これとの関係を論ずるには史料が不足であるが、万丁目遺跡は南万丁目地区の最南端に位置し、遺跡の一部は中根子地区にも含まれる「根子」地区に接した地点であり、「稗貫禰子」と何らかのつながりも連想される。また、応安四年（1371）の鬼柳文書「上杉氏憲沙汰状写」（岩手県教育委員会 1960 所収）に「稗貫下總守」の名がある。

7 期（1375〜1411 年頃）の様相（第 275 図）

この期は庭園に付随する建物が欠けており、庭園が廃絶したものと解釈する。苑池は特に埋め立て整地をおこなった痕跡は無く、窪んだままであったと推測される。意図的な廃絶というよりも、庭園のメンテナンスが行われず徐々に廃絶したのであろう。庭園の跡地付近にはカマド状遺構 SX6 が構築されたと考える。主殿と附属建物は区画内中央から東側に展開する状況は前の期より踏襲されているが、主殿 SB22 の面積 97㎡ は 6 期に比べると半分以下となっており、居館の求心力が急激に低下したと解釈される。

8 期（1412〜1448 年頃）の様相（第 275 図）

庭園跡はそのまま放置され、埋没が進んではいるが苑池は窪んだままであったと推測される。埋没が進んだ苑池跡付近にはカマド状遺構 SX20、SX2 が構築されている。主殿と附属建物は区画内中央から東側に展開する状況は前代の 7 期と共通する。主殿 SB37 の面積は 100㎡ で、7 期と同様に 6 期以前の主殿の面積に比べると明らかに規模が縮小する。また主殿の前庭部にあたる東面にカマド状遺構 SX8、SX9、SX11 が構築されており、これまでの場の使われ方の変化がみられる。また、区画外の北部にも建物が構築され、居館区画の意味合い自体が崩れ始めている。区画溝はこの時期にも存在を想定しているが、無実化の過程にあると解釈したい。このように本 8 期は、1 期以来保たれ続けた居館の在り方が大きく崩れた時期と位置付けられる。8 期をもって、およそ 300 年間続いた居館は終焉したと想定する。

この期の永享 7、8 年（1435、1436）に和賀郡内の抗争に介入した「稗貫之羽州」とそれに対抗する南部氏を中心とした連合軍との大規模な争いあったことが聞老遺事収録の「稗貫状」（南部叢書刊行会 1927）に記される。この戦いの端緒となった「飯土肥城」は北上市飯豊館跡と推測されており、万丁目遺跡から 5㎞ 以内の近距離である。飯豊館の一部とも推測される独立丘の「飯豊森」は万丁目遺跡から視認ができる。正にこの戦いの只中に万丁目遺跡があるといえる。この時期に居館が終焉するのは、この戦いが契機になった可能性も指摘できる。

9 期（1449〜1485 年頃）の様相（第 276 図）

居館廃絶後の時期であるが、空白時期がほとんどなく以前の居館区画外部にあたる位置に遺構群が展開する。この年代根拠は竪穴建物 SI3 出土の炭化材の年代測定による。展開するのは SB115 を主屋とする掘立柱建物、竪穴建物の遺構群である。主屋の規模等を勘案すると、居館ではなく一般民衆

の民家（ここでは屋敷とする）の性格が想定される。いずれにせよ、居館時代の区画外に展開する屋敷であり、8 期以前の居館とは直接的な関係はないと解釈する。この時期の屋敷は面積 70～80㎡の主屋と小規模な竪穴建物が屋敷の基本構成と推測する。SB126（58㎡）はやや面積が小さいが、竪穴建物 SI8 が伴うことも考えられ、本期の遺構群は SB115 を主屋にする屋敷と SB126 を主屋にする屋敷の二箇所が存在した可能性もある。

10 期（1486～1522 年頃）の様相（第 276 図）

9 期には以前の区画外部（北部とする）に屋敷が構えられたが、本期には以前の区画内部（南部とする）にも別個に新規の屋敷が構えられる。北部の屋敷も存続しており、南部、北部に二箇所の屋敷が存在する。南部は SB67（88㎡）を主屋、北部は SB107（79㎡）を主屋とする屋敷である。墓壙である SK10、SK54 は本期のものと想定した。居館の故地が霊場とされ納骨された可能性、あるいは屋敷の住人の墓ということも考えられる。

11 期（1523～1559 年頃）の様相（第 277 図）

前の 10 期に引き続き、南部、北部に二箇所の屋敷が存在する。南部は SB23（80㎡）を主屋、北部は SB111（71㎡）を主屋とする屋敷である。この時期に後続する中世の遺構群は見出せず、11 期をもって中世の屋敷も廃絶したと想定する。

なお、6 期まで機能していたと想定される苑池 SG1 からは茶臼の下臼（掲載番号 263）がばらばらの状態で出土している。この茶臼は漆継で補修がなされており、漆の放射性炭素年代測定では 1σ 歴年代範囲 1523calAD - 1572calAD（52.3%）の測定値であった。漆継した茶臼が長年の使用に耐えられるとは思われず、本 11 期に廃棄された茶臼と想定する。よって、この時期まで SG1 は埋まりきらず窪んでいたと解釈される。茶臼の付近からは石製挽臼の下臼（掲載番号 264）も出土している。これは単なる廃棄ではなく割れた茶臼と挽臼の下臼をセットで「埋納」した信仰的な行為なのかもしれない。居館の庭園の跡地に何らかの宗教的意味付けを付していた可能性もある。

この期の天文 24 年（1555）年に「稗貫大和守義時」が家臣 5 人を従えて、上洛し将軍家に参礼した記録が「蜷川家記」にある（花巻市教育委員会 1981）。この家臣の中に「万町目」の記載があり、稗貫氏の家臣に万丁（町）目を名字とする者がいたと理解される。当遺跡はこの段階では「居館」としては機能しておらず、稗貫大和守の家臣万丁目氏の居館は別に求めるべきである。

天保六年（1835）頃記された和賀、稗貫郡内の民談を記した「二郡見聞私記」（南部叢書刊行会 1927）の「かりまた清水」には「天正年中萬丁目安房という者あり、今の萬丁目はんどうに往（住の誤植か）す」と記される。この「万丁目はんどう」は、近代以降の「北万丁目村字半道」に相当すると思われ、現在の花巻市下北万丁目の南部にあたる区域である。また、万丁目氏が出自との系図を有する万城目氏の系譜をまとめた、「万城目氏（仙台藩士）の系譜とその動向について」（和記 1976）には「現北万丁目に“半導”と呼ばれている地名があり、ここは昔よりの伝えでは、もと“堀苗代”と呼ばれ、館のまわりに“堀”をめぐらした跡地の一部であるという（現在でもこの地域は泥田であるとのことです）。」と記される。この地区は現在市街地化されてはいるが、周囲が水田の中の微高地で、城館を構えるには適した立地と考えられ、城館の有無を探査すべきと考える。平成 30 年度現在、この地区は埋蔵文化財包蔵地としては登録されていない。

12 期（1680 年頃～）の様相（第 277 図）

大型の建物 SB3、SB101 は、間取りの形態、柱間寸法等から 17 世紀第 4 四半期頃以降の民家の主屋と判断した。この時期のこの間取り形態は、16 世紀～17 世紀中頃には当てはめるのは難しく、11 期で中世の屋敷が廃絶した後、およそ 120 年間の空白時期を経て 17 世紀第 4 四半期頃に構えられた

近世屋敷の主屋と解釈する。南部にSB3を主屋とする屋敷、北部にSB101を主屋とする屋敷があるが、これらが同時存在なのか、時間差を有するのかは判断する材料がない。下限とする年代はどちらの屋敷も、礎石建物民家が掘立柱建物民家を数量的に凌駕する18世紀後半頃と想像するが、客観的な根拠はない。

近世には、調査区の地域は「盛岡藩万丁目通南万丁目村」に属している。近代以降は「南万丁目村字雷（いかづち）」の地内であり、享和三年（1803年）の仮名付帳（森1990）にある「枝村 雷」が相当するのであろう。

この期の後、今回の調査区には建物を有する遺構は展開しなかったと解釈している。明治6年前後とされる地籍図では当該地の地目は畑となっている。

まとめ

万丁目遺跡の中世（近世も含む）の遺構変遷を大きくまとめると、以下のようになる。

①居館の時期（1期～8期）：12世紀中葉（1153年頃）～15世紀中葉（1448年頃）

画期　1期　居館の成立

2期　居館内部の基本配置が1期と大きく変わる

6期　居館の最盛期

7期　居館の求心力が急速に衰える

8期　居館の廃絶

②中世屋敷の時期（9期～11期）：15世紀中葉（1449年頃）～16世紀中葉（1559年頃）

③近世屋敷の時期（12期）：17世紀後半（1680年頃）以降

引用文献

岩手県教育委員会1960『岩手県中世文書　上巻』文化財調査報告書第七集

大石直正1992「奥州藤原氏研究と柳之御所跡」『奥州藤原氏研究と柳之御所跡』吉川弘文館

太田公民館1985『太田のあゆみ』所収「太田村史」

南部叢書刊行会1927「聞老遺事」『南部叢書第二冊』所収

南部叢書刊行会1927「二郡見聞私記」『南部叢書第九冊』所収

似内壮蔵1995「稗貫氏の活躍はどのようなものであったか」『稗貫氏探訪』稗貫氏八〇〇年記念事業実行委員会

花巻市教育委員会1981『花巻市史　第一巻』

花巻市教育委員会1999『円万寺館遺跡』花巻市埋蔵文化財調査報告書第20集

森嘉兵衛監修1990『岩手県の地名』「南万丁目村」の項　日本歴史地名大系3　平凡社

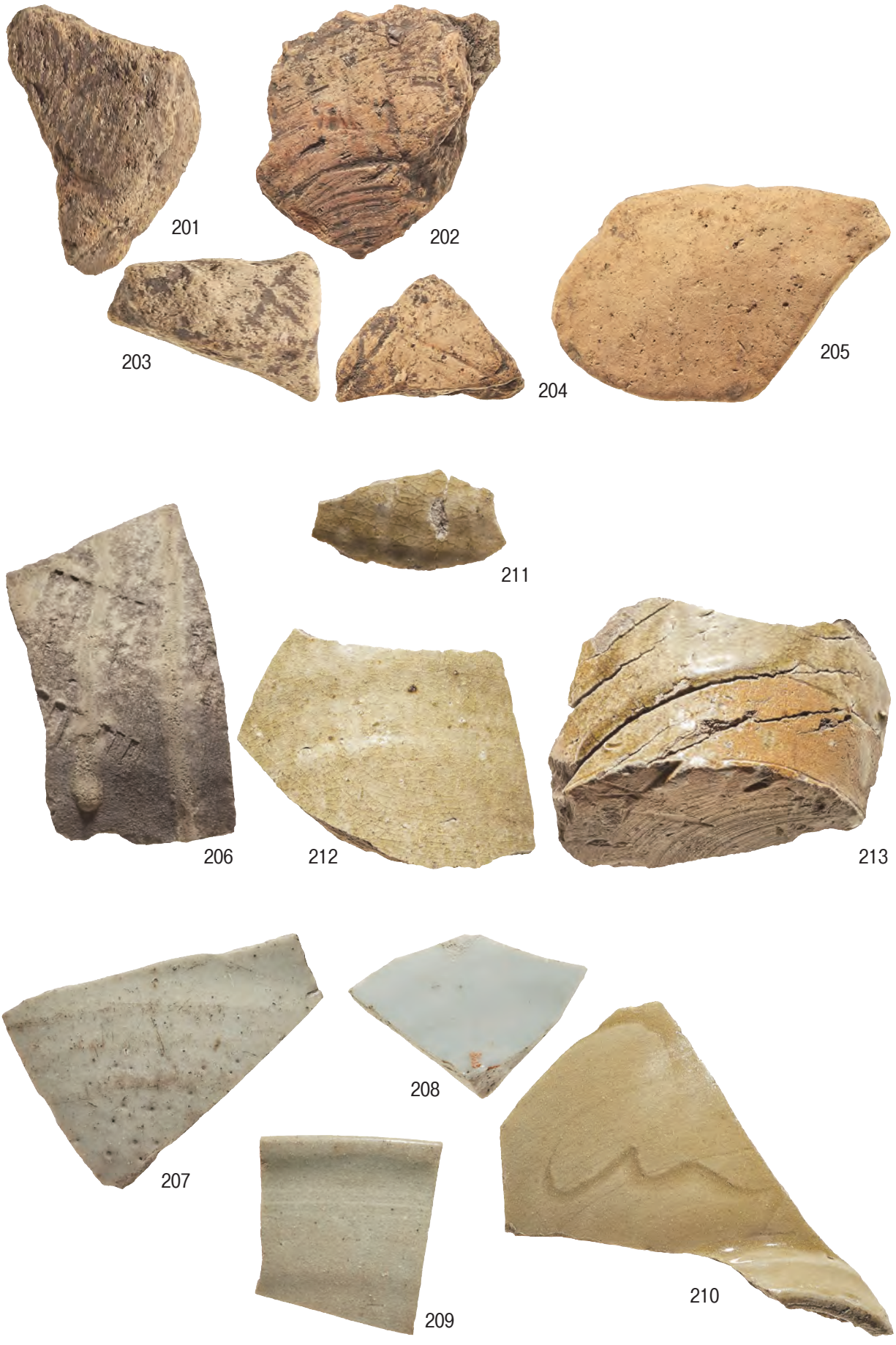
和記博1976『万城目氏（仙台藩士）の系譜とその動向について』

写　真　図　版

調査区全景（直上）

中世居館　完掘全景（北西から）

写真図版１　航空写真（調査区全景）、中世居館完掘全景



写真図版 2　12C のかわらけ・中世の陶磁器①（外面）

写真図版 3　12C のかわらけ・中世の陶磁器②（内面）

調査区　遠景（東から）

調査区　遠景（南西から）

写真図版 4　航空写真（調査区遠景）

調査区　遠景（南西から）

調査区　遠景（北から）

写真図版 5　航空写真（1）

調査区　ほぼ直上（南から）

調査区　ほぼ直上（東から）

写真図版 6　航空写真（2）

調査区東端　完掘

調査前（北西から）

調査前（西から）

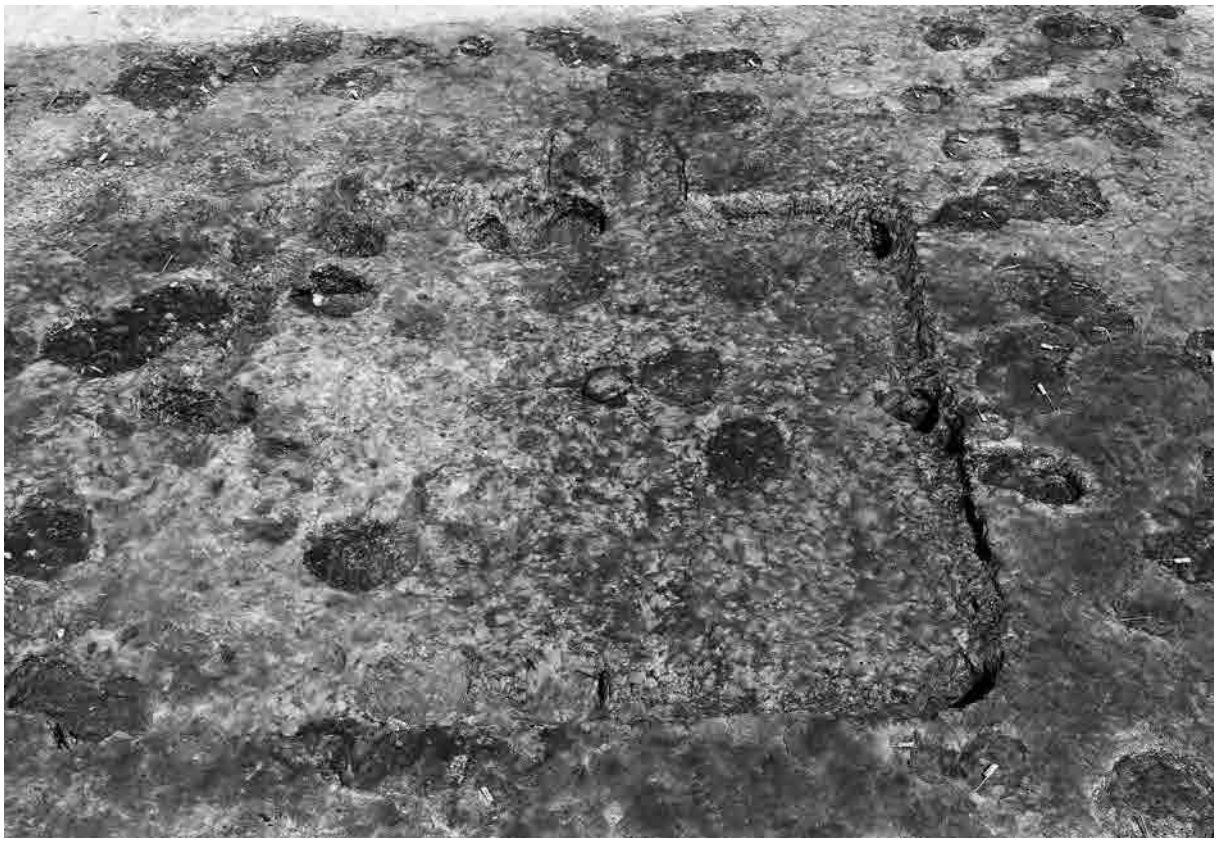
基本土層

基本土層（アップ）

写真図版 7　調査区完掘・調査前・基本土層

完掘全景（北西から）

写真図版 8　中世居館

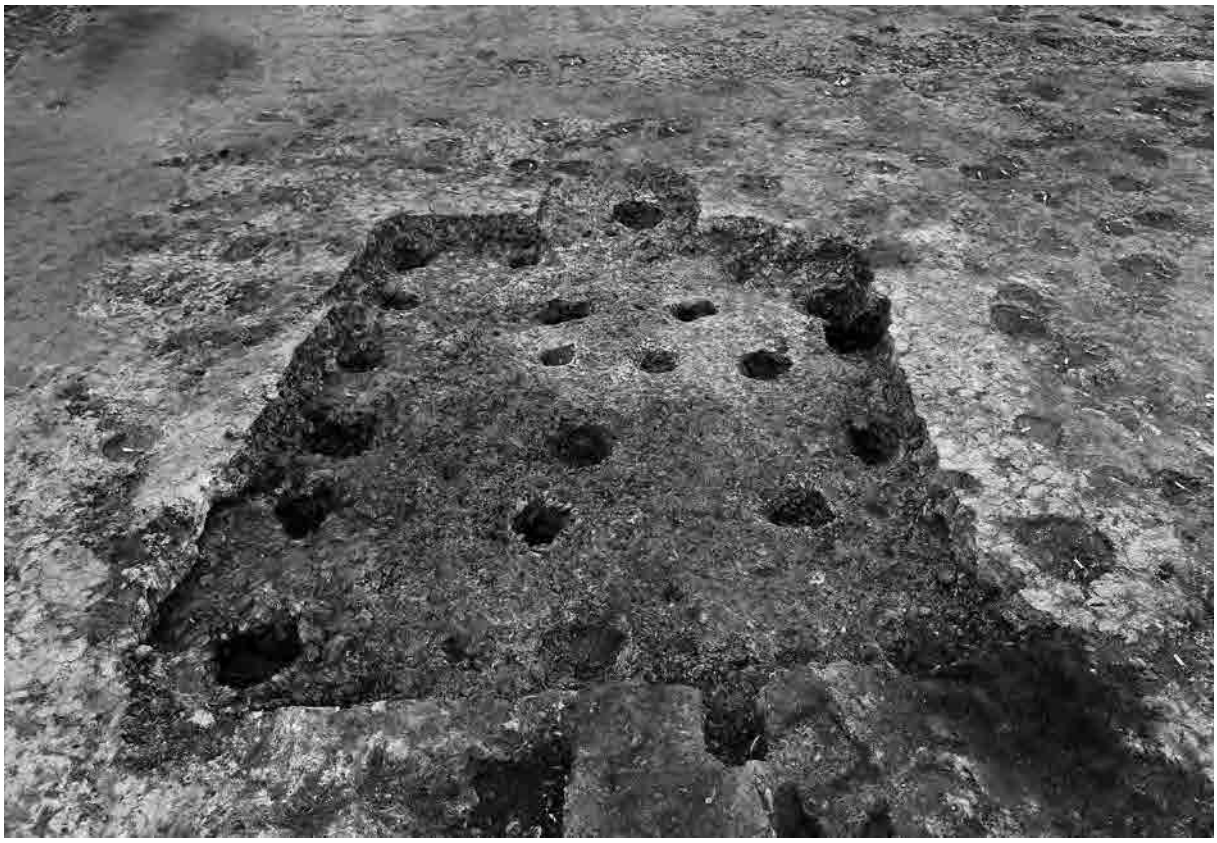


SI1　完掘

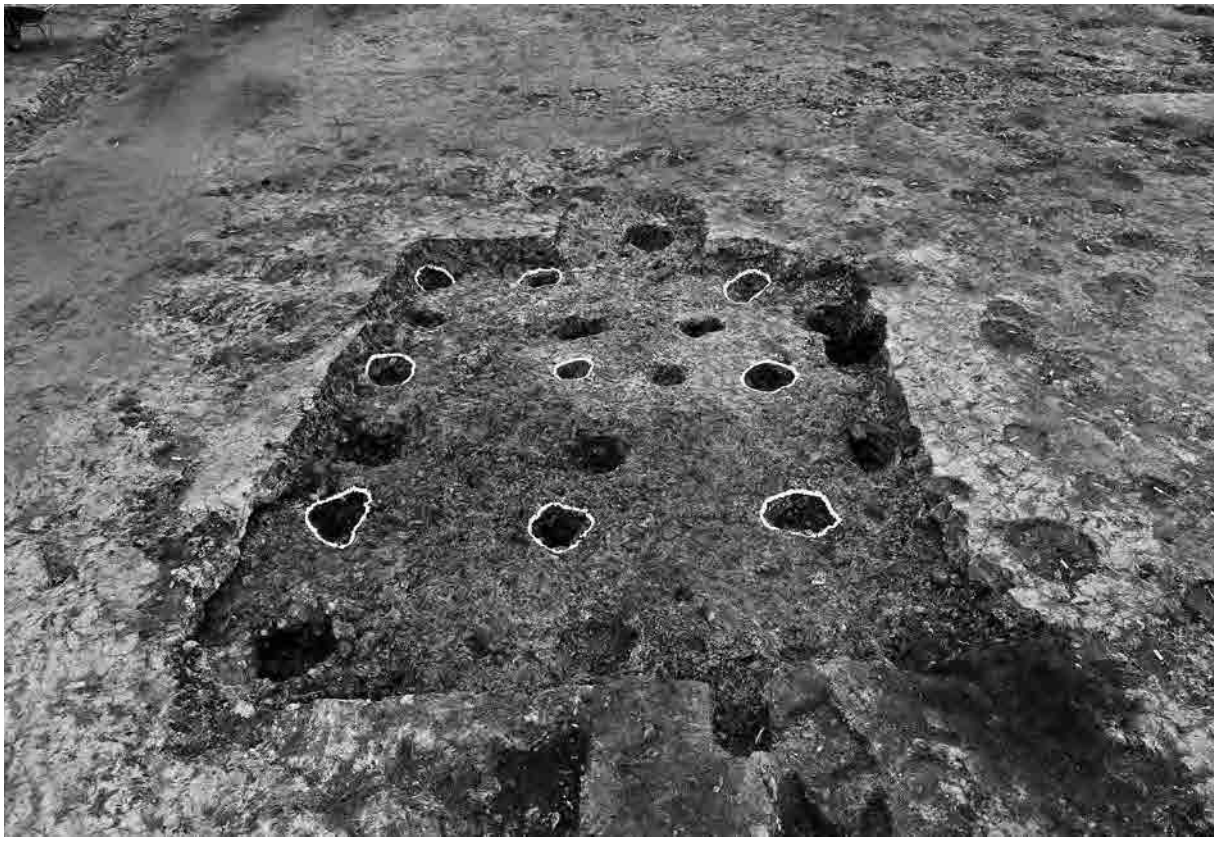
SI1　A–A’ ベルト断面

SI1　B–B’ ベルト断面

写真図版 9　SI1



SI2　完掘（全体）



SI2　完掘（旧期）

写真図版 10　SI2（1）

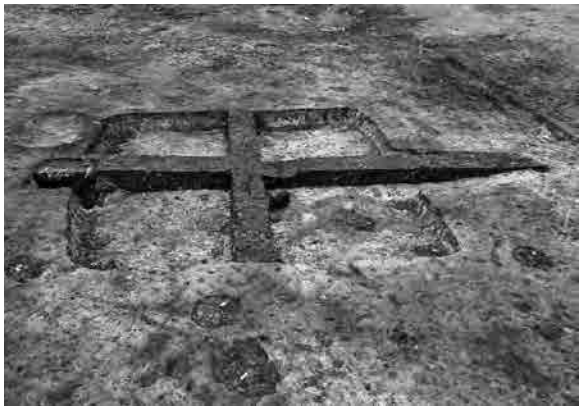
SI2　完掘（新期）

SI2　A–A’ ベルト断面

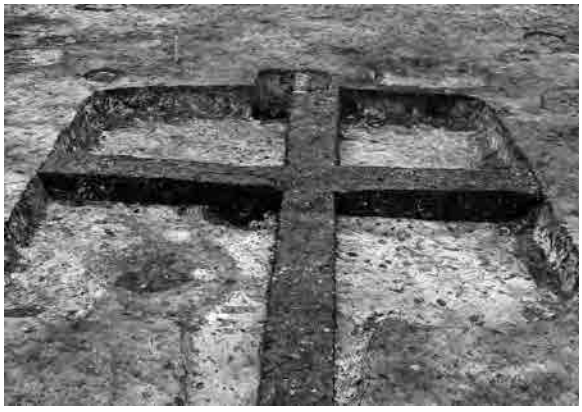
SI2　B–B’ ベルト断面

写真図版 11　SI2（2）

SI3　完掘

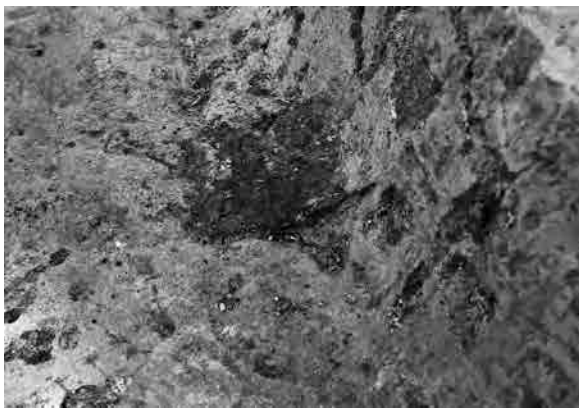


SI3　A-A' ベルト断面



SI3　B-B' ベルト断面

SI3　床面遺構検出



SI3　周溝（H-H'）断面

写真図版 12　SI3（1）

P3735（SI3 内）断面

P3736（SI3 内）断面

P3737（SI3 内）断面

P3738（SI3 内）断面

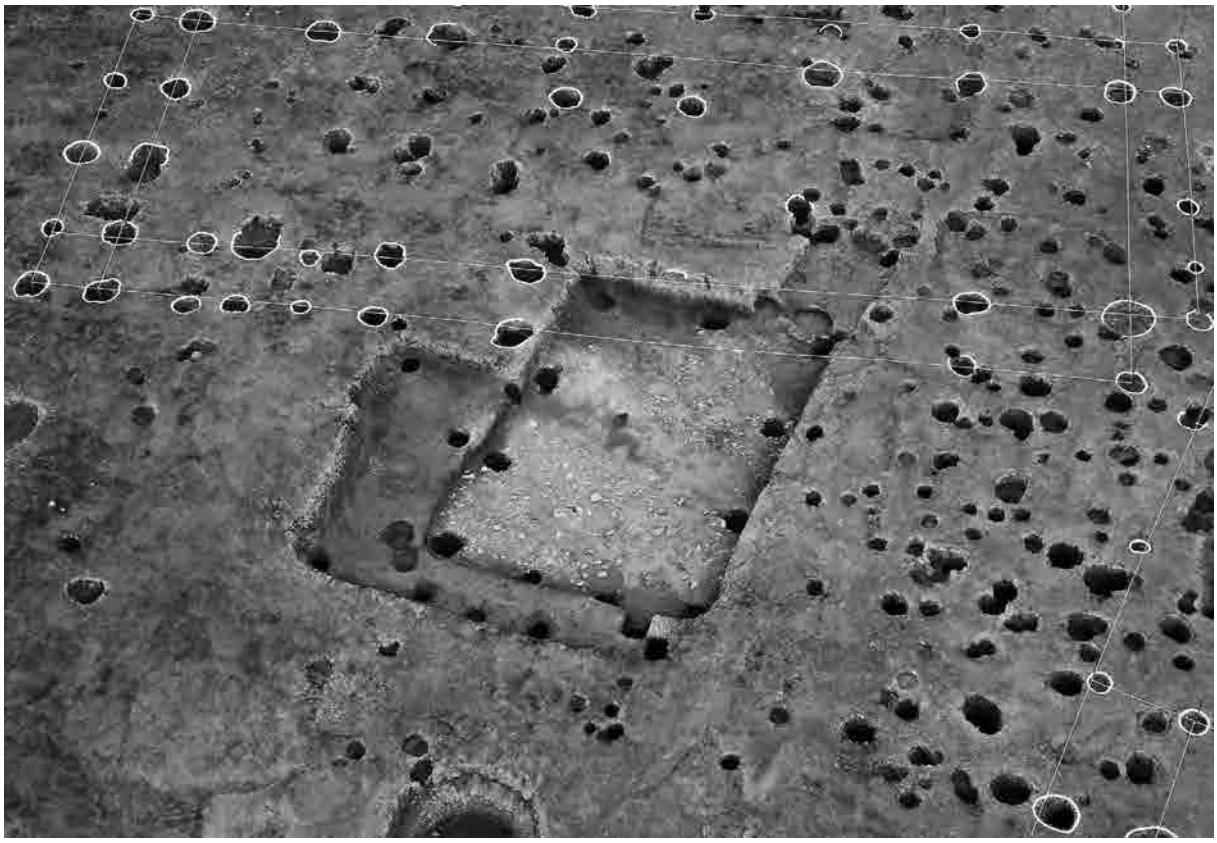
P3739（SI3 内）断面

P3740（SI3 内）断面

P3741（SI3 内）断面

P3742（SI3 内）断面

写真図版 13　SI3（2）



SI4･5　完掘

SI4　張出し部断面（東西）

SI4　完掘

SI4　完掘

SI5　完掘

写真図版 14　SI4・5

SI6　完掘

SI6　周溝（南辺）断面

SI6　周溝（北辺）断面

P1794（SI6 内）断面

P1796（SI6 内）断面

写真図版 15　SI6（1）

P1791（SI6 内）断面

P1792（SI6 内）断面

P1793（SI6 内）断面

P1832（SI6 内）断面

SI7　A-A' ベルト断面

写真図版 16　SI6（2）・7（1）

SI7　完掘

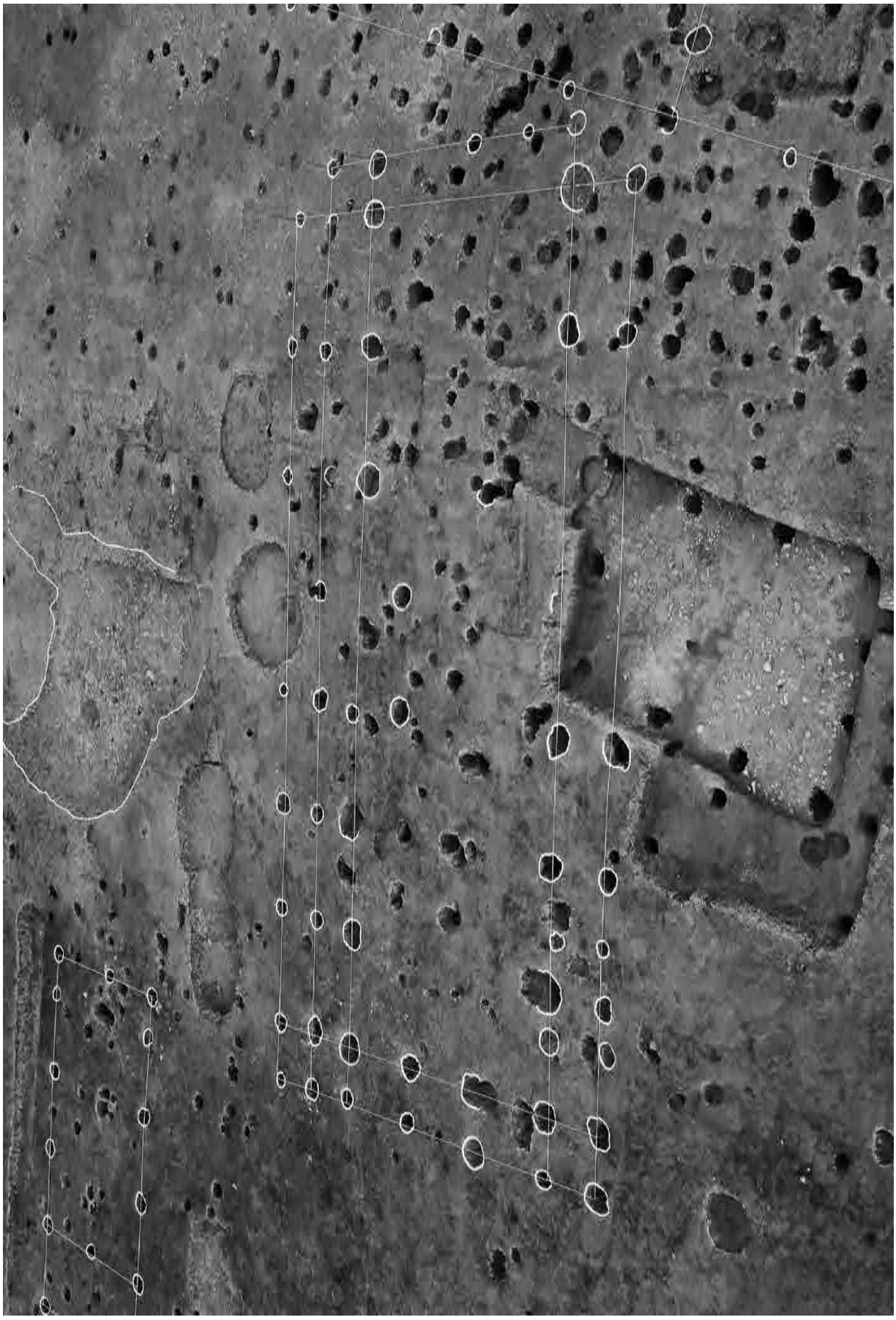
P1365（SI7 内）断面

P1379（SI7 内）断面

P1371（SI7 内）断面

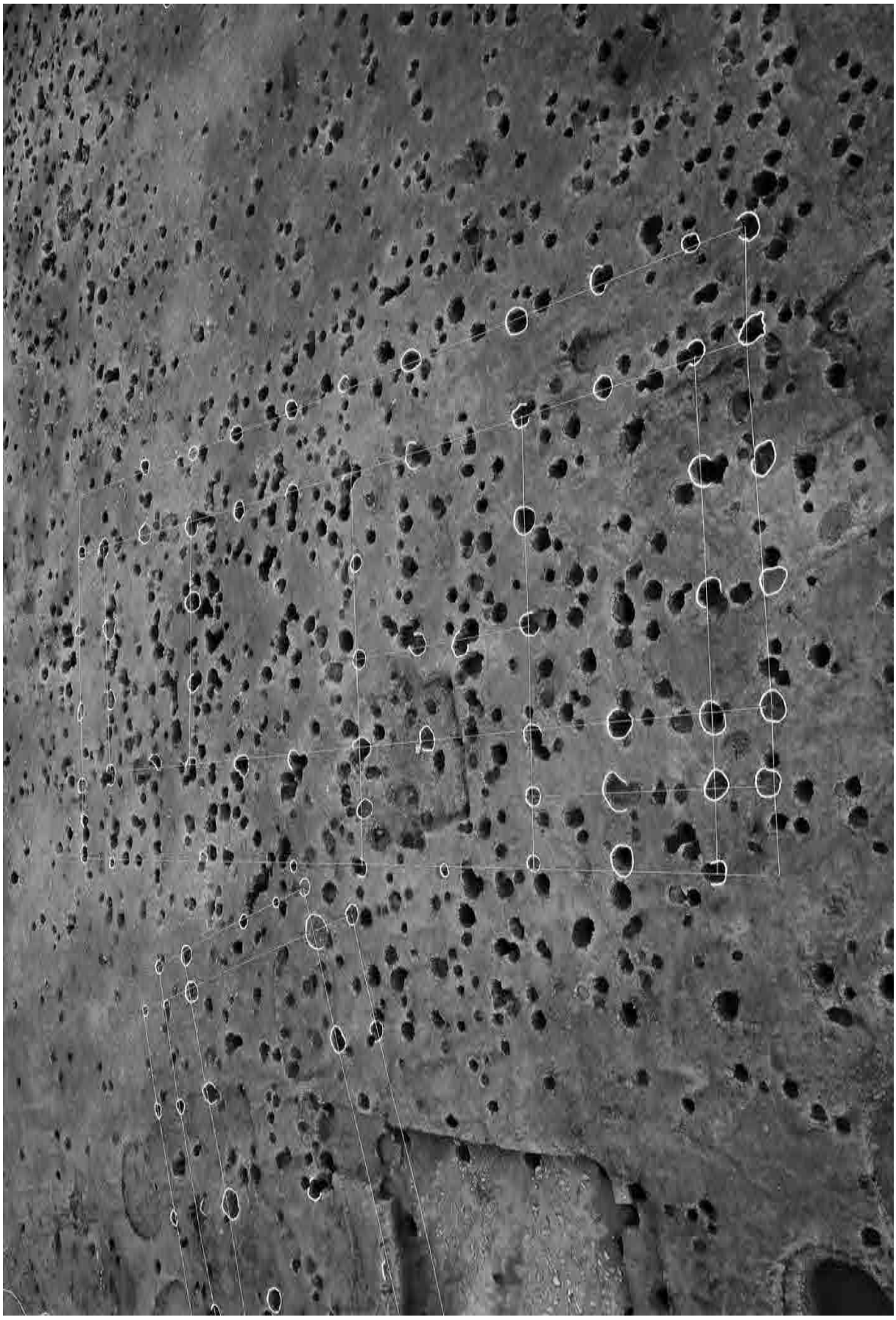
SI8　完掘

写真図版 17　SI7（2）・8



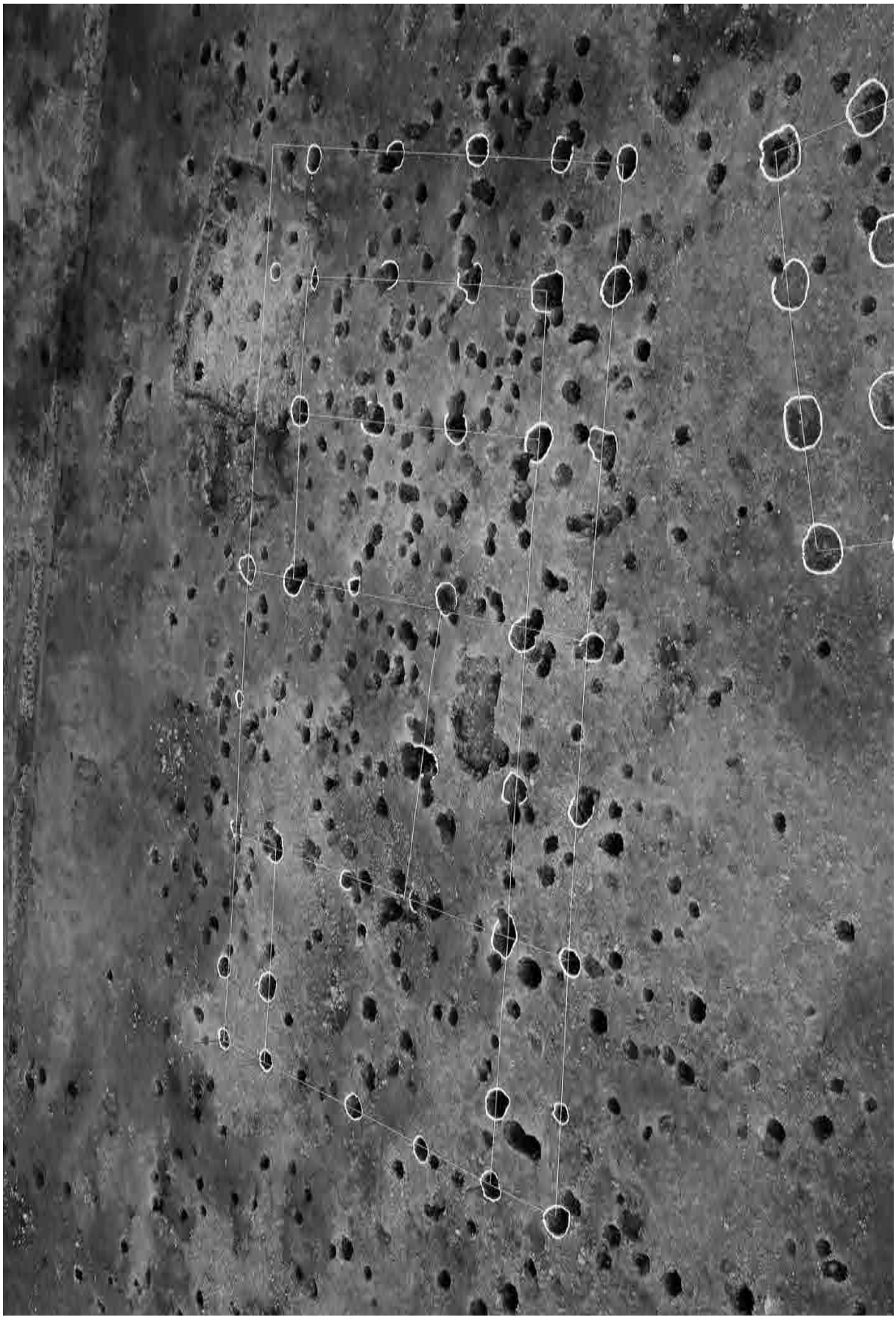
SB1　完掘

写真図版 18　SB1



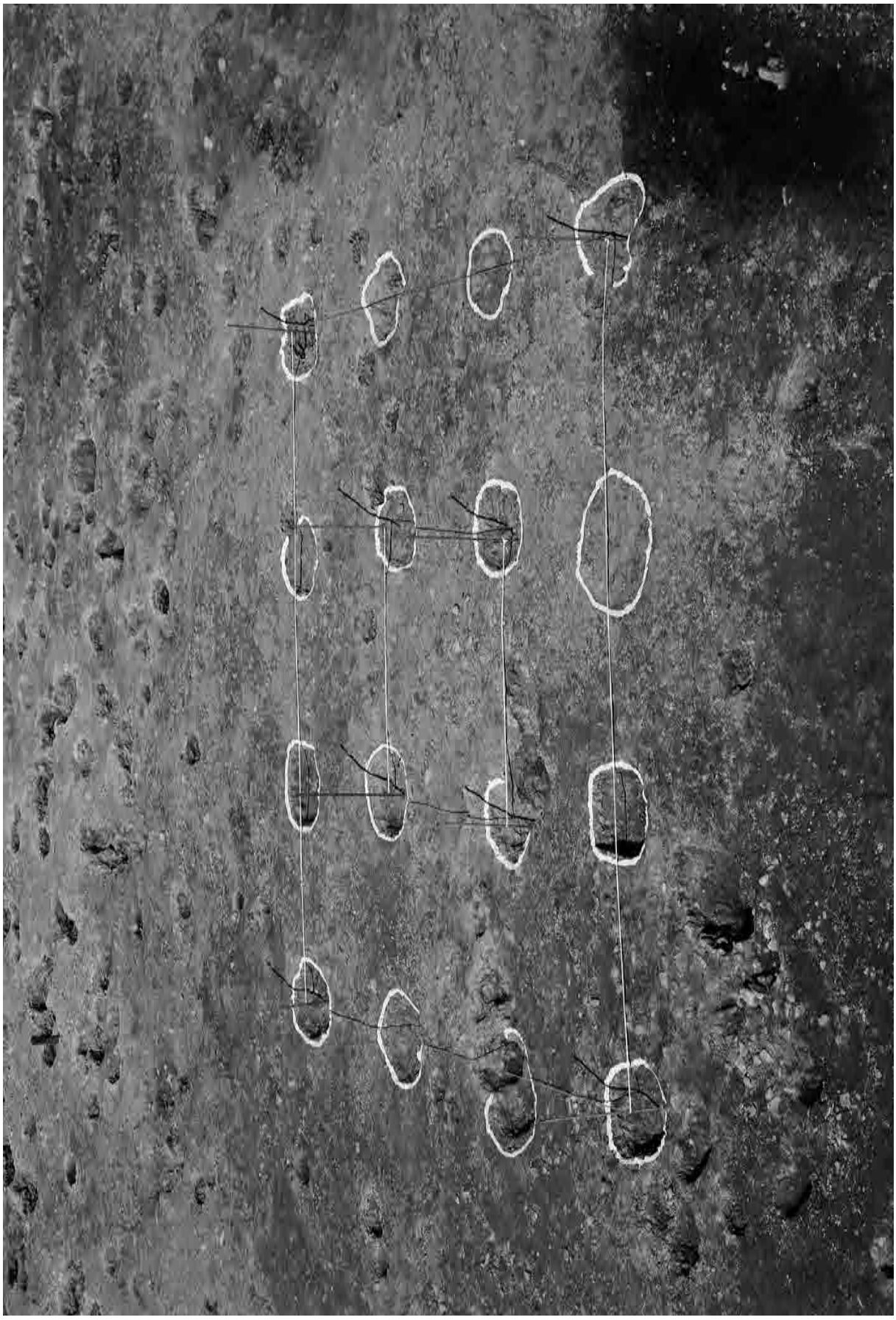
SB2　完掘

写真図版 19　SB2



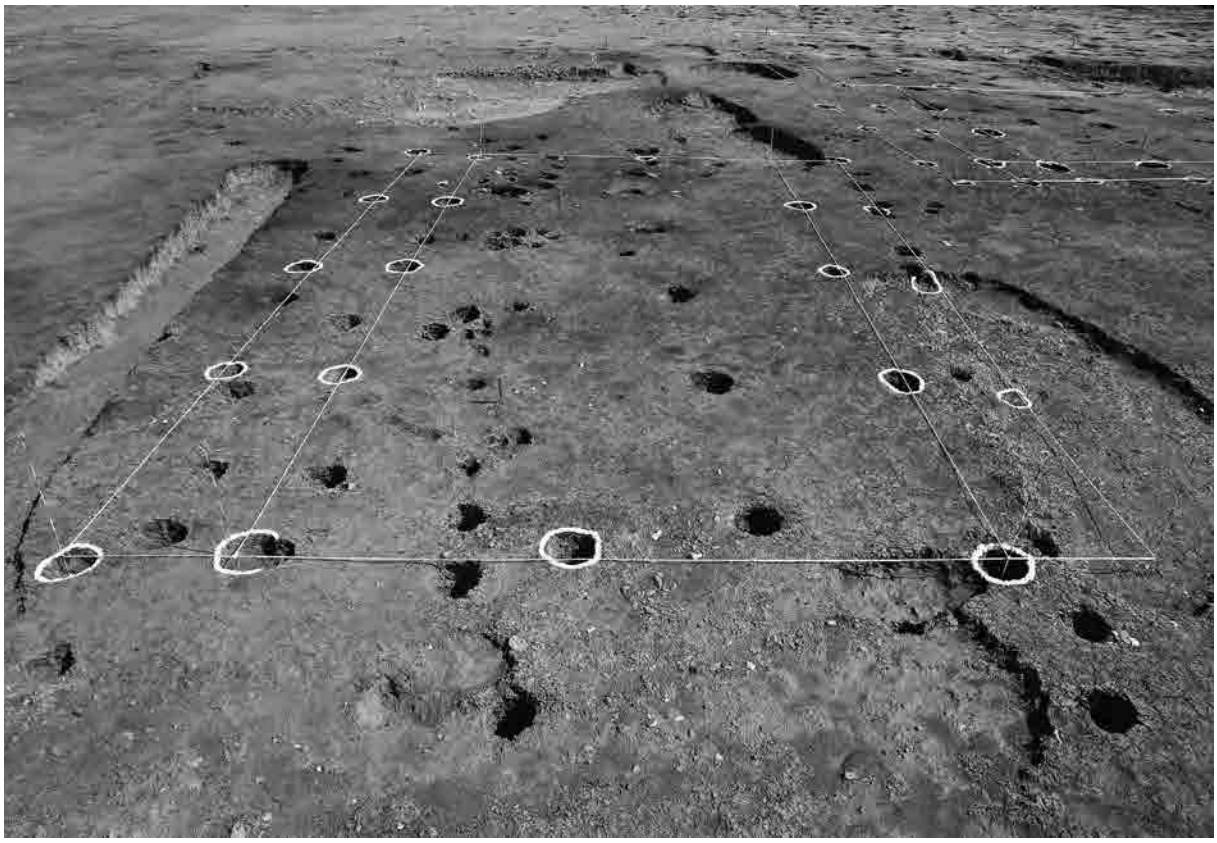
SB3　完掘

写真図版 20　SB3

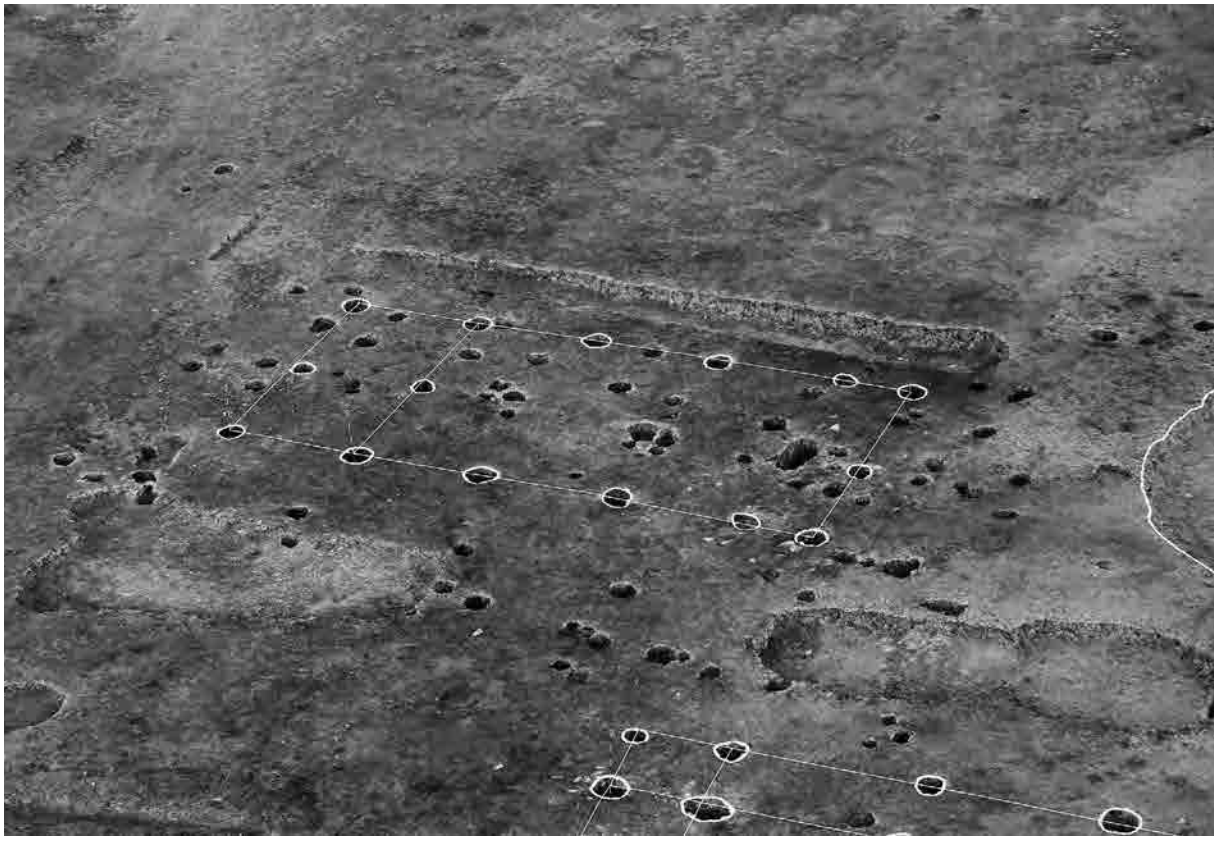


SB4　完掘

写真図版 21　SB4

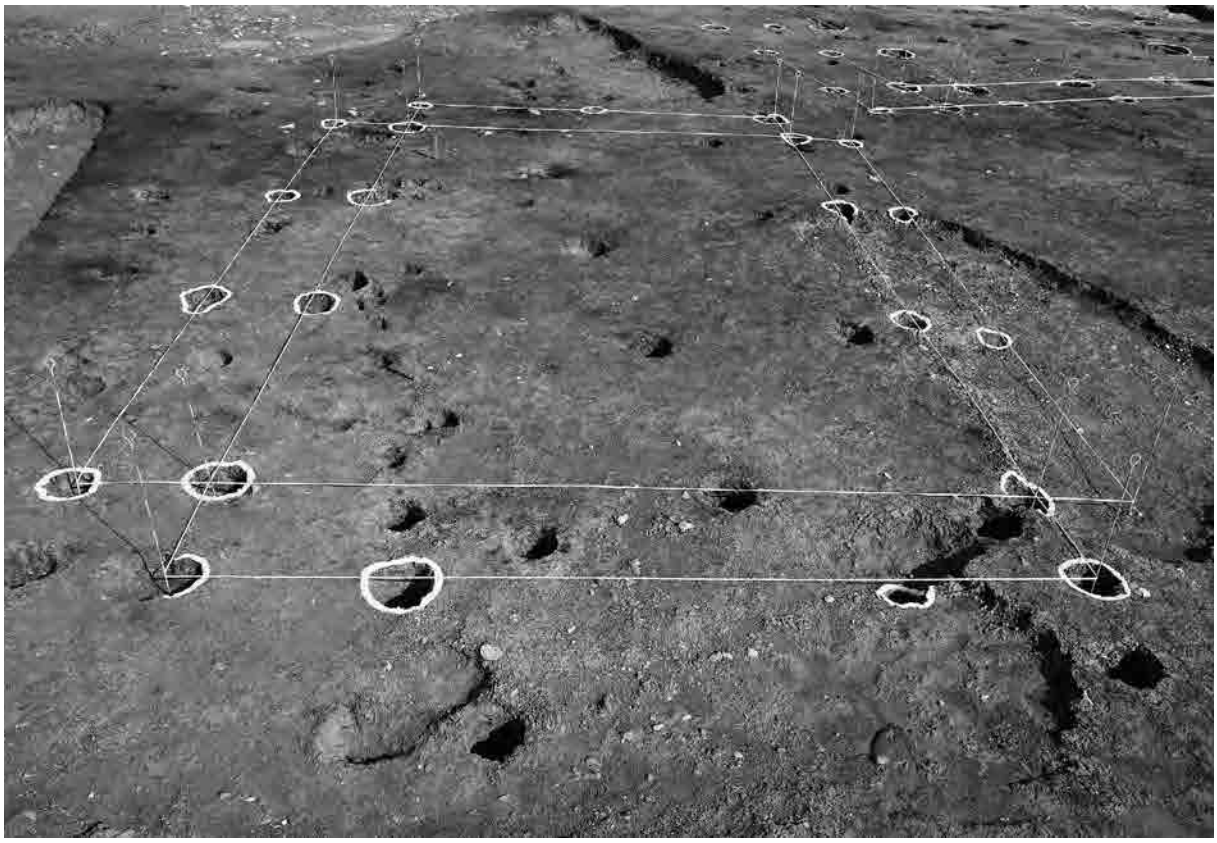


SB5　完掘

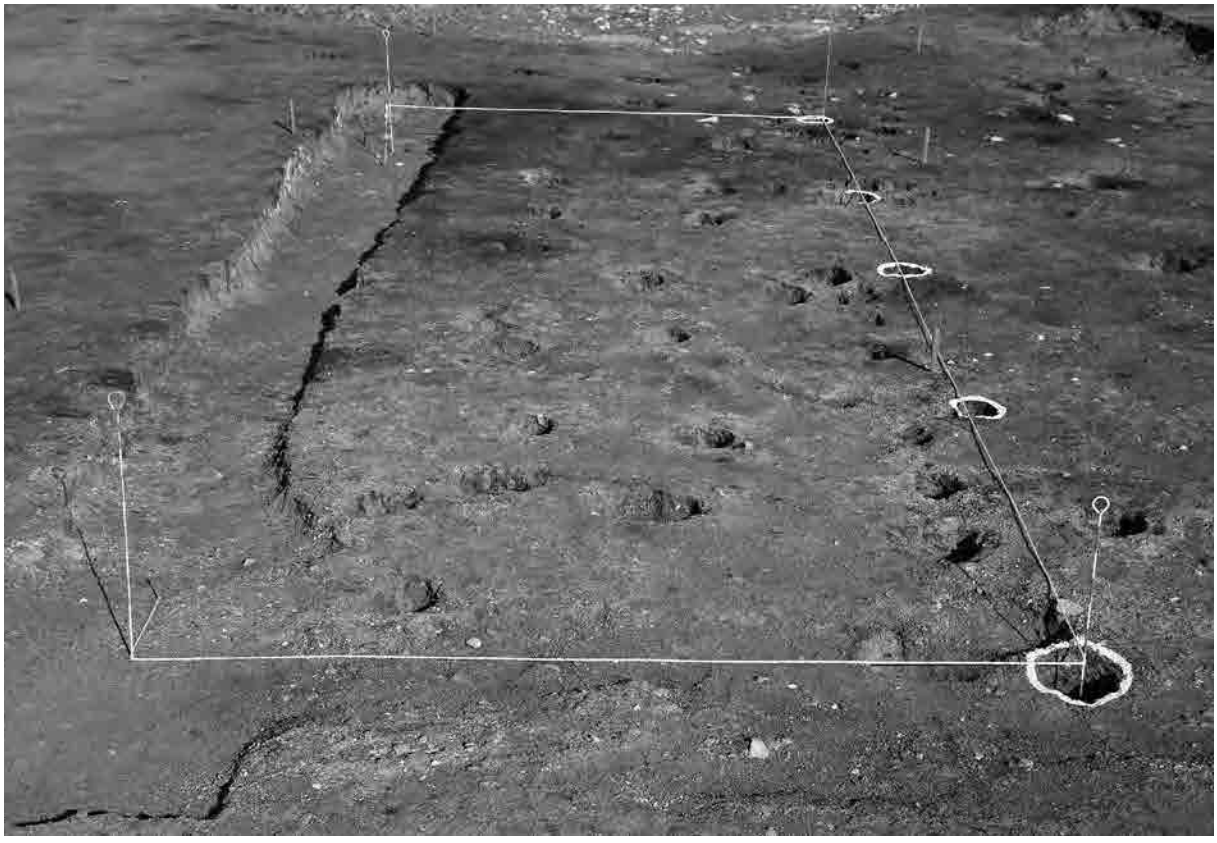


SB6　完掘

写真図版 22　SB5・6

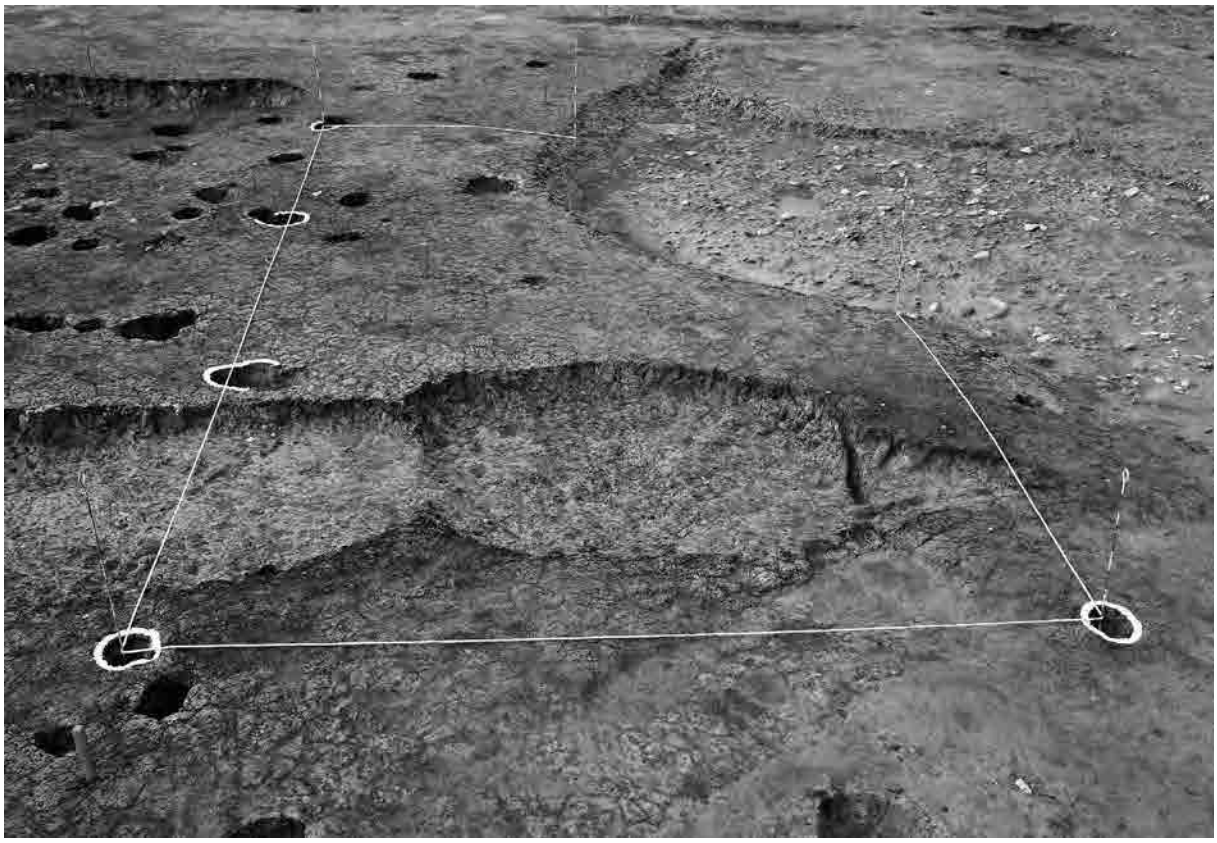


SB7　完掘

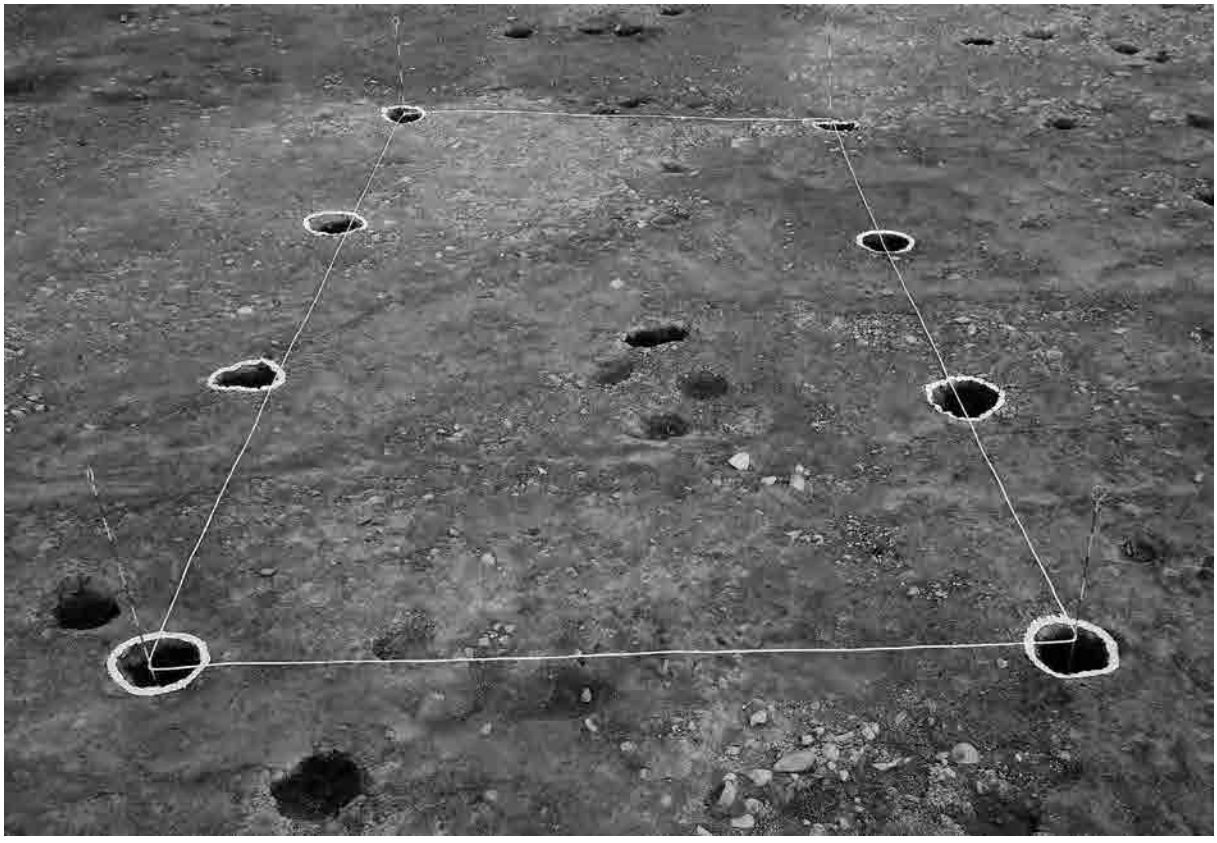


SB8　完掘

写真図版 23　SB7・8



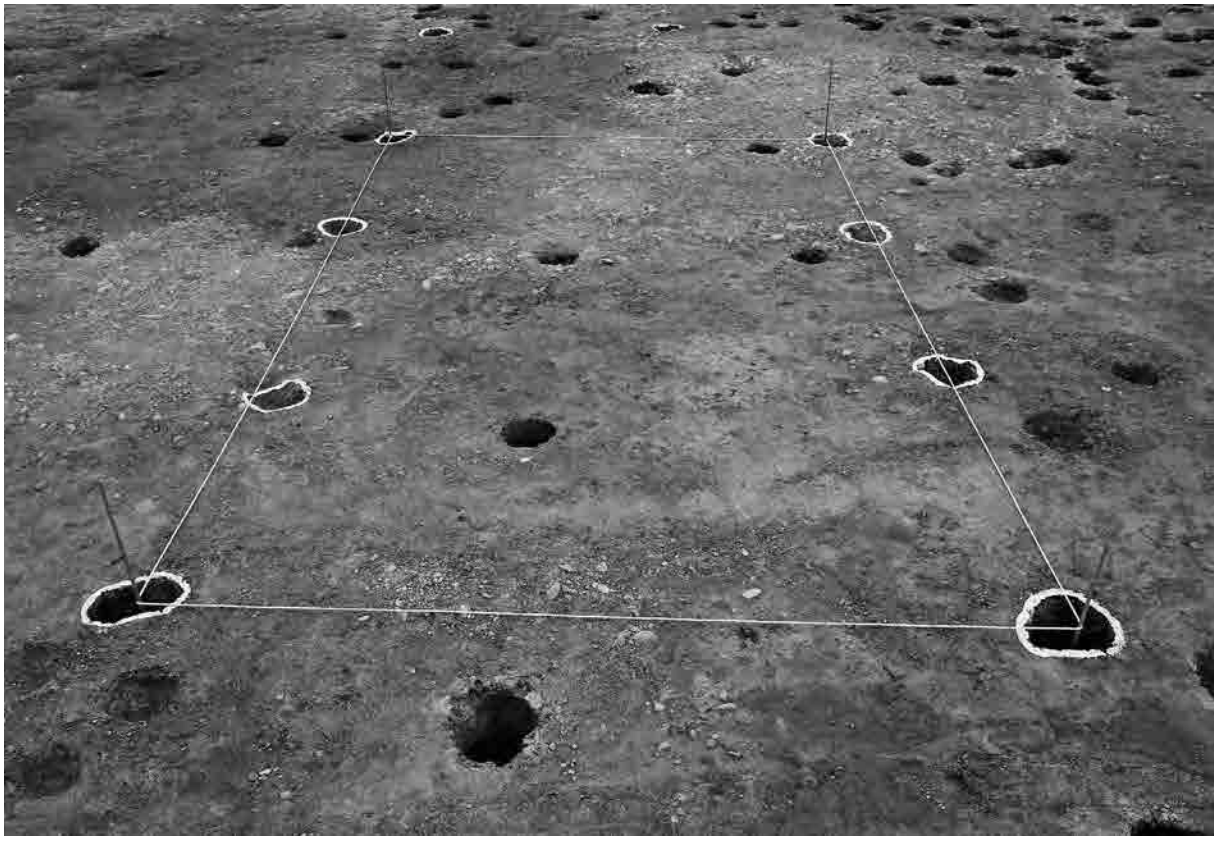
SB9　完掘



SB10　完掘

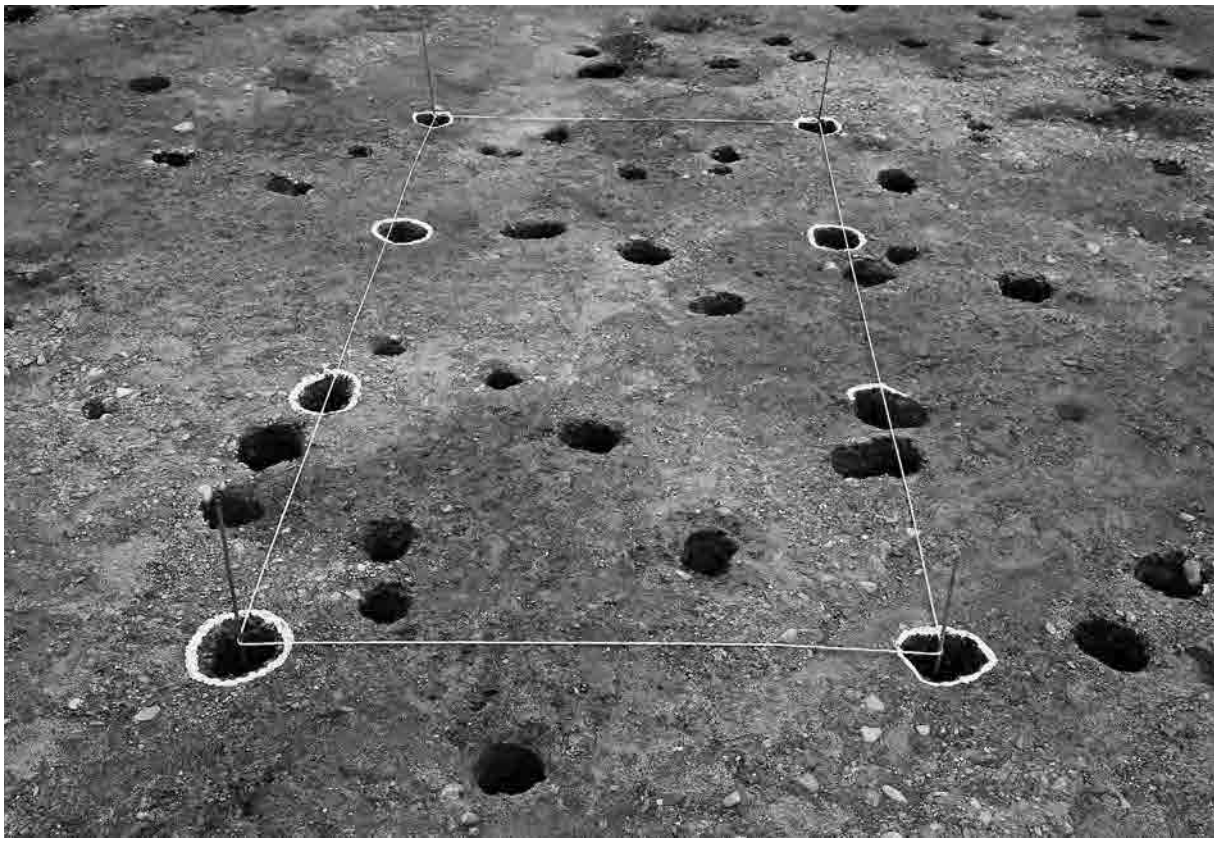
写真図版 24　SB9・10

SB11　完掘



SB12　完掘

写真図版 25　SB11・12



SB13　完掘

SB14　完掘

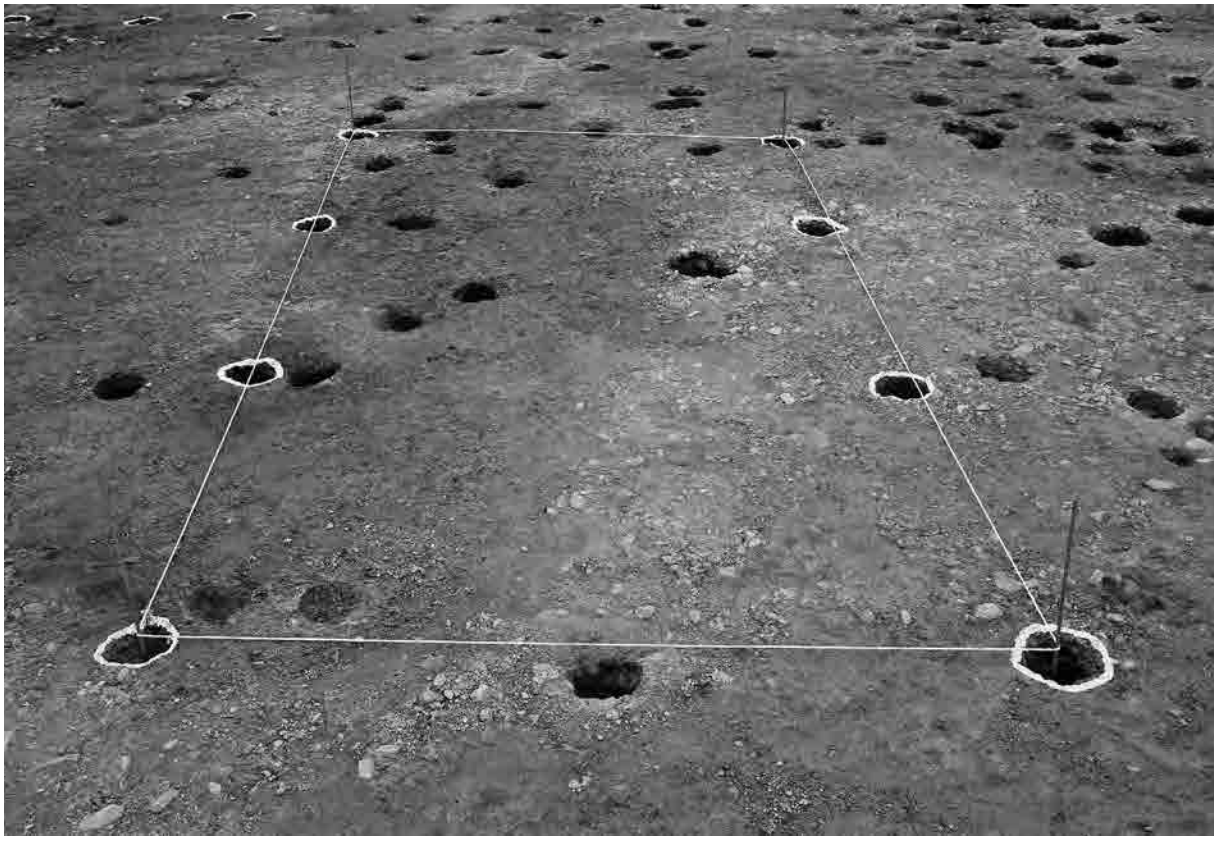
写真図版 26　SB13・14

SB15　完掘

SB16　完掘

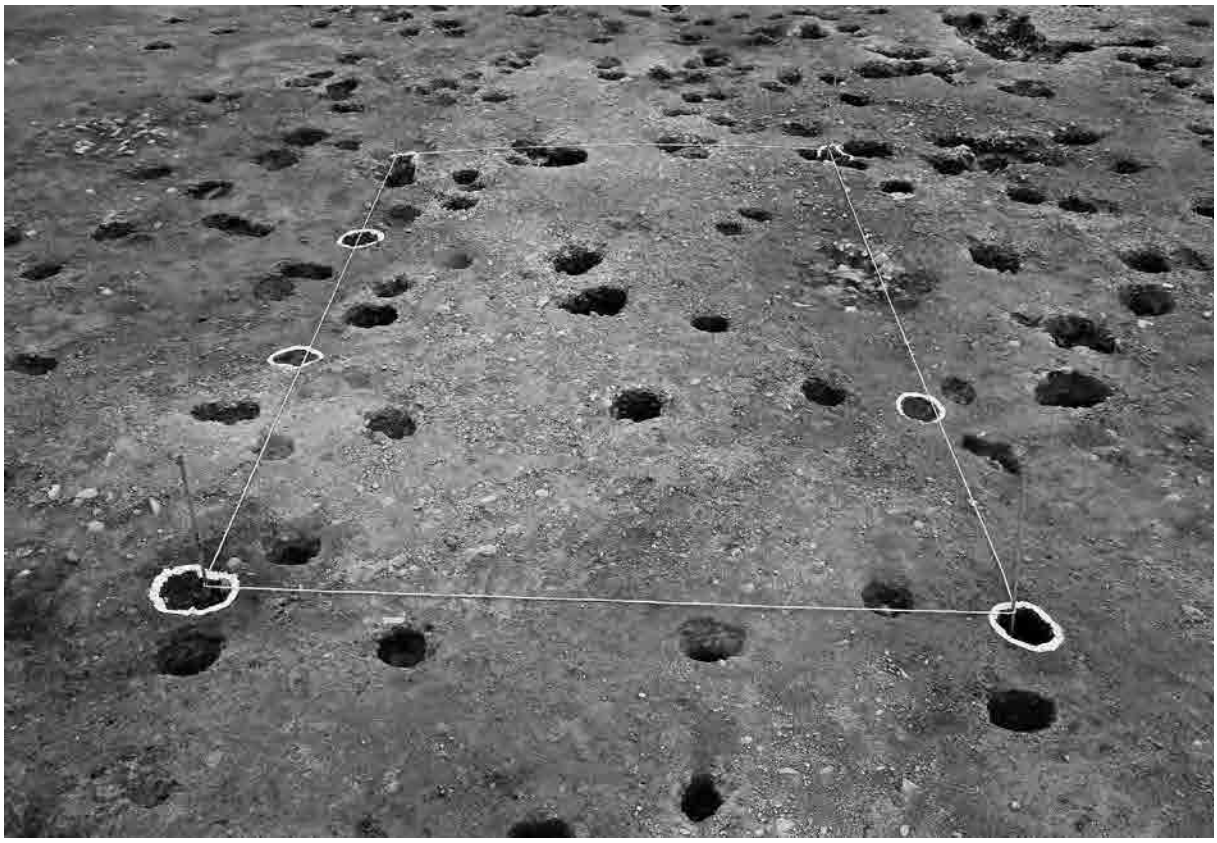
写真図版 27　SB15・16

SB17　完掘

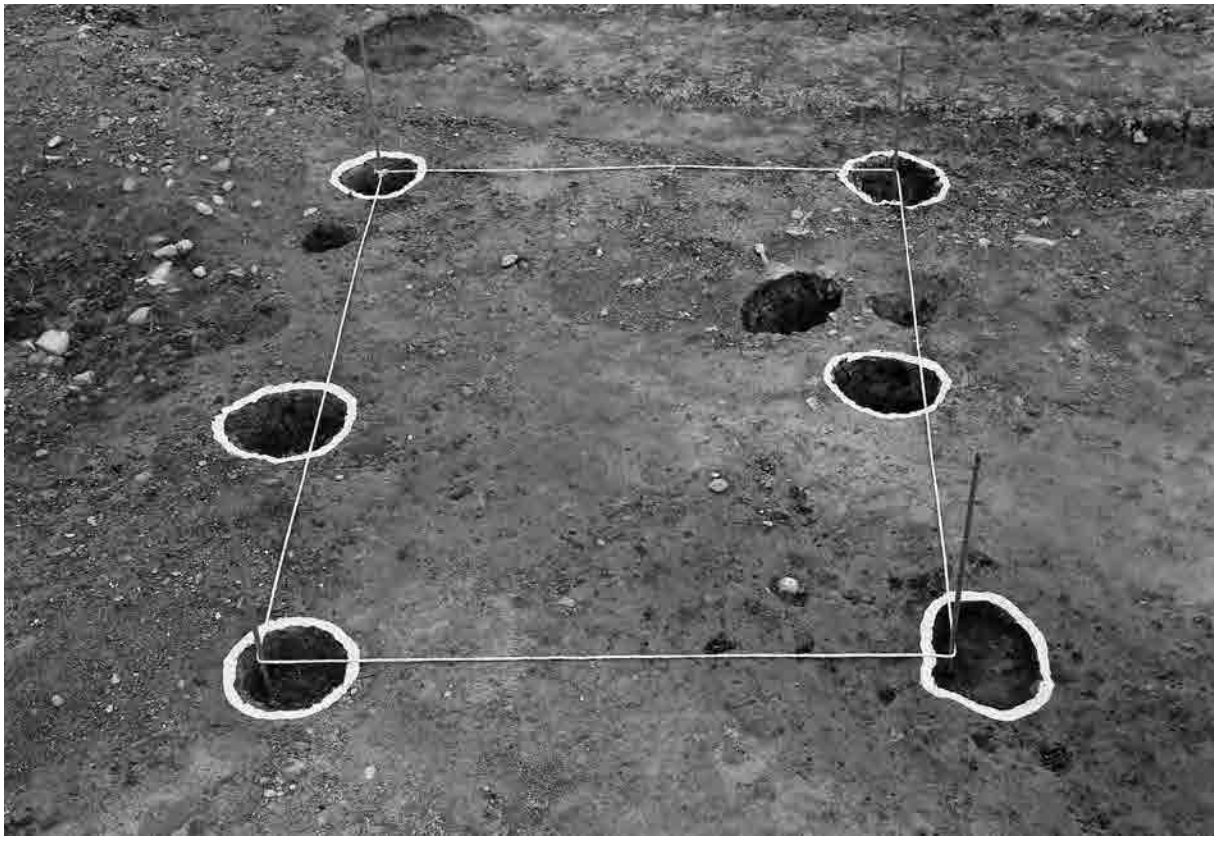


SB18　完掘

写真図版 28　SB17・18

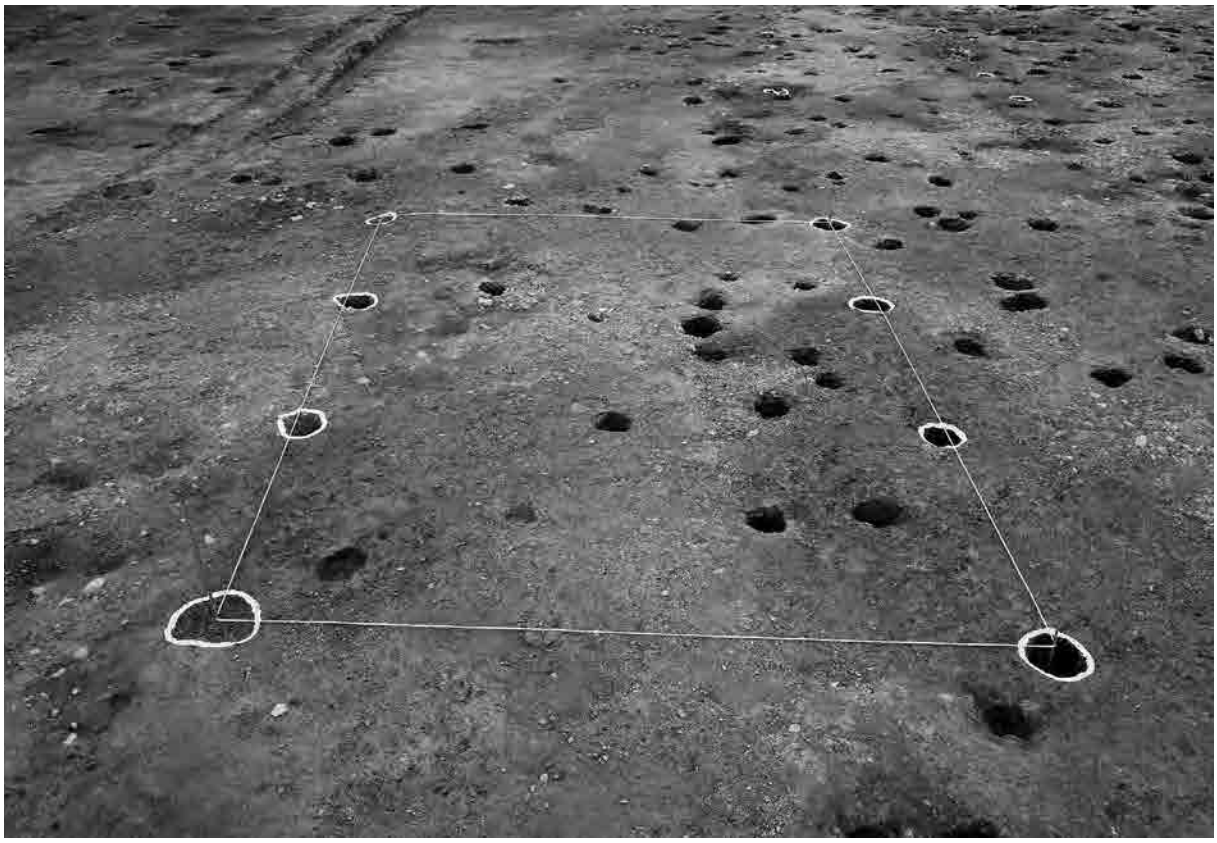


SB19　完掘



SB20　完掘

写真図版 29　SB19・20



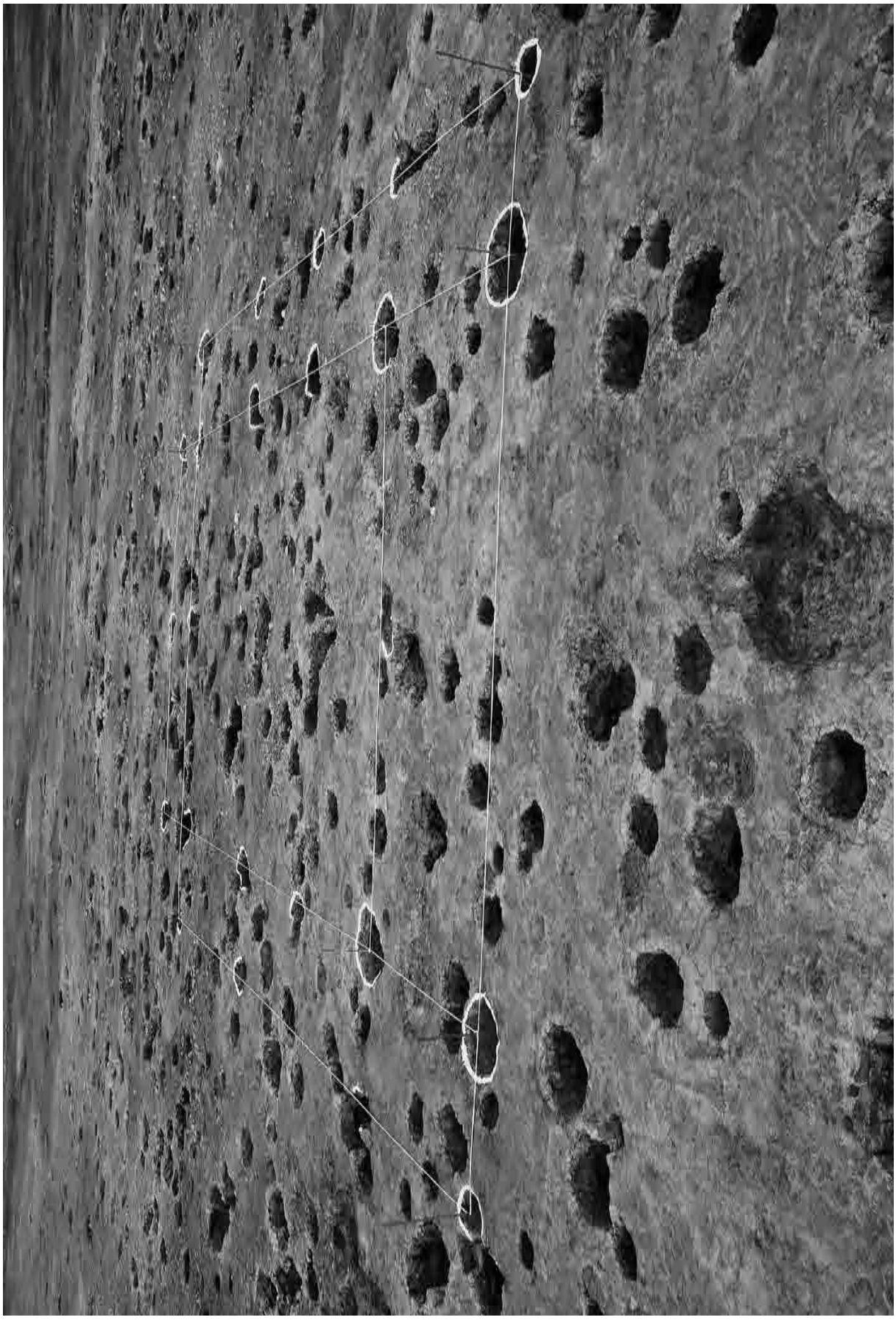
SB21　完掘

SB24　完掘

写真図版 30　SB21・24

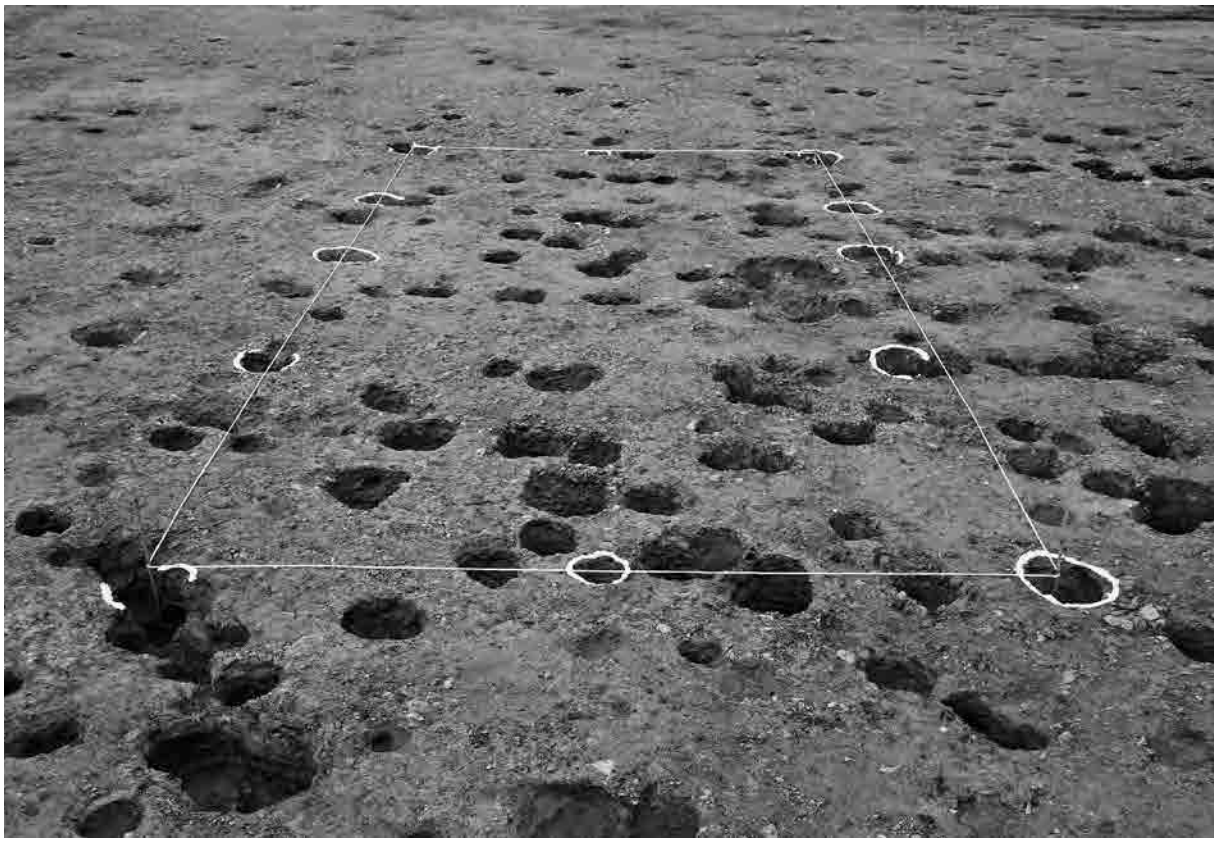
SB22　完掘

写真図版 31　SB22



SB23　完掘

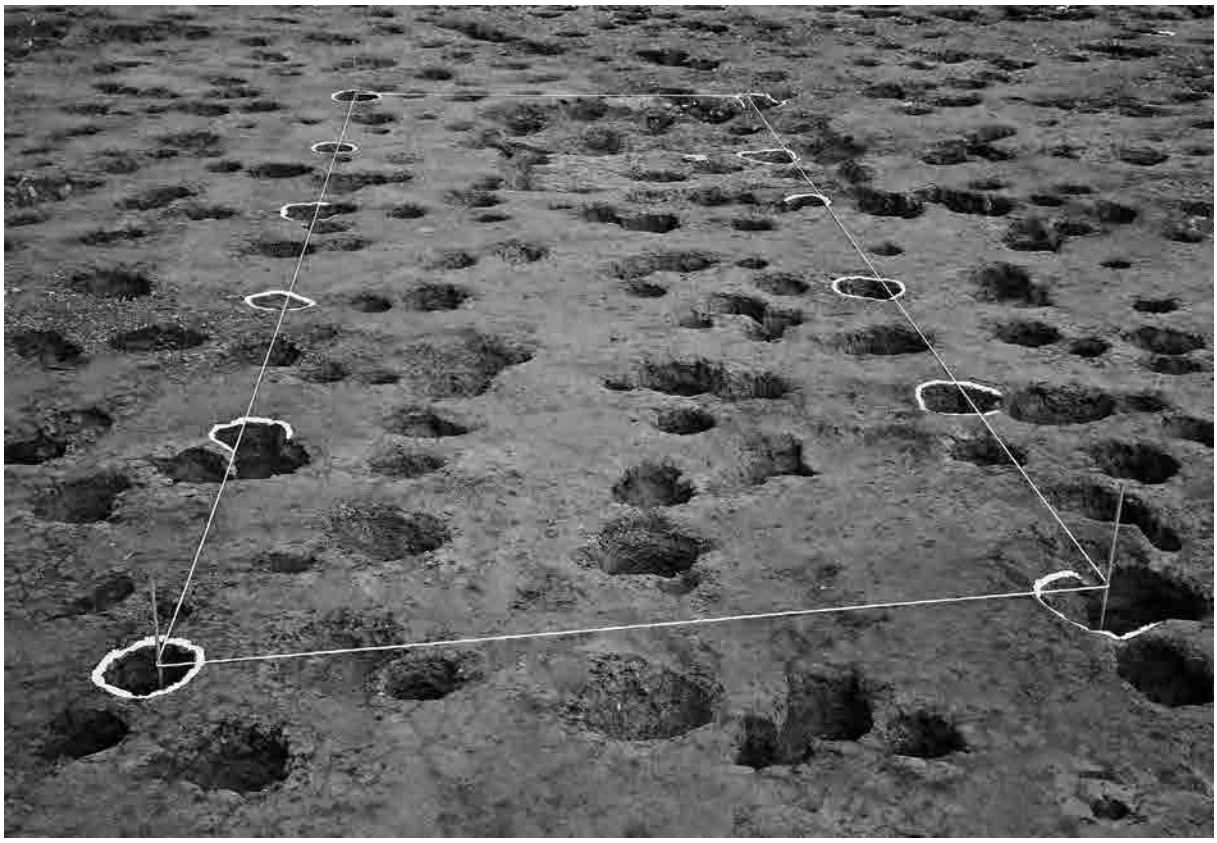
写真図版 32　SB23



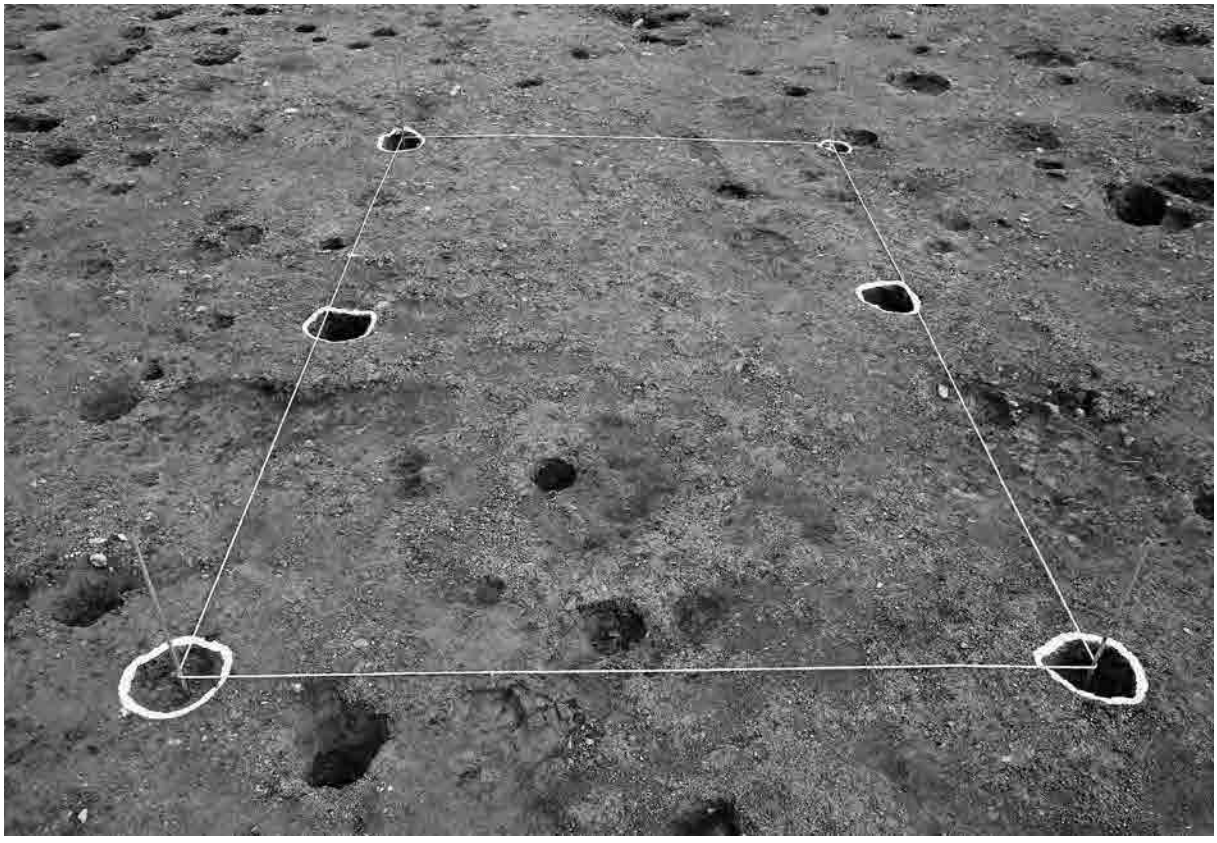
SB25　完掘

SB26　完掘

写真図版 33　SB25・26

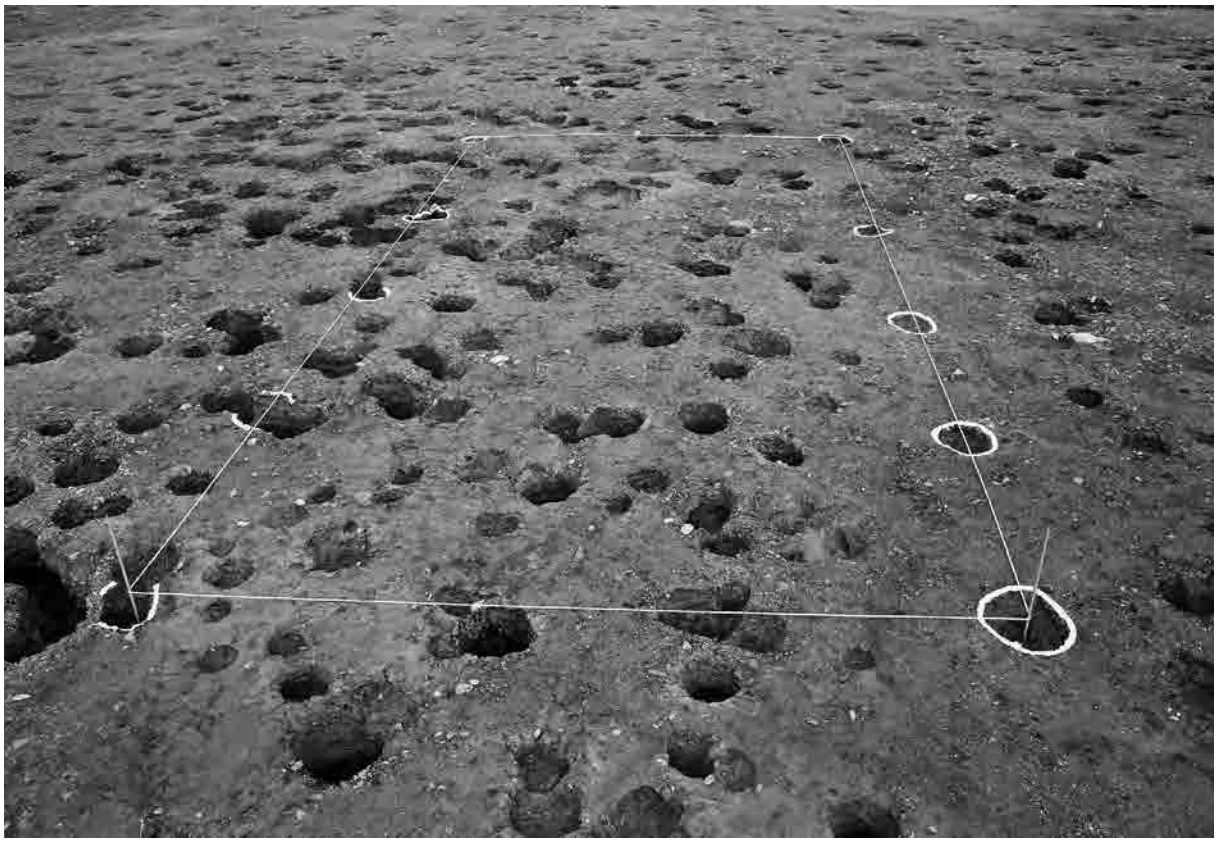


SB27　完掘

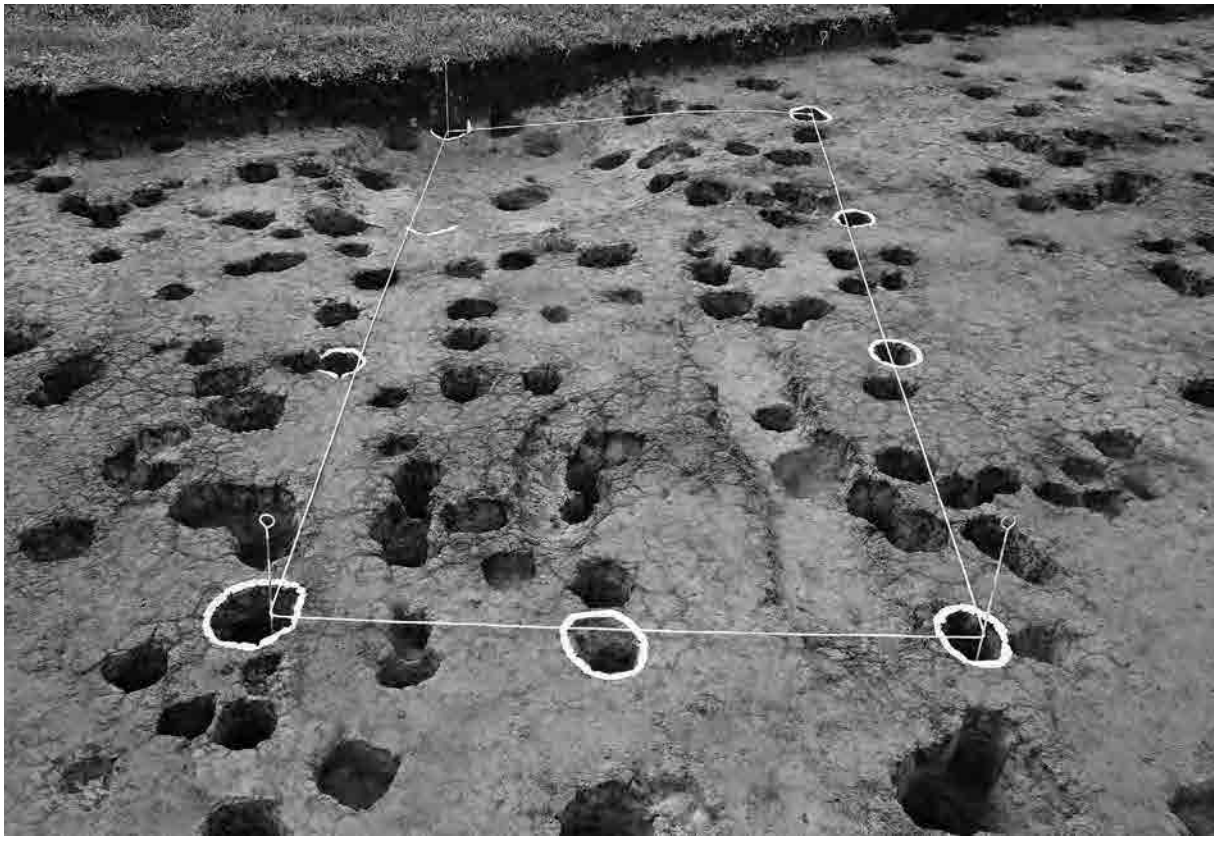


SB28　完掘

写真図版 34　SB27・28



SB29　完掘



SB30　完掘

写真図版 35　SB29・30（1）

P3848（SB30 内）青磁碗（210）出土

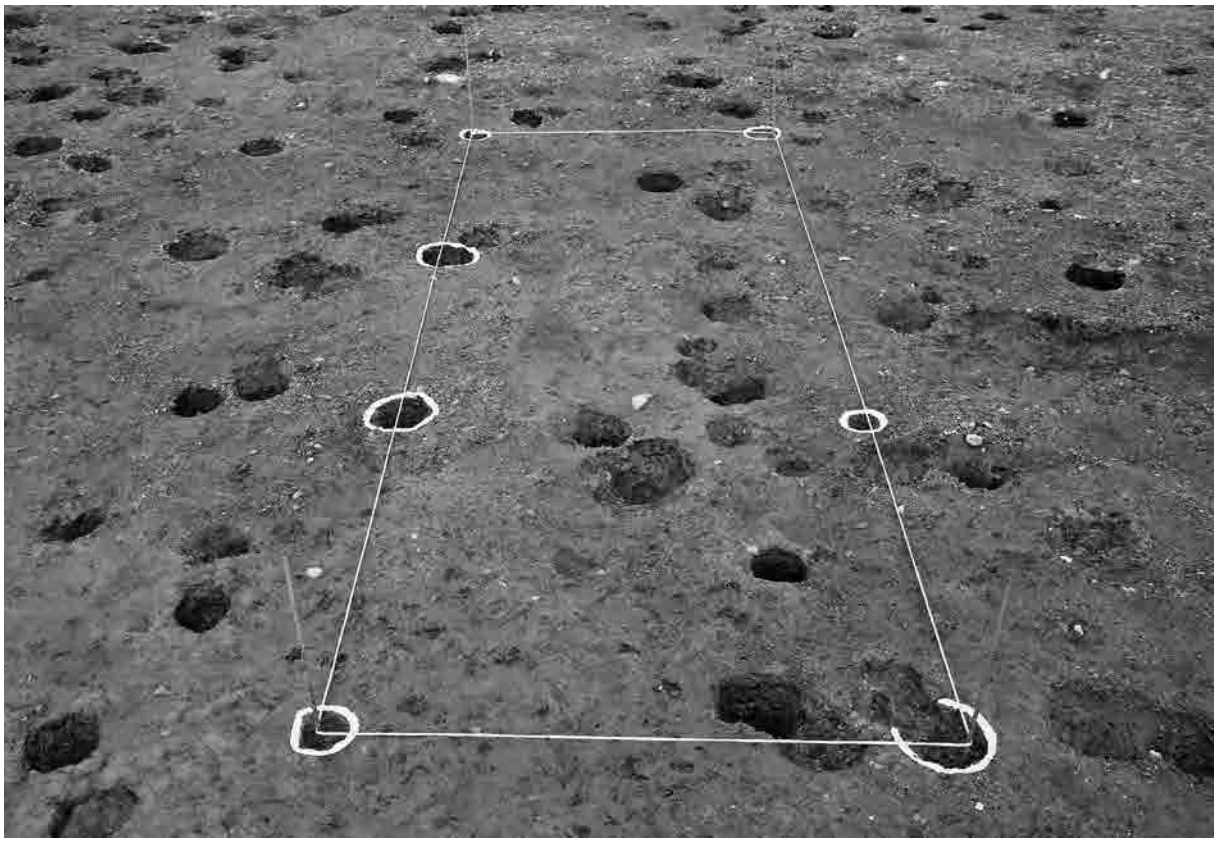
P3848（SB30 内）青磁碗（210）出土　アップ

写真図版 36　SB30（2）

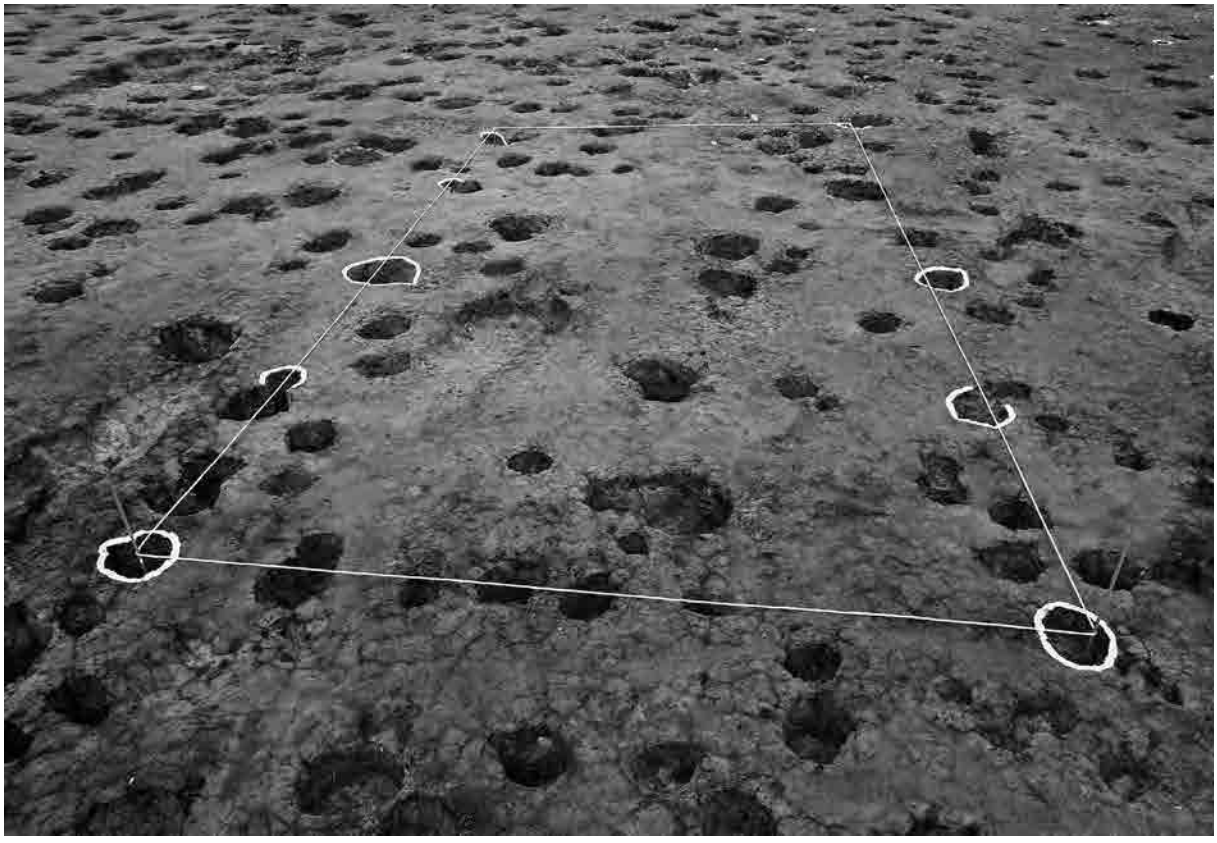
SB31　完掘

SB32　完掘

写真図版 37　SB31・32

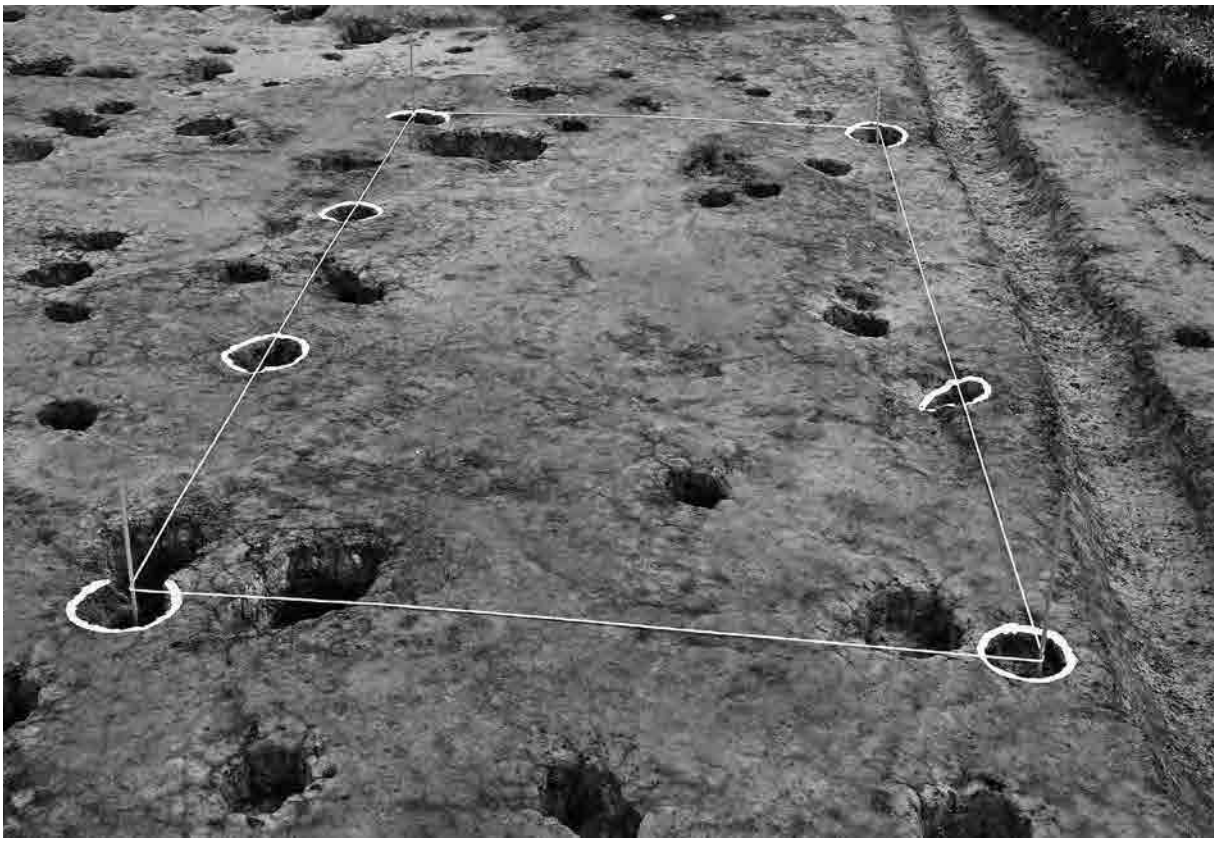


SB33　完掘



SB34　完掘

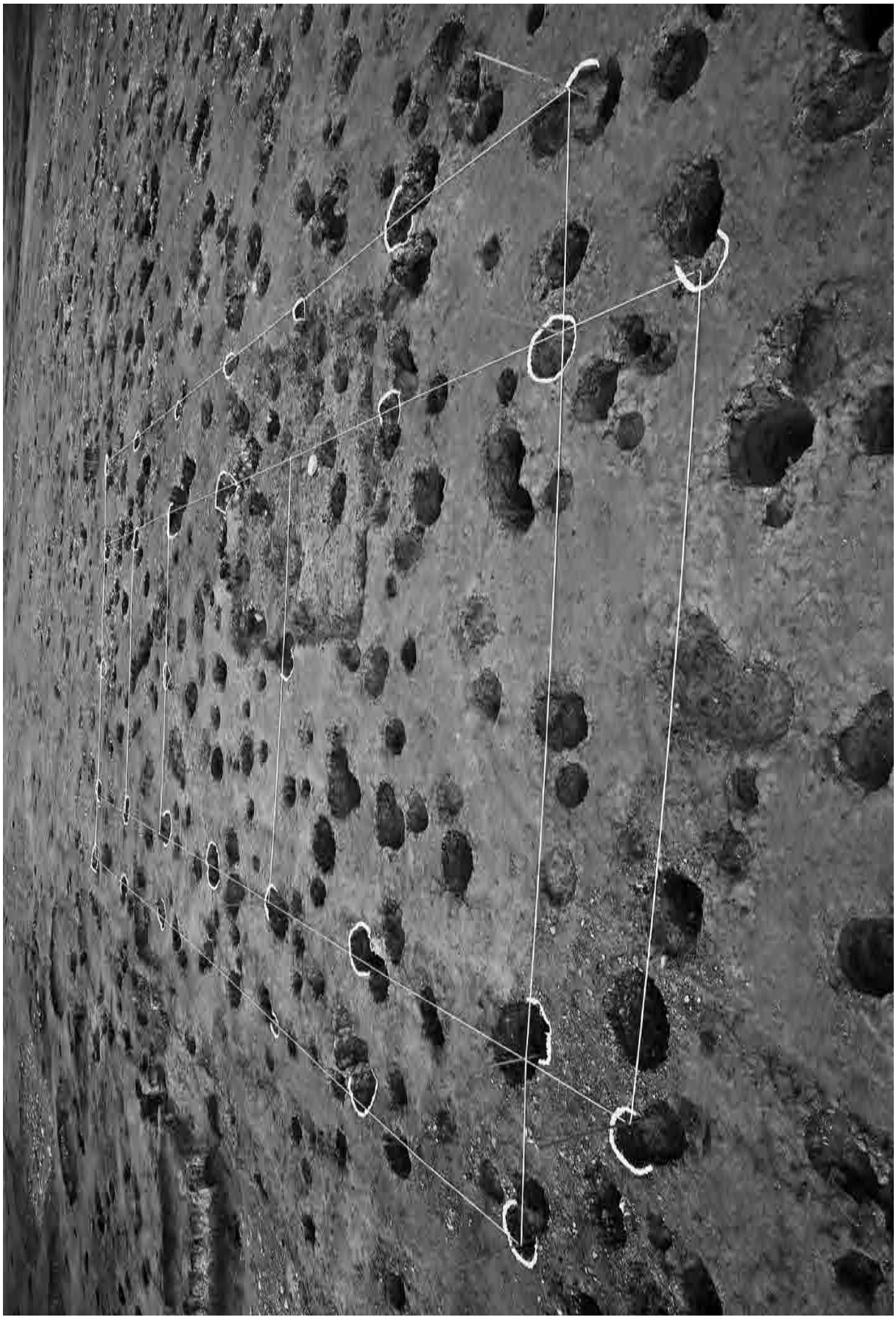
写真図版 38　SB33・34



SB35　完掘

SB36　完掘

写真図版 39　SB35・36



SB37　完掘

写真図版 40　SB37

SB38　完掘

SB39　完掘

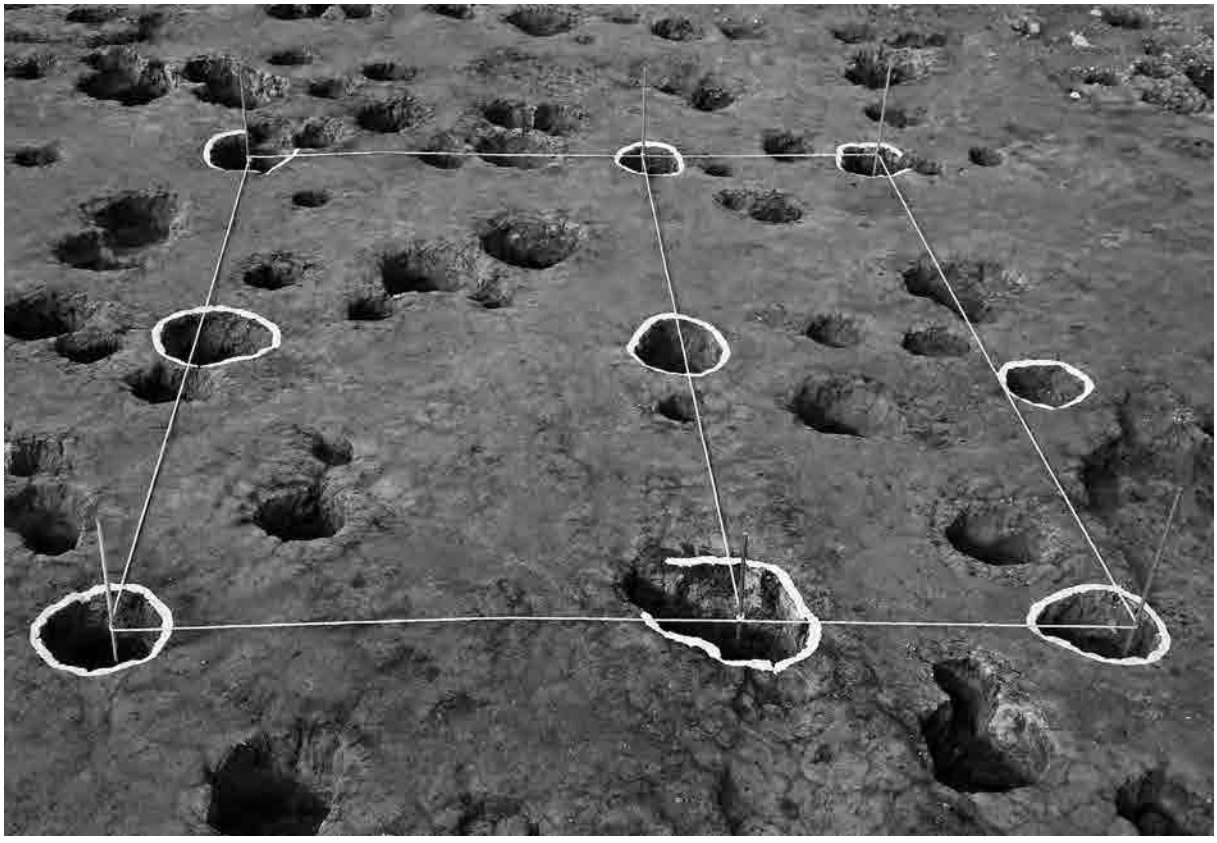
写真図版 41　SB38・39

SB40　完掘

SB41　完掘

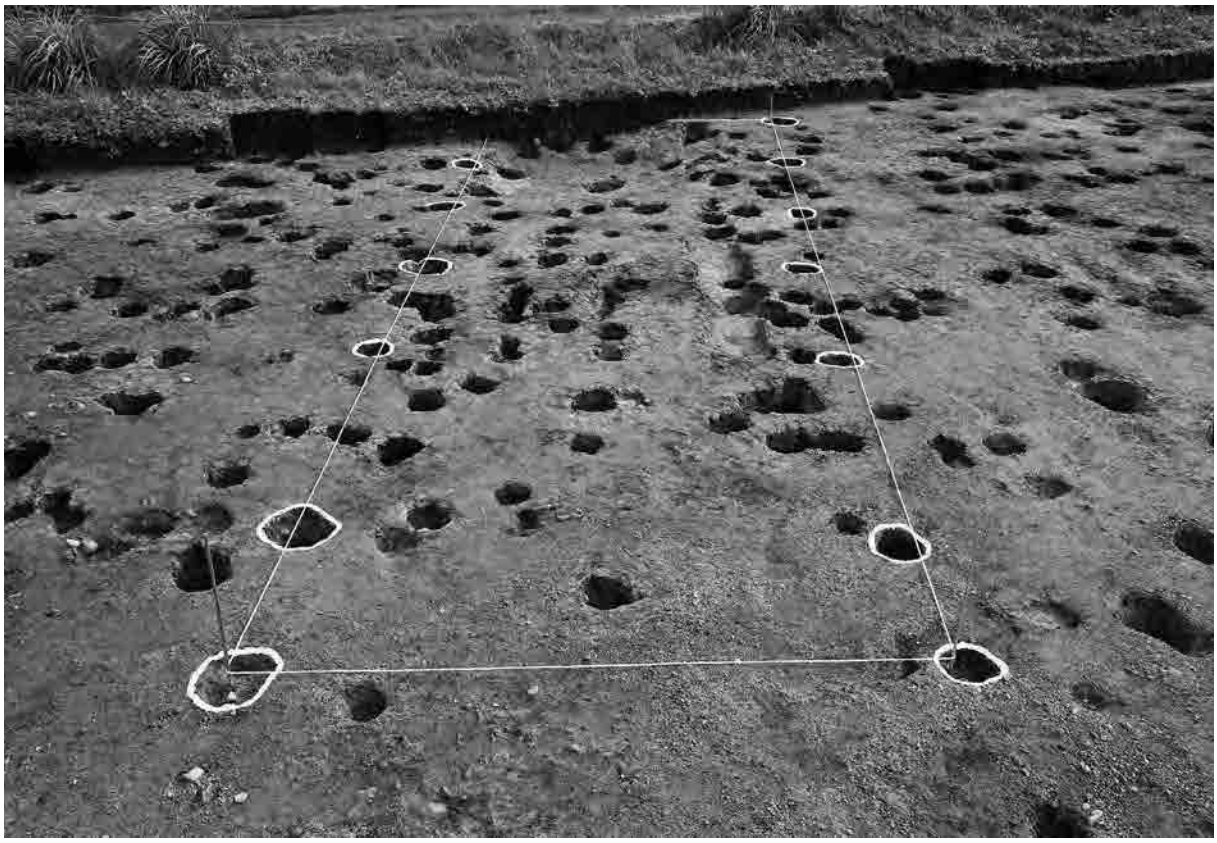
写真図版 42　SB40・41

SB42　完掘

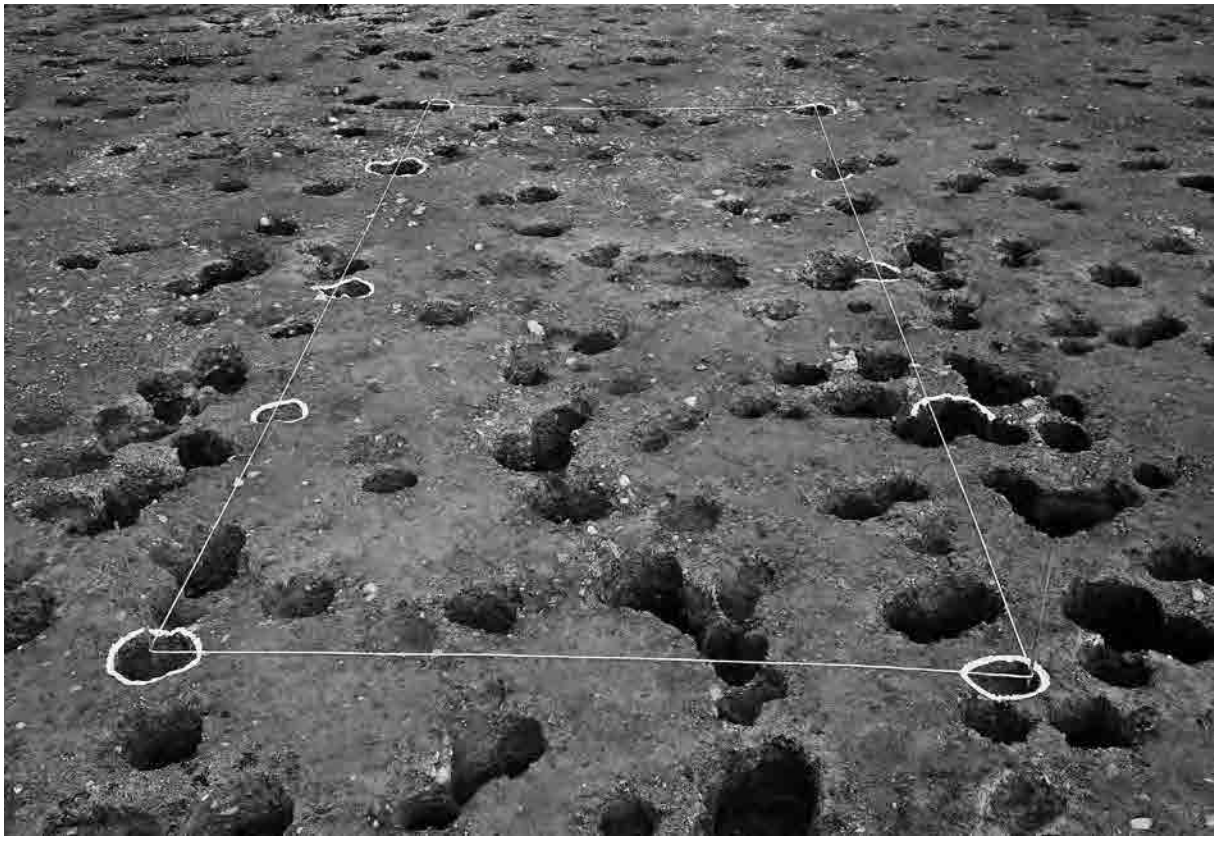


SB43　完掘

写真図版 43　SB42・43



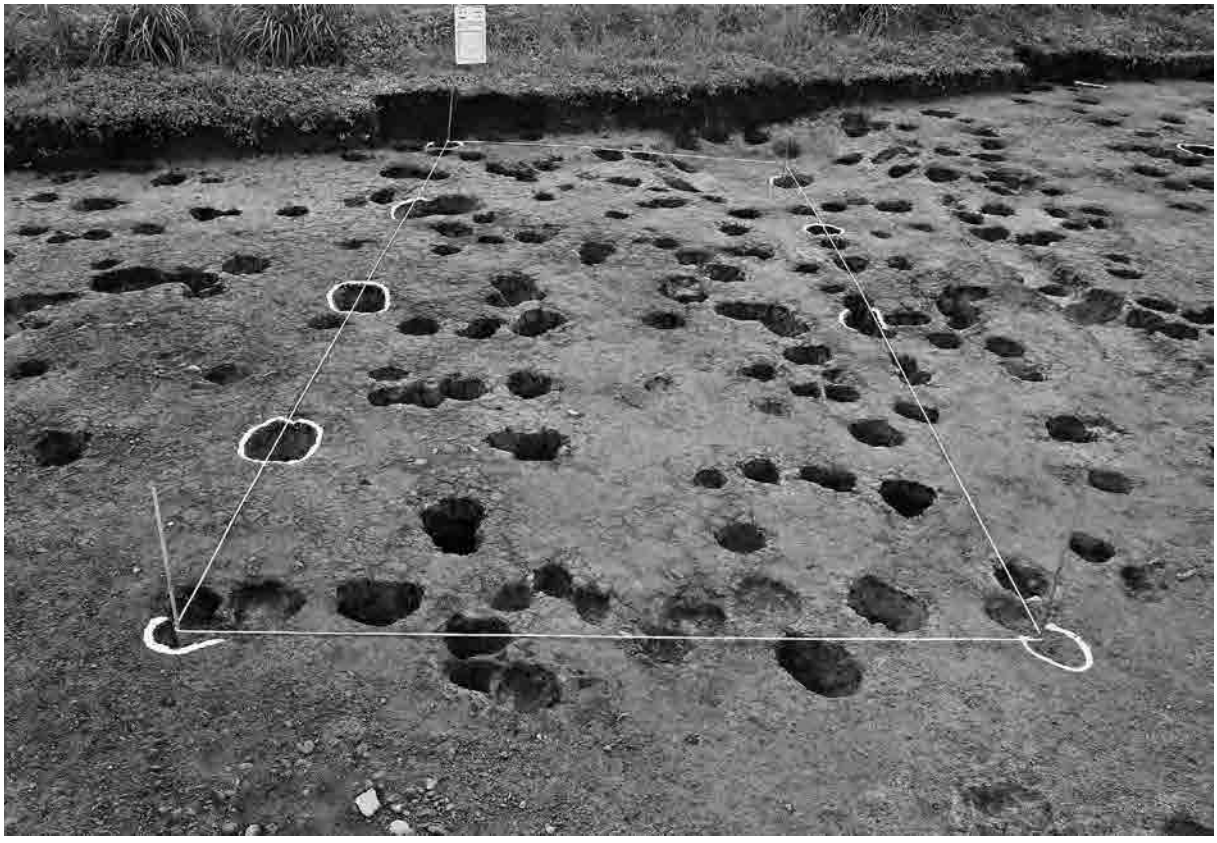
SB44　完掘



SB45　完掘

写真図版 44　SB44・45

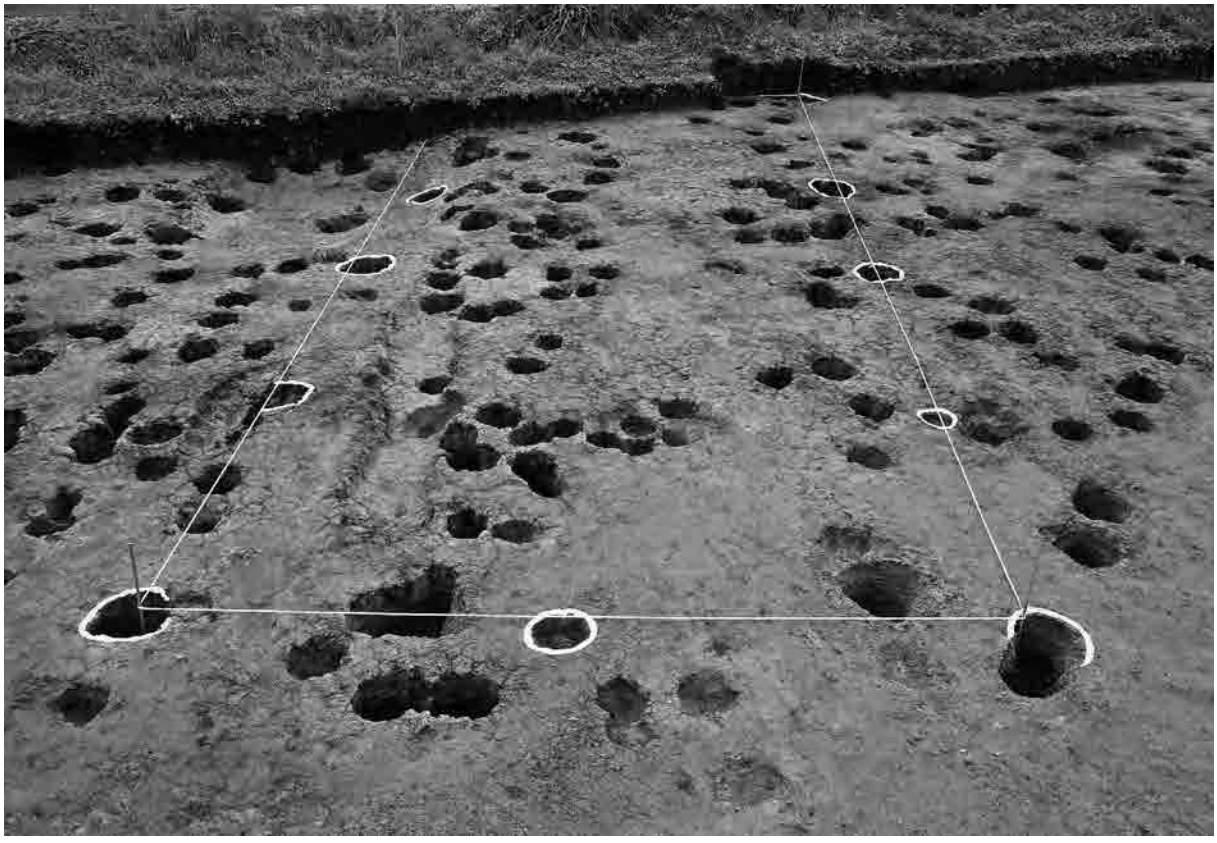
SB46　完掘



SB47　完掘

写真図版 45　SB46・47

SB48　完掘



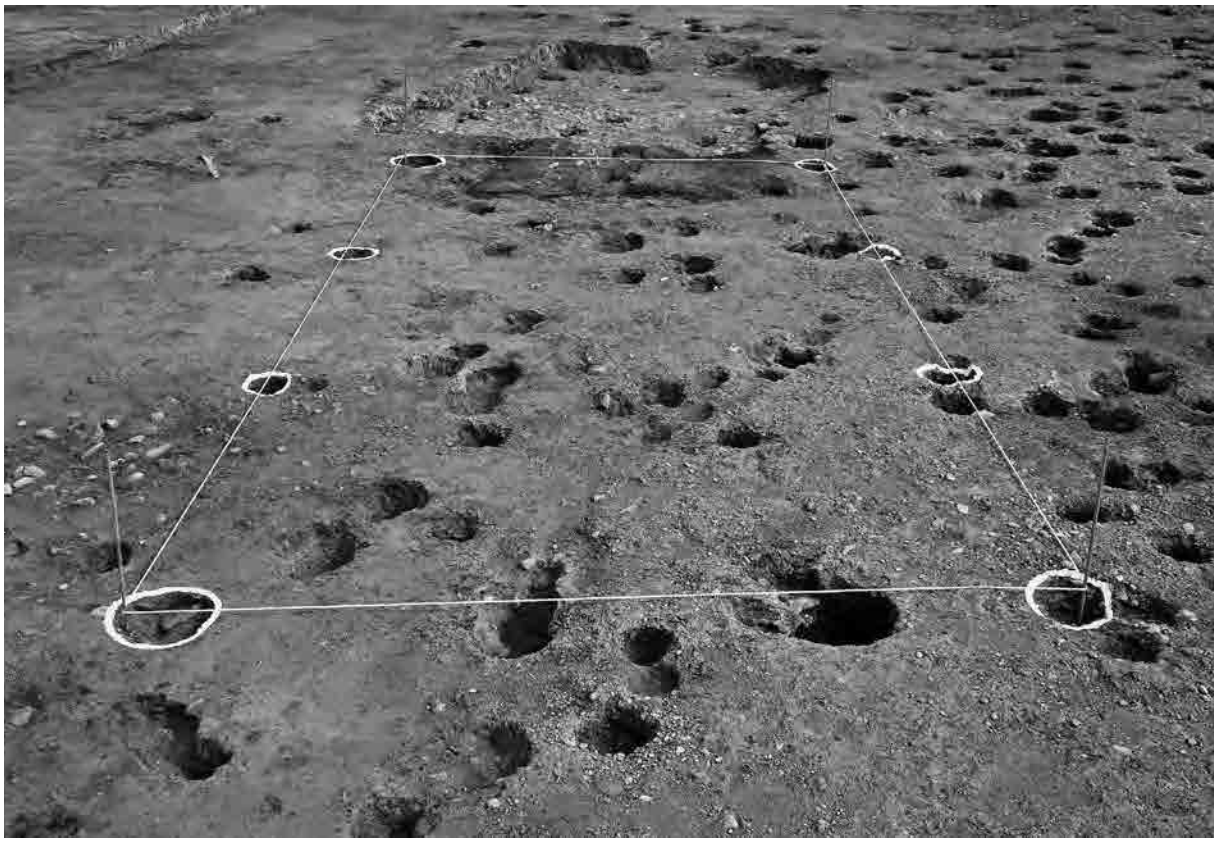
SB49　完掘

写真図版 46　SB48・49

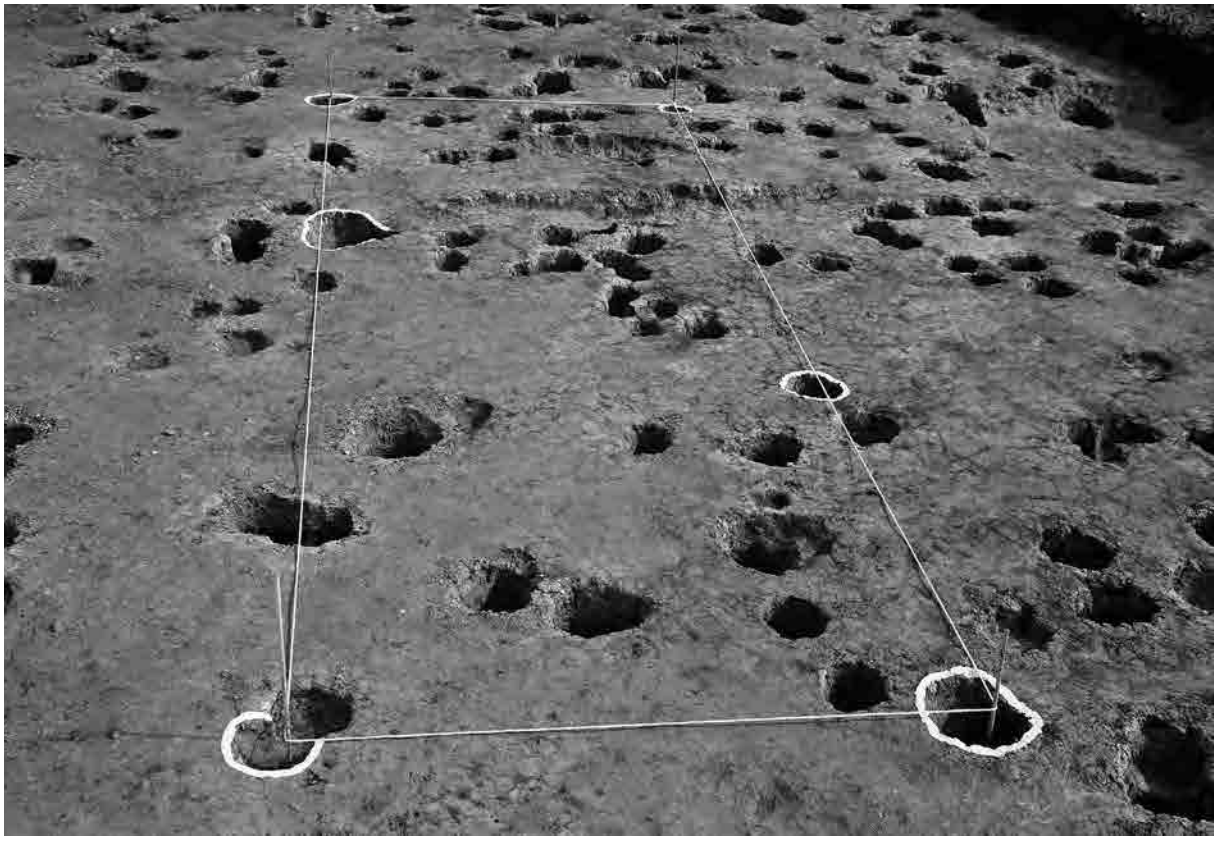
SB50　完掘

SB51　完掘

写真図版 47　SB50・51



SB52　完掘

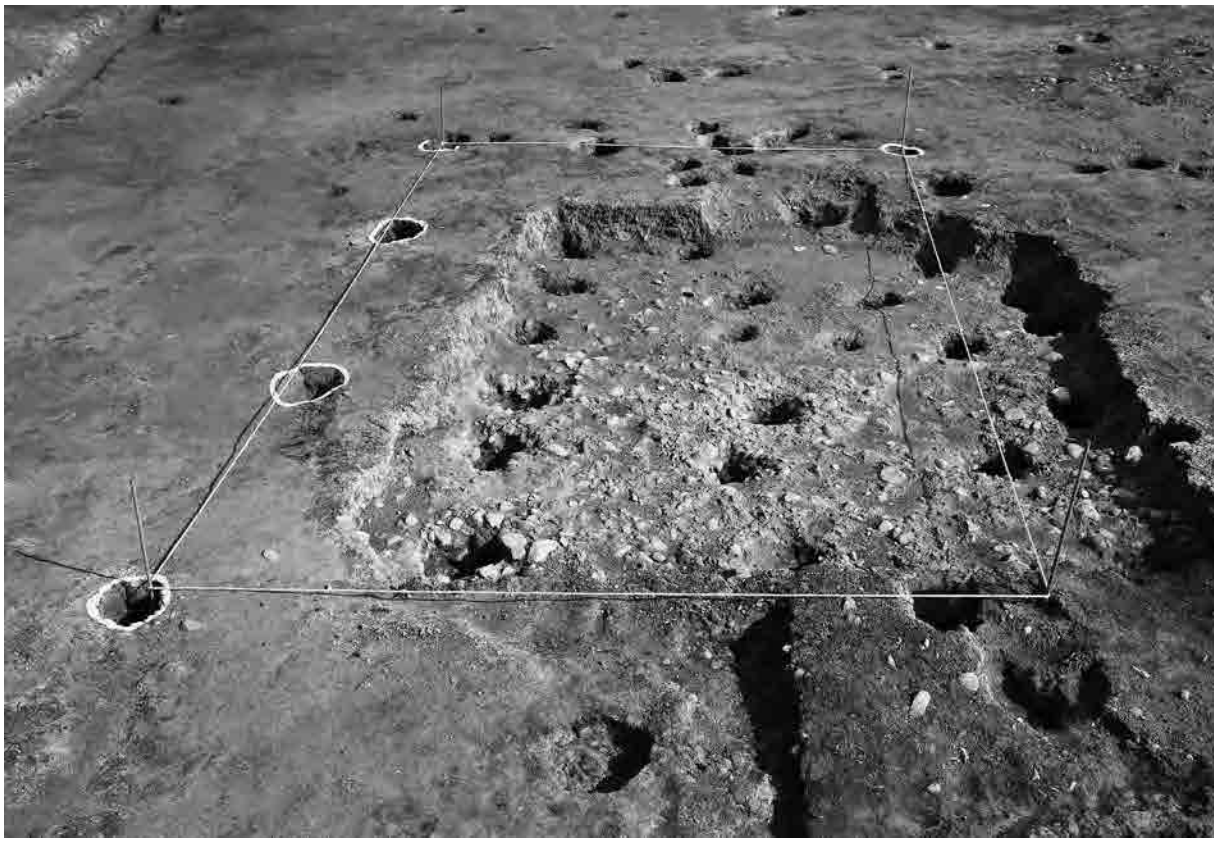


SB54　完掘

写真図版 48　SB52・54

SB53　完掘

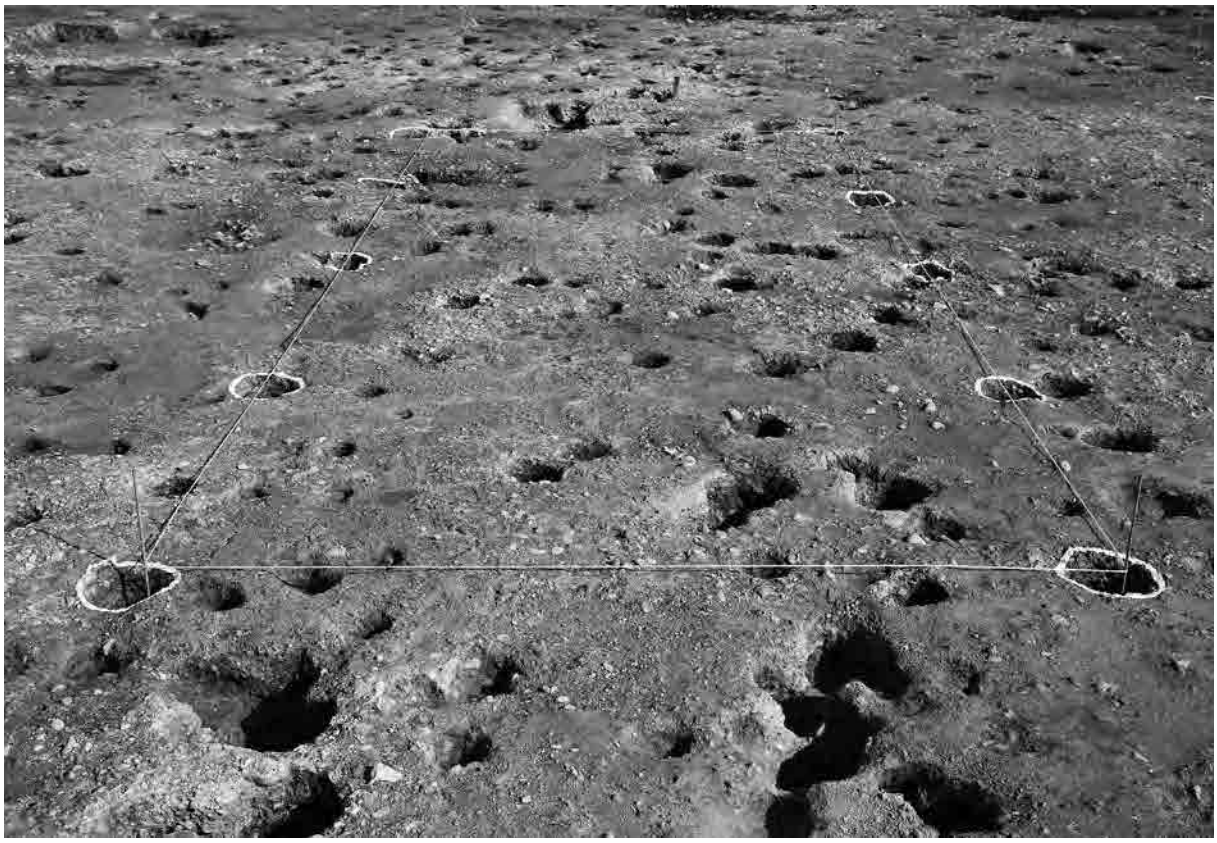
写真図版 49　SB53



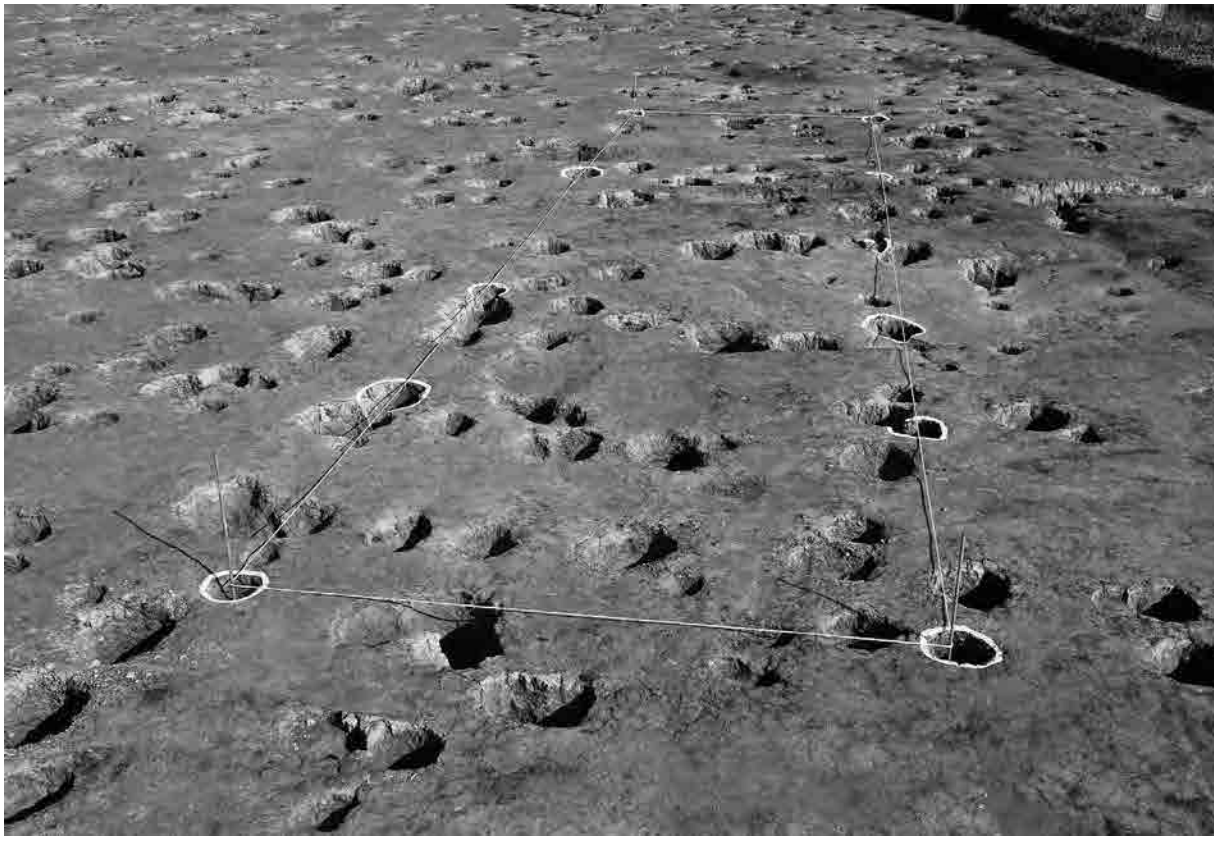
SB55　完掘

SB56　完掘

写真図版 50　SB55・56

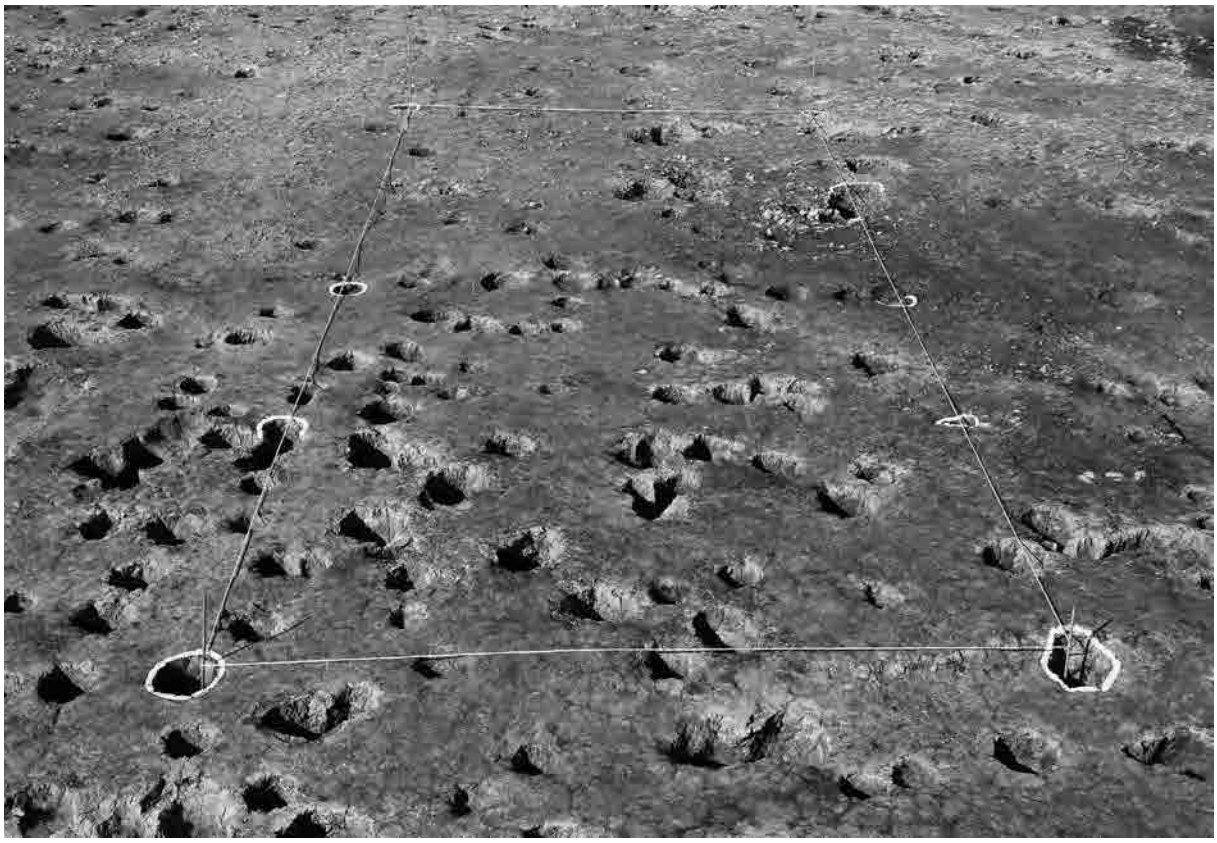


SB57　完掘

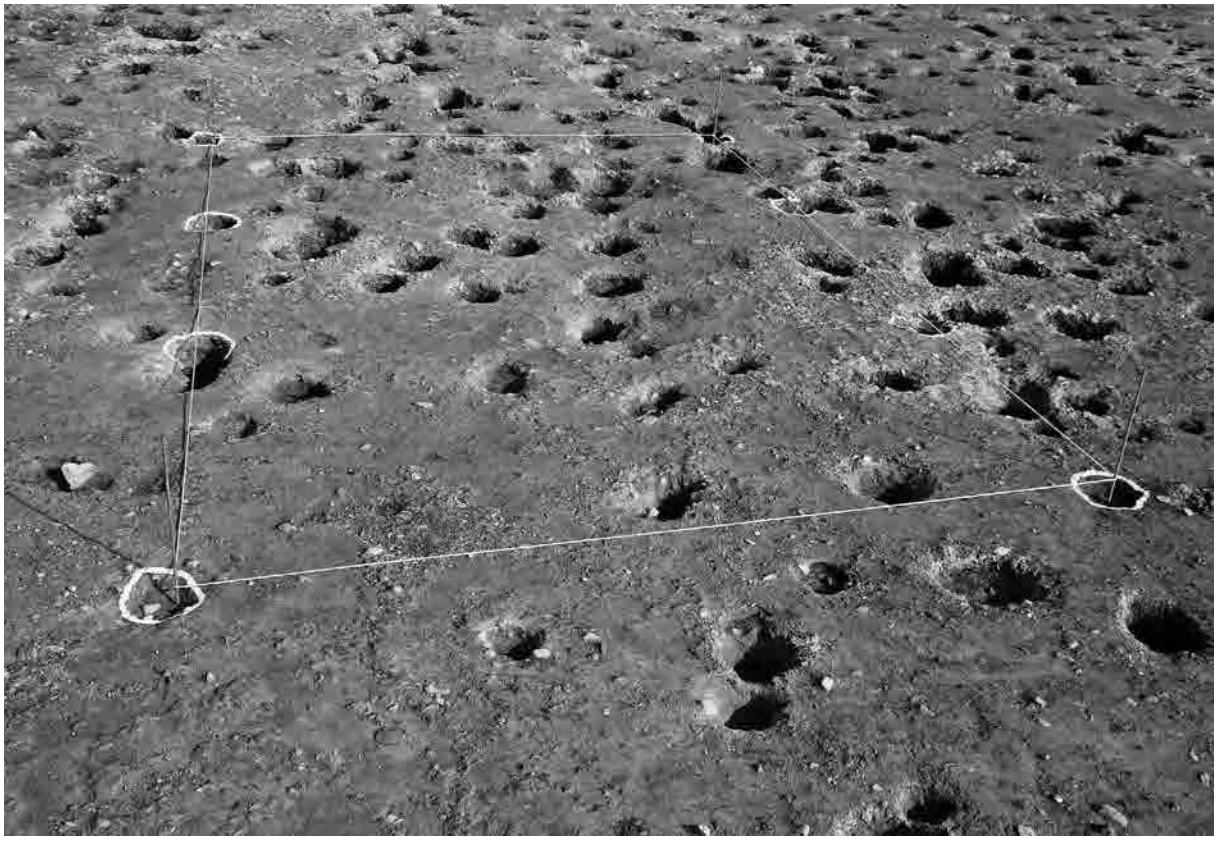


SB58　完掘

写真図版 51　SB57・58



SB59　完掘



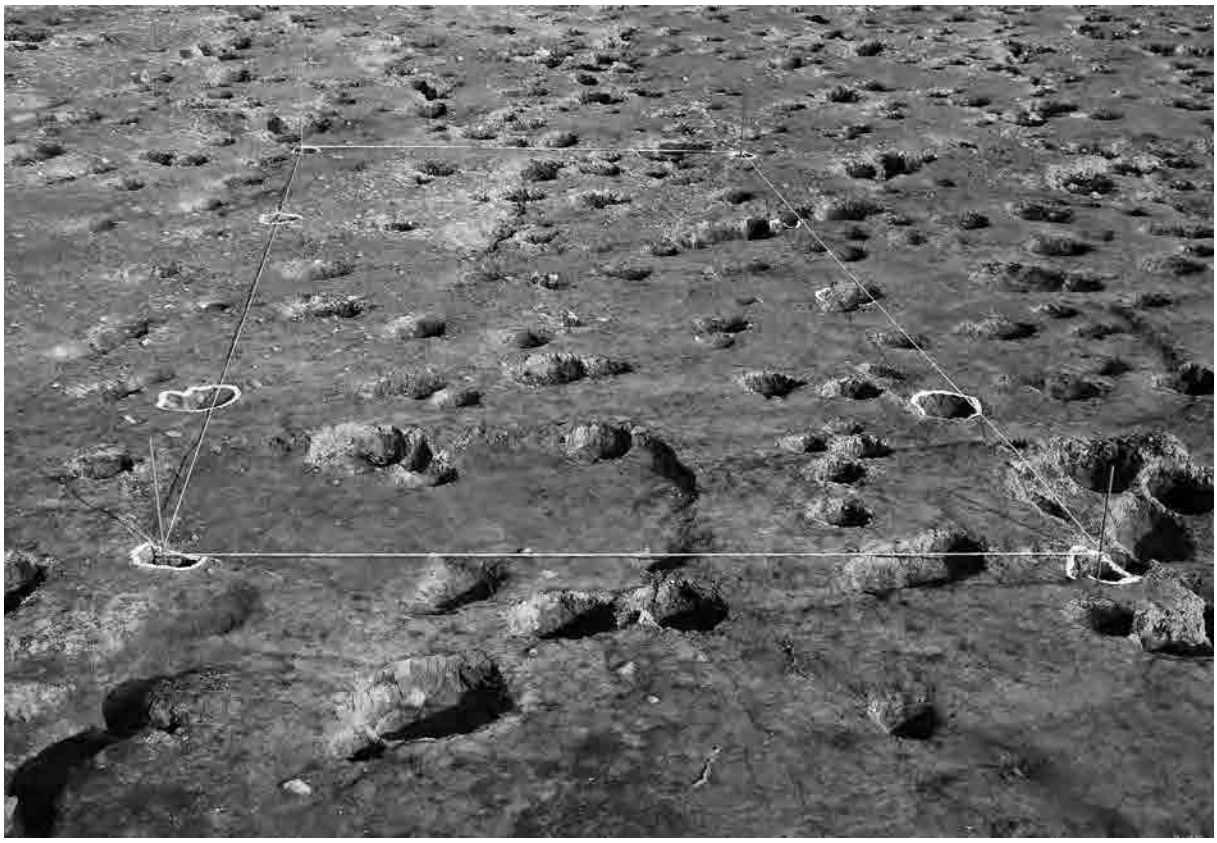
SB60　完掘

写真図版 52　SB59・60

SB61　完掘

SB62　完掘

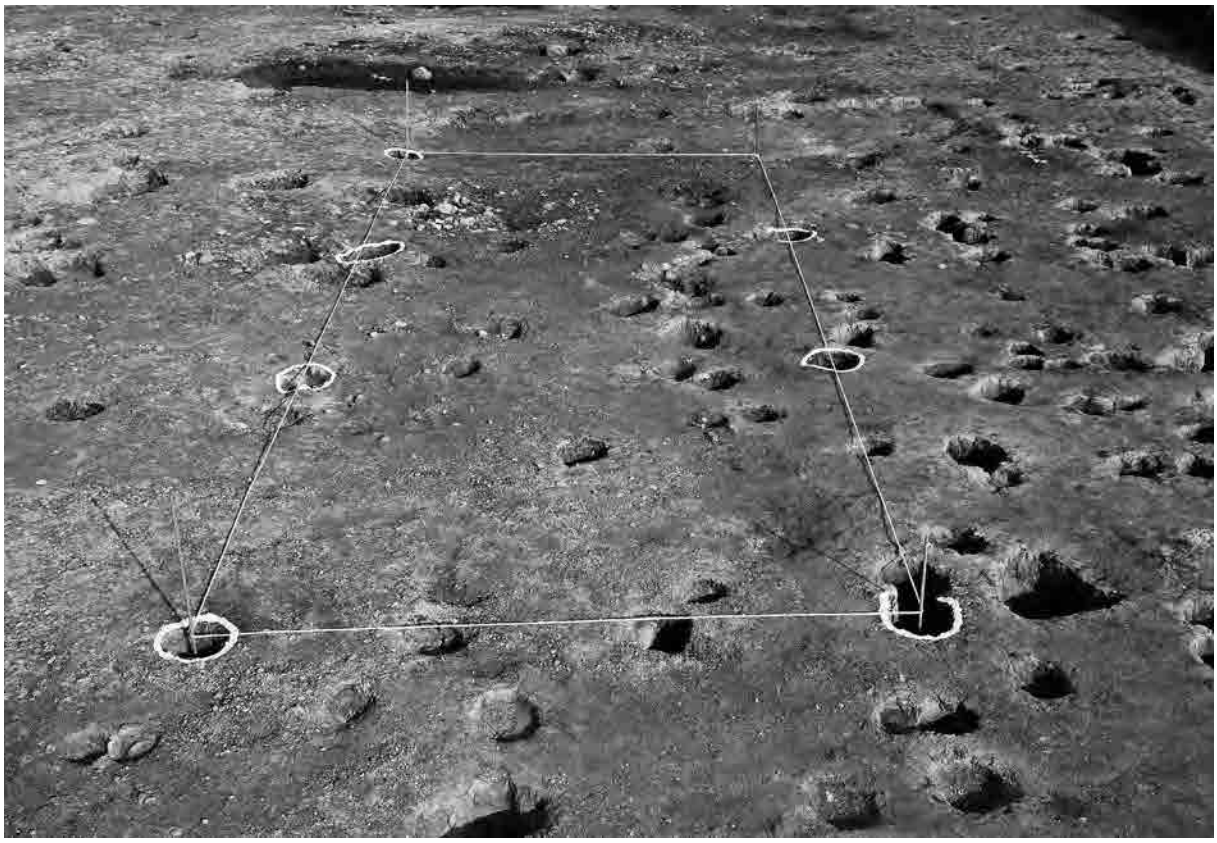
写真図版 53　SB61・62



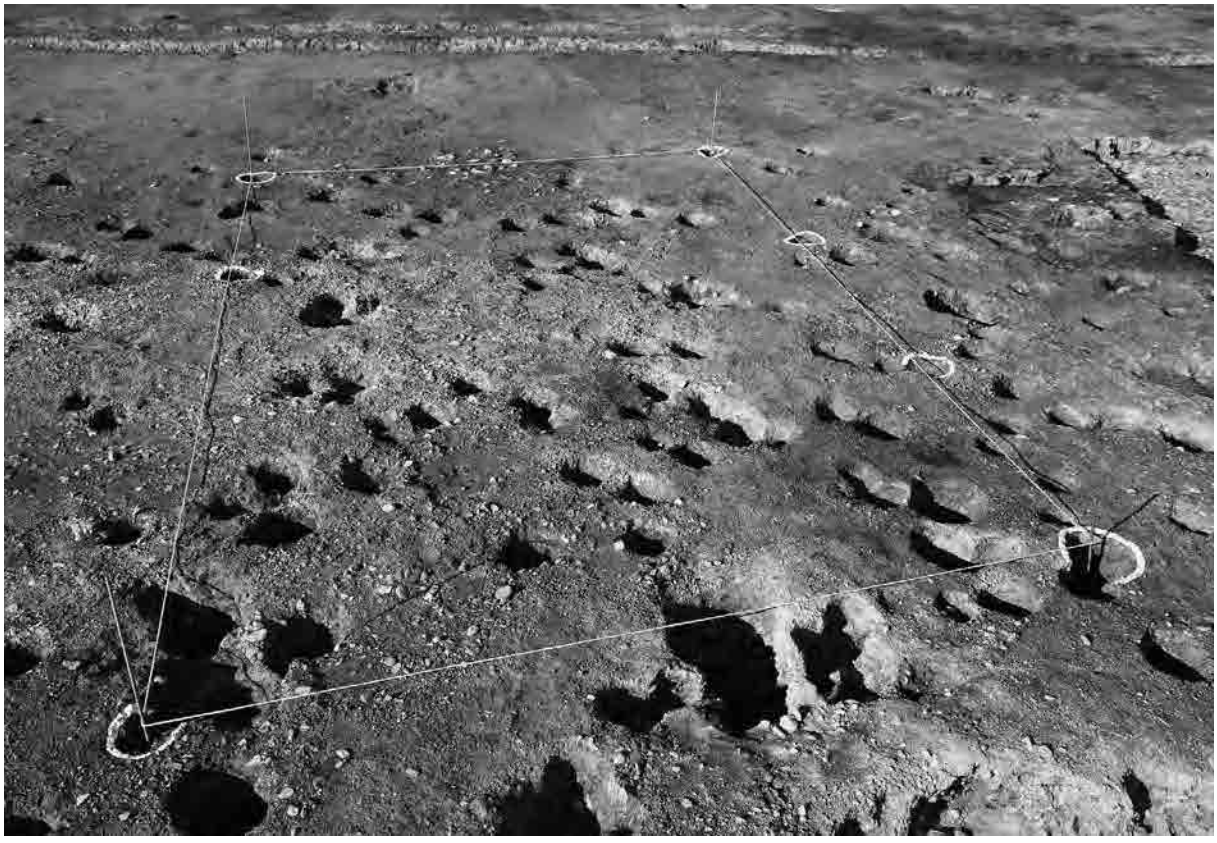
SB63　完掘

SB64　完掘

写真図版 54　SB63・64



SB65　完掘



SB66　完掘

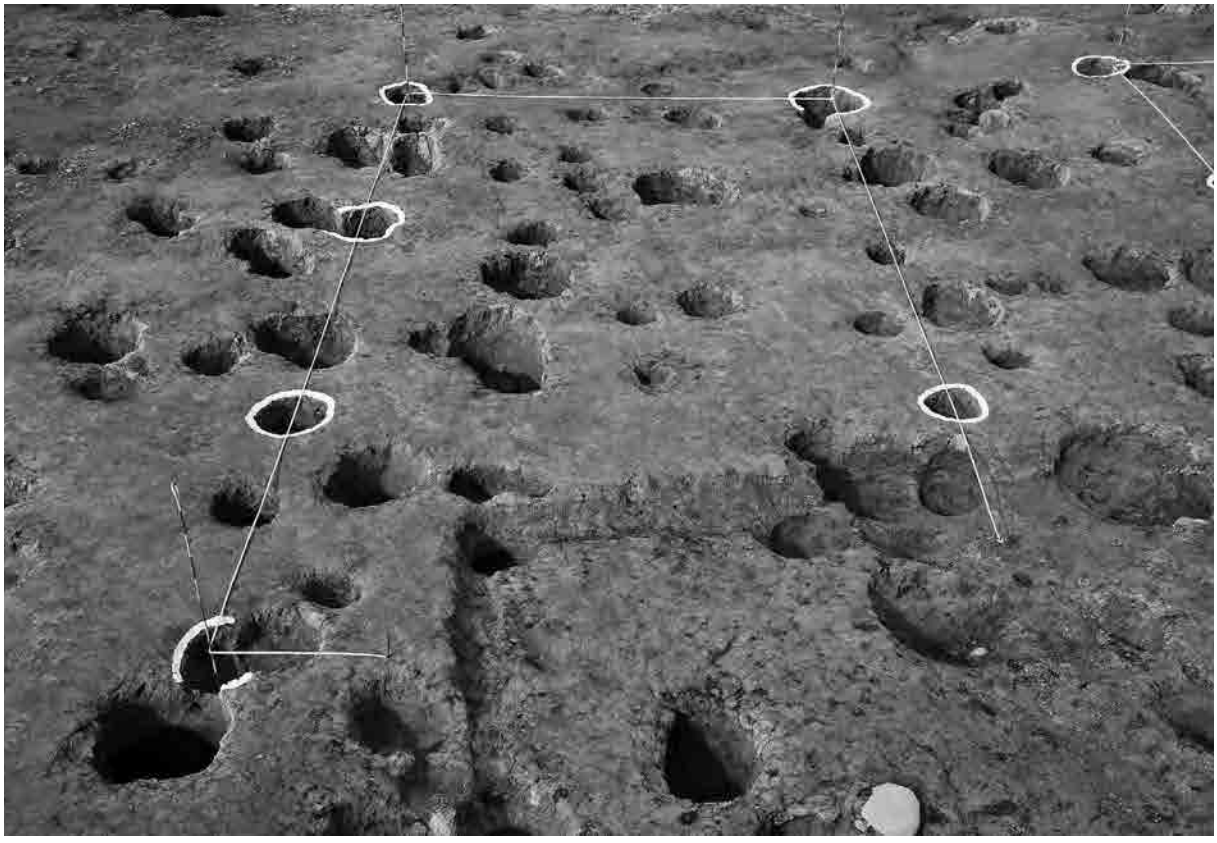
写真図版 55　SB65・66

SB67　完掘

SB68　完掘

写真図版 56　SB67・68

SB69　完掘



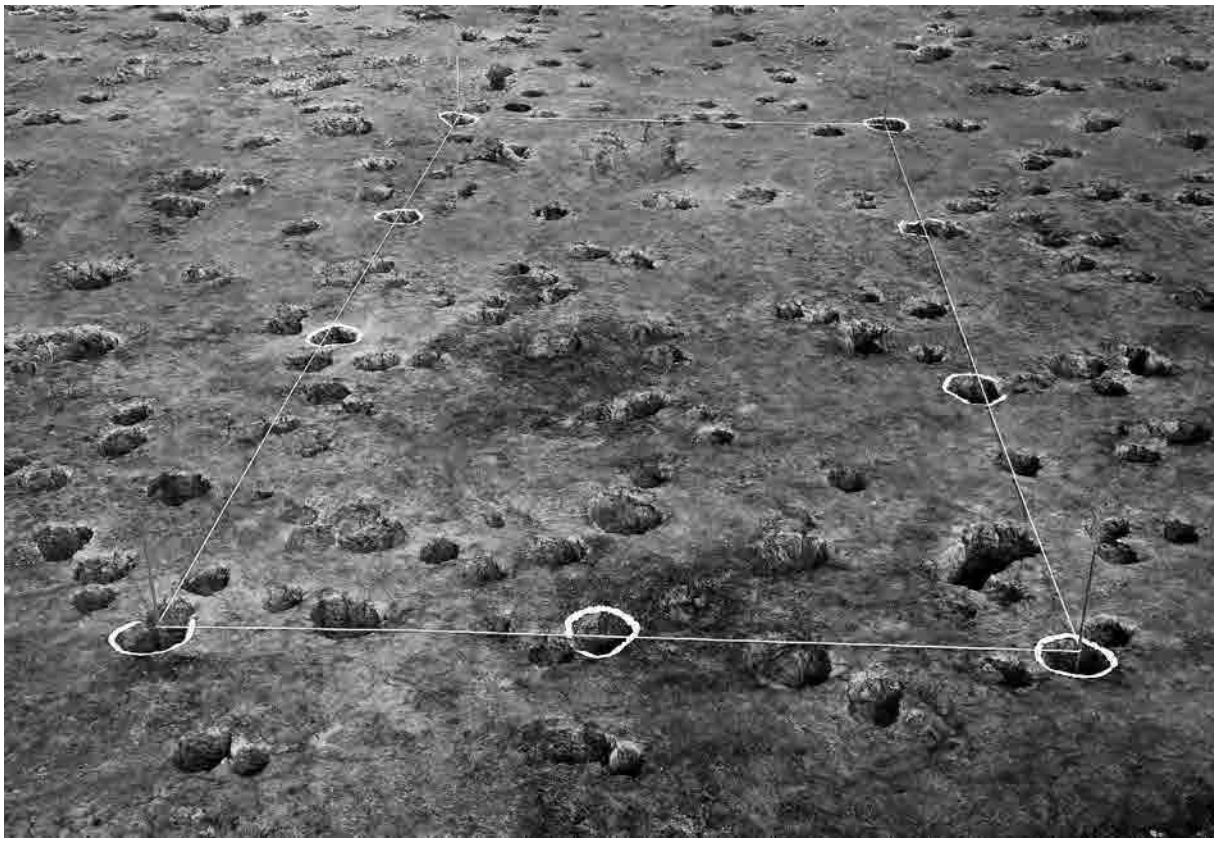
SB70　完掘

写真図版 57　SB69・70

SB71　完掘

SB72　完掘

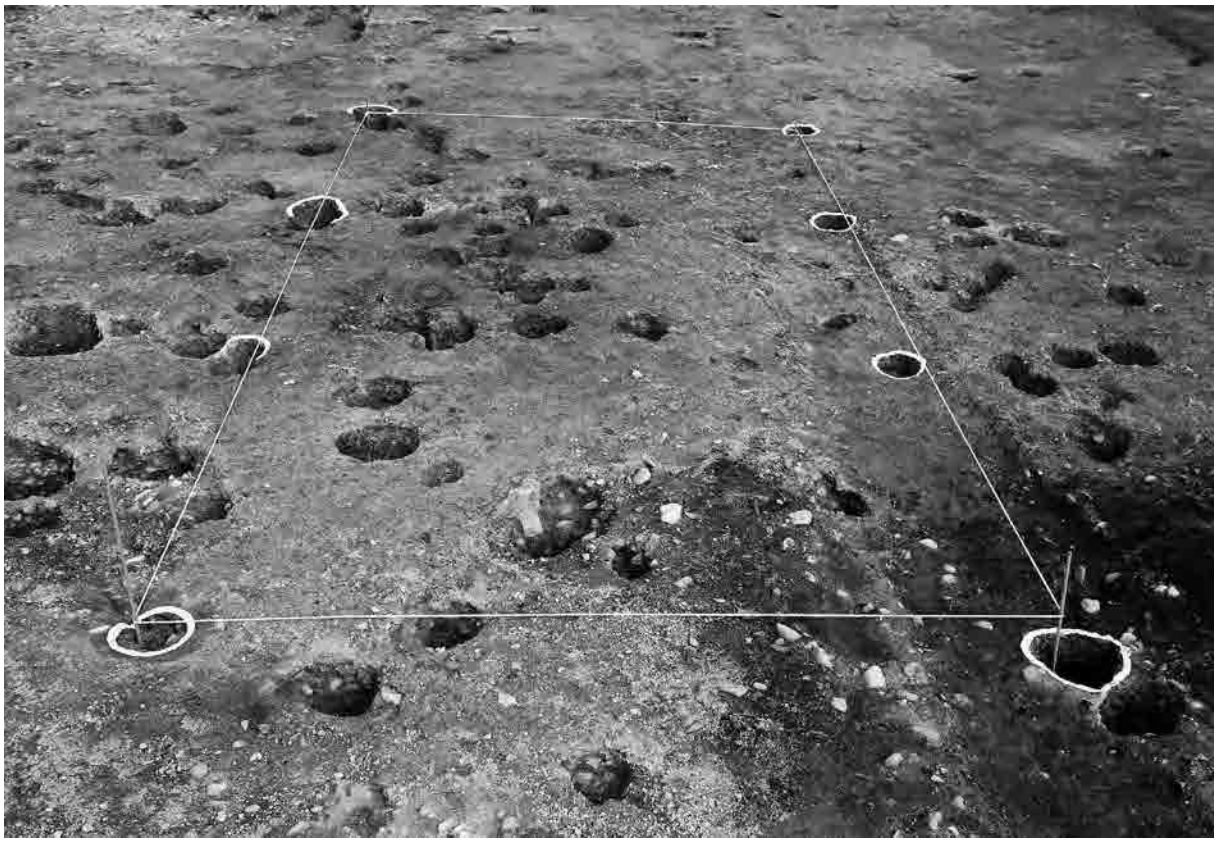
写真図版 58　SB71・72



SB73　完掘

SB74　完掘

写真図版 59　SB73・74

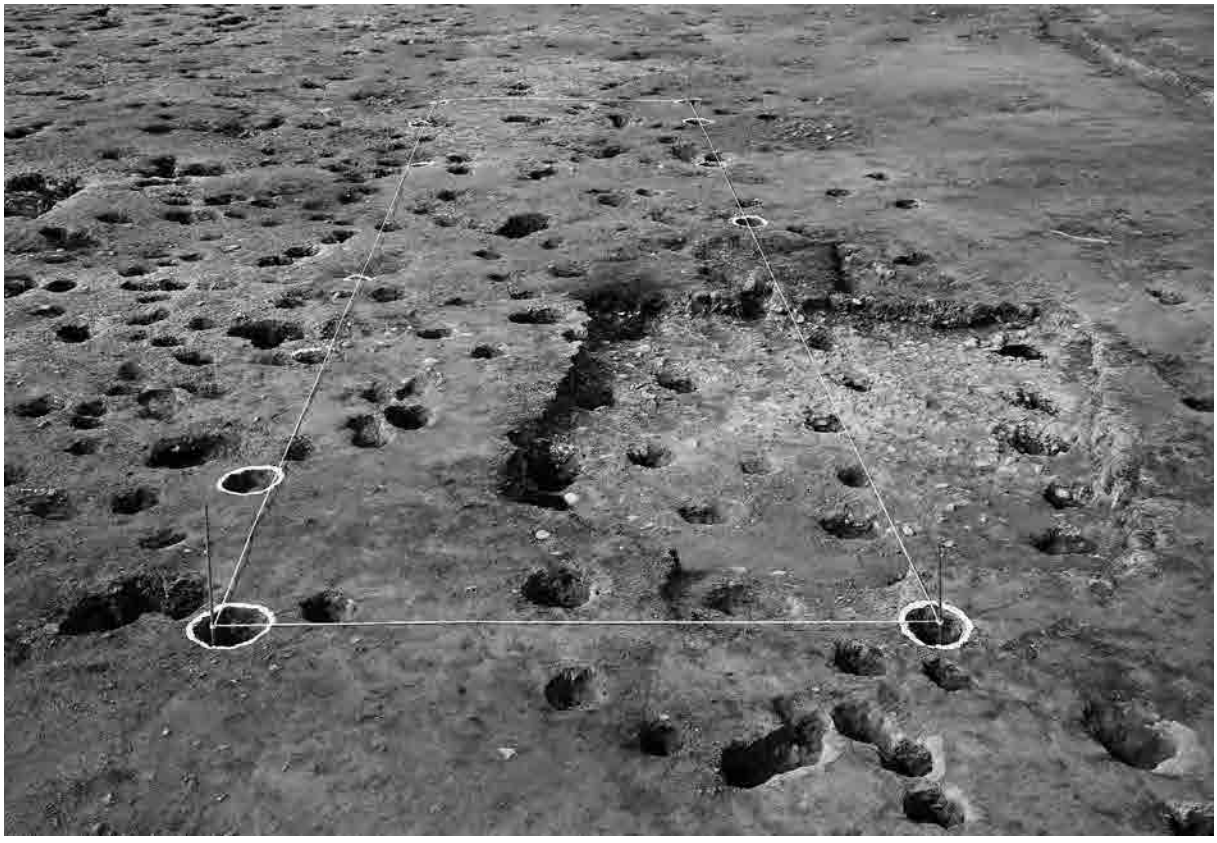


SB75　完掘

SB76　完掘

写真図版 60　SB75・76

SB77　完掘



SB78　完掘

写真図版 61　SB77・78

SB79　完掘

SB80　完掘

写真図版 62　SB79・80

SB81　完掘

SB82　完掘

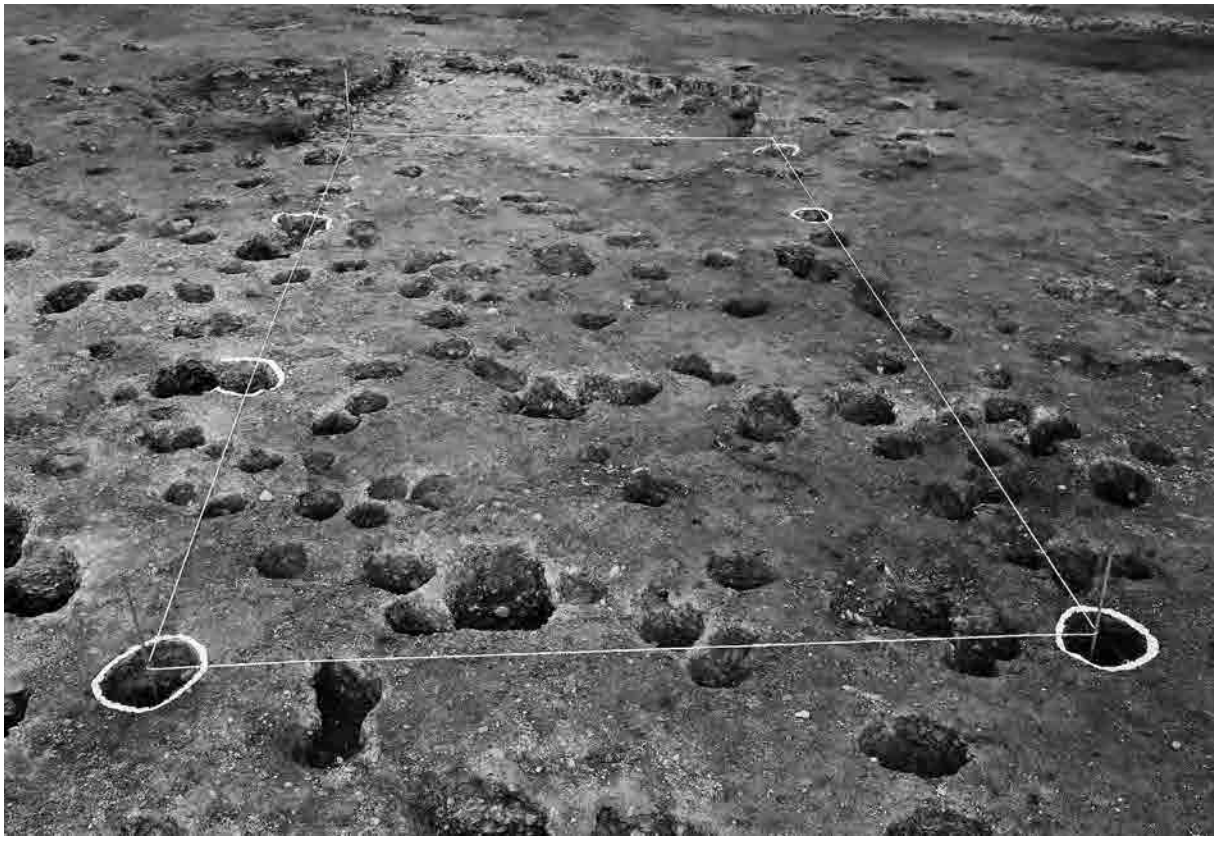
写真図版 63　SB81・82

SB83　完掘

SB84　完掘

写真図版 64　SB83・84

SB85　完掘



SB86　完掘

写真図版 65　SB85・86

SB87　完掘

SB88　完掘

写真図版 66　SB87・88

SB89　完掘

SB90　完掘

写真図版 67　SB89・90

SB91　完掘

SB92　完掘

写真図版 68　SB91・92

SB93　完掘

SB94　完掘

写真図版 69　SB93・94

SB95　完掘

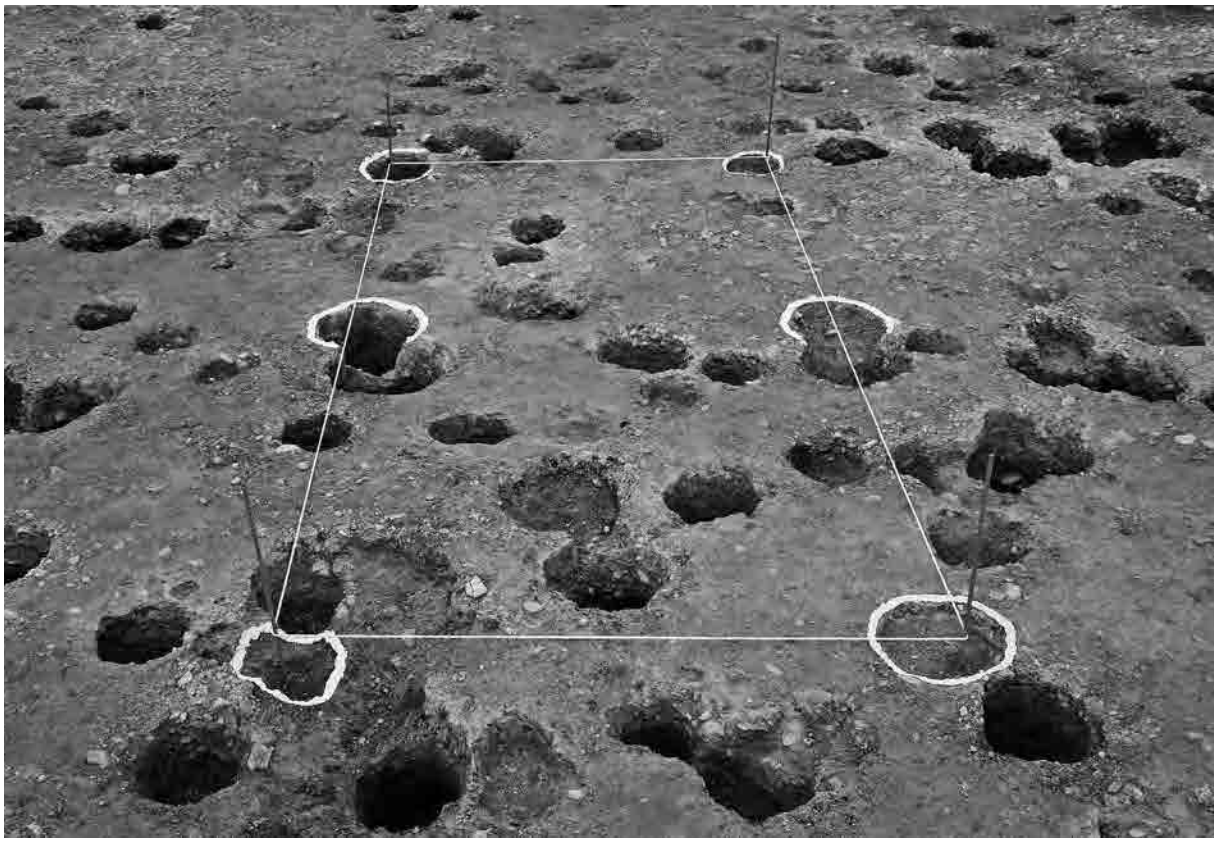
SB96　完掘

写真図版 70　SB95・96

SB97　完掘

SB98　完掘

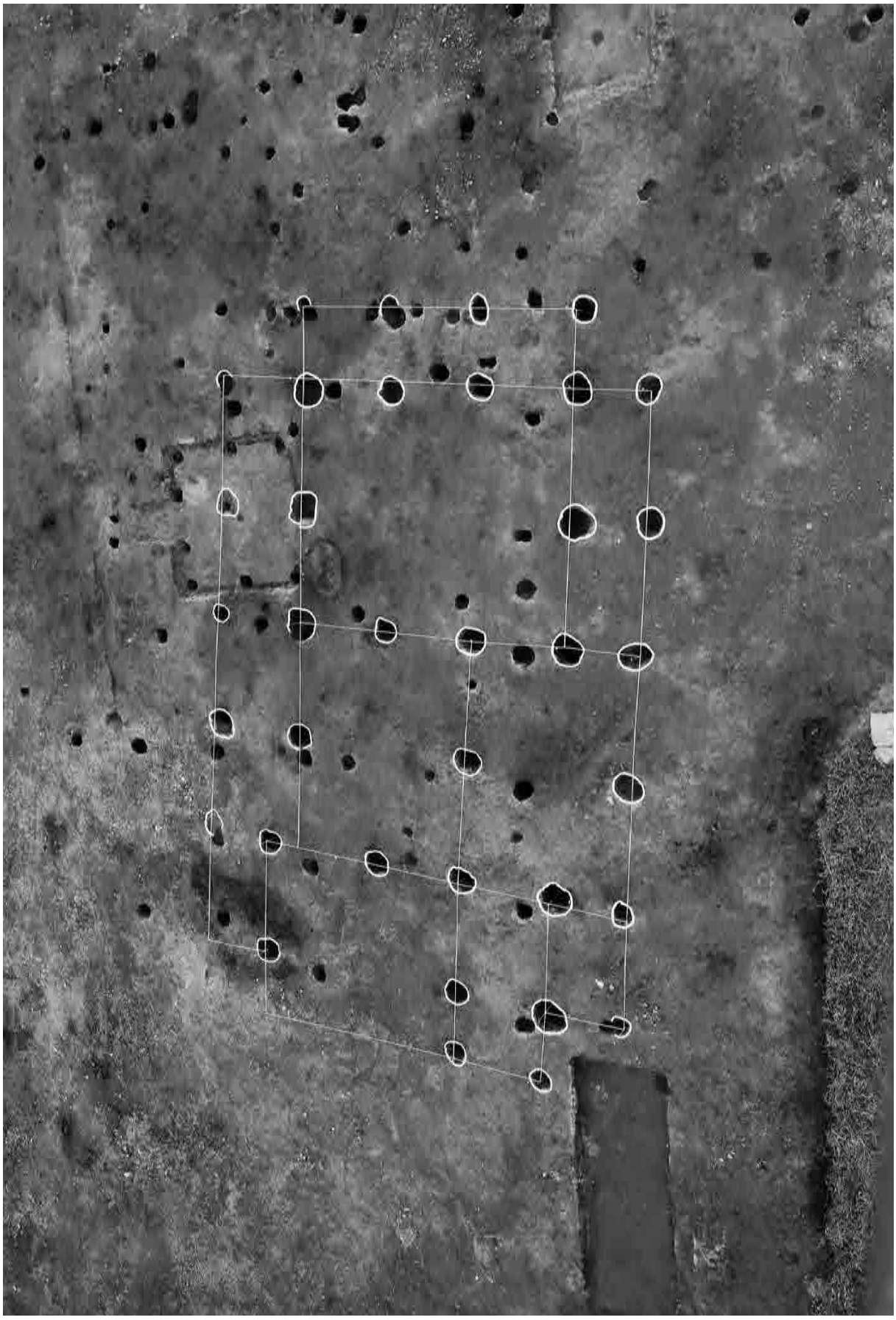
写真図版 71　SB97・98



SB99　完掘

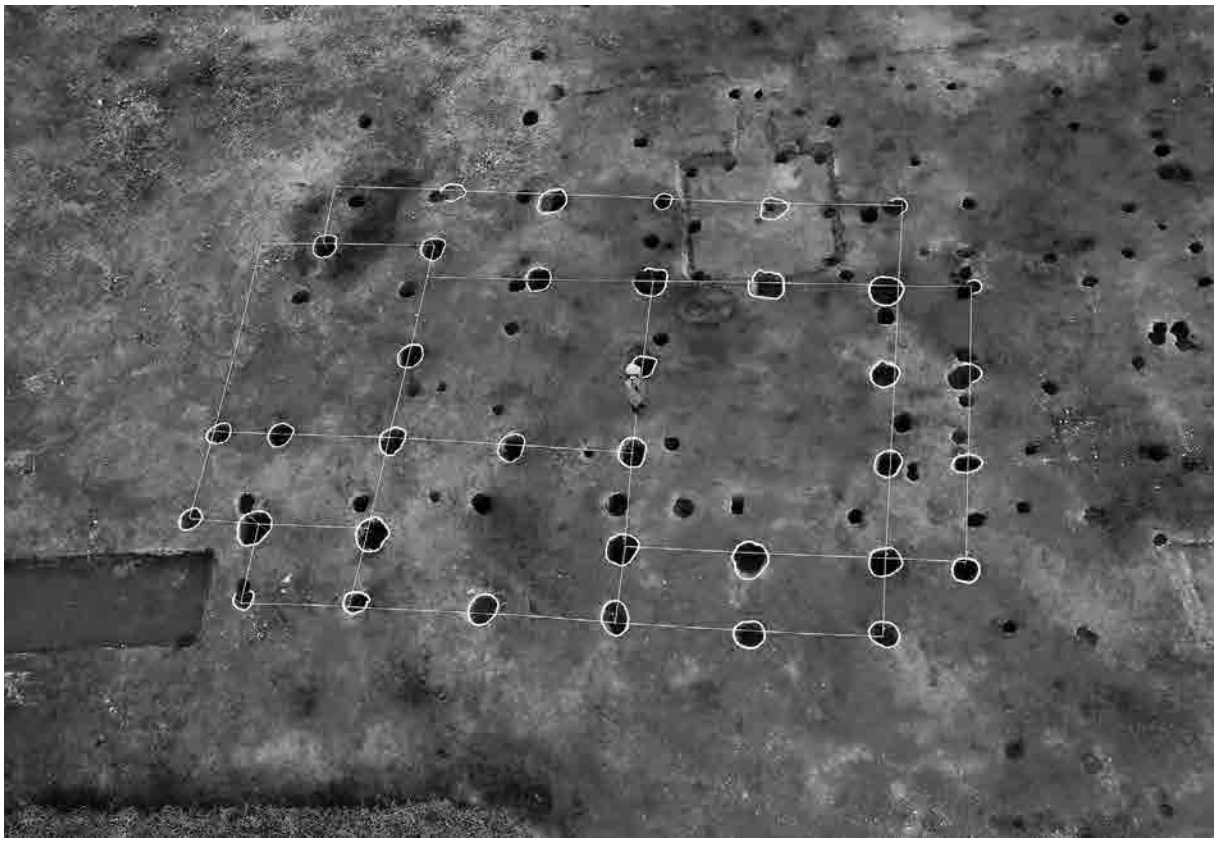
SB100　完掘

写真図版 72　SB99・100



SB101　完掘

写真図版 73　SB101（1）



SB101　完掘

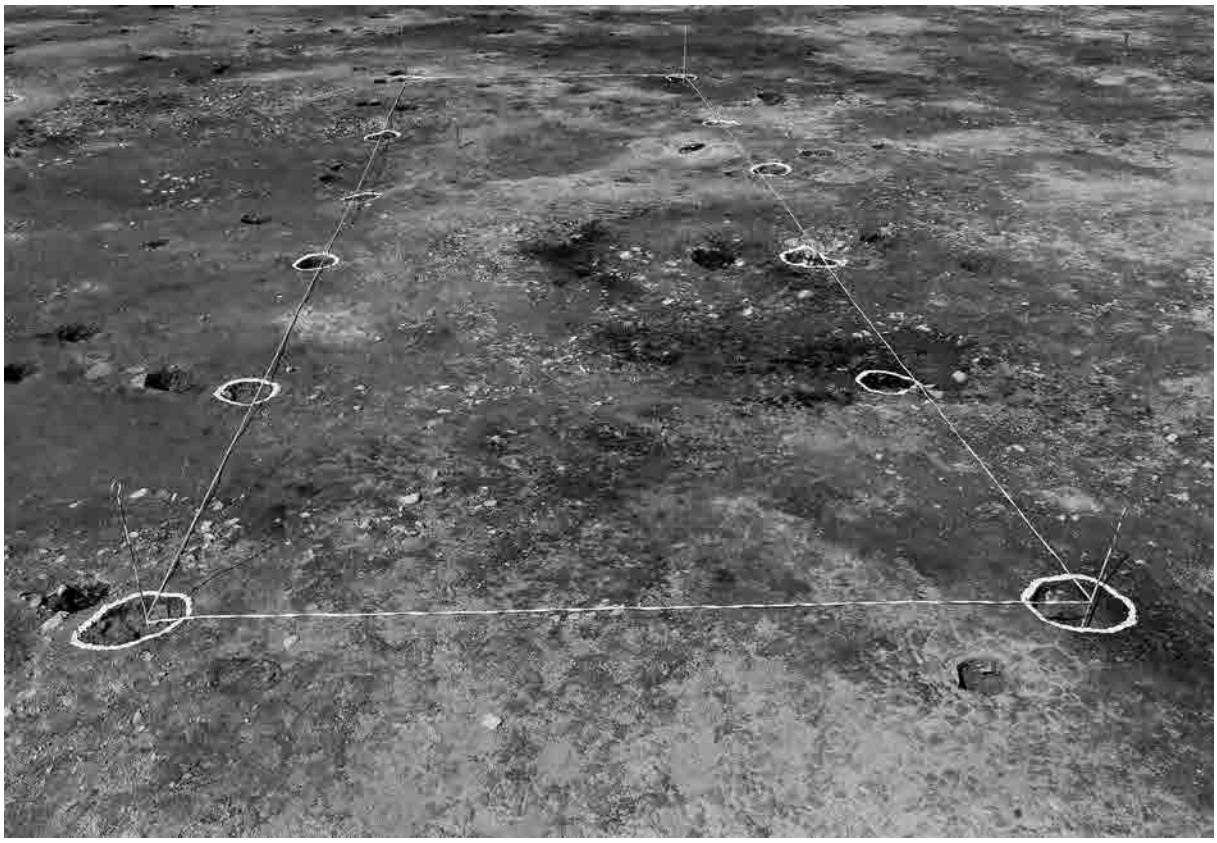
P435（SB101）断面

P435（SB101）柱痕跡検出

P435（SB101）完掘

P3734（SB101）完掘

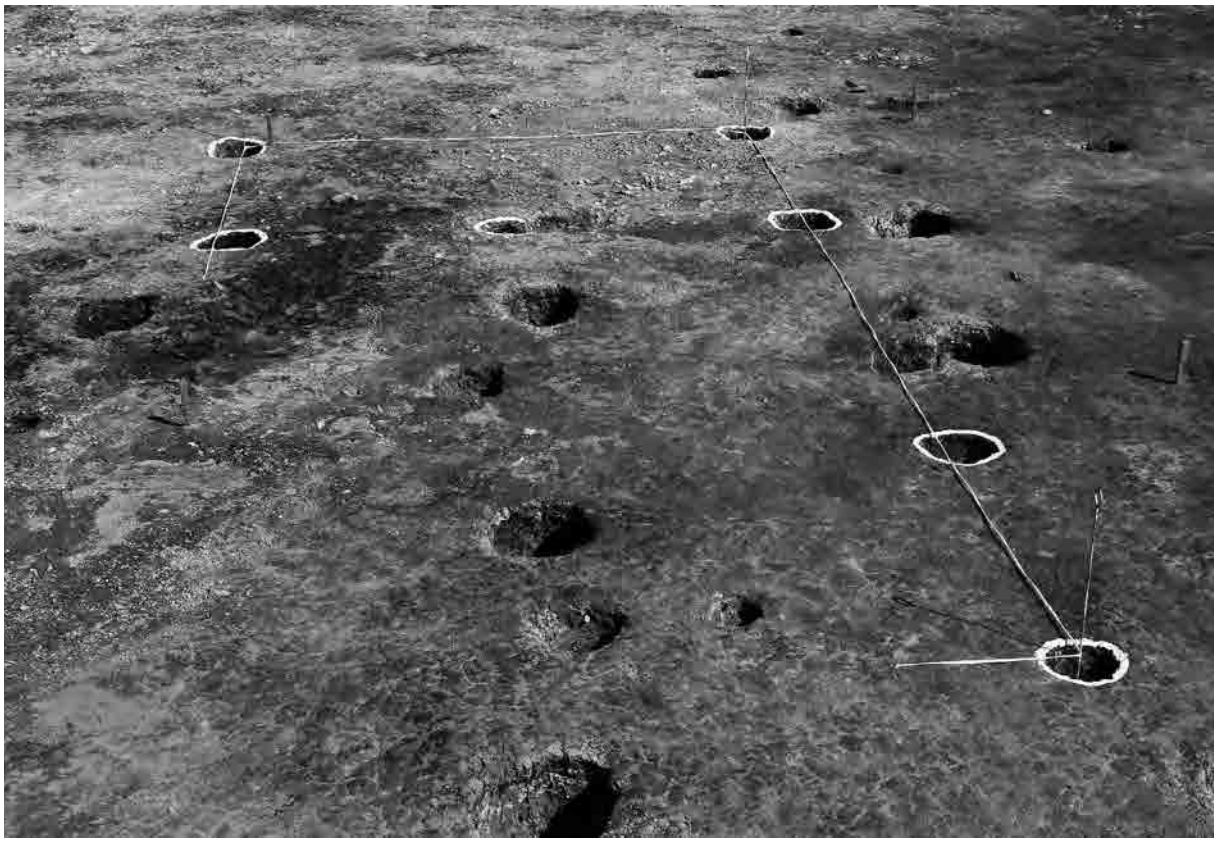
写真図版 74　SB101（2）



SB102　完掘

SB103　完掘

写真図版 75　SB102・103

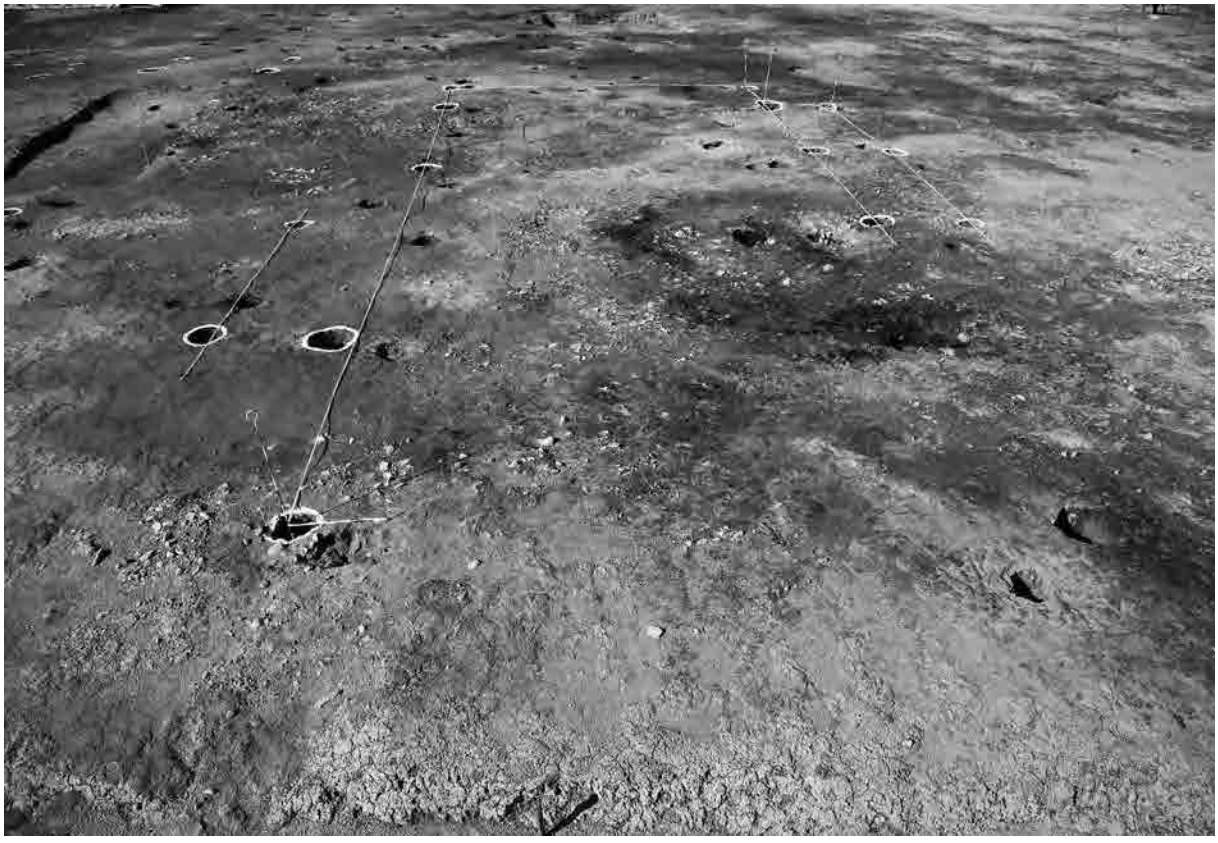


SB104　完掘

SB105　完掘

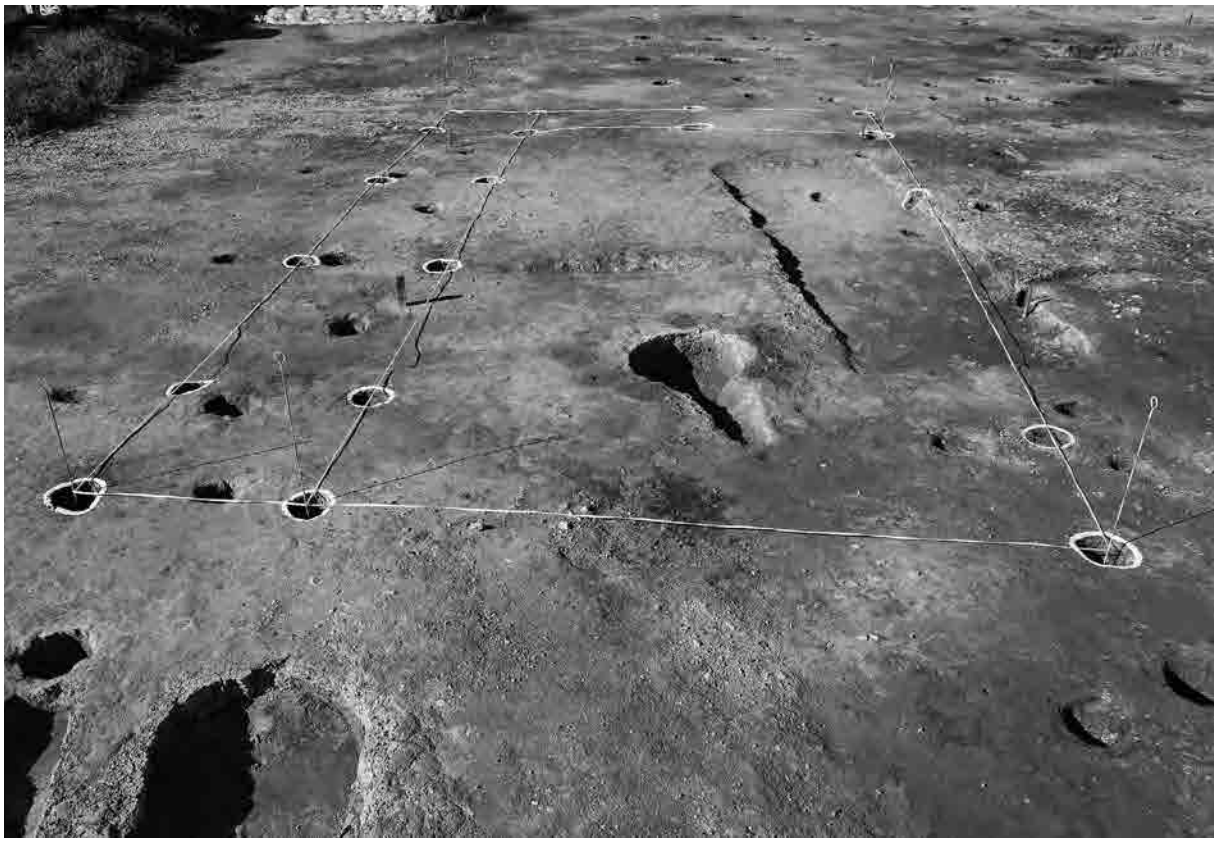
写真図版 76　SB104・105

SB106　完掘



SB107　完掘

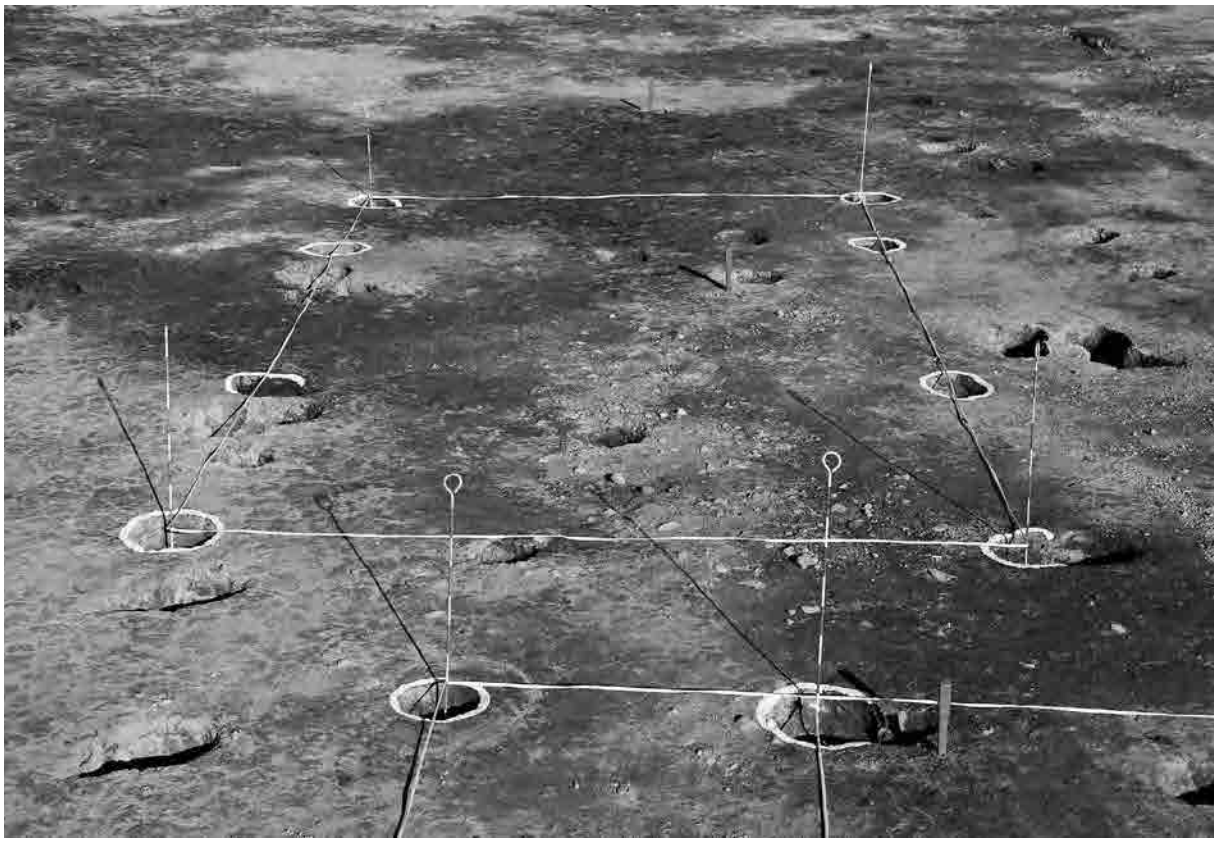
写真図版 77　SB106・107



SB108　完掘

SB109　完掘

写真図版 78　SB108・109



SB110　完掘

SB111　完掘

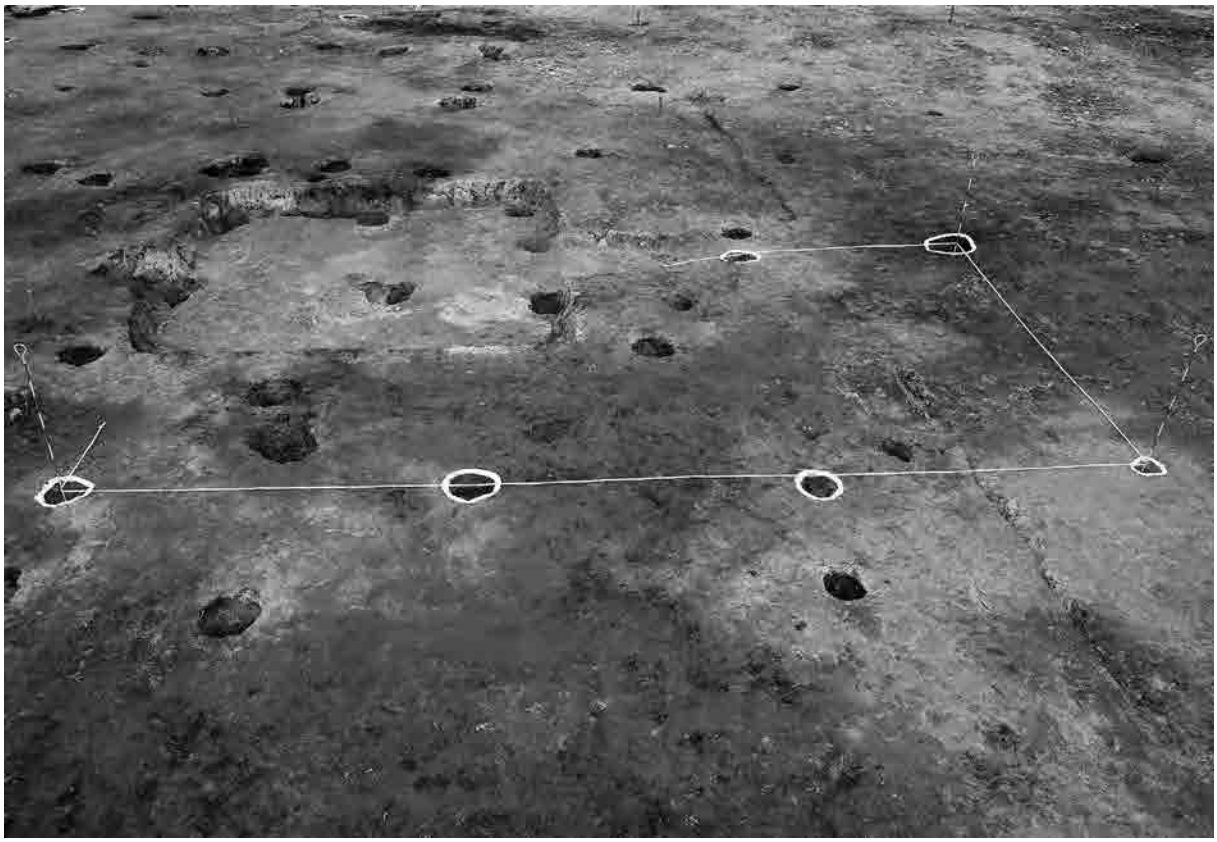
写真図版 79　SB110・111（1）

P3744（SB111 内）完掘

P3744（SB111 内）断面

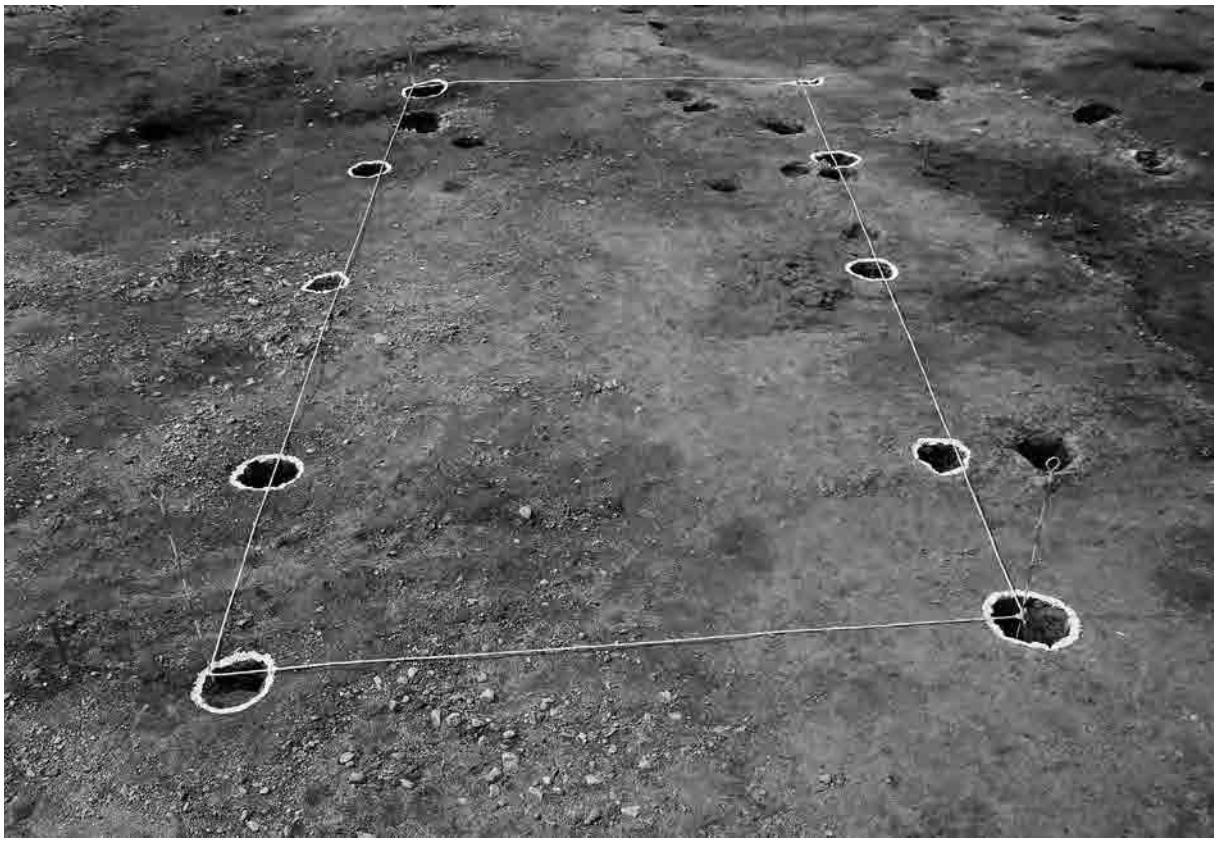
P3746（SB112 内）完掘

P3746（SB112 内）断面

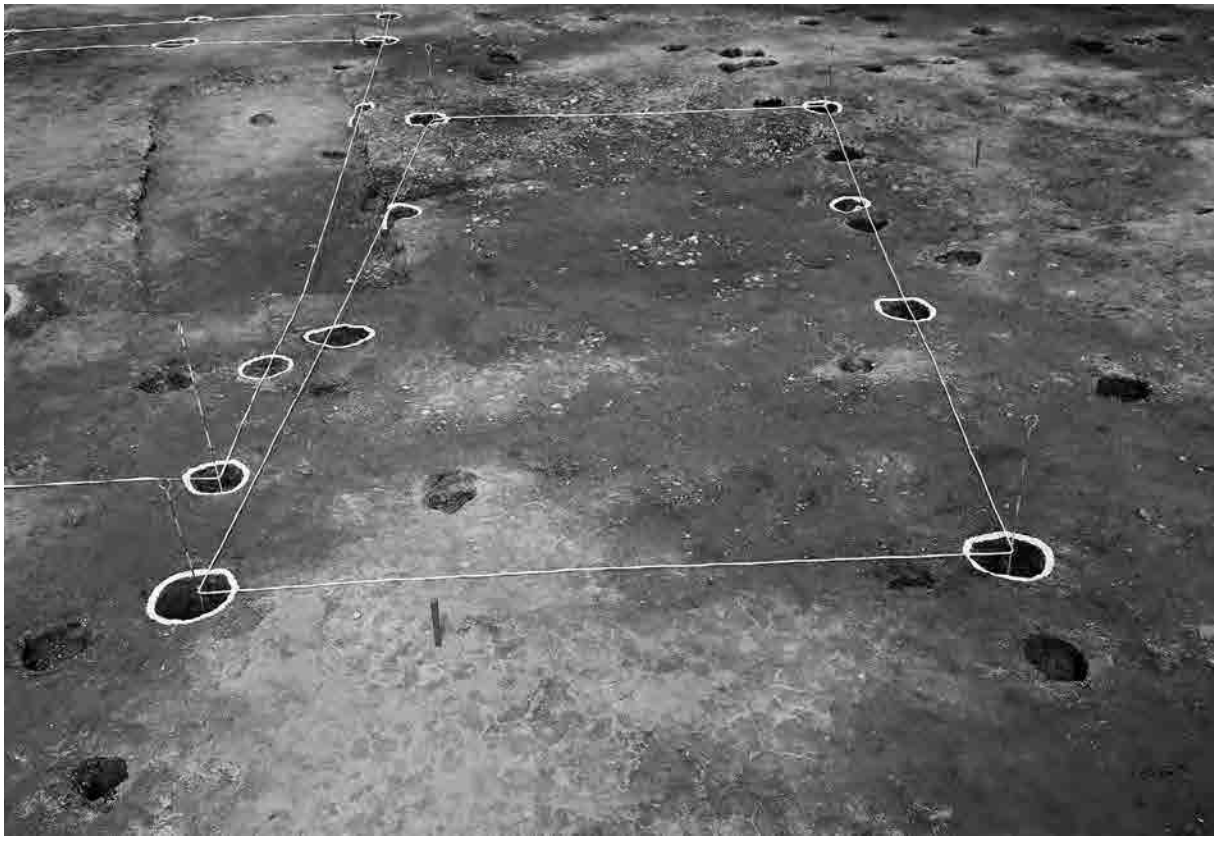


SB112　完掘

写真図版 80　SB111（2）・112



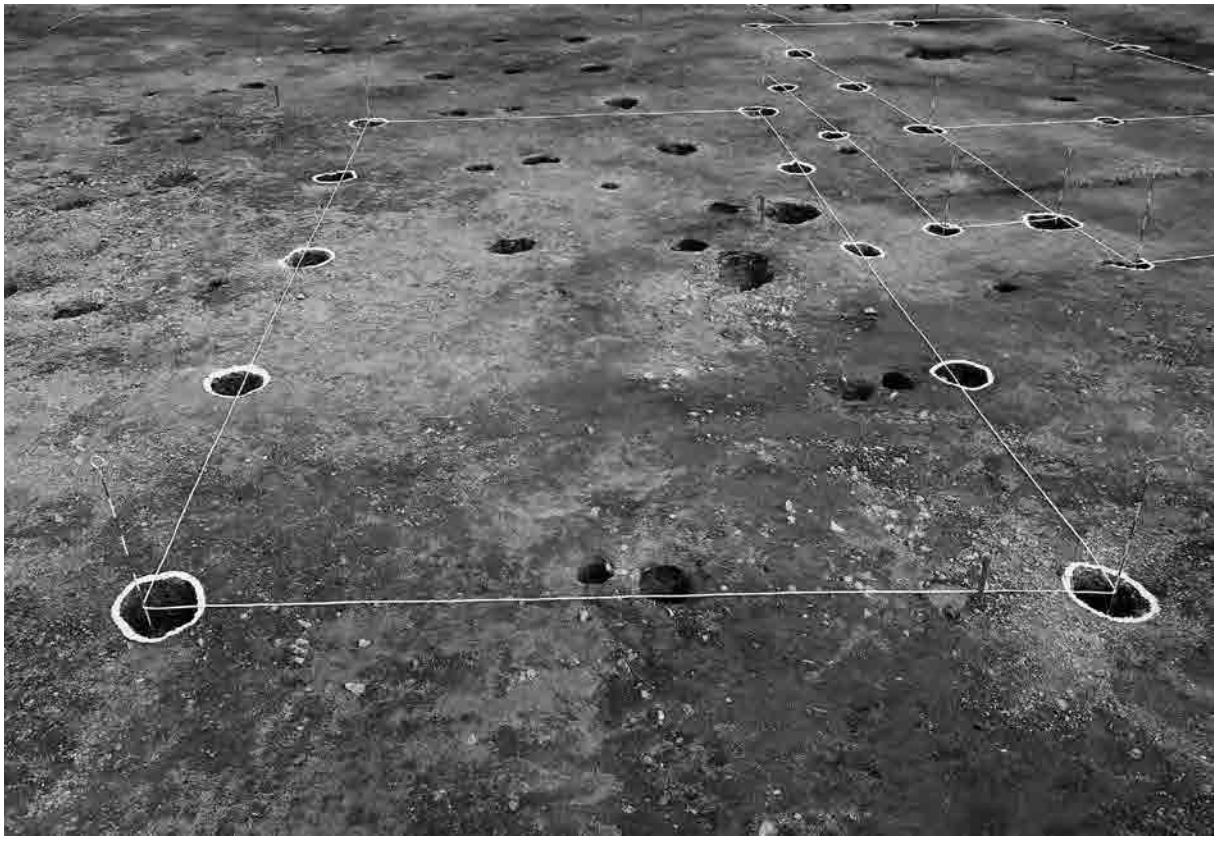
SB113　完掘



SB114　完掘

写真図版 81　SB113・114

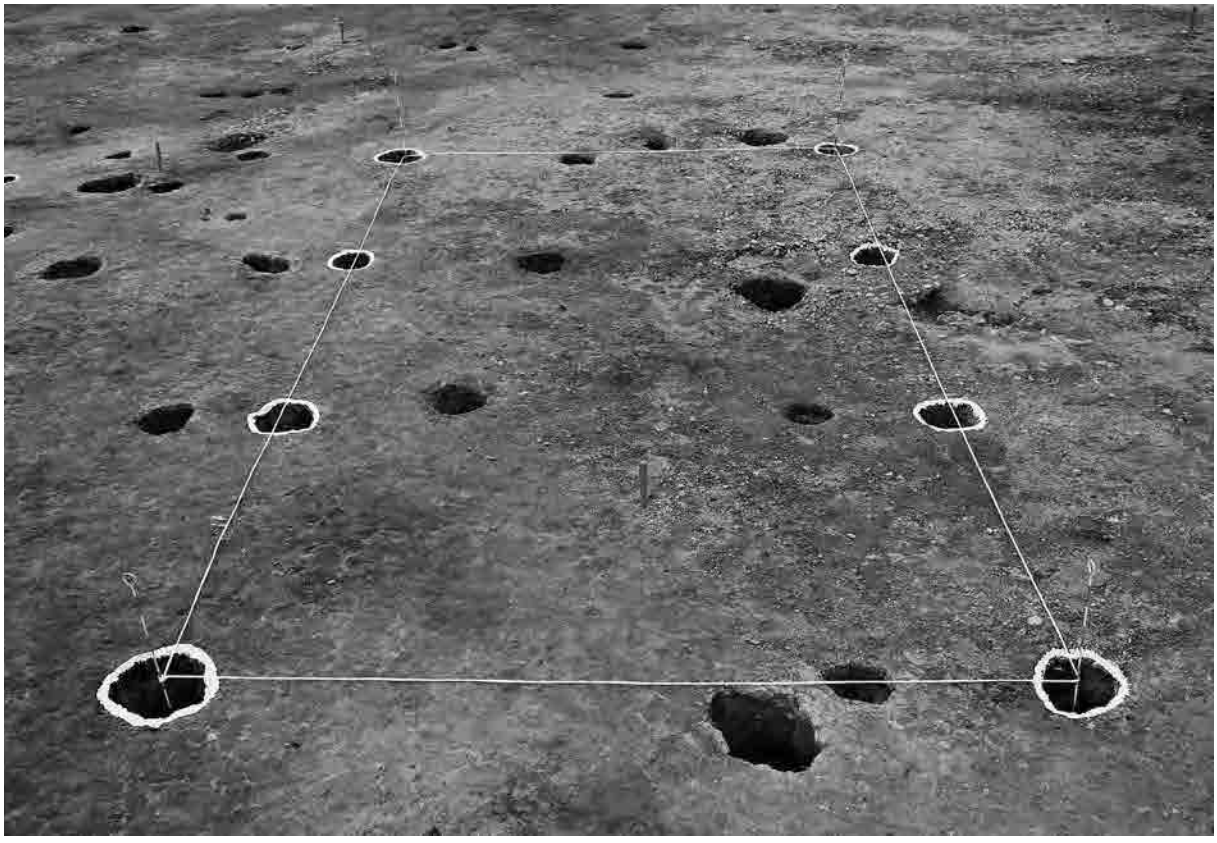
SB115　完掘



SB116　完掘

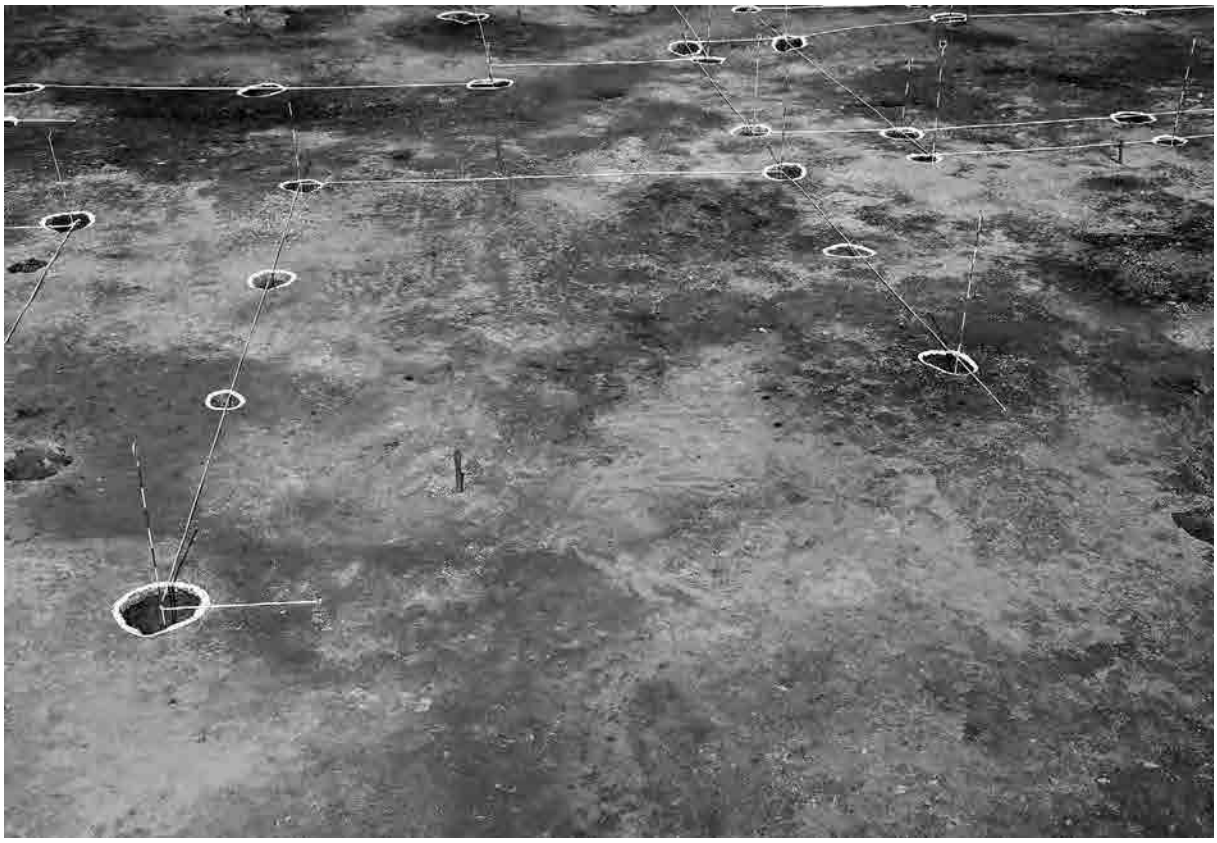
写真図版 82　SB115・116

SB117　完掘

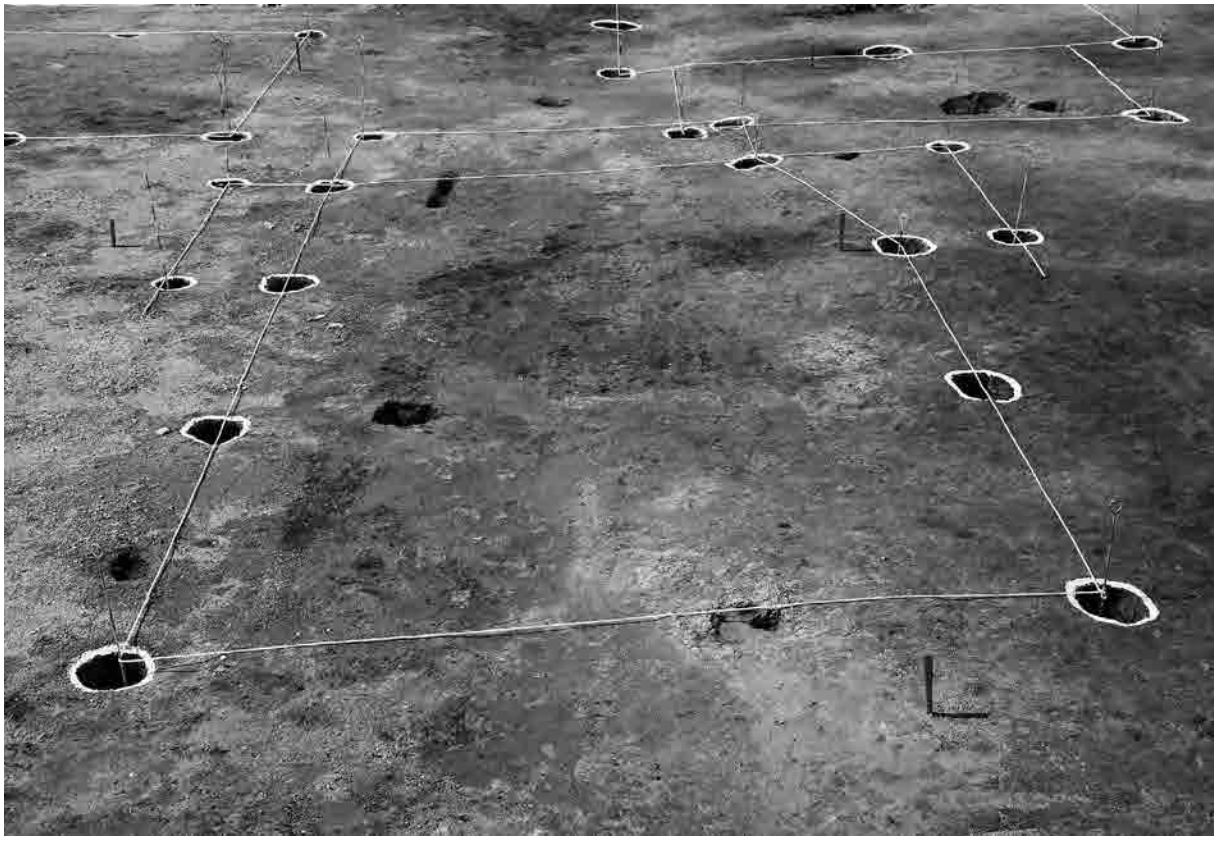


SB118　完掘

写真図版 83　SB117・118

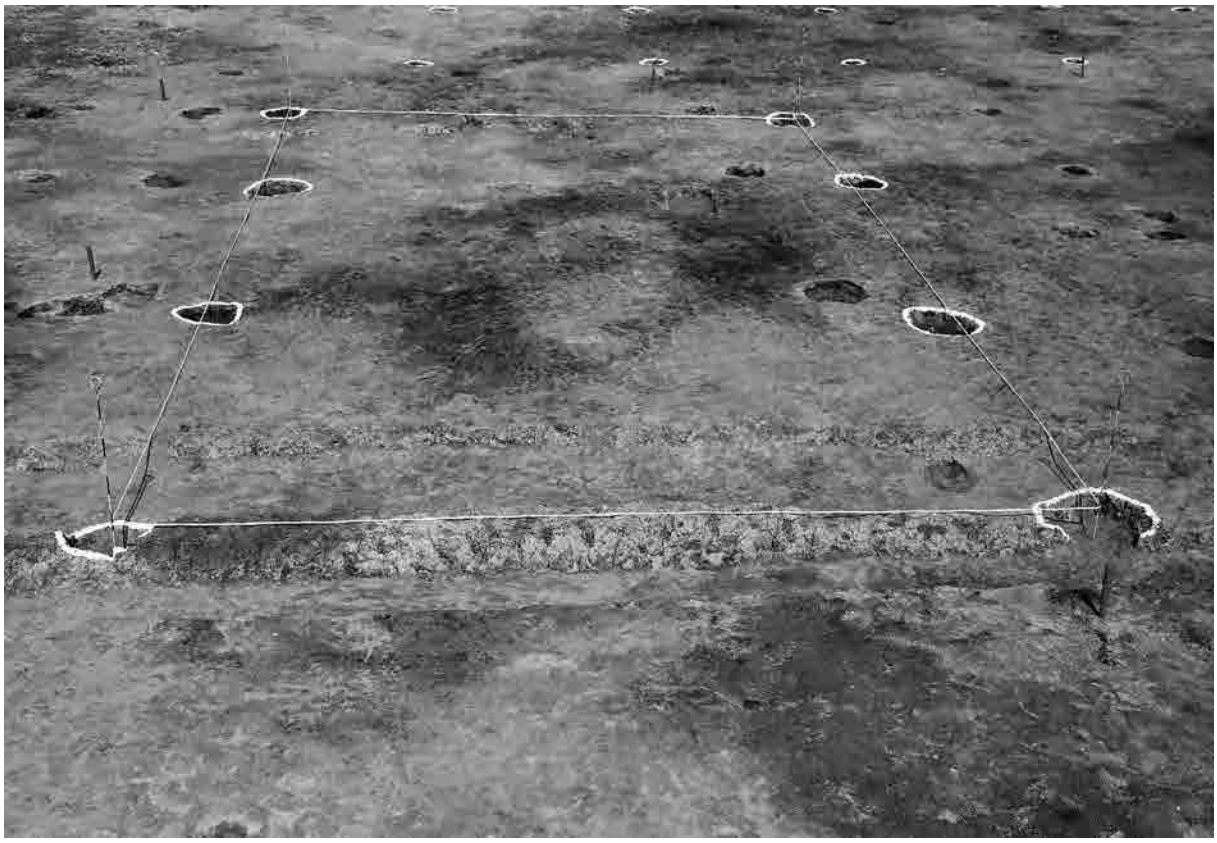


SB119　完掘

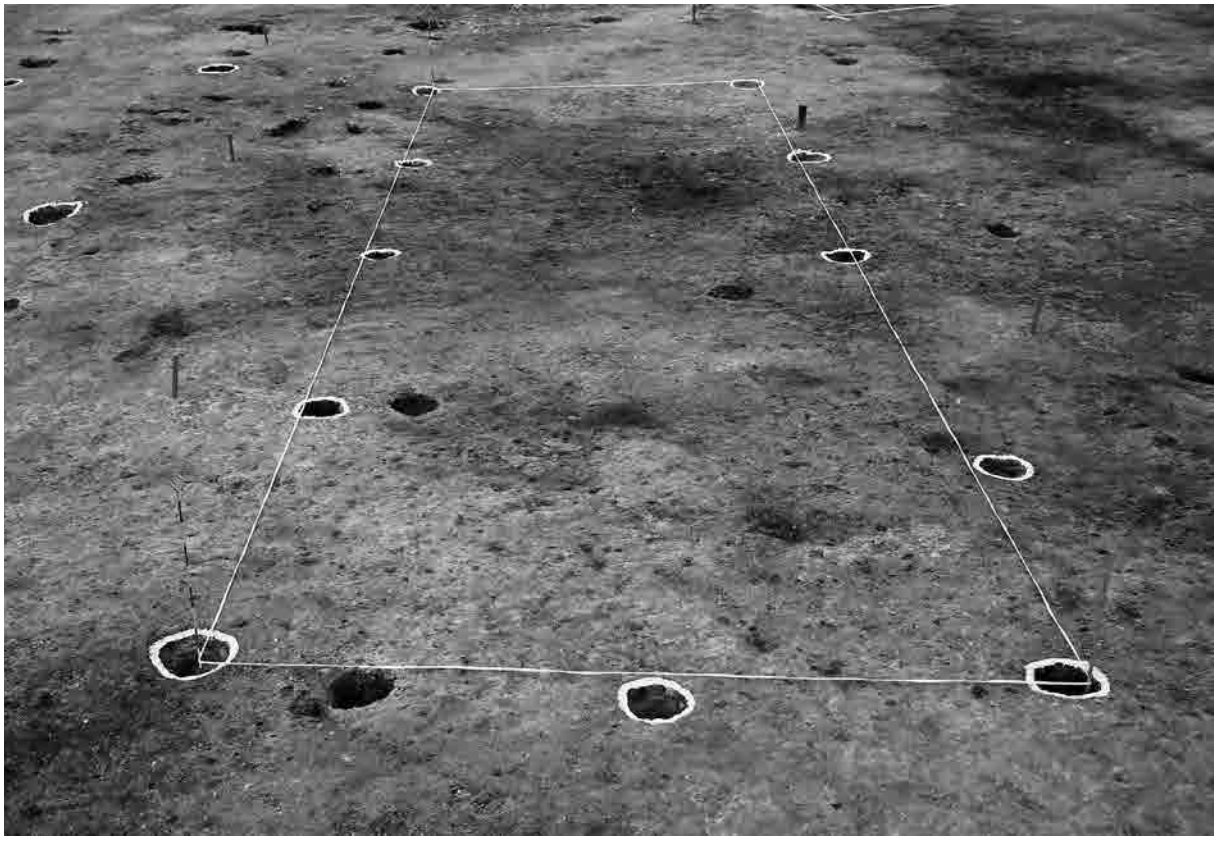


SB120　完掘

写真図版 84　SB119・120

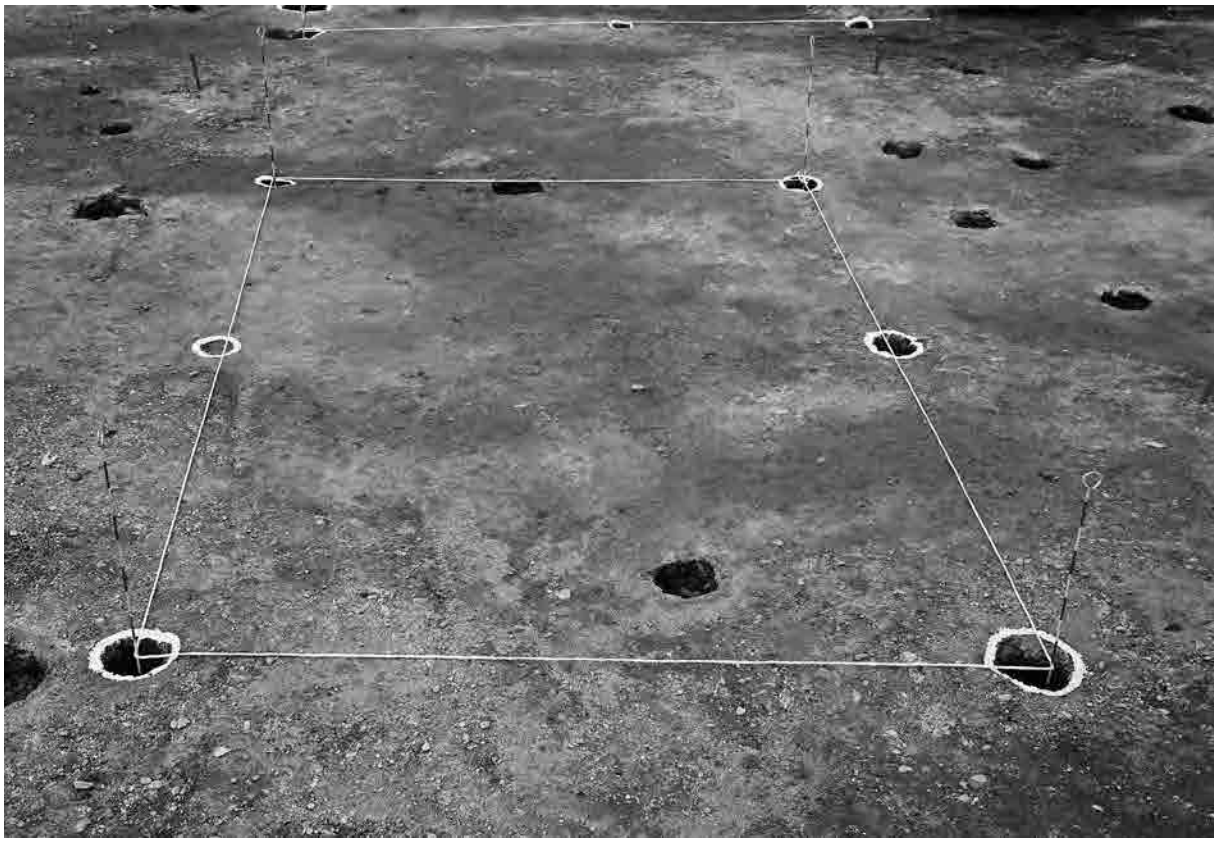


SB121　完掘

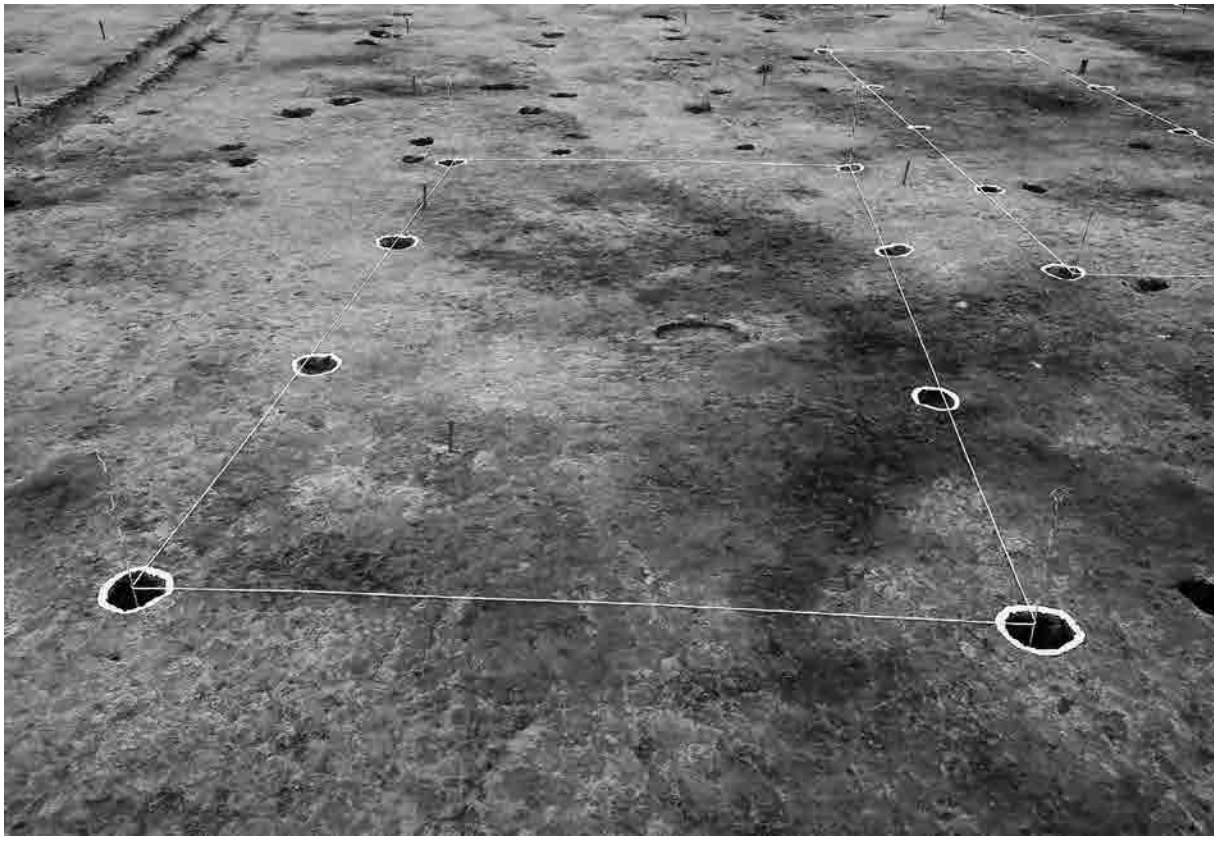


SB122　完掘

写真図版 85　SB121・122

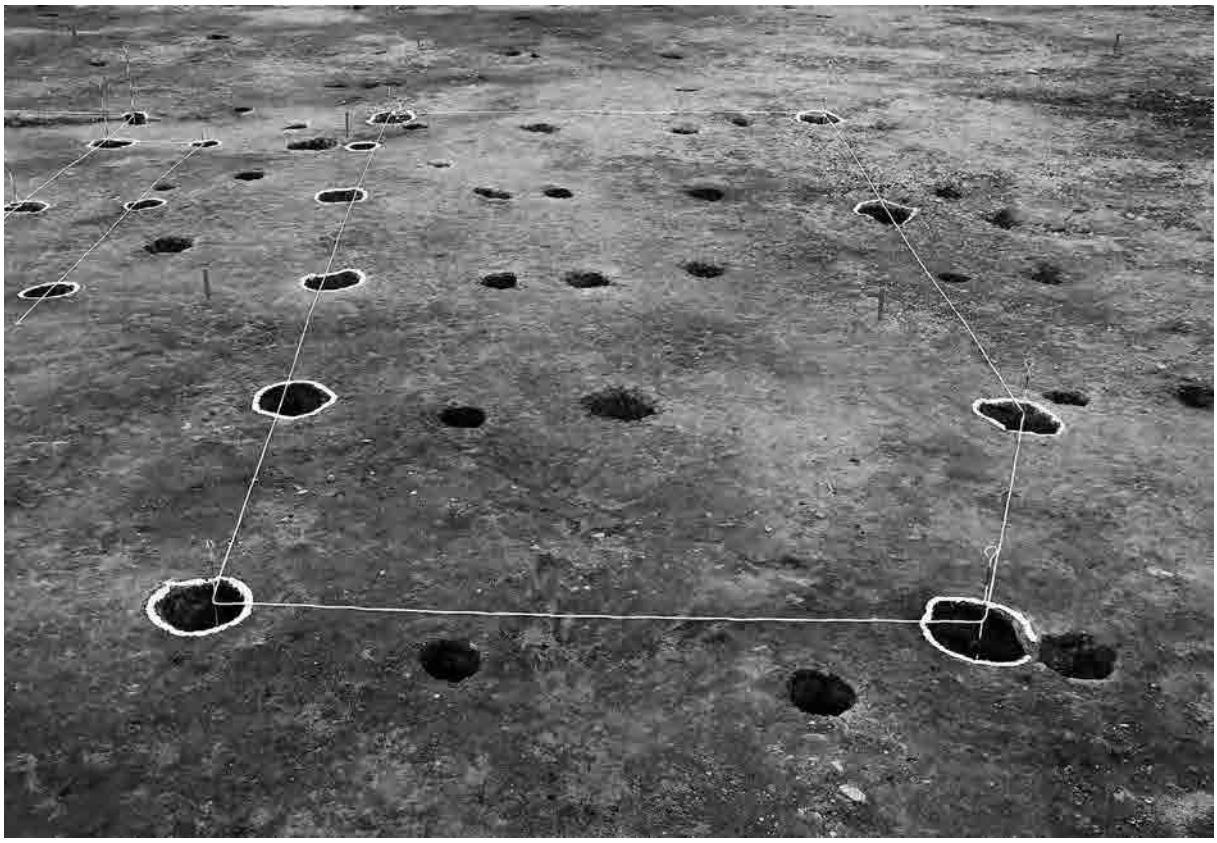


SB123　完掘



SB124　完掘

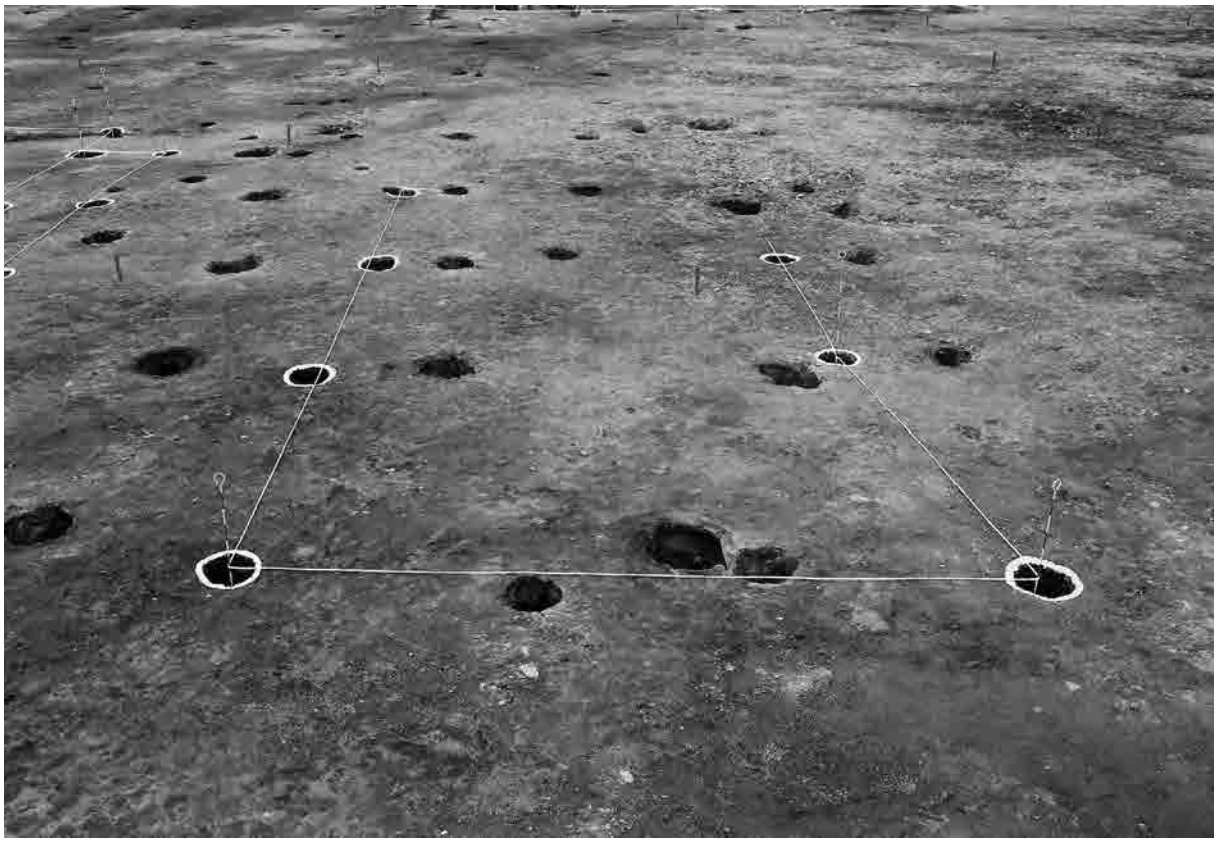
写真図版 86　SB123・124



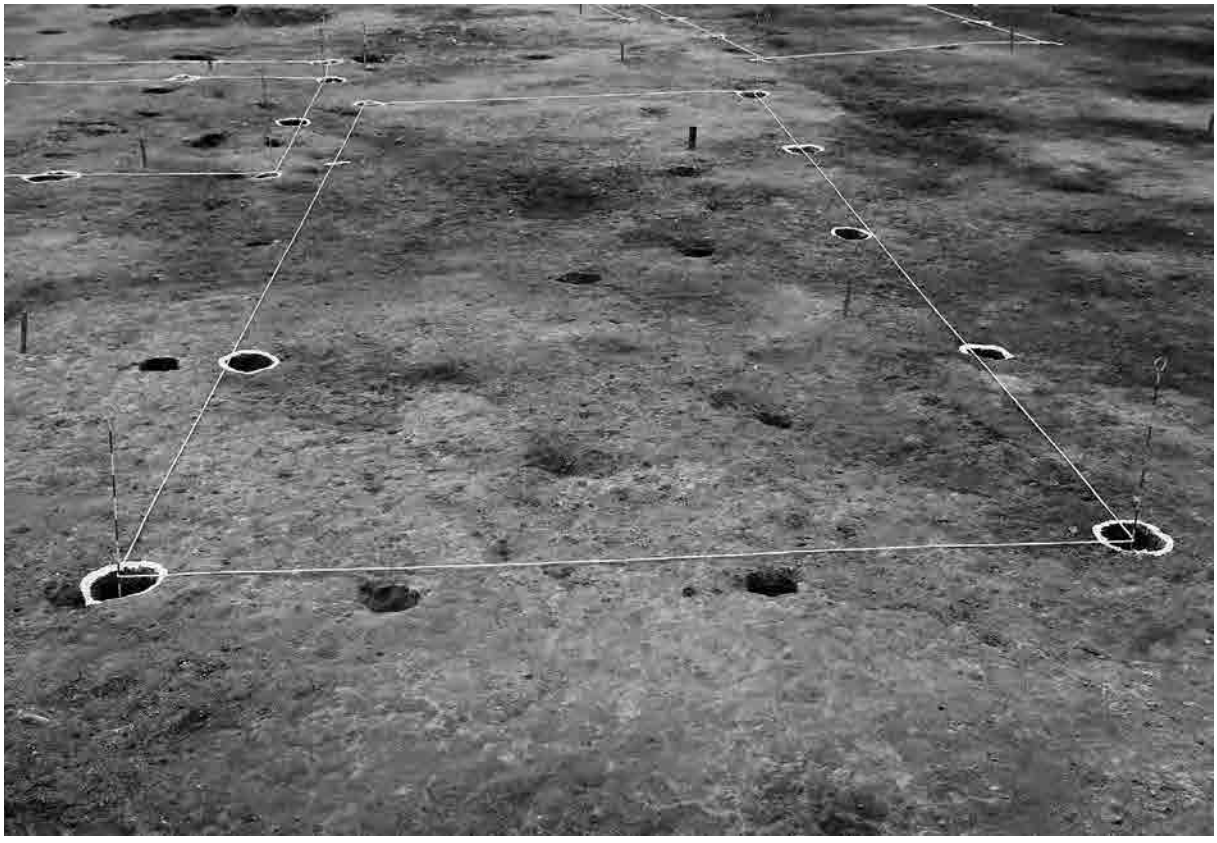
SB125　完掘

SB126　完掘

写真図版 87　SB125・126



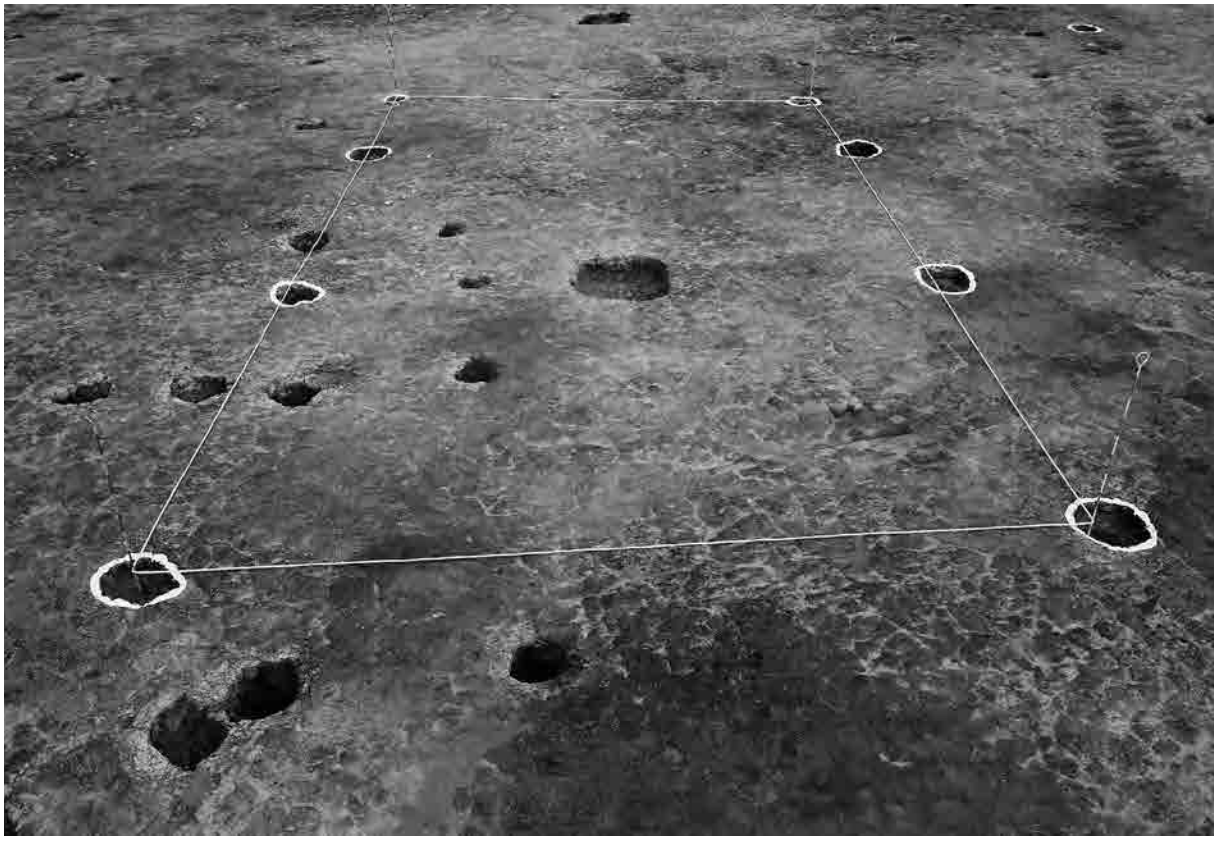
SB127　完掘



SB128　完掘

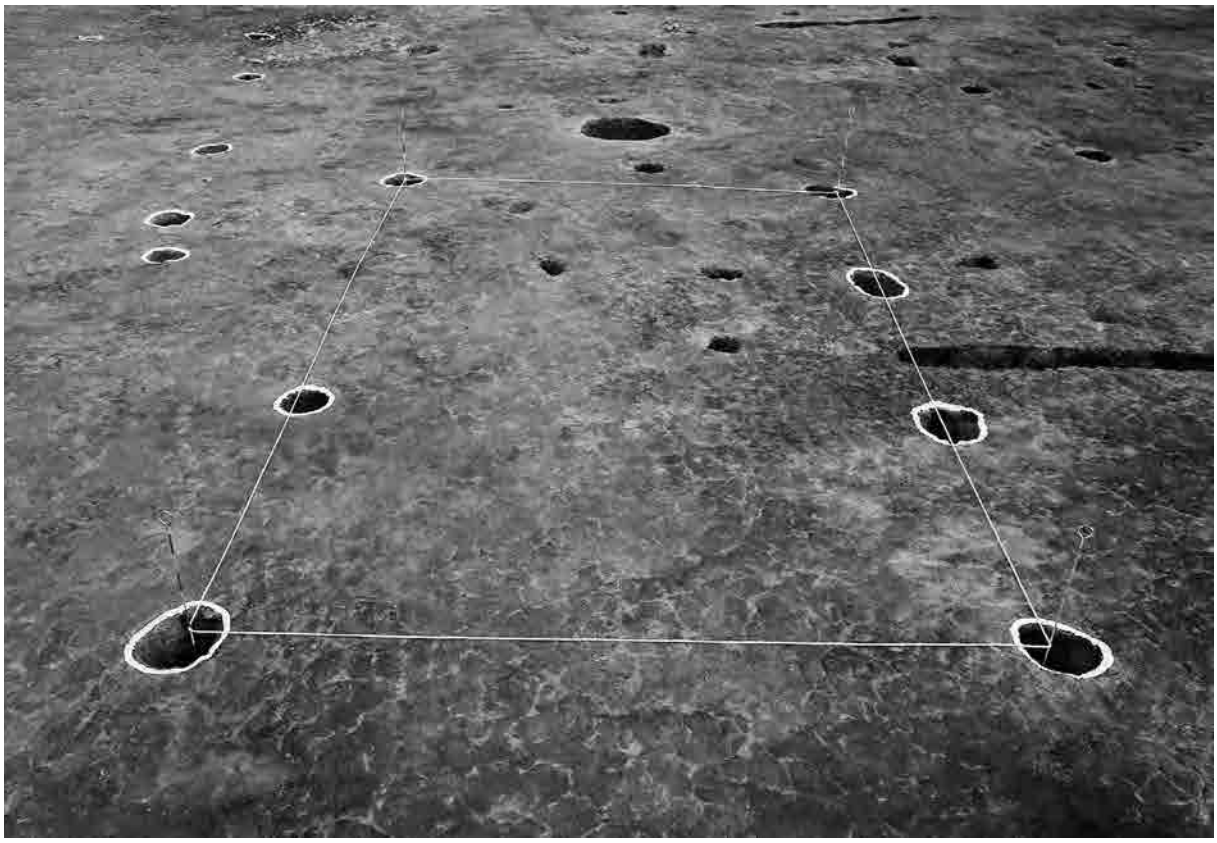
写真図版 88　SB127・128

SB129　完掘

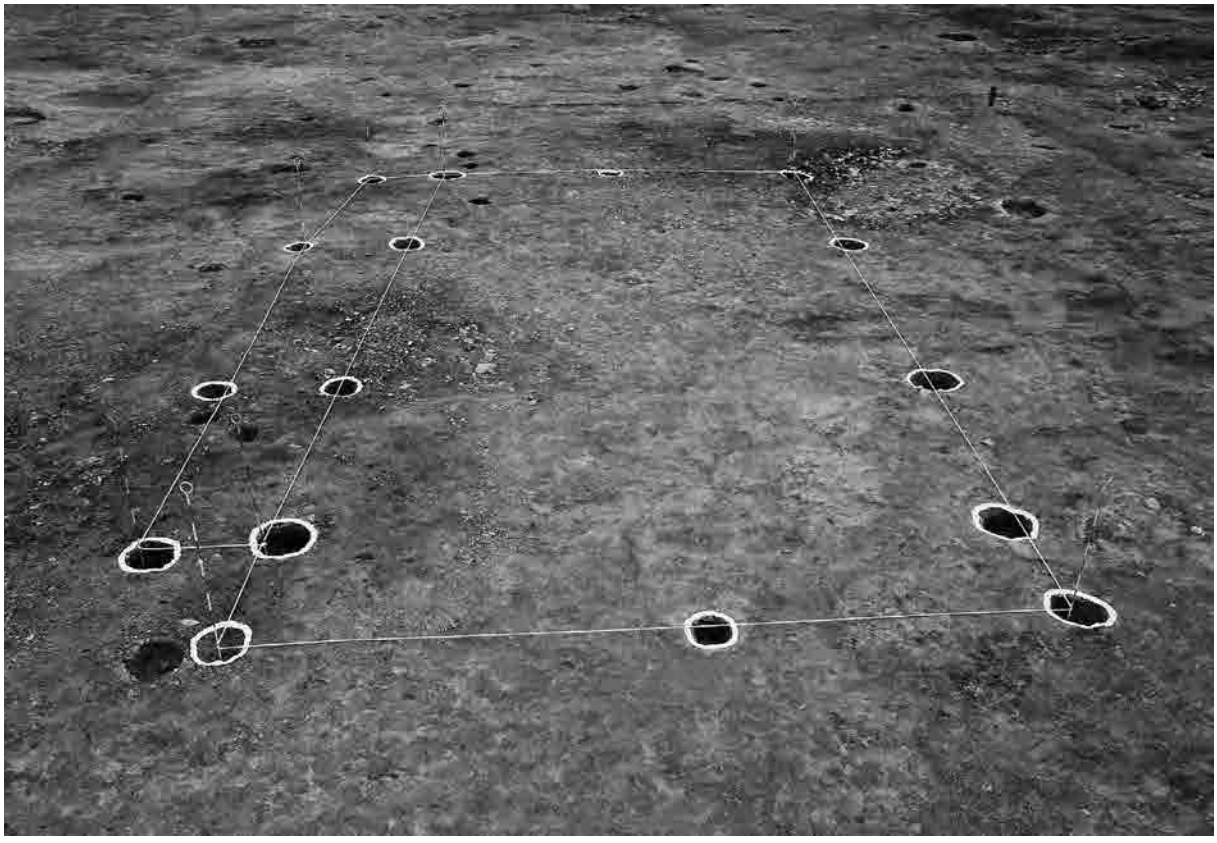


SB130　完掘

写真図版 89　SB129・130



SB131　完掘



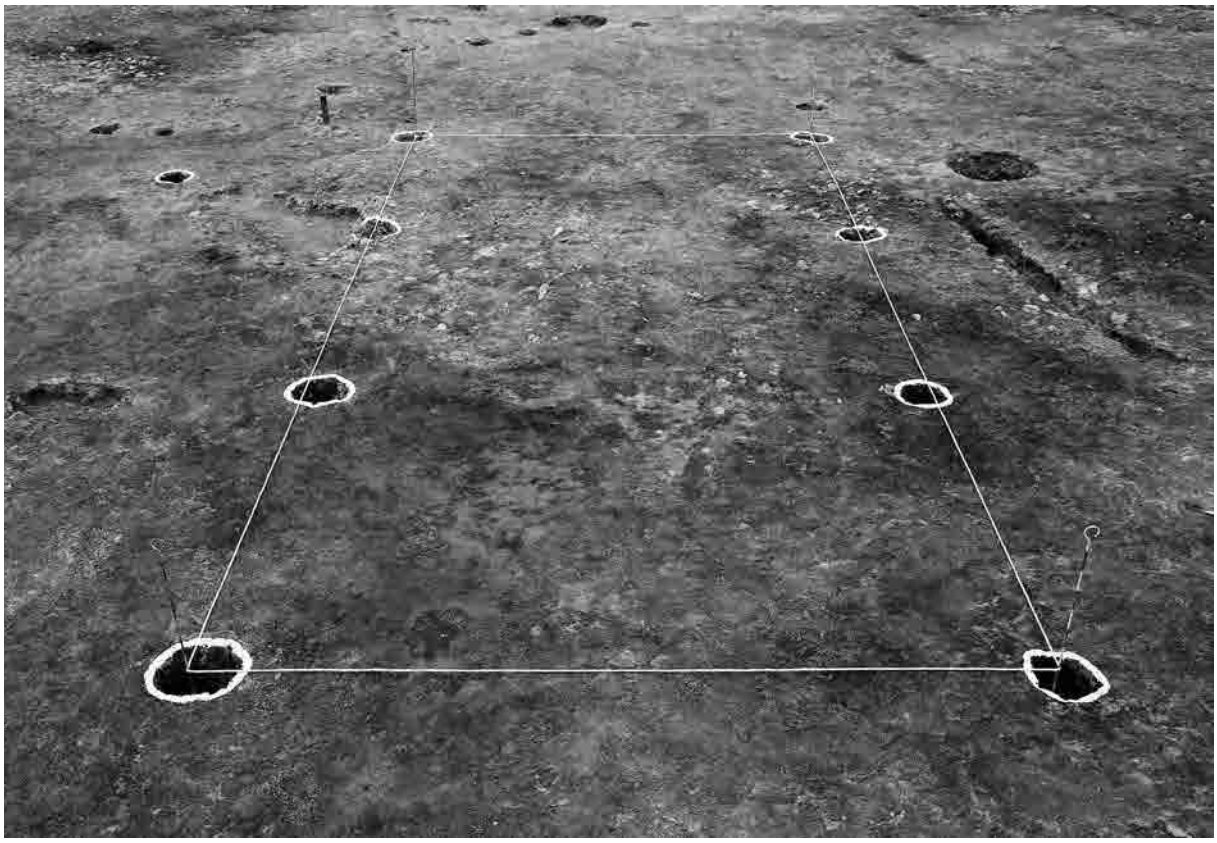
SB132　完掘

写真図版 90　SB131・132

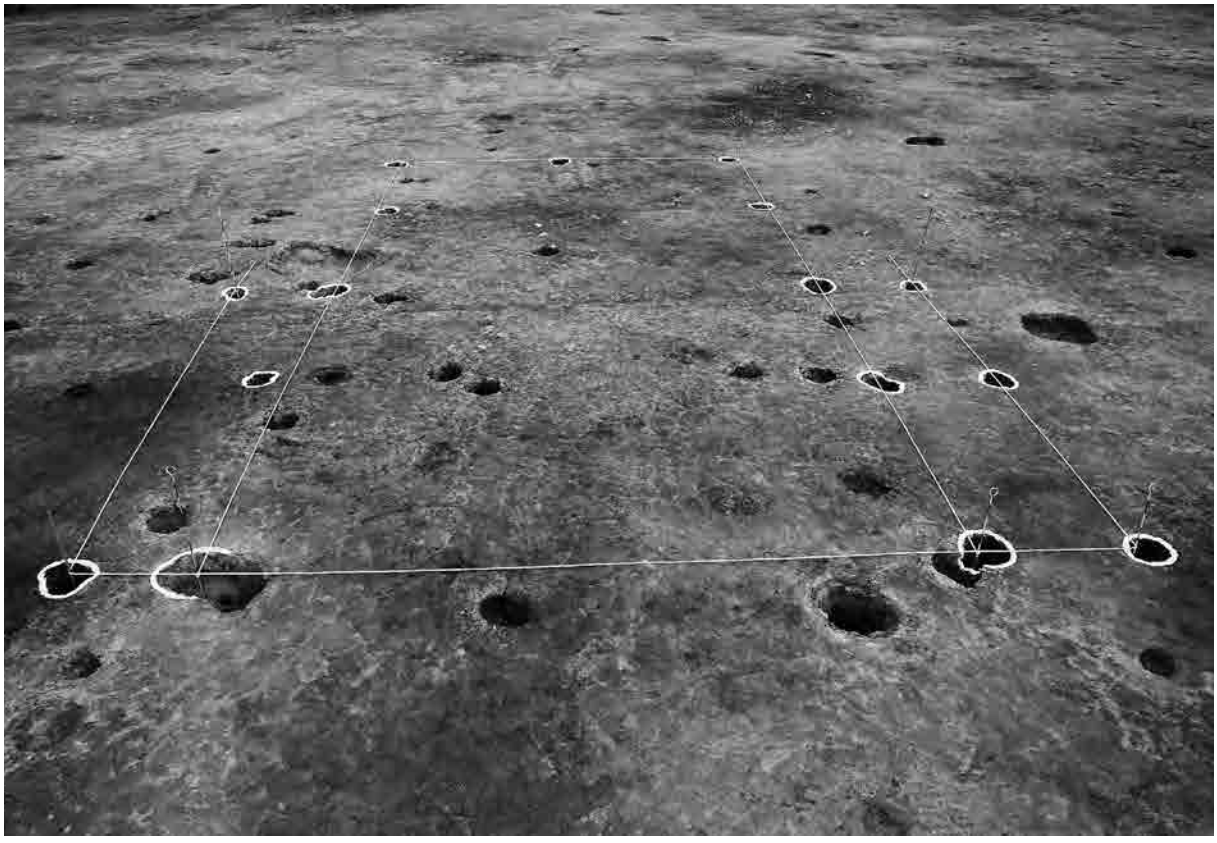
SB133　完掘

SB134　完掘

写真図版 91　SB133・134

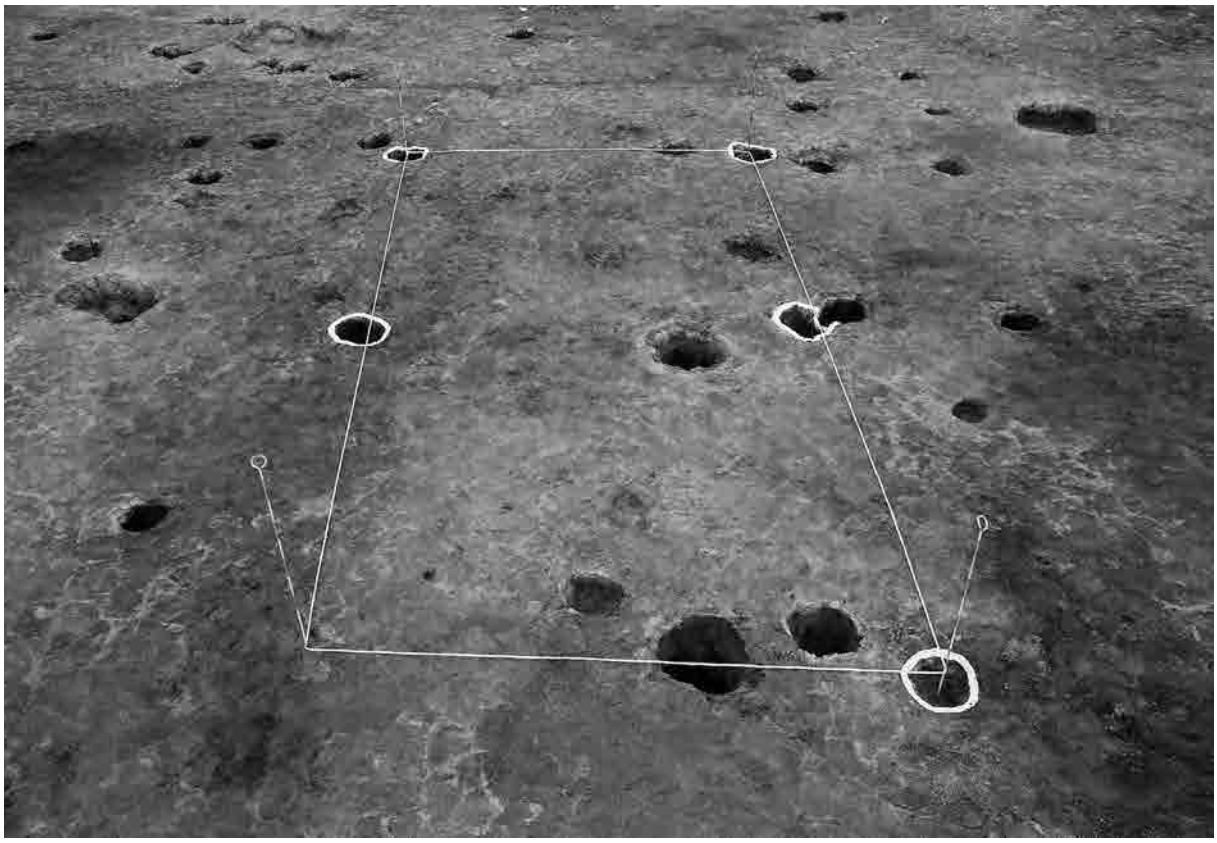


SB135　完掘



SB136　完掘

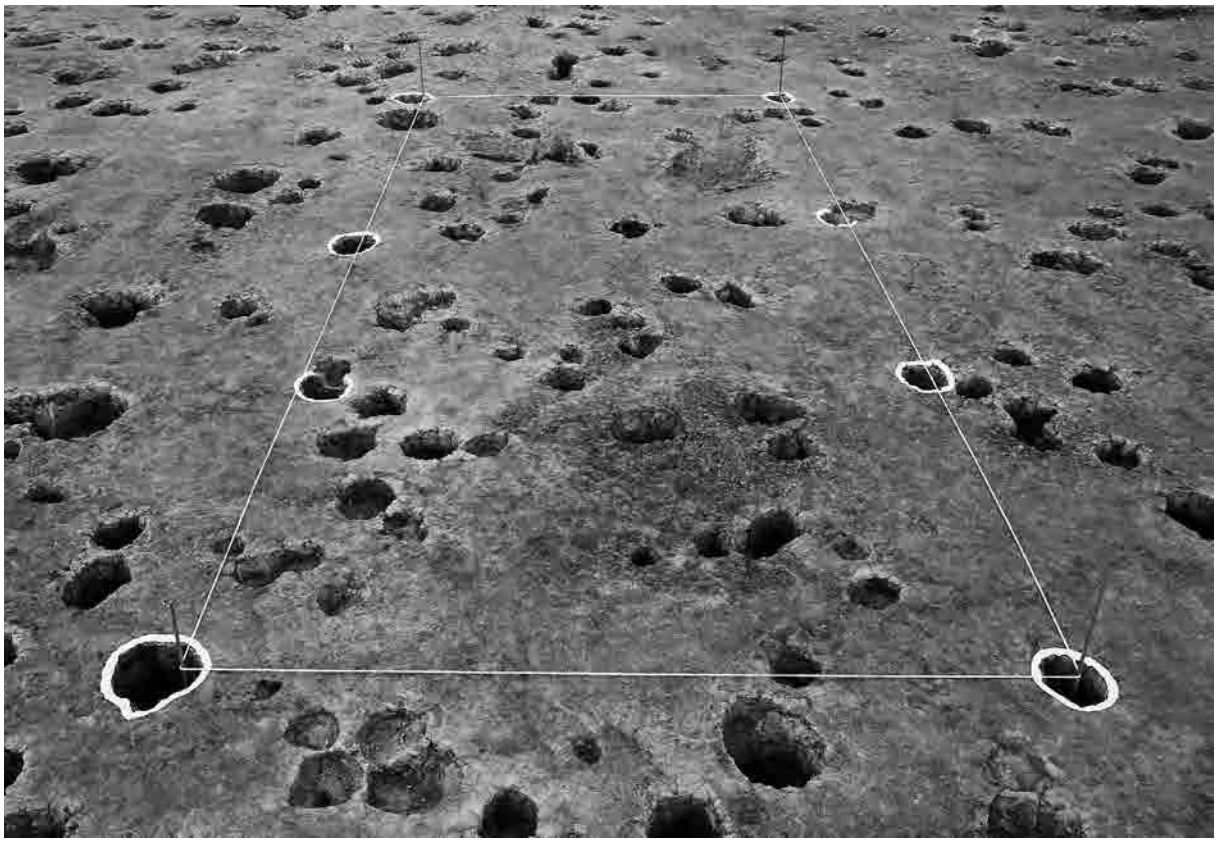
写真図版 92　SB135・136



SB137　完掘

SB138　完掘

写真図版 93　SB137・138



SB139　完掘

SB140　完掘

写真図版 94　SB139・140

SB141　完掘

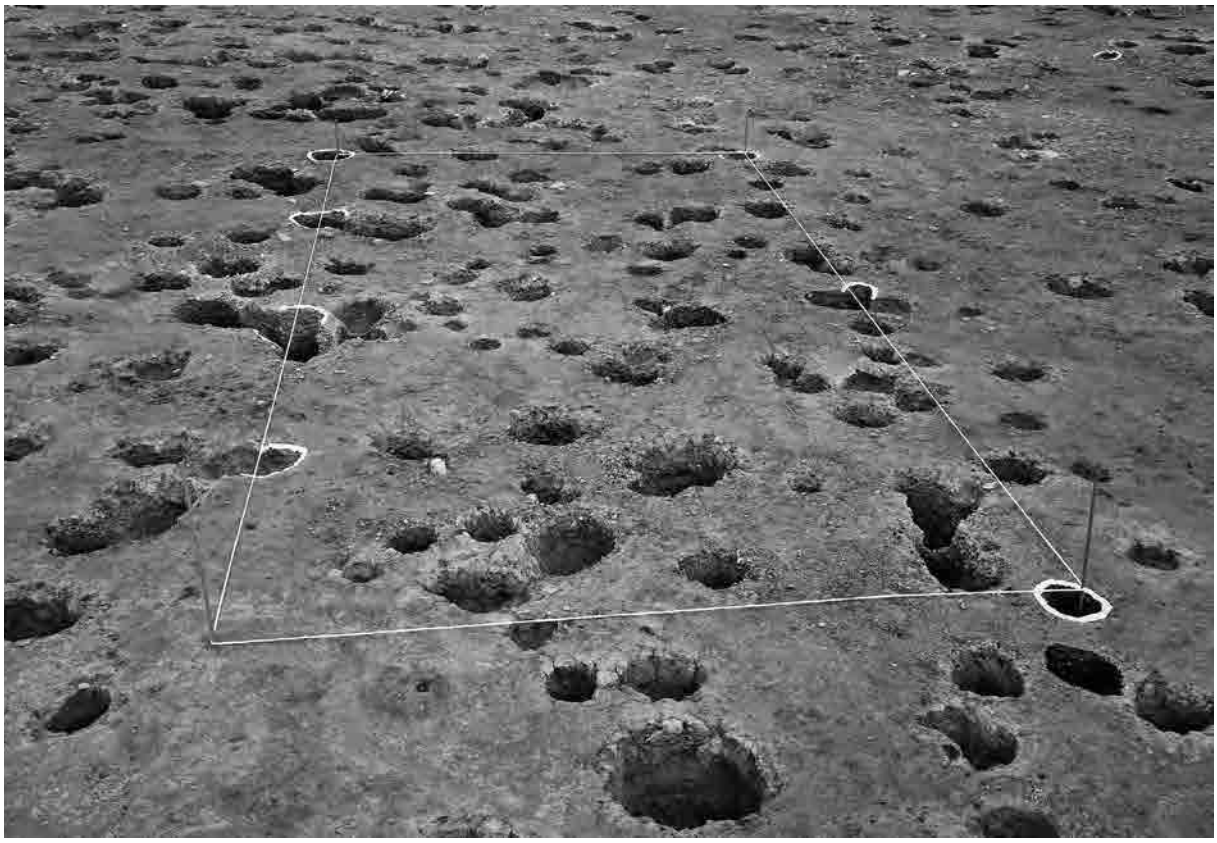
SB142　完掘

写真図版 95　SB141・142

SB143　完掘

SB144　完掘

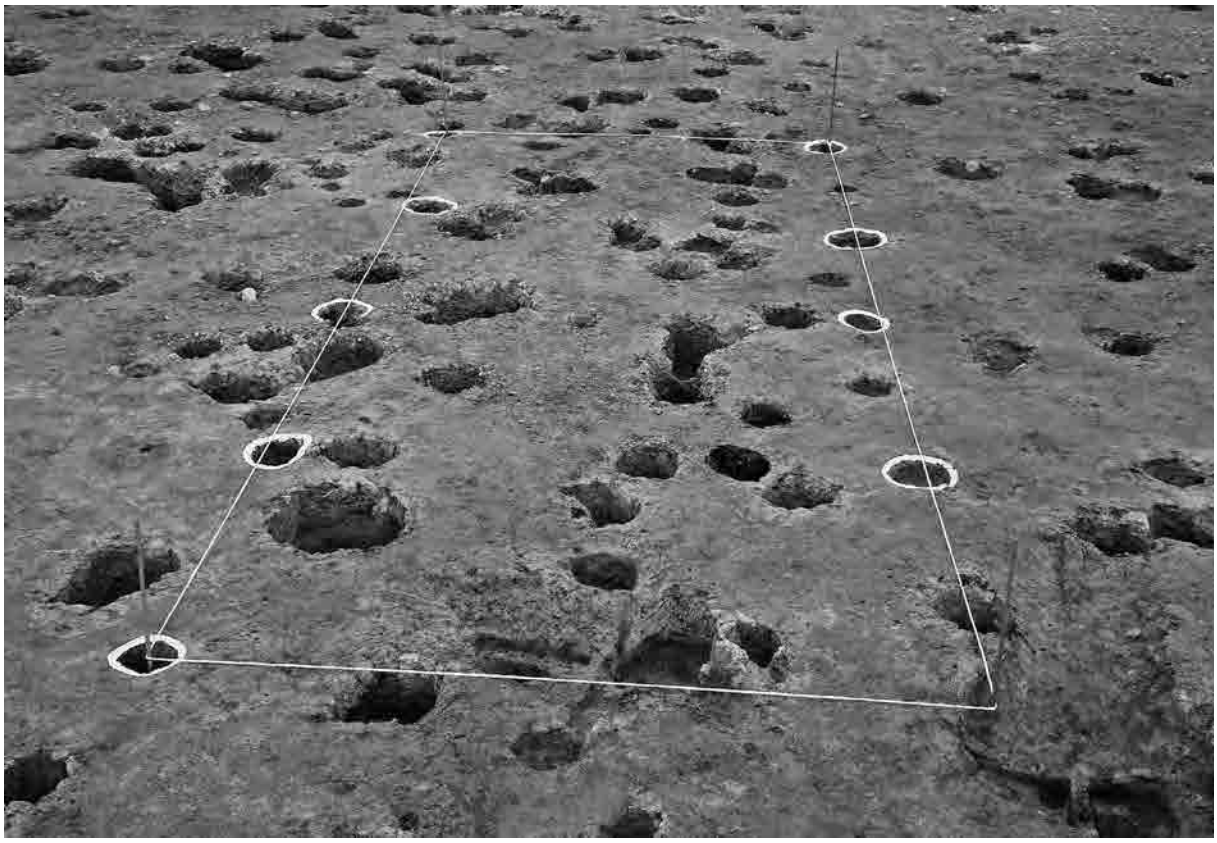
写真図版 96　SB143・144



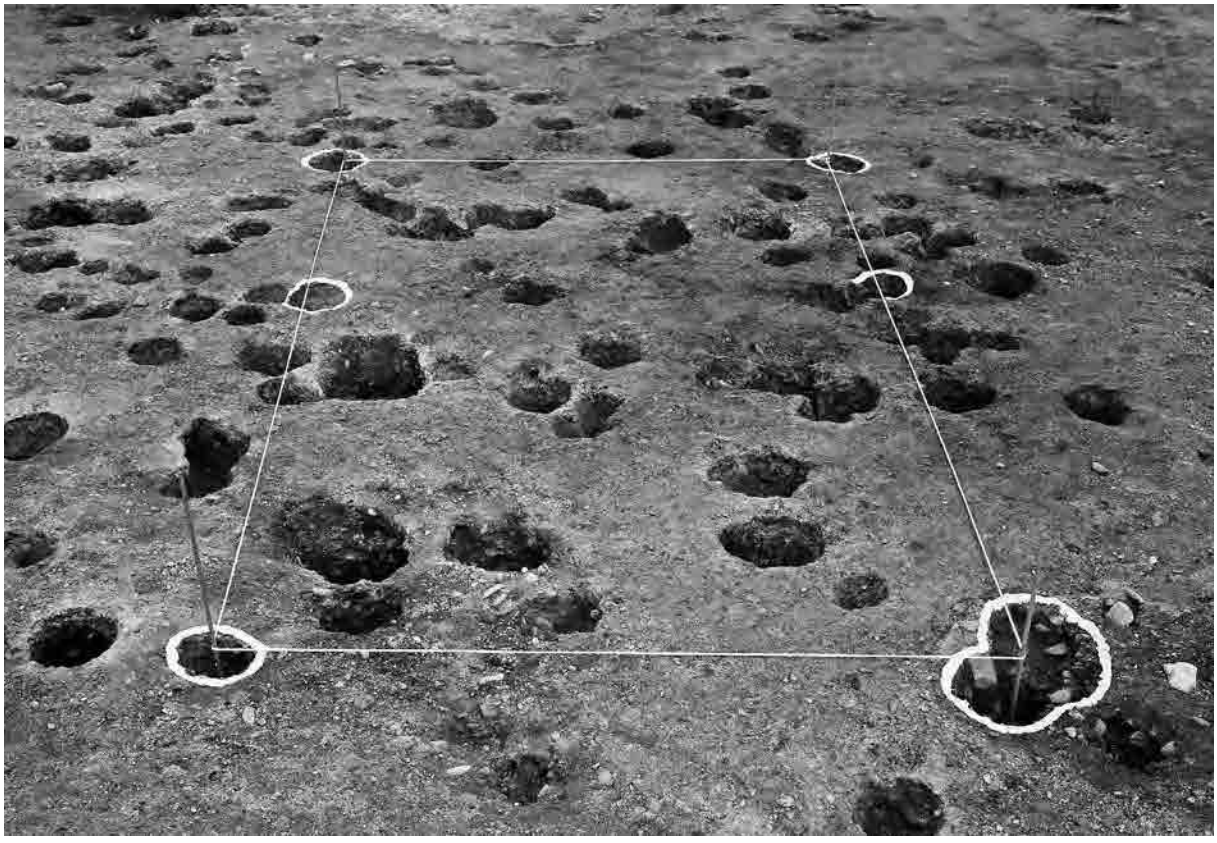
SB145　完掘

SB146　完掘

写真図版 97　SB145・146

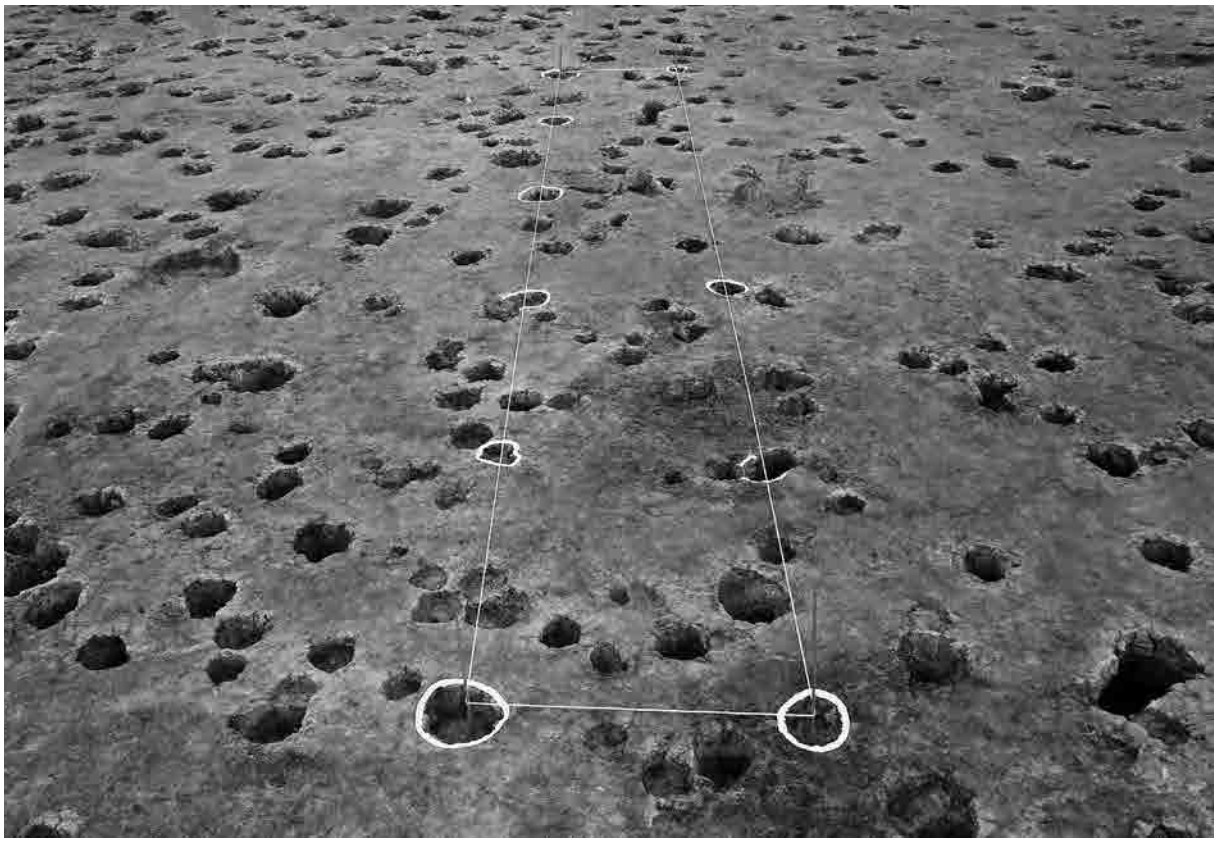


SB147　完掘



SB148　完掘

写真図版 98　SB147・148



SB149　完掘

SB150　完掘

写真図版 99　SB149・150

SB151　完掘

SB152　完掘

写真図版 100　SB151・152

SB153　完掘

SB154　完掘

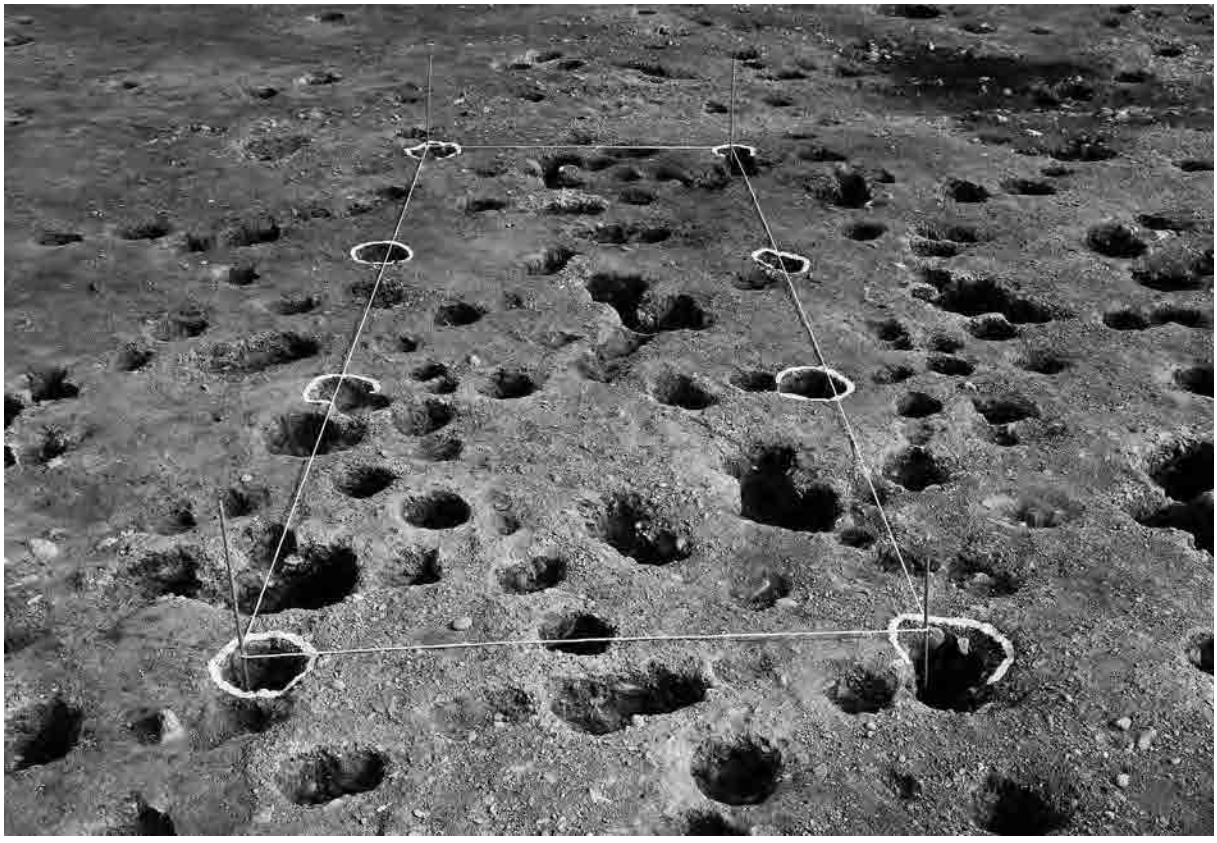
写真図版 101　SB153・154

SB155　完掘

SB156　完掘

写真図版 102　SB155・156

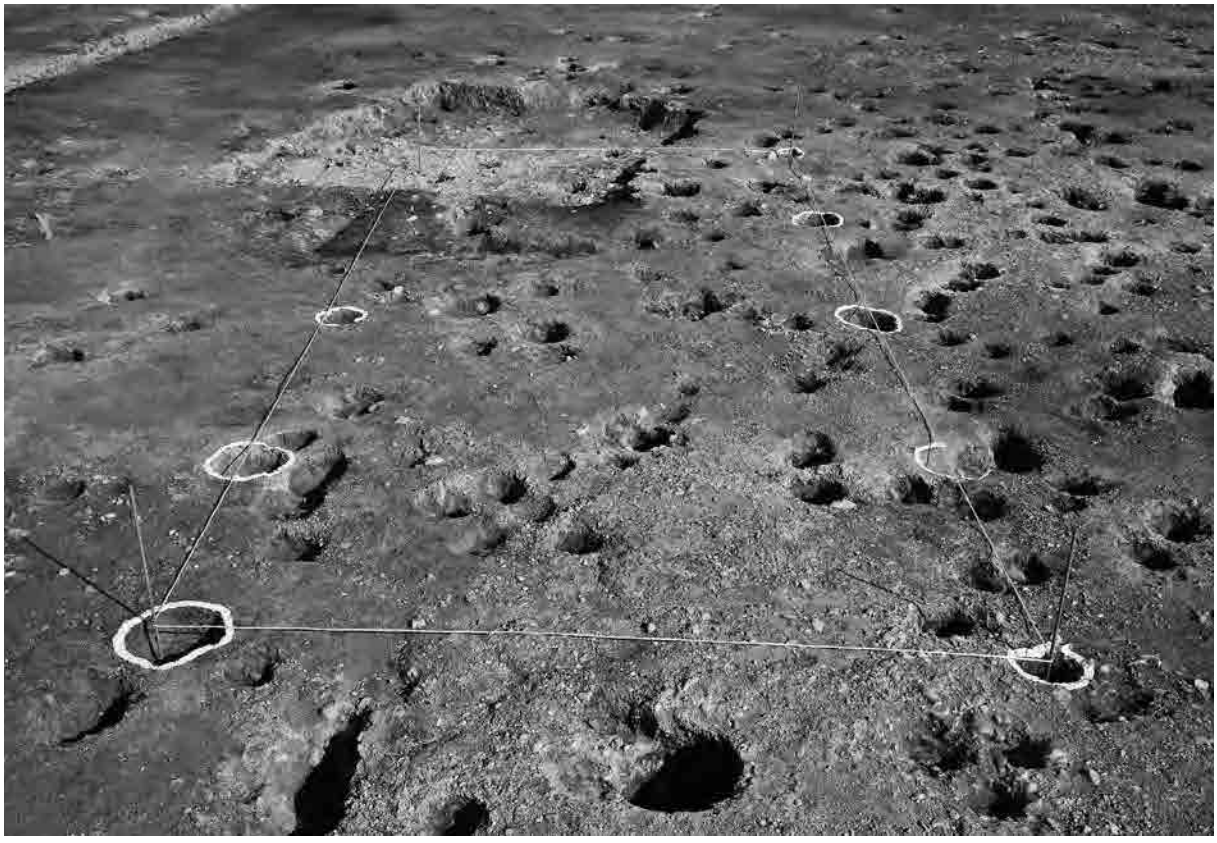
SB157　完掘



SB158　完掘

写真図版 103　SB157・158

SB159　完掘



SB160　完掘

写真図版 104　SB159・160

SB161　完掘

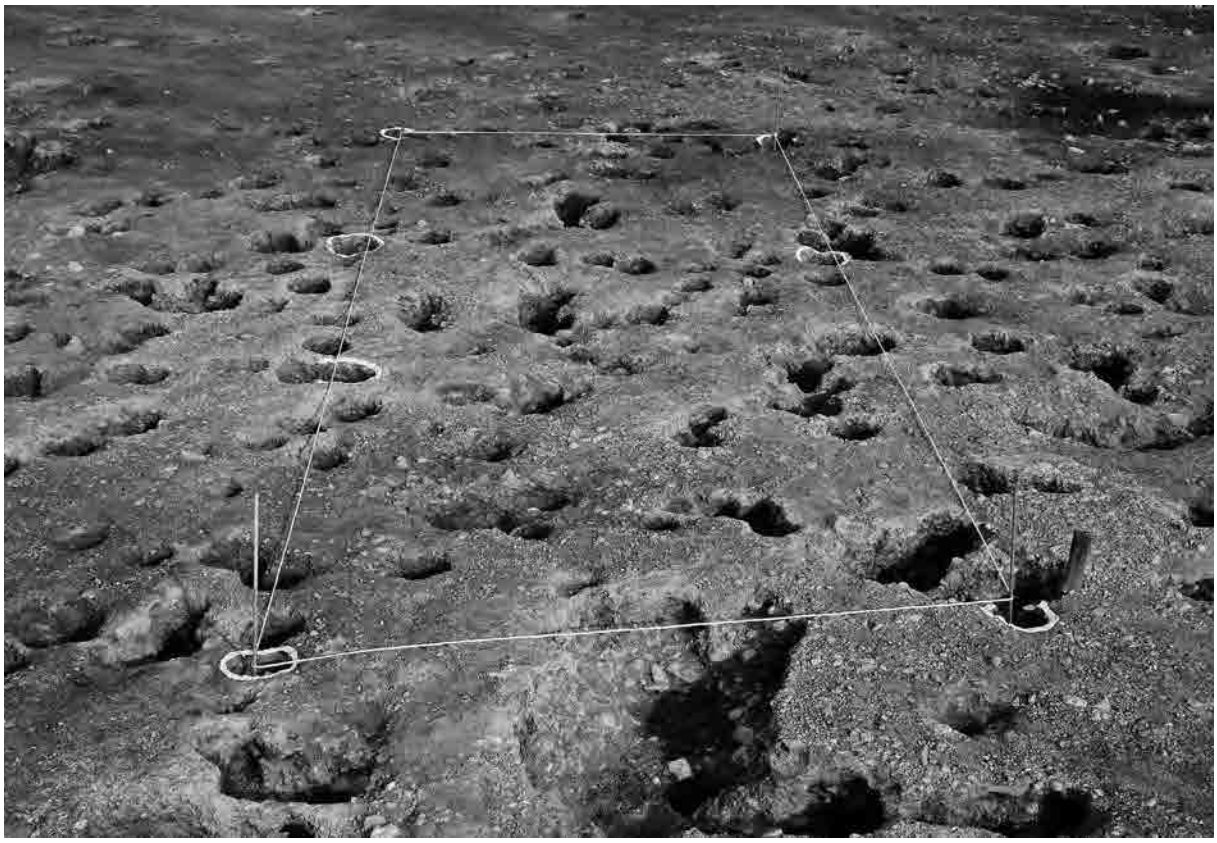
SB162　完掘

写真図版 105　SB161・162

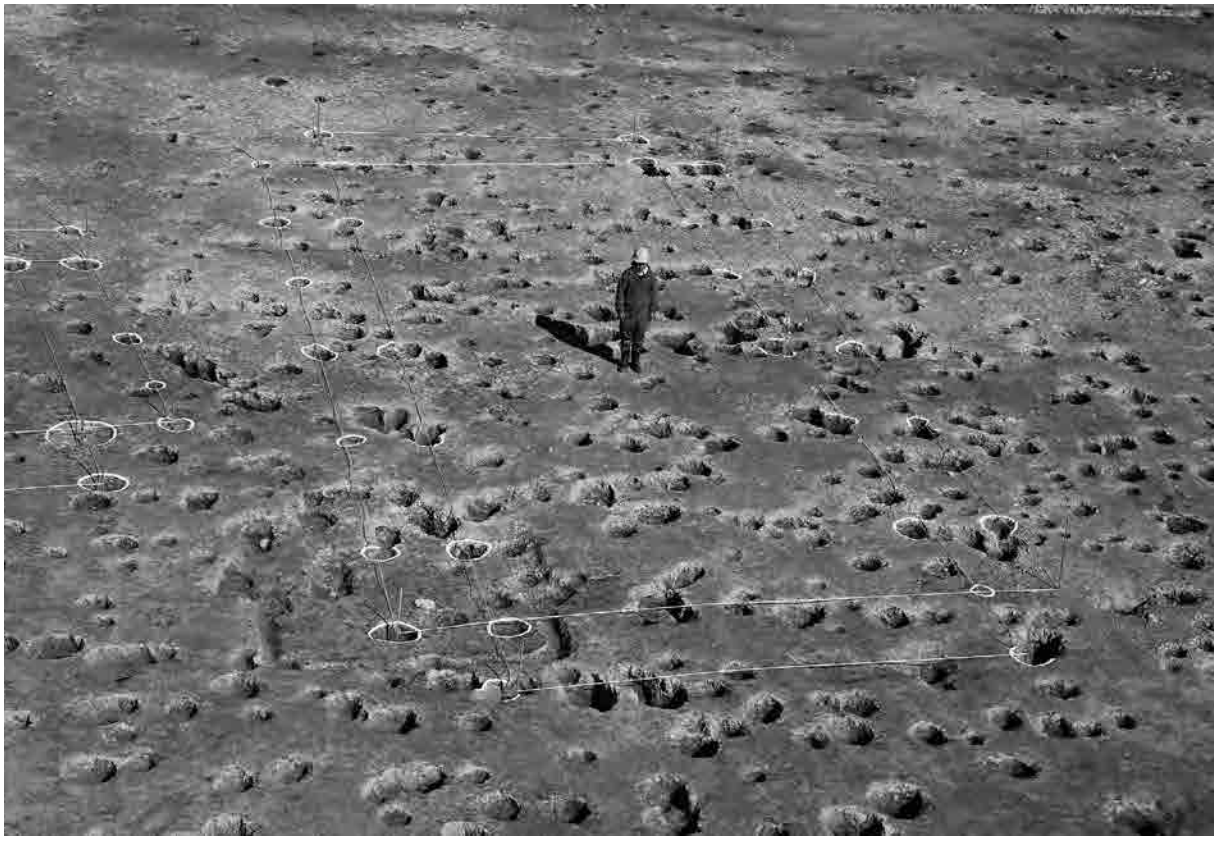
SB163　完掘

SB164　完掘

写真図版 106　SB163・164

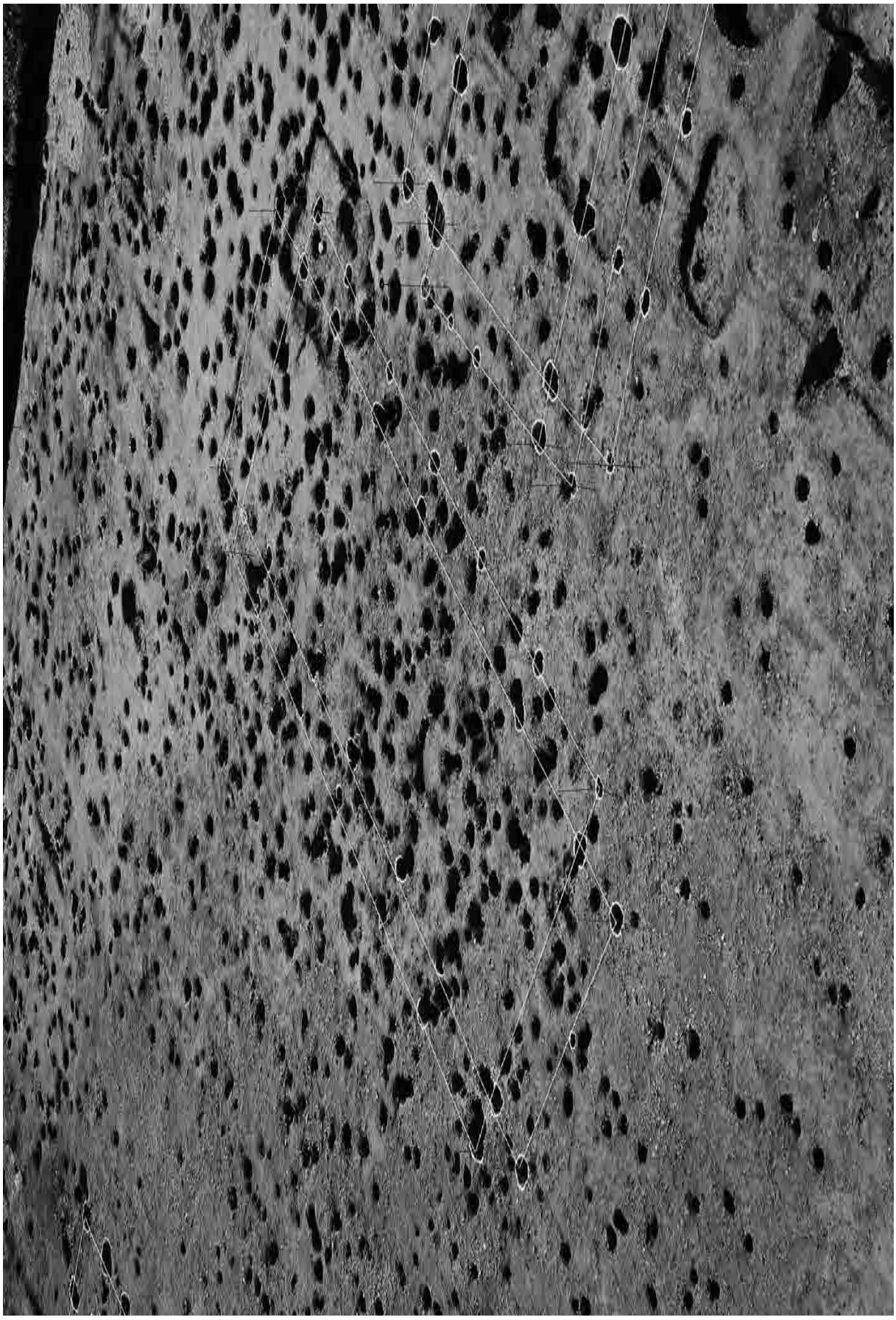


SB165　完掘



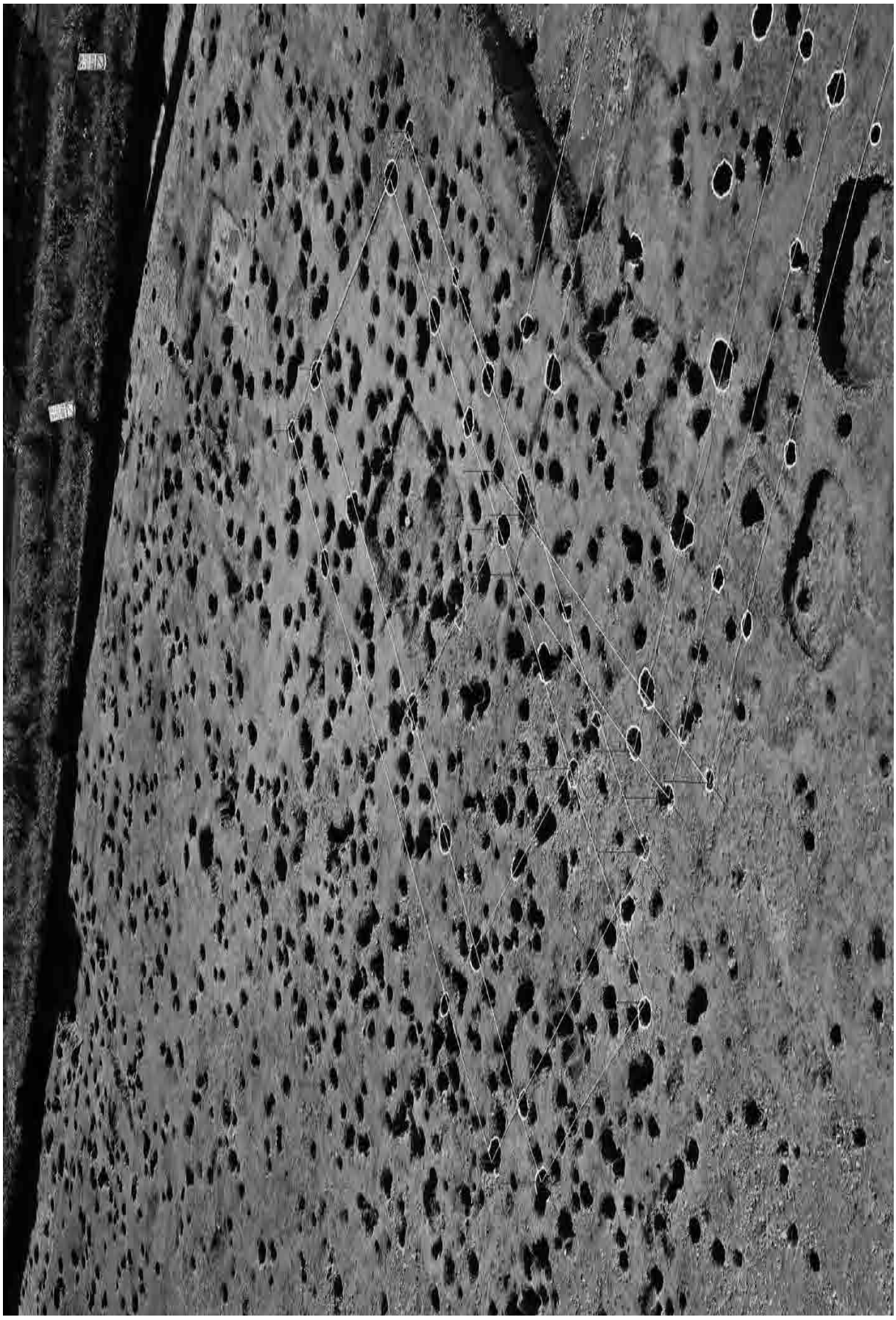
SB166　完掘

写真図版 107　SB165・166（1）



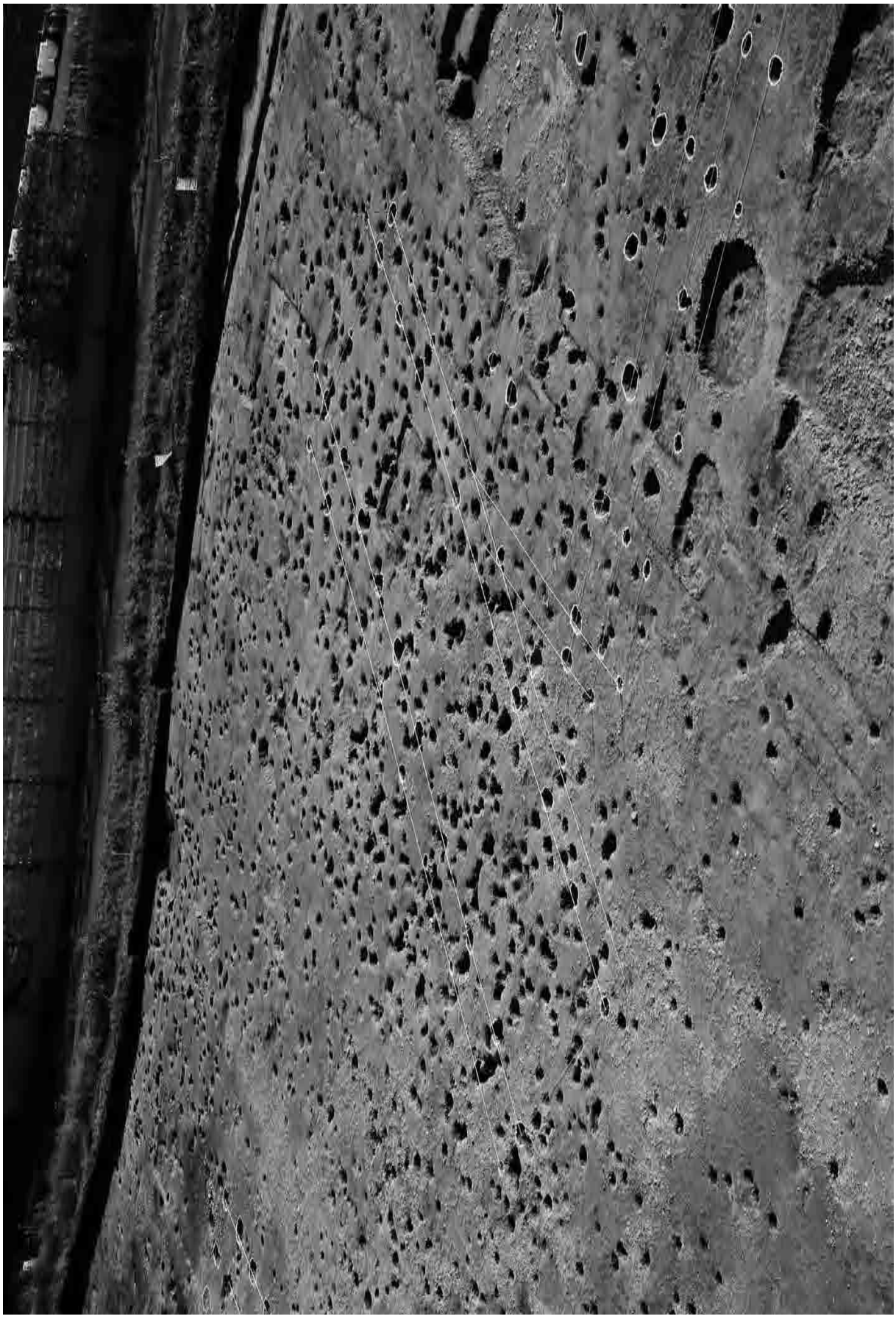
SB166　完掘

写真図版 108　SB166（2）



SB167　完掘

写真図版 109　SB167



SB168　完掘

写真図版 110　SB168

SX1　完掘

SX1　炭化材出土

SX1　A-A' ベルト断面

SX1　B-B' ベルト断面

SX1　断ち割り断面（A-A' ライン）

写真図版 111　SX1

SX2　完掘

SX2　A-A’ ベルト断面

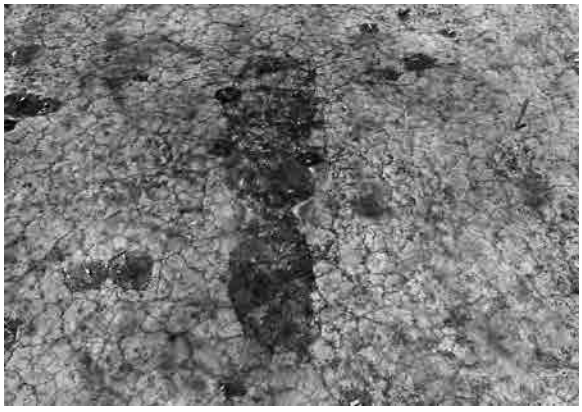
SX2　B-B’ ベルト断面

SX2　C-C’ ベルト断面

SX2　掘方完掘

写真図版 112　SX2

SX3　完掘



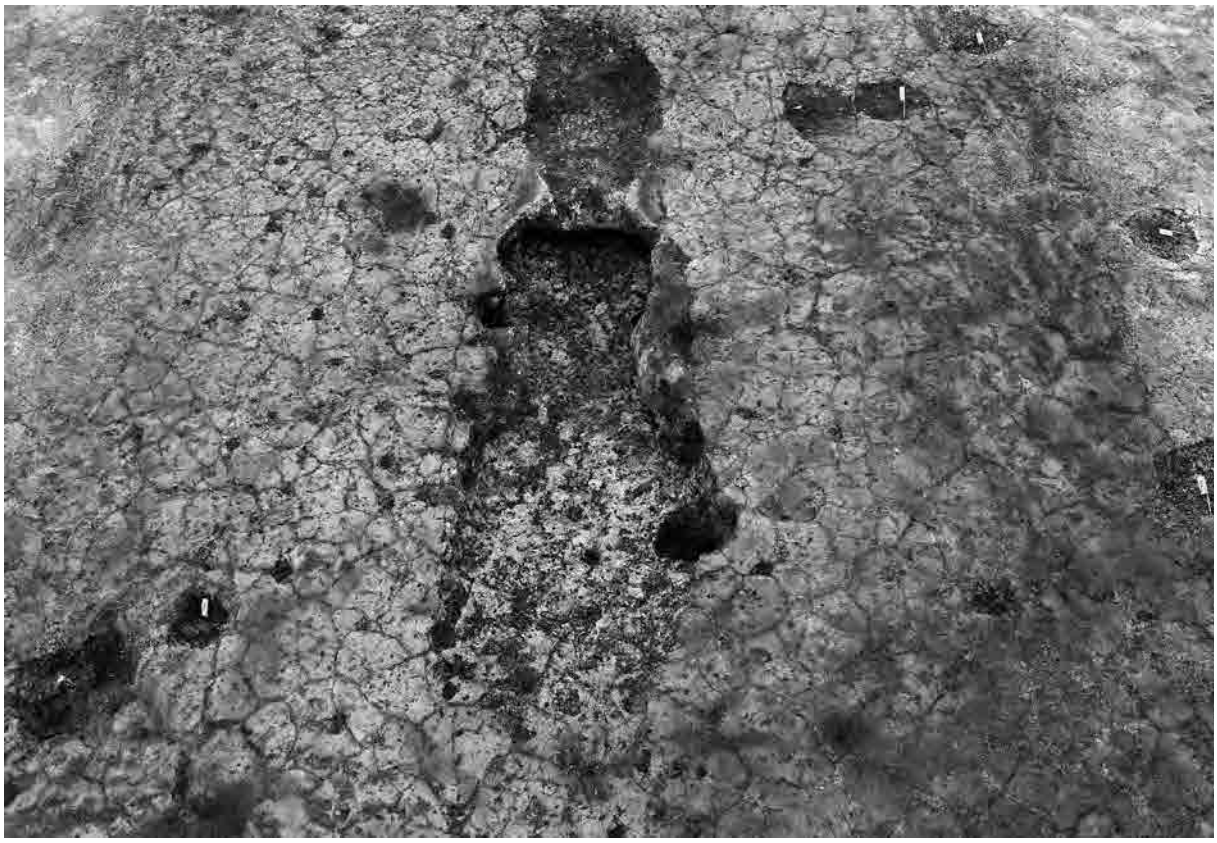
SX3・4　検出

SX3　A-A' ベルト断面

SX3　D-D' ベルト断面

SX3　断ち割り断面（D-D' ライン）

写真図版 113　SX3



SX4　完掘

SX4　燃焼部炭化材出土

SX4　A-A’ ベルト断面

SX4　B-B’ ベルト断面

SX4　C-C’ ベルト断面

写真図版 114　SX4

SX5　完掘

SX5　A-A' ベルト断面

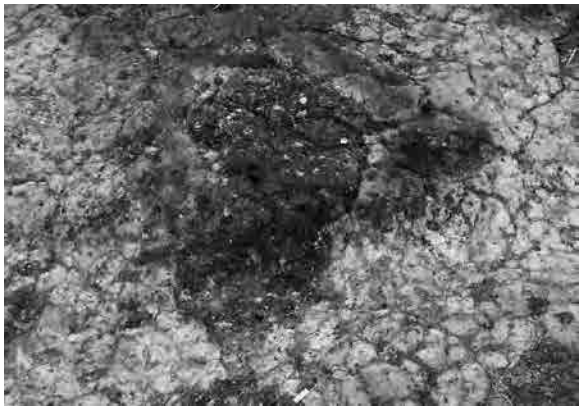
SX5　C-C' ベルト断面

SX5　D-D' ベルト断面

SX5　煙道断面（B-B' ライン）

写真図版 115　SX5

SX6　完掘



SX6　検出

SX6　A-A' ベルト断面

SX6　B-B' ベルト断面

SX6　断ち割り断面（B-B' ライン）

写真図版 116　SX6

SX7　完掘

SX7　検出

SX7　A-A’ ベルト断面

SX7　B-B’ ベルト断面

SX7　C-C’ ベルト断面

写真図版 117　SX7

SX8　完掘

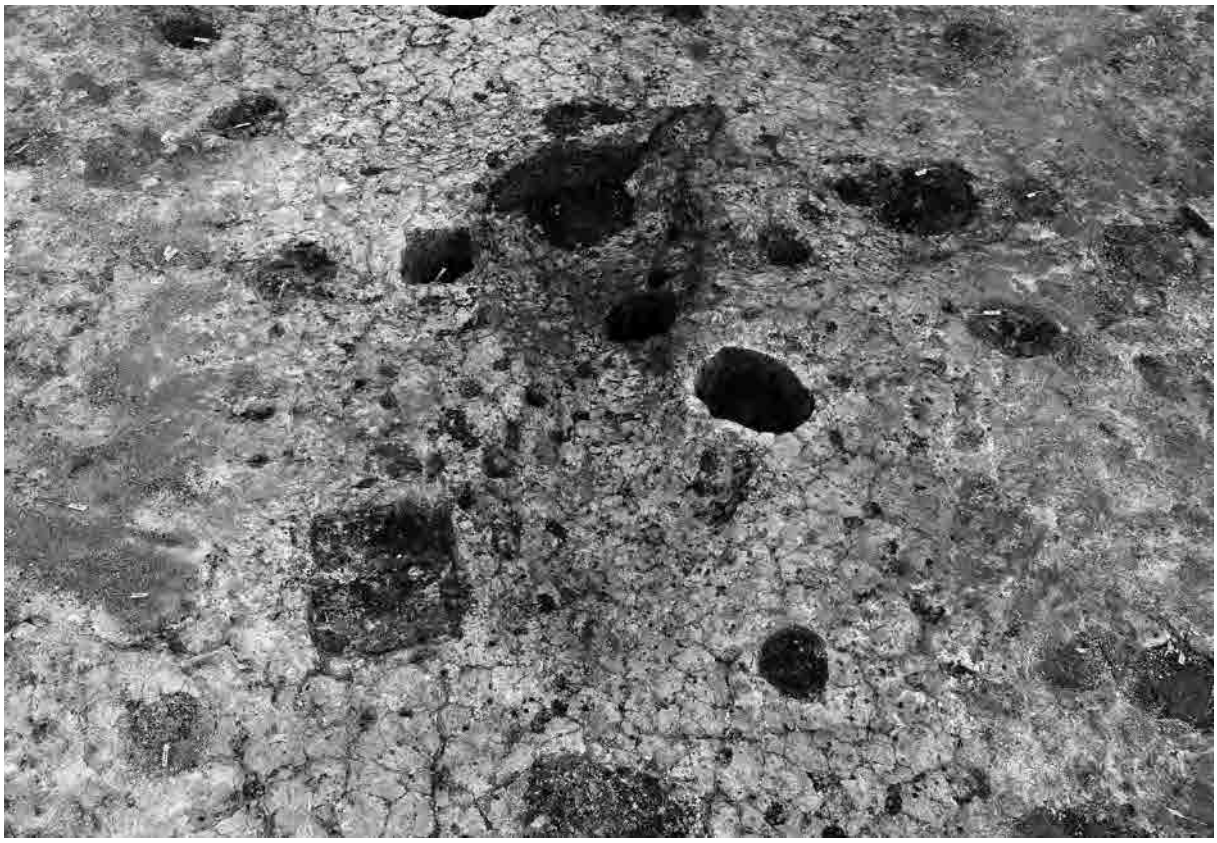
SX8　A-A' ベルト断面

SX8　煙道断面（B-B' ライン）

SX8　C-C' ベルト断面

SX8　D-D' ベルト断面

写真図版 118　SX8



SX9　完掘

SX9　A-A’ ベルト断面

SX9　C-C’ ベルト断面

SX9　D-D’ ベルト断面

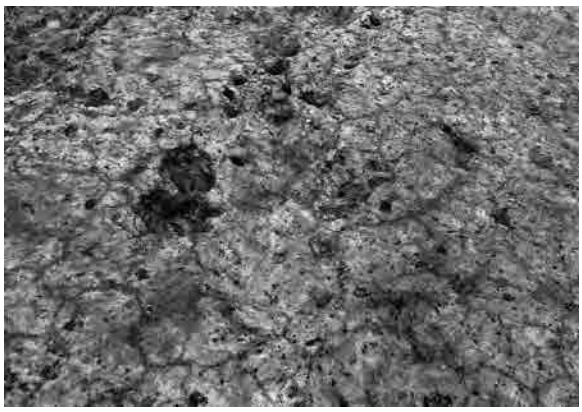
SX9　断ち割り断面（C-C’ ライン）

写真図版 119　SX9

SX10　完掘

SX10　A-A' ベルト断面

SX10　B-B' ベルト断面



SX12　完掘

SX12　A-A' ベルト断面

写真図版 120　SX10・12

SX11　完掘

SX11・15　検出

SX11・15　A-A' ベルト断面

SX11　B-B' ベルト断面

SX11　C-C' ベルト断面

写真図版 121　SX11・15（1）

SX13　完掘

SX13　A-A' ベルト断面

SX13　B-B' ベルト断面

SX13　C-C' ベルト断面

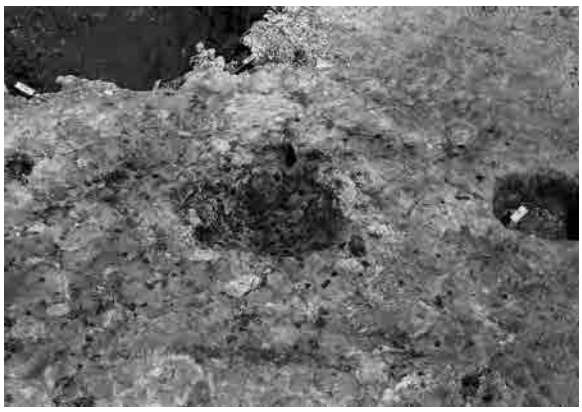
SX13　断ち割り断面（B-B' ライン）

写真図版 122　SX13

SX14　完掘

SX14　A-A' ベルト断面

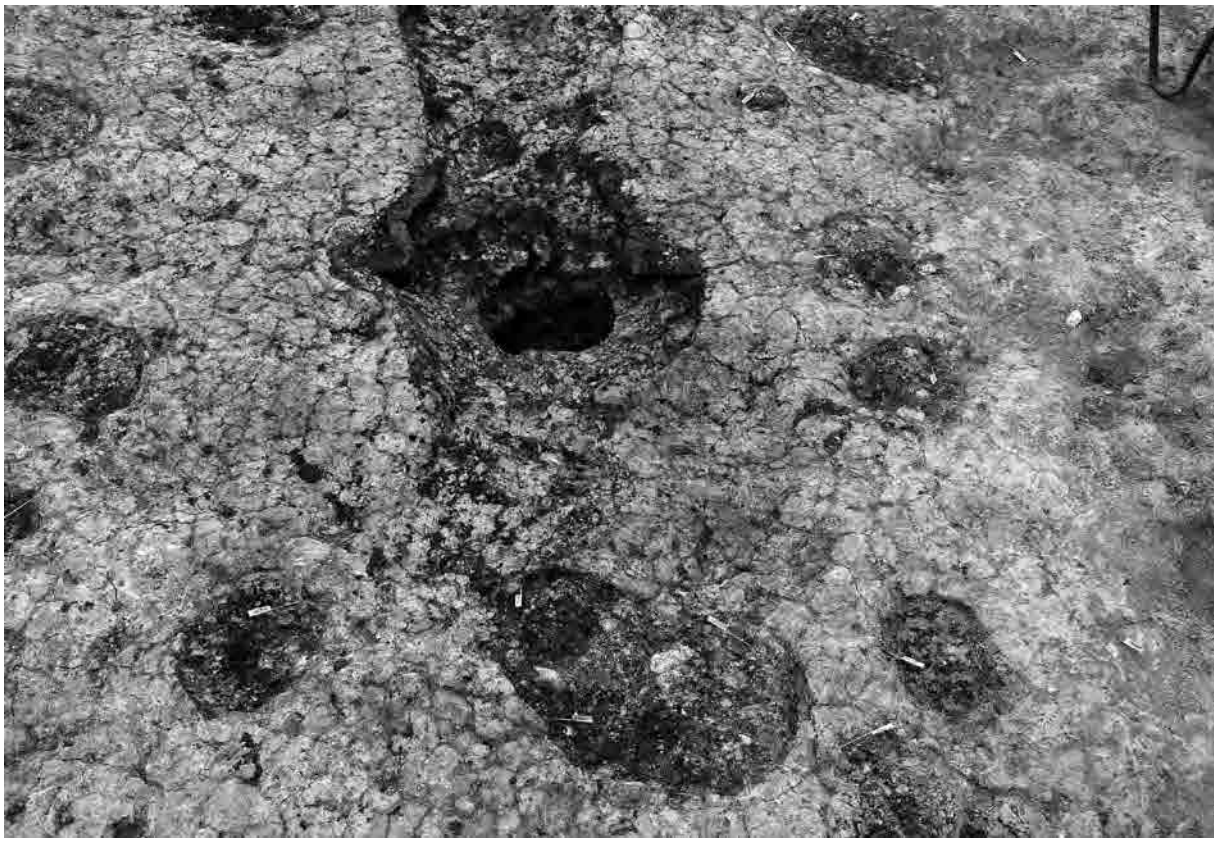
SX14　B-B' ベルト断面



SX22　完掘

SX22　A-A' ベルト断面

写真図版 123　SX14・22



SX15　完掘

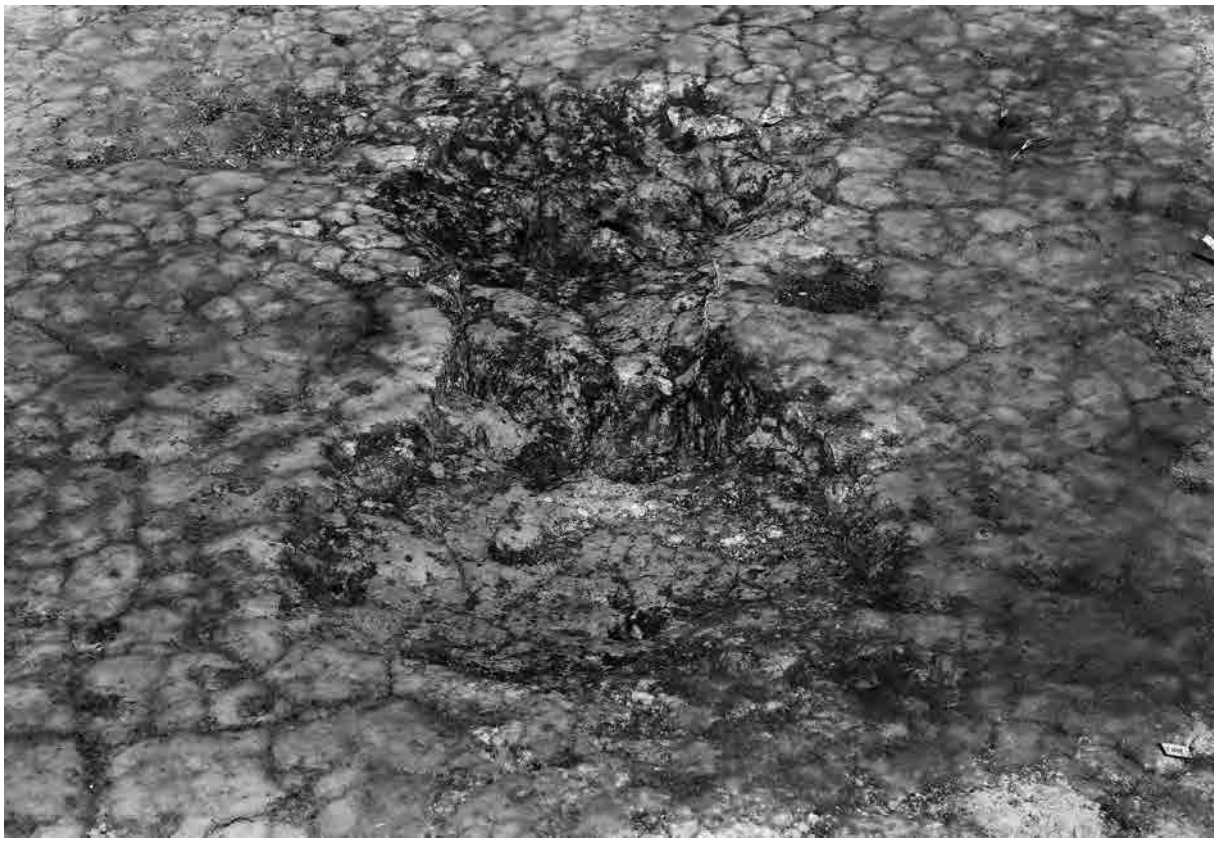
SX15　C-C' ベルト断面

SX16　検出

SX16　完掘

SX16　B-B' ベルト断面

写真図版 124　SX15 (2)・16

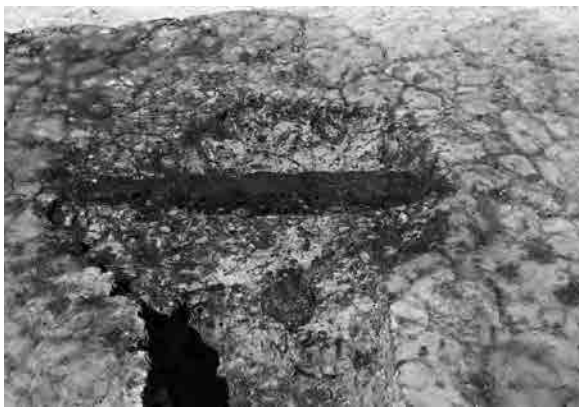


SX17　完掘

SX17　検出

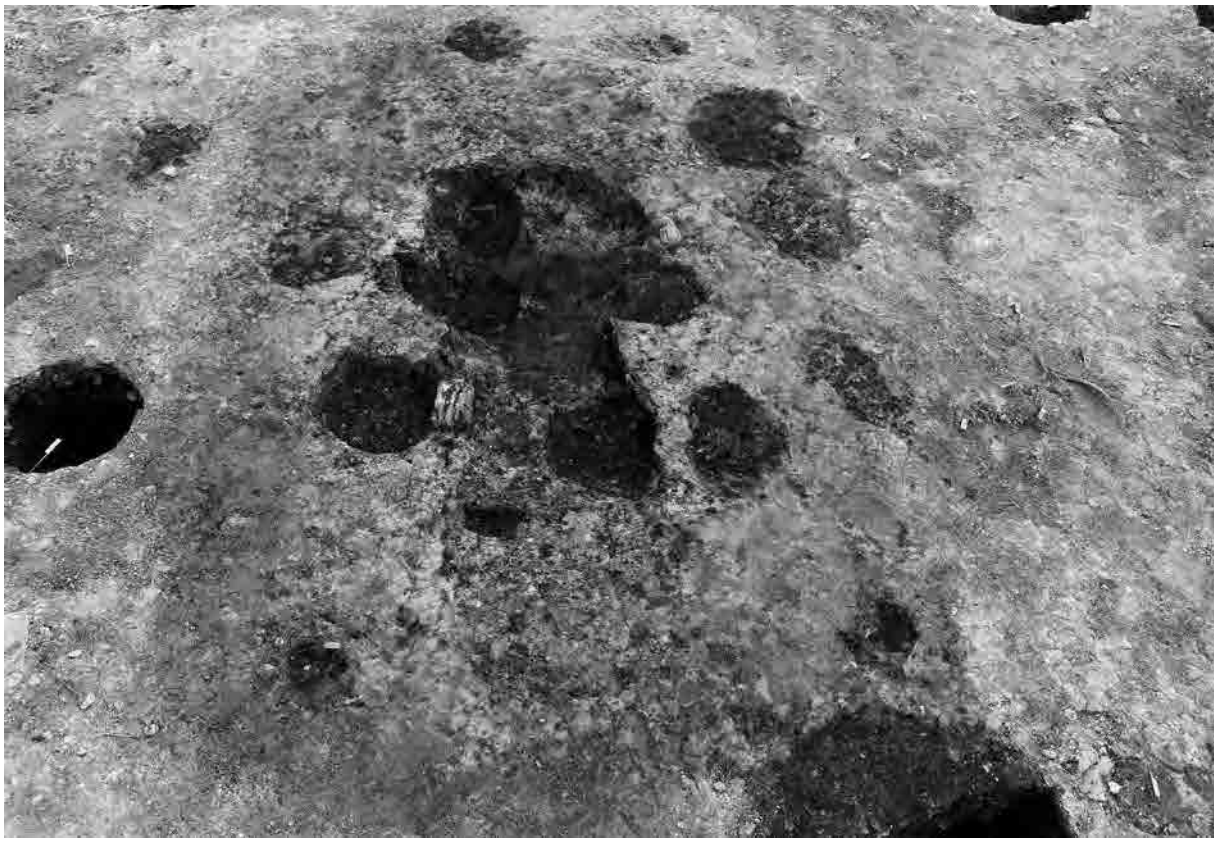
SX17　A-A' ベルト断面

SX17　B-B' ベルト断面

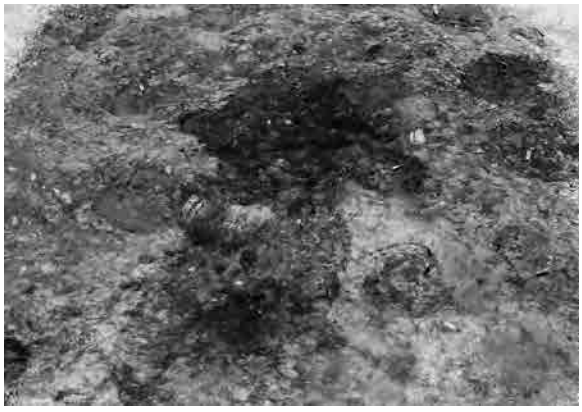


SX17　C-C' ベルト断面

写真図版 125　SX17



SX18　完掘



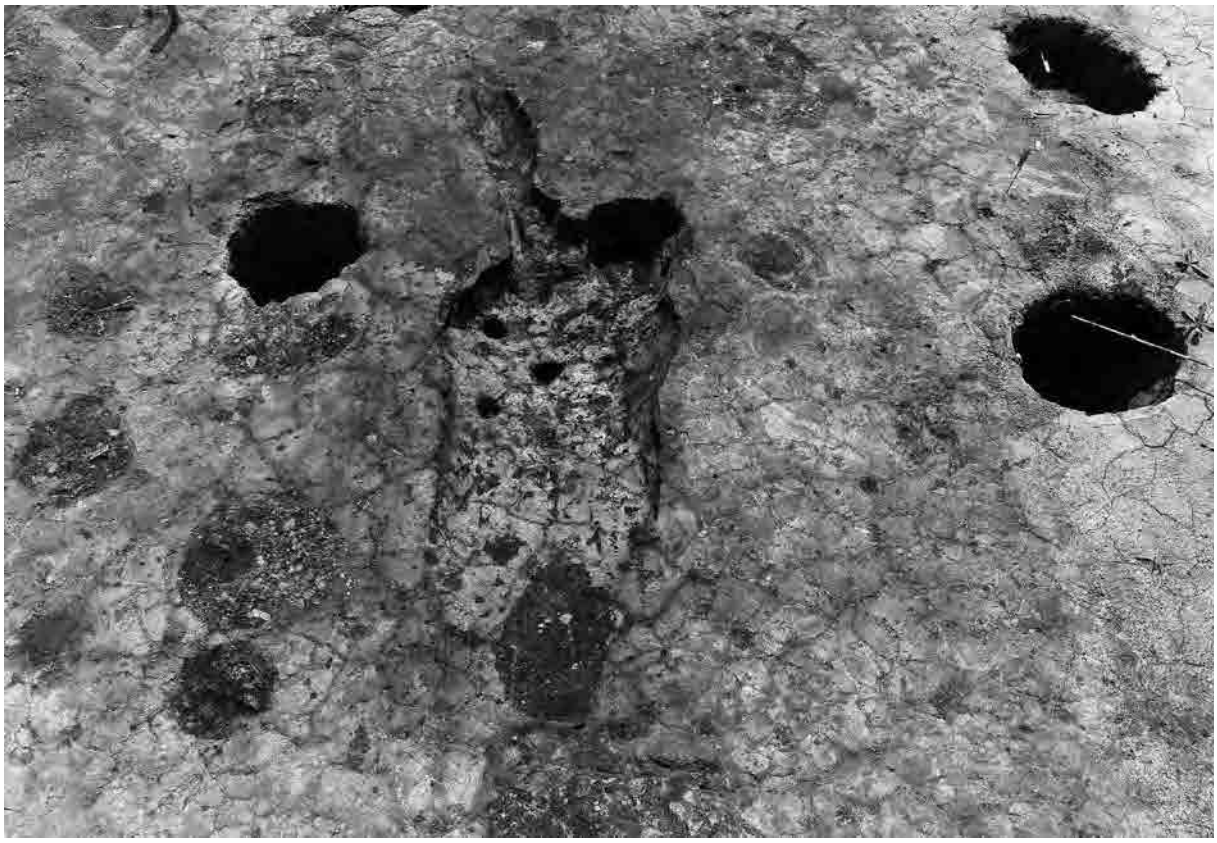
SX18　検出

SX18　A-A’ ベルト断面

SX18　B-B’ ベルト断面

SX18　C-C’ ベルト断面

写真図版 126　SX18

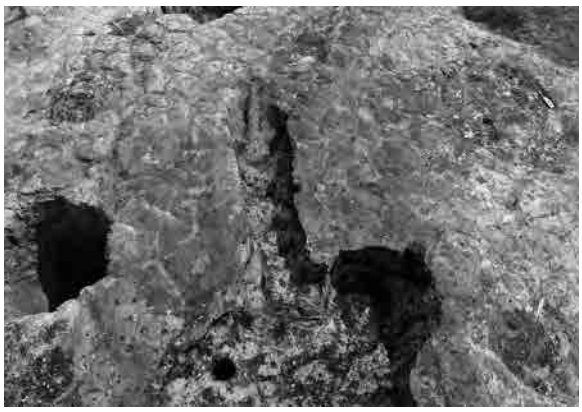


SX19　完掘

SX19　A-A' ベルト断面

SX19　B-B' ベルト断面

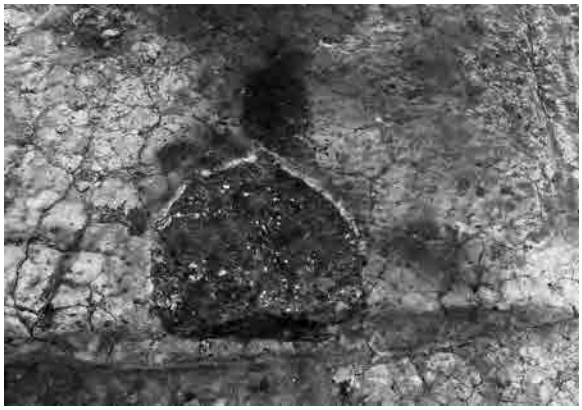
SX19　煙道断面（C-C' ライン）



SX19　煙道完掘

写真図版 127　SX19

SX20　完掘



SX20　検出

SX20　A-A’ ベルト断面

SX20　B-B’ ベルト断面

SX20　完掘

写真図版 128　SX20

SX21・SK64　完掘

SX21　検出

SX21・SK64　A-A' ベルト断面

SX21　B-B' ベルト断面

SX21　C-C' ベルト断面

写真図版 129　SX21・SK64

SX23　完掘

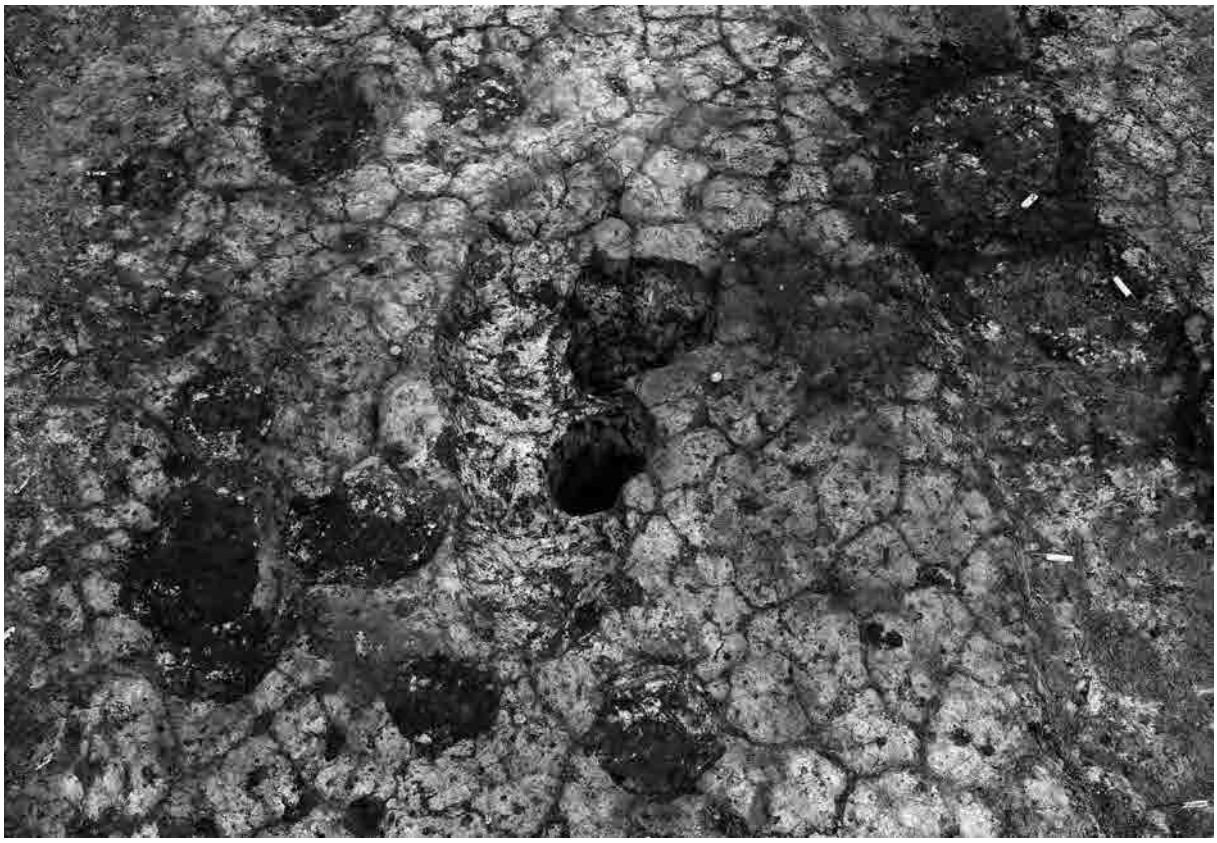
SX23　検出

SX23　A-A’ ベルト断面

SX23　B-B’ ベルト断面

SX23　C-C’ ベルト断面

写真図版 130　SX23



SX24　完掘

SX24　検出

SX24　A-A’ ベルト断面

SX24　B-B’ ベルト断面

SX24　煙道断面（C-C’ ライン）

写真図版 131　SX24

SE1　完掘

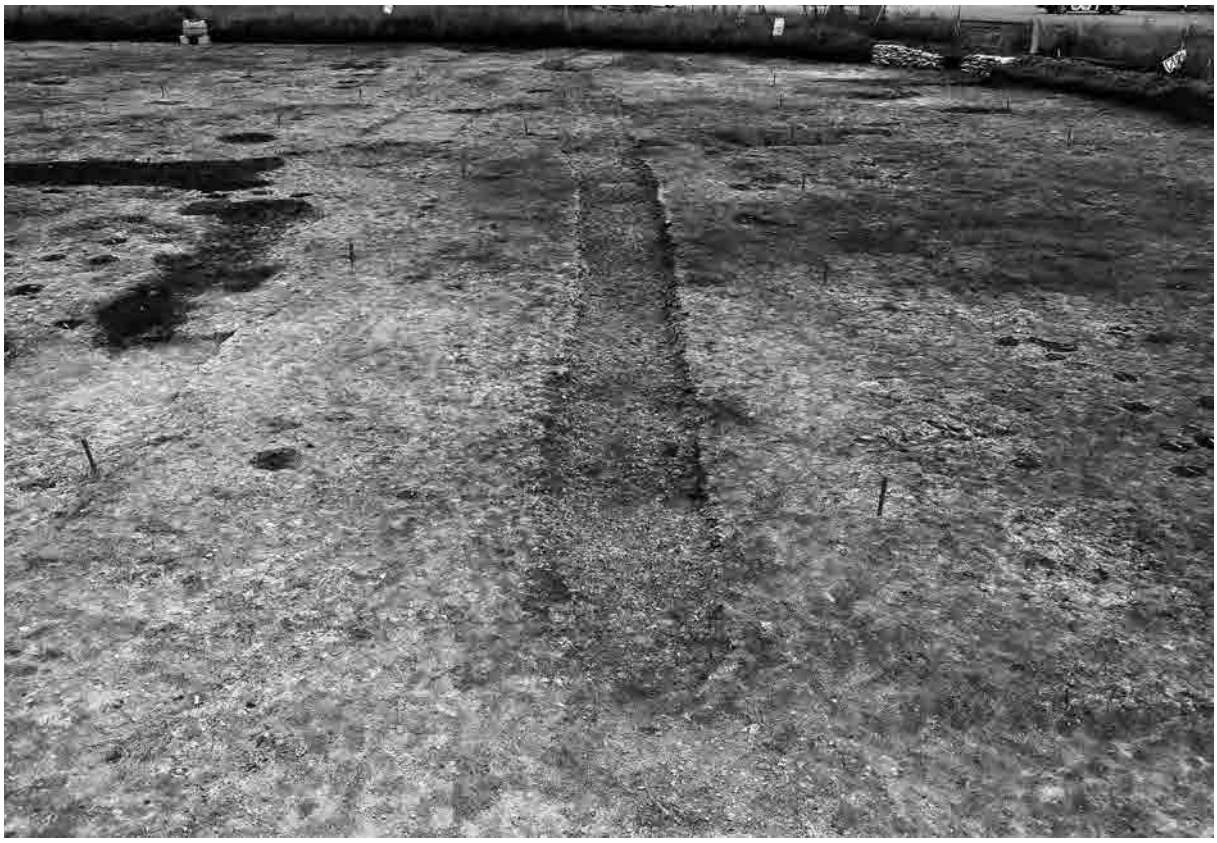
SE1　断面（1）

SE1　井筒検出

SE1　断面（2）

SE1　断面（3）

写真図版 132　SE1



SD1　完掘

SD1　A–A’ ベルト断面

SD1　B–B’ ベルト断面

SD2　完掘

SD2　完掘

写真図版 133　SD1・2（1）

SD2　B-B’ ベルト断面

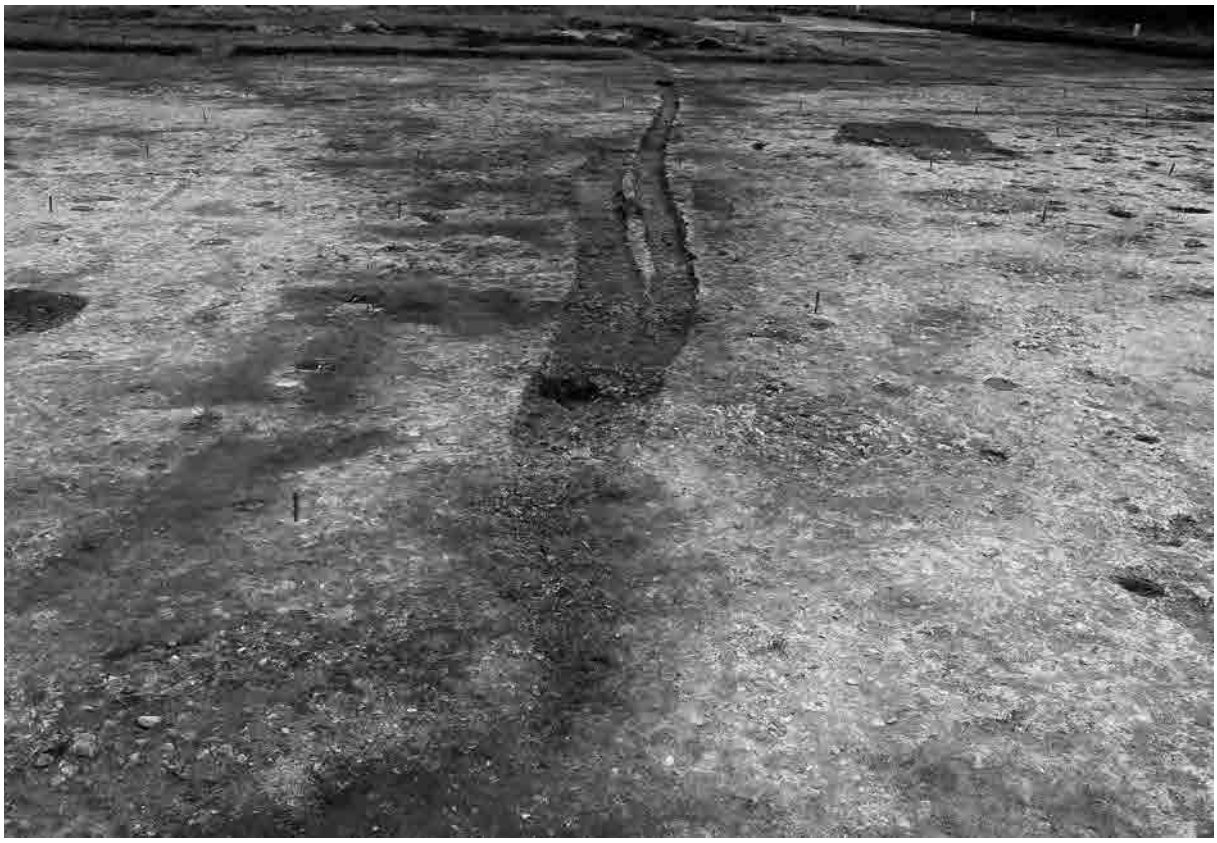
SD2　C-C’ ベルト断面

SD3　完掘

SD3　A-A’ ベルト断面

SD3　B-B’ ベルト断面

写真図版 134　SD2（2）・3



SD4　北辺・SD5　完掘

SD5　完掘

SD4・SD5　A-A’ ベルト断面

SD4・SD5　B-B’ ベルト断面

SD4　C-C’ ベルト断面

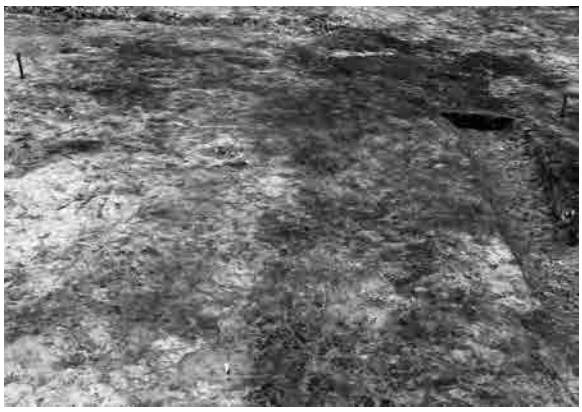
写真図版 135　SD4（1）・5

SD4 東辺　完掘

SD4 東辺　完掘

SD4　D-D' ベルト断面

SD4　E-E' ベルト断面



SD6　完掘

写真図版 136　SD4（2）・6

SD7　完掘

SD7　断面

SD8　完掘

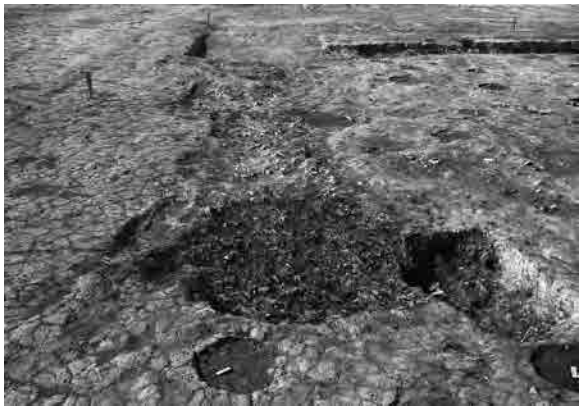
SD8　A-A’ ベルト断面

SD8　B-B’ ベルト断面

写真図版 137　SD7・8

SD9　完掘

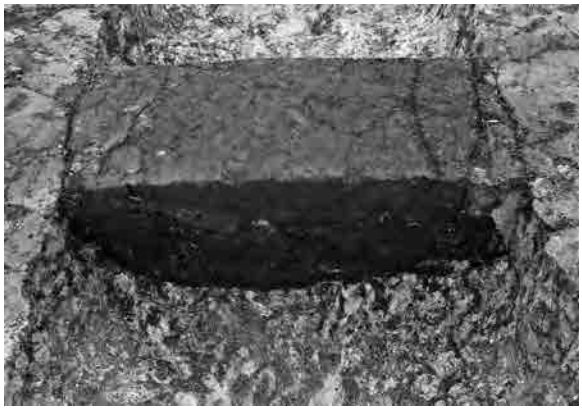
SD9　断面



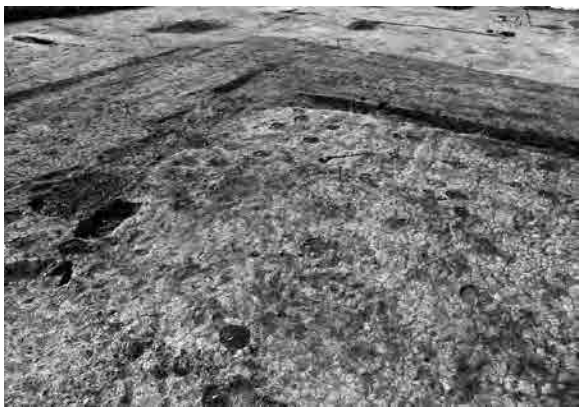
SD10　完掘

SD10　断面

SD11　完掘



SD11　断面



SD10・11　完掘

SD10・11　完掘

写真図版 138　SD9・10・11

SD501・502　A-A' ベルト断面

SD501・502B　B-B' ベルト断面

SD501　C-C' ベルト断面

SD502　C-C' ベルト断面

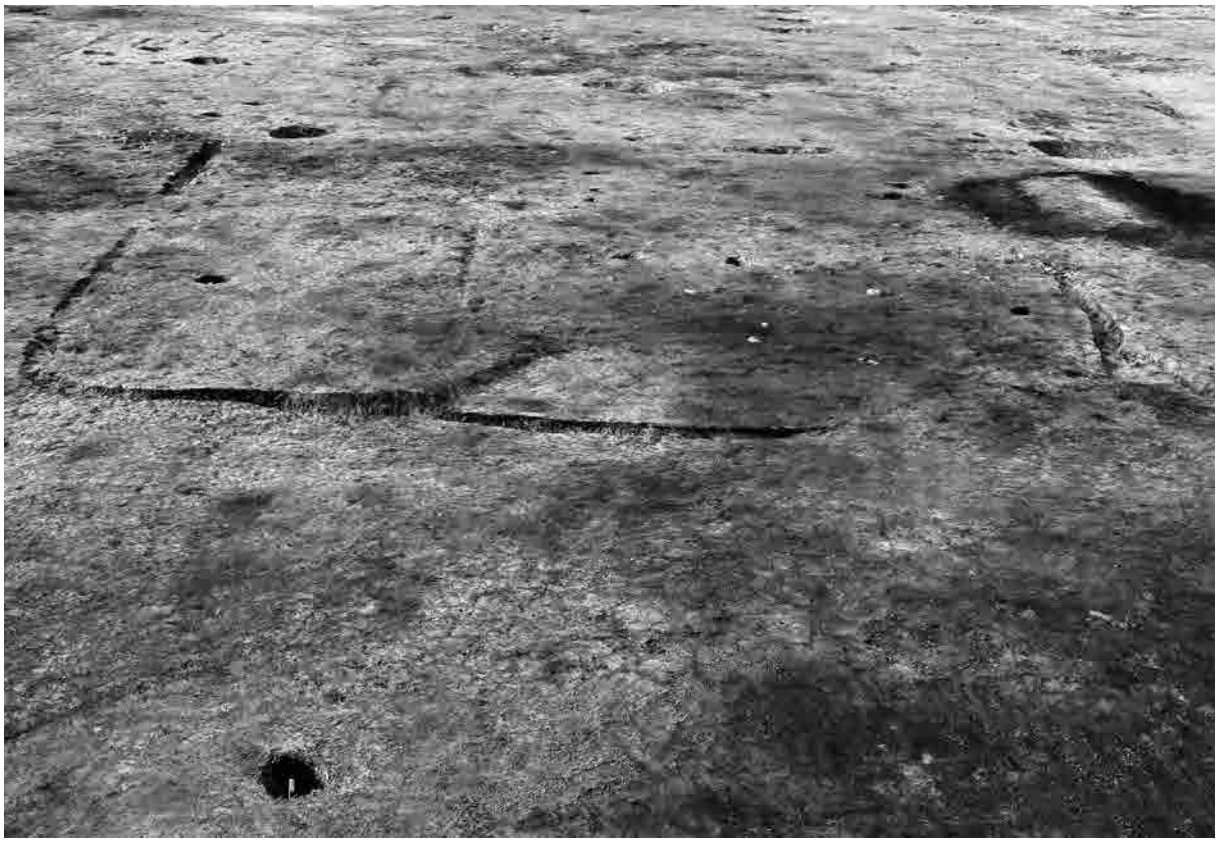
SD503　A-A' ベルト断面

SD503　B-B' ベルト断面

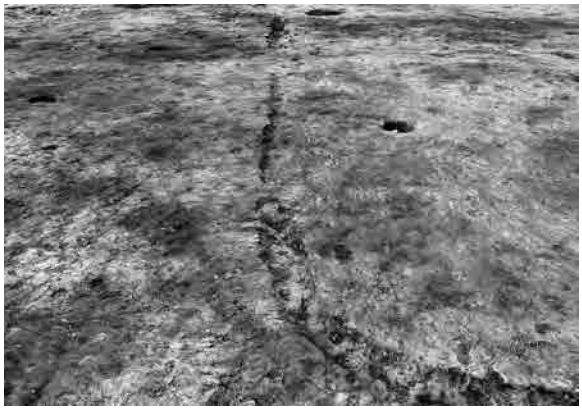
SD503　C-C' ベルト断面

SD504　断面

写真図版 139　SD501・502・503・504



SD505　完掘（全体）



SD505 西辺　完掘

SD505　A-A’ ベルト断面

SD505 南辺　完掘

SD505　B-B’ ベルト断面

写真図版 140　SD505（1）

SD505 東辺　完掘

SD505　C-C' ベルト断面

SD506　完掘

SD506　断面

SD507　完掘

SD507　A-A' ベルト断面

SD508　完掘

SD508　断面

写真図版 141　SD505（2）・506・507・508

SG1 と SD3 からの導水　完掘

SG1　A-A' ベルト断面

SG1　B-B' ベルト断面

SG1　C-C' ベルト断面

SG1　D-D' ベルト断面

写真図版 142　SG1（1）

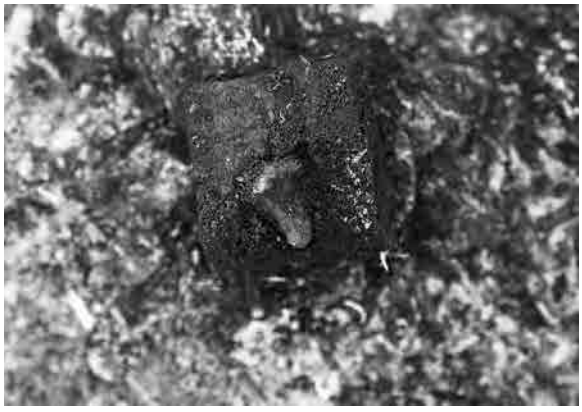
SG1　完掘

SG1　完掘

SG1 と SD3 からの導水　完掘

SG1 と SD3 からの導水　完掘

SG1　完掘



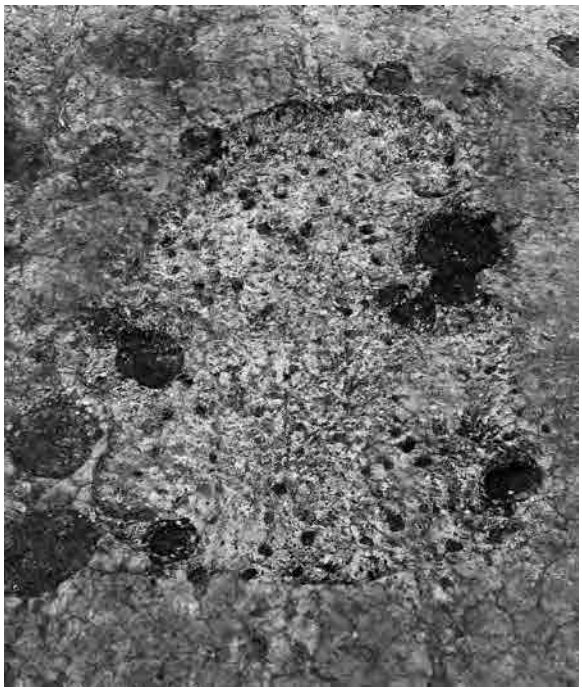
SG1　鉄製品馬具轡（236）出土

SG1　砥石（256）出土

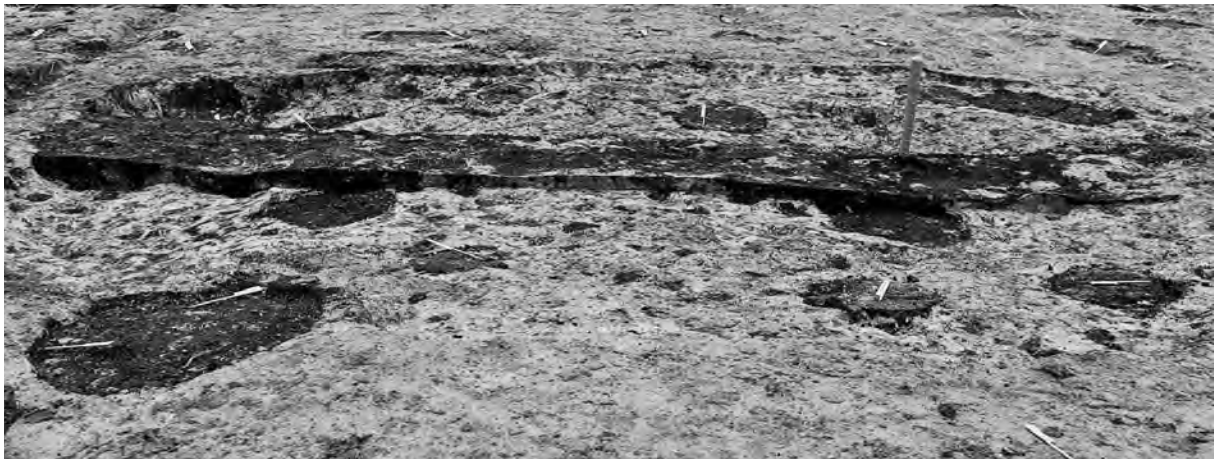
SG1　茶臼（263）出土

写真図版 143　SG1（2）

SK1　完掘



SK2　完掘

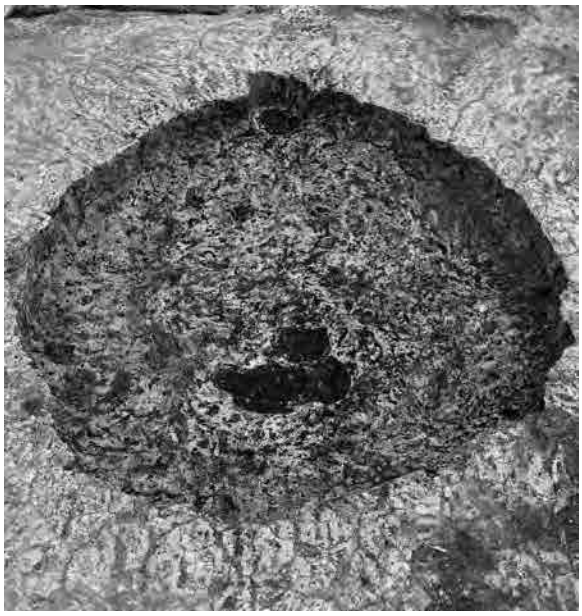


SK1　断面

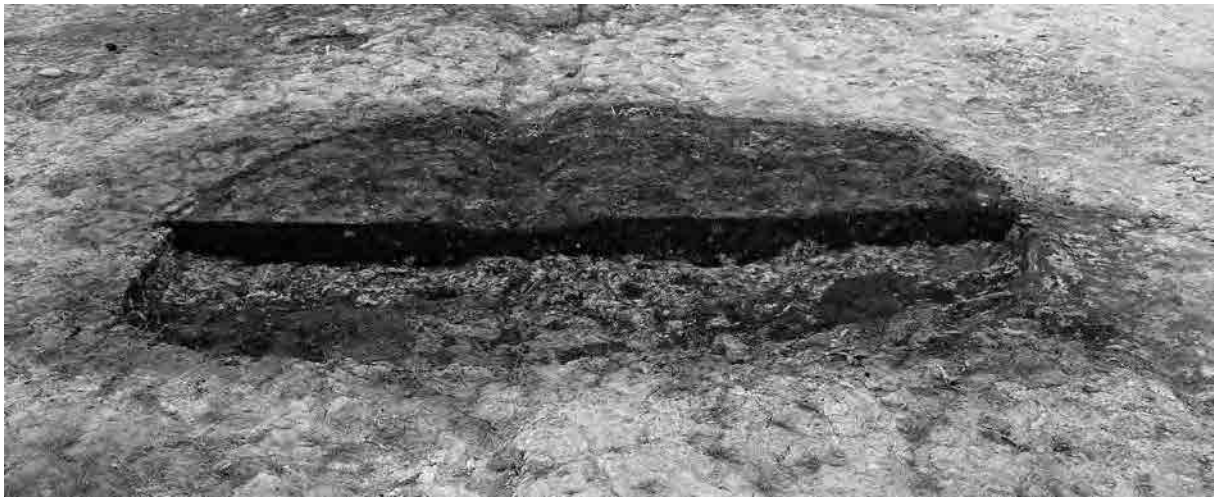
SK2　断面

写真図版 144　SK1・2

SK3　完掘



SK4　完掘



SK3　断面

SK4　断面

写真図版 145　SK3・4

SK5　完掘

SK5　A-A’ ベルト断面

SK5　B-B’ ベルト断面

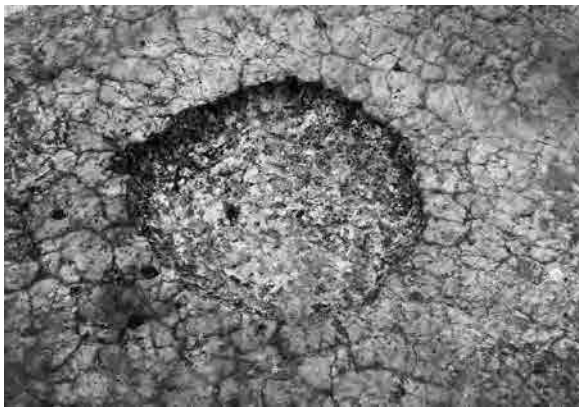
写真図版 146　SK5

SK6　完掘

SK6　A-A' ベルト断面

SK6　B-B' ベルト断面

写真図版 147　SK6



SK7　完掘

SK7　断面

SK8　完掘

SK8　A-A' ベルト断面

SK8　C-C' ベルト断面

SK9　完掘

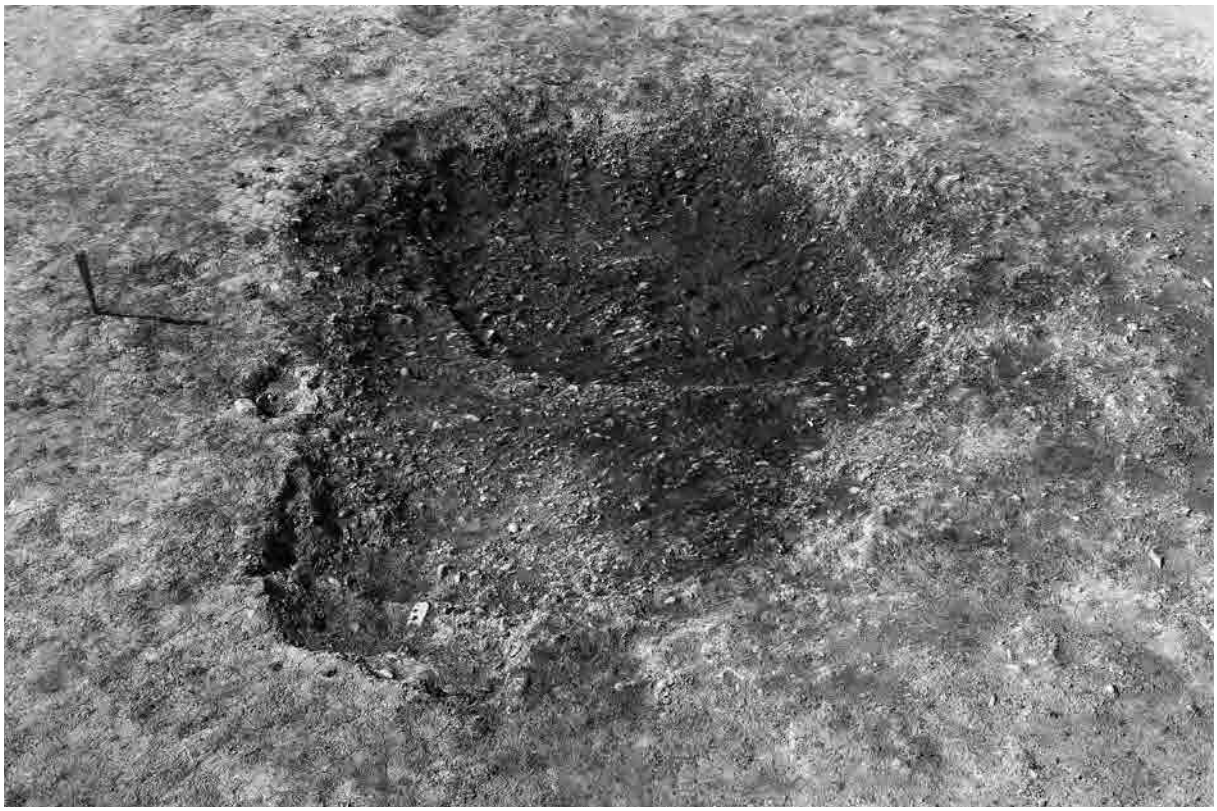
SK9　A-A' ベルト断面

SK9　B-B' ベルト断面

写真図版 148　SK7・8・9

SK10　完掘

SK10　断面

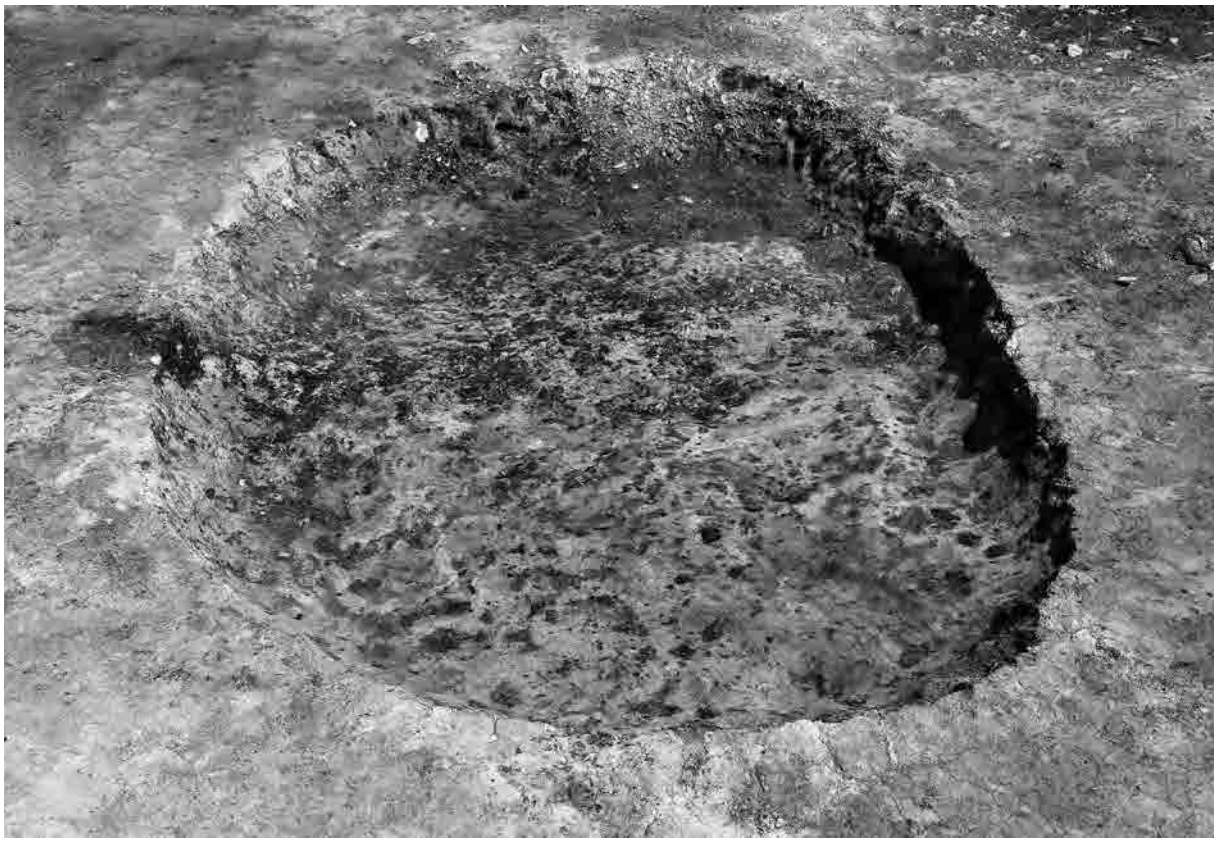


SK11　完掘

SK11　A-A' ベルト断面

SK11　B-B' ベルト断面

写真図版 149　SK10・11



SK13　完掘

SK13　A-A’ ベルト断面

SK13　B-B’ ベルト断面

写真図版 150　SK13

SK15　完掘

SK15　A-A’ ベルト断面

SK15　B-B’ ベルト断面

写真図版 151　SK15

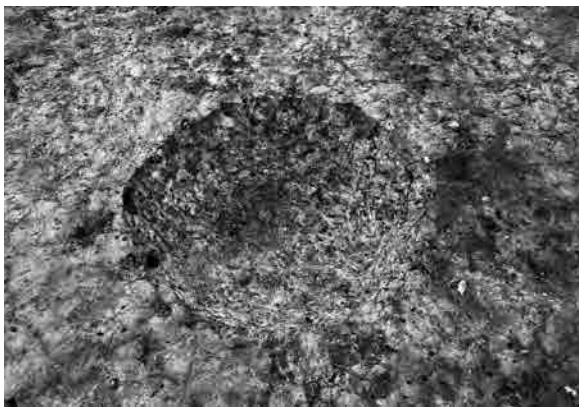
SK16　完掘

SK16　A–A’ ベルト断面

SK16　B–B’ ベルト断面

SK17　完掘

SK17　断面



SK18　完掘

SK18　断面

写真図版 152　SK16・17・18

SK19・P3701　完掘

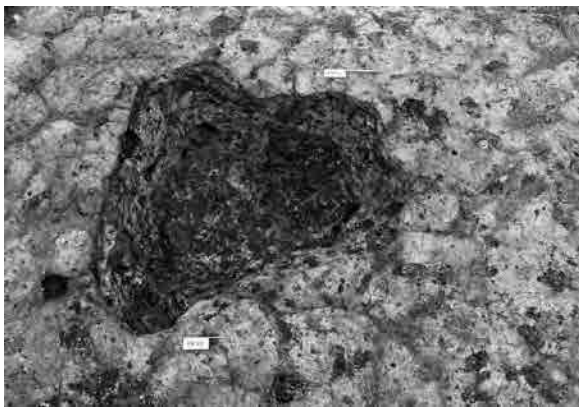
SK19・P3701　断面

SK20　完掘

SK20　断面

SK21　完掘

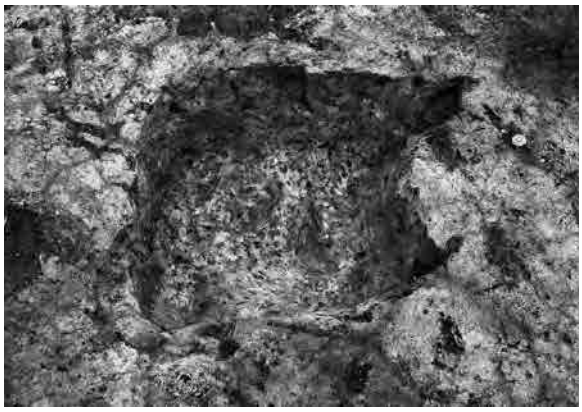
SK21　断面



SK22・P3716　完掘

SK22・P3716　断面

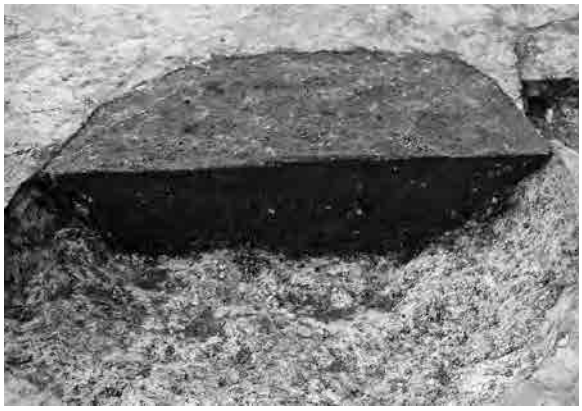
写真図版 153　SK19・20・21・22



SK23　完掘

SK23　断面

SK24　完掘



SK24　断面

SK25　縄文土器（2）出土

写真図版 154　SK23・24・25（1）

SK25　完掘

SK25　断面

SK26　完掘

SK26　断面

SK27　完掘

SK27　断面

SK28　完掘

SK28　断面

写真図版 155　SK25（2）・26・27・28

SK29　断面兼完掘

SK30　完掘

SK30　断面

SK30　縄文土器（3）出土

SK31　完掘

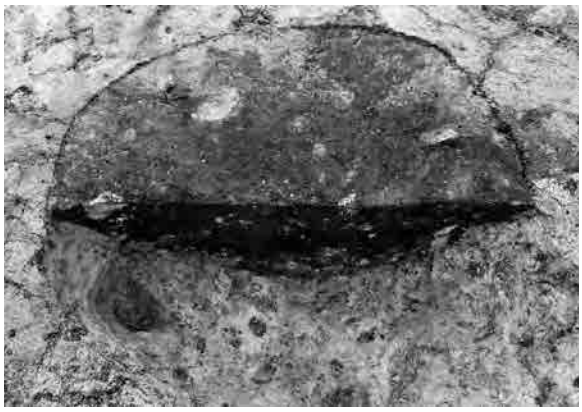
SK31　断面

SK38　完掘

SK38　断面

写真図版 156　SK29・30・31・38

SK39　完掘



SK39　断面

SK40　完掘

SK40　断面

SK42　完掘

SK42　断面

SK43　断面兼完掘

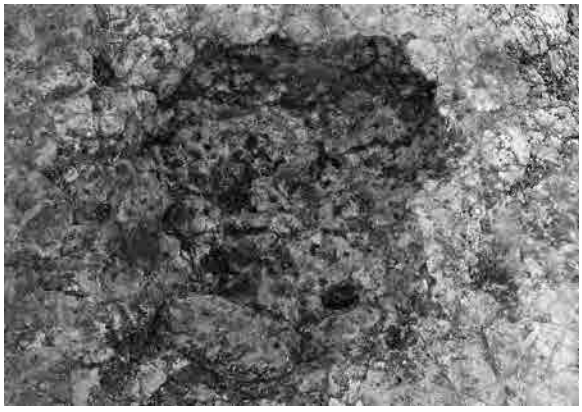
写真図版 157　SK39・40・42・43

SK44　完掘

SK44　断面

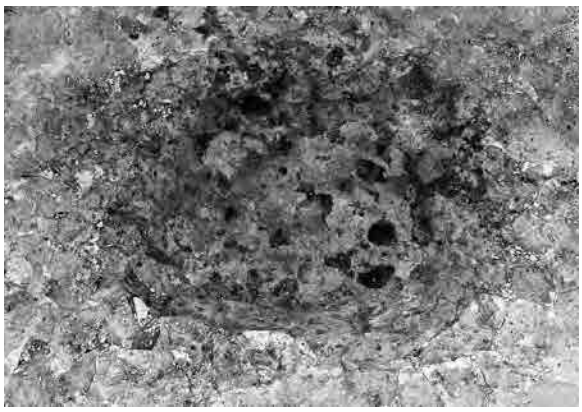
SK45　完掘

SK45　（P3836 を含む）断面



SK46　完掘

SK46　断面



SK47　完掘

SK47　断面

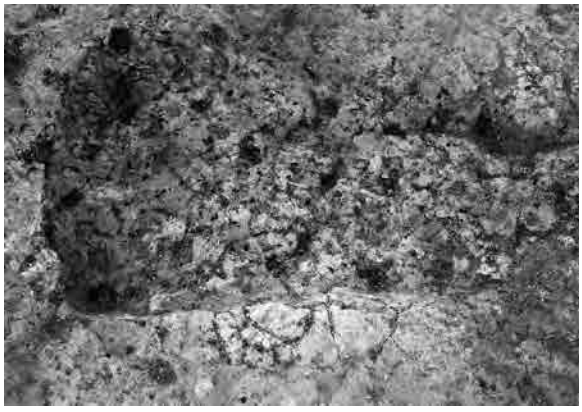
写真図版 158　SK44・45・46・47

SK48　完掘

SK48　断面

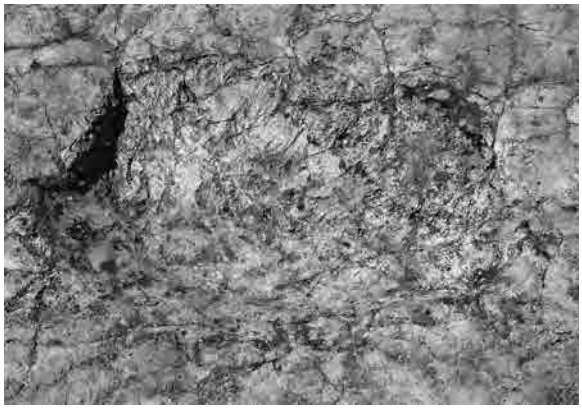
SK49　完掘

SK49　断面



SK50　完掘

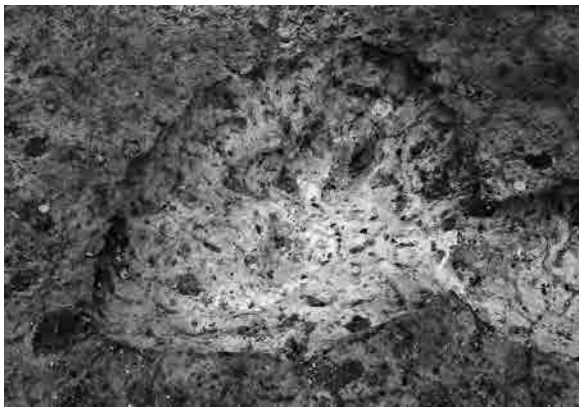
SK50　断面



SK51　完掘

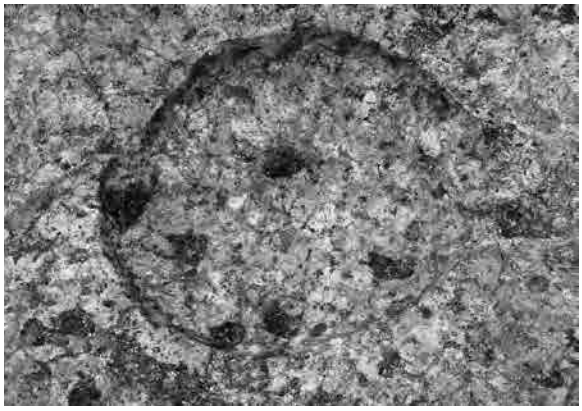
SK51　断面

写真図版 159　SK48・49・50・51



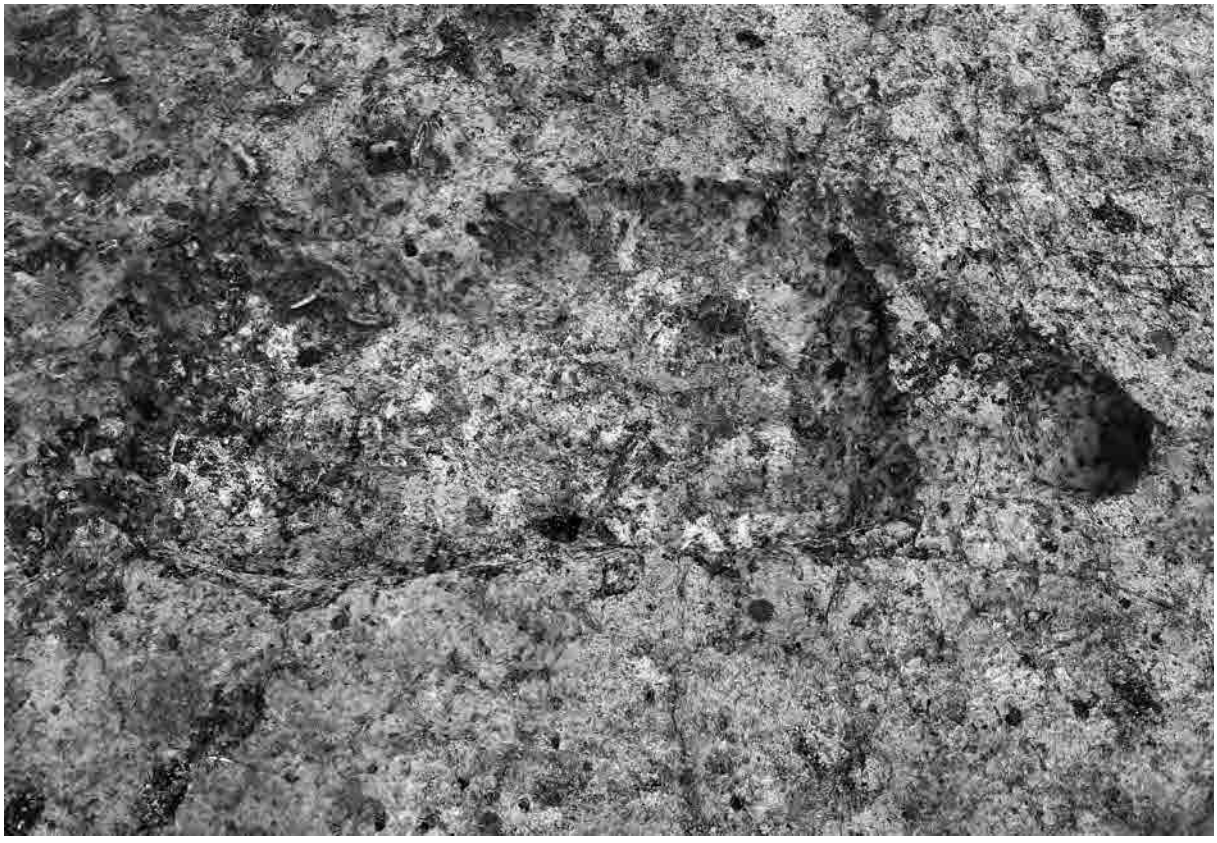
SK52　完掘

SK52　断面



SK53　完掘

SK53　断面

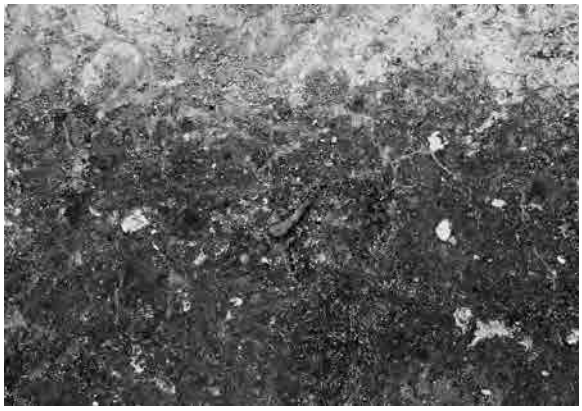


SK54　完掘

写真図版 160　SK52・53・54（1）

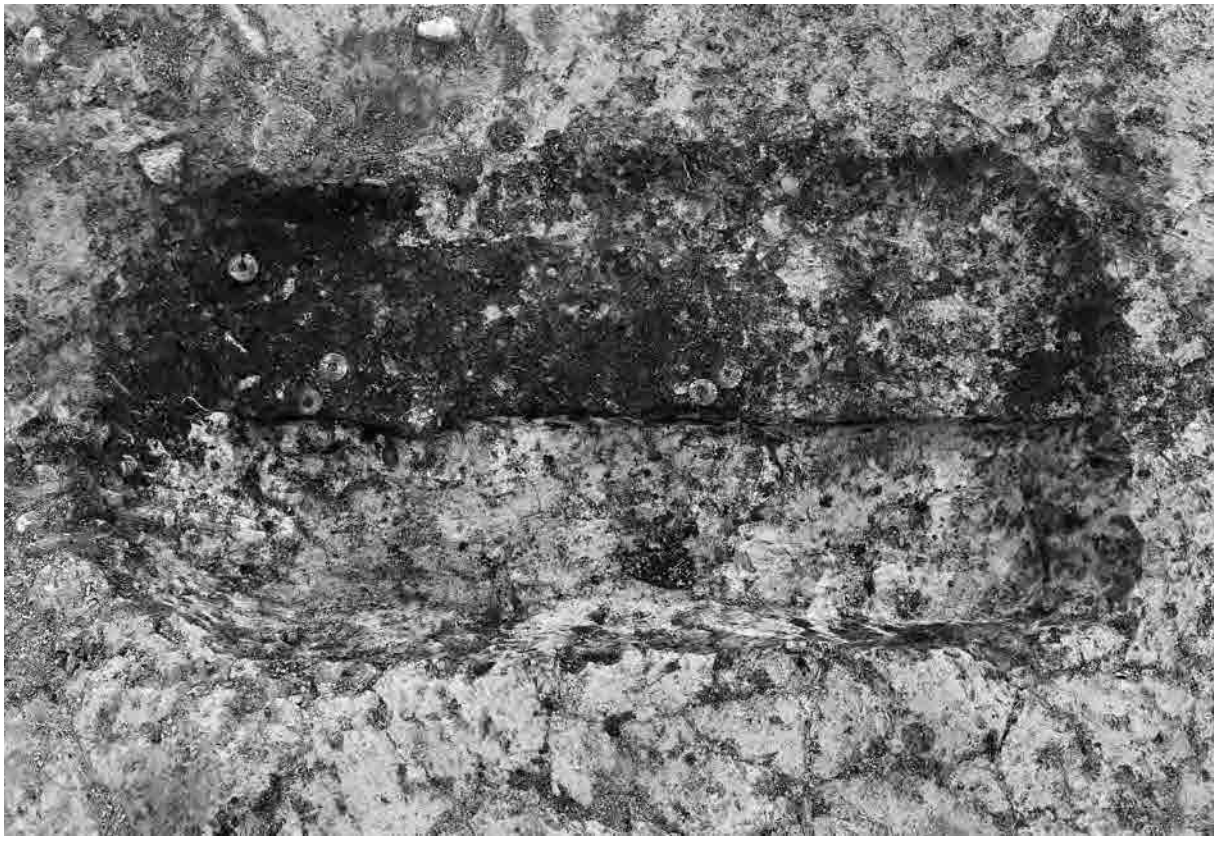
SK54　検出

SK54　断面



SK54　鉄釘（245）出土

SK54　銭貨出土

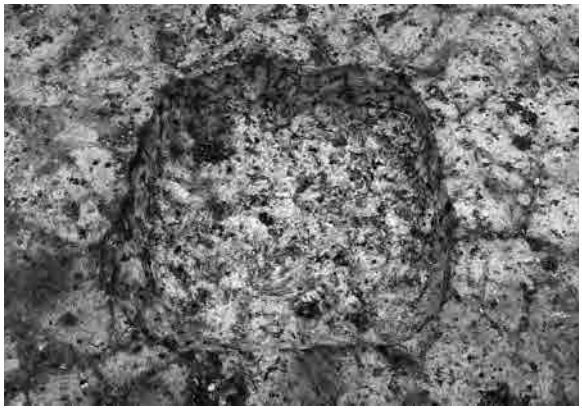


SK54　西半遺物出土

写真図版 161　SK54（2）

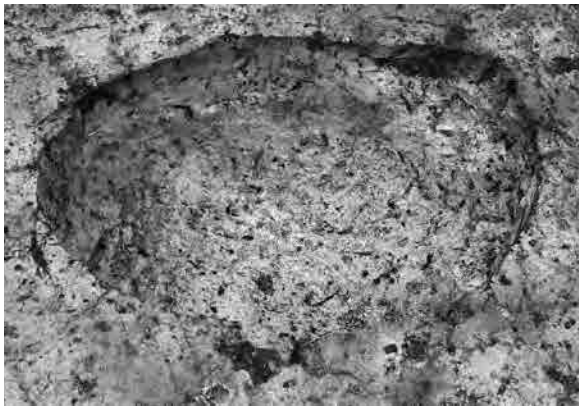
SK55　完掘

SK55　断面



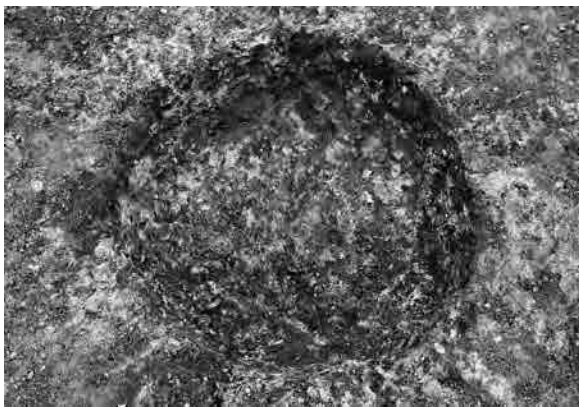
SK56　完掘

SK56　断面



SK57　完掘

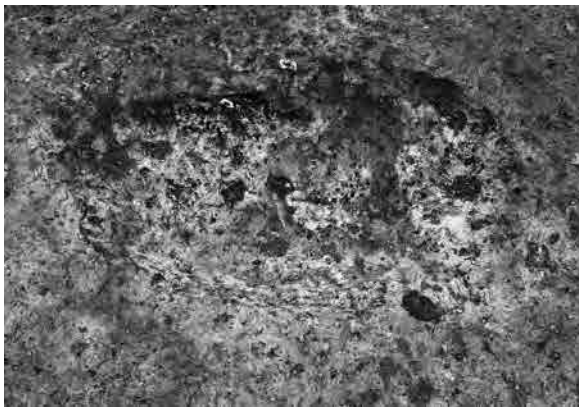
SK57　断面



SK58　完掘

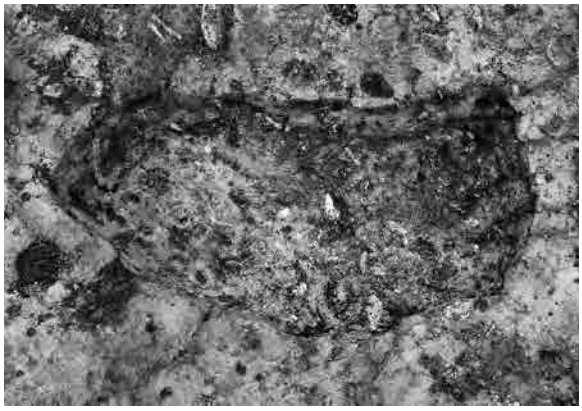
SK58　断面

写真図版 162　SK55・56・57・58



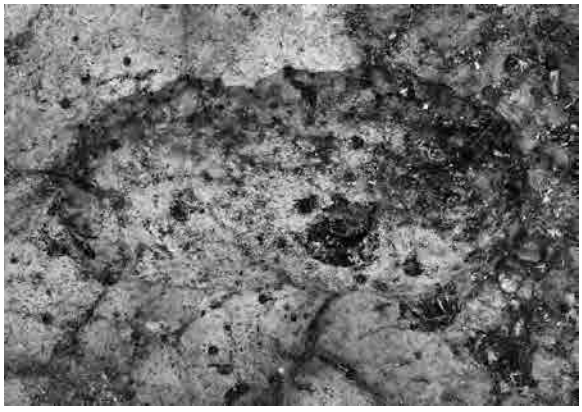
SK59　完掘

SK59　断面



SK60　完掘

SK60　断面



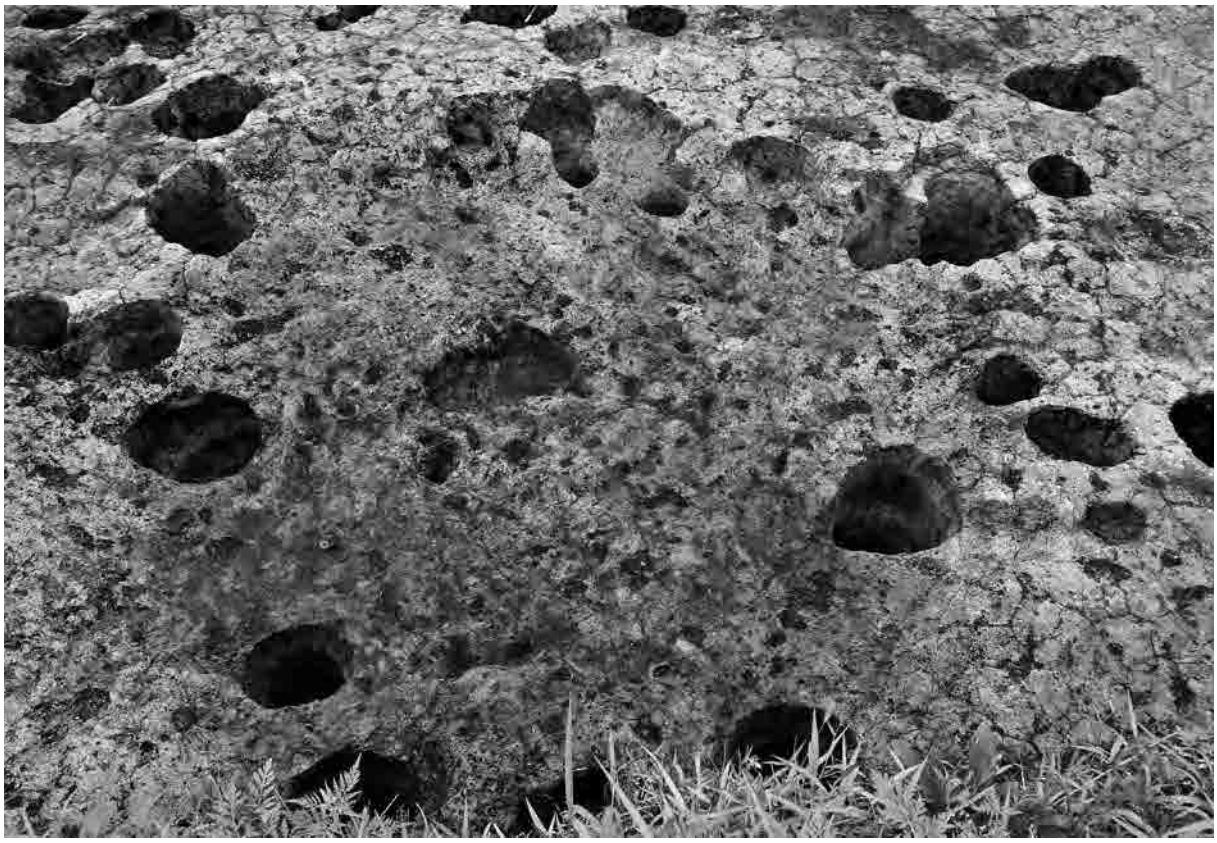
SK61　完掘

SK61　断面

SK62　渥美産陶器甕（206）出土

SK62　渥美産陶器甕（206）出土

写真図版 163　SK59・60・61・62（1）



SK62　完掘

SK62　A-A' ベルト断面（西半）

SK62　A-A' ベルト断面（東半）

SK62　B-B' ベルト断面（南半）

SK62　B-B' ベルト断面（北半）

写真図版 164　SK62（2）

SK63　完掘

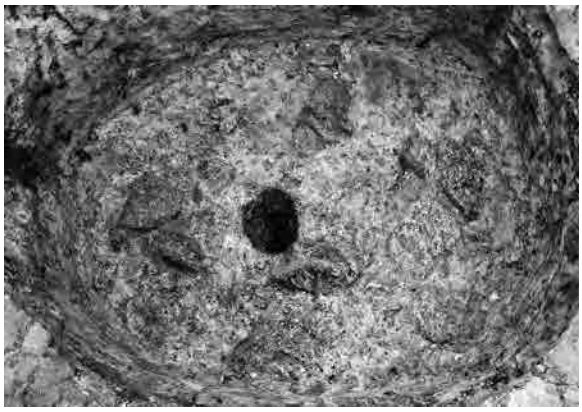
SK63　断面

SK501　完掘

SK501　断面

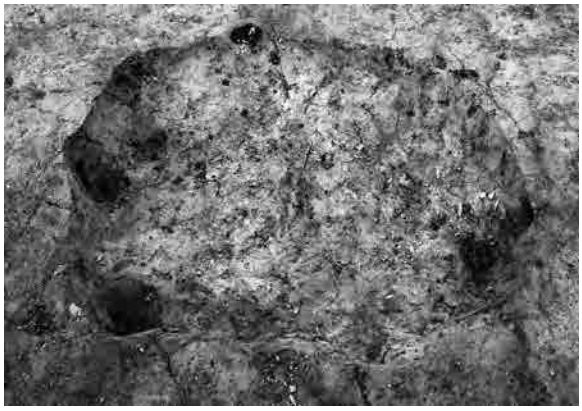
SK502　完掘

写真図版 165　SK63・501・502（1）



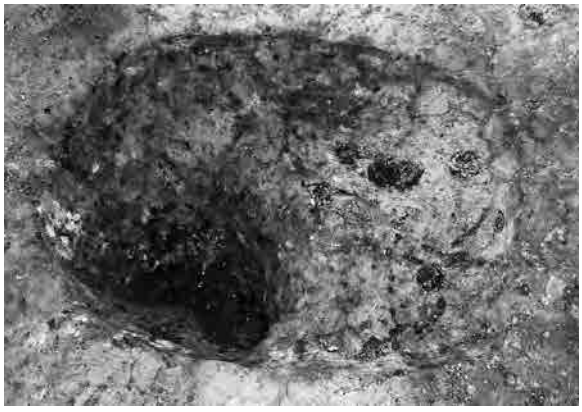
SK502　完掘（副穴アップ）

SK502　断面



SK503　完掘

SK503　断面



SK504　完掘

SK504　断面

SK505　完掘

SK505　断面

写真図版 166　SK502（2）・503・504・505

SK506　完掘

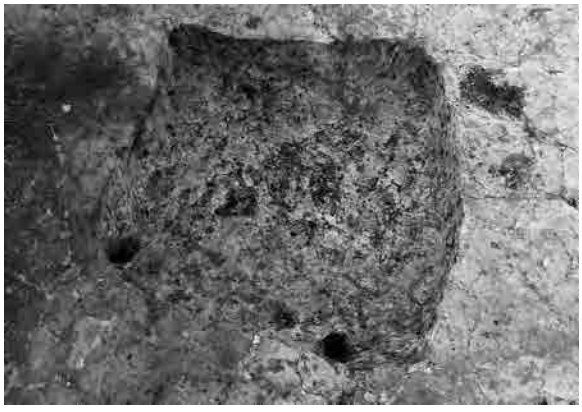
SK506　断面

SK507　完掘

SK507　断面

SK508　完掘

SK508　断面



SK509　完掘

SK509　断面

写真図版 167　SK506・507・508・509

SK510　完掘

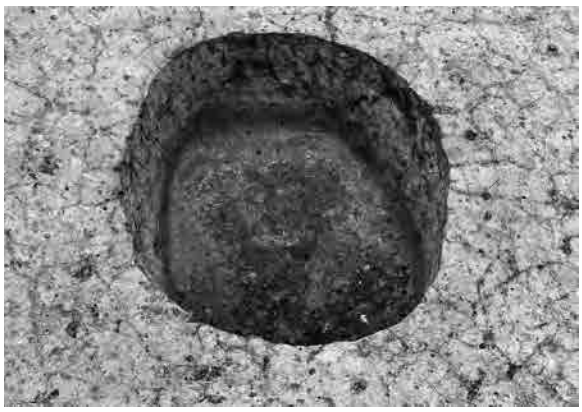
SK510　断面

SK511　完掘

SK511　断面

SK512　完掘底面副穴あり

SK512　断面



SK513　完掘

SK513　断面

写真図版 168　SK510・511・512・513

SK514　完掘

SK514　断面

SK515　完掘

SK515　断面

SK516　完掘

SK516　断面

SK517　完掘

SK517　断面

写真図版 169　SK514・515・516・517

SK518　完掘

SK518　断面

SK519　完掘

SK519　断面

SK520　完掘

SK520　断面

現地説明会

現地説明会

写真図版 170　SK518・519・520・現地説明会

SI101　完掘

SI101　検出

SI101　A-A’ ベルト断面

SI101　A-A’ ベルト断面（南半）

SI101　A-A’ ベルト断面（北半）

写真図版 171　SI101（1）

SI101　北西コーナー付近遺物出土

SI101　C-C' ベルト断面

SI101　D-D' ベルト断面

SI101　E-E' ベルト断面

SI101　カマド煙道部分検出

SI101　B ベルトカマド断面

SI101　カマド燃焼部

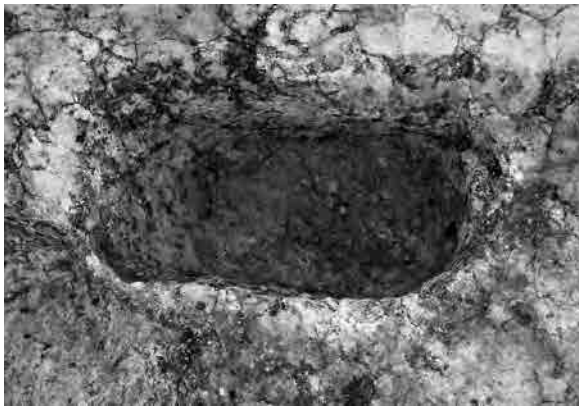
SI101　カマド燃焼部（B-B'）断面

写真図版 172　SI101（2）

SI101　カマド完掘

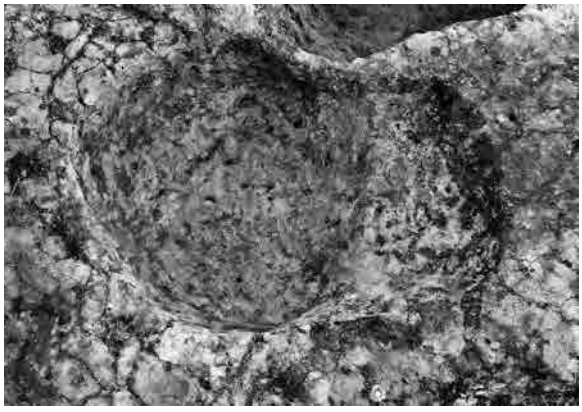
SI101　カマド袖石掘方断面

SI101　カマド袖石掘方完掘



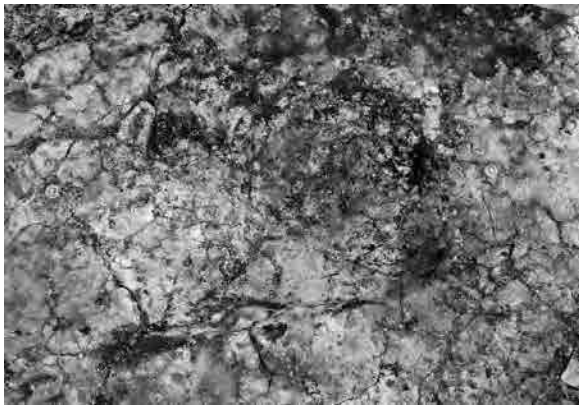
SK32　完掘

SK32　断面



SK33　完掘

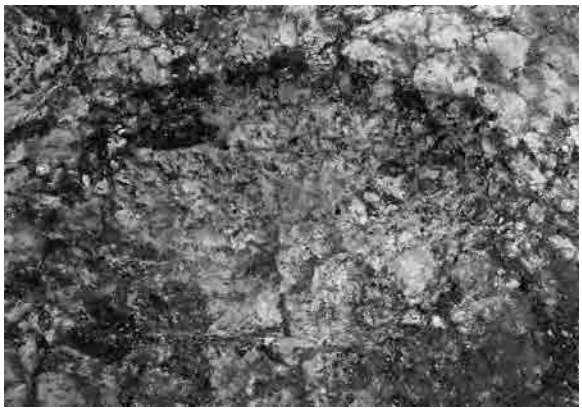
SK33　断面



SK34　完掘

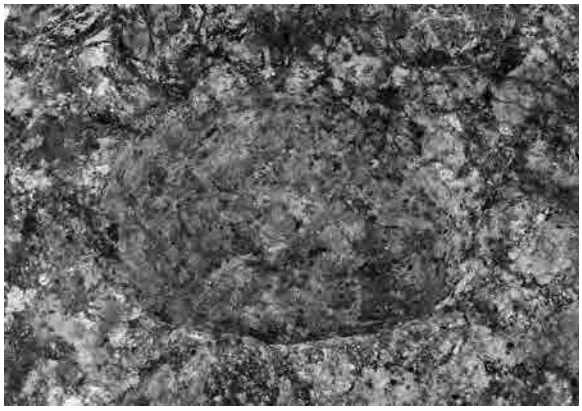
写真図版 173　SI101（3）、SK32・33・34（1）

SK34　断面



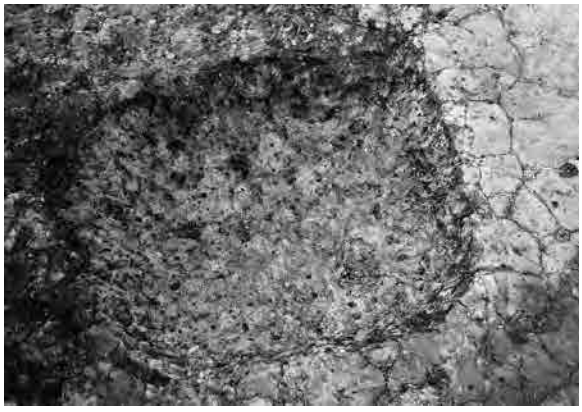
SK35　完掘

SK35　断面



SK36　完掘

SK36　断面



SK37　完掘

SK37　断面

SI101　貼床除去後完掘

写真図版 174　SI101（4）、SK34（2）・35・36・37

SI102　完掘

SI102　検出

SI102　A-A' ベルト断面

SI102　B-B' ベルト断面

SI102　B-B' ベルト断面（南半）

写真図版 175　SI102（1）

SI102　B-B' ベルト断面（北半）

SI102　C-C' ベルト断面

SI102　D-D' ベルト断面

SI102　E-E' ベルト断面

SI102　カマド検出

SI102　カマド燃焼部（B-B'）断面

SI102　カマド完掘

SI102　貼床除去後完掘

写真図版 176　SI102（2）

SI501　完掘

SI501　A-A’ ベルト断面（東端）

SI501　2 号カマド煙出（C-C’）断面

SI501　1 号カマド完掘

SI501　2 号カマド完掘

写真図版 177　SI501（1）

SI501　1 号カマド（I-I’）断面

SI501　1 号カマド（J-J’）断面

SI501　2 号カマド（K-K’）断面

SI501　2 号カマド（L-L’）断面

SI501　土坑 1 完掘

SI501　土坑 1 断面

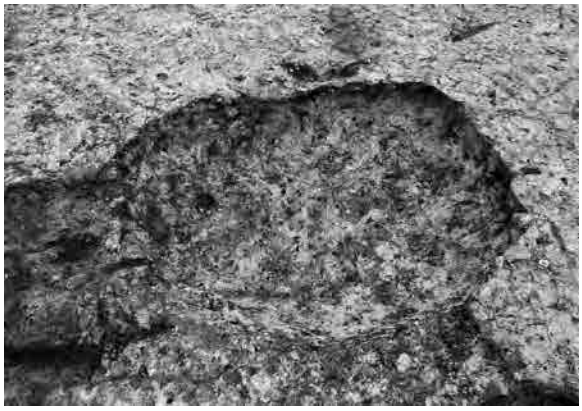
SI501　土坑 2 完掘

SI501　土坑 2 断面

写真図版 178　SI501（2）

SI501　土坑 3 完掘

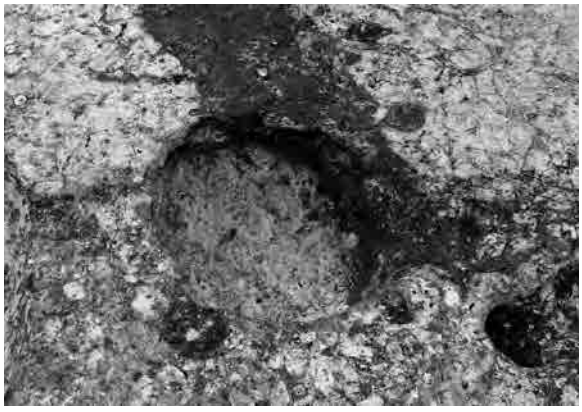
SI501　土坑 3 断面



SI501　土坑 4 完掘

SI501　土坑 4 遺物出土

SI501　土坑 4 断面

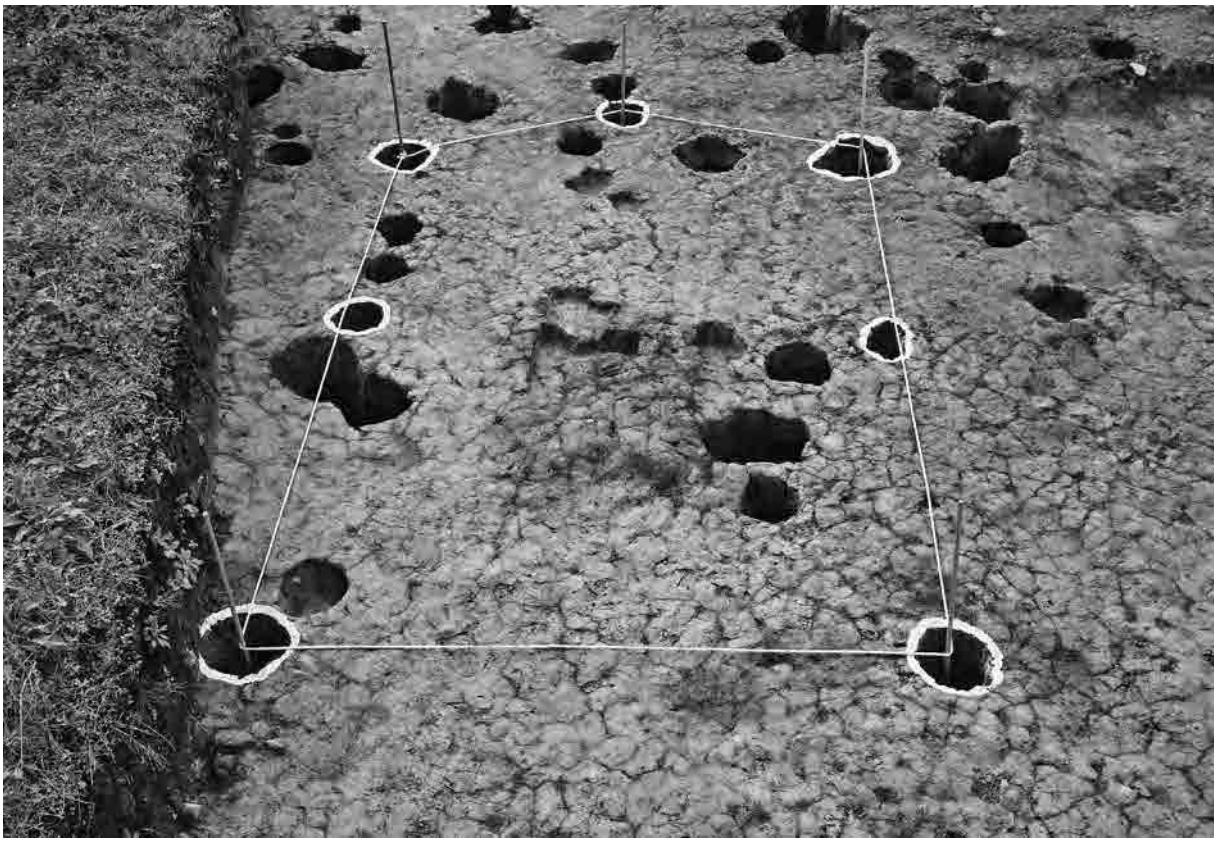


SI501　土坑 5 完掘

SI501　土坑 5 断面

SI501　掘方完掘

写真図版 179　SI501（3）



SX101　推定柱穴配置

SX101　完掘

SX101　埋設土器炉検出

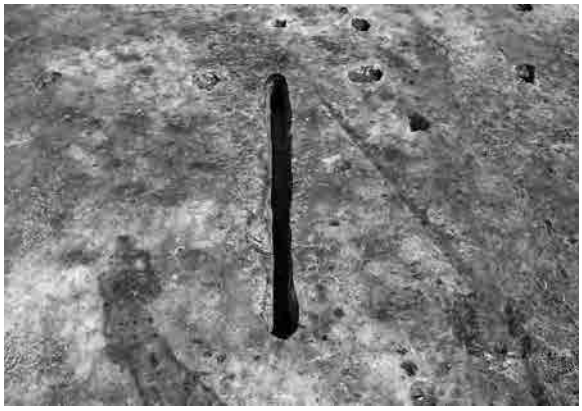
SX101　埋設土器炉 A-A' 断面

SX101　埋設土器炉 B-B' 断面

写真図版 180　SX101

SKT1　完掘

SKT1　断面



SKT501　完掘

SKT501　断面

SKT502　完掘

SKT502　断面

SKT503　完掘

SKT503　断面

写真図版 181　SKT1・501・502・503

SKT504　完掘

SKT504　断面

SKT505　完掘

SKT505　断面

SKT506　検出

SKT506　断面

SKT507　完掘

SKT507　断面

写真図版 182　SKT504・505・506・507

SKT508～511　完掘

SKT508　完掘

SKT508　断面

SKT509　完掘

SKT509　断面

写真図版 183　SKT508・509・510（1）・511（1）

SKT510　完掘

SKT510　断面

SKT511　完掘

SKT511　断面

SKT512　完掘

SKT512　断面

SKT513　完掘

SKT513　断面

写真図版 184　SKT510（2）・511（2）・512・513

SKT514　完掘

SKT514　断面

SKT515　完掘

SKT515　断面

SKT516　完掘

SKT516　断面

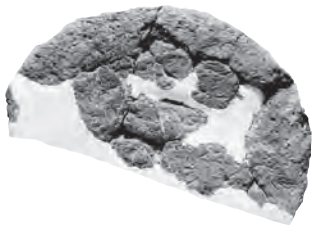
SKT517　完掘

SKT517　断面

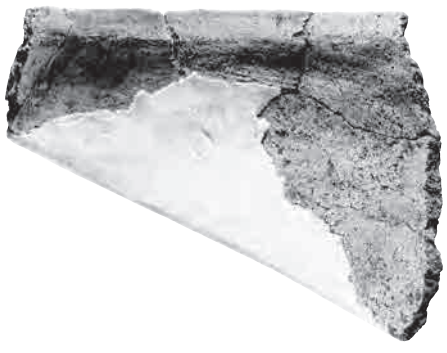
写真図版 185　SKT514・515・516・517

2a

2b



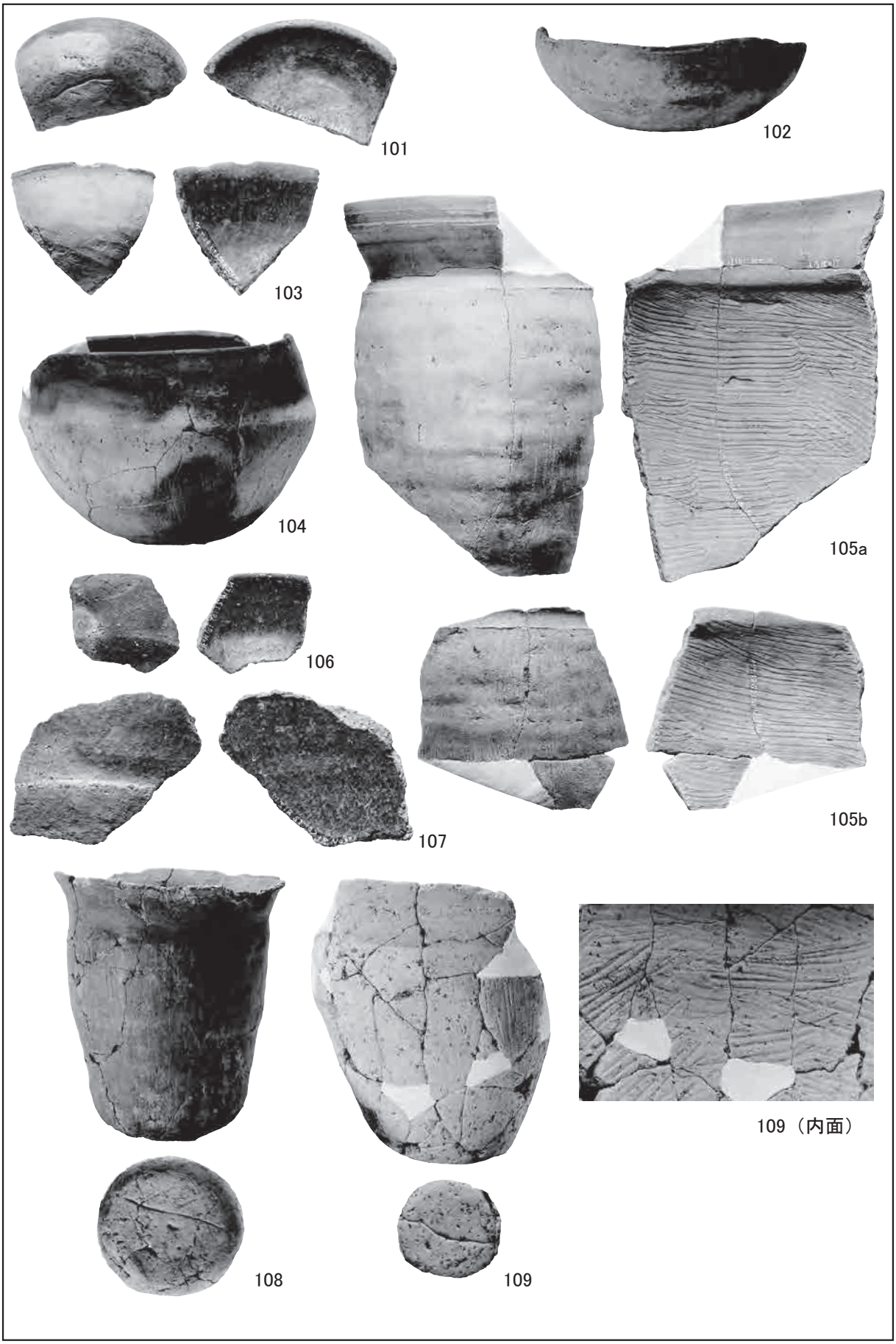
1



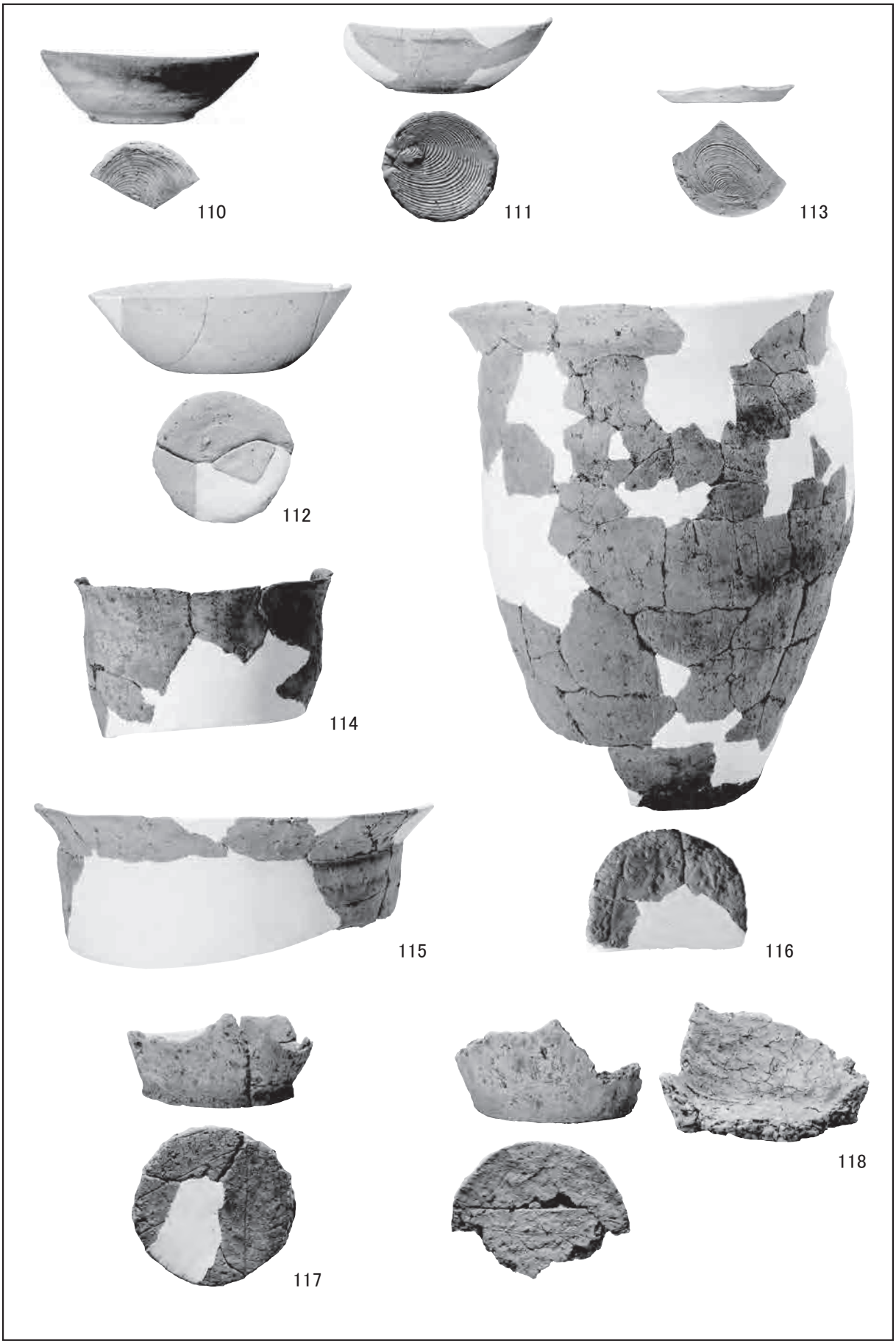
3

写真図版 186　縄文時代の土器

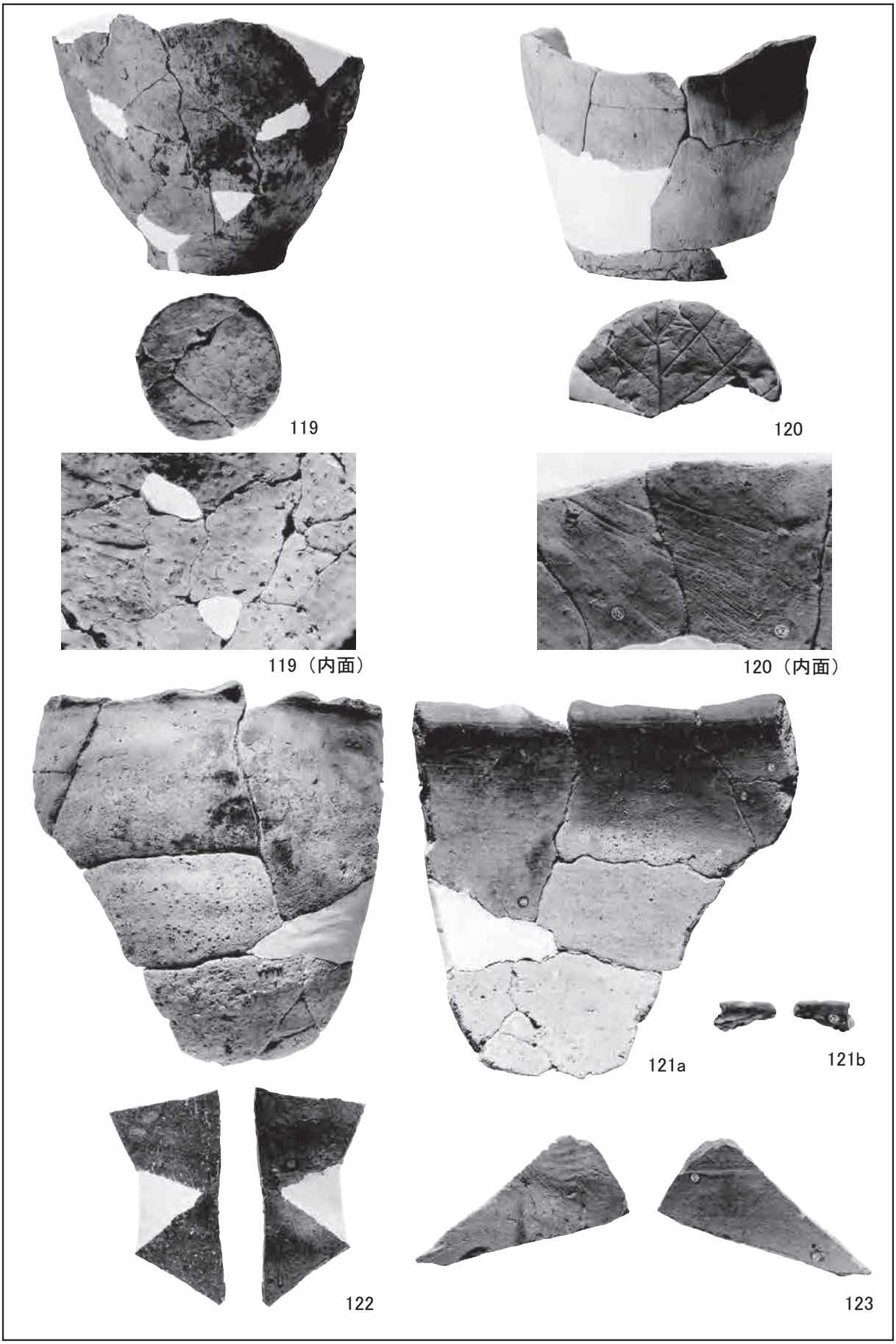
写真図版 187　縄文時代の石器・石製品



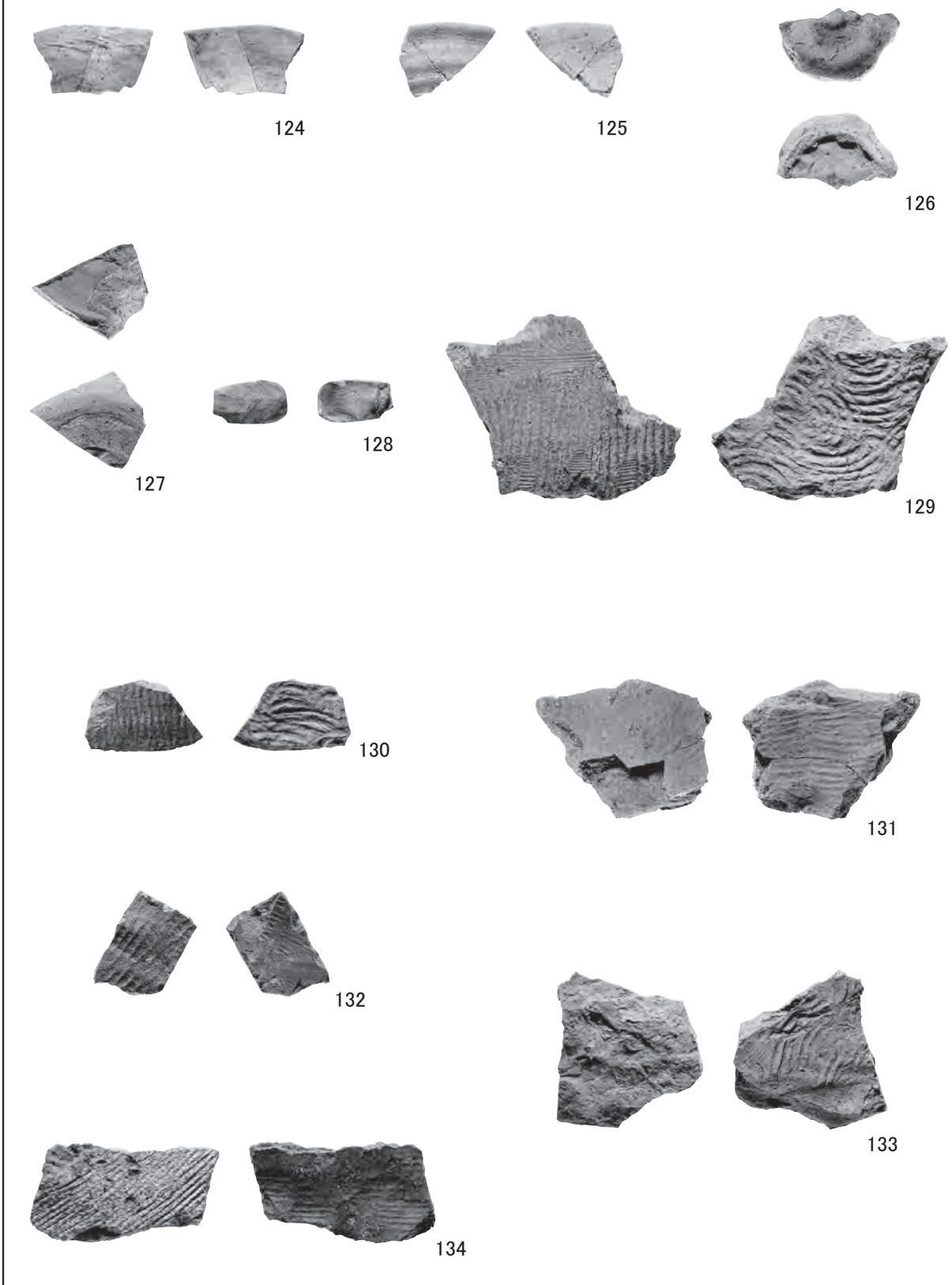
写真図版 188　古代の土師器（SI101・SI102）



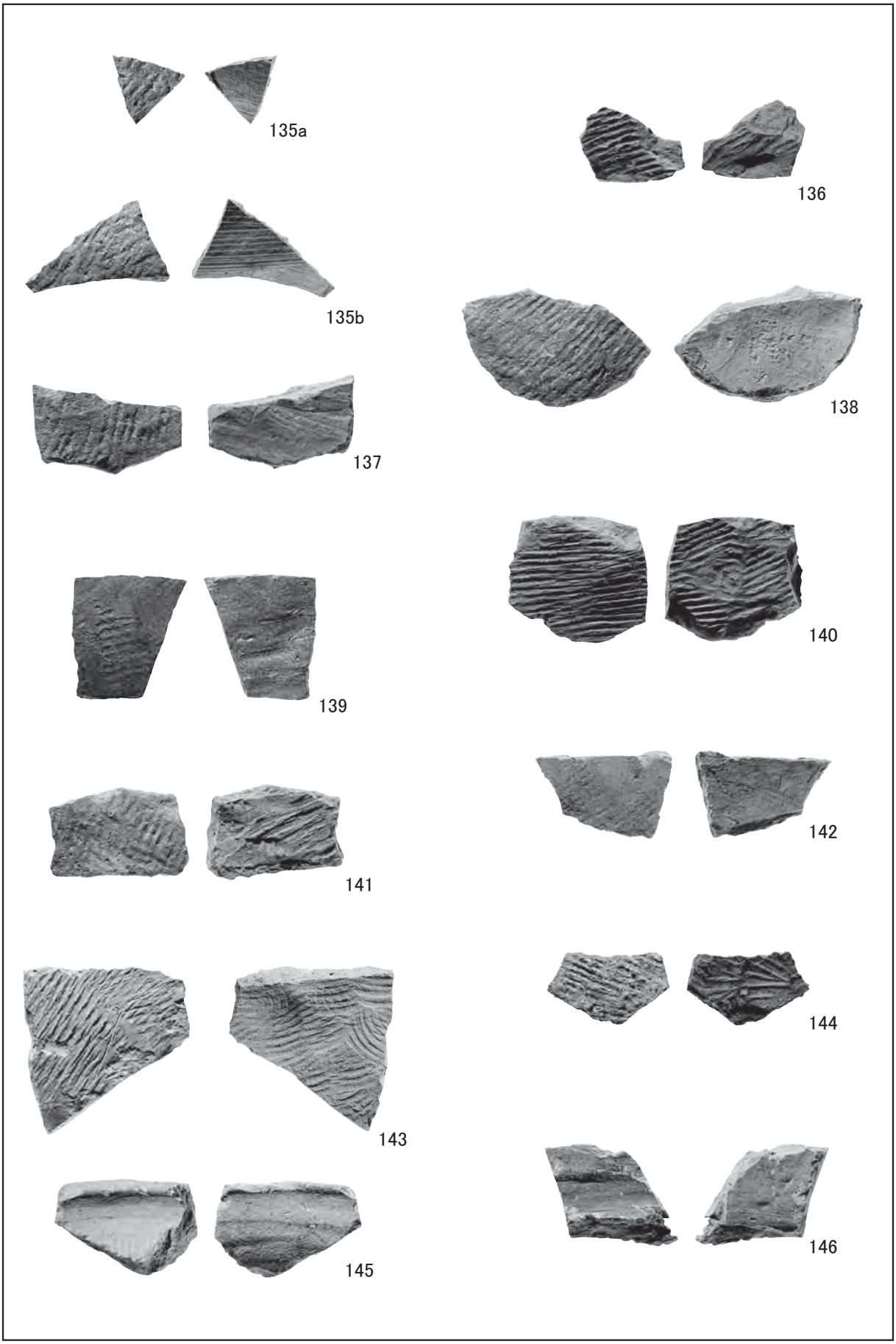
写真図版 189　古代の土師器・須恵器（SI501 ①）



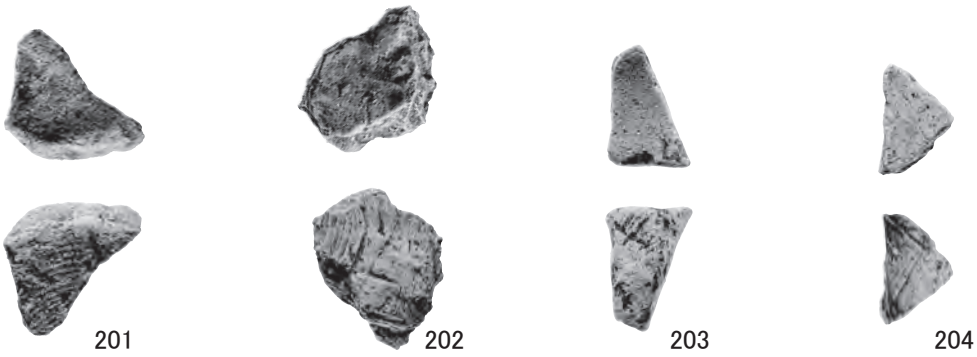
写真図版 190　古代の土師器・須恵器（SI501 ②）



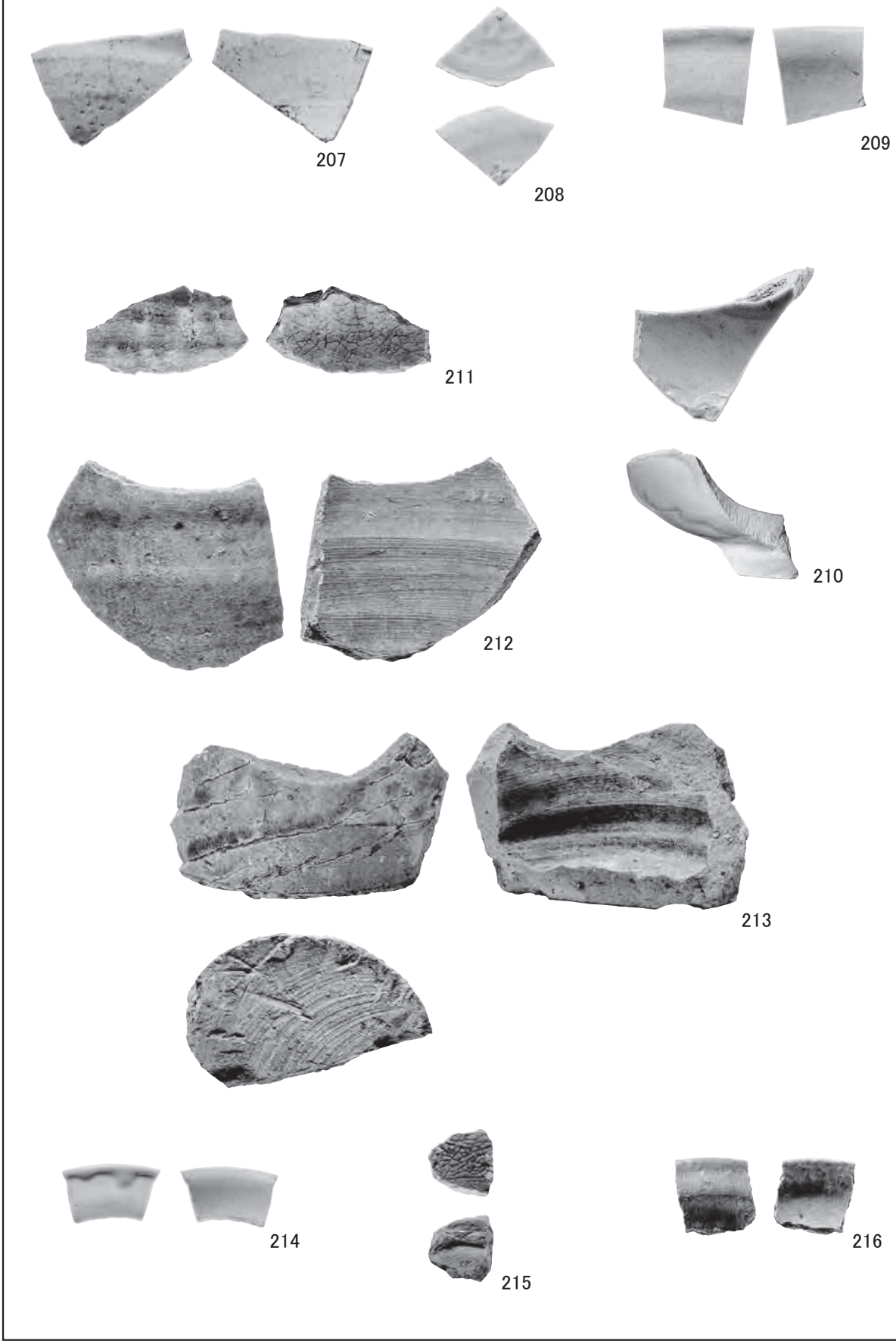
写真図版 191　古代の土師器・須恵器



写真図版 192　古代の須恵器



写真図版 193　12 世紀のかわらけ・渥美産陶器・中国産青白磁



写真図版 194　中世の陶磁器

217

218

219

220

221

222

223

224

225

226

227

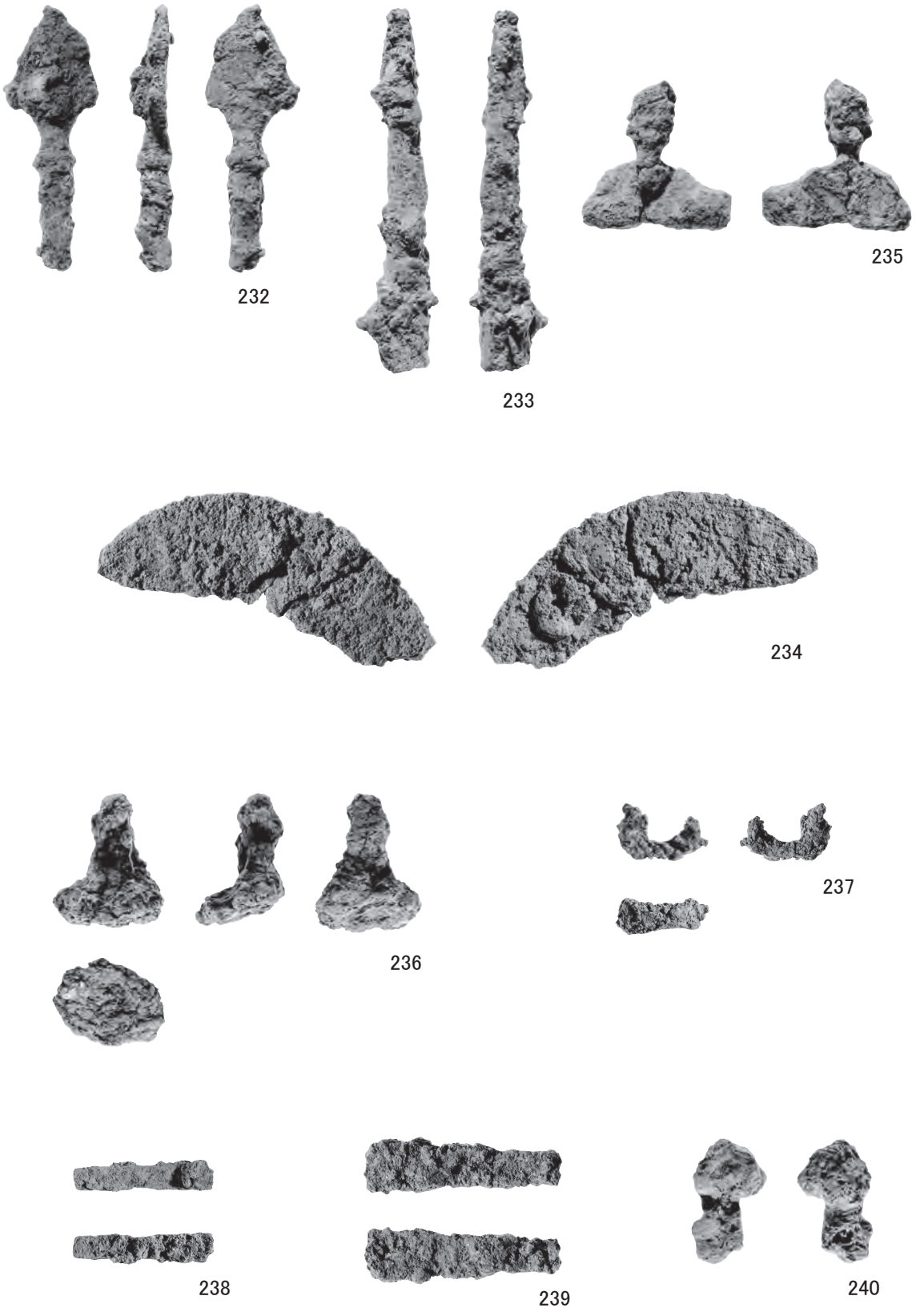
228

229

230

231

写真図版 195　銭貨



写真図版 196　鉄製品①

241

242

243

244

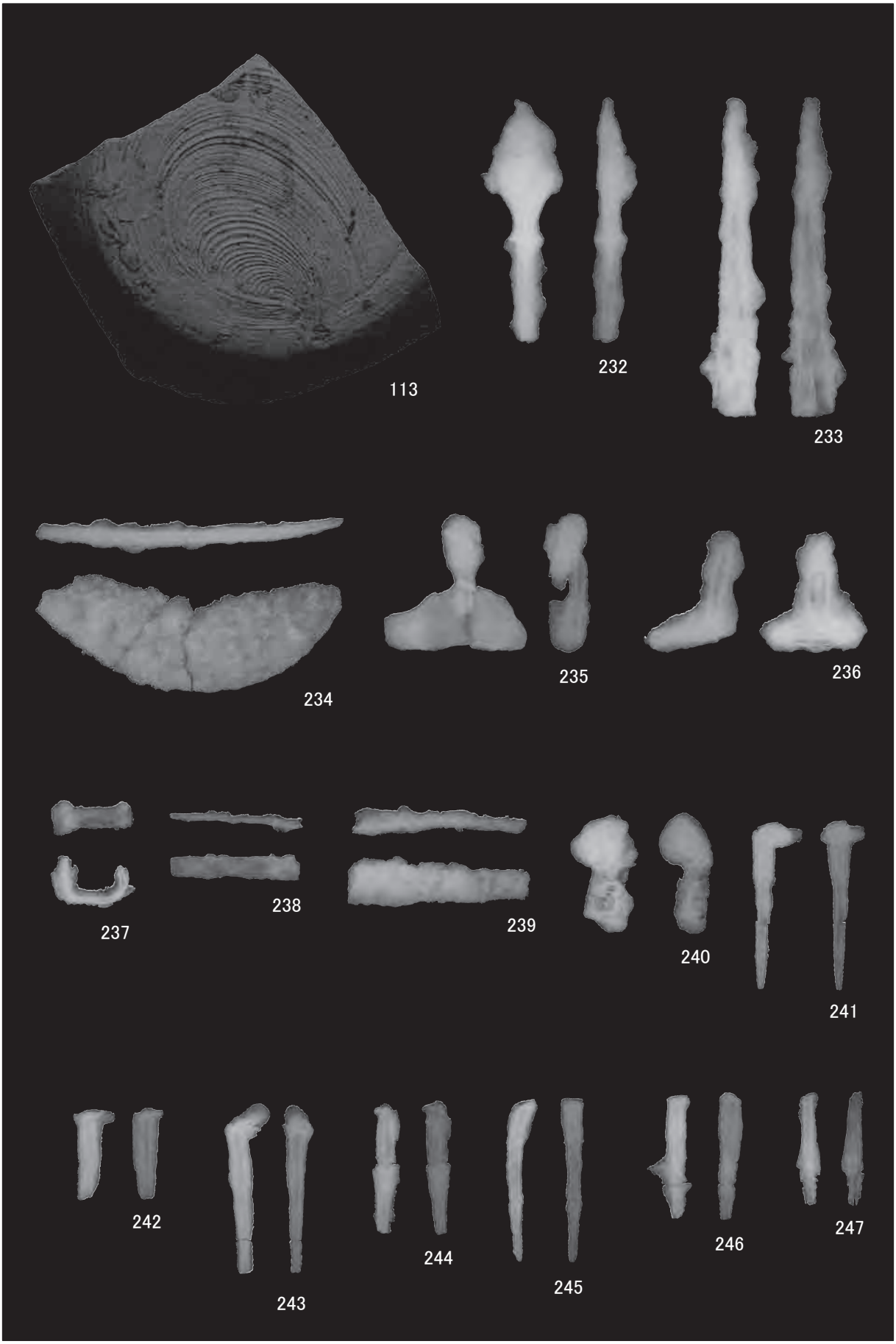
245

246

247

248

写真図版 197　鉄製品②・木製品



写真図版 198　須恵器赤外線写真・鉄製品Ｘ線写真

147

250

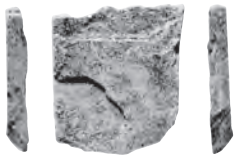
249

251

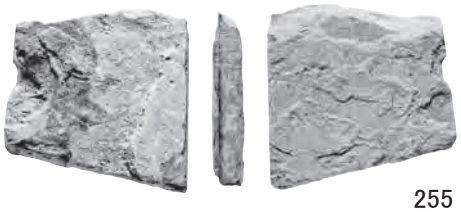
252

253

写真図版 199　古代の石製品・中世の石製品①



254



255

256

257

258

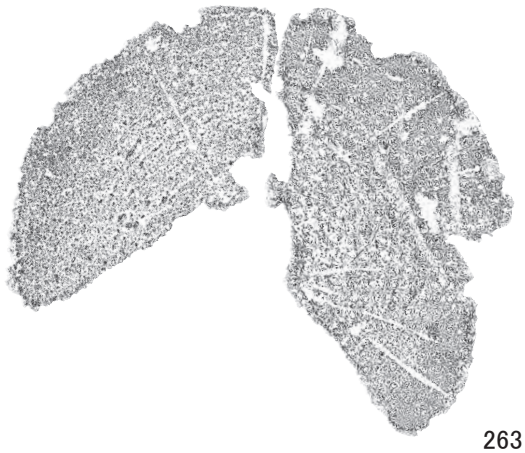
写真図版 200　中世の石製品②

259

260

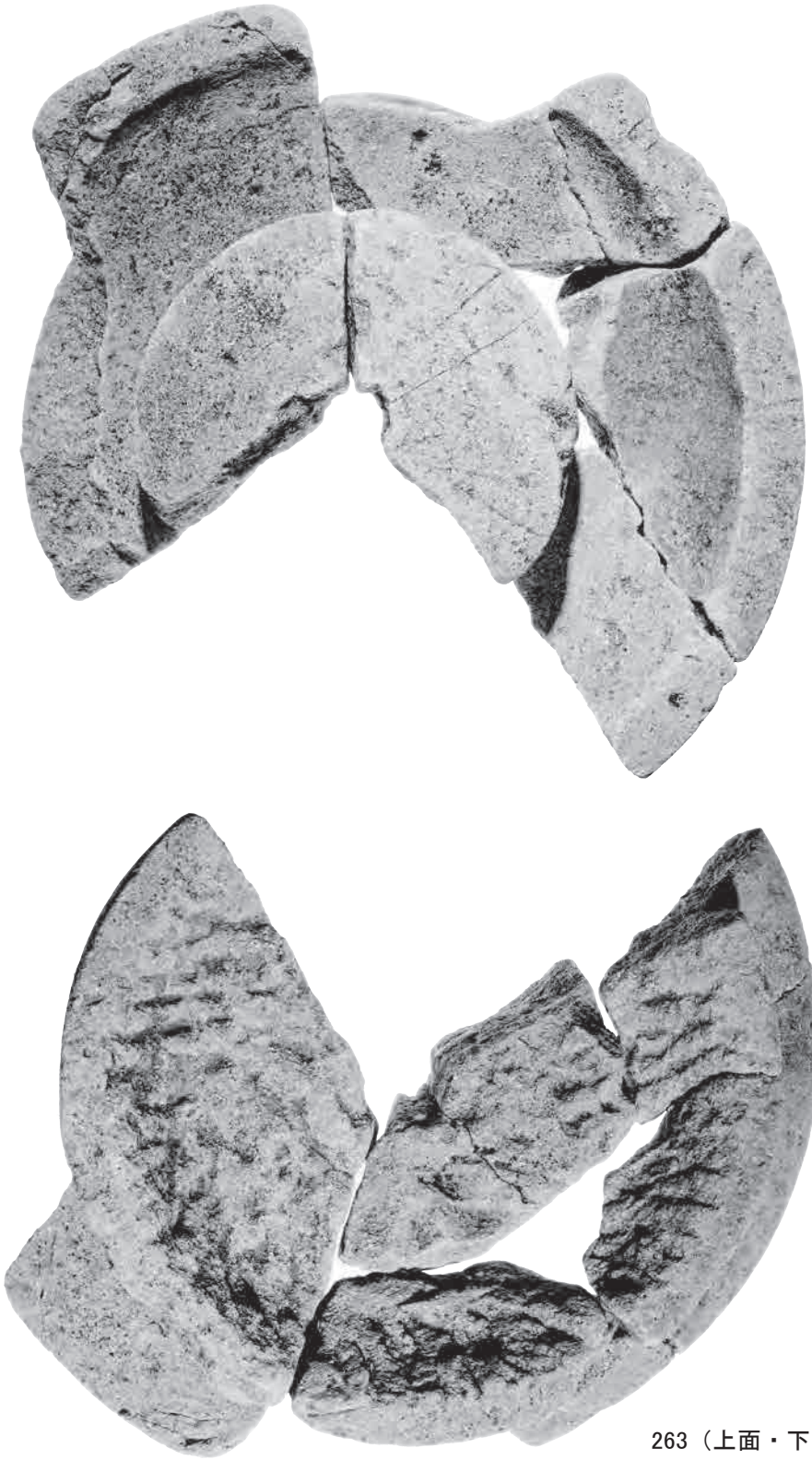
261

262



263（臼面拓本）

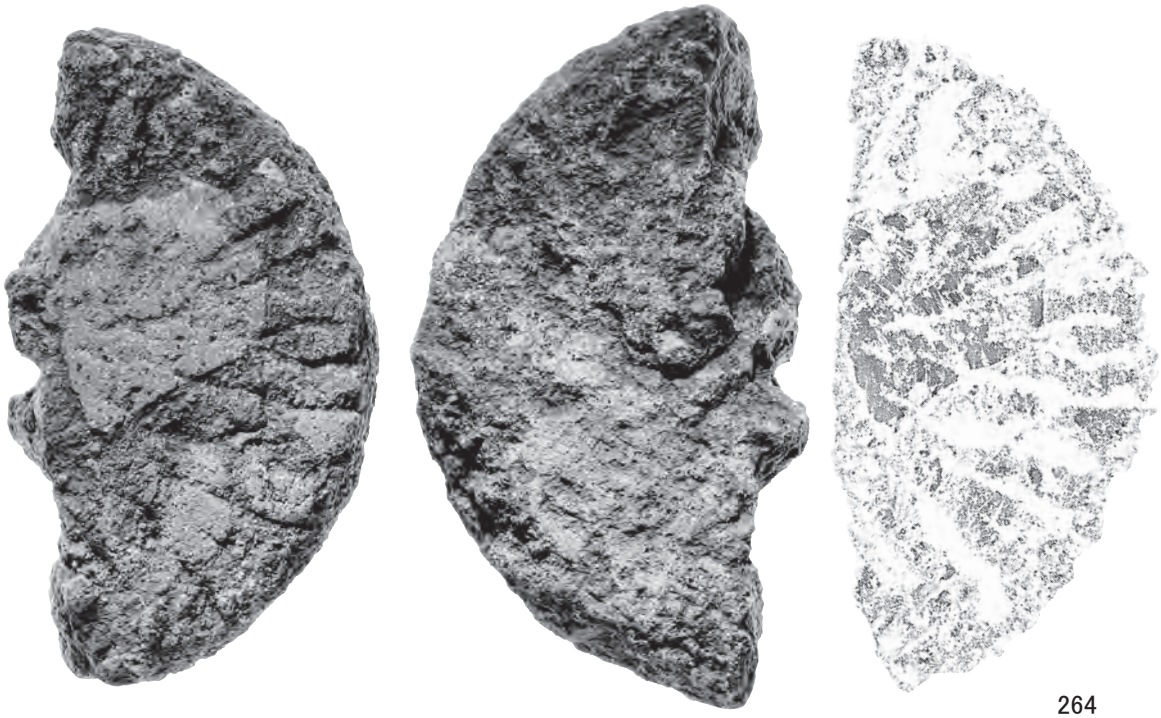
写真図版 201　中世の石製品③



263（上面・下面）

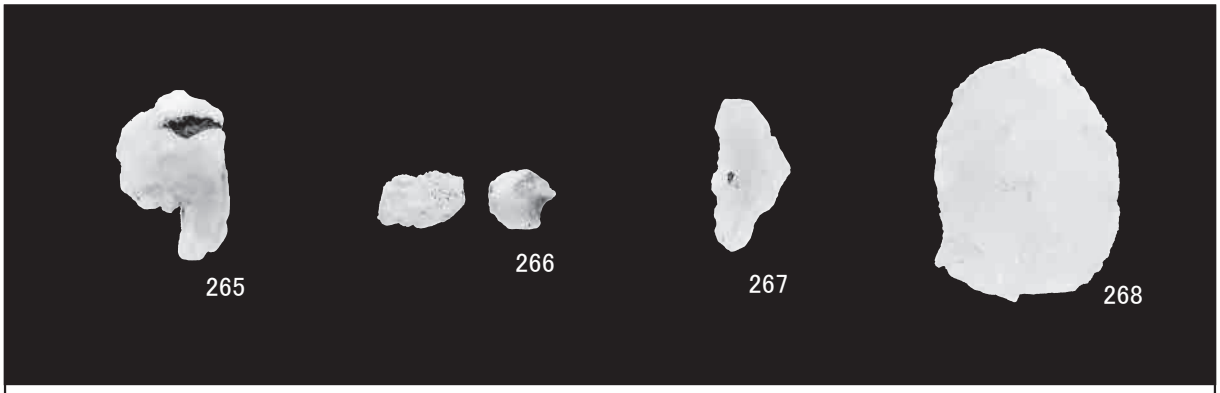
写真図版 202　中世の石製品④

263（側面）

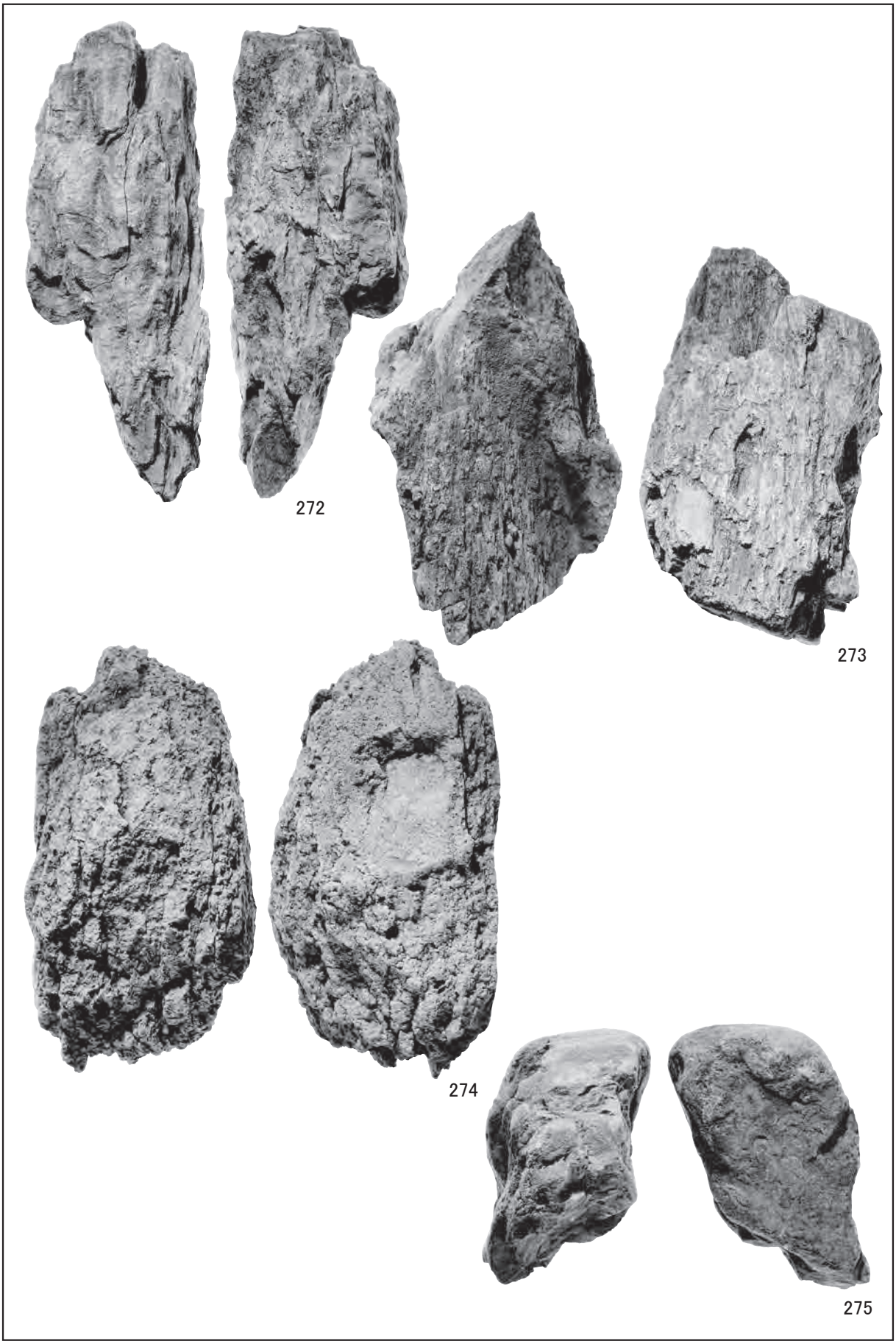


264

写真図版 203　中世の石製品⑤



写真図版 204　中世の石製品⑥



写真図版 205　中世の石製品⑦

276

277

写真図版 206　火葬骨

報 告 書 抄 録

ふりがな	まんちょうめいせきはっくつちょうさほうこくしょ
書　　名	万丁目遺跡発掘調査報告書
副 書 名	経営体育成基盤整備事業万丁目地区に伴う緊急発掘調査
巻　　次	
シリーズ名	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第 717 集
編 著 者 名	羽柴直人　光井文行　山川純一　古川　健
編 集 機 関	（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
所 在 地	〒020-0853　岩手県盛岡市下飯岡11 地割185 番地　　TEL（019）638-9001
発行年月日	西暦 2020 年 3 月 13 日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所 在 地	コード		北緯 ° ′ ″	東経 ° ′ ″	調査期間	調査面積 （m²）	調査原因
		市町村	遺跡番号					
まんちょうめ 万丁目遺跡	いわてけん 岩手県 はなまきし 花巻市 みなみまんちょうめ 南万丁目 844-1 ほか	03205	ME25-2242	39 度 23 分 11 秒	141 度 05 分 17 秒	2018.04.06 ～ 2018.10.31	11,500 m²	経営体育成基盤整備事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
万丁目遺跡	集落	縄文	炉 1 基 土坑 17 基 陥し穴状遺構 18 基	縄文土器　石器 石製品	
	集落	7 世紀末～ 8 世紀初頭	竪穴住居 2 棟 土坑 6 基	土師器　砥石	
	集落	平安	竪穴住居 1 棟	土師器　須恵器	
	居館・屋敷	古代末～ 中世・近世	掘立柱建物 168 棟 竪穴建物 8 棟 カマド状遺構 24 基 井戸 1 基 溝 11 条 苑池 1 基 土坑 58 基	かわらけ　渥美産陶器 中国産白磁・青磁 瀬戸産陶器　銭貨 鉄製品　木製品　砥石 茶臼　石製挽臼	
		近代・不明	溝 8 条		

要　約

今回調査の主体は中世の遺構である。大別すると 12 世紀後半～15 世紀中頃の居館と 15 世紀後半～16 世紀中頃の屋敷がある。居館は幅 1 m程の溝で東西約 80 m×南北約 50 mの不整な長方形範囲が区画され、区画内部には、約 100㎡ 以上の規模を有する主屋掘立柱建物と附属掘立柱建物、竪穴建物などが配置される。居館は 8 期の変遷が想定される。特筆される遺構には、1 期に属する仏堂と推測される SB4、3 期から 6 期に存在した苑池 SG1 が挙げられる。6 期の主屋 SB2 は、面積 260㎡ で今回検出の掘立柱建物で最大規模で、6 期が居館の最盛期と想定される。出土遺物には、12 世紀のかわらけ、12 世紀～15 世紀中頃の中国産白磁、青磁、渥美産陶器、瀬戸産陶器（古瀬戸）がある。かわらけは色調、胎土から「比爪」産と判断され、本居館は比爪系の奥州藤原氏と関係が深かったと推測される。15 世紀中頃の居館廃絶後、遺跡には一般階層の屋敷が構えられる。屋敷は 3 時期（9～11 期）に分けられる。この屋敷は 16 世紀中頃には終焉する。その後空白期間があり、近世（1680 年頃～）には屋敷が構えられている。この他、7 世紀末～8 世紀初頭の竪穴住居 2 棟、平安時代（9 世紀）の竪穴住居 1 棟、縄文時代の竪穴住居の残欠と推測される炉 1 基が検出されている。炉は埋設されていた土器から、縄文時代後期初頭と推測される。

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 717 集

万丁目遺跡発掘調査報告書

経営体育成基盤整備事業万丁目地区に伴う緊急発掘調査

印　刷　令和 2 年 3 月 13 日
発　行　令和 2 年 3 月 13 日
編　集　（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
〒020-0853　岩手県盛岡市下飯岡 11 地割 185 番地
電話（019）638-9001
発　行　岩手県県南広域振興局農政部北上農村整備センター
〒020-0095　岩手県北上市芳町 2-8
北上地区合同庁舎 2 階
電話（0197）65-5650
（公財）岩手県文化振興事業団
〒020-0023　岩手県盛岡市内丸 13 番 1 号
電話（019）654-2235
印　刷　山口北州印刷株式会社
〒020-0184　岩手県盛岡市青山 4 丁目 10 番 5 号
電話（019）641-0585

©（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2020